

EL EXTRANJERO

スペイン語 異邦人

Albert Camus

2017/02/03
～2022/01/31
三浦 高志

参考文献等

参考文献等

インターネットよりスペイン語テキストデータをダウンロード

<http://biblio3.url.edu.gt/Libros/camus/extranjero.pdf>

(現在は、ダウンロードできない)

フランス語原書 L'ÉTRANGER 1967 年 9 月 ガリマール社 出版番号 : 12784.

対訳 フランス語で読もう「異邦人」

2012 年 10 月 20 日初版発行 著者 アルベール・カミュ

訳注者 柳沢文昭 発行所 (有)第三書房

制作期間 2017/02/03～2022/01/31

注意：この文書は構文解析を用いて、外国語の文章を日本語に翻訳する方法を示して、外国語学習者の文法理解を多少なりとも支援するために作成した参考資料です。

翻訳は辞書に載っている単語や熟語などの意味と構文解析に基づいて、文章の意味を日本語に訳したものであり、文学作品の文章として翻訳している訳ではありません。

三浦 高志 Takashi Miura



文の構成要素と構文解析の書式

文の構成要素と構文解析の書式

文法書によると、日・伊・西・仏・独・英などの言語では異なる文法用語が使用されているが、この文書では英語の文法用語を基本として、独自解釈も交えて構文解析を行う。

「文」は「主語」、「動詞」、「目的語」、「補語」、「副詞」及び「形容詞」で構成される。また「接続詞」や「関係代名詞」などは「文」と「文」を接続してより複雑な文を構成するために使用される。

文の構成要素と単語の品詞についておおまかに説明する。

「名詞」は事物の名称・状態・性質・存在などの概念を表す単語である。

「形容詞」は事物の性質・状態、人間の感覚・感情などを表す語で「名詞」を修飾する。

「副詞」は事物の状態・性質・程度や時刻・場所などを表し、「動詞」を修飾したり、他の「副詞」や「形容詞」を修飾する。

「句」は2つ以上の単語が集まって「名詞」、「形容詞」、「副詞」あるいは「動詞」の役目をするもの。それぞれ「名詞句」、「形容詞句」...などと表す。例えば、
「名詞句」は「形容詞+名詞」、「名詞+名詞」などによって作られ、
「形容詞句」は「副詞+形容詞」、「前置詞+名詞」などによって作られ、
「副詞句」は「副詞+副詞」、「前置詞+名詞」などによって作られ、
「動詞句」は「動詞+前置詞」、「動詞+副詞」、「助動詞+動詞」によって作られる。

「節」は2つ以上の単語が集まって「主語」と「動詞」を含む文を構成して、全体の中で「名詞」、「形容詞」または「副詞」の役割をする。従属節と呼ばれる。それぞれ「名詞節」、「形容詞節」および「副詞節」と表す。

2つの節が対等に結合される場合は等位節と呼ぶ。(英語で **and** や **but** で結合)

「主語」は「動詞」の動作・作用の主体を表す「名詞・句・節」または「代名詞・句」。

「動詞」は事物の動作・作用・状態・存在などを表す。

「直接目的語」は動詞の表す動作の対象となる人・物を表す「名詞・句・節」。

「間接目的語」は動詞の表す動作によって動作主または「直接目的語」が移動または状態変化する場所または動作の目的・結果を表す「名詞・句・節」または「副詞・句・節」。

注意：英語の文法書では、「間接目的語」は「直接目的語」と共に用いられることになっているが、この文書では「間接目的語」が単独で用いられる場合がある。すなわち、

「主語」「動詞」「直接目的語」と「主語」「動詞」「間接目的語」の構文がある。

「補語」は「主語」または「目的語」の性質・状態を表す「名詞」「形容詞」「副詞」。

文の構成要素と構文解析の書式

名詞・性と数

「名詞」は人または事物の名称を表す語であり、文中で「主語」、「直接目的語」、「間接目的語」または「補語」として用いられる。時には、他の「名詞」を修飾する「形容詞」として利用されたり、「時」や「場所」に関する「副詞」として利用されることがある。

「名詞」が「動詞」のように利用されて「前進！」のような命令文が作られることもある。

さらに、「名詞」として辞書に載っている単語だけでなく、「動詞」や「形容詞」または「副詞」が「名詞」的に利用されることもあるので、「名詞」の出現頻度は高い。

「代名詞」は「名詞」の代わりをする語である。代名詞を利用することで、文中に同じ単語が何度も現れるのを防いで、文を明確化することができる。

「名詞句」や「名詞節」も文中で「名詞」と同様の機能として使われる。

「名詞」は数えられる名詞「可算名詞」と数えられない名詞「不可算名詞」に分けられ、可算名詞は「普通名詞」と「集合名詞」に、不可算名詞は「固有名詞」、「物質名詞」と「抽象名詞」に分けられる。

「**普通名詞**」は「本」、「猫」、「机」など同じ種類の個体を多数持っているものに与えられる名称で、単数か複数かという区別を必要とする。単数の場合は「不定冠詞」か「定冠詞」を付けるのが原則である。

「**集合名詞**」は「委員会」、「家族」、「警察」のように人・動物・物などの集合体を指す名詞である。

「**固有名詞**」は「富士山」、「パリ」、「ニュートン」などのように、人・場所・事物などに固有の名称である。本来一つしかないものなので不定冠詞をつけたり、複数形にすることは原則としてない。定冠詞を付ける場合と付けない場合がある。

「**物質名詞**」は「空気」、「水」、「ワイン」のように物質を表す名称で、一定の形を持たず、また特別な容器を用いない限り、個々には独立して存在しない。不可算名詞なので、不定冠詞は付かないし、複数形にもならない。

「**抽象名詞**」は「親切」、「愛」、「悲しみ」、「真理」のように、具体的な形を持たない抽象的な概念を示す名称である。抽象名詞も数えられないから、不定冠詞は付かないし、複数形にもならない。

イタリア語・スペイン語・フランス語・ドイツ語などでは、「**名詞**」に付属する冠詞・形容詞は名詞と性・数の一致が必要となり、「**名詞**」に関係する「**動詞**」は名詞と数の一致が必要になる。

文の構成要素と構文解析の書式

「直接目的語」と「間接目的語」

「僕は君にこの本をあげる」という文は、「主語：僕（は）」、「間接目的語：君に」、「直接目的語：この本（を）」、「動詞：あげる」という構成要素から作られている。そして、「動詞：あげる」の動作において動作の主体が操作・加工する対象となるものが「直接目的語：この本（を）」である。「間接目的語：君に」は「直接目的語」（または「主語」）の移動先（抽象的な概念の場所も含む）を表しており、動作の主体が操作・加工する対象ではない。

「直接目的語」は動作の主体が操作・加工する対象を示すと考えると、「人」や「物」を表す「名詞」類が使用されることが分かる。

「間接目的語」は「直接目的語」または「話者自身」の移動先を示す場所であると考え、場所を表す「人」や「物」または「場所を表す空間」を表す「名詞」類または「副詞」類が使用されることが分かる。参考：「私は両親に従う。」の「両親」は「両親の希望・意見などの抽象的な概念の場所」を表す「間接目的語」である。「間接目的語」が名詞・代名詞ならこれを「主語」として受動文を作れるが、副詞類なら受動文を作れない。

注意：一般の文法書では、「自動詞+前置詞+名詞」の「名詞」を前置詞の「目的語」と説明しているが、この文書では「前置詞+名詞」または「前置詞+副詞」を「間接目的語」と解釈して構文解析を進める。この方が文章を理解しやすいと判断したからである。

この方法によると、「私は学校へ行く」は自動詞の「行く」と前置詞が付いた「学校へ」が使われており、「学校へ」が「間接目的語」と構文解析されることになる。

しかし、一般の文法書の解説とは異なるので、学校の試験などでは間違いとされる恐れがあることを注意する必要がある。しかし、フランス語の文法はこの解釈に近い。

まとめ：「直接目的語」は「名詞」類が使われる。「～を」

「間接目的語」は「名詞・副詞」類が使われる。「～の所へ、～のために、～にとって」

形容詞

「名詞」、「代名詞」を修飾・限定するものを「形容詞」という。「形容詞」は事物の性質・状態、人間の感覚・感情などを表す語で「名詞」を修飾する。

「形容詞」類の例示：

代名詞：「私の本」、「この本」、「数冊の本」、「どんな本」の下線を付けた語句。

冠詞：「一冊の本」、「その本」の下線を付けた語句。

分詞：「眠っている赤ん坊」、「失われた時間」の下線を付けた語句。

名詞：「空軍」、「石橋」のように「名詞」＋「名詞」の語句。

形容詞句：「籠の中の鳥」の下線を付けた語句（前置詞で導かれる）。

形容詞節：「これはパリで買った指輪です」の下線を付けた語句（関係代名詞で導かれる）。

まとめ：「形容詞節」を含む「形容詞」類は「名詞」類の前後に使用される。

文の構成要素と構文解析の書式

不定冠詞

「形容詞」類の一つである。様々な意味に使われる。

1. どれでもよい、不定の人や物の一つを指す。
2. ある具体的な一つの物（人）を指す。
3. 一つの～という意味をはっきり示す。
4. ～につきの意味を示す。
5. 或る～の意味で用いる。

話の中で初めて述べる「名詞」には不定冠詞を付けて内容を説明して、二度目以降では定冠詞を付けて使う。

定冠詞

「形容詞」類の一つである。加算名詞・不加算名詞を問わず、全ての名詞の前に付けることができ、その名詞が何らかの意味で特定されたものであることを示す。

1. 先に出た「不定冠詞+名詞」を指す場合。
2. すでに述べられた事柄に関連して特定される場合。
3. 周囲の状況からそれと分かる場合。
4. ただ一つしかないものを指す場合。
5. 最上級や唯一的な意味で限定された名詞に付ける。
6. 修飾語句によって限定される場合。
7. 楽器を代表的に指す場合

副詞

「副詞」は事物の状態・性質・程度や時刻・場所などを表し、「動詞」を修飾したり、他の「副詞」や「形容詞」を修飾する。しかし、名詞・代名詞、句や節または文全体を修飾・限定することもある。

まとめ：「副詞」類は修飾する語句の近くに置かれるので、「文頭」、「主語」の前後、「動詞」の前後、「補語」の前後、「文末」のように、文中いたる所に使われる。

比較

「形容詞」や「副詞」は性質・様態・数量などの程度を表すが、他の物との間の程度の違いを比較・表現する場合は語形を変えてそれを示す。この語形変化を比較といい、原級、比較級、最上級の語形と慣用句がある。

文の構成要素と構文解析の書式

補語

「補語」は文中で「主語」や「目的語」の性質・状態・動作を補足説明する語句である。

「彼は親切だ」、「私は学生だ」など「主語+動詞+補語」の形式で表される文では、下線部分の事を「補語」といって、「補語」は「主語」の性質・状態を補足説明している。

また、「私は彼が親切だと分かった」のように「主語+動詞+目的語+補語」の形式で表される文では、下線部分の事を「補語」というが、こちらは「主語」ではなく「目的語」（二重下線部分）を補足説明している。「補語」は主に「名詞」類または「形容詞」類が使われる。

しかし「彼はパリ出身だ」、「この本はカルロスのものだ」、「このテーブルは木製だ」などの文を「～である」を表す「動詞」を使って表現すると、下線部分は「副詞句」となる。この「副詞句」も「主語」の性質・状態を補足説明しているので「補語」である。

参考：「私は彼が全力を尽くすことを期待している。」は「主語」「不完全他動詞」「目的語」「補語」の構文によって「補語」が「目的語」の動作を補足説明している。

「補語」が必要な「動詞」は「～である」、「～になる」、「～とを感じる」、「～と思われる」などの意味の「動詞」である。

まとめ：「補語」は「動詞・名詞・形容詞・副詞」が使用され性質・状態・動作を補足する。

動詞

「動詞」は人や様々な事物の動きや状態を述べる語である。

「主語」は「動詞」の動きを実行する主体である。

「動詞」の種類について：

完全自動詞：「主語」が「動詞」の動作を実行する。

不完全自動詞：「動詞」と「補語」によって「主語」の性質・状態を補足説明する。

完全他動詞：「主語」が「直接目的語」に対して「動詞」の動作を実行する。

間接他動詞：「動詞」と「間接目的語」で「主語」の移動先を示す。（フランス語文法）

授与動詞：「主語」が「間接目的語」に対して「直接目的語」を与える。

不完全他動詞：「目的語」の性質・状態を「補語」によって「動詞」で表現したり、「補語」で示される動作を「目的語」に対して「動詞」で表現する。

助動詞

「助動詞」は「動詞」と結びついて可能「～する事が出来る」、推量「～するかもしれない」、義務「～しなければならない」など、話し手の判断や心理を表す表現を追加する「法助動詞」とそれ自身は特に意味を持たず現在分詞・過去分詞と結びついて進行形・受動態・完了形などの時制・態を形成する助動詞がある。

文の構成要素と構文解析の書式

疑問詞

「誰」、「何」、「どこ（場所）」、「いつ（時）」、「どちら（選択）」など文を形成する要素の一部分を話し相手に質問する時に、質問の種類を知らせるための語を「疑問詞」という。

「疑問詞」は文の中で、「主語」、「目的語」、「補語」または「副詞」類として機能するが、どの場合でも文頭におかれて、最初に質問の種類を明らかにする役目を果たす。

「疑問代名詞」、「疑問形容詞」および「疑問副詞」の3種類がある。

接続詞

「接続詞」は文中の語・句・節を接続する。

「等位接続詞」は文法上の働きが対等の関係にある語・句・節を結び付ける。

「従属接続詞」主節の一部として、全体で一つの名詞または副詞の働きをする節を導く接続詞を従属接続詞と呼ぶ。

「従属接続詞」+「節」→「従属節」となり、「従属節」が「名詞節」または「副詞節」として働くことになる。

まとめ：「語・句・節」+「等位接続詞」+「語・句・節」の形式で使用される。

「主語」+「動詞」+「従属接続詞」+「節」の形式で使用される。

関係詞

文中の「主語」、「目的語」または「補語」に対して説明を加える場合に、それを「先行詞」として、説明に適当な「関係詞」に続いて説明の「節」を置くことで、説明の行き届いた文を作ることができる。「先行詞」は「節」の中で「主語」、「目的語」または「補語」として機能する。

まとめ：「関係代名詞」は「名詞」類を修飾する「形容詞節」を導く。

「関係副詞」は「時」や「場所」を修飾する「副詞節」を導く。

前置詞

「名詞」・「代名詞」の前に置いて、それらと共に全体として一つの品詞の働きをする語。前置詞と結びついた語句の品詞によって、「形容詞句」または「副詞句」として機能する。

「形容詞句」は「名詞」と結びついて「名詞句」を構成して、文中で「主語」、「目的語」または「補語」として機能する。

「副詞句」は文全体や「動詞」・「形容詞」を修飾したり、「間接目的語」として機能する。

文の構成要素と構文解析の書式

構文解析の書式

構文解析は文を構成要素ごとに区切りを付けて、「主語」、「動詞」、「目的語」、「補語」、「副詞」および「形容詞節」に分類して、文がどのように構成されているかを分かり易く示すことが目的である。

しかし「形容詞節」は「主語」、「目的語」などと一体化されて、「主語」または「目的語」として分類することが多い。（「形容詞節」は名詞句の一部になる）

「目的語」は必要に応じて「間接目的語」と「直接目的語」を明示する。

本文書では、日本語の文を最初に示してから、次の行に外国語の文を示す。そして、外国語の文の後ろまたは次の行に文全体の構成要素を示す。さらに、その次の行からは、各構成要素の語句ごとにその読み、語句の品詞（「動詞」の場合はその活用も表記）、日本語の意味、構成要素名を1行から3行程度のスペースを使用して表示する。

複数の語が集まって「主語」、「動詞」、「目的語」または「補語」が作られる場合には、それぞれの単語の読み、品詞、意味を表示する場合がある。この場合には、次の書式に従って表示する。

「語句」「読み」「品詞の記号」「意味」（「構成要素名」）

「品詞の記号」

名詞：男性名詞 n.m、女性名詞 n.f

代名詞：pron、pron.fのように性別を追加することがある。

形容詞：男性形容詞 adj.m 女性形容詞 adj.f

複数：pl.（名詞、代名詞と形容詞の品詞記号の前または後ろに置く）

副詞：adv、「構成要素名：修飾する語句」の形式で説明を加える。

動詞：接続法・1人称単数現在なら接・1単現のように表記、自動詞 v.i、他動詞 v.t

動詞句：否定詞+動詞、助動詞+動詞、助動詞+過去分詞、動詞+不定詞など複数の動詞関連語句は、動詞としての機能と自動詞／他動詞の区別などを示す

注意：動詞の未来、過去または完了形の場合、<「原形」の形式で示すときは原形の意味を表示するが、「原形」を示さない場合は未来、過去または完了形の意味を表示する。

接続詞：conj. 接続詞は単語そのものを表示する

前置詞：prep

複数の単語によって名詞句などが作られる場合には、複数の単語の品詞を表示してから、→「複数単語の語句」、品詞記号、意味、構成要素名の形式で表示する。

数字は読みのスペルをカッコ内に表記した。

構成要素には「主語」、「動詞」、「目的語」、「補語」、「副詞」、「形容詞」のように下線を追加した。「補語」、「副詞」および「形容詞」は同じ下線である。また、「間接目的語」と「直接目的語」も同じ下線である。「動詞句」は「動詞」と同じ下線である。

文の構成要素と構文解析の書式

構文解析の例

2 週間の間、風邪のために喉が痛い。

Tengo dolor de garganta por el resfriado durante dos semanas.

「動詞」「目的語」「副詞句」

Tengo テンゴ 1 単現 < tener v.t 持つ、ある

「動詞」

dolor de garganta トロオル・デ・ガルガンタ n.m 喉の痛み

「目的語」

por el resfriado ポル・エル・レスフリアド adv. 風邪のために

durante dos semanas トゥランテ・ドス・セマナス adv. 2 週間

→ por el resfriado durante dos semanas

「副詞句：Tengo」

今日はイタリア語とスペイン語で日記を書くために参考書を 2 冊買った。

Hoy he comprado 2 (dos) libros de consulta para llevar un diario en italiano e en español.

「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Hoy オイ adv. 今日

「副詞：he comprado」

he comprado エ・コンプラト 1 単現・完了形 購入した

「動詞句」

2 libros de consulta トス・リブ・ロス・デ・コンスルタ n.m pl. 2 冊の参考書

「目的語」

para llevar un diario パラ・ジエバル・ウン・デアリオ adv. 日記をつけるために

en italiano e en español エン・イタリアーノ・エ・エン・エスパニョール adv. イタリア語とスペイン語で

→ para llevar un diario en italiano e en español

「副詞句：he comprado」

山栗が 430g とナスが 2 本採れた。

He recogido 430 (cuatrocientos treinta) gramos de castaña salvaje y coseché 2 (dos) berenjenas.

「動詞句」「目的語」 y 「動詞」「目的語」

He recogido エ・レコヒト 1 単現・完了形 拾い集めた

「動詞句」

430 gramos de castaña salvaje クワトロシエントス・トレインタ・グラモス・デ・カスタニャ・サルバヘ

n.f 山栗を 430g

「目的語」

coseché コセチェ 1 単点 < cosechar v.t 収穫する

「動詞」

2 berenjenas トス・ベレンヘナス n. 茄子を 2 本

「目的語」

文の構成要素と構文解析の書式－終わり

目次

目次

参考文献等.....	2
文の構成要素と構文解析の書式.....	3
名詞・性と数	4
「直接目的語」と「間接目的語」	5
形容詞	5
不定冠詞	6
定冠詞.....	6
副詞	6
比較	6
補語	7
動詞	7
助動詞	7
疑問詞	8
接続詞	8
関係詞	8
前置詞	8
構文解析の書式.....	9
構文解析の例.....	10
文の構成要素と構文解析の書式ー終わり	10
目次.....	11
Primera parte 第1部	16
I.....	17
現在完了形 : haber の現在活用 + 過去分詞 (語尾は不変)	17
接続法 現在・現在完了 :	18
マランゴ Marengo :	19
que の独立用法 前置詞(con, por)+que や lo que (定冠詞+que) など.....	21
未来完了 : haber の未来活用 + 過去分詞 (語尾は不変)	22
過去未来完了 : haber の過去未来活用+過去分詞.....	34
接続法 過去・過去完了 : si + 接続法	34
接続法 過去・過去完了 : 推測.....	38
según parece : 話によると〜のようだ.....	40
受動 : 〜される	42

目次

下疳 げかん	47
潰瘍 かいよう	47
フランス語原文では、	50
フランス語原文では、	52
haber que+過去分詞、haber que+不定詞	52
複雑な強調構文	68
直前過去完了： haber の点過去活用 + 過去分詞	71
洩（はな）： 鼻腔の粘膜から分泌する鼻汁	77
曙色（あけぼの）： 朝焼け（H16, S47, B98: R249, G163, B131）	85
茜色（あかね）： 夕焼け（H355, S74, B62: R157, G41, B50）	85
侍者（じしゃ）： ミサで司祭を手伝う少年	96
香炉	96
Hay+単数・複数名詞： ～がある	125
II	128
再帰動詞・複合時制： 助動詞は常に haber を使用する	132
solos の意味： solo ソロ adj.（副詞的）～だけ	144
エナメル革の靴	149
麦わら帽子、カンカン帽	150
うねり： 長く、大きく起伏する海の波。	160
III	169
船荷証券（ふなにしょうけん） conocimientos	170
フランス語原文では、	174
フランス語原文では、	175
疥癬（かいせん）	182
再帰動詞に注意～複数の動詞の中で、どれが再帰動詞なのか？	185
poderse ポデルセ： 一般性	188
鉛版 えんばん	196
かかと落とし	201
フランス語原文では、	201
フラン： フランスなどの貨幣単位	208
質札	213
フランス語原文では： ペン軸 である。	228
モーロ人、モール人～北西アフリカのイスラム教徒を指す呼称。	229
出来（でき）	230
IV	239
al +不定詞： 同時、条件	250

目次

フランス語では～à toute volée 「力いっぱい、勢いよく」	257
木偶の坊 でくのぼう :	258
conocer と saber :	266
V	285
接続法過去完了: haber の接続法過去活用 + 過去分詞	296
オードブル :	311
zarzuela サルスエラ : スペインの歌劇、小喜劇場	320
VI	333
フランス語では : 僕ではなく、彼を見ていた	346
アスフォデル asfódelo : (植物) ツルボラン	348
タマリンド tamarindo～フランス語原文ではタマリシ tamaris	349
cabañuela カバニェラ :	352
フランス語原文では :	355
浮き身 :	361
フランス語原文では～誰に向かって言ったのかが示されている	368
フランス語原文では～2つの形容詞節を使用している	375
フランス語の原文では～菜っ葉服	378
うつ伏せ :	385
あおむけ (仰向け) :	385
せわしない : 忙しい	408
tener deseo de+不定詞～「～をしたい」	412
フランス語原文では :	424
フランス語原文では :	425
Segunda parte 第2部	429
I	431
弁護士の必要性～日本の場合	434
ウィングカラー :	440
de manera que+直説法 (結果) だから～	448
de manera que+接続法 (様態) ～するように	448
紗 (しゃ) :	454
seguir+現在分詞・過去分詞・形容詞 ～し続ける、～であり続ける	469
フランス語原文では :	473
ウマバエ :	473
捲 (まく) し立てる :	479
検事と判事 :	484
II	493

目次

南京虫	497
フランス語原文では	504
通奏低音	507
木っ端 (こっぱ)	537
フランス語原文では	555
第1部第1章 看護婦の言葉	559
III	560
性別のない職業名	584
万年筆とシャープペンシル	584
呼名 (こめい)	588
読み上げる	588
フランス語原文では	602
quedar + 過去分詞	603
pese a... (譲歩) 〜にもかかわらず	617
再帰動詞の過去分詞	625
フランス語原文では	637
フランス語原文では	661
法廷における儀礼	664
IV	669
lo que	724
予謀	726
フランス語原文では	726
フランス語原文では	727
禁固と徒刑 (ずけい)	728
破毀	729
V	737
フランス語原文では	742
予謀 よぼう	742
下着を取り換える人とは?	748
シバリング	755
〜以上は...	780
フランス語原文では	788
来世 (らいせ)	817
この後ろに、意味不明の文が続いていた	822
Para que+接続法	841
FIN	842

目次

El huésped	844
fin.....	856
Google 翻訳.....	857
DeepL による一部翻訳.....	871
終わり	872
Vector で公開中のソフトとデータ	873

スペイン語 異邦人

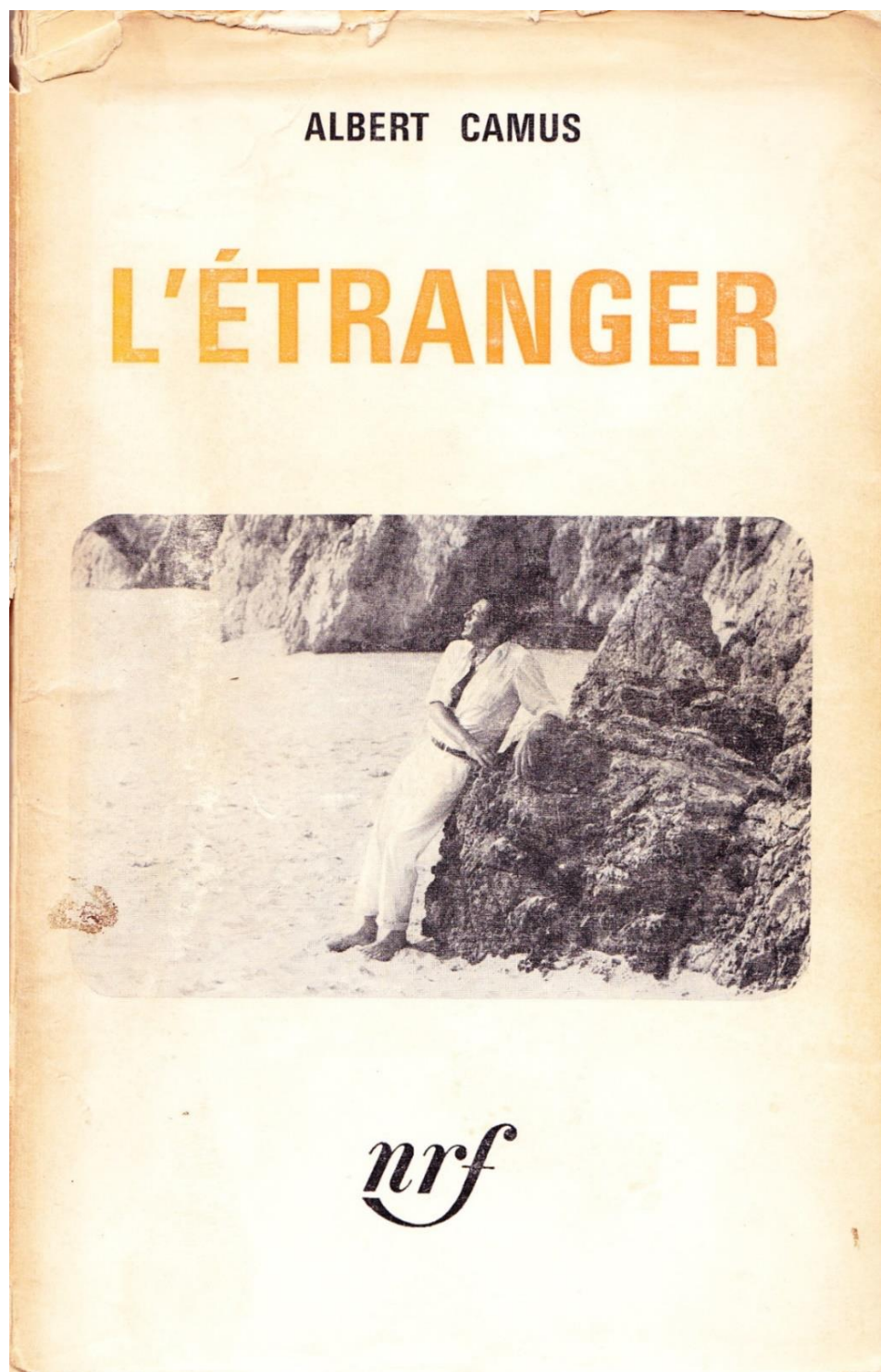
EL EXTRANJERO

Albert Camus

Primera parte 第1部

ALBERT CAMUS
EL EXTRANJERO

Primera parte 第1部



Primera parte 第1部

I

きょう母さんが死んだ。もしかしたら昨日かもしれない。はっきりしない。

Hoy ha muerto mamá. O quizá ayer. No lo sé.

	「副詞」「動詞句」「主語」 O 「副詞句」 「動詞句」「目的語」「動詞句」
Hoy	オイ adv. 今日 「副詞」
ha muerto	ア・ムエルト 3 単現・完了形(morir)v.i 死んだ 「動詞句」
mamá.	ママ n.f 母さんが 「主語」
O	オ conj. または
quizá	サ adv.(quizás) おそらく、多分 「副詞」
ayer.	アジェール adv. 昨日 「副詞」
No ...sé.	ノ...セ 1 単現・否定(saber)v.t 分からない 「動詞句」
lo	ロ pron そのことは 「目的語」

現在完了形 : haber の現在活用 + 過去分詞 (語尾は不変)

フランス語・イタリア語・ドイツ語の現在完了形(複合時制)では、動詞の種類によって英語の have または be に相当する助動詞の活用形と、動詞の過去分詞を使用します。

さらに、be に相当する助動詞を使用する場合、動詞の過去分詞は主語と性・数一致します。

例えば、この文の ha muerto はフランス語では est morte となります。動詞 mourir の過去分詞 mort の語尾に主語が女性・単数であることを示すために -e が追加されます。

しかし、スペイン語では動詞の種類によらず、常に英語の have に相当する haber の活用形と動詞の過去分詞を使用して複合時制を表します。過去分詞は主語と性・数一致しません。

養老院から電報を受け取った : 「ハハウエゴセイキョ ソウギアス オクヤミモウシアゲル」

Recibí un telegrama del asilo: "Falleció su madre. Entierro mañana. Sentidas condolencias."

	「動詞」「目的語」「副詞句」 : 《「動詞」「主語」 「主語」「副詞」 「目的語」》
Recibí	レシビ 1 単点(recibir)v.t 受け取った 「動詞」
un telegrama	ウン・テレグラマ n.m 電報を 「目的語」
del asilo:	デル・アシロ adv. 養老院から、保護施設から 「副詞句」
"Falleció	ファジェシオ 3 単点(fallecer)v.i (公式の表現で) 亡くなった、逝去された 「動詞」
su madre.	ス・マトレ n.f 母上が 「主語」
Entierro	エンティエロ n.m 葬式は、葬儀は 「主語」
mañana.	マニャーナ adv. 明日 「副詞」
Sentidas	センチダス adj.f.pl 感情のこもった 「形容詞」
condolencias."	コンドレンシアス pl.n.f 同情、弔意 「目的語」

Primera parte 第1部

だがこれでは何も分からない。たぶん昨日だったのだろう。

Pero no quiere decir nada. Quizá haya sido ayer.

Pero 「動詞句」「目的語」 | 「副詞」「動詞句」「副詞」

Pero ペロ conj. しかし

no quiere decir ノ・キエレ・デシル 3 単現・意志・否定(querer+不定詞)

v.t (この電報は) 言おうとしない

「動詞句」

nada. ナダ pron 何も～ない

「目的語」

Quizá キサ adv. 多分

「副詞」

haya sido アヤ・シト 接・3 単現・完了形・推量(ser)v.i ～だったのだろう

「動詞句」

ayer. アジェール adv. 昨日

「副詞」

接続法 現在・現在完了：

接続法は「不確かな」あるいは「まだ実現していない」事柄を話し手の頭の中で考えられたこととして主観的に述べる表現法です。

接続法現在「現在の事柄に対する話者の推測」を表わし、接続法現在完了は「現在完了の事柄に対する話者の推測」を表すことができます。

- 主節の動詞が「願望・依頼・勧告・命令・許可・禁止」など意志を表すとき、名詞節で接続法が使用されます。

Quiero que vengas mañana. 私は君に明日来てもらいたい。

Le aconsejo que coma más verduras. もっと野菜を食べるようにお勧めします。

- 関係代名詞 que などによって導かれる形容詞節で、関係詞の内容が「不特定」または「否定」の意味を表すときに、形容詞節で接続法が使用されます。

Buscamos una secretaria que hable chino. 中国語が話せる秘書を求めています。

- 「目的」、「時」または「譲歩」を表す副詞節で接続法が使用されます。

Vamos a cerrar la ventana para que no nos vean. 人に見られない様に窓を閉めよう。

Cuando vaya a Madrid, visitaré el Museo del Prado.

私はマドリードに行ったらプラド美術館を訪れるつもりです。

Saldré de paseo aunque llueva. たとえ雨が降っても散歩に出ます。

- 「たぶん」を意味する副詞 quizá(s), tal vez, acaso 等の後では、接続法が使用されます。

Quizá llueva mañana. おそらく明日は雨だろう。

- 「どうか～するように」という意味の願望文：《Ojalá または Que + 接続法》では接続法が使用されます。

Ojalá haga buen tiempo mañana. 明日は良い天気でありますように。

Primera parte 第1部

養老院はアルジェから 80Km のマランゴにある。

El asilo de ancianos está en Marengo, a ochenta kilómetros de Argel.

「主語」「動詞」「副詞句」

El asilo de ancianos エル・アシロ・デ・アンシアノス n.m 養老院は

「主語」

asilo アシロ n.m 保護施設 anciano アンシアノ n. 老人

está エスタ 3 単現(ser)v.i (存在) ~にある

「動詞」

en Marengo, エン・マレンゴ adv. マランゴに

「副詞句」

a ochenta kilómetros ア・オチェンタ・キロメトロス adv. 80Km のところにある

「副詞句」

de Argel. デ・アルヘル

adv. (地名) アルジェから (アルジェリアの首都)

「副詞句」

マランゴ Marengo :

北アフリカのアルジェリアの町(「異邦人」が出版された頃はフランス領)。一方、イタリア北部ピエモンテ州アレッサンドリア近郊の町マレンゴ Marengo において、ナポレオンは1800年にオーストリア軍とのマレンゴの戦いで勝利を収めた。同名だが全く異なる町。

2時のバスに乗ろう。そうすれば午後のうちに着くだろう。

Tomaré el autobús a las dos y llegaré por la tarde. 「動詞」「目的語」 y 「動詞」「副詞句」

Tomaré トマレ 1 単未・意志(tomar)v.t (乗り物に) 乗ろう

「動詞」

el autobús エル・アウトバス n.m バスに

「目的語」

a las dos ア・ラス・ドス adj. 2時の

「形容詞句」

y イ conj. そうすれば

llegaré ジェガレ 1 単未・推測(llegar)v.i 着くだろう

「動詞」

por la tarde. ポル・ラ・タルデ adv. 午後に、午後のうちに

「副詞句」

そうすれば通夜に出られて、明日の晩には戻れるだろう。僕は社長に 2 日間の休暇を願い出た。このような事情を聴けば、社長も僕の休暇を認めない訳にはいかなかった。

De esa manera podré velarla, y regresaré mañana por la noche. Pedí dos días de licencia a mi patrón y no pudo negármelos ante una excusa semejante.

「副詞句」「動詞句」 y 「動詞」「副詞句」

「動詞」「直接目的語」「間接目的語」 y 「動詞句」「副詞句」

De esa manera デ・エサ・マネラ adv. そうすれば

「副詞句」

de デ prep (手段) ~で esa エサ adj.f(eso) その manera マネラ n.f 方法、仕方

podré +不定詞 ポドレ 1 単未・推測(poder+不定詞)v.t ~することができるだろう 「動詞句」

velarla, ベラル・ラ 不定詞(velar+la)v.t (母さんの) 通夜をする

「動詞句」

velar a un muerto 通夜をする

y イ conj. そして

Primera parte 第1部

regresaré レガレサレ 1 単未・推測(regresar)v.i	「動詞」
mañana por la noche. マニャナ・ポル・ラ・ノチェ adv.	「副詞句」
Pedí ペディ 1 単点(pedir)v.t	「動詞」
dos días de licencia トス・ディース・デ・リセンシア n.f	「直接目的語」
a mi patrón ア・ミ・パトロソ adv.	「間接目的語」
y イ conj.	そして
no pudo +不定詞 ノ・プド 3 単点・可能・否定(poder+不定詞)	
v.t	「動詞句」
negármelos ネガル・メ・ロス 不定詞(negar+me+los)	
v.t	「動詞句」
ante アンテ prep	「副詞句」
una excusa ウナ・エスクサ n.f	「目的語」
semejante. セマンテ adj.	「形容詞」

しかし社長は不満そうに見えた。「僕のせいじゃありません」と付け加えておいた。

Pero no parecía satisfecho. Llegué a decirle: "No es culpa mía."

Pero 「動詞句」「補語」 | 「動詞句」:《「動詞」「補語」》

Pero ペロ conj.	しかし
no parecía ノ・パレシア 3 単線・否定(parecer)v.i	「動詞句」
satisfecho. サティスフェチョ adj.	「補語」
Llegué a +不定詞 ジェガ・ア 1 単点・結果(llegar a+不定詞)	
v.t	「動詞句」
decirle: デシル・レ 不定詞(decir+le)v.t	「動詞句」
"No es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i	「動詞」
culpa mía." クルパ・ミア n.f	「補語」

彼は返事をしなかった。それで僕はそんなことを言うべきではなかったと思った。

No me respondió. Pensé entonces que no debía haberle dicho esto.

「動詞句」「間接目的語」「動詞句」 | 「動詞」「副詞」「目的語」

No ...respondió. ノ...レスポンドイオ 3 単点・否定(responder)v.t	「動詞句」
me メ pron	「間接目的語」
Pensé ペンセ 1 単点(pensar)v.t(que)	「動詞」
entonces エントネス adv.	「副詞」
que ケ conj.	「目的語」
no debía +不定詞・完了形 ノ・デビア 1 単線・義務・否定(deber+不定詞・完了形)	
v.t	「動詞句」

Primera parte 第1部

haberle dicho アベール・レ・ディチョ 不定詞・完了形(decir+le)

v.t 彼に言った

「動詞句」

esto. エスト pron そんなことを

「目的語」

そもそも、僕が言い訳をする理由はなかった。むしろ彼のほうが僕に弔意を示すのが当たり前だったのだ。

Al fin y al cabo, no tenía por qué excusarme. Más bien le correspondía a él presentarme las condolencias.

「副詞句」, 「動詞句」 「目的語」

「副詞句」 「間接目的語」 「動詞」 「間接目的語」 「主語」

Al fin y al cabo, アル・フィン・イ・アル・カボ adv. 結局、それというのも、そもそも 「副詞句」

no tenía ノ・テニア 1 単線・否定(tener)v.t ~がなかった 「動詞句」

por ポル prep 原因、理由 「目的語」

qué excusarme. ケ・エクスアル・メ adj.(que+不定詞) 自分が言い訳すべき 「形容詞句」

Más bien マス・ビエン adv. むしろ 「副詞句」

le レ pron 彼にとって 「間接目的語」

correspondía コレスポ・ンティア 3 単線(corresponder)v.i 相応しかった 「動詞」

a él ア・エル adv. 彼が (presentarme の主語) 「間接目的語」

presentarme プレソナル・メ 不定詞(presentar+me)n. 僕に示すことが 「主語」

las condolencias. ラス・コント・レンシアス pl.n.f 弔意を 「目的語」

que の独立用法 前置詞(con, por)+que や lo que (定冠詞+que) など

No tengo por que hacerlo. 私がそれをする理由はない。

しかし、あさって喪中の僕を見かけたら、社長はたぶんそうするだろう。

Pero lo hará sin duda pasado mañana, cuando me vea de luto.

Pero 「目的語」 「動詞」 「副詞句」

Pero ペロ conj. しかし

lo ロ pron(presentarme las condolencias の代用) そのことを 「目的語」

僕に弔意を示すということを

hará アラ 3 単未・推測(hacer)v.t するだろう 「動詞」

sin duda シン・ドゥダ adv. 間違いなく、たぶん 「副詞句」

pasado mañana, パサド・マニャ adv. あさって 「副詞句」

cuando クワンド conj. ~する時に 「副詞節」

me メ pron 僕を 「目的語」

vea ベア 接・3 単現・推測(ver)v.t 見るだろう 「動詞」

de luto. デ・ルト adj. (様態) (me を修飾) 喪中の 「形容詞句」

luto ルト n.m 喪中、喪服 estar de luto 喪中である llevar luto 喪服を着ている

Primera parte 第1部

今のところ、母さんはまだ死んでいなかったかのように扱われている。

Por ahora, es un poco como si mamá no estuviera muerta. 「副詞句」, 「動詞」「補語」

Por ahora, ポル・アハラ adv. 今のところ、さしあたり 「副詞句」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

un poco como si +接続法 ウン・ポ・コ・モ・シ adv. 少しまるで~のようだ 「補語」

mamá ママ n.f 母さんは 「主語」

no estuviera ノ・エストゥビエラ 接・3 単過・否定(estar)v.i ~でなかった 「動詞」

muerta. ムエルタ adj. 死んだ 「補語」

葬儀が終われば反対に、処理済みの 1 件となり、すべてがもっと公式に認められた様相を呈することになるだろう。

Después del entierro, por el contrario, será un asunto archivado y todo habrá adquirido aspecto más oficial. 「副詞句」「動詞」「補語」 y 「主語」「動詞句」「目的語」

Después del entierro, デスプ° エス・デル・エンチエロ adv. 葬儀が終われば 「副詞句」

por el contrario, ポル・エル・コントラリオ adv.(al contrario と同義) 反対に 「副詞句」

será セラ 3 単未・推測(ser)v.i ~になるだろう 「動詞」

un asunto ウン・アスト n.m こと、事柄 「補語」

archivado アルチバト° 過去分詞・受動(archivar)

adj. (文書などが) 処理された 「形容詞」

y イ conj. そして

todo ト° pron すべてのが 「主語」

habrá adquirido アブラ・アドキリト° 3 単未・完了形・未来の推測(adquirir)

v.t 取得しているだろう 「動詞句」

aspecto más oficial. アスペ° クト・マス・オフィシャル n.m より公式の様子を 「目的語」

未来完了 : haber の未来活用 + 過去分詞 (語尾は不変)

- 未来のある時点までに完了していると推測される行為や状態を表します : 「(そのときには) ~してしまっているだろう」

Habré escrito la carta para las diez.

私は 10 時までにはその手紙を書いているでしょう。

- 現在完了の推量を表します : 「(今頃はもう) ~してしまっているだろう」

El autobús ya **habrá salido**. バスはもう出てしまったでしょう。

僕は 2 時のバスに乗った。ひどく暑かった。

Tomé el autobús a las dos. Hacía mucho calor. 「動詞」「目的語」 | 「動詞」「補語」

Tomé トメ 1 単点(tomar)v.t (乗り物に) 乗った 「動詞」

el autobús エル・アウトブス n.m バスに 「目的語」

Primera parte 第1部

a las dos. ア・ラス・トス adj. 2時の 「形容詞句」
 Hacía アシア 3単線・単人称(hacer)v.i (天候) ~だった 「動詞」
 mucho calor. ムチョ・カール adj. とても暑い 「補語」

いつものようにセレステのレストランで食事をした。

Comí en el restaurante de Celeste como de costumbre. 「動詞」「副詞句」
 Comí コミ 1単点(comer)v.t 食べた 「動詞」
 en el restaurante エ・ネル・レストランテ adv. レストランで 「副詞句」
 de Celeste デ・セステ adj. セレステの 「形容詞句」
 como de costumbre. コモ・デ・コストゥンブレ adv. いつものように 「副詞句」
 costumbre コストゥンブレ n.f 習慣、癖

皆が僕のことを気の毒に思ってくれた。そしてセレステは僕に言った:「お袋っていうのは、一人しかいないからな」

Todos se condolieron mucho de mí, y Celeste me dijo: "Madre hay una sola."
 「主語」「動詞句」「副詞」「間接目的語」 y 「主語」「間接目的語」「動詞」:
 《「主語」,「動詞」「間接目的語」》

Todos トス pron.pl 皆が 「主語」
 se condolieron セ・コンドルieron 3複点(condolerse)v.pr (de を) 気の毒に思った 「動詞句」
 mucho ムチョ adv. とても 「副詞」
 de mí, デ・ミ adv. 僕のことを 「間接目的語」
 y イ conj. そして
 Celeste セステ n.m セレステは 「主語」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 dijo: ディヨ 3単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 "Madre マドレ n.f 母親は 「主語」
 hay アイ 3単現(haber)v.t いる 「動詞」
 una sola." ウナ・ソラ pron.f 一人だけ 「目的語」

僕が店を出るとき、皆で戸口まで見送ってくれた。

Cuando partí, me acompañaron hasta la puerta. 「副詞節」,「目的語」「動詞」「副詞句」
 Cuando クワント conj. ~する時 「副詞節」
 partí, パルティ 1単点(partir)v.i 出発した、出た 「動詞」
 me メ pron 僕を 「目的語」
 acompañaron アコンパニaron 3複点(acompañar)v.t ~と一緒にいった 「動詞」
 hasta la puerta. アスタ・ラ・プエルタ adv. 戸口まで 「副詞句」

Primera parte 第1部

僕はちょっとうっかりしていた。というのは、マヌエルの部屋に上がって、黒のネクタイと腕章を借りなければならなかったのだ。

Me sentía un poco aturdido pues fue necesario que subiera hasta la habitación de Manuel para pedirle prestados una corbata negra y un brazal.

「動詞句」「補語」「副詞節」

Me sentía メ・センチア 1 単線(sentirse)v.pr 自分が〜だと感じた 「動詞句」

un poco aturdido ウン・ポ・コ・アトルディト adj. ちょっとうかつな、そそっかしい 「補語」

pues プエス conj. 〜なので 「副詞節」

fue フェ 3 単点(ser)v.i 〜だった 「動詞」

necesario ネサリオ adj. 必要な 「補語」

que ケ conj. 〜ということが 「主語」

subiera スビエラ 接・1 単過(subir)v.i 登る、上がる 「動詞」

hasta la habitación de Manuel アスタ・ラ・アビタシオン・デ・マヌエル

adv. マヌエルの部屋まで 「間接目的語」

para +不定詞 パラ adv. 〜するために 「副詞句」

pedirle prestados ペディール・レ・プレスタドス 不定詞.pl(pedir prestado)

v.t 借りる 「動詞句」

una corbata negra ウナ・コルバタ・ネグラ n.f 黒のネクタイ 「目的語」

y イ conj. そして

un brazal. ウン・ブラサル n.m 腕章 「目的語」

彼は数か月前に伯父さんを失くしていた。

Él perdió a su tío hace unos meses. 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Él エル pron 彼は 「主語」

perdió ペルディオ 3 単点(perder)v.t 失くした 「動詞」

a su tío ア・ス・ティオ n.m 伯父さんを 「目的語」

hace unos meses. アセ・ウノ・メス adv. 数か月前に 「副詞句」

僕はバスに間に合うように走った。

Corrí para alcanzar el autobús. 「動詞」「副詞句」

Corrí コリ 1 単点(correr)v.i 走った 「動詞」

para +不定詞 パラ adv. 〜するために、〜するように 「副詞句」

alcanzar アルカンサル 不定詞 v.t (乗り物に) 間に合う 「動詞」

el autobús. エル・アウトバス n.m バスに 「目的語」

Primera parte 第1部

僕はうとうとしてしまった。たぶん急いで競うように走ったせいだと思うが、その他にバスのひどい揺れや、ガソリンの匂いや道路と空からの照り返しのせいもあっただろう。

Me sentí adormecido sin duda por la prisa y la carrera, añadidas a los barquinazos, al olor a gasolina y a la reverberación del camino y del cielo. 「動詞句」「補語」「副詞句」
 Me sentí メ・センチ 1 単点(sentirse)v.pr 自分が～だと感じた 「動詞句」
 adormecido アドルメシト 過去分詞(adormecer)adj. うとうとした 「補語」
 sin duda シン・ドゥダ adv. おそらく、たぶん 「副詞句」
 por ホル prep. ～のために、～のせいだ 「副詞句」
 la prisa ラ・プリサ n.f 迅速、急いだこと 「目的語」
 y イ conj. そして
 la carrera, ラ・カレラ n.f 競争、道路 「目的語」
 añadidas アンニャティダス 過去分詞 (añadir)adj.f.pl(a ～に) 加えて 「副詞句」
 a los barquinazos, ア・ロス・バルキンazos adv. バスのひどい揺れに 「目的語」
 al olor アル・オロール adv.(a+無冠詞名詞 の) 匂いに 「目的語」
 a gasolina ア・ガソリナ adj. ガソリンの 「形容詞句」
 y イ conj. そして
 a la reverberación ア・ラ・レベルベラシオン adv. (光の) 照り返しに 「目的語」
 del camino デル・カミノ adj. 道路からの 「形容詞句」
 y イ conj.
 del cielo. デル・シエロ adj. 空からの 「形容詞句」

目的地に着くまでの間、ほとんど眠っていた。

Dormí casi todo el trayecto. 「動詞」「副詞句」
 Dormí ドルミ 1 単点(dormir)v.i 眠っていた 「動詞」
 casi todo カシ・トド adj. ほとんどすべての 「形容詞句」
 el trayecto. エル・トライエクト n.m 行程、道のり 「副詞句」
 → 道のり全体で、目的地までずっと

Primera parte 第1部

そして目が覚めた時、僕は1人の軍人に寄りかかっていた。彼は僕に微笑みかけて、遠くから来たのかと尋ねた。僕は、それ以上話さなくて済むように、「ええ」とだけ答えた。

Y cuando desperté, estaba apoyado contra un militar que me sonrió y me preguntó si venía de lejos. Dije "sí" para no tener que hablar más.

Y 「副詞節」, 「動詞」 「補語」,

「主語」 「間接目的語」 「動詞」 y 「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」

「動詞」 「応答」 「副詞句」

Y イ conj. そして

cuando クワンﾄ conj. ～した時

「副詞節」

desperté, デスパルテ 1 単点(despertar)v.i 目覚めた

「動詞」

estaba エスタバ 1 単線(estar)v.i ～だった

「動詞」

apoyado アポイアド 過去分詞(apoyar)adj.(contra に) 寄りかかった

「補語」

contra un militar コントラ・ウン・ミリタル adv. 1 人の軍人に

「間接目的語」

que ケ pron (継続) 彼は

「主語」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

sonrió ソンリオ 3 単点(sonreír)v.i(a+人 に) 微笑んだ

「動詞」

y イ conj. そして

me メ pron 僕に

「間接目的語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t(a+人 に) 尋ねた

「動詞」

si シ conj. ～かどうかを

「直接目的語」

venía ベニア 1 単線(vrnir)v.i 来た、やって来た

「動詞」

de lejos. デ・レホス adv. 遠くから

「副詞句」

Dije デイハ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

"sí" シ adv. そうだ、ええ

「応答」

para +不定詞 パラ adv. ～するために、～するように

「副詞句」

no tener que hablar ノ・テネル・ケ・アブラール 不定詞・否定(tener que+不定詞)

v.i 話す必要がない

「動詞句」

más. マス adv. それ以上

「副詞」

養老院は村から 2Km 離れたところにある。

El asilo está a dos kilómetros del pueblo.

「主語」 「動詞」 「副詞句」

El asilo エル・アシロ n.m 養老院は

「主語」

está エスタ 3 単現(estar)v.i ～にある

「動詞」

a dos kilómetros ア・トス・キロメトロス adv. 2Km のところに

「副詞句」

del pueblo. デル・プエブロ adv. 村から

「副詞句」

Primera parte 第1部

そこまでは歩いて行った。僕はすぐ母さんに対面したかった。

Hice el camino a pie. Quise ver a mamá enseguida.

「動詞」「目的語」「副詞句」 | 「動詞句」「目的語」「副詞」

Hice 他 1 単点(hacer)v.t (動作を) した 「動詞」

el camino エル・カミノ n.m (目的地までの) 道のりを 「目的語」

a pie. ア・ピエ adv. (手段) 徒歩で 「副詞句」

Quise ver キェ・ベール 1 単点・希望(querer+不定詞)v.t 対面したかった、会う 「動詞句」

a mamá ア・ママ n.f 母さんに 「目的語」

enseguida. エンセギダ adv. すぐに 「副詞」

しかし門衛は、その前に院長に会わなければならないと僕に告げた。

Pero el portero me dijo que era necesario ver antes al director.

Pero 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Pero ペロ conj. しかし

el portero エル・ポルトロ n.m 門衛が 「主語」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」

necesario ネセリオ adj. 必要な 「補語」

ver ベール 不定詞 n. 会うことが 「主語」

antes アンテス adv. その前に 「副詞」

al director. アル・ディレクトール n.m (養老院の) 院長に 「目的語」

院長は手が離せなかったので、僕は少し待った。

Como estaba ocupado, esperé un poco.

「副詞節」, 「動詞」「副詞句」

Como コモ conj. ～なので 「副詞節」

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ～だった 「動詞」

ocupado, オカパド adj. 忙しい、手が離せない 「補語」

esperé エスペレ 1 単点(esperar)v.t 待った 「動詞」

un poco. ウン・ポコ adv. 少し 「副詞句」

Primera parte 第1部

その間ずっと、門衛は僕に話しかけていた、それから僕は院長に会った。

Mientras tanto, el portero me estuvo hablando, y enseguida vi al director.

「副詞句」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 y 「副詞」 「動詞」 「目的語」

Mientras tanto, エントラス・タント adv. その間、その間ずっと 「副詞句」

el portero エル・ポルテロ n.m 門衛は 「主語」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

estuvo hablando, エストゥボ・アブラント 3 単点・進行形(estar+現在分詞)

v.i 話しかけてきた 「動詞句」

y イ conj. そして

enseguida エンセギダ adv. すぐ 「副詞」

vi ビ 1 単点(ver)v.t 会った 「動詞」

al director. アル・ディレクトール n.m 院長に 「目的語」

僕は院長室に通された。院長はレジョン・ド・ヌール勲章を授与された小柄な老人だった。

Me recibió en su despacho. Era un viejecito condecorado con la Legión de Honor.

「目的語」 「動詞」 「副詞句」 | 「動詞」 「補語」

Me メ pron 僕を 「目的語」

recibió レシビオ 3 単点(recibir)v.t 迎え入れた 「動詞」

en su despacho. エン・ス・デスパチョ adv. 院長室に 「副詞句」

despacho デスパチョ n.m 執務室、事務室

Era エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった 「動詞」

un viejecito ウン・ビエヘイト n.m 小柄な老人、老人 「補語」

viejo (老人) + -ecito (示小接尾辞) → viejecito 小柄な老人

condecorado コンデコラト 過去分詞・受動(condecorar)

adj.(con 勲章を) 授与された 「形容詞句」

con la Legión de Honor. コン・ラ・レヒオン・デ・オノール

adv. レジョン・ド・ヌール勲章を「間接目的語」

彼は明るい色の目で僕を見つめた。次に彼は僕の手を握りしめたが、いつまでも手を離してくれないので、僕はどうやって手を引っ込めるべきか分からないでいた。

Me miró con sus ojos claros. Después me estrechó la mano y la retuvo tanto tiempo que yo no sabía cómo retirarla.

「目的語」 「動詞」 「副詞句」 | 「副詞」 「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」

y 「目的語」 「動詞」 「副詞句」 que 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Me メ pron 僕を 「目的語」

miró ミロ 3 単点(mirar)v.t 見つめた 「動詞」

Primera parte 第1部

con sus ojos コン・スス・オホス adv. 目で	「副詞句」
claros. クラロス adj.pl 明るい色の	「形容詞」
Después デスプ°エス adv. 次に	「副詞」
me メ pron 僕の	「間接目的語」
estrechó エストレチョ 3 単点(estrechar)v.t 握りしめた	「動詞」
la mano ラ・マノ n.f 手を	「直接目的語」
y イ conj. そして	
la ラ pron それを	「目的語」
retuvo レトホ° 3 単点(retener)v.t 引き留めた	「動詞」
tanto tiempo タント・ティエンホ° adv. あまりにも長く	「副詞句」
que ケ conj. その結果～ない	
yo ジョ pron 僕は	「主語」
no sabía ノ・サビア 1 単線・否定(saber)v.t 分からないでいた	「動詞句」
cómo +不定詞 コモ n. どのように～すべきかということ	「目的語」
retirla. レチラル・ラ 不定詞(retirar+la)v.t それを引っ込める	「動詞句」

彼は書類を確認して、僕に言った。

<u>Consultó un legajo y me dijo:</u>	「動詞」「目的語」 y 「間接目的語」「動詞」
Consultó コンスルト 3 単点(consultar)v.t 調べた、参照した	「動詞」
un legajo ウン・レガホ n.m 書類の綴りを	「目的語」
y イ conj. そして	
me メ pron 僕に	「間接目的語」
dijo: ディホ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」

「ムルソーさんは、3 年前にここに入られました。あなたは彼女の唯一の支えでした」

"La señora de Meursault entró aquí hace tres años. Usted era su único sostén."

	「主語」「動詞」「副詞句」 「主語」「動詞」「補語」
"La señora de Meursault ラ・セニョラ・デ・ムルソー n.f ムルソーさんは	「主語」
señora セニョラ n.f 成人女性に対する敬称。呼びかけ以外では定冠詞が必要。	
señora の後ろには de を入れることが多い。(señor の後ろには入れない)	
entró エントロ 3 単点(entrar)v.i 入った	「動詞」
aquí アキ adv. ここに	「副詞」
hace tres años. アセ・トレス・アンニョス adv. 3 年前に	「副詞句」
Usted ウステ pron あなたは	「主語」
era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった	「動詞」
su único sostén." ス・ウニコ・ソステン n.m 唯一の支え	「補語」

Primera parte 第1部

彼がなにか僕を非難しているように感じたので、僕は彼に言い訳を始めた。

Creí que me reprochaba alguna cosa y empecé a darle explicaciones.

「動詞」「目的語」 y 「動詞句」「目的語」

Creí クレイ 1 単点(creer)v.t(que)～と思った

「動詞」

que ケ conj. ～ということ

「目的語」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

reprochaba レプ ロチャバ 3 単線・時制の一致(reprochar)v.t 非難している

「動詞」

alguna cosa アルグナ・コサ n.f 何か

「直接目的語」

y イ conj. それで

empecé a darle エンペセ・ア・ダール・レ 1 単点・開始(empezar a+不定詞)

v.t 彼に～を始めた

「動詞句」

explicaciones. エクスプレカシオネス pl.n.f 言い訳

「目的語」

しかし彼は僕の言い訳を遮った。

Pero me interrumpió:

Pero 「目的語」「動詞」

Pero ペロ conj. しかし

me メ pron 僕を

「目的語」

interrumpió: インテルンプィオ 3 単点(interrumpir)v.t ～の話を遮った

「動詞」

「弁解する必要などありませんよ。お母様の書類は拝見しました」

"No tiene usted por qué justificarse, hijo mío. He leído el legajo de su madre.

《「動詞句」「主語」「目的語」「呼びかけ」 | 「動詞句」「目的語」》

"No tiene ノ・ティエネ 3 単現・否定(tener)v.t ない

「動詞句」

usted ウステ pron あなたは

「主語」

por qué +不定詞 ホル・ケ pron ～すべき理由

「目的語」

justificarse, フスティフィカルセ 不定詞 v.pr 釈明する

「動詞句」

hijo mío. イェ・ミョ adv. 息子よ

「呼びかけ」

He leído エ・レイト 1 単現・完了形(leer)v.t 読んだ

「動詞句」

el legajo エル・レガホ n.m 書類を

「目的語」

de su madre. デ・スマドレ adj. お母様の

「形容詞句」

Primera parte 第1部

「あなたはお母様の生活費用を負担する余裕がなかった。お母様は看護婦が必要でした」

Usted no podía subvenir a sus necesidades. Ella necesitaba una enfermera.

《「主語」「動詞句」「間接目的語」 | 「主語」「動詞」「目的語」》

Usted ウステ pron あなたは 「主語」
 no podía subvenir ノ・ポ・デア・スプベニール 3 単線・可能・否定(poder+不定詞)
 v.t(a の) 費用を負担できなかった 「動詞句」
 a sus necesidades. ア・ス・ネシタデス adv. 彼女の生活の必需品を 「間接目的語」
 Ella エジャ pron 彼女は 「主語」
 necesitaba ネシタハ 3 単線(necesitar)v.t 必要としていた 「動詞」
 una enfermera. ウナ・エンフェルメラ n.f 看護婦を 「目的語」

「あなたの給料では払えない。結局のところ、お母様はここが一番幸せだったのです」

Su salario es modesto. Y, al fin de cuentas, era más feliz aquí."

《「主語」「動詞」「補語」 | Y 「副詞句」「動詞」「補語」》

Su salario ス・サリオ n.m あなたの給料は 「主語」
 es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」
 modesto. モデスト adj. 低い、つつましい 「補語」
 看護婦の費用を払えるほどではない
 Y, イ conj. そして
 al fin de cuentas, アル・フィン・デ・クエンタス adv. 結局のところ 「副詞句」
 era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」
 más feliz aquí." マス・フェリス・アキ adj. ここにいるのが一番幸せな 「補語」

僕は答えた「はいその通りです。院長さん」

Dije: "Sí, señor director."

「動詞」: 《「応答」「呼びかけ」》

Dije: デイハ 1 単点(decir)v.t 答えた 「動詞」
 "Sí, シ adv. はいその通りです 「応答」
 señor director." セニョール・ディレクター n.m 院長さん 「呼びかけ」

Primera parte 第1部

彼は続けていった:「ご存知の通り、ここには沢山のお仲間がいます、お母様と同年代の方々です。だからお母様は、昔の思い出話を皆と分かち合うことができました。あなたは若いから、お母様はあなたと一緒にいても退屈されたでしょう。」

Él agregó: "Sabe usted, aquí tenía amigos, personas de su edad. Podía compartir recuerdos de otros tiempos. Usted es joven y ella debía de aburrirse con usted."

「主語」「動詞」:《「副詞句」,「副詞」「動詞」「目的語」 | 「動詞句」「目的語」

「主語」「動詞」「補語」 y 「主語」「動詞」「間接目的語」》

Él エル pron 彼は 「主語」
 agregó: アグレゴ 3 単点(agregar)v.t 続けていった、付加した 「動詞」
 "Sabe usted, サベ・ウステ adv. ご存知の通り 「副詞句」
 como usted sabe → Sabe usted
 aquí アキ adv. ここには 「副詞」
 tenía テニア 3 単線(tener)v.t いた 「動詞」
 amigos, アミゴス pl.n.m 仲間が何人も 「目的語」
 personas ペルソナス pl.n.f (同格) 人々が 「目的語」
 de su edad. デ・ス・エダ adj. お母様と同年代の 「形容詞句」
 Podía compartir ポデア・コンパルティール 3 単線・可能(poder+不定詞)
 v.t 分かち合えた 「動詞句」
 recuerdos レケルトス pl.n.m 思い出を 「目的語」
 de otros tiempos. デ・オトロス・ティエンポス adj. 昔の 「形容詞句」
 en otros tiempos 昔に
 Usted ウステ pron あなたは 「主語」
 es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」
 joven ホベン adj. 若い 「補語」
 y イ conj. そして
 ella エジャ pron 彼女は 「主語」
 debía de aburrirse デビア・デ・アブリル・セ 3 単線・推測(deber)v.i(de+不定詞)
 v.pr 退屈したにちがいない 「動詞句」
 con usted." コン・ウステ adv. あなたに 「間接目的語」

Primera parte 第1部

それは本当だった。母さんが家にいたとき、視線で僕を追って静かに時を過ごしていた。

Era verdad. Cuando mamá estaba en casa pasaba el tiempo en silencio, siguiéndome con la mirada. 「動詞」「補語」 | 「副詞節」, 「動詞」「目的語」「副詞句」

Era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」

verdad. ベルダ adj. 事実、本当の 「補語」

Cuando クワント conj. ~した時 「副詞節」

mamá ママ n.f 母さんが 「主語」

estaba エスタバ 3 単線(èssere)v.i ~にいた 「動詞」

en casa エン・カサ adv. 家に 「副詞句」

pasaba パサバ 3 単線(pasaba)v.t (時を) 過ごしていた 「動詞」

el tiempo エル・ティエンポ n.m 時間を 「目的語」

en silencio, エン・シレンシオ adv. 静かに、黙って 「副詞句」

siguiéndome シギエント・メ 現在分詞(seguir+me)adv. 僕を追いながら 「副詞句」

con la mirada. コン・ラ・ミラダ adv. 視線で 「副詞句」

養老院に来た最初の頃、母さんはよく泣いていた。

Durante los primeros días que estuvo en el asilo lloraba a menudo.

「副詞句」, 「動詞」「副詞句」

Durante トゥランテ prep ~の間は 「副詞句」

los primeros días ロス・プリメロス・デ・ dias pl.n.m 最初の日々 「目的語」

que ケ adj. ~する 「形容詞節」

estuvo エストゥボ 3 単点(estar)v.i ~に来た 「動詞」

en el asilo エン・エル・アシロ adv. 養老院へ 「間接目的語」

lloraba ショラバ 3 単線(llorar)v.i 泣いていた 「動詞」

a menudo. ア・メスト adv. しばしば、よく 「副詞句」

だがそれは慣れのせいだ。数か月後、養老院から出されたとしても泣いていただろう。

Pero era por la fuerza de la costumbre. Al cabo de unos meses habría llorado si se la hubiera retirado del asilo. Pero 「動詞」「補語」 | 「副詞句」「動詞句」「副詞節」

Pero ペロ conj. しかし

era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」

por la fuerza ホル・ラ・フエルサ adv. 効果のせい 「補語」

de la costumbre. デ・ラ・コストアンブレ adj. 習慣の 「形容詞句」

Al cabo de アル・カボ・デ prep ~の後に 「副詞句」

unos meses ウノス・メス pl.n.m 数か月 「目的語」

habría llorado アブリア・ジョラト 3 単過未・完了形・推量(llorar)v.i 泣いていただろう「動詞句」

Primera parte 第1部

si シ conj. もし~ならば	「副詞節」
se セ pron 誰かが	「主語」
la ラ pron 彼女を	「目的語」
hubiera retirado ヲビエラ・レチラト 接・3 単過・完了形・仮定法過去完了(retirar)	
v.t 外に出した(としたならば)	「動詞句」
del asilo. デル・アシロ adv. 養老院から	「副詞句」
「主語」が不特定の三人称なので、受動態に変換して翻訳する	

過去未来完了 : haber の過去未来活用+過去分詞

- 「過去における完了の推量」を表す

Dijo que **habría vuelto** al mediodía. 彼は正午には帰っているだろうと言いました。

- 「過去から見た未来のある時点での完了」を表す

Ya **habría salido** el tren cuando llegaron a la estación.

彼等が駅に着いた時には列車はすでに出てしまっていたでしょう。

接続法 過去・過去完了 : si + 接続法

- 非現実的な仮定を表す条件文は、接続法過去または接続法過去完了により表せます。

Si yo **tuviera** dinero, viajaría por toda España.

もしお金を持っていればスペイン中を旅行するのですが。

Si yo **hubiera tenido** dinero, habría viajado por toda España.

もしあの時私がお金を持っていたならば、スペイン中を旅行したのですが。

- 現実的な仮定を表す条件文は、直説法で表すことができます。

Si **tengo** tiempo, te llamaré por teléfono. もし時間があつたら君に電話するよ。

やはり慣れのせい。少しはそのせいかもしれないが、最近 1 年間はほとんど母さんに会いに行かなかった。

Siempre por la fuerza de la costumbre. Un poco por eso en el último año casi no fui a verla.

「副詞句」 | 「副詞句」「動詞句」

Siempre シエンプレ adv. それでも、やはり 「副詞」

por la fuerza ホル・ラ・フエルサ adv. 効果のせいによって 「副詞句」

de la costumbre. デ・ラ・コストアンブレ adj. 習慣の 「形容詞句」

Un poco por eso ウン・ポコ・ホル・エソ adv. 少しはこのせいで 「副詞句」

en el último año エン・エル・ウルチモ・アニョ adv. 最近の1年は 「副詞句」

casi カシ adv. ほとんど 「副詞」

no fui a verla. ノ・フイ・ア・ベール・ラ 1 単点・目的・否定(ir a+不定詞+la)

v.t 母さんに会いに行かなかった 「動詞句」

Primera parte 第1部

そして会いに行くと、日曜日がつぶれるからである、バス停に行き、切符を買って、2時間の移動をする手間は別としても。

Y también porque me quitaba el domingo, sin contar el esfuerzo de ir hasta el autobús, tomar los billetes y hacer dos horas de camino.

Y 「副詞」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞句」

Y イ conj. そして

también タンビエン adv. ーも

「副詞」

porque ボルケ conj. ーなので

me メ pron 僕の

「間接目的語」

quitaba キタバ 3 単線(quitar)v.t 奪った

「動詞」

el domingo, エル・ドミンゴ n.m 日曜日を

「直接目的語」

sin contar シン・コンタル adv. ーを計算に入れなくても

「副詞句」

el esfuerzo エル・エスフuerzo n.m 努力、手間

「目的語」

de +不定詞 デ adj. ーする

「形容詞句」

ir イール 不定詞 v.i 行く

「動詞」

hasta el autobús, アスタ・エル・アウトバス adv. バス停まで

「副詞句」

tomar トマル 不定詞 v.t 買う

「動詞」

los billetes ロス・ビジェテス pl.n.m 切符を

「目的語」

y イ conj. そして

hacer アセル 不定詞 v.t ーする

「動詞」

dos horas de camino. トス・オラス・デ・カミ

n.m 2 時間の移動を

「目的語」

院長はさらに話し続けたが、僕はほとんど聞いていなかった。

El director me habló aún. Pero casi no le escuchaba.

「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞」 | Pero 「副詞句」「間接目的語」「動詞」

El director エル・ディレクター n.m 院長は

「主語」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

habló アボ 3 単点(hablar)v.i 話した

「動詞」

aún. アウン adv. さらに

「副詞」

Pero ペロ conj. しかし

casi no カシノ adv. ほとんどーない

「副詞句」

le レ pron 彼の話

「間接目的語」

escuchaba. エスクチャバ 1 単線(escuchar)v.t (否定文で) 聞いていなかった

「動詞」

Primera parte 第1部

それから僕に言った：「お母様にご対面なさりたいでしょう」

Luego me dijo: "Supongo que usted quiere ver a su madre."

「副詞」「間接目的語」「動詞」：《「動詞」「目的語」》

Luego ルエゴ adv. それから

「副詞」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

dijo: デイヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

"Supongo スポongo 1 単現(suponer)v.t(que+直説法) と思う、推測する

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

usted ウステ pron あなたは

「主語」

quiere ver キエレ・ヴェール 3 単現・願望(querer+不定詞)

v.t 対面したいと思う

「動詞句」

a su madre." ア・ス・マトレ n.f お母様に

「目的語」

僕が黙って立ち上がると、院長は僕の前を歩いて院長室から出て行った。

Me levanté sin decir nada, y salió delante de mí. 「動詞句」「副詞句」 y 「動詞」「副詞句」

Me levanté メ・レバンテ 1 単点(levantarse)v.pr 立ち上がった

「動詞句」

sin decir シン・デシル adv. 言わないで

「副詞句」

nada, ナダ pron 何も～ない

「目的語」

y イ conj. すると

salió サリオ 3 単点(salir)v.i (院長室から) 出て行った

「動詞」

delante de mí. デランテ・デ・ミ adv. 僕の前を歩いて

「副詞句」

階段を降りる時、院長が説明してくれた：「お母様は、私どものささやかな霊安室へお移し致しました」

En la escalera me explicó: "La hemos llevado a nuestro pequeño depósito."

「副詞」「間接目的語」「動詞」：《「目的語」「動詞句」「副詞句」》

En la escalera エン・ラ・エスカラ adv. 階段で

「副詞句」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

explicó: エクスプリコ 3 単点(explicar)v.t 説明した

「動詞」

"La ラ pron お母様を

「目的語」

hemos llevado エモス・ジエバト 1 複現・完了形(llevar)v.t 運んだ、移動した

「動詞句」

a nuestro pequeño depósito. ア・ヌエストロ・ペケニョ・デポシト

adv. 私どもの小さい霊安室に

「副詞句」

depósito デポシト n.m 保管所、倉庫 → 養老院の霊安室

この後、中庭に出るので、2 階の院長室から降りていく場面だと分かる。

Primera parte 第1部

「他の人たちを動揺させないためなのです。入寮者が亡くなるたびに、他の入寮者たちは二・三日の間は神経が過敏になって、業務に差し支えるのです。」

Para no impresionar a los otros. Cada vez que un pensionista muere, los otros se sienten nerviosos durante dos o tres días. Y dificulta el servicio.

《「副詞句」 | 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「補語」「副詞句」

Y 「主語」「動詞」「目的語」》

Para +不定詞 パラ adv. ～するために 「副詞句」

no impresionar ノ・インプレシヨナル 不定詞・否定形

v.t 動揺させない、強い印象を与えない 「動詞句」

a los otros. ア・ロス・オトス pl.n.m 他の人たちを 「目的語」

Cada vez que+直説法 カダ・ベス・ケ conj. ～するたびに 「副詞節」

un pensionista ウン・ペンシヨニスタ n.m 入寮者が、入居者が 「主語」

muere, ムエレ 3 単現(morir)v.i 亡くなる 「動詞」

los otros ロス・オトス pl.n.m 他の方たちは 「主語」

se sienten セ・シエンテン 3 複現(sentirse)v.pr 自分が～だと感じる 「動詞句」

nerviosos ネルビオス adj.pl 神経質な、神経過敏な 「補語」

durante dos o tres días. ドゥランテ・ドス・オ・トレス・デ・ dias adv. 二・三日の間は 「副詞句」

Y イ conj. そして

dificulta デイフクルタ 3 単現(dificultar)v.t 困難にする 「動詞」

el servicio. エル・セルビシオ n.m 業務を 「目的語」

たちは中庭を横切った。そこには大勢の老人がいて、数人ずつ集まってお喋りしていた。

Atravesamos un patio en donde había muchos ancianos, charlando en pequeños grupos.

「動詞」「目的語」「形容詞節」

Atravesamos アトラベサモス 1 複点(atravesar)v.t 横切った 「動詞」

un patio ウン・パティオ n.m 中庭を、パティオを 「目的語」

en donde エン・ドンデ adj. そこで～する 「形容詞節」

había ハビア 3 単線(haber)v.t いた 「動詞」

muchos ancianos, ムチョス・アンシアノス pl.n.m 大勢の老人が 「目的語」

charlando チャラント 現在分詞(charlar)v.i お喋りしている 「副詞句」

en pequeños grupos. エン・ペケニョス・グルポス

adv. 数人ずつ集まって 「副詞句」

複数の小さなグループになって

Primera parte 第1部

僕たちが横を通ると、彼らは黙り込んだ。

Callaban cuando pasábamos.

「動詞」「副詞節」

Callaban カジャバン 3 複線(callar)v.i 黙った

「動詞」

cuando クワント conj. ～する時、～すると

「副詞節」

pasábamos. パサハモス 1 複線・時制の一致(pasar)v.i 通りかかる

「動詞」

そして僕たちの背後で、またお喋りを始めた。

Y reanudaban las conversaciones detrás de nosotros.

Y 「動詞」「目的語」「副詞句」

Y イ conj. そして

reanudaban レアヌダバン 3 複線(reanudar)v.t 再開した

「動詞」

las conversaciones ラス・コンベルサシオネス pl.n.f おしゃべりを

「目的語」

detrás de nosotros. デトラス・デ・ノストロス adv. 僕たちの背後で

「副詞句」

まるでインコのかすかなお喋りが交わされているようだった。

Hubiérase dicho un sordo parloteo de cotorras.

「動詞句」「主語」

Hubiérase dicho ウビエラセ・デ・イチョ 接・3 単過・完了形・再帰受動・推測(decirse)

v.pr. まるで～が話されていた

「動詞句」

un sordo parloteo ウン・ソルト・パルロテオ n.m かすかなお喋りが

「主語」

sordo ソルト adj. かすかな parloteo パルロテオ n.m お喋り

de cotorras. デ・コトラス adj. インコの

「形容詞句」

接続法 過去・過去完了 : 推測

- 過去または過去完了の推測を表す。

Ella esperaba que **hubiera** Internet en el hotel.

(英語では She hoped that there would be Internet at the hotel.)

ホテルにはインターネットがあるだろうと彼女は期待していた。

Yo **hubiera dicho** que no. (英語では I **would have said** no.) No と言ったかも知れない。

小さな建物の入り口で、院長は私を置いて戻っていった。

En la puerta de un pequeño edificio el director me abandonó:

「副詞句」, 「主語」「目的語」「動詞」

En la puerta エン・ラ・プエルタ adv. 入り口で

「副詞句」

de un pequeño edificio デ・ウン・ペケンニョ・エディフィシオ adj. 小さな建物の

「形容詞句」

el director エル・ディレクトール n.m 院長は

「主語」

me メ pron 僕から

「目的語」

abandonó: アバントノ 3 単点(abandonar)v.t 離れた、去った

「動詞」

Primera parte 第1部

「ムルソーさん、あなたを残していきますが、私は院長室におりますので、御用があればなんなりと」

"Le dejo a usted, señor Meursault. Estoy a su disposición en mi despacho.

《「目的語」「動詞」「目的語」「呼びかけ」 | 「動詞」「副詞句」》

"Le レ pron あなたを 「目的語」
 dejo デホ 1 単現(dejar)v.t 残す 「動詞」
 a usted, ア・ウステ pron あなたを 「目的語」
 señor Meursault. セニョール・ムルソー n.m ムルソーさん 「呼びかけ」
 Estoy エストイ 1 単現(estar)v.i 〜にいる 「動詞」
 a su disposición ア・ス・デイスポシオン adv. あなたの自由のために 「副詞句」
 disposición デイスポシオン n.f 自由処理、裁量
 en mi despacho. エン・ミ・デスパチョ adv. 院長室に 「副詞句」
 例：Estoy en todo **a su disposición**. 何なりと御用を承ります。

「一応、葬儀は午前10時からということに致しました」

En principio, el entierro está fijado para las diez de la mañana.

《「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」》

En principio, エン・プリンシピオ adv. 一応、原則として 「副詞句」
 el entierro エル・エンティエロ n.m 葬儀は 「主語」
 está fijado エスタ・フィハト 3 単現・受動(fijar)v.t 決められている 「動詞句」
 para las diez パ・ラ・ラス・デイエス adv. 10 時に 「副詞句」
 de la mañana. デ・ラ・マニャ adj. 午前の 「形容詞句」

「そうすれば、お通夜もなさることが出来ると考えまして」

Hemos pensado que así podría usted velar a la difunta.

《「動詞句」「目的語」》

Hemos pensado エモス・ペンサト 1 複現・完了形(pensar)v.t 考えた 「動詞句」
 que ケ conj. 〜ということ を 「目的語」
 así アシ adv. そうすると 「副詞」
 podría ...velar ホ・トリア...ベラル 3 単過未・推測(poder+不定詞)
 v.t 監視できるだろう (お通夜で見守ること) 「動詞句」
 usted ウステ pron あなたが 「主語」
 a la difunta. ア・ラ・ディフンタ n.f 故人を 「目的語」

Primera parte 第1部

「最後に一言だけ：お母様はよくお仲間たちに、宗教に則って埋葬して欲しいという希望をおっしゃっていたようです」

Una última palabra: según parece, su madre expresó a menudo a sus compañeros el deseo de ser enterrada religiosamente.

《「副詞句」：「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞句」「間接目的語」「直接目的語」》

Una última palabra: ウナ・ウルチマ・パラブラ adv. 最後に一言だけ： 「副詞句」

según parece, セグン・パレセ adv. 話によれば、～のようだ 「副詞句」

su madre ス・マトレ n.f お母様は 「主語」

expresó エクスプレソ 3 単点(expresar)v.t 表した、言っていた 「動詞」

a menudo ア・メスト adv. しばしば 「副詞句」

a sus compañeros ア・スス・コンパニエロス adv. 仲間たちに 「間接目的語」

el deseo エル・デセオ n.m 希望を 「直接目的語」

de +不定詞・受動形 デ adj. (同格) ～されるという 「形容詞句」

ser enterrada セール・エンテラダ 不定詞・受動形(enterrar)

v.t 埋葬される 「動詞句」

religiosamente. レリヒオサメンテ adv. 宗教に則って 「副詞」

según parece : 話によると～のようだ

Según parece, va a subir el precio de petróleo. どうも石油が値上がりしそうな気配だ。

フランス語の原文では、votre mère a, **paraît-il**, exprimé と表されている。

副詞句 **paraît-il** 「～のようだ」が、a exprimé (言っていた) の間に挿入されている。

「必要なことは私の責任で済ませましたが、あなたにお知らせしておきたかったのです」

He tomado a mi cargo hacer lo necesario. Pero quería informar a usted."

《「動詞句」「目的語」 | 「動詞句」「間接目的語」》

He tomado エ・トマド 1 単現・完了形(tomar)v.t (行動を) 行った 「動詞句」

a mi cargo ア・ミ・カルゴ n.m 私の職務を、任務を 「目的語」

hacer ハセル 不定詞 v.t,adj. ～すべき、～するという 「形容詞句」

lo 〇 pron ことを 「目的語」

necesario. ネセサリオ adj. 必要な 「形容詞」

Pero ペ 〇 conj. しかし

quería informar クリア・インフォルマル 1 単線・願望(querer+不定詞)

v.t (a に対して) 知らせたかった 「動詞句」

a usted." ア・ウステ adv. あなたに 「間接目的語」

Primera parte 第1部

僕は院長に礼を言った。母さんは、無神論者ではなかったが、生前は信仰について考えることは全くなかった。

Le di las gracias. Mamá, sin ser atea, jamás había pensado en la religión mientras vivió.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

「主語」「副詞句」「動詞句」「間接目的語」「副詞節」

Le レ pron 彼に

「間接目的語」

di ディ 1 単点(dar)v.t 与えた、(動作を)した

「動詞」

las gracias. ラス・グラスias pl.n.f 感謝 (の言葉)

「直接目的語」

Mamá, ママ n.f 母さんは

「主語」

sin +不定詞 シン adv. (譲歩) ~しないけれども

「副詞句」

ser セル 不定詞 v.i ~である

「動詞」

atea, アテア adj.f 無神論者

「補語」

jamás ハマス adv. 決して~ない

「副詞」

había pensado アビア・ペンサド 3 単線・完了形(pensar)

v.i(en について) 考えなかった

「動詞句」

en la religión エン・ラ・レリヒオン adv. 信仰について

「間接目的語」

mientras ミエントラス conj. ~している間

「副詞節」

vivió. ビビオ 3 単点(vir)v.i 生きていた

「動詞」

僕は中に入った。そこは、石灰で白く塗られ、天井に明り取りのガラス窓がついた、とても明るい広間だった。

Entré. Era una sala muy clara, blanqueada a la cal, con techo de vidrio.

「動詞」 | 「動詞」「補語」

Entré. エントレ 1 単点(entrar)v.i 入った

「動詞」

Era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった

「動詞」

una sala ウナ・サラ n.f 広間

「補語」

muy clara, ムイ・クララ adj. とても明るい

「形容詞句」

blanqueada ブランケアダ 過去分詞・受動(blanquear)adj.f 白く塗られた

「形容詞句」

a la cal, ア・ラ・カル adv. (手段) 石灰で

「副詞句」

con コン prep ~を持つ

「副詞句」

techo テチョ n.m 天井

「目的語」

de vidrio. デ・ビトロリオ adj. (素材) ガラスの

「形容詞句」

(とても明るい) という表現から、(明り取りのガラス窓) と考える

Primera parte 第1部

椅子と X 字形の架台がいくつか備え付けられていた。

Estaba amueblada con sillas y caballetes en forma de X. 「動詞句」「間接目的語」

Estaba amueblada エスタバ・アムエブラダ 3 単線・受動.f(amueblar)

v.t(con を) 備え付けられていた 「動詞句」

con コン prep 〜を 「間接目的語」

sillas シジャス pl.n.f 椅子 「目的語」

y イ conj. そして

caballetes カバジエテス pl.n.m 架台 「目的語」

en forma de X. エン・フォルマ・デ・エクス adj. X 字形の 「形容詞句」

受動 : 〜される

再帰受動 (se+他動詞) による受動表現の他に次の 2 つの表現形式があります。

- **ser受身←ser + 過去分詞 (+por+行為者)** 過去分詞は主語の性数で語尾変化

Este cuadro **fue pintado** por Picasso. この絵はピカソによって描かれた。Los heridos **fueron llevados** a un hospital. 負傷者たちは病院に運び込まれた。

- **estar受身←estar + 過去分詞 (+por+行為者)** 過去分詞は主語の性数で語尾変化

「〜されている」と行為がなされた結果の状態を表します。

Las Islas Canarias **están formadas** por siete islas.

カナリア諸島は 7 つの島で構成されている。

La mesa **está reservada**. そのテーブルは予約済みです。**Estoy invitado** a la boda. 私は結婚式に招待されています。

☆ estar + 再帰動詞・自動詞の過去分詞 (再帰代名詞は消失します)

受身の意味はなく、他動詞の過去分詞の場合と同様に**状態**を表します。Ana estaba **sentada** a mi lado. アナは私の隣に座っていました。Las ventanas están **abiertas**. 窓は開いています。Está **casado** con una chilena. 彼はチリ人女性と結婚している。

広間の中央には、蓋で閉ざされた棺が 2 つの架台の上に置かれていた。

En el centro de la sala, dos caballetes sostenían un féretro cerrado con la tapa.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

En el centro de la sala, エ・ネル・セントロ・デ・ラ・サラ adv. 広間の中央には 「副詞句」

dos caballetes トス・カバジエテス pl.n.m 2 つの架台は 「主語」

sostenían ソステニアン 3 複線(sostener)v.t 支えていた 「動詞」

un féretro ウン・フェーレトロ n.m 棺を 「目的語」

cerrado セラト adj. 閉ざされた 「形容詞」

con la tapa. コン・ラ・タパ adv. (手段) 蓋で 「副詞句」

tapa タパ n.f 蓋

Primera parte 第1部

ほんの少し打ち込まれて、ピカピカ輝いているネジ釘だけが、クルミ染料を塗られた棺の蓋の上に見えた。

Sólo se veían los tornillos relucientes, hundidos apenas, destacándose sobre las tapas pintadas de nogalina. 「副詞」「動詞句」「主語」

Sólo ソロス adv. ーだけ 「副詞」

se veían セ・ベ・イアン 3 複線(verse)v.pr 見えた 「動詞句」

los tornillos ロストルニシヨス pl.n.m ネジ釘が 「主語」

relucientes, レルシエンテス adj.pl ピカピカ輝く 「形容詞」

hundidos ウンディトス 過去分詞(undir)adj.pl 打ち込まれた 「形容詞」

apenas, アペナス adv. やっと、どうにか、ほんの少し 「副詞」

destacándose デスカント・セ 現在分詞(destacarse)v.pr 際立っている 「副詞句」

sobre las tapas ソブレ・ラス・タパス adv. 蓋の上で 「副詞句」

pintadas ピンタダス adj.pl.f 色を塗った 「形容詞」

de nogalina. デ・ノガリナ

adv. (手段) クルミ染料によって 「副詞句」

棺のそばに、白いブラウスを着て、色鮮やかなスカーフを被ったアラブ人の看護婦がいた。

Junto al féretro estaba una enfermera árabe, con blusa blanca y un pañuelo de color vivo en la cabeza. 「副詞句」「動詞」「主語」

Junto al féretro フント・アル・フェーレトロ adv. 棺のそばには 「副詞句」

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ーがいた 「動詞」

una enfermera árabe, ウナ・エンフェルメラ・アラベ n.f アラブ人の看護婦が 「主語」

con コン prep (様態) ーを着た、身に着けた 「副詞句」

blusa blanca ブルサ・ブランカ n.f 白い上っ張りを、ブラウスを 「目的語」

y イ conj. そして

un pañuelo ウン・パ・ニューエロ n.m スカーフを 「目的語」

de color vivo デ・コロール・ビボ adj. 鮮やかな色の 「形容詞句」

en la cabeza. エン・ラ・カベサ adv. 頭に 「副詞句」

その時、門衛が僕の背後から入ってきた。

En ese momento el portero entró por detrás de mí. 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」

En ese momento エン・エセ・モメント adv. その時 「副詞句」

el portero エル・ポ・ルテロ n.m 門衛が 「主語」

entró エントロ 3 単点(entrar)v.i 入ってきた 「動詞」

por detrás de mí. ポル・デ・トラス・デ・ミ adv. 僕の背後から 「副詞句」

Primera parte 第1部

走って来たに違いない。

Debió de haber corrido.

「動詞句」

Debió de +不定詞・完了形 デビョ・デ 3 単点・推定(deber)v.i(+de+不定詞)

v.i ~したに違いない

「動詞句」

haber corrido. アベル・コルド 不定詞・完了形(correr)v.i 走った

「動詞句」

deber de+不定詞 「~するに違いない、~するはずだ」 de は省略されることが多い

彼は少しどもりながら言った：「蓋をふさいでしまったのですが、ご対面できるようにすぐに棺の釘を抜きますので...」

Tartamudeó un poco: "La hemos tapado, pero voy a destornillar el cajón para que usted pueda verla."

「動詞」「副詞句」：《「目的語」「動詞句」 pero 「動詞句」「目的語」「副詞節」》

Tartamudeó タルタムデオ 3 単点(tartamudear)v.i どもりながら言った

「動詞」

un poco: ウン・ポコ adv. 少し

「副詞句」

"La ラ pron (tapa の代用) 蓋を

「目的語」

hemos tapado, エモス・タパド 1 複現・完了形(tapar)v.t (ふたを) ふさいだ

「動詞句」

pero ペロ conj. しかし

voy a destornillar ボイ・ア・デストルニジャール 1 単現・近接未来(ir a+不定詞)

v.t すぐに釘を抜く

「動詞句」

el cajón エル・カホン n.m 棺を

「目的語」

para que +接続法 パラ・ケ conj. ~するために

「副詞節」

usted ウステ pron あなたが

「主語」

pueda verla." プエダ・ベル・ラ 接・3 単現・可能(poder+不定詞+la)

v.t お母様にご対面できるだろう

「動詞句」

彼は棺のほうへ近づいて行ったが、僕は彼を止めた。

Se aproximaba al féretro cuando lo paré.

「動詞句」「間接目的語」「副詞節」

Se aproximaba セ・アプロキシマバ 3 単線(aproximarse)v.pr 近づいて行った

「動詞句」

al féretro アル・フェーレトロ adv. 棺に

「間接目的語」

cuando クワント conj. その時に~する

「副詞節」

lo ロ pron 彼を

「目的語」

paré. パレ 1 単点(parar)v.t 止めた

「動詞」

Primera parte 第1部

彼は言った：「ご対面なさらないのですか？」僕は答えた：「ええ」

Me dijo: "¿No quiere usted?" Respondí: "No."

「間接目的語」「動詞」：《「動詞句」「主語」》 | 「動詞」「応答」

Me メ pron 僕に

「間接目的語」

dijo: ディョ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

"¿No quiere ノ・キレ 3 単現・否定(querer+不定詞 verla)v.t 対面しようとしな

「動詞句」

usted?" ウステ pron あなたは

「主語」

Respondí: レスポンディ 1 単点(responder)v.t 答えた

「動詞」

"No." ノ adv. ええ (対面しない)

「応答」

彼は立ち止まったが、あんなことを言うべきではなかったと感じて居心地が悪かった。

Se detuvo, y yo estaba molesto porque sentía que no debí haber dicho esto.

「動詞句」 y 「主語」「動詞」「補語」「副詞節」

Se detuvo, セ・デトゥボ 3 単点(detenerse)v.pr 立ち止まった

「動詞句」

y イ conj. そして

yo ジョ pron 僕は

「主語」

estaba エスタバ 1 単線(estar)v.i ~だった

「動詞」

molesto モレスト adj. 不快な、居心地が悪い

「補語」

porque ボルケ conj. ~なので

「副詞節」

sentía センチア 1 単線(sentir)v.t 感じた

「動詞」

que ケ conj. ~ということ

「目的語」

no debí +不定詞・完了形 ノ・デビ 1 単点・否定(deber+不定詞・完了形)

v. ~すべきではなかった

「動詞句」

haber dicho アバー・ル・ディチョ 不定詞・完了形(decir)v.t 言った

「動詞句」

esto. エスト pron あんなことを

「目的語」

少し後で僕を見て、尋ねた：「なぜですか？」しかし答める口調ではなく、ただ知りたいだけという感じだった。

Al cabo de un instante me miró y me preguntó: "¿Por qué?", pero sin reproche, como si estuviera informándose.

「副詞句」「目的語」「動詞」 y 「間接目的語」「動詞」：

《「質問」》,pero 「副詞節」,「副詞節」

Al cabo de アル・カボ・デ prep ~の後で

「副詞句」

un instante ウン・インスタンテ n.m 一瞬

「目的語」

me メ pron 僕を

「目的語」

miró ミロ 3 単点(mirar)v.t 見た

「動詞」

y イ conj. そして

Primera parte 第1部

me メ pron 僕に 「間接目的語」
 preguntó: プレガント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」
 "¿Por qué?", ポル・ケ adv. なぜですか? 「質問」
 pero ペロ conj. しかし
 sin reproche, シン・レプ・チェ adv. 咎める口調ではなく、非難ではなく 「副詞句」
 como si コモ・シ conj. まるで～するように 「副詞節」
 estuviera informándose. エストゥビエラ・インフォルマントセ 接・3 単過・進行形・時制の一致
 (informarse)v.pr 知ろうとしている 「動詞句」

僕は言った:「ただなんとなく...」

Dije: "No sé." 「動詞」:《「応答」》
 Dije: デイヘ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 "No sé." ノセ 1 単現・否定(saber)v.t 格別なことは分からない 「応答」

すると彼は白い髭をひねりながら、僕を見ないではっきり言った:「分かります」

Entonces, retorciendo el bigote blanco, declaró, sin mirarme: "Comprendo." 「副詞句」「動詞」「副詞句」:《「応答」》
 Entonces, エントネス adv. すると 「副詞」
 retorciendo レトルシエント 現在分詞(retorcer)v.t ～をねじりながら 「副詞句」
 el bigote blanco, エル・ビゴテ・ブランコ n.m 白い髭を 「目的語」
 declaró, デクラロ 3 単点(declarar)v.t はっきりと言った 「動詞」
 sin mirarme: シン・ミラル・メ adv. 僕を見ないで 「副詞句」
 "Comprendo." コンプレント 1 単現(comprender)v.t 分かる 「応答」

彼は明るい青色のきれいな目で、顔は少し赤みがかった。

Tenía ojos hermosos, azul claro, y la tez un poco roja. 「動詞」「目的語」 y 「目的語」
 Tenía テニア 3 単点(tener)v.t (肉体的特徴) ～をしていた 「動詞」
 ojos オス pl.n.m 目 「目的語」
 hermosos, エルモソス adj.pl きれいな 「形容詞」
 azul claro, アスル・クラロ adj. 明るい青色の 「形容詞句」
 azul アスル adj. 青い、(+形容詞、数無変化)
 y イ conj. そして
 la tez ラ・テス n.f (顔の) 肌 「目的語」
 un poco roja. ウン・ポコ・ロハ adj.f 少し赤みがかった 「形容詞句」

Primera parte 第1部

彼は僕に椅子を勧めてくれ、僕の少し後ろに彼も座った。

Me dio una silla y se sentó también, un poco a mis espaldas.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 y 「動詞句」「副詞句」

Me メ pron 僕に

「間接目的語」

dio ディオ 3 単点(dar)v.t 与えた、勧めた

「動詞」

una silla ウナ・シジャ n.f 椅子を

「直接目的語」

y イ conj. そして

se sentó セ・セント 3 単点(sentarse)v.pr 座った

「動詞句」

también, タンビエン adv. とも

「副詞」

un poco ウン・ポコ adv. 少し

「副詞」

a mis espaldas. ア・ミス・エスパルダス adv. 僕の後ろに

「副詞句」

看護婦が立ち上がり、出口のほうへ進んでいった。

La enfermera se levantó y se dirigió hacia la salida.

「主語」「動詞句」 y 「動詞句」「副詞句」

La enfermera ラ・エンフェルメラ n.f 看護婦が

「主語」

se levantó セ・レバント 3 単点(levantarse)v.pr 立ち上がった

「動詞句」

y イ conj. そして

se dirigió セ・ディリヒオ 3 単点(dirigirse)v.pr 向かった、進んでいった

「動詞句」

hacia la salida. アシア・ラ・サリダ adv. 出口のほうへ

「副詞句」

門衛が僕に言った：「あれは下疳なんです」

El portero me dijo: "Tiene un chancro." 「主語」「間接目的語」「動詞」:《「動詞」「目的語」》

El portero エル・ポルテロ n.m 門衛は

「主語」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

dijo: ディオ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

"Tiene ティエネ 3 単現(tener)v.t (心身の状態) ~である

「動詞」

un chancro. ウン・チャンクロ n.m (医学) 下疳、梅毒、潰瘍

「目的語」

下疳 げかん :

性病の一種である。梅毒や瘡病(かさやみ)と同義。感染初期には全身のリンパ節が腫れて、後期には皮膚や筋肉、骨などにゴムのような腫瘍(ゴム腫)が発生する。

潰瘍 かいよう :

皮膚・粘膜・角膜などにできる、深部にまで及ぶ組織の欠損。性病に限定されない。

Primera parte 第1部

意味が分からなかったので、看護婦の方を見ると、目の下あたりに包帯で頭をぐるりと一卷きしているのが見えた。

Como no comprendía, miré a la enfermera y vi que llevaba por debajo de los ojos una venda que le rodeaba la cabeza. 「副詞節」, 「動詞」 「間接目的語」 y 「動詞」 「目的語」

Como コモ conj. ～なので 「副詞節」

no comprendía, ノ・コンプレンデ・ア 1 単線・否定(comprender)

v.t 意味が分からなかった 「動詞句」

miré ミレ 1 単点(mirar)v.i(a の方を) 見た 「動詞」

a la enfermera ア・ラ・エンフェルメラ adv. 看護婦の方を 「間接目的語」

y イ conj. そして

vi ビ 1 単点(ver)v.t 見えた 「動詞」

que ク conj. ～ということ 「目的語」

llevaba, シェババ 3 単線(llevar)v.t (衣服などを) 身に着けていた 「動詞」

por debajo ホル・デバホ adv. 下あたりに 「副詞句」

de los ojos, テ・ロス・オス adj. 目の 「形容詞句」

una venda ウナ・ベンタ n.f 包帯 「目的語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

le レ pron 彼女の 「間接目的語」

rodeaba ロデアバ 3 単線(rodear)v.t 一周していた 「動詞」

la cabeza. ラ・カベサ n.f 頭を 「直接目的語」

鼻があるべき場所は、包帯が普通よりも低く見えた。

A la altura de la nariz la venda estaba chata. 「副詞句」 「主語」 「動詞」 「補語」

A la altura ア・ラ・アルトゥーラ adv.(de ～の) 位置に、ところに 「副詞句」

de la nariz テ・ラ・ナリス adj. 鼻の 「形容詞句」

la venda ラ・ベンタ n.f 包帯は 「主語」

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ～だった 「動詞」

chata. チャタ adj.f 普通よりも低い、鼻ぺちやの 「補語」

顔の中で、包帯の白さだけが目立っていた。

En su rostro sólo se veía la blancura del vendaje. 「副詞句」 「動詞句」 「主語」

En su rostro エン・ス・ロストロ adv. 彼女の顔では 「副詞句」

sólo ソロ adv. ～だけ 「副詞」

se veía セ・ベ・ア 3 単線(verse)v.pr 見えていた、目立っていた 「動詞句」

la blancura ラ・ブランクラ n.f 白さが 「主語」

del vendaje. テル・ベンタヘ adj. 包帯の 「形容詞句」

Primera parte 第1部

看護婦がいなくなると、門衛が言った：「しばらく、お一人でどうぞ」

Quando hubo salido, el portero habló: "Lo voy a dejar solo."

「副詞節」, 「主語」 「動詞」: 《「目的語」 「動詞句」 「補語」》

Quando クワント conj. ～するとき

「副詞節」

hubo salido, ウブ・サリト 3 単点・完了形(salir)v.i 出た、去った

「動詞句」

el portero エル・ポ・ルテロ n.m 門衛が

「主語」

habló: アブ・ロ 3 単点(hablar)v.i 言った

「動詞」

"Lo 〇 pron あなたを

「目的語」

voy a dejar ボイ・ア・デジャール 1 単現・近接未来(ir a+不定詞)

v.t (～の状態に) する

「動詞句」

solo." ソロ adj. 一人きり

「補語」

僕がどんな仕草をしたか分からないが、彼はそのまま僕の後ろに立っていた。

No sé qué ademán hice, pero se quedó, de pie detrás de mí.

「動詞句」 「目的語」 ,pero 「動詞句」 「副詞句」

No sé ノ・セ 1 単現・否定(saber)v.t 分からない

「動詞句」

qué ademán ケ・アデマン n.m どんな仕草を

「目的語」

hice, イェ 1 単点(hacer)v.t した

「動詞」

pero ペロ conj. しかし

se quedó, セ・ケト 3 単点(quedarse)v.pr とどまっていた

「動詞句」

de pie テ・ピエ adv. 立って

「副詞句」

detrás de mí. デトラス・デ・ミ adv. 僕の後ろに

「副詞句」

僕の背後に彼がいることで、少し落ち着かなかった。

Su presencia a mis espaldas me molestaba.

「主語」 「目的語」 「動詞」

Su presencia ス・プレセンシア n.f 彼の存在は

「主語」

a mis espaldas ア・ミス・エスパルダス adv. 僕の背後の

「副詞句」

me メ pron 僕を

「目的語」

molestaba. モレスタバ 3 単線(molestar)v.t 不快にした、調子を狂わせた

「動詞」

夕方美しい光が部屋に溢れていた。

Llenaba la habitación una hermosa luz de media tarde.

「動詞」 「目的語」 「主語」

Llenaba ジェナバ 3 単線(llenar)v.t 満たしていた

「動詞」

la habitación ラ・アビエイシオン n.f 部屋を

「目的語」

una hermosa luz ウナ・エルモサ・ルース n.f 美しい光が

「主語」

Primera parte 第1部

de media tarde. テ・メデア・タルデ adj. 夕方の

「形容詞句」

tarde タルデ n.f 午後（午後3時～9時）→ media tarde は午後6時頃、夕方

2匹の雀蜂が、天井のガラス窓にぶつかってブンブン音を立てていた。

Dos abejorros zumbaban contra el techo de vidrio.

「主語」「動詞」「副詞句」

Dos abejorros トス・アベホス pl.n.m 2匹のマルハナバチが（雀蜂）

「主語」

zumbaban スンババン 3 複線(zumbar)v.i ブンブン音を立てていた

「動詞」

contra el techo コントラ・エル・テチョ adv. 天井にぶつかって

「副詞句」

de vidrio. テ・ビトロ adj. ガラスの

「形容詞句」

フランス語原文では、

frelon（モンスズメバチ）と表されているので、スペイン語では abejorros（マルハナバチ）ではなく Dos avispas（スズメバチ）とするのが適当である。

それから僕は、眠気が襲ってくるのを感じた。

Y sentía que el sueño se apoderaba de mí.

Y「動詞」「間接目的語」

Y イ conj. そして、それから

sentía センチア 1 単線(sentir)v.t 感じた

「動詞」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

el sueño エル・スエニョ n.m 眠気が

「主語」

se apoderaba セ・アポデラハ 3 単線(apoderarse)

v.pr(de を) 支配していた

「動詞句」

de mí. テ・ミ adv. 僕を

「間接目的語」

彼のほうを振り向かずに、僕は門衛に言った：「ここに来て、もう長いのですか？」

Sin volverme hacia él, dije al portero: "¿Hace mucho tiempo que está usted aquí?"

「副詞句」, 「動詞」「間接目的語」: 《「動詞」「目的語」「副詞節」》

Sin +不定詞 シン adv. ～しないで

「副詞句」

volverme ホルベル・メ 不定詞(volverse)v.pr 振り向く

「動詞句」

hacia él, アシア・エル adv. 彼のほうを

「副詞句」

dije ティエ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

al portero: アル・ポルテロ adv. 門衛に

「間接目的語」

"¿Hace アセ 3 単現(hacer)v.t (時間+que+直説法) ～してから... の時間になる 「動詞」

mucho tiempo ムチョ・ティエンポ n.m 長い時間

「目的語」

que ケ conj. ～してから

「副詞節」

está エスタ 3 単現(estar)v.i ～にいる

「動詞」

usted ウステ pron あなたは

「主語」

Primera parte 第1部

aquí?" アキ adv. ここに

「副詞」

彼は即座に答えた：「5年になります」——まるで僕の質問を待っていたかのように。

Inmediatamente respondió: "Cinco años", como si hubiese estado esperando mi pregunta.

「副詞」「動詞」：《「応答」》「副詞節」

Inmediatamente インメディアタメンテ adv. 即座に

「副詞」

respondió: レスポンディオ 3単点(responder)v.t 答えた

「動詞」

"Cinco años", シンコ・アños adv. 5年になる

「応答」

como si +接続法 コ・シ conj. まるで～であるかのように

「副詞節」

hubiese estado esperando ウビエセ・エスタド・エスペラント 接・3単過・完了形・進行形・推量

(esperar)v.i 待っていたであろう

「動詞句」

英語では「He would have been waiting for...」

mi pregunta. ミ・プレグンタ n.f 僕の質問を

「目的語」

彼は、堰を切ったように喋った。

Charló mucho enseguida.

「動詞」「副詞句」

Charló チャルロ 3単点(charlar)v.i おしゃべりした

「動詞」

mucho ムチョ adv. 多く、大いに

「副詞」

enseguida. エンセギダ adv. ただちに、すぐに

「副詞」

もし誰かが彼に、いずれはマランゴの養老院で門衛として終わるだろうと、前もって言っていたとしたら彼はとても驚いたに違いない。

Se habría que dado muy asombrado si alguien le hubiera dicho que acabaría de portero en el asilo de Marengo.

「動詞句」「補語」「副詞節」

Se habría que dado セ・アブラリア・ケ・ダト 3単過未・完了形・強い推測・必然

(haber que+不定詞 darse) v.pr. ～になったに違いない

「動詞句」

haber que+過去分詞 「～したに違いない」 darse ダール・セ v.pr. ～に身を任せる

参考 Se habría quedado (quedarse) 「すっかり～の状態になっただろう」(推測)

muy asombrado ムイ・アソンブラト adj. とても驚いた

「補語」

英語では「He must have been astonished much」

si シ conj. もし～ならば

「副詞節」

alguien アルギエン pron 誰かが

「主語」

le レ pron 彼に

「間接目的語」

hubiera dicho ウビエラ・ディチョ 接・3単過・完了形・假定(decir)

v.t 言っていたとする

「動詞句」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

Primera parte 第1部

acabaría アカバリア 3 単過未・推測(acabar)

v.i(de として) 終わるだろう

「動詞」

de portero テ・ポルテロ adv. (役割) 門衛として

「副詞句」

en el asilo de Marengo. エ・エル・アシロ・テ・マレンゴ

adv. マランゴの養老院で

「副詞句」

フランス語原文では、

On l'aurait bien étonné en lui disant qu'il finirait concierge à l'asile de Marengo.

のように、仮定文(en lui disant que+条件法現在)の帰結として、条件法現在完了(aurait étonné)を用いて過去における未来完了という形で強い推測が表現されている。

haber que+過去分詞、haber que+不定詞：

スペイン語の haber que は法助動詞で、haber que+不定詞では「～しなければならない」という意味を表し、tener que+不定詞と同様に用いられる。

一方、haber que+過去分詞では、英語の must と have の両方の機能を持つ助動詞として「～したに違いない」という表現になる。ここでは、habría que+過去分詞のように、haber を過去未来形とすることで、過去における未来完了の形で強い推測が表現されている。

年は 64 歳で、生まれはパリだ。

Tenía sesenta y cuatro años y era parisiense.

「動詞」「目的語」 y 「動詞」「補語」

Tenía テニア 3 単線(tener)v.t (年は～歳)であった

「動詞」

sesenta y cuatro años センタ・イ・クワトロ・アニョス pl.n.m 64 歳

「目的語」

y イ conj. そして

era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった

「動詞」

parisiense. パリエンセ n.m パリっ子

「補語」

そこで彼の話を遮った：「ああ！この出身ではないのですね？」

Le interrumpí en ese momento: "¡Ah! ¿Usted no es de aquí?"

「間接目的語」「動詞」「副詞句」：《「感嘆」「主語」「動詞」「補語」》

Le レ pron 彼の話を

「間接目的語」

interrumpí インテルピ 1 単点(interrumpir)v.t ～の話を中断した

「動詞」

en ese momento: エン・エ・モメント adv. その時、そこで

「副詞句」

"¡Ah! アー int. ああ

「感嘆」

¿Usted ウステ pron あなたは

「主語」

no es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i ～でない

「動詞」

de aquí?" デ・アキ adv. ここの出身

「補語」

Primera parte 第1部

それから、院長に会いに連れていく前に、僕に母さんのことを話したのを思い出した。

Luego recordé que antes de llevarme a ver al director me había hablado de mamá.

「副詞」「動詞」「目的語」

Luego ルエウゴ adv. それから

「副詞」

recordé レコルテ 1 単点(recordar)v.t 思い出した

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

antes de +不定詞 アンテス・デ adv. ～する前に

「副詞句」

llevarme a ver ジェハール・メ・ア・ヴァール 不定詞

v.t 僕を～に会いに連れていく

「動詞句」

al director アル・デルクトール n.m 院長に

「目的語」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

había hablado アビア・ハブラト 3 単線・完了形(hablar)v.i 話した

「動詞句」

de mamá. テ・ママ adv. 母さんのことを

「間接目的語」

特にこの地域では平野部は暑いので、できるだけ早く埋葬しなければならないと僕に言っていた。

Me había dicho que era necesario enterrarla cuanto antes porque en la llanura hacía calor. sobre todo en esta región.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Me メ pron 僕に

「間接目的語」

había dicho アビア・ディチョ 3 単線・完了形(decir)v.t 言った

「動詞句」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である

「動詞」

necesario ネセリオ adj. 必要な

「補語」

enterrarla エンテラール・ラ 不定詞(enterrar+la)v.t 埋葬することは

「主語」

cuanto antes クワント・アンテス adv. できるだけ早く

「副詞句」

porque ポルケ conj. ～なので

「副詞節」

en la llanura エン・ラ・ジャヌーラ adv. 平野部では

「副詞句」

hacía アシア 3 単線・時制の一致(hacer)

v.h (天候) ～である

「動詞」

calor, カロール n.m 暑い

「補語」

sobre todo en esta región. ソブレ・トト・エン・エスタ・レヒオン

adv. 特にこの地域では

「副詞句」

Primera parte 第1部

その時、彼はパリで暮らしたことがあり、パリは忘れ難いと言っていたのだった。

Entonces me había informado que había vivido en París y que le costaba mucho olvidarlo.

「副詞句」, 「動詞句」 「間接目的語」 「直接目的語」 y 「直接目的語」

Entonces エントンス adv. その時

「副詞句」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

había informado アビア・インフォルマト 3 単線・完了形(informar)v.t 言っていた

「動詞句」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

había vivido アビア・ビビト 3 単線・完了形(vivir)v.i 暮らしていた

「動詞句」

en París エン・パリス adv. パリで

「副詞句」

y イ conj. そして

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

le レ pron 彼にとって

「間接目的語」

costaba コスタバ 3 単線・時制の一致(costar)

v.i (不定詞が主語) 骨が折れる

「動詞」

mucho ムチョ adv. とても

「副詞」

olvidarlo. オルビダールロ 不定詞(olvidar+lo)v.t パリを忘れることは

「主語」

パリでは、3 日間、時には 4 日間、死者を引き留める。

En París se retiene al muerto tres, a veces cuatro días.

「副詞句」 「主語」 「動詞」 「目的語」 「副詞句」

En París エン・パリス adv. パリでは

「副詞句」

se セ pron 人は

「主語」

retiene レチエネ 3 単現(retener)v.t 引き留める

「動詞」

al muerto アル・ムエルト n.m 死者を

「目的語」

tres, a veces cuatro días. トレス・アベセス・クワトロ・デイアス adv. 3 日、時には 4 日間

「副詞句」

ここでは時間がない；まだ身内の死に対して納得できる気持ちの整理ができていない内に、
霊柩車の後ろを走って出発しなければならないのだ。

Aquí no hay tiempo; todavía no se ha hecho uno a la idea cuando hay que salir corriendo
detrás del coche fúnebre.

「副詞」 「動詞句」 「目的語」 ; 「副詞」 「動詞句」 「目的語」 「副詞節」

Aquí アキ adv. ここでは

「副詞」

no hay ノ・アイ 3 単現・否定(haber)v.t ～がない

「動詞句」

tiempo; テイエポ n.m (意味上の主語) 時間が

「目的語」

todavía トダビア adv. まだ～ない

「副詞」

no se ha hecho ノ・セ・ア・エチョ 3 単現・完了形・否定(hacerse)v.pr 受け入れなかった

「動詞句」

Primera parte 第1部

hacerse a la idea de... 「～という考えを受け入れる、あきらめる」
 uno a la idea ウノ・ア・ラ・イデア n.m (母さんの死に対する) 考えを 「目的語」
 cuando クワンド conj. その時に～する 「副詞節」
 hay que salir アイ・ケ・サル 3 単現・必要(haber que+不定詞)
 v.i 出なければならない 「動詞句」
 corriendo コリエント 現在分詞(correr)v.i 走って 「副詞句」
 detrás del coche fúnebre. デトラス・デル・コチェ・フーネブレ adv. 霊柩車の後ろを 「副詞句」

門衛の妻が言った：「もうおやめなさい、この方に言うべき事じゃないでしょう」

Su mujer le había dicho: "Cállate, no son cosas para contarle al señor."

「主語」「間接目的語」「動詞句」：《「命令」, 「動詞句」「補語」》

Su mujer ス・ムヘール n.f 門衛の妻が 「主語」
 le レ pron 彼に 「間接目的語」
 había dicho: アビ・ア・デチョ 3 単線・完了形(decir)v.t 言った 「動詞句」
 "Cállate, カジャ・テ 命・2 単現(callarse)v.pr 黙りなさい 「命令」
 no son ノ・ソン 3 複現・否定(ser)v.i ～でない 「動詞句」
 cosas コサス pl.n.f 事 「補語」
 para contarle パラ・コンタル・レ adj. 彼に言うべき 「形容詞句」
 al señor." アル・セニョール adv. この方に 「間接目的語」

門衛は顔を赤らめて、謝罪の弁解をした。

El viejo había enrojecido y había pedido disculpas.

「主語」「動詞句」 y 「動詞句」「目的語」

El viejo エル・ビエホ n.m 年老いた門衛は 「主語」
 había enrojecido アビ・ア・エノロヘヒト 3 単線・完了形(enrojecer)v.i 顔が赤くなった 「動詞句」
 y イ conj. そして
 había pedido アビ・ア・ペディト 3 単線・完了形(pedir)v.t 頼んだ 「動詞句」
 disculpas. ディスクルパス pl.n.f 弁解、謝罪 「目的語」
 pedir a+人 disculpas 「～の許しを請う、～に謝罪する」

僕は2人に割り込んで言った：「いいんですよ、いいんですよ...」

Yo intervine para decir: "Pero no, pero no..." 「主語」「動詞」「副詞句」：《「応答」》

Yo ジョ pron 僕は 「主語」
 intervine インテルビネ 1 単点(intervenir)v.i (2人の会話に) 介入した 「動詞」
 para decir: パラ・デシル adv. (継続) そして言った 「副詞句」
 "Pero no, pero no..." ペロ・ノ・ペロ・ノ adv. いいんですよ、いいんですよ 「応答」

Primera parte 第1部

pero は no を強調している

彼が言っていたことはその通りだし、そのうえ興味深いと僕は思った。

Me pareció que lo que contaba era apropiado e interesante. 「間接目的語」「動詞」「主語」
 Me メ pron 僕には 「間接目的語」
 pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i 〜のように思われた 「動詞」
 que ケ conj. 〜ということが 「主語」
 lo ロ pron そのことは 「主語」
 que ケ pron (目的語) 〜する 「形容詞節」
 contaba コンタバ 3 単線(contar)v.t 語っていた 「動詞」
 era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i 〜である 「動詞」
 apropiado アプロピアド adj. 適切な、正しい 「補語」
 e エ conj. そして
 interesante. インテレサンテ adj. 興味深い 「補語」

その小さな霊安室で、彼は生活困窮者としてこの養老院に収容されたのだと僕に話した。

En el pequeño depósito me informó que había ingresado en el asilo como indigente.
 「副詞句」, 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
 En el pequeño depósito エ・ネ・ペ・ケンヨ・デ・ポシト adv. その小さな霊安室で 「副詞句」
 depósito デ・ポシト n.m 保管所、倉庫
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 informó インフォルモ 3 単点(informar)v.t 知らせた 「動詞」
 que ケ conj. 〜ということを 「直接目的語」
 había ingresado アビ・ア・イングレサト 3 単線・完了形(ingresar)
 v.i(en に) 入った 「動詞句」
 en el asilo エ・ネ・アシロ adv. この養老院へ 「副詞句」
 como indigente. コモ・インデ・イアンテ adv. (資格) 生活困窮者として 「副詞句」

自分はまだ元気だと感じていたので、門衛の仕事を申し出たという話だ。

Como se sentía válido, se había ofrecido para el puesto de portero.
 「副詞節」, 「動詞句」「間接目的語」
 Como コモ conj. 〜なので 「副詞節」
 se sentía セ・センチア 3 単線(sentirse)v.pr (自分が〜だと) 感じていた 「動詞句」
 válido, バリト adj. 強い、たくましい、元気な 「補語」
 se había ofrecido セ・アビ・ア・オフレシト 3 単線・完了形(ofrecerse)
 v.pr(para を) 申し出た 「動詞句」

Primera parte 第1部

para el puesto de portero. パラ・エル・ポエスト・デ・ポルテロ adv. 門衛の仕事を 「間接目的語」

彼に、要するに入寮者ですねと確認した。

Le hice notar que en resumidas cuentas era pensionista. 「目的語」「動詞」「補語」
 Le レ pron 彼に 「目的語」
 hice イ 1 単点・使役(hacer)v.t ~させた 「動詞」
 notar ノタル 不定詞 v.t 確認する、評価する、気づく 「補語」
 que ケ conj. ~ということを 「目的語」
 en resumidas cuentas エン・レスミダス・クエンタス
 adv. 要するに、手っ取り早く言うとき 「副詞句」
 era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」
 pensionista. ペンシヨニスタ n.m, n.f 入寮者、年金生活者 「補語」

彼は、それは違うと言った。

Me dijo que no. 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
 Me メ pron 僕に 「間接目的語」
 dijo デイ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 que no. ケノ pron 違うとき 「直接目的語」

すでに僕には気になっていることがあった。それは彼が入寮者のことや、時には自分より若い誰かについて話す時に、「彼ら」とか「他の人たち」または、滅多にないことだが「老人たち」と呼ぶ、その呼び方についてだった。

Ya me había llamado la atención la manera que tenía de decir: "ellos", "los otros" y, más raramente, "los viejos", al hablar de los pensionistas, algunos de los cuales no tenían más edad que él. 「副詞」, 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」「主語」
 Ya ヤー adv. すでに 「副詞」
 me メ pron 僕の 「間接目的語」
 había llamado アビ・ア・ジャマト 3 単線・完了形(llamar)v.t 引き付けていた 「動詞句」
 la atención ラ・アテンシオン n.f 注目を、注意を 「直接目的語」
 la manera ラ・マネラ n.f 仕方、方法が 「主語」
 que ケ pron (同格) ~する 「形容詞節」
 tenía de decir: テニア・デ・デシール 3 単線・意図(tener de+不定詞)
 v.t 言うつもりである 「動詞句」
 "ellos", エジョス pl.n.m 彼ら 「目的語」
 "los otros" ロス・オトロス pl.n.m 他の人たち 「目的語」
 y, イ conj. そして

Primera parte 第1部

más raramente, マス・ラメント adv. 滅多にないことだが	「副詞句」
"los viejos", ロス・ビエホス pl.n.m 老人たち	「目的語」
al +不定詞 アル adv. ～する時に	「副詞句」
hablar アブラール 不定詞 vi(de のことを) 話す	「動詞」
de los pensionistas, デ・ロス・ペンシヨニスタス	
adv. 入寮者たちのことを	「間接目的語」
algunos アルグノス pl.n.m 誰かを	「間接目的語」
de los cuales デ・ロス・クワレス	
adj. 人たちの	「形容詞節」
no tenían ノ・テニアン 3 複線・否定(tener)	
v.t (年齢が) ～ない	「動詞句」
más edad que él. マス・エダ・ケ・エル	
n.f 彼より年齢の多い	「補語」
→ 「主語」が非常に長いので、工夫して出来るだけ分かりやすく翻訳する	

しかし、彼は入寮者とは立場が違う。

Pero, <u>naturalmente</u> , <u>no era la misma cosa</u> .	Pero 「副詞」 「動詞」 「補語」
Pero, ペロ conj. しかし	
naturalmente, ナチュラルメンテ adv. 当然	「副詞」
no era ノ・エラ 3 単線・否定・時制の一致(ser)v.i ～でない	「動詞」
la misma cosa. ラ・ミスマ・コサ n.f 同じ立場	「補語」

彼は門衛であるから、ある程度は、彼らに対して権限がある。

<u>Él era portero y, en cierta medida, tenía derechos sobre ellos.</u>	「主語」 「動詞」 「補語」 y 「副詞」 「動詞」 「目的語」 「副詞句」
Él エル pron 彼は	「主語」
era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である	「動詞」
portero ポルテロ n.m 門衛	「補語」
y, イ conj. そして	
en cierta medida, エン・シエルタ・メディダ adv. ある程度は	「副詞」
tenía テニア 3 単線・時制の一致(tener)v.t ある	「動詞」
derechos デレチョス pl.n.m 権限、権利	「目的語」
sobre ellos. ソブレ・エシヨス adv. 彼らに対して	「副詞句」

Primera parte 第1部

この時、看護婦が入ってきた。夕方はあつという間に暮れていた。

La enfermera entró en ese momento. La tarde había caído bruscamente.

「主語」「動詞」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞」

La enfermera ラ・エンフェルメラ n.f 看護婦が

「主語」

entró エントロ 3 単点(entrar)v.i 入ってきた

「動詞」

en ese momento. エ・セ・モメント adv. この時

「副詞句」

La tarde ラ・タルデ n.f 夕方は

「主語」

había caído アビ・ア・カイト 3 単線・完了形(caer)v.i (日が) 暮れていた

「動詞句」

bruscamente. ブルスカメンテ adv. 突然、あつという間に

「副詞」

夜が、天井のガラス窓の上で急速に濃くなっているのが見えた。

La noche se había espesado muy rápidamente sobre el vidrio del techo.

「主語」「動詞句」「副詞句」

La noche ラ・ノチェ n.f 夜が

「主語」

se había espesado セ・アビ・ア・エス・パト 3 単線・完了形(espesarse)

v.pr 濃くなっていた

「動詞句」

muy rápidamente ムイ・ラピダメンテ adv. 急速に

「副詞句」

sobre el vidrio del techo. ソブレ・エル・ビトロ・デル・テcho

adv. 天井のガラス窓の上で

「副詞句」

門衛がスイッチを押した。突然強い光が輝いて、僕は目がくらんだ。

El portero oprimió el conmutador y quedé cegado por el repentino resplandor de la luz.

「主語」「動詞」「目的語」 y 「動詞」「補語」「副詞句」

El portero エル・ポルテロ n.m 門衛は

「主語」

oprimió オプリミオ 3 単点(oprimir)v.t (ボタンを) 押した

「動詞」

el conmutador エル・コンムタートル n.m スイッチを

「目的語」

y conj. そして

quedé ケデ 1 単点(quedar)v.i ~のままになった

「動詞」

cegado セガト adj. 目がくらんだ

「補語」

por el repentino resplandor de la luz. ポル・エル・レパント・レスプラントール・デ・ラ・ルス

adv. 突然の光の輝きのために

「副詞句」

repentino レパント adj. 突然の resplandor レスプラントール n.m 輝き luz ルス n.f 光

Primera parte 第1部

彼は僕に、食堂に行って夕食を食べるように勧めてくれたが、僕は空腹でなかった。

Me invitó a dirigirme al refectorio para cenar. Pero no tenía hambre.

「目的語」「動詞」「補語」 | Pero 「動詞句」「目的語」

Me メ pron 僕を

「目的語」

invitó インビト 3 単点(invitar)v.t(a+不定詞) ～するように誘った

「動詞」

a dirigirme ア・ディリル・メ 不定詞(dirigirse)v.pr(a に) 向かう

「補語」

al refectorio アル・レフェクトリオ adv. 食堂に

「間接目的語」

para cenar. パラ・セナル adv. 夕食を取るために

「副詞句」

Pero ペロ conj. しかし

no tenía ノ・テニア 1 単線・否定(haber)v.t (心身の状態) ～でなかった

「動詞句」

hambre. アンブレ n.f 空腹

「目的語」

すると彼はカフェオレを1杯もってきましようかと言ってくれた。

Me ofreció entonces traerme una taza de café con leche.

「間接目的語」「動詞」「副詞」「直接目的語」

Me メ pron 僕に

「間接目的語」

ofreció オフレシオ 3 単点(ofrecer)v.t 提案した

「動詞」

entonces エントネス adv. その時、すると

「副詞」

traerme トラエル・メ 不定詞(traer+me)v.t 僕に～を持ってくることを

「直接目的語」

una taza ウナ・タサ n.f 茶碗1杯

「目的語」

de café con leche. デ・カフェ・コン・レチェ adj. カフェオレの

「形容詞句」

僕はカフェオレが大好きなので、申し出を受け入れた。少ししてから、彼は盆にのせて戻ってきた。僕はそれを飲んだ。

Como me gusta mucho el café con leche, acepté, y un momento después regresó con una bandeja. Bebí.

「副詞節」, 「動詞」 y 「副詞句」「動詞」「副詞句」 | 「動詞」

Como コモ conj. ～なので

「副詞節」

me メ pron 僕にとって

「間接目的語」

gusta グスタ 3 単現(gustar)v.i 気に入る

「動詞」

mucho ムチョ adv. とても

「副詞」

el café con leche, エル・カフェ・コン・レチェ n.m カフェオレは

「主語」

acepté, アセプテ 1 単点(aceptar)v.t 申し出を受け入れた

「動詞」

y イ conj. そして

un momento después ウン・モメント・デ・スプエス adv. それから少し後で

「副詞句」

regresó レグレス 3 単点(regresar)v.i 戻ってきた

「動詞」

con una bandeja. コン・ウナ・バンデハ adv. 盆にのせて

「副詞句」

Primera parte 第1部

Bebí. ベビ 1 単点(beber)v.i 飲んだ

「動詞」

煙草が吸いたくなかったが、僕はためらった。母さんの前でそんなことをしてもよいものかどうか分からなかったから。

Tuve deseos de fumar. Pero dudé, porque no sabía si podía hacerlo delante de mamá.

「動詞」「目的語」 | Pero 「動詞」, 「副詞節」

Tuve トゥェ 1 単点(tener)v.t ~があった

「動詞」

deseos デセオス pl.n.m 欲望、願望

「目的語」

de fumar. デ・フマル adj. (同格) 喫煙するという

「形容詞句」

Pero ペロ conj. しかし

dudé, ドゥデ 1 単点(dudar)v.i ためらった

「動詞」

porque ボルケ conj. ~なので

「副詞節」

no sabía ノサビア 1 単線・否定(saber)v.t 分からなかった

「動詞句」

si シ conj. ~かどうかということ

「目的語」

podía hacerlo ポディア・アセル 1 単線・許可(poder+不定詞+lo)

v.t そんなことをしてもよい

「動詞句」

delante de mamá. デランテ・デ・ママ adv. 母さんの前で

「副詞句」

よく考えた。別に問題はないと思ったので、門衛に1本すすめて、一緒に吸った。

Reflexioné. No tenía importancia alguna. Ofrecí un cigarrillo al portero y fumamos.

「動詞」 | 「動詞句」「目的語」 | 「動詞」「直接目的語」「間接目的語」 y 「動詞」

Reflexioné. レフレクシオネ 1 単点(reflexionar)v.i 熟考した

「動詞」

No tenía ノテニア 1 単線・否定(tener)v.t なかった

「動詞句」

importancia alguna. インポルトンシア・アルグナ n.f 何らかの重要性は

「目的語」

Ofrecí オフレシ 1 単点(ofrecer)v.t 差し出した

「動詞」

un cigarrillo ウン・シガリジョ n.m 紙巻きたばこを1本

「直接目的語」

al portero アル・ポルテロ adv. 門衛に

「間接目的語」

y イ conj. そして

fumamos. フマモス 1 複点(fumar)v.i 一緒に吸った

「動詞」

Primera parte 第1部

不意に、彼が僕に言った：「ところで、お母様のご友人たちもお通夜に来ることになっています。それが習わしなのです。私は椅子とブラックコーヒーを取りに行きます」

En un momento dado, me dijo: "Sabe usted, los amigos de su señora madre van a venir a velarla también. Es la costumbre. Tengo que ir a buscar sillas y café negro."

「副詞句」, 「間接目的語」 「動詞」:

《「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞」 | 「動詞」 「補語」 | 「動詞句」 「目的語」》

En un momento dado, エ・ヌン・モメント・ダド adv. 不意に、特定の時に 「副詞句」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

dijo: ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

"Sabe usted, サベ・ウステ adv. ところで、ご存じだと思いますが 「副詞句」

los amigos de su señora madre ロス・アミゴス・デ・ス・セニョーラ・マトレ

pl.n.m お母様のご友人たちが 「主語」

van a venir a velarla バン・ア・ベニール・ア・ベラール・ラ 3 複現・近接未来(ir a+不定詞)

v.i お母様のお通夜に来る予定だ 「動詞句」

venir a+不定詞「～しに来る」 velar ベラール v.i 徹夜する、お通夜をする

también. タンビエン adv. ～も 「副詞」

Es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

la costumbre. ラ・コスタンプレ n.f 習慣、習わし、仕来り 「補語」

Tengo que ir a buscar テンゴ・ケ・イル・ア・ブスカル 1 単現・必要(tener que+不定詞)

v.t ～を取りに行かなければならない 「動詞句」

tener que+不定詞「～しなればならない」 ir a+不定詞「～しに行く」

buscar ブスカル v.t 取りに行く、迎えに行く、探す

sillas シジャス pl.n.f 椅子を 「目的語」

y イ conj. そして

café negro." カフェ・ネグロ n.m ブラック・コーヒーを 「目的語」

1 個の電灯だけ消してもらうことは出来るだろうかと、彼に尋ねた。

Le pregunté si se podía apagar una de las lámparas.

「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」

Le レ pron 彼に 「間接目的語」

pregunté プレグンテ 1 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

si シ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」

se podía apagar セ・ポディア・アパガール 3 単線・可能・再帰受動・仮定法過去(poder+不定詞)

v.pr 消されることができた 「動詞句」

una de las lámparas. ウナ・デ・ラス・ランパラス n.f 電灯の1つが 「主語」

能動態に変換して翻訳する

Primera parte 第1部

白い壁に反射した光の輝きが僕を疲れさせるのだ。彼は、それは出来ないと言った。

El resplandor de la luz contra las paredes blancas me fatigaba. Me dijo que no era posible.

「主語」「目的語」「動詞」 | 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

El resplandor de la luz エル・レスプランドル・デ・ラ・ルース n.m 光の輝きが 「主語」

resplandor レスプランドル n.m 輝き luz ルース n.f 光

contra las paredes blancas コントラ・ラス・パレデス・ブランカス

adj. 白い壁に反射した

「形容詞句」

me メ pron 僕を

「目的語」

fatigaba. ファチガバ 3 単線(fatigar)v.t 疲れさせた

「動詞」

Me メ pron 僕に

「間接目的語」

dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

no era ノ・エラ 3 単線・否定・時制の一致(ser)v.i ～でない

「動詞」

posible. ポシブレ adj. 可能な

「補語」

配線がそうになっているのだ：つまり全部を点灯するか、全部を消灯するかのどちらかだ。それ以後、僕はあまり彼のことが気にならなくなった。

La instalación estaba hecha así: o todo o nada. Después no le presté mucha atención.

「主語」「動詞句」「副詞句」：「補語」 | 「副詞」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」

La instalación ラ・インストール n.f 配線は、設置は

「主語」

estaba hecha エスタバ・エチャ 3 単線・受動(f(hacer)v.t 作られている

「動詞句」

así: アシ adv. そんな風に

「副詞句」

o todo オ・トド adv. あるいは全点灯

「補語」

o nada. オ・ナダ adv. あるいは全消灯

「補語」

Después デスプエス adv. その後

「副詞」

no ...presté ノ...プレステ 1 単点・否定(prestar)v.t (+atención a...) に払わなかった「動詞句」

le レ pron 彼に

「間接目的語」

mucha atención. ムチャ・アテンション n.f (否定文で) あまり注意を、気遣いを

「直接目的語」

prestar atención a... 「～に注意を払う、～に注目する、～に気を遣う」

Primera parte 第1部

彼は出ていき、その後戻ってきて、椅子を並べた。椅子の1つの上に、中央にコーヒーポットを置いて、その周りにカップを数個ずつ重ねて配置した。

Salió, volvió, dispuso las sillas. Sobre una de ellas apiló tazas en torno de una cafetera.

「動詞句」「目的語」 | 「副詞句」「動詞」「目的語」「副詞句」

Salió, サオ 3 単点(salir)v.i 出て行った 「動詞」

volvió, ホルビオ 3 単点(volver)v.i 戻ってきた 「動詞」

dispuso デイスプソ 3 単点(disponer)v.t 並べた 「動詞」

las sillas. ラス・シヤス pl.n.f 椅子を 「目的語」

Sobre una de ellas ソブレ・ウナ・デ・エジャス adv. 椅子の1つの上に 「副詞句」

apiló アピロ 3 単点(apilar)v.t 積み上げた、積み重ねた 「動詞」

tazas タサス pl.n.f 茶碗を、カップを 「目的語」

en torno de エントルノ・デ adv. ーの周りに (alrededor de...と同義) 「副詞句」

una cafetera. ウナ・カフェテラ n.f コーヒーポット 「目的語」

それから彼は、母さんを挟んで向こう側の僕の正面に座った。看護婦も奥に、背中を向けて座っていた。

Luego se sentó enfrente de mí, del otro lado de mamá. También estaba la enfermera, en el fondo, vuelta de espaldas.

「副詞」「動詞句」「副詞句」 | 「副詞」「動詞」「主語」「副詞句」「補語」

Luego ルエゴ adv. それから 「副詞」

se sentó セ・セント 3 単点(sentarse)v.pr 座った 「動詞句」

enfrente de mí, エンフレンテ・デ・ミ adv. 僕の正面に 「副詞句」

del otro lado テル・オトロ・ラト adj. 反対側の 「形容詞句」

de mamá. デ・ママ adj. 母さんの 「形容詞句」

También タンビエン adv. ーもまた 「副詞」

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ーだった 「動詞」

la enfermera, ラ・エンフェルメラ n.f 看護婦は 「主語」

en el fondo, エ・ネル・フォント adv. 奥に 「副詞句」

vuelta ブエルタ 過去分詞.f (volver) v.t 向けた 「補語」

de espaldas. デ・エスパルタス adv. 背中を 「間接目的語」

volver la espalda 「背を向ける」

Primera parte 第1部

僕には彼女が何をしているのか見えなかった。しかし彼女の腕の動きから、編み物をしてい
るらしいと思った。

Yo no veía lo que hacía. Pero por el movimiento de los brazos me pareció que tejía.

「主語」「動詞句」「目的語」 | Pero 「副詞句」「間接目的語」「動詞」「主語」
Yo ジョ pron 僕は 「主語」
no veía ノ・ベ・ヤ 1 単線・否定(ver)v.t 見えなかった 「動詞句」
lo ロ pron それ 「目的語」
que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」
hacía. ハシア 3 単線・時制の一致(hacer)v.t する、している 「動詞」
Pero ペロ conj. しかし
por el movimiento ポル・エル・モビメント adv. 動きによって 「副詞句」
de los brazos デ・ロス・ブラソス adj. 腕の 「形容詞句」
me メ pron 僕には 「間接目的語」
pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i ~と思われた 「動詞」
que ケ conj. ~ということが 「主語」
tejía. テヒア 3 単線・時制の一致(tejer)v.i 編み物をしている 「動詞」

部屋の温度は心地よかった。コーヒーで体が温まった。開いたドアからは、夜と花の香りが
漂ってきた。僕は少しうとうとしたと思う。

La temperatura era agradable, el café me había recalentado y por la puerta abierta
entraba el aroma de la noche y de las flores. Creo que dormité un poco.

「主語」「動詞」「補語」, 「主語」「目的語」「動詞句」
y 「副詞句」「動詞」「主語」 y 「動詞」「目的語」
La temperatura ラ・テンペラトゥラ n.f 気温は 「主語」
era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」
agradable, アグラダブレ adj. 快い 「補語」
el café エル・カフェ pron コーヒーが 「主語」
me メ pron 僕を 「目的語」
había recalentado アビ・ア・レカレンタド 3 単線・完了形(recalentar)v.t 温め直した 「動詞句」
y イ conj. そして
por la puerta abierta ポル・ラ・プエルタ・アビエルタ adv. 開いたドアから 「副詞句」
entraba エントラハ 3 単線(entrar)v.i 入ってきた 「動詞」
el aroma エル・アロマ n.m 香りが 「主語」
de la noche デ・ラ・ノチェ adj. 夜の 「形容詞句」
y イ conj. そして
de las flores. デ・ラス・フロレス adj. 花の 「形容詞句」

Primera parte 第1部

Creo クロオ 1 単現(creer)v.t(que 〜だと) 思う 「動詞」
 que ケ conj. 〜ということを 「目的語」
 dormité ドルミテ 1 単点(dormitar)v.i うとうとした 「動詞」
 un poco. ウン・ポコ adv. 少し 「副詞句」

何かの擦れる音で、僕は目覚めた。しばらく目を閉じていたので、部屋は白さのためにさらに眩しく見えた。

Me despertó un roce. Como había tenido los ojos cerrados, la habitación me pareció aún más deslumbrante de blancura.

「目的語」「動詞」「主語」 | 「副詞節」, 「主語」「間接目的語」「動詞」「補語」
 Me メ pron 僕を 「目的語」
 despertó デスぺルト 3 単点(despertar)v.t 目覚めさせた 「動詞」
 un roce. ウン・ロセ n.m 摩擦音が 「主語」
 Como コモ conj. 〜なので 「副詞節」
 había tenido アビ・ア・テニド 1 単線・完了形(tener)
 v.t(VOC) (状態) O を C の状態にしていた 「動詞句」
 los ojos ロス・オホス pl.n.m 目を 「目的語」
 cerrados, セラトス adj.pl 閉じた 「補語」
 la habitación ラ・アビ・タシオン n.f 部屋は 「主語」
 me メ pron 僕には 「間接目的語」
 pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i 〜のように見えた 「動詞」
 aún más deslumbrante アウン・マス・デスルムブランテ adj. さらに眩しい 「補語」
 de blancura. デ・ブランクラ adv. 白さのために 「副詞句」

僕の目の前には、ほんのわずかな影さえなかった。そしてそれぞれの物や角やすべての曲線は、目を傷つけると思われるほどくっきり描かれていた。

Delante de mí no había ni la más mínima sombra, y cada objeto, cada ángulo, todas las curvas, se dibujaban con una pureza que hería los ojos.

「副詞句」「動詞句」「目的語」 y 「主語」「動詞句」「副詞句」
 Delante de mí デランテ・デ・ミ adv. 僕の前には 「副詞句」
 no había ノ・アビ・ア 3 単線・否定(haber)v.t なかった 「動詞句」
 ni la más mínima sombra, ニ・ラ・マス・ミニマ・ソムブラ
 n.f ほんの少しの影さえも 「目的語」
 y イ conj. そして
 cada objeto, カダ・オブヘト n.m それぞれの物は 「主語」
 cada ángulo, カダ・アングロ n.m それぞれの角が 「主語」

Primera parte 第1部

todas las curvas, トダス・ラス・クルバス pl.n.f すべての曲線が 「主語」
 se dibujaban セ・ディブハバン 3 単線・再帰受動(dibujarse)v.pr 描かれていた 「動詞句」
 con una pureza コン・ウナ・プレサ adv. 純粋さをもって 「副詞句」
 que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 hería エリア 3 単線・時制の一致(herir)v.t 傷つける 「動詞」
 los ojos. ロス・オホス pl.n.m 目を 「目的語」

この時、母さんの友達が入ってきた。

En ese momento entraron los amigos de mamá. 「副詞句」「動詞」「主語」
 En ese momento エ・セ・モメント adv. この時 「副詞句」
 entraron エントラロン 3 複点(entrar)v.i 入ってきた 「動詞」
 los amigos de mamá. ロス・アミゴス・デ・ママ pl.n.m 母さんの友達が 「主語」

全員あわせて 10 人ほどだった。目が眩むようなあの光の中を滑るように入ってきた。

Eran una decena en total, y se deslizaban en silencio en medio de aquella luz
enceguecedora. 「動詞」「補語」 y 「動詞句」「副詞句」
 Eran エラン 3 複線(ser)v.i ~だった 「動詞」
 una decena ウナ・デセナ n.f およそ 10 人 「補語」
 en total, エン・トータル adv. 全員あわせて 「副詞句」
 y イ conj. そして
 se deslizaban セ・デスリサバン 3 複線(deslizarse)v.pr 滑るように入ってきた 「動詞句」
 en silencio エン・シレンシオ adv. 静かに 「副詞句」
 en medio エン・メディオ adv. ~の中を 「副詞句」
 de aquella luz デ・アケジャ・ルース adj. あの光の 「形容詞句」
 enceguecedora. エンセグエトドラ adj.f 目がくらむような 「形容詞」

Primera parte 第1部

彼らは座ったが、椅子はまったく音を立てなかった。人というものを一度も見たことがなかったかのように、僕は彼らを見た。そして、顔や服の細部まではっきりと見えた。

Se sentaron sin que crujiera una silla. Los veía como no he visto a nadie jamás, y ni un detalle de los rostros o de los trajes se me escapaba.

「動詞句」「副詞節」

「目的語」「動詞」「副詞節」 y 「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」

Se sentaron セ・セントロン 3 複点(sentarse)v.pr 座った 「動詞句」

sin que +接続法 シン・ケ adv. (継続) ~せずに 「副詞節」

crujiera クルヒエラ 接・3 単過(crujir)v.i きしむ 「動詞」

una silla. ウナ・シジャ n.f 椅子は 「主語」

Los ロス pron.pl かれらを 「目的語」

veía ベイア 1 単線(ver)v.t 見た 「動詞」

como コモ adv. ~のように 「副詞節」

no he visto ノ・エ・ビスト 1 単現・完了形・否定(ver)v.t 見たことがない 「動詞句」

a nadie ア・ナデー pron 誰も 「目的語」

jamás, ハマス adv. 一度も~ない、決して~ない 「副詞」

y イ conj. そして

ni un detalle ニ・ウン・デタジェ n.m 細部も~ない 「主語」

ni... o... 否定の連結 「~も... もない」

de los rostros デ・ロス・ロストロス adj. 顔の 「形容詞句」

o オ conj. または

de los trajes デ・ロス・トラヘス adj. 服の 「形容詞句」

se ...escapaba. セ...エスカパバ 3 単線(escaparse)v.pr (否定文で) 逃走しなかった 「動詞句」

me メ pron 僕から 「間接目的語」

複雑な強調構文

「顔や服の細部さえも僕から逃げなかった」→「僕には顔や服の細部まで見えた」

少し複雑な構文を使用して、老人たちをどれ程注目したのかを読者に考えさせている。

しかし彼らの声は聞こえなかったのも、僕は彼らが実際にそこに居ると信じられなかった。

Sin embargo, no los oía y me costaba creer en su realidad.

「副詞句」, 「動詞句」「目的語」「動詞句」 y 「間接目的語」「動詞句」「間接目的語」

Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. それにもかかわらず、だがしかし 「副詞句」

no ...oía ノ...オイア 1 単線・否定(oír)v.t 聞こえなかった 「動詞句」

los ロス pron 彼らの声は 「目的語」

y イ conj. そして

me メ pron 僕にとっては 「間接目的語」

Primera parte 第1部

costaba コスタバ 3 単線(costar)v.i(+不定詞) ~するのは難しかった 「動詞句」
 creer クレエル 不定詞 vi(en の存在などを) 信じる 「動詞句」
 en su realidad. エン・ス・レリダド adv. 彼らの実在について 「間接目的語」

女たちはほとんど全員が前掛けと紐を身に着けていた。その紐は、彼女らの膨れ上がった腹部をなおさら目立たせるほど胴回りを締め付けていた。

Casi todas las mujeres llevaban delantal, y el cordón que les ceñía la cintura hacía resaltar aún más sus abultados vientres.

「主語」「動詞」「目的語」 y 「目的語」「形容詞節」
 Casi todas カシ・トダス adj.f.pl ほとんどすべての 「形容詞句」
 las mujeres ラス・ムヘス pl.n.f 女たちは 「主語」
 llevaban ジェババン 3 複線(llevar)v.t 身に着けていた、着ていた 「動詞」
 delantal, デランタル n.m 前掛けを 「目的語」
 y
 el cordón エル・コルドン n.m 紐を 「目的語」
 que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 les レス pron.pl 彼女たちの 「間接目的語」
 ceñía セニア 3 単線(ceñir)v.t 締め付けていた 「動詞」
 la cintura ラ・シントウラ n.f 胴回りを 「直接目的語」
 hacía resaltar アシア・レサルタル adv. ~を目立たせる程 「副詞句」
 aún más アウン・マス adv. なおさら 「副詞句」
 sus abultados vientres. スス・アブルトス・ビエントレス
 pl.n.m 彼女らの膨れ上がった腹部を 「目的語」

年老いた女達が、どれ程までの腹を持てるのかなんて今まで気にしたことがなかった。

Nunca había notado hasta qué punto podían tener vientre las mujeres ancianas.

「動詞句」「目的語」
 Nunca había notado スンカ・アビア・ノタド 1 単線・完了形・否定(notar+nunca)
 v.t 一度も気づいたことがなかった 「動詞句」
 hasta qué punto アスタ・ケ・プト adv. どの程度まで~するという事を 「目的語」
 podían tener ポデ・イアン・テネル 3 複線・可能・時制の一致(poder+不定詞)
 v.t 持てる 「動詞句」
 vientre ビエントレ n.m 腹を 「目的語」
 las mujeres ancianas. ラス・ムヘス・アンシアナス pl.n.f 年老いた女たちは 「主語」

Primera parte 第1部

男たちはほとんどがとても痩せていて、杖をついていた。

Casi todos los hombres eran flaquísimos y llevaban bastón.

「主語」「動詞」「補語」 y 「動詞」「目的語」

Casi todos los hombres カシ・トド・ロス・オンブレス pl.n.m 男たちのほとんどは 「主語」

eran エラン 3 複線(ser)v.i 〜だった 「動詞」

flaquísimos フラキシモス adj.pl (flaco + -ísimo+s) とても痩せた 「補語」

y イ conj. そして

llevaban ジェババン 3 複線(llevar)v.t (荷物を) 持っていた、(服を) 着ていた 「動詞」

bastón. バストン n.m 杖を 「目的語」

顔には目が見あたらず、代わりに皺が密集したその真ん中に輝きのない光だけが見えたことが、僕の注意を引いた。

Me llamaba la atención no ver los ojos en los rostros, sino solamente un resplandor sin brillo en medio de un nido de arrugas.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「主語」

Me メ pron 僕の 「間接目的語」

llamaba ジャマバ 3 単線(llamar)v.t 引き付けた 「動詞」

la atención ラ・アテンシオン n.f 注意を 「直接目的語」

no ver ノ・ベール 不定詞・否定形 n. 見えないことが 「主語」

los ojos ロス・オホス pl.n.m 目が 「目的語」

en los rostros, エン・ロス・ロストロス adv. 顔に 「副詞句」

sino シノ conj. 〜ではなく... である

solamente ソラメンテ adv. 〜だけ 「副詞」

un resplandor ウン・レスプラントール n.m 光が 「主語」

sin brillo シン・ブリリョ adv. 輝きのない 「副詞句」

en medio de エン・メディオ・デ adv. 〜の真ん中に 「副詞句」

un nido ウン・ニド n.m 巣 「目的語」

de arrugas. デ・アルカス adj. しわの 「形容詞句」

Primera parte 第1部

彼らが座ったとき、ほぼ全員が、唇を歯の抜けた口の中に沈み込ませて、僕を見つめて控えめに頭を傾けたが、僕に挨拶したのかそれともただの癖だったのか分からなかった。

Quando se hubieron sentado, casi todos me miraron e inclinaron la cabeza con modestia, los labios sumidos en la boca desdentada, sin que pudiera saber si me saludaban o si se trataba de un tic.

「副詞節」, 「主語」 「目的語」 「動詞」 e 「動詞」 「目的語」 「副詞句」, 「副詞節」
 Cuando クワント conj. ～したとき 「副詞節」
 se hubieron sentado, セ・ウビエロン・センタド 3 複点・完了形・直前過去完了(sentarse)
 v.pr 座った 「動詞句」
 casi todos カシ・トドス pl.n.m ほぼ全員が 「主語」
 me メ pron 僕を 「目的語」
 miraron ミロン 3 複点(mirar)v.t 見た 「動詞」
 e エ conj. そして
 inclinaron インクлинаロン 3 複点(inclinar)v.t 傾けた 「動詞」
 la cabeza ラ・カベサ n.f 頭を 「目的語」
 con modestia, コン・モデステア adv. 控えめに 「副詞句」
 los labios ロス・ラビオス pl.n.m 唇を 「目的語」
 sumidos en la boca スミトス・エン・ラ・ボカ adj. 口の中に沈み込ませて 「副詞句」
 desdentada, デステンタダ adj. 歯の抜けた 「形容詞」
 sin que シン・ケ conj. ～しないで 「副詞節」
 pudiera saber プデ・イェラ・サベール 接・1 単過・可能(poder+不定詞)
 v.t 分からなかった 「動詞句」
 si シ conj. ～かどうか 「目的語」
 me メ pron 僕に 「目的語」
 saludaban サルダバン 3 複線(saludar)v.t 挨拶していた 「動詞」
 o オ conj. それとも
 si シ conj. ～かどうか 「目的語」
 se trataba セ・トラタバ 3 複線(tratarse)v.pr(de) 問題は～であった 「動詞句」
 de un tic. デ・ウン・チック adv. 癖によって 「副詞句」

直前過去完了: haber の点過去活用 + 過去分詞

過去のある時点から見て、その直前に完了した出来事を表す。通常、点過去で代用する。

Primera parte 第1部

どちらかと言うと、僕に挨拶したのだと思う。

Creo más bien que me saludaban.

「動詞」「副詞」「目的語」

Creo クロ 1 単現(creer)v.t(que ~だと) 思う

「動詞」

más bien マス・ビエン adv. むしろ

「副詞」

que ケ conj. ~ということを

「目的語」

me メ pron 僕に

「目的語」

saludaban. サルダバン 3 複線(saludar)v.t 挨拶した

「動詞」

más bien que+ 「動詞」 「~するというより」

Devora más bien que come 彼は食べるというよりむさぼっている。

más bien que+ 「形容詞」 「~であるというより」

Está cansado más bien que enfermo. 彼は病気というより、むしろ疲れている。

この時、僕は気づいた。全員が門衛を囲んで僕の正面に座り、首を振っていたのだ。

Advertí en ese momento que estaban todos cabeceando, sentados enfrente de mí, en torno del portero.

「動詞」「副詞句」「目的語」

Advertí アトベルティ 1 単点(advertir)v.t ~に気付いた

「動詞」

en ese momento エン・エセ・モメント adv. この時

「副詞句」

que ケ conj. ~ということを

「目的語」

estaban ...cabeceando, エスタバン...カベセアント 3 複線・進行形(cabecear)

v.i 首を振っていた

「動詞句」

todos トス pron 全員が

「主語」

sentados センタドス 過去分詞(sentarse)v.pr 座って

「副詞句」

enfrente de mí, エンフレンテ・デ・ミ adv. 僕の正面に

「副詞句」

en torno del portero. エン・トルノ・デル・ポルテロ adv. 門衛を囲んで

「副詞句」

僕は一瞬、彼らは僕を裁くためにそこにいるのではないかという、妙な印象を抱いた。

Por un momento tuve la ridícula impresión de que estaban allí para juzgarme.

「副詞句」「動詞」「目的語」「形容詞節」

Por un momento ポル・ウン・モメント adv. 一瞬

「副詞句」

tuve トゥベ 1 単点(tener)v.t (感情を) 抱いた、持った

「動詞」

la ridícula impresión ラ・リディクラ・インプレシオン n.f 妙な印象を

「目的語」

de que デ・ケ conj. ~という

「形容詞節」

estaban エスタバン 3 複線・時制の一致(estar)v.i ~にいる

「動詞」

allí アジ adv. そこに

「副詞」

para juzgarme. パラ・フズガルメ adv. (目的) 僕を裁くために

「副詞句」

Primera parte 第1部

少ししてから、女の一人が泣き始めた。

Poco después una de las mujeres se echó a llorar.

「副詞句」「主語」「動詞句」

Poco después ポコ・デスプエス adv. 少ししてから

「副詞句」

una de las mujeres ウナ・デ・ラス・ムヘレス n.f 女の一人が

「主語」

se echó a llorar. セ・エチョ・ア・シヨラル 3 単点・開始(echarse a+不定詞)

v.pr 泣き始めた

「動詞句」

女は2列目で仲間の1人の陰に隠れていたもので、よく見えなかった。女は規則的にしゃくりあげて泣いていたが、決して泣き止まないように見えた。

Estaba en segunda fila, oculta por una de sus compañeras, y no la veía bien. Lloraba con pequeños gritos, regularmente; me parecía que no se detendría jamás.

「動詞」「副詞句」「補語」 y 「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞」

「動詞」「副詞句」; 「間接目的語」「動詞」「主語」

Estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i 〜にいた

「動詞」

en segunda fila, エン・セガンダ・フィラ adv. 2 列目に

「副詞句」

oculta オクルタ adj. 隠れた

「補語」

por una de sus compañeras, ポル・ウナ・デ・ス・コンパニェラス

adv. 仲間の1人の陰に

「副詞句」

y イ conj. そして、それで

no ...veía ノ...ベィア 1 単点・否定(ver)v.t 見えなかった

「動詞句」

la ラ pron 彼女を

「目的語」

bien. ビエン adv. よく

「副詞」

Lloraba シヨラバ 3 単線(llorar)v.i 泣いていた

「動詞」

con pequeños gritos, コン・ペケニョス・グリティス adv. しゃくりあげて

「副詞句」

regularmente; レグラルメンテ adv. 規則的に

「副詞」

me メ pron 僕には

「間接目的語」

parecía パレシア 3 単線(parecer)v.i 〜のように見えた

「動詞」

que ケ conj. 〜ということが

「主語」

no se detendría ノ・セ・デテンドリア 3 単過未・過去の推測・否定(detenerse)

v.pr 止まらないだろう

「動詞句」

jamás. ハマス adv. 決して

「副詞」

Primera parte 第1部

他の老人たちは、それが聞こえないようだった。彼らは、陰気に無言で、打ちひしがれた様子をしていて。

Los demás parecían no oírla. Se mostraban abatidos, tristes y silenciosos.

「主語」「動詞句」 | 「動詞句」「補語」

Los demás ロス・デマス pl.n.m 他の老人たちは 「主語」
 parecían +不定詞 パレシアン 3 複線(parecer+不定詞)v. ～しているように見えた 「動詞句」
 no oírla. ノ・オイール・ラ 不定詞・否定(oír+la)v.t それが見えぬ 「動詞句」
 Se mostraban セ・モストラバン 3 複線(mostrarse)v.pr (態度などを) 見せていた 「動詞句」
 abatidos, アバチトス adj.pl 打ちひしがれた 「補語」
 tristes y silenciosos. トリステス・イ・シレンシオス adv. 陰気に無言で 「副詞句」

彼らは棺や杖やその他の物をじっと見つめていたが、それ以外に視線を移す事は無かった。

Miraban el féretro o a sus bastones, o a cualquier cosa, pero no miraban a nada más.

「動詞」「目的語」 pero 「動詞句」「目的語」

Miraban ミラバン 3 複線(mirar)v.t 見つめていた 「動詞」
 el féretro エル・フェーレトロ n.m 棺 「目的語」
 o オ conj. または
 a sus bastones, ア・ス・バストネス pl.n.m 杖 「目的語」
 o オ conj. または
 a cualquier cosa, ア・クワルキエ・コサ n.f なにか他の物を 「目的語」
 pero ペロ conj. しかし
 no miraban ノ・ミラバン 3 複線・否定(mirar)v.t 見なかった 「動詞句」
 a nada más. ア・ナダ・マス pron 他には何も～ない 「目的語」

女はまだ泣いていた。僕は、彼女とは面識がなかったので、とても驚いた。

La mujer seguía llorando. Yo estaba muy asombrado porque no la conocía.

「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」「副詞節」

La mujer ラ・ムヘール n.f 女は 「主語」
 seguía llorando. セギア・ジョラント 3 単線・継続(seguir+現在分詞)
 v.i 泣き続けていた、まだ泣いていた 「動詞句」
 Yo ジョ pron 僕は 「主語」
 estaba エスタ 1 単線(estar)v.i ～だった 「動詞」
 muy asombrado ムイ・アソムブラト adj.(asombrar) とても驚いた 「補語」
 porque ポル conj. ～なので 「副詞節」
 no ...conocía. ノ...コノシア 1 単線・否定(conocer)
 v.t 面識がなかった、知らなかった 「動詞句」

Primera parte 第1部

la ラ pron 彼女を

「目的語」

これ以上泣き声を聞きたくなかった。だが、本人に敢えてそう言う訳にはいかなかった。

Hubiera querido no oírla más. Sin embargo, no me atrevía a decírselo.

「動詞句」 | 「副詞句」 「動詞句」

Hubiera querido +不定詞 ウビエラ・クリト 接・1 単過・完了形・願望(querer+不定詞)

v. ～したかった

「動詞句」

no oírla más. ノ・オイール・ラ・マス 不定詞(oír+la+más)v.t これ以上それを聞かない 「動詞句」

Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. それにもかかわらず 「副詞句」

no me atrevía a +不定詞 ノ・メ・アトレビ・ア 1 単線・否定・意思(atreverse a+不定詞)

v.pr あえて～しなかった

「動詞句」

decírselo. デシル・セ・ロ 不定詞(decir+se+lo)v.t 彼女にそれを言う 「動詞句」

門衛は、女のほうに向かって身をかがめて、話しかけたが、女は頭を揺さぶって、何かをぶつぶつ喋り、これまでと同じく規則的にしゃくりながら泣き続けた。

El portero se inclinó hacia ella y le habló, pero sacudió la cabeza, murmuró algo, y continuó llorando con la misma regularidad.

「主語」 「動詞句」 「副詞句」 y 「間接目的語」 「動詞」

pero 「動詞」 「目的語」, 「動詞」 「目的語」 y 「動詞句」 「副詞句」

El portero エル・ポルテロ n.m 門衛は 「主語」

se inclinó セ・インクリノ 3 単点(inclinarse)v.pr 身をかがめた 「動詞句」

hacia ella アシア・エジヤ adv. 彼女のほうに向かって 「副詞句」

y イ conj. そして

le レ pron 彼女に 「間接目的語」

habló, アブロ 3 単点(hablar)v.i 話しかけた 「動詞」

pero ペロ conj. しかし

sacudió サクディオ 3 単点(sacudir)v.t 振った、揺さぶった 「動詞」

la cabeza, ラ・カベサ n.f 頭を 「目的語」

murmuró ムルムロ 3 単点(murmurar)v.t ぶつぶつ言った 「動詞」

algo, アルゴ pron 何かを 「目的語」

y イ conj. そして

continuó llorando コンチヌオ・ジョラント 3 単点・継続(continuar+現在分詞)

v.i 泣き続けた

「動詞句」

con la misma regularidad. コン・ラ・ミスマ・レグulariダ adv. 同じく規則的に 「副詞句」

Primera parte 第1部

それから門衛はこちら側にやって来た。そして僕のそばに座った。

El portero vino entonces hacia mi lado. Se sentó cerca de mí.

「主語」「動詞」「副詞句」 | 「動詞句」「副詞句」

El portero エル・ポルテロ n.m 門衛は

「主語」

vino ビノ 3 単点(venir)v.i やって来た

「動詞」

entonces エントンス adv. それから

「副詞」

hacia mi lado. アシア・ミ・ラド adv. 僕の側に、こちら側に

「副詞句」

Se sentó セ・セント 3 単点(sentarse)v.pr 座った

「動詞句」

cerca de mí. セカ・デ・ミ adv. 僕のそばに

「副詞句」

かなり時間がたってから、僕を見ないで言った：「あの人はお母さまととても仲良しだったのです。ここでは唯一の友人だった、けれども今ではひとりぼっちになってしまったと言っています」

Después de un rato bastante largo me informó sin mirarme: "Estaba muy unida con su señora madre. Dice que era su única amiga aquí y que ahora ya no le queda nadie."

「副詞句」, 「間接目的語」「動詞」「副詞句」:

《「動詞」「補語」 | 「動詞」「目的語」 y 「目的語」》

Después de デースプ・エス・デ adv. 〜の後で

「副詞句」

un rato bastante largo ウン・ラト・バスタンテ・ラルゴ n.m かなり長い時間

「目的語」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

informó インフォルモ 3 単点(informar)v.t 知らせた

「動詞」

sin mirarme: シン・ミラル・メ adv. 僕を見ないで

「副詞句」

"Estaba エスタバ 3 単線(èssere)v.i ーだった

「動詞」

muy unida ムイ・ウニダ adj.f とても親密な仲の

「補語」

con su señora madre. コン・ス・セニョーラ・マトレ adv. あなたのお母さまとは

「副詞句」

Dice デイセ 3 単現(decir)v.t 言っている

「動詞」

que ケ conj. ーということを

「目的語」

era エラ 3 単線(ser)v.i ーだった

「動詞」

su única amiga ス・ウニカ・アミガ n.f 唯一の友達

「補語」

aquí アキ adv. ここで

「副詞」

y イ conj. そして

que ケ conj. ーということを

「目的語」

ahora アオラ adv. 今は

「副詞」

ya ヤー adv. もう

「副詞」

no ...queda ノ...クタ 3 単現・否定(quedar)v.i 残っていない

「動詞句」

le レ pron 彼女には

「間接目的語」

Primera parte 第1部

nadie " ナデェ pron 誰も

「主語」

僕は、長い時間、そんな風になっていた。

Quedamos un largo rato así.

「動詞」「副詞句」「補語」

Quedamos ケダモス 1 複点(quedar)v.i ~にしていた

「動詞」

un largo rato ウン・ラルゴ・ラト n.m 長い時間

「副詞句」

así. アシ adv. そんな風に

「補語」

あの女の溜息やすすり泣きはかなり少なくなった。

Los suspiros y los sollozos de la mujer se hicieron más raros.

「主語」「動詞句」「補語」

Los suspiros ロス・ススピ°ロス pl.n.m 溜息は

「主語」

y イ conj. そして

los sollozos ロス・ソジ°ヨス pl.n.m すすり泣きは

「主語」

de la mujer デ°ラ・ムヘール adj. あの女の

「形容詞句」

se hicieron セ°イシエロン 3 複点(hacerse)v.pr (+補語) ~になった

「動詞句」

más raros. マス・ラロス adj. かなりまれな

「補語」

女は激しく洩（はな）をすすりあげてから、やっと泣き止んだ。

Sorbía mucho, luego calló por fin.

「動詞」「副詞」, 「副詞」「動詞」「副詞句」

Sorbía ソルビァ 3 単線(sorber)v.t 洩（はな）をすすりあげた

「動詞」

mucho, ムチョ adv. 激しく

「副詞」

luego ルエゴ° adv. それから

「副詞」

calló カジョ° 3 単点(callar)v.i (callarse と同様) 黙り込んだ、泣き止んだ

「動詞」

por fin. ホル・フィン adv. やっと、ついに

「副詞句」

洩（はな）： 鼻腔の粘膜から分泌する鼻汁

僕はあまり眠くなかったが、疲れた気がした。それに腰の周りが痛かった。

Yo no tenía más sueño, pero me sentía fatigado y me dolía la cintura.

「主語」「動詞句」「目的語」 pero 「動詞句」「補語」 y 「間接目的語」「動詞」「主語」

Yo ジョ pron 僕は

「主語」

no tenía ノ・テニア 1 単線・否定(tener)v.t なかった

「動詞句」

más sueño, マス・スエニョ n.m (否定文で) あまり眠気が

「目的語」

pero ペ° conj. しかし

me sentía メ°センチァ 1 単線(sentirse)v.pr 自分が~だと感じた

「動詞句」

fatigado ファチガト° 過去分詞(fatigar)adj. 疲れた

「補語」

y イ conj. そして

Primera parte 第1部

me メ pron 僕にとって 「間接目的語」
 dolía ドリア 1 単線(doler)v.i 痛かった 「動詞」
 la cintura. ラ・シントゥラ n.f 腰の周りが、胴回りが 「主語」

今は、この老人たちの沈黙が、僕には苦痛になってしまった。

Ahora me resultaba penoso el silencio de todas esas gentes.

「副詞」「間接目的語」「動詞」「補語」「主語」

Ahora アハラ adv. 今は 「副詞」
 me メ pron 私にとって 「間接目的語」
 resultaba レスルバ 3 単線(resultar)v.i (+主格補語) 〜の結果になった 「動詞」
 penoso ペノソ adj. 骨の折れる、苦痛な 「補語」
 el silencio エル・シレンシオ n.m 沈黙は 「主語」
 de todas esas gentes. デ・トダス・エス・ヘンテス adj. この老人たちの 「形容詞句」

時々、変な音だけは聞こえたが、それが何の音なのかは分からなかった。

Sólo de vez en cuando oía un ruido singular y no podía comprender qué era.

「副詞句」「動詞」「目的語」 y 「動詞句」「目的語」

Sólo ソロ adv. 〜だけ 「副詞」
 de vez en cuando デ・ベス・エン・クワント adv. 時々 「副詞句」
 oía オイ 1 単線(oír)v.t 聞こえた 「動詞」
 un ruido ウン・ルト n.m 物音が 「目的語」
 singular シングラー adj. 風変わりな 「形容詞」
 y イ conj. しかし
 no podía comprender ノ・ポデア・コンプレンデール 1 単線・可能・否定(poder+不定詞)
 v.t 分からなかった 「動詞句」
 qué ケ pron 何が〜するかということ 「目的語」
 era. エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった 「動詞」

しばらくして、やっと謎が解けた。老人たちの何人かが頬の内側を吸って、奇妙な舌打ちの音を漏らしていたのだ。

A la larga acabé por adivinar que algunos de los ancianos chupaban el interior de las mejillas y dejaban escapar unos raros chasquidos. 「副詞句」「動詞句」「目的語」

A la larga ア・ラ・ラルガ adv. しばらくして 「副詞句」
 acabé por adivinar アカベ・ポル・アディビナル 1 単点・結末(acabar por+不定詞)
 v.t 結局は謎を解いた 「動詞句」
 acabar por+不定詞 「結局は〜する」 adivinar アディビナル v.t 見抜く、謎を解く

Primera parte 第1部

que ケ conj. ～ということを	「目的語」
algunos de los ancianos アルグノス・デ・ロス・アンシアノス	
pl.n.m 老人たちの何人かが	「主語」
chupaban チュパバン 3 複線(chupar)v.t 吸っていた	「動詞」
el interior エル・インテリオール n.m 内側を	「目的語」
de las mejillas デ・ラス・メジヤス adj. 頬の	「形容詞句」
y イ conj. そして	
dejaban escapar デハバン・エスカパール 3 複線・放任(dejar+不定詞)	
v.i 逃れさせていた、漏らしていた	「動詞句」
unos raros ウノス・ラロス adj.pl.m 奇妙な	「形容詞句」
chasquidos. チャスキトス pl.n.m 舌打ちの音を	「目的語」

彼らはあまりにも自分たちの思いに耽っていたので、そのことに気づいてさえいないのだ。

Tan absortos estaban en sus pensamientos que ni se daban cuenta.

	「補語」「動詞」「副詞句」「副詞節」
Tan absortos タン・アブソルトス adj. あまりにも没頭した	「補語」
estaban エスタバン 3 複線(estar)v.i ～だった	「動詞」
en sus pensamientos エン・スス・ペンサミエントス adv. 自分たちの思いに	「副詞句」
que ケ conj. (tan～ que あまりに～なので) ～しない	「副詞節」
ni ニ adv. (否定の強調) ～さえ～ない	「副詞」
se daban cuenta. セ・ダバン・クエンタ 3 複線・時制の一致(darse cuenta)	
v.pr (否定文で) 気付いていない	「動詞句」
darse cuenta de... 「～に気づく、わかる」	
No me he dado cuenta de que estabas aquí. 君がここに居たのに気付かなかったよ。	

彼らの中央に横たわっている死者は、彼らの目には何の意味もないのだ、という印象を僕は抱いた。しかし、今では、その印象は間違っていたと思う。

Tenía la impresión de que aquella muerta, acostada en medio de ellos, no significaba nada ante sus ojos. Pero creo ahora que era una impresión falsa.

	「動詞」「目的語」
	「動詞」「副詞」「目的語」
Tenía テニア 1 単線(tener)v.t 持った	「動詞」
la impresión ラ・インプレシオン n.f 印象を	「目的語」
de que デ・ケ conj. ～するという	「形容詞節」
aquella muerta, アケジャ・ムエルタ n.f あその死者は	「主語」
acostada アコスタダ 過去分詞・受動(acostar)	
adj. 横たえられた、横たわった	「形容詞句」

Primera parte 第1部

en medio de ellos, エン・メディオ・デ・エシヨス

adv. 彼らの中央に 「副詞句」

no significaba ノ・シグニフィカバ 3 単線・否定(significar)

v.t 意味しなかった 「動詞句」

nada ナダ pron 何も～ない 「直接目的語」

ante sus ojos. アンテ・ス・ホソ adv. 彼らの目にとっては 「間接目的語」

Pero ペロ conj. しかし

creo クロ 1 単現(creer)v.t(que ～だと) 思う 「動詞」

ahora アオラ adv. 今では 「副詞」

que ケ cojn. ～ということを 「目的語」

era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」

una impresión falsa. ウン・インプレシオン・ファルサ n.f 間違った印象 「補語」

皆は門衛がいてくれたコーヒーを飲んだ。その後はもう分からない。夜が過ぎていった。

Todos tomamos café, servido por el portero. Después, no sé más. La noche pasó.

「主語」「動詞」「目的語」 | 「副詞」「動詞句」「副詞」 | 「主語」「動詞」

Todos トドス pron.pl 皆は 「主語」

tomamos トマモス 1 複点(tomar)v.t 飲んだ 「動詞」

café, カフェ n.m コーヒーを 「目的語」

servido セルビド 過去分詞・受動(servir)adj. 出された 「形容詞句」

por el portero. ホル・エル・ポルテロ adv. 門衛によって 「副詞句」

Después, デスプエス adv. その後は 「副詞」

no sé ノセ 1 単現・否定(saber)v.t わからない 「動詞句」

más. マス adv. もう 「副詞」

La noche ラ・ノチェ n.f 夜は 「主語」

pasó. パソ 3 単点(pasar)v.i (時が) 過ぎた 「動詞」

Primera parte 第1部

僕は、ある時目を開けたことを覚えている。そして、老人たちが背中を丸めうずくまって眠っているのを見た。しかし1人だけは、しっかり杖をつかんだ手の甲の上に顎をのせて、まるで僕が目覚めることだけを待っているように、じっと僕を見ていた。

Recuerdo que en cierto momento abrí los ojos y vi que los ancianos dormían amontonados, excepto uno que me miraba fijamente, con la barbilla apoyada en el dorso de las manos aferradas al bastón, como si no esperase sino mi despertar.

「動詞」「目的語」 y 「動詞」「目的語」

Recuerdo レクエルト^レ 1 単現(recordar)v.t 覚えている

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

en cierto momento エン・シェルト・モメント adv. ある時に

「副詞句」

abrí アブリ 1 単点(abrir)v.t 開けた

「動詞」

los ojos ロス・オホス pl.n.m 目を

「目的語」

y イ conj. そして

vi ビ^レ 1 単点(ver)v.t 見た

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

los ancianos ロス・アンシアノス pl.n.m 老人たちは

「主語」

dormían トルミアン 3 複線(dormir)v.i 眠っていた

「動詞」

amontonados, アモントナド^ス 過去分詞.pl(amontonarse)adv. かがみこんで

「副詞」

amontonado アモントナド^レ 過去分詞(amontonarse)adv. 自分自身に積み重なって

excepto uno エクセプト・ウノ adv. 1 人を除いて

「副詞句」

que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

me メ pron 僕を

「目的語」

miraba ミラバ^レ 3 単線(mirar)v.t 見ていた

「動詞」

fijamente, フィハメンテ adv. じっと

「副詞」

con la barbilla コン・ラ・バルビ^レジャ adv. 顎をして

「副詞句」

apoyada アポ^レジャダ^レ 過去分詞(apoyar)

adj.f もたれかかった

「形容詞句」

en el dorso de las manos エン・エル・トルソ・デ^レ・ラス・マノス

adv. 手の甲の上に

「副詞句」

aferradas アフェラダ^ス 過去分詞(aferrar)adj.f.pl しっかりつかんだ

「形容詞」

al bastón, アル・バ^レストン

adv. 杖を「間接目的語」

como si コモ・シ conj. まるで～であるかのように

「副詞節」

no esperase ノ・エスペ^レラセ 3 単現・否定(esperarse)

v.pr 待ち望まない

「動詞句」

Primera parte 第1部

sino +不定詞 シノ adv. ～することを除いて 「副詞句」

mi despertar. ミ・デスぺルタール 不定詞(despertarse)

v.pr 僕が目覚める 「動詞句」

→ 僕が目覚めることだけを待っている (否定 x 否定 → 強調)

その後、僕はまた眠った。だんだん腰の痛みがひどくなったので、僕は目覚めた。

Luego volví a dormir. Me desperté porque cada vez me dolía mas la cintura.

「副詞」「動詞句」 | 「動詞句」「副詞節」

Luego ルエゴ adv. その後

「副詞」

volví a dormir. ボルビ・ア・ドルミール・メ 1 単点・再度(volver a+不定詞 dormirse)

v.pr また眠った

「動詞句」

Me desperté メ・デスぺルテ 1 単点(despertarse)v.pr 目覚めた

「動詞句」

porque ボルケ conj. ～なので

「副詞節」

cada vez カダ・ベス adv.(mas) 次第に、だんだん

「副詞句」

me メ pron 僕にとって

「間接目的語」

dolía トリア 3 単線(doler)v.i 痛かった

「動詞」

mas マス adv. (cada vez mas) より強く

「副詞句」

la cintura. ラ・シントウラ n.f 腰回りが

「主語」

朝日が、ガラス窓の天井に差し込んできた。

El día resbalaba sobre el techo de vidrio.

「主語」「動詞」「副詞句」

El día エル・デア n.m 朝日が

「主語」

resbalaba レスパラバ 3 単線(resbalar)v.i 滑ってきた

「動詞」

sobre el techo de vidrio. ソブレ・エル・テチョ・デ・ビドリョ adv. ガラス窓の天井に

「副詞句」

少しして、老人の1人が目を覚まして、ひどく咳をした。

Poco después uno de los ancianos se despertó, y tosió mucho.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」 y 「動詞」「副詞」

Poco después ポコ・デスプエス adv. すぐ後に、やがて

「副詞句」

uno de los ancianos ウノ・デ・ロス・アンシアノス pron 老人の1人が

「主語」

se despertó, セ・デスぺルト 3 単点(despertarse)v.pr 目を覚ました

「動詞句」

y イ conj. そして

tosió トシオ 3 単点(toser)v.i 咳をした

「動詞」

mucho. ムチョ adv. ひどく

「副詞」

Primera parte 第1部

老人は格子縞の大きなハンカチに痰を吐いたが、痰を吐くごとに、喉が引き裂けるほどの騒ぎだった。

Escupía en un gran pañuelo a cuadros y cada una de las escupidas era como un desgarramiento.

「動詞」「副詞句」 y 「副詞句」「動詞」「補語」

Escupía エスキピア 3 単線(escupir)v.t 痰を吐いた

「動詞」

en un gran pañuelo エン・ウン・グラン・パニエロ adv. 大きなハンカチに

「副詞句」

a cuadros ア・クワドロス adj. 格子縞の

「形容詞句」

y イ conj. そして

cada una カダ・ウナ pron 1 回ごとに

「副詞句」

de las escupidas デ・ラス・エスキピダス adj.f.pl 痰を吐く

「形容詞句」

escupidas 過去分詞 adj.f.pl 名詞化 痰を吐くこと

era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった

「動詞」

como コモ adv. ~のような

「補語」

un desgarramiento. ウン・デスカラメント n.m 引き裂くこと

「目的語」

その音で、他の老人たちも目を覚ましたので、門衛は彼らに部屋に帰るように言った。

Despertó a los demás, y el portero dijo que debían marcharse.

「動詞」「目的語」 y 「主語」「動詞」「目的語」

Despertó デスパルト 3 単点(despertar)v.t 目覚めさせた

「動詞」

a los demás, ア・ロス・デマス pl.pron その他の人たちを

「目的語」

y イ conj. それで

el portero エル・ポルテロ n.m 門衛は

「主語」

dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

que ケ conj. ~ということ

「目的語」

debían marcharse. デビアン・マルチャルセ 3 複線・義務(deber+不定詞)

v.pr 帰らなくてはならない

「動詞句」

彼らは立ち上がった。窮屈な姿勢で通夜を過ごしたので、彼らの顔は灰色になっていた。

Se levantaron. La incómoda velada les había dejado los rostros de color ceniza.

「動詞句」 | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Se levantaron. セ・レバンタロン 3 複点(levantarse)v.pr 立ち上がった

「動詞句」

La incómoda velada ラ・インコモダ・ベラダ n.f 居心地の悪い通夜は

「主語」

incómoda adj. 居心地の悪い velada n.f 夜会→通夜

les レス pron 彼らに

「間接目的語」

había dejado アビア・デハド 3 単線・完了形(dejar)v.t 残した

「動詞句」

los rostros ロス・ロストロス pl.n.m 顔を

「直接目的語」

Primera parte 第1部

de color ceniza. デ・コロール・セニサ adj. 灰色の

「形容詞句」

非常に驚いたことに、彼らは、帰り際に、皆が僕の手を握っていった。それはまるで、一言も交わさなかったその一夜が、僕たちの親密さを増してくれたかのようにであった。

Al salir, con gran asombro mío, todos me estrecharon la mano, como si esa noche durante la cual no cambiamos una palabra hubiese acrecentado nuestra intimidad.

「副詞句」, 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞節」

Al salir, アル・サール adv. 帰るときに、帰り際に 「副詞句」

con gran asombro mío, コン・グラン・アソンブ・ロ・ミオ adv. (様態) 非常に驚いたことに 「副詞句」

todos ト・ス pron 皆が 「主語」

me メ pron 僕の 「間接目的語」

estrecharon エストレチャロン 3 複点(estrechar)v.t 握りしめた 「動詞」

la mano, ラ・マノ n.f 手を 「直接目的語」

como si +接続法 コモ・シ conj. あたかも〜のように 「副詞節」

esa noche エサ・ノチェ n.f その夜が 「主語」

durante la cual ドゥランテ・ラ・クワール adj. その夜の間中〜した 「形容詞節」

no cambiamos ノ・カンビアモス 1 複点・否定(cambiar)

v.t (言葉を) 交わさなかった 「動詞句」

una palabra ウナ・パラブラ n.f 一言も 「目的語」

hubiese acrecentado ウビエ・エ・アクレセントア 接・3 単点・完了形・推量(acrecentar)

v.t 増加させただろう 「動詞句」

nuestra intimidad. ヌエストラ・インチミダド n.f 僕たちの親密さを 「目的語」

僕は疲れていた。門衛が彼の部屋に案内してくれたので、僕は少し身繕いができた。

Estaba fatigado. El portero me condujo a su habitación y pude arreglarme un poco.

「動詞」「補語」「主語」 | 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」 y 「動詞句」「副詞句」

Estaba エスタバ 1 単線(estar)v.i 〜だった 「動詞」

fatigado. ファチガド 過去分詞・受動(fatigar)adj 疲れた 「補語」

El portero エル・ポルテロ n.m 門衛は 「主語」

me メ pron 僕を 「目的語」

condujo コントゥホ 3 単点(conducir)v.t(a に) 案内した 「動詞」

a su habitación ア・ス・アビタシオン adv. 彼の部屋へ 「副詞句」

y イ conj. そして

pude arreglarme プデ・アレグラル・メ 1 単点・可能(poder+不定詞)

v.pr 身なりを整えることができた 「動詞句」

un poco. ウン・ポコ adv. 少し 「副詞句」

Primera parte 第1部

僕はカフェオレを飲んだ。とても旨かった。外に出ると、すっかり日が昇っていた。

Tomé café con leche, que estaba muy bueno. Cuando salí era completamente de día.

「動詞」「目的語」, 「主語」「動詞」「補語」 | 「副詞節」, 「動詞」「補語」

Tomé トメ 1 単点(tomar)v.t (お茶を) 飲んだ 「動詞」

café con leche, カフェ・コン・レチェ n.m カフェ・オ・レを 「目的語」

que ケ pron それは 「主語」

estaba エスタバ 3 単点(estar)v.i ~だった 「動詞」

muy bueno. マイ・ブエノ adj. とても旨い 「補語」

Cuando クワンド conj. ~したとき 「副詞節」

salí サリ 1 単点(salir)v.i 外に出た 「動詞」

era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」

completamente de día. コンプレタメンテ・デ・デイア adj. 完全に日中の 「補語」

マランゴと海を分離している丘陵地帯の上空は、朝焼けで曙色になっていた。

Sobre las colinas que separan a Marengo del mar, el cielo estaba arrebolado.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」

Sobre las colinas ソブレ・ラス・コリナス adv. 丘の上は 「副詞句」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

separan セパラン 3 複現(separar)v.t 分けている、分離している 「動詞」

a Marengo ア・マレンゴ n.m マランゴを 「目的語」

del mar, デル・マル adv. 海から 「副詞句」

el cielo エル・シエロ n.m 空は 「主語」

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ~だった 「動詞」

arrebolado. アルボラド 過去分詞・受動(arrebolar)adj. 曙色になった 「補語」

曙色 (あけぼの) : 朝焼け (H16, S47, B98: R249, G163, B131)

茜色 (あかね) : 夕焼け (H355, S74, B62: R157, G41, B50)

そして海風が潮の香を運んできた。気持ちの良い1日になりそうだった。

Y el viento traía olor a sal. Se preparaba un hermoso día.

Y 「主語」「動詞」「目的語」 | 「動詞句」「主語」

Y イ conj. そして

el viento エル・ビエント n.m 風が 「主語」

traía トライ 3 単線(traer)v.t もたらしていた 「動詞」

olor a sal. オール・ア・サル n.m 潮の香りを 「目的語」

olor オール n.m (+a+無冠詞名詞 の) におい、香り

Primera parte 第1部

Se preparaba セ・プレパ・ラハ 3 単線(prepararse)

v.pr. ～が来そうだった、～の前兆があった

「動詞句」

un hermoso día. ウン・エルモソ・デア n.m 好天の1日が

「主語」

長い間、田舎に来ていなかったなので、母さんのことがなければ、散歩をしたら楽しいだろうという気がした。

Hacia mucho que no iba al campo y sentía el placer que habría tenido en pasearme de no haber sido por mamá. 「動詞」「副詞」 y 「動詞」「目的語」

Hacia アシア 3 単線・単人称(hacer)v.h(que ～してから) ... になる

「動詞」

mucho ムチョ adv. 長い時間

「副詞」

que ケ conj. ～してから

「副詞節」

no iba ノ・イハ 1 単線・否定(ir)v.i 行かない

「動詞句」

al campo アル・カンポ adv. 田舎に

「副詞句」

y イ conj. そして

sentía センチア 1 単線(sentir)v.t 感じた

「動詞」

el placer エル・プラセール n.m 喜びを

「目的語」

que ケ pron. ～する

「形容詞節」

habría tenido アブリア・テント 1 単過未・完了形・過去の推測(tener)

v.t 持っただろう

「動詞句」

en pasearme エン・パセアルメ adv. 散歩するのに

「副詞句」

de +不定詞 デ adv. ～すれば

「副詞句」

no haber sido ノ・アベール・シト 不定詞・完了形・否定(ser)

v.i. ～でなかった

「動詞句」

por mamá. ポル・ママ adv. (原因) 母さんのことが

「副詞句」

母さんのことがなければ、散歩をすることに対して、持ったであろう喜びを感じた

しかし僕は中庭のプラタナスの下で待った。朝の生气にあふれる土の香りを嗅ぐと、もう眠気は消えていた。

Pero esperé en el patio, debajo de un plátano. Aspiraba el olor de la tierra fresca y no tenía más sueño. Pero 「動詞」「副詞句」 | 「動詞」「目的語」 y 「動詞句」「目的語」

Pero ペロ conj. しかし

esperé エスペレ 1 単点(esperar)v.i 待った

「動詞」

en el patio, エ・ネル・パチオ adv. 中庭で

「副詞句」

debajo de un plátano. デバホ・デ・ウン・プラタノ adv. プラタナスの下で

「副詞句」

Aspiraba アスピラハ 1 単線(aspirar)v.t 吸い込んでいた

「動詞」

el olor エル・オール n.m 香りを

「目的語」

Primera parte 第1部

de la tierra fresca デ・ラ・ティエラ・フレスカ adj. 新鮮な土の

「形容詞句」

y conj. そして

no tenía ノ・テニア 1 単線・否定(tener)v.t なかった

「動詞句」

más sueño. マス・スエニョ n.m (否定文で) あまり眠気が

「目的語」

会社の同僚のことを思い浮かべた。この時間には、仕事に行くために起きているだろう；だが、僕にとっては、いつも一番にがてな時間だ。

Pensé en los compañeros de oficina. A esta hora se levantaban para ir al trabajo; para mí era siempre la hora más difícil.

「動詞」「間接目的語」 | 「副詞句」「動詞句」「副詞句」; 「副詞句」「動詞」「補語」

Pensé ペンセ 1 単点(pensar)v.i(en について) 思い浮かべた

「動詞」

en los compañeros エン・ロス・コンパニエロス adv. 同僚のことを

「間接目的語」

de oficina. デ・オフィナ adj. 会社の

「形容詞句」

A esta hora ア・エスタ・オラ adv. この時間には

「副詞句」

se levantaban セ・レバンタバン 3 複線(levantarse)v.pr (ベッドから) 起きた

「動詞句」

para +不定詞 パラ adv. ~するために

「副詞句」

ir イル 不定詞 v.i 行く

「動詞」

al trabajo; アル・トラバホ adv. 仕事に

「間接目的語」

para mí パラ・ミ adv. 僕にとっては

「副詞句」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ~である

「動詞」

siempre シエンプレ adv. いつも

「副詞」

la hora ラ・オラ n.f 時間

「補語」

más difícil. マス・ディフィシル adj. 一番困難な、苦手な

「形容詞句」

僕は少しの間そんな事を考えていた。しかし建物の中で鳴り響く鐘の音で気をそらされた。

Reflexioné un momento sobre esas cosas, pero me distrajo una campana que sonaba en el interior de los edificios.

Reflexioné レフレクシオネ 1 単点(reflexionar)v.i 熟考した

「動詞」

un momento ウン・モメント adv. 少しの間

「副詞句」

sobre esas cosas, ソブレ・エス・コサス pl.n.f そのようなことを

「間接目的語」

pero ペロ conj. しかし

me メ pron 僕を

「目的語」

distrayo デイストラホ 3 単点(distraer)v.t ~の気をそらせた

「動詞」

una campana ウナ・カンパナ n.f 鐘が

「主語」

que ケ pron ~する

「形容詞節」

sonaba ソナバ 3 単線(sonar)v.i 鳴り響いた

「動詞」

Primera parte 第1部

en el interior エ・ネル・インテリオル adv. ～の内部で 「副詞句」
 de los edificios. デ・ロス・エディフィシオス adj. 建物の 「形容詞句」

窓の向こうで、人の動きがあった：それから、まったく静かになった。

Hubo movimientos detrás de las ventanas: luego, todo quedó en calma.

「動詞」「目的語」「副詞句」：「副詞」「主語」「動詞」「補語」
 Hubo ウボ 3 単点(haber)v.t. ～があった 「動詞」
 英語の there was ... と同じ意味だが、スペイン語では... は主語ではなく目的語
 movimientos モビ・ミエントス pl.n.m 人の動きが 「目的語」
 detrás デ・トラス adv. ～の裏側で 「副詞句」
 de las ventanas: デ・ラス・ベンタナス adj.pl 窓の 「形容詞句」
 luego, ルエゴ adv. それから 「副詞」
 todo トド pron すべてが 「主語」
 quedó クエド 3 単点(quedar)v.i (～の状態に) なった 「動詞」
 en calma. エン・カルマ adv. 静かな状態に 「補語」

太陽はさらに空高く上り、僕の足を温め始めていた。

El sol estaba algo más alto en el cielo; comenzaba a calentarme los pies.

「主語」「動詞」「副詞句」；「動詞句」「目的語」
 El sol エル・ソル n.m 太陽は 「主語」
 estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i. ～になっていた 「動詞」
 algo más alto アルゴ・マス・アルト adv. さらに高い位置に 「副詞句」
 en el cielo; エン・エル・シエルト adv. 空の上で 「副詞句」
 comenzaba a calentarme コメンサバ・ア・カレントル・メ 3 単線・開始(comenzar a+不定詞)
 v.t(calentar+me 僕の... を) 温め始めていた 「動詞句」
 los pies. ロス・ッピ・エス pl.n.m 足を 「目的語」

門衛が中庭を横切ってやってきて、院長が僕を呼んでいると伝えた。

El portero cruzó el patio y me dijo que el director me llamaba.

「主語」「動詞」「目的語」 y 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
 El portero エル・ポ・ルテロ n.m 門衛が 「主語」
 cruzó クロソ 3 単点(cruzar)v.t 横切ってきた 「動詞」
 el patio エル・パチオ n.m 中庭を 「目的語」
 y イ conj. そして
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Primera parte 第1部

que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 el director エル・ディレクトール n.m 院長が 「主語」
 me メ pron 僕を 「目的語」
 llamaba. ジャマハ 3 単線・時制の一致(llamar)v.t 呼んでいる 「動詞」

僕は院長室へ行った。院長は僕に何通かの書類に署名をさせた。

Fui a su despacho. Me hizo firmar cierta cantidad de documentos.

「動詞」「間接目的語」 | 「目的語」「動詞」「補語」
 Fui フイ 1 単点(ir)v.i(a へ) 行った 「動詞」
 a su despacho. ア・ス・デスパチョ adv. 院長室へ 「間接目的語」
 Me メ pron 僕に 「目的語」
 hizo イ 3 単点・使役(hacer)v.t(人+不定詞) ～させた 「動詞」
 firmar フィルマル 不定詞 v.t サインする、署名する 「補語」
 cierta cantidad de documentos. シェルタ・カンチダ・デ・ドクメントス
 pl.n.m 何通かの書類を 「目的語」
 cierta シェルタ adj. いくらかの、ある程度の cantidad カンチダ n.f 量

僕は、院長が縞のズボンをはいて、黒い服を着ているのに気が付いた。

Vi que estaba vestido de negro con pantalón a rayas. 「動詞」「目的語」
 Vi ビ 1 単点(ver)v.t ～に気付いた、見えた 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 estaba vestido エスタバ・ベスチド 3 単線・完了形(vestir)
 v.i(de ～に) 服を着ていた 「動詞句」
 de negro デ・ネグロ adj. 黒の 「形容詞句」
 con pantalón a rayas. コン・パンタロン・ア・ラヤス adv. 縞のズボンをはいて 「副詞句」

院長は電話機を取ってから、僕に尋ねた：「少し前に葬儀社の者が到着しました。そろそろ棺のふたを閉じるように、彼らに指示しようと思いますが、その前に、最後にお母さまにご対面なさいますか？」

Tomó el teléfono y me interpeló: "Los empleados de pompas fúnebres han llegado hace un momento. Voy a pedirles que vengan a cerrar el féretro. ¿Quiere usted ver antes a su madre por última vez?"

「動詞」「目的語」 y 「間接目的語」「動詞」：《「主語」「動詞句」「副詞句」
 「動詞句」「目的語」 | 「動詞句」「主語」「副詞」「目的語」「副詞句」》
 Tomó トモ 3 単点(tomar)v.t 取った 「動詞」
 el teléfono エル・テレフォノ n.m 電話機を 「目的語」

Primera parte 第1部

y	イ conj.	そして	
me	メ pron	僕に	「間接目的語」
interpeló:	インテルペロ	3 単点(interpelar)v.t	「動詞」
"Los empleados de pompas fúnebres			
pl.n.m	葬儀社の職員が		「主語」
han llegado	アン・ジエガド	3 複現・完了形(llegar)v.i	「動詞句」
hace un momento.	アセ・ウン・モメント	adv.	「副詞句」
Voy a pedirles	ボイ・ア・ペディル・レス	1 単現・意思(ir a+不定詞)	
v.t	彼らに指示をしに行く		「動詞句」
que	ケ conj.	～ということを	「目的語」
vengan a cerrar	ベンカ・ン・ア・セラル	3 複現・接近・命令(venir a+不定詞)	
v.t	そろそろ閉めなさい		「動詞句」
el féretro.	エル・フェレトロ	n.m	「目的語」
¿Quiere ...ver	キエ...ベール	3 単現・願望・疑問文(querer+不定詞)	
v.t	ご覧になりますか?		「動詞句」
usted	ウステ	pron	「主語」
antes	アンテス	adv.	「副詞」
a su madre	ア・ス・マトレ	n.f	「目的語」
por última vez?"	ポル・ウルティマ・ベス	adv.	「副詞句」

僕は、いいえ、結構ですと答えた。彼は、声を低くして、電話で命じた：「フィジャック、彼らに、始めるように言いなさい」

Dije que no. Ordenó por teléfono, bajando la voz: "Fíjese, diga usted a los hombres que pueden ir."

「動詞」「目的語」 | 「動詞」「副詞句」「目的語」:

《「呼びかけ」「動詞」「主語」「間接目的語」「直接目的語」》

Dije	ディエ	1 単点(decir)v.t	「動詞」
que no.	ケ・ノ	conj.	「目的語」
Ordenó	オルデノ	3 単点(ordenar)v.t	「動詞」
por teléfono,	ポル・テレフォノ	adv.	「副詞句」
bajando	バハント	現在分詞(bajar)v.t	「副詞句」
la voz:	ラ・ボス	n.f	「目的語」
"Fíjese,	フィジャック	n.m	「呼びかけ」
diga	ディガ	命・3 単現(decir)v.t	「動詞」
usted	ウステ	pron	「主語」
a los hombres	ア・ロス・オンブレス	pl.n.m	「間接目的語」
que	ケ	conj.	「直接目的語」

Primera parte 第1部

pueden ir." プエデン・イール 3 複現・許可(poder+不定詞)

v.i 始めても構わない

「動詞句」

彼はすぐに自分も葬儀に参列する予定だと言ったので、僕は感謝を伝えた。

Enseguida me dijo que asistiría al entierro y le di las gracias.

「副詞」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 y 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Enseguida エンセギダ adv. すぐに

「副詞」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

asistiría アシスチリア 3 単過未・予定(asistir)v.i 出席する予定だ

「動詞」

al entierro アル・エンチエロ adv. 葬儀に

「間接目的語」

y イ conj. そして

le レ pron 彼に

「間接目的語」

di ディ 1 単点(dar)v.t 伝えた

「動詞」

las gracias. ラス・グラシアス pl.n.f 感謝を

「直接目的語」

彼は事務机の前に腰かけ、短い脚を組んだ。

Se sentó ante el escritorio y cruzó las pequeñas piernas.

「動詞句」「副詞句」 y 「動詞」「目的語」

Se sentó セ・セント 3 単点(sentarse)v.pr 腰かけた

「動詞句」

ante el escritorio アンテ・エル・エスクリトリオ adv. 事務机の前に

「副詞句」

y イ conj. そして

cruzó クロ 3 単点(cruzar)v.t (脚を) 組んだ

「動詞」

las pequeñas piernas. ラス・ペ・ケニャス・ピエルナス pl.n.f 短い脚を

「目的語」

葬儀では、当番の看護婦を含めて、僕と彼だけになると教えてくれた。

Me advirtió que yo y él estaríamos solos con la enfermera de servicio.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Me メ pron 僕に

「間接目的語」

advirtió アドビールチオ 3 単点(advertir)v.t 知らせた、教えた

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

yo y él ジョ・イ・エル pron 僕と彼は

「主語」

estaríamos エスタリアモス 1 複過未・予定(estar)v.i ～になるだろう

「動詞」

solos, ソロス adj.pl だけ

「補語」

con la enfermera コン・ラ・エンフェルメラ adv. 看護婦を含めて

「副詞句」

Primera parte 第1部

de servicio. デ・セルビシオ adj. 当番の

「形容詞句」

原則として、入寮者は葬儀に参列できないことになっていた。

En principio los pensionistas no debían de asistir a los entierros.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」

En principio エン・ピリンシピオ adv. 原則として、仮に

「副詞句」

los pensionistas ロス・ペンシオニスタス pl.n 入寮者たちは

「主語」

pensionista ペンシオニスタ n. 年金生活者、下宿人、(養老院の) 入寮者

no debían de asistir ノ・デビアン・デ・アシスチール 3 複線・禁止(deber de+不定詞)

v.i(a に) 参列できない、出席できない

「動詞句」

a los entierros. ア・ロス・エンチエロス adv. 葬儀に

「間接目的語」

通夜に出ることだけは許可しています。「人情の問題ですから」と、彼は説明した。

El sólo les permitía velar. "Es cuestión de humanidad", señaló.

「副詞句」 「間接目的語」 「動詞句」 | 《「動詞」 「補語」》, 「動詞」

El sólo エル・ソロ adv. ～だけ

「副詞句」

les レス pron 彼らに

「間接目的語」

permitía velar. ヘルミチア・ベラール 3 単線・許可(permitir+不定詞)

v.t 通夜に出ることを許している

「動詞句」

"Es エス 3 単現(ser)v.i ～である

「動詞」

cuestión クエスチオン n.f 問題

「補語」

de humanidad", デ・ウマニダド adj. 人情の

「形容詞句」

señaló. セニャロ 3 単点(señalar)v.t 指摘した

「動詞」

しかし今回は母さんの親友のトマス・ペレスに、葬列についていく許可を与えていた。

Pero en este caso había autorizado a seguir el cortejo a un viejo amigo de mamá: "Tomás Pérez".

Pero 「副詞句」 「動詞句」 「補語」 「目的語」

Pero ペロ conj. しかし

en este caso エン・エステ・カソ adv. 今回については

「副詞句」

había autorizado アビア・アウトリサド 3 単線・完了形・許可(autorizar a+不定詞)

v.t ～する許可を与えていた

「動詞句」

a seguir ア・セギール 不定詞・目的語の動作 v.t ～についていく

「補語」

el cortejo エル・コルテホ n.m 行列、葬列

「目的語」

a un viejo amigo de mamá: ア・ウン・ビエホ・アミゴ・デ・ママ adv. 母さんの親友に

「目的語」

"Tomás Pérez". トマス・ペレス n.m (同格) トマス・ペレスという

「形容詞句」

Primera parte 第1部

ここで院長は微笑んで、僕に言った：「言ってみれば、ほんの子供じみた感情なんです」

Aquí el director sonrió. Me dijo: "Comprende usted, es un sentimiento un poco pueril.

「副詞」「主語」「動詞」 | 「目的語」「動詞」：《「呼びかけ」「動詞」「補語」》

Aquí アキ adv. ここで 「副詞」

el director エル・ディレクター n.m 院長は 「主語」

sonrió. ソリオ 3 単点(sonreír)v.i 微笑んだ 「動詞」

Me メ pron 僕に 「間接目的語」

dijo: ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

"Comprende コンプレnde 3 単現(comprender)v.t 分かる 「動詞」

usted, ウステ pron あなたは 「主語」

お判りでしょうが、言ってみれば、まあその「呼びかけ」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

un sentimiento ウン・センチメント n.m 感情 「補語」

un poco pueril. ウン・ポコ・プエル adj. ほんの子供じみた 「形容詞句」

「しかし彼とお母様はほとんどいつも一緒にいらっしゃいました」

Pero él y su madre casi no se separaban. 《Pero 「主語」「副詞句」「動詞句」》

Pero ペロ conj. しかし

él y su madre エル・イス・マトレ pron 彼とあなたのお母様は 「主語」

casi no カシノ adv. ほとんど~ない 「副詞句」

se separaban. セ・セパラバン 3 複線(separarse)v.pr 離れていた 「動詞句」

「養老院では、皆が彼らをからかって、ペレスに<お前の恋人か?>などと言っていました。

ペレスは笑っていましたが、二人はそう言われるのはまんざらでもなさそうでした」

En el asilo les hacían bromas; le decían a Pérez: 'Es su novia.' Pérez reía. Aquello les complacía.

《「副詞句」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」；「間接目的語」「動詞」「間接目的語」：

<「動詞」「補語」>、「主語」「動詞」 | 「主語」「目的語」「動詞」》

En el asilo エン・エル・アシロ adv. 養老院では 「副詞句」

les レス pron.pl 彼らに 「間接目的語」

hacían アシアン 3 複線(hacer)v.t していた 「動詞」

bromas; ブロマス pl.n.f からかい、冗談 「直接目的語」

le レ pron 彼に 「間接目的語」

decían ディシアン 3 複線(decir)v.t 言っていた 「動詞」

a Pérez: ア・ペレス adv. ペレスに 「間接目的語」

'Es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

Primera parte 第1部

su novia.' ス・ノビア n.f	お前の恋人	「補語」
Pérez ペレス n.m	ペレスは	「主語」
reía. レイア 3 単線(reír)v.i	笑っていた	「動詞」
Aquello アケジョ pron	そのことは	「主語」
les レス pron	二人を	「目的語」
complacía. コンプラシア 3 単線(complacer)v.t	～の気に入るようにさせた	「動詞」

「ムルソーさんの死は、彼には相当つらいものでした」

La muerte de la señora de Meursault le ha afectado mucho.

《「主語」「目的語」「動詞句」「副詞」》

La muerte ラ・ムエルテ n.f	死は	「主語」
de la señora de Meursault テ・ラ・セニョラ・デ・ムルソー adj.	ムルソーさんの	「形容詞句」
le レ pron	彼に	「目的語」
ha afectado ア・アフェクト 3 単現・完了形(afectar)v.t	～に影響を及ぼした	「動詞句」
mucho. ムチョ adv.	とても、かなり	「副詞」

「彼に許可をしないということはありませんでした」

Creí que no debía de negarle la autorización.

《「動詞」「目的語」》

Creí クレイ 1 単点(creer)v.t	(que ～だと) 思った	「動詞」
que ケ conj.	～ということ	「目的語」
no debía de +不定詞 ノ・デビア・デ 1 単線・禁止(deber de+不定詞)		
v. ～してはならない		「動詞句」
negarle ネガル・レ 不定詞(negar+le)v.t	彼に拒否する	「動詞句」
la autorización. ラ・アウトリサシオン n.f	許可を	「目的語」

「しかし昨日は、回診医の助言があり、通夜に出ることを禁じました」

Pero le prohibí velarla ayer, por consejo del médico visitador."

《Pero 「間接目的語」「動詞句」「副詞句」》

Pero ペロ conj.	しかし	
le レ pron	彼に	「間接目的語」
prohibí velarla プロビ・ベラル・ラ 1 単点・禁止(prohibir+不定詞 velar+la)		
v.t	通夜に出ることを禁じた	「動詞句」
ayer, アジェール adv.	昨日は	「副詞」
por consejo ホル・ CONSEJO adv.	助言によって	「副詞句」
del médico visitador." デル・メディコ・ビシタドール adj.	回診医の	「形容詞句」

Primera parte 第1部

僕たちは、かなり長い間無言でいた。院長が立ち上がり、院長室の窓から外を眺めた。

Quedamos silenciosos bastante tiempo. El director se levantó y miró por la ventana del despacho. 「動詞」「補語」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」 y 「動詞」「副詞句」

Quedamos ケダモス 1 複点(quedar)v.i ~のままでいた 「動詞」

silenciosos シレンシオソス adj.pl 無言の 「補語」

bastante tiempo. バスタンテ・ティエンポ adv. かなり長い間 「副詞句」

El director エル・ディレクター n.m 院長は 「主語」

se levantó セ・レバント 3 単点(levantarse)v.pr 立ち上がった 「動詞句」

y イ conj. そして

miró ミロ 3 単点(mirar)v.t 眺めた 「動詞」

por la ventana ポル・ラ・ベンタナ adv. 窓から外を 「副詞句」

del despacho. テル・デスパチョ adj. 院長室の 「形容詞句」

少しして、院長は気づいて言った:「おや、マランゴの司祭様が見える。予定より早く来た」

Después de un momento observó: "Ahí está el cura de Marengo. Viene antes de la hora."

「副詞句」「動詞」:《「副詞」「動詞」「主語」 | 「動詞」「副詞句」》

Después de un momento デスプエス・デ・ウン・モメント adv. 少し後で 「副詞句」

observó: オブセルボ 3 単点(observar)v.t (観察の結果) 気づいた 「動詞」

"Ahí アイ adv. そこに 「副詞」

está エスタ 3 単現(estar)v.i いる 「動詞」

el cura エル・クラ n.m 司祭が 「主語」

cura クラ n.f 治療、治療法、n.m 司祭

de Marengo. デ・マレンゴ adj. マランゴの 「形容詞句」

Viene ビエネ 3 単現(venir)v.i 来ている 「動詞」

antes de la hora." アンテス・デ・ラ・オラ adv. 予定より早く 「副詞句」

同じ村にある教会に行くには、徒歩で少なくとも 45 分はかかるだろうと説明してくれた。

Me advirtió que llevaría tres cuartos de hora de marcha, por lo menos, llegar a la iglesia, que se halla en el pueblo mismo. 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Me メ pron 僕に 「間接目的語」

advirtió アドビルチオ 3 単点(advertir)v.t 知らせた、説明した 「動詞」

que ケ conj. ~ということ 「直接目的語」

llevaría ジェバリャ 3 単過未・推測(llevar)v.t (時間が) かかるだろう 「動詞」

tres cuartos de hora トレス・クワルツ・デ・オラ pl.n.m 45 分の時間 「目的語」

de marcha, デ・マルチャ adj. 歩行の、行進の 「形容詞句」

por lo menos, ポル・ロ・メノス adv. 少なくとも 「副詞句」

Primera parte 第1部

llegar ジェガール 不定詞・目的 n. 着くためには 「主語」
 a la iglesia, ア・ラ・イグレスΙΑ adv. 教会に 「間接目的語」
 que ケ pron. ～する 「形容詞節」
 se halla セ・アジャ 3 単現(hallarse)
 v.pr(en に) ある 「動詞句」
 en el pueblo mismo. エ・ネル・プエブロ・ミスト
 adv. 同じ村の中に 「副詞句」

僕たちは下に降りた。建物の前には、司祭と侍者の少年二人が待っていた。

Bajamos, Delante del edificio estaban el cura y dos monaguillos.

「動詞」, 「副詞句」 「動詞」 「主語」
 Bajamos, バハモス 1 複点(bajar)v.i 下に降りた 「動詞」
 Delante del edificio デランテ・テルエディフィシオ adv. 建物の前には 「副詞句」
 estaban エスタバン 3 複線(estar)v.i いた 「動詞」
 el cura エル・クラ n.m 司祭が 「主語」
 y イ conj. そして
 dos monaguillos. ドス・モナギジョス pl.n.m 二人の侍者が 「主語」
 侍者（じしゃ）：ミサで司祭を手伝う少年

侍者の一人が香炉を持っていた。司祭は侍者のほうに身をかがめて、銀の鎖の長さを調節していた。

Uno de éstos tenía el incensario, y el sacerdote se inclinaba hacia él para regular el largo de la cadena de plata.

「主語」 「動詞」 「目的語」 y 「主語」 「動詞句」 「副詞句」
 Uno de éstos ウノ・デ・エストス n.m 侍者の一人は 「主語」
 tenía テニア 3 単線(tener)v.t 持っていた 「動詞」
 el incensario, エル・インセンサリオ n.m 香炉を 「目的語」
 y イ conj. そして
 el sacerdote エル・サエルトーテ n.m 司祭は 「主語」
 se inclinaba セ・インクリナバ 3 単線(inclinarse)v.pr 身をかがめていた 「動詞句」
 hacia él アシア・エル adv. 侍者のほうへ 「副詞句」
 para + 不定詞 パラ adv. (目的・結果) ～するために、そして～した 「副詞句」
 regular レグラール 不定詞 v.t 調節する 「動詞」
 el largo de la cadena エル・ラルゴ・デ・ラ・カデナ n.m 鎖の長さを 「目的語」
 de plata. デ・プラタ adj. 銀の 「形容詞句」

香炉：

固体状の香料を加熱し、香気成分を発散させる目的で用いる器である。

Primera parte 第1部

僕たちが到着すると、司祭が上体を起こした。僕を「わが子よ」と呼び、何事かを言って、中に入っていった。僕も彼の後に続いた。

Cuando llegamos, el sacerdote se incorporó. Me llamó "hijo mío" y me dijo algunas palabras. Entró; yo le seguí.

「副詞節」, 「主語」「動詞句」 | 「目的語」「動詞」「補語」

y 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 | 「動詞」; 「主語」「目的語」「動詞」

Cuando クワント conj. ～すると、～した時 「副詞節」

llegamos, ジェガモス 1 複点(llegar)v.i 着いた 「動詞」

el sacerdote エル・サエルト・エ n.m 司祭は 「主語」

se incorporó. セ・インコルボロ 3 単点(incorporarse)v.pr 上体を起こした 「動詞句」

Me メ pron 僕を 「目的語」

llamó ジャモ 3 単点(llamar)v.t(+C と) 呼んだ 「動詞」

"hijo mío" 体・ミオ n.m わが子 「補語」

y イ conj. そして

me メ pron 僕に 「間接目的語」

dijo デイオ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

algunas palabras. アルグナス・パラ fras pl.n.f なにごとかを 「直接目的語」

Entró; エントロ 3 単点(entrar)v.i 中に入った 「動詞」

yo ジョ pron 僕は 「主語」

le レ pron 彼に 「目的語」

seguí. セギ 1 単点(seguir)v.t 後について行った 「動詞」

一目で、棺のねじ釘が打ち込まれているのが目に入り、さらに、部屋には黒服を着た4人の男がいるのが分かった。

Vi de una ojeada que los tornillos del féretro estaban hundidos y que había cuatro hombres negros en la habitación.

「動詞」「副詞句」「目的語」 y 「目的語」

Vi ビ 1 単点(ver)v.t 見えた 「動詞」

de una ojeada デ・ウナ・オアダ adv. (手段) 一目で 「副詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

los tornillos ロス・トルニョス pl.n.m ねじ釘が 「主語」

del féretro デル・フェレトロ adj. 棺の 「形容詞句」

estaban hundidos エスタバン・ウンデイトス 3 複線・受動.m.pl(hundir)

v.t 打ち込まれていた 「動詞句」

y イ conj. そして

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

Primera parte 第1部

había アビ^ア 3 単線(haber)v.t (存在) いた 「動詞」
 cuatro hombres クワトロ・オンブレス pl.n.m 4 人の男が 「目的語」
 negros ネグロス adj. 黒服を着た 「形容詞」
 en la habitación. エン・ラ・アビタシオン adv. 部屋の中には 「副詞句」

院長が僕に柩車が道で待っているという声と、司祭が祈祷を始める声が、同時に聞こえた。

Oí al mismo tiempo al director decirme que el coche esperaba en la calle y al sacerdote comenzar las oraciones. 「動詞」「副詞句」「目的語」「補語」 y 「目的語」「補語」
 Oí オイ 1 単点・知覚(oír)v.t (SVO+不定詞) O が～するのが聞こえた 「動詞」
 al mismo tiempo アル・ミスモ・ティエンポ adv. 同時に 「副詞句」
 al director アル・ディレクトール n.m 院長が 「目的語」
 decirme デシル・メ 不定詞・director の動作(decir+me)v.t 僕に～を言う 「補語」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 el coche エル・コチェ n.m 柩車が 「主語」
 esperaba エスペラハ^バ 3 単線・時制の一致(esperar)v.i 待っている 「動詞」
 en la calle エン・ラ・カジェ adv. 通りで 「副詞句」
 y イ conj. そして
 al sacerdote アル・サエル・セーテ n.m 司祭が 「目的語」
 comenzar コメンサル 不定詞・sacerdote の動作 v.t 始める 「補語」
 las oraciones. ラス・オラシオネス pl.n.f 祈祷 「目的語」

その瞬間から、すべてのことが慌ただしく進行した。

A partir de ese momento todo se desarrolló muy rápidamente. 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」
 A partir de ア・パルティール・トウ prep (時間・起点) ～から 「副詞句」
 ese momento エセ・モメント n.m その瞬間 「目的語」
 todo トト pron すべてが 「主語」
 se desarrolló セ・デサロジヨ 3 単点(desarrollarse)v.pr (事が) 起こった、進行した 「動詞句」
 muy rápidamente. マイ・ラピダメンテ adv. とても速く、慌ただしく 「副詞句」

黒服を着た4人の男たちが、覆いの布を持って棺のほうへ歩み寄った。

Los hombres avanzaron hacia el féretro con un lienzo. 「主語」「動詞」「副詞句」
 Los hombres ロス・オンブレス pl.n.m 黒服を着た4人の男が 「主語」
 avanzaron アバンサロン 3 複点(avanzar)v.i 前進した 「動詞」
 hacia el féretro アシア・エル・フェレトロ adv. 棺のほうへ 「副詞句」
 con un lienzo. コン・ウン・リエンソ adv. 覆いの布を持って 「副詞句」

Primera parte 第1部

司祭とその侍者たち、院長と僕は外に出た。

El sacerdote, sus acompañantes, el director y yo salimos. 「主語」「動詞」
 El sacerdote, エル・サエルトーテ n.m 司祭は 「主語」
 sus acompañantes, スス・アコンパニャンテス pl.n.m その侍者たちは 「主語」
 el director エル・ディレクター n.m 院長は 「主語」
 y イ conj. そして
 yo ジョ pron 僕は 「主語」
 salimos. サモス 1 複点(salir)v.i 外に出た 「動詞」

戸口の前に、僕の知らない女性がいた。

Delante de la puerta estaba una señora que no conocía. 「副詞句」「動詞」「主語」
 Delante de デランテ・デ prep (空間) ~の前に 「副詞句」
 la puerta ラ・プエルタ n.f 入口、戸口、扉、ドア 「目的語」
 estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ~がいた 「動詞」
 una señora ウナ・セニョーラ n.f 女性が 「主語」
 que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」
 no conocía. ノ・コノシア 1 単線・否定(conocer)v.t 知らない 「動詞句」

「ムルソーさんです」と、院長は僕を紹介した。

"El señor Meursault", dijo el director. 《「紹介」》, 「動詞」「主語」
 "El señor Meursault", エル・セニョール・ムルソー n.m ムルソーさんです 「紹介」
 dijo ディホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 el director. エル・ディレクター n.m 院長は 「主語」

女性の名前は聞き取れなかったが、派遣の看護婦だということだけは分かった。

No oí el nombre de la señora y comprendí solamente que era la enfermera delegada.
 「動詞句」「目的語」 y 「動詞」「副詞」「目的語」
 No oí ノ・オイ 1 単点・否定(oír)v.t 聞こえなかった 「動詞句」
 el nombre エル・ノンブレ n.m 名前を 「目的語」
 de la señora デ・ラ・セニョーラ adj. 女性の 「形容詞句」
 y イ conj. そして
 comprendí コンプレンディ 1 単点(comprender)v.t 分かった 「動詞」
 solamente ソラメンテ adv. ~だけ 「副詞」
 que ケ conj. ~ということ 「目的語」
 era エラ 3 単線時制の一致(ser)v.i ~である 「動詞」

Primera parte 第1部

la enfermera ラ・エンフェルメラ n.f 看護婦

「補語」

delegada. デレガダ 過去分詞・受動(delegar)v.t 派遣された

「形容詞」

彼女は微笑むこともなく、その長くて骨ばった顔を傾けた。

Inclinó sin una sonrisa el rostro huesudo y largo.

「動詞」「副詞句」「目的語」

Inclinó インクリノ 3 単点(inclinar)v.t 傾けた

「動詞」

sin una sonrisa シン・ウナ・ソニサ adv. 微笑むこともなく

「副詞句」

el rostro エル・ロストロ n.m 顔を

「目的語」

huesudo ウエスト adj. 骨ばった

「形容詞」

y イ conj. そして

largo. ラルゴ adj. 長い

「形容詞」

それから僕たちは、棺を通すために脇に寄った。

Luego nos apartamos para dejar pasar el cuerpo.

「副詞」「動詞句」「副詞句」

Luego ルエゴ adv. それから

「副詞」

nos apartamos ノス・アパ・ルタモス 1 複点(apartarse)v.pr わきに寄った

「動詞句」

para +不定詞 パラ adv. (目的) ~するために

「副詞句」

dejar pasar デハール・パ・サル 不定詞・放任(dejar+不定詞)v.t ~を通させる

「動詞句」

el cuerpo. エル・クエルポ n.m 死体、棺

「目的語」

僕たちは棺を運んできた男たちに続いて、養老院から外に出た。

Seguimos a los hombres que lo llevaban y salimos del asilo.

「動詞」「目的語」 y 「動詞」「副詞句」

Seguimos セギモス 1 複点(seguir)v.t の後についていった

「動詞」

a los hombres ア・ロス・オンブレス pl.n.m 男たちの

「目的語」

que ケ pron.pl (主語) ~する

「形容詞節」

lo ロ pron それを (棺)

「目的語」

llevaban ジェハバン 3 複線(llevar)v.t 運んできた

「動詞」

y イ conj. そして

salimos サリモス 1 複点(salir)v.i 外に出た

「動詞」

del asilo. デル・アシロ adv. 養老院から

「副詞句」

門の前に、車が停まっていた。

Delante de la puerta estaba el coche.

「副詞句」「動詞」「主語」

Delante de デランテ・デ prep (空間) ~の前に

「副詞句」

la puerta ラ・プエルタ n.f 入口、戸口、扉、門

「目的語」

Primera parte 第1部

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ~があった 「動詞」
 el coche. エル・コチェ n.m 車が 「主語」

光沢があり、細長くそしてきらめくその車は、筆箱を思い起こさせた。

Lustroso, oblongo y brillante, hacía pensar en una caja de lápices.

「主語」「動詞句」「間接目的語」

Lustroso, ルストロソ adj. 光沢がある 「形容詞」
 oblongo オブロンゴ adj. 細長い 「形容詞」
 y イ conj. そして
 brillante, ブリジャンテ adj. きらめく 「形容詞」

これらは el coche を修飾している→「主語」の代用

hacía pensar アシア・ペンサル 3 単線・使役(hacer+不定詞)

v.i(en ~について) 考えさせた 「動詞句」

en una caja エン・ウナ・カ adv. 箱について 「間接目的語」

de lápices. デ・ラピセス adj. 鉛筆の 「形容詞句」

lápices ラピセス pl.n.m (lápiz) 鉛筆

その横に、おかしい服を着て小柄な葬儀社の職員と遠慮がちな様子の 1 人の老人がいた。

A su lado estaban el empleado de la funeraria, hombrecillo de traje ridículo y un anciano de aspecto tímido.

「副詞句」「動詞」「主語」

A su lado ア・ス・ラト adv. その横に 「副詞句」

estaban エスタバン 3 複線(estar)v.i ~がいた 「動詞」

el empleado エル・エンプレアト n.m 職員が 「主語」

de la funeraria, デ・ラ・フネリア adj. 葬儀社の 「形容詞句」

hombrecillo オンブレシジョ n.m (同格) (hombre+cillo) 小男の 「主語」

de traje ridículo デ・トラヘ・リディク adj. おかしい服を着た 「形容詞句」

y イ conj. そして

un anciano ウン・アンシアノ n.m 1 人の老人が 「主語」

de aspecto tímido. デ・アスペクト・チミト adj. 遠慮がちな様子の 「形容詞句」

aspecto アスペクト n.m 様子 tímido チミト adj. 遠慮がちな

僕はそれがペレス氏だと分かった。

Comprendí que era Pérez.

「動詞」「目的語」

Comprendí コンプレンディ 1 単点(comprender)v.t 分かった 「動詞」

que ケ conj. ~ということ 「目的語」

era エラ 3 単線時制の一致(ser)v.i ~である 「動詞」

Primera parte 第1部

Pérez. ペレス n.m ペレス

「補語」

彼は、山の部分が丸くて、つばの広いソフト帽をかぶっていた（棺が門から出る時、彼はそれを脱いだ）、そして背広を着ていたが、そのズボンは靴の上にたるんでかぶさっていた。それから白い大きなカラーのシャツには小さすぎる黒っぽい蝶ネクタイをしていた。

Llevaba un fieltro blando de copa redonda y alas anchas (se lo quitó cuando el féretro pasó por la puerta) un traje cuyo pantalón se arrollaba sobre los zapatos, y un lazo de género negro demasiado pequeño para la camisa de cuello blanco grande.

「動詞」「目的語」「動詞句」「副詞節」「目的語」, 「主語」「動詞句」「副詞句」 y 「目的語」

Llevaba シェバハ 3 単線(llevar)v.t (衣服などを) 身に着けていた 「動詞」

un fieltro blando ウン・フィルトロ・ブラント n.m ソフト帽を 「目的語」

sombrero de fieltro blando の省略「柔らかいフェルト帽、ソフト帽」

de copa redonda テ・コパ・レドンダ adj. 帽子の山の部分が丸い 「形容詞句」

copa コパ n.f 帽子の山 redonda レドンダ adj.f(redondo) 丸い

y イ conj. そして

alas anchas アラス・アンチャス pl.n.f つばの広い 「形容詞句」

alas アラス pl.n.f (帽子の) つば anchas アンチャス adj.pl.f(ancho) 広い

(se lo quitó セ・ロ・キト 3 単点(quitarse+lo)v.pr (服などを) それを脱いだ「動詞句」

cuando クワント conj. ～するとき 「副詞節」

el féretro エル・フェーレトロ n.m 棺が 「主語」

pasó パソ 3 単点(pasar)v.i(por を) 通過した 「動詞」

por la puerta ポル・ラ・プエрта adv. 門を通過して 「副詞句」

un traje ウン・トラヘ n.m 背広を 「目的語」

cuyo pantalón クヨ・パンタロン n.m そのズボンは 「主語」

se arrollaba セ・アロジャハ 3 単線(arrollarse)v.pr たるんでいた、巻き付いていた「動詞句」

sobre los zapatos, ソブレ・ロス・サハトス adv. 靴の上に 「副詞句」

y イ conj. そして

un lazo ウン・ラソ n.m 蝶ネクタイ 「目的語」

de género negro テ・ヘネロ・ネグロ adj. 黒っぽい色の 「形容詞句」

demasiado pequeño テマシアト・ペケニョ adj. 小さすぎる 「形容詞句」

para la camisa パラ・ラ・カミサ adv. シャツに対して 「副詞句」

de cuello blanco grande. テ・ケシヨ・ブランコ・グランデ

adj. 白い大きなカラーの 「形容詞句」

Primera parte 第1部

黒いシミが目立つ鼻の下で、彼の唇が震えていた。

Los labios le temblaban bajo la nariz mechada de puntos negros.

「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」

Los labios ロス・ラビオス pl.n.m 唇が

「主語」

le le pron 彼の

「間接目的語」

temblaban テンブラバン 3 複線(temblar)v.i 震えていた

「動詞」

bajo la nariz バシヨ・ラ・ナリス adv. 鼻の下で

「副詞句」

mechada メチャダ 過去分詞・受動.f(mechar)v.t 刺しこまれた

「形容詞句」

de puntos negros. デ・プントス・ネグロス adv. 黒い点を

「間接目的語」

かなり薄い白髪の間から、たれ気味で縁の変形したちょっとおかしい形の耳が飛び出していた。その血のように赤い耳の色が、青白い顔の中で際立ち、僕を驚かせた。

Los cabellos blancos, bastante finos, dejaban pasar unas curiosas orejas, colgantes y mal orladas, cuyo color rojo sangre me sorprendió en aquella pálida fisonomía.

「主語」「動詞句」「目的語」 y 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」

Los cabellos blancos, ロス・カベシヨス・ブランコス pl.n.m 白髪が

「主語」

bastante finos, バスタンテ・フィノス adj.pl かなり薄い

「形容詞句」

dejaban pasar デハバン・パサル 3 複線・放任(dejar+不定詞)v.t 通らせていた

「動詞句」

目的語を主語として翻訳する

unas curiosas orejas, ウナス・クリオサス・オレハス pl.n.f ちょっとおかしい耳を

「目的語」

colgantes コルガンテス adj.pl 垂れ下がった

「形容詞」

y y conj. そして

mal orladas, マル・オルダス adj.f.pl 縁が変形した

「形容詞句」

mal マル adv. 悪く orladas 過去分詞・受動(ornar)adj.f.pl 縁飾りされた

cuyo color rojo sangre クシヨ・コロール・ロホ・サンブレ n.m その赤い血の色が

「主語」

me me pron 僕を

「目的語」

sorprendió ソルプレンティオ 3 単点(sorprender)v.t 驚かせた

「動詞」

en aquella pálida fisonomía. エン・アケシヤ・パリダ・フィソノミア

adv. あの青白い顔の中で

「副詞句」

葬儀社の職員が、僕たちにそれぞれの位置を指示した。

El hombre de la funeraria nos indicó nuestros lugares.

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

El hombre エル・オンブレ n.m 男が

「主語」

de la funeraria デ・ラ・フネリア adj. 葬儀社の

「形容詞句」

nos nos pron 僕らに

「間接目的語」

Primera parte 第1部

indicó インディコ 3 単点(indicar)v.t 指示した 「動詞」
 nuestros lugares. ヌエストロス・ルガレス pl.n.m それぞれの位置を 「直接目的語」

司祭が先頭を歩く。その後ろに柩車が続き、柩車の周りに 4 人の男が続く。

El sacerdote caminaba delante; luego el coche; en torno de él, los cuatro hombres.

「主語」「動詞」「副詞」; 「副詞」「主語」; 「副詞句」「主語」

El sacerdote エル・サエルトーテ n.m 司祭が 「主語」
 caminaba カミナバ 3 単線(caminar)v.i 歩く 「動詞」
 delante; デランテ adv. 先頭を、正面を 「副詞」
 luego ルエゴ adv. その後ろに 「副詞」
 el coche; エル・コチェ n.m 柩車が 「主語」
 en torno de エン・トルノ・デ prep ~の周りに 「副詞句」
 él, エル pron 柩車 「目的語」
 los cuatro hombres. ロス・クワトロ・オンブレス pl.n.m 4 人の男たちが 「主語」

その後ろに、院長と僕が続いて、行列の最後は、派遣の看護婦とペレス氏が歩く。

Detrás, el director, yo y, cerrando la marcha, la enfermera delegada y Pérez.

「副詞」, 「主語」 y 「副詞句」, 「主語」

Detrás, デトラス adv. その後ろに 「副詞」
 el director, yo エル・ディレクター・ジョ pl.n 院長と僕が 「主語」
 y, 「副詞句」
 cerrando セラント 現在分詞(cerrar)v.t (目的) ~を締め切るために 「副詞句」
 la marcha, ラ・マルチャ n.f 行進、行列 「目的語」
 la enfermera ラ・エンフェルメラ n.f 看護婦が 「主語」
 delegada デレガダ adj.f 派遣の 「形容詞」
 y イ conj. そして
 Pérez. ペレス n.m ペレス氏が 「主語」

空は太陽でいっぱいだった。

El cielo estaba lleno de sol.

「主語」「動詞」「補語」

El cielo エル・シエロ n.m 空は 「主語」
 estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ~だった 「動詞」
 lleno シェノ adj.(de で) 一杯の 「補語」
 de sol. デ・ソル adv. (手段) 太陽で 「副詞句」

Primera parte 第1部

それが地上に重くのしかかってきて、急激に暑さが増した。

Comenzaba a pesar sobre la tierra y el calor aumentaba rápidamente.

「動詞句」「副詞句」 y 「主語」「動詞」「副詞」

Comenzaba a +不定詞 コメンサハ・ア 3 単線・開始(comenzar a+不定詞)

v.i 〜し始めた

「動詞句」

pesar ヘ・サル 不定詞 v.i 重くのしかかる

「動詞句」

sobre la tierra ソブレ・ラ・ティエラ adv. 地上に

「副詞句」

y イ conj. そして

el calor エル・カール n.m 暑さが

「主語」

aumentaba アウメンタハ 3 単線(aumentar)v.i 増加した

「動詞」

rápidamente. ラピダメンテ adv. 急速に

「副詞」

なぜかわからないが、僕たちは歩き始めるまでに随分と時間がかかった。

No sé por qué habíamos esperado tanto tiempo antes de ponernos en marcha.

「動詞句」「目的語」

No sé ノ・セ 1 単現・否定(saber)v.t 分からない

「動詞句」

por qué ポル・ケ conj. なぜ〜かということ

「目的語」

habíamos esperado アビエイモス・エスペラト 1 複線・完了形(esperar)

v.i 待った

「動詞句」

tanto tiempo タント・ティエンポ adv. 長い間

「副詞句」

antes de +不定詞 アンテス・デ adv. 〜する前に

「副詞句」

ponernos ポネル・ノス 不定詞(ponerse)v.pr 〜に入る

「動詞句」

en marcha. エン・マルチャ adv. 行進に

「間接目的語」

僕は黒っぽい背広を着ていたので、熱がこもった。帽子をかぶりなおしていた老人は、また帽子を脱いだ。

Tenía calor con mi traje oscuro. El viejecito, que se había cubierto, se quitó nuevamente el sombrero.

「動詞」「目的語」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」

Tenía テニア 1 単線(tener)v.t 〜があった

「動詞」

calor カール n.m 暑さ

「目的語」

con mi traje oscuro. コン・ミ・トラヘ・オスクロ adv. (原因) 黒っぽいスーツを着ていたので

「副詞句」

El viejecito, エル・ビエイエヒト n.m 老人は

「主語」

que ケ pron (主語) 〜する

「形容詞節」

se había cubierto, セ・アビエイ・クビエルト 3 単線・完了形(cubrirse)

v.pr (再び) 帽子をかぶっていた

「動詞句」

se quitó セ・キト 3 単点(quitarse)v.pr 脱いだ

「動詞句」

Primera parte 第1部

nuevamente ヌエバメント adv. もう一度 「副詞」
 el sombrero. エル・ソブレロ n.m 帽子を 「目的語」

僕は少し彼のほうに振り返って、彼を見ていた。その時、院長が僕に彼の話を話した。

Me había vuelto un poco hacia su lado y le miraba cuando el director me habló de él.

「動詞句」「副詞句」 y 「目的語」「動詞」「副詞節」

Me había vuelto メ・アビエ・フエルト 1 単線・完了形(volverse)v.pr 振り返った 「動詞句」
 un poco hacia su lado ウン・ポコ・アシア・ス・ラド adv. 少し彼のほうに 「副詞句」
 y イ conj. そして
 le レ pron 彼を 「目的語」
 miraba ミラバ 1 単線(mirar)v.t 見た 「動詞」
 cuando クワント conj. ～するとき、その時～する 「副詞節」
 el director エル・ディレクター n.m 院長が 「主語」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 habló ハブロ 3 単点(hablar)v.i(de について) 話した 「動詞」
 de él. デ・エル adv. 彼の話を 「間接目的語」

母さんとペレス氏は、しばしば、夕方に村まで看護婦に付き添われて散歩に出かけていたということだった。

Me dijo que a menudo mi madre y Pérez iban a pasear por la tarde hasta el pueblo, acompañados por una enfermera.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Me メ pron 僕に 「間接目的語」
 dijo ディホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 a menudo ア・メスト adv. しばしば 「副詞句」
 mi madre y Pérez ミ・マドレ・イ・ペレス pl.n 母さんとペレス氏は 「主語」
 iban a pasear イバン・ア・パセアル 3 複線・行く(ir a+不定詞)
 v.i 散歩に出かけた 「動詞句」
 por la tarde ポル・ラ・タルデ adv. 夕方に 「副詞句」
 hasta el pueblo, アスタ・エル・プエブロ adv. 村まで 「副詞句」
 acompañados アコンパニャトス 過去分詞・受動.pl(acompañar)
 adj. ～に付き添われて 「副詞句」
 por una enfermera. ポル・ウナ・エンフェルメラ adv. 看護婦に 「副詞句」

Primera parte 第1部

僕は周囲の田園風景を眺めた。

Miré el campo a mi alrededor.

「動詞」「目的語」「副詞句」

Miré ミレ 1 単点(mirar)v.t 眺めた

「動詞」

el campo エル・カンポ n.m 田園風景を

「目的語」

a mi alrededor. ア・ミ・アルデトール adv. 僕の周囲の

「副詞句」

丘を空に届けようとそそり立つ糸杉並木を通して、赤色と緑色のあの大地から、そしてまばらでもくっきりと見えるあれらの家々から、僕は母さんを理解した。

A través de las líneas de cipreses que aproximaban las colinas al cielo, de aquella tierra rojiza y verde, de aquellas casas, pocas y bien dibujadas, comprendía a mi madre.

「副詞句」, 「動詞」「目的語」

A través de ア・トラベス・デ prep ~の間から、~を通して

「副詞句」

las líneas ラス・リネアス pl.n.f 列、並み

「目的語」

de cipreses デ・シプレス adj. 糸杉の

「形容詞句」

ciprés シプレス n.m 糸杉 ciprés japonés シプレス・ハボネス n.m ヒノキ

que ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

aproximaban アプ ロキシマバン 3 複線・時制の一致(aproximar)

v.t(a に) 接近させる

「動詞」

las colinas ラス・コリナス pl.n.f 丘を

「直接目的語」

al cielo, アル・シエロ adv. 空へ

「間接目的語」

de aquella tierra デ・アケジャ・ティエラ adv. あの大地から

「副詞句」

rojiza y verde, ロジサ・イ・ベルデ adj. 赤みを帯びた色と緑色の

「形容詞句」

de aquellas casas, デ・アケジャス・カサス adv. あれらの家々から

「副詞句」

pocas ホカス adj.pl わずかな

「形容詞」

y イ conj. そして

bien dibujadas, ビエン・ディバ・ハダス 過去分詞・受動.f.pl(dibujar)

adj.f.pl よく描写された

「形容詞句」

comprendía コンプレンディア 1 単線(comprender)v.t 理解した

「動詞」

a mi madre. ア・ミ・マドレ n.f 母さんを

「目的語」

夕方は、この地では、わびしい休息のようなものだったに違いない。

La tarde, en esta región, debía de ser como una tregua melancólica.

「主語」「副詞句」「動詞句」「補語」

La tarde, ラ・タルデ n.f 夕方は

「主語」

en esta región, エン・エスタ・レギオン adv. (母さんが最後を過ごした) この地では

「副詞句」

debía de +不定詞 デビ・ア・デ 3 単線・強い推定(deber de+不定詞)

Primera parte 第1部

v. ～したに違いない、～するに違いなかった	「動詞句」
ser セル 不定詞 v.i ～である	「動詞句」
como コモ conj. ～のようなもの	「補語」
una tregua melancólica. ウナ・トレグワ・メランコリカ n.f わびしい休息	「目的語」
tregua トレグワ n.f 休戦、休息 melancólico メランコリコ adj. わびしい、憂鬱な	

今日は、溢れるほどの太陽の作る陽炎が風景を震えさせ、無情で陰鬱なものに変えていた。

Hoy, el sol desbordante que hacía estremecer el paisaje, lo tornaba inhumano y deprimente.

Hoy, オイ adv. 今日は	「副詞」
el sol エル・ソル n.m 太陽が	「主語」
desbordante デスボルダント adj. 溢れんばかりの	「形容詞」
que ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
hacía estremecer アシア・エストレメセル 3 単線・使役(hacer+不定詞)	
v.t 震えさせていた	「動詞句」
el paisaje, エル・パ・イサ n.m 風景を	「目的語」
lo ロ pron それ(風景)を	「目的語」
tornaba トルナバ 3 単線(tornar)v.t 変えていた	「動詞」
inhumano イマノ adj. 無情な	「補語」
y イ conj. そして	
deprimente. デプリメンテ adj. 陰鬱な	「補語」

僕たちは行進を始めた。この時、ペレスが軽く足を引きずっているのに気付いた。

Nos pusimos en marcha. En ese momento noté que Pérez renqueaba ligeramente.

	「動詞句」「間接目的語」 「副詞句」「動詞」「目的語」
Nos pusimos ノス・プシモス 1 複点(ponerse)v.pr (位置に) ついた	「動詞句」
en marcha. エン・マルチャ adv. 行列に、行進に	「間接目的語」
En ese momento エン・エセ・モメント adv. この時	「副詞句」
noté ノテ 1 単点(notar)v.t 気づいた	「動詞」
que ケ conj. ～ということに	「目的語」
Pérez ペレス n.m ペレスが	「主語」
renqueaba レンケアバ 3 単線(renquear)v.i 足を引きずって歩いていた	「動詞」
ligeramente. リヘラメンテ adv. 軽く、少し	「副詞」

Primera parte 第1部

少しずつ軀車が速度を上げると、老人は遅れ始めた。

Poco a poco el coche tomaba velocidad y el anciano perdía terreno.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」 y 「主語」「動詞」「目的語」

Poco a poco ポコ・ア・ポコ adv. 少しずつ

「副詞句」

el coche エル・コチェ n.m 軀車は

「主語」

tomaba トマバ 3 単線(tomar)v.t (速度を) 上げていった

「動詞」

velocidad ベロシダド n.f 速度を

「目的語」

y イ conj. そして

el anciano エル・アンシアノ n.m 老人は

「主語」

perdía ペルデア 3 単線(perder)v.t 失っていった

「動詞」

terreno. テレノ n.m 土地、場

「目的語」

perder terreno 地歩を失う、劣勢になる→遅れる

軀車の周りを取り囲んでいた男たちの 1 人も、ついていけなくなり、今では僕の位置を歩いていた。

Uno de los hombres que rodeaban el coche también se había dejado pasar y caminaba ahora a mi altura.

「主語」「動詞句」 y 「動詞」「副詞句」

Uno ウノ pron 一人が

「主語」

de los hombres デ・ロス・オンブレス adj. 男たちの

「形容詞句」

que ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

rodeaban ロデアバン 3 複線(rodear)v.t 取り囲んでいた「動詞」

el coche エル・コチェ n.m 軀車を

「目的語」

también タンビエン adv. ~も

「副詞」

se había dejado +不定詞 セ・アビア・デハド 3 単線・完了形・放棄(dejarse+不定詞)

v. ~するのをやめた

「動詞句」

pasar パサル 不定詞 v.i 行進する

「動詞句」

y イ conj. そして

caminaba カミナバ 3 単線(caminar)v.i 歩いていた

「動詞」

ahora アオラ adv. 今は

「副詞」

a mi altura. ア・ミ・アルトゥラ ア・ミ・アルトゥラ adv. 僕の位置を

「副詞句」

Primera parte 第1部

僕は、太陽が空を昇る速さに驚かされた。

Me sorprendía la rapidez con qué el sol se elevaba en el cielo. 「目的語」「動詞」「主語」

Me メ pron 僕を 「目的語」

sorprendía ソルプレンディア 3 単線(sorprender)v.t 驚かせた 「動詞」

受動態に翻訳する

la rapidez ラ・ラピデス n.f 速度は 「主語」

con qué コン・ケ adv. ～する 「形容詞節」

el sol エル・ソル pron 太陽が 「主語」

se elevaba セ・エレバハ 3 単線(elevarse)v.pr 上る 「動詞句」

en el cielo. エン・セル・シエロ adv. 空に 「副詞句」

ずっと前から野原が、虫の声と草の葉のこすれる音で鳴り響いていることに気が付いた。

Advertí que hacía ya tiempo que el campo resonaba con el canto de los insectos y el crujir de la hierba. 「動詞」「目的語」

Advertí アトベルティ 1 単点(advertir)v.t ～に気付いた 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

hacía ya tiempo que アシア・ジャ・ティエンポ・ケ adv. ずっと前から 「副詞句」

el campo エル・カンポ n.m 野原は 「主語」

resonaba レソナハ 3 単線(resonar)v.i(con で) 鳴り響いていた 「動詞」

con コン prep ～で、～が 「副詞句」

el canto de los insectos エル・カント・デ・ロス・インセクトス n.m 虫の声 「目的語」

y イ conj. そして

el crujir de la hierba. エル・クルヒール・デ・ラ・イエルハ

n.m 草の葉のこすれる音 「目的語」

汗が僕の頬を伝って流れた。

El sudor me corría por las mejillas. 「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」

El sudor エル・ストール n.m 汗が 「主語」

me メ pron 僕の 「間接目的語」

corría コリア 3 単線(correr)v.i 流れた 「動詞」

por las mejillas. ホル・ラス・メジヤス adv. 頬を伝って 「副詞句」

Primera parte 第1部

帽子がなかったので、ハンカチであおいだ。

Como no tenía sombrero, me abanicaba con el pañuelo. 「副詞節」, 「動詞句」 「副詞句」
 Como コモ conj. ～なので 「副詞節」
 no tenía ノ・テニア 1 単線・否定(tener)v.t なかった 「動詞句」
 sombrero, ソンブレロ n.m 帽子が 「目的語」
 me abanicaba メ・アバニカバ 1 単線(abanicarse)v.pr あおいだ 「動詞句」
 con el pañuelo. コン・エル・パニエロ adv. (道具) ハンカチで 「副詞句」

その時、葬儀社の職員が僕に何かを言ったが、僕は聞き取れなかった。

El empleado de pompas fúnebres me dijo entonces algo que no oí.
 「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞」「直接目的語」, 「目的語」「動詞句」
 El empleado エル・エンプレアト n.m 職員が 「主語」
 de pompas fúnebres デ・ポンパ・ス・フネブレス adj. 葬儀社の 「形容詞句」
 pompas fúnebres ポンパ・ス・フネブレス pl.n.f 葬儀、葬儀社
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 entonces エントネス adv. その時 「副詞」
 algo アルゴ pron 何かを 「直接目的語」
 que ケ pron それは 「目的語」
 no oí. ノ・オイ 1 単点・否定(oír)v.t 聞こえなかった 「動詞句」

それと同時に彼は、帽子のへりを右手で持ち上げながら、左手に持っていたハンカチで頭のとっぺんを拭いた。

Al mismo tiempo se enjugaba el cráneo con un pañuelo que tenía en la mano izquierda, mientras que con la derecha levantaba el borde de la gorra.

「副詞句」, 「動詞句」「目的語」「副詞句」
 Al mismo tiempo アル・ミスモ・テイエンボ adv. 同時に 「副詞句」
 se enjugaba セ・エンファガバ 3 単線(enjugarse)v.pr ～を拭いた 「動詞句」
 el cráneo エル・クラネオ n.m 頭のとっぺんを、頭蓋を 「目的語」
 con un pañuelo コ・ヌン・パニエロ adv. ハンカチで 「副詞句」
 que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 tenía テニア 3 単線(tener)v.t 持っていた 「動詞」
 en la mano izquierda, エン・ラ・mano・イスキエルダ adv. 左手に 「副詞句」
 mientras que ミエントラス・ケ
 conj. ～している一方で、～しながら 「副詞節」
 con la derecha コン・ラ・デレチャ adv. 右手で 「副詞句」

Primera parte 第1部

levantaba レバンタハ 3 単線(levantar)v.t 持ち上げた 「動詞」

el borde エル・ボルデ n.m へりを 「目的語」

de la gorra. デ・ラ・ゴラ

adj. (ひさしのある) 帽子の 「形容詞句」

僕は彼に言った：「何ですって？」彼は空を指さして、繰り返して言った。「息苦しいね！」

Le dije: "¿Cómo?" Repitió señalando al cielo: "Está sofocante."

「間接目的語」「動詞」：《「問いかけ」》「動詞」「副詞句」：《「動詞」「補語」》

Le レ pron 彼に 「間接目的語」

dije: デイハ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

"¿Cómo?" コモ adv. 何ですって？ 「問いかけ」

Repitió レピト 3 単点(repetir)v.t 繰り返して言った 「動詞」

señalando セニャラント 現在分詞(señalar)v.t 指し示しながら 「副詞句」

al cielo: アル・シエロ n.m 空を 「目的語」

"Está エスタ 3 単現(estar)v.i ~である 「動詞」

sofocante." ソフォカンテ adj. 息苦しい 「補語」

僕は答えた：「ええ」。少ししてから彼が僕に尋ねた：「それは、お袋さんかい？」

Dije: "Sí." Poco después me preguntó: "¿Es su madre la que va ahí?"

「動詞」：《「応答」》 | 「副詞句」「間接目的語」「動詞」：《「動詞」「補語」「主語」》

Dije: デイハ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

"Sí." シ adv. ええ 「応答」

Poco después ポコ・デスプエス adv. 少ししてから 「副詞句」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

preguntó: プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

"¿Es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

su madre ス・マトレ n.f あんたのお袋さん 「補語」

la ラ pron それは 「主語」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

va ハ 3 単現(ir)v.i 進んでいる 「動詞」

ahí?" アイ adv. そこを 「副詞」

Primera parte 第1部

僕はまた答えた:「ええ」、「かなりの歳だったのかい?」、僕は正確な歳を知らなかったので、「ええまあ」とだけ答えた。

Otra vez dije: "Sí." "¿Era vieja?" Respondí: "Más o menos", pues no sabía la edad exacta.

「副詞句」「動詞」:《「応答」》 | 《「動詞」「補語」》 | 「動詞」:《「応答」》「副詞節」
 Otra vez オトラ・ベス adv. もう一度、また 「副詞句」
 dije: ディェ 1 単点(decir)v.t 答えた 「動詞」
 "Sí." シ adv. ええ 「応答」
 "¿Era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」
 vieja?" ビェア adj.f 年を取った 「補語」
 Respondí: レスポンディ 1 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」
 "Más o menos", マス・オ・メノス adv. ええまあ、そこそこの、多かれ少なかれ 「応答」
 pues プエス conj. ~なので 「副詞節」
 no sabía ノ・サビア 1 単線・否定(saber)v.t 知らなかった 「動詞句」
 la edad ラ・エダ n.f 年齢を 「目的語」
 exacta. エクサクタ adj.f 正確な 「形容詞」

すると彼は黙った。

Enseguida se calló. 「副詞」「動詞句」
 Enseguida エンセギダ adv. すぐに 「副詞」
 se calló. セ・カジョ 3 単点(callarse)v.pr 黙った、黙り込んだ 「動詞句」

振り返えると、僕たちの後方およそ 50 メートルのところにペレス老人が見えた。

Me di vuelta y vi al viejo Pérez a unos cincuenta metros detrás de nosotros.

「動詞句」「目的語」 y 「動詞」「目的語」「副詞句」
 Me di メ・ディ 1 単点(darse)v.pr (動作を)した 「動詞句」
 vuelta ブエルタ n.f 回転、振り向く動作 「目的語」
 → 自分の体に 1 回転を与えた → 振り向いた
 y イ conj. そして
 vi ビ 1 単点(ver)v.t 見た 「動詞」
 al viejo Pérez アル・ビエホ・ペレス n.m ペレス老人を 「目的語」
 a unos cincuenta metros ア・ウノス・シンケンタ・メトロス adv. およそ 50 メートルに 「副詞句」
 detrás de nosotros. デトラス・デ・ノストロス adv. 僕たちの後方 「副詞句」

Primera parte 第1部

老人は、手に持った帽子で顔を扇ぎながら、急ぎ足で進んでいた。僕は院長の様子も見た。

Se apresuraba columpiando el sombrero al vaivén del brazo. Miré también al director.

「動詞句」「副詞句」 | 「動詞」「目的語」

Se apresuraba セ・アプ・レスラバ 3 単線(apresurarse)v.pr 急いでいた 「動詞句」

columpiando コルピ・アント 現在分詞(columpiar)v.t ~を振りながら 「副詞句」

columpiar コルピ・アール v.t ブランコに乗せて揺らす → 何かを振る

el sombrero エル・ソンブレロ n.m 帽子を 「目的語」

al vaivén del brazo. アル・バ・イベン・デル・ブラソ

adv. (手段) 腕の往復によって 「副詞句」

Miré ミレ 1 単点(mirar)v.t 見た 「動詞」

también タンビエン adv. ~もまた 「副詞」

al director. アル・ディレクトール n.m 院長を 「目的語」

彼は、無駄な動きがなく、威厳が感じられる歩き方をしていた。

Caminaba con mucha dignidad, sin un gesto inútil. 「動詞」「副詞句」

Caminaba カミナバ 3 単線(caminar)v.i 歩いていた 「動詞」

con mucha dignidad, コン・ムチャ・ディグニダド adv. (様態) とても威厳のある様子で 「副詞句」

sin un gesto inútil. シン・ウン・ヘスト・イヌチル adv. (様態) 無駄な動きのない 「副詞句」

汗のしずくが彼の額を覆っていたが、彼はそれを拭き取りもせずに歩いていた。

Algunas gotas de sudor le perlaban la frente, pero no las enjugaba.

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 pero 「動詞句」「目的語」「動詞句」

Algunas gotas アルグナス・ゴタス pl.n.f いくつかのしずくが 「主語」

de sudor デ・ストール adj. 汗の 「形容詞句」

le レ pron 彼の 「間接目的語」

perlaban ペルラバン 3 複線(perlar)v.t 覆っていた 「動詞」

la frente, ラ・フレンテ n.f 額を 「直接目的語」

pero ペロ conj. しかし

no ...enjugaba. ノ...エンフガバ 3 単線・否定(enjugar)v.t 拭き取らなかった 「動詞句」

las ラス pron.pl しずくを 「目的語」

Primera parte 第1部

僕には、葬列の歩みが少し速くなったように思われた。

Me pareció que el cortejo marchaba un poco mas de prisa.

	「間接目的語」「動詞」「主語」
Me メ pron 僕には	「間接目的語」
pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i ~のように思われた	「動詞」
que ケ conj. ~ということ	「主語」
el cortejo エル・コルテホ n.m (葬儀の) 行列が	「主語」
marchaba マルチャバ 3 単線(marchar)v.i 進んでいた	「動詞」
un poco mas de prisa. ウン・ポ・コ・マス・プ・リサ adv. 少し速めに	「副詞句」

僕の周りは相変わらず、太陽がいっぱい、光が溢れる同じ田園地帯が続いていた。

A mi alrededor continuaba siempre el mismo campo luminoso colmado de sol.

	「副詞句」「動詞」「副詞」「主語」
A mi alrededor ア・ミ・アルデトール adv. 僕の周りは	「副詞句」
continuaba コンチヌアバ 3 単線(continuar)v.i 続いていた	「動詞」
siempre シエンプレ adv. 相変わらず	「副詞」
el mismo campo エル・ミスモ・カンポ n.m 同じ田園地帯が	「主語」
luminoso ルミノ adj. 光が溢れている	「形容詞」
colmado de sol. コルマト・デ・ソル adj. 太陽がいっぱいの	「形容詞句」

空のきらめきは耐えられないほどだった。

El resplandor del cielo era insostenible.

	「主語」「動詞」「補語」
El resplandor エル・レスプラントール n.m 輝きは	「主語」
del cielo デル・シエロ adj. 空の	「形容詞句」
era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった	「動詞」
insostenible. インソステニブレ adj. 耐えられない	「補語」

Primera parte 第1部

ふと葬列は、最近補修された道路のある場所を通りかかった：そこは太陽の熱でアスファルトが溶けていた。

En un momento dado pasamos por una parte del camino que había sido arreglada recientemente: El sol había hecho estallar el alquitrán.

「副詞句」「動詞」「副詞句」：「主語」「動詞句」「目的語」

En un momento dado エ・ヌン・モメント・ダト adv. ある時に、ふと、不意に 「副詞句」

フランス語では、「à un moment donné ふとある時に、何かの折に、いつかは」

pasamos パサモス 1 単点(pasar)v.i(por を) 通りかかった 「動詞」

por una parte ポル・ウナ・パルテ adv. ある場所を 「副詞句」

del camino テル・カミノ adj. 道路の 「形容詞句」

que ケ pron.f (主語：una parte の代用) ～する 「形容詞節」

había sido arreglada アビエ・シト・アレグラダ 3 単線・完了形・受動.f(arreglar)

v.t 補修された 「動詞句」

recientemente: レシエンテメンテ adv. 最近 「副詞」

El sol エル・ソル n.m 太陽が 「主語」

había hecho estallar アビエ・エチョ・エスタジャール 3 単線・完了形・使役(hacer+不定詞)

v.t 破裂させていた 「動詞句」

el alquitrán. エル・アルキトラン n.m 道路のタールを 「目的語」

足がアスファルトの中にめり込むと、その輝く中身を剥き出しにした。

Los pies se hundían en el y dejaban abierta su carne brillante.

「主語」「動詞」「副詞句」 y 「動詞」「補語」「目的語」

Los pies ロス・ピエス pl.n.m 足が 「主語」

se hundían セ・ウンディアン 3 複線(hundirse)v.pr 沈んだ、めり込んだ 「動詞句」

en el エン・エル adv. アスファルトの中に 「副詞句」

y イ conj. そして

dejaban テハバン 3 複線・放任(dejar)v.t (+補語) ～にさせた 「動詞」

abierta アビエルタ adj.f 開いた 「補語」

su carne brillante. ス・カルネ・ブリジャンテ n.f (アスファルトの) 輝く中身を 「目的語」

Primera parte 第1部

柩車の上では、御者のぎらぎら光る帽子が、アスファルトの黒い泥で捏ねたように見えた。

Por encima del coche, la galera luciente del cochero parecía haber sido amasada con ese fango negro. 「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」

Por encima ホル・エンマ adv. ～の上に 「副詞句」

del coche, テル・コチェ adj. 柩車の 「形容詞句」

la galera luciente ラ・ガレラ・ルシエンテ n.f. ぎらぎら光る帽子は 「主語」

galera ガレラ n.f. シルクハット、帽子 luciente ルシエンテ adj. ぎらぎら光る

del cochero テル・コチェロ adj. (馬車の) 御者の 「形容詞句」

parecía パレシア 3 単線(parecer)v.i. ～に見えた 「動詞」

haber sido amasada アベール・シト・アマサダ 不定詞・完了形・受動.f(amasar)・名詞句

n. 捏ねられたということ 「補語」

con ese fango negro. コン・エセ・ファンゴ・ネグロ adv. その黒い泥によって 「副詞句」

一方、空は青と白の鮮やかな配色、他方、剥き出しになったアスファルトのねばねばした黒と喪服のくすんだ黒そして柩車の光沢のある黒という色の単調さに挟まれて、僕は自分を見失うところだった。

Yo estaba un poco perdido entre el cielo azul y blanco y la monotonía de aquellos colores, negro viscoso del alquitrán abierto, negro opaco de las ropas, negro lustroso del coche.

「主語」「動詞」「補語」「副詞句」

Yo ジョ pron 僕は 「主語」

estaba エスタバ 1 単線(estar)v.i. ～だった 「動詞」

un poco perdido ウン・ポコ・ペルティド adj. 少し自分を見失った 「補語」

entre エントレ prep. ～の間で 「副詞句」

el cielo エル・シエロ n.m. 空 「目的語」

azul y blanco アズル・イ・ブランコ adj. 青と白の 「形容詞句」

y イ conj. そして

la monotonía ラ・モトニア n.f. 単調さ 「目的語」

de aquellos colores, デ・アケジョス・コロレス adj. あれらの色の 「形容詞句」

negro viscoso ネグロ・ビスコソ n.m. ねばねばした黒 「目的語」

del alquitrán abierto, テル・アルキトラン・アビエルト

adj. 剥き出しのアスファルトの 「形容詞句」

negro opaco ネグロ・オパコ n.m. くすんだ黒 「目的語」

opaco オパコ adj. くすんだ、輝きのない

de las ropas, デ・ラス・ロパス adj. 喪服の、服の 「形容詞句」

negro lustroso ネグロ・ルストロソ n.m. 光沢のある黒 「目的語」

del coche. テル・コチェ adj. 柩車の 「形容詞句」

Primera parte 第1部

太陽、馬車から出る革と馬糞の匂い、ニスの匂い、香の匂いそして徹夜の疲れ、これらすべてが僕の視力と思考力を狂わせた。

Todo esto, el sol, el olor del cuero y del estiércol del coche, el del barniz y el del incienso y la fatiga de una noche de insomnio, me turbaba la mirada y las ideas.

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Todo esto, トト・エスト pron これらすべては 「主語」
 el sol, エル・ソル n.m 太陽 「主語」
 el olor エル・オロール n.m 匂い 「主語」
 del cuero y del estiércol del coche, デル・クエロ・イ・デル・エスチエルコル・デル・コチェ
 adj. 馬車から出る革と馬糞の 「形容詞句」
 el エル pron (el olor の代用) 匂い 「主語」
 del barniz デル・バルニス adj. ニスの 「形容詞句」
 y イ conj. そして
 el エル pron (el olor の代用) 匂い 「主語」
 del incienso デル・インシエンソ adj. 香の 「形容詞句」
 y イ conj. そして
 la fatiga ラ・ファティガ n.f 疲労 「主語」
 de una noche デ・ウナ・ノチェ adj. 1夜の 「形容詞句」
 de insomnio, デ・インソムニョ adj. 徹夜の 「形容詞句」
 me メ pron 僕の 「間接目的語」
 turbaba トゥルババ 3 単線(turbar)v.t 混乱させた 「動詞」
 la mirada ラ・ミラダ n.f 視線を 「直接目的語」
 y イ conj. そして
 las ideas. ラス・イデアス pl.n.f 考えを 「直接目的語」

僕はもう一度振り返った。ペレスは、陽炎に包まれて、僕にはとても遠くに見えたが、その後は、もう見えなくなった。

Me volví una vez más: Pérez me pareció muy lejos, perdido en una nube de calor; luego, no lo divisé más.

「動詞句」「副詞句」:「主語」「間接目的語」「動詞」「補語」;

「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞」

Me volví メ・ボルビ 1 単点(volverse)v.pr 振り返った 「動詞句」
 una vez más: ウナ・ベス・マス adv. また、もう一度 「副詞句」
 Pérez ペレス ペレスは 「主語」
 me メ pron 僕には 「間接目的語」
 pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i へのように見えた 「動詞」

Primera parte 第1部

muy lejos, ムイ・レホス	adj. とても遠い	「補語」
perdido	ペルディド 過去分詞・受動(perder)v.t 消えた、失われた	「副詞句」
en una nube	エン・ウナ・ヌベ adv. 雲状のものの中に	「副詞句」
de calor;	デ・カロール adv. (原因) 暑さで出来る	「副詞句」
→ 陽炎の中に		
luego,	ルエゴ adv. その後、それから	「副詞」
no ...divisé	ノ...ディビセ 1 単点・否定(divisar)v.t (遠くに) 見えなくなった	「動詞句」
lo	ロ pron 彼が	「目的語」
más.	マス adv. それ以上	「副詞」

視線を巡らせて彼を探すと、道から出て、野原を進む彼の姿が見えた。

Lo busqué con la mirada y vi que había dejado el camino y tomado a campo traviesa.

「目的語」「動詞」「副詞句」 y 「動詞」「目的語」

Lo	ロ pron 彼を	「目的語」
busqué	ブスカ 1 単点(buscar)v.t 探した	「動詞」
con la mirada	コン・ラ・ミラダ adv. 視線を巡らせて	「副詞句」
y	イ conj. そして	
vi	ビ 1 単点(ver)v.t 見えた	「動詞」
que	ケ conj. ～ということが	「目的語」
había dejado	ハビ・ア・デハド 3 単線・完了形(dejar)v.t ～から去った	「動詞句」
el camino	エル・カミノ n.m 道	「目的語」
y	イ conj. そして	
tomado	トマド 3 単線・完了形(tomar)v.i 進んでいた	「動詞句」
a campo traviesa.	ア・カンポ・トラビエサ adv. 野原を横切って	「副詞句」

この先で、道路が曲がっていることも見届けた。

Comprobé también que el camino doblaba delante de mí.

「動詞句」「副詞」「目的語」

Comprobé	コンプロベ 1 単点(comprobar)v.t 確認した	「動詞」
también	タンビエン adv. ～もまた	「副詞」
que	ケ conj. ～ということを	「目的語」
el camino	エル・カミノ n.m 道は	「主語」
doblaba	ドブラバ 3 単線・時制の一致(doblar)v.i 曲がっている	「動詞」
delante de mí.	デランテ・デミ adv. 僕の前で、この先で	「副詞句」

Primera parte 第1部

この辺をよく知っているペレスが、僕たちに追いつくために、野原を横切っていることが分かった。

Comprendí que Pérez, que conocía la región, cortaba campo para alcanzarnos.

「動詞」「目的語」
Comprendí コンプレンディ 1 単点(comprender)v.t 分かった、理解した 「動詞」
que ケ conj. ～ということを 「目的語」
Pérez, ペレス n.m ペレスは 「主語」
que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
conocía コノシア 3 単線・時制の一致(conocer)v.t 知っている 「動詞」
la región, ラ・レヒオン n.f この地域を 「目的語」
cortaba コルタバ 3 単線・時制の一致(cortar)v.t 横切っている 「動詞」
campo カンポ n.m 野原を 「目的語」
para +不定詞 パラ adv. ～するために 「副詞句」
alcanzarnos. アルカンサル・ノス 不定詞(alcanzar+nos)
v.t 僕たちに追いつく 「動詞句」

道を曲がったところで、彼は僕たちと合流した。それからまた、彼は見えなくなった。

Al dar la vuelta se nos había reunido. Luego lo perdimos.

「副詞句」「動詞句」 | 「副詞」「目的語」「動詞」
Al +不定詞 アル adv. ～する時、～した時 「副詞句」
dar ダール 不定詞 v.t (動作を) する、した 「動詞」
la vuelta ラ・ブエルト n.f (道の曲がり角を) 回転 「目的語」
se nos había reunido. セ・ノス・アビ・ア・レウニト 3 単線・完了形(reunirse)
v.pr 僕たちに合流した 「動詞句」
se は「彼」を表す reunirse の再帰代名詞で「直接目的語」。nos は「間接目的語」
Luego ルエゴ adv. それから 「副詞」
lo ロ pron 彼を 「目的語」
perdimos. ペルディモス 1 複点(perder)v.t 見失った 「動詞」

再び野原を横切って進んでいった。それから何度かこのようにして進んでいた。

Volvió a tomar a campo traviesa, y así varias veces. 「動詞句」「副詞句」 y 「副詞句」

Volvió a tomar ボルビョ・ア・トマル 3 単点・再度(volver a+不定詞)
v.i(a の方に) 再び～の方に進んでいった 「動詞句」
volver a+不定詞 「再び～する」
a campo traviesa, ア・カンポ・トラビエサ adv. 野原を横切って 「副詞句」
y イ conj. そして

Primera parte 第1部

así varias veces. アシ・バリ阿斯・ベセス adv. 何度かこの様にして 「副詞句」

僕はこめかみに血が脈打つのを感じた。

Yo sentía la sangre que me golpeaba en las sienes. 「主語」「動詞」「目的語」

Yo ジョ pron 僕は 「主語」

sentía センチア 1 単線(sentir)v.t 感じた 「動詞」

la sangre ラ・サングレ n.f 血を 「目的語」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

me メ pron 僕を 「目的語」

golpeaba メ・ゴルペアバ 3 単線・時制の一致(golpear)

v.pr 打っている、脈打っている 「動詞句」

en las sienes. エン・ラス・シエス adv. こめかみの上を 「副詞句」

すぐに、すべてがあわただしく、確実に、かつ自然に進んだので、何も覚えていない。

Todo ocurrió enseguida con tanta precipitación, certidumbre y naturalidad, que no recuerdo nada más. 「主語」「動詞」「副詞句」

Todo トト pron すべてが 「主語」

ocurrió オクリオ 3 単点(ocurrir)v.i 起こった、進んだ 「動詞」

enseguida エンセギダ adv. すぐに、ただちに、急速に 「副詞」

con tanta precipitación, コン・タンタ・プレシパシオン adv. とてもあわただしく 「副詞句」

certidumbre セルチドゥカンブレ n.f 確信をもって 「副詞句」

y イ conj. そして

naturalidad, ナトゥラリダ n.f 自然さをもって 「副詞句」

que ケ conj. それで~した 「副詞節」

no recuerdo ノ・レクエルト 1 単現・否定(recordar)v.t 覚えていない 「動詞句」

nada más. ナダ・マス pron それ以上何も~ない 「目的語」

ただ1つだけは覚えている：村の入り口で、派遣の看護婦が僕に話しかけてきたのだ。

Sólo una cosa: a la entrada del pueblo la enfermera delegada me habló.

「目的語」：「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞」

Sólo una cosa: ソロ・ウナ・コサ n.f ただ1つのことだけ (は覚えている) 「目的語」

a la entrada ア・ラ・エントラダ adv. 入り口で 「副詞句」

del pueblo デル・プエブロ adj. 村の 「形容詞句」

la enfermera ラ・エンフェルメラ n.f 看護婦が 「主語」

delegada デレカダ adj.f 派遣の 「形容詞」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

Primera parte 第1部

habló. アブラ 3 単点(hablar)v.i 話しかけてきた 「動詞」

彼女は、その顔からは想像できない、独特な声をしていた。歌うような震えるような声だ。

Tenía una voz singular, que no correspondía a su rostro; una voz melodiosa y trémula.

「動詞」「目的語」「形容詞句」, 「目的語」

Tenía テニア 3 単線(tener)v.t (肉体的特徴) 〜があった、〜だった 「動詞」

una voz ウナ・ボス n.f 声 「目的語」

singular, シングラー adj. 独特な、風変わりな 「形容詞」

que ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」

no correspondía ノ・コレスポ・ンデ・イア 3 単線・否定

v.i(a に) ふさわしくない 「動詞句」

a su rostro; ア・ス・ロストロ adv. 彼女の顔に 「間接目的語」

una voz ウナ・ボス n.f 声を 「目的語」

melodiosa メロディオサ adj.f 歌うような、音楽的な 「形容詞」

y イ conj. そして

trémula. トレムラ adj.f 震える 「形容詞」

彼女は僕に言った：「もしゆっくり歩くと、日射病になる危険があります」

Me dijo: "Si uno anda despacio, corre el riesgo de una insolación.

「間接目的語」「動詞」: 《「副詞節」, 「動詞」「主語」》

Me メ pron 僕に 「間接目的語」

dijo: デイヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

"Si シ conj. もし〜すると 「副詞節」

uno ウノ pron 人が 「主語」

anda アンダ 3 単現(andar)v.i 歩く 「動詞」

despacio, デスパシオ adv. ゆっくり 「副詞」

corre コレ 3 単現(correr)v.i 駆け寄る 「動詞」

el riesgo エル・リエスコ n.m 危険が 「主語」

de una insolación. デ・ウナ・インソラシオン adj. 日射病の 「形容詞句」

「ですが、もし急ぎすぎると、汗をかいて、教会に入ってから風邪をひきます」

Pero si anda demasiado aprisa, transpira y, en la iglesia, pesca un resfriado."

《Pero 「副詞節」, 「動詞」 y 「副詞句」「動詞」「目的語」》

Pero ペロ conj. しかし

si シ conj. もし〜すると 「副詞節」

anda アンダ 3 単現(andar)v.i 歩く 「動詞」

Primera parte 第1部

demasiado aprisa, デマシアト・アプリーサ adv. 急ぎすぎて	「副詞句」
transpira トランスピラ 3 単現(transpirar)v.i 汗をかく	「動詞」
y, イ conj. そして	
en la iglesia, エン・ラ・イグレスΙΑ adv. 教会の中で	「副詞句」
pesca ペスカ 3 単現(pescar)v.t (病気に) かかる	「動詞」
un resfriado." ウン・レスフリアド n.m 風邪に	「目的語」

その通りだ。逃げ道はない。

Tenía razón. No había escapatoria.	「動詞」「目的語」 「動詞句」「目的語」
Tenía テニア 3 単線(tener)v.t ~がある	「動詞」
razón. ラソン n.f 道理	「目的語」
tener razón 「正しい、もつともである」	
No había ノ・アビア 1 単線・否定(haber)v.t ~がない	「動詞句」
escapatoria. エスカパトリア n.f 逃げ道	「目的語」

まだ他にも、この日の情景がいくつか記憶に残っている：例えば、村の近くで、僕たちに最後に追いついたときのペレスの顔だ。

Todavía retengo algunas imágenes de aquel día: por ejemplo, el rostro de Pérez cuando se nos reunió cerca del pueblo por última vez.

	「副詞」「動詞」「目的語」: 「副詞句」「目的語」「副詞節」
Todavía トダビア adv. まだ、さらに	「副詞」
retengo レテンゴ 1 単現(retener)v.t 記憶にとどめている、覚えている	「動詞」
algunas imágenes アルグナス・イマヘネス pl.n.f いくつかの映像を	「目的語」
de aquel día: デ・アケル・ディア adj. この日の	「形容詞句」
por ejemplo, ホル・エヘンプロ adv. 例えば	「副詞句」
el rostro de Pérez エル・ロストロ・デ・ペレス n. ペレスの顔を	「目的語」
quando クワント conj. ~するときの	「副詞節」
se ...reunió セ...レウニオ 3 単点(reunirse)v.pr 追いついた、集まった	「動詞句」
nos ノス pron 僕たちに	「間接目的語」
cerca del pueblo セルカ・デル・プエブロ adv. 村の近くで	「副詞句」
por última vez. ホル・ウルチマ・ベス adv. 最後に	「副詞句」

Primera parte 第1部

苛立ちと苦痛による大粒の涙が、彼の頬をつたって滴り落ちていた。

Gruesas lágrimas de nerviosidad y de pena le chorreaban por las mejillas.

「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」

Gruesas lágrimas グルエサス・ラグラリマス pl.n.f 大粒の涙が 「主語」

de nerviosidad デ・ネルビオシダド adj. 苛立った、興奮した 「形容詞句」

y イ conj. そして

de pena デ・ペナ adj. 苦痛の、苦悩の 「形容詞句」

le レ pron 彼の 「間接目的語」

chorreaban チョレアバン 3 複線(chorrear)v.i したたっていた 「動詞」

por las mejillas. ホル・ラス・メジヤス adv. 頬をつたって 「副詞句」

しかし頬の皺が涙が落ちるのをさえぎっていた。涙は広がりつながって、水の膜を作って輝き、しなびた顔を滑らかに覆った。

Pero las arrugas no las dejaban caer. Se extendían, se juntaban y formaban un barniz de agua sobre el rostro marchito.

Pero 「主語」「動詞句」「目的語」「補語」

「動詞句」, 「動詞句」 y 「動詞」「目的語」「副詞句」

Pero ペロ conj. しかし

las arrugas ラス・アルカガス pl.n.f 頬のしわが 「主語」

no ...dejaban ノ...デハバン 3 複線・放任・否定(dejar)v.t ~させなかった 「動詞句」

las ラス pron.pl 涙を 「目的語」

caer. カエル 不定詞 v.i 落ちる 「補語」

Se extendían, セ・エクステンディアン 3 複線(extenderse)v.pr 広がった 「動詞句」

se juntaban セ・フンタバン 3 複線(juntarse)v.pr 一緒になった 「動詞句」

y イ conj. そして

formaban フォルマバン 3 複線(formar)v.t 作った 「動詞」

un barniz ウン・バルニス n.m うわぐすり 「目的語」

de agua デ・アグワ adj. 水の 「形容詞句」

sobre el rostro marchito. ソブレ・エル・ロストロ・マルチト adv. しなびた顔の上に 「副詞句」

Primera parte 第1部

他にも記憶に残っているのは、教会と歩道の村人たち、墓地の墓石の赤いゼラニウム、ペレスの失神（まるで糸が切れた操り人形のようにだった）、

Hubo también la iglesia y los aldeanos en las aceras, los geranios rojos en las tumbas del cementerio, el desvanecimiento de Pérez (habríase dicho un títere dislocado),

「動詞」「副詞」「目的語」 y 「目的語」, 「目的語」, 「目的語」 (「動詞句」「目的語」)

Hubo ヲ³ 3 単点(haber)v.i (+単数・複数名詞) 〜があった (記憶にあった) 「動詞」

también タンビエン adv. 〜も 「副詞」

la iglesia ラ・イグレシア n.f 教会 「目的語」

y イ conj. そして

los aldeanos ロス・アルデアノス pl.n.m 村人たち 「目的語」

en las aceras, エン・ラス・アセラス adj. 歩道の 「形容詞句」

los geranios rojos ロス・ヘラニオス・ロホス pl.n.m 赤いゼラニウム 「目的語」

en las tumbas エン・ラス・トゥンバス adj. 墓の、墓所の 「形容詞句」

del cementerio, デル・セメンテリオ adj. 墓地の 「形容詞句」

el desvanecimiento エル・デスバネシメント n.m 失神 「目的語」

de Pérez テ・ペレス adj. ペレスの 「形容詞句」

(habríase dicho アブリアセ・ディチョ 3 単過未・完了形・再帰受動・推測(decirse)

v.pr. 〜と言われたかもしれない 「動詞句」

un títere ウン・チーテレ n.m 操り人形 「主語」

dislocado), デイスロカト³ 過去分詞・受動(dislocar)

v.t 関節を外された、糸が切られた 「形容詞」

Hay+単数・複数名詞 : 〜がある

英語では、There is +単数名詞、There are+複数名詞となり、名詞は「主語」である。

しかし、スペイン語の Hay+単数・複数名詞、では名詞は「目的語」である。

Primera parte 第1部

母さんの棺の上に落ちる血の色をした土、

la tierra color de sangre que rodaba sobre el féretro de mamá, 「目的語」

la tierra ラ・ティエラ n.f 土 「目的語」

color de sangre コーラル・デ・サングレ adj. 血の色をした 「形容詞句」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

rodaba ロダバ 3 単線(rodar)v.i 転がり落ちる 「動詞」

sobre el féretro ソブレ・エル・フェレトロ adv. 棺の上に 「副詞句」

de mamá, デ・ママ adj. 母さんの 「形容詞句」

土に混ざっていた木の根の白い肉、

la carne blanca de las raíces que se mezclaban, 「目的語」

la carne blanca ラ・カルネ・ブランカ n.f 白い肉 「目的語」

de las raíces デ・ラス・ライセス adj. 根の 「形容詞句」

que ケ pron.pl (主語) ～する 「形容詞節」

se mezclaban, セ・メスクラバン 3 複線(mezclarse)

v.pr 混ざっていた 「動詞句」

さらに人々、声、村、カフェの前での待ち時間、絶え間ないエンジンの音、

gente aún, voces, el pueblo, la espera delante de un café el incesante ronquido del motor,

「目的語」, 「目的語」, 「目的語」, 「目的語」, 「目的語」,

gente aún, ヘンテ・アウン pl.n さらに人々 「目的語」

voces, ボセス pl.n.f(voz) 声 「目的語」

el pueblo, エル・プエブロ n.m 村 「目的語」

la espera ラ・エスペラ n.f 待つ時間 「目的語」

delante de un café デランテ・デ・ウン・カフェ adj. カフェの前での 「形容詞句」

el incesante ronquido エル・インセサン・ロンキド n.m 絶え間のないいびき 「目的語」

incesante インセサンテ adj. 絶え間ない ronquido ロンキド n.m いびき

del motor, デル・モートル adj. エンジンの 「形容詞句」

Primera parte 第1部

そして、バスがアルジェの光の巣の中に入ってきて、これから 12 時間は横になって眠れる
だろうと考えた時の僕の喜び

y mi alegría cuando el autobús entró en el nido de luces de Argel y pensé que iba a acostarme y a dormir durante doce horas. y 「目的語」

y イ conj. そして

mi alegría ミ・アレグリア n.f 僕の喜び

「目的語」

cuando クワント conj. ～した時の

「形容詞節」

el autobús エル・アウトブス n.m バスが

「主語」

entró エントロ 3 単点(entrar)v.i 入ってきた

「動詞」

en el nido エン・エル・ニド adv. 巣のなかに

「副詞句」

de luces de Argel デ・ルセス・デ・アルヘル

adj. アルジェの光の

「形容詞句」

y イ conj. そして

pensé ペンセ 1 単点(pensar)v.t(que ～であると) 考えた

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

iba a acostarme イバ・ア・アコスタル・メ 1 単線・近接未来・時制の一致(ir a+不定詞)

v.pr 横になれるだろう

「動詞句」

y イ conj. そして

a dormir ア・ドルミール 1 単線・近接未来・時制の一致(ir a+不定詞)

v.i 眠れるだろう

「動詞句」

durante doce horas. トゥランテ・ドセ・オラス adv. 12 時間は 「副詞句」

Primera parte 第1部

II

目を覚ました時に、僕が 2 日間の休暇を願い出たときに、どうして社長が不満そうな顔をしていたのかが分かった：今日は土曜日なのだ。

Cuando me desperté comprendí por qué el patrón tenía aspecto descontento cuando le pedí los dos días de licencia: hoy es sábado.

「副詞節」, 「動詞」 「目的語」: 「副詞」 「動詞」 「補語」

Cuando クワント conj. ～する時に 「副詞節」

me desperté メ・デスぺルテ 1 単点(despertarse)v.pr 目を覚ました 「動詞句」

comprendí コンプレンティ 1 単点(comprender)v.t 分かった 「動詞」

por qué ポル・ケ conj. どうして～かということが 「目的語」

el patrón エル・パトロン n.m 社長が 「主語」

tenía テニア 3 単線(tener)v.t (感情を) 持っていた 「動詞」

aspecto descontento アスペクト・デスカンテント n.m 不満そうな様子を 「目的語」

aspecto アスペクト n.m 様子 descontento デスカンテント adj. 不満な

cundo クワント conj. ～する時 「副詞節」

le レ pron 彼に 「間接目的語」

pedí ペディ 1 単点(pedir)v.t 願い出た 「動詞」

los dos días ロス・トス・ディアス pl.n.m 2 日間を 「直接目的語」

de licencia: デ・リセンシア adj. 休暇の 「形容詞句」

hoy オイ adv. 今日は 「副詞」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

sábado. サバト n.m 土曜日 「補語」

どうもそれを忘れていたようだ。ところが起きる時にそのことが頭に浮かんだのだ。

Por decirlo así, lo había olvidado, pero se me ocurrió la idea al levantarme.

「副詞句」, 「目的語」 「動詞句」 pero 「動詞句」 「間接目的語」 「主語」 「副詞句」

Por decirlo así, ポル・デシル・アシ adv. 言ってみれば、言わば 「副詞句」

lo ロ pron それを 「目的語」

había olvidado, アビア・オルビダト 1 単線・完了形(olvidar)v.t 忘れていた 「動詞句」

pero ペロ conj. しかし

se ...ocurrió セ...クリオ 3 単点(ocurrirse)v.pr (a+人 の) 頭に浮かんだ 「動詞句」

me メ pron 僕の 「間接目的語」

la idea ラ・イデア n.f その考えが 「主語」

al levantarme. アル・レヴァンタルメ adv. (時点) 起きる時に 「副詞句」

Primera parte 第1部

当然、社長は、日曜日を含めると僕が4連休を取るのだ、と思ったはずだ。そして、それが社長には気に入らなかったに違いない。

Naturalmente, el patrón pensó que con el domingo tendría cuatro días de licencia, y eso no podía gustarle. 「副詞」, 「主語」 「動詞」 「目的語」 y 「主語」 「動詞句」

Naturalmente, ナトゥラルメンテ adv. 当然 「副詞」

el patrón エル・パトロン n.m 社長は 「主語」

pensó ペンソ 3単点(pensar)v.t(que ~と) 考えた 「動詞」

que ケ conj. ~ということ を 「目的語」

con el domingo コン・エル・ドミンゴ adv. 日曜日を含めると 「副詞句」

tendría テンドリア 1単過未・推測(tener)v.t ~を取るだろう 「動詞」

cuatro días クワトロ・ディアス pl.n.m 4日間 「目的語」

de licencia, デ・リセンシア adj. 休暇の 「形容詞句」

y イ conj. そして

eso エソ pron それは 「主語」

no podía gustarle. ノ・ポ・デア・グスター・レ 3単線・可能性・否定(poder+不定詞+le)

v.i 彼には気に入らなかったに違いない 「動詞句」

しかし、一方で、母さんの葬儀が今日ではなく昨日だったことは僕のせいじゃあない、また、どちらにしても、僕は土曜日と日曜日は休めたのだ。

Pero, por una parte, no es culpa mía que hayan enterrado a mamá ayer en vez de hoy, y, por otra parte, hubiera tenido el sábado y el domingo de todos modos.

Pero 「副詞句」 「動詞」 「補語」 「主語」 y 「副詞句」 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」

Pero, ペロ conj. しかし

por una parte, ポル・ウナ・パルテ adv. 一方では 「副詞句」

no es ノ・エス 3単現・否定(ser)v.i ~でない 「動詞」

culpa mía クルパ・ミア n.f 僕の間違い、僕が悪い 「補語」

que ケ conj. (価値判断) ~ということ は 「主語」

hayan enterrado アヤン・エンテラド 接・3複現・完了形(enterrar)v.t 埋葬した 「動詞句」

a mamá ア・ママ n.f 母さんを 「目的語」

ayer アジェール adv. 昨日 「副詞」

en vez de エン・ベス・デ prep ~の代わりに、~ではなく 「副詞句」

hoy, オイ adv. 今日 「副詞」

y, イ conj. そして

por otra parte, ポル・オトラ・パルテ adv. また、他方では 「副詞句」

hubiera tenido ウビエラ・テニド 接・1単過・完了形・推測(tener)v.t ~を持てただろう 「動詞句」

el sábado エル・サバド n.m 土曜日を 「目的語」

Primera parte 第1部

y イ conj. そして

el domingo エル・ドミンゴ n.m 日曜日を

「目的語」

de todos modos. デ・トドス・モドス adv. それでも、とにかく

「副詞句」

もちろん、社長の考えが理解できない訳ではない。

Por supuesto, esto no me impide comprender a mi patrón.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「補語」

Por supuesto, ホル・スプエスト adv. もちろん

「副詞句」

esto エスト pron これは

「主語」

no ...impide ノ...インピデ 3 単現・否定(impedir)v.t(SVO+C:不定詞)

v.t O が～するのを妨げない

「動詞句」

me メ pron 僕が

「目的語」

comprender コンプレンデール 不定詞・me の動作 v.t 理解する、わかる

「補語」

a mi patrón. ア・ミ・パトロン n.m 社長のことを

「目的語」

昨日一日の疲れがまだ残っていたので、起き上がるのが辛かった。

Me costó levantarme porque la jornada de ayer me había cansado.

「間接目的語」 「動詞」 「主語」 「副詞節」

Me メ pron 僕にとって

「間接目的語」

costó コスト 3 単点(costar)v.i 骨が折れた

「動詞」

levantarme レバンタル・メ 不定詞(levantarse)v.pr,n. 起き上がることは

「主語」

porque ホルケ conj. ～なので

「副詞節」

la jornada ラ・ホルヘダ n.f 1 日は

「主語」

de ayer デ・アジェール adj. 昨日の

「形容詞句」

me メ pron 僕を

「目的語」

había cansado. アビア・カンサド 3 単線・完了形(cansar)v.t 疲れさせていた

「動詞句」

僕を疲れさせていた → 疲れが残っていた

髭を剃っている間、何をしたらよいかと考えていたが、泳ぎに行くことにした。

Mientras me afeitaba me pregunté qué podía hacer y resolví ir a bañarme.

「副詞節」, 「動詞句」 「目的語」 y 「動詞句」

Mientras ミエンTRAS conj. ～している間に

「副詞節」

me afeitaba メ・アフェイタバ 1 単線(afeitarse)v.pr 髭を剃っていた

「動詞句」

me pregunté メ・プレグンテ 1 単線(preguntarse)v.pr 考えていた

「動詞句」

preguntarse プレグンタルセ v.pr 自問する、疑問に思う

qué ケ pron (目的語) 何を～するかということ

「目的語」

Primera parte 第1部

podía hacer ポディア・アセル 1 単線・許可(poder+不定詞)

v.t. ～をしたら良いだろうか

「動詞句」

y イ conj. そして

resolví ir レソルビ・イール 1 単点・決心(resolver+不定詞 ir a+不定詞)

v.i. 行くことに決めた

「動詞句」

a bañarme. ア・バニャル・メ 不定詞(bañarse)v.pr. 泳ぐ

「動詞句」

路面電車に乗って、港にある海水浴場に行った。

Tomé el tranvía para ir al establecimiento de baños del puerto.

「動詞」「目的語」「副詞句」

Tomé トメ 1 単点(tomar)v.t. (公共の乗り物に) 乗った

「動詞」

el tranvía エル・トランビァ n.m. 路面電車に

「目的語」

para +不定詞 パラ adv. そして～する、～するために

「副詞句」

→ ここは「～するため」よりも「そして～した」と翻訳する

ir イール 不定詞 v.i. 行く

「動詞」

al establecimiento de baños アル・エスタブレスミエント・デ・バニョス

adv. 海水浴場に

「間接目的語」

establecimiento エスタブレスミエント n.m. 施設 baños バニョス pl.n.m. 水浴

del puerto. デル・プエルト adv. 港にある

「副詞句」

そこで僕は、海水浴場の入り口に飛び込んだ。沢山の若者がいた。

Allí me zambullí en la entrada. Había muchos jóvenes.

「副詞」「動詞句」「副詞句」 | 「動詞」「目的語」

Allí アジ adv. そこで

「副詞」

me zambullí メ・ザンブジ 1 単点(zambullirse)v.pr. (水に) 飛び込んだ

「動詞句」

en la entrada. エン・ラ・エントラダ adv. 海水浴場の入り口に

「副詞句」

Había アビア 3 単線(haber)v.t. ～がいた

「動詞」

muchos jóvenes. ムチョス・ホベネス pl.n.m. 沢山の若者が

「目的語」

Primera parte 第1部

水の中で、僕の事務所の元タイピストのマリー・カルドナに出会った。その当時、僕は彼女をものにしようと思っていた。

En el agua encontré a María Cardona, antigua dactilógrafa de mi oficina, a la que había deseado en otro tiempo. 「副詞句」, 「動詞」 「目的語」, 「副詞節」

En el agua エン・ネル・アグア adv. 水の中で 「副詞句」

encontré エンコントレ 1 単点(encontrar)v.t (偶然に) 出会った 「動詞」

a María Cardona, ア・マリア・カルドナ n.f マリー・カルドナに 「目的語」

antigua dactilógrafa アンチグェ・ワ・ダクチログラファ

n.f (同格) 元タイピストの 「形容詞句」

antigua アンチグェ adj.f(+名詞) 元の、旧の

de mi oficina, デ・ミ・オフィシナ adj. 僕の事務所の 「形容詞句」

a la que ア・ラ・ケ pron 彼女を～する 「副詞節」

había deseado アビア・デセアド 1 単線・完了形(desear)

v.t 欲情を抱いていた 「動詞句」

en otro tiempo. エン・オトロ・ティエンポ

adv. かつて、以前、その当時 「副詞句」

彼女もその気があったと思っている。しかしまもなく彼女は会社を辞めてしまったので、僕たちにはそのチャンスがなかった。

Creo que ella también. Pero se había marchado poco después y no tuvimos ocasión.

「動詞」 「目的語」 | Pero 「動詞句」 「副詞句」 y 「動詞句」 「目的語」

Creo クレオ 1 単現(creer)v.t(que ～だと) 思っている 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

ella エジャ pron 彼女は 「主語」

también. タンビエン adv. 同様に 「副詞」

Pero ペロ conj. しかし

se había marchado セ・アビア・マルチャト 3 単線・完了形・再帰動詞(marcharse)

v.pr 辞めてしまった 「動詞句」

poco después ホコ・デスプエス adv. まもなく、少し後で 「副詞句」

y イ conj. そして

no tuvimos ノ・トゥビモス 1 複点・否定(tener)v.t ～がなかった 「動詞句」

oportunidad. オカシオン n.f チャンスが、時間が 「目的語」

再帰動詞・複合時制 : 助動詞は常に haber を使用する

Primera parte 第1部

僕は彼女がブイにあがるのを手伝い、その時に、彼女の胸に軽く触れた。

La ayudé a subir a una balsa y rocé sus senos en ese movimiento.

「目的語」「動詞」「補語」 y 「動詞」「目的語」「副詞句」

La ラ pron 彼女が

「目的語」

ayudé アユデ 1 単点(ayudar)v.t(a+不定詞) (～するのを) 手伝った

「動詞」

a subir ア・スビール 不定詞・La の動作 v.i(a に) 上がる

「補語」

a una balsa ア・ウナ・バルサ adv. ブイの上に

「副詞句」

balsa バルサ n.f 筏 (フランス語版では bouée ブイなので、boya ブイの方が適当)

y イ conj. そして

rocé ロセ 1 単点(rozar)v.t かすめた、軽く触った

「動詞」

sus senos スス・セノス pl.n.m 彼女の乳房に

「目的語」

en ese movimiento. エン・エセ・モビメント adv. その動作の間に

「副詞句」

僕がまだ水の中にいる間に、彼女はもうブイの上で腹這いになっていた。

Yo estaba todavía en el agua cuando ella ya se había colocado boca abajo sobre la balsa.

「主語」「動詞」「副詞句」「副詞節」

Yo ジョ pron 僕は

「主語」

estaba エスタバ 1 単線(estar)v.i ～にいた

「動詞」

todavía トダビア adv. まだ

「副詞」

en el agua エン・ネル・アグア adv. 水中に

「副詞句」

cuando クワンド conj. ～するとき

「副詞節」

ella エジャ pron 彼女は

「主語」

ya ヤー adv. すでに

「副詞」

se había colocado セ・アビア・コカト 3 単線・完了形(colocarse)

v.pr 着席していた、～の状態で落ち着いていた

「動詞句」

boca abajo ボカ・アバホ adv. うつぶせで

「補語」

sobre la balsa. ソブレ・ラ・バルサ adv. ブイの上で

「副詞句」

彼女が既にブイの上でうつぶせになっていた時に、僕はまだ水の中に居た。

マリーが僕に向かって振り返った。目の上に髪を垂らして、笑っていた。

Se volvió hacia mí. Tenía los cabellos sobre los ojos y reía.

「動詞句」「副詞句」 | 「動詞」「目的語」「副詞句」 y 「動詞」

Se volvió セ・ホルビョ 3 単点(volverse)v.pr 振り返った

「動詞句」

hacia mí. アシア・ミ adv. 僕のほうへ

「副詞句」

Tenía テニア 3 単線(tener)v.t (状態) にしていた

「動詞」

los cabellos ロス・カベジョス pl.n.m 髪を

「目的語」

Primera parte 第1部

sobre los ojos ソブレ・ロス・オス adv. 目の上に

「副詞句」

y イ conj. そして

reía. レア 3 単線(reír)v.i 笑っていた

「動詞」

僕はブイの上にいる彼女の隣に這い上がった。

Me icé a su lado sobre la balsa.

「動詞句」「副詞句」

Me icé メ・イセ 1 単点(izarse)v.pr 上がった

「動詞句」

a su lado ア・ス・ラド adv. 彼女の隣に

「副詞句」

sobre la balsa. ソブレ・ラ・バルサ adv. ブイの上で

「副詞句」

素晴らしい時間だった。そこで僕は、ふざけたように、頭を後ろのほうへ移動させて、そつと彼女の腹の上に頭を載せた。

El tiempo estaba espléndido y, como bromeando, dejé ir la cabeza hacia atrás y la posé sobre su vientre. 「主語」「動詞」「補語」 y

「副詞句」「動詞句」「目的語」「副詞句」 y 「目的語」「動詞」「副詞句」

El tiempo エル・ティエンポ n.m 時は

「主語」

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ~だった

「動詞」

espléndido エスプレンデイト adj. 素晴らしい

「補語」

y, イ conj. そして

como +現在分詞 コモ adv. ~するように

「副詞句」

bromeando, ブロメアント 現在分詞(bromear)v.i ふざける

「動詞」

dejé ir テヘ・イール 1 単点・使役(dejar+不定詞)v.i 行かせた

「動詞句」

la cabeza ラ・カベサ n.f 頭を

「目的語」

hacia atrás アシア・アトラス adv. 後ろのほうへ

「副詞句」

y イ conj. そして

la ラ pron それを

「目的語」

posé ポセ 1 単点(posar)v.t そつと置いた

「動詞」

sobre su vientre. ソブレ・ス・ビエントレ adv. 彼女の腹の上に

「副詞句」

Primera parte 第1部

彼女が何も言わなかったので、僕はそのままだった。青くそして金色の空全体が僕の目に映りこんでいた。僕はうなじの下で、マリーの腹が優しく脈打つを感じていた。

No dijo nada y quedé así. Me daba en los ojos todo el cielo, azul y dorado. Bajo la nuca sentía latir suavemente el vientre de María.

「動詞句」「目的語」 y 「動詞」「補語」 | 「間接目的語」「動詞」「副詞句」「主語」
「副詞句」「動詞」「補語」「目的語」

No dijo ノ・ディハ 3 単点・否定(decir)v.t 言わなかった 「動詞句」
nada ナダ pron 何も～ない 「目的語」
y イ conj. それで
quedé ケデ ケデ 1 単点(quedar)v.i ～のままでいた 「動詞」
así. アシ adj. そのような 「補語」
Me メ pron 僕の 「間接目的語」
daba ダバ 3 単線(dar)v.t 上映していた 「動詞」
en los ojos エン・ロス・オホス adv. 両目の中に 「副詞句」
todo el cielo, トト・エル・シエロ n.m 空全体が 「主語」
azul y dorado. アスル・イトラト adj. 青くて金色の 「形容詞句」
Bajo la nuca バホ・ラ・ヌカ adv. うなじの下に 「副詞句」
nuca ヌカ n.f えりあし、うなじ
sentía センチア 1 単線・知覚動詞(sentir)v.t 感じていた 「動詞」
latir ラチル 不定詞 v.i 脈打つ 「補語」
suavemente スワベメンテ adv. そっと、やさしく 「副詞」
el vientre de María. エル・ビエントレ・デ・マリア n.m マリーの腹が 「目的語」

僕たちは、しばらく半睡状態で、ブイの上にいた。

Nos quedamos largo rato sobre la balsa, medio dormidos. 「動詞句」「副詞句」「補語」
Nos quedamos ノス・ケダモス 1 複点(quedarse)v.pr (場所に) 留まっていた 「動詞句」
largo rato ラルゴ・ラト adv. しばらくの間 「副詞句」
largo ラルゴ adj. 長い rato ラト n.m 短時間
sobre la balsa, ソブレ・ラ・バルサ adv. ブイの上に 「副詞句」
medio dormidos. メディオ・ドルミトス adj. 半ば眠った 「補語」
medio メディオ adv. 半ば dormidos ドルミトス 過去分詞(dormir)adj.pl 眠った

Primera parte 第1部

日差しが強烈になると、マリーが海に飛び込み、ぼくもそれに続いた。

Quando el sol estuvo demasiado fuerte se zambulló y la seguí.

「副詞節」, 「動詞句」 y 「目的語」 「動詞」

Quando クワント conj. ～するとき、～なので

「副詞節」

el sol エル・ソル n.m 太陽は

「主語」

estuvo エストゥボ 3 単点(estar)v.i ～になっていた

「動詞」

demasiado fuerte デマシアド・フェルテ adj. 強すぎる

「補語」

se zambulló セ・ザンブジョ 3 単点(zambullirse)v.pr (水に) 飛び込んだ

「動詞句」

y イ conj. そして

la ラ pron 彼女に

「目的語」

seguí. セギ 1 単点(seguir)v.t 後を追った、に続いた

「動詞」

僕は彼女に追いつき、彼女の腰に片手をまわして、一緒に泳いだ。

La alcancé, pasé la mano alrededor de su cintura y nadamos juntos.

「目的語」 「動詞」, 「動詞」 「目的語」 「副詞句」 y 「動詞」 「副詞」

La ラ pron 彼女に

「目的語」

alcancé, アルカンセ 1 単点(alcanzar)v.t 追いついた

「動詞」

pasé パセ 1 単点(pasar)v.t 移動させた

「動詞」

la mano ラ・マノ n.m 片手を

「目的語」

alrededor de su cintura アルデドール・デ・ス・シントウラ adv. 彼女の腰の周りに

「副詞句」

y イ conj. そして

nadamos ナダモス 1 複点(nadar)v.i 泳いだ

「動詞」

juntos. フントス adj. 一緒に

「副詞」

彼女はずっと笑っていた。

Ella reía siempre.

「主語」 「動詞」 「副詞」

Ella エジャ pron 彼女は

「主語」

reía レイア 3 単線(reír)v.i 笑っていた

「動詞」

siempre. シエンブレ adv. ずっと

「副詞」

栈橋で体を乾かしているとき、「わたしのほうが焼けているわ」と彼女が言った。

En el muelle mientras nos secábamos me dijo: "Soy más morena que tú."

「副詞句」, 「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」

En el muelle エン・ネル・ムエジャ adv. 栈橋で、ふ頭で

「副詞句」

mientras ミエンTRAS conj. ～している間

「副詞節」

nos secábamos ノス・セカバモス 1 複線(secarse)v.pr 乾かしていた

「動詞句」

Primera parte 第1部

me メ pron 僕に	「間接目的語」
dijo: ディホ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
n. ～ということを	「直接目的語」
"Soy ソイ 1 単現(estar)v.i ～である	「動詞」
más morena マス・モレナ adj. もっと日焼けした	「補語」
que tú." ケ・トゥ adv. あなたよりも	「副詞句」

僕は、夜、映画に行かないかと誘った。

<u>Le pregunté si quería ir al cine esa noche.</u>	「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」
Le レ pron 彼女に	「間接目的語」
pregunté プレグンテ 1 単点(preguntar)v.t 尋ねた	「動詞」
si シ conj. ～かどうかということを	「直接目的語」
quería ir クリア・イル 3 単線・願望・時制の一致(querer+不定詞)	
v.i 行きたい	「動詞句」
al cine アル・シネ adv. 映画に	「間接目的語」
esa noche. エサ・ノチェ n.f 夜に	「副詞句」

彼女はまた笑い、フェルナンデルの映画を見たいと言った。

<u>Volvió a reír y me dijo que quería ver una película de Fernandel.</u>	「動詞句」 y 「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」
Volvió a reír ホルビョ・ア・レイール 3 単点・再度(volver a+不定詞)	
v.i また笑った	「動詞句」
y イ conj. そして	
me メ pron 僕に	「間接目的語」
dijo ディホ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
que ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
quería ver クリア・ベール 3 単線・願望(querer+不定詞)v.t 見たい	「動詞句」
una película ウナ・ペリクラ n.f 映画を	「目的語」
de Fernandel. デ・フェルナンデル adj. フェルナンデルの	「形容詞句」

Primera parte 第1部

僕たちが服を着終えると、僕が黒のネクタイをしているのを見て、彼女はとても驚いたように見えた。それから僕に、不幸があったのかと尋ねた。

Quando nos hubimos vestido pareció muy asombrada al verme con corbata negra y me preguntó si estaba de luto.

「副詞節」, 「動詞」 「補語」 y 「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」

Quando クワント conj. ～するとき

「副詞節」

nos hubimos vestido ノス・アビエモス・ベスト 1 複点・完了形・直前過去完了(vestirse)

v.pr (服を) 着た

「動詞句」

pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i ～のように見えた

「動詞」

muy asombrada ムイ・アソブラダ 過去分詞(asombrar)adj.f とても驚いた

「補語」

al verme アル・ベル・メ adv. (原因) 僕を見て

「副詞句」

con corbata negra コン・コルバタ・ネグラ adj. 黒のネクタイをした

「形容詞句」

y イ conj. そして

me メ pron 僕に

「間接目的語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞」

si シ conj. ～かどうかということ

「直接目的語」

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ～だった

「動詞」

de luto. デ・ルト adj. 喪中の

「補語」

僕は、母さんが死んだと伝えた。

Le dije que mamá había muerto.

「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」

Le レ pron 彼女に

「間接目的語」

dije デイ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

que ケ conj. ～ということ

「直接目的語」

mamá ママ n.f 母さんが

「主語」

había muerto. アビア・ムルト 3 単線・完了形(morir)v.i 死んだ

「動詞句」

いつだったのかと訊いたので、「きのう」と答えた。

Como quisiera saber cuándo, respondí: "Ayer."

「副詞節」, 「動詞」 「目的語」

Como コモ conj. ～なので

「副詞節」

quisiera saber キシエラ・サベル 接・3 単半・願望・推量(querer+不定詞)

v.t 知りたがっているようだ

「動詞句」

cuándo, クワント adv. いつかということ

「目的語」

respondí: レスポンティ 1 単点(responder)v.t 答えた

「動詞」

"Ayer." アジェール adv. 昨日と

「目的語」

Primera parte 第1部

彼女は少し動揺したが、何も言わなかった。

Se estremeció un poco, pero no dijo nada. 「動詞句」「副詞句」 pero 「動詞句」「目的語」

Se estremeció セ・エストレメシオ 3 単点(estremecerse)v.pr 震えた、動揺した 「動詞句」

un poco, ウン・ポコ adv. 少し 「副詞句」

pero ペロ conj. しかし

no dijo ノ・デヨ 3 単点・否定(decir)v.t 言わなかった 「動詞句」

nada. ナダ pron 何も～ない 「目的語」

僕のせいではないと言うところだったが、もう社長にそう言ったので、思い止まった。

Estuve a punto de decirle que no era mi culpa, pero me detuve porque pensé que ya lo había dicho a mi patrón. 「動詞」「補語」 pero 「動詞句」「副詞節」

Estuve エストゥエ 1 単点(estar)v.i ～だった 「動詞」

a punto de +不定詞 ア・プント・デ adv. まさに～するところ 「補語」

decirle デシル・レ 不定詞 v.t 彼女に～と言う 「動詞句」

que ケ conj. ～ということ 「目的語」

no era ノ・エラ 3 単線・否定・時制の一致(ser)v.i ～でない 「動詞」

mi culpa, ミ・クパ n.f 僕の責任、ぼくのせい 「補語」

pero ペロ conj. しかし

me detuve メ・デトゥエ 1 単点(detenerse)v.pr 立ち止まった 「動詞句」

porque ポルケ conj. ～なので 「副詞節」

pensé ペンセ 1 単点(pensar)v.t ～と思った 「動詞」

que ケ conj. ～ということ 「目的語」

ya ヤー adv. もう、すでに 「副詞」

lo ロ pron それは 「直接目的語」

había dicho アビ・ア・デイチョ 1 単線・完了形(decir)v.t 言った 「動詞句」

a mi patrón. ア・ミ・パトロン adv. 社長に 「間接目的語」

それはなんの意味もないことだ。とにかく人はいつだって、少しは責任があるのだ。

Todo esto no significaba nada. De todos modos uno siempre es un poco culpable.

「主語」「動詞句」「目的語」 | 「副詞句」「主語」「副詞」「動詞」「補語」

Todo esto トド・エスト pron これはまったく 「主語」

no significaba ノ・シグニフィカバ 3 単線・否定(significar)v.t 意味しない 「動詞句」

nada. ナダ pron 何も～ない 「目的語」

De todos modos デ・トドス・モドス adv. それでも、とにかく 「副詞句」

uno ウノ pron 人は 「主語」

siempre シエンプレ adv. いつでも 「副詞」

Primera parte 第1部

es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」
 un poco culpable. ウン・ポ・コ・クルパブレ adj. 少しは責任がある 「補語」

夜になると、マリーはすべて忘れていた。

Por la noche María había olvidado todo. 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」
 Por la noche ポル・ラ・ノチェ adv. 夜になると 「副詞句」
 María マリア n.f マリーは 「主語」
 había olvidado アビ・ア・オルビダト 3 単線・完了形(olvidar)v.t 忘れていた 「動詞句」
 todo. トト pron すべてのことを 「目的語」

映画は時々面白いところがあったが、それ以外は実にくだらないものだった。

La película era graciosa a ratos y, luego, demasiado tonta en verdad.
 「主語」「動詞」「補語」 y 「副詞」「補語」
 La película ラ・ペリクラ n.f 映画は 「主語」
 era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」
 graciosa グラシオサ adj.f(gracioso)adj. 面白い、おかしい 「補語」
 a ratos ア・ラトス adv. 時々 「副詞句」
 y, イ conj. そして
 luego, ルエゴ adv. その後は 「副詞」
 demasiado tonta, テマシアト・トンタ adj.f(tonto) くだらなさすぎる 「補語」
 en verdad. エン・ベルダト adv. 本当に、実に 「副詞句」

マリーが脚を僕の脚に強く押しつけてきた。僕は彼女の胸を愛撫した。

Ella apretaba su pierna contra la mía. Yo le acariciaba los senos.
 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 | 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
 Ella エジャ pron 彼女は 「主語」
 apretaba アプレタバ 3 単線(apretar)v.t 強く押した 「動詞」
 su pierna ス・ピエナ n.f 彼女の脚を 「目的語」
 contra コントラ prep ~に対して 「副詞句」
 la mía. ラ・ミーア n.f 僕の脚 「目的語」
 Yo ジョ pron 私は 「主語」
 le レ pron 彼女の 「間接目的語」
 acariciaba アカシアバ 1 単線(acariciar)v.t 愛撫した 「動詞」
 los senos. ロス・セノス pl.n.m 乳房を、胸を 「直接目的語」

Primera parte 第1部

映画が終わるころ、彼女にキスをしたがぎこちなかった。映画館を出たあとで、彼女は僕の部屋に来た。

Hacia el fin de la función, la besé, pero mal. Al salir vino a mi casa.

「副詞句」, 「目的語」 「動詞」 pero 「補語」 | 「副詞句」 「動詞」 「間接目的語」

Hacia アシア prep (漠然とした時点) ~のあたりで

「副詞句」

el fin de la función, エル・フィン・デ・ラ・フンシオン n.m 映画の終わり

「目的語」

función フンシオン n.f (映画) 上映、機能

la ラ pron 彼女に

「目的語」

besé, ベセ 1 単点(besar)v.t キスした

「動詞」

pero ペロ conj. しかし

mal. マル adj. 下手な

「補語」

Al salir アル・サール adv. 映画館を出た後で

「副詞句」

vino ビノ 3 単点(venir)v.i やって来た

「動詞」

a mi casa. ア・ミ・カーサ adv. 僕の部屋に

「間接目的語」

僕が目覚めた時、マリーはすでにいなかった。

Cuando me desperté, María se había marchado.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」

Cuando クワント conj. ~するとき

「副詞節」

me desperté, メ・デスぺルテ 1 単点(despertarse)v.pr 目を覚ました

「動詞句」

María マリア n.f マリーは

「主語」

se había marchado. セ・アビア・マルチャト 3 単線・完了形(marcharse)v.pr 去っていた 「動詞句」

叔母さんの家に行かなければならないと僕に言っていたのだった。

Me había explicado que tenía que ir a casa de su tía.

「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」

Me メ pron 僕に

「間接目的語」

había explicado アビア・エクスプリカト 3 単線・完了形(explicar)v.t 知らせていた

「動詞句」

que ケ conj. ~ということを

「直接目的語」

tenía que ir テニア・ケ・イル 3 単線・必要(tener que+不定詞)

v.i 行かなければならない

「動詞句」

a casa ア・カーサ adv. 家に

「間接目的語」

de su tía. デ・ステア adj. お婆さんの

「形容詞句」

Primera parte 第1部

今日は日曜日だと思つと、僕はうんざりした：僕は日曜日は嫌いだ。

Pensé que era domingo y me fastidió: no me gusta el domingo.

「動詞」「目的語」 y 「目的語」「動詞」：「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「主語」
 Pensé ペンセ 1 単点(pensar)v.t(que ～と) 思った 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」
 domingo トﾞシゴ n.m 日曜日 「補語」
 y イ conj. そして
 me メ pron 僕を 「目的語」
 fastidió: ファスティデオ 3 単点(fastidiar)v.t うんざりさせた 「動詞」
 no ...gusta ノ...グスタ 3 単現・否定(gustar)v.i 気に入らない、好ましくない 「動詞句」
 me メ pron 僕にとって 「間接目的語」
 el domingo. エル・トﾞシゴ n.m 日曜日は 「主語」

僕はベッドの上で向きを変えて、マリーの髪が枕の中に残っていた潮の香りを探した。それから 10 時まで眠った。

Me di vuelta en la cama, busqué en la almohada el olor a sal que habían dejado allí los cabellos de María, y dormí hasta las diez.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞句」,
 「動詞」「副詞句」「目的語」 y 「動詞」「副詞句」
 Me メ pron 自分に 「間接目的語」
 di ディ 1 単点(dar)v.t 与えた 「動詞」
 vuelta ウエルタ n.f 回転を 「直接目的語」
 dar vueltas en la cama ベッドで何度も寝返りをうつ
 en la cama, エン・ラ・カ adv. ベッドの上で 「副詞句」
 busqué ブスケ 1 単点(buscar)v.t 探した 「動詞」
 en la almohada エン・ラ・アルモアダ adv. 枕の中に 「副詞句」
 el olor エル・オール n.m 香りを 「目的語」
 a sal ア・サル adj. (根拠) 潮による 「形容詞句」
 que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 habían dejado アビアン・デハト 3 複線・完了形(dejar)
 v.t 残していった 「動詞句」
 allí アジ adv. そこに 「副詞」
 los cabellos de María, ロス・カベジヨス・デ・マリア
 pl.n.m マリーの髪が 「主語」
 y イ conj. そして

Primera parte 第1部

dormí トルミ 1 単点(dormir)v.i 眠った 「動詞」

hasta las diez. アスタ・ラス・ディエス adv. 10 時まで 「副詞句」

それから寝転がったままで、紙巻きたばこを何本か吸いながら正午まで過ごした。

Luego estuve fumando cigarrillos hasta mediodía, siempre acostado.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Luego ルエゴ adv. それから 「副詞」

estuve fumando エストゥェ・フマント 1 単点・進行形(fumar)v.t (煙草を) 吸っていた 「動詞句」

cigarrillos シガリジョス pl.n.m 紙巻きたばこを何本か 「目的語」

hasta mediodía, アスタ・メディオディア adv. 正午まで 「副詞句」

siempre acostado. シエンプレ・アコスタド 過去分詞(acostar)

adv. 相変わらず寝転がったままで 「副詞句」

いつものようにセレストのレストランで昼食を食べる気にはならなかった。間違いなく、みんなは、僕が好きではない質問をあれこれ聞いてきただろうからだ。

No quería almorzar en el restaurante de Celeste como de costumbre, porque indudablemente me hubieran formulado preguntas, cosa que no me gusta.

「動詞句」「副詞句」, 「副詞節」

No quería almorzar ノ・ケリア・アルモルサル 1 単線・願望・否定(querer+不定詞)

v.i 昼食を食べたいと思わなかった 「動詞句」

en el restaurante de Celeste エン・ネル・レストラン・デ・セステ

adv. セレストのレストランで 「副詞句」

como de costumbre, コモ・デ・コストゥブレ adv. いつものように 「副詞句」

porque ポルケ conj. ～なので 「副詞節」

indudablemente イントゥダブレメンテ adv. 間違いなく 「副詞」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

hubieran formulado ウビエラン・フォルムラド 接・3 複過・完了形・推量(formular)

v.t 述べただろう、言った 「動詞句」

preguntas, プレガントス pl.n.f 質問を 「直接目的語」

cosa コサ n.f (同格) 事を 「目的語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

no ...gusta. ノ...グスタ 3 単現・否定(gustar)

v.i 気に入らない、好まない 「動詞句」

me メ pron 僕にとって 「間接目的語」

Primera parte 第1部

卵を何個か焼いて、大皿から直接それだけを、パン無しで食べた。パンがもう無かったし、それを買うためにわざわざ降りたくなかったのだ。

Cocí unos huevos y los comí solos, sin pan, porque no tenía más y no quería bajar a comprarlo. 「動詞」「目的語」 y 「目的語」「動詞」「副詞句」, 「副詞節」

Cocí コシ 1 単点(cocer)c.t 煮た、茹でた、(オーブンで) 焼いた 「動詞」

unos huevos ウノス・ウエボス pl.n.m 卵を何個か 「目的語」

y イ conj. そして

los ロス pron それらを 「目的語」

comí コミ 1 単点(comer)v.t 食べた 「動詞」

solos, ソロス adv. それだけを、大皿からそのまま 「副詞」

sin pan, シン・パン adv. パンなしで 「副詞句」

porque ボルケ conj. ～なので 「副詞節」

no tenía ノ・テニア 1 単線・否定(tener)v.t なかった 「動詞句」

más マス adv. (否定文で) もう～ない 「副詞」

y イ conj. そして

no quería bajar a comprarlo. ノ・ケリア・バハル・ア・コンプラーロ 1 単線・願望・否定(querer+不定詞)
v.t それを買いに降りたくなかった 「動詞句」

solos の意味 : solo ソロ adj. (副詞的) ～だけ

調理した料理は大皿に盛りつけて、そこから各自が取り皿にとって食べるのが普通だが、ここでは一人だけなので取り皿を使わずに大皿から直接食べたことを表している。

フランス語の原文 : Je me suis fait cuire des oeufs et je les ai mangés à même le plat, sans pain parce que je n'en avais plus et que je ne voulais pas descendre pour en acheter.

僕は自分で卵を料理して、それを大皿から直接食べた。パンは切らしていたが、それを買うために降りたくなかったので、パンは無しで済ませた。

昼食後、少し退屈になったのでアパートの中をうろついた。

Después del almuerzo me aburrí un poco y erré por el departamento.

「副詞句」「動詞句」「副詞句」 y 「動詞」「副詞句」

Después del almuerzo デスプエス・デル・アルムエルソ adv. 昼食の後で 「副詞句」

me aburrí メ・アブリ 1 単点(aburrirse)v.pr 退屈になった 「動詞句」

un poco ウン・ポコ adv. 少し 「副詞句」

y イ conj. そして

erré エレ 1 単点(errar)v.i(por を) うろついた、さまよった 「動詞」

por el departamento. ホル・エル・デパルタメント adv. アパートの中を 「副詞句」

Primera parte 第1部

母さんがいた頃は、この部屋も便利だった。

Resultaba cómodo cuando mamá estaba allí. 「動詞」「補語」「副詞節」

Resultaba レスルタハ 3 単線(resultar)v.i. ～の結果だった、～だった 「動詞」

cómodo コーモト adj. 便利な、快適な 「補語」

cuando クワント conj. ～するときは 「副詞節」

mamá ママ n.f 母さんが 「主語」

estaba エスタハ 3 単線(estar)v.i. ～にいた 「動詞」

allí. アジ adv. そこに 「副詞」

今では、僕一人には大きすぎるので、食堂のテーブルを僕の部屋に移動させなくてはならなくなかった。

Ahora es demasiado grande para mí, y he debido trasladar a mi cuarto la mesa del comedor. 「副詞」「動詞」「補語」 y 「動詞句」「副詞句」「目的語」

Ahora アハラ adv. 今では 「副詞」

es エス 3 単現(ser)v.i. ～である 「動詞」

demasiado grande デマシアト・グランデ adj. 大きすぎる 「補語」

para mí, パラ・ミ adv. 僕には 「副詞句」

y イ conj. そして

he debido trasladar エ・デビト・トラスダール 1 単現・完了形・必要(deber+不定詞)

v.t 移動させなくてはならなくなかった 「動詞句」

trasladar トラスダール v.t(a に) 移動させる、移し替える

a mi cuarto ア・ミ・クワルト adv. 僕の部屋に、寝室に 「副詞句」

la mesa del comedor. ラ・メサ・デル・コムートル n.f 食堂のテーブルを 「目的語」

comedor コムートル n.m 食堂

僕はこの部屋の中だけで、座部の詰めワラが少し沈み込んだ椅子や、姿見が黄ばんでいる洋服ダンスや化粧台、それに青銅製のベッドに囲まれて暮らしている。

No vivo más que en esta habitación, entre sillas de paja un poco hundidas, el ropero cuyo espejo está amarillento, el tocador y la cama de bronce. 「動詞句」「副詞句」

No vivo más que ノ・ビボ・マス・ケ 1 単現・限定(vivir+no... más que)

v.i. ～だけで暮らしている 「動詞句」

no... más que 「～だけ、～しか」

en esta habitación, エン・エスタ・アビタシオン adv. この部屋で 「副詞句」

entre エントレ prep. ～の間で、～の中で 「副詞句」

sillas シジャス pl.n.f 椅子 「目的語」

de paja テ・パハ adj. (椅子の座部に) ワラを詰めた 「形容詞句」

Primera parte 第1部

un poco hundidas, ウン・ポ・コ・ウンディダス

adj(hundido).f.pl 少し沈み込んだ

「形容詞句」

el ropero エル・ロペロ n.m 洋服ダンス

「目的語」

cuyo espejo クヨ・エスペホ pron その鏡は～する

「形容詞節」

está エスタ 3 単現(estar)v.i ～である

「動詞」

amarillento, アマリジェント adj. 黄ばんだ

「補語」

el tocador エル・トカドール n.m 化粧台

「目的語」

y イ conj. そして

la cama ラ・カマ n.f ベッド

「目的語」

de bronce. デ・ブロンセ adj. (材料) 青銅製の

「形容詞句」

それ以外はほったらかしになっている。

El resto está abandonado.

「主語」「動詞句」

El resto エル・レスト n.m その他は

「主語」

está abandonado. エスタ・アバントナド 3 単現・受動(abandonar)v.t 見捨てられている「動詞句」

少したってから、何かしようと思い、古新聞を取ってきて読んだ。

Un poco más tarde, por hacer algo, cogí un periódico viejo y lo leí.

「副詞句」「動詞」「目的語」 y 「目的語」「動詞」

Un poco más tarde, ウン・ポ・コ・マス・タルデ adv. 少し後で、少したってから

「副詞句」

por hacer algo, ホル・アセル・アルゴ adv. 何かするために

「副詞句」

cogí コヒ 1 単点(coger)v.t 取ってきた

「動詞」

un periódico viejo ウン・ペリオディコ・ビエホ n.m 古新聞を

「目的語」

y イ conj. そして

lo ロ pron それを

「目的語」

leí. レイ 1 単点(leer)v.t 読んだ

「動詞」

クリュシャン塩の広告を切り抜き、新聞の中で面白そうな記事を貼っておく古いノートにそれを貼り付けた。

Recorté un aviso de las sales Kruschen y lo pegué en un cuaderno viejo donde pongo las cosas que me divierten en los periódicos.

「動詞」「目的語」 y 「目的語」「動詞」「副詞句」

Recorté レコルテ 1 単点(recortar)v.t 切り抜いた

「動詞」

un aviso ウン・アビソ n.m 広告を

「目的語」

de las sales Kruschen デ・ラス・サス・クリュシャン adj. クリュシャン塩の

「形容詞句」

y イ conj. そして

lo ロ pron それを

「目的語」

Primera parte 第1部

pegué ペゲ	1 単点(pegar)v.t	貼り付けた	「動詞」
en un cuaderno viejo エン・ウン・クワデルノ・ペケンニョ	adv.	古いノートに	「副詞句」
donde ドンデ	adv.	そこに～する	「形容詞節」
pongo ポンゴ	1 単現(poner)v.t	入れておく、貼っておく	「動詞」
las cosas ラス・コサス	pl.n.f	ものを	「目的語」
que ケ	pron.pl	(主語) ～する	「形容詞節」
me メ	pron	僕を「目的語」	
divierten ディエ・エルテン	3 複現(divertir)		
v.t		楽しませる	「動詞」
en los periódicos エン・ロス・ペリオディコス			
adv.		新聞の中で	「副詞句」

手も洗った、そして結局、ちょっとバルコニーに出た。

También me lavé las manos y, para concluir, me asomé al balcón.

「副詞」「動詞句」「目的語」 y 「副詞句」「動詞句」「副詞句」

También タンビエン	adv.	～もまた	「副詞」
me lavé メ・ラベ	1 単点(lavarse)v.pr	(自分の手足を) 洗った	「動詞句」
las manos ラス・マノス	pl.n.m	手を	「目的語」
y, イ	conj.	そして	
para concluir, パラ・コンクルイー	adv.	結局、結論として	「副詞句」
me asomé メ・アソメ	1 単点(asomarse)v.pt	(a に) ちょっと頭を出した	「動詞句」
al balcón. アル・バルコン	adv.	バルコニーに	「副詞句」

僕の部屋は、境界の目抜き通りに面している。

Mi cuarto da sobre la calle principal del barrio.

「主語」「動詞」「副詞句」

Mi cuarto ミ・クワルト	n.m	僕の部屋は	「主語」
da ダー	3 単現(dar)v.i(a, sobre に)	面している	「動詞」
sobre la calle principal ソブレ・ラ・カジエ・プリンシパル	adv.	目抜き通りに	「副詞句」
del barrio. デル・バリオ	adj.	境界の	「形容詞句」

Primera parte 第1部

よく晴れた午後だった。しかし舗道は脂ぎっていた；人通りは少なく、急ぎ足だった。

Era una hermosa tarde. Sin embargo, el pavimento estaba grasiento; había poca gente y apurada.

「動詞」「補語」 | 「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」; 「動詞」「目的語」 y 「補語」
 Era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった「動詞」
 una hermosa tarde. ウナ・エルモサ・タルデ n.f よく晴れた午後「補語」
 Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. それにもかかわらず、しかし「副詞句」
 el pavimento エル・パベメント n.m 舗道は「主語」
 estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ~だった「動詞」
 grasiento; グラシエント adj. 油で汚れた「補語」
 había アビア 3 単線(haber)v.t いた「動詞」
 poca gente ポカ・ヘンテ pl.n.f 少ない人々が「目的語」
 y イ conj. そして
 apurada. アプラダ adj. 急いだ、あわただしい「補語」

最初に、散歩に行く家族が通った：

Pasó primero una familia que iba de paseo: 「動詞」「副詞」「主語」
 Pasó パソ 3 単点(pasar)v.i 通った、通過した 「動詞」
 primero プリメロ adv. 最初に 「副詞」
 una familia ウナ・ファミリア n.f 家族が 「主語」
 que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 iba イバ 3 単線・時制の一致(ir)v.i(de+動作名詞) ~しに行く 「動詞句」
 de paseo: デ・パセオ adv. 散歩に 「動詞句」

2 人の男の子は、セーラー服に膝上までのズボンを着ていたが、ごわごわした服が幾分動き
 ずらそうだった、それから大きなピンクのリボンにエナメル靴の女の子が一人いた。

dos niños de traje marinero, los pantalones sobre las rodillas, un tanto trabados dentro de las ropas rígidas, y una niña con un gran lazo color de rosa y zapatos de charol.

「主語」「副詞句」 y 「主語」「形容詞句」
 dos niños ドス・ニョス pl.n.m 2 人の男の子 「主語」
 de デ adj. (様態) ~を身に着けた 「形容詞句」
 traje marinero, デ・トラヘ・マリネロ n.m セーラー服 「目的語」
 los pantalones ロス・パンタロネス pl.n.m ズボン 「目的語」
 sobre las rodillas, ソブレ・ラス・ロディージャス
 adj. 膝上までの 「形容詞句」
 un tanto ウン・タント adv. いくらか 「副詞句」

Primera parte 第1部

trabados	トラバトス 過去分詞(trabar)adj.pl 障害になっている	「形容詞」
dentro de	デントロ・デ adv. 〜の中で	「副詞句」
las ropas rígidas,	ラス・ロパス・リダス pl.n.f ごわごわした服「目的語」	
y	イ conj. そして	
una niña	ウナ・ニーニャ n.f 1人の女の子は	「主語」
con	コン adv. 〜を身に着けた	「形容詞句」
un gran lazo	ウン・グラン・ラソ n.m 大きなリボン	「目的語」
color de rosa	コロール・デ・ローサ adj. ピンクの	「形容詞句」
y	イ conj. そして	
zapatos	ザパトス pl.n.m 靴	「目的語」
de charol.	デ・チャロル adj. エナメルの	「形容詞句」

エナメル革の靴：

なめし革の表面にエナメルペイントを塗って光沢を出し耐水性を強めたもの。色は黒に限らず、赤・黄・オレンジ・ピンク・水色などもある。ハンドバッグ・靴などに用いる。フランス語版では、des souliers noirs vernis「黒のエナメル靴」である

子供たちの後ろには、栗色の絹のドレスを着た大柄な母親と顔見知りの小柄でかなり貧弱な父親が続いていた。

<u>Detrás de ellos, una madre enorme vestida de seda castaña, y el padre, un hombrecillo bastante endeble que conocía de vista.</u>	「副詞句」, 「主語」 y 「主語」
Detrás de ellos, デトラス・デ・エシヨス adv. 彼らの後ろに	「副詞句」
una madre enorme ウナ・マトレ・エルメ n.f 大柄の母親が	「主語」
vestida ベスチだ adj.f (服を) 着た	「形容詞句」
de seda castaña, デ・セダ・カスヤニャ adv. 栗色の絹のドレスを	「目的語」
y イ conj. そして	
el padre, エル・パトレ n.m 父親が	「主語」
un hombrecillo ウン・ホンブレリト adj. 小男の	「形容詞句」
bastante endeble バスタンテ・エンデブレ adj. かなり貧弱な	「形容詞句」
que ケ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
conocía コノシア 1 単線(conocer)	
v.t(de で) 知っていた	「動詞」
de vista. デ・ビスタ adv. 顔を	「間接目的語」

Primera parte 第1部

父親は、カンカン帽をかぶり、蝶ネクタイをして、ステッキを手にしていた。

Llevaba sombrero de paja, corbata de lazo, y un bastón en la mano. 「動詞」「目的語」

Llevaba ジェバハ 3 単線(llevar)v.t (衣服などを) 身に着けていた 「動詞」

sombrero ソブレロ n.m 帽子を 「目的語」

de paja, デ・パハ adj. 麦わらで作った 「形容詞句」

corbata コルバタ n.f ネクタイ 「目的語」

de lazo, デ・ラソ adj. 蝶結びの 「形容詞句」

y イ conj. そして

un bastón ウン・バストン n.m ステッキ 「目的語」

en la mano. エン・ラ・マノ adv. 手に 「副詞句」

麦わら帽子、カンカン帽：

西洋発祥の帽子で、英語ではボーター (Boater)、フランス語ではキャノチエ (Canotier) という。水兵や船の漕ぎ手のために作られた男性用の帽子が発祥とされている。



妻と一緒にいる彼を見ていると、どうして彼がこの界限で上品だと言われるのか分かった。

Al verle con su mujer comprendí por qué en el barrio se decía de él que era distinguido.

「副詞句」, 「動詞」「目的語」

Al verle アル・ベール・レ adv. 彼を見ていると 「副詞句」

con su mujer コン・ス・ムヘル adj. 妻と一緒にいる 「形容詞句」

comprendí コンプレンディ 1 単点(comprender)v.t 分った 「動詞」

por qué ポル・ケ conj. どうして〜かということ 「目的語」

en el barrio エン・ネル・バリオ adv. この界限で 「副詞句」

se decía セ・デシア 3 単線・再帰受動(decirse)v.pr 言われている 「動詞句」

de él デ・エル adv. 彼のことを 「副詞句」

que ケ conj. 〜ということが 「主語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i 〜である 「動詞」

distinguido. デイスチングイド adj. 上品な 「補語」

Primera parte 第1部

少し後に、郊外から来た若者たちが通りかかった。髪を油でテカらせ、赤いネクタイをして、びったりの上着に、刺繍の入ったポケット、それに先の角ばった靴という格好だ。

Un poco más tarde pasaron los jóvenes del arrabal, de pelo lustroso y corbata roja, chaqueta muy ajustada, bolsillo bordado y zapatos de punta cuadrada.

「副詞句」, 「動詞」 「主語」 「形容詞句」

Un poco más tarde ウン・ポ・コ・マス・タルテ adv. 少し後になって 「副詞句」

pasaron パサロン 3 複点(pasar)v.i 通りかかった 「動詞」

los jóvenes ロス・ホベネス pl.n.m 若者たちが 「主語」

del arrabal, デル・アラバル adj. 郊外から来た 「形容詞句」

arrabal アラバル n.m 街はずれ、郊外

de テ adj. (様態) ~をした 「形容詞句」

pelo テ・ヘロ adj. 髪の毛 「目的語」

lustroso ルストロ adj. つやのある、油で光らせた 「形容詞」

y イ conj. そして

corbata roja, コルバタ・ロハ n.f 赤いネクタイ 「目的語」

chaqueta チャクタ n.f 上着 「目的語」

muy ajustada, ムイ・アスタダ adj. ぴったりした 「形容詞句」

bolsillo ボルジヨ n.m ポケット 「目的語」

bordado ボルダド adj. 刺繍の入った 「形容詞」

y イ conj. そして

zapatos サパトス pl.n.m 靴 「目的語」

de punta cuadrada. テ・プンタ・クワドラダ

adj. 先の角ばった 「形容詞句」

僕は、彼らは中心部の映画館へ行くのだろうと思った。だからこんなに早く出かけてきて、大声で笑いながら急いで路面電車に乗ろうとしているのだ。

Pensé que iban a los cines del centro porque partían muy temprano y se apresuraban a tomar el tranvía, riendo estrepitosamente.

「動詞」 「目的語」 porque 「動詞」 「副詞句」 y 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」

Pensé ペンセ 1 単点(pensar)v.t(que) ~と思った 「動詞」

que ケ conj. ~ということ 「目的語」

iban イバン 3 複線・時制の一致(ir)v.i 行く 「動詞」

a los cines del centro ア・ロス・シネス・デル・セントロ adv. 中心部の映画館へ 「副詞句」

porque ボルケ conj. ~なので、だから

partían パルチアン 3 複線(partir)v.i 出発した、出かけてきた 「動詞」

muy temprano ムイ・テンプレラ adv. こんなに早く 「副詞句」

Primera parte 第1部

y イ conj. そして

se apresuraban a tomar セ・アプ レスラバン・ア・トマル 3 複線(apresurabarse a+不定詞)

v.t 急いで乗る

「動詞句」

el tranvía, エル・トランビアー n.m 路面電車に

「目的語」

riendo リェント 現在分詞(reír)adv. 笑いながら

「副詞句」

estrepitosamente. エストレピトサメンテ adv. 大声で

「副詞」

estrepitoso エストレピト adj. 激しい音を立てる、派手な「副詞化：形容詞の女性形+mente」

彼らが通り過ぎると、通りは次第に人通りが少なくなっていく。

Después que ellos pasaron, la calle quedó poco a poco desierta.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」 「補語」

Después デスプエス adv. 〜のあとで

「副詞句」

que ケ conj. 〜ということ

「目的語」

ellos エジョス pron 彼らが

「主語」

pasaron, パサロン 3 複点(pasar)v.i 通り過ぎた

「動詞」

la calle ラ・カジェ n.f 通りは

「主語」

quedó クェ 3 単点(quedar)v.i 〜の状態になった

「動詞」

poco a poco ポコ・ア・ポコ adv. 少しずつ、しだいに

「副詞句」

desierta. デシエルタ adj(desierto).f 人気のない、閑散とした

「補語」

至る所で、すでに映画や芝居などが始まっていたのだと思う。

Creo que en todas partes habían comenzado los espectáculos.

「動詞」 「目的語」

Creo クロ 1 単現(creer)v.t(que) 〜だと思う

「動詞」

que ケ conj. 〜ということを

「目的語」

en todas partes エン・トダス・パルテス adv. いたるところで

「副詞句」

habían comenzado アビアン・コメンサト 3 複線・完了形(comenzar)

v.i 始まっていた

「動詞句」

los espectáculos. ロス・エスペクタクロス pl.n.m 見世物が

「主語」

通りには、店主たちと猫しか残っていなかった。

En la calle sólo quedaban los tenderos y los gatos.

「副詞句」 「動詞」 「主語」

En la calle エン・ラ・カジェ adv. 通りには

「副詞句」

sólo ソロ adv. 〜だけ、〜しかない

「副詞」

quedaban クェバン 3 複線(quedar)v.i 残っていた

「動詞」

los tenderos ロス・テンデロス pl.n.m (主に食品関係の) 店主たちが

「主語」

y イ conj. そして

Primera parte 第1部

los gatos. ロス・ガトス pl.n.m 猫が 「主語」

通りに沿って立ち並ぶイチジクの上空は、澄んでいたが、輝きは無かった。

Sobre las higueras que bordeaban la calle el cielo estaba límpido, pero sin brillo.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「補語」

Sobre ソブレ adv. への上には 「副詞句」

las higueras ラス・イゲラス pl.n.f (植物) イチジク 「目的語」

que ケ pron (主語) へする 「形容詞節」

bordeaban ボルデアバン 3 複線(bordear)

v.t 縁取りする、へに沿って並ぶ 「動詞」

la calle ラ・カジェ n.f 通りに 「目的語」

el cielo エル・シエロ n.m 空は 「主語」

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i へだった 「動詞」

límpido, リンピト adj. 澄んだ 「補語」

pero sin brillo. ペロ・シン・ブリジョ adv. しかし輝きのない 「補語」

向かい側の歩道では、タバコ屋の主人が椅子を取り出してきて、戸口の前にそれを置き、背もたれの上に両腕をもたせかけて馬乗りにまたがった。

En la acera de enfrente el cigarrero sacó la silla, la instaló delante de la puerta, y montó sobre ella, apoyando los dos brazos en el respaldo.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」, 「目的語」 「動詞」 「副詞句」 y 「動詞」 「副詞句」

En la acera エン・ラ・アセラ adv. 歩道では 「副詞句」

de enfrente デ・エンフレンテ adj. 向かい側の、反対側の 「形容詞句」

el cigarrero エル・シガレロ n.m タバコ屋の主人が 「主語」

sacó サコ 3 単点(sacar)v.t 取り出した 「動詞」

la silla, ラ・シジャ n.f 椅子を 「目的語」

la ラ pron.f 椅子を 「目的語」

instaló インスタロ 3 単点(instalar)v.t 設置した 「動詞」

delante de la puerta, デランテ・デ・ラ・プエルタ adv. 戸口の前に 「副詞句」

y イ conj. そして

montó モント 3 単点(montar)v.i 乗った 「動詞」

sobre ella, ソブレ・エジャ adv. いすの上に 「副詞句」

apoyando アポヤント 現在分詞(apoyar)v.t へをもたせかけて 「副詞句」

los dos brazos ロス・トス・ブラソス pl.n.m 両腕を 「目的語」

en el respaldo. エン・エル・レスパルト adv. 背もたれの上に 「副詞句」

Primera parte 第1部

少し前には満員だった路面電車が、今はほとんど空になっている。

Los tranvías, un momento antes cargados de gente, estaban casi vacíos.

「主語」「動詞」「補語」

Los tranvías, ロス・トランビェアス pl.n.m 路面電車は

「主語」

un momento antes ウン・モメント・アンテス adv. 少し前には

「副詞句」

cargados カルガトス 過去分詞・受動(cargar)v.t(de で) 一杯にされていた「形容詞句」

de gente, デ・ヘンテ adv. 人で

「間接目的語」

estaban エスタバン 3 複線(estar)v.i ~だった

「動詞」

casi vacíos. カシ・バシオス adj. ほとんど空の

「補語」

タバコ屋に隣接する「ピエロの店」という安っぽい喫茶店では、ボーイが客のいない店内で
おが屑を掃いていた。まさに日曜日だ。

En el cafetín Chez Pierrot, contiguo a la cigarrería, el mozo barría aserrín en el salón
desierto. Era realmente domingo.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 | 「動詞」「補語」

En el cafetín Chez Pierrot, エン・エル・カフェチン・シェ・ピエロ

adv. 「ピエロの店」という安っぽい喫茶店では

「副詞句」

cafetín カフェチン n.m 安っぽい喫茶店 Chez シェ prep (フランス語) ~の店で、~の家で

contiguo コンチグオ adj.(a に) 隣接する

「形容詞句」

a la cigarrería, ア・ラ・シガレリア adv. タバコ屋に

「副詞句」

el mozo エル・モソ n.m ボーイが

「主語」

barría バリア 3 単線(barrer)v.t 掃いていた

「動詞」

aserrín アセリン n.m おがくずを

「目的語」

en el salón エン・エル・サロン adv. 店内で

「副詞句」

salón サロン n.m ~店、大広間、居間

desierto. デシエルト adj. 人のいない

「形容詞」

Era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった

「動詞」

realmente domingo. レアルメンテ・トミンゴ n.m まさに日曜日

「補語」

僕は椅子のところに戻って、タバコ屋の椅子と同様に逆向きに置いてみた。そのほうがより
快適そうに思われたからだ。

Volví a la silla y la coloqué como la del cigarrero porque me pareció que era más cómodo.

「動詞」「目的語」 y 「目的語」「動詞」「副詞句」, 「副詞節」

Volví ボルビ 1 単点(volver)v.i(a に) 戻った

「動詞」

a la silla ア・ラ・シジャ adv. (場所) 椅子のところに

「目的語」

y conj. そして

Primera parte 第1部

la ラ pron.f 椅子を	「目的語」
coloqué コケ 1 単点(colocar)v.t 置いた	「動詞」
como la del cigarrero コモ・ラ・デル・シガレロ adv. タバコ屋の椅子と同様に	「副詞句」
porque ポルケ conj. ～なので	「副詞節」
me メ pron 僕には	「間接目的語」
pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i ～のように思われた	「動詞」
que ケ conj. ～ということ	「主語」
era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である	「動詞」
más cómodo. マス・コモト adj. より快適な	「補語」

タバコを 2 本吸ってから、部屋に入ってチョコレートをひとかけら取ってきて、また窓辺に戻ってそれを食べた。

Fumé dos cigarrillos, entré a buscar un trozo de chocolate, y volví a la ventana a comerlo.

「動詞」「目的語」, 「動詞句」「目的語」 y 「動詞」「副詞句」

Fumé フメ 1 単点(fumar)v.t (タバコなどを) 吸った 「動詞」

dos cigarrillos, トス・シガリシヨス pl.n.m タバコを 2 本 「目的語」

cigarrillo シガリシヨ n.m 紙巻タバコ

entré a buscar エントレ・ア・ブスカール 1 単点・目的(entrar a+不定詞)

v.t ～を取りに (部屋に) 入った 「動詞句」

un trozo de chocolate, ウン・トロゾ・デ・チョコラテ n.m チョコレートをひとかけら 「目的語」

y イ conj. そして

volví ホルビ 1 単点(volver)v.i (a 元の場所に) 戻った 「動詞」

a la ventana ア・ラ・ベンタナ adv. 窓辺に 「副詞句」

a comerlo. ア・コムル・ロ 不定詞・結果 v.t そしてそれを食べた 「副詞句」

動作の流れを説明するために、「窓辺に戻ってそれを食べた」と翻訳する

そのすぐ後で空が暗くなったので、夕立になりそうだった。

Poco después el cielo se oscureció y creí que íbamos a tener una tormenta de verano.

「副詞句」「主語」「動詞句」 y 「動詞」「目的語」

Poco después ポコ・デスプエス adv. すぐその後で 「副詞句」

el cielo エル・シエロ n.m 空が 「主語」

se oscureció セ・オスクレシオ 3 単点(oscurecerse)v.pr 暗くなった 「動詞句」

y イ conj. そして

creí クレイ 1 単点(creer)v.t(que ～だと) 思った 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

íbamos a tener イバモス・ア・テネル 1 複現・近接未来(tener)v.t 持つだろう 「動詞句」

Primera parte 第1部

una tormenta de verano. ウナ・トルメンタ・デ・ベラノ n.f 夕立を

「目的語」

それにもかかわらず、少しずつ晴れてきた。

Se despejó poco a poco, sin embargo.

「動詞句」「副詞句」

Se despejó セ・デスヘホ 3 単点(despejarse)v.pr 晴れた

「動詞句」

poco a poco, ポコ・ア・ポコ adv. 少しずつ

「副詞句」

sin embargo. シン・エンバルゴ adv. それにもかかわらず

「副詞句」

しかし雲が流れていくと、路面に雨の前触れを残していった。それが路面をさらに暗く変えていった。僕はそのまましばらく空を見ていた。

Pero el paso de las nubes había dejado en la calle una promesa de lluvia que la volvía más sombría. Quedé largo rato mirando el cielo.Pero 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」, 「主語」「目的語」「動詞」「補語」
「動詞」「副詞句」

Pero ヘロ conj. しかし

el paso エル・パソ n.m 歩みは

「主語」

de las nubes テ・ラス・ヌベス adj. 雲の

「形容詞句」

había dejado アビ・ア・デハド 3 単線・完了形(dejar)v.t 残した

「動詞句」

en la calle エン・ラ・ガジェ adv. 路面に

「副詞句」

una promesa ウナ・プロメサ n.f 見込み、前触れを

「目的語」

de lluvia テ・ジュビ・ア adj. 雨の

「形容詞句」

que ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

la ラ pron (la calle の代用) それを

「目的語」

volvía ホルビ・ア 3 単線(volver)v.t (+目的格補語) ~に変えた

「動詞」

más sombría. マス・ソンブリア adj. より薄暗い

「補語」

Quedé ケデ 1 単点(quedar)v.i そのままとどまっていた

「動詞」

largo rato ラルゴ・ラト adv. しばらく

「副詞句」

mirando el cielo. ミラント・エル・シエロ adv. 空を見ながら

「副詞句」

5 時になり、何両もの路面電車がけたたましい音を立てて到着した。

A las cinco los tranvías llegaron ruidosamente.

「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」

A las cinco ア・ラス・シコ adv. 5 時に

「副詞句」

los tranvías ロス・トランビ・アス pl.n.m 路面電車が

「主語」

llegaron ジェガロン 3 複点(llegar)v.i 到着した

「動詞」

ruidosamente. ルイト・サメンテ adv. 大きな音を立てて

「副詞句」

Primera parte 第1部

電車は郊外の競技場から、ステップと手すりにぶら下がる大勢の観客を連れて戻って来た。

Traían del estadio circunvecino racimos de espectadores colgados de los estribos y de los pasamanos. 「動詞」「副詞句」「目的語」

Traían トライン 3 複線(traer)v.t 連れてきた 「動詞」

del estadio デル・エスタシオ adv. 競技場から 「副詞句」

circunvecino シルクンベシノ adj. 郊外の 「形容詞句」

circun- 接頭辞 環境 vecino ベシノ adj. 近所の → 郊外の

racimos de espectadores ラシモス・デ・エスペクタド레스 pl.n.m 大勢の観客を 「目的語」

racimo de ラシモ・デ adj. ひとかたまりの espectador エスペクタドル n. 観客

colgados コルガドス 過去分詞(colgar)adj.pl(de ～に) ぶら下がった 「形容詞句」

de los estribos デ・ロス・エストリボス

adv. (列車の) ステップに

「間接目的語」

y イ conj. そして

de los pasamanos. デ・ロス・パサマノス

adv. (乗り物の) 手すりに

「間接目的語」

pasamanos パサマノス n.m (単複同形) (乗り物の) 手すり、つり革

次の路面電車は選手たちを連れてきた。小さなカバンで選手を見分けることができた。

Los tranvías siguientes trajeron a los jugadores, que reconocí por las pequeñas valijas.

「主語」「動詞」「目的語」, 「目的語」「動詞」「副詞句」

Los tranvías ロス・トランビアス pl.n.m 路面電車は 「主語」

siguientes シギエンテス adj.pl その後に続く 「形容詞」

trajeron トラヘロン 3 複点(traer)v.t 連れてきた 「動詞」

a los jugadores, ア・ロス・ファクトレス pl.n.m 選手たちを 「目的語」

que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

reconocí レコシ 1 単点(reconocer)v.t(por ～で) 見分けられた 「動詞」

por las pequeñas valijas. ホル・ラス・ペケニャス・バリハス

adv. 小さなかばんによって

「副詞句」

彼らは声を限りに、「我らがチームは不滅だ」と、叫び、歌っていた。

Gritaban y cantaban a voz en cuello que su club no perecería jamás.

「動詞句」「副詞句」「目的語」

Gritaban グリタバン 3 複線(gritar)v.t 怒鳴った、叫んだ 「動詞」

y イ conj. そして

cantaban カンタバン 3 複線(cantar)v.t 歌った 「動詞」

a voz en cuello ア・ボス・エン・ケンジョ adv. 声を張り上げて、声を限りに 「副詞句」

Primera parte 第1部

que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 su club ス・クラブ n.m 彼らのクラブは 「主語」
 no perecería jamás. ノ・ペレリア・ハマス 3 単過未・否定・推量(perecer)
 v.i 不滅だろう 「動詞句」

何人かが僕に合図をした。

Varios me hicieron señas. 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
 Varios バリオス pl.n 数人が 「主語」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 hicieron イシエロン 3 複点(hacer)v.t (動作を) した 「動詞」
 señas. セニャス pl.n.f 合図を 「直接目的語」

一人などは、「奴らに勝ったぞ！」と、僕に向かって叫ぶほどだった。

Uno hasta llegó a gritarme: "¡Les ganamos!" 「主語」「動詞句」:《「感嘆」》
 Uno ウノ pron 一人などは 「主語」
 hasta llegó a +不定詞 アスタ・ジエゴ・ア 3 単点・結果(llegar a+不定詞)
 v. ～するまでに至った 「動詞句」
 gritarme: グリタル・メ 不定詞(gritar+me)v.t 僕に向かって叫ぶ 「動詞句」
 "¡Les ganamos!" レス・ガナモス 1 複点(ganar+les)
 adv. 奴らに勝ったぞ！ 「感嘆」

僕は頭を振って、「分かった、分かった」と答えた。

Dije: "Sí", sacudiendo la cabeza. 「動詞」《「応答」》, 「副詞句」
 Dije: デイェ 1 単点(decir)v.t 言った、答えた 「動詞」
 "Sí", シ adv. そうだ、分かった 「応答」
 sacudiendo サクティエント 現在分詞(sacudir)v.t ～を振りながら 「副詞句」
 la cabeza. ラ・カベサ n.f 頭を 「目的語」

この時から、車が殺到してきた。

A partir de ese instante los automóviles comenzaron a afluir. 「副詞句」「主語」「動詞句」
 A partir de ア・パルティール・トウ adv.(desde) ～から 「副詞句」
 ese instante エセ・インスタンテ n.m その瞬間 「目的語」
 los automóviles ロス・アウトモビレス pl.n.m 車が 「主語」
 comenzaron a afluir. コメンサロン・ア・アフルール 3 複点・開始(comenzar a+不定詞)
 v.i 殺到し始めた、押し寄せてきた 「動詞句」

Primera parte 第1部

さらに少し日が傾いてきた。

El día avanzó un poco más.

「主語」「動詞」「副詞句」

El día エル・デ・ア n.m 日は

「主語」

avanzó アバンソ 3 単点(avanzar)v.i (5時から) 進んだ

「動詞」

un poco más. ウン・ポ・コ・マス adv. さらに少し

「副詞句」

5時からさらに時間が進む → 日が傾いてくる

屋根の上空は赤くなり、辺りが暗くなるにつれて、通りは活気づいてきた。

El cielo enrojeció sobre los techos y, con la tarde que caía, las calles se animaron.

「主語」「動詞」「副詞句」 y 「副詞句」「主語」「動詞句」

El cielo エル・シエロ n.m 空は

「主語」

enrojeció エンロヘシオ 3 単点(enrojecer)v.i 赤くなった

「動詞」

sobre los techos ソブレ・ロス・テチョス adv. 屋根の上で

「副詞句」

y, イ conj. そして

con la tarde コン・ラ・タルデ adv. (原因) 夕方によって

「副詞句」

que ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

caía, カイ 3 単線(caer)v.i 沈んでいく

「動詞」

夕暮れが近づいて、周りが暗くなっていく情景を表している

las calles ラス・カジェス pl.n.f 通りは

「主語」

se animaron. セ・アニマロン 3 複点(animarse)v.pr 活気づいていた

「動詞句」

しかし少し経つと、散歩の人たちが戻ってきた。

Pero a poco regresaban los paseantes.

Pero 「副詞句」「動詞」「主語」

Pero ペロ conj. しかし

a poco ア・ポ・コ adv. 少し経つと

「副詞句」

regresaban レグレサバン 3 複線(regresar)v.i 戻ってきた

「動詞」

los paseantes. ロス・パセアンテス pl.n 散歩の人たちが

「主語」

僕は戻ってくる他の人たちの間に例の上品な紳士を認めた。子供たちは泣いていた、引きずられていた。

Reconocí al señor distinguido en medio de otros. Los niños lloraban o se dejaban arrastrar.

「動詞」「目的語」「副詞句」 | 「主語」「動詞」o「動詞句」

Reconocí レコシ 1 単点(reconocer)v.t 認めた、見つけた

「動詞」

al señor distinguido アル・セニョール・デ・イステンギド n.m あの上品な紳士を

「目的語」

en medio de エン・メディオ・デ adv. ~の間に

「副詞句」

otros. オtros pron.pl ほかの人たち

「目的語」

Primera parte 第1部

Los niños ロス・ニニョス pl.n.m 子供たちは 「主語」
 lloraban ショラバン 3 複線(llorar)v.i 泣いていた 「動詞」
 o オ conj. または
 se dejaban arrastrar. セ・デハバン・アラストラール 3 複線・使役(dejarse+不定詞)
 v.pr 引っ張られるがままになっていた 「動詞句」
 dejarse+不定詞 他動詞：「～されるがままになる」、自動詞：「～してしまう」

ほとんどすぐ後に、界隈の映画館は通りに観客のうねりを吐き出した。

Casi en seguida los cines del barrio volcaron sobre la calle una marea de espectadores.

「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」
 Casi en seguida カシ・エン・セギダ adv. ほとんどすぐ後で 「副詞句」
 los cines del barrio ロス・シネス・テル・バリオ pl.n.m 界隈の映画館は 「主語」
 volcaron ボルカロン 3 複点(volcar)v.t ひっくり返した、吐き出した 「動詞」
 sobre la calle ソブレ・ラ・カジェ adv. 通りに 「副詞句」
 una marea ウナ・マレア n.f (海の) 潮、波 「目的語」
 de espectadores. デ・エスペクタド레스 adj. 観客の 「形容詞句」

うねり : 長く、大きく起伏する海の波。

大勢の観客が延々と海の波のように連なって映画館から通りに吐き出される様

若者たちは普段よりも決然たる身振りをしていた。それで、彼らは冒険映画を見てきたなど僕は思った。

Los jóvenes tenían gestos más resueltos que de costumbre y pensé que habían visto una película de aventuras.

「主語」「動詞」「目的語」 y 「動詞」「目的語」
 Los jóvenes ロス・ホベネス pl.n.m 若者たちは 「主語」
 tenían テニアン 3 複線(tener)v.t (動作を) していた 「動詞」
 gestos ヘストス pl.n.m 身振りを 「目的語」
 más resueltos マス・レスエルトス adj. (比較級) もっと決然とした 「形容詞句」
 que ケ conj. ～よりも 「副詞句」
 de costumbre トゥ・ウ・コストウンブレ adj. いつもの 「形容詞句」
 y イ conj. そして
 pensé 1 単点(pensar)v.t (que+直説法) と考えた 「動詞」
 que ケ conj. ～ということ 「目的語」
 habían visto アビアン・ビスト 3 複線・完了形(ver)v.t 見た、見てきた 「動詞句」
 una película ウナ・ペリクラ n.f 映画を 「目的語」
 de aventuras. デ・アベントゥラス adj. 冒険の 「形容詞句」

Primera parte 第1部

中心街の映画館から戻ってくる人たちは、もう少し後に着いた。

Los que regresaban de los cines del centro llegaron un poco más tarde.

「主語」「動詞」「副詞句」

Los ロス pron.m.pl 人たちは

「主語」

que ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

regresaban レグレサバン 3 複線・時制の一致(regresar)

v.i 戻ってくる

「動詞」

de los cines del centro デ・ロス・シネス・デル・セントロ

adv. 中心街の映画館から

「副詞句」

llegaron ジェガロン 3 複点(llegar)v.i 着いた

「動詞」

un poco más tarde. ウン・ポコ・マス・タルデ adv. もう少し後で

「副詞句」

こちらはもっと厳粛な様子に見えた。それでも笑っていた、しかし時々、疲れて、何か物思いに耽っているように見えた。

Parecían más graves. Todavía reían, pero sólo de cuando en cuando; parecían fatigados y soñadores.

「動詞」「補語」 | 「副詞」「動詞」,pero 「副詞句」「動詞」「補語」

Parecían パレシアン 3 複線(parecer)v.i ~のように見えた

「動詞」

más graves. マス・グラベス adj.pl (比較級) もっと深刻な、厳粛な

「補語」

Todavía トダビヤ adv. しかし、それでも

「副詞」

reían, レイアン 3 複線(reír)v.i 笑っていた

「動詞」

pero ペロ conj. しかし

sólo de cuando en cuando; ソロ・デ・クワント・エン・クワント adv. 時々

「副詞句」

parecían パレシアン 3 複線(parecer)v.i ~のように見えた

「動詞」

fatigados ファカトス 過去分詞(fatigar)adj.pl 疲れた

「補語」

y イ conj. そして

soñadores. ソニャドレス adj.pl 夢想到にふけた

「補語」

彼らは向かい側の歩道を行ったり来たりして、通りにとどまっていた。

Se quedaron en la calle, yendo y viniendo por la acera de enfrente.

「動詞句」「副詞句」

Se quedaron セ・ケダロン 3 複点(quedarse)v.pr(en) (場所に) 留まっていた

「動詞句」

en la calle, エン・ラ・カジェ adv. 通りに

「副詞句」

yendo y viniendo ジェント・イ・ビニエント 現在分詞(ir, venir)

adv. 行ったり来たりして

「副詞句」

por la acera de enfrente. ポル・ラ・アセラ・デ・エンフレンテ adv. 向かい側の歩道辺りを

「副詞句」

acera アセラ n.f 歩道 enfrente エンフレンテ adv. 向かい側に de enfrente 向かい側の

Primera parte 第1部

近所の娘たちは、帽子をかぶらずに、互いに腕を組んで歩いていた。

Las jóvenes del barrio andaban tomadas del brazo, en cabeza. 「主語」「動詞」「副詞句」

Las jóvenes ラス・ホベネス pl.n.f 娘たちは 「主語」

del barrio デル・バリオ adj. 近所の、近郊の 「形容詞句」

andaban アンダバン 3 複線(andar)v.i 歩いていた 「動詞」

tomadas トマダス 過去分詞・相互(tomarse)adj.f.pl (互いに腕を) 組んで 「副詞句」

estaban tomadas は受動の意味はなく状態を表しており、過去分詞の se は消失する

del brazo, デル・ブラソ n.m 腕を 「目的語」

en cabeza. エン・カベサ adv. 帽子をかぶらずに 「副詞句」

若い男たちはなんとか彼女たちとすれ違い、誘い文句を投げかけたが、彼女たちはそっぽを向いてそれを笑い飛ばした。

Los muchachos se habían arreglado para cruzarse con ellas y les lanzaban piropos de los que ellas reían volviendo la cabeza.

「主語」「動詞句」「副詞句」 y 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Los muchachos ロス・ムチャコス pl.n.m 若い男たちは 「主語」

se habían arreglado セ・アビアン・アレグラト 3 複線・完了形(arreglarse)

v.pr なんとかうまくやった 「動詞句」

para cruzarse パラ・クルサル・セ adv.(con と) すれ違うために 「副詞句」

con ellas コン・エジャス adv. 彼女たちと 「副詞句」

y イ conj. そして

les レス pron 彼女たちに 「間接目的語」

lanzaban ランサバン 3 複線(lanzar)v.t 投げかけた 「動詞」

piropos de los ピロポス・デ・ロス pl.n.m 彼らの誘い文句を 「直接目的語」

piropo ピロポ n.m ピロポ、(街頭で男性が女性に投げかける) 誘い文句、ほめ言葉

que ケ pron (目的語) それを~する 「形容詞節」

ellas エジャス pron.pl 彼女たちは 「主語」

reían レイアン 3 複線(reír)v.t 笑った 「動詞」

volviendo ボルビエント 現在分詞(volver)

v.t ~の向きを変えて 「副詞句」

la cabeza. ラ・カベサ n.f 頭を 「目的語」

Primera parte 第1部

知り合いの娘たちが僕に合図を送ってきた。

Varias que yo conocía me hicieron señas. 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
 Varias バリアス pl.n.f 娘たちの数人は 「主語」
 que yo conocía ケ・ジョ・コノシア adj. 僕が知っている、知り合いの 「形容詞節」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 hicieron イエロン 3 複点(hacer)v.t (動作を) した 「動詞」
 señas. セニャス pl.n.f 合図を 「直接目的語」

街灯が突然点灯したので、夜になって先に出ていた星が青ざめてしまった。

Las lámparas de la calle se encendieron bruscamente e hicieron palidecer las primeras estrellas que surgían en la noche. 「主語」「動詞句」「副詞」 e 「動詞」「補語」「目的語」
 Las lámparas ラス・ランパラス pl.n.f 電灯が 「主語」
 de la calle デ・ラ・カジェ adj. 通りの 「形容詞句」
 se encendieron セ・エンセンデ・イエロン 3 複点(encenderse)v.pr (電灯が) 点灯した 「動詞句」
 bruscamente ブルスカメンテ adv. 突然 「副詞」
 e エ conj. そして
 hicieron イエロン 3 複点・使役(hacer)v.t (SVO+不定詞)(Oに～) させた 「動詞」
 palidecer パリデセル 不定詞 v.i 青ざめる 「補語」
 las primeras estrellas ラス・プリメラス・エストレジャス pl.n.f 先にいた星たちを 「目的語」
 que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 surgían スルビアン 3 複線(surgir)v.i 現れた、上がっていた 「動詞」
 en la noche. エン・ラ・ノチェ adv. 夜になって 「副詞句」

僕は、人々や光に溢れる歩道を見ていて、目の疲れを感じた。

Sentía fatigárseme los ojos mirando las aceras con su cargamento de hombres y de luces.
 「動詞句」「目的語」「副詞句」
 Sentía fatigárseme センチア・ファチガール・セ・メ 1 単線・印象(sentirse+不定詞 fatigarse)
 v.pr 自分の～が疲れていると感じていた 「動詞句」
 se sentía fatigárme los ojos で me los ojos は「自分の両目が」の意味
 los ojos ロス・オホス pl.n.m 両目が 「目的語」
 mirando ミラント 現在分詞(mirar)adv. (原因) ～を見ていて 「副詞句」
 las aceras ラス・アセラス pl.n.f 歩道を 「目的語」
 con su cargamento コン・スカカメント adj. 積み荷を持った 「形容詞句」
 → ～に溢れる
 de hombres デ・オンブレス adj. 人々の 「形容詞句」
 y イ conj. そして

Primera parte 第1部

de luces. テ・ルス adj. 光の

「形容詞句」

街灯が油ぎった舗道をぎらつかせていた。そして路面電車が規則正しい間隔で、輝く髪や微笑や銀のブレスレットの上で、電車からの反射光の明暗を反転させていた。

Las lámparas hacían relucir el piso grasiento y, con intervalos regulares, los tranvías volcaban sus reflejos sobre los cabellos brillantes, una sonrisa, o una pulsera de plata.

「主語」「動詞」「補語」「目的語」 y 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Las lámparas ラス・ランパラス pl.n.f 街灯は 「主語」

hacían アシアン 3 複線・使役(hacer)v.t ～させた 「動詞」

relucir レルシール 不定詞 v.i 輝く 「補語」

el piso エル・ピソ n.m 路面を、舗道を 「目的語」

grasiento グラシエント adj. 油っこい、ギラギラとした 「形容詞」

y, イ conj. そして

con intervalos regulares, コン・インテルバ・ロス・レグラレス adv. 規則正しい間隔で 「副詞句」

intervalo インテルバ・ロ n.m 間隔 regular レグラール adj. 規則正しい

los tranvías ロス・トランビ・アス pl.n.m 路面電車が 「主語」

volcaban ボルカバン 3 複線(volcar)v.t 反転させた 「動詞」

sus reflejos スス・レフレホス pl.n.m 電車の反射光を 「目的語」

sobre ソブレ prep ～の上で 「副詞句」

los cabellos brillantes, ロス・カベ・ジ・ョス・ブリジ・ヤンテス

pl.n.m 輝く髪 「目的語」

una sonrisa, ウナ・ソリサ n.f ほほ笑み 「目的語」

o オ conj. または

una pulsera ウナ・プルセ・ラ n.f ブレスレット 「目的語」

de plata. テ・プラタ adj. 銀の 「形容詞句」

少しすると、電車の往来はさらに少なくなって、木々や街灯の上に夜の闇が迫ってくると、この界限は気づかないうちに閑散としてきて、再び無人になった通りを、最初の猫がゆっくりと横切って行った。

Poco después, con los tranvías más escasos y la noche ya oscura sobre los árboles y las lámparas, el barrio se vació insensiblemente, hasta que el primer gato atravesó lentamente la calle de nuevo desierta.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞」 hasta que 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」

Poco después, ポ・コ・デ・ス・プ・エス adv. 少しして 「副詞句」

con コン adv. (様態) ～の状態になって 「副詞句」

los tranvías más escasos ロス・トランビ・アス・マス・エスカソス

Primera parte 第1部

pl.n.m	さらに少ない電車	「目的語」
y イ conj.	そして	
la noche ラ・ノチェ	n.f 夜	「目的語」
ya oscura ジャ・オスクラ	adj. すでに暗い	「形容詞句」
sobre ソブレ	prep. ~の上で	「副詞句」
los árboles ロス・アルボレス	pl.n.m 木々	「目的語」
y イ conj.	そして	
las lámparas, ラス・ランパラス	pl.n.f 街灯	「目的語」
el barrio エル・バリオ	n.m この界隈は	「主語」
se vació セ・バシオ	3 単点(vaciarse)v.pr (se+他動詞による自動詞化) 空になった	「動詞句」
insensiblemente, インセンシブルメンテ	adv. 気づかないうちに	「副詞」
hasta que アスタ・ケ conj.	(結果) そして~する、(終着点) ~するまで	
el primer gato エル・プリメル・ガト	n.m 最初の猫が	「主語」
atravesó アトラベソ	3 単点(atravesar)v.t 横切った	「動詞」
lentamente レンタメンテ	adv. ゆっくりと	「副詞」
la calle ラ・カジェ	n.f 通りを	「目的語」
de nuevo desierta. デ・ヌエボ・デシエルタ	adj. 再び無人になった	「形容詞句」
de nuevo デ・ヌエボ	adv. 再び	
desierta デシエルタ	adj.f(desierto) 無人の	

それで、僕は何か食べなければならないと思った。

<u>Pensé entonces que era necesario comer.</u>	「動詞」「副詞」「目的語」
Pensé ペンセ 1 単点(pensar)v.t (que ～と) 考えた	「動詞」
entonces エントネス adv. それで	「副詞」
que ケ conj. ～ということ	「目的語」
era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である	「動詞」
necesario ネセリオ adj. 必要な	「補語」
comer. コメル 不定詞 n. 食べることが	「主語」

Primera parte 第1部

しばらく椅子の背にもたれかかっていたので、僕は少し首が痛くなった。

Me dolía un poco el cuello por haber estado tanto tiempo apoyado en el respaldo de la silla. 「間接目的語」「動詞」「副詞句」「主語」「副詞句」

Me メ pron 僕にとって 「間接目的語」

dolía ドリア 3 単線(doler)v.i 痛かった 「動詞」

un poco ウン・ポコ adv. 少し 「副詞句」

el cuello エル・クェシヨ n.m 首が 「主語」

por +不定詞・完了形 ポル adv. (原因) ～したので 「副詞句」

haber estado ハベール・エスタド 不定詞・完了形(estar)v.i (状態) ～していた 「動詞句」

tanto tiempo タント・テイエンポ adv. 長い間 「副詞句」

apoyado アポヤド 過去分詞(apoyar)v.t (en に) もたれかかった 「補語」

en el respaldo エン・ネル・レスパルト adv. (椅子の) 背に 「副詞句」

de la silla. デ・ラ・シジャ adj. 椅子の 「形容詞句」

下に降りてパンとパスタを買ってきて、調理して、立ったまま食べた。

Bajé a comprar pan y pastas, cociné y comí de pie.

「動詞句」「目的語」, 「動詞」 y 「動詞」「副詞句」

Bajé a +不定詞 バハ・ア 1 単点・目的(bajar a+不定詞)v. ～しに降りた 「動詞句」

comprar コンブ・ラール 不定詞 v.t 買う 「動詞句」

pan y pastas, パン・イ・パスタス pl.n パンとパスタを 「目的語」

cociné コシネ 1 単点(cocinar)v.t 調理した 「動詞」

y イ conj. そして

comí コミ 1 単点(comer)v.t 食べた 「動詞」

de pie. デ・ピエ adv. 立って 「副詞句」

Primera parte 第1部

それから窓辺でタバコを吸いたいと思ったが、少し寒さを感じた。

Quise fumar aún un cigarrillo en la ventana, pero sentí un poco de frío.

「動詞句」「副詞」「目的語」「副詞句」pero「動詞」「目的語」

Quise fumar キェ・フマル 1 単点・願望(querer+不定詞)

v.t (タバコを) 吸いたいと思った

「動詞句」

aún アウン adv. そして、さらに

「副詞」

un cigarrillo ウン・シガリジョ n.m 紙巻きたばこを

「目的語」

en la ventana, エン・ラ・ベンタ adv. 窓辺で

「副詞句」

pero ペロ conj. しかし

sentí センチ 1 単点(sentir)v.t 感じた

「動詞」

un poco de frío. ウン・ポコ・デ・フリオ n.m 少し寒さを

「目的語」

僕は窓を閉めた。そして部屋に戻るとき、テーブルの片隅が鏡に映っているのが見えた。そこにはアルコールランプと一緒に数切れのパンがあった。

Eché los cristales y, al volverme, vi por el espejo un extremo de la mesa en el que estaban juntos la lámpara de alcohol y unos pedazos de pan.

「動詞」「目的語」y「副詞句」「動詞」「副詞句」「目的語」「副詞句」

Eché エチェ 1 単点(echar)v.t (用具などを) 使う、(鍵を) かける

「動詞」

los cristales ロス・クリスタレス pl.n.m 窓ガラスを、窓を

「目的語」

y, イ conj. そして

al volverme, アル・ボルベル・ミ adv.(al volverse) (時) (部屋に) 戻るときに

「副詞句」

vi ビ 1 単点(ver)v.t 見えた

「動詞」

por el espejo ホル・エル・エスペホ adv. (手段) 鏡で

「副詞句」

un extremo de la mesa ウン・エクストレモ・デ・ラ・メサ n.m テーブルの片隅が

「目的語」

en el エン・ネル adv. その上に

「副詞句」

que ケ pron (同格) (テーブルの状態) ~である

「形容詞節」

estaban エスタバン 3 複線(estar)v.i ~があった

「動詞」

juntos フントス adv. 一緒に

「副詞」

la lámpara de alcohol ラ・ランパ・ラ・デ・アルコール

n.f アルコールランプ

「主語」

y イ conj. そして

unos pedazos ウノス・ペダソス pl.n.m 数切れが

「主語」

de pan. デ・パン adj. パンの

「形容詞句」

Primera parte 第1部

僕は思った。とにかく大変な日曜日だった。母さんは今は埋葬がすんだ。また仕事を再開することになる。そして、要するに何も変わったものはない。

Pensé que, después de todo, era un domingo de menos, que mamá estaba ahora enterrada, que iba a reanudar el trabajo y que, en resumen, nada había cambiado.

「動詞」「目的語」, 「目的語」, 「目的語」 y 「目的語」

Pensé ペンセ 1 単点(pensar)v.t(que ~と) 思った 「動詞」

que, ケ conj. ~ということ 「目的語」

después de todo, デスプエス・デ・トト adv. とにかく、結局 「副詞句」

era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」

un domingo ウン・ドミンゴ n.m 日曜日 「補語」

de menos, デ・メノス adj. 大変な、ひどい 「形容詞句」

que ケ conj. ~ということ 「目的語」

mamá ママ n.f 母さんは 「主語」

estaba ahora enterrada, エスタハ・アオラ・エンテラダ 3 単線・受動(enterrar+ahora)

v.t 今は埋葬された 「動詞句」

que ケ conj. ~ということ 「目的語」

iba a reanudar イハ・ア・レアヌダール 1 単線・時制の一致・近接未来(ir a+不定詞)

v.t ~を再開することになる 「動詞句」

el trabajo エル・トラバホ n.m 仕事を 「目的語」

y イ conj. そして

que, ケ conj. ~ということ 「目的語」

en resumen, エン・レスメン adv. 要するに 「副詞句」

nada ナダ pron 何も~ない 「主語」

había cambiado. アビア・カンビアト 3 単線・完了形(cambiar)

v.i (否定文で) 変わらなかった 「動詞句」

Primera parte 第1部

III

今日は会社でよく働いた。社長は機嫌がよかった。

Hoy trabajé mucho en la oficina. El patrón estuvo amable.

「副詞」「動詞」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」

Hoy オイ adv. 今日は 「副詞」
trabajé トラバヘ 1 単点(trabajar)v.i 働いた 「動詞」
mucho ムチョ adv. 多く、非常に 「副詞」
en la oficina. エン・ラ・オフィサ adv. 事務所で、会社で 「副詞句」
El patrón エル・パトロン n.m 社長は 「主語」
estuvo エストゥボ 3 単点(estar)v.i 〜だった 「動詞」
amable. アマブレ adj. 優しい、親切な、機嫌がよい 「補語」

僕にとっても疲れたのではないかと尋ね、母さんの年齢も尋ねられた。

Me preguntó si no estaba demasiado cansado y quiso saber también la edad de mamá.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 y 「動詞句」「目的語」

Me メ pron 僕に 「間接目的語」
preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」
si シ conj. 〜かどうかということ 「直接目的語」
no estaba ノ・エスタバ 1 単線・否定(estar)v.i 〜でなかった 「動詞」
demasiado cansado デ・マシアド・カンサド adj. とても疲れた 「補語」
y イ conj. そして
quiso saber キソ・サベル 3 単点・願望(querer+不定詞)v.t 知りたがった 「動詞句」
también la edad タンビ・エン・ラ・エダド n.f 年齢も 「目的語」
de mamá. デ・ママ adj. 母さんの 「形容詞句」

僕は間違えないように「60 歳くらいです」と答えた。すると彼は、なぜか、肩の荷を降ろしたように、そして、この件が終わったと思っているように見えた。

Dije "alrededor de los sesenta" para no equivocarme y no sé por qué pareció quedar aliviado y considerar que era un asunto concluido.

「動詞」《「応答」》「副詞句」 y 「副詞句」「動詞」「主語」 y 「主語」

Dije デ・イ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
"alrededor de los sesenta" アルデトール・デ・ロス・セシタ n. 「60 歳くらいです」 「応答」
para +不定詞 パラ adv. (目的) 〜しないために 「副詞句」
no equivocarme ノ・エキボ・カル・メ 不定詞・否定形 v.pr 間違えない 「動詞句」
y イ conj. そして

Primera parte 第1部

no sé ノ・セ 1 単現・否定(saber)v.t (挿入句) 分からないが	「副詞句」
por qué ポル・ケ adv. なぜか	「副詞句」
pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i 〜のように見えた	「動詞」
quedar ケダール 不定詞 v.i (〜の状態に) になっていること	「主語」
aliviado アリビアド adj. 軽くなった	「補語」
y イ conj. そして	
considerar コンシデラール 不定詞 v.t 〜と考えていること	「主語」
que ケ conj. 〜ということ	「目的語」
era エラ 3 単線・時制の一致(estar)v.i 〜である	「動詞」
un asunto concluido. ウン・アスト・コンクルイト n.m 完結した事	「補語」
asunto アスト n.m 事柄 concluido コンクルイト 過去分詞(concluir)adj. 完結した	

僕の机の上には船荷証券が山積みされていて、それを全部点検しなければならなかった。

Sobre mi mesa se apilaba un montón de conocimientos y tuve que examinarlos todos.

	「副詞句」「動詞句」「主語」 y 「動詞句」「副詞」
Sobre ソブレ prep. 〜の上には	「副詞句」
mi mesa ミ・メサ n.f 僕の机、デスク	「目的語」
se apilaba セ・アピラバ 3 単線・再帰受動(apilarse)v.pr 積み上げられていた	「動詞句」
un montón ウン・モンソン n.m 山が	「主語」
de conocimientos デ・コノシエントス adj. (商業) 船荷証券の	「形容詞句」
y イ conj. そして	
tuve que+不定詞 トゥベ・ケ 1 単点・必要(tener que+不定詞)	
v. 〜しなければならなかった	「動詞句」
examinarlos エカミナル・ロス 不定詞(examinar+los)v.t それらを点検する	「動詞句」
todos. トロス adv. すべて、すっかり	「副詞」

船荷証券 (ふなにしょうけん) conocimientos :

貿易における船積書類のひとつ。船会社など運送業者が発行し、貨物の引き受けを証明し、当該貨物受け取りの際の依拠とする。英語では Bill of Lading、B/L と略す。船積書類のうち、もっとも重要な書類である。

Primera parte 第1部

昼食に行くために会社を出る前に、僕は手を洗った。

Antes de abandonar la oficina para ir a almorzar me lavé las manos.

「副詞句」、「動詞句」「目的語」

Antes de +不定詞 アンテス・デ adv. (時) ~する前に

「副詞句」

abandonar アバントナル 不定詞 v.t (場所から) 出る、離れる

「動詞」

la oficina ラ・オフィシナ n.m 会社を

「目的語」

para +不定詞 パラ adv. (目的) ~するために

「副詞句」

ir a almorzar イール・ア・アルモルサル 不定詞 v.i 昼食に行く

「動詞句」

me lavé メ・ラベ 1 単点(lavarse)v.pr (自分の体を) 洗った

「動詞句」

las manos. ラス・マノス pl.n.f 手を

「目的語」

僕は正午のこの瞬間が大好きだ。

Me gusta mucho ese momento a mediodía.

「間接目的語」「動詞」「副詞」「主語」

Me メ pron 僕にとって

「間接目的語」

gusta グスタ 3 単現(gustar)v.i (人の) 気に入る

「動詞」

mucho ムチョ adv. とても

「副詞」

ese momento a mediodía. エセ・モメント・ア・メディオディヤ n.m 正午のこの瞬間は

「主語」

夕方になると、あまり喜びはない。皆が使った回転タオルは完全に湿っているからだ；回転タオルは一日中使われ続けていたのだ。

Por la tarde encuentro menos placer porque la toalla sin fin que utilizamos está completamente húmeda; ha servido durante toda la jornada.

「副詞句」「動詞」「目的語」「副詞節」；「動詞句」「副詞句」

Por la tarde ポル・ラ・タルデ adv. 夕方になると

「副詞句」

encuentro エンクエントロ 1 単現(encontrar)v.t 見つける

「動詞」

menos placer メノス・プラセル n.m 少ない喜びを

「目的語」

porque ポルケ conj. ~なので

「副詞節」

la toalla sin fin ラ・トアジャ・シン・フィン n.f ローラータオルは、回転タオル

「主語」

que ケ pron (目的語) ~する

「形容詞節」

utilizamos ウチリサモス 1 複点(utilizar)v.t 皆が使った

「動詞」

está エスタ 3 単現(estar)v.i ~である

「動詞」

completamente húmeda; コンプレタメンテ・ウメダ adj. 完全に湿った

「補語」

ha servido ア・セルビド 3 単現・完了形(servir)v.i 働いた

「動詞句」

durante toda la jornada. ドゥランテ・トダ・ラ・ホリダ adv. 一日中

「副詞句」

Primera parte 第1部

ある日、僕は社長にそのことを言ったことがある。彼は僕に、それは遺憾に思うが、同時にそれは取るに足らない小さなことだと返事をした。

Un día se lo hice notar al patrón. Me respondió que era de lamentar, pero que asimismo era un detalle sin importancia.

「副詞句」, 「間接目的語」 「直接目的語」 「動詞」 「間接目的語」

「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」 pero 「直接目的語」

Un día ウン・デア n.m ある日 「副詞句」
 se セ pron (al patrón の前出し) 彼に 「間接目的語」
 lo ロ pron そのことを 「直接目的語」
 hice notar イェ・ノタル 1 単点・使役(hacer+不定詞)v.t 気づかせた、知らせた 「動詞句」
 al patrón. アル・パトロン adv. 社長に 「間接目的語」
 Me メ pron 僕に 「間接目的語」
 respondió レスポンデア 3 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」
 de lamentar, デ・ラメントラル adj. 遺憾に思うべきな 「補語」
 pero ペロ conj. しかし
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 asimismo アシミスマ adv. 同様に、さらに 「副詞」
 era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」
 un detalle ウン・デタジェ n.m 小さいもの 「補語」
 sin importancia. シン・インポルタンシア adj. 重要性のない 「形容詞句」

僕は、配送部門で働いているエマニュエルと一緒に、少し遅く 12 時半に会社を出た。

Salí un poco tarde, a las doce y media, con Manuel, que trabaja en la expedición.

「動詞」 「副詞句」

Salí サリ 1 単点(salir)v.i 外に出た 「動詞」
 un poco tarde, ウン・ポコタルデ adv. 少し遅く 「副詞句」
 a las doce y media, ア・ラス・ドセ・イ・メデア adv. 12 時半に 「副詞句」
 con Manuel, コン・マヌエル adv. マヌエルと一緒に 「副詞句」
 que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 trabaja トラバハ 3 単現(trabajar)v.i 働いている 「動詞」
 en la expedición. エン・ラ・エクスぺディション adv. 配送部門で 「副詞句」

Primera parte 第1部

会社は海に面しているので、僕らは少しの間、灼熱の港に浮かぶ貨物船を眺めて過ごした。

La oficina da al mar y perdimos un momento mirando los barcos de carga en el puerto ardiente de sol. 「主語」「動詞」「間接目的語」 y 「動詞」「目的語」「副詞句」

La oficina ラ・オフィサ n.f 会社は 「主語」

da ダー 3 単現(dar)v.i 〜に面している 「動詞」

al mar アル・マーレ adv. 海に 「間接目的語」

y イ conj. そして

perdimos ペルディモス 1 複点(perder)v.t (時間)を無駄に過ごした 「動詞」

un momento ウン・モメント n.m 少しの間 「目的語」

mirando ミランド 現在分詞(mirar)v.t 〜を見ながら 「副詞句」

los barcos ロス・バルコス pl.n.m 船を 「目的語」

de carga テ・カルガ adj. 積み荷の 「形容詞句」

en el puerto エン・エル・プエルト adv. 港の中の 「副詞句」

ardiente de sol. アルティエンテ・デ・ソル

adj. 太陽で燃えるように熱い 「形容詞句」

丁度この時、チェーンを引きずる音とエンジンの爆音に包まれて、トラックがやって来た。

En ese instante llegó un camión en medio de un estrépito de cadenas y explosiones.

「副詞句」, 「動詞」「主語」「副詞句」

En ese instante エン・エ・インスタnte adv. ちょうどこの時 「副詞句」

llegó ジェゴ 3 単点(llagar)v.i 到来した、着いた 「動詞」

un camión ウン・カミオン n.m トラックが 「主語」

en medio エン・メディオ adv. 中央に 「副詞句」

de un estrépito テ・ウン・エストレピト adj. 激しい音の 「形容詞句」

de テ prep (原因) 〜による、〜からの 「形容詞句」

cadenas カデナス pl.n.f 鎖、チェーン 「目的語」

y イ conj. そして

explosiones. エクスプロシオネス pl.n.f エンジンの爆音 「目的語」

Primera parte 第1部

マヌエルが僕に「やろうよ！」と尋ねたので、僕は駆け出した。

Manuel me preguntó: "¿Vamos?", y eché a correr.

「主語」「間接目的語」「動詞」:《「勧誘」》,y「動詞句」

Manuel マヌエル n.m マヌエルが

「主語」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

preguntó: プレグント 3 単点(preguntar)v.i 尋ねた

「動詞」

"¿Vamos?", バモス 1 複現・勧誘(ir a+不定詞:省略形)v.i やろうよ!

「勧誘」

二人の間では「すること」が分かっているので、a+不定詞を省略している

y イ conj. そして

eché a correr. エチェ・ア・コレル 1 単点・開始(echar a+不定詞)v.i 走り始めた

「動詞句」

トラックは僕らを追い抜いて行ったので、その後を必死に追いかけた。

El camión nos dejó atrás y nos lanzamos en su persecución.

「主語」「目的語」「動詞」「副詞」 y 「動詞句」「副詞句」

El camión エル・カモン n.m トラックは

「主語」

nos ノス pron 僕らを

「目的語」

dejó デホ 3 単点(dejar)v.t 残していった

「動詞」

atrás アラス adv. 後ろに

「副詞」

y イ conj. そして

nos lanzamos ノス・ランサモス 1 複点(lanzarse)v.pr 突進した、急いで走った

「動詞句」

en su persecución. エン・ス・ペルセクシオン adv. その後を追って

「副詞句」

persecución ペルセクシオン n.f 追跡、搜索

騒音と埃で僕は息苦しくなった。

El ruido y el polvo me ahogaban.

「主語」「目的語」「動詞」

El ruido エル・ルイト n.m 騒音は

「主語」

y イ conj. そして

el polvo エル・ポルボ n.m 埃は

「主語」

me メ pron 僕を

「目的語」

ahogaban. アカガバン 3 複線(ahogar)v.t 息苦しくさせた

「動詞」

フランス語原文では、

J'étais noyé dans le bruit et la poussière. 僕は騒音と埃に包み込まれた。

Primera parte 第1部

もう何も見えなくなり、競争に対する闇雲な衝動しか感じなかった。僕らの周囲は、ウィンチや機械であふれ、水平線の上ではマストが踊り、僕らは船の突端を避けながら走った。

No veía nada más y no sentía otra cosa que el desordenado impulso de la carrera, en medio de los tornos y de las máquinas, de los mástiles que danzaban en el horizonte y de los cabos que esquivábamos. 「動詞句」「目的語」 y 「動詞句」「目的語」, 「副詞句」

No veía ノ・ベ・イア 1 単線・否定(ver)v.t 見えなくなっていた 「動詞句」

nada más ナダ・マス pron もう何も～ない 「目的語」

y イ conj. そして

no sentía ノ・センチア 1 単線・否定(sentir)v.t 感じなかった 「動詞句」

otra cosa que オトラ・コサ n.f ～以外の事を 「目的語」

～しか... しない

el desordenado impulso エル・デソルデナド・インプルソ n.m 無秩序な衝動 「目的語」

de la carrera, デ・ラ・カラ adj. 競争の 「形容詞句」

en medio エン・メディオ adv. ～の真ん中で 「副詞句」

de los tornos デ・ロス・トルノス adj. ウィンチの 「形容詞句」

y イ conj. そして

de las máquinas, デ・ラス・マキナス adj. 機械の 「形容詞句」

de los mástiles デ・ロス・マストレス adj. マストの 「形容詞句」

mástil マスチル n.m (船舶) マスト、帆柱、支柱

que ケ pron.pl (主語) ～する 「形容詞節」

danzaban ダンサバン 3 複線(danzar)v.i 踊っていた 「動詞」

en el horizonte エン・ホル・オリゾンテ adv. 水平線の上で 「副詞句」

y イ conj. そして

de los cabos デ・ロス・カボス adj. 先端の 「形容詞句」

que ケ pron.pl (目的語) ～する 「形容詞節」

esquivábamos. エスキババモス 1 複線(esquivar)

v.t よけた、避けた 「動詞」

フランス語原文では、

au milieu des treuils et des machines, des mâts qui dansaient sur l'horizon et des coques que nous longions. 僕らの周囲は、ウィンチや機械類が一杯で、水平線の上でマストが踊っていて、僕らが走るすぐ横には船体が並んでいた。

Primera parte 第1部

僕が最初に荷台につかまり、素早く飛び乗った。

Fui el primero en tomar apoyo y salté al vuelo. 「動詞」「補語」 y 「動詞」「副詞句」

Fui フイ 1 単点(ser)v.i. ～だった 「動詞」

el primero エル・プリメロ n.m. 最初 「補語」

en +不定詞 エン adj. ～するのに 「形容詞句」

tomar トマル 不定詞 v.t. つかむ 「動詞」

apoyo アポ・シヨ n.m. 支え 「目的語」

最初に～した

y イ conj. そして

salté サルテ 1 単点(saltar)v.i. 飛び乗った 「動詞」

al vuelo. アル・ブエロ adv. すばやく 「副詞句」

それからマヌエルが座るのを手伝った。息が切れた。

Luego ayudé a Manuel a sentarse. Estábamos sin resuello.

「副詞」「動詞」「目的語」「補語」 | 「動詞」「補語」

Luego ルエゴ adv. それから 「副詞」

ayudé アユテ 1 単点(ayudar)v.t.(a+不定詞 ～するのを) 助けた 「動詞」

a Manuel ア・マヌエル n.m. マヌエルを 「目的語」

a sentarse. ア・セントアル・セ 不定詞 v.pr. 座る 「補語」

Estábamos エスタバ・モス 1 複線(estar)v.i. ～だった 「動詞」

sin resuello. シン・レスエシヨ adj. 息を切らした 「補語」

埃と太陽の光に包まれて、トラックは栈橋のでこぼこな舗装の上を飛び跳ねて走った。

El camión saltaba sobre el pavimento desparejo del muelle, en medio del polvo y del sol.

「主語」「動詞」「副詞句」

El camión エル・カミオン n.m. トラックは 「主語」

saltaba サルタバ 3 単線(saltar)v.i. 飛び上がった 「動詞」

sobre el pavimento ソブレ・エル・パ・ビメント adv. 舗装の上を、敷石の上を 「副詞句」

desparejo デスパレホ 過去分詞(desparejar)adj. でこぼこな 「形容詞」

del muelle, テル・ムエシエ adj. 栈橋の、岸壁の 「形容詞句」

en medio エン・ミト adv. ～の中で、～に包まれて 「副詞句」

del polvo y del sol. テル・ポルボ・イ・テル・ソル adv. 埃と太陽に 「目的語」

Primera parte 第1部

マヌエルは息が出来なくなるほど笑っていた。

Manuel reía hasta perder el aliento.

「主語」「動詞」「副詞句」

Manuel マヌエル n.m マヌエルは

「主語」

reía レイア 3 単線(reír)v.i 笑っていた

「動詞」

hasta +不定詞 アスタ adv. ～するまで、～するほど

「副詞句」

perder ペルデーール 不定詞 v.t 失う、～をしそこなう

「動詞」

el aliento. エル・アリエント n.m 呼吸、息

「目的語」

僕たちは汗びっしょりでセレステの店についた。

Llegamos empapados a casa de Celeste.

「動詞」「補語」「副詞句」

Llegamos ジェガモス 1 複点(llegar)v.i(a に) 着いた

「動詞」

empapados エンパ・パトス adj.pl ずぶ濡れの状態で

「補語」

empapado en sudor エンパ・パト・エン・ストール adj. 汗びっしょりの

a casa de Celeste. ア・カーサ・デ・セステ adv. セレステの店に

「副詞句」

そこにいつものように、大きな腹に前掛けをした、白い口髭のセレステがいた。

Allí estaba como siempre, con el vientre abultado, el delantal y los bigotes blancos.

「副詞」「主語」「動詞」「副詞句」

Allí アジ adv. そこに

「副詞」

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ～がいた

「動詞」

como siempre, コモ・シエンプレ adv. いつも通りに

「副詞句」

con コン adv. (状態) ～の様子で

「副詞句」

el vientre abultado, エル・ビエントレ・アブルタト n.m 大きな腹

「目的語」

vientre ビエントレ n.m 腹 abultado アブルタト adj. 巨大な

el delantal エル・デランタル n.m 前掛け

「目的語」

y イ conj. そして

los bigotes blancos. ロス・ビゴテス・ブランコス pl.n.m 白い口髭

「目的語」

bigote ビゴテ n.m 口髭

彼は僕に、「何はともあれ、元気かい？」と尋ねた。

Me preguntó si "andaba bien a pesar de todo."

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Me メ pron 僕に

「間接目的語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞」

si シ conj. ～かどうかということ

「直接目的語」

"andaba アンダーバ 3 単線・時制の一致(andar)v.i ～の状態である

「動詞」

bien ビヤン adv. 元気な

「補語」

Primera parte 第1部

a pesar de todo." ア・ペサル・デ・トト adv. 何はともあれ

「副詞句」

「ああ、元気だ。腹が減った」と、彼に答えた。僕は急いで食べて、コーヒーを飲んだ。

Le dije que sí y que tenía hambre. Comí rápidamente y tomé café.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 | 「動詞」「副詞」 y 「動詞」「目的語」

Le レ pron 彼に

「間接目的語」

dije デイハ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

que sí ケシ conj. 元気だ

「直接目的語」

y イ conj. そして

que ケ conj. ～といういことを

「直接目的語」

tenía テニア 1 単線(tener)v.t ～がある

「動詞」

hambre. アンブレ n.f 空腹

「目的語」

Comí コミ 1 単点(comer)v.t 食べた

「動詞」

rápidamente ラピダメンテ adv. 急いで

「副詞」

y イ conj. そして

tomé トメ 1 単点(tomar)v.t 飲んだ

「動詞」

café. カフェ n.m コーヒーを

「目的語」

それから自分の部屋に戻った；ワインを飲みすぎたので少し眠った。目覚めると、タバコを吸いたくなった。

Luego volví a mi casa; dormí un poco porque había bebido demasiado vino, y al despertar tuve ganas de fumar.

「副詞」「動詞」「副詞句」；「動詞」「副詞句」 y 「副詞句」「動詞」「目的語」

Luego ルエゴ adv. それから

「副詞」

volví ボルビ 1 単点(volver)v.i 帰った

「動詞」

a mi casa; ア・ミ・カーサ adv. 自分の部屋に

「副詞句」

dormí ドルミ 1 単点(dormir)v.i 眠った

「動詞」

un poco ウン・ポコ adv. 少し

「副詞句」

porque ボルケ conj. ～なので

「副詞節」

había bebido アビ・ア・ベビト 1 単線・完了形(beber)v.t 飲んだ

「動詞句」

demasiado vino, デマシアト・ビーノ n.m あまりにも多くのワインを

「目的語」

y イ conj. そして

al despertar アル・デ・スペルタル adv. 目が覚めた時に

「副詞句」

tuve トゥベ 1 単点(tener)v.t ～があった

「動詞」

ganas de fumar. ガナス・デ・フマル pl.n.f タバコを吸う願望

「目的語」

Primera parte 第1部

もう遅かったので、路面電車に間に合うように走った。午後はずっと働いた。

Era tarde, y corrí para alcanzar un tranvía. Trabajé toda la tarde.

「動詞」「補語」 y 「動詞」「副詞句」 | 「動詞」「副詞句」

Era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった

「動詞」

tarde, タルデ adv. 遅い

「補語」

y イ conj. それで

corrí コリ 1 単点(correr)v.i 走った

「動詞」

para +不定詞 パラ adv. (目的) ~するために

「副詞句」

alcanzar アルカサル 不定詞 v.t に追いつく、間に合う

「動詞」

un tranvía. ウン・トランビア n.m 路面電車

「目的語」

Trabajé トラバヘ 1 単点(trabajar)v.i 働いた

「動詞」

toda la tarde. トダ・ラ・タルデ adv. 午後はずっと

「副詞句」

会社の中はひどく暑かった。夕方に会社を出て、帰り道に波止場に沿ってゆっくり歩いていると幸せな感じがした。

Hacia mucho calor en la oficina y cuando salí al atardecer me sentí feliz caminando de vuelta lentamente a lo largo de los muelles.

「動詞」「目的語」「副詞句」 y 「副詞節」, 「動詞句」「補語」「副詞句」

Hacia アシア 3 単線・単人称・気候(hacer)v.h ~だった

「動詞」

mucho calor ムチョ・カール n.m すごい暑さ

「目的語」

en la oficina エン・ラ・オフィシ ア adv. 会社の中は

「副詞句」

y イ conj. そして

cuando クワント conj. ~するとき

「副詞節」

salí サリ 1 単点(salir)v.i (会社を) 出た

「動詞」

al atardecer アル・アタルデセル adv. 夕方に

「副詞句」

me sentí メ・センチ 1 単点(sentirse)v.pr 自分を~だと感じた

「動詞句」

feliz フェリス adj. 幸せな

「補語」

caminando カミナント 現在分詞(caminar)adv. 歩きながら

「副詞句」

de vuelta デ・ブエルタ adv. 帰り道に

「副詞句」

lentamente レンタメンテ adv. ゆっくりと

「副詞」

a lo largo de ア・ロ・ラルゴ・デ prep ~に沿って

「副詞句」

los muelles. ロス・ムエシエス pl.n.m 埠頭、波止場

「目的語」

Primera parte 第1部

空は緑色だった。僕は満ち足りた気分だった。けれども、ジャガイモをいくらか茹でておきたかったので、まっすぐ自分の部屋に帰った。

El cielo estaba verde. Me sentía contento. Sin embargo, volví directamente a mi casa porque quería prepararme unas papas hervidas.

「主語」「動詞」「補語」 | 「動詞句」「補語」

「副詞句」「動詞」「副詞」「間接目的語」「副詞節」

El cielo エル・シエロ n.m 空は 「主語」
 estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ~だった 「動詞」
 verde. ベルデ adj. 緑色の 「補語」
 Me sentía メ・センチア 1 単線(sentirse)v.pr 自分を~だと感じた 「動詞句」
 contento. コンテント adj. 満足した、満ち足りた 「補語」
 Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. それにもかかわらず、とはいえ 「副詞句」
 volví ボルビ 1 単点(volver)v.i 帰った 「動詞」
 directamente デイレクタメンテ adv. 真つすぐに、直接に 「副詞」
 a mi casa ア・ミ・カーサ adv. 自分の部屋に 「間接目的語」
 porque ボルケ conj. ~なので 「副詞節」
 quería prepararme クリア・プレパラル・メ 1 単線・願望(querer+不定詞)
 v.pr 準備しておきたかった、調理したかった 「動詞句」
 unas papas hervidas. ウナス・パ・パス・エルビダス
 pl.n.f 茹でジャガイモをいくらか 「目的語」
 papa パ・パ n.f ジャガイモ hervido エルビト 過去分詞(hervir)adj. 茹でた

部屋に上がって行く時に、暗い階段で、同じ階に住む隣人のサラマノ老人に出会った。

Al subir topé en la escalera oscura con el viejo Salamano, mi vecino de piso.

「副詞句」「動詞」「副詞句」「間接目的語」

Al subir アル・スビーール adv. (時点) 上がって行く時に 「副詞句」
 topé トペ 1 単点(topar)v.i(con に) (たまたま) 出会った 「動詞」
 en la escalera エン・ラ・エスカレラ adv. 階段で 「副詞句」
 oscura オスクラ adj.f 暗い 「形容詞」
 con el viejo Salamano, コン・ネル・ビエホ・サラマノ adv. サラマノ老人に 「間接目的語」
 mi vecino ミ・ベシノ n.m (同格) 隣人の 「形容詞句」
 de piso. デ・ピソ adj. 同じ階の 「形容詞句」

Primera parte 第1部

彼は犬と一緒にいた。彼らが一緒にいるのは、8年前から見かけられた。

Estaba con su perro. Hace ocho años que se los ve juntos.

「動詞」「副詞句」 | 「動詞」「目的語」「主語」

Estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ーいた

「動詞」

con su perro. コン・ス・ペロ adv. 犬と一緒に

「副詞句」

Hace アセ 3 単現・単人称動詞(hacer)v.t (時間) ーになる、ーまえからである

「動詞」

ocho años オチョ・アニョス pl.n.m 8 年

「目的語」

que ケ conj. ーということは

「主語」

se ...ve セ...ヴェ 3 単現・不特定主語(verse)v.pr 見られる

「動詞句」

los ロス pron 彼らを

「目的語」

juntos. フントス adj. 一緒にの、一緒にいる

「補語」

そのハウンドには皮膚病があった。疥癬だと思うが、それが犬の毛をほとんど失わせて、犬の皮膚を黒っぽいできものやかさぶたで覆っていた。

El podenco tiene una enfermedad en la piel, creo que sarna, que le hace perder casi todo el pelo y lo cubre de placas y costras oscuras.

「主語」「動詞」「目的語」, 「動詞」「目的語」, 「形容詞節」

El podenco エル・ポデンコ n.m (獵犬) そのハウンドは、スパヌエル

「主語」

tiene テイエネ 3 単現(tener)v.t ある

「動詞」

una enfermedad ウナ・エンフェルメダ n.f 病気

「目的語」

en la piel, エン・ラ・ピエル adv. 皮膚に

「副詞句」

creo クレオ 1 単現(creer)v.t (que ーだと) 思う

「動詞」

que ケ conj. ーということ

「目的語」

sarna, サルナ n.f 疥癬 (かいせん)

「補語」

que ケ pron (主語) それがーする

「形容詞節」

le レ pron 犬に

「目的語」

hace アセ 3 単現・使役(hacer)v.t ーさせる

「動詞」

perder ペルテール 不定詞 v.t 失う

「補語」

casi todo el pelo カシ・トド・エル・ペロ n.m ほとんどの毛を

「目的語」

y イ conj. そして

lo ロ pron 犬を

「目的語」

cubre クブレ 3 単現(cubrir)v.t 覆っている

「動詞」

de デ prep (手段) ーによって

「副詞句」

placas プラス pl.n.f できもの

「目的語」

y イ conj. そして

costras コストラス pl.n.f かさぶた

「目的語」

Primera parte 第1部

oscuras. オスクラス adj.f.pl 黒っぽい 「形容詞」

疥癬（かいせん）：

ヒゼンダニの寄生による皮膚感染症。

狭い部屋に、二人だけで暮らしてきたせいで、サラマノ老人はついにその犬に似てきた。

A fuerza de vivir con él, solos los dos en una pequeña habitación, el viejo Salamano ha concluido por parecersele. 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」

A fuerza de ア・フェルサ・デ adv. 〜のおかげで、〜によって 「副詞句」

vivir ビビール 不定詞 v.i 暮らしている 「動詞」

con él, コン・エル adv. 彼と一緒に 「副詞句」

solos los dos ソロス・ロス・ロス adv. 二人だけで 「副詞句」

en una pequeña habitación, エン・ウナ・ペケニャ・アビタシオン

adv. 小さい部屋に 「副詞句」

el viejo Salamano エル・ビエホ・サラマノ n.m サラマノ老人は 「主語」

ha concluido ア・コンクルイト 3 単現・完了形・結局(concluir)

v.i(por+不定詞) ついに〜した 「動詞句」

por parecersele. ホル・パレセル・セ・レ 不定詞(parecerse+le)

v.pr (結果は) その犬に似る 「動詞句」

顔には赤みがかかったかさぶたがあり、髪は黄色で、まばらだった

Tiene costras rojizas en el rostro y pelo amarillo y escaso.

「動詞」 「目的語」 「副詞句」 y 「目的語」

Tiene ティエネ 3 単現(tener)v.t 〜がある 「動詞」

costras コストラス pl.n.f かさぶた 「目的語」

rojizas ロヒサス adj.f.pl 赤みがかった 「形容詞」

en el rostro エン・エル・ロストロ adv. 顔に 「副詞句」

y イ conj. そして

pelo ペロ n.m 髪 「目的語」

amarillo アマリジョ adj. 黄色の 「形容詞」

y イ conj. そして

escaso. エスカソ adj. わずかな 「形容詞」

Primera parte 第1部

犬は犬のほうで、鼻づらを前に突き出し首を差し出す、前かがみのような歩き方を、主人から受け継いでいた。

A su vez el perro ha tomado del amo una especie de andar encorvado, con el hocico hacia adelante y el cuello tendido. 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」「副詞句」

A su vez el perro ア・ス・ベス・エル・ペロ n.m 犬は犬のほうで 「主語」

ha tomado ア・トマト 3 単現・完了形(tomar)v.t 受け取った 「動詞句」

del amo デル・アモ adv. 主人から 「副詞句」

una especie de ウナ・エスペシエ・デ adj. 一種の、～のような 「形容詞句」

andar アンダー 不定詞 n. 歩き方を 「目的語」

encorvado, エンコルバト 過去分詞(encorvar)

adj. 前かがみになった、曲がった 「形容詞」

con コン prep (様態) ～の様子で 「副詞句」

el hocico エル・オシコ n.m 鼻づらを 「目的語」

hacia adelante アシア・アデランテ adv. 前に突き出す 「副詞句」

y イ conj. そして

el cuello エル・クェシヨ n.m 首を 「目的語」

tendido, テンディト 過去分詞(tender)adj. 差し出した 「形容詞」

彼らは同じ血筋のように見えるが、お互いに嫌っている。

Parecen de la misma raza y, sin embargo, se detestan.

「動詞」「補語」 y 「副詞句」「動詞句」

Parecen パレセン 3 複現(parecer)v.i ～のように見える 「動詞」

de la misma raza デ・ラ・ミスマ・ラサ adj. 同じ血筋の 「補語」

raza ラサ n.f 血筋、血統、人種

y, イ conj. そして

sin embargo, シン・エンバルゴ adv. それにもかかわらず、とはいえ 「副詞句」

se detestan. デ・デテスタン 3 複現・再帰・相互(detestar)v.pr お互いに嫌っている 「動詞句」

1 日に 2 回、11 時と午後 6 時に、老人は犬を散歩に連れていく。

Dos veces por día, a once y a las seis, el viejo lleva el perro a pasear.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Dos veces トス・ベセス n.f 2 回 「副詞句」

por día, ポル・ディア adv. 1 日に 「副詞句」

a once ア・オンセ adv. 11 時に 「副詞句」

y イ conj. そして

a las seis, ア・ラス・セイス adv. (午後) 6 時に 「副詞句」

Primera parte 第1部

el viejo エル・ビエホ n.m	老人は	「主語」
lleva シェバ 3 単現(llevar)v.t	連れていく	「動詞」
el perro エル・ペロ n.m	犬を	「目的語」
a pasear. ア・パセアル adv.	散歩に	「副詞句」

8 年前からずっと、彼らの道順は変わっていない。

<u>Desde hace ocho años no han cambiado el itinerario.</u>	「副詞句」, 「動詞句」「目的語」
Desde デステ prep	～から「副詞句」
hace ocho años アセ・オホ・アニョス adv.	8 年前「副詞句」
no han cambiado ノ・アン・カンビアド 3 複現・完了形・否定(cambiar)v.t	変更しなかった「動詞句」
el itinerario. エル・イチネリオ n.m	道順を、経路を「目的語」

リヨン通り辺りで彼らが見られる。犬が人を引っ張り、最後にはサラマノ老人がつまずく。

<u>Puede vérselos a lo largo de la calle de Lyon, el perro tirando hombre hasta que el viejo Salamano tropieza.</u>	「動詞句」「副詞句」「目的語」
Puede vérselos プ・エテ・ベルセレス 3 単現・再帰受動(poder+verse+les)	
v.pr 彼らが見られる	「動詞句」
a lo largo ア・ロ・ラルゴ prep ～に沿って、～の辺りで	「副詞句」
de la calle de Lyon, デ・ラ・カジェ・デ・リヨン adj. リヨンの通りの	「形容詞句」
el perro エル・ペロ n.m 犬が～するところを	「目的語」
tirando チラント 現在分詞(tirar)v.i 引っ張っている	「動詞」
hombre オンブレ n.m 人を	「目的語」
hasta que アスタ・ケ conj. ～するまで	「副詞節」
el viejo Salamano エル・ビエホ・サラマノ n.m サラマノ老人が	「主語」
tropieza. トロピエサ 3 単現(tropezar)v.i つまずく	「動詞」

すると老人は犬を殴り、そしてののしる。犬は恐怖のために這いつくばる、そしてそのまま引っ張られていく。

<u>Entonces pega al perro y lo insulta. El perro se arrastra de terror y se deja arrastrar.</u>		
「副詞」「動詞」「目的語」 y 「目的語」「動詞」 「主語」「動詞句」「副詞句」 y 「動詞句」		
Entonces エントンス	adv. すると	「副詞」
pega ペガ 3 単現(pegar)v.t	殴る	「動詞」
al perro アル・ペロ n.m	犬を	「目的語」
y イ conj.	そして	
lo ロ pron	それを	「目的語」
insulta. インスルタ 3 単現(insultar)v.t	ののしる	「動詞」

Primera parte 第1部

El perro エル・ペロ n.m 犬は 「主語」
 se arrastra セ・アストラ 3 単現(arrastrarse)v.pr 這いつくばる 「動詞句」
 de terror テ・テロル adv. (原因) 恐怖のために 「副詞句」
 y イ conj. そして
 se deja arrastrar. セ・デハ・アストラール 3 単現・放任(dejarse+不定詞)
 v.pr 引っ張られるままになる 「動詞句」

再帰動詞に注意～複数の動詞の中で、どれが再帰動詞なのか？

se deja arrastrar は、「dejarse+arrastrar」又は「dejar+arrastrarse」の可能性はある
 dejarse+不定詞・他動詞 「～されるがままになる」
 dejarse+不定詞・自動詞 「自分で～する」
 dejar+不定詞 「～させておく」
 arrastrar アストラール v.t ひきずる、ひっぱる
 arrastrarse アストラルセ v.pr 這いつくばる
 注意：dejar+ arrastrarse 「自分を這いつくばらせておく」は不適當

そうすると老人が犬を引っ張らなければならなくなる。犬が先ほどのことを忘れてしまうと、犬がまた主人を引っ張る、すると再び主人は犬を殴って、ののしる。

Y el viejo debe tirar de él. Cuando el perro ha olvidado, aplasta de nuevo al amo y de nuevo el amo le pega y lo insulta.

Y 「主語」「動詞句」「間接目的語」 | 「副詞節」, 「動詞」「副詞句」「目的語」
 y 「副詞句」「主語」「目的語」「動詞」 y 「目的語」「動詞」

Y イ conj. そして

el viejo エル・ビエホ n.m 老人が 「主語」
 debe tirar テ・ベ・チラール 3 単現・必要(deber+不定詞)
 v.i(de を) 引っ張らなければならない 「動詞句」
 de él. テ・エル adv. 犬を 「間接目的語」
 Cuando クワント conj. ～すると 「副詞節」
 el perro エル・ペロ n.m 犬が 「主語」
 ha olvidado, ア・オルビダト 3 単現・完了形(olvidar)v.t 忘れた 「動詞句」
 aplasta アプラスタ 3 単現(aplastar)v.t (敵を) 圧倒する 「動詞」
 de nuevo テ・ヌエボ adv. 再び 「副詞句」
 al amo アル・アモ n.m 主人を 「目的語」
 y イ conj. そして
 de nuevo テ・ヌエボ adv. 再び 「副詞句」
 el amo エル・アモ n.m 主人は 「主語」
 le レ pron 犬を 「目的語」

Primera parte 第1部

pega ペガ 3 単現(pegar)v.t 殴る 「動詞」
 y イ conj. そして
 lo ロ pron 犬を 「目的語」
 insulta インスタ 3 単現(insultar)v.t ののしる 「動詞」

そうすると彼らは路上で立ち止まり、犬は恐怖に震え、そして老人は憎しみを剥き出しにして互いににらみ合う。

Entonces quedan los dos en la acera y se miran, el perro con terror, el hombre con odio.

「副詞」「動詞」「主語」「副詞句」 y 「動詞句」, 「副詞句」

Entonces エントンス adv. そうすると 「副詞」
 quedan ケダソ 3 複現(quedar)v.i (en+場所 ~に) とどまる 「動詞」
 los dos ロス・トス pron 彼らは 「主語」
 en la acera エン・ラ・アセラ adv. 歩道に 「副詞句」
 y イ conj. そして
 se miran, セ・ミラン 3 複現・相互(mirarse)v.pr にらみ合う 「動詞句」
 adv. (様態) ~の状態で 「副詞句」
 el perro エル・ペロ n.m 犬は 「主語」
 con terror, コン・テロール adv. 恐怖に震えて 「補語」
 el hombre エル・オンブレ n.m 老人は 「主語」
 con odio. コン・オディオ adv. 憎しみを剥き出しにして 「補語」

毎日そんなやりとりが続いている。犬が小便をしようとしても、老人は犬に時間を与えずに引っ張る;するとスペイン犬は、自分の後ろの地面に小さなしずくの点線を残していく。

Así todos los días. Cuando el perro quiere orinar, el viejo no le da tiempo y tira; el podenco siembra tras sí un reguero de gotitas.

「副詞句」 | 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 y 「動詞」;
 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」

Así アシ adv. そのような状態で 「副詞句」
 todos los días. トス・ロス・ディアス adv. 毎日が 「副詞句」
 Cuando クワント conj. ~するとき 「副詞節」
 el perro エル・ペロ n.m 犬が 「主語」
 quiere orinar, キエレ・オリナル 3 単現・願望(querer+不定詞)v.i 小便がしたい 「動詞句」
 el viejo エル・ビエホ n.m 老人は 「主語」
 no ...da ノ...ダ 3 単現・否定(dar)v.t 与えない 「動詞句」
 le レ pron 犬に 「間接目的語」
 tiempo テイエポ n.m 時間を 「直接目的語」

Primera parte 第1部

y イ conj. そして

tira; チラ 3 単現(tirar)v.i(de を) 引っ張る 「動詞」

el podenco エル・ポデソ n.m そのスパヌエル犬は 「主語」

siembra シエンブラ 3 単現(sembrar)v.t ばらまく 「動詞」

tras トラス prep ~の後ろに 「副詞句」

sí シ pron その犬自身 「目的語」

tras sí トラス・シ adv. 自分の後ろに

un reguero ウン・レゲロ n.m 細長い跡を 「目的語」

de gotitas. デ・ゴチタス adj. 小さなしずくの 「形容詞句」

gotitas ← gota ゴタ n.f しずく + -itas (縮小辞)

もしもたまたま部屋の中で小便をしてしまったら、その時も、犬は殴られる。

Si por casualidad el perro lo hace en la habitación, entonces también le pega.

「副詞節」, 「副詞句」 「目的語」 「動詞」

Si シ conj. もし~ならば 「副詞節」

por casualidad ホル・カスアリダド adv. たまたま、偶然に 「副詞句」

el perro エル・ペロ n.m 犬が 「主語」

lo ロ pron 小便を 「目的語」

hace アセ 3 単現(hacer)v.t する 「動詞」

en la habitación, エン・ラ・アビタシオン adv. 部屋の中で 「副詞句」

entonces エントネス adv. その時は 「副詞」

también タンビエン adv. やはり、もまた 「副詞」

le レ pron 犬を 「目的語」

pega. ペカ 3 単現(pegar)v.t 殴る 「動詞」

同じことが起こってから 8 年になる。

Hace ocho años que ocurre lo mismo. 「動詞」 「目的語」 「副詞節」

Hace アセ 3 単現(hacer)v.t (時間) (que+直説法 ~してから) ~になる 「動詞」

ocho años オチョ・アニョス pl.n.m 8 年 「目的語」

que ケ conj. ~してから 「副詞節」

ocurre オクレ 3 単現(ocurrir)v.i 起こる 「動詞」

lo mismo. ロ・ミソ pron 同じことが 「主語」

Primera parte 第1部

セレストはいつも、「不幸なことだ」と言う。だが根本的には、誰にも分からない。

Celeste dice siempre que "es una desgracia", pero, en el fondo, no se puede saber.

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」,pero「副詞句」「動詞句」

Celeste セステ n.m セレストは 「主語」

dice ディェ 3 単現(decir)v.t 言う 「動詞」

siempre シエンプレ adv. いつも 「副詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

"es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

una desgracia", ウナ・デスグラシア n.f 不幸 「補語」

pero, ペロ conj. しかし

en el fondo, エン・ネル・フント adv. 根本的に、基本的に 「副詞句」

no se puede saber. ノ・セ・プエデ・サベル 3 単現・可能・一般性・否定(poderse+不定詞)

v.t 誰も分からない 「動詞句」

poderse ポデルセ : 一般性

No se puede entrar sin permiso. 無断で立ち入ることを禁ずる。

たまたま階段で彼に出会った時も、サラマノ老人は犬をののしっているところだった。

Cuando lo encontré en la escalera, Salamano estaba insultando al perro.

「副詞節」,「主語」「動詞句」「目的語」

Cuando クワント conj. ～するとき 「副詞節」

lo ロ pron 彼に 「目的語」

encontré エンコントレ 1 単点(encontrar)v.t (たまたま) 出会った 「動詞」

en la escalera, エン・ラ・エスカラ adv. 階段で 「副詞句」

Salamano サラマノ n.m サラマノは 「主語」

estaba insultando エスタバ・インスルタント 3 単線・進行形(insultar)v.t ののしっていた 「動詞句」

al perro. アル・ペロ n.m 犬を 「目的語」

老人は犬を怒鳴りつけていた：「いまいましい死にぞこないめ！」そして犬は呻いていた。

Le decía: "¡Cochino! ¡Carroña!", y el perro gemía.

「間接目的語」「動詞」：《「感嘆」》y「主語」「動詞」

Le レ pron 犬に、それに 「間接目的語」

decía: デシァ 3 単線(decir)v.t 言っていた 「動詞」

"¡Cochino! ¡Carroña!", コチノ・カーニャ int. いまいましい死にぞこないめ！ 「感嘆」

Cochino コチノ adj. いまいましい Carroña カーニャ n.f (動物の) 腐った死体

y イ conj. そして

el perro エル・ペロ n.m 犬は 「主語」

Primera parte 第1部

gemía. ヘミア 3 単線(gemir)v.i 呻いていた

「動詞」

僕は言った：「今晚は」しかし老人は、ののしり続けた。

Dije: "Buenas tardes", pero el viejo continuó con los insultos.

「動詞」：「挨拶」,pero 「主語」「動詞」「間接目的語」

Dije: ディエ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

"Buenas tardes", ブエナス・タルデス adv. 「今晚は」

「挨拶」

pero ペロ conj. しかし

el viejo エル・ビエホ n.m 老人は

「主語」

continuó コンチオ 3 単点(continuar)v.i(con を) 続けた

「動詞」

con los insultos. コン・ロス・インスルトス adv. 罵りを

「間接目的語」

それで犬が何をしたのか、彼に聞いてみた。彼は返事をしなかった。

Entonces le pregunté que le había hecho el perro. No me respondió.

「副詞」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 | 「動詞句」「間接目的語」「動詞句」

Entonces エントンス adv. それで

「副詞」

le レ pron 彼に

「間接目的語」

pregunté プレグンテ 1 単点(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

le レ pron 彼に (老人に)

「目的語」

había hecho アビア・エホ 3 単線・完了形(hacer)v.t ～をした

「動詞句」

el perro. エル・ペロ n.m その犬が

「主語」

No ...respondió. ノ...レスポンスィオ 3 単点・否定(responder)v.i 返事をしなかった 「動詞句」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

ただ言っていた：「いまいましい死にぞこないめ！」

Decía solamente: "¡Cochino! ¡Carroña!"

「動詞」「副詞」：《「感嘆」》

Decía デシーア 3 単線(decir)v.t 言っていた

「動詞」

solamente: ソラメンテ adv. ただ、～だけ

「副詞」

"¡Cochino! ¡Carroña!", コチーノ・カローニャ int. いまいましい死にぞこないめ！

「感嘆」

Primera parte 第1部

僕は想像した。犬の上に身をかがめて、犬の首輪の何かを調整しているのではないかと。

Me lo imaginaba, inclinado sobre el perro, arreglando alguna cosa en el collar.

「動詞句」, 「副詞句」, 「動詞」 「目的語」 「副詞句」

Me lo imaginaba, メ・ロ・イマヒナバ 1 単線(imaginarse+lo)

v.pr そうではないかと想像した

「動詞句」

inclinado インクリナド 過去分詞(inclinarse)v.pr 〜に身をかがめて

「副詞句」

sobre el perro, ソブレ・エル・ペロ adv. 犬の上に

「副詞句」

arreglando アレグランド 現在分詞(arreglar)v.t 調整している

「動詞」

alguna cosa アルグナ・コサ n.f 何かを

「目的語」

en el collar. エン・エル・コジャール adv. 犬の首輪の

「副詞句」

僕はもっと大きな声で話しかけた。

Hablé más alto.

「動詞」 「副詞句」

Hablé アブレ 1 単点(hablar)v.i 話しかけた

「動詞」

más alto. マス・アルト adv. もっと大きな声で

「副詞句」

するといらだちを押し殺した様子で、振り向かずに返事をした。「いつまでもそこにへばり
ついているんだ！」

Entonces me respondió sin volverse, con una especie de rabia contenida: "Se queda siempre ahí."

「副詞」 「間接目的語」 「動詞」 「副詞句」: 《「動詞句」 「副詞句」》

Entonces エントンス adv. すると

「副詞」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.i 返事をした

「動詞」

sin volverse, シン・ボルベルセ adv. 振り向かずに

「副詞句」

con コン prep (様態) 〜の様子で

「副詞句」

una especie de ウナ・エスペシエ・デ adj. 一種の

「形容詞句」

rabia ラビア n.f いらだち

「目的語」

contenida: コンテニダ adj.f(contenido) 抑圧された

「形容詞」

"Se queda セ・ケダ 3 単現(quedarse)v.pr 〜に留まる、居続ける

「動詞句」

siempre シエンプレ adv. いつまでも

「副詞」

ahí." アイ adv. そこに

「副詞」

Primera parte 第1部

そして犬を引っ張って出て行った。犬は4本脚で立ったまま引っ張られ、呻いていた。

Y se marchó tirando del animal, que se dejaba arrastrar sobre las cuatro patas y gemía.

Y 「動詞句」「副詞句」

Y イ conj. そして

se marchó セ・マルチョ 3 単点(marcharse)v.pr 去った、出て行った 「動詞句」

tirando ティランド 現在分詞(tirar)v.i(de を) 引っ張って 「副詞句」

del animal, デル・アニマル adv. 犬を 「間接目的語」

que ケ pron (主語) (犬は) ～する 「形容詞節」

se dejaba arrastrar セ・デハバ・アラストラール 3 単線・放任(dejarse+不定詞 arrastrar)

v.pr 引っ張られるままになっていた 「動詞句」

sobre las cuatro patas ソブレ・ラス・クワトロ・パタス

adv. 4 本脚で立ったまま 「副詞句」

pata パタ n.f (動物の) 脚、肢

y イ conj. そして

gemía. ヘミア 3 単線(gemir)v.i 呻いていた 「動詞」

その時、同じ階のもう一人の隣人が入ってきた。

En ese mismo momento entró el segundo vecino de piso. 「副詞句」, 「動詞」「主語」

En ese mismo momento エン・エ・ミスマ・モメント adv. この時、まさにその時 「副詞句」

entró エントロ 3 単点(entrar)v.i 入ってきた 「動詞」

el segundo vecino エル・セグント・ベシノ n.m もう一人の隣人が 「主語」

segundo セグント adj. 2 番目の、第2の vecino ベシノ n.m 隣人

de piso. デ・ピソ adj. 同じ階の 「形容詞句」

この界限では、彼は女で飯を食っているという噂だ。しかし、彼は仕事について尋ねられると、「倉庫の管理人」と言っている。

En el barrio se dice que vive de las mujeres. Sin embargo, cuando se le pregunta acerca de su oficio, es "guardalmacén".

「副詞句」「動詞句」「主語」 | 「副詞句」, 「動詞」「補語」

En el barrio エン・エル・バリオ adv. この界限では 「副詞句」

se dice セ・ディセ 3 単現・再帰受動(decirse)v.pr(que ～であると) 言われている 「動詞句」

que ケ conj. ～ということが 「主語」

vive ビベ 3 単現(vivir)v.i(de で) 生計を立てている 「動詞」

de las mujeres. デ・ラス・ムヘレス adv. (手段) 女で 「副詞句」

Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. しかし 「副詞句」

cuando クワント conj. ～するとき 「副詞節」

Primera parte 第1部

se ...pregunta セ...プレグンタ 3 単現・再帰受動(preguntarse)	
v.pr 尋ねられる	「動詞句」
le レ pron そのことについて	「間接目的語」
acerca de アセカ・デ prep 〜について	「副詞句」
su oficio, ス・オフィシオ n.m 彼の仕事	「目的語」
es エス 3 単現(ser)v.i 〜である	「動詞」
"guardalmacén". グ・ワルト・アルマセン n.m (guarda+almacén) 倉庫の管理人	「補語」
guarda グ・ワルダ n.m 管理人、警備員 almacén アルマセン n.m 倉庫	

概して、彼はあまり人に好かれない。

En general, es poco querido.	「副詞句」, 「動詞」「補語」
En general, エン・ヘネラル adv. 概して	「副詞句」
es エス 3 単現(estar)v.i 〜である	「動詞」
poco querido. ポ・コ・ケリト 過去分詞・受動・否定(querer)adj. あまり好かれない	「補語」

しかし彼は僕にはよく話をする。そして時には、僕の部屋でしばらく過ごすこともある。それは、僕が彼の話に耳を貸すからだ。

Pero me habla a menudo y a veces entra un momento en mi habitación porque yo le escucho.	Pero 「間接目的語」「動詞」「副詞句」 y 「副詞句」「動詞」「副詞句」, 「副詞節」
Pero ペロ conj. しかし	
me メ pron 僕に	「間接目的語」
habla アブラ 3 単現(hablar)v.i 話す	「動詞」
a menudo ア・メスト adv. しばしば	「副詞句」
y イ conj. そして	
a veces ア・ベセス adv. 時々	「副詞句」
entra エントラ 3 単現(entrar)v.i (en に) 入る	「動詞」
un momento ウン・モメント adv. ちょっとの間	「副詞句」
en mi habitación エン・ミ・アビタシオン adv. 僕の部屋に	「副詞句」
porque ポル conj. 〜なので	「副詞節」
yo ジョ pron 僕が	「主語」
le レ pron 彼のいうことを	「目的語」
escucho. エスクチョ 1 単現(escuchar)v.t 聞く	「動詞」

Primera parte 第1部

彼の話は面白いと思う。

Encuentro interesante lo que dice.

「動詞」「補語」「目的語」

Encuentro エンクエントロ 1 単現(encontrar)v.t(SVOC) (O が C だと) 評価する、認める「動詞」

interesante インテレサnte adj. 面白い

「補語」

lo que dice. ロ・ケ・ディエ pron 彼の言うことを

「目的語」

それに、僕には彼と話しをしないというどんな理由もない。

Por otra parte, no tengo razón alguna para no hablarle. 「副詞句」, 「動詞句」「目的語」

Por otra parte, ポル・オトラ・パルテ adv. 他方では、その上

「副詞句」

por otra ポル・オトラ 「他方では、その上」

no tengo ノ・テゴ 1 単現・否定(tener)v.t ~がない

「動詞句」

razón alguna ラソン・アルグナ n.f どんな理由も~ない

「目的語」

alguno アルグノ adj. (名詞+, 否定) どんな~もない

para no hablarle. パラ・ノ・アブラール・レ adj. (理由) 彼に話さないという「形容詞句」

彼の名前は、レーモン・サンテスだ。

Se llama Raimundo Sintes.

「動詞句」「補語」

Se llama セ・ジヤマ 3 単現(llamarse)v.i ~という名前だ

「動詞句」

Raimundo Sintes. ライムント・シネス n.m (フランス人の名前) レーモン・サンテス「補語」

彼はかなり小柄で、肩幅は広くて鼻が潰れている。

Es bastante pequeño, con hombros anchos y nariz de boxeador. 「動詞」「補語」「副詞句」

Es エス 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

bastante pequeño, バスタンテ・ペケニョ adj. かなり小柄の

「補語」

bastante バスタンテ adj. かなりの、十分な

con コン prep (様態) ~をした

「副詞句」

hombros オンブロス pl.n.m 肩

「目的語」

anchos アンチョス adj.pl 広い

「形容詞」

y イ conj. そして

nariz ナリス n.f 鼻

「目的語」

de boxeador. テ・ボクセアドール adj. ボクサーの

「形容詞句」

ボクサーの鼻 → 潰れた鼻

Primera parte 第1部

いつも身なりがきちんとしている。

Va siempre muy correctamente vestido.

「動詞」「補語」

Va バ 3 単現(ir)v.i (状態が) ～である

「動詞」

siempre シエンプレ adv. いつも

「副詞」

muy correctamente vestido. ムイ・コレクタメンテ・ベスト adj. とても身なりがきちんとした「補語」

correctamente コレクタメンテ adv. きちんと vestido ベスト adj. (服を) 着た

彼も、サラマノのことを話すときに、言っていた：「不幸なことじゃあないか！」

También él me ha dicho, hablando de Salamano: "¡Dígame si no es una desgracia!"

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」：《「動詞句」「目的語」》

También él タンビエン・エル pron 彼も

「主語」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

ha dicho, ア・デイチョ 3 単現・完了形(decir)v.t 言った

「動詞句」

hablando アブラント 現在分詞(hablar)v.i 話しながら

「副詞句」

de Salamano: デ・サマノ adv. サラマノのことについて

「間接目的語」

"¡Dígame デイガメ 命・3 単現(decir+me)v.t 教えてくれ、言ってくれ

「動詞句」

si シ conj. ～かどうかということ

「目的語」

no es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i ～でない

「動詞」

una desgracia! ウナ・デスグラシア n.f 不幸

「補語」

彼は、サラマノのことは僕に嫌悪を起こさせないかと尋ねたが、僕はそんなことはないと答えた。

Me preguntó si no me repugnaba y respondí que no.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 y 「動詞」「目的語」

Me メ pron 僕に

「間接目的語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞」

si シ conj. ～かどうかということ

「直接目的語」

主語はサラマノについての事柄

no ...repugnaba ノ...レプニャバ 3 単線・否定・時制の一致(repugnar)

v.i 嫌悪を催させない

「動詞句」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

y イ conj. そして

respondí レスポンディ 1 単点(responder)v.t 答えた

「動詞」

que no. ケ・ノ conj. いやそんなことはない

「目的語」

Primera parte 第1部

僕たちは階段を上がった。別れ際に、彼が言った：

Subimos y le iba a dejar, cuando me dijo: 「動詞」 y 「目的語」「動詞句」, 「副詞節」
 Subimos スビモス 1 複点(subir)v.i (階段を) 上がった 「動詞」
 y イ conj. そして
 le レ pron 彼から 「目的語」
 iba a dejar, イバ・ア・デハール 1 単線・近接未来(ir a+不定詞)v.t ~から去ろうとした 「動詞句」
 cuando クワンド conj. その時~する 「副詞節」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 dijo: デヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

「俺の部屋に腸詰めとワインがあるんだが、一緒に食べませんか？」

"Tengo en mi habitación morcilla y vino. ¿Quiere usted comer algo conmigo?..."
 《「動詞」「副詞句」「目的語」 | 「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」》
 "Tengo テンゴ 1 単現(tener)v.t ~がある 「動詞」
 en mi habitación エン・ミ・アビタシオン adv. 俺の部屋に 「副詞句」
 morcilla モルシジャ n.f 腸詰め 「目的語」
 y イ conj. そして
 vino. ビーノ n.m ワイン 「目的語」
 ¿Quiere ...comer キエレ...コメル 3 単現・敬称・勧誘・疑問文(querer+不定詞)
 v.t 食べませんか 「動詞句」
 usted ウステ pron あなたは 「主語」
 algo アルゴ pron 何か 「目的語」
 conmigo?... コンミゴ adv. 一緒に 「副詞句」

調理をしないで済むと思ったので、承諾した。

Pensé que me evitaría cocinar y acepté. 「動詞」「目的語」 y 「動詞」
 Pensé ペンセ 1 単点(pensar)v.t(que ~と) 思った 「動詞」
 que ケ conj. ~ということを 「目的語」
 me evitaría cocinar メ・エヴァリャ・コシナル 1 単過未・推量(evitarse+不定詞)
 v.pr 調理をしなくて済むことになるだろう 「動詞句」
 y イ conj. そして
 acepté. アセプテ 1 単点(aceptar)v.t 承諾した 「動詞」

Primera parte 第1部

彼の部屋も寝室が1つだけで、窓のない台所があった。

Él también tiene una sola pieza con una cocina sin ventana. 「主語」「動詞」「目的語」

Él también エル・タンビエン pron 彼も 「主語」

tiene ティエネ 3 単現(tener)v.t 持っている、ある 「動詞」

una sola pieza, ウナ・ソラ・ピエサ n.f 寝室を1つだけ 「目的語」

con una cocina コン・ウナ・コシナ adj. 台所付きの 「形容詞句」

sin ventana. シン・ベンタナ adv. 窓が無い 「副詞句」

ベッドの上方の壁には、白とピンク色の漆喰で出来た天使像と、チャンピオンの写真それに裸の女の鉛版写真が2、3枚あった。

Sobre la cama hay un ángel de estuco blanco y rosa, fotos de campeones y dos o tres clisés de mujeres desnudas. 「副詞句」「動詞」「目的語」

Sobre la cama ソブレ・ラ・カマ adv. ベッドの上方に 「副詞句」

hay アイ 3 単現(haber)v.t 〜がある 「動詞」

un ángel ウン・アンヘル n.m 天使 「目的語」

de estuco blanco y rosa, デ・エストウコ・ブランコ・イ・ロサ

adj. (材料) 白とピンク色の漆喰で出来た 「形容詞句」

fotos de campeones フォトス・デ・カンパオネス pl.n.m チャンピオンの写真 「目的語」

y イ conj. そして

dos o tres clisés ドス・オ・トレス・クリセス pl.n.m 2、3枚の鉛版写真 「目的語」

de mujeres desnudas. デ・ムヘレス・デ・ヌダダス adj. 裸の女の 「形容詞句」

鉛版 えんばん :

鉛版(えんばん)は紙型(しけい)から作られる鉛合金製の印刷用の版。新聞の印刷に多用されたが、写真の印刷にも利用された。

部屋は汚く、ベッドは乱れていた。

La habitación estaba sucia y la cama deshecha.

「主語」「動詞」「補語」 y 「主語」「補語」

La habitación ラ・アビタシオン n.f 部屋は 「主語」

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i 〜だった 「動詞」

sucia スシア adj.f 汚い 「補語」

y イ conj. そして

la cama ラ・カマ n.f ベッドは 「主語」

deshecha. デセチャ adj.f 乱れた 「補語」

Primera parte 第1部

彼はまず石油ランプに火をつけた；それからポケットからかなり汚い包帯を取り出して、右手に巻いた。

Encendió primero la lámpara de petróleo; luego extrajo del bolsillo una venda bastante sucia y se envolvió la mano derecha.

「動詞」「副詞」「目的語」；「副詞」「動詞」「副詞句」「目的語」 y 「動詞句」「目的語」
 Encendió エンセンデ^ィオ 3 単点(encender)v.t 〜に火をつけた 「動詞」
 primero プリメロ adv. まず、最初に 「副詞」
 la lámpara ラ・ランパ^ラ n.f ランプを 「目的語」
 de petróleo; テ^ィ・ペトロレオ adj. 石油の 「形容詞句」
 luego ルエゴ^ィ adv. それから 「副詞」
 extrajo エクスト^ラホ 3 単点(extraer)v.t 取り出した 「動詞」
 del bolsillo デル・ボ^ルルジ^ョ adv. ポケットから 「副詞句」
 una venda ウナ・ベンタ^ィ n.f 包帯を 「目的語」
 bastante sucia バスタンテ・スシア adj.f かなり汚い 「形容詞句」
 y イ conj. そして
 se envolvió セ・エンボ^ルビ^ィオ 3 単点(envolverse)v.pr (自分の体の部分を)巻いた 「動詞句」
 la mano derecha. ラ・マノ・デレ^ィチャ n.f 右手を 「目的語」

彼になにかあったのかと尋ねた。彼は、けんかを仕掛けてきた男と乱闘になった、と僕に言った。

Le pregunté qué tenía. Me dijo que había tenido una trifulca con un sujeto que le buscaba camorra.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 | 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
 Le レ pron 彼に 「間接目的語」
 pregunté プレグンテ 1 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」
 qué ケ pron (主語) 何が〜するということを 「直接目的語」
 tenía. テニア 3 単線(tener)v.t あった 「動詞」
 Me メ pron 僕に 「間接目的語」
 dijo テ^ィホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 que ケ conj. 〜ということを 「直接目的語」
 había tenido アビ^ィア・テニト^ィ 3 単線・完了形(tener)v.t 〜があった 「動詞句」
 una trifulca ウナ・トリフルカ n.f 乱闘が 「目的語」
 con un sujeto コン・ウン・スヘト adv. ある男と 「副詞句」
 que ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」
 le レ pron 彼に 「間接目的語」
 buscaba ブスカバ^ィ 3 単線(buscar)

Primera parte 第1部

v.t 挑発した、仕掛けてきた 「動詞」
camorra. カモラ n.f けんか 「直接目的語」

「ねえ、ムルソーさん」と、僕に言った。「俺は悪い人間ではないが、気が短いんですよ」

"Comprende usted, señor Meursault", me dijo, "no se trata de que yo sea malo; pero soy rápido." 《「動詞」「主語」「呼びかけ」》, 「間接目的語」「動詞」,

《「動詞句」「補語」; pero 「動詞」「補語」》

"Comprende コンプレンデ 3 単現・敬称(comprender)v.t 分かるでしょう 「動詞」
usted, ウステ pron あなたは 「主語」
señor Meursault", セニョール・ムルソー n.m ムルソーさん 「呼びかけ」
me メ pron 僕に 「間接目的語」
dijo, ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
"no se trata de ノ・セ・トラタ・デ 3 単現・否定(tratarse de)v.pr 話は～ではない 「動詞句」
que ケ conj. ～ということ 「補語」
yo ジョ pron 俺は 「主語」
sea セア 接・1 単現(ser)v.i (否定に導かれる節は接続法) ～である 「動詞」
malo; マロ adj. 悪い 「補語」
pero ペロ conj. しかし
soy ソイ 1 単現(ser)v.i (生来) ～である 「動詞」
rápido. ラピド adj. 気が短い 「補語」

「相手の奴が俺に言ったんだ：《男なら、電車から降りろ》」

El otro me dijo: 'Baja del tranvía si eres hombre.'

《「主語」「間接目的語」「動詞」：“「動詞」「副詞句」”》

El otro エル・オトロ pron 相手の奴が 「主語」
me メ pron 俺に 「間接目的語」
dijo: ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
'Baja バハ 命・2 単現(bajar)v.i 降りろ 「動詞」
del tranvía テル・トランビア adv. 電車から 「副詞句」
si シ conj. もし～ならば 「副詞節」
eres エレス 2 単現(ser)v.i ～である 「動詞」
hombre.' オンブレ n.m 男 「補語」

Primera parte 第1部

「俺は奴に言った：《まあ、落ち着け！》」

Yo le dije: '¡Vamos, quédate tranquilo!'

《「主語」「間接目的語」「動詞」：“「呼びかけ」「動詞句」「補語」”》

Yo ヨ pron 俺は 「主語」
 le レ pron 奴に 「間接目的語」
 dije: ディェ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 '¡Vamos, バモス 1 複現・なだめる(ir)v.i まあ 「呼びかけ」
 quédate クァテ 命・2 単現(quedarse)v.pr 〜の状態になりなさい 「動詞句」
 tranquilo! トランキロ adj. 落ち着いた 「補語」

「奴は、俺が男じゃないと言ったんだ。」

Me dijo que yo no era hombre.

《「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》

Me メ pron 俺に 「間接目的語」
 dijo ディョ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 que ケ conj. 〜ということを 「直接目的語」
 yo ヨ pron 俺が 「主語」
 no era ノ・エラ 1 単線・時制の一致(ser)v.i 〜である 「動詞」
 hombre. オンブレ n.m 男 「補語」

「それで俺は電車を降りて、奴に言った：《やめておけ、そのほうがいい；さもないとお前の顔を殴り潰すことになる》」

Entonces bajé y le dije: 'Basta, es mejor; o te rompo la jeta.'

《「副詞」「動詞」 y 「間接目的語」「動詞」：

“「動詞」, 「動詞」「補語」；o 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」”》

Entonces エントンス adv. それで 「副詞」
 bajé バヘ 1 単点(bajar)v.i (電車を) 降りた 「動詞」
 y イ conj. そして
 le レ pron 奴に 「間接目的語」
 dije: ディェ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 'Basta, バスタ 命・2 単現(bastar)v.i やめておけ 「動詞」
 bastar バスター v.i 十分である → これ以上しなくても良い → もうやめなさい
 es エス 3 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」
 mejor; メホル adj. もっと良い 「補語」
 o オ conj. さもないと
 te テ pron お前の 「間接目的語」
 rompo ロンポ 1 単現(romper)v.t 壊す、つぶす 「動詞」

Primera parte 第1部

la jeta.' ラ・ヘタ n.f 顔を

「直接目的語」

「奴は俺に答えた：《なんだと？》」

Me contestó: '¿Con qué?'

《「間接目的語」「動詞」：“「応答」”》

Me メ pron 僕に

「間接目的語」

contestó: コンテスト 3 単点(contestar)v.t 答えた、返事した

「動詞」

'¿Con qué?' コン・ケ adv. なんだって

「応答」

「それで奴を殴った。奴が倒れたので、起こそうとした。」

Entonces le pegué. Se cayó. Yo iba a levantarlo.

《「副詞」「目的語」「動詞」 | 「動詞句」 | 「主語」「動詞句」》

Entonces エントンス adv. それで

「副詞」

le レ pron 奴を

「目的語」

pegué. ペ・ゲ 1 単点(pegar)v.t 殴った

「動詞」

Se cayó. セ・カジョ 3 単点(caerse)v.pr 倒れた

「動詞句」

Yo ジョ pron 俺は

「主語」

iba a levantarlo. イバ・ア・レバンタル・ロ 1 単線・近接未来(ir a+不定詞 levantar+lo)

v.t 奴を起こそうとした

「動詞句」

「ところが奴は転んだままで、俺を蹴ってきたんだ。それで俺は奴に、膝蹴りを 1 発と脳天にかかと落としを 2 発お見舞いしてやった。」

Pero me tiró unos puntapiés desde el suelo. Entonces le di un rodillazo y dos taconazos.

《Pero 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

「副詞」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》

Pero ペロ conj. しかし

me メ pron 俺に

「間接目的語」

tiró チロ 3 単点(tirar)v.t (+打撃動作の名詞) ～をした

「動詞」

unos puntapiés ウンス・プンタピエス pl.n.m 蹴りを

「直接目的語」

desde el suelo. デスデ・エル・スエロ adv. 地面から、転んだままで

「副詞句」

Entonces エントンス adv. それで

「副詞」

le レ pron 奴に

「間接目的語」

di ディ 1 単点(dar)v.t やった、与えた

「動詞」

un rodillazo ウン・ロディジャソ n.m 膝蹴りを

「直接目的語」

y イ conj. そして

dos taconazos. ドス・タカソス pl.n.m かかと落としを 2 発

「直接目的語」

Primera parte 第1部

かかと落とし：

格闘技で、瞬時に片足を頭上に上げると同時に、脳天もしくは肩に打ち下ろす蹴り技。

フランス語原文では、

Alors je lui ai donné un coup de genou et deux taquets. (taquet は顔面への殴打)

それで俺は、奴に膝蹴りを1発と顔面にパンチを2発食らわしてやった。

「奴の顔は血だらけになった。もう十分か？と奴に尋ねた。奴は言った：《ああ》」

Tenía la cara llena de sangre. Le pregunté si tenía bastante. Me dijo: 'Sí.'

《「動詞」「目的語」 | 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

「間接目的語」「動詞」：“「応答」”》

Tenía テニア 3 単線(tener)v.t (特徴を) していた	「動詞」
la cara ラ・カ ラ n.f 顔を	「目的語」
llena de sangre. シェナ・デ・サングレ adj. 血で一杯の	「形容詞句」
Le レ pron 奴に	「間接目的語」
pregunté プレグンテ 1 単点(preguntar)v.t 尋ねた	「動詞」
si シ conj. ～かどうかということ	「直接目的語」
tenía テニア 3 単線(tener)v.t (行為を) した	「動詞」
bastante. バスタンテ adv. 十分に	「副詞」
Me メ pron 俺に	「間接目的語」
dijo: デイヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
'Sí.' シ adv. (肯定) ああ	「応答」

この間中、サンテスは包帯を直していた。僕はベッドに腰かけていた。

Durante todo este tiempo Sintés arreglaba el vendaje. Yo estaba sentado en la cama.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」

Durante todo este tiempo ドゥランテ・トド・エステ・テイエンポ adv. この間中	「副詞句」
Sintés シンテス n.m サンテスは	「主語」
arreglaba アレグラバ 3 単線(arreglar)v.t 直していた	「動詞」
el vendaje. エル・ベンダヘ n.m 包帯を	「目的語」
Yo ヨ pron 僕は	「主語」
estaba エスタバ 1 単線(estar)v.i ～だった	「動詞」
sentado センタド adj. 座った	「補語」
en la cama. エン・ラ・カマ adv. ベッドに	「副詞句」

Primera parte 第1部

彼は僕に言った：「ねえ、分るでしょう。俺が彼を挑発したんじゃない。彼の方が俺を挑発したんだ」

Me dijo: "Usted ve que no lo busqué. Él se metió conmigo."

「間接目的語」「動詞」：《「主語」「動詞」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「間接目的語」》
 Me メ pron 僕に 「間接目的語」
 dijo: ディョ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 "Usted ウステ pron あなたは 「主語」
 ve ベ 3 単現(ver)v.t 分かる、見える 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 no ...busqué. ノ...ブスケ 1 単点・否定(buscar)v.t 挑発しなかった 「動詞句」
 buscar ブスカル v.t 探す、迎えに行く、挑発する
 lo ロ pron 奴を 「目的語」
 Él エル pron 奴が 「主語」
 se metió セ・メチオ 3 単点(meterse)v.pr(con + 人 を) 挑発した 「動詞句」
 conmigo." コンミゴ adv. 俺を 「間接目的語」

それは確かだ。僕はそれを認めた。

Era verdad y lo reconocí. 「動詞」「補語」 y 「目的語」「動詞」
 Era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」
 verdad ベルダド n.f 事実 「補語」
 y イ conj. そして
 lo ロ pron それを 「目的語」
 reconocí. レコシ 1 単点(reconocer)v.t 認めた 「動詞」

それで彼は、丁度その件について僕に助言を頼みたかったのだと言った。

Entonces me declaró que precisamente quería pedirme un consejo con motivo de este asunto; 「副詞」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
 Entonces エントンス adv. それから、それで 「副詞」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 declaró デクラロ 3 単点(declarar)v.t はっきりと言った 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 precisamente プレシサメント adv. ちょうど、まさしく 「副詞」
 quería pedirme クア・ペディール・メ 3 単線・願望(querer+不定詞 pedir+me)
 v.t 僕に頼みたかった 「動詞句」
 un consejo ウン・コンセホ n.m 助言を 「目的語」
 con motivo de este asunto; コン・モティボ・デ・エステ・アスト

Primera parte 第1部

adv. この件について

「副詞句」

con motivo de... コン・モティボ・デ adv. ーのために asunto アスト n.m 事柄、事件

そして僕が人生を知っている男だ、とも言った。

que yo era un hombre que conocía la vida;

「直接目的語」

que ケ conj. ーということを

「直接目的語」

yo ジョ pron 僕は

「主語」

era エラ 1 単線・時制の一致(ser)v.i ーである

「動詞」

un hombre ウン・オンブレ n.m 男

「補語」

que ケ pron (主語) ーする

「形容詞節」

conocía 1 単線(conocer)v.t 知っている

「動詞」

la vida; ラ・ビダ n.f 人生を

「目的語」

僕が彼を助けることができるとか、すぐにでも彼は僕の仲間になるだろうとも言っていた。

que podía ayudarlo y que inmediatamente sería mi camarada.

「直接目的語」 y 「直接目的語」

que ケ conj. ーということを

「直接目的語」

podía ayudarlo ポデア・アユダール・ロ 1 単線・可能(poder+不定詞 ayudar+lo)

v.t 彼を助けることができる

「動詞句」

y イ conj. そして

que ケ conj. ーということを

「直接目的語」

inmediatamente インメデアタメンテ adv. すぐに

「副詞」

sería セリア 3 単過未・未来の推測(ser)v.i ーになるだろう

「動詞」

mi camarada. ミ・カマラダ n. 僕の仲間

「補語」

僕は何も言わないでいた。すると彼は仲間になりたいかどうかをまた僕に尋ねた。

No dije nada y me preguntó otra vez si quería ser su camarada.

「動詞句」「目的語」 y 「間接目的語」「動詞」「副詞句」「直接目的語」

No dije ノ・デハ 1 単点・否定(decir)v.t 言わなかった

「動詞句」

nada ナダ pron 何もーない

「目的語」

y イ conj. そして

me メ pron 僕に

「間接目的語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞」

otra vez オトラ・ベス adv. もう一度

「副詞句」

si シ conj. ーかどうかということを

「直接目的語」

quería ser クリア・セル 1 単線・願望(querer+不定詞 ser)

Primera parte 第1部

v.i ~になりたいと思う 「動詞句」
 su camarada. ス・カマラダ n.m 彼の仲間 「補語」

僕は、どちらでもいいと言った。すると彼は、満足したように見えた。

Dije que me era indiferente, y pareció quedar contento.

「動詞」「目的語」 y 「動詞」「補語」
 Dije ディハ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 que ケ conj. ~ということ 「目的語」
 me メ pron 僕にとっては 「間接目的語」
 era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ~である 「動詞」
 indiferente, インディフェレンテ adj. どちらでもいい 「補語」
 y イ conj. そして
 pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i ~のように見えた 「動詞」
 quedar ケダール 不定詞 v.i ~になった 「補語」
 contento. コンテント adj. 満足した 「補語」

彼は腸詰を取り出して、フライパンでそれを焼き、グラスと皿とナイフとフォーク、それにワインを2本並べた。

Sacó una morcilla, la cocinó en la sartén, y colocó vasos, platos, cubiertos y dos botellas de vino.

「動詞」「目的語」, 「目的語」「動詞」「副詞句」 y 「動詞」「目的語」
 Sacó サコ 3 単点(sacar)v.t 取り出した 「動詞」
 una morcilla, ウナ・モルジヤ n.f 腸詰を 「目的語」
 la ラ pron それを 「目的語」
 cocinó コシノ 3 単点(cocinar)v.t 加熱・調理した 「動詞」
 en la sartén, エン・ラ・サルテン adv. フライパンで 「副詞句」
 y イ conj. そして
 colocó ココロ 3 単点(colocar)v.t 置いた、配置した、並べた 「動詞」
 vasos, バソス pl.n.m グラスを 「目的語」
 platos, プラトス pl.n.m 皿を 「目的語」
 cubiertos クビエルトス pl.n.m ナイフとフォークを 「目的語」
 y イ conj. そして
 dos botellas トス・ボテジャス pl.n.f 2本の瓶を 「目的語」
 de vino. デ・ヴィノ adj. ワインの 「形容詞句」

Primera parte 第1部

ずっと無言だった。それから、お互いにテーブルに着いた。

Todo en silencio. Luego nos instalamos. 「副詞句」 | 「副詞」「動詞句」
 Todo en silencio. トド・エン・シレンシオ adv. ずっと無言だった 「副詞句」
 Luego ルエゴ adv. それから 「副詞」
 nos instalamos. ノス・インスタモス 1 複点(instalarse)v.pr お互いに席に着いた 「動詞句」

食べながら、彼は事の次第を僕に語り始めた。

Mientras comíamos comenzó a contarme la historia. 「副詞節」, 「動詞句」「目的語」
 Mientras ミエントラス conj. ～しながら、～している間 「副詞節」
 comíamos コミアモス 1 複点(comer)v.i 食べる 「動詞」
 comenzó a contarme コメンソ・ア・コンタルメ 3 単点・開始(comenzar a+不定詞 contar+me)
 v.t 僕に語り始めた 「動詞句」
 la historia. ラ・イストリア n.f 話を、事の次第を 「目的語」

最初のうちは少しためらっていた。「ある女と付き合っているんだ... 言ってみれば、愛人
 なんだが...」

Al principio vacilaba un poco. "Conocí a una señora..., para decir verdad era mi amante..."
 「副詞句」「動詞」「副詞句」 | 《「動詞」「目的語」 | 「副詞句」「動詞」「補語」》
 Al principio アル・プリンシピオ adv. 最初のうちは 「副詞句」
 vacilaba バシラバ 3 単線(vacilar)v.i ためらっていた 「動詞」
 un poco. ウン・ポコ adv. 少し 「副詞句」
 "Conocí コシ 1 単点(conocer)v.t 知り合いになった 「動詞」
 a una señora..., ア・ウナ・セニョーラ n.f ある女と 「目的語」
 para decir verdad パラ・デシール・ベルダド adv. 実を言えば、言ってみれば 「副詞句」
 era エラ 3 単線(ser)v.i ～である 「動詞」
 mi amante..." ミ・アマンテ n.f 愛人 「補語」

彼が喧嘩した相手はその女の兄弟だった。

El hombre con quien se había peleado era el hermano de esa mujer.
 「主語」「動詞」「補語」
 El hombre エル・オンブレ n.m その男は 「主語」
 con quien コン・キエン pron (目的語) それと～した 「形容詞節」
 se había peleado セ・アビエ・ペレアド 3 単線・完了形(pelearse)
 v.pr 喧嘩した 「動詞句」
 era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」
 el hermano エル・エルマノ n.m 兄弟 「補語」

Primera parte 第1部

de esa mujer. デ・エサ・ムヘル adj. その女の

「形容詞句」

彼がその女に生活費を与えていたのだと僕に言った。

Me dijo que la había mantenido.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Me メ pron 僕に

「間接目的語」

dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

la ラ pron その女を

「目的語」

había mantenido. アビア・マンテニド 3 単線・完了形(mantener)

v.t 支えていた

「動詞句」

僕は何も答えなかった。しかし彼は急いで付け加えた。「限界で何と言われているかは知っている。だが、自分にやましいところはない。俺は倉庫の管理人をしている」と。

No contesté nada y sin embargo se apresuró a añadir que sabía lo que se decía en el barrio, pero que tenía su conciencia limpia y que era guardalmacén.

「動詞句」「目的語」 y 「副詞」「動詞句」「目的語」 pero 「目的語」 y 「目的語」

No contesté ノ・コンステ 1 単点・否定(contestar)v.t 答えなかった

「動詞句」

nada ナダ pron 何も～ない

「目的語」

y イ conj. そして

sin embargo シン・エンバルゴ adv. しかしながら

「副詞」

se apresuró a añadir セ・アプレスロ・ア・アンニャテイル 3 単点・緊急(apresurarse a+不定詞)

v.t 急いで付け加えた

「動詞句」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

sabía サビア 3 単線(saber)v.t 知っている

「動詞」

lo ロ pron そのことを

「目的語」

que ケ pron ～する

「形容詞節」

se decía セ・デシア 3 単線・再帰受動(decirse)

v.pr 言われている

「動詞句」

en el barrio, エン・ネル・バリオ adv. 限界で

「副詞句」

pero ペロ conj. しかし

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

tenía テニア 3 単線(tener)v.t ある

「動詞」

su conciencia ス・コンセンシア n.f 良心を

「目的語」

limpia リンピア adj.f けがれの無い

「形容詞」

y イ conj. そして

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

Primera parte 第1部

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i 〜である 「動詞」

guardalmacén. グアルマセ^ン・アルマセ^ン n.m 倉庫の管理人 「補語」

guarda グアルダ^ン n. 管理人、番人 almacén アルマセ^ン n.m 倉庫

「しかし、俺の話に戻ると」と、僕に言った。「俺は騙されていたことに気づいたんだ」

"Pero volviendo a mi historia", me dijo, "me di cuenta de que me engañaba".

《Pero 「副詞句」》, 「間接目的語」「動詞」, 《「動詞句」「間接目的語」》

"Pero ^{ヘロ} conj. しかし

volviendo ボルビエ^{ント} 現在分詞・条件 v.i(a に) 戻るならば 「副詞句」

a mi historia", ア・ミ・イストリア adv. おれの話に 「間接目的語」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

dijo, ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

"me di cuenta メ・ディ・クエンタ 1 単点(darse cuenta de に) 気づいた 「動詞句」

de que デ・ケ adv. 〜ということに 「間接目的語」

me メ pron 俺を 「目的語」

engañaba". エンガニャバ^ン 3 単線(engañar)v.t (女が) 騙していた 「動詞」

→ me を「主語」にして翻訳する

彼は女に生活に必要な金を渡していた。部屋の家賃を払っていたし、食費として1日20フランを渡していた。

Le daba lo necesario para vivir. Pagaba el alquiler de la habitación y le daba veinte francos por día para el alimento.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 | 「動詞」「目的語」

y 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞句」

Le レ pron 女に 「間接目的語」

daba ダバ^ン 3 単線(dar)v.t 渡していた 「動詞」

lo necesario ロ・ネサリオ pron 必要な金を 「直接目的語」

para vivir. パラ・ビビール adv. (目的) 生活するために 「副詞句」

Pagaba パガバ^ン 3 単線(pagar)v.t 払っていた 「動詞」

el alquiler エル・アルキレール n.m 家賃を 「目的語」

de la habitación デ・ラ・アビタシオン adj. 部屋の 「形容詞句」

y イ conj. そして

le レ pron 女に 「間接目的語」

daba ダバ^ン 3 単線(dar)v.t 渡していた 「動詞」

veinte francos ベインテ・フランコス pl.n.m 20 フランを 「直接目的語」

por día ポル・ディア adv. 1 日について 「副詞句」

Primera parte 第1部

para el alimento. パラ・エル・アリメント adv. 食費として

「副詞句」

フラン : フランスなどの貨幣単位

1945年には119フラン=1ドルから、1957年には494フラン=1ドルまで価値が下がり、
1999年に1ユーロ=6.55957フランと設定され、2002年ユーロに切り替わった。

「部屋代に300フラン、食費に600フラン、そして時にはストッキングを1足、あれこれ
合わせて、月に1000フランだ」

"Trescientos francos por la pieza, seiscientos francos por el alimento, un par de medias
de vez en cuando, esto sumaba mil francos. 《「目的語」,「主語」「動詞」「目的語」》

Trescientos francos トレスシエントス・フランコス pl.n.m 300 フラン

「目的語」

por la pieza, ポル・ラ・ピエサ adv. 部屋代として

「副詞句」

seiscientos francos セイスシエントス・フランコス pl.n.m 600 フラン

「目的語」

por el alimento, ポル・エル・アリメント adv. 食費として

「副詞句」

un par de medias ウン・パル・デ・メデイアス n.f ストッキングを1足

「目的語」

de vez en cuando, デ・ベス・エン・クワント adv. 時々

「副詞句」

esto エスト pron これは

「主語」

sumaba スマバ 3 単線(sumar)v.t 合計で～になった

「動詞」

mil francos. ミル・フランコス pl.n.m 1000 フラン

「目的語」

「だが、女は全く働かない」

Y la señora no trabajaba.

《Y「主語」「動詞句」》

Y イ conj. そして

la señora ラ・セニョーラ n.f 女は

「主語」

no trabajaba. ノ・トラバハ 3 単線・否定(trabajar)v.i ずっと働かないでいる

「動詞句」

「しかし、俺が渡している分では少なすぎて、やっていけないと俺に言うんだ」

Pero me decía que era poco, que no le alcanzaba con lo que le daba.

《Pero「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》

Pero ペロ conj. しかし

me メ pron 俺に

「間接目的語」

decía デシア 3 単線(decir)v.t 言っていた

「動詞」

que ケ conj. ということを

「直接目的語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である

「動詞」

poco, ポコ adj. 極めて少ない、少なすぎる

「補語」

que ケ conj. ということを

「直接目的語」

no ...alcanzaba ノ...アルカンサハ 1 単線・否定・時制の一致(alcanzar)

Primera parte 第1部

v.i 十分でない 「動詞句」
 le ♪ pron 彼女にとって 「間接目的語」
 con lo コン・ロ adv. それでは 「副詞句」
 que ♪ pron (目的語) ~する 「形容詞節」
 le ♪ pron 彼女に 「間接目的語」
 daba. ダバ 1 単線・時制の一致(dar)v.t 渡している 「動詞」

「だが、俺はいつもあいつに言っている」

Sin embargo, yo le decía: 《「副詞句」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞」》
 Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. だがしかし 「副詞句」
 yo ジョ pron 俺は 「主語」
 le ♪ pron 彼女に 「間接目的語」
 decía: デシア 3 単線・時制の一致(decir)v.t 言っている 「動詞」

《どうして、半日でも働かないんだ？細々としたことについては俺の助けになるんだが》

'¿Por qué no trabajas medio día? Me ayudarías para todas las cosas chicas.
 “「副詞句」 「動詞句」 「副詞句」 | 「目的語」 「動詞」 「副詞句」”
 '¿Por qué ホル・ケ adv. どうして 「副詞句」
 no trabajas ノ・トラバハス 2 単現・否定(trabajar)v.i 働かない 「動詞句」
 medio día? メディオ・デア n.m 半日 「副詞句」
 Me メ pron 俺を 「目的語」
 ayudarías アユダリアス 2 単過未・推測(ayudar)v.t 助けることになるだろう 「動詞」
 para todas las cosas chicas. パラ・トダス・ラス・コサス・チカス
 adv. (目的) 雑多なことについて 「副詞句」

Primera parte 第1部

《今月、俺はお前にアンサンブルを1着買ってやったし、1日について20フランを渡している、それに家賃も払ってやっている。ところがお前ときたら、やっていることといたら、午後に友達と一緒にコーヒーを飲むことぐらいだ。》

Este mes te he comprado un conjunto, te pago veinte francos por día, te pago el alquiler, y tú lo que haces es tomar café por las tardes con tus amigas.

“「副詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」, 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 y 「主語」「動詞」「補語」”

Este mes	エステ・メス n.m	今月は	「副詞句」
te	テ pron	お前に	「間接目的語」
he comprado	エ・コンプ・ラト 1 単現・完了形(comprar)v.t	買ってやった	「動詞句」
un conjunto,	ウン・コンフント n.m	アンサンブルを1着	「直接目的語」
te	テ pron	お前に	「間接目的語」
pago	パ・ゴ 1 単現(pagar)v.t	払っている	「動詞」
veinte francos	ベインテ・フランコス pl.n.m	20 フラン	「直接目的語」
por día,	ポル・デア adv.	1日について	「副詞句」
te	テ pron	お前に	「間接目的語」
pago	パ・ゴ 1 単現(pagar)v.t	払っている	「動詞」
el alquiler,	エル・アルキレール n.m	家賃を	「直接目的語」
y	イ conj.	そして	
tú	トゥ pron	お前は	「主語」
lo que haces	ロ・ケ・アセス pron	お前のすることは	「主語」
es	エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
tomar	トマル 不定詞 n.	飲むこと	「補語」
café	カフェ n.m	コーヒーを	「目的語」
por las tardes	ポル・ラス・タルデス adv.	いつも午後には	「副詞句」
con tus amigas.	コン・トゥス・アミガス adv.	友達と一緒に	「副詞句」

Primera parte 第1部

《お前は友達にコーヒーと砂糖をおごってやる。その金は俺がお前にやったものだ。》

Tú les das el café y el azúcar. Yo te doy el dinero.

“「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」”

Tú トゥ pron お前は	「主語」
les レ pron.pl 彼らに	「間接目的語」
das ダス 2 単現(dar)v.t 与える	「動詞」
el café エル・カフェ n.m コーヒーを	「目的語」
y イ conj. そして	
el azúcar. エル・アスカー n.m 砂糖を	「直接目的語」
Yo ジョ pron 俺は	「主語」
te テ pron お前に	「間接目的語」
doy トイ 1 単現(dar)v.t 与える	「動詞」
el dinero. エル・ディネロ n.m その金を	「直接目的語」

《俺はお前に対して良くしてやった。ところが、お前は俺の行為を踏みにじる》

Me he portado bien contigo y tú me correspondes mal.'

“「動詞句」「補語」 y 「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞」”

Me he portado メ・エ・ポルト 1 単現・完了形(portarse)	
v.pr(bien con / mal con ～に良く・悪く) ふるまった	「動詞句」
bien contigo ビエン・コンチゴ adj. お前に対して良く	「補語」
y イ conj. そして、ところが	
tú トゥ pron お前は	「主語」
me メ pron 俺に	「間接目的語」
correspondes コレスポ・ンデス 2 単現(corresponder)v.i (好意に) 応える	「動詞」
mal.' マル adv. 悪く	「副詞」

Primera parte 第1部

《しかしあいつは働きもしないで、金が足りないと言っている。そんなことで、あいつが俺をだましていることに気が付いたんだ》

Pero no trabajaba, decía que no le alcanzaba, y así me di cuenta de que había engaño."

“Pero 「動詞句」, 「動詞」「目的語」 y 「副詞」「動詞句」「目的語」”

Pero ペロ conj. しかし

no trabajaba, ノ・トラハバ 3 単線・否定(trabajar)v.i 働かないでいる 「動詞句」

decía デシア 3 単線(decir)v.t 言っている 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

no ...alcanzaba, ノ...アルカンサバ 3 単線(alcanzar)v.i 十分ではない 「動詞句」

le レ pron 彼女にとって 「間接目的語」

y イ conj. そして

así +直説法 アシ adv. (結果) したがって 「副詞」

me di cuenta de メ・ディ・クエンタ・デ 1 単点(darse cuenta de)v.pr ～に気づいた 「動詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

había アビア 3 単線(haber)v.t ～があった 「動詞」

engaño." エンガニョ n.m 欺瞞、だまし 「目的語」

彼は、彼女のハンドバッグの中に宝くじの券を見つけたが、彼女はどうやってそれを買ったのかを説明できなかった、と僕に言った。

Me contó entonces que le había encontrado un billete de lotería en el bolso sin que ella pudiera explicarle cómo lo había comprado.

「間接目的語」「動詞」「副詞」「直接目的語」

Me メ pron 僕に 「間接目的語」

contó コント 3 単点(contar)v.t 語った 「動詞」

entonces エントネス adv. それから 「副詞」

que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

le レ pron 彼女の 「間接目的語」

había encontrado アビア・エンコントラト 3 単線・完了形(encontrar)

v.t 見つけた 「動詞句」

un billete ウン・ビシエテ n.m くじ札を 「直接目的語」

de lotería デ・ロテリア adj. 宝くじの 「形容詞句」

en el bolso エ・ネル・ホルソ adv. ハンドバッグの中で 「副詞句」

sin que シン・ケ conj. (結果) ～しない

ella エジャ pron 彼女は 「主語」

pudiera explicarle プディエラ・エクスプリカル 接・3 単過・否定文(poder+不定詞)

v.t 説明できなかった 「動詞句」

Primera parte 第1部

cómo コモ conj. どうやって～するかということ 「目的語」

lo ロ pron それを 「目的語」

había comprado. アビア・コンプ ラト 3 単線・完了形(comprar)

v.t 買った 「動詞句」

少し後で、女の部屋で質屋の質札を見つけたが、それは女がブレスレットを 2 個質に入れた証拠である。

Poco después encontró en casa de ella una papeleta del Monte de Piedad, prueba de que había empeñado dos pulseras. 「副詞句」「動詞」「副詞句」「目的語」, 「目的語」

Poco después ポコ・デスプ エス adv. 少し後で 「副詞句」

encontró エンコントロ 3 単点(encontrar)v.t 見つけた 「動詞」

en casa de ella エン・カサ・デ・エシヤ adv. 女の部屋で 「副詞句」

una papeleta ウナ・パペleta n.f 用紙を 「目的語」

del Monte de Piedad, デル・モンテ・デ・ピエタ adj. 質屋の 「形容詞句」

Monte de Piedad モンテ・デ・ピエタ n.m 公益質屋

prueba プルエバ n.f (同格) 証拠である 「目的語」

de デ prep ～の 「形容詞句」

que ケ conj. ～ということ 「目的語」

había empeñado アビア・エンパニャト 3 単線・完了形(empeñar)

v.t 質に入れた 「動詞句」

dos pulseras. ドス・プルセラス pl.nf ブレスレットを 2 個 「目的語」

質札 :

質屋で自分の持ち物を預けてお金を借りると、氏名、金額、品目、点数、入質日、期限が書かれた質札が発行されます。品物を出す時や、利息を入れて期限の延ばす時必要です。

その時まで、彼はそのブレスレットの存在を知らなかった。

Hasta ahí él ignoraba la existencia de las pulseras. 「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」

Hasta ahí アスタ・アイ adv. その時まで 「副詞句」

ahí アイ adv. その時、そこに

él エル pron 彼は 「主語」

ignoraba イグノラバ 3 単線(ignorar)v.t 知らなかった 「動詞」

la existencia ラ・エクスistensiア n.f 存在を 「目的語」

de las pulseras. デ・ラス・プルセラス adj. そのブレスレットの 「形容詞句」

Primera parte 第1部

「あいつが俺をだましているってことがよく分かった。それであいつと別れたが、その前に一発殴ってやった」

"Vi bien claro que me engañaba. Entonces la dejé. Pero antes le di una paliza.

《「動詞」「副詞句」「目的語」 | 「副詞」「目的語」動詞句》

Pero 「副詞句」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》

"Vi ビ 1 単点(ver)v.t 分かった 「動詞」
 bien claro ビエン・クラロ adv. はっきりと 「副詞句」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 me メ pron 俺を 「目的語」
 engañaba. エンガニャバ 3 単線(engañar)v.t だましていた 「動詞」
 Entonces エントンス adv. それで 「副詞」
 la ラ pron あいつと 「目的語」
 dejé. デヘ 1 単点(dejar)v.t 別れた、～から去った 「動詞」
 Pero ペロ conj. しかし
 antes アンテス adv. その前に 「副詞句」
 le レ pron 彼に 「間接目的語」
 di ディ 1 単点(dar)v.t 与えた 「動詞」
 una paliza. ウナ・パリサ n.f 一撃を、一発殴ること 「直接目的語」

それであいつに本当の事を言ってやった。お前の望みは、自ら楽しむことだけだと。

Y le canté las verdades. Le dije que todo lo que quería era divertirse.

Y 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 | 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Y イ conj. そして
 le レ pron あいつに 「間接目的語」
 canté カンテ 1 単点(cantar)v.t 言った 「動詞」
 las verdades. ラス・ベルダデス pl.n.f 本当のことを 「直接目的語」
 Le レ pron あいつに 「間接目的語」
 dije ディエ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 todo lo トド・ロ pron すべてのことは 「主語」
 que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 quería クリア 3 単線(querer)v.t 望む 「動詞」
 era エラ 3 単線(ser)v.i ～である 「動詞」
 divertirse. ディバルルセ 不定詞 v.pr 自ら楽しむこと 「補語」

Primera parte 第1部

ねえ、ムルソーさん。おれはあいつに言ってやったよ：「世間の人たちが、俺がお前に与えている幸せにやきもちをやいていることを、お前は知らないんだと」

Usted comprende, señor Meursault, yo le dije: 'No ves que la gente está celosa de la felicidad que te doy.

「主語」「動詞」, 「呼びかけ」, 「主語」「間接目的語」「動詞」: 《「動詞句」「目的語」》
 Usted ウステ pron あなたは 「主語」
 comprende, コンプレンデ 3 単現(comprender)v.t 分かる 「動詞」
 señor Meursault, セニョール・ムルソー n.m ムルソーさん 「呼びかけ」
 yo ジョ pron 俺は 「主語」
 le レ pron あいつに 「間接目的語」
 dije: ディハ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 'No ves ノ・ベス 2 単現・否定(ver)v.t 分かっていない 「動詞句」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 la gente ラ・ヘンテ n.f 人々は 「主語」
 está エスタ 3 単現(estar)v.i ～である 「動詞」
 celosa セサ adj.f(celoso)(de ～に対して) やきもちをやいている 「補語」
 de la felicidad デ・ラ・デリシダド adv. 幸せに対して 「副詞句」
 que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 te テ pron お前に 「間接目的語」
 doy. ドイ 1 単現(dar)v.t 与えている 「動詞」

「後になれば、自分が幸せだったということが分かるだろう」

Más tarde te darás cuenta de la felicidad que tenías."

《「副詞句」「動詞句」「間接目的語」》

Más tarde マス・タルデ adv. 後になって 「副詞句」
 te darás cuenta テ・ダラス・クエンタ 2 単末(darse cuenta de...)v.pr ～が分かるだろう 「動詞句」
 de la felicidad デ・ラ・デリシダド adv. 幸せのことが 「間接目的語」
 que tenías." ケ・テニアス adj. お前が持っていた 「形容詞節」

Primera parte 第1部

彼は女が出血するまで殴った。以前は、女を殴ったことはなかった。

Le había pegado hasta hacerla sangrar. Antes no le pegaba.

「間接目的語」「動詞句」「副詞句」 | 「副詞」「動詞句」「目的語」「動詞句」

Le レ pron 彼女に

「間接目的語」

había pegado アビ・ア・ペ・ガト 3 単線・完了形(pegar)v.t (打撃を) 加えた

「動詞句」

hasta アスタ conj.(hasta +不定詞) ~するまで

「副詞句」

hacerla sangrar. アセル・ラ・サングラール 不定詞・使役(hacer+不定詞)

v.t 彼女を出血させる

「動詞句」

Antes アンテス adv. 以前は

「副詞」

no ...pegaba. ノ...ペ・ガバ 3 単線・否定(pegar)v.t 殴らなかった

「動詞句」

le レ pron 女を

「目的語」

「女を叩くことはあった。だが、言ってみれば優しくだ。少し叫ぶことはあった」

"La golpeaba pero con ternura, por así decir. Ella gritaba un poco.

《「目的語」「動詞」 pero 「副詞句」 | 「主語」「動詞」「副詞句」》

"La ラ pron 女を

「目的語」

golpeaba ゴルペ・アバ 1 単線(golpear)v.t 叩いた

「動詞」

pero ペロ conj. しかし

con ternura, コン・テルスラ adv. (様態) 優しく

「副詞句」

por así decir. ポル・アシ・デシル adv. 言ってみれば、言わば

「副詞句」

Ella エジャ pron 女は

「主語」

gritaba グリタバ 3 単線(gritar)v.i 叫んだ

「動詞」

un poco. ウン・ポコ adv. 少し

「副詞句」

「俺は錠戸を閉める、そしてすべてがいつも通りに終わる」

Yo cerraba las persianas y todo concluía como siempre.

《「主語」「動詞」「目的語」 y 「主語」「動詞」「副詞句」》

Yo ジョ pron 俺は

「主語」

cerraba セラバ 1 単線(cerrar)v.t 閉めた

「動詞」

las persianas ラス・ペルシアナス pl.n.f 錠戸を

「目的語」

y イ conj. そして

todo トト pron すべてが

「主語」

concluía コンクルイ 3 単線(concluir)v.i 終わった

「動詞」

como siempre. コモ・シエンプレ adv. いつも通りに

「副詞句」

Primera parte 第1部

「だが、今回は本気だ。それにまだあいつを気が済むまで懲らしめていない。」

Pero ahora es serio. Y para mí no la he castigado bastante."

《Pero 「副詞」「動詞」「補語」 | Y 「副詞句」「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞」》

Pero ペロ conj. しかし

ahora アオラ adv. 今度は、今回は 「副詞」

es エス 3 単現(ser)v.i. ~である 「動詞」

serio. セリオ adj. 真剣な、まじめな、本気の 「補語」

Y イ conj. そして

para mí パラ・ミ adv. 俺にとっては 「副詞句」

no ...he castigado ノ...エ・カシガド 1 単現・完了形・否定(castigar)

v.t 懲らしめていなかった 「動詞句」

la ラ pron 女を 「目的語」

bastante." バスタンテ adv. 十分に、気が済むまで 「副詞」

そこで、それについて助言が欲しいのだと、僕に言った。

Me explicó entonces que por eso necesitaba consejo.

「間接目的語」「動詞」「副詞」「直接目的語」

Me メ pron 僕に 「間接目的語」

explicó エクスプリコ 3 単点(explicar)v.t 説明した 「動詞」

entonces エントネース adv. そこで、それで 「副詞」

que ケ conj. ~ということ 「直接目的語」

por eso ポル・エソ adv. それについて、だから 「副詞句」

necesitaba ネセシタバ 3 単線(necesitar)v.t ~を必要としていた 「動詞」

consejo. コンセホ n.m 助言、忠告 「目的語」

彼は話を中断して、くすぶっているランプの灯芯を調節した。

Se interrumpió para arreglar la mecha de la lámpara que carbonizaba.

「動詞句」「副詞句」

Se interrumpió セ・インテルンプリオ 3 単点(interrumpirse)v.pr 中断した 「動詞句」

para +不定詞 パラ adv. (継続) そして~する 「副詞句」

arreglar アレグラール 不定詞 v.t 調整する 「動詞」

la mecha ラ・メチャ n.f (ランプの) 灯芯を 「目的語」

de la lámpara デ・ラ・ランパラ adj. ランプの 「形容詞句」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

carbonizaba. カボンニサバ 3 単線(carbonizarse)

v.pr くすぶっている、焦げている 「動詞句」

Primera parte 第1部

僕はずっと彼の話の聞き続けて、ワインを 1 リットルほど飲んだ。それでこめかみが焼けるようだった。

Yo continuaba escuchándole. Había bebido casi un litro de vino y me ardían las sienes.

「主語」「動詞句」 | 「動詞句」「目的語」 y 「間接目的語」「動詞」「主語」

Yo ジョ pron 僕は

「主語」

continuaba escuchándole. コンチヌアバ・エスクチャント・レ 1 単線・継続(continuar+現在分詞)

v.t 彼の話の聞き続けた

「動詞句」

Había bebido アビ・ア・ベビト 1 単線・完了形(beber)v.t 飲んだ

「動詞句」

casi un litro de vino カシ・ウン・リトロ・デ・ビノ n.m およそ 1 リットルのワインを

「目的語」

y イ conj. そして

me メ pron 僕にとって

「間接目的語」

ardían アルディアン 3 複線(arder)v.i 焼けていた

「動詞」

las sienes. ラス・シエス pl.n.f(sien) こめかみが

「主語」

自分のタバコがもうなくなっていたので、レーモンのを吸った。

Como no me quedaban más cigarrillos fumaba los de Raimundo.

「副詞節」, 「動詞」「目的語」

Como コモ conj. ～なので

「副詞節」

no ...quedaban ノ...ケダバン 3 複線・否定(quedar)v.i 残っていなかった

「動詞句」

me メ pron 僕の、僕には

「間接目的語」

más cigarrillos マス・シガリジョ pl.n.m もうタバコが

「主語」

fumaba フマバ 1 単線(fumar)v.t 吸った

「動詞」

los ロス pron.pl (cigarrillos の代用) タバコを

「目的語」

de Raimundo. デ・ライムント adj. レーモンの

「形容詞句」

最終電車が通過して、それと共に、この境界の今は遠いざわめきを連れ去っていった。

Los últimos tranvías pasaban y llevaban consigo los ruidos ahora lejanos del barrio.

「主語」「動詞」 y 「動詞」「副詞」「目的語」

Los últimos tranvías ロス・ウルチモス・トランビ・アス pl.n.m 最終電車が

「主語」

pasaban パサバン 3 複線(pasar)v.i 通過した

「動詞」

y イ conj. そして

llevaban シェババン 3 複線(llevar)v.t 連れて行った

「動詞」

consigo コンシゴ adv. それと一緒に

「副詞」

los ruidos ロス・ルイトス pl.n.m 騒音を、ざわめきを

「目的語」

ahora lejanos アオラ・レハノス adj. 今は遠い

「形容詞句」

Primera parte 第1部

del barrio. デル・バリオ adj. この界隈の

「形容詞句」

レーモンは話を続けた。彼はいまだに女の体に未練があることをいまいましく思っていた。

Raimundo continuó. Le fastidiaba "sentir todavía deseos de hacer el coito con ella."

「主語」「動詞」 | 「目的語」「動詞」「主語」

Raimundo ライムント n.m レーモンは

「主語」

continuó. コンチオ 3 単点(continuar)v.t 続けた

「動詞」

Le レ pron 彼を

「目的語」

fastidiaba ファスティディアバ 3 単線(fastidiar)v.t 不快にしていた

「動詞」

"sentir センチール 不定詞 v.t ~を思うことが

「主語」

todavía トダビヤ adv. いまだに、まだ

「副詞」

deseos de hacer デセオス・デ・アセール pl.n.m ~する欲望を

「目的語」

el coito エル・コイト n.m 性交を

「目的語」

con ella." コン・エシヤ adv. 彼女と

「副詞句」

しかし彼は女を懲らしめたいと思っていた。最初は、女をホテルに連れて行き、もめ事を起こして「風紀警察」を呼び、女を売春婦としてブラックリストに登録させようと考えていた。

Pero quería castigarla. Primero había pensado llevarla a un hotel y llamar a los de "buenas costumbres" para provocar un escándalo y hacerla fichar como prostituta.

Pero 「動詞句」 | 「副詞」「動詞句」「副詞句」 y 「動詞句」「目的語」「副詞句」

Pero ペロ conj. しかし

quería castigarla. クリア・カシガル・ラ 3 単線・願望(querer+不定詞 castigar+la)

v.t 女を懲らしめたいと思っていた

「動詞句」

Primero プリメロ adv. 最初は

「副詞」

había pensado llevarla アビヤ・ペンサント・シエバル・ラ 3 単線・完了(pensar+不定詞 llevar+la)

v.t 女を連れて行こうと思っていた

「動詞句」

a un hotel ア・ウン・ホテル adv. ホテルに

「副詞句」

y イ conj. そして

llamar シヤマル 3 単線・完了形(pensar+不定詞 llamar)

v.t 呼ぼうと思っていた

「動詞句」

a los de "buenas costumbres" ア・ロス・デ・ブエナス・コストゥンブレス

pl.n.m 「風紀警察」を

「目的語」

para +不定詞 パラ adv. (継続) そして~する

「副詞句」

provocar プロボカル 不定詞 v.t 生じさせる

「動詞」

un escándalo ウン・エスカンダロ n.m 大騒ぎを

「目的語」

y イ conj. そして

Primera parte 第1部

hacerla fichar アセル・ラ・フィチャール 不定詞・使役(hacer+不定詞)

v.t 彼女をブラックリストに載せさせる

「動詞句」

como prostituta. コモ・プロストトゥータ adv. 売春婦として

「副詞句」

そこで彼は、その筋の仲間に話をしてみた。

Luego se había dirigido a los amigos que tenía en el ambiente.

「副詞」「動詞句」「目的語」

Luego ルエゴ adv. それから、次に

「副詞」

se había dirigido セ・アビ・ア・ディリヒト 3 単線・完了形(dirigirse)v.pr(a に) 話しかけた「動詞句」

a los amigos ア・ロス・アミゴス pl.n.m 友人に

「目的語」

que ケ pron (目的語) ~する

「形容詞節」

tenía テニア 3 単線(tener)v.t 持っていた、あった

「動詞」

en el ambiente. エン・エル・アンビエンテ adv. そういった社会の中に「副詞句」

ambiente アンビエンテ n.m 環境、グループ、社会階層 ここでは「裏社会」のような意味

しかし彼らは、何も名案が浮かばなかった。

Pero no se les había ocurrido nada.

Pero 「動詞句」「主語」

Pero ペロ conj. しかし

no se les había ocurrido ノ・セ・レス・アビ・ア・オクリト 3 複線・完了形・否定(ocurrirse)

v.pr (彼らの) 頭に浮かばなかった

「動詞句」

ocurrirse オクリルセ v.pr(+a+人の) 頭に浮かぶ

Se me ocurrió una buena idea. 名案を思い付いた。(me は、僕の)

nada. ナダ pron 何も~ない

「主語」

レーモンが僕に言ったように、こういう時には、その筋の人間も役に立たない。

Y para eso no valía la pena ser del ambiente, como me lo hacía notar Raimundo.

Y 「副詞句」, 「動詞句」「主語」, 「副詞節」

Y イ conj. そして

para eso パラ・エソ adv. このために、こういう時には

「副詞句」

no valía ノ・バリャ 3 単線・否定(valer)v.i 役に立たない

「動詞句」

la pena +不定詞 ラ・ペナ n.f ~するという苦悩(人)は

「主語」

ser セル 不定詞 v.i ~にいる

「形容詞句」

del ambiente, デル・アンビエンテ adv. そのような社会に

「副詞句」

como コモ conj. ~するように

「副詞節」

me メ pron (hacer の目的語) 僕に

「目的語」

lo ロ pron (notar の目的語) それを

「目的語」

Primera parte 第1部

hacía アシア 3 単線・使役(hacer)v.t	～させた	「動詞」
notar ノタル 不定詞・me の動作 v.t	気づく	「補語」
気づかせる → 言う		
Raimundo. ライムント n.m	レーモンが	「主語」

彼は男たちにそう言った。すると彼らは、「女に烙印を押そうか？」と提案した。

Se lo había dicho, y ellos entonces le propusieron "marcarla."		
	「間接目的語」「直接目的語」「動詞句」 y	
	「主語」「副詞」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」	
Se セ pron.pl	彼らに	「間接目的語」
lo ロ pron	それを	「直接目的語」
había dicho, アビ・ア・ディチョ 3 単線・完了形(decir)v.t	言った	「動詞句」
y イ conj.	そして	
ellos エジョス pron.pl	彼らは	「主語」
entonces エントネス adv.	それで、すると	「副詞」
le レ pron	彼に	「間接目的語」
propusieron プロプシエロン 3 複点(proponer)v.t	提案した	「動詞」
"marcarla." マルカル・ラ 不定詞(marcar+la)n.	「女に印をつける」	「直接目的語」
marcar マルカル v.t	印をつける、焼き印を押す	

しかし彼はそれはしたくなかった。よく考えようと思った。だがその前に、僕に何かを聞きたいと思っていた。

Pero no era eso lo que él quería. Iba a reflexionar. Pero antes deseaba preguntarme algo.		
Pero	「動詞」「主語」「補語」 「動詞句」 Pero	「副詞」「動詞句」「目的語」
Pero ペロ conj.	しかし	
no era ノ・エラ 3 単線・否定(ser)v.i	～でなかった	「動詞」
eso エソ pron	それは	「主語」
lo ロ pron	それ	「補語」
que ケ pron (目的語)	～する	「形容詞節」
él エル pron	彼が	「主語」
quería. クリア 3 単線(querer)v.t	望んでいた	「動詞」
Iba a reflexionar. イバ・ア・レフレクシオナル 3 単線・近接未来(ir a+不定詞)		
v.i	よく考えることにした	「動詞句」
Pero ペロ conj.	しかし	
antes アンテス adv.	その前に	「副詞」
deseaba preguntarme デセアバ・プレグンタル・メ 3 単線・願望(desear+不定詞)		

Primera parte 第1部

v.t 僕に聞きたいと思っていた 「動詞句」
 algo. アルゴ pron 何かを 「目的語」

一方では、僕にそれを聞く前に、この話について僕がどう思うかを知りたいと思っていた。
 僕は、なんとも思わないが、興味深い話だと答えた。

Por otra parte, antes de preguntármelo, quería saber qué opinaba de la historia.
Respondí que no opinaba nada, pero que era interesante.

「副詞句」, 「動詞句」 「目的語」 | 「動詞」 「目的語」 pero 「目的語」
 Por otra parte, ホル・オトラ・パルテ adv. 他方では、一方 「副詞句」
 antes de preguntármelo, アンテス・デ・プレグンタル・メ・ロ
 adv. 僕にそれを聞く前に 「副詞句」
 quería saber クリア・サベール 3 単線・願望(querer+不定詞)
 v.t 知りたいと思っていた 「動詞句」
 qué ケ pron どんな～するというところを 「目的語」
 opinaba オピナバ 1 単線(opinar)v.i ～という意見を持つ 「動詞」
 de la historia. ドゥ・ラ・イストリア adv. この話について 「間接目的語」
 Respondí レスポンディ 1 単点(responder)v.t ～と答えた 「動詞」
 que ケ conj. ～ということ 「目的語」
 no opinaba ノ・オピナバ 1 単線・時制の一致・否定(opinar)v.t 思わない 「動詞句」
 nada, ナダ pron 何も～ない 「目的語」
 pero ペロ conj. しかし
 que ケ conj. ～ということ 「目的語」
 era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」
 interesante. インテレサンテ adj. 面白い、興味深い 「補語」

彼は、自分は騙されたと思うか、と僕に尋ねた。僕は、確かに彼は騙されていたと思った。

Me preguntó si creía que le había engañado, y a mí me parecía, por cierto, que le había engañado.

「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」 y 「間接目的語」 「動詞」 「副詞句」 「直接目的語」
 Me メ pron 僕に 「間接目的語」
 preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」
 si シ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」
 creía クレイ 1 単線(creer)v.t ～だと思う 「動詞」
 que ケ conj. ～ということ 「目的語」
 le レ pron 彼を 「目的語」
 había engañado, アビエ・エンガニャト 3 単線・完了形(engañar)
 v.t 騙した 「動詞句」

Primera parte 第1部

主語が不特定の三人称（この文では「あの女」である）の時は、受動態で翻訳する。

y イ conj. そして

a mí ア・ミ adv. 僕にとっては 「間接目的語」

me メ pron 僕には 「間接目的語」

parecía, パレシア 3 単線(parecer)v.i ~のように見えた 「動詞」

por cierto, ポル・シエルト adv. 確かに 「副詞句」

que ケ conj. ~ということ 「直接目的語」

le レ pron 彼を 「目的語」

había engañado. アビ・ア・エンガニャト 3 単線・完了形 (engañar)

v.t 騙した 「動詞句」

あの女を懲らしめる必要があるかどうかと、もし彼の立場なら何をするかを僕に尋ねた。

Me preguntó si encontraba que se la debía castigar y qué haría yo en su lugar.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 y 「直接目的語」

Me メ pron 僕に 「間接目的語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

si シ conj. ~かどうかということ 「直接目的語」

encontraba エンコントラバ 1 単線(encontrar)v.t (que ~だと) 思う 「動詞」

que ケ conj. ~ということ 「目的語」

se la debía castigar セ・ラ・デビア・カスチガール 3 単線・必要(deber+不定詞)

v.t 彼女を懲らしめなければならない 「動詞句」

se は「自分は」 la は「あの女」

y イ conj. そして

qué ケ pron 何を 「直接目的語」

haría アリア 1 単過未・推量(hacer)v.t するだろうか 「動詞」

yo ジョ pron 僕は 「主語」

en su lugar. エン・ス・ルガール adv. 彼の立場では 「副詞句」

それはよくわからないが、女を懲らしめたいという気持ちはわかる、と彼に言った。

Le dije que era difícil saber, pero comprendí que quisiera castigarla.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Le レ pron 彼に 「間接目的語」

dije デイヘ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

que ケ conj. ~ということ 「直接目的語」

era エラ 3 単線(ser)v.i ~である 「動詞」

difícil デイフィシル adj. 難しい 「補語」

Primera parte 第1部

saber, サベル 不定詞 n. 理解することは	「主語」
pero ペロ conj. しかし	
comprendí コンプレンディ 1 単点(comprender)v.t 分かる	「動詞」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
quisiera castigarla. キエラ・カシガール・ラ 接・3 単過・願望・推測(querer+不定詞+la)	
v.t 女を懲らしめたがっているだろう	「動詞句」

僕はまた少しワインを飲んだ。彼はタバコに火をつけると、彼の考えを僕に明かした。

Bebí todavía un poco de vino. Encendió un cigarrillo y me descubrió su idea.

「動詞」「副詞」「目的語」 「動詞」「目的語」 y 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」	
Bebí ベビ 1 単点(beber)v.t 飲んだ	「動詞」
todavía トダビア adv. また、さらに	「副詞」
un poco de vino. ウン・ポコ・デ・ビーノ n.m ワインを少し	「目的語」
Encendió エンセンディオ 3 単点(encender)v.t ～に火をつけた	「動詞」
un cigarrillo ウン・シガリジョ n.m タバコを	「目的語」
y イ conj. そして	
me メ pron 僕に	「間接目的語」
descubrió デスカブリオ 3 単点(descubrir)v.t 明かした	「動詞」
su idea. ス・イデア n.f 彼の考えを	「直接目的語」

彼は女に手紙を書きたいと思っていた。女を足蹴にするような文章で、同時に、女に後悔させるような手紙が書きたかった。

Quería escribirle una carta "con patadas y al mismo tiempo cosas para hacerla arrepentir."

「動詞句」「目的語」	
Quería escribirle ケリア・エスクリビール・レ 3 単線・願望(querer+不定詞)	
v.t 女に～を書きたいと思っていた	「動詞句」
una carta ウナ・カルタ n.f 手紙を	「目的語」
"con コン adj. (付随) ～の付いた、入った	「形容詞句」
patadas パタダス pl.n.f 蹴り	「目的語」
y イ conj. そして	
al mismo tiempo アル・ミスモ・ティエンポ adv. 同時に	「副詞句」
cosas コサス pl.n.f こと	「目的語」
para +不定詞 パラ adj. (目的) ～するための	「形容詞句」
hacerla arrepentir." アセル・ラ・アレペンティール 不定詞・使役(hacer+人+不定詞)	
v.t 女に後悔させる	「動詞句」

Primera parte 第1部

後で戻ってきたら、女と一緒に寝て、まさに終わる瞬間に女の顔に唾を吐いて、女を道路に
放り出してやろうと考えていた。

Después, cuando regresara, se acostaría con ella, y "justo en el momento de acabar" le
escupiría en la cara y la echaría a la calle.

「副詞句」, 「動詞句」 「副詞句」 y

「副詞句」 「間接目的語」 「動詞」 「副詞句」 y 「目的語」 「動詞」 「副詞句」

Después, デスプ°エス adv. 後で 「副詞」
cuando クワント° conj. ～するとき 「副詞節」
regresara, レグ°レサ 3 単未・假定(regresar)v.i 戻ってきた 「動詞」
se acostaría セ°アコスタリア 3 単過未・假定(acostarse)v.pr(con ～と) 寝よう 「動詞句」
con ella, コン°エジャ adv. 女と 「副詞句」
y イ conj. そして
"justo en el momento de acabar" フスト°エン°ネル°モメント°デ°アカバール
adv. まさに終わる瞬間に 「副詞句」
le レ pron 女の 「間接目的語」
escupiría エスクピ°リア 3 単過未・意思(escupir)v.i 唾をはいてやろう 「動詞」
en la cara エン°ラ°カア adv. 顔に 「副詞句」
y イ conj. そして
la ラ pron 女を 「目的語」
echaría エチャリア 3 単過未・意思(echar)v.t 放り出してやろう 「動詞」
a la calle. ア°ラ°カジェ adv. 道路に 「副詞句」

確かに、このやり方ならば、女は懲りるだろうと僕は思った。

Me pareció que, en efecto, de ese modo quedaría castigada.

「間接目的語」 「動詞」 「主語」

Me メ pron 僕には 「間接目的語」
pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i ～のように思われた 「動詞」
que, ケ conj. ～ということは 「主語」
en efecto, エン°エフェクト adv. 実際に 「副詞句」
de ese modo デ°エセ°モト° adv. (条件) このやり方ならば 「副詞句」
quedaría ケダリア 3 単過未・推測(quedar)v.i ～の状態になるだろう 「動詞」
castigada. カスカガタ 過去分詞・受動(castigar)adj.f 懲らしめられた 「補語」

Primera parte 第1部

しかしレーモンが僕に言うには、自分では最適な手紙は書けないが、それを書ける人間として僕のことが頭に浮かんだというのだ。

Pero Raimundo me dijo que no se sentía capaz de escribir la carta adecuada y que había pensado en mí para redactarla.

Pero 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 y 「直接目的語」

Pero ペロ conj. しかし

Raimundo ライムント n.m レーモンは 「主語」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

no se sentía ノ・セ・センチャ 3 単線・否定(sentirse)

v.pr 自分が～だと思わなかった 「動詞句」

capaz de +不定詞 カ・ス・デ adj. ～できる 「補語」

escribir エscribir 不定詞 v.t 書く 「動詞」

la carta ラ・カルタ n.f 手紙を 「目的語」

adecuada アデクワダ adj. 適した 「形容詞」

y イ conj. そして

que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

había pensado アビャ・ペンサト 3 単線・完了形(pensar)

v.i 思った、頭に浮かんだ 「動詞句」

en mí エン・ミ adv. 僕のが 「間接目的語」

para +不定詞 パラ adv. (目的) ～するために 「副詞句」

redactarla. レダクタル・ラ 不定詞 v.t それを書く 「動詞句」

la は la carta の代用

僕が何も言わなかったもので、それを今すぐ書いてもらうことは僕の迷惑になるだろうかと尋ねた。それで、僕はそんなことはないと答えた。

Como no dijera nada, me preguntó si me molestaría hacerlo enseguida y respondí que no.

「副詞節」, 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 y 「動詞」「目的語」

Como コモ conj. ～なので 「副詞節」

no dijera ノ・ディエラ 接・1 単過・否定(decir)v.t 言わなかった 「動詞句」

nada, ナダ pron 何も～ない 「目的語」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

si シ conj. ～かどうかということを 「直接目的語」

me メ pron 僕に 「目的語」

Primera parte 第1部

molestaría モレスタリア 3 単過未・推測(molestar)v.t 迷惑をかけるだろう 「動詞」
 hacerlo アセル・ロ 不定詞 v.t それをすることは 「主語」
 enseguida エンセギダ adv. すぐに 「副詞」
 y イ conj. そして
 respondí レスポンディ 1 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」
 que no. ケ・ノ conj. 大丈夫だと 「目的語」

彼はワインを1杯飲んで、立ち上がった、

Bebió un vaso de vino y se levantó. 「動詞」「目的語」 y 「動詞句」
 Bebió ベビオ 3 単点(beber)v.t 飲んだ 「動詞」
 un vaso de vino ウン・バソ・デ・ビーノ n.m ワインを1杯 「目的語」
 y イ conj. そして
 se levantó. セ・レバント 3 単点(lavantarse)v.pr 立ち上がった 「動詞句」

彼は、皿と少し残っていた冷めた腸詰を押しつけた。

Apartó los platos y la poca morcilla fría que habíamos dejado. 「動詞」「目的語」
 Apartó アパート 3 単点(apartar)v.t 押しつけた 「動詞」
 los platos ロス・プラトス pl.n.m 皿を 「目的語」
 y イ conj. そして
 la poca morcilla fría ラ・ポカ・モルジヤ・フリャ n.f 少しばかりの冷めた腸詰を 「目的語」
 que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 habíamos dejado. アビアモス・デハト 1 複線・完了形(dejar)
 v.t 残しておいた 「動詞句」

蠟引きのテーブルクロスを入念に拭いた。

Limpió cuidadosamente el hule de la mesa. 「動詞」「副詞」「目的語」
 Limpió リンピオ 3 単点(limpiar)v.t 拭いた 「動詞」
 cuidadosamente クイタド・サメンテ adv. 入念に、注意深く 「副詞」
 el hule エル・ウレ n.m オイルクロスを、蠟引きのクロスを 「目的語」
 de la mesa. デ・ラ・メサ adj. テーブルの 「形容詞句」

Primera parte 第1部

彼はナイトテーブルの引き出しから、方眼入りの紙を1枚と、黄色い封筒、赤い木のペン軸、それに紫色のインクが入った四角いインク瓶を取り出した。

Sacó de un cajón de la mesa de noche una hoja de papel cuadriculado, un sobre amarillo, un pequeño cortaplumas de madera roja y un tintero cuadrado con tinta violeta.

「動詞」「副詞句」「目的語」

Sacó サ 3 単点(sacar)v.t 取り出した 「動詞」

de un cajón デ・ウン・カホン adv. 引き出しから 「副詞句」

de la mesa de noche デ・ラ・メサ・デ・ノチェ adj. ナイトテーブルの 「形容詞句」

una hoja de papel ウナ・ホハ・デ・パペル n.f 紙を1枚 「目的語」

cuadriculado, クワドリクラト adj.m 方眼の入った 「形容詞：paper」

un sobre ウン・ソブレ n.m 封筒を、小さな袋 「目的語」

amarillo, アマリジョ adj. 黄色い 「形容詞」

un pequeño cortaplumas ウン・ペケニョ・コルタブルマス n.m 小さいペン軸を 「目的語」

→ portaplumas ポルタブルマス n.m (単複同形)「ペン軸」の間違いと思われる

cortaplumas コルタブルマス n.m (単複同形) ポケットナイフ

de madera roja デ・マデラ・ロハ adj. 赤い木の 「形容詞句」

y イ conj. そして

un tintero ウン・チンテロ n.m インク瓶を 「目的語」

cuadrado, クワドラト adj. 四角の 「形容詞」

con tinta violeta. コン・チンタ・ビオleta adv. 紫色のインクが入った 「副詞句」

フランス語原文では : ペン軸 である。

un petit porte-plume de bois rouge 「木でできた赤色のちいさなペン軸」



Primera parte 第1部

彼がその女の名前を言った時、僕は、相手がモール人だと分かった。僕は手紙を書いた。

Quando me dijo el nombre de la mujer vi que era mora. Hice la carta.

「副詞節」, 「動詞」 「目的語」 | 「動詞」 「目的語」

Quando クワント conj. ～するとき

「副詞節」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

dijo ディホ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

el nombre エル・ナンブレ n.m 名前を

「直接目的語」

de la mujer デ・ラ・ムヘール adj. その女の

「形容詞句」

vi ヴィ 1 単点(ver)v.t 分かった、理解した

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

era エラ 3 単線(ser)v.i ～である

「動詞」

mora. モラ n.f(moro) モーロ人、モール人

「補語」

Hice 他 1 単点(hacer)v.t (手紙を) 書いた

「動詞」

la carta. ラ・カルタ n.f 手紙を

「目的語」

モーロ人、モール人～北西アフリカのイスラム教徒を指す呼称。

僕はやや思いつくままに手紙を書いた。しかしレーモンを満足させないという理由がないので、努めて彼が喜ぶように書いた。

La escribí un poco al azar, pero traté de contentar a Raimundo porque no tenía razón para no dejarlo contento.

「目的語」 「動詞」 「副詞句」 ,pero 「動詞句」 「目的語」 「副詞節」

La ラ pron.f(carta の代用) 手紙を

「目的語」

escribí エスクリビ 1 単点(escribir)v.i 書いた

「動詞」

un poco al azar, ウン・ポコ・アル・アサル adv. やや思いつくままに

「副詞句」

pero ペロ conj. しかし

traté de contentar トラレ・デ・コンテンタル 1 単点・試行(tratar de+不定詞)

v.t 喜ばせようとした

「動詞句」

a Raimundo ア・ライムント n.m レーモンを

「目的語」

porque ボルケ conj. ～なので

「副詞節」

no tenía ノ・テニア 1 単線・否定(tener)v.t ～が無い

「動詞句」

razón ラソン n.f 理由

「目的語」

para +不定詞 パラ 不定詞・理由 adv. ～するという

「形容詞句」

no dejarlo ノ・デハル・ロ 不定詞・否定(dejar+lo)

v.t(VOC O を C の) ままにしない

「動詞句」

contento. コンテント adj. 満足した

「補語」

Primera parte 第1部

それから僕は、いま書いた手紙を大きな声を出して読んだ。

Luego leí la carta en alta voz. 「副詞」「動詞」「目的語」「副詞句」
 Luego ルエゴ^ㇰ adv. それから 「副詞」
 leí レイ 1 単点(leer)v.t 声を出して読んだ 「動詞」
 la carta ラ・カルタ n.f その手紙を 「目的語」
 en alta voz. エン・アルタ・ボス^ㇰ adv. 大きな声で 「副詞句」

彼は僕が読んでいるのを、タバコを吸って、うなずきながら聞いた後で、もう一度その手紙を読んでほしいとせがんだ。

Me escuchó fumando y asintiendo con la cabeza, y me pidió que la relejera.
 「目的語」「動詞」「副詞句」 y 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
 Me メ pron 僕の読むことを 「目的語」
 escuchó エスクチョ^ㇰ 3 単点(escuchar)v.t 聞いていた 「動詞」
 fumando フマント^ㇰ 現在分詞(fumar)adv. タバコを吸いながら 「副詞」
 y イ conj. そして
 asintiendo アシンチエント^ㇰ 現在分詞(asintir)adv. 同意を示して 「副詞句」
 con la cabeza, コン・ラ・カベサ^ㇰ adv. (手段) 頭を振って 「副詞句」
 asintir con la cabeza → うなずく
 y イ conj. そして
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 pidió ピデーヨ^ㇰ 3 単点(pedir)v.t 頼んだ 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 主節が「願望・依頼・勧告・命令・許可・禁止」などを表すときは、接続法を用いる。
 la ラ pron (la carta の代用) その手紙を 「目的語」
 relejera. レレジェラ^ㇰ 接・1 単過・願望(releer)v.t 再び読む 「動詞」

彼は、手紙の出来にすっかり満足した。

Quedó enteramente contento. 「動詞」「補語」
 Quedó ケト^ㇰ 3 単点(quedar)v.i ～の状態になった 「動詞」
 enteramente エンテラメンテ^ㇰ adv. かんぜんに 「副詞」
 contento. コンテント adj.m 満足した 「補語」
 出来(でき) :
 出来(上がり) ぐあいや、物事の成績。

Primera parte 第1部

彼は僕に言った：「思っていた通り、お前さんは、人生ってものをよく知っている」

Me dijo: "Sabía que tú conocías la vida." 「間接目的語」「動詞」：《「動詞」「目的語」》

Me メ pron 僕に 「間接目的語」

dijo: ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

"Sabía サビア 1 単線(saber)v.t 分かっていた 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

tú トゥ pron 君は 「主語」

conocías コノシアス 2 単線(conocer)v.t 知っている 「動詞」

la vida." ラ・ビダ n.f 人生を 「目的語」

最初のうちは、彼が親しげな口ぶりになっていることに気づかなかった。

Al principio no advertí que me tuteaba. 「副詞句」「動詞句」「目的語」

Al principio アル・プリンシピオ adv. 最初のうちは 「副詞句」

no advertí ノ・アドベルティ 1 単点・否定(advertir)v.t ～に気づかなかった 「動詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

me メ pron メ pron 僕に 「目的語」

tuteaba. トゥテアバ 3 単線(tutear)v.t 親しげに話しかける 「動詞」

tutear ～に tu を使って話しかける → 親しそうに話す

彼が僕に、「これでお前さんは本当の仲間だ」と、言った時に初めて、僕は気が付いた。

Sólo cuando me declaró: "Ahora eres un verdadero camarada, me llamó la atención.

「副詞節」：《「動詞」「副詞」「補語」》, 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Sólo cuando ソロ・クワント conj. ～するときにはじめて 「副詞節」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

declaró: デクラロ 3 単点(declarar)v.t 明言した 「動詞」

"Ahora アハラ adv. 今、これで 「副詞」

eres エレス 2 単現(estar)v.i ～である 「動詞」

un verdadero camarada, ウン・ベルダデロ・カマラダ n.m 本当の仲間 「補語」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

llamó ジャモ 3 単点(llamar)v.t 呼び起こした 「動詞」

la atención. ラ・アテンシオン n.f 注意を 「直接目的語」

→ 僕は気づいた

Primera parte 第1部

彼がその言葉を繰り返したので、僕は「そうだな」と答えた。彼の仲間になるのは、自分としてはどうしてもよかったのだが、彼は本当にそれを望んでいるようだった。

Repitió la frase, y dijo: "Sí." Me era indiferente ser su camarada y él realmente parecía desearlo.

「動詞」「目的語」 y 「動詞」「応答」

「間接目的語」「動詞」「補語」「主語」 y 「主語」「副詞」「動詞句」

Repitió レピティó 3 単点(repetir)v.t 繰り返した 「動詞」

la frase, ラ・フラセ n.f その言葉を 「目的語」

y イ conj. そして

dijo: ディョ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

"Sí." シ adv. (肯定) そうだな 「応答」

Me メ pron 自分にとっては 「間接目的語」

era エラ 3 単線(estar)v.i 〜だった 「動詞」

indiferente インディフェレンテ adj. どちらでもよい 「補語」

ser セル 不定詞 n. 〜になることは 「主語」

su camarada ス・カマラダ n.m 彼の仲間 「補語」

y イ conj. そして

él エル pron 彼は 「主語」

realmente レアルメンテ adv. 本当に 「副詞」

parecía desearlo. パレシア・デセアル・ロ 3 単線・推測(parecer+不定詞)

v.i それを望んでいるようだった 「動詞句」

彼が封筒に封をしてから、二人でワインを空にした。

Cerró el sobre y terminamos el vino. 「動詞」「目的語」 y 「動詞」「目的語」

Cerró セロ 3 単点(cerrar)v.t 閉めた 「動詞」

el sobre エル・ソブレ n.m 封筒を 「目的語」

y イ conj. そして

terminamos テルミナモス 1 複点(terminar)v.t 終わらせた 「動詞」

el vino. エル・ビーノ n.m ワインを 「目的語」

それからしばらく、何も話さずに、タバコを吸っていた。

Luego quedamos un momento fumando sin decir nada.

「副詞」「動詞句」「副詞句」「動詞句」「副詞句」

Luego ルエゴ adv. それから 「副詞」

quedamos ...fumando ケダモス...フマント 1 複点・継続(quedar+現在分詞)

v.i タバコを吸っていた 「動詞句」

un momento ウン・モメント adv. しばらく、少しの間 「副詞句」

Primera parte 第1部

sin +不定詞 シン prep ～しないで 「副詞句」
 decir デシール 不定詞 v.t 話す 「動詞」
 nada. ナダ pron 何も～ない 「目的語」

外は静まり返り、通りかかった車が、ひっそり走り去る音が聞こえた。

Afuera todo estaba en calma y oímos deslizarse un auto que pasaba.

「副詞」「主語」「動詞」「補語」 y 「動詞」「補語」「目的語」
 Afuera アフエラ adv. 外は 「副詞」
 todo トド pron すべてが 「主語」
 estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ～だった 「動詞」
 en calma エン・カルマ adv. 穏やかな状態に 「補語」
 y イ conj. そして
 oímos オイモス 1 複点・知覚動詞(oír)v.t (+O+不定詞) 聞こえた 「動詞」
 deslizarse デスリサル・セ 不定詞・O の動作 v.pr こっそり逃げる、ひっそり走り去る 「補語」
 un auto ウン・アウト n.m 1 台の車が 「目的語」
 que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 pasaba. パサバ 3 単線(pasar)v.i 通過した 「動詞」

「もう遅い」と僕は言った。レーモンも同じことを思っていた。

Dije: "Es tarde." Raimundo pensaba lo mismo.

「動詞」:《「動詞」「補語」》 | 「主語」「動詞」「目的語」
 Dije: デイヘ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 "Es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」
 tarde." タルデ adj. 遅い 「補語」
 Raimundo ライムント n.m レーモンは 「主語」
 pensaba ペンサバ 3 単線(pensar)v.t 考えていた 「動詞」
 lo mismo. ロ・ミスト pron 同じことを 「目的語」

レーモンは、時間がたつのは速いと言った。ある意味では、その通りだ。

Hizo notar que el tiempo pasaba rápidamente, y, en cierto sentido, era verdad.

「動詞句」「目的語」 y 「副詞句」「動詞」「補語」
 Hizo notar イツ・ノタル 3 単点・使役(hacer+不定詞)
 v.t(que ～と) 気づかせた、言った 「動詞句」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 el tiempo エル・ティエンポ n.m 時間は 「主語」
 pasaba パサバ 3 単線(pasar)v.i (時が) 過ぎる 「動詞」

Primera parte 第1部

rápidamente, ラピダメンテ adv. 速く 「副詞」
 y, イ conj. そして
 en cierto sentido, エン・シエルト・センフト adv. ある意味では 「副詞句」
 cierto シエルト adj. (+名詞) ある... sentido センフト n.m 意味 = en este sentido
 era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」
 verdad. ベルタ n.f 真実 「補語」

僕は眠かったが、立ち上がるのが辛かった。

Tenía sueño, pero me costaba levantarme.

「動詞」「目的語」 pero 「間接目的語」「動詞」「主語」
 Tenía テニア 1 単線(tener)v.t ~があった 「動詞」
 sueño, スエニョ n.m 眠気 「目的語」
 pero ペロ conj. しかし
 me メ pron 私にとって 「間接目的語」
 costaba コスタバ 3 単線(costar)v.i (不定詞が主語 ~することは) 骨が折れた 「動詞」
 levantarme. レバンタル・メ 不定詞・主語 n. 立ち上がることは 「主語」

僕は疲れた顔つきをしていたに違いない。というのは、レーモンが僕に、気を落としちゃいけないと言ったからだ。

Debía de tener aspecto fatigado porque Raimundo me dijo que no había que dejarse abatir.

「動詞句」「目的語」「副詞節」
 Debía de tener デビエ・デ・テネル 1 単線・推定(deber de+不定詞)
 v.t (身体的特徴) をしたに違いなかった 「動詞句」
 aspecto アスペクト n.m 様子、顔つき 「目的語」
 fatigado ファチガト 過去分詞(fatigar)adj. 疲れた 「形容詞」
 porque ポルケ conj. ~なので 「副詞節」
 Raimundo ライムント n.m レーモンが 「主語」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 que ケ conj. ~ということを 「直接目的語」
 no había que +不定詞 ノ・アビエ・ケ 1 単線・禁止(haber que+不定詞)
 v. ~してはならない 「動詞句」
 dejarse abatir. デハル・セ・アバチル 不定詞・使役(dejarse+不定詞・他動詞)
 v.pr 気落ちさせられるままになる、気落ちする 「動詞句」

Primera parte 第1部

最初のうちは、僕は意味が分からなかった。

En el primer momento no comprendí.

「副詞句」「動詞句」

En el primer momento エン・ネル・プ・リメル・モメント adv. 最初のうちは、最初は

「副詞句」

no comprendí. ノ・コンプレンディ 1 単点・否定(comprender)v.t 分からなかった

「動詞句」

それで彼は、僕の母さんの葬儀について聞いているが、それはいつかは必ず訪れるものだと説明を追加した。

Me explicó entonces que se había enterado de la muerte de mamá pero que era una cosa que debía de llegar un día u otro.

「間接目的語」「動詞」「副詞」「直接目的語」 pero 「直接目的語」

Me メ pron 僕に

「間接目的語」

explicó エクスプリコ 3 単点(explicar)v.t 説明した

「動詞」

entonces エントンセス adv. それで

「副詞」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

se había enterado セ・アビア・エンテラト 3 単線・完了形(enterarse)

v.pr(de を) 知った

「動詞句」

de la muerte de mamá テ・ラ・ムエルテ・デ・ママ adv. 母さんの死を「間接目的語」

pero ペロ conj. しかし

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である

「動詞」

una cosa ウナ・コサ n.f 事

「補語」

que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

debía de llegar テ・ビエ・ア・デ・ジエガール 3 単線・推定(deber de+不定詞)

v.i 来るに違いない

「動詞句」

un día u otro. ウン・デイア・ウ・オトロ

adv. いつかは、遅かれ早かれ

「副詞句」

Primera parte 第1部

僕も、そう思った。

Era lo que yo pensaba.

「動詞」「補語」

Era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった

「動詞」

lo ロ pron それ

「補語」

que ケ pron (目的語) ~する

「形容詞節」

yo ジョ pron 僕が

「主語」

pensaba. ペンサバ 1 単線(pensar)v.t 考えていた

「動詞」

僕は立ち上がった。

Me levanté.

「動詞句」

Me levanté. メ・レバンテ 1 単点(levantarse)v.pr 立ち上がった

「動詞句」

レーモンは僕の手をしっかりと握って言った。男同士なら、理解しあえるから、いつだって話がつくんだ。

Raimundo me estrechó la mano con fuerza y me dijo que entre hombres siempre acaba uno por entenderse.

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞句」 y

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Raimundo ライムント n.m レーモンは

「主語」

me メ pron 僕の

「間接目的語」

estrechó エストレチョ 3 単点(estrechar)v.t 握りしめた

「動詞」

la mano ラ・マノ n.f 手を

「直接目的語」

con fuerza コン・フエルサ adv. 強く、しっかりと

「副詞句」

y イ conj. そして

me メ pron 僕に

「間接目的語」

dijo ディホ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

que ケ conj. ~ということを

「直接目的語」

entre hombres エントレ・オンブレス adv. (条件) 男同士なら

「副詞句」

siempre シエンプレ adv. いつでも

「副詞」

acaba アカバ 3 単現(acabar)v.i 終わる

「動詞」

uno ウーノ pron 物事は、話は

「主語」

por entenderse. ポル・エンテンデルセ adv. (理由) 理解しあえるから

「副詞句」

Primera parte 第1部

部屋を出るとき、僕はドアを閉じてから少しの間階段の踊り場の暗がりに留まっていた。

Al salir de la pieza cerré la puerta y quedé un momento en el rellano, en la oscuridad.

「副詞句」「動詞」「目的語」 y 「動詞」「副詞句」

Al salir アル・サール adv.(de から) 出るときに

「副詞句」

de la pieza テ・ラ・ピエサ adv. 部屋から

「副詞句」

pieza ピエサ n.f 部品、部屋

cerré セレ 1 単点(cerrar)v.t 閉めた

「動詞」

la puerta ラ・プエルタ n.f ドアを

「目的語」

y イ conj. そして

quedé ケデ 1 単点(quedar)v.i(en に) 留まった

「動詞」

un momento ウン・モメント adv. 少しの間

「副詞句」

en el rellano, エン・ネル・レジヤノ adv. 階段の踊り場に

「副詞句」

en la oscuridad. エン・ラ・オスクリダド adv. 暗がりの中に

「副詞句」

アパートは静かだった。階段の箱の底から、暗く湿った息吹が上がってきた。

La casa estaba tranquila y de las profundidades de la caja de la escalera subía un soplo oscuro y húmedo.

「主語」「動詞」「補語」 y 「副詞句」「動詞」「主語」

La casa ラ・カサ n.f 家は、アパートは

「主語」

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ~だった

「動詞」

tranquila トランキラ adj. 静かな

「補語」

y イ conj. そして

de テ prep ~から

「副詞句」

las profundidades ラス・フロンディダデス pl.n.f 底

「目的語」

de la caja テ・ラ・カ adj. 箱の

「形容詞句」

de la escalera テ・ラ・エスカラ adj. 階段の

「形容詞句」

subía スビア 3 単線(subir)v.i 上がってきた

「動詞」

un soplo ウン・ソプロ n.m 一吹き、息吹きが

「主語」

oscuro オスクロ adj. 暗い

「形容詞」

y イ conj. そして

húmedo. ウメド adj. 湿った

「形容詞」

Primera parte 第1部

僕の耳の中で血の脈打つ音だけしか聞こえなかった。僕はじっと動かずにいた。

No oía más que los golpes de la sangre zumbándome en los oídos y quedé inmóvil.

「動詞句」「目的語」 y 「動詞」「補語」

No oía ノ・オィア 3 単線・否定(oír)v.t 聞こえなかった

「動詞句」

más que los golpes マス・ケ・ロス・ゴルペス pl.n.m 打撃しか

「目的語」

de la sangre デ・ラ・サングレ adj. 血の

「形容詞句」

zumbándome スンバント・メ 現在分詞(zumbar+me)

adv. 僕の体の中で音を立てている

「副詞句」

en los oídos エン・ロス・オイドス adv. 耳の中で

「副詞句」

y イ conj. そして

quedé ケデ 1 単点(quedar)v.i ~のままでいた

「動詞」

inmóvil. インモビル adj. 動かない

「補語」

だが、サラマノ老人の部屋で、あの犬がかすかに唸った。

Pero en la habitación del viejo Salamano el perro gimió sordamente.

Pero 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞」

Pero ペロ conj. しかし

en la habitación エン・ラ・アビタシオン adv. 部屋で

「副詞句」

del viejo Salamano デル・ビエホ・サラマノ adj. サラマノ老人の

「形容詞句」

el perro エル・ペロ n.m あの犬が

「主語」

gimió ヒミオ 3 単点(gemir)v.i 唸った

「動詞」

sordamente. ソルタメンテ adv. ひそかに、かすかに

「副詞」

Primera parte 第1部

IV

僕は1週間ずっとよく働いた。

Trabajé mucho toda la semana.

「動詞」「副詞句」

Trabajé トラバヘ 1 単点(trabajar)v.i 働いた

「動詞」

mucho ムーチョ adv. 非常に、よく

「副詞」

toda la semana. トダ・ラ・セマナ adv. 1 週間ずっと

「副詞句」

レーモンがやって来て、あの手紙はもう出したと言った。

Raimundo vino y me dijo que había enviado la carta.

「主語」「動詞」 y 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Raimundo ライムント n.m レーモンが

「主語」

vino ビーノ 3 単点(venir)v.i やって来た

「動詞」

y イ conj. そして

me メ pron 僕に

「間接目的語」

dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

había enviado アビア・エンビアド 3 単線・完了形(enviar)v.t 送った

「動詞句」

la carta. ラ・カルタ n.f 手紙を

「目的語」

マヌエルと2度映画を見に行ったら、ところが彼はスクリーン上で何が起きているか分からなくなることがあった。

Fui dos veces al cine con Manuel, que nunca comprende lo que sucede en la pantalla.

「動詞句」「副詞句」「間接目的語」「副詞句」, 「形容詞節」

Fui フイ 1 単点(ir)v.i 行った

「動詞」

dos veces ドス・ベセス adv. 2 度

「副詞句」

al cine アル・シネ adv. 映画に

「間接目的語」

con Manuel, コン・エマヌエル adv. マヌエルと一緒に

「副詞句」

que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

nunca comprende ヌンカ・コンプレnde 2 単現・否定(comprender)

v.t 分からない(ことがある)

「動詞句」

nunca ヌンカ adv. かつて～ない → ～しないことがある

lo ロ pron ことを

「目的語」

que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

sucede セデ 3 単現(suceder)v.i 起きている

「動詞」

en la pantalla. エン・ラ・パンタジャ

Primera parte 第1部

adv. スクリーン上で

「副詞句」

僕はいつも彼に説明しなければならない。

Siempre hay que darle explicaciones.

「副詞」「動詞句」「目的語」

Siempre シエンプレ adv. いつも

「副詞」

hay que darle アイ・ケ・ダール・レ 1 単現・必要(haber que+不定詞 dar+le)

v.t (動作を) 彼に～をしなければならない

「動詞句」

explicaciones. エクスプレカシオネス pl.n.f 説明を

「目的語」

昨日は土曜日だったので、約束していた通り、マリーがやって来た。

Ayer era sábado, y María vino, como habíamos convenido.

「副詞」「動詞」「補語」 y 「主語」「動詞」「副詞節」

Ayer アジェール adv. 昨日は

「副詞」

era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった

「動詞」

sábado, サバト n.m 土曜日

「補語」

y イ conj. そして

María マリア n.f マリーが

「主語」

vino, ビノ 3 単点(venir)v.i やって来た

「動詞」

como コモ conj. ～のように

「副詞節」

habíamos convenido. アビエイモス・コンベニト 1 複現・完了形(convenir)

v.t 約束した、取り決めた

「動詞句」

彼女がすごく欲しくなった。赤と白の縞模様の素晴らしいドレスを着て、革のサンダルを履いていたからだ。

La deseé mucho porque tenía un lindo vestido a rayas rojas y blancas, y sandalias de cuero.

「目的語」「動詞」「副詞」, 「副詞節」

La ラ pron 彼女を

「目的語」

deseé デセエ 1 単点(desear)v.t 求めた

「動詞」

mucho ムチョ adv. とても

「副詞」

porque ボルケ conj. (理由) ～なので

「副詞節」

tenía テニア 3 単線(tener)v.t (自分の身に) 着ける、履く

「動詞」

un lindo vestido ウン・リント・ベススト n.m 素晴らしいドレスを

「目的語」

lindo リント adj. 素晴らしい、綺麗な vestido ベススト n.m ドレス、衣服

a rayas ア・ラヤス adj.f.pl 縞模様の

「形容詞句」

rojas y blancas, ロハス・イ・ブランカス adj.f.pl 赤と白の

「形容詞句」

y イ conj. そして

Primera parte 第1部

sandalias サンダリアス pl.n.f サンダルを

「目的語」

de cuero. デ・クエロ adj. (材料) 革の

「形容詞句」

服の上からうっすらと彼女の引き締まった乳房が見えた。日に焼けた顔は花のようだった。

Se adivinaban sus senos firmes, y el tostado del sol le daba un rostro de flor.

「動詞句」「主語」 y 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Se adivinaban セ・アディバナン 3 複線・再帰受動(adivinarsen)

v.pr うっすらと見えていた

「動詞句」

sus senos firmes, スス・セノス・フィルメス pl.n.m 引き締まった乳房が

「主語」

seno セノ n.m 乳房 firme フィルメ adj. ぐらつかない、引き締まった

y イ conj. そして

el tostado del sol エル・トスタド・デル・ソル n.m 日に焼けた顔は

「主語」

le レ pron 彼女に

「間接目的語」

daba ダバ 3 単線(dar)v.t 与えていた

「動詞」

un rostro ウン・ロストロ n.m 表情を

「直接目的語」

de flor. デ・フロール adj. 花の

「形容詞句」

僕たちはバスに乗って、アルジェから数キロの、岩の間に挟まれ、岸辺の縁がアシで取り囲まれた浜辺に行った。

Tomamos un autobús y fuimos a algunos kilómetros de Argel a una playa encerrada entre rocas y rodeada de cañaverales del lado de la ribera.

「動詞」「目的語」 y 「動詞」「副詞句」「間接目的語」

Tomamos トマモス 1 複点(tomar)v.t (公共の乗り物に) 乗った

「動詞」

un autobús ウン・アウトバス n.m バスに

「目的語」

y イ conj. そして

fuimos フイモス 1 複点(ir)v.i 行った

「動詞」

a algunos kilómetros de Argel ア・アルグ・ノス・キロメトロス・デ・アルヘル

adv. (地点) アルジェから数キロの

「副詞句」

a una playa ア・ウナ・プラジャ adv. 浜辺に

「間接目的語」

encerrada エンセラダ 過去分詞・受動(encerrar)adj.f 〜に囲まれた 「形容詞句」

entre rocas エントレ・ロカス adv. 岩の間に

「副詞句」

y イ conj. そして

rodeada ロデアダ 過去分詞・受動(rodear)adj.f 〜に取り囲まれた 「形容詞句」

de cañaverales デ・カニャベラレス adv. (動作主) アシで 「副詞句」

del lado de la ribera. デル・ラド・デ・ラ・リベラ

adv. 岸辺の縁が

「副詞句」

Primera parte 第1部

午後4時の太陽はそれほど熱くなかった。それでも水はぬるくて、細長く、ゆったりとした小さな波が打ち寄せていた。

El sol de las cuatro no calentaba demasiado, pero el agua estaba tibia, con pequeñas olas alargadas y perezosas.

「主語」「動詞句」「副詞」,pero「主語」「動詞」「補語」「副詞句」

El sol エル・ソル n.m 太陽は 「主語」

de las cuatro デ・ラス・クワトロ adj. (限定) (午後) 4時の 「形容詞句」

no calentaba ノ・カレンタバ 3単線・否定(calentar)v.i 熱を出していなかった 「動詞句」

demasiado, デ・マシアト adv. (否定文で) それほど 「副詞」

pero ペロ conj. しかし

el agua エル・アグア n.m 水は 「主語」

estaba エスタバ 3単線(estar)v.i ~だった 「動詞」

tibia, チビア adj.f(tibio) ぬるい、温かい 「補語」

con コン prep (状況) ~と伴って 「副詞句」

pequeñas olas ペ・ケニャス・オラス pl.n.f 小さい波 「目的語」

alargadas アラルガダス adj.f.pl 細長い 「形容詞」

y イ conj. そして

perezosas. ペ・レソサス adj.f.pl ぐずぐずとした 「形容詞」

マリーは僕に遊びを教えてくれた。

María me enseñó un juego. 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

María マリア n.f マリーは 「主語」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

enseñó エンセンニョ 3単点(enseñar)v.t 教えた 「動詞」

un juego. ウン・フエゴ n.m 遊びを 「直接目的語」

Primera parte 第1部

泳ぎながら、波頭を口に含み、全ての泡を口の中に保ったままで、素早く仰向けになり、その泡を空に向かって噴き出すというのだ。

Al nadar había que beber en la cresta de las olas, conservar en la boca toda la espuma, y ponerse enseguida de espaldas para proyectarla hacia el cielo.

「副詞句」, 「動詞句」 「副詞句」, 「動詞句」 「副詞句」 「目的語」 y

「動詞句」 「副詞」 「補語」

Al nadar アル・ナダール adv. 泳ぐときに、泳ぎながら 「副詞句」

había que beber アビア・ケ・ベベール 1 単線・必要(haber que+不定詞)

v.t 飲まなければならなかった 「動詞句」

en la cresta エン・ラ・クレスタ adv. (波動の) 波頭で 「副詞句」

de las olas, デ・ラス・オラス adj. 波の 「形容詞句」

conservar コンセルバル 1 単線・必要(haber que+不定詞)v.t 保たなければならない 「動詞句」

en la boca エン・ラ・ボカ adv. 口の中に 「副詞句」

toda la espuma, トダ・ラ・エスプーマ n.f 全ての泡を 「目的語」

y イ conj. そして

ponerse ポネセ 1 単線・必要(haber que+不定詞)

v.pr (姿勢を) 取らなくてはならない 「動詞句」

enseguida エンセギダ adv. すぐに 「副詞」

de espaldas デ・エスパルダス adv. 仰向けに 「補語」

para +不定詞 パラ adv. (継続) そして～する 「副詞句」

proyectarla プロジェクター・ラ 不定詞 v.t それを噴出する 「動詞句」

hacia el cielo. アシア・エル・シエロ adv. 空に向かって 「副詞句」

すると、ふんわりとした泡のレース模様が出来て、空中で消えてしまったり、温かい雨のよう
に僕の顔に降りかかったりするのだ。

Se formaba entonces un encaje espumoso que se desvanecía en el aire o caía como lluvia tibia sobre la cara.

「動詞句」 「副詞」 「主語」 que 「動詞句」 「副詞句」 o 「動詞句」 「副詞句」

Se formaba セ・フォルマバ 3 単線・再帰受動(formarse)v.pr 形作られた 「動詞句」

entonces エントネス adv. すると 「副詞」

un encaje ウン・エンカヘ n.f レース (状のもの) 「主語」

espumoso エスプモソ adj. 泡立つ 「形容詞」

que ケ conj. (継続) そして～する

se desvanecía セ・デスバネシア 3 単線(desvanecerse)v.pr 消える 「動詞句」

en el aire エン・エル・アイレ adv. 空中で 「副詞句」

o オ conj. または

Primera parte 第1部

caía カイア 3 単線(caer)v.i 落ちてきた 「動詞」

como lluvia コモ・シユビア adv. 雨のように 「副詞句」

tibia チビア adj.f 温かい 「形容詞」

sobre la cara. ソブレ・ラ・カラ adv. 自分の顔の上に 「副詞句」

やがて、塩の苦みのせいで、口が焼けたように感じた。

Pero al cabo sentí la boca quemada por la amargura de la sal.

Pero 「副詞句」, 「動詞」 「目的語」 「補語」

Pero ペロ conj. しかし

al cabo アル・カボ adv. ついに、結局、やがて 「副詞句」

sentí センチ 1 単点(sentir)v.t 感じた 「動詞」

la boca ラ・ボカ n.f 口が 「目的語」

quemada ケマダ adj.f 焼けた 「補語」

por la amargura ポル・ラ・アマルグーラ adv. 苦みのせいで 「副詞句」

de la sal. デ・ラ・サル adj. 塩の 「形容詞句」

するとマリーが僕に近づいてきて、水中で僕に抱きついた。

María se me acercó entonces y se estrechó contra mí en el agua.

「主語」 「動詞句」 「副詞」 y 「動詞句」 「間接目的語」 「副詞句」

María マリア n.f マリーは 「主語」

se me acercó セ・メ・アセルコ 3 単点(acercarse+me)v.pr 僕に近づいてきた 「動詞句」

entonces エントネス adv. すると 「副詞」

y イ conj. そして

se estrechó セ・エストレチョ 3 単点(estrecharse)v.pr 抱きついた 「動詞句」

contra mí コントラ・ミ adv. 僕に 「間接目的語」

en el agua. エン・エル・アグーわ adv. 水中で 「副詞句」

自分の口を僕の口に押し当てた。

Puso su boca contra la mía.

「動詞」 「直接目的語」 「間接目的語」

Puso プソ 3 単点(poner)v.t 置いた、くっつけた 「動詞」

su boca ス・ボカ n.f 自分の口を 「直接目的語」

contra la mía. コントラ・ラ・ミア adv. 僕の口に 「間接目的語」

Primera parte 第1部

彼女の舌が、僕の焼け付いた唇を冷ましてくれた。それから僕たちは少しの間、波にもまれて転げまわった。

Su lengua refrescaba mis labios y rodamos entre las olas durante un momento.

「主語」「動詞」「目的語」 y 「動詞」「副詞句」

Su lengua ス・レングゝわ n.f 彼女の舌が 「主語」
 refrescaba レフレスカハ 3 単線(refrescar)v.t 冷やした 「動詞」
 mis labios ミス・ラビョス pl.n.m 僕の唇を 「目的語」
 y イ conj. そして
 rodamos ロダモス 1 複点(rodar)v.i 転がった 「動詞」
 entre las olas エントレ・ラス・オラス adv. 波の中で 「副詞句」
 durante un momento. ドゥランテ・ウン・モメント adv. 少しの間 「副詞句」

浜辺に上がってまた服を着た時、マリーは潤んでキラキラする目で僕を見ていた。

Cuando nos vestimos nuevamente en la playa, María me miraba con ojos brillantes.

「副詞節」, 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」

Cuando クワント conj. ～するとき 「副詞節」
 nos vestimos ノス・ベスチモス 1 複点(vestirse)v.pr 服を着た 「動詞句」
 nuevamente ヌエバメント adv. 再び 「副詞」
 en la playa, エン・ラ・プラジャ adv. 浜辺で 「副詞句」
 María マリア n.f マリーは 「主語」
 me メ pron 僕を 「目的語」
 miraba ミラバ 3 単線(mirar)v.t 見つめていた 「動詞」
 con ojos brillantes. コン・オイス・ブリジャンテス adv. 潤んで輝く目で 「副詞句」

僕は彼女にキスをした。この瞬間から、僕たちはもう何も話さなかった。

La besé. A partir de ese momento no hablamos más.

「目的語」「動詞」 | 「副詞句」「動詞句」

La ラ pron 彼女に 「目的語」
 besé. ベセ 1 単点(besar)v.t キスをした 「動詞」
 A partir de ese momento ア・パルティール・トウ・エセ・モメント adv. この瞬間から 「副詞句」
 no hablamos más. ノ・アブラモス・マス 1 複点・否定(hablar)v.i もう何も話さなかった 「動詞句」

Primera parte 第1部

彼女を抱き寄せ、急いでバスに乗り、街に戻り、僕の部屋に入り、ベッドに飛び込んだ。

La estreché contra mí y nos apresuramos a buscar un autobús, regresar, ir a casa y arrojarnos sobre la cama. 「目的語」「動詞」「副詞句」 y 「動詞句」「目的語」, 「動詞句」, 「動詞句」「間接目的語」 y 「動詞句」「間接目的語」

La ラ pron.f 彼女を 「目的語」
 estreché エストレチェ 1 単点(estrechar)v.t 抱きしめた、抱き寄せた 「動詞」
 contra コントラ prep (方向) ~に向かって 「副詞句」
 mí ミ pron 僕に 「目的語」
 y イ conj. そして
 nos apresuramos a +不定詞 ノス・アプレサモス・ア 1 複点・急ぎ(apresurarse a+不定詞)
 v. 急いで~した 「動詞句」
 buscar ブスカル 不定詞 v.t 取りに行く、乗りに行く 「動詞句」
 un autobús, ウン・アウトバス n.m バスに 「目的語」
 regresar, レグレサル 不定詞 v.i 戻る 「動詞句」
 ir イル 不定詞 v.i 行く 「動詞句」
 a casa ア・カーサ adv. 部屋に 「間接目的語」
 y イ conj. そして
 arrojarnos アロハル・ノス 不定詞(arrojarse)v.pr(sobre ~に) 飛び込む 「動詞句」
 sobre la cama. ソブレ・ラ・カマ adv. ベッドに 「間接目的語」

窓は開けたままにしておいた。僕たちの日に焼けた体の上で、夏の夜が流れ落ちていくのが感じられて気持ちよかった。

Había dejado la ventana abierta y era agradable sentir derramarse la noche de verano sobre nuestros cuerpos morenos. 「動詞句」「目的語」「補語」 y 「動詞」「補語」「主語」
 Había dejado アビ・ア・デハト 1 単線・完了形(dejar)v.t ~のままとしておいた 「動詞句」
 la ventana ラ・ベンタナ n.f 窓を 「目的語」
 abierta アビエルタ adj.f 開いた 「補語」
 y イ conj. そして
 era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」
 agradable アグラダブレ adj. 気持ちのいい 「補語」
 sentir センチル 不定詞・知覚動詞 v.t(SVO+不定詞 O が~するのを) 感じることは 「主語」
 derramarse デラマルセ 不定詞・noche の動作 v.pr こぼれる 「補語」
 la noche de verano ラ・ノチェ・デ・ベラノ n.f 夏の夜が 「目的語」
 sobre nuestros cuerpos ソブレ・ヌエストロス・クエルポス
 adv. 僕たちの体の上で 「副詞句」
 morenos. モレノス adj.pl 日に焼けた 「形容詞」

Primera parte 第1部

マリーはその日は帰らずにいたので、一緒に昼を食べようと言った。

Esa mañana María se quedó y le dije que almorzaríamos juntos.

「副詞句」「主語」「動詞句」 y 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Esa mañana エサ・マニャ n.f その日の朝は

「副詞句」

María マリア n.f マリーは

「主語」

se quedó セ・ケド 3 単点(quedarse)v.pr 帰らないでいた、留まっていた

「動詞句」

y イ conj. そして

le レ pron 彼女に

「間接目的語」

dije デイヘ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

almorzaríamos アルモルサリアモス 1 複過未・婉曲・勧誘(almorzar)

v.i 昼食を食べないか?

「動詞」

juntos. フントス adv. 一緒に

「副詞」

僕は肉を買いに降りた。

Bajé a comprar carne.

「動詞句」「目的語」

Bajé a +不定詞 バヘ・ア 1 単点・するために(bajar a +不定詞)v. ～しに降りた

「動詞句」

comprar コンブ・ラール 不定詞 v.t 買う

「動詞句」

carne. カルネ n.f 肉を

「目的語」

階段を上る時、レーモンの部屋で女の声が聞こえた。

Al subir oía una voz de mujer en la habitación de Raimundo.

「副詞句」, 「動詞」「目的語」「副詞句」

Al subir アル・スビーール adv. 上がる時に

「副詞句」

oía オイア 1 単線(oír)v.t が聞こえた

「動詞」

una voz ウナ・ボス n.f 声が

「目的語」

de mujer デ・ムヘール adj. 女の

「形容詞句」

en la habitación エン・ラ・アビタシオン adv. 部屋で

「副詞句」

de Raimundo. デ・ライムント adj. レーモンの

「形容詞句」

Primera parte 第1部

少ししてから、サラmano老人が犬を叱った。階段の木のステップで靴底と爪の物音がして、次に「薄汚い死に損ないめ！」が聞こえてから、彼らは通りへ出て行った。

Poco después, el viejo Salamano regañó al perro, oímos ruido de suelas y uñas en los peldaños de madera de la escalera y luego: "¡Cochino! ¡Carroña!" Salieron a la calle.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」, 「動詞」 「目的語」 「副詞句」 y 「副詞」 《「感嘆」》
「動詞」 「副詞句」

Poco después, ホ・コ・デ・ス・プ・エス adv. 少ししてから 「副詞句」
el viejo Salamano エル・ビ・エホ・サラmano n.m. サラmano老人が 「主語」
regañó レガニョ 3 単点(regañar)v.t. 叱った 「動詞」
al perro, アル・ペ・ロ n.m. 犬を 「目的語」
oímos オイモス 1 複点(oír)v.t. が聞こえた 「動詞」
ruido ルイト n.m. 物音 「目的語」
de suelas デ・スエラス adj. 靴底の 「形容詞句」
y イ conj. そして
uñas ウニャス adj. 爪の 「形容詞句」
en los peldaños エン・ロス・ペルダニョス adv. 段で、ステップで 「副詞句」
de madera デ・マデラ adj. (材料) 木の 「形容詞句」
de la escalera デ・ラ・エスカレラ adj. 階段の 「形容詞句」
y イ conj. そして
luego: ルエゴ adv. それから 「副詞」
"¡Cochino! ¡Carroña!" コチノ・カロニャ int. 薄汚い死に損ないめ! 「感嘆」
Salieron サリエロ 3 複点(salir)v.i (a に) 出て行った 「動詞」
a la calle. ア・ラ・カジェ adv. 通りへ 「副詞句」

その老人のことを話して聞かせると、マリーは笑った。

Conté a María la historia del viejo y se rió.

「動詞」 「間接目的語」 「直接目的語」 y 「動詞句」

Conté コンテ 1 単点(contar)v.t. 話して聞かせた 「動詞」
a María ア・マリア n.f. マリーに 「間接目的語」
la historia ラ・イストリア n.f. 話を 「直接目的語」
del viejo デル・ビ・エホ adj. その老人の 「形容詞句」
y イ conj. そして
se rió. セ・リオ 3 単点(reírse)v.pr. 笑った 「動詞句」

Primera parte 第1部

マリーは僕のパジャマの1つを、袖を折りたたんで着ていた。

Tenía puesto uno de mis pijamas cuyas mangas había recogido. 「動詞句」「目的語」

Tenía puesto テニア・プエスト 3 単線・完了形・状態(tener+過去分詞 poner)

v.t. ～を着ていた 「動詞句」

uno de mis pijamas ウノ・デ・ミス・ピハマス n.m. 僕のパジャマの1つを 「目的語」

cuyas mangas クヤス・マンガス pron.pl (目的語) その袖を～する 「形容詞節」

cuyas クヤス adj.f.pl. その mangas マンガス pl.n.m(manga) 袖

había recogido. アビア・レコヒド 3 単線・完了形(recoger)

v.t. 折りたたんだ 「動詞句」

マリーが笑った時、彼女に対する欲望がまた湧いてきた。

Cuando rió, tuve nuevamente deseos de ella. 「副詞節」, 「動詞」「副詞」「目的語」

Cuando クワント conj. ～するとき 「副詞節」

rió, リオ 3 単点(reír)v.i. 笑った 「動詞」

tuve トゥベ 1 単点(tener)v.t (感情を) 抱いた 「動詞」

nuevamente ヌエバメント adv. また、再び 「副詞」

deseos デセオス pl.n.m 欲望 「目的語」

de ella. デ・エジャ adj. (方向) 彼女への 「形容詞句」

少し後で、僕が彼女を愛してるかと尋ねた。

Un momento después me preguntó si la amaba.

「副詞句」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Un momento después ウン・モメント・デスプエス adv. 少し後で 「副詞句」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t. 尋ねた 「動詞」

si シ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」

la ラ pron 彼女を 「目的語」

amaba. アマバ 1 単線・時制の一致(amar)v.t. 愛している 「動詞」

僕は、それは重要なことではないが、愛していないと思うと答えた。

Le contesté que no tenía importancia, pero que me parecía que no.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 pero 「直接目的語」

Le レ pron 彼女に 「間接目的語」

contesté コンテステ 1 単点(contestar)v.t. 答えた 「動詞」

que ケ conj. ～ということ 「直接目的語」

no tenía ノ・テニア 3 単線・否定(tener)v.t. ～がない 「動詞句」

Primera parte 第1部

importancia, インポルタンシア n.f	重要性	「目的語」
pero ペロ conj.	だが	
que ケ conj.	～ということを	「直接目的語」
me メ pron	自分としては	「間接目的語」
parecía パレシア 3 単線(parecer)v.i	～のように思われる	「動詞」
que no. ケ・ノ conj.	愛していないということが	「主語」
que no la amaba	の省略	

彼女は悲しそうな顔をした。しかし昼食の準備をしている時に、特に理由もなく余りにもけなげに笑うので、僕は思わず彼女にキスをした。

Pareció triste. Mas al preparar el almuerzo, y sin motivo alguno, se echó otra vez a reír de tal manera que la besé.

「動詞」「補語」	Mas 「副詞句」 y 「副詞句」 「動詞句」 「副詞句」 「動詞句」 「副詞句」	
Pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i	～に見えた	「動詞」
triste. トリステ adj.	悲しい	「補語」
Mas マス conj.	(文語) しかし (= pero)	
al +不定詞 アル adv.	～している時に	「副詞句」
preparar プレパラル 不定詞 v.t	準備する	「動詞」
el almuerzo, エル・アルムエルソ n.m	昼食を	「目的語」
y イ conj.	そして	
sin motivo シン・モチボ adv.	理由なしに	「副詞句」
alguno, アルグノ adj.	なんらかの	「形容詞」
se echó セ・エチョ 3 単点(echarse)v.pr	(+a+不定詞) ～し始めた	「動詞句」
otra vez オトラ・ベス adv.	再び、また	「副詞句」
a reír ア・レイール 不定詞 v.i	笑う	「動詞句」
de tal manera デ・タル・マネラ adv.	余りにもけなげに	「副詞句」
de デ prep	(手段) ～によって	
tal タル adj.	それほどまでの	
manera マネラ n.f	仕方	
que ケ conj.	(tal... que その結果) ～する	「副詞節」
la ラ pron	彼女に	「目的語」
besé. ベセ 1 単点(besar)v.t	キスした	「動詞」

悲しんでいるのに笑顔を見せたことに対して心が動かされた結果の動作を表している

al +不定詞 : 同時、条件

「～する (～した) 時」を意味し、主動詞との同時性を表します。「～すれば」(条件)

(不定詞と主動詞の主語は異なっても構わない)

Nos quitamos los zapatos **al entrar en casa**. 私達は家に入る時靴を脱ぎます。

Al llegar a la estación, comenzó a llover. 駅に着いたら雨が降り出した。(主語が異なる例)

Primera parte 第1部

この時、レーモンの部屋で言い争う物音が突然起こった。

En ese momento el ruido de una disputa estalló en la habitación de Raimundo.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」

En ese momento エン・エセ・モメント adv. この時

「副詞句」

el ruido エル・ルイト n.m 物音が、騒音、騒ぎ

「主語」

de una disputa デ・ウナ・ディスプタ adj. 口論の、言い争い

「形容詞句」

estalló エスタジョ 3 単点(estallar)v.i (危機などが) 突然起こった

「動詞」

en la habitación エン・ラ・アビタシオン adv. 部屋で

「副詞句」

de Raimundo. デ・ライムント adj. レーモンの

「形容詞句」

最初に、女の甲高い声が聞こえてから、次にレーモンの声が聞こえた:「俺を騙しやがって! 俺を騙しやがって! 俺を騙したらどうなるか教えてやる」

Se oyó al principio una voz aguda de mujer y luego a Raimundo que decía: "¡Me has engañado, me has engañado! Yo te voy a enseñar a engañarme."

「動詞句」 「副詞句」 「主語」 y 「副詞」 「主語」:

《「目的語」 「動詞句」、 「目的語」 「動詞句」

「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「間接目的語」》

Se oyó セ・オジョ 3 単点・再帰受動(oírse)v.pr (音が主語) 聞こえた

「動詞句」

al principio アル・プリンシピオ adv. 最初に

「副詞句」

una voz ウナ・ボス n.f 声が

「主語」

aguda アグダ adj.f 甲高い、鋭い

「形容詞」

de mujer デ・ムヘル adj. 女の

「形容詞句」

y イ conj. そして

luego ルエゴ adv. それから

「副詞」

a Raimundo ア・ライムント n.f レーモンの声が

「主語」

que ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

decía: デシア 3 単線(decir)v.t 言っていた

「動詞」

"¡Me メ pron 俺を

「目的語」

has engañado, アス・エンガニャト 2 単現・完了形(engañar)v.t 騙した

「動詞句」

me has engañado! メ・アス・エンガニャト adv. 俺を騙したな!

「目的語」 「動詞句」

Yo ジョ pron 俺は

「主語」

te テ pron お前に

「間接目的語」

voy a enseñar ボイ・ア・エンセニャル 1 単現・近接未来(ir a+不定詞 enseñar)

v.t(a+不定詞 ~することについて) 教えてやる

「動詞句」

a engañarme." ア・エンガニャル・メ adv. 俺を騙すということについて

「間接目的語」

Primera parte 第1部

何度か鈍い物音がしてから、女が叫んだ。しかしその声があまりにも激しかったので、すぐ大勢の人が廊下に集まってきた。

Algunos ruidos sordos y la mujer aulló, pero de tan terrible manera que inmediatamente el pasillo se llenó de gente.

「主語」 y 「主語」「動詞」 pero 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」

Algunos ruidos アルグノス・ルトス pl.n.m 何度かの物音 「主語」

sordos ソルトス adj.pl 鈍い 「形容詞」

y イ conj. そして

la mujer ラ・ムヘール n.f 女が 「主語」

aulló, アウジョ 3 単点(aullar)v.i 大声を上げた、遠吠えした 「動詞」

pero ペロ conj. しかし

de tan terrible manera テ・タン・テリブレ・マネラ adv. (理由) あまりにも激しかったので「副詞句」

que ケ conj.(tan...que+直説法) それで～する

inmediatamente インメデアタメンテ adv. すぐに 「副詞」

el pasillo エル・パシジョ n.m 廊下は 「主語」

se llenó セ・ジェノ 3 単点(se llenar)v.pr (de で) いっぱいになった 「動詞句」

de gente. テ・ヘンテ adv. 人で 「副詞句」

マリーと僕も部屋の外に出た。女はずっと叫び続け、レーモンは殴り続けていた。

También María y yo salimos. La mujer gritaba sin cesar y Raimundo pegaba sin cesar.

「主語」「動詞」 | 「主語」「動詞」「副詞句」 y 「主語」「動詞」「副詞句」

También María y yo タンビエン・マリア・イ・ジョ pl.n マリーと僕も 「主語」

salimos. サモス 1 複点(salir)v.i 外に出た 「動詞」

La mujer ラ・ムヘール n.f 女は 「主語」

gritaba グリタバ 3 単線(gritar)v.i 叫んでいた 「動詞」

sin cesar シン・セサル adv. 休みなく、ずっと 「副詞句」

y イ conj. そして

Raimundo ライムント n.m レーモンは 「主語」

pegaba ペガバ 3 単線(pegar)v.t 叩っていた 「動詞」

sin cesar. adv. 休みなく、ずっと 「副詞句」

Primera parte 第1部

マリーは、ひどいと言ったが、僕は答えなかった。

María me dijo que era terrible y no respondí.

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 y 「動詞句」

María マリア n.f マリーは

「主語」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

dijo デイオ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である

「動詞」

terrible テリブレ adj. ひどい、すさまじい

「補語」

y イ conj. そして

no respondí. ノ・レスポ・ンディ 1 単点・否定(responder)v.i 答えなかった

「動詞句」

彼女は、警官を呼びに行つて欲しいと言ったが、警官は嫌いだと答えた。

Me pidió que fuese a buscar a un agente, pero le dije que no me gustaban los agentes.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」, pero 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Me メ pron 僕に

「間接目的語」

pidió ピティオ 3 単点(pedir)v.t(que ～を) 頼んだ

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

願望に対する節は、接続法を使用する

fuese a buscar フェセ・ア・ブスカール 接・1 単過・願望(ir a+不定詞)

v.t 呼びに行つて欲しい、探しに行ったら良いのだが

「動詞句」

a un agente, ア・ウン・アヘンテ n.m 警官を

「目的語」

pero ペロ conj. しかし

le レ pron 彼女に

「間接目的語」

dije デイヘ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

no ... gustaban ノ...グスタバン 3 複線・否定(gustar)

v.i (a+人 の) 気に入らない

「動詞句」

me メ pron 僕の

「間接目的語」

los agentes. ロス・アヘンテス pl.n.m 警官は

「主語」

Primera parte 第1部

それでも、配管工をしている3階の住人と一緒に、警官が到着した。

Sin embargo, llegó con el inquilino del segundo, que es plomero.

「副詞句」, 「動詞」 「副詞句」

Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. それでも

「副詞句」

llegó ジェゴ 3 単点(llegar)v.i (警官が) 到着した

「動詞」

con el inquilino コン・エル・インクリノ adv. 住人と一緒に

「副詞句」

del segundo, デル・セグント adj. adj. 3 階の

「形容詞句」

segundo piso セグント・ピソ n.m 3 階

que ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

plomero. プロメロ n.m 配管工

「補語」

警官はドアを叩いたが、もう何も聞こえなかった。

Golpeó en la puerta y no se oyó nada más.

「動詞」 「副詞句」 y 「動詞句」 「主語」

Golpeó ゴルペオ 3 単点(golpear)v.t (警官が) 叩いた

「動詞」

en la puerta エン・ラ・プエルタ adv. ドアの表面を

「副詞句」

golpear la puerta 「ドアを叩く」

y イ conj. そして

no se oyó ノ・セ・オヨ 3 単点・再帰受動・否定(oírse)v.pr (音が主語) 聞こえなかった 「動詞句」

nada más. ナダ・マス pron もうなにも~ない

「主語」

もっと強く叩くと、少ししてから女がまた泣き出して、レーモンがドアを開けた。

Golpeó con más fuerza y, al cabo de un momento, la mujer lloró otra vez y Raimundo abrió.

「動詞」 「副詞句」 y 「副詞句」 「主語」 「動詞」 「副詞句」 y 「主語」 「動詞」

Golpeó ゴルペオ 3 単点(golpear)v.t (警官が) 叩いた

「動詞」

con más fuerza コン・マス・フエルサ adv. もっと強く

「副詞句」

y, イ conj. そして

al cabo de アル・カボ・デ prep ~の後で

「副詞句」

un momento, ウン・モメント n.m 短時間

「目的語」

la mujer ラ・ムヘール n.f 女が

「主語」

lloró ジョロ 3 単点(llorar)v.i 泣いた

「動詞」

otra vez オトラ・ベス adv. また、再び

「副詞句」

y イ conj. そして

Raimundo ライムント n.m レーモンが

「主語」

abrió. アブリオ 3 単点(abrir)v.t 開けた

「動詞」

Primera parte 第1部

レーモンはタバコをくわえたままで、少しにやけた様子をしていた。女がドアに向かって突進してきて、警官に、レーモンが自分を殴ったのだと訴えた。

Tenía un cigarrillo en la boca y el aire dulzón. La muchacha se precipitó hacia la puerta y declaró al agente que Raimundo le había pegado.

「動詞」「目的語」「副詞句」 y 「目的語」

「主語」「動詞句」「副詞句」 y 「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

Tenía テニア 3 単線(tener)v.t. ～があった、(様子をして) していた 「動詞」
 un cigarrillo ウン・シガリジョ n.m. タバコを 「目的語」
 en la boca エン・ラ・ボカ adv. 口に 「副詞句」
 y イ conj. そして
 el aire エル・アイレ n.m. 様子を 「目的語」
 dulzón. ドゥアルゾン adj.(= dulzarró) 甘ったるい、にやけた 「形容詞」
 La muchacha ラ・ムチャチャ n.f. 女は 「主語」
 se precipitó セ・プレシト 3 単点(precipitarse)v.pr. 突進してきた 「動詞句」
 hacia la puerta アシア・ラ・プエルタ adv. (方向) ドアの方に 「副詞句」
 y イ conj. そして
 declaró デクラロ 3 単点(declarar)v.t. はっきりと言った 「動詞」
 al agente アル・アヘンテ adv. 警官に 「間接目的語」
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 Raimundo ライムント n.m. レーモンが 「主語」
 le レ pron 彼女を 「目的語」
 había pegado. アビア・ペガト 3 単線・完了形(pegar)v.t. 殴った 「動詞句」

「氏名は？」と、警官が尋ねた。レーモンは答えた。

"Tu nombre", dijo el agente. Raimundo respondió.

《「問いかけ」》, 「動詞」「主語」 | 「主語」「動詞」

"Tu nombre", トゥ・ノンブレ adv. 氏名は? 「問いかけ」
 dijo ディョ 3 単点(decir)v.t. 尋ねた 「動詞」
 el agente. エル・アヘンテ n.m. 警官が 「主語」
 Raimundo ライムント n.m. レーモンが 「主語」
 respondió. レスポンディョ 3 単点(responder)v.t. 答えた 「動詞」

Primera parte 第1部

「俺に話をする時は、くわえタバコをやめろ！」と、警官が言った。

"Quítate el cigarrillo de la boca cuando me hablas", dijo el agente.

《「動詞句」「目的語」「副詞節」》, 「動詞」「主語」

"Quítate ㄱㄲ 命・2 単現(quitarse)v.pr ~をやめろ！

「動詞句」

el cigarrillo エル・シガリジョ n.m タバコを

「目的語」

de la boca デ・ラ・ボカ adj. 口の

「形容詞句」

→ くわえタバコを

cundo クワント conj. ~するときは

「副詞節」

me メ pron 俺に

「間接目的語」

hablas", アブラス 2 単現(hablar)v.i 話す

「動詞」

dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 尋ねた

「動詞」

el agente. エル・アヘンテ n.m 警官が

「主語」

レーモンはためらい、僕を見て、タバコを吸いこんだ。

Raimundo titubeó, me miró y se quedó con el cigarrillo.

「主語」「動詞」, 「目的語」「動詞」 y 「動詞句」「間接目的語」

Raimundo ライムント n.m レーモンは

「主語」

titubeó, トゥベオ 3 単点(titubear)v.i 躊躇した、ためらった

「動詞」

me メ pron 僕を

「目的語」

miró ミロ 3 単点(mirar)v.t 見た

「動詞」

y イ conj. そして

se quedó セ・ケト 3 単点(quedarse)

v.pr(con... ~を) 自分のものにした、(タバコを) 吸いこんだ

「動詞句」

con el cigarrillo. コン・エル・シガリジョ adv. タバコを

「間接目的語」

その瞬間、警官がレーモンの顔に、頬の真ん中に、分厚くて重い平手打ちを食らわせた。

Entonces el agente le cruzó la cara al vuelo con una bofetada espesa y pesada, en plena mejilla.

「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞句」

Entonces エントンス adv. その時

「副詞」

el agente エル・アヘンテ n.m 警官が

「主語」

le レ pron 彼の

「間接目的語」

cruzó クロ 3 単点(cruzar)v.t 横切らせた

「動詞」

la cara ラ・カラ n.f 顔を

「直接目的語」

al vuelo アル・ブエロ adv. すばやく、空中で → 力いっぱい

「副詞句」

con una bofetada コン・ウナ・ボフエタダ adv. (手段) 平手打ちで

「副詞句」

espesa エスパサ adj. 分厚い

「形容詞」

Primera parte 第1部

y イ conj. そして

pesada, ペサダ adj. 重い

「形容詞」

en plena mejilla. エン・プレ・メジヤ adv. 頬の真ん中に

「副詞句」

フランス語では～à toute volée 「力いっぱい、勢いよく」

スペイン語では、「con toda la fuerza 力まかせに」が適当だと思われる

タバコは数メートル先に落下した。

El cigarrillo cayó algunos metros más lejos.

「主語」「動詞」「副詞句」

El cigarrillo エル・シガリジョ n.m タバコは

「主語」

cayó カ 3 単点(caer)v.i 落下した

「動詞」

algunos metros アルグノス・メトロス pl.n.m 数メートル

「副詞句」

más lejos. マス・レホス adv. 遠くへ

「副詞句」

レーモンの顔色が変わった、しかし、すぐには、何も言わなかった。

Raimundo se demudó, pero no dijo nada enseguida.

「主語」「動詞句」 pero 「動詞句」「目的語」「副詞」

Raimundo ライムント n.m レーモンは

「主語」

se demudó, セ・テムト 3 単点(demudarse)v.pr 表情が変わった

「動詞句」

pero ペロ conj. しかし

no dijo ノ・デホ 3 単点・否定(decir)v.t 言わなかった

「動詞句」

nada ナダ pron 何も～ない

「目的語」

enseguida. エンセギダ adv. すぐに、ただちに

「副詞」

少ししてから、控えめな声の調子で、吸い殻を拾ってもよいかと、尋ねた。

Luego preguntó con voz humilde si podía recoger la colilla.

「副詞」「動詞」「副詞句」「目的語」

Luego ルエゴ adv. それから、少しして

「副詞」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞」

con voz humilde コン・ボス・ウミルデ adv. 謙虚な声で

「副詞句」

si シ conj. ～かどうかということ

「目的語」

podía recoger ポデア・レコヘル 3 単線・可能(poder+不定詞)v.t 拾ってよい

「動詞句」

la colilla. ラ・コリジャ n.f (タバコの) 吸い殻を

「目的語」

Primera parte 第1部

警官は、拾ってもよいと答えてから、さらに付け加えた：「だがこの次は、警官はただの木
偶の坊ではないということを覚えておけ」

El agente respondió que sí y agregó: "Pero la próxima vez sabrás que un agente no es un
monigote." 「主語」「動詞」「目的語」 y 「動詞」：《Pero 「副詞句」「動詞」「目的語」》

El agente エル・アヘンテ n.m 警官は 「主語」

respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t (que と) 答えた 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

sí シ adv. (拾って) よろしい 「応答」

y イ conj. そして

agregó: アグレゴ 3 単点(agregar)v.t 言い足した 「動詞」

"Pero ペロ conj. しかし

la próxima vez ラ・プ ロキシマ・ベス n.f この次は 「副詞句」

sabrás サブラス 2 単未・命令(saber)v.t 覚えておけ 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

un agente ウン・アヘンテ n.m 警官は 「主語」

no es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i ～でない 「動詞」

un monigote." ウン・モノゴテ n.m 操り人形 「補語」

木偶の坊 でくのぼう :

人形。あやつり人形。役に立たない人。気のきかない人。

その間も、女は泣き続け、繰り返し言った：「こいつが私を殴ったんだ！ ひもなんだ！」

Mientras tanto, la muchacha lloraba y repetía: "¡Me golpeó! ¡Es un rufián!"

「副詞句」, 「主語」「動詞」 y 「動詞」：《「目的語」「動詞」 | 「動詞」「補語」》

Mientras tanto, ミエントラス・タント adv. その間 「副詞句」

la muchacha ラ・ムチャチャ n.f 女は 「主語」

lloraba ジョラバ 3 単線(llorar)v.i 泣いていた 「動詞」

y イ conj. そして

repetía: レパチア 3 単線(repetir)v.t 繰り返していた 「動詞」

"¡Me メ pron 私を 「目的語」

golpeó! ゴルペオ 3 単点(golpear)v.t 叩いた 「動詞」

¡Es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

un rufián!" ウン・ルフィアン n.m (女の) ひも 「補語」

Primera parte 第1部

「お巡りさん！」と、その時、レーモンが尋ねた。「法律じゃあ、人のことを“ひも”なんて呼ぶことを許しているんですか？」

"Señor agente", preguntó entonces Raimundo, "¿permite la ley que se llame rufián a un hombre?" 《「呼びかけ」》, 「動詞」「副詞」「主語」, 《「動詞」「主語」「目的語」》

"Señor agente", ネョール・アヘンテ n.m お巡りさん 「呼びかけ」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

entonces エントネス adv. その時、それで 「副詞」

Raimundo, ライムント n.m レーモンが 「主語」

"¿permite ヘルミテ 3 単現・疑問文(permitir)v.t 許すのか? 「動詞」

la ley ラ・レイ n.f 法律は 「主語」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

主節が「願望・依頼・勧告・命令・許可・禁止」など意志を表す時は、接続法を使う。

se セ pron こいつが 「主語」

llame ジャメ 接・3 単現(llamar)v.t 呼ぶ 「動詞」

rufián ルフィアン n.m ひもと 「補語」

a un hombre?" ア・ウン・オンブレ n.m 人のことを 「目的語」

しかし警官が彼に命じた：「その口を閉じろ！」

Pero el agente le ordenó "cerrar el pico."

Pero 「主語」「間接目的語」「動詞」《「直接目的語」》

Pero ペロ conj. しかし

el agente エル・アヘンテ n.m 警官が 「主語」

le レ pron 彼に 「間接目的語」

ordenó オルデノ 3 単点(ordenar)v.t 命じた 「動詞」

n. ～ということを 「直接目的語」

"cerrar セラール 不定詞・命令 v.t 閉じろ！ 「動詞」

el pico." エル・ピコ n.m (軽蔑) その口を 「目的語」

レーモンは女の方に振り向いて、言った：「おい、お前！楽しみにしている！いずれまた会うことになるだろう」

Raimundo se volvió entonces hacia la muchacha y le dijo: "Espera, chiquita, ya nos volveremos a encontrar."

「主語」「動詞句」「副詞句」y「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Raimundo ライムント n.m レーモンは 「主語」

se volvió セ・ボルビョ 3 単点(volverse)v.pr 振り返った 「動詞句」

entonces エントネス adv. その時、それで、すると 「副詞」

Primera parte 第1部

hacia la muchacha ハシア・ラ・ムチャチャ adv. 女の方に 「副詞句」
 y イ conj. そして
 le レ pron 女に 「間接目的語」
 dijo: ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 n. ～ということを 「直接目的語」
 "Espera, エスペラ 命・2 単現(esperar)v.t 期待している！ 「動詞」
 chiquita, チキタ n.f おいお前 「呼びかけ」
 ya ヤー adv. (+未来形) いずれ 「副詞」
 nos volveremos a encontrar." ノス・ホルベレモス・ア・エンコントラール 1 複未・再会(volver a+不定詞)
 v.pr(encontrarse) また会うことになるだろう 「動詞句」
 volver a+不定詞 「再び～する」 encontrarse 「互いに出会う」

警官はレーモンに黙れと言った。それから、女は帰りなさい、そしてレーモンは警察署から召喚されるまで部屋にいなさいと付け加えた。

El agente le dijo que se callara, que la muchacha debía marcharse y él permanecer en la habitación aguardando que la comisaría lo citara.

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」, 「直接目的語」

El agente エル・アヘンテ n.m 警官は 「主語」
 le レ pron 彼に 「間接目的語」
 dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 se callara, セ・カジャラ 接・3 単過・命令・時制の一致(callarse)
 v.pr 黙っている 「動詞句」
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 la muchacha ラ・ムチャチャ n.f 女は 「主語」
 debía marcharse デビ・ア・マルチャルセ 3 単線・義務・指示・時制の一致(deber+不定詞)
 v.pr 帰りなさい 「動詞句」
 y イ conj. そして
 él エル pron レーモンは 「主語」
 permanecer ペルマネセル 3 単線・義務・指示・時制の一致(deber+不定詞)
 v.i 留まりなさい 「動詞句」
 en la habitación エン・ラ・アビタシオン adv. 部屋の中に 「副詞句」
 aguardando アグアルダント 現在分詞(aguardar)adv. ～を待つ 「副詞句」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 la comisaría ラ・コミサリア n.f 警察署が 「主語」
 lo ロ pron 彼を 「目的語」

Primera parte 第1部

citara. シタラ 接・3 単過(citar)v.t 召喚する 「動詞」

レーモンが体が震えるほど酔っ払っているのは恥ずべきことだ、と警官は付け加えた。

Agregó que Raimundo debería de sentirse avergonzado de estar borracho al punto de temblar como lo hacía. 「動詞」「目的語」

Agregó アグレコ 3 単点(agregar)v.t (警官は) 付け加えた 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

Raimundo ライムント n.m レーモンは 「主語」

debería de +不定詞 デベリア・デ 3 単過未・推定・義務(deber de+不定詞)

v. ～するべきだろう 「動詞句」

sentirse センチル 不定詞 v.pr (自分を～だと) 感じる 「動詞句」

avergonzado de +不定詞 アベルゴソト・デ 過去分詞(avergonzar de+不定詞)

adj. ～することを恥ずかしく思う 「補語」

estar エスタル 不定詞 v.i ～である 「動詞」

borracho ボラチョ adj. 酔った 「補語」

al punto de temblar アル・プト・デ・テンブラール

adv. 震えるまで 「副詞句」

como lo hacía. コモ・ロ・アシア adv. そんなにも 「副詞句」

そこでレーモンは説明した：「俺は酔っっちゃあいせんよ。お巡りさんの前にいると、自分の意思とは関係なく震えてしまうんだ」

Entonces Raimundo le explicó: "No estoy borracho, señor agente. Estoy aquí, delante de usted, y tiemblo contra mi voluntad."

「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞」:

《「動詞句」「補語」, 「呼びかけ」 | 「動詞」「副詞句」 y 「動詞」「副詞句」》

Entonces エントンス adv. そこで 「副詞」

Raimundo ライムント n.m レーモンは 「主語」

le レ pron 警官に 「間接目的語」

explicó: エクスプリコ 3 単点(explicar)v.t 説明した 「動詞」

"No estoy ノ・エストイ 1 単現・否定(estar)v.i ～でない 「動詞」

borracho, ボラチョ adj. 酔った 「補語」

señor agente. セニョール・アヘンテ n.m お巡りさん 「呼びかけ」

Estoy エストイ 1 単現(estar)v.i ～にいる 「動詞」

aquí, アキ adv. ここに 「副詞」

delante de usted, デラnte・デ・ウステ adv. あんたの前に 「副詞句」

y イ conj. そして

Primera parte 第1部

tiemblo ティエンブ^ロ 1 単現(temblar)v.i 震える 「動詞」
 contra mi voluntad." コントラ・ミ・ボルタ^ダ adv. 自分の意思に反して 「副詞句」

レーモンがドアを閉めると、皆は立ち去った。マリーと僕は昼食の支度を終えた。

Cerró la puerta y todos se fueron. María y yo concluimos de preparar el almuerzo.

「動詞」「目的語」 y 「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」「目的語」

Cerró セロ 3 単点(cerrar)v.t 閉めた 「動詞」
 la puerta ラ・プエルタ^ダ n.f ドアを 「目的語」
 y イ conj. そして
 todos ト^ス pron.pl 皆は 「主語」
 se fueron. セ・フエ^{ロン} 3 複点(irse)v.pr 立ち去った 「動詞句」
 María y yo マリア・イ・ジョ^ヨ pl.n マリーと僕は 「主語」
 concluimos de preparar コンクルイモス・デ・プレパ^{ラール} 1 複点・終了(concluir de+不定詞)
 v.t 準備を終えた 「動詞句」
 el almuerzo. エル・アルムエルソ^ソ n.m 昼食 「目的語」

しかしマリーは食欲がなかったので、僕がほとんど全部食べた。1時にマリーが帰り、僕は少し眠った。

Pero ella no tenía hambre; yo comí casi todo. A la una se fue y dormí un poco.

Pero 「主語」「動詞句」「目的語」; 「主語」「動詞」「目的語」

「副詞句」「動詞句」 y 「動詞」「副詞句」

Pero ペ^ロ conj. しかし
 ella エジャ^ャ pron マリーは 「主語」
 no tenía ノ・ティエネ^ネ 3 単線・否定(tener)v.t なかった 「動詞句」
 hambre; アンブレ^レ n.f 空腹感、食欲 「目的語」
 yo ジョ^ヨ pron 僕が 「主語」
 comí コミ 1 単点(comer)v.t 食べた 「動詞」
 casi todo. カシ・ト^ト pron ほとんどすべてのものを 「目的語」
 A la una ア・ラ・ウナ^ナ adv. (時刻) 1時に 「副詞句」
 se fue セ・フエ^エ 3 単点(irse)v.pr 帰った、立ち去った 「動詞句」
 y イ conj. そして
 dormí ドルミ^ミ 1 単点(dormir)v.i 眠った 「動詞」
 un poco. ウン・ポコ^コ adv. 少し 「副詞句」

Primera parte 第1部

3 時頃、僕の部屋のドアをノックする音が聞こえて、レーモンが入って来た。僕は横になっ
たままだった。彼はベッドの縁に座った。

A eso de las tres llamaron a mi puerta y entró Raimundo. Me quedé acostado. Se sentó en el borde de la cama.

「副詞句」「動詞」「間接目的語」 y 「動詞」「主語」

「動詞句」「補語」 | 「動詞句」「副詞句」

A eso de ア・エソ・デ prep (時刻) ～時ごろ

「副詞句」

las tres ラス・トレス pl.n.f 3 時

「目的語」

llamaron ジャマロン 3 複点(llamar)

v.i (戸口で) 誰かがノックしていた、ノックの音がした

「動詞」

a mi puerta ア・ミ・プ エルタ adv. (地点) 僕の部屋のドアを

「間接目的語」

y イ conj. そして

entró エントロ 3 単点(entrar)v.i 入って来た

「動詞」

Raimundo. ライムント n.m レーモンが

「主語」

Me quedé メ・ケデ 1 単点(quedarse)v.pr ～のままでいた

「動詞句」

acostado. アコスタド 過去分詞・受動(acostar)adj. 横になった

「補語」

Se sentó セ・セント 3 単点(sentarse)v.pr 座った

「動詞句」

en el borde エン・エル・ボルデ adv. (場所) 縁に

「副詞句」

de la cama. デ・ラ・カマ adj. ベッドの

「形容詞句」

彼が何も言わないでいるので、僕は例の件はどうなっているのか、と尋ねた。

Quedó un momento sin hablar y le pregunté cómo había ocurrido el asunto.

「動詞」「副詞句」「補語」 y 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Quedó ケド 3 単点(quedar)v.i ～のままでいた

「動詞」

un momento ウン・モメント adv. 少しの間

「副詞句」

sin hablar シン・アブラール adv. (様態) 何も言わないで

「補語」

y イ conj. そして

le レ pron 彼に

「間接目的語」

pregunté プレグンテ 1 単点(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞」

cómo コモ adv. どの様であるかということ

「直接目的語」

había ocurrido アビ・ア・オクリト 3 単線・完了形(ocurrir)

v.i 起きた、事態が進行した

「動詞句」

el asunto. エル・アスト n.m 例の件は

「主語」

Primera parte 第1部

彼は自分が希望していた通りに事が運んだが、女が彼に強烈な平手打ちを食らわしたので、彼も女を殴った、と僕に聞かせてくれた。

Me contó que había hecho lo que quería, pero que ella le había dado un bofetón y entonces él le había pegado. 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」,pero 「直接目的語」
 Me メ pron 僕に 「間接目的語」
 contó コント 3 単点(contar)v.t 語った、話して聞かせた 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 había hecho アビ・ア・エチョ 3 単線・完了形(hacer)v.t ～をした 「動詞句」
 lo ロ pron 事を 「目的語」
 que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 quería, ケリア 3 単線(querer)v.t 望んでいた 「動詞」
 pero ペロ conj. しかし
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 ella エジャ pron 女が 「主語」
 le レ pron 彼に 「間接目的語」
 había dado アビ・ア・ダト 3 単線・完了形(dar)v.t 与えた 「動詞句」
 un bofetón ウン・ボフェトン n.m 強烈な平手打ちを 「直接目的語」
 y イ conj. そして
 entonces エントネス adv. それで 「副詞」
 él エル pron 彼は 「主語」
 le レ pron 彼女を 「目的語」
 había pegado. アビ・ア・ペガト 3 単線・完了形(pegar)v.t 殴った 「動詞句」

その後については、僕も既に見て分かっている。僕には、女は今のところ思い知ったように見えるから、満足するべきだと彼に言った。

En cuanto al resto, yo lo había visto. Le dije que me parecía que ahora estaba castigada y que debía de sentirse contento. 「副詞句」「主語」「目的語」「動詞句」 | 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
 En cuanto エン・クアント adv. (関連) (en cuanto a...) ～に関しては 「副詞句」
 al resto, アル・レスト n.m 残り 「目的語」
 yo ジョ pron 僕は 「主語」
 lo ロ pron それを 「目的語」
 había visto. アビ・ア・ビスト 1 単線・完了形(ver)v.t 既に見た 「動詞句」
 Le レ pron 彼に 「間接目的語」
 dije デイヘ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

Primera parte 第1部

me メ pron 僕には	「間接目的語」
parecía パレシア 3 単線(parecer)v.i ーのように見える	「動詞」
que ケ conj. ーということが	「主語」
ahora アオラ adv. 今は	「副詞」
estaba castigada エスタバ・カスチガダ 3 単線・受動.f(castigar)	
v.t 懲らしめられた	「動詞句」
y イ conj. そして	
que ケ conj. ーということが	「主語」
debía de sentirse デビ・ア・デ・センチルセ 3 単線・妥当(deber de+不定詞)	
v.pr ーだと思ふべきである	「動詞句」
contento. コンテント adj. 満足した	「補語」

彼も同じ意見だった。そして、警官は十分に任務を果たしたけれども、女が受けた打撃に変わりはないだろうと彼は指摘した。

Era también su Opinión, y observó que el agente había actuado bien, pero que no cambiaría en nada los golpes que ella había recibido.

	「動詞」「副詞」「補語」 y 「動詞」「目的語」 pero 「目的語」
Era エラ 3 単線(ser)v.i ーだった	「動詞」
también タンビエン adv. ーもまた	「副詞」
su Opinión, ス・オピニオン n.f 彼の意見	「補語」
y イ conj. そして	
observó オブセルボ 3 単点(observar)v.t(que ーと) 指摘した	「動詞」
que ケ conj. ーということを	「目的語」
el agente エル・アヘンテ n.m 警官が	「主語」
había actuado アビ・ア・アクトウアド 3 単線・完了形(actuar)	
v.t 行動した、職務を果たした	「動詞句」
bien, ビエン adv. 十分に	「副詞」
pero ペロ conj. しかし	
que ケ conj. ーということを	「目的語」
no cambiaría ノ・カンビリア 3 単過未・否定・未来の予想(cambiar)	
v.i 変わりが無いだろう	「動詞句」
en nada los golpes エン・ナダ・ロス・ゴルペス adv. 打撃について何もーない	「副詞句」
que ケ pron (目的語) ーする	「形容詞節」
ella エジャ pron 女が	「主語」
había recibido. アビ・ア・レシビト 3 単線・完了形(recibir)	
v.t 既に受けた	「動詞句」

Primera parte 第1部

彼は、警官というものをよく知っているし、彼らのあしらい方も心得ていると付け加えた。

Agregó que conocía bien a los agentes y que sabía cómo había que manejarse con ellos.

「動詞」「目的語」 y 「目的語」

Agregó アグレゴ 3 単点(agregar)v.t 言い足した 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

conocía コノシア 3 単線(conocer)v.t 知っている 「動詞」

bien ビエン adv. よく、十分に 「副詞」

a los agentes ア・ロス・アヘンテス pl.n.m 警官というものを 「目的語」

y イ conj. そして

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

sabía サビア 3 単線(saber)v.t 知っている 「動詞」

cómo コモ conj. どのように～するかということを 「目的語」

había que manejarse アビア・ケ・マネル・セ 3 単線・必要(haber que+不定詞)

v.pr 処理しなければならない 「動詞句」

con ellos. コン・エジョス adv. 彼らを 「間接目的語」

conocer と saber :

saber は事態・事柄について知識や情報を持っている。

conocer は見たり聞いたり・学習して体験的に知っている。

それから、警官の平手打ちに対して彼が打ち返すことを僕が期待したかどうかを尋ねた。

Me preguntó entonces si había esperado que respondiera al bofetón del agente.

「間接目的語」「動詞」「副詞」「直接目的語」

Me メ pron 僕に 「間接目的語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

entonces エントネス adv. それから 「副詞」

si シ conj. ～かどうかということを 「直接目的語」

había esperado アビア・エスペラト 1 単線・完了形(esperar)v.t 期待した 「動詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

respondiera レスポンデイエラ 接・3 単過・期待(responder)

v.i(a に) 応じる 「動詞」

al bofetón アル・ボフェトン adv. 平手打ちに対して 「間接目的語」

del agente. デル・アヘンテ adj. 警官の 「形容詞句」

Primera parte 第1部

僕は、何も期待していなかったし、その上、警官は嫌いだと答えた。

Contesté que no había esperado nada y que por otra parte no me gustaban los agentes.

「動詞」「目的語」 y 「目的語」

Contesté コンテスト 1 単点(contestar)v.t 答えた

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

no había esperado ノ・アビ・ア・エスペラド 1 単線・完了形・否定(esperar)

v.t 期待していなかった

「動詞句」

nada ナダ pron 何も～ない

「目的語」

y イ conj. そして

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

por otra parte ポル・オトラ・パルテ adv. 他方では、その上

「副詞句」

no ...gustaban ノ...グスタバン 3 複線・否定(gustar)v.i 気に入らない

「動詞句」

me メ pron 僕にとって

「間接目的語」

los agentes. ロス・アヘンテス pl.n.m 警官は

「主語」

レーモンはとても満足そうに見えた。一緒に外に出ないかと僕を誘った。

Raimundo pareció muy contento. Me preguntó si quería salir con él.

「主語」「動詞」「補語」 | 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Raimundo ライムント n.m レーモンは

「主語」

pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i ～のように見えた

「動詞」

muy contento. マイ・コンテンツ adj. とても満足した

「補語」

Me メ pron 僕に

「間接目的語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞」

si シ conj. ～かどうかということを

「直接目的語」

quería salir クリア・サール 1 単線・勧誘(querer+不定詞)

v.i 外に出よう

「動詞句」

con él. コン・エル adv. 彼と一緒に

「副詞句」

僕は起き上がって、髪をとかし始めた。すると彼は、証人になって欲しいと言った。

Me levanté y comencé a peinarme. Me dijo entonces que era necesario que le sirviera como testigo.

「動詞句」 y 「動詞句」 | 「間接目的語」「動詞」「副詞」「直接目的語」

Me levanté メ・レバンテ 1 単点(levantarse)v.pr ベッドから起きた

「動詞句」

y イ conj. そして

comencé a peinarme. コメンセ・ア・ペ・イナル・メ 1 単点・開始(comenzar a+不定詞)

v.pr 髪をとかしはじめた

「動詞句」

peinarse ペ・イナル v.pr (自分の)髪をとかす

Primera parte 第1部

Me メ pron 僕に	「間接目的語」
dijo ディョ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
entonces エントンス adv. それから	「副詞」
que ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である	「動詞」
necesario ネセリオ adj. 必要な	「補語」
que ケ conj. ～ということが	「主語」
le レ pron 彼に	「間接目的語」
sirviera シルビエラ 接・1 単過・假定(servir)v.i 手伝う、助ける	「動詞」
como testigo. コモ・テシゴ adv. 証人として	「副詞句」

僕としては、どちらでも良かったが、何を言わなければならないのか分からなかった。レーモンによれば、女が彼をだました、と言えば十分だということだ。僕は証人になることを引き受けた。

A mí me era indiferente, pero no sabía qué debía decir. Según Raimundo, bastaba declarar que la muchacha lo había engañado. Acepté servirle como testigo.

	「間接目的語」「動詞」「補語」 pero 「動詞句」「目的語」
	「副詞句」「動詞」「主語」 「動詞句」「副詞句」
A mí me ア・ミ・メ pron 僕にとっては	「間接目的語」
era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった	「動詞」
indiferente, インディフェレンテ adj. どちらでもよい、重要でない	「補語」
pero ペロ conj. しかし	
no sabía ノ・サビア 1 単線・否定(saber)v.t 分からなかった	「動詞句」
qué ケ pron 何を～するかということが	「目的語」
debía decir. デビア・デシル 1 単線・義務(deber+不定詞)	
v.t 言わなければならない	「動詞句」
Según Raimundo, セグン・ライムント adv. レーモンによれば	「副詞句」
bastaba バスタバ 3 単線・時制の一致(bastar)v.i(+不定詞) ～すれば十分である	「動詞」
declarar デクララル 不定詞 v.t 明言することが	「主語」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
la muchacha ラ・ムチャチャ n.f 女が	「主語」
lo ロ pron レーモンを	「目的語」
había engañado. アビア・エンガニョ 3 単線・完了形(engañar)	
v.t だました	「動詞句」
Acepté +不定詞 アセプテ 1 単点・受諾(aceptar+不定詞)	
v. ～するを引き受けた	「動詞句」

Primera parte 第1部

servirle セルビル・レ 不定詞 v.i 彼を助ける

「動詞句」

como testigo. コモ・テスチゴ adv. 証人として

「副詞句」

僕らは外に出た。レーモンが僕に強い酒をおごってくれた。それから彼はビリヤードを1勝負したいと言い出した、結果は、惜しくも僕が負けた。

Salimos, y Raimundo me ofreció un aguardiente. Luego quiso jugar una partida de billar y perdí por un pelo.

「動詞」「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

「副詞」「動詞句」「目的語」 y 「動詞」「副詞句」

Salimos, サリモス 1 複現(salir)v.i 外に出た

「動詞」

y イ conj. そして

Raimundo ライムント n.m レーモンは

「主語」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

ofreció オフレシオ 3 単点(ofrecer)v.t 提供した、おごってくれた

「動詞」

un aguardiente. ウン・アグアルデ・エンテ n.m 果汁から作った焼酎

「直接目的語」

Luego ルエゴ adv. それから

「副詞」

quiso jugar キソ・フガール 3 単点・願望(querer+不定詞)

v.t ゲームをしたがった

「動詞句」

una partida de billar ウナ・パルチダ・デ・ビシヤール n.f ビリヤードを1勝負

「目的語」

y イ conj. そして

perdí ペルディ 1 単点(perder)v.t (勝負に) 負けた

「動詞」

por un pelo. ポル・ウン・ペロ adv. 僅差で、惜しくも

「副詞句」

pelo ペロ n.m 髪、髪の毛

その後、彼は売春宿に行きたがったが、僕はその気がないので断った。

Después quería ir al burdel, pero le dije que no porque no tenía ganas.

「副詞」「動詞句」「間接目的語」 pero 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞節」

Después デスプエス adv. その後

「副詞」

quería ir クリア・イール 3 単線・願望(querer+不定詞)v.i 行きたがった

「動詞句」

al burdel, アル・ブルテル adv. 売春宿に

「間接目的語」

pero ペロ conj. しかし

le レ pron 彼に

「間接目的語」

dije テイヘ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

que no ケノ n. いや

「直接目的語」

porque ポルケ conj. ～なので

「副詞節」

no tenía ノ・テニア 1 単線(tener)v.t ～がない

「動詞句」

ganas. ガナス pl.n.f 意欲、願望

「目的語」

Primera parte 第1部

僕たちはゆっくり戻ってきたが、その間に彼は、愛人を懲らしめることができて何よりもうれいと言っていた。

Regresamos lentamente mientras me decía cuánto celebraba haber logrado castigar a su amante.

「動詞」「副詞」「副詞節」

Regresamos レグレスモス 1 複点(regresar)v.i 戻ってきた

「動詞」

lentamente レンタメンテ adv. ゆっくり

「副詞」

mientras ミエンTRAS conj. その間～する

「副詞節」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

decía デシア 3 単線(decir)v.t 話していた

「動詞」

n. ～ということを

「直接目的語」

cuánto クワント adv. どれほど

「副詞」

celebraba セレブラハ 3 単線・時制の一致(celebrar)

v.t うれしく思っている

「動詞」

haber logrado アバール・ログラト 不定詞・完了形・目的語(lograr)v.t(+不定詞)

n. ～を成し遂げたことを

「目的語」

castigar カスチガル 不定詞 n. 懲らしめることを 「目的語」

a su amante. アス・アマンテ n.f 彼の愛人を 「目的語」

レーモンは僕に対してとても親切で、楽しいひと時に思われた。

Estuvo muy amable conmigo y pensé que era un momento agradable.

「動詞」「補語」 y 「動詞」「目的語」

Estuvo エストウボ 3 単点(estar)v.i ～だった

「動詞」

muy amable ムイ・アマブレ adj. とても親切な

「補語」

conmigo コンミゴ adv. 僕に対して

「副詞句」

y イ conj. そして

pensé ペンセ 1 単点(pensar)v.t(que ～であると) 思った

「動詞」

que ケ conj. ～ということ

「目的語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である

「動詞」

un momento ウン・モメント n.m 時間、ひととき

「補語」

agradable. アグラダブレ adj. 楽しい

「形容詞」

Primera parte 第1部

遠くから、玄関口にサラmano老人がいるのが見えたが、彼は不安そうな様子だった。

Desde lejos divisé en el umbral de la puerta al viejo Salamano, que tenía aspecto agitado.

「副詞句」「動詞」「副詞句」「目的語」

Desde lejos デスデ・レホス adv. (de lejos でも可) 遠くから 「副詞句」

divisé デイビセ 1 単点(divisar)v.t. ～が (かすかに) 見えた 「動詞」

en el umbral エン・エル・ウンブラル adv. 入口に 「副詞句」

de la puerta デ・ラ・プエルタ adj. ドアの 「形容詞句」

al viejo Salamano, アル・ビエホ・サラmano n.m. サラmano老人が 「目的語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

tenía テニア 3 単線・時制の一致(tener)v.t (特徴を) している 「動詞」

aspecto アスペクト n.m. 様子を 「目的語」

agitado. アヒタド adj. そわそわした、不安そうな 「形容詞」

僕たちが近づいて行くと、彼が犬を連れていないことに気が付いた。

Cuando nos acercamos vi que no tenía consigo al perro. 「副詞節」, 「動詞」「目的語」

Cuando クワント conj. ～するとき 「副詞節」

nos acercamos ノス・アセカモス 1 複点(acercarse)v.pr 近づいた 「動詞句」

vi ビ 1 単点(ver)v.t 見えた、気付いた 「動詞」

que ケ conj. ～ということが 「目的語」

no tenía ノ・テニア 3 単線・否定・時制の一致(tener)

v.t (犬を) 連れていない 「動詞句」

consigo コンシゴ adv. 一緒に 「副詞」

al perro. アル・ペロ n.m. 犬を 「目的語」

彼はあたり全体を見回し、その場で振り返り、廊下の暗がりを見つめて、意味のない言葉をつぶやき、血走った目で再び通りをうかがっていた。

Miraba para todos lados, se volvía sobre sí mismo, trataba de perforar la oscuridad del pasillo, mascullaba palabras sueltas y volvía a escudriñar la calle con los ojos enrojecidos.

「動詞句」「副詞句」, 「動詞句」「副詞句」, 「動詞句」「目的語」,

「動詞」「目的語」 y 「動詞句」「目的語」「副詞句」

Miraba ミラバ 3 単線(mirar)v.i 視線を向けていた、見ていた 「動詞」

para パラ prep (方向) ～に向かって 「副詞句」

todos lados, トドス・ラドス pl.n.m. あらゆる場所 「目的語」

se volvía セ・ボルビエ 3 単線(volverse)v.pr 振り返った 「動詞句」

sobre sí mismo, ソブレ・シ・ミスト adv. その場で、立った場所で 「副詞句」

trataba de perforar トラタバ・デ・ペルフォラル 3 単線・試行(tratar de+不定詞)

Primera parte 第1部

v.t 穴をあけようとした	「動詞句」
la oscuridad ラ・オスクリダ n.f 暗がりに	「目的語」
del pasillo, デル・パシジョ adj. 廊下の	「形容詞句」
mascullaba マスクシヤバ 3 単線(mascullar)v.t つぶやいていた	「動詞」
palabras パラブラス pl.n.f 言葉を	「目的語」
sueitas スエルタス adj.f まとまりのない	「形容詞」
y イ conj. そして	
volvía a escudriñar ボルビヤ・ア・エスクドリニャール 3 単線・再開(volver a+不定詞)	
v.t また視線を走らせていた、また調べていた	「動詞句」
la calle ラ・カジェ n.f 通りを	「目的語」
con los ojillos コン・ロス・オヒジョス adv(ojo+ -illo [複]). 小さい両目で	「副詞句」
enrojecidos. エンロヘヒトス 過去分詞.pl(enrojecer)	
adj.pl 赤くなった、血走った	「形容詞句」

レーモンが何があったのかを尋ねても、サラマノ老人はすぐに返事をしなかった。

Quando Raimundo le preguntó qué le sucedía, no respondió inmediatamente.

	「副詞節」, 「動詞句」 「副詞」
Quando クワント conj. (譲歩) ~しても	「副詞節」
Raimundo ライムント n.m レーモンが	「主語」
le レ pron 彼に	「間接目的語」
preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた	「動詞」
qué ケ pron (主語) 何が~するかということ	「直接目的語」
le レ pron 彼に	「間接目的語」
sucedía, スセディア 3 単線(suceder)v.i 起こった	「動詞」
no respondió ノ・レスポントディア 3 単点・否定(responder)v.i 返事をしなかった	「動詞句」
inmediatamente. インメディアタメンテ adv. すぐに	「副詞」

「忌々しい死にぞこないめ」とつぶやく声がぼんやりと聞こえたが、彼は落ち着かない様子をしていた。

Oí vagamente que murmuraba: "¡Cochino! ¡Carroña!", y continuaba agitándose.

	「動詞」 「副詞」 「目的語」 y 「動詞句」
Oí オイ 1 単点(oír)v.t 聞こえた	「動詞」
vagamente バガメンテ adv. ぼんやりと、漠然と	「副詞」
que ケ conj. ~ということが	「目的語」
murmuraba: ムルムラバ 3 単線・時制の一致(murmurar)v.t つぶやく	「動詞」
"¡Cochino! コチノ adj. いまいましい	「形容詞」

Primera parte 第1部

¡Carroña!", カロニャ n.f 腐った死体

「怒声」

y イ conj. そして

continuaba agitándose. コンチヌアバ・アヒタンドセ 3 単線・継続(continuar+現在分詞)

v.pr そわそわし続けた

「動詞句」

agitarse アヒタルセ v.pr そわそわする、落ち着かないそぶりをする

犬はどこにいるのかと彼に尋ねると、いなくなってしまった、とぶっきらぼうに答えた。

Le pregunté dónde estaba el perro. Bruscamente me respondió que se había marchado.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 | 「副詞」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Le レ pron 彼に

「間接目的語」

pregunté プレグンテ 1 単点(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞」

dónde トンデ adv. どこに～するかということを

「直接目的語」

estaba エスタバ 3 単線・時制の一致(estar)v.i ～にいる

「動詞」

el perro. エルペロ n.m 犬は

「主語」

Bruscamente ブルスカメンテ adv. ぶっきらぼうに、突然

「副詞」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

se había marchado. セハビエ・マルチャド 3 単線・完了形(marcharse)

v.pr いなくなってしまった

「動詞句」

それから突然、彼は思いつくままに話した：「私はいつものように、あれを軍事演習場へ連れて行きました」

Luego, de golpe, habló con volubilidad: "Lo llevé al Campo de Maniobras como de costumbre.

「副詞句」「動詞」「副詞句」：《「目的語」「動詞」「副詞句」》

Luego, ルエゴ adv. その後は

「副詞」

de golpe, デ・ゴルペ adv. 突然

「副詞句」

habló アブロ 3 単点(hablar)v.i 話した

「動詞」

con volubilidad: コン・ボルビリダ adv. 無節操に、思いつくままに

「副詞句」

"Lo ロ pron あれを (あの犬を)

「目的語」

llevé ジェベ 1 単点(llevar)v.t(a に) 連れて行った

「動詞」

al Campo アル・カンポ adv. 陣地に

「副詞句」

de Maniobras デ・マニオブラス adj. 軍事演習の

「形容詞句」

el Campo de Maniobras エル・カンポ・デ・マニオブラス n.m 軍事演習場

como de costumbre. コモ・デ・コストゥンブレ adv. いつものように

「副詞句」

como コモ conj. ～のように de cosutmbre デ・コストゥンブレ adv. いつも (の)

Primera parte 第1部

「色んな出し物小屋の周りには、大勢の人がいました。」

Había mucha gente en torno de los kioscos de saltimbanquis.

《「動詞」「目的語」「副詞句」》

Había アビェア 3 単線(avére)v.t. ～がいた

「動詞」

mucha gente ムチャ・ヘンテ n.f. 大勢の人々が

「目的語」

en torno エン・トルノ adv. 周りには

「副詞句」

de los kioscos デ・ロス・キオスコス adj. 小屋の、売店の

「形容詞句」

de saltimbanquis. デ・サルチンバンキス

adj. (旅回りの) 軽業師たちの

「形容詞句」

「私は、立ち止まって‘縄抜け名人’を見ました」

Me detuve a mirar 'El rey de la evasión'.

「動詞句」「目的語」

Me detuve a mirar メ・デトクベ・ア・ミラル 1 単点・停止(detenerse a+不定詞)

v.pr. 立ち止まって見た

「動詞句」

'El rey エル・レイ n.m. 王様

「目的語」

de la evasión'. デ・ラ・エバシオン adj. 逃亡の

「形容詞句」

「縄抜け名人」→ 縄抜けマジックの名称

「それから先に行こうとしたら、もうそこにいなかったんです。だいぶ前から、もっと小さい首輪を買ってやろうと思ってはいたんです。」

Y cuando quise seguir no estaba más allí. Hace tiempo que estaba por comprarle un collar menos grande.

《Y「副詞節」「動詞」「副詞句」 | 「副詞句」「動詞句」「目的語」》

Y イ conj. そして

cundo クワント conj. ～するとき

「副詞節」

quise seguir キェ・セギール 1 単点・意思(querer+不定詞)

v.t (道を) 進もうとした

「動詞句」

no estaba ノ・エスタバ 3 単線・否定・存在(estar)v.i. ～いなかった

「動詞」

más allí. マス・アジ adv. もうそこには

「副詞句」

Hace tiempo que アセ・ティエンポ・ケ conj. だいぶ前から～する

「副詞句」

estaba por comprarle エスタバ・ホル・コンプ・ラル・レ 1 単線・意向(estar por+不定詞 comprar+le)

v.t. あれに～を買ってやろうと思っていた

「動詞句」

un collar ウン・コジャール n.m (犬の) 首輪を

「目的語」

menos grande. メノス・グランデ adj. より小さい

「形容詞句」

Primera parte 第1部

「でも、あの死にぞこないが、こんな風に居なくなるかもしれないなんて、一度も考えたことがありません。」

Pero jamás hubiera creído que esa carroña pudiera marcharse así."

《Pero 「動詞句」「目的語」》

Pero ペロ conj. しかし

jamás hubiera creído ハマス・ウビエラ・クレイト 接・1 単過・完了形・否定(creer)

v.t (que ～だと) 一度も思ったことがない 「動詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

esa carroña エサ・カローニャ n.f あの死にぞこないが 「主語」

pudiera marcharse プディエラ・マルチャルセ 接・3 単過・可能性・時制の一致(poder+不定詞)

v.pr 居なくなるかもしれない 「動詞句」

así." アシ adv. こんな風に 「副詞句」

レーモンは、犬は迷子になっているかもしれないので、そのうちに戻ってくるだろうと、老人に話して聞かせた。

Raimundo le explicó entonces que el perro podía haberse perdido y que iba a volver.

「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞」「直接目的語」 y 「直接目的語」

Raimundo ライムント n.m レーモンは 「主語」

le レ pron 老人に 「間接目的語」

explicó エクスプリコ 3 単点(explicar)v.t 説明した、話して聞かせた 「動詞」

entonces エントネス adv. それで 「副詞」

que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

el perro エル・ペロ n.m 犬は 「主語」

podía +不定詞・完了形 ポディア 3 単線・可能性(poder+不定詞・完了形)

v. ～したのかもしれない 「動詞句」

haberse perdido アベルセ・ペルテイト 不定詞・完了形(perderse)

v.pr 迷子になった 「動詞句」

y イ conj. そして

que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

iba a volver. イバ・ア・ボルベール 3 単線・近接未来(ir a+不定詞)

v.i そのうちに帰ってくるだろう 「動詞句」

Primera parte 第1部

彼は、何十キロも歩いて飼い主を見つけた犬の例を幾つか引き合いにだして説明した。

Le citó ejemplos de perros que habían hecho decenas de kilómetros para encontrar a su amo. 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Le レ pron 老人に 「間接目的語」

citó シト 3 単点(citar)v.t 引き合いにだして説明した 「動詞」

ejemplos de perros エヘンプ ロス・デ・ヘ ロス pl.n.m 犬の例を 「直接目的語」

que ケ pron.pl (主語) ~する 「形容詞節」

habían hecho アビアン・エホ 3 複線・完了形(hacer)

v.t (距離を) 進んだ、歩いた 「動詞句」

decenas de kilómetros デセナス・デ・キロメロス

pl.n.m 何十キロも 「目的語」

para encontrar パラ・エンコントラル adv. そして見つけた 「副詞句」

a su amo. アス・アモ n.m 飼い主を 「目的語」

どんなに慰めても、老人はますます不安そうな様子をしていた。

A pesar de todo, el viejo pareció más agitado. 「副詞句」「主語」「動詞」「補語」

A pesar de todo, ア・ペサル・デ・トド adv. どんなに慰めても 「副詞句」

el viejo エル・ビエホ pron 老人は 「主語」

pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i ~のように見えた 「動詞」

más agitado. マス・アヒト adj. ますます不安な 「補語」

「でも、捕まってしまうでしょう？せめて、誰かが拾ってくれたらいいんですが」

"Pero ellos lo agarrarán, ¿comprende usted? Si por lo menos alguien lo recogiera.

《Pero 「主語」「目的語」「動詞句」, 「呼びかけ」 | 「副詞句」「主語」「目的語」「動詞句」》

"Pero ヘロ conj. でも

ellos エジョス pron 彼らが 「主語」

lo ロ pron あの犬を 「目的語」

agarrarán, アガララン 3 複未(agarrar)v.t 捕まえるだろう 「動詞」

受動態に翻訳する

¿comprende usted? コンプレnde・ウステ

adv. (同意を求める) わかるでしょう？そうでしょ？ 「呼びかけ」

Si シ conj. (譲歩) たとえ~しても 「副詞句」

por lo menos ホル・ロ・メノス adv. せめて、少なくとも 「副詞句」

alguien アルギエン pron 誰かが 「主語」

lo ロ pron あの犬を 「目的語」

recogiera. レコヒエラ 接・3 単過・願望(recoger)v.t 拾ってくれたら 「動詞」

Primera parte 第1部

「それはあり得ないことです。誰だって、あの犬のかさぶたを見れば吐き気を催します。」

Pero no es posible, da asco a todo el mundo con las costras.

《Pero 「動詞句」「補語」, 「動詞」「直接目的語」「間接目的語」「副詞句」》

Pero ペロ conj. しかし

no es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i ~でない 「動詞句」

posible, ポシブレ adj. 可能な 「補語」

da ダー 3 単現(dar)v.t 与える 「動詞」

asco アスコ n.m 吐き気、嫌悪 「直接目的語」

a todo el mundo ア・トド・エル・ムント adv. 誰にでも 「間接目的語」

con las costras. コン・ラス・コストラス adv. (原因) かさぶたのせいで 「副詞句」

「代理業者があれを捕まえてしまうでしょう、間違いなく」

Los agentes lo agarrarán es seguro. 「主語」「動詞」「目的語」「動詞」「補語」

Los agentes ロス・アヘンテス pl.n.m (保健所の) 代理業者は 「主語」

lo ロ pron あの犬を 「目的語」

agarrarán アガララン 3 複末(agarrar)v.t 捕獲するだろう 「動詞」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

seguro." セグロ adj. 間違いのない 「補語」

そこで僕は、野犬収容施設に行ったほうが良い、もしいたら、手数料をいくらか払えば犬を返してもらえるから、と彼に言った。

Le dije entonces que debía ir a la perrera y que se lo devolverían mediante el pago de algunos derechos. 「間接目的語」「動詞」「副詞」「直接目的語」 y 「直接目的語」

Le レ pron 彼に 「間接目的語」

dije デイハ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

entonces エントネス adv. それで 「副詞」

que ケ conj. ~ということを 「直接目的語」

debía ir デビ・ア・イル 3 単線・妥当(deber+不定詞)

v.i 行ったほうが良い 「動詞句」

a la perrera ア・ラ・ペレラ adv. 野犬収容施設に 「間接目的語」

y イ conj. そして

que ケ conj. ~ということを 「直接目的語」

se ...devolverían セ...デボルベルアン 3 複過末・推量(devolverse)

v.pr 返却するだろう 「動詞句」

lo ロ pron 犬を 「目的語」

Primera parte 第1部

mediante メディアンテ prep (方法) ～によって 「副詞句」
 el pago エル・パゴ n.m 支払い 「目的語」
 de algunos derechos. デ・アルグノス・デレチョス
 adj. いくらかの手数料の 「形容詞句」
 derechos デレチョス pl.n.m(derecho) ([複]で) 手数料

彼は、その手数料は高いのだろうか、と尋ねた。

Me preguntó si los derechos serían elevados. 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
 Me メ pron 僕に 「間接目的語」
 preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」
 si シ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」
 los derechos ロス・デレチョス pl.n.m(derecho) ([複]で) 手数料は 「主語」
 serían セリアン 3 複過未・推量(ser)v.i ～なのだろう 「動詞」
 elevados. エレバトス adj.m.pl 高い 「補語」

僕はそれは知らなかった。すると、彼は怒り出した：「あの死にぞこないのために金を出さ
 だって？なんて、いまいまいしいことだ！」

Yo no lo sabía. Entonces montó en cólera: "¡Dar dinero por esa carroña! ¡Ah, que reviente!"
 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」 | 「副詞」「動詞」「間接目的語」: 《「感嘆」》
 Yo ヨ pron 僕は 「主語」
 no ...sabía. ノ...サビア 1 単線(saber)v.t 知らなかった 「動詞句」
 lo ロ pron それを 「目的語」
 Entonces エントネス adv. その時 「副詞」
 montó モント 3 単点(montar)v.i (en cólera) 乗った 「動詞」
 en cólera: エン・コレラ adv. 激怒に 「間接目的語」
 montar en cólera 「かつとなる、怒り出す」
 "¡Dar ダール 不定詞・感嘆 v.t (金) 出すだって！ 「感嘆」
 dinero デウネロ n.m 金を 「目的語」
 por esa carroña! ホル・エサ・カローニャ adv. あの死にぞこないのために 「副詞句」
 ¡Ah, que アー・ケ int. ああ、なんと 「感嘆」
 reviente!" レビエンテ 接・3 単現(reventar)adj. イライラさせる 「感嘆」

Primera parte 第1部

それから老人は犬をののしり始めた。レーモンは笑って、アパートに入っていった。僕も彼を追って入り、僕たちの階の廊下で別れた。

Y se puso a insultarlo. Raimundo rió y entró en la casa. Le seguí y nos separamos en el rellano del piso.

Y 「動詞句」 | 「主語」「動詞」 y 「動詞」「副詞句」

「目的語」「動詞」 y 「動詞句」「副詞句」

Y イ conj. そして

se puso a +不定詞 セ・プソ・ア 3 単点・開始(ponerse a+不定詞)v. ～し始めた 「動詞句」

insultarlo. インスルタル・ロ 不定詞(insultar+lo)v.t 犬をののしる 「動詞句」

Raimundo ライムント n.m レーモンは 「主語」

rió リオ 3 単点(reír)v.i 笑った 「動詞」

y イ conj. そして

entró エントロ 3 単点(entrar)v.i 入った 「動詞」

en la casa. エン・ラ・カサ adv. アパートの中へ 「副詞句」

Le レ pron 彼を 「目的語」

seguí セギ 1 単点(seguir)v.t 後を追った 「動詞」

y イ conj. そして

nos separamos ノス・セパ・ラモス 1 複点(separarse)v.pr 別れた 「動詞句」

en el rellano エン・ネル・レジャノ adv. (階段の) 踊り場で 「副詞句」

del piso. デル・ピソ adj. (僕たちの部屋の) 階の 「形容詞句」

そのすぐ後で、足音が聞こえ、あの老人が僕の部屋のドアをノックした。

Un momento después oí los pasos del viejo que golpeó en mi puerta.

「副詞句」, 「動詞」「目的語」「形容詞句」

Un momento después ウン・モメント・デスプエス adv. そのすぐ後で 「副詞句」

oí オイ 1 単点(oír)v.t 聞こえた 「動詞」

los pasos ロス・パソス pl.n.m 足音が 「目的語」

del viejo デル・ビエホ adj. 老人の 「形容詞句」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

golpeó ゴルペオ 3 単点(golpear)v.i 叩いていた 「動詞」

en mi puerta. エン・ミ・プエрта

adv. 僕の部屋のドアを 「間接目的語」

足音が聞こえたときはまだ、老人の足音とはわかっていない。

そしてまだ部屋のドアをノックもしていないはず。順序を整理して翻訳する。

Primera parte 第1部

僕がドアを開けると、彼は一瞬戸口にとどまって、僕に言った：「すみません！すみません！」

Quando abrí quedó un momento en el umbral y me dijo: "¡Discúlpeme, discúlpeme! ..."

「副詞節」, 「動詞」 「副詞句」 y 「間接目的語」 「動詞」: 《「嘆願」》

Quando クワント conj. ～するとき

「副詞節」

abrí アブリ 1 単点(abrir)v.t 開けた

「動詞」

quedó クェド 3 単点(quedar)v.i(en 場所に)とどまっていた

「動詞」

un momento ウン・モメント adv. 一瞬

「副詞句」

en el umbral エン・エル・ウンブラル adv. 戸口に

「副詞句」

y イ conj. そして

me メ pron 僕に

「間接目的語」

dijo: ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

"¡Discúlpeme, discúlpeme! ..." ディスクルペ・メ・ディスクルペ・メ 接・3 単現(disculpar+me)

v.t 私を許してください、すみません

「嘆願」

僕は中に入るように勧めたが、彼は入ろうとしなかった。彼は靴の先端を見つめ、かさぶただけの手が震えていた。

Le invité a entrar, pero no quiso. Miraba la punta de los zapatos y le temblaban las manos costrosas.

「目的語」 「動詞句」 pero 「動詞句」 | 「動詞」 「目的語」 y 「間接目的語」 「動詞」 「主語」

Le レ pron 彼に

「目的語」

invité a entrar, インビテ・ア・エントラール 1 単点・促し(invitar a+不定詞)

v.t 入るように促した

「動詞句」

pero ペロ conj. しかし

no quiso. ノ・キヨ 3 単点・否定・意思(querer+不定詞)v.i 入ろうとしなかった

「動詞句」

Miraba ミラバ 3 単線(mirar)v.t 見つめていた

「動詞」

la punta ラ・プンタ n.f 先端を

「目的語」

de los zapatos デ・ロス・サパトス adj. 靴の

「形容詞句」

y イ conj. そして

le レ pron 彼の

「間接目的語」

temblaban テンブラバン 3 複線(temblar)v.i 震えていた

「動詞」

las manos ラスマノス pl.n.f 手が

「主語」

costrosas. コストロサス adj.f.pl かさぶただけの

「形容詞」

Primera parte 第1部

まともに僕を見ないで、彼は尋ねた：「私からあれを取り上げることはありませんよね？ムルソーさん。きっと返してくれますよね？そうでなかったら、どうしたらいいんでしょう？」

Sin mirarme de frente, me preguntó: "¿No me lo han de agarrar, diga, señor Meursault? ¡Tienen que devolvérmelo! Si no, ¿qué va a ser de mí?"

「副詞句」「間接目的語」「動詞」:

《「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」「動詞句」,

「呼びかけ」「確認」 | 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」》

Sin +不定詞 シ adv. ～しないで 「副詞句」

mirarme ミラル・メ 不定詞(mirar+me) 僕を見る 「動詞句」

de frente, デ・フレンテ adv. 正面から、真っ向から 「副詞句」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

preguntó: プレガント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

"¿No ...han de agarrar, ノ...アソ・デ・アガラル 3 複現・近接未来・否定(haber de+不定詞)

v.t (彼らは) 捕まえる予定ではない 「動詞句」

me メ pron 私から 「間接目的語」

lo ロ pron あの犬を 「直接目的語」

diga, デイガ 接・3 単現・確認(decir)adv. ねえ 「確認」

señor Meursault? セニョール・ムルソー n.m ムルソーさん 「呼びかけ」

¡Tienen que +不定詞 テイエネ・ケ 3 複現・必然・確認(tener que+不定詞)

v. きっと～しますよね！ 「確認」

devolvérmelo! デボルベール・メ・ロ 不定詞(devolver+me+lo)

v.t 私にあれを返す 「動詞句」

Si no, シ・ノ adv. そうでなかったら 「副詞句」

¿qué ケ pron 何が 「主語」

va a ser バ・ア・セル 3 単現・近接未来(ir a+不定詞)v.i ～になるだろう 「動詞句」

de mí?" デ・ミ adv. 私から 「副詞句」

Primera parte 第1部

僕は彼に、野犬収容施設では飼い主のことを考慮して、捕獲した犬たちを3日間は保管するが、それ以降は、適切な処置をすることになっている、と教えてやった。

Le dije que la perrera guardaba los perros tres días a disposición de los propietarios y que después hacía con ellos lo que le parecía.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 y 「直接目的語」

Le レ pron 彼に

「間接目的語」

dije デイハ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

que ケ conj. ～ということ

「直接目的語」

la perrera ラ・ペレラ n.f 野犬の収容施設は

「主語」

guardaba グわルダバ 3 単線・時制の一致(guardar)v.t 保管する

「動詞」

los perros ロス・ペロス pl(perro).n.m 犬たちを

「目的語」

tres días トレス・デアス adv. 3 日間

「副詞句」

a disposición de ア・デアス・シオン・デ adv. ～を考えて

「副詞句」

los propietarios ロス・プロピエタリオス pl.n.m 飼い主たち

「目的語」

y イ conj. そして

que ケ conj. ～ということ

「直接目的語」

después デスプエス adv. その後は

「副詞」

hacía アシア 3 単線・時制の一致(hacer)v.t する

「動詞」

con ellos コン・エジョス adv. 犬たちに

「間接目的語」

lo ロ pron それを

「直接目的語」

que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

le レ pron (単数) その犬にとって

「間接目的語」

parecía. パレシア 3 単線・時制の一致(parecer)

v.i 適当と思われる

「動詞」

彼は無言で僕を見つめた。

Me miró en silencio.

「目的語」「動詞」「副詞句」

Me メ pron 僕を

「目的語」

miró ミロ 3 単点(mirar)v.t 見つめた

「動詞」

en silencio. エン・シレンシオ adv. 無言で

「副詞句」

Primera parte 第1部

それから、言った：「おやすみなさい」彼はドアを閉めた。彼が部屋の中を行ったり来たりする音が聞こえた。ベッドがきしんだ。

Luego dijo: "Buenas noches." Cerró la puerta. Le oí ir y venir. La cama crujió.

「副詞」「動詞」：《「挨拶」》 | 「動詞」「目的語」

「目的語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」

Luego ルエゴ^o adv. それから 「副詞」
 dijo: ディヨ^h 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 "Buenas noches." ブエナス・ノチェス adv. おやすみなさい 「挨拶」
 Cerró セロ 3 単点(cerrar)v.t 閉じた 「動詞」
 la puerta. ラ・プエルタ n.f ドアを 「目的語」
 Le レ pron 彼が 「目的語」
 oí オイ 1 単点・知覚動詞(oír)v.t(SVO+不定詞 O が～するのが) 聞こえた 「動詞」
 ir イル 不定詞・le の動作 v.i 行く 「補語」
 y イ conj. そして
 venir. ベニール 不定詞・le の動作 v.i 来る 「補語」
 La cama ラ・カマ n.f ベッドが 「主語」
 crujió. クルヒオ 3 単点(crujir)v.i きしんだ 「動詞」

そして部屋の壁ごしに聞こえる奇妙な小さい音で、僕は彼が泣いているのが分かった。

Y por el extraño y leve ruido que atravesó el tabique comprendí que lloraba.

Y 「副詞句」「動詞」「目的語」

Y イ conj. そして
 por ポル adv. (手段) ～によって 「副詞句」
 el extraño y leve ruido エル・エクストラニョ・イ・レベ・ルイト^o n.m 奇妙な小さい音 「目的語」
 que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 atravesó アトラベソ 3 単点(atravesar)
 v.t 突き抜けてくる 「動詞」
 el tabique エル・タビケ n.m (部屋の薄い) 壁を 「目的語」
 comprendí コンプレンディ 1 単点(comprender)v.t 分かった 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 lloraba. ショラバ 3 単線・時制の一致(llorar)v.i 泣いている 「動詞」

Primera parte 第1部

なぜか、僕は母さんのことを考えた。しかし翌日は早起ししなければならなかった。

No sé por qué pensé en mamá. Pero tenía que levantarme temprano al día siguiente.

「副詞句」「動詞」「間接目的語」 | Pero 「動詞句」「副詞句」

No sé por qué ノ・セ・ポル・ケ adv. なぜか分からないが 「副詞句」

pensé ペンセ 1 単点(pensar)v.i 考えた 「動詞」

en mamá. エン・ママ adv. 母さんのことを 「間接目的語」

Pero ペロ conj. しかし

tenía que levantarme テニア・ケ・レバンタル・メ 1 単線・必要(tener que+不定詞)

v.pr 起きなければならなかった 「動詞句」

temprano テンプラノ adv. 早く、早い時間に 「副詞」

al día siguiente. アル・デア・シギエンテ adv. 翌日は 「副詞句」

食欲がなかったので、夕食をとらずに寝た。

No tenía hambre y me acosté sin cenar. 「動詞句」「目的語」 y 「動詞句」「副詞句」

No tenía ノ・テニア 1 単線・否定(tener)v.t 〜がなかった 「動詞句」

hambre アンブレ n.f 空腹感 「目的語」

y イ conj. そして

me acosté メ・アコステ 1 単点(acostarse)v.pr 寝た 「動詞句」

sin cenar. シン・セナル adv. 夕食をとらずに 「副詞句」

Primera parte 第1部

V

レーモンが僕の会社に電話で知らせてきた。

Raimundo me telefoneó a la oficina.

「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」

Raimundo ライムント^ㇿ n.m レーモンが

「主語」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

telefoneó テレフォネオ 3 単点(telefonar)v.t 電話で知らせてきた

「動詞」

a la oficina. ア・ラ・オフィサ adv. 会社に

「副詞句」

彼の友人の一人が（レーモンは彼に僕のことを話していたのだ）、アルジェの近くにある別荘に日曜日一日、遊びに来るように僕を招待しているという話だった。

Me dijo que uno de sus amigos (a quien le había hablado de mí) me invitaba a pasar el día del domingo en su cabañuela, cerca de Argel.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Me メ pron 僕に

「間接目的語」

dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

uno de sus amigos ウノ・デ・ス・アミゴス pron 彼の友人の一人が

「主語」

(a quien le ア・キエン・レ pron その友人に

「間接目的語」

había hablado アビア・アブラト^ㇿ 3 単線・完了形(hablar)

v.i(de のことを) 話していた

「動詞句」

de mí デ・ミ adv. 僕のことを

「間接目的語」

me メ pron 僕に

「目的語」

invitaba a pasar インビタバ・ア・パスアル 3 単線・招待(invitar a+不定詞)

v.t 立ち寄るように誘った

「動詞句」

el día del domingo エル・デア・テル・ドミンゴ adv. 日曜日 1 日

「副詞句」

en su cabañuela, エン・ス・カバニエラ adv. 彼の別荘に

「副詞句」

cabaña 小屋 + -uela (「示小接尾辞」-uelo) → 小さい小屋 → 別荘

cerca de Argel. セルカ・デ・アルヘル adv. アルジェの近くの

「副詞句」

僕はとても行きたいのだが、その日は女友達と過ごす約束があると答えた。

Contesté que me gustaría mucho ir, pero que había prometido dedicar el día a una amiga.

「動詞」「目的語」 pero 「目的語」

Contesté コンテステ 1 単点(contestar)v.t 答えた

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

me メ pron 僕にとって

「間接目的語」

gustaría mucho ゲスタリア・ムチョ 3 単過未(gustar)

Primera parte 第1部

v.i とても気に入るのだが	「動詞句」
ir, イル 不定詞 n. 行くことは	「主語」
pero ペロ conj. しかし	
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
había prometido ハビア・プロメチト 1 単線・完了形(prometer)v.t(+不定詞)	
v. ～することを約束していた	「動詞句」
dedicar デティカル 不定詞 v.t 捧げる	「動詞句」
el día エル・ディア n.m その日を	「目的語」
a una amiga. ア・ウナ・アミガ adv. 女友達に	「副詞句」

レーモンはすぐに、彼女も招待する、と言った。

Raimundo me dijo en seguida que también la invitaba a ella.

	「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」「直接目的語」
Raimundo ライムント n.m レーモンは	「主語」
me メ pron 僕に	「間接目的語」
dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
en seguida エン・セギダ adv. すぐに	「副詞句」
que ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
también タンビエン adv. ～も	「副詞」
la ラ pron 彼女を	「目的語」
invitaba インビタバ 3 単線・時制の一致(invitar)v.t 招待する	「動詞」
a ella. ア・エジャ pron 彼女を	「目的語」

友人の奥さんは、男たちの集団の中で女一人にならなくて済むから、とても喜ぶだろう。

La mujer de su amigo se sentiría muy contenta de no hallarse sola en medio de un grupo de hombres.

	「主語」「動詞句」「補語」「副詞句」
La mujer ラ・ムヘール n.f 奥さんは	「主語」
de su amigo デ・ス・アミゴ adj. 友人の	「形容詞句」
se sentiría セ・センチリア 3 単過未・過去における未来の推測(sentirse)	
v.pr 自分が～だと感じるだろう	「動詞句」
muy contenta ムイ・コンテンタ adj.f とてもうれしい	「補語」
de +不定詞 テ adv. (理由) ～するので	「副詞句」
no hallarse ノ・アジャール 不定詞・否定(hallarse)v.pr (～の状態に) ない	「動詞句」
sola ソラ adj. 一人で	「補語」
en medio de エン・メディオ・デ prep ～の真ん中に	「副詞句」
un grupo de hombres. ウン・グルポ・デ・オンブレス	

Primera parte 第1部

n.m 男たちのグループ

「目的語」

外から電話がかかってくることを、社長が嫌っていることは知っていたので、僕はすぐにレーモンの電話を切ろうとした。

Quise cortar enseguida porque sé que al patrón no le gusta que nos telefonen de afuera.

「動詞句」「副詞」「副詞節」

Quise cortar キェ・コルタル 1 単点・意思(querer+不定詞)v.t 切ろうとした 「動詞句」

enseguida エンセギダ adv. すぐに 「副詞」

porque ボルケ conj. ～なので 「副詞節」

sé セ 1 単現(saber)v.t 知っている 「動詞」

que ケ conj. ～ということ 「目的語」

al patrón アル・パトロン adv. 社長にとって 「間接目的語」

no ...gusta ノ...グスタ 3 単現・否定(gustar)v.i 気に入らない 「動詞句」

le レ pron 彼にとって 「間接目的語」

que ケ conj. ～ということ 「主語」

nos ノス pron 僕たちに 「間接目的語」

telefonen テレフォネン 接・3 複現(telefonar)

v.i 電話をかける 「動詞」

de afuera. デ・アフエラ adv. 外から 「副詞句」

しかし、レーモンは切らないで欲しいと僕に頼んで、言った。招待の件は、夜に伝えても良かったのだが、実は、他のことについて僕に知らせたかったのだと。

Pero Raimundo me pidió que esperase y me dijo que hubiera podido trasmitirme la invitación por la noche, pero que quería advertirme de otra cosa.

Pero 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

y 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 pero 「直接目的語」

Pero ペロ conj. しかし

Raimundo ライムント n.m レーモンは 「主語」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

pidió ピディオ 3 単点(pedir)v.t 頼んだ 「動詞」

que ケ conj. ～ということ 「直接目的語」

esperase エスペラセ 接・1 単過・意思(esperar)v.t 待つてほしい 「動詞」

y イ conj. そして

me メ pron 僕に 「間接目的語」

dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

que ケ conj. ～ということ 「直接目的語」

Primera parte 第1部

hubiera podido trasmitirme ウビエラ・ポデイト 接・3 単過・完了形・仮定(poder+不定詞)

v.t 僕に伝えることができたのだが 「動詞句」

la invitación ラ・インビタシオン n.f 招待の件を 「目的語」

por la noche, ポル・ラ・ノチェ adv. 夜に 「副詞句」

pero ペロ conj. しかし

que ケ conj. ～ということ 「直接目的語」

quería advertirme クリア・アドベルチルメ 3 単線・願望(querer+不定詞)

v.t 僕に知らせたかった 「動詞句」

de otra cosa. デ・オトラ・コサ adv. 他のことについて 「間接目的語」

彼は 1 日中アラブ人のグループに後をつけられたのだが、その中に、彼の前の愛人の兄弟がいたというのだ。

Había sido seguido todo el día por un grupo de árabes entre los cuales se encontraba el hermano de su antigua amante. 「動詞句」「副詞句」, 「副詞句」「動詞句」「主語」

Había sido seguido アビア・シド・セグイド 3 単線・完了形・受動(seguir)

v.t 後をつけられた 「動詞句」

todo el día トド・エル・ディア adv. 1 日中 「副詞句」

por un grupo ポル・アン・グルポ adv. (動作主) グループによって 「副詞句」

de árabes デ・アラベス adj. アラブ人の 「形容詞句」

entre los cuales エントレ・ロス・クワレス adv. 彼らの中に 「副詞句」

se encontraba セ・エンコントラバ 3 単線(encontrarse)v.pr (ある場所に) いた 「動詞句」

el hermano エル・エルマノ n.m 兄弟が 「主語」

de su antigua amante. デ・ス・アンチグア・アマンテ adj. 彼の前の愛人の 「形容詞句」

antigua アンチグア adj.f(antiguo) 元の amante amannte アマンテ n. 愛人

「家の近くでそいつを見かけたら、俺に知らせてくれ」僕は、了解したと言った。

"Sí lo ves cerca de casa avísame." Dije que quedaba convenido.

《「副詞節」, 「動詞句」》, 「動詞」「目的語」

"Sí シ conj. もし～ならば 「副詞節」

lo ロ pron そいつを 「目的語」

ves ベス 2 単現(ver)v.t 見かける 「動詞」

cerca de casa セルカ・デ・カーサ adv. 家の近くで 「副詞句」

avísame." アビス・メ 命・2 単現(avisar+me)v.t 俺に知らせてくれ 「動詞句」

avisar アビスアル v.t 知らせる、通知する

Dije ディエ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

que ケ conj. なにということ 「目的語」

Primera parte 第1部

quedaba クダバ 1 単線(quedar)v.i (+補語 ~の状態に) なる 「動詞」

convenido. コンベニト 過去分詞(convenir)adj. 了解した、合意した 「補語」

すぐその後で、僕は社長に呼ばれた。最初、僕はいやな感じがした。社長は僕に、電話はほ
どほどにして、もっと仕事に精を出しなさい、と言うのだろうと思ったからだ。

Poco después el patrón me hizo llamar, y en el primer momento me sentí molesto porque
pensé que iba a decirme que telefoneara menos y trabajara más.

「副詞句」「主語」「目的語」「動詞句」 y 「副詞句」「動詞句」「補語」「副詞節」

Poco después ポコ・デスプ・エス adv. すぐその後で 「副詞句」

el patrón エル・パトロン n.m 社長が 「主語」

me メ pron 僕を 「目的語」

hizo llamar, イ・ジ・ャマル 3 単点・使役(hacer+不定詞)v.t 呼ばせた 「動詞句」

y イ conj. そして

en el primer momento エン・エル・プリメル・モメント adv. 最初の瞬間は 「副詞句」

me sentí メ・セチ 1 単点(sentirse)v.pr (自分が何だと) 感じた 「動詞句」

molesto モレスト adj. 具合の悪い 「補語」

porque ボルケ conj. ~なので 「副詞節」

pensé ペンセ 1 単点(pensar)v.t 思った 「動詞」

que ケ conj. ~ということを 「目的語」

iba a decirme イバ・ア・デシル・メ 3 単線・近接未来(ir a +不定詞)

v.t 僕に言うだろう 「動詞句」

que +接続法 ケ conj. ~するようにと 「目的語」

telefoneara テレフォネアラ 接・1 単過・命令(telefonear)

v.i 電話しなさい 「動詞」

menos メノス adv. より少なく 「副詞」

y イ conj. そして

trabajara トラバハラ 接・1 単過・命令(trabajar)v.i 働きなさい 「動詞」

más. マス adv. もっと 「副詞」

Primera parte 第1部

しかし、全然そういうことではなかった。社長は、まだ漠然としたある計画について僕に話
がしたい、と言った。

Pero no era nada de eso. Me declaró que iba a hablarme de un proyecto todavía muy vago.

Pero 「動詞」「補語」 | 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Pero ペロ conj. しかし

no era ノ・エラ 3 単線・否定(ser)v.i ~でなかった 「動詞」

nada de eso. ナダ・デ・エソ pron 全然そういうこと~ない 「補語」

Me メ pron 僕に 「間接目的語」

declaró デ・クラロ 3 単点(declarar)v.t 宣言した 「動詞」

que ケ conj. ~ということ を 「直接目的語」

iba a hablarme イバ・ア・アブラル・メ 3 単線・近接未来(ir a+不定詞)

v.i 僕に話そうと思う 「動詞句」

de un proyecto デ・ウン・プロジェクト adv. ある計画について 「間接目的語」

todavía muy vago. トダビ・ア・ムイ・バゴ adj. まだ漠然とした 「形容詞句」

vago バゴ adj. あいまいな、漠然とした

その件について僕の意見を聞きたがっていただけだった。

Quería solamente tener mi opinión sobre el asunto. 「動詞句」「目的語」「副詞句」

Quería solamente tener クリア・ソラメンテ・テネール 3 単線・願望(querer+不定詞)

v.t (意見を) 単に聞きたがっていた 「動詞句」

mi opinión ミ・オピニオン n.f 僕の意見を 「目的語」

sobre el asunto. ソブレ・エル・アスト adv. その件について 「副詞句」

Primera parte 第1部

社長には、パリに事務所を設置して、そこで大企業を相手にして直接に取引の交渉をしたい
という思惑があった。それで僕がそこへ行く気持ちがあるかどうかを知りたがっていた。

Tenía la intención de instalar una oficina en París que trataría directamente en esa plaza
sus asuntos con las grandes compañías, y quería saber si estaría dispuesto a ir.

「動詞」「目的語」 y 「動詞句」「目的語」

Tenía テニア 3 単線(tener)v.t. ～があった 「動詞」

la intención ラ・インテンシオン n.f 思惑、意図 「目的語」

de instalar テ・インスタール 不定詞・同格 adj. 設置するという 「形容詞句」

una oficina ウ・オフィサ n.f 事務所を 「目的語」

en París エン・パリス adv. パリに 「副詞句」

que ケ pron (同格) ～という 「形容詞節」

trataría トラリア 3 単過未・希望(tratar)

v.t (商売の) 交渉がしたい 「動詞」

directamente テイレクタメンテ adv. 直接に 「副詞」

en esa plaza エン・エサ・プラサ adv. その市場で 「副詞句」

sus asuntos ス・アスントス pl.n.m 業務を 「目的語」

con las grandes compañías, コン・ラス・グランデス・コンパニャス

adv. 大企業を相手にして 「副詞句」

y イ conj. そして

quería saber クリア・サベル 3 単線・願望(querer+不定詞)v.t 知りたがっていた 「動詞句」

si シ conj. ～かどうかということ 「目的語」

estaría エスタリア 1 単過未・推量(estar)v.i ～だろう 「動詞」

dispuesto テイスプエスト adj. (a+不定詞 ～する) 用意のできた 「補語」

a ir. ア・イル adv. 行くことが 「副詞句」

Primera parte 第1部

もし行くとしたら、僕はパリで暮らすことになるし、1年に一定の期間は旅行もすることができるという話だ。

Ello me permitiría vivir en París y también viajar una parte del año.

「主語」「目的語」「動詞」「補語」 y 「副詞」「補語」

Ello エジョ pron それは (パリに行くこと) 「主語」

me メ pron 僕が 「目的語」

permitiría ペルミチア 3単過未・可能性(permitir)v.t 許すだろう 「動詞」

「僕は～することを許されるだろう」という、受動的な意味になる

vivir ヴィヴァール 不定詞・meの動作 v.i 暮らす 「補語」

en París エン・パリス adv. パリで 「副詞句」

y イ conj. そして

también タンビエン adv. ～も 「副詞」

viajar ヴィアハール 不定詞・meの動作 v.i 旅行する 「補語」

una parte del año. ウナ・パルテ・テル・アノ adv. 1年の一定の期間 「副詞句」

「君は若い。だからその暮らしは、君が気に入るに違いないと思っている」

"Usted es joven y me parece que es una vida que debe de gustarle."

《「主語」「動詞」「補語」 y 「間接目的語」「動詞」「主語」》

"Usted ウステ pron 君は 「主語」

es エス 3単現(ser)v.i ～である 「動詞」

joven ホベン adj. 若い 「補語」

y イ conj. そして

me メ pron 私には 「間接目的語」

parece パレセ 3単現(parecer)v.i ～に思われる 「動詞」

que ケ conj. ～ということが 「主語」

es エス 3単現(ser)v.i ～である 「動詞」

una vida ウナ・ビダ n.f 生活 「補語」

que ケ pron (同格) ～という 「形容詞節」

debe de gustarle." デベ・デ・グスター・レ 3単現・推定(deber de+不定詞)

v.i 君が気に入るに違いない 「動詞句」

Primera parte 第1部

僕は、行くことは構わないが、基本的にはどちらでもいいです、と答えた。

Dije que sí, pero que en el fondo me era indiferente. 「動詞」「目的語」 pero 「目的語」

Dije ディハ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

sí, シ adv. (応答・肯定) はい、ええ 「補語」

pero ペロ conj. しかし

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

en el fondo エン・エル・フォント adv. 基本的に、根本的に 「副詞句」

me メ pron 僕にとっては 「間接目的語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」

indiferente. インディフェンテ adj. どちらでもよい、重要でない 「補語」

すると彼は僕に、生活を変えることに興味はないのか、と尋ねた。

Me preguntó entonces si no me interesaba un cambio de vida.

「間接目的語」「動詞」「副詞」「直接目的語」

Me メ pron 僕に 「間接目的語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

entonces エントネス adv. それで、すると 「副詞」

si シ conj. ～かどうかということを 「直接目的語」

no me interesaba ノ・メ・インテサバ 3 単線・否定(interesar+me)

v.t 僕の興味をひかない 「動詞句」

un cambio ウン・カンビオ n.m 変更 「主語」

de vida. デ・ビダ adj. 生活の 「形容詞句」

Primera parte 第1部

僕は、生活は変えるものではないし、いずれにしてもどんな生活でも同じようなもので、僕のここでの生活はまったく気に入らないわけではない、と返事をした。

Respondí que nunca se cambia de vida. que en todo caso todas valían igual y que la mía aquí no me disgustaba en absoluto. 「動詞」「目的語」, 「目的語」 y 「目的語」

Respondí レスポンディ 1 単点(responder)v.t 返事をした 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

nunca se cambia ヌンカ・セ・カンビア 3 単現・否定・一般性・時制の一致(cambiarse)

v.pr(de を) (人は) 変えるものではない 「動詞句」

de vida, デ・ビダ adv. 生活を 「間接目的語」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

en todo caso エン・トド・カソ adv. いずれにしても 「副詞句」

todas トダス pron どんな生活も 「主語」

valían バリアン 3 複線・時制の一致(valer)v.i 価値がある 「動詞」

igual イグアル adj. 同様の 「補語」

y イ conj. そして

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

la mía aquí ラ・ミア・アキ pron.f 僕のここでの生活は 「主語」

no ...disgustaba ノ...ディスグスタバ 3 単線・否定(disgustar)

v.t 気に入らないわけではない 「動詞句」

me メ pron 僕にとって 「間接目的語」

en absoluto. エン・アブソルット adv. (否定文で) まったく～でない 「副詞句」

Primera parte 第1部

彼は不満そうな様子を見せて、僕はいつも曖昧な返事をするし、僕には野心がない、そして野心がないことは商売においては災いの元だ、と言った。

Se mostró descontento, me dijo que siempre respondía con evasivas, que no tenía ambición y que eso era desastroso en los negocios.

「動詞句」「補語」,

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」, 「直接目的語」 y 「直接目的語」

Se mostró	セ・モストロ 3 単点(mostrarse)v.pr (+補語 態度を) 見せた	「動詞句」
descontento,	デスコンテント adj. 不満な	「補語」
me	メ pron 僕に	「間接目的語」
dijo	ディョ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
que	ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
siempre	シエンプレ adv. いつも	「副詞」
respondía	レスポンドィア 1 単線(responder)v.i 返事をする	「動詞」
con evasivas,	コン・エバシバス adv. あいまいに	「副詞句」
que	ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
no tenía	ノ・テニア 1 単線・否定(tener)v.t ～がない	「動詞句」
ambición	アンビシオン n.f 野心、野望	「目的語」
y	イ conj. そして	
que	ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
eso	エソ pron (野心がないこと) それは	「主語」
era	エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である	「動詞」
desastroso	デサストロソ adj. 災害を招く	「補語」
en los negocios.	エン・ロス・ネゴシオス adv. 商売においては	「副詞句」

Primera parte 第1部

僕は仕事に戻った。社長を不快にさせたくはなかったが、生活を変える理由が見当たらなかったのだ。

Volví a mi trabajo. Hubiera preferido no desagradarle, pero no veía razón para cambiar de vida.

Volví ボルビ 1 単点(volver)v.i (a 元の場所に) 戻った

「動詞」

a mi trabajo. ア・ミ・トラバホ adv. 仕事に

「間接目的語」

Hubiera preferido + 不定詞 ウビエラ・プレフェリト 接・1 単過・完了形(preferir)

v.t(+不定詞) ～したかったのだが

「動詞句」

no desagradarle, ノ・デ・サグラダール・レ 不定詞・否定形

v.i(a に) 彼に不快に感じられない

「動詞句」

pero ペロ conj. しかし

no veía ノ・ベ・イア 1 単線・否定(ver)v.t 見えなかった

「動詞句」

razón ラソン n.f 道理、理由

「目的語」

para cambiar パラ・カンビアル adj. ～を変えるための

「形容詞句」

de vida. デ・ビダ adv. 生活を「間接目的語」

接続法過去完了 : haber の接続法過去活用 + 過去分詞

過去の事実に対抗の仮定文 → 「～だったのだが」

ここでは、「もし～だったら... したのだが」の、独立用法として使われている。

条件節「もし～だったら」	帰結節「... したのだが」
si + 接続法過去完了	直説法過去未来完了

そのことについてよく考えてみると、僕は自分が不幸だとは思わない。学生だった時には、その種の野心はおおいにあった。

Pensándolo bien, no me sentía desgraciado. Cuando era estudiante había tenido muchas ambiciones de ese género.

「副詞句」, 「動詞句」 「補語」 | 「副詞節」, 「動詞句」 「目的語」

Pensándolo ペンサント・ロ 現在分詞・条件 adv. それを考えると

「副詞句」

bien, ビエン adv. よく

「副詞」

no me sentía ノ・メ・センチア 1 単線・否定・時制の一致(sentirse)

v.pr 自分が～だと感じない

「動詞句」

desgraciado. デスグラシアド adj. 不運な、不幸な

「補語」

Cuando クワント conj. ～するとき

「副詞節」

era エラ 1 単線(ser)v.i ～だった

「動詞」

estudiante エストゥディアンテ n.m 学生

「補語」

había tenido アビア・テニト 1 単線・完了形(tener)v.t ～があった

「動詞句」

muchas ambiciones ムチャス・アンビシオネス pl.n.f たくさんの野望

「目的語」

Primera parte 第1部

de ese género. テ・エ・ヘ初 adj. その種の
género ヘ初 n.m 種類、分野、ジャンル

「形容詞句」

しかし学業を断念しなければならなくなった時、僕はすぐさま、本当に重要なことは学業ではないのだと悟った。

Pero cuando debí abandonar los estudios comprendí muy rápidamente que no tenían importancia real.

Pero 「副詞節」, 「動詞」 「副詞句」 「目的語」

Pero ヘロ conj. しかし

cuando クワント conj. ～するとき

「副詞節」

debí abandonar テビ・アバンドナル 1 単点・必要(deber+不定詞)

v.t 断念しなければならなかった

「動詞句」

los estudios ロス・エストゥディオス pl.n.m 学業を

「目的語」

comprendí コンプレンディ 1 単点(comprender)v.t 理解した

「動詞」

muy rápidamente ムイ・ラピダメンテ adv. すぐさま

「副詞句」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

no tenían ノ・テニアン 3 複線・否定・時制の一致(tener)v.t ～がない

「動詞句」

「主語」は los estudios

importancia real. インポルタンシア・リアル n.f 本当の重要性

「目的語」

マリーが夕方に僕を迎えに来て、僕は彼女と結婚しようと思っているのかと尋ねた。

María vino a buscarme por la tarde y me preguntó si quería casarme con ella.

「主語」 「動詞句」 「副詞句」 y 「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」

María マリア n.f マリーは

「主語」

vino a buscarme ビノ・ア・ブサル・メ 3 単点・目的(venir a+不定詞)

v.t 僕を迎えに来て

「動詞句」

por la tarde ポル・ラ・タルデ adv. 夕方に、午後に

「副詞句」

y イ conj. そして

me メ pron 僕に

「間接目的語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞」

si シ conj. ～かどうかということを

「直接目的語」

quería casarme クエア・カサル・メ 1 単線・願望・時制の一致(querer+不定詞)

v.t 結婚しようと思っている

「動詞句」

con ella. コン・エジャ adv. 彼女と

「副詞句」

Primera parte 第1部

僕は、どちらでもいい、もし彼女が望むなら、そうしてもいいと答えた。

Dije que me era indiferente y que podríamos hacerlo si lo quería.

「動詞」「目的語」 y 「目的語」

Dije ディェ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

me メ pron 僕にとっては

「間接目的語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である

「動詞」

indiferente インディフェレンテ adj. どちらでもよい

「補語」

y イ conj. そして

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

podríamos hacerlo ポドリアモス・アセル・ロ 1 複過未・可能・推量(poder+不定詞)

v.t そうしてもいいだろう

「動詞句」

si シ conj. もし～ならば

「副詞節」

lo ロ pron それを

「目的語」

quería. ケリア 3 単線・時制の一致(querer)v.t 望む

「動詞」

すると彼女は、僕が彼女を愛しているかどうか知りたがった。

Entonces quiso saber si la amaba.

「副詞」「動詞句」「目的語」

Entonces エントンス adv. それから、すると

「副詞」

quiso saber キソ・サベル 3 単点・願望(querer+不定詞)v.t 知りたがった

「動詞句」

si シ conj. ～かどうかということを

「目的語」

la ラ pron 彼女を

「目的語」

amaba. アマバ 1 単線・時制の一致(amar)v.t 愛している

「動詞」

僕は前に一度言ったように、それは何の意味もないが、たぶん愛していないと答えた。

Contesté como ya lo había hecho otra vez: que no significaba nada, pero que sin duda no la amaba.

「動詞」「副詞節」: 「目的語」 pero 「目的語」

Contesté コンステ 1 単点(contestar)v.t 答えた

「動詞」

como コモ conj. ～のように

「副詞節」

ya ヤー adv. すでに、前に

「副詞」

lo ロ pron それを

「目的語」

había hecho アビア・エチョ 1 単線・完了形(hacer)v.t 言った

「動詞句」

otra vez: オトラ・ベス adv. 1 度

「副詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

no significaba ノ・シグニフィカバ 3 単線・否定(significar)v.t 意味しない

「動詞句」

nada, ナダ pron 何も～ない

「目的語」

Primera parte 第1部

pero ペロ conj. しかし
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 sin duda シン・ドゥダ adv. たぶん 「副詞句」
 no ...amaba. ノ...アマバ 1 単線・否定・時制の一致(amar)v.t 愛していない 「動詞」
 la ラ pron 彼女を 「目的語」

「それじゃあ、どうして私と結婚するの？」と、マリーは言った。

"¿Por qué, entonces, casarte conmigo?", dijo. 《「副詞句」, 「動詞句」 「副詞」》, 「動詞」
 "¿Por qué, ホル・ケ adv. どうして 「副詞句」
 entonces, エントネス adv. それでは 「副詞」
 casarte カサル・テ 2 単現(casarse)v.pr(con と) 結婚する 「動詞句」
 conmigo?", コンミゴ adv. 私と 「副詞」
 dijo. デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

理由なんてどうでもいいが、もし君が望むなら、結婚しよう、と僕は彼女に言った。

Le expliqué que no tenía ninguna importancia y que si lo deseaba podíamos casarnos.
 「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」 y 「直接目的語」
 Le レ pron 彼女に 「間接目的語」
 expliqué エクスプ リケ 1 単点(explicar)v.t 説明した、教えた 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 no tenía ノ・テニア 3 単線・否定・時制の一致(tener)v.t ～がない 「動詞句」
 ninguna importancia ニングナ・インポ ルタンシア n.f 何も重要性が～ない 「目的語」
 y イ conj. そして
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 si シ conj. もし～ならば 「副詞節」
 lo ロ pron それを (結婚を) 「目的語」
 deseaba デセアバ 3 単線・時制の一致(desear)v.t 望む 「動詞」
 podíamos casarnos. ホ・デイアモス・カサル・ノス 1 複線・時制の一致・可能(poder+不定詞)
 v.pr 結婚してもいい 「動詞句」

Primera parte 第1部

その上、結婚を求めたのは彼女のほうで、僕は納得して了解したのだ。

Por otra parte era ella quien lo pedía y yo me contentaba con decir que sí.

「副詞句」「動詞」「補語」「主語」 y 「主語」「動詞句」「間接目的語」

Por otra parte ポル・オトラ・パルテ adv. その上、他方では 「副詞句」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ~である 「動詞」

ella エジャ pron 彼女 「補語」

quien キエン pron ~する人は 「主語」

lo ロ pron それを 「目的語」

pedía ペディア 3 単線 (pedir)v.t ~求めた 「動詞」

y イ conj. そして

yo ジョ pron 僕は 「主語」

me contentaba メ・コンテンタバ 1 単線(contentarse)v.pr(con で) 満足する、納得する「動詞句」

con decir que sí. コン・デシル・ケ・シ adv. 「はい」ということを 「間接目的語」

すると彼女は、結婚というものは重要なことだ、と指摘した。

Observó entonces que el matrimonio era una cosa grave. 「動詞」「副詞」「目的語」

Observó オブセルボ 3 単点(observar)v.t 指摘した、観測した 「動詞」

entonces エントネセス adv. すると 「副詞」

que ケ conj. ~ということ を 「目的語」

el matrimonio エル・マトリモニオ n.m 結婚は 「主語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ~である 「動詞」

una cosa grave. ウナ・コサ・グラーベ n.f 重要なこと 「補語」

僕は答えた：「ちがう」マリーは一瞬黙ったが、何も言わずに僕を見つめた。その後、また話し始めた。

Respondí: "No." Calló un momento y me miró en silencio. Luego volvió a hablar.

「動詞」：《「応答」》 | 「動詞」「副詞句」 y 「目的語」「動詞」「副詞句」 | 「副詞」「動詞句」

Respondí レスポンディ 1 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」

"No." ノ adv. 違う！ 「応答」

Calló カジョ 3 単点(callar)v.i 黙った 「動詞」

un momento ウン・モメント adv. 一瞬 「副詞句」

y イ conj. そして

me メ pron 僕を 「目的語」

miró ミロ 3 単点(mirar)v.t 見つめた 「動詞」

en silencio. エン・シレンシオ adv. 黙って 「副詞句」

Luego ルエゴ adv. それから 「副詞」

Primera parte 第1部

volvió a hablar. ボルビオ・ア・アブラール 3 単点・再開(volver a+不定詞)

v.i また話し始めた

「動詞句」

もしも私と同じような関係の女性がいて、同じ申し出がされたら、僕はそれを受け入れたのかどうか、それだけは知りたいと彼女は言った。

Quería saber simplemente si habría aceptado la misma proposición hecha por otra mujer a la que estuviera ligado de la misma manera. 「動詞句」「副詞」「目的語」

Quería saber クリア・サベル 3 単線・願望(querer+不定詞)v.t 知りたがった 「動詞句」

simplemente シンプレメンテ adv. ただ単に 「副詞」

si シ conj. ～かどうかということ 「目的語」

habría aceptado アブラリア・アセプト 1 単過未・完了形・推量(acceptar)

v.t 受け入れたのだろうか

「動詞句」

la misma proposición ラ・ミスマ・プロポシオン n.f 同じ申し出を

「目的語」

hecha ヘチャ adj.f 作られた、なされた

「形容詞」

por otra mujer ホル・オトラ・ムヘル adv. 別の女性によって 「副詞句」

a la que ア・ラ・ケ pron (その女性に) ～する 「形容詞節」

estuviera ligado エストビエラ・リガト 接・1 単過・受動・仮定(ligar)

v.t (a に) 結びつけられた 「動詞句」

de la misma manera. デ・ラ・ミスマ・マネラ

adv. 同様の方法で

「副詞句」

僕は言った：「当然、承知したさ」。するとマリーは、僕を愛しているのかどうかを自分自身に聞きただした。そして僕は、その点については何も分からない。

Dije: "Naturalmente." Se preguntó entonces a sí misma si me quería, y yo, yo no podía saber nada sobre este punto. 「動詞」：《「応答」》 | 「動詞句」「副詞句」「目的語」,

y 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Dije: デイハ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

"Naturalmente." ナチュラルメンテ adv. 当然、承知しただろう

「応答」

Se preguntó セ・プレグント 3 単点(preguntarse)v.pr 自問した

「動詞句」

entonces エントネス adv. すると

「副詞」

a sí misma ア・シ・ミスマ adv. 自分自身に

「副詞句」

si シ conj. ～かどうかということ

「目的語」

me メ pron 僕を

「目的語」

quería, クリア 3 単線・時制の一致(querer)v.t (マリーは) 愛している

「動詞」

y yo, イ・ジョ conj. そして僕は

「主語」

yo ジョ pron 僕は

「主語」

Primera parte 第1部

no podía saber ノ・ポディア・サベル 1 単線・可能・否定(poder+不定詞)v.t 分からない「動詞句」
 nada ナダ pron 何も～ない 「目的語」
 sobre este punto. ソブレ・エステ・プント adv. その点については 「副詞句」

少し沈黙してから、彼女はつぶやいた。僕は奇妙だ、たぶんそのことで僕を愛しているのだ
 ろう、だけどもある日、同じ理由で僕を嫌いになるかもしれない。

Tras otro momento de silencio murmuró que yo era extraño, que sin duda me amaba por
eso mismo, pero que quizá un día le repugnaría por las mismas razones.

「副詞句」, 「動詞」 「目的語」, 「目的語」 pero 「目的語」

Tras トラス prep (時間) ～の後に 「副詞句」

otro momento オトロ・モメント n.m また少しの時間 「目的語」

de silencio デ・シレンシオ adj. 沈黙の 「形容詞句」

murmuró ムロムロ 3 単点(murmurar)v.t つぶやいた 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

yo ジョ pron 僕は 「主語」

era エラ 1 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」

extraño, エクストラニョ adj. 奇妙な 「補語」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

sin duda シン・ドゥダ adv. たぶん 「副詞句」

me メ pron 僕を 「目的語」

amaba アマハ 3 単線・時制の一致(amar)v.t 愛している 「動詞」

por eso mismo, ホル・エソ・ミスモ adv. その同じ事で 「副詞句」

pero ペロ conj. しかし

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

quizá un día キサ・ウン・ディア adv. ある日 「副詞句」

le レ pron 彼女にとって 「間接目的語」

repugnaría レプニャリア 3 単過未・推量(repugnar)v.i 嫌悪を催させるだろう 「動詞」

por las mismas razones. ホル・ラス・ミスマス・ラソネス adv. 同じ理由で 「副詞句」

Primera parte 第1部

なにも付け加えることが無いので黙っていると、マリーは微笑んで、僕の腕をつかんだ。そしてはっきり、僕と結婚したい、と言った。

Como callara sin tener nada que agregar, me tomó sonriente del brazo y declaró que quería casarse conmigo.

「副詞節」, 「間接目的語」 「動詞」 「副詞」 「直接目的語」 y 「動詞」 「目的語」

Como コモ conj. ～なので

「副詞節」

callara カジャラ 接・1 単過(callar)v.i 黙っていた

「動詞」

普通は、callarse を用いる

sin +不定詞 シン adv. (理由) ～しないので

「副詞句」

tener テネル 不定詞・否定文 v.t ない

「動詞」

nada ナダ pron 何も～ない

「目的語」

que agregar, ケ・アグレガル adj. 追加すべき

「形容詞句」

me メ pron 僕の

「間接目的語」

tomó トモ 3 単点(tomar)v.t つかんだ

「動詞」

sonriente ソリエンテ adv. 微笑んで

「副詞」

del brazo デル・ブラソ n.m 腕を

「直接目的語」

y イ conj. そして

declaró デクラロ 3 単点(declarar)v.t はっきりと言った

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

quería casarse クリア・カサルセ 3 単線・願望(querer+不定詞)v.pr 結婚したい

「動詞句」

conmigo. コンミゴ adv. 僕と

「副詞句」

僕は、マリーが結婚したいと思ったときに、結婚しようじゃないかと答えた。

Respondí que lo haríamos cuando quisiera.

「動詞」 「目的語」

Respondí レスポンティ 1 単点(responder)v.t 答えた

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

lo ロ pron それを (結婚を)

「目的語」

haríamos アリアモス 1 複過未・過去における未来・意思(hacer)

v.t (行動を) しようじゃないか

「動詞」

cundo クワント conj. ～するときに

「副詞節」

quisiera. キシエラ 接・3 単過・条件(querer)

v.t したいと思った

「動詞」

Primera parte 第1部

それから僕は社長の提案のことを話した。するとマリーはパリに行ってみたいと言った。

Le hablé entonces de la proposición del patrón, y María me dijo que le gustaría conocer París.

「間接目的語」「動詞」「副詞」「間接目的語」 y 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
 Le レ pron 彼女に 「間接目的語」
 hablé アブレ 1 単点(hablar)v.i(de について) 話した 「動詞」
 entonces エントネス adv. それから 「副詞」
 de la proposición デ・ラ・プロポジション adv. 提案について 「間接目的語」
 del patrón, デル・パトロン adj. 社長の 「形容詞句」
 y イ conj. そして
 María マリア n.f マリーは 「主語」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 le レ pron 彼女にとって 「間接目的語」
 gustaría グスタリア 3 単過未・婉曲な願望(gustar)v.i 気に入るのだが 「動詞」
 conocer コノセル 不定詞 n. 行くことは、知ること 「主語」
 conocer コノセル v.t (場所) 行ったことがある、知っている
 París. パリス n. パリに 「目的語」

僕は彼女に、以前パリで暮らしていたことがあると話した。すると彼女は、どんなところだったのかと僕に尋ねた。

Le dije que había vivido allí en otro tiempo y me preguntó cómo era.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 y 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
 Le レ pron 彼女に 「間接目的語」
 dije デイヘ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 había vivido アビアー・ビビト 1 単線・完了形(vivir)
 v.i 暮らしていたことがある 「動詞句」
 allí アジ adv. そこで (パリで) 「副詞」
 en otro tiempo エン・オトロ・ティエンポ adv. 以前に、かつて 「副詞句」
 y イ conj. そして
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」
 cómo コモ adv. どのようなということを 「直接目的語」
 era. エラ 3 単半(èssere)v.i ～だった 「動詞」

Primera parte 第1部

彼女に言った：「汚い所さ。ハトがいて、暗い中庭があつて、みんな青白い肌をしてる」

Le dije: "Es sucio. Hay palomas y patios oscuros. La gente tiene la piel blanca."

「間接目的語」「動詞」：《「動詞」「補語」 | 「動詞」「目的語」 | 「主語」「動詞」「目的語」》

Le レ pron 彼女に 「間接目的語」

dije: ディエ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

"Es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

sucio. スオ adj. 汚い 「補語」

Hay アイ 3 単現(haber)v.t ~がいる 「動詞」

palomas パロマス pl.n.f ハトが 「目的語」

y イ conj. そして

patios oscuros. パチオス・オスクロス pl.n.m 暗い中庭が 「目的語」

La gente ラ・ヘンテ n.f 人々は 「主語」

tiene テイエネ 3 単現(tener)v.t (特徴を) している 「動詞」

la piel blanca." ラ・ピエル・ブランカ n.f 青白い肌 「目的語」

piel ピエル n.f 皮膚、肌 blanca ブランカ adj.f(blanco) 白い、青白い

それから僕たちは歩き、大通りを通して街を横切った。

Luego caminamos y cruzamos la ciudad por las calles importantes.

「副詞」「動詞」 y 「動詞」「目的語」「副詞句」

Luego ルエゴ adv. それから 「副詞」

caminamos カミナモス 1 複点(caminar)v.i 歩いた 「動詞」

y イ conj. そして

cruzamos クルサモス 1 複点(cruzar)v.i 横切った 「動詞」

la ciudad ラ・シダデ n.f 街を 「目的語」

por las calles ポル・ラス・カジェス adv. (通過) 道路を通して 「副詞句」

importantes. インポルタンテス adj. 重要な 「形容詞」

calles importantes カジェス・インポルタンテス pl.n.f 大通り

女たちはきれいだった。それでマリーにそう思わないかと尋ねた。

Las mujeres estaban hermosas y pregunté a María si lo notaba.

「主語」「動詞」「補語」 y 「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

Las mujeres ラス・ムヘレス pl.n.f 女たちは 「主語」

estaban エスタバン 3 複線(estar)v.i ~だった 「動詞」

hermosas エルモサス adj.f.pl きれいな 「補語」

y イ conj. そして

Primera parte 第1部

pregunté プレグンテ 1 単点(preguntar)v.t 尋ねた	「動詞」
a María ア・マリア adv. マリーに	「間接目的語」
si シ conj. ～かどうかということ	「直接目的語」
lo ロ pron それを	「目的語」
notaba. ノタバ 3 単線・時制の一致(notar)v.t ～と思う	「動詞」

彼女は、「ええ、あなたのことが理解できるわ」と言った。もうそれ以上話さなかった。

Me dijo que sí y que me comprendía. Luego no hablamos más.

	「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」 「副詞」「動詞句」「副詞」
Me メ pron 僕に	「間接目的語」
dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
que ケ conj. ～ということ	「直接目的語」
sí シ adv. (肯定) ええ	「応答」
y イ conj. そして	
que ケ conj. ～ということ	「直接目的語」
me メ pron 僕を	「目的語」
comprendía. コンプレンディア 3 単線・時制の一致(comprender) v.t 理解する	「動詞」
Luego ルエゴ adv. それから	「副詞」
no hablamos ノ・アブラモス 1 複点・否定(hablar)v.i 話さなかった	「動詞句」
más. マス adv. もう	「副詞」

それでも僕は、彼女と一緒に居てもらいたかったので、セレステの店で一緒に夕食を食べな
いかと誘った。

Quería sin embargo que se quedara conmigo y le dije que podíamos cenar juntos en el
restaurante de Celeste.

	「動詞」「副詞句」「目的語」 y 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
Quería クリア 1 単線(querer)v.t 望んだ、希望した	「動詞」
sin embargo シン・エンバルゴ adv. それでも	「副詞句」
que ケ conj. ～ということ	「目的語」
se quedara セ・ケダラ 3 単末(querer)v.pr このままでいる	「動詞句」
conmigo コンミゴ adv. 僕と一緒に	「副詞句」
y イ conj. そして	
le レ pron 彼女に	「間接目的語」
dije デイハ 1 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
que ケ conj. ～ということ	「直接目的語」

Primera parte 第1部

podíamos cenar ポデアモス・セナル 1 複線・可能・勧誘(poder+不定詞)

v.t 夕食を食べないか

「動詞句」

juntos フントス adv. 一緒に

「副詞」

en el restaurante de Celeste. エン・エル・レストランテ・デ・セステ

adv. セステの店で

「副詞句」

彼女もそうしかったが、用事があった。

A ella le agradaba mucho, pero tenía que hacer.

「間接目的語」「動詞」「副詞」 pero 「動詞句」

A ella le ア・エジャ・レ adv. 彼女にとって

「間接目的語」

agradaba アグラダバ 3 単線(agradar)v.i 気に入っていた

「動詞」

mucho, ムチョ adv. とても

「副詞」

pero ペロ conj. しかし

tenía que hacer. テニア・ケ・アセル 3 単線・必要(tener que+不定詞)

v.t しなければならなかった

「動詞句」

僕のアパートの近くまで来ていたので、彼女にさよならを言った。

Estábamos cerca de mi casa y le dije adiós.

「動詞」「副詞句」 y 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Estábamos エスタバモス 1 複点(estar)v.i 〜にいた

「動詞」

cerca de mi casa セルカ・デ・ミ・カサ adv. 僕のアパートの近くに

「副詞句」

y イ conj. そして

le レ pron 彼女に

「間接目的語」

dije デイヘ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

adiós. アディオス n.m 別れの挨拶を、さよならを

「直接目的語」

彼女は僕を見つめて言った：「何の用事か、知りたくないの？」

Me miró: "¿No quieres saber qué tengo que hacer?"

「目的語」「動詞」：《「動詞句」「目的語」》

Me メ pron 僕を

「目的語」

miró: ミロ 3 単点(mirar)v.t 見つめた

「動詞」

"¿No quieres saber ノ・キエレス・サベル 2 単現・願望・否定・疑問文(querer+不定詞)

v.t 知りたくないの？

「動詞句」

qué ケ pron 〜をすること

「目的語」

tengo que hacer?" テンゴ・ケ・アセル 1 単現・必要(tener que+不定詞)

v.t しなければならない

「動詞句」

Primera parte 第1部

そのことは考えていなかったが、言われてみれば、心から知りたいと思う。だが、彼女は
そのことで僕を非難しているように見えた。

Quería de veras saberlo, pero no había pensado en ello, y era lo que parecía reprocharme.

「動詞句」「副詞句」「動詞句」,pero「動詞句」「間接目的語」y「動詞」「補語」

Quería ...saberlo, クリア...サベル・ロ 1 単線・願望(querer+不定詞)

v.t それを知りたかった 「動詞句」

de veras デ・ベラス adv. 本当に、心から 「副詞句」

pero ペロ conj. しかし

no había pensado ノ・アビア・ペンサト 1 単線・完了形・否定(pensar)

v.i (en について) 考えていなかった 「動詞句」

en ello, エン・エジョ adv. それについて 「間接目的語」

y イ conj. そして

era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」

lo ロ pron それ 「補語」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

parecía reprocharme. パレシア・レプ・ロチャル・メ 3 単線・推測(parecer+不定詞)

v.i 僕を非難しているように見えた 「動詞句」

彼女は僕の困った様子を見て笑い始め、僕に倒れ込んで唇を差し出した。

Se echó a reír ante mi aspecto cohibido y se acercó con todo el cuerpo para ofrecermela boca.

「動詞句」「副詞句」y「動詞句」「副詞句」

Se echó a reír セ・エチョ・アレイル 3 単点・開始(echarse a+不定詞)

v.pr 笑い始めた 「動詞句」

ante アンテ prep ~を前にして 「副詞句」

mi aspecto ミ・アスペクト n.m 僕の様子 「目的語」

cohibido コイビト adj. おどおどした、困った 「形容詞」

y イ conj. そして

se acercó セ・アセルロ 3 単点(acercarse)v.pr 近づいてきた 「動詞句」

con todo el cuerpo コン・トド・エル・ケルポ adv. 全身で 「副詞句」

para +不定詞 パラ adv. ~するために 「副詞句」

ofrecermela オフレセル・メ 不定詞(ofrecer+me)v.t 僕に~を差し出す 「動詞句」

la boca. ラ・ボカ n.f 唇を 「目的語」

Primera parte 第1部

僕はセレステのレストランで夕食を食べた。

Cené en el restaurante de Celeste.

「動詞」「副詞句」

Cené セネ 1 単点(cenar)v.i 夕食を食べた

「動詞」

en el restaurante エン・ネル・レストランテ adv. レストランで

「副詞句」

de Celeste. デ・セステ adj. セレステの

「形容詞句」

僕が食事を始めると、妙な小柄な女が入ってきて、僕のテーブルに座っていいかと尋ねた。

Había comenzado a comer cuando entró una extraña mujercita que me preguntó si podía sentarse a mi mesa.

「動詞句」「副詞節」

Había comenzado a comer アビ・ア・コメンサド・ア・コメル 1 単線・完了形・開始(comenzar a+不定詞)

v.i 食べ始めた

「動詞句」

cuando クワント conj. その時～する

「副詞節」

entró エントロ 3 単点(entrar)v.i 入ってきた

「動詞」

una extraña mujercita ウナ・エクストラ・ムヘルシタ n.f 奇妙な小柄な女が

「主語」

mujercita ムヘルシタ → mujer +cita 小柄な女

que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞」

si シ conj. ～かどうかということ

「直接目的語」

podía sentarse ポディア・センタル・セ 3 単線・可能(poder+不定詞)

v.pr 座ってもよい

「動詞句」

a mi mesa. ア・ミ・メサ adv. 僕のテーブルに

「副詞句」

もちろん座って構わない。彼女は仕草ががさつで、リンゴみたいに小さい顔の中に目がギラギラと光っていた。

Naturalmente que podía. Tenía ademanes bruscos y ojos brillantes en una pequeña cara de manzana.

「補語」「主語」 | 「動詞」「目的語」 y 「目的語」「副詞句」

Naturalmente ナチュラルメンテ adv. 当然、もちろん

「補語」

que ケ conj. ～ということは

「主語」

podía. ポディア 3 単線・時制の一致(poder)v.t 彼女が座っても構わない

「動詞」

Tenía テニア 3 単線(tener)v.t (特徴を)していた

「動詞」

ademanes アデマネス pl.n.m 仕草を

「目的語」

bruscos ブルスコス adj.m.pl(brusco) ぶっきらぼうな、がさつな

「形容詞」

y イ conj. そして

ojos オス pl.n.m 目

「目的語」

brillantes ブリジャンテス adj.pl 輝いた

「形容詞」

Primera parte 第1部

en una pequeña cara エン・ウナ・ペケニャ・カラ adv. 小さい顔の中に 「副詞句」
de manzana. デ・マンサ adj. リンゴみたいな 「形容詞句」

ジャケットを脱いで腰かけると、一心不乱にメニューを調べ始めた。

Se quitó la chaqueta, se sentó y consultó febrilmente la lista.

「動詞句」「目的語」, 「動詞句」 y 「動詞」「副詞」「目的語」

Se quitó セ・クト 3 単点(quitarse)v.pr (服を)脱いだ 「動詞句」
la chaqueta, ラ・チャカ n.f ジャケットを、上着を 「目的語」
se sentó セ・セント 3 単点(sentarse)v.pr 腰かけた 「動詞句」
y イ conj. そして
consultó コンスト 3 単点(consultar)v.t 調べた 「動詞」
febrilmente フェブリルメンテ adv. 激しく、興奮して 「副詞」
la lista. ラ・リスタ n.f 表、メニューを 「目的語」

セレステを呼ぶと、正確かつ早口な口調ですべての料理を注文した。

Llamó a Celeste y pidió inmediatamente todos los platos con voz a la vez precisa y precipitada.

「動詞」「目的語」 y 「動詞句」「副詞」「目的語」「副詞句」

Llamó ジャモ 3 単点(llamar)v.t ~を呼んだ 「動詞」
a Celeste ア・セステ n.m セレステを 「目的語」
y イ conj. そして
pidió ピ・テイオ 3 単点(pedir)v.t 注文した 「動詞」
inmediatamente インメディアタメンテ adv. 即座に 「副詞」
todos los platos ト・ス・ロス・プラトス pl.n.m すべての料理を 「目的語」
con voz コン・ボス adv. 声で 「副詞句」
a la vez ア・ラ・ベス adv. 同時に、一気に 「副詞句」
precisa プレシサ adj.f 正確な 「形容詞」
y イ conj. そして
precipitada. プレシピタダ adj.f あわただしい、性急な 「形容詞」

Primera parte 第1部

前菜を待っている間に、女は、ハンドバッグを開けて、小さな四角い紙と鉛筆を取り出し、前もって勘定を計算した。それから、チップを加えた丁度の金額をポケットから取り出して、目の前のテーブルに置いた。

Mientras esperaba los entremeses, abrió el bolso, sacó un cuadradito de papel y un lápiz, calculó de antemano la cuenta, luego extrajo de un bolsillo la suma exacta, aumentada con la propina, y la puso delante de sí.

「副詞節」, 「動詞」「目的語」, 「動詞」「目的語」, 「動詞」「副詞句」「目的語」, 「副詞」「動詞」「副詞句」「目的語」 y 「目的語」「動詞」「副詞句」

Mientras ミントラス conj. ～している間に 「副詞節」
esperaba エスペラハ 3 単線(esperar)v.t. ～を待っていた 「動詞」
los entremeses, ロス・エントレメス pl.n.m(entremés) 前菜 (オードブル) を「目的語」
abrió アブリオ 3 単点(abrir)v.t. 開けた 「動詞」
el bolso, エル・ボルソ n.m ハンドバッグを 「目的語」
sacó サコ 3 単点(sacar)v.t. 取り出した 「動詞」
un cuadradito ウン・クワドラデイト n.m (cuadrado + ito) 小さい四角 「目的語」
de papel デ・パペル adj. 紙の 「形容詞句」
y イ conj. そして
un lápiz, ウン・ラピス n.m 鉛筆 「目的語」
calculó カルコ 3 単点(calcular)v.t. 計算した 「動詞」
de antemano デ・アンテナ adv. 前もって、あらかじめ 「副詞句」
la cuenta, ラ・クエンタ n.f 勘定を 「目的語」
luego ルエゴ adv. (順序) それから 「副詞」
extrajo エクストラホ 3 単点(extraer)v.t. 取り出した 「動詞」
de un bolsillo デ・ウン・ボルシジョ adv. ポケットから 「副詞句」
la suma exacta, ラ・スマ・エクサタ n.f 丁度の合計額を 「目的語」
aumentada アウメントァ 過去分詞・受動.f(aumentar)adj. 加えられた 「形容詞句」
con la propina, コン・ラ・プロピナ adv. チップを 「副詞句」
y イ conj. そして
la ラ pron (la suma の代用) それを 「目的語」
puso プソ 3 単点(poner)v.t. 置いた 「動詞」
delante デランテ prep (de の) 前に 「副詞句」
de sí. デ・シ adv. 自分自身の 「副詞句」

オードブル :

フルコースでスープの前に出される最初の料理。前菜、アペタイザーともいう。

Primera parte 第1部

丁度その時、前菜が運ばれてきた。女はそれを大急ぎでがつつと食べた。

En ese momento le trajeron los entremeses, que devoró a toda velocidad.

「副詞句」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」, 「目的語」「動詞」「副詞句」

En ese momento エン・エセ・モメント adv. 丁度その時

「副詞句」

le レ pron 彼女に

「間接目的語」

trajeron トラヘロン 3 複過(trazer)v.t 持ってきた

「動詞」

直接目的語を主語にして翻訳する

los entremeses, ロス・エントレメセス pl.n.m 前菜が

「直接目的語」

que ケ pron それを

「目的語」

devoró デボロ 3 単点(devorar)v.t がつつ食べた

「動詞」

a toda velocidad. ア・トダ・ベロシダ adv. 大急ぎで、全速力で

「副詞句」

次の料理を待っている間、女は、ハンドバッグからさらに青い鉛筆と今週のラジオ番組を載せている雑誌を取り出した。

Mientras esperaba el plato siguiente sacó además del bolso un lápiz azul y una revista que publicaba los programas radiofónicos de la semana.

「副詞節」, 「動詞」「副詞句」「目的語」

Mientras ミエンTRAS conj. ～している間に

「副詞節」

esperaba エスペラハ 3 単線(esperar)v.t ～を待っていた

「動詞」

el plato siguiente エル・プラト・シギエンテ n.m 次の料理を

「目的語」

sacó サコ 3 単点(sacar)v.t 取り出した

「動詞」

además アデマス adv. さらに

「副詞」

del bolso デル・ボルソ adv. ハンドバッグから

「副詞句」

un lápiz azul ウン・ラピス・アスル n.m 青い鉛筆を

「目的語」

y イ conj. そして

una revista ウナ・レビスタ n.f 雑誌を1冊

「目的語」

que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

publicaba プブリカハ 3 単線(publicar)v.t 公表している

「動詞」

los programas ロス・プログラマス pl.n.m 番組を

「目的語」

radiofónicos ラディオフォニコス adj.pl ラジオ放送の

「形容詞句」

de la semana. デ・ラ・セマ adj. その週の

「形容詞句」

Primera parte 第1部

一つずつ非常に注意深く、ほとんどすべての番組に印をつけていた。

Con mucho cuidado señaló una por una casi todas las audiciones.

「副詞句」「動詞」「副詞句」「目的語」

Con mucho cuidado コン・ムチョ・クイダド adv. 非常に注意深く 「副詞句」

señaló セニャロ 3 単点(señalar)v.t. ～に印をつけた 「動詞」

una por una ウナ・ポル・ウナ adv.(= uno por uno) 一つずつ 「副詞句」

casi todas カシ・トダス adj. ほとんどすべての 「形容詞句」

las audiciones. ラス・アウディシオネス pl.n.f 番組、聞くこと 「目的語」

その雑誌は10 ページほどの厚さだったので、女は細心の注意をして食事の間ずっと、この作業を続けていた。

Como la revista tenía una docena de páginas continuó minuciosamente este trabajo durante toda la comida.

「副詞節」, 「動詞」「副詞」「目的語」「副詞句」

Como コモ conj. ～なので 「副詞節」

la revista ラ・レビスタ n.f その雑誌は 「主語」

tenía テニア 3 単線(tener)v.t. ～があった 「動詞」

una docena de páginas ウナ・ドセナ・デ・パギナス pl.n.f およそ10 ページ 「目的語」

docena ドセナ n.f 1 ダース、12、およそ10

continuó コンチヌオ 3 単点(continuar)v.t. 続けた 「動詞」

minuciosamente ミヌシオサメンテ adv. 綿密に、細心の注意をして 「副詞」

este trabajo エステ・トラバホ n.m この作業を 「目的語」

durante toda la comida. ドゥランテ・トダ・ラ・コミダ adv. 食事の間ずっと 「副詞句」

僕はすでに食事を終えていたが、女は相変わらず熱心に印をつけ続けていた。

Yo había terminado ya y ella seguía señalando con la misma aplicación.

「主語」「動詞句」「副詞」 y 「主語」「動詞句」「副詞句」

Yo ジョ pron 僕は 「主語」

había terminado アビア・テルミナド 1 単線・完了形(terminar)v.i. 終わっていた 「動詞句」

ya ヤー adv. すでに、もう 「副詞」

y イ conj. そして

ella エジャ pron 彼女は 「主語」

seguía señalando セギア・セニャラント 3 単線・継続(seguir+現在分詞)

v.t. 印をつけ続けていた 「動詞句」

con la misma aplicación. コン・ラ・ミスマ・アプ リカシオン adv. 同じ熱心さで 「副詞句」

aplicación アプ リカシオン n.f 勤勉、専心

Primera parte 第1部

それから立ち上がり、機械仕掛けのような正確さで、また上着を着て、出て行った。

Luego se levantó, se volvió a poner la chaqueta con los mismos movimientos precisos de autómata y se marchó. 「副詞」「動詞句」, 「動詞句」「目的語」「副詞句」 y 「動詞句」

Luego ルエゴ adv. それから 「副詞」

se levantó, セ・レバント 3 単点(levantarse)v.pr 立ち上がった 「動詞句」

se volvió a poner セ・ボルビエ・オ・ア・ポ ネル 3 単点・再度(volverse a+不定詞)

v.pr (服を) 再び着た 「動詞句」

la chaqueta ラ・チャクタ n.f 上着を 「目的語」

con los mismos movimientos precisos コン・ロス・ミスモス・モビミエントス・プレシソス

adv. 同様に正確な動作で 「副詞句」

de autómata デ・アウトマ adj. 機械仕掛けの 「形容詞句」

y イ conj. そして

se marchó. セ・マルチョ 3 単点(marcharse)v.pr 出て行った、立ち去った 「動詞句」

何もすることがなかったもので、僕も店を出て、少しの間女の後をついていった。

Como no tenía nada que hacer, salí también y la seguí un momento.

「副詞節」, 「動詞」「副詞」 y 「目的語」「動詞」「副詞句」

Como コモ conj. ～なので 「副詞節」

no tenía ノ・テニア 1 単線・否定(tener)v.t ～がなかった 「動詞句」

nada ナダ pron 何も～ない 「目的語」

que hacer, ケ・アセル adj. するべき 「形容詞節」

salí サリ 1 単点(salir)v.i 出て行った 「動詞」

también タンビエン adv. ～も 「副詞」

y イ conj. そして

la ラ pron 彼女を 「目的語」

seguí セギ 1 単点(seguir)v.t ～の後をついて行った 「動詞」

un momento. ウン・モメント adv. 少しの間 「副詞句」

Primera parte 第1部

女は、歩道の縁石の上に乗れ、信じられないほどの速さと確実さで、縁石から落ちることなく、また振り返ることもなく、自分の道のりを進んでいった。

Se había colocado en el cordón de la acera y con rapidez y seguridad increíbles seguía su camino sin desviarse ni volverse.

「動詞句」「副詞句」 y 「副詞句」「動詞」「目的語」「副詞句」

Se había colocado セ・アビア・コカト 3 単線・完了形(colocarse)v.pr 身を置いた 「動詞句」

en el cordón エン・エル・コルトン adv. 縁石の上に 「副詞句」

de la acera テ・ラ・アセラ adj. 歩道の 「形容詞句」

y イ conj. そして

con コン adv. (所持) ～を持って 「副詞句」

rapidez ラピデス n.f 速さ 「目的語」

y イ conj. そして

seguridad セグリティ n.f 確実さ 「目的語」

increíbles インクレイブレス adj.pl, adv. 信じられないほどの 「副詞」

seguía セギア 3 単線(seguir)v.t (道を) 進んでいった 「動詞」

su camino ス・カミノ n.m 自分の道のりを 「目的語」

sin desviarse シン・デスビアルセ adv. 道をそれずに 「副詞句」

→ 縁石を踏み外さずに

ni volverse. ニ・ボルベルセ adv.(sin volverse) 振り返りもせずに 「副詞句」

ni は否定の連続

結局は彼女を見失って、今来た道に戻った。変わった女だと思ったが、すぐに忘れた。

Acabé por perderla de vista y volver sobre mis pasos. Me pareció una mujer extraña, pero la olvidé bastante pronto.

「動詞句」「副詞句」 y 「間接目的語」「動詞」「補語」 pero 「目的語」「動詞」「副詞句」

Acabé por + 不定詞 アカベ・ホル 1 単点・結局(acabar por+不定詞)v. 結局は～した 「動詞句」

perderla de vista ペルデアール・ラ・デ・ビスタ 不定詞(perder de vista+la)

v.t 彼女を見失う 「動詞句」

y イ conj. そして

volver ホルベル 不定詞 v.i 戻る 「動詞句」

sobre mis pasos. ソブレ・ミス・パス adv. 自分の来た道を 「副詞句」

Me メ pron 僕には 「間接目的語」

pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i ～に見えた 「動詞」

una mujer extraña, ウナ・ムヘル・エクストラニャ n.f 変わった女 「補語」

pero ペロ conj. しかし

la ラ pron 彼女のことを 「目的語」

Primera parte 第1部

olvidé オルビデ 1 単点(olvidar)v.t 忘れた 「動詞」
 bastante pronto. バスタンテ・プロント adv. あっという間に、すぐに 「副詞句」

僕の部屋の戸口にサラマノ老人がいた。

Encontré al viejo Salamano en el umbral de mi puerta. 「動詞」「目的語」「副詞句」
 Encontré エンコントレ 1 単点(encontrar)v.t (偶然に) 見つけた 「動詞」
 al viejo Salamano アル・ビエホ・サラマノ n.m サラマノ老人を 「目的語」
 en el umbral エン・エル・ウンブラル adv. 戸口で 「副詞句」
 de mi puerta. デ・ミ・プエルタ adj. 僕の部屋のドアの 「形容詞句」

彼を部屋に入れると、彼は犬が行方不明だと告げた。犬が野犬収容所にいなかったのだ。

Le hice entrar y me enteró de que el perro estaba perdido, puesto que no se hallaba en la perrera. 「目的語」「動詞句」 y 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」, 「副詞節」
 Le レ pron 彼を 「目的語」
 hice entrar イエ・エントラール 1 単点・使役(hacer+不定詞)v.t 入らせた 「動詞句」
 y イ conj. そして
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 enteró エンテロ 3 単点(enterar)v.t 知らせた 「動詞」
 de que デ・ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 el perro エル・ペロ n.m 犬が 「主語」
 estaba エスタバ 3 単線・時制の一致(estar)v.i ～である 「動詞」
 perdido, ペルディト adj. 行方不明の 「補語」
 puesto que プエスト・ケ conj. ～だから 「副詞節」
 no se hallaba ノ・セ・アジャバ 3 単線・否定(hallarse)
 v.pr (en に) いなかった 「動詞句」
 en la perrera. エン・ラ・ペレラ adv. 野犬収容施設に 「副詞句」

野犬収容所の職員たちは、たぶん車に轢かれたのだろうと言った。

Los empleados le habían dicho que quizá lo hubieran aplastado. 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 Los empleados ロス・エンプレアトス pl.n.m 野犬収容所の職員たちは 「主語」
 le レ pron 彼に 「間接目的語」
 habían dicho アビアン・デイチョ 3 複線・完了形(decir)v.t 言った 「動詞句」
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 quizá キサ adv. 恐らく、たぶん 「副詞」
 lo ロ pron (el perro の代用) それを 「目的語」

Primera parte 第1部

hubieran aplastado. ウビエラン・アプラスト^ㇰ 接・3 複過・完了形・推測(aplastar)

v.t 押しつぶした

「動詞句」

受動態に翻訳する

そのことを警察署に確認してもらうことはできないだろうかと、サラマノは職員に尋ねた。

Había preguntado si no era posible que en las comisarías lo supiesen.

「動詞句」「目的語」

Había preguntado アビア・フレグント^ㇰ 3 単線・完了形(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞句」

si シ conj. ～かどうかということ

「目的語」

no era ノエラ 3 単線・否定・時制の一致(ser)v.i ～でない

「動詞」

posible ポシブレ adj. 可能な

「補語」

que ケ conj. ～ということが

「主語」

en las comisarías エン・ラス・コミサリアス adv. 警察署で

「副詞句」

lo ロ pron それを（轆かれたことを）

「目的語」

supiesen. スピエシエン 接・3 複線・時制の一致(saber)v.t 知る

「動詞」

「主語」は野犬収容所の職員たち

すると、そのようなことは毎日起こるので、報告書は作られないのだと答えた。

Se le había respondido que no se llevaba cuenta de tales cosas porque ocurrían todos los días.

「動詞句」「目的語」

Se le había respondido セ・レ・アビア・レスポ^ㇰンデイト^ㇰ 3 単線・完了形(responderse+le)

v.t サラマノに答えた

「動詞句」

que ケ conj. ～ということ

「目的語」

no se llevaba ノ・セ・ジエバ^ㇰハ 3 単線・再帰受動・否定(llevarse)

v.pr 作られない

「動詞句」

cuenta de tales cosas ケンタ・デ・タレス・コサス n.f そのような事の報告書は

「主語」

porque ポルケ conj. ～なので

「副詞節」

ocurrían オクリアン 3 複線・時制の一致(ocurrir)v.i 起こる

「動詞」

todos los días. ト^ㇰス・ロス・デ^ㇰィアス adv. 毎日

「副詞句」

Primera parte 第1部

別の犬を飼ったらどうだろうかと、サラマノ老人に行ってみたが、あの犬に馴染んでいたという当然の説明があった。

Le dije al viejo Salamano que podría tener otro perro, pero me hizo notar con razón que estaba acostumbrado a éste.

「間接目的語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」,
pero 「間接目的語」「動詞句」「副詞句」「直接目的語」

Le レ pron 彼に

「間接目的語」

dije ディエ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

al viejo Salamano アル・ビエホ・サラマノ adv. サラマノ老人に

「間接目的語」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

podría tener ポドリャ・テネル 3 単過未・可能性(poder+不定詞)

v.t. ～を飼うのが良いのではないか

「動詞句」

otro perro, オトロ・ペッロ n.m 別の犬を

「目的語」

pero ペロ conj. しかし

me メ pron 僕に

「間接目的語」

hizo notar ヒゾ・ノタル 3 単点・使役(hacer+不定詞)v.t 気付かせた

「動詞句」

con razón コン・ラソン adv. 当然のように

「副詞句」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i. ～だった

「動詞」

acostumbrado アコストゥンブラド adj. 慣れた、馴染んだ

「補語」

a éste. ア・エステ adv. あの犬に

「間接目的語」

僕はベッドの上で縮こまり、サラマノはテーブルの前の椅子に腰かけていた。

Yo estaba acurrucado en mi cama y Salamano se había sentado en una silla delante de la mesa.

「主語」「動詞」「補語」 y 「主語」「動詞句」「副詞句」

Yo ジョ pron 僕は

「主語」

estaba エスタバ 1 単線・状態(estar)v.i. ～だった

「動詞」

acurrucado アクルカド 過去分子(acurrucar)adj. 縮こまった

「補語」

en mi cama エン・ミ・カマ adv. ベッドの上で

「副詞句」

y イ conj. そして

Salamano サラマノ n.m サラマノは

「主語」

se había sentado セ・アビア・センタド 3 単線・完了形(sentirse)v.pr 腰かけていた

「動詞句」

en una silla エン・ウナ・シジャ adv. 椅子の上に

「副詞句」

delante de la mesa. デランテ・デ・ラ・メサ adv. テーブルの前の

「副詞句」

Primera parte 第1部

彼は僕の正面にいて、両手を膝に置いていた。

Estaba enfrente de mí y apoyaba las dos manos en las rodillas.

「動詞」「副詞句」 y 「動詞」「目的語」「副詞句」

Estaba エスタハ 3 単線(estar)v.i (存在) ～にいた 「動詞」

enfrente de mí エンフレンテ・デ・ミ adv. 僕の正面に 「副詞句」

y イ conj. そして

apoyaba アポヤハ 3 単線(apoyar)v.t (en に) もたせかけていた 「動詞」

las dos manos ラス・トス・マノス pl.n.m 両手を 「目的語」

en las rodillas. エン・ラス・ロデイルヤス adv. 膝の上に 「副詞句」

彼は古びた帽子をかぶったままで、黄ばんだ口ひげの下から、不明瞭な言葉を呟っていた。

Tenía puesto el viejo sombrero. Mascullaba frases incompletas bajo el bigote amarillento.

「動詞句」「目的語」 | 「動詞」「目的語」「副詞句」

Tenía +過去分詞 3 単線・完了・放置(tener+過去分詞)v. ～してあった 「動詞句」

puesto プエスト 過去分詞(poner)v.t (帽子を) かぶった 「動詞句」

el viejo sombrero. エル・ビエホ・ソンブレロ n.m 古い帽子を 「目的語」

Mascullaba マスクジャハ 3 単線(mascullar)v.t つぶやいていた 「動詞」

frases フラセス pl.n.f 言葉を 「目的語」

incompletas インコンプレタス adj.f.pl 不完全な、不備な 「形容詞」

bajo バホ prep ～の下で 「副詞句」

el bigote エル・ビゴテ n.m 口ひげ 「目的語」

amarillento. アマリジェント adj.m 黄色っぽい 「形容詞」

amarillo アマリジョ n.m 黄色 -ento エント 接尾辞 (名詞+, 品質形容詞化)

僕は少しうんざりしていたが、他にすることもなし、眠気もなかった。

Me fastidiaba un poco, pero no tenía nada que hacer y no sentía sueño.

「動詞句」「副詞句」,pero 「動詞句」「目的語」 y 「動詞句」「目的語」

Me fastidiaba メ・ファスティディアハ 1 単線(fastidiarse)v.pr うんざりした、不快になった「動詞句」

un poco, ウン・ポコ adv. 少し 「副詞句」

pero ペロ conj. しかし

no tenía ノ・テニア 1 単線・否定(tener)v.t なかった 「動詞句」

nada que hacer ナダ・ケ・アセル pron することが何も 「目的語」

y イ conj. そして

no sentía ノ・センチア 1 単線・否定(sentir)v.t 感じなかった 「動詞句」

sueño. スエニョ n.m 眠気を 「目的語」

Primera parte 第1部

何か言おうとして、彼に犬のことを質問してみた。

Por decir algo le interrogué sobre el perro. 「副詞句」「間接目的語」「動詞」「間接目的語」

Por decir ポル・デシール 不定詞・目的 adv. ～を言うために 「副詞句」

algo アルゴ pron 何か 「目的語」

le レ pron 彼に 「間接目的語」

interrogué インテロゲ 1 単点(interrogar)v.t 尋ねた、質問した 「動詞」

sobre el perro. ソブレ・エル・ペロ adv. 犬について 「間接目的語」

奥さんの死後にあの犬を飼い始めたのだと、僕に言った。彼はかなり遅く結婚したそうだ。

Me dijo que lo tenía desde la muerte de su mujer. Se había casado bastante tarde.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 | 「動詞句」「副詞句」

Me メ pron 僕に 「間接目的語」

dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

que ケ conj. ～ということ 「直接目的語」

lo ロ pron あの犬を 「目的語」

tenía テニア 3 単線(tener)v.t 飼った 「動詞」

desde デステ prep (時間) ～以来、～から 「副詞句」

la muerte ラ・ムエルテ n.f 死 「目的語」

de su mujer. デ・ス・ムヘル adj. 彼の奥さんの 「形容詞句」

Se había casado セ・アビ・ア・カサド 3 単線・完了形(casarse)v.pr 結婚した 「動詞句」

bastante tarde. バスタンテ・タルデ adv. かなり遅く 「副詞句」

若いころには、演劇に従事したいと思っていたそうで、軍隊時代には軍隊の小喜劇で演じていたそうだ。

En su juventud tuvo intención de dedicarse al teatro; en el regimiento representaba en las zarzuelas militares. 「副詞句」「動詞」「目的語」; 「副詞句」「動詞」「副詞句」

En su juventud エン・ス・フベントゥ adv. 若いころには 「副詞句」

tuvo トゥボ 3 単点(tener)v.t あった 「動詞」

intención インテンシオン n.f 意欲が 「目的語」

de dedicarse デ・デデ・イアルセ 不定詞・同格 adj. 従事するという 「形容詞句」

al teatro; アル・テアトロ adv. 演劇に 「間接目的語」

en el regimiento エン・エル・レヒミエント adv. 軍隊にいた時代には 「副詞句」

representaba レプレセンタバ 3 単線(representar)v.t 演じていた 「動詞」

en las zarzuelas militares. エン・ラス・サルスエラス・ミラルス adv. 軍隊の小喜劇で 「副詞句」

zarzuela サルエラ : スペインの歌劇、小喜劇場

1650 年代にマドリッド近くのスペイン王の館 La Zarzuela で最初に歌劇が上演されたこと

Primera parte 第1部

から、スペインの歌劇や歌劇場、小喜劇場などの代名詞として使われる。

しかし結局は鉄道に入ったのだが、わずかでも年金を貰えるのだから後悔はしていない。

Pero había entrado finalmente en los ferrocarriles y no lo lamentaba porque ahora tenía un pequeño retiro. Pero 「動詞句」「副詞」「間接目的語」 y 「動詞句」「目的語」「副詞節」

Pero ペロ conj. しかし

había entrado アビア・エントラト 3 単線・完了形(entrar)v.i (組織に) 加入した 「動詞句」

finalmente ファイナルメンテ adv. 結局、最後に 「副詞」

en los ferrocarriles エン・ロス・フォカリレス adv. 鉄道に 「間接目的語」

y イ conj. そして

no ...lamentaba ノ...ラメントバ 3 単線・否定(lamentar)v.t 残念に思っていない 「動詞句」

lo ロ pron そのことを 「目的語」

porque ボルケ conj. ～なので 「副詞節」

ahora アオラ adv. 今 「副詞」

tenía テニア 3 単線(tener)v.t ある 「動詞」

un pequeño retiro. ウン・ペケニョ・レチロ n.m わずかな年金を 「目的語」

結婚生活は幸せと言う程ではなかったが、全体的には、奥さんを身近に感じていた。

No había sido feliz con su mujer, pero, en conjunto, se había acostumbrado a ella.

「動詞句」「補語」「副詞句」,pero 「副詞句」「動詞句」「間接目的語」

No había sido ノ・アビア・シト 3 単線・完了形・否定(ser)v.i ～でなかった 「動詞句」

feliz フェリス adj. 幸福な 「補語」

con su mujer, コン・ス・ムヘル adv. 奥さんとは 「副詞句」

pero, ペロ conj. しかし

en conjunto, エン・コンフント adv. 概して、全体として 「副詞句」

se había acostumbrado セ・アビア・アコスタウンブラト 3 単線・完了形(acostumbrarse)

v.pr (a に) 馴染んでいた 「動詞句」

a ella. ア・エジャ adv. 妻に 「間接目的語」

奥さんが亡くなってみると、彼は強い孤独感に襲われた。

Cuando murió se había sentido muy solo.

「副詞節」, 「動詞句」「補語」

Cuando クワント conj. ～するとき 「副詞節」

murió ムリオ 3 単点(morir)v.i 亡くなった 「動詞」

se había sentido セ・アビア・センフト 3 単線・完了形(sentirse)

v.pr (自分が) ～だと感じた 「動詞句」

muy solo. ムイ・ソロ adj. まったく孤独な 「補語」

Primera parte 第1部

それで彼は、職場の同僚に犬を頼んで、生まれたばかりのあの犬を貰ったのだ。

Entonces había pedido un perro a un camarada del taller y había recibido aquél apenas recién nacido. 「副詞」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」 y 「動詞句」「目的語」

Entonces エントンス adv. それで 「副詞」

había pedido アビア・ペディト 3 単線・完了形(pedir)v.t 頼んだ 「動詞句」

un perro ウン・ペロ n.m 犬を 「直接目的語」

a un camarada ア・ウン・カマダ adv. 同僚に 「間接目的語」

del taller テル・タジエール adj. 職場の 「形容詞句」

y イ conj. そして

había recibido アビア・レシビト 3 単線・完了形(recibir)v.t もらった 「動詞句」

aquél, アケル pron あの犬を 「目的語」

apenas recién nacido. アナス・レシエン・ナシト adj. 生まれたばかりの 「形容詞句」

哺乳瓶を使って育てなければならなかった。

Había tenido que alimentarlo con mamadera. 「動詞句」「副詞句」

Había tenido que alimentarlo アビア・テニト・ケ・アリメンタル・ロ 3 単線・完了形・必要

(tener que+不定詞)v.t 育てなければならなかった 「動詞句」

alimentar アリメンタル v.t ～に食べ物を与える、育てる、養う

con mamadera. コン・ママデラ adv. (手段) 哺乳瓶を使って 「副詞句」

しかし、犬の寿命は人間より短いので、結局は、二人そろって老人になってしまったのだ。

Pero como un perro vive menos que un hombre habían concluido por ser viejos al mismo tiempo. 「副詞節」, 「動詞句」「補語」

Pero

Pero ペロ conj. しかし

como コモ conj. ～なので 「副詞節」

un perro ウン・ペロ n.m 犬は 「主語」

vive ビベ 3 単現(vivir)v.i 生きる 「動詞」

menos メノス adv. (時間) より短く、少なく 「副詞」

que un hombre ケ・ウン・オンブレ adv. (比較) 人間よりも 「副詞句」

habían concluido por ser アビアン・コンクルイト・ポル・セル 3 複線・完了形・結局

(concluir por+不定詞)v.i 結局～になった 「動詞句」

viejos ビエホス pl.n 老人に 「補語」

al mismo tiempo. アル・ミスモ・ティエンポ adv. 同時に 「副詞句」

Primera parte 第1部

「あいつは性格が悪かった」と、サラマノが僕に言った。「時々は、口喧嘩もしました」

"Tenía mal carácter", me dijo Salamano. "De vez en cuando nos tomábamos del pico.

《「動詞」「目的語」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」, 《「副詞句」「動詞句」「副詞句」》

"Tenía テニア 3 単線(tener)v.t (特徴が) あった 「動詞」

mal carácter", マル・カラクテル n.m 悪い性格 「目的語」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Salamano. サラマノ n.m サラマノが 「主語」

"De vez en cuando デ・ベス・エン・クワント adv. 時々は 「副詞句」

nos tomábamos ノス・トマバモス 1 複線(tomarse)v.pr (行動を) した 「動詞句」

del pico. デル・ピコ adv. 口先だけで 「副詞句」

「しかしそれでも、あれはいい犬でした」

Pero a pesar de todo era un buen perro." 《Pero 「副詞句」「動詞」「補語」》

Pero ペロ conj. しかし

a pesar de todo ア・ペサル・デ・トト adv. 結局それでも 「副詞句」

era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」

un buen perro." ウン・ブエン・ペロ n.m いい犬 「補語」

血統の良い犬でしたね、と僕が言うと、サラマノは満足げな表情を示した。

Dije que era de buena raza y Salamano se mostró satisfecho.

「動詞」「目的語」 y 「主語」「動詞句」「補語」

Dije ディハ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

que ケ conj. ~ということ 「目的語」

era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」

de buena raza デ・ブエナ・ラサ adj. (出身) 血統の良い 「補語」

raza ラサ n.f 人種、血筋

y イ conj. そして

Salamano サラマノ n.m サラマノが 「主語」

se mostró セ・モストロ 3 単点(mostrarse)v.pr (態度などを) 見せた 「動詞句」

satisfecho. サティスフェチョ adj. 満足した 「補語」

Primera parte 第1部

「それに、あれは」と彼は付け加えた。「病気になる前のあなたが知らないあれは、最高に素晴らしい毛並みをしていた」

"Y eso", agregó, "que usted no lo conoció antes de la enfermedad. El pelo era lo mejor que tenía." 《Y「主語」》, 「動詞」, 《「形容詞節」 | 「主語」「動詞」「補語」》

"Y イ conj. そして

eso", エソ pron あれは 「主語」

agregó, アグレゴ 3 単点(agregar)v.t 付け加えた 「動詞」

"que ケ pron (同格) ～する 「形容詞節」

usted ウステ pron あなたは 「主語」

no ...conoció ノ...コノシオ 3 単点・否定(conocer)v.t 知らない 「動詞句」

lo ロ pron あれを 「目的語」

antes de la enfermedad. アンテス・デ・ラ・エンフェルメダ

adv. 病気になる前に 「副詞句」

El pelo エル・ペロ n.m 体毛は 「主語」

era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」

lo mejor que tenía." ロ・メホル・ケ・テナ pron.m 最高に素晴らしい毛並み 「補語」

犬があの皮膚病を患って以来、サラマノは毎朝毎晩、軟膏を塗ってやっていた。

Todas las tardes y todas las mañanas, desde que el perro tuvo aquella enfermedad de la piel, Salamano le ponía una pomada.

「副詞句」, 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Todas las tardes トダス・ラス・タルデス adv. 毎晩 「副詞句」

y イ conj. そして

todas las mañanas, トダス・ラス・マニャナス adv. 毎朝 「副詞句」

desde que デステ・ケ conj. ～してから、～した後で 「副詞節」

el perro エル・ペロ n.m あの犬が 「主語」

tuvo トゥボ 3 単点(tener)v.t (病気を) 患った 「動詞」

aquella enfermedad de la piel, アケンヤ・エンフェルメダ・デ・ラ・ピエル

n.f あの皮膚病を 「目的語」

Salamano サラマノ n.m サラマノは 「主語」

le レ pron 犬に 「間接目的語」

ponía ポニア 3 単線(poner)v.t (薬を) 塗っていた、つけていた 「動詞」

una pomada. ウナ・ポマダ n.f 軟膏を 「直接目的語」

Primera parte 第1部

しかし彼の話によると、あの犬の本当の病気は老いだった。そして老いは直せないのだ。

Pero según él su verdadera enfermedad era la vejez, y la vejez no se cura.

Pero 「主語」「動詞」「補語」 y 「主語」「動詞句」

Pero ペロ conj. しかし

según él セグン・エル adv. 彼の話によると

「副詞句」

su verdadera enfermedad ス・ヴェルダデラ・エンフェルメダ n.f. あの犬の本当の病気は

「主語」

era エラ 3 単線(ser)v.i. ～だった

「動詞」

la vejez, ラ・ベヘス n.f. 老い

「補語」

y イ conj. そして

la vejez ラ・ベヘス n.f. 老いは

「主語」

no se cura. ノ・セ・クラ 3 単現・再帰(curarse)v.pr. 治らない

「動詞句」

僕があくびをすると、老人は、そろそろ帰りますと言った。

Bostecé y el viejo me anunció que iba a marcharse.

「動詞」 y 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Bostecé ボステセ 1 単点(bostezar)v.i. あくびをした

「動詞」

y イ conj. そして

el viejo エル・ビエホ n.m. 老人は

「主語」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

anunció アヌンシオ 3 単点(anunciar)v.t. 告げた

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

iba a marcharse. イバ・ア・マルチャルセ 3 単線・近接未来(ir a+不定詞)

v.pr. もう帰る

「動詞句」

僕は彼に、ゆっくりしてってください、そして、犬がこんなことになってお気の毒に思いますと言った。

Le dije que podía quedarse y que lamentaba lo que había sucedido al perro.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Le レ pron 彼に

「間接目的語」

dije ディエ 1 単点(decir)v.t. 言った

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

podía quedarse ポディヤ・カダルセ 3 単線・許可・時制の一致(poder+不定詞)

v.pr. このまま居ても構わない、ゆっくりしててください

「動詞句」

y イ conj. そして

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

lamentaba ラメントア 1 単線・時制の一致(lamentar)v.t. 残念に思う

「動詞」

Primera parte 第1部

lo	ロ	pron	それを	「目的語」
que	ケ	pron	(主語) ~する	「形容詞節」
había sucedido	アビ・ア・スセディト	3 単線・完了形(suceeder)		
v.i			起こった	「動詞句」
al perro.	アル・ペ・ロ	adv.	犬に	「副詞句」

彼は僕に礼を言った。そして、母さんはあの犬をととても可愛がっていたと言った。

Me lo agradeció. Me dijo que mamá quería mucho al perro.

				「間接目的語」「直接目的語」「動詞」	「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
Me	メ	pron	僕に		「間接目的語」
lo	ロ	pron	そのことを		「直接目的語」
agradeció.	アグラデシオ	3 単点(agradecer)v.t	感謝した		「動詞」
Me	メ	pron	僕に		「間接目的語」
dijo	ディヨ	3 単点(decir)v.t	言った		「動詞」
que	ケ	conj.	~ということを		「直接目的語」
mamá	ママ	n.f	母さんは		「主語」
quería	クリア	3 単線(querer)v.t	好んでいた、可愛がっていた		「動詞」
mucho	ムチョ	adv.	とても		「副詞」
al perro.	アル・ペ・ロ	n.m	あの犬を		「目的語」

母さんについて話すとき、彼は「亡き母上」と呼んでいた。

Al referirse a ella la llamaba "su pobre madre".				「副詞句」「目的語」「動詞」「補語」
Al referirse	アル・レフェリル・セ	adv.(al+不定詞)v.pr	～について言うときに	「副詞句」
a ella	ア・エジャ	adv.	母さんについて	「間接目的語」
la	ラ	pron	母さんを	「目的語」
llamaba	ジャマバ	3 単線(llamar)v.t	呼んでいた	「動詞」
"su pobre madre".	ス・ポブレ・マドレ	n.f	「亡き母上」	「補語」
pobre	ポブレ	adj. (+名詞)	気の毒な → 他人の不幸や苦痛などに同情して心を痛める → お気の毒な母上 → 亡き母上	

Primera parte 第1部

母上を亡くされてとても辛いお気持ちのこととお察しします、と彼が言った。しかし僕は何も答えなかった。

Suponía que debía de sentirme muy desgraciado desde que mamá murió, pero no respondí nada. 「動詞」「目的語」,pero 「動詞句」「目的語」

Suponía スポニア 3 単線(suponer)v.t 推測した 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

debía de sentirme デビア・デ・デンチル・メ 1 単線・推定(deber de+不定詞)

v.pr ～と感じているに違いない 「動詞句」

muy desgraciado マイ・デスグラシアド adj. ひどく哀れな 「補語」

desde que +直説法 conj. ～して以来 「副詞句」

mamá ママ n.f 母さんが→母上を 「主語」

murió, ムリオ 3 単点(morir)v.i 死んだ 「動詞」

pero ペロ conj. しかし

no respondí ノ・レスポ・ンティ 1 単点・否定(responder)v.t 答えなかった 「動詞句」

nada. ナダ pron 何も～ない 「目的語」

それから彼は、とても早口でしかも不満げに僕に言った。界限では母さんを養老院へ入れたことで僕のことを親不孝ものと見なしているようだが、彼は僕と知り合いだから、僕が母さんを愛していることを承知していると。

Me dijo entonces, muy rápidamente y con aire molesto, que sabía que en el barrio me habían juzgado mal porque había puesto a mi madre en el asilo, pero él me conocía y sabía que quería mucho a mamá. 「間接目的語」「動詞」「副詞句」「直接目的語」

Me メ pron 僕に 「間接目的語」

dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

entonces, エントンス adv. それから 「副詞」

muy rápidamente マイ・ラピダメンテ adv. とても早口で 「副詞句」

y イ conj. そして

con aire molesto, コン・アイレ・モレスト adv. 不満げに 「副詞句」

que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

sabía サビア 3 単線(saber)v.t 知っている 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

en el barrio エン・エル・バリオ adv. 界限では 「副詞句」

me メ pron 僕を 「目的語」

habían juzgado アビアン・フズガト 3 複線・完了形(juzgar)

v.t 判断している 「動詞句」

me を主語とする受動態に翻訳する

Primera parte 第1部

mal マル adj. 悪い	「補語」
porque ポルケ conj. ～なので	「副詞節」
había puesto アビア・プエスト 1 単線・完了形(poner)	
v.t. ～に入れた	「動詞句」
a mi madre ア・ミ・マトレ n.f. 母さんを	「目的語」
en el asilo, エン・エル・アシロ adv. 養老院へ	「副詞句」
pero ペロ conj. しかし	
él エル pron 彼は	「主語」
me メ pron 僕を	「目的語」
conocía コノシア 3 単線(conocer)v.t. 知っている	「動詞」
y イ conj. そして	
sabía サビア 3 単線(saber)v.t. 知っている	「動詞」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
quería クリア 1 単線(querer)v.t. 愛している	「動詞」
mucho ムチョ adv. とても	「副詞」
a mamá. ア・ママ n.f. 母さんを	「目的語」

未だになぜか分からないが、この点で僕が悪く思われていたとはその時まで知らなかったし、母さんを世話するだけの十分な金がなかったのだから養老院は自然なことだと思う、と僕は答えた。

Respondí, aún no sé por qué, que hasta ese instante ignoraba que se me juzgase mal a este respecto, pero que el asilo me había parecido una cosa natural desde que no tenía bastante dinero para cuidar a mamá.

Respondí, レスポンディ 1 単点(responder)v.t. ～と答えた	「動詞」
aún アウン adv. (否定文で) (譲歩) いまだに～ないが	「副詞節」
no sé ノセ 1 単現(saber)v.t. 分からない	「動詞句」
por qué, ポルケ adv. なぜか	「副詞句」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
hasta ese instante アスタ・エセ・インスタnte adv. その時まで	「副詞句」
ignoraba イグノラバ 1 単線(ignorar)v.t. 知らないでいた	「動詞」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
se ...juzgase セ...フズガセ 接・3 単過(juzgarse)	
v.pr. 人々が判断していた	「動詞句」
me メ pron 僕のことを	「間接目的語」
mal マル adj. 悪い、親不孝な	「補語」
a este respecto, ア・エステ・レスパクト adv. (根拠) この点で	「副詞句」

Primera parte 第1部

pero ペロ conj. しかし	
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
el asilo エル・アシロ n.m 養老院は	「主語」
me メ pron 僕には	「間接目的語」
había parecido アビ・ア・パレシト 3 単線・完了形(parecer)	
v.i ～に思われた	「動詞句」
una cosa ウナ・コサ n.f 事	「補語」
natural ナチュラル adj. 自然な	「形容詞」
desde que デステ・ケ conj. (理由) ～なのだから、～である以上	「副詞節」
no tenía ノ・テニア 1 単線・否定(tener)v.t ～がない	「動詞句」
bastante dinero バスタンテ・ディネロ n.m 十分な金が	「目的語」
para +不定詞 パラ adv. (目的) ～するのに	「副詞句」
cuidar クイダール 不定詞 v.t 世話をする	「動詞」
a mamá. ア・ママ n.f 母さんを	「目的語」

「その上」と、僕は付け加えた。「ずいぶん前から、母さんは僕と話すことが何も無くなり、一人で退屈していました」

"Por otra parte", <u>agregué</u> , " <u>hacía mucho tiempo que no tenía nada que decirme y que se aburría sola</u> ."	《「副詞句」》, 「動詞」, 《「動詞」「副詞句」「副詞節」》
"Por otra parte", ホル・オトラ・パルテ adv. その上、他方では	「副詞句」
agregué, アグレゲ 1 単点(agregar)v.t 付け加えた	「動詞」
"hacía アシア 3 単線・単人称(hacer)v.t(que+直説法) ～してから... になる	「動詞」
mucho tiempo ムチョ・ティエンポ n.m かなりの時間	「副詞句」
que ケ conj. (時間) ～してから	「副詞節」
no tenía ノ・テニア 3 単線・否定(tener)v.t なかった	「動詞句」
nada que decirme ナダ・ケ・デシル・メ pron 僕に話すことが何も～ない	「目的語」
y イ conj. そして	
que ケ conj. (時間) ～してから	「副詞節」
se aburría セ・アブリア 3 単線(aburrirse)v.pr 退屈していた	「動詞句」
sola." ソラ adv. 一人で	「副詞」

Primera parte 第1部

「そうですね」と、彼は僕に言った。「それに、養老院なら、少なくとも仲間ができます」

"Sí", me dijo, "y en el asilo por lo menos se hacen compañeros".

《「応答」》, 「間接目的語」「動詞」, 《y「副詞句」「動詞句」「補語」》

"Sí", シ adv. (相槌) そうだろうね

「応答」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

dijo, ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

"y" イ conj. それに

en el asilo エン・エル・アシロ adv. 養老院では

「副詞句」

por lo menos ポル・ロ・メノス adv. 少なくとも

「副詞句」

se hacen セ・アセン 3 複現・再帰受動(hacerse)v.pr 作られる、できる

「動詞句」

compañeros". コンパニェロス pl.n.m 仲間が

「主語」

それから彼は失礼しますと言った。彼は眠りたかった。今や彼の生活は変わってしまい、これから何をすればよいか全く分からなかった。

Luego se disculpó. Quería dormir. Su vida había cambiado ahora y no sabía exactamente qué iba a hacer.

「副詞」「動詞句」 | 「動詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞」 y 「動詞句」「副詞」「目的語」

Luego ルエゴ adv. それから

「副詞」

se disculpó. セ・ディスクルポ 3 単点(disculparse)v.pr 失礼しますと言った

「動詞句」

Quería dormir. クリア・ドルミール 3 単線・願望(querer+不定詞)v.t 眠りたかった

「動詞句」

Su vida ス・ビダ n.f 彼の生活は

「主語」

había cambiado アビ・ア・カンビアト 3 単線・完了形(cambiar)v.i 変わってしまった

「動詞句」

ahora アハラ adv. 今や、今となっては

「副詞」

y イ conj. そして

no sabía ノ・サビア 3 単線・否定(saber)v.t 分からなかった

「動詞句」

exactamente エクサクタメンテ adv. 正確に、(否定文で) まったく～ない

「副詞」

qué ケ pron 何かを

「目的語」

iba a hacer. イバ・ア・アセル 3 単線・近接未来(ir a+不定詞)v.t ～をする

「動詞句」

Primera parte 第1部

彼と知り合いになって以来初めて、彼はそっと僕に手を差し出した。すると、彼の手の皮膚がうろこのようにザラザラしているのを感じた。

Por primera vez desde que le conocía, me tendió la mano con gesto furtivo y sentí las escamas de su piel. 「副詞句」, 「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」 y 「動詞」 「目的語」

Por primera vez ホル・プリーマ・ベス adv. 初めて

「副詞句」

desde que デスデ・ケ conj. ～して以来

「副詞節」

le レ pron 彼に

「目的語」

conocía, コノシア 1 単線(conocer)v.t 知り合いになった

「動詞」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

tendió テンディオ 3 単点(tender)v.t ～を差し出した

「動詞」

la mano ラ・マノ n.f 手を

「直接目的語」

con gesto コン・ヘスト adv. 身振りで

「副詞句」

furtivo フルティボ adj. ひそかな

「形容詞」

y イ conj. そして

sentí センティ 1 単点(sentir)v.t 感じた

「動詞」

las escamas ラス・エスカマス pl.n.f (魚の) うろこを

「目的語」

de su piel. デ・ス・ピエル adj. 彼の皮膚の

「形容詞句」

Primera parte 第1部

彼は少し微笑み、出ていく前に僕に言った：「今晚は、犬たちが吠えなければいいんですが。
いつも、うちの犬じゃないかって思ってしまうんです」

Sonrió levemente y antes de partir me dijo: "Espero que los perros no ladrarán esta noche. Siempre me parece que es el mío."

「動詞」「副詞」 y 「副詞句」「間接目的語」「動詞」:

《「動詞」「目的語」 | 「副詞」「間接目的語」「動詞」「主語」》

Sonrió ソンリオ 3 単点(sonreír)v.i 微笑んだ 「動詞」
 levemente レベメンテ adv. 軽く、少し 「副詞」
 y イ conj. そして
 antes de partir アンテス・デ・パルティール adv. 出ていく前に 「副詞句」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 dijo: デイヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 "Espero エスペロ 1 単現(esperar)v.t (que ～を) 希望する 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 los perros ロス・ペロス pl.n.m 犬たちが 「主語」
 no ladrarán ノ・ラト・ラン 3 複未・否定(ladramos)v.i (犬が) 吠えない 「動詞句」
 esta noche. エスタ・ノチェ adv. 今晚は 「副詞句」
 Siempre シエンプレ adv. いつも 「副詞」
 me メ pron 私には 「間接目的語」
 parece パレセ 3 単現(parecer)v.i ～に思われる 「動詞」
 que ケ conj. ～ということが 「主語」
 es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」
 el mío." エル・ミオ n.m 私の犬 「補語」

Primera parte 第1部

VI

日曜日はとても目覚めが悪くて、マリーに声を掛けられ、体を揺さぶられてやっと起きることができた。

El domingo me costó mucho despertarme y fue necesario que María me llamara y me sacudiera. 「副詞句」, 「間接目的語」 「動詞」 「副詞」 「主語」 y 「動詞」 「補語」 「主語」

El domingo エル・ト・シゴ adv. 日曜日は 「副詞句」

me メ pron 僕にとって 「間接目的語」

costó コスト 1 単点(costar)v.i (不定詞が主語) 骨が折れた 「動詞」

mucho ムチョ adv. とても 「副詞」

despertarme デスパルタル・メ 不定詞(despertarse)n. 目覚めることが 「主語」

y イ conj. そして

fue フェ 3 単点(ser)v.i ~だった 「動詞」

necesario ネセリオ adj. 必要な 「補語」

que ケ conj. ~ということが 「主語」

「必要性・可能性」などの『価値判断』に導かれる従属節は、接続法を用いる

María マリア n.f マリーが 「主語」

me メ pron 僕を 「目的語」

llamara ジャマラ 接・3 単過・時制の一致(llamar)v.t 呼ぶ、声をかける 「動詞」

y イ conj. そして

me メ pron 僕を 「目的語」

sacudiera. サクディエラ 接・3 単過・時制の一致(sacudir)v.t 揺さぶる 「動詞」

早く泳ぎたかったので、僕たちは食事をしなかった。

No habíamos comido porque queríamos bañarnos temprano. 「動詞句」 「副詞節」

No habíamos comido ノ・アビ・アモス・コミト 1 複現・完了形・否定(comer)

v.i 食べなかった 「動詞句」

porque ボルケ conj. ~なので 「副詞節」

queríamos bañarnos ケリアモス・ハニアル・ノス 1 複線・願望(querer+不定詞 bañarse)

v.pr 泳ぎたかった 「動詞句」

temprano. テンプラノ adv. はやく、すぐに 「副詞」

Primera parte 第1部

僕は腑抜けたように力が入らない気がした。それに少し頭が痛かった。タバコが苦かった。

Me sentía completamente vacío y me dolía un poco la cabeza. El cigarrillo tenía gusto amargo.

「動詞句」「補語」 y 「間接目的語」「動詞」「副詞句」「主語」 | 「主語」「動詞」「目的語」
 Me sentía メ・センチア 1 単線(sentirse)v.pr 自分が〜だと感じた 「動詞句」
 completamente vacío コンプレタメンテ・バシオ adj. 完全に空虚な 「補語」
 y イ conj. そして
 me メ pron 僕にとって 「間接目的語」
 dolía ドリア 3 単線(doler)v.i 痛む 「動詞」
 un poco ウン・ポコ adv. 少し 「副詞句」
 la cabeza. ラ・カベサ n.f 頭が 「主語」
 El cigarrillo エル・シガリジョ n.m タバコが 「主語」
 tenía テニア 3 単線(tener)v.t (特徴が) あった 「動詞」
 gusto amargo. グスト・アマルゴ n.m 苦い味 「目的語」
 gusto グスト n.m 味 amargo アマルゴ adj. にがい

マリーは、僕が「葬式みたいな顔」をしている、と言ってからかった。

María se burló de mí porque decía que tenía "cara de entierro".

「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞節」
 María マリア n.f マリーは 「主語」
 se burló セ・ブルロ 3 単点(burlarse)v.pr (de を) からかった 「動詞句」
 de mí デ・ミ adv. 僕を 「間接目的語」
 porque ポルケ conj. (手段・理由) 〜して、〜なので 「副詞節」
 decía デシア 3 単線(decir)v.t 言った 「動詞」
 que ケ conj. 〜ということを 「目的語」
 tenía テニア 1 単線・時制の一致(tener)v.t (特徴を) している 「動詞」
 "cara カラ n.f 顔を 「目的語」
 de entierro". デ・エンチエロ adj. 葬式の 「形容詞句」

彼女は白いドレスを着て、髪は束ねていなかった。

Se había puesto un traje de tela blanca y se había soltado los cabellos.

「動詞句」「目的語」 y 「動詞句」「目的語」
 Se había puesto セ・アビエ・プエスト 3 単線・完了形(ponerse)v.pr (服を) 着ていた 「動詞句」
 un traje ウン・トラヘ n.m ドレス、スーツ、ワンピース 「目的語」
 de tela blanca デ・テラ・ブランカ adj. 白い布の 「形容詞句」
 y イ conj. そして

Primera parte 第1部

se había soltado セ・アビ・ア・ソルト 3 単線・完了形(soltarse)

v.pr (束ねていた) 髪を解いていた

「動詞句」

los cabellos. ロス・カベシヨス pl.n.m 毛髪を

「目的語」

彼女にきれいだと言うと、嬉しそうに笑った。

Le dije que estaba hermosa y rió de placer.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「動詞」「副詞句」

Le レ pron 彼女に

「間接目的語」

dije ディエ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

estaba エスタバ 3 単線・時制の一致(estar)v.i ～である

「動詞」

hermosa エルモサ adj.f(hermoso) きれいな

「補語」

y イ conj. そして

rió リオ 3 単点(reír)v.i 笑った

「動詞」

de placer. デ・プラセル adv. (原因・理由) 嬉しくて

「副詞句」

降りる時に、レーモンの部屋のドアをノックすると、自分もすぐ降りると答えた。

Al bajar golpeamos en la puerta de Raimundo. Nos respondió que bajaba.

「副詞句」「動詞」「間接目的語」 | 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Al bajar アル・バハル adv. (同時性) 部屋から下へ降りるとき

「副詞句」

golpeamos ゴルペアモス 1 複点(golpear)v.i 叩いた

「動詞」

en la puerta エン・ラ・プエルタ adv. ドアを

「間接目的語」

de Raimundo. デ・ライムント adj. レーモンの

「形容詞句」

Nos ノス pron.pl 僕たちに

「間接目的語」

respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

bajaba. バハバ 3 単線・時制の一致(bajar)v.i すぐ降りる

「動詞」

通りへ出ると、疲れに加えて、よろい戸を閉め切っていたせいで、日差しが溢れる昼間の明るさが、まるで平手打ちのように僕に叩きつけてきた。

En la calle, por el cansancio y también porque no habíamos abierto las persianas, la claridad del día, lleno de sol, me golpeó como una bofetada.

「副詞句」, 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」

En la calle, エン・ラ・カジェ adv. 通りで

「副詞句」

por el cansancio ホル・エル・カンサンシオ adv. (原因) 疲れのために

「副詞句」

y イ conj. そして

Primera parte 第1部

también porque タンビエン・ポルケ adv. さらに～のために	「副詞節」
no habíamos abierto の・アビエモス・アビエルト 1 複線・完了形・否定(abrir)	
v.t. ～を開けていなかった	「動詞句」
las persianas, ラス・ペルシアナス pl.n.f.(persiana) よろい戸を	「目的語」
la claridad ラ・クラリダド n.f. 明るさが	「主語」
del día, デル・デ・イア adj. 昼間の	「形容詞句」
lleno de sol, シェノ・デ・ソル adj. 日差しがあふれる	「形容詞句」
me メ pron 僕を	「目的語」
golpeó ゴルペオ 3 単点(golpear)v.t. 叩いた	「動詞」
como una bofetada. コモ・ウナ・ボフエタダ adv. 平手打ちのように	「副詞句」

マリーは嬉しそうに小躍りして、「いい天気ね」と言い続けていた。

María saltaba de alegría y no se cansaba de decir que era un día magnífico.

	「主語」「動詞」「副詞句」 y 「動詞句」「目的語」
María マリア n.f. マリーは	「主語」
saltaba サルタバ 3 単線(saltar)v.i. 跳びあがった	「動詞」
de alegría デ・アレグリア adv. (原因) 嬉しさのために	「副詞句」
y イ conj. そして	
no se cansaba de decir ノ・セ・カサバ・デ・デシール 3 単線・否定・飽き(cansarse de+不定詞)	
v.pr. ～を言い続けた、～を言い飽きなかった	「動詞句」
que ケ conj. ～ということ	「目的語」
era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i. ～である	「動詞」
un día magnífico. ウン・デ・イア・マグニフィコ n.m. (天気) いい天気の日	「補語」

僕は少し気分が良くなってきて、ふと空腹であることに気づいた。

Me sentí mejor y me di cuenta de que tenía hambre.

	「動詞句」「補語」 y 「動詞句」「目的語」
Me sentí メ・センチ 1 単点(sentirse)v.pr. 自分が～だと感じた	「動詞句」
mejor メホル adj. (比較級) より良い	「補語」
y イ conj. そして	
me di cuenta de メ・デ・イ・クエンタ・デ 1 単点(darse cuenta de)v.pr. ～に気づいた	「動詞句」
darse cuenta de... 「～に気づく、分かる」	
que ケ conj. ～ということ	「目的語」
tenía テニア 1 単線(tener)v.t. (特徴が) ある	「動詞」
hambre. アンブレ n.f. 空腹	「目的語」

Primera parte 第1部

マリーにそう言うと、彼女は防水のビーチバッグを指さした。それには、水着が2枚とタオルが1枚入っていた。

Se lo dije a María, quien me señaló el bolso de hule donde había puesto las dos mallas de baño y una toalla.

「間接目的語」「直接目的語」「動詞」「間接目的語」,
「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Se セ pron 彼女に 「間接目的語」
lo ロ pron そのことを 「直接目的語」
dije ディエ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
a María, ア・マリア adv. マリーに 「間接目的語」
quien キエン pron マリーは 「主語」
me メ pron 僕に 「間接目的語」
señaló セニャロ 3 単点(señalar)v.t 指し示した 「動詞」
el bolso エル・ボアルソ n.m バッグを 「直接目的語」
de hule デ・ウレ adj. 防水布の 「形容詞句」
donde トンデ adv. そこに～する 「形容詞節」
había puesto アビ・ア・プエスト 3 単線・完了形(poner)
v.t 入っていた 「動詞句」
las dos mallas ラス・トス・マジャス pl.n.f 水着を2枚 「目的語」
malla マジャ n.f 水着
de baño デ・バンヨ adj. 水遊びの 「形容詞句」
y イ conj. そして
una toalla. ウナ・トアジャ n.f 1 枚のタオル 「目的語」

僕たちが待ち続けていると、レーモンがドアを閉めたような音が聞こえた。

Teníamos que esperar y oímos cómo Raimundo cerraba la puerta.

「動詞句」 y 「動詞」「副詞節」

Teníamos que esperar テニアモス・ケ・エスペラル 1 複線・必要(tener que+不定詞)

v.i 僕たちは待たなければならなかった 「動詞句」
y イ conj. そして
oímos オイモス 1 複点(oír)v.i 聞こえた 「動詞」
cómo コモ conj. ～のように 「副詞節」
Raimundo ライムント n.m レーモンが 「主語」
cerraba セラハ 3 単線(cerrar)v.t 閉めた 「動詞」
la puerta. ラ・プエルタ n.f ドアを 「目的語」

Primera parte 第1部

彼は青いズボンをはき、半袖の白いシャツを着ていた。

Llevaba pantalones azules y camisa blanca de manga corta.

「動詞」「目的語」

Llevaba ジェバハ 3 単線(llevar)v.t (衣服を) 着ていた

「動詞」

pantalones azules パントネス・アスレス pl.n.m 青いズボンを

「目的語」

y イ conj. そして

camisa blanca カサ・ブランカ n.f 白いシャツを

「目的語」

de manga corta. テ・マンガ・コルタ adj. 半袖の

「形容詞句」

manga マンガ n.f 袖 corta コルタ adj.f(corto) 短い

しかし、彼はカンカン帽を被っており、マリーはそれを見て笑った。そして彼の前腕は、黒っぽい体毛とは対照的に白さが目立った。

Pero se había puesto sombrero de paja, lo que hizo reír a María, y sus antebrazos eran muy blancos debajo del vello oscuro.

Pero 「動詞句」「目的語」, 「主語」「動詞」「補語」「目的語」 y 「主語」「動詞」「補語」

Pero ペロ conj. しかし

se había puesto セ・アビ・ア・プエスト 3 単線・完了形(ponerse)

v.pr (衣服などを) 身に着けていた

「動詞句」

sombrero ソンブレロ n.m 帽子を

「目的語」

de paja, テ・パハ adj. (材料) 麦わらでできた

「形容詞句」

sombrero de paja → 「かんかん帽、むぎわら帽」

lo que ロケ pron (前文: カンカン帽を被っていたこと) そのことが

「主語」

hizo イ 3 単点・使役(hacer)v.t(SVO+不定詞 O に) ~させた

「動詞」

reír レイル 不定詞・María の動作 v.i 笑う

「補語」

a María, ア・マリア n.f マリーを

「目的語」

y イ conj. そして

sus antebrazos ス・アンテブラソス pl.n.m 彼の前腕は

「主語」

eran エラン 3 複線(ser)v.i ~だった

「動詞」

muy blancos ムイ・ブランコス adj.m.pl 非常に白い

「補語」

debajo テバホ adv. (譲歩) ~であるのに、~の下で

「副詞句」

del vello oscuro. テル・ベジョ・オスコ n.m 黒っぽい体毛

「目的語」

Primera parte 第1部

僕は少し嫌な感じがした。彼は口笛を吹きながら降りてきた。とても上機嫌そうだった。

Yo estaba un poco repugnado. Silbaba al bajar y parecía muy contento.

「主語」「動詞」「補語」 | 「動詞句」 y 「動詞」「補語」

Yo ジョ pron 僕は

「主語」

estaba エスタバ 1 単線(estar)v.i ~だった

「動詞」

un poco repugnado. ウン・ポ・コ・レプ・グナド adj. 少し嫌悪感を催した

「補語」

Silbaba シルババ 3 単線(silbar)v.i 口笛を吹いていた

「動詞句」

al bajar アル・バ・ハール adv. (同時) 降りるときに、降りながら

「副詞句」

→ 口笛を吹きながら降りてきた

y イ conj. そして

parecía パレシア 3 単線(parecer)v.i ~のように見えた

「動詞」

muy contento. マイ・コンテント adj. とてもうれしい

「補語」

彼は僕に「やあ」と挨拶し、マリーを「お嬢さん」と呼んだ。

Me dijo: "Salud, viejo", y llamó "señorita" a María.

「間接目的語」「動詞」:《「呼びかけ」》 y 「動詞」「直接目的語」「間接目的語」

Me メ pron 僕に

「間接目的語」

dijo: ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

"Salud, viejo", サル・ビエホ adv. やあ

「呼びかけ」

y イ conj. そして

llamó ジャモ 3 単点(llamar)v.t 呼んだ

「動詞」

"señorita" セニョリータ n.f お嬢さん

「直接目的語」

a María. ア・マリア n.f マリーを

「間接目的語」

その前日、僕たちは警察署に行ってきた。そこで僕は、「あの女がレーモンを騙した」と証言をした。

La víspera habíamos ido a la comisaría y yo había atestiguado que la muchacha había "engañado" a Raimundo.

La víspera ラ・ビエスペラ n.f その前日

「副詞句」

habíamos ido アビエモス・イト 1 複線・完了形(ir)v.i 行ってきた

「動詞句」

a la comisaría ア・ラ・コミサリア adv. 警察署に

「間接目的語」

y イ conj. そして

yo ジョ pron 僕は

「主語」

había atestiguado アビエア・アテスチグ わト 1 単線・完了形(atestiguar)v.t 証言した

「動詞句」

que ケ conj. ~ということ

「目的語」

la muchacha ラ・ムチャチャ n.f あの女が

「主語」

Primera parte 第1部

había "engañado" アビ・ア・エンガニョト 3 単線・完了形(engañar)v.t 騙した 「動詞句」
a Raimundo. ア・ライムント n.m レーモンを 「目的語」

このことでレーモンは注意を受けたただけだった。警察は僕の証言を確認もしなかった。

No le costó a éste más que una advertencia. No comprobaron mi afirmación.

「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」「主語」 | 「動詞句」「目的語」
No ...costó ノ...コスト 3 単点・否定(costar)v.t (努力などを) 要しなかった 「動詞句」
le le pron 彼にとって 「間接目的語」
a éste ア・エステ adv. このことで 「副詞句」
más que una advertencia. マス・ケ・ウ・アトベルテンシア n.f 注意しか〜ない 「主語」
No comprobaron ノ・コンプロハロン 3 複点・否定(comprobar)v.t 確認しなかった 「動詞句」
mi afirmación. ミ・アフィルマシオン n.f 僕の証言を 「目的語」

僕とマリーはドアの前でレーモンと話をした。それから、バスで行くことに決めた。

Delante de la puerta hablamos con Raimundo; luego resolvimos tomar el autobús.

「副詞句」「動詞」「副詞句」; 「副詞」「動詞句」「目的語」
Delante de デランテ・デ prep 〜の前で 「副詞句」
la puerta ラ・プエルタ n.f ドア、玄関 「目的語」
hablamos アブラモス 1 複点(hablar)v.i 話した 「動詞」
con Raimundo; コン・ライムント adv. レーモンと 「副詞句」
luego ルエゴ adv. それから 「副詞」
resolvimos tomar レソルビモストマル 1 複点・決心(resolver+不定詞)
v.t (公共の乗り物に) 乗ることに決めた 「動詞句」
el autobús. エル・アウトバス n.m バスに 「目的語」

その海岸はそれほど遠くなかったが、バスならずと速く着けるだろう。

La playa no estaba muy lejos, pero así iríamos más rápidamente.

「主語」「動詞」「補語」,pero 「副詞」「動詞」「副詞句」
La playa ラ・プラジャ n.f その海岸は 「主語」
no estaba ノ・エスタバ 3 単線・否定(estar)v.i 〜でなかった 「動詞」
muy lejos, マイ・レホス adv. (事実)(否定文で) それほど遠い〜ではない 「補語」
pero ペロ conj. しかし
así アシ adv. (条件) そうすると (バスで行くと) 「副詞」
iríamos イリアモス 1 複過未・推量(ir)v.i 行けるだろう 「動詞」
más rápidamente. 、アス・ラピダメンテ adv. ずっと速く 「副詞句」

Primera parte 第1部

レーモンは、僕たちが早く着けば、彼の友人は喜ぶだろうと思っていたので、我々は出発することにした。その時、急に、レーモンが僕に正面を見ろという合図をした。

Raimundo creía que su amigo se alegraría al vernos llegar temprano, íbamos a partir, cuando Raimundo, de golpe, me hizo una señal para que mirara enfrente.

「主語」「動詞」「目的語」, 「動詞句」,

cuando 「主語」「副詞句」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Raimundo ライムント^ㇰ n.m レーモンは 「主語」

creía クレイ 3 単線(creer)v.t 思っていた 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

su amigo ス・アミゴ^ㇰ n.m 彼の友人は 「主語」

se alegraría セ・アレグラリア 3 単過未・推量(alegrarse)v.pr 喜ぶだろう 「動詞句」

al +不定詞 アル adv. (条件) ～すれば 「副詞句」

vernos ベル・ノス 不定詞・知覚動詞(ver+nos)v.t 我々を見る 「動詞句」

llegar ジェガール 不定詞・nos の動作 v.i 着く 「補語」

temprano, テンプラノ adv. 早く 「副詞」

íbamos a partir, イバモス・ア・パルティール 1 複点・近接未来(ir a+不定詞)

v.i 出発することにした 「動詞句」

cuando クワント^ㇰ conj. その時～する

Raimundo, ライムント^ㇰ n.m レーモンが 「主語」

de golpe, デ・ゴルペ^ㇰ adv. 急に、突然 「副詞句」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

hizo イ 3 単点(hacer)v.t (動作を) した 「動詞」

una señal ウナ・セニャール n.f 合図を 「直接目的語」

para que +接続法 パラ・ケ adv. (目的) ～するようにと 「副詞節」

mirara ミラ 接・1 単過(mirar)v.t 見る 「動詞」

enfrente. エンフレンテ adv. 正面を 「副詞」

タバコ屋のショーウィンドーに背をもたれかけているアラブ人の1団が見えた。

Vi un grupo de árabes pegados contra el escaparate de la tabaquería. 「動詞」「目的語」

Vi ビ 1 単点(ver)v.t 見えた 「動詞」

un grupo ウン・グルポ^ㇰ n.m 1 団が、群れが 「目的語」

de árabes デ・アラベス adj. アラブ人たちの 「形容詞句」

pegados ペガトス adj.pl くっついた 「形容詞」

contra コントラ prep (接触) ～に寄りかかって 「副詞句」

el escaparate エル・エスカパ^ㇰ ラテ

n.m ショーウィンドー 「目的語」

Primera parte 第1部

de la tabaquería. テ・ラ・タバケリア

adj. タバコ屋の

「形容詞句」

彼らは無言で僕たちを見つめていた。しかし彼らのやり方で、まるで僕たちが石や枯れ木のように無意味な存在であるかのように振舞っていた。

Nos miraban en silencio, pero a su modo, ni más ni menos que si fuéramos piedras o árboles secos.

「目的語」「動詞」「副詞句」,pero「副詞句」

Nos ノス pron 僕たちを

「目的語」

miraban ミラバン 3 複線(mirar)v.t 見つめていた

「動詞」

en silencio, エン・シレンシオ adv. 無言で

「副詞句」

pero ペロ conj. しかし

a su modo, ア・ス・モド adv. 彼らのやり方で

「副詞句」

ni más ni menos ニ・マス・ニ・メス adv. まさに

「副詞句」

que si ケ・シ conj. まるで～のように

「副詞節」

fuéramos フェラモス 接・1 複過・時制の一致(ser)v.i ～である

「動詞」

piedras ピエトラス pl.n.f 石

「補語」

o オ conj. または

árboles secos. アルボレス・セコス pl.n.m 枯れ木

「補語」

レーモンは左から 2 番目が例の奴だと言ったが、心配そうな顔をしていた。

Raimundo me dijo que el segundo a partir de la izquierda era el individuo y parecía preocupado.

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」y「動詞」「補語」

Raimundo ライムント n.m レーモンは

「主語」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

que ケ conj. ～ということ

「直接目的語」

el segundo エル・セグント pron.m 2 番目の男が

「主語」

a partir de la izquierda ア・パ・ルティール・デ・ラ・イスキエルダ

adv. 左から

「副詞句」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である

「動詞」

el individuo エル・インディビドゥオ n.m 例の奴

「補語」

y イ conj. そして

pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i ～に見えた

「動詞」

preocupado. プレオカパト adj. 心配している

「補語」

Primera parte 第1部

それでも、あの話はもう終わったんだ、と付け加えた。

Sin embargo, agregó que la historia ya estaba concluida. 「副詞句」, 「動詞」 「目的語」
 Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. とはいえ 「副詞句」
 agregó アグレゴ 3 単点(agregar)v.t 付け加えた 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 la historia ラ・イストリア n.f あの話は 「主語」
 ya ヤー adv. すでに、もう 「副詞」
 estaba エスタバ 3 単線・時制の一致(estar)v.i ～である 「動詞」
 concluida. コンクレイダ 過去分詞(concluir)adj.f 終わった 「補語」

マリーはよく分かっていなかったの、僕たちに、何の話なのと尋ねた。

María no comprendía muy bien y nos preguntó de qué se trataba.
 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 y 「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」
 María マリア n.f マリーは 「主語」
 no comprendía ノ・コンプレンディア 3 単線・否定(comprender)v.t 分かっていなかった 「動詞句」
 muy bien ムイ・ビエン adv. (否定文で) あまりよく～ない 「副詞句」
 y イ conj. そして
 nos ノス pron 僕たちに 「間接目的語」
 preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 訊いた 「動詞」
 de qué デ・ケ adv. 何の～ということを 「直接目的語」
 se trataba. セ・トラタバ 3 単線(tratarse)v.pr(de の) 問題である 「動詞句」
 ¿De qué se trata? 何の話ですか？

僕は、彼らはレーモンに恨みを抱いているアラブ人たちだと、マリーに説明した。

Le dije que eran unos árabes que odiaban a Raimundo.
 「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」
 Le レ pron 彼女に 「間接目的語」
 dije ディエ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 eran エラン 3 複線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」
 unos árabes ウノス・アラベス pl.n.m アラブ人たち 「補語」
 que ケ pron.pl (主語) ～する 「形容詞節」
 odiaban オディアバン 3 複線・時制の一致(odiar)
 v.t 恨んでいる 「動詞」
 a Raimundo. ア・ライムント n.m レーモンを 「目的語」

Primera parte 第1部

マリーはすぐに出発したいと言った。レーモンは立ち上がって、笑い、急ごうと言った。

Quiso entonces que partiéramos enseguida. Raimundo se irguió, rió y dijo que era necesario apresurarse.

「動詞」「副詞」「目的語」 | 「主語」「動詞句」, 「動詞」 y 「動詞」「目的語」
 Quiso キヨ 3 単点(querer)v.t 望んだ 「動詞」
 entonces エントネス adv. それから 「副詞」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 partiéramos パルチエラモス 接・1 複過・願望(partir)v.i 出発したい 「動詞」
 enseguida. エンセギダ adv. すぐに 「副詞」
 Raimundo ライムント n.m レーモンは 「主語」
 se irguió, セ・イルグイオ 3 単点(erguirse)v.pr 立ち上がった 「動詞句」
 rió リオ 3 単点(reír)v.i 笑った 「動詞」
 y イ conj. そして
 dijo デイヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」
 necesario apresurarse. ネサリオ・アプレスラセ
 adj. (necesario+不定詞) 急ぐ必要のある 「補語」

僕たちは、少し離れたバス停に向かって歩き出した、するとレーモンは、アラブ人たちが僕たちの後を追ってこない、と知らせてくれた。

Nos dirigimos a la parada del autobús, que estaba un poco más lejos, y Raimundo me anunció que los árabes no nos seguían.

「動詞句」「間接目的語」 y 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
 Nos dirigimos ノス・ディリヒモス 1 複点(dirigirse)v.pr(a に) 向かった、目指した 「動詞句」
 dirigirse ディリヒルセ v.pr(a に) 向かう、目指す、(a+人 に) 話しかける、手紙を出す
 a la parada ア・ラ・パラダ adv. (バスの) 停留所へ 「間接目的語」
 del autobús, デル・アウトバス adj. バスの 「形容詞句」
 que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 estaba エスタハ 3 単線・時制の一致(estar)v.i ～にある 「動詞」
 un poco más lejos, ウン・ポ・マス・レホス adv. 少し遠くに 「副詞句」
 y イ conj. そして
 Raimundo ライムント n.m レーモンは 「主語」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 anunció アヌンシオ 3 単点(anunciar)v.t 知らせた 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

Primera parte 第1部

los árabes ロス・アラベス pl.n.m アラブ人たちは 「主語」

no ...seguían. ノ...セギアン 3 複線・否定・時制の一致(seguir)

v.t 後についてこない 「動詞句」

nos ノス pron 僕たちを 「目的語」

僕は振り返って見た。彼らは相変わらず同じ場所にて、先ほどと同じ無関心な素振りで、僕たちが立ち去ってきたばかりのその場所を見つめていた。

Me volví. Estaban siempre en el mismo sitio y miraban con la misma indiferencia el lugar que acabábamos de dejar.

「動詞句」 | 「動詞」「副詞句」 y 「動詞」「副詞句」「目的語」

Me volví. メ・ボルビ 1 単点(volverse)v.pr 振り返って見た 「動詞句」

Estaban エスタバン 3 複線・存在(estar)v.i 〜にいた 「動詞」

siempre シエンプレ adv. 相変わらず 「副詞句」

en el mismo sitio エン・エル・ミスモ・シオ adv. 同じ場所に 「副詞句」

y イ conj. そして

miraban ミラバン 3 複線(mirar)v.t 見つめていた 「動詞」

con la misma indiferencia コン・ラ・ミスマ・インディフェレンシア adv. 同じ無関心な素振りで 「副詞句」

el lugar エル・ルガール n.m 場所を 「目的語」

que ケ pron (目的語) 〜する 「形容詞節」

acabábamos de dejar. アカバモス・デ・デハール 1 複点・直前完了(acabar de+不定詞)

v.t 今まさに立ち去ってきた 「動詞句」

僕たちはバスに乗った。レーモンは、すっかり気が軽くなった様子で、マリーにずっと冗談を言い続けていた。

Tomamos el autobús. Raimundo, que parecía completamente aliviado, no cesaba de hacerle bromas a María.

「動詞」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」

Tomamos トマモス 1 複点(tomar)v.t (公共の乗り物に) 乗った 「動詞」

el autobús. エル・アウトブス n.m バスに 「目的語」

Raimundo, ライムント n.m レーモンは 「主語」

que ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」

parecía パレシア 3 単線(parecer)v.i 〜に見える 「動詞」

completamente aliviado, コンプレタメンテ・アリビアド 過去分詞・受動(aliviar)

adj. すっかり安心した、気が軽くなった 「補語」

no cesaba de hacerle ノ・セサバ・デ・アセル・レ 3 単線・中止・否定(cesar de+不定詞)

v.t (動作を) するのを止めなかった、〜し続けた 「動詞句」

Primera parte 第1部

cesar de+不定詞 「～するのを止める」

bromas ブロマス pl.n.f 冗談を

「直接目的語」

a María. ア・マリア adv. マリーに

「間接目的語」

僕はレーモンがマリーを気に入っていることに気づいた。しかし彼女は彼にほとんど答えなかった。時々、僕を見つめて笑っていた。

Me di cuenta de que le gustaba, pero ella casi no le respondía. De vez en cuando me miraba riéndose.

「動詞句」「間接目的語」,pero「主語」「動詞句」「間接目的語」

「副詞句」「目的語」「動詞」「副詞句」

Me di cuenta メ・ディ・クエンタ 1 単点(darse cuenta)v.pr(de に) 気づいた、分った 「動詞句」

de que デ・ケ adv. ～ということを

「間接目的語」

le レ pron 彼にとって

「間接目的語」

gustaba, グスタバ 3 単線・時制の一致(gustar)

v.i (マリーが) 気に入っている

「動詞」

pero ペロ conj. しかし

ella エジャ pron 彼女は

「主語」

casi no ...respondía. カシ・ノ...レスポンドィア 3 単線・否定(responder)

v.t ほとんど答えなかった

「動詞句」

le レ pron 彼に

「間接目的語」

De vez en cuando デ・ベス・エン・クワント adv. 時々

「副詞句」

me メ pron 僕を

「目的語」

miraba ミラバ 3 単線(mirar)v.t 見つめた

「動詞」

riéndose. リエント・セ 現在分詞(reírse)v.pr 笑いながら

「副詞句」

フランス語では : 僕ではなく、彼を見ていた

De temps en temps, elle le regardait en riant. 時々、笑いながら彼を見ていた。

僕たちはアルジェの郊外でバスを降りた。

Bajamos a los arrabales de Argel.

「動詞」「副詞句」

Bajamos バハモス 1 複点(bajar)v.i 降りた

「動詞」

a los arrabales ア・ロス・アラバレス adv. (町の) 郊外で

「副詞句」

de Argel. デ・アルヘル adj. アルジェの

「形容詞句」

Primera parte 第1部

浜はバス停からあまり離れていないが、海を見下ろし、浜のほうへ降りて行く小さな高台を横断しなければならない。

La playa no queda lejos de la parada del autobús, pero tuvimos que cruzar una pequeña meseta que domina el mar y que baja luego hacia la playa.

「主語」「動詞句」「副詞句」,pero「動詞句」「目的語」

La playa ラ・プラジャ n.f 浜は

「主語」

no queda ノ・クダ 3 単現・否定(querar)v.i (位置が) ~にない

「動詞句」

lejos レホス adv. 遠くに

「副詞句」

de la parada del autobús, デ・ラ・パラダ・デル・アウトバス adv. バス停から

「副詞句」

pero ペロ conj. しかし

tuvimos que cruzar トゥビモス・ケ・クルサル 1 複点・必要(tener que+不定詞)

v.t 横断しなければならなかった

「動詞句」

una pequeña meseta ウナ・ペ・ケニャ・メタ n.f 小さな高台を

「目的語」

que ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

domina ドミナ 3 単現(dominar)v.t 見下ろす

「動詞」

el mar エル・マル n.m 海を

「目的語」

y イ conj. そして

que ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

baja バハ 3 単現(bajar)v.i 降りていく

「動詞」

luego ルエゴ adv. それから

「副詞」

hacia la playa. ジャシア・ラ・プラジャ adv. 浜のほうへ

「副詞句」

浜は黄色みがかった石に覆われ、真っ白い花を付けたアスフォデルが一面に咲き誇り、もうすでに眩しいほどの青空と素晴らしいコントラストを成していた。

Estaba cubierta de piedras amarillentas y de asfódelos blanquísimos que se destacaban en el azul, ya firme, del cielo.

「動詞句」「副詞句」

Estaba cubierta エスタバ・クビエルタ 3 単線・受動.f(cubrir)v.t 覆われていた

「動詞句」

主語は La playa なので、過去分詞が性・数一致により cubierta となる

de piedras amarillentas デ・ピエトラス・アマリジェンタス

adv. (動作主) 黄色みがかった石で

「副詞句」

y イ conj. そして

de asfódelos blanquísimos デ・アスフォデロス・ブランキシモス

adv. (動作主) 真っ白なアスフォデルで

「副詞句」

que ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

se destacaban セ・デスタカバン 3 複線(destacarse)

v.pr (en に) 際立っていた

「動詞句」

Primera parte 第1部

en el azul, エン・エル・アスル adv. 青に

「副詞句」

ya やー adv. すでに、もう

「副詞」

firme, フィルメ adv. しっかりと

「副詞」

del cielo. デル・シエロ adj. 空の

「形容詞句」

アスフォデル asfódelo : (植物) ツルボラン
ススキノキ科(旧分類=ユリ科)の水仙の一種で、白い花が
房状に咲く。

高さは 50cm から 150cm。嫌な匂いがするらしい。



マリーはビーチバッグでその花びらを叩き落して遊んでいた。

María se entretenía en deshojar las flores, golpeándolas con el bolso de hule.

「主語」「動詞句」「副詞句」

María マリア n.f マリーは

「主語」

se entretenía セ・エントレニャ 3 単線(entretenerse)

v.pr(en+不定詞 ～して) 楽しんでいた

「動詞句」

en deshojar エン・デソハル adv. 花びらをむしって

「副詞句」

las flores, ラス・フロレス pl.n.f 花を

「目的語」

golpeándolas ゴルペ・アントラス 現在分詞(golpear+las)adv. 叩きつけながら

「副詞句」

con el bolso コン・エル・ボルソ adv. (道具) バッグで

「副詞句」

de hule. デ・ウレ adj. 防水の

「形容詞句」

僕たちは、緑や白の柵がある小さな別荘が立ち並ぶ間を歩いた。ある家は庭を囲む回廊も含めてタマリスの下に埋もれており、石ころの真ん中に立つ飾り気のない家もあった。

Caminamos entre filas de pequeñas casitas de cercos verdes o blancos, algunas hundidas con sus corredores bajo los tamarindos; otras, desnudas en medio de las piedras.

「動詞」「副詞句」, 「主語」「補語」; 「主語」「補語」

Caminamos カメモス 1 複点(caminar)v.i 歩いた

「動詞」

entre filas エントレ・フィラス adv. 列の間を

「副詞句」

de pequeñas casitas デ・ペケニャス・カシタス adj. 小さな別荘の

「形容詞句」

de cercos デ・セルコス adv. (付属) 柵のある

「副詞句」

verdes o blancos, ベルデス・オ・ブランコス adj. 緑や白の

「形容詞句」

Primera parte 第1部

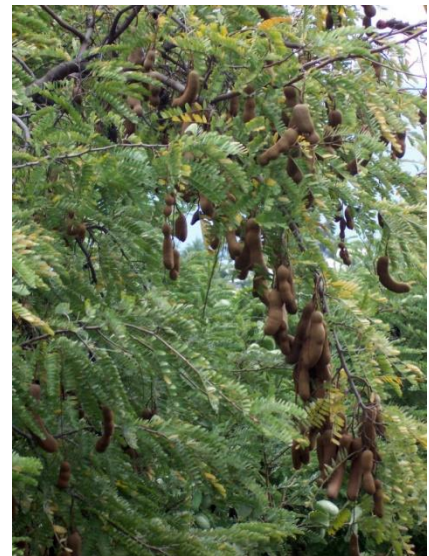
algunas アルグナス	pron.f.pl	ある家は	「主語」
hundidas ウンディダス	adj.f.pl(hundido)	沈み込んだ、埋もれた	「補語」
con sus corredores コン・ス・コレトレス	adv.	庭を囲む回廊を含めて	「副詞句」
bajo los tamarindos; バホ・ロス・タマリントス	adv.	タマリスの下に	「副詞句」
otras, オTRAS	pron.pl	他の家は	「主語」
desnudas デスダス	adj.f.pl(desnudo)	装飾のない	「補語」
en medio エン・メディオ	adv.	中央に	「副詞句」
de las piedras. デ・ラス・ピエトラス	adj.	石ころの	「形容詞句」

タマリンド tamarindo～フランス語原文ではタマリス tamaris

フランス語の tamarin はマメ科の常緑高木タマリンドの実、またはギョリュウ (tamaris) を意味するので、この文の tamarindo はタマリス (ク) tamaris と考えられる。高さは2～3m程度。中国産の Tamarix chinensis の高さは3～5m程度。



タマリス (タマリスク)



タマリンド (樹高は 20m 以上)

Primera parte 第1部

高台の端に着く前から、まったく穏やかな海が見えてきた。そしてはるか遠くの澄み切った水上に眠るような岬がたくましい姿を現していた。

Desde antes de llegar al borde de la meseta podía verse el mar inmóvil y, más lejos, un cabo soñoliento y macizo en el agua clara.

「副詞句」「動詞句」「主語」 y, 「副詞句」「主語」「副詞句」

Desde デスデ prep (場所・時間) 〜から

「副詞句」

de は単なる起点、desde は起点とそこからの途中

Vengo andando de (desde) la ciudad. 私は町から (町からずっと) 歩いてきた。

antes de +不定詞 アンテス・デ adv. 〜する前に

「副詞句」

llegar ジェガル 不定詞 v.i 着く

「動詞」

al borde アル・ボルデ adv. 縁に

「間接目的語」

de la meseta デ・ラ・メタ adj. 台地の、高台の

「形容詞句」

podía verse ポデア・ベルセ 3 単線・可能(poder+不定詞 verse) 再帰受動

v.pr 〜が見えた

「動詞句」

el mar エル・マル n.m 海が

「主語」

inmóvil インモビル adj. 不動の、波のない

「形容詞」

y, イ conj. そして

más lejos, マス・レホス adv. はるか遠くに

「副詞句」

un cabo ウン・カボ n.m 岬が

「主語」

soñoliento ソニョリエント adj.(= somnoliento) 眠い、眠気を催させる

「形容詞」

y イ conj. そして

macizo マソ adj. 頑丈な

「形容詞」

en el agua clara. エン・エル・アグア・クラ adv. 澄んだ水の上に

「副詞句」

エンジンの軽やかな音が、静かな大気の中を僕たちのところまで駆け上がってきた。

Un ligero ruido de motor se elevó hasta nosotros en el aire calmo.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Un ligero ruido ウン・リホ・ルト n.m 軽快な音が

「主語」

ligero リホ adj. 軽快な、軽い ruido ルト n.m 物音、騒音

de motor デ・モトル adj. エンジンの

「形容詞句」

se elevó セ・エレボ 3 単点(elevarse)v.pr 上がってきた

「動詞句」

hasta アスタ adv. (場所) 〜まで

「副詞句」

nosotros ノトロス pron 僕たちのところ

「目的語」

en el aire calmo. エン・エル・アイレ・カルモ adv. 静かな大気の中を

「副詞句」

Primera parte 第1部

そして、かなり遠くに、まばゆい海をゆっくりと進んでいる小さな漁船が見えた。

Y vimos, muy lejos, un pequeño barco pescador que avanzaba imperceptiblemente por el mar deslumbrante.

Y 「動詞」「副詞句」「目的語」

Y イ conj. そして

vimos, ビモス 1 複点(ver)v.t 見えた 「動詞」

muy lejos, ムイ・レホス adv. かなり遠くに 「副詞句」

un pequeño barco pescador ウン・ペグニョ・バルコ・ペスカドール n.m 小さな漁船が 「目的語」

barco pescador バルコ・ペスカドール n.m 漁船

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

avanzaba アバンサバ 3 単線(avanzar)v.i 進んでいく 「動詞」

imperceptiblemente インペルセプチブレメンテ

adv. わずかに、ゆっくり 「副詞」

por el mar ポル・エル・マル adv. 海のあたりを 「副詞句」

deslumbrante. デスルンブランテ adj. まぶしい、まばゆい 「形容詞」

マリーは岩場のアイリスを摘んだ。

María recogió algunos lirios de roca.

「主語」「動詞」「目的語」

María マリア n.f マリーは 「主語」

recogió レコヒオ 3 単点(recoger)v.t (果実を) 摘んだ 「動詞」

algunos lirios アルゲノス・リリオス pl.n.m アイリスを 「目的語」

de roca. デ・ロカ adj. 岩場の 「形容詞句」

海へ下っていく坂道から、浜辺にはすでに何人かの海水浴客がいるのが見えた。

Desde la pendiente que bajaba hacia el mar vimos que había ya bañistas en la playa.

「副詞句」, 「動詞」「目的語」

Desde デステ prep (場所) ～から 「副詞句」

la pendiente ラ・ペンデイエнте n.f 坂、坂道 「目的語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

bajaba バハバ 3 単線・時制の一致(bajar)v.i 下っていく 「動詞」

hacia el mar アシア・エル・マル adv. 海の方へ 「副詞句」

vimos ビモス 1 複点(ver)v.t 見えた 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

había アビア 3 単線・時制の一致(haber)v.t (単数・複数が) いる 「動詞」

ya ヤー adv. もう 「副詞」

bañistas バニスタス pl.n 海水浴客たちが 「目的語」

en la playa. エン・ラ・プラジャ adv. 浜辺に 「副詞句」

Primera parte 第1部

レーモンの友人は、浜のはずれにある木造の小さな別荘に住んでいた。

El amigo de Raimundo vivía en una pequeña cabañuela de madera en el extremo de la playa. 「主語」「動詞」「副詞句」

El amigo エル・アミゴ n.m 友人は 「主語」

de Raimundo デ・ライムント adj. レーモンの 「形容詞句」

vivía ビビア 3 単線(vivir)v.i(en に) 住んでいた 「動詞」

en una pequeña cabañuela エン・ウナ・ペケニャ・カバニエラ adv. 小さな丸太小屋に 「副詞句」

cabaña カバニャ n.f (木の) 小屋 + -uela(-uelo) ウエラ 縮小辞 → cabañuela

de madera デ・マデラ adj. (材料) 木の 「形容詞句」

en el extremo エン・エル・エクストレモ adv. (場所) 最も端にある 「副詞句」

de la playa. デ・ラ・プラジャ adj. 浜の 「形容詞句」

cabañuela カバニエラ :

フランス語版では cabanon カバノン n.m 小屋、小さな別荘

住んでいると書かれているので、最初は住居としての丸太小屋を想像した。しかし、少し先の文で仕事のない日だけ利用していると分かるので、木造の小さな別荘と翻訳した。

家は岩場に張り付くように建てられており、家の正面を支える支柱は海水に濡れていた。

La casa estaba adosada a las rocas y el agua bañaba los pilares que la sostenían por el frente. 「主語」「動詞」「補語」 y 「主語」「動詞」「目的語」

La casa ラ・カサ n.f 家は 「主語」

estaba エスタバ 3 単線・状態(èssere)v.i ~だった 「動詞」

adosada アドサダ adj(adosado).f 接した、ぴったりくっついた 「補語」

a las rocas ア・ラス・カス adv. (対象) 岩山に 「副詞句」

y イ conj. そして

el agua エル・アグワ n.f 水は 「主語」

bañaba バニャバ 3 単線(bañar)v.t ぬらしていた 「動詞」

los pilares ロス・ピラレス pl.n.m 支柱を 「目的語」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

la ラ pron.f (casa の代用) 家を 「目的語」

sostenían ソステニアン 3 複線(sostener)v.t 支える 「動詞」

por el frente. ポル・エル・フレンテ adv. (空間) 正面あたりを 「副詞句」

Primera parte 第1部

レーモンが僕たちを紹介した。その友人はマソンという名前だった。

Raimundo nos presentó. El amigo se llamaba Masson.

「主語」「目的語」「動詞」 | 「主語」「動詞」「補語」
 Raimundo ライムント^ㇰ n.m レーモンは 「主語」
 nos ノス pron 僕たちを 「目的語」
 presentó. プレント 3 単点(presentar)v.t 紹介した 「動詞」
 El amigo エル・アミゴ^ㇰ n.m 友人は 「主語」
 se llamaba セ・ジャマバ^ㇰ 3 単線(llamarse)v.pr 〜という名前だった 「動詞句」
 Masson. マソン n.m マソン 「補語」

彼は胴回りや肩ががっしりした大男で、一緒に小太りで愛嬌がありパリなまりの小柄な妻がいた。

Era un individuo grande, de cintura y espaldas macizas, con una mujercita regordeta y graciosa, de acento parisiense.

「動詞」「補語」, 「副詞句」
 Era エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった 「動詞」
 un individuo ウン・インディビト^ㇰ n.m 個人、男 「補語」
 grande, グランデ^ㇰ adj. 大きい 「形容詞」
 de テ^ㇰ prep (様態) 〜な様子をした 「副詞句」
 cintura y espaldas シントウラ・イ・エスパルダス^ㇰ pl.n.f 胴回りや肩 「目的語」
 macizas, マシス^ㇰ adj.f.pl たくましい、頑丈な 「形容詞」
 con コン prep (同伴) 〜と一緒に 「副詞句」
 una mujercita ウナ・ムヘルシタ^ㇰ n.f 小柄な妻 「目的語」
 regordeta y graciosa, レゴルデタ・イ・グラシオサ^ㇰ
 adj.f 小太りで愛嬌のある 「形容詞句」
 de テ^ㇰ prep (様態) 〜な様子をした 「副詞句」
 acento アセント n.m なまり 「目的語」
 parisiense. パリエンセ^ㇰ
 adj. パリっ子の 「形容詞」

彼はすぐに、気楽にやろうと言い、その日の朝に釣った魚のフライがあると続けた。

Nos dijo en seguida que nos pusiésemos cómodos y que había peces fritos, que había pescado esa misma mañana.

「間接目的語」「動詞」「副詞句」「直接目的語」 y 「直接目的語」
 Nos ノス pron.pl 僕たちに 「間接目的語」
 dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 en seguida エン・セギタ^ㇰ adv. すぐに 「副詞句」

Primera parte 第1部

que ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
nos pusiésemos ノス・プシエセス 接・1 複過・勧誘(ponerse)	
v.pr (+補語) ～になりましょう	「動詞句」
cómodos コモドス adj.pl くつろいだ	「補語」
y イ conj. そして	
que ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
había アビア 3 単線・時制の一致(haber)v.t ～がある	「動詞」
peces ペセス pl.n.m(pez) 魚が	「目的語」
fritos, フリトス adj.pl (油で揚げた) フライの	「形容詞」
que ケ pron (目的語) ～した	「形容詞節」
había pescado アビア・ペスカド 3 単線・完了形(pescar)	
v.t 釣った	「動詞句」
esa misma mañana. エサ・ミスマ・マニャナ	
adv. その日の朝に	「副詞句」

本当にあなたの家が気に入りました、と彼に言った。

Le dije cuánto me gustaba su casa.	「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
Le レ pron 彼に	「間接目的語」
dije デイヘ 1 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
cuánto クワント adv. (感嘆) なんと～であるということを	「直接目的語」
me メ pron 僕にとって	「間接目的語」
gustaba グスタバ 3 単線・時制の一致(gustar)v.i 気に入る	「動詞」
su casa. ス・カーサ n.f 彼の家は	「主語」

彼は土曜日と日曜日、それに休暇の日はいつもそこで過ごしていると僕に説明してくれた。

Me informó que pasaba allí los sábados, los domingos y todos los días de asueto.	「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
Me メ pron 僕に	「間接目的語」
informó インフォルモ 3 単点(informar)v.t 知らせた	「動詞」
que ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
pasaba パサバ 3 単線・時制の一致(pasar)v.t (時を) 過ごしている	「動詞」
allí アジ adv. そこで	「副詞」
los sábados, ロス・サバトス pl.n.m 土曜日	「目的語」
los domingos ロス・トミンゴス pl.n.m 日曜日	「目的語」
y イ conj. そして	
todos los días トロス・ロス・デイアス pl.n.m すべての日	「目的語」

Primera parte 第1部

de asueto. テ・アスト adj. 休暇の

「形容詞句」

「妻は誰とでも気が合うんです」と、付け加えた。丁度、奥さんがマリーと一緒に笑った。

"Me llevo muy bien con mi mujer", agregó. Precisamente, su mujer se reía con María.

《「動詞句」「副詞句」「間接目的語」》, 「動詞」 | 「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」

"Me llevo メ・ジ・ェホ 1 単現(llevarse)v.pr(bien con... ～と) 私と気が合う 「動詞句」

muy bien ムイ・ビエン adv. とてもよく 「副詞句」

con mi mujer", コン・ミ・ムヘル adv. 私の妻と 「間接目的語」

agregó. アグレゴ 3 単点(agregar)v.t 付け加えた 「動詞」

Precisamente, プレシサメンテ adv. ちょうど 「副詞」

su mujer ス・ムヘル n.f 彼の奥さんが 「主語」

se reía セ・レイア 3 単線(reirse)v.pr 笑っていた 「動詞句」

con María. コン・マリア adv. マリーと一緒に 「副詞句」

フランス語原文では :

「妻は、誰とでも仲良くなるんです」と、彼が付け加えた。

«Avec ma femme, on s'entend bien», a-t-il ajouté.

スペイン語では、「Mi mujer se lleva muy bien con cualquiera.」で良いと思う。

たぶん初めて、僕は結婚することになるのだろう、と本気で考えた。

Por primera vez, quizá, pensé verdaderamente en que iba a casarme.

「副詞句」, 「動詞」「副詞」「間接目的語」

Por primera vez, ホル・プリメラ・ベス adv. 初めて 「副詞句」

quizá, キサ adv. たぶん 「副詞」

pensé ペンセ 1 単点(pensar)v.i (en について) 考えた 「動詞」

verdaderamente ベルダデラメンテ adv. 本当に、本気で 「副詞」

en que エン・ケ adv. ～ということについて 「間接目的語」

iba a casarme. イバ・ア・カサルメ 1 単線・近接未来・時制の一致(ir a+不定詞)

v.pr 結婚することになるのだろう 「動詞句」

マソンは泳ぎたがったが、彼の妻とレーモンは行きたくない様子だった。

Masson quería bañarse, pero su mujer y Raimundo no querían ir.

「主語」「動詞句」, pero 「主語」「動詞句」

Masson マソン n.m マソンは 「主語」

quería bañarse, ケリア・バニャルセ 3 単線・願望(querer+不定詞)

v.pr 泳ぎたがった、水浴びする 「動詞句」

pero ペロ conj. しかし

Primera parte 第1部

su mujer y Raimundo ス・ムール・イ・ライムント pl.n 彼の妻とレーモンは 「主語」
 no querían ir. ノ・ケリアン・イール 3 複線・願望・否定(querer+不定詞)
 v.i 行きたがらなかった 「動詞句」

僕たち 3 人は降りて行った。マリーはすぐに海に飛び込んだ。マソンと僕は少しの間待っていた。

Bajamos los tres y María se arrojó inmediatamente al agua. Masson y yo esperamos un poco. 「動詞」「主語」 y 「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「副詞句」

Bajamos バハモス 1 複点(bajar)v.i 降りて行った 「動詞」

los tres ロス・トレス pron 僕たち 3 人は 「主語」

y イ conj. そして

María マリア n.f マリーは 「主語」

se arrojó セ・アロホ 3 単点(arrojarse)v.pr (a に) 飛び込んだ 「動詞句」

inmediatamente インメデ・イタメンテ adv. すぐに 「副詞」

al agua. アル・アグワ adv. 海へ 「副詞句」

Masson y yo マソン・イ・ジョ pl.n マソンと僕は 「主語」

esperamos エスペラモス 1 複点(esperar)v.i 待っていた 「動詞」

un poco. ウン・ポコ adv. 少しの間 「副詞句」

彼はゆっくりと話をしていた。それで僕は気づいたことがある。彼は、話の終わりに「さらに言うと」という文句をつける癖があり、それが根本的に話の内容に何も意味を追加しない時でもそうするのだった。

Hablaba lentamente y noté que tenía la costumbre de completar todo lo que decía con un "y diré más". incluso cuando, en el fondo, no agregaba nada al sentido de la frase.

「動詞」「副詞」 y 「動詞」「目的語」

Hablaba アブラハ 3 単線(hablar)v.i 話していた 「動詞」

lentamente レンタメンテ adv. ゆっくりと、のろのろと 「副詞」

y イ conj. そして

noté ノテ 1 単点(notar)v.t 気づいた 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

tenía テニア 3 単線(tener)v.t ～がある 「動詞」

la costumbre ラ・コストゥンブレ n.f 癖 「目的語」

de completar デ・コンプレタル 不定詞・同格

adj. ～を終えるという 「形容詞句」

todo lo トド・ロ pron すべてのことを 「目的語」

que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

Primera parte 第1部

decía デシア 3 単線(decir)v.t 言った 「動詞」
 con コン prep (追加) ～を付けて 「副詞句」
 un "y diré más", ウン・イ・デイル・マス
 n. 「さらに言うと」 「目的語」
 diré デイル 1 単末(decir)v.t 言うだろう → 言うならば、言わせてもらおうと
 incluso cuando, インクル・クワント
 conj. ～する時でさえも 「副詞節」
 en el fondo, エン・ネル・フォント
 adv. 基本的に、根本的に 「副詞句」
 no agregaba ノ・アグレガバ 3 単線・否定(agregar)
 v.t 付け足さない 「動詞句」
 nada ナダ
 pron 何も～ない 「直接目的語」
 al sentido アル・センチト
 adv. 意味に 「間接目的語」
 de la frase. デ・ラ・フラセ
 adj. 文章の「形容詞句」

マリーについて僕に言っていた：「彼女は素晴らしい、さらに言わせてもらおうと、魅惑的だ」

A propósito de María me dijo: "Es deslumbrante, y diré más, encantadora."

「副詞句」「間接目的語」「動詞」：《「動詞」「補語」y「副詞句」「補語」》

A propósito de ア・プロポシト・デ prep (関連) ～に関して 「副詞句」
 María マリア n.f マリー 「目的語」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 dijo: デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 "Es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」
 deslumbrante, デスルンブランテ adj. まぶしい、素晴らしい 「補語」
 y イ conj. そして
 diré más, デイル・マス adv. 言わせてもらおうと 「副詞句」
 encantadora." エンカンタドラ adj. 魅惑的な 「補語」

Primera parte 第1部

僕は太陽がもたらしてくれる満足を味わうことに没頭していたので、その癖に対してそれ以上注目しなくなった。

No presté más atención a ese tic porque estaba ocupado en gozar del bienestar que me producía el sol. 「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」「副詞節」
 No presté ノ・プレステ 1 単点・否定(prestar)v.t 貸さなかった 「動詞句」
 más atención マス・アテンション n.f それ以上の注目を 「直接目的語」
 a ese tic ア・エセ・チック adv. その癖に対して 「間接目的語」
 porque ボ・ル conj. ～なので 「副詞節」
 estaba エスタバ 1 単線(estar)v.i ～だった 「動詞」
 ocupado オカパド 過去分詞・受動(ocupar)adj. 占領されていた 「補語」
 en gozar エン・ゴサル adv.(de ～を) 楽しむことに 「副詞句」
 del bienestar デル・ビエネスタール adv. 豊かさを、満足を 「目的語」
 que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 producía プロトウシア 3 単線(producir)
 v.t もたらした 「動詞」
 el sol. エル・ソル n.m 太陽が 「主語」

足元の砂が熱くなり始めていた。

La arena comenzaba a calentar bajo los pies. 「主語」「動詞句」「副詞句」
 La arena ラ・アレナ n.f 砂が 「主語」
 comenzaba a calentar コメンサバ・ア・カレントール 3 単線・開始(comenzar a+不定詞)
 v.i 熱くなり始めていた 「動詞句」
 bajo バホ prep ～の下で 「副詞句」
 los pies. ロス・ッピ・エス pl.n.m(pie) (足首から下) 足 「目的語」

僕は、水に入りたいという願望をまだ抑えていた。しかし結局はマソンに言った：「行きませんか？」僕は水に飛び込んだ。

Contuve aún el deseo de entrar en el agua, pero concluí por decir a Masson: "¿Vamos?" Me zambullí.
 「動詞」「副詞」「目的語」,pero「動詞句」「間接目的語」:《「勧誘」》,「動詞句」
 Contuve コントケバ 1 単点(contener)v.t 抑制した、抑えた 「動詞」
 aún アウン adv. まだ(todavía) 「副詞」
 el deseo エル・デセオ n.m 願望を 「目的語」
 de entrar デ・エントラール 不定詞・同格 adj. 入りたいという 「形容詞句」
 en el agua, エン・エル・アクア adv. 水の中に 「副詞句」

Primera parte 第1部

pero ペロ conj. しかし

concluí por decir コンクレイ・ポル・デシール 1 単点・結局(concluir por+不定詞)

v.t 結局言った

「動詞句」

a Masson: ア・マソン adv. マソンに

「間接目的語」

"¿Vamos?" バモス 1 単現・勧誘(ir)v.i 行きませんか?

「勧誘」

Me zambullí. メ・サンブジ 1 単点(zambullirse)v.pr (水に) 飛び込んだ

「動詞句」

彼はゆっくりと水の中に入ってきて、足が届かなくなったところで水に潜った。

Él entró en el agua lentamente y se sumergió cuando perdió pie.

「主語」「動詞」「副詞句」 y 「動詞句」「副詞節」

Él エル pron 彼は

「主語」

entró エントロ 3 単点(entrar)v.i 入って来た

「動詞」

en el agua エン・エル・アグわ adv. 水の中へ

「副詞句」

lentamente レンタメンテ adv. ゆっくりと

「副詞」

y イ conj. そして

se sumergió セ・スメルヒオ 3 単点(sumergirse)v.pr (水に) 浸かった、潜った

「動詞句」

cuando クワンド conj. ～したとき

「副詞節」

perdió ペルティオ 3 単点(perder)v.t 失った

「動詞」

pie. ピエ n.m 足

「目的語」

perder pie 「(水中で) 背が立たない」

彼はかなり泳ぎが下手だったので、僕は彼を放っておいてマリーと合流した。水は冷たくて、気持ちよく泳ぐことができた。

Nadaba bastante mal, de manera que le dejé para reunirme con María. El agua estaba fría y me gustaba nadar.

「動詞」「副詞句」, de manera que 「目的語」「動詞」「副詞句」

「主語」「動詞」「補語」 y 「間接目的語」「動詞」「主語」

Nadaba ナダバ 3 単線(nadar)v.i 泳いだ

「動詞」

bastante mal, バスタンテ・マル adv. かなり下手に

「副詞句」

de manera que テ・マネラ・ケ conj. (継続)(結果。+直説法) だから～する

le レ pron 彼を

「目的語」

dejé テヘ 1 単点(dejar)v.t 放置した、残しておいた

「動詞」

para +不定詞 パラ adv. (継続) そして～した

「副詞句」

reunirme レユニール・メ 不定詞(reunirse)v.pr(con と) 集まった

「動詞句」

con María. コン・マリア adv. マリーと

「間接目的語」

El agua エル・アグわ n.f 水は

「主語」

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ～だった

「動詞」

Primera parte 第1部

fría フリア adj.f(frío) 冷たい	「補語」
y イ conj. そして	
me メ pron 僕にとって	「間接目的語」
gustaba グスタバ 3 単線(gustar)v.i 気に入った	「動詞」
nadar. ナダル 不定詞 n. 泳ぐことは	「主語」

僕はマリーと一緒にさらに遠くへ泳いでいった。そして二人の動作と満足感によって、二人が1つに結びついたと感じた。

Nos alejamos con María y nos sentimos unidos en nuestros movimientos y en nuestra satisfacción. 「動詞句」「副詞句」 y 「動詞句」「補語」

Nos alejamos ノス・アレハモス 1 複点(alejarse)v.pr 遠ざかって行った 「動詞句」

con María コン・マリア adv. マリーと一緒に 「副詞句」

y イ conj. そして

nos sentimos ノス・センチモス 1 複点(sentirse)v.pr 〜だと感じた 「動詞句」

unidos ウニトス adj.pl 1つに結びついた 「補語」

en エン prep (手段) 〜によって、〜で 「副詞句」

nuestros movimientos ノエストロス・モビ・ミエントス pl.n.m 二人の動作 「目的語」

y イ conj. そして

en nuestra satisfacción. エン・ノエストラ・サティスファクシオン adv. 二人の満足感で 「副詞句」

僕たちは、沖に出て浮き身をした。すると空に向き直った僕の顔の上を、僕の口に流れ込んできた最後の水のバールを太陽が拭い取ってくれた。

Hicimos la plancha mar adentro, y sobre mi rostro, vuelto hacia el cielo, el sol secaba los últimos velos de agua que me corrían hacia la boca.

「動詞」「目的語」「副詞句」, y 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

Hicimos イシモス 1 複点(hacer)v.t (動作を) した 「動詞」

la plancha ラ・プランチャ n.f 浮き身を 「目的語」

mar adentro, マル・アデントロ adv. 沖に出て 「副詞句」

adentro アデントロ adv. 中へ

La corriente llevó el bote mar adentro. ボートは潮のために沖へ流された。

y イ conj. そして

sobre mi rostro, ソブレ・ミ・ロストロ adv. 僕の顔の上に 「副詞句」

vuelto ブエルト 過去分詞(volver)adj. (hacia の方へ) 向き直った 「形容詞句」

hacia el cielo, アシア・エル・シエロ adv. 空の方に 「副詞句」

el sol エル・ソル n.m 太陽が 「主語」

secaba セカバ 3 単線(secar)v.t 拭った、乾かしていた 「動詞」

Primera parte 第1部

los últimos velos	ロス・ウルチモス・ベロス	pl.n.m	最後のベールを	「目的語」
de agua	デ・アグア	adj.	水の	「形容詞句」
que	ケ	pron	(主語) ~する	「形容詞節」
me	メ	pron	僕の	「間接目的語」
corrían	コリアン	3 複線(correr)v.i	流れてきた	「動詞」
hacia la boca.	アシア・ラ・ボカ	adv.	口のほうに	「副詞句」

浮き身：

支持物に頼ることなく、身体の浮力を利用して水面に浮いて静止する泳法。浮き方には、顔を水面につけて浮く伏せ浮き、顔を水面上に出してあおむけに浮く背浮き、立ったままの姿勢の立ち浮き、横体の横浮き、初心者用のくらげ浮き（上体を前屈させ、膝を曲げて浮く）などがある。この場面では、背浮きに相当する。

マソンが浜に戻って、日向で日光浴しているのが見えた。遠くからでも、巨体に見えた。マリーは僕と一緒に泳ぎたいと言った。

Vimos que Masson regresaba a la playa para tenderse al sol. De lejos parecía enorme. María quiso que nadáramos juntos.

				「動詞」「目的語」 「副詞句」「動詞」「補語」 「主語」「動詞」「目的語」
Vimos	ビモス	1 単点(ver)v.t	〜が見えた	「動詞」
que	ケ	conj.	〜ということ	「目的語」
Masson	マソン	n.m	マソンが	「主語」
regresaba	レグレサバ	3 単線(regresar)v.i	戻った	「動詞」
a la playa	ア・ラ・プラジャ	adv.	浜に	「間接目的語」
para +不定詞	パラ	adv.	(継続) そして〜した	「副詞句」
tenderse	テンデル・セ	不定詞 v.pr	横たわる	「動詞句」
al sol.	アル・ソル	adv.	日向に	「副詞句」
De lejos	デ・レホス	adv.	(譲歩) 遠くからでも	「副詞句」
parecía	パレシア	3 単線(parecer)v.i	〜のように見えた	「動詞」
enorme.	エルメ	adj.	巨大な	「補語」
María	マリア	n.f	マリーは	「主語」
quiso	キソ	3 単点(querer)v.t	望んだ	「動詞」
que	ケ	conj.	〜ということを	「目的語」
nadáramos	ナダラムス	接・1 複過・願望(nadar)v.i	泳ぐ	「動詞」
juntos.	フントス	adv.	一緒に	「副詞」

Primera parte 第1部

僕は背後に回り、彼女の腰を掴んだ。彼女は両腕で泳ぎ、僕はバタ足で補助した。

Me puse detrás para tomarla por la cintura. Ella avanzaba a brazadas y yo la ayudaba agitando los pies.

「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「副詞句」 y 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」
 Me puse メ・プセ 1 単点(ponerse)v.pr (位置に) ついた 「動詞句」
 detrás デトラス adv. 背後に、後ろに 「副詞」
 para +不定詞 パラ adv. (継続) そして～した 「副詞句」
 tomarla トマル・ラ 不定詞(tomar+la)v.t 彼女をつかんだ 「動詞句」
 por la cintura. ポル・ラ・シントウラ adv. (位置) 腰あたりを 「副詞句」
 Ella エジャ pron 彼女は 「主語」
 avanzaba アバンサバ 3 単線(avanzar)v.i 前進した 「動詞」
 a brazadas ア・ブラサダス adv. (手段) 両腕で (足は使わずに) 「副詞句」
 y イ conj. そして
 yo ジョ pron 僕は 「主語」
 la ラ pron 彼女を 「目的語」
 ayudaba アユダバ 1 単線(ayudar)v.t 助けた 「動詞」
 agitando アヒタント 現在分詞(agitar)adv. (手段) 揺り動かして 「副詞句」
 los pies. ロス・ピエス pl.n.m 足を 「目的語」

水をかく小さな音が、午前中ずっと、僕たちの後ろについてきた。やがて僕は疲れを覚えた。

El leve ruido del agua removida nos siguió durante la mañana hasta que me sentí fatigado.

「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」
 El leve ruido エル・レバ・ルイト n.m 小さな音が 「主語」
 leve レバ adj. 軽い、弱い、かすかな ruido ルイト n.m 物音、騒音
 del agua テル・アグワ adj. 水の 「形容詞句」
 removida レモビダ 過去分詞・受動(remover)adj.f かき回された 「形容詞」
 nos ノス pron 僕たちを 「目的語」
 siguió シギオ 3 単点(seguir)v.t ～の後についてきた 「動詞」
 durante la mañana ドゥランテ・ラ・マニャ adv. 午前中ずっと 「副詞句」
 hasta que アスタ・ケ conj. ～するまで 「副詞節」
 me sentí メ・セチ 1 単点(sentirse)v.pr 自分が～だと感じる 「動詞句」
 fatigado. ファチガド 過去分詞(fatigar)adj. 疲れた 「補語」

Primera parte 第1部

それから僕はマリーを残して、呼吸を整えながら、一定速度で泳いで戻った。

Entonces dejé a María y volví nadando regularmente y respirando con fuerza.

「副詞」「動詞」「目的語」 y 「動詞」「副詞句」

Entonces エントネス adv. それから

「副詞」

dejé デフェ 1 単点(dejar)v.t 残した

「動詞」

a María ア・マリア n.f マリーを

「目的語」

y イ conj. そして

volví ホルビ 1 単点(volver)v.i 戻った

「動詞」

nadando ナダント 現在分詞・同時(nadar)adv. 泳いで

「副詞句」

regularmente レグラルメンテ adv. 規則正しく

「副詞」

y イ conj. そして

respirando レスピラント 現在分詞・同時(respirar)adv. 呼吸をして

「副詞句」

con fuerza. コン・フエルサ adv. 力強く、深く

「副詞」

浜に上がり、僕はマソンのすぐ近くにうつ伏せに横たわって、顔を砂に埋めた。

En la playa me tendí boca abajo junto a Masson y apoyé la cara en la arena.

「副詞句」「動詞句」「副詞句」 y 「動詞」「目的語」「副詞句」

En la playa エン・ラ・プラジャ adv. 浜辺で

「副詞句」

me tendí メ・テンディ 1 単点(tenderse)v.pr 横たわった

「動詞句」

boca abajo ボカ・アバホ adv. 口を下にして→うつ伏せに

「副詞句」

junto a Masson フント・ア・マソン adv. マソンのすぐ近くに

「副詞句」

y イ conj. そして

apoyé アポ・エ 1 単点(apoyar)v.t 寄りかからせた

「動詞」

la cara ラ・カラ n.f 顔を

「目的語」

en la arena. エン・ラ・アレナ adv. 砂に

「副詞句」

Primera parte 第1部

僕は彼に言った：「気持ちいいですね！」すると、彼も同じ考えだった。少しして、マリーがやって来た。僕は振り返って、こちらに近づいてくる彼女を見た。

Le dije: " ¡qué agradable! ", y él pensaba lo mismo. Poco después vino María. Me volví para verla llegar.

「間接目的語」「動詞」：《「感嘆」》y「主語」「動詞」「目的語」

「副詞句」「動詞」「主語」 | 「動詞句」「副詞句」

Le レ pron 彼に 「間接目的語」
 dije: ディエ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 " ¡qué agradable! ", ケ・アグラダブレ adv. なんて気持ちの良い! 「感嘆」
 y イ conj. そして
 él エル pron 彼は 「主語」
 pensaba ペンサハ 3 単線(pensar)v.t 考えていた 「動詞」
 lo mismo. ロ・ミスト pron 同じことを 「目的語」
 Poco después ポコ・デスプエス adv. 少しして、すぐ後で 「副詞句」
 vino ビノ 3 単点(venir)v.i やって来た 「動詞」
 María. マリア n.f マリーが 「主語」
 Me volví メ・ボルビ 1 単点(volverse)v.pr 振り返った 「動詞句」
 para +不定詞 パラ adv. (継続) そして～した 「副詞句」
 verla ベール・ラ 不定詞・知覚動詞 v.t 彼女を見る 「動詞句」
 llegar. ジェガル 不定詞・la の動作 v.i やって来る 「補語」

彼女は全身が塩水でねばついており、髪は後ろに向かって固定されていた。

Estaba completamente viscosa con el agua salada, y sujetaba los cabellos hacia atrás.

「動詞」「補語」 y 「動詞」「目的語」「副詞句」

Estaba エスタハ 3 単線(estar)v.i ～だった 「動詞」
 completamente viscosa コンプレタメンテ・ビスコサ adj.f 完全にねばねばした 「補語」
 completamente コンプレタメンテ adv. 完全に、徹底的に→全身が
 con el agua コン・エル・アグア adv. 水によって 「副詞句」
 salada, サラダ adj.f(salado) 塩分を含んだ 「形容詞句」
 y イ conj. そして
 sujetaba スエタハ 3 単線(sujetar)v.t 固定していた、留めていた 「動詞」
 los cabellos ロス・カベジヨス pl.n.m 髪の毛を 「目的語」
 hacia atrás. アシア・アトラス adv. 後ろへ 「副詞句」

Primera parte 第1部

彼女は僕と並んで横になった。彼女の体と太陽の2つの温もりで僕は少しうとうとした。

Se tendió lado a lado conmigo y los dos calores de su cuerpo y del sol me adormecieron un poco. 「動詞句」「副詞句」 y 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」

Se tendió セ・テンディオ 3 単点(tenderse)v/pr 横たわった 「動詞句」

lado a lado ラト・ア・ラト adv. 並んで 「副詞句」

conmigo コンミゴ adv. 僕と 「副詞」

y イ conj. そして

los dos calores ロス・トス・カレス pl.n.m 2つの熱が 「主語」

de su cuerpo デ・ス・ケルポ adj. 彼女の体の 「形容詞句」

y イ conj. そして

del sol デル・ソル adj. 太陽の 「形容詞句」

me メ pron 僕を 「目的語」

adormecieron アドルメシエロン 3 複点(adormecer)v.t 眠くした、うとうとさせた 「動詞」

un poco. ウン・ポコ adv. 少し 「副詞句」

マリーは僕を揺り起こして、マソンは別荘に戻ったから、昼食にしましょうと言った。

María me sacudió y me dijo que Masson había regresado a la casa. Teníamos que almorzar. 「主語」「目的語」「動詞」 y 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

María マリア n.f マリーは 「主語」

me メ pron 僕を 「目的語」

sacudió サクディオ 3 単点(sacudir)v.t 揺さぶった 「動詞」

y イ conj. そして

me メ pron 僕に 「間接目的語」

dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

Masson マソン n.m マソンは 「主語」

había regresado アビエ・レグレサト 3 単線・完了形(regresar)v.i 戻った 「動詞句」

a la casa. ア・ラ・カーサ adv. 別荘に 「間接目的語」

Teníamos que almorzar. テニアモス・ケ・アルモルサル 1 複線・必要・時制の一致(tener que+不定詞)

v.t 昼食にしましょう 「勧誘」

Primera parte 第1部

僕は空腹だったのですぐに起きたが、今朝はまだキスをしてきてないとマリーが言った。

Me levanté enseguida porque tenía hambre, pero María me dijo que no la había besado desde la mañana. 「動詞句」「副詞句」,pero 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Me levanté メ・レバンテ 1 単点(levantarsi)v.pr 立ち上がった 「動詞句」

enseguida エンセギダ adv. すぐに 「副詞」

porque ポル conj. ～なので 「副詞節」

tenía テニア 1 単線(tener)v.t (肉体的状態)があった 「動詞」

hambre, アンブレ n.f 空腹 「目的語」

pero ペロ conj. しかし

María マリア n.f マリーは 「主語」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

no ...había besado ノ...アビア・ベサド 1 単線・完了形・否定(besar)

v.t キスしていなかった 「動詞句」

la ラ pron 彼女に 「目的語」

desde la mañana. デスレ・ラ・マニャ adv. その日の朝から、今朝から 「副詞句」

確かにそうだった。とはいえ、すぐにキスしてもよかったのだが。「水の中に入ってきて！」と、マリーが僕に言った。

Era cierto y sin embargo habría querido hacerlo. "Ven al agua", me dijo.

「動詞」「補語」 y 「副詞句」「動詞句」 | 《「動詞」「間接目的語」》, 「間接目的語」「動詞」

Era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」

cierto シエルト adj. 疑いない、確かな 「補語」

y イ conj. そして

sin embargo シン・エンバルゴ adv. とはいえ 「副詞句」

habría querido hacerlo. アブリア・ケリト・アセル・ロ 1 単過未・推測(querer+不定詞)

v.t そうしてもよかったのだが 「動詞句」

"Ven ベン 命・2 単現(venir)v.i 来て 「動詞」

al agua", アル・アグわ adv. 水の中に 「間接目的語」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

dijo. デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Primera parte 第1部

僕たちは走って、一番波に飛び込んだ。数回水を掻くと、マリーが体を摺り寄せてきた。

Corrimos para lanzarnos sobre las primeras olas. Dimos algunas brazadas y ella se pegó contra mí. 「動詞」「副詞句」 | 「動詞」「目的語」 y 「主語」「動詞」「副詞句」

Corrimos コリモス 1 複点(correr)v.i 走った 「動詞」

para +不定詞 パラ adv. (継続・結果) そして〜した 「副詞句」

(目的) 〜するために の用法もある

lanzarnos ランサル・ノス 不定詞(lanzarse)v.pr 飛び込む 「動詞句」

sobre las primeras olas. ソブレ・ラス・プリメラス・オラス adv. 一番波に 「副詞句」

Dimos デイモス 1 複点(dar)v.t (動作を) した 「動詞」

algunas brazadas アルグナス・ブラサダス pl.n.f 数かき 「目的語」

y イ conj. そして

ella エジャ pron 彼女は 「主語」

se pegó セ・ペゴ 3 単点(pegarse)v.pr 体を寄せてきた 「動詞句」

contra mí. コントラ・ミ adv. 僕のほうに 「副詞句」

彼女の脚が僕の脚に絡まるのを感じて、彼女が欲しくなった。僕たちが戻ると、マソンはもう僕たちを呼んでいた。

Sentí sus piernas en torno de las mías y la deseé. Cuando volvimos, Masson ya nos estaba llamando.

「動詞」「目的語」「副詞句」 y 「目的語」「動詞」 | 「主語」「副詞」「目的語」「動詞句」

Sentí センチ 1 単点(sentir)v.t 感じた 「動詞」

sus piernas スス・ピエルナス pl.n.f 彼女の脚を 「目的語」

en torno エン・トルノ adv. 〜の周りに 「副詞句」

de las mías デ・ラス・ミアス adj. 僕の脚の 「形容詞句」

y イ conj. そして

la ラ pron 彼女を 「目的語」

deseé. デセエ 1 単点(desear)v.t 欲しくなった 「動詞」

Cuando クワント conj. 〜するとき 「副詞節」

volvimos, ボルビモス 1 複点(volver)v.i 戻った 「動詞」

Masson マソン n.m マソンは 「主語」

ya ヤー adv. もう 「副詞」

nos ノス pron 僕たちを 「目的語」

estaba llamando. エスタバ・ジヤマント 3 単線・進行形(llamar)v.t 呼んでいた 「動詞句」

Primera parte 第1部

僕は腹ペコだと言った。するとマソンはすぐに妻に向かって僕が気に入ったと言った。

Dije que tenía mucha hambre y Masson afirmó en seguida que yo le gustaba.

「動詞」「目的語」 y 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」

Dije ディェ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

tenía テニア 1 単線・時制の一致(tener)v.t (心身の状態) ～である

「動詞」

mucha hambre ムチャ・アンブレ n.f とても空腹

「目的語」

y イ conj. そして

Masson マソン n.m マソンは

「主語」

afirmó アフィルモ 3 単点(afirmar)v.t (que) 明言した

「動詞」

en seguida エン・セギダ adv. すぐに

「副詞句」

seguida セギダ n.f 連続、列

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

yo ジョ pron 僕が

「主語」

le レ pron 彼にとって

「間接目的語」

gustaba. グスタバ 1 単線・時制の一致(gustar)v.t 気に入った

「動詞」

フランス語原文では～誰に向かって言ったのかが示されている

僕が腹ペコだと言うと、彼はすぐさま妻に向かって、僕が彼の気に入ったと言った。

J'ai dit que j'avais très faim et il a déclaré tout de suite à sa femme que je lui plaisais.

スペイン語に追加するなら、Masson le afirmó a su esposa en seguida que yo le gustaba.

パンが美味しかった。自分の分の魚を食るように食べた。次に肉とフライドポテトが出た。

El pan estaba sabroso. Devoré mi parte de pescado. Después había carne y papas fritas.

「主語」「動詞」「補語」 | 「動詞」「目的語」 | 「副詞」「動詞」「目的語」

El pan エル・パン n.m パンは

「主語」

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ～だった

「動詞」

sabroso. サブロソ adj. 美味しい

「補語」

Devoré デボレ 1 単点(devorar)v.t 貪り食った

「動詞」

mi parte ミ・パルテ n.f 自分の分け前を

「目的語」

de pescado. デ・ペスカード adj. 魚の

「形容詞句」

Después デスプエス adv. (順番) 次に

「副詞」

había アビア 3 単線・存在(haber)v.t ～があった

「動詞」

carne y papas fritas. カネ・イ・パ・ス・フリタス pl.n 肉とフライドポテト

「目的語」

Primera parte 第1部

皆はものも言わずに食べた。マソンはワインをたくさん飲み、僕にもひっきりなしにワインを注いでくれた。

Todos comimos sin hablar. Masson bebía mucho vino y me servía sin descanso.

「主語」「動詞」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「目的語」 y 「間接目的語」「動詞」「副詞句」
 Todos トドス pl.n.m (自分を含めて) 皆は 「主語」
 comimos コミモス 1 複点(comer)v.t 食べた 「動詞」
 sin hablar. シン・アブラール adv. ものも言わず、無言で 「副詞句」
 Masson マソン n.m マソンは 「主語」
 bebía ベビア 3 単線(beber)v.t 飲んだ 「動詞」
 mucho vino ムチョ・ビーノ n.m⑩ ワインをたくさん 「目的語」
 y イ conj. そして
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 servía セルビア 3 単線(servir)v.t (酒を) 注いだ 「動詞」
 sin descanso. シン・デスカソ adv. 休みなく、ひっきりなしに 「副詞句」

コーヒーの時間になると、僕は少し頭が重かった。それから僕はかなりタバコを吸った。

Cuando llegó el café tenía la cabeza un poco pesada, y luego fumé mucho.

「副詞節」, 「動詞」「目的語」 y 「副詞」「動詞」「副詞」
 Cuando クワント conj. ～したとき 「副詞節」
 llegó ジェゴ 3 単点(llegar)v.i (時が) 到来した 「動詞」
 el café エル・カフェ n.m コーヒーの時間が 「主語」
 tenía テニア 1 単線(tener)v.t (心身の状態) ～だった 「動詞」
 la cabeza ラ・カベサ n.f 頭 「目的語」
 un poco pesada, ウン・ポコ・ペサダ adj. 少し重い 「形容詞句」
 y イ conj. そして
 luego ルエゴ adv. それから 「副詞」
 fumé フメ 1 単点(fumar)v.i タバコを吸った 「動詞」
 mucho. ムチョ adv. たくさん 「副詞」

Primera parte 第1部

マソンとレーモンと僕は、費用を出し合って8月に浜辺で一緒に過ごす計画を立てた。

Masson, Raimundo y yo habíamos proyectado pasar juntos el mes de agosto en la playa, con gastos comunes. 「主語」「動詞句」「副詞句」

Masson, Raimundo y yo マソン・ライムント・イ・ジョ pl.n.m マソンとレーモンと僕は 「主語」

habíamos proyectado pasar アビエイモス・プロジエクトアド・パスアル 1 複線・完了形・計画

(proyectar+不定詞)v.i 過ごす計画を立てた 「動詞句」

juntos フントス adv. 一緒に 「副詞」

el mes de agosto エル・メス・デ・アゴスト adv. 8月に 「副詞句」

en la playa, エン・ラ・プラジャ adv. 浜辺で 「副詞句」

con gastos comunes. コン・ガストス・コムネス adv. 費用を出し合って 「副詞句」

突然マリーが僕たちに言った：「何時か分かる？まだ11時半よ」

María nos dijo de golpe: "¿Saben qué hora es? Son las once y media."

「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」：《「動詞」「目的語」 | 「動詞」「補語」》

María マリア n.f マリーが 「主語」

nos ノス pron.pl 僕たちに 「間接目的語」

dijo デイヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

de golpe: デ・ゴパル adv. 突然、すぐに、乱暴に 「副詞句」

"¿Saben サベン 3 複現・疑問文(saber)v.t 分かっているの？ 「動詞」

qué hora es? ケ・オラ・エス pron 何時かということ 「目的語」

Son ソン 3 複現(ser)v.i (時刻が) ～である 「動詞」

las once y media." ラス・オンセ・イ・メディア n. 11 時半 「補語」

僕たちはみな驚いた。しかしマソンはずいぶん早く食事をしたが、腹が減った時が食事時なのだからそれは当然だ、と言った。

Quedamos todos asombrados, pero Masson dijo que habíamos comido muy temprano y que era lógico, porque la hora del almuerzo es la hora en que se tiene hambre.

「動詞」「主語」「補語」,pero 「主語」「動詞」「目的語」 y 「目的語」

Quedamos ケダモス 1 複点(quedar)v.i (～の状態に) なった 「動詞」

todos トボス pron.pl 僕たちは皆 「主語」

asombrados, アソンプラトス 過去分詞(asombrar)adj.m.pl 驚いた 「補語」

pero ペロ conj. しかし

Masson マソン n.m マソンは 「主語」

dijo デイヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

que ケ conj. ～ということ 「目的語」

habíamos comido アビエイモス・コムト 1 複現・完了形(comer)v.i 食事をした 「動詞句」

Primera parte 第1部

muy temprano ムイ・テンプ ^ラ	adv. ずいぶん早く	「副詞句」
y イ	conj. そして	
que ケ	conj. ～ということを	「目的語」
era エラ	3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である	「動詞」
lógico, ロヒコ	adj. 当然の	「補語」
porque ボ ^ル ケ	conj. ～なので	「副詞節」
la hora del almuerzo ラ・オラ・テル・アルムエルソ	n.f 昼食の時間は	「主語」
es エス	3 単現(ser)v.i ～である	「動詞」
la hora ラ・オラ	n.f 時間	「補語」
en que エン・ケ	adv. その時に	「副詞句」
se セ	pron 人が	「主語」
tiene テイエネ	3 単現(tener)v.t ～がある	「動詞」
hambre. アンブレ	n.f 空腹感	「目的語」

どうしてそれでマリーが笑ったのか分からないが、彼女は少し飲みすぎていたのだと思う。

No sé por qué aquello hizo reír a María. Creo que había bebido un poco de más.

No sé ノ・セ	1 単現・否定(saber)v.t 分からない	「動詞句」 「目的語」 「動詞」 「目的語」
por qué ボ ^ル ・ケ	conj. どうして～するかということを	「目的語」
aquello アケジ ^ョ	pron その言葉が	「主語」
hizo reír イツ・レイール	3 単点・使役(hacer+不定詞)v.t 笑わせた	「動詞句」
a María. ア・マリア	n.f マリーを	「目的語」
Creo クレオ	1 単現(creer)v.t ～と思う	「動詞」
que ケ	conj. ～ということを	「目的語」
había bebido アビ ^ア ・ベビト ^ゞ	3 単線・完了形(beber)v.i すでに飲んでいた	「動詞句」
un poco de más. ウン・ポ ^コ ・テ ^ゞ ・マス	adv. 少し多めに	「副詞句」

Primera parte 第1部

その時マソンが僕に、浜辺を散歩しないかと誘ってきた。「妻は、いつも昼食の後は昼寝をするんだ」

Masson me preguntó entonces si quería pasear con él por la playa. "Mi mujer siempre duerme la siesta después de almorzar.

「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」「直接目的語」

《「主語」「副詞」「動詞」「副詞句」》

Masson マソン n.m マソンが 「主語」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 訊いた 「動詞」
 entonces エントネス adv. その時 「副詞」
 si シ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」
 quería pasear ケシア・パセアル 1 単線・願望・時制の一致(querer+不定詞)
 v.i 散歩したい 「動詞句」
 con él コン・エル adv. 彼と一緒に 「副詞句」
 por la playa. ポル・ラ・プラジャ adv. (空間) 浜辺あたりを 「副詞句」
 "Mi mujer ミ・ムハール n.f 妻は 「主語」
 siempre シエンプレ adv. いつも 「副詞」
 duerme トゥエルメ 3 単現(dormir)v.i 眠る 「動詞」
 la siesta ラ・シエスタ n.f 真昼の時間に 「副詞句」
 siesta シエスタ n.f (昼食後の) 昼寝、休息、真昼の時間
 dormir la siesta 「昼寝をする」
 después de +不定詞 デスプエス adv. ～した後で 「副詞句」
 almorzar. アリモサル 不定詞 v.i 昼食を食べる 「動詞」

「私は昼寝は好まない。歩くことにしているんだ。いつも妻には、歩いたほうが健康にいいと言っているんだ」

A mí no me gusta hacerlo. Tengo que caminar. Siempre le digo que es mejor para la salud.

《「間接目的語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「主語」

「動詞句」 | 「副詞」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》

A mí ア・ミ adv. 私にとって 「間接目的語」
 no ...gusta ノ...グスタ 3 単現・否定(gustar)v.i 気に入らない 「動詞句」
 me メ pron 私には 「間接目的語」
 hacerlo. アエル・ロ 不定詞(hacer+lo)n. 昼寝をすることは 「主語」
 Tengo que caminar. テンゴ・ケ・カミナル 1 単現・必要(tener que+不定詞)
 v.i 歩かなければならない 「動詞句」
 Siempre シエンプレ adv. いつも 「副詞」

Primera parte 第1部

le レ pron 妻には	「間接目的語」
digo ディゴ 1 単現(decir)v.t 言っている	「動詞」
que ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
es エス 3 単現(ser)v.i ～である	「動詞」
「主語」は「歩くこと」	
mejor メホル adj. より良い	「補語」
para la salud. パラ・ラ・サル adv. 健康のために	「副詞句」

「しかしそれをやるかどうかを決めるのは妻だから」マリーは残って、マソンの奥さんが食器を洗うのを手伝う、と宣言した。

Pero, después de todo, tiene derecho a hacerlo." María declaró que se quedaría para ayudar a la señora de Masson a lavar la vajilla.

《Pero 「副詞句」「動詞」「目的語」》「主語」「動詞」「目的語」

Pero, ペロ conj. しかし	
después de todo, デスプ°エス・デ・トト° adv. 結局は	「副詞句」
tiene ティエネ 3 単現(tener)v.t ～がある	「動詞」
主語はマソンの妻	
derecho a hacerlo." デレチョ・ア・アセル・ロ n.m それをする権利	「目的語」
それをするかどうかを決める権利	
María マリア n.f マリーは	「主語」
declaró デクラロ 3 単点(declarar)v.t 宣言した	「動詞」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
se quedaría セ・ケダリア 3 単過未・意思(quedarse)v.pr 残るつもりである	「動詞句」
para ayudar パラ・アユダール adv. 手伝うために	「副詞句」
a la señora de Masson ア・ラ・セニョーラ・デ・マソン	
n.f マソンの奥さんを	「目的語」
a lavar la vajilla. ア・ラバール・ラ・バヒジャ 不定詞・señora の動作	
v.t 食器を洗う	「補語」

Primera parte 第1部

その小柄なパリジェンヌは、そのためには男どもを追い出さなければならないわ、と言った。
僕たち3人は別荘を出た。

La pequeña parisiense dijo que para eso era necesario echar a los hombres. Bajamos los tres.

「主語」「動詞」「目的語」 | 「動詞」「主語」
La pequeña parisiense ラ・ペ・ケニャ・パリシェンセ n.f その小柄なパリジェンヌは 「主語」
dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
que ケ conj. ～ということを 「目的語」
para eso パラ・エソ adv. そのためには 「副詞句」
era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」
necesario ネセサリオ adj. 必要な 「補語」
echar エチャール 不定詞 n. 追い出すことが 「主語」
a los hombres. ア・ロス・オンブレス pl.n.m 男どもを 「目的語」
Bajamos バハモス 1 単点(bajar)v.i 降りた、家を出た 「動詞」
los tres. ロス・トレス pron.m 我々3人は 「主語」

太陽はほぼ真上から砂の上にさしこんでいたそして、海上の輝きは耐え難かった。もう浜には誰もいなかった。

El sol caía casi a plomo sobre la arena y el resplandor en el mar era insupportable. Ya no había nadie en la playa.

「主語」「動詞」「副詞句」 y 「主語」「動詞」「補語」 | 「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞句」
El sol エル・ソル n.m 太陽は 「主語」
caía カイア 3 単線(caer)v.i (日が) さしていた 「動詞」
casi カシ adv. ほとんど 「副詞」
a plomo ア・プロモ adv. 垂直に 「副詞句」
casi a plomo → ほぼ真上から
sobre la arena ソブレ・ラ・アレナ adv. 砂の上に 「副詞句」
y イ conj. そして
el resplandor エル・レスプラントール n.m 輝きは 「主語」
en el mar エ・ネル・マル adv. 海上の 「副詞句」
era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」
insupportable. インソポルタブレ adj. 耐えられない 「補語」
Ya ヤー adv. もう 「副詞」
no había ノ・アビア 3 単線・否定・存在(haber)v.t いなかった 「動詞句」
nadie ナディエ pron 誰も～ない 「目的語」
en la playa. エン・ラ・プラジャ adv. 浜には 「副詞句」

Primera parte 第1部

高台を縁取るように、海の上に突き出して建ち並ぶ別荘からは、皿やナイフやスプーンなどの物音が聞こえてきていた。

En las cabañuelas que bordeaban la meseta, suspendidas sobre el mar, se oían ruidos de platos y de cubiertos. 「副詞句」, 「動詞句」 「主語」

En las cabañuelas エン・ラス・カバニエラス adv. 別荘では 「副詞句」

cabaña 小屋 + -uela (「示小接尾辞」 -uelo) → 小さい小屋 → 別荘

注意: cabañuelas カバニエラス pl.n.f 年間天気予報

que ケ pron.pl (主語) ~する 「形容詞節」

bordeaban ボルデアバン 3 複線(bordear)v.t ~を縁取りする 「動詞」

la meseta, ラ・メタ n.f 高台を 「目的語」

suspendidas スペンディダス 過去分詞(susponder)

adj.f.pl ぶら下がった、吊るされた 「形容詞句」

sobre el mar, ソブレ・エル・マル adv. 海の上に 「副詞句」

→ 海の上に突き出しているのは、las cabañuelas 別荘である。高台ではない。

suspendidas は女性複数形なので、la meseta を修飾していないことがわかる。

se oían セ・オイアン 3 複線・再帰受動(oírse)v.pr (音が) 聞こえてきていた 「動詞句」

ruidos ルイトス pl.n.m 物音が 「主語」

de platos デ・プラトス adj.pl 皿の 「形容詞句」

y イ conj. そして

de cubiertos. デ・クビエルトス adj.m.pl スプーンとナイフの 「形容詞句」

cubierto クビエルト n.m ([複]で) (そろいの) スプーンとナイフとフォークのセット

フランス語原文では~2つの形容詞節を使用している

Dans les cabanons **qui** bordaient le plateau et **qui** surplombaient la mer, on entendait des bruits d'assiettes et de couverts.

高台を囲んで、海の上に張り出して建ち並ぶ別荘からは、皿や食器の音が聞こえていた。

Primera parte 第1部

足元から湧き上がる、石から放射される熱気の中で、僕はやっと息をしていた。

Se respiraba apenas en el calor de piedra que subía desde el suelo.

「動詞句」「副詞句」

Se respiraba セ・レスピラハ 1 単線(respirarse)v.pr 息をしていた

「動詞句」

apenas アペナス adv. やっと、どうにか

「副詞」

en el calor エン・エル・カール adv. 熱気の中で

「副詞句」

de piedra デ・ッピエトラ adv. 石から放射される

「形容詞句」

que ケ pron (主語: el calor) ~する

「形容詞節」

subía スビア 3 単線(subir)v.i 上がる

「動詞」

desde el suelo. デ・ステ・エル・スエロ adv. 地面から、足元から

「副詞句」

最初のうちは、レーモンとマソンは僕の知らないことや知らない人の話をしていた。

Al principio Raimundo y Masson hablaron de cosas y personas que yo no conocía.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「間接目的語」

Al principio アル・プリンシピオ adv. 最初のうちは

「副詞句」

Raimundo y Masson ライムント・イ・マソン pl.n.m レーモンとマソンは

「主語」

hablaron アブラロン 3 複点(hablar)v.i 話していた

「動詞」

de cosas y personas デ・コサス・イ・ペルソナス adv. 事や人について

「間接目的語」

que yo no conocía. ケ・ジョ・ノ・コシア adj. 僕の知らない

「形容詞節」

彼らは古くからの知り合いで、1 時期は一緒に住んでいたことさえあることが分かった。

Comprendí que hacía mucho que se conocían y que hasta habían vivido juntos en cierta época.

「動詞」「目的語」 y 「目的語」

Comprendí コンプレンディ 1 単点(comprender)v.t 理解した、分かった

「動詞」

que ケ conj. ~ということ

「目的語」

hacía mucho que+直説法 アシア・ムチョ・ケ conj. 長い間~した、~してから長い

se conocían セ・コノシアン 3 複線(conocerse)v.pr (互いに) 知り合った

「動詞句」

Hace cinco años que vivo en Madrid. マドリードに住んで 5 年になる。

Hace mucho tiempo que no llueve. 長い間雨が降っていない。

y イ conj. そして

que ケ conj. ~ということ

「目的語」

hasta アスタ adv. ~まで、~さえも

「副詞」

habían vivido アビアン・ビビト 3 複線・完了形(vivir)v.i 住んでいた

「動詞句」

juntos フントス adv. 一緒に

「副詞」

en cierta época. エン・シェルタ・エポカ adv. ある時期は、1 時期は

「副詞句」

Primera parte 第1部

僕たちは海に向かって進み、波打ち際に沿って歩いた。

Nos dirigimos hacia el agua y caminamos por la orilla del mar.

「動詞句」「副詞句」 y 「動詞」「副詞句」

Nos dirigimos ノス・ディリヒモス 1 複点(dirigirse)v.pr 向かって進んだ

「動詞句」

hacia el agua アシア・エル・アグァ adv. 海の方へ

「副詞句」

y イ conj. そして

caminamos カミナモス 1 複点(caminar)v.i 歩いた

「動詞」

por la orilla ポル・ラ・オリジャ adv. ふち辺りを

「副詞句」

del mar. デル・マル adj. 海の

「形容詞句」

時々、他より脚の長い小さな波がやってきて、僕たちの布靴を濡らしていった。

De vez en cuando una pequeña ola más larga que otra venía a mojar nuestros zapatos de lona.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」

De vez en cuando デ・ベス・エン・クワント adv. 時々

「副詞句」

una pequeña ola ウナ・ペケニャ・オラ n.f. 小さな波が

「主語」

más larga que otra マス・ラルガ・ケ・オトラ adj. 他より脚の長い

「形容詞句」

venía a mojar ベニア・ア・モハル 3 単線・結果(venir a+不定詞)

v.t やって来て濡らした

「動詞句」

venir a+不定詞 (目的)「～しにやって来る」→(結果)「やって来て～した」

nuestros zapatos スエストロス・サプトス pl.n.m 僕たちの靴を

「目的語」

de lona. デ・ロナ adj. (材料) 布製の、帆布製の

「形容詞句」

→ ヨットの帆布で作られた靴を「ズック靴」と言う

むき出しの頭に焼き付くような陽を浴びて半睡状態になり、僕は何も考えられなかった。

Yo no pensaba en nada porque estaba medio amodorrado con tanto sol sobre la cabeza desnuda.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞節」

Yo ジョ pron 僕は

「主語」

no pensaba ノ・ペンサバ 1 単線・否定(pensar)v.i 考えていなかった

「動詞句」

en nada エン・ナダ adv. 何についても～ない

「間接目的語」

porque ポルケ conj. ～なので

「副詞節」

estaba エスタバ 1 単線(estar)v.i ～だった

「動詞」

medio amodorrado メディオ・アモドラト adj. 半睡状態の

「補語」

con tanto sol コン・タント・ソル adv. (原因) 一杯の太陽で

「副詞句」

sobre la cabeza ソブレ・ラ・カベサ adv. 頭上に

「副詞句」

desnuda. デスナダ adj.f 裸の、遮るものがない

「形容詞」

帽子をかぶっていない状態

Primera parte 第1部

レーモンが急にマソンに何か言ったのだが、僕はよく聞こえなかった。

De pronto, Raimundo dijo a Masson algo que no oí bien.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「間接目的語」 「直接目的語」, 「目的語」 「動詞句」 「副詞」
 De pronto, デ・プロント adv. 急に、いきなり 「副詞句」
 Raimundo ライムント n.m レーモンが 「主語」
 dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 a Masson ア・マソン adv. マソンに 「間接目的語」
 algo アルゴ pron なにかを 「直接目的語」
 que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」
 no oí ノ・オイ 1 単点・否定(oír)v.t 聞こえなかった 「動詞句」
 bien. ビエン adv. (否定文で) よく~ない 「副詞」

しかし同時に僕は、浜の外れの僕たちから離れた場所で作業服を着た 2 人のアラブ人が、僕たちの方へ近づいて来るのが見えた。

Pero al mismo tiempo divisé en el extremo de la playa, y muy lejos de nosotros, a dos árabes de albornoz que venían en nuestra dirección.

Pero 「副詞句」, 「動詞」 「副詞句」 「目的語」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」
 Pero ペロ conj. しかし
 al mismo tiempo アル・ミスマ・ティエンポ adv. 同時に 「副詞句」
 divisé デイビセ 1 単点(divisar)v.t ~が遠くに見えた 「動詞」
 en el extremo エン・ネル・エクストレモ adv. 端に 「副詞句」
 de la playa, デ・ラ・プラジャ adj. 浜辺の 「形容詞句」
 y イ conj. そして
 muy lejos ムイ・レホス adv. とても遠くに 「副詞句」
 de nosotros, デ・ノストロス adv. 僕たちから 「副詞句」
 a dos árabes ア・トス・アラベス pl.n.m 2 人のアラブ人が 「目的語」
 de albornoz アルボルノス adj. (モーロ人が着る) フード付き外套を着た 「形容詞句」
 que ケ pron.pl (主語) ~する 「形容詞節」
 venían ベニアン 3 複線(venir)v.i やって来た 「動詞」
 en nuestra dirección. エン・ヌストラ・ディレクション
 adv. 僕たちの方へ 「副詞句」

フランス語の原文では~葉っ葉服

しかし僕は同時に、浜の外れの僕たちから遠く離れた所から、葉っ葉服を着た 2 人のアラブ人が僕たちのほうへ向かって来るのが目に入った。

Mais j'ai aperçu en même temps, tout au bout de la plage et très loin de nous, deux

Primera parte 第1部

Arabes **en bleu de chauffe** qui venaient dans notre direction.

菜っ葉服とは、工場労働者などが着る、薄青色の作業服。albornoz はフード付き外套だから作業着とは言えない。overol ^{ハムル} n.m オーバーオール が原文に近いと思う。

僕がレーモンを見ると、彼は僕に言った：「奴だ！」僕たちは歩き続けた。

Miré a Raimundo y me dijo: "Es él." Continuamos caminando.

「動詞」「目的語」 y 「間接目的語」「動詞」：《「動詞」「補語」》 | 「動詞句」

Miré ^{ミレ} 1 単点(mirar)v.t 見た 「動詞」

a Raimundo ^{ア・ライムント} n.m レーモンを 「目的語」

y ^イ conj. そして

me ^メ pron 僕に「間接目的語」

dijo: ^{デヨ} 3 単点(decir)v.t 言った「動詞」

"Es ^{エス} 3 単現(ser)v.i ~である「動詞」

él." ^{エル} pron 奴「補語」

Continuamos caminando. ^{コンチヌアモス・カミナント} 1 複点・継続(continuar+不定詞)

v.i 歩き続けた「動詞句」

マソンは、彼らはどうやってここまで僕たちを追って来られたのかと不思議そうに言った。

Masson preguntó cómo habrían podido seguirnos hasta allí. 「主語」「動詞」「目的語」

Masson ^{マソン} n.m マソンは 「主語」

preguntó ^{プレグント} 3 単点(preguntar)v.t 不思議そうに言った、不思議がった 「動詞」

cómo ^{コモ} adv. どうして〜かということを 「目的語」

habrían podido ^{アブリアン・ポデイト} 3 複過未・完了形・推量(poder)

v.t(+不定詞) ~出来たのだろう 「動詞句」

seguirnos ^{セギール・ノス} 不定詞(seguir+nos)v.t 僕たちの後をついてくる 「動詞句」

hasta allí. ^{アスタ・アジ} adv. ここまで 「副詞句」

Primera parte 第1部

彼らは僕たちがビーチバッグを持ってバスに乗るところを見たに違いないと、僕は思ったが、何も言わなかった。

Pensé que debían de habernos visto tomar el autobús con el bolso de playa, pero no dije nada.

「動詞」「目的語」, pero 「動詞句」「目的語」

Pensé ペンセ 1 単点(pensar)v.t (que ～と) 思った

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

debían de +不定詞 デビアン・デ 3 複線・推量(deber de+不定詞)

v.i ～したに違いない

「動詞句」

habernos visto アベル・ノス・ビスト 不定詞・完了形・知覚動詞(ver+nos)

v.t 僕たちを見ていた

「動詞句」

tomar トマル 不定詞・nos の動作 v.t (乗り物に) 乗る

「補語」

el autobús エル・アウトブス n.m バスに

「目的語」

con el bolso コン・エル・ボルソ adv. バッグを持って

「副詞句」

de playa, デ・プラジャ adj. ビーチの

「形容詞句」

pero ペロ conj. しかし

no dije ノ・デハ 1 単点・否定(decir)v.t 言わなかった

「動詞句」

nada. ナダ pron 何も～ない

「目的語」

アラブ人たちはゆっくりと進んで来た。そしてもうかなり近くまで来ていた。

Los árabes avanzaban lentamente y estaban ya mucho más próximos.

「主語」「動詞」「副詞」 y 「動詞」「副詞句」

Los árabes ロス・アラベス pl.n.m アラブ人たちは

「主語」

avanzaban アバンサバン 3 複線(avanzar)v.i 進んできた

「動詞」

lentamente レンタメンテ adv. ゆっくりと

「副詞」

y イ conj. そして

estaban エスタバン 3 複線・存在(estar)v.i ～にいた

「動詞」

ya ヤー adv. もう

「副詞」

mucho más próximos. ムチョ・マス・プロキシモス adv. かなり近くに

「副詞句」

Primera parte 第1部

僕たちは歩調を変えないでいた。しかしレーモンが言った：「もし喧嘩になったら、マソン、君は2人目を相手にしてくれ」

Nosotros no habíamos cambiado nuestro paso, pero Raimundo dijo: "Si hay gresca, tú, Masson, tomas al segundo." 「主語」「動詞句」「目的語」,pero「主語」「動詞」:

《「副詞節」、「呼びかけ」「動詞」「目的語」》

Nosotros ノトロス pron 僕たちは 「主語」

no habíamos cambiado ノ・アビ・アモス・カンビアド 1 複線・完了形・否定(cambiar)

v.t 変えないでいた 「動詞句」

nuestro paso, スエストロ・パソ n.m 自分たちの歩調を 「目的語」

pero ペロ conj. しかし

Raimundo ライムント n.m レーモンが 「主語」

dijo: ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

"Si シ conj. もし~ならば 「副詞節」

hay アイ 3 単現(haber)v.t ~がある 「動詞」

gresca, グレスカ n.f けんか 「目的語」

tú, Masson, トゥ・マソン n.m マソン、君は 「呼びかけ」

tomas トマス 2 単現・依頼(tomar)v.t 引き受けてくれ 「動詞」

al segundo. アル・セグント pron 2 人目の奴を 「目的語」

「俺は、問題の奴を引き受ける。ムルソー、君は、他に来る奴がいたら、相手をしてくれ」

Yo me encargo de mi individuo. Tú, Meursault, si llega otro, es para ti."

《「主語」「動詞句」「間接目的語」 | 「呼びかけ」「副詞節」,「動詞」「補語」》

Yo ジョ pron 俺は 「主語」

me encargo メ・エンカルゴ 1 単現(encargarse)v.pr(de を) 引き受ける 「動詞句」

de mi individuo. デ・ミ・インディビドゥオ adv. 俺の問題の奴を 「間接目的語」

Tú, Meursault, トゥ・メルソー n.m ムルソー、君は 「呼びかけ」

si シ conj. もし~ならば 「副詞節」

llega ジェガ 3 単現(llegar)v.i やってくる 「動詞」

otro, オトロ pron 他の奴が 「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

para ti." パー・ティ adv. 君の分 「補語」

Primera parte 第1部

僕は言った：「分かった」するとマソンは両手をポケットの中に突っ込んだ。熱く焼けた砂が、僕には、今では火が付いたように赤く見えた。

Dije: "Sí", y Masson metió las manos en los bolsillos. La arena recalentada me parecía roja ahora.

「動詞」：《「応答」》, y 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

「主語」「間接目的語」「動詞」「補語」

Dije: デイハ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

"Sí", シ adv. 分かった 「応答」

y イ conj. そして

Masson マソン n.m マソンは 「主語」

metió メオ 3 単点(meter)v.t(en ~の中に) 入れた 「動詞」

las manos ラス・マノス pl.n.m 両手を 「目的語」

en los bolsillos. エン・ロス・ボルスィヨス adv. ポケットの中に 「副詞句」

La arena ラ・アレナ n.f 砂が 「主語」

recalentada レカレンタダ 過去分詞・受動.f(recalentar)adj. 熱く焼けた 「形容詞」

me メ pron 僕には 「間接目的語」

parecía パレシア 3 単線(parecer)v.i ~のように見えた 「動詞」

roja ロハ adj. 赤く 「補語」

ahora. アオラ adv. 今は 「副詞」

僕たちは一定の歩調でアラブ人たちのほうへ進んでいった。両者の間の距離は規則正しく縮まっていった。

Avanzábamos con paso parejo hacia los árabes. La distancia entre nosotros disminuía regularmente.

「動詞」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「副詞」

Avanzábamos アバンスハモス 1 複線(avanzar)v.i 進み続けた 「動詞」

con paso parejo コン・パソ・パレホ adv. (様態) 一定の歩調で 「副詞句」

hacia los árabes. アシア・ロス・アラベス adv. (方向) アラブ人たちのほうへ 「副詞句」

La distancia ラ・ディスタンシア n.f 距離は 「主語」

entre nosotros エントレ・ノストロス adv. 我々の間の 「副詞句」

disminuía デイスキヌイ 3 単点(disminuir)v.i 小さくなった 「動詞」

regularmente. レグラルメンテ adv. 規則正しく 「副詞」

Primera parte 第1部

互いにあと数歩の所で、アラブ人たちは立ち止まった。マソンと僕は歩調を落とした。

Cuando estuvimos a algunos pasos unos de otros, los árabes se detuvieron. Masson y yo habíamos disminuido el paso.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 | 「主語」 「動詞句」 「目的語」
 Cuando クワント^ㇰ conj. 〜したとき 「副詞節」
 estuvimos エストゥビモス 1 複点・移動(estar)v.i 〜に来た 「動詞」
 a algunos pasos ア・アルグノス・パソス adv. あと数歩の所に 「副詞句」
 unos de otros, ウノス・デ・オトロス adv. 互いに 「副詞句」
 los árabes ロス・アラベス pl.n.m アラブ人たちが 「主語」
 se detuvieron. セ・デトゥビエロン 3 複点(detenerse)v.pr 立ち止まった 「動詞句」
 Masson y yo マソン・イ・ジョ pl.n マソンと僕は 「主語」
 habíamos disminuido アビアモス・デイスミヌイ^ㇰ 1 複線・完了形(disminuir)
 v.t 減らした、小さくした 「動詞句」
 el paso. エル・パソ n.m 歩調を 「目的語」

レーモンは真っすぐに例の男のほうに向かって行った。彼が相手に何を言っているのか、よく聞き取れなかったが、もう一人が頭突きをするしぐさをした。

Raimundo fue directamente hacia el individuo. No pude oír bien lo que le dijo, pero el otro hizo ademán de darle un cabezazo.

「主語」 「動詞」 「副詞句」 | 「動詞句」 「副詞」 「目的語」, pero 「主語」 「動詞」 「目的語」
 Raimundo ライムント^ㇰ n.m レーモンは 「主語」
 fue フェ 3 単点(ir)v.i 行った 「動詞」
 directamente デイレクタメンテ adv. 直接に、真っすぐに 「副詞」
 hacia el individuo. アシア・エル・インディビドゥオ adv. 例の男のほうへ 「副詞句」
 No pude oír ノ・プデ・オイール 1 単点・可能・否定(poder+不定詞)v.t 聞こえなかった 「動詞句」
 bien ビエン adv. よく 「副詞」
 lo ロ pron それが 「目的語」
 que ケ pron (目的語) 〜する 「形容詞節」
 le レ pron その男に 「間接目的語」
 dijo, ディョ 3 単点(decir)v.t (レーモンが) 言った 「動詞」
 pero ペロ conj. しかし
 el otro エル・オトロ pron もう一人が 「主語」
 hizo イ 3 単点(hacer)v.t (行為を) した 「動詞」
 ademán アデマン n.m しぐさを 「目的語」
 de darle デ・ダーール・レ 不定詞・同格(dar+le)adj. レーモンに与えるという 「形容詞句」
 un cabezazo. ウン・カベザソ n.m 頭突きを 「目的語」

Primera parte 第1部

それでレーモンが最初に殴り、すぐにマソンを呼んだ。

Raimundo golpeó entonces por primera vez y llamó enseguida a Masson.

「主語」「動詞」「副詞句」 y 「動詞」「副詞」「目的語」

Raimundo ライムント^ㇿ n.m レーモンが 「主語」

golpeó ゴルペオ^ㇿ 3 単点(golpear)v.t 殴った 「動詞」

golpear a+人 en la cara 「～の顔を殴る」

entonces エントネス^ㇿ adv. それで、そこで 「副詞」

por primera vez ホル・プリメラ・ベス^ㇿ adv. 最初に、まず 「副詞句」

y イ conj. それから

llamó ジャモ^ㇿ 3 単点(llamar)v.t 呼んだ 「動詞」

enseguida エンセギダ^ㇿ adv. すぐに、ただちに 「副詞」

a Masson. ア・マソン n.m マソンを 「目的語」

マソンは自分の相手に指名された男に向かって進んで行き、渾身の力を込めて2発殴った。

Masson fue hacia aquel que se le había designado y golpeó dos veces con todas sus fuerzas.

「主語」「動詞」「間接目的語」 y 「動詞」「副詞句」

Masson マソン n.m マソンは 「主語」

fue フェ^ㇿ 3 単点(ir)v.i(hacia に向かって) 進んでいった 「動詞」

hacia aquel アシア・アケル^ㇿ adv. あの男に向かって 「間接目的語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

se ...había designado セ...アビ・ア・デシガ・ナト^ㇿ 3 単線・完了形・再帰受動(designarse)

v.pr 指名されていた 「動詞句」

le レ pron 彼にとって 「間接目的語」

y イ conj. そして

golpeó ゴルペオ^ㇿ 3 単点(golpear)v.t 殴った 「動詞」

dos veces ドス・ベセス^ㇿ adv. 2回 「副詞句」

con todas sus fuerzas. コン・トドス・ス・フエルサス^ㇿ adv. 全力で、渾身の力を込めて 「副詞句」

Primera parte 第1部

マソンの相手は、うつぶせに海に倒れこみ、数秒間、その姿勢のままでいた。その間中、彼の顔の周りの水面に泡が弾けていた。

El otro se desplomó en el agua con la cara hacia el fondo y quedó algunos segundos así mientras las burbujas rompían en la superficie en tomo de su cabeza.

「主語」「動詞句」「副詞句」 y 「動詞句」「副詞句」

El otro エル・オトロ pron もう一方の男は 「主語」
 se desplomó セ・デスプロモ 3 単点(desplomarse)v.pr 崩れ落ちた 「動詞句」
 en el agua エン・エル・アグア adv. 水の中に 「副詞句」
 con la cara コン・ラ・カラ adv. (様態) 顔を～して 「副詞句」
 hacia el fondo アシア・エル・フォント adv. (方向) 水底に向けて 「副詞句」
 y イ conj. そして
 quedó クエド 3 単点(quedar)v.i ～のままでいた 「動詞」
 algunos segundos アルグノス・セグントス adv. 数秒間 「副詞句」
 así アシ adv. そのように 「副詞」
 mientras ミエンTRAS conj. ～している間 「副詞節」
 las burbujas ラス・ブルブハス n.f pl.n.f 泡が 「主語」
 rompían ロンビアン 3 複線(romper)v.i 弾けていた 「動詞」
 en la superficie エン・ラ・スペルフィシエ adv. 水面で 「副詞句」
 en tomo de su cabeza. エントモ・デ・ス・カベサ adv. 彼の頭の周りの 「副詞句」

うつ伏せ：

体の前面（顔・腹側）を下にして地面などに伏せること。

あおむけ（仰向け）：

身体の前面（顔・腹側）を上に向けること。

イタリア語・スペイン語・フランス語・ドイツ語・英語には、「うつ伏せ、仰向け」に相当する単語が無いので、文章による表現が使われている。日本語では単語一つで表せる表現が、外国語には対応する単語が無いことが多い。例えば「木漏れ日」の英語訳は、

「sunshine filtering through the leaves of trees」のようになる。

Primera parte 第1部

レーモンも殴り続けていたので、相手の顔は血まみれになっていた。

Raimundo había golpeado también al mismo tiempo y el otro tenía el...rostro ensangrentado. 「主語」「動詞句」「副詞句」 y 「主語」「動詞」「目的語」

Raimundo ライムント^ㇿ n.m レーモンは 「主語」

había golpeado アビア・ゴルペ・アト^ㇿ 3 単線・完了形(golpear)v.t 殴っていた 「動詞句」

también タンビエン^ㇿ adv. もまた 「副詞」

al mismo tiempo アル・ミスモ・ティエンポ^ㇿ adv. 同時に、一緒に、同様に 「副詞句」

y イ conj. そして

el otro エル・オトロ^ㇿ pron 相手は 「主語」

tenía テニア^ㇿ 3 単線(tener)v.t (特徴を) していた 「動詞」

el rostro エル・ロストロ^ㇿ n.m 顔 「目的語」

ensangrentado. エンサングレンタド^ㇿ 過去分詞・受動(ensangrentar)

adj. 血まみれの 「形容詞」

レーモンは僕のほうに振り返って言った：「あいつがひどい目に会うところを見せてやるよ」

Raimundo se volvió hacia mí y dijo: "Vas a ver lo que va a cobrar."

「主語」「動詞句」「副詞句」 y 「動詞」：《「動詞句」「目的語」》

Raimundo ライムント^ㇿ n.m レーモンは 「主語」

se volvió セ・ボルビオ^ㇿ 3 単点(volverse)v.pr 振り返った 「動詞句」

hacia mí アシア・ミ^ㇿ adv. 僕のほうを 「副詞句」

y イ conj. そして

dijo: ディヨ^ㇿ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

"Vas a ver バス・ア・ベール^ㇿ 2 単現・近接未来(ir a+不定詞)v.t ～を見るだろう 「動詞句」

lo ロ^ㇿ pron それを 「目的語」

que ケ^ㇿ pron (同格) ～という 「形容詞節」

va a cobrar." バ・ア・コブラール^ㇿ 3 単現・近接未来(ir a+不定詞)

v.i ひどい目に会う 「動詞句」

Primera parte 第1部

僕は彼に向かって叫んだ：「気をつけろ！ナイフを持っているぞ！」しかし、すでにレーモンは切りつけられて、腕と口に傷を負っていた。

Le grité: "¡Cuidado! ¡Tiene cuchillo!" Pero Raimundo tenía ya el brazo abierto y la boca cortada por un tajo.

「間接目的語」「動詞」：《「呼びかけ」「動詞」「目的語」》

Pero 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」「副詞句」

Le レ pron 彼に 「間接目的語」
 grité: グリテ 1 単点(gritar)v.t 大声で言った、叫んだ 「動詞」
 "¡Cuidado! クイダド int. 気をつけろ 「呼びかけ」
 ¡Tiene ティエネ 3 単現(tener)v.t 持っている 「動詞」
 cuchillo!." クチジョ n.m ナイフを 「目的語」
 Pero ペロ conj. しかし
 Raimundo ライムント n.m レーモンは 「主語」
 tenía テニア 3 単線(tener)v.t 持っていた 「動詞」
 ya ヤー adv. すでに、もう 「副詞」
 el brazo エル・ブラソ n.m 腕を 「目的語」
 abierto アビエルト adj.m 開いた、切り開かれた 「形容詞」
 y イ conj. そして
 la boca ラ・ボカ n.f 口 「目的語」
 cortada コルタダ adj.f(cortado) ひび割れた 「形容詞」
 por un tajo. ホル・ウン・タホ adv. (原因) 切り傷で 「副詞句」

マソンは一步前に踏み出した。しかし、もう一人のアラブ人はすでに立ち上がっていて、ナイフを持った男の背後に身を隠した。

Masson dio un salto hacia adelante. Pero el otro árabe se había levantado y se había colocado detrás del que estaba armado.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 | Pero 「主語」「動詞句」「副詞句」

Masson マソン n.m マソンは 「主語」
 dio ディオ 3 単点(dar)v.t (動作を) した 「動詞」
 un salto ウン・サルト n.m 跳躍 「目的語」
 hacia adelante. アシア・アデランテ adv. 前のほうへ 「副詞句」
 Pero ペロ conj. しかし
 el otro árabe エル・オトロ・アラベ n.m もう一人のアラブ人は 「主語」
 se había levantado セ・アビエ・レバント 3 単線・完了形(levantarse) 「動詞句」
 v.pr その時すでに立ち上がっていた
 y イ conj. そして
 se había colocado セ・アビエ・コロカト 3 単線・完了形(colocarse)v.pr 身を置いた 「動詞句」

Primera parte 第1部

detrás del デトラス・デル adv. 人の背後に 「副詞句」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

estaba armado. エスタバ・アルマト 3 単線・受動(armar)

v.t 武器を持った 「動詞句」

僕たちは動くに動けなかった。彼らは、僕たちをずっと睨みつけ、ナイフで牽制しながら、
ゆっくりと後退した。

No nos atrevimos a movernos. Retrocedieron lentamente sin dejar de mirarnos y de
tenernos a raya con el cuchillo. 「動詞句」 | 「動詞」「副詞句」

No nos atrevimos a movernos. ノ・ノス・アトレビモス・ア・モベルノス 1 複点・敢えて・否定

(atreverse a+不定詞 moverse)v.pr 動くに動けなかった 「動詞句」

Retrocedieron レトセディエロン 3 複点(retroceder)v.i 後退した 「動詞」

lentamente レンタメンテ adv. ゆっくりと 「副詞」

sin dejar シン・デハール adv.(sin+不定詞) (相手の様態) ~するのをやめずに 「副詞句」

de mirarnos デ・ミラル・ノス 不定詞 v.t 僕たちを見る 「動詞句」

y イ conj. そして

de tenernos デ・テネル・ノス 不定詞 v.t 僕たちに~を配置する 「動詞句」

a raya ア・ラヤ n.f 境界線、規制線 「目的語」

tener a raya (+a+人) 「(人)を 支配する、抑えつける」

con el cuchillo. コン・エル・クチジョ adv. ナイフで 「副詞句」

彼らは距離が十分だと判断して、一目散に逃げて行った。一方、僕たちは太陽の下に取り残
されてしまった。そしてレーモンは血がしたたる腕を押さえていた。

Cuando vieron que tenían bastante campo huyeron rápidamente mientras nosotros
quedamos clavados bajo el sol y Raimundo se apretaba el brazo que goteaba sangre.

「副詞節」, 「動詞」「副詞」 mientras 「主語」「動詞」「補語」 y 「主語」「動詞句」「目的語」

Cuando クワント conj. ~すると、~したとき、(理由) ~なので 「副詞節」

vieron ビエロン 3 複点(ver)v.t 見た、思った 「動詞」

que ケ conj. ~ということを 「目的語」

tenían テニア 3 複線・時制の一致(tener)v.t ~がある 「動詞」

bastante campo バスタンテ・カンポ n.m 十分な距離 「目的語」

huyeron ウィエロン 3 複点(huir)v.i 逃げた、逃走した 「動詞」

rápidamente ラピダメンテ adv. 大急ぎで 「副詞」

mientras ミエンラス conj. 一方~する

nosotros ノトロス pron 僕たちは 「主語」

quedamos クダモス 1 複点(quedar)v.i ~の状態になった 「動詞」

Primera parte 第1部

clavados クラバトス adj.m.pl 釘付けの 「補語」
 bajo el sol バホ・エル・ソル adv. 太陽の下に 「副詞句」
 y イ conj. そして
 Raimundo ライムント n.m レーモンは 「主語」
 se apretaba セ・アプレタバ 3 単線(apretarse)v.pr (自分の体を) 締め付けていた 「動詞句」
 el brazo, エル・ブラソ n.m 腕を 「目的語」
 que ケ pron (同格) ~する 「形容詞節」
 goteaba ゴテアバ 3 単線(gotear)v.i 滴っている 「動詞」
 sangre. サングレ n.f 血が 「主語」

「太陽の下に釘付けになった」→「緊張感が切れて太陽の下にへたり込んでしまった」という解釈は考えすぎなので、「相手が逃走して、自分たちは取り残された」とした。

マソンはすぐに、高台の別荘で日曜日を過ごしている医者がある、と言った。

Masson dijo inmediatamente que había un médico que pasaba los domingos en la meseta.
 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」
 Masson マソン n.m マソンは 「主語」
 dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 inmediatamente インメ・イタメンテ adv. すぐに、即座に 「副詞」
 que ケ conj. ~ということを 「目的語」
 había ハビャ 3 単線・存在・時制の一致(haber)v.t ~がいる 「動詞」
 un médico ウン・メディコ n.m 医者が 「目的語」
 que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 pasaba パサバ 3 単線・時制の一致(pasar)
 v.t (時を) 過ごしている 「動詞」
 los domingos ロスト・ミンゴス pl(domingo).n.m 日曜日を 「目的語」
 en la meseta. エン・ラ・メタ adv. 高台 (の別荘) で 「副詞句」

レーモンはすぐに行きたがった。しかし話すたびに、傷の出血が泡になって口から溢れ出た。

Raimundo quiso ir enseguida. Pero cada vez que hablaba, la sangre de la herida le formaba burbujas en la boca.

「主語」「動詞句」「副詞」
 Pero 「副詞句」, 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞句」
 Raimundo ライムント n.m レーモンは 「主語」
 quiso ir キソ・イル 3 単点・願望(querer+不定詞)v.i 行きたがった 「動詞句」
 enseguida. エンセギダ adv. すぐに 「副詞」
 Pero ペロ conj. しかし

Primera parte 第1部

cada vez カダ・ベス adv.(cada vez que+直説法) その度に 「副詞句」
 que hablaba, ケ・アブラハ adj. 彼が話す 「形容詞節」
 la sangre ラ・サングレ n.f 血が 「主語」
 de la herida デ・ラ・エリダ adj. 傷口からの 「形容詞句」
 le レ pron 彼の 「間接目的語」
 formaba フォルマバ 3 単線(formar)v.t 形作った 「動詞」
 burbujas ブルブハス pl.n.f 泡を 「直接目的語」
 en la boca. エン・ラ・ボカ adv. 口の中に 「副詞句」
 口の中で血が泡になるだけでは、他人には良く分からない。口から溢れたら分かる。

僕たちは彼を支えて、大急ぎで別荘に戻った。

Le sostuvimos y regresamos a la cabañuela lo más pronto posible.

「目的語」「動詞」 y 「動詞」「間接目的語」「副詞句」
 Le レ pron 彼を 「目的語」
 sostuvimos ソストゥビモス 1 複点(sostener)v.t 支えた 「動詞」
 y イ conj. そして
 regresamos レグレサモス 1 複点(regresar)v.i 戻った 「動詞」
 a la cabañuela ア・ラ・カハニエラ adv. 別荘に 「間接目的語」
 lo más pronto posible. ロ・マス・フ・ロント・ホ・シブレ adv.(lo más 形容詞・副詞 posible)
 adv. できるだけ早く、大至急 「副詞句」

そこでレーモンは、傷はかすり傷だから、医者へは自分で行ける、と言った。

Allí Raimundo dijo que las heridas eran superficiales y que podía ir hasta la casa del médico.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」 y 「目的語」
 Allí アジ adv. そこで 「副詞」
 Raimundo ライムント n.m レーモンは 「主語」
 dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 las heridas ラス・エリダス pl.n.f 傷は 「主語」
 eran エラン 3 複線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」
 superficiales スペルフィシアレス adj.m.pl 表面的な 「補語」
 y イ conj. そして
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 podía ir ホ・デア・イル 3 単線・可能(poder+不定詞)v.i ～に行ける 「動詞句」
 hasta la casa del médico. アスタ・ラ・カサ・テル・メディオ adv. 医者の中へ 「間接目的語」

Primera parte 第1部

レーモンはマソンと一緒に出て行った。僕は残って、何が起こったのかを女たちに説明した。

Se marchó con Masson y me quedé para explicar a las mujeres lo que había ocurrido.

「動詞句」「副詞句」 y 「動詞句」「副詞句」

Se marchó セ・マルチョ 3 単点(marcharse)v.pr 出て行った

「動詞句」

con Masson コン・マソン adv. マソンと一緒に

「副詞句」

y イ conj. そして

me quedé メ・ケデ 1 単点(quedarse)v.pr 残った

「動詞句」

para +不定詞 パ・ラ adv. (結果) そして～する

「副詞句」

explicar エクスプリカル 不定詞 v.t 説明する

「動詞」

a las mujeres ア・ラス・ムヘス adv. 女たちに

「間接目的語」

lo ロ pron それを

「直接目的語」

que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

había ocurrido. アビ・ア・オクリト 3 単線・完了形(ocurrir)

v.i 起こった

「動詞句」

マソンの奥さんは泣き、マリーは真っ青になっていた。彼らにあれこれ説明するのにうんざりしてきた。

La señora de Masson lloraba y María estaba muy pálida. A mí me molestaba darles explicaciones.

「主語」「動詞」 y 「主語」「動詞」「補語」 | 「目的語」「動詞」「主語」

La señora de Masson ラ・セニョーラ・デ・マソン n.f マソンの奥さんは

「主語」

lloraba ジョラバ 3 単線(llorar)v.i 泣いていた

「動詞」

y イ conj. そして

María マリア n.f マリーは

「主語」

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ～だった

「動詞」

muy pálida. ムイ・パリダ adj.f(pálido) 真っ青な

「補語」

A mí me ア・ミ・メ pron 僕を

「目的語」

molestaba モレスタバ 3 単線(molestar)v.t 不快にした

「動詞」

darles ダール・レス 不定詞 n. 彼らに与えることは

「主語」

explicaciones. エクスプリカシオネス pl.n.f あれこれと説明を

「目的語」

Primera parte 第1部

僕はついに黙り込み、海を見ながら煙草を吸った。1時半頃に、レーモンがマソンと一緒に戻ってきた。

Acabé por callarme y fumé mirando el mar. Hacia la una y media Raimundo regresó con Masson. 「動詞句」 y 「動詞」「副詞句」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」

Acabé por callarme アカベ・ホル・カジャルメ 1 単点・結局(acabar por+不定詞 callarse)

v.pr しまいに黙り込んだ 「動詞句」

y イ conj. そして

fumé フメ 1 単点(fumar)v.i タバコを吸った 「動詞」

mirando ミランド 現在分詞・同時(mirar)adv. 見ながら 「副詞句」

el mar. エル・マル n.m 海を 「目的語」

Hacia アシア prep (時点) への頃に 「副詞句」

la una y media ラ・ウナ・イ・メディア n.f 1 時半 「目的語」

Raimundo ライムント n.m レーモンが 「主語」

regresó レグレス 3 単点(regresar)v.i 戻ってきた 「動詞」

con Masson. コン・マソン adv. マソンと一緒に 「副詞句」

腕に包帯を巻かれ、口の端には絆創膏が貼られていた。

Tenía el brazo vendado y un esparadrapo en el rincón de la boca.

「動詞」「目的語」 y 「目的語」「副詞句」

Tenía テニア 3 単線・肉体的特徴(tener)v.t あった 「動詞」

el brazo エル・ブラソ n.m 腕 「目的語」

vendado ベンダト 過去分詞・受動(vendar)adj. 包帯を巻かれた 「形容詞」

y イ conj. そして

un esparadrapo ウン・エスパラトドラポ n.m 絆創膏が 「目的語」

en el rincón エン・ネル・リンコン adv. 端っこに 「副詞句」

de la boca. デ・ラ・ボカ adj. 口の 「形容詞句」

Primera parte 第1部

医者は、大したことは無いと言ったそうだが、レーモンは見るからに暗い表情をしていた。

El médico le había dicho que no era nada, pero Raimundo tenía aspecto muy sombrío.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」,pero「主語」「動詞」「目的語」
 El médico エル・メディコ n.m 医者は 「主語」
 le レ pron 彼に 「間接目的語」
 había dicho アビ・ア・デ・イチョ 3 単線・完了形(decir)v.t 言った 「動詞句」
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 no era ノ・エラ 3 単線・否定・時制の一致(ser)v.i ～でない 「動詞」
 nada, ナダ pron 何も～ない 「補語」
 pero ペロ conj. しかし
 Raimundo ライムント n.m レーモンは 「主語」
 tenía テニア 3 単線・特徴(tener)v.t ～をしていた 「動詞」
 aspecto アスペクト n.m 様子を 「目的語」
 muy sombrío. ムイ・ソムブリオ adj. ひどく暗い 「形容詞句」

マソンは彼を笑わそうとした。しかし彼はもう口を開かなかった。彼が浜に降りると言うので、僕はどこへ行くのか、と尋ねた。

Masson trató de hacerle reír. Pero no hablaba más. Cuando dijo que bajaba a la playa le pregunté a dónde iba.

「主語」「動詞句」 | Pero「動詞句」「副詞」 | 「副詞節」,「間接目的語」「動詞」「副詞節」
 Masson マソン n.m マソンは 「主語」
 trató de hacerle reír. トラト・デ・アセル・レ・レイール 3 単点・試行(tratar)
 v.i(+de+不定詞・使役 hacerle reír) 彼を笑わせようとした 「動詞句」
 Pero ペロ conj. しかし
 no hablaba ノ・アブラハ 3 単線・否定(hablar)v.i 話さなかった 「動詞句」
 más. マス adv. (否定文で) もう～ない 「副詞」
 Cuando クワント conj. ～するとき 「副詞節」
 dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 bajaba バハハ 3 単線・時制の一致(bajar)v.i 降りる 「動詞」
 a la playa ア・ラ・プラジャ adv. 浜に 「副詞句」
 le レ pron 彼に 「間接目的語」
 pregunté プレグンテ 1 単点(preguntar)v.i 尋ねた 「動詞」
 a dónde iba. ア・ドンデ・イバ adv. どこへ行くのかと 「副詞節」

Primera parte 第1部

彼は、新鮮な空気が吸いたい、と答えた。マソンと僕は、彼について行こう、と話合った。

Me respondió que quería tomar aire. Masson y yo dijimos que íbamos a acompañarle.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 | 「主語」「動詞」「目的語」

Me メ pron 僕に

「間接目的語」

respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

quería tomar ケリア・トマル 3 単過未・願望(querer+不定詞)

v.t (新鮮な空気を) 吸いたいのだが

「動詞句」

aire. アイレ n.m 空気を

「目的語」

Masson y yo マソン・イ・ジョ pl.n.m マソンと僕は

「主語」

dijimos ディヒモス 1 複点(decir)v.t 言った

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

íbamos a acompañarle. イバ・モス・ア・アコンパニアル・レ 1 複点・勧誘(ir a+不定詞)

v.i 彼と一緒に行こう

「動詞句」

すると、彼は怒りだして、僕たちに罵詈雑言を浴びせた。マソンは逆らわないほうがいいと言った。しかしそれでも、僕は彼の後について行った。

Entonces montó en cólera y nos insultó. Masson declaró que no había que contrariarle.

Pero, de todos modos, le seguí.

「副詞」「動詞」「補語」 y 「目的語」「動詞」 | 「主語」「動詞」「目的語」

Pero 「副詞句」「目的語」「動詞」

Entonces エントンス adv. すると、その時

「副詞」

montó モント 3 単点(montar)v.i (en 乗り物に) 乗った

「動詞」

en cólera エン・コレラ adv. 激怒した状態に

「補語」

cólera コレラ n.f 激怒、かんしゃく montar en cólera 「かっとなる」

y イ conj. そして

nos ノス pron.pl 僕たちを

「目的語」

insultó. インスルト 3 単点(insultar)v.t ののしった、侮辱した

「動詞」

Masson マソン n.m マソンは

「主語」

declaró デクラロ 3 単点(declarar)v.t はっきりと言った

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

no había que +不定詞 ノ・アビエ・ケ 3 単線・必要・否定・一般(haber que+不定詞)

v. ～してはならない、～しないほうが良い

「動詞句」

contrariarle. コントリアール・レ 不定詞(contrariar+le)v.t 彼に逆らう

「動詞句」

Pero, ペロ conj. しかし

de todos modos, デ・トドス・モドス adv. (譲歩) それでも、とにかく

「副詞句」

Primera parte 第1部

le レ pron 彼を 「目的語」
 seguí. セギ 1 単点(seguir)v.t ついて行った 「動詞」

僕たちはしばらくの間浜辺を歩いた。太陽は、今や、焼けるように熱くなっていた。太陽の熱が砂の上や海の上に降り注ぎ、小さなかけらに砕けて飛び散っていた。

Caminamos mucho tiempo por la playa. El sol estaba ahora abrasador. Se rompía en pedazos sobre la arena y sobre el mar.

「動詞」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「副詞」「補語」 | 「動詞句」「副詞句」
 Caminamos カメモス 1 複点(caminar)v.i 歩いた 「動詞」
 mucho tiempo ムチョ・ティエンポ adv. しばらくの間 「副詞句」
 por la playa. ポル・ラ・プラジャ adv 浜辺を 「副詞句」
 El sol エル・ソル n.m 太陽は 「主語」
 estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i 〜だった 「動詞」
 ahora アオラ adv. 今では 「副詞」
 abrasador. アブラサトール adj. 燃えるような、焼けるように熱い 「補語」
 Se rompía セ・ロンピャ 3 単線(romperse)v.pr 砕けていた 「動詞句」
 en pedazos エン・ペダソス adv. (結果) 小さなかけらに 「副詞句」
 sobre la arena ソブレ・ラ・アレナ adv. 砂の上で 「副詞句」
 y イ conj. そして
 sobre el mar. ソブレ・エル・マル adv. 海の上で 「副詞句」

レーモンは行く当てがあって歩いている、と僕は印象を受けたのだが、どうやらそれは間違いのようだった。

Tuve la impresión de que Raimundo sabía a dónde iba, pero sin duda era una falsa impresión. 「動詞」「目的語」,pero 「副詞句」「動詞」「補語」

Tuve トゥヘ 1 単点(tener)v.t 〜を持った 「動詞」
 la impresión ラ・インプレシオン n.f 感じを、印象を 「目的語」

tener la impresión de que+直説法 「〜という印象を持つ」
 de que デ・ケ adj. (同格) 〜するという 「形容詞節」
 Raimundo ライムント n.m レーモンは 「主語」
 sabía サビャ 3 単線・時制の一致(saber)
 v.i(de について) 分かっている 「動詞」
 a dónde iba, ア・ドンデ・イバ adv. どこへ行くかについて 「間接目的語」
 pero ペロ conj. しかし
 sin duda シン・ドゥダ adv. たぶん、間違いなく 「副詞句」
 era エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった 「動詞」

Primera parte 第1部

una falsa impresión. ウナ・ファルサ・インプレシオン n.f 間違った印象 「補語」

浜の外れで、僕たちは結局、大きな岩の後ろの砂地から湧き出して海のほうへ流れている小さな泉に到着した。

En el extremo de la playa llegamos al fin a un pequeño manantial que corría por la arena hacia el mar detrás de una gran roca. 「副詞句」, 「動詞」 「副詞句」 「間接目的語」

En el extremo エ・ネル・エクストレモ adv. 〜の端で 「副詞句」

de la playa テ・ラ・プラジャ adj. 浜の 「形容詞句」

llegamos シェガモス 1 複点(llegar)v.i 到着した 「動詞」

al fin アル・フィン adv. ついに、最後には、結局 「副詞句」

a un pequeño manantial ア・ウン・ペケニョ・マナシアル adv. 小さな泉に 「間接目的語」

que ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」

corría コリア 3 単線(correr)v.i (水が) 流れる 「動詞」

por la arena ホル・ラ・アレナ adv. 砂地を通して 「副詞句」

hacia el mar アシア・エル・マール adv. 海のほうへ 「副詞句」

detrás de una gran roca. テトラス・デ・ウナ・グラン・ロカ

adv. 大きな岩の後ろに 「副詞句」

そこにあの2人のアラブ人がいた。彼らは油で汚れた菜っ葉服を着て、横になっていた。

Allí encontramos a los dos árabes. Estaban acostados con los grasientos albornoces.

「副詞」 「動詞」 「目的語」 | 「動詞」 「補語」

Allí アジ adv. そこで 「副詞」

encontramos エンコントラモス 1 複点(encontrar)v.t 見つけた 「動詞」

a los dos árabes. ア・ロス・トス・アラベス pl.n.m あの2人のアラブ人を 「目的語」

Estaban エスタバン 3 複線(estar)v.i 〜だった 「動詞」

acostados アコスタトス 過去分詞.pl(acostar)adj.pl 横になった 「補語」

con los grasientos albornoces. コン・ロス・グラシエントス・アルボルノセス

adv. (様態) 油で汚れた菜っ葉服を着て 「副詞句」

grasiento グラシエント adj. 油で汚れた

albornoz アルボルノス n.m ([複] albornoces) フード付き外套、菜っ葉服

Primera parte 第1部

彼らは全く落ち着いた様子で、むしろ満足気に見えた。僕たちがやって来ても、まったく変化はなかった。

Parecían enteramente tranquilos y casi apaciguados. Nuestra llegada no cambió nada.

「動詞」「補語」 y 「補語」 | 「主語」「動詞句」「目的語」

Parecían パレシアン 3 複線(parecer)v.i 〜のように見えた 「動詞」

enteramente tranquilos エンテラメンテ・トランキロス adj.pl まったく落ち着いた 「補語」

y イ conj. そして

casi apaciguados. カシ・アパシグアトス 過去分詞.pl(apaciguar)

adj.pl どちらかという満足した 「補語」

casi カシ adv. どちらかという apaciguado 過去分詞 adj. なだめられた、満足した

Nuestra llegada ヌエストラ・ジェガダ n.f 僕たちの到着は 「主語」

no cambió ノ・カンビオ 3 単点・否定(cambiar)v.t 変えなかった 「動詞句」

nada. ナダ pron 何も〜ない 「目的語」

レーモンに傷を負わせた男は、無言で彼を見つめていた。

El que había herido a Raimundo le miraba sin decir nada.

「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」

El エル pron 男は 「主語」

que ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」

había herido アビア・エルト 3 単線・完了形(herir)v.t 負傷させた 「動詞句」

a Raimundo ア・ライムント n.m レーモンを 「目的語」

le レ pron 彼を 「目的語」

miraba ミラバ 3 単線(mirar)v.t 見つめていた 「動詞」

sin decir nada. シン・デシール・ナダ adv. 無言で 「副詞句」

もう一人の男は葦笛を吹いていた。そして敵意に満ちた目で僕たちを見つめながら、その楽器が作り出す3種類の音を休みなく繰り返し鳴らしていた。

El otro soplab a una cañita y, mirándonos de reojo, repetía sin cesar las tres notas que sacaba del instrumento.

「主語」「動詞」「目的語」 y, 「副詞句」, 「動詞」「副詞句」「目的語」

El otro エル・オトロ pron もう一人の男は 「主語」

soplab ソプラバ 3 単線(soplar)v.t 〜に吹きかけていた、吹いていた 「動詞」

una cañita ウナ・カニタ n.f 小さな葦笛を 「目的語」

caña カニャ n.f アシ → + -ita 小さいアシ → 葦笛

y, イ conj. そして

mirándonos ミラント・ノス 現在分詞・同時(mirar+nos)adv. 僕たちを見ながら 「副詞句」

Primera parte 第1部

de reajo, デ・レオ	adv. 横から、横目で、敵意に満ちて	「副詞句」
repetía レペチア	3 単線(repetir)v.t 繰り返していた	「動詞」
sin cesar シン・セサル	adv. 休みなく	「副詞句」
las tres notas ラス・トレス・ノタス	pl.n.f 3 種類の音を	「目的語」
que ケ	pron (目的語) ~する	「形容詞節」
sacaba サバ	3 単線・時制の一致(sacar)v.t 作り出す	「動詞」
del instrumento. デル・インストルメント	adv. その楽器から	「副詞句」

この間中ずっと、太陽と泉のかすかな水音を含んだ静寂とあの 3 種類の音だけだった。

Durante todo este tiempo no hubo otra cosa más que el sol y el silencio con el leve ruido del manantial y las tres notas.

Durante todo este tiempo	ト・ウランテ・ト・エステ・テイエンボ	adv. この間中ずっと	「副詞句」
no hubo	ノ・ウボ	3 単点・否定(haber)v.t ~がなかった	「動詞句」
otra cosa	オトラ・コサ	n.f 他の事は	「目的語」
más que	マス・ケ	prep ~の他は	「副詞句」
el sol	エル・ソル	n.m 太陽	「目的語」
y	イ	conj. そして	
el silencio	エル・シレンシオ	n.m 静寂	「目的語」
con el leve ruido	コン・エル・レベ・ルイト		
adv. かすかな雑音を含んだ			「副詞句」
del manantial	デル・マナティアル	adv. 泉からの	「副詞句」
y	イ	conj. そして	
las tres notas.	ラス・トレス・ノタス	pl.n.f あの 3 種類の音	「目的語」

その時、レーモンがポケットの拳銃に手を伸ばしたが、もう一人の男は動かず、二人は互いに睨み合い続けていた。

Luego Raimundo echó mano al revólver de bolsillo, pero el otro no se movió y continuaron mirándose.

「副詞」「主語」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」,pero	「主語」「動詞句」y	「動詞句」
Luego ルエゴ ^ˈ	adv. それから、その時	「副詞」
Raimundo ライムント ^ˈ	n.m レーモンが	「主語」
echó エチョ ^ˈ	3 単点(echar)v.t 差し出した、投げた	「動詞」
mano マノ ^ˈ	n.f 手を	「直接目的語」
al revólver de bolsillo, アル・レボルベル・デ・ボルシジ ^ˈ	adv. ポケットの拳銃に	「間接目的語」
pero ペロ ^ˈ	conj. しかし	
el otro エル・オトロ ^ˈ	pron もう一人の男は	「主語」

Primera parte 第1部

no se movió ノ・セ・モビョ 3 単点・否定(moverse)v.pr 動かなかった 「動詞句」
 y イ conj. そして
 continuaron mirándose. コンチヌアロン・ミラントセ 3 複点・継続(continuar+現在分詞 mirarse 相互)
 v.pr 互いに睨みあったままでいた 「動詞句」

僕は、葦笛を吹いている男の足の指の間隔がやけに広がっていることに気づいた。

Noté que el que tocaba la flauta tenía los dedos de los pies muy separados.

「動詞」「目的語」
 Noté ノテ 1 単点(notar)v.t 気づいた 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 el エル pron 男は 「主語」
 que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 tocaba トカバ 3 単線・時制の一致(tocar)
 v.t (笛を) 吹いている 「動詞」
 la flauta ラ・フラウタ n.f 葦笛を、横笛を 「目的語」
 tenía テニア 3 単線・時制の一致(tener)v.t (特徴が) ある 「動詞」
 los dedos ロス・デトス pl.n.m 指 「目的語」
 de los pies デ・ロス・ピエス adj. 足の 「形容詞句」
 muy separados. ムイ・セパラトス adj.m.pl 非常に離れた 「形容詞句」

相手を見据えたままで、レーモンは僕に尋ねた：「やってしまおうか？」

Sin quitar los ojos de su adversario, Raimundo me preguntó: "¿Lo tumbo?"

「副詞句」, 「主語」「間接目的語」「動詞」: 《「目的語」「動詞」》
 Sin + 不定詞 シン adv. ～せずに 「副詞句」
 sin que+接続法 「～せずに」
 quitar キタル 不定詞 v.t 取り除く 「動詞」
 los ojos ロス・オス pl.n.m 目を 「目的語」
 de su adversario, デ・ス・アドベルサリオ
 adv. (起点) 敵対者から、相手から 「副詞句」
 Raimundo ライムント n.m レーモンは 「主語」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 preguntó: プレグント 3 単点(preguntar)v.i 尋ねた 「動詞」
 "¿Lo ロ pron 彼を 「目的語」
 tumbo?" トンボ 1 単現・疑問文(tumbar)v.t 倒すか? 「動詞」

Primera parte 第1部

もし彼に、やめろと言え、彼は興奮して、間違いなく発砲するだろうと僕は思った。

Pensé que si le decía que no, se excitaría y seguramente tiraría. 「動詞」「目的語」

Pensé ペンセ 1 単点(pensar)v.t 思った、考えた 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

le レ pron 彼に 「間接目的語」

decía デシア 1 単線・仮定(decir)v.t 言った 「動詞」

que no, ケノ conj. だめだと 「目的語」

se excitaría セ・エキタリア 3 単過未・過去における未来の推量(excitarse)

v.pr 興奮するだろう 「動詞句」

y イ conj. そして

seguramente セグラマンテ adv. おそらく、確実に 「副詞」

tiraría. チラリア 3 単過未・過去における未来の推量(tirar)v.t 撃つだろう 「動詞」

僕は、次のように言うだけにとどめた：「相手はまだ君に何も言っていない。ここで発砲したら、卑怯者になってしまうぞ」

Me limité a decirle: "Todavía no te ha hablado. Sería feo tirar así."

「動詞句」：《「副詞」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」 | 「動詞」「補語」「主語」》

Me limité a decirle: メ・リミテ・ア・デシル・レ 1 単点・制限(limitarse a+不定詞 decirle)

v.pr 彼に～というだけにとどめた 「動詞句」

"Todavía トダビア adv. まだ～ない 「副詞」

no ...ha hablado. ノ...ア・アブラト 3 単現・完了形・否定(hablar)v.i 何も言っていない 「動詞句」

te テ pron 君に 「間接目的語」

Sería セリア 3 単過未・過去における未来の推量(ser)v.i ～になってしまうだろう 「動詞」

feo フェオ adj. 卑怯な 「補語」

tirar así." チラル・アシ 不定詞 n. そんな風に発砲することは 「主語」

静けさと灼熱の中央にいて、水と葦笛のかすかな音がまだ聞こえていた。

En medio del silencio y del calor se oyó aún el leve ruido del agua y de la flauta.

「副詞句」, 「動詞句」「副詞」「目的語」

En medio エン・メディオ adv.(de の) 中央に 「副詞句」

del silencio デル・シレンシオ adj. 静けさの 「形容詞句」

y イ conj. そして

del calor デル・カロール adj. 熱の 「形容詞句」

se oyó セ・オヨ 3 単点(oirse)v.pr 聞こえた 「動詞句」

aún アウン adv. まだ 「副詞」

Primera parte 第1部

el leve ruido エル・レベ・ルト^ㇰ n.m かすかな音が 「目的語」
 del agua デル・アグ^ㇰわ adj. 水の 「形容詞句」
 y イ conj. そして
 de la flauta. デ・ラ・フラウタ adj. 葦笛の 「形容詞句」

するとレーモンが言った：「じゃあ、奴を侮辱してやろう。なにか言い返して来たら、やっつけることにしよう」

Luego Raimundo dijo: "Entonces voy a insultarlo, y cuando conteste, lo tumbaré."

「副詞」「主語」「動詞」：《「副詞」「動詞句」 y 「副詞節」「目的語」「動詞」》
 Luego ルエコ^ㇰ adv. その後、すると 「副詞」
 Raimundo ライムント^ㇰ n.m レーモンは 「主語」
 dijo: デ^ㇰイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 "Entonces エントネス adv. (接続詞的) それじゃあ 「副詞」
 voy a insultarlo, ホイ・ア・インスタル・ロ 1 単現・近接未来(ir a+不定詞 insultar+lo)
 v.t 奴を侮辱してやる 「動詞句」
 y イ conj. そして
 cuando クワント^ㇰ conj. (仮定) ～するときに 「副詞節」
 conteste, コンステ 接・3 単現(contestar)v.i 口答える 「動詞」
 lo ロ pron 奴を 「目的語」
 tumbaré." トゥンバレ 1 単未・意思(tumbar)v.t 倒してやる 「動詞」

僕は彼に答えた：「それがいい。だが、相手がナイフを取り出すまでは、撃つな」

Le respondí: "Así es. Pero si no saca el cuchillo no puedes tirar."

「間接目的語」「動詞」：《「応答」 | Pero 「副詞節」, 「動詞句」》
 Le レ pron 彼に 「間接目的語」
 respondí: レスポ^ㇰンティ 1 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」
 "Así es. アシ・エス adv. (肯定の返事) その通り、それがいい 「応答」
 Así アシ adv. そのような es エス 3 単現(ser)v.i ～である
 Pero ペロ conj. しかし
 si シ conj. (条件) もし～ならば 「副詞節」
 no saca ノ・サカ 3 単現・否定(sacar)v.t 取り出さない 「動詞句」
 el cuchillo エル・クチジョ^ㇰ n.m ナイフを 「目的語」
 no puedes tirar." ノ・プエテス・チラル 2 単現・否定・命令(poder+不定詞 tirar)
 v.t 撃つな 「動詞句」

Primera parte 第1部

レーモンは少し興奮してきた。もう一人は相変わらず葦笛を吹いていた。そして二人ともレーモンの動きを注意深く見つめていた。

Raimundo comenzó a excitarse un poco. El otro tocaba siempre y los dos observaban cada movimiento de Raimundo.

「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「副詞句」 y 「主語」「動詞」「目的語」
 Raimundo ライムント^ㇰ n.m レーモンは 「主語」
 comenzó a excitarse コメンツ・ア・エキタルセ 3 単点・開始(comenzar a+不定詞)
 v.pr 興奮し始めた 「動詞句」
 un poco. ウン・ポコ adv. 少し 「副詞句」
 El otro エル・オトロ pron もう一人は 「主語」
 tocaba トカバ 3 単線(tocar)v.t 演奏していた、葦笛を吹いていた 「動詞」
 siempre シエンプレ adv. 相変わらず 「副詞句」
 y イ conj. そして
 los dos ロス・トス pron.pl 二人は 「主語」
 observaban オフセリバ^ㇰバン 3 複線(observar)v.t 観察していた 「動詞」
 cada movimiento カダ・モビメント^ㇰ n.m 動きをすべて 「目的語」
 de Raimundo. デ・ライムント^ㇰ adj. レーモンの 「形容詞句」

「だめだ！」と、僕はレーモンに声をかけた。「素手でやれ。拳銃は僕によこせ。もう一人が加勢したり、そいつがナイフを取り出したら、僕が倒してやる」

"No", dije a Raimundo. "Tómalo de hombre a hombre y dame el revólver. Si el otro interviene, o saca el cuchillo, yo lo tumbaré."

《「呼びかけ」》, 「動詞」「間接目的語」
 《「動詞句」「副詞句」 y 「動詞句」「目的語」 | 「副詞節」, 「主語」「目的語」「動詞」》
 "No", ノ adv. (否定) だめだ! 「呼びかけ」
 dije デイ^ㇰ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 a Raimundo. ア・ライムント^ㇰ adv. レーモンに 「間接目的語」
 "Tómalo トマロ 命・2 単現(tomar+lo)v.t (行動を) 相手とやれ 「動詞句」
 de hombre a hombre デ・オンブレ・ア・オンブレ adv. 率直に、素手で、一対一で 「副詞句」
 y イ conj. そして
 dame ダ・メ 命・2 複現(dar+me)v.t 俺によこせ 「動詞句」
 el revólver. エル・レボルベール^ㇰ n.m 拳銃を 「目的語」
 Si シ conj. もし~ならば 「副詞節」
 el otro エル・オトロ pron もう一人が 「主語」
 interviene, インテルビエネ 3 単現(intervenir)v.i 参加する 「動詞」
 o オ conj. それとも

Primera parte 第1部

saca サカ 3 単現(sacar)v.t 取り出す	「動詞」
el cuchillo, エル・クチジョ n.m ナイフを	「目的語」
yo ジョ pron 僕が	「主語」
lo ロ pron そいつを	「目的語」
tumbaré." トゥンバレ 1 単未・意思(tumbar)v.t 倒してやる	「動詞」

レーモンが僕に拳銃を渡した時、その上を太陽の光がさっとかすめた。

Quando Raimundo me dio el revólver el sol resbaló encima.

	「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「副詞」
Quando クワント conj. ～するとき	「副詞節」
Raimundo ライムント n.m レーモンが	「主語」
me メ pron 僕に	「間接目的語」
dio デイオ 3 単点(dar)v.t 渡した	「動詞」
el revólver エル・レボルベール n.m 拳銃を	「直接目的語」
el sol エル・ソル n.m 太陽が	「主語」
resbaló レスパロ 3 単点(resbalar)v.i 滑った	「動詞」
encima. エンシマ adv. (拳銃の) 上に	「副詞」

それでも僕たちは、周囲をまた塞がれてしまったかのように、まだ動かずにいた。

Sin embargo, quedamos aún inmóviles como si todo se hubiera vuelto a cerrar en torno de nosotros.

	「副詞句」, 「動詞」 「補語」 「副詞節」
Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. それにもかかわらず	「副詞句」
quedamos クダモス 1 複点(quedar)v.i ～のままでいた	「動詞」
aún inmóviles アウン・インモビレス adj.pl まだ動かない	「補語」
como si+接続法 コモ・シ conj. まるで～のように	「副詞節」
todo トト pron すべてが	「主語」
se hubiera vuelto a cerrar セ・ウビエラ・ブエルト・ア・セラール 接・3 単過・完了形 (volver a+不定詞 cerrarse)v.pr また塞がれた	「動詞句」
en torno de nosotros. エン・トルノ・デ・ノトロス adv. 自分たちの周囲を	「副詞句」

Primera parte 第1部

僕たちは、お互いに目を伏せることなく睨みあった。ここではすべてが、海と砂と太陽そして葦笛と水音が織りなす二重の静寂に閉じ込められて、停止していた。

Nos mirábamos sin bajar los ojos y todo se detenía aquí entre el mar, la arena y el sol, el doble silencio de la flauta y del agua. 「動詞句」「副詞句」 y 「主語」「動詞句」「副詞句」
 Nos mirábamos ノス・ミラバモス 1 複点・相互(mirarse)v.pr 互いに睨みあった 「動詞句」
 sin +不定詞 シン adv. ～せずに 「副詞句」
 bajar バハール 不定詞 v.t 下げる 「動詞」
 los ojos ロス・オホス pl.n.m 目を 「目的語」
 y イ conj. そして
 todo トド pron すべてが 「主語」
 se detenía セ・デテニア 3 単線(detenerse)v.pr 止まっていた 「動詞句」
 aquí アキ adv. ここで 「副詞」
 entre エントレ prep ～の間に 「副詞句」
 el mar, エル・マル n.m 海 「目的語」
 la arena ラ・アレナ n.f 砂 「目的語」
 y イ conj. そして
 el sol, エル・ソル n.m 太陽 「目的語」
 el doble silencio エル・ドブレ・シレンシオ n.m (同格) 二重の静寂 「目的語」
 de la flauta デ・ラ・フラウタ adj. 葦笛の 「形容詞句」
 y イ conj. そして
 del agua. デル・アクア adj. 水の 「形容詞句」

僕はその時思った。これは撃ち合いになるかもしれないし、撃たないで済むかもしれない。だが僕にとってはどちらでも構わないと思った。

Pensé en ese momento que se podía tirar o no tirar y que lo mismo daba.

「動詞」「副詞句」「目的語」
 Pensé ペンセ 1 単点(epnsar)v.t(que ～と) 思った 「動詞」
 en ese momento エン・エセ・モメント adv. その時 「副詞句」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 se podía tirar セ・ポディア・チラル 3 単線・可能性(poder+不定詞 tirarse)
 v.pr (相互) 撃ち合いになるかもしれない 「動詞句」
 o オ conj. それとも
 no tirar ノ・チラル 3 単線・可能性・否定(poder+不定詞 tirarse)
 v.pr 撃たないで済むかもしれない 「動詞句」
 y イ conj. そして
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」

Primera parte 第1部

lo mismo ロ・ミスト pron 同じことを 「目的語」

daba. ダバ 3 単線・時制の一致(dar)v.t 与える 「動詞」

dar lo mismo 「同じことである、かまわない」

しかし突然アラブ人たちは、後ずさりして、岩陰に姿を隠していなくなってしまった。

Pero bruscamente los árabes se deslizaron retrocediendo y desaparecieron detrás de la roca. Pero 「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」

Pero ペロ conj. しかし

bruscamente ブリュスカメンテ adv. 突然 「副詞」

los árabes ロス・アラベス pl.n.m アラブ人たちは 「主語」

se deslizaron セ・デスリザロン 3 複点(deslizarse)v.pr そっと逃げて行った 「動詞句」

retrocediendo レトロセディエント 現在分詞・方法(retroceder)adv. 後ずさりして 「副詞」

y イ conj. そして

desaparecieron デサパレシエント 現在分詞・方法(desaparecer)adv. 姿を消して 「副詞句」

detrás de la roca. デトラス・デ・ラ・カ adv. 岩の後ろに 「副詞句」

それで、レーモンと僕は今来た道に戻った。レーモンは回復したようで、帰りのバスのことを話していた。

Raimundo y yo volvimos entonces sobre nuestros pasos. Parecía mejor y habló del autobús de regreso.

「主語」「動詞」「副詞句」 | 「動詞」「補語」 y 「動詞」「間接目的語」

Raimundo y yo ライムント・イ・ジョ pl.n.m レーモンと僕は 「主語」

volvimos ボルビモス 1 複点(volver)v.i 戻った 「動詞」

entonces エントネス adv. それで 「副詞」

sobre nuestros pasos. ソブレ・ヌストロス・パス

adv. いま来た道を、自分たちの足跡のほうへ 「副詞句」

Parecía パレシア 3 単線(parecer)v.i ~のように見えた 「動詞」

mejor メホル adj. よりよい 「補語」

y イ conj. そして

habló アブロ 3 単点(hablar)v.i(de について) 話した 「動詞」

del autobús デル・アウトブス adv. バスについて 「間接目的語」

de regreso. デ・レグレス adj. 帰りの 「形容詞句」

Primera parte 第1部

僕は別荘まで彼に付き添って戻った。彼が木の階段をはい上がっていく間、僕は、太陽のせいで頭ががんがん鳴り響き、これから木の段を上がり、また女たちの話し相手をする気苦勞を考えると、最初の一段の前で立ち止まり、やる気をなくした。

Le acompañé hasta la cabañuela, y mientras trepaba por la escalera de madera quedé delante del primer peldaño, con la cabeza resonante de sol, desanimado ante el esfuerzo que era necesario hacer para subir al piso de madera y hablar otra vez con las mujeres.

「目的語」「動詞」「副詞句」,y「副詞節」「動詞」「副詞句」「補語」「副詞句」
 Le レ pron 彼と 「目的語」
 acompañé アコンパニェ 1 単点(acompañar)v.t と一緒に行った、に付き添って行った「動詞」
 hasta la cabañuela, アスタ・ラ・カバニェラ adv. 別荘まで 「副詞句」
 y イ conj. そして
 mientras ミントラス conj. ～する間 「副詞節」
 trepaba トレパバ 3 単線(trepar)v.i(por を) はい上がって行った 「動詞」
 por la escalera ホル・ラ・エスカラ adv. 階段を 「間接目的語」
 de madera デマテラ adj. (材料) 木の 「形容詞句」
 quedé ケテ 1 単点(quedar)v.i とどまった 「動詞」
 delante del primer peldaño, デランテ・デル・プリメル・ペルダニョ
 adv. 最初の1段の前で 「副詞句」
 peldaño ペルダニョ n.m (階段の) 段、ステップ
 con la cabeza コン・ラ・カベサ adv. (様態) 頭の状態で 「副詞句」
 resonante レソナnte adj. 反響する 「形容詞」
 de sol, デ・ソル adv. (原因) 太陽のせいで 「副詞句」
 desanimado デサニマト adj. やる気をなくした 「補語」
 ante el esfuerzo アンテ・エル・エスフエルソ adv. 苦勞を前にして 「副詞句」
 que ケ pron (同格) ～という 「形容詞節」
 era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」
 necesario ネサリオ adj. 必要な 「補語」
 hacer アセル 不定詞 n. ～をすることは 「主語」
 para +不定詞 パラ adv. ～するために 「副詞句」
 subir スビーール 不定詞 v.i(a に) 登る 「動詞」
 al piso de madera アル・ピソ・デ・マテラ
 adv. 木の段に 「間接目的語」
 y イ conj. そして
 hablar アブラール 不定詞 v.i 話す 「動詞」
 otra vez オトラ・ベス adv. また 「副詞句」
 con las mujeres. コン・ラス・ムヘレス adv. 女たちと 「副詞句」

Primera parte 第1部

しかし暑さは、空から雨のように降り注ぐ目が眩むような日差しの下でじっと動かないでいることも辛いほどだった。

Pero el calor era tal que me resultaba penoso también permanecer inmóvil bajo la eneguedora lluvia que caía del cielo. Pero 「主語」「動詞」「補語」

Pero ペロ conj. しかし

el calor エル・カロール n.m 暑さは 「主語」

era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」

tal que タル・ケ adj. ~するほど 「補語」

me メ pron 僕にとって 「間接目的語」

resultaba レスルタバ 3 単線(resultar)v.i(+主格補語) の結果になる 「動詞」

penoso ペノソ adj. 骨の折れる、つらい思いをさせる 「補語」

también permanecer タンビエン・ペルマネセル 不定詞 n. 留まっていることも 「主語」

inmóvil インモビル adv. 動かずに 「副詞」

bajo la eneguedora lluvia バホ・ラ・エンゲセトラ・シユビア

adv. 目を眩ませる雨の下で 「副詞句」

-edor 接尾詞 (er 動詞+) 「品質形容詞化」、「名詞化、場所」

enegueder エンゲセル v.t 盲目にする、目を眩ませる、理性を失わせる

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

caía カイア 3 単線(caer)v.i 降ってくる 「動詞」

del cielo. テル・シエロ adv. 空から 「副詞句」

ここに留まろうが、動こうが、結果は同じだ。少しして、僕は浜辺に戻り、歩き始めた。

Quedar aquí o partir, lo mismo daba. Al cabo de un momento volví hacia la playa y me puse a caminar. 「主語」「目的語」「動詞」 | 「副詞句」「動詞」「副詞句」 y 「動詞句」

Quedar aquí ケダー・アキ 不定詞 n. ここに留まることは 「主語」

o オ conj. または

partir, パルティール 不定詞 n. 動くことは 「主語」

lo mismo ロ・ミソ pron 同じことを 「目的語」

daba. タバ 3 単線・時制の一致(dar)v.t (結果を) もたらす 「動詞」

Al cabo de un momento アル・カボ・デ・ウン・モメント adv. 少し後で、少しして 「副詞句」

volví ホルビ 1 単点(volver)v.i 戻った 「動詞」

hacia la playa アシア・ラ・プラジャ adv. 浜辺のほうに 「副詞句」

y イ conj. そして

me puse a caminar. メ・プセ・ア・カミナル 1 単点・開始(ponerse a+不定詞)

v.pr 歩き始めた 「動詞句」

Primera parte 第1部

同じ赤い光が輝き続けていた。海は砂の上で、小さな波の息が詰まりそうでせわしない息遣いで、あえいでいた。

Persistía el mismo resplandor rojo. Sobre la arena el mar jadeaba con la respiración rápida y ahogada de las olas pequeñas.

「動詞」「主語」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」

Persistía ペルシスティア 3 単線(persistir)v.i 持続していた 「動詞」

el mismo resplandor エル・ミスモ・レスプランドル n.m 同じ (強い) 光が 「主語」

rojo. 赤い adj. 赤い 「形容詞」

Sobre la arena ソブレ・ラ・アレナ adv. 砂の上では 「副詞句」

el mar エル・マル n.m 海は 「主語」

jadeaba ハデアバ 3 単線(jadear)v.i あえいでいた、息を切らしていた 「動詞」

con la respiración rápida コン・ラ・レスピラシオン・ラピダ adv. (様態) せわしない息遣いで「副詞句」

y イ conj. そして

ahogada アカダ adj.f(ahogado) 息の詰まりそうな 「形容詞」

de las olas pequeñas. デ・ラス・オラス・ペケニャス adj. 小さい波の 「形容詞句」

せわしない : 忙しい

この「ない」は否定ではなく強調を表す。ひどく忙しいという意味。

僕は岩場の方へゆっくり歩いて行った。強い日差しで、額が腫れ上がっていくのを感じた。

Caminaba lentamente hacia las rocas y sentía que la frente se me hinchaba bajo el sol.

「動詞」「副詞句」 y 「動詞」「目的語」

Caminaba カミナバ 1 単線(caminar)v.i 歩いていった 「動詞」

lentamente レンタメンテ adv. ゆっくりと 「副詞」

hacia las rocas アシア・ラス・ロカス adv. 岩場のほうへ 「副詞句」

y イ conj. そして

sentía センチア 1 単線(sentir)v.t 感じた 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

la frente ラ・フレンテ n.f 額が 「主語」

se me hinchaba セ・メ・インチャバ 3 単線・時制の一致(hincharse)

v.pr ふくらむ、腫れる 「動詞句」

bajo el sol. バホ・エル・ソル adv. 太陽の下で 「副詞句」

Primera parte 第1部

あの熱気のすべてが僕に重くのしかかってきて、僕の前進を邪魔した。

Todo aquel calor pesaba sobre mí y se oponía a mi avance.

「主語」「動詞」「間接目的語」 y 「動詞句」「間接目的語」

Todo aquel calor ト・アケル・カール n.m あの前進のすべてが 「主語」

pesaba ペサバ 3 単線(pesar)v.i 重くのしかかってきた 「動詞」

sobre mí ソブレ・ミ adv. 僕に 「間接目的語」

y イ conj. そして

se oponía セ・オポーニャ 3 単線(oponerse)v.pr(a に、を) 妨げた 「動詞句」

a mi avance. ア・ミ・アバンセ adv. 僕の前進を 「間接目的語」

そしてその熱くて強力な息吹を顔の上に感じる度に、歯を食いしばり、ズボンのポケットの中でこぶしを握り締め、太陽とそこから僕の上にこぼれ落ちる不透明な陶酔に打ち勝とうとして全身が緊張した。

Y cada vez que sentía el poderoso soplo cálido sobre el rostro, apretaba los dientes, cerraba los puños en los bolsillos del pantalón, me ponía tenso todo entero para vencer al sol y a la opaca embriaguez que se derramaba sobre mí.

Y 「副詞句」, 「動詞」「目的語」, 「動詞」「目的語」「副詞句」, 「動詞句」「補語」「副詞句」

Y イ conj. そして

cada vez カダ・ベス adv. その度に 「副詞句」

que ケ pron (同格) ~する 「形容詞節」

sentía センチャ 1 単線(sentir)v.t 感じた 「動詞」

el poderoso エル・ポデロソ adj.m 強力な 「形容詞句」

soplo ソプロ n.m 息吹を 「目的語」

cálido カルト adj.m 熱い 「形容詞」

sobre el rostro, ソブレ・エル・ロストロ adv. 顔の上に 「副詞句」

apretaba アプレタバ 1 単線(apretar)v.t 締め付けた 「動詞」

los dientes, ロス・デーエンテス pl.n.m 歯を 「目的語」

cerraba セラバ 1 単線(cerrar)v.t 閉じた 「動詞」

los puños ロス・フニョス pl.n.m こぶしを 「目的語」

en los bolsillos del pantalón, エン・ロス・ボルシジョス・テル・パントロン

adv. ズボンのポケットの中で 「副詞句」

me ponía メ・ポーニャ 1 単線(ponerse)v.pr ~になった 「動詞句」

tenso テンソ adj. 緊張した 「補語」

todo entero ト・エンテロ adv. 全身が 「副詞句」

para vencer パラ・ベンセル adv. (目的) ~に打ち勝つために 「副詞句」

al sol アル・ソル adv. 太陽に 「間接目的語」

Primera parte 第1部

y イ conj. そして

a la opaca embriaguez ア・ラ・オパカ・エンブリアゲス

adv. 不透明な陶酔に

「間接目的語」

que ケ

se derramaba セ・テラマバ 3 単線(derramarse)

v.pr. こぼれる

「動詞句」

sobre mí. ソブレ・ミ adv. 僕の上に

「副詞句」

砂から、白くなった貝殻から、またガラスのかけらからほとぼしる光の刃を目にするたびに、
僕のあごはひきつった。

Las mandíbulas se me crispaban ante cada espada de luz surgida de la arena, de la conchilla blanqueada o de un fragmento de vidrio.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Las mandíbulas ラス・マンディブルス pl.n.f (顔の) あごは

「主語」

se me crispaban セ・メ・クリスパ・バン 3 複線(crisparse+me)v.pr ひきつった、痙攣した「動詞句」

ante cada espada アンテ・カダ・エスパダ adv. 刃を前にするたびに

「副詞句」

espada エスパダ n.f 剣、刃

de luz テ・ルース adj. 光の

「形容詞句」

luz ルース n.f 光

surgida スルビダ 過去分詞(surgir)adj.f 湧き出た

「形容詞」

de la arena, テ・ラ・アレナ adv. 砂から

「副詞句」

de la conchilla blanqueada テ・ラ・コンチジャ・ブランケアダ

adv. 白くなった貝殻から

「副詞句」

concha コンチャ n.f 貝殻 + -illa (示小接尾辞) blanquear ブランケアール v.t 白くする

o オ conj. または

de un fragmento de vidrio. テ・ウン・フラグメント・デ・ビドリオ

adv. ガラスのかけらから

「副詞句」

fragmento フラグメント n.m 破片、かけら vidrio ビドリオ n.m ガラス

Primera parte 第1部

僕は長い間歩いた。光と海の波しぶきを作る、まばゆい光のかさに囲まれた黒い小さな岩の塊が遠くから見えていた。

Caminé largo tiempo. Veía desde lejos la pequeña masa oscura de la roca rodeada de un halo deslumbrante por la luz y el polvo del mar.

「動詞」「副詞句」 | 「動詞」「副詞句」「目的語」

Caminé カミネ 1 単点(caminar)v.i 歩いた 「動詞」

largo tiempo. ラルゴ・ティエンポ adv. 長い間 「副詞句」

Veía ベイア 1 単線(ver)v.t 見えていた 「動詞」

desde lejos デステ・レホス adv. 遠くから 「副詞句」

la pequeña masa oscura ラ・ペケニャ・マサ・オスクラ n.f 黒い小さな塊が 「目的語」

masa マサ n.f (物の) 塊 oscura オスクラ adj.f(oscuro) 黒い、暗い

de la roca テ・ラ・カ adj. 岩の 「形容詞句」

rodeada ロデアダ 過去分詞(rodear)adj.f とり囲まれた 「形容詞」

de un halo テ・ウン・アロ

adv. (動作主) 光のかさによって 「副詞句」

deslumbrante デスルンブランテ adj. まばゆい 「形容詞」

por ホル adv. (原因) ~による 「副詞句」

la luz ラ・ルス n.f 光 「目的語」

y イ conj. そして

el polvo エル・ポルボ n.m ほこり、波しぶき 「目的語」

del mar. デル・マル adj. 海の 「形容詞句」

僕は、岩陰で湧き出る冷たい泉のことを思った。

Pensaba en el fresco manantial que nacía detrás de la roca. 「動詞」「間接目的語」

Pensaba ペンサバ 1 単線(pensar)v.i(en ~について) 思った、考えた 「動詞」

en エン prep (分野) ~について 「間接目的語」

el fresco manantial エル・フレスコ・マナンティアル n.m 冷たい泉 「目的語」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

nacía ナシア 3 単線・時制の一致(nacer)v.i 生まれる 「動詞」

detrás de デトラス・テ prep (場所) ~の後ろで 「副詞句」

la roca. ラ・カ n.f 岩 「目的語」

Primera parte 第1部

僕はもう一度あの水のざわめきを聞きたかった。そして、太陽や労働や女の涙から逃れたかった。結局のところ、僕は日陰とその安らぎを手に入れたかった。

Tenía deseos de oír de nuevo el murmullo del agua, deseos de huir del sol, del esfuerzo y de los llantos de mujer, deseos en fin, de alcanzar la sombra y su reposo.

「動詞」「目的語」, 「目的語」, 「目的語」

Tenía テニア 1 単線(tener)v.t. ～があった

「動詞」

deseos デセオス pl.n.m 願望が

「目的語」

de oír デ・オイール 不定詞・同格 adj. ～を聞くという

「形容詞句」

de nuevo デ・ヌエボ adv. もう一度

「副詞句」

el murmullo del agua, エル・ムルムジョ・デル・アグア

n.m 水のざわめきを

「目的語」

deseos デセオス pl.n.m 願望が

「目的語」

de huir デ・ウィール 不定詞・同格 adj. ～を逃れるという

「形容詞句」

del sol, del esfuerzo デル・ソル・デル・エスフuerzo adv. 太陽や労力から

「副詞句」

y イ conj. そして

de los llantos de mujer, デ・ロス・ジャントス・デ・ムヘール adv. 女の涙から

「副詞句」

deseos デセオス pl.n.m 願望が

「目的語」

en fin, エン・フィン adv. 要するに、結局のところ

「副詞句」

de alcanzar デ・アルカンサル 不定詞・同格 adj. ～を獲得するという

「形容詞句」

la sombra y su reposo. ラ・ソンプラ・イス・レポソ

pl.n 日陰とその安らぎを

「目的語」

tener deseo de+不定詞～「～をしたい」

しかし、もっと近づくと、レーモンの相手が戻って来ているのが見えた。

Pero cuando estuve más cerca vi que el individuo de Raimundo había vuelto.

Pero 「副詞節」, 「動詞」「目的語」

Pero ペロ conj. しかし

cuando クワント conj. ～するとき

「副詞節」

estuve エストウエ 1 単点(estar)v.i (場所に) 行った、いた

「動詞」

más cerca マス・セカ adv. もっと近くに

「副詞句」

vi ビ 1 単点(ver)v.t 見えた

「動詞」

que ケ conj. ～ということが

「目的語」

el individuo エル・インディビドゥオ n.m(oponente と同義) 相手が、個人、やつ「主語」

de Raimundo デ・ライムント adj. レーモンの

「形容詞句」

había vuelto. アビャ・ブエルト 3 単線・完了形(volver)v.i 戻っていた

「動詞句」

Primera parte 第1部

彼は一人だった。仰向けに寝ていた。腕枕をして、額は岩陰に、全身は日向にあった。

Estaba solo. Reposaba sobre la espalda, con las manos bajo la nuca, la frente en la sombra de la roca, todo el cuerpo al sol.

「動詞」「補語」 | 「動詞」「副詞句」, 「副詞句」, 「主語」「副詞句」, 「主語」「副詞句」
 Estaba エスタハ 3 単線(estar)v.i ~だった 「動詞」
 solo. ソロ adj. 一人 「補語」
 Reposaba レポサハ 3 単線(reposar)v.i 横になっていた 「動詞」
 sobre la espalda, ソブレ・ラ・エスパルダ adv. 背中の上に、仰向けに 「副詞句」
 con las manos コン・ラス・マノス adv. (様態) 腕を~して 「副詞句」
 bajo la nuca, バホ・ラ・ヌカ adv. 頭の下に 「副詞句」
 la frente ラ・フレンテ n.f 額は 「主語」
 en la sombra エン・ラ・ソブラ adv. 影の中に 「副詞句」
 de la roca, デ・ラ・ロカ adj. 岩の 「形容詞句」
 todo el cuerpo トト・エル・ケルポ n.m 全身は 「主語」
 al sol. アル・ソル adv. 日向で 「副詞句」

菜っ葉服は暑さで湯気を立てていた。僕は少し驚いた。僕にとってあれは終わった事だったから、それを気にも留めずにここへやって来たのだった。

El albornoz humeaba en el calor. Quedé un poco sorprendido. Para mí era un asunto concluido y había llegado allí sin pensarlo.

「主語」「動詞」「副詞句」 | 「動詞」「補語」
 「副詞句」「動詞」「補語」 y 「動詞句」「副詞句」
 El albornoz エル・アルボルノス n.m 菜っ葉服は 「主語」
 humeaba ウマハ 3 単線(humear)v.i 湯気を立てていた 「動詞」
 en el calor. エン・エル・カール adv. 暑さで 「副詞句」
 Quedé ケデ 1 単点(quedar)v.i (〜の状態に) なった 「動詞」
 un poco sorprendido. ウン・ポコ・ソルプレンドイト adj. 少し驚いた 「補語」
 Para mí パラ・ミ adv. 僕にとっては 「副詞句」
 era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」
 un asunto ウン・アスト n.m 事柄 「補語」
 concluido コンクルイト adj. 終わった 「形容詞」
 y イ conj. そして
 había llegado アビ・ア・ジ・エクト 1 単線・完了形(llegar)v.i 着いた、やってきた 「動詞句」
 allí アジ adv. そこに 「副詞」
 sin pensarlo. シン・ペンサル・ロ adv. それを考えずに 「副詞句」

Primera parte 第1部

彼は僕を見るなり、少し上体を起こしてポケットに手を突っ込んだ。僕は、無意識のうちに、ジャケットの中にあったレーモンのリボルバーをつかんでいた。

No bien me vio, se incorporó un poco y puso la mano en el bolsillo. Yo, naturalmente empuñé el revólver de Raimundo en mi chaqueta.

「副詞節」, 「動詞句」 「副詞句」 y 「動詞」 「目的語」 「副詞句」

「主語」 「副詞」 「動詞句」 「目的語」

No bien ノ・ビエン conj. ～するとすぐに 「副詞節」
 me メ pron 僕を 「目的語」
 vio, ビオ 3 単点(ver)v.t 見た 「動詞」
 se incorporó セ・インコルポロ 3 単点(incorporarse)v.pr 上体を起こした 「動詞句」
 un poco ウン・ポコ adv. 少し 「副詞句」
 y イ conj. そして
 puso プソ 3 単点(poner)v.t 入れた 「動詞」
 la mano ラ・マノ n.f 手を 「目的語」
 en el bolsillo. エン・エル・ホルジヨ adv. ポケットの中に 「副詞句」
 Yo, ショ pron 僕は 「主語」
 naturalmente ナトゥラルメンテ adv. 当然、思わず 「副詞」
 empuñé エンプニエ 1 単点(empuñar)v.t (武器を) つかんだ 「動詞」
 el revólver エル・レボルベール n.m リボルバーを 「目的語」
 de Raimundo テ・ライムント adj. レーモンの 「形容詞句」
 en mi chaqueta. エン・ミ・チャクタ adv. ジャケットの中の 「副詞句」

すると、また仰向けに寝そべったが、ポケットから手は出さないでいた。

Entonces se dejó caer de nuevo hacia atrás, pero sin retirar la mano del bolsillo.

「副詞」 「動詞句」 「副詞句」 ,pero 「副詞句」

Entonces エントンス adv. すると、その時 「副詞」
 se dejó caer セ・デホ・カール 3 単点・放任(dejarse+不定詞)v.pr 倒れた、横になった 「動詞句」
 de nuevo テ・ヌエボ adv. もう一度、また 「副詞句」
 hacia atrás, アシア・アトラス adv. 背中の方へ、仰向けに 「副詞句」
 pero ペロ conj. しかし
 sin retirar シン・レチラル adv. 出さずに 「副詞句」
 la mano ラ・マノ n.f 手を 「目的語」
 del bolsillo. デル・ホルジヨ adv. ポケットから 「副詞句」

Primera parte 第1部

僕は彼から約 10 メートル位、十分離れた位置にいた。薄目を開けた瞼の間から、しきりに様子を探っている彼の視線がうかがえた。

Estaba bastante lejos de él, a una decena de metros. Adivinaba su mirada por instantes entre los párpados entornados. 「動詞」「副詞句」 | 「動詞」「目的語」「副詞句」

Estaba エスタバ 1 単線・存在(estar)v.i ~にいた 「動詞」

bastante lejos バスタンテ・レホス adv.(de から) 十分な距離に 「副詞句」

de él, デ・エル adv. 彼から 「副詞句」

a una decena de metros. ア・ウナ・デセ・デ・メトロス adv. (同格) およそ 10 メートル位 「副詞句」

Adivinaba アディビナバ 1 単線(adivinar)v.t 推測した、見抜いた 「動詞」

su mirada ス・ミラダ n.f 彼の視線を 「目的語」

por instantes ポル・インスタネス adv. 絶え間なく、しょっちゅう 「副詞句」

entre los párpados エントレ・ロス・パルパドス adv. 瞼の間に 「副詞句」

entornados. エントルナドス adj.m.pl 細目に開いた 「形容詞句」

しかしそれにも増して、熱気によって、彼の姿は僕の目の前で揺れ動いていた。

Pero más a menudo su imagen danzaba delante de mis ojos en el aire inflamado.

Pero 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」

Pero ペロ conj. しかし

más a menudo マス・ア・メスト adv. より頻繁に 「副詞句」

su imagen ス・イマヘン n.f 彼の姿は 「主語」

danzaba ダンサバ 3 単線(danzar)v.i 揺れ動いていた 「動詞」

delante de mis ojos デランテ・デ・ミス・オホス adv. 僕の目の前で 「副詞句」

en el aire inflamado. エン・エル・アイレ・インフラマト adv. 熱気の中で 「副詞句」

aire アイレ n.m 空気 inflamado インフラマト 過去分詞・受動(inflamar)adj. 熱せられた

正午に比べると、波音はさらに緩慢で生気が見られなかった。

El ruido de las olas parecía aun más perezoso, más inmóvil que a mediodía.

「主語」「動詞」「補語」

El ruido エル・ルイト n.m 物音は 「主語」

de las olas デ・ラス・オラス adj. 波の 「形容詞句」

parecía パレシア 3 単線(parecer)v.i ~のように見えた 「動詞」

aun más perezoso, アウン・マス・ペレソ adj. さらに怠惰な 「補語」

más inmóvil マス・インモビル adj. もっと動かない 「補語」

que a mediodía. ケ・ア・メディオデ・ア adv. (比較) 正午の時に比べて 「副詞句」

Primera parte 第1部

同じ太陽があった。ここまで広がっている同じ砂の上に同じ光が射していた。

Era el mismo sol, la misma luz sobre la misma arena que se prolongaba aquí.

「動詞」「主語」, 「主語」「副詞句」

Era エラ 3 単線・存在(ser)v.i ~があった

「動詞」

el mismo sol, エル・ミスマ・ソル n.m 同じ太陽が

「主語」

la misma luz ラ・ミスマ・ルス n.f 同じ光が

「主語」

sobre la misma arena ソブレ・ラ・ミスマ・アレナ adv. 同じ砂の上に

「副詞句」

que ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

se prolongaba セ・プロンガバ 3 単線・時制の一致(prolongarse)

v.pr (空間的に) 延びている

「動詞句」

aquí. アキ adv. ここに

「副詞」

昼間が進まなくなってから、もう 2 時間になる。煮えたぎる金属のように光を反射する大海に錨(いかり)を投げ入れてから 2 時間になる。

Hacia ya dos horas que el día no avanzaba, dos horas que había echado el ancla en un océano de metal hirviente.

「動詞」「目的語」「副詞節」, 「目的語」「副詞節」

Hacia ハシア 単人称動詞・3 単線(hacer)v.t (+que+直説法 ~してから) ~になる 「動詞」

ya dos horas ヤー・ドス・オラス pl.n.f もう 2 時間

「目的語」

que ケ conj. (時間の起点) ~してから

「副詞節」

el día エル・ディア n.m 昼間が

「主語」

no avanzaba, ノ・アバンサバ 3 単線・否定・時制の一致(avanzar)

v.i 進まない

「動詞句」

dos horas ドス・オラス pl.n.f 2 時間

「目的語」

que ケ conj. (時間の起点) ~してから

「副詞節」

había echado アビ・ア・エチャド 3 単線・完了形(echar)v.t 投げ入れた

「動詞句」

el ancla エル・アンクラ n.f 錨(いかり)を

「目的語」

en un océano エン・ウン・オセアノ adv. 大海に

「副詞句」

de metal hirviente. デ・メタル・イルビエнте

adj. 煮えたぎる金属のように光を反射する

「形容詞句」

metal メタル n.m 金属 hirviente イルビエнте adj. 煮立っている

Primera parte 第1部

水平線上を小さな船が通って行ったが、アラブ人から目を離せなかったので、僕はその黒い点を横目で捉えたのだ。

En el horizonte pasó un pequeño navío y hube de adivinar de reojo la mancha oscura porque no había cesado de mirar al árabe.

「副詞句」「動詞」「主語」 y 「動詞句」「副詞句」「目的語」「副詞節」
 En el horizonte エン・エル・オリゾンテ adv. 水平線上を 「副詞句」
 pasó パソ 3 単点(pasar)v.i 通って行った 「動詞」
 un pequeño navío ウン・ペケニョ・ナビオ n.m 小さな船が 「主語」
 y イ conj. そして
 hube de adivinar ウベ・デ・アディビナル 1 単点・必要(haber de+不定詞)
 v.t 推測しなければならなかった 「動詞句」
 de reojo デ・レホ adv. (方法) 横目で 「副詞句」
 la mancha oscura ラ・マンチャ・オスクラ n.f 黒い点を 「目的語」
 porque ボルケ conj. (理由) ~なので 「副詞節」
 no había cesado de mirar ノ・アビア・セサド・デ・ミラル 1 単線・完了形・中止・否定
 v.i(a の方を) 見続けていた、見るのをやめないでいた 「動詞句」
 al árabe. アル・アラベ adv. アラブ人の方を 「間接目的語」

自分としては引き返せば、十分だろうと思っていた。そうすれば、すべてが終わるだろう。

Pensé que me bastaba dar media vuelta y todo quedaría concluido.

「動詞」「目的語」 y 「主語」「動詞」「補語」
 Pensé ペンセ 1 単点(pensar)v.t(que ~と) 思った 「動詞」
 que ケ conj. ~ということ を 「目的語」
 me メ pron 僕にとって 「間接目的語」
 bastaba バスタバ 3 単線・時制の一致(bastar+不定詞 ~することが)
 v.i 十分である 「動詞」
 dar ダール 不定詞 v.t (行為を) することが 「主語」
 media vuelta メディア・ブエルト n.f 半回転、引き返すこと 「目的語」
 y イ conj. そして
 todo トド pron すべてが 「主語」
 quedaría ケダリア 3 単過未・推測(quedar)v.i (～の状態に) なるだろう 「動詞」
 concluido. コンクルイド 過去分詞(concluir)adj. 終わった 「補語」

Primera parte 第1部

しかし僕の背後では、砂浜全体が熱い太陽から生まれた陽炎によって震え、身を寄せ合っていた。僕は、泉に向かって数歩進んだ。

Pero toda una playa vibrante de sol apretábase detrás de mí. Di algunos pasos hacia el manantial.

Pero 「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「動詞」「目的語」「副詞句」

Pero ペロ conj. しかし

toda una playa トダ・ウナ・プラジャ n.f 砂浜全体が 「主語」

vibrante ビブランテ adj. 震える 「形容詞」

de sol デ・ソル adv. (原因) 太陽で 「副詞句」

apretábase アプレタバセ 3 単線(apretarse)v.pr 身を寄せ合っていた 「動詞句」

detrás de mí. デトラス・デ・ミ adv. 私の背後では 「副詞句」

Di デイ 1 単点(dar) v.t (行為を) した 「動詞」

algunos pasos アルグノス・パソス pl.n.m 数歩 「目的語」

hacia el manantial. アシア・エル・マナンシアル adv. 泉の方へ 「副詞句」

アラブ人は動かなかった。それでも、まだ十分に離れていた。

El árabe no se movió. A pesar de todo, estaba todavía bastante lejos.

「主語」「動詞句」 | 「副詞句」, 「動詞」「補語」

El árabe エル・アラベ n.m アラブ人は 「主語」

no se movió. ノ・セ・モビオ 3 単点・否定(moverse)v.pr 動かなかった 「動詞句」

A pesar de todo, ア・ペサル・デ・トド adv. 結局それでも 「副詞句」

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i 〜だった 「動詞」

todavía トダビヤ adv. まだ 「副詞」

bastante lejos. バスタンテ・レホス adj. 十分遠い 「補語」

恐らく顔にかかった影のせいだろうが、彼は笑っているように見えた。僕は待った。

Parecía reírse, quizá por el efecto de las sombras sobre el rostro. Esperé.

「動詞句」「副詞句」 | 「動詞」

Parecía reírse, パレシア・レイルセ 3 単線・見える(parecer+不定詞 reírse)

v.pr 笑っているように見えた 「動詞句」

quizá キザ adv. たぶん、おそらく 「副詞句」

por ポル prep (理由) 〜のため 「副詞句」

el efecto エル・エフェクト n.m 結果、効果 「目的語」

de las sombras デ・ラス・ソンブラス adj. 影の 「形容詞句」

sobre el rostro. ソブレ・エル・ロストロ adv. 顔の上の 「副詞句」

Esperé. エスペレ 1 単点(esperar)v.i 待った 「動詞」

Primera parte 第1部

太陽の灼熱が僕の頬を炙り、僕は汗のしずくが眉の上に溜まってくるのを感じた。

El ardor del sol me llegaba hasta las mejillas y sentí las gotas de sudor amontonárseme en las cejas. 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 y 「動詞」「目的語」「補語」

El ardor エル・アルトール n.m 灼熱が

「主語」

del sol テル・ソル adj. 太陽の

「形容詞句」

me メ pron メ pron 僕の

「間接目的語」

llegaba シェガバ 3 単線(llegar)v.i 届いた

「動詞」

hasta las mejillas アスタ・ラス・メジヤス adv. 頬まで

「間接目的語」

y イ conj. そして

sentí センチ 1 単点・知覚動詞(sentir)v.t 感じた

「動詞」

las gotas ラス・ゴタス pl.n.f しずくを

「目的語」

de sudor テ・ストール adj. 汗の

「形容詞句」

amontonárseme アモントナルセメ 不定詞・gotas の動作(amontonarse)v.pr 寄り集まる 「補語」

en las cejas. エン・ラス・セハス adv. 眉の上に

「副詞句」

僕が母さんを埋葬した日と同じ太陽だった。そしてその時と同じように、なによりも、額とすべての血管が同時に皮膚の下で痛んだ。

Era el mismo sol del día en que había enterrado a mamá y, como entonces, sobre todo me dolían la frente y todas las venas juntas bajo la piel.

「動詞」「補語」 y, 「副詞句」「間接目的語」「動詞」「主語」「副詞句」

Era エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった

「動詞」

el mismo sol エル・ミスト・ソル n.m 同じ太陽

「補語」

del día テル・デイア adj. あの日の

「形容詞句」

en que エン・ケ adv. その日に〜する

「形容詞節」

había enterrado アビア・エンテラト 1 単線・完了形(enterrar)

v.t 埋葬した

「動詞句」

a mamá ア・ママ n.f 母さんを

「目的語」

y, イ conj. そして

como entonces, コモ・エントンセス adv. その時と同じように

「副詞句」

sobre todo ソブレ・トド adv. とりわけ、なによりも

「副詞句」

me メ pron 僕にとって

「間接目的語」

dolían トリアン 3 複線(doler)v.i 痛かった、痛んだ

「動詞」

la frente ラ・フレンテ n.f 額が

「主語」

y イ conj. そして

todas las venas トダス・ラス・ベナス pl.n.f すべての血管が

「主語」

juntas フンタス adv. 一緒に

「副詞」

Primera parte 第1部

bajo la piel. バホ・ラ・ピエル adv. 皮膚の下で

「副詞句」

これ以上耐えられない暑さから逃げるように、僕は何気なく前に出た。

Impelido por este ardor que no podía soportar más, hice un movimiento hacia adelante.

「副詞句」, 「動詞」 「目的語」 「副詞句」

Impelido インペリト 過去分詞・受動・理由(impeler)v.t(por に) 駆り立てられたので「副詞句」

por este ardor ホル・エステ・アルトール adv. (原因) この暑さに

「副詞句」

que ケ pron (目的語) ~する

「形容詞節」

no podía soportar ノ・ポデア・ソポルタル 1 単線・可能・否定(poder+不定詞)

v.t 耐えられない

「動詞句」

más, マス adv. これ以上

「副詞」

hice イェ 1 単点(hacer)v.t (動作を) 行った

「動詞」

un movimiento ウン・モビメント n.m 移動を

「目的語」

hacia adelante. アシア・アデランテ adv. 前方へ

「副詞句」

それが愚かなことで、1 歩移動しても太陽から逃れられないことも分かっていた。

Sabía que era estúpido, que no iba a librarme del sol desplazándome un paso.

「動詞」 「目的語」, 「目的語」

Sabía サビア 1 単線(saber)v.t 分かっていた

「動詞」

que ケ conj. ~ということを

「目的語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ~である

「動詞」

estúpido, エストゥピト adj. 愚かな

「補語」

que ケ conj. ~ということを

「目的語」

no iba a librarme ノ・イバ・アリブラール・メ 3 単線・近接未来・否定(ir a+不定詞 librar+me)

v.t 僕を解放しないだろう

「動詞句」

del sol デル・ソル adv. 太陽から

「副詞句」

desplazándome デスプラサント・メ 現在分詞(desplazarse)n. 移動することは「主語」

un paso. ウン・パソ n.m 1 歩

「目的語」

Primera parte 第1部

それでも一歩、たった一歩だけ、僕は前に出た。すると今回は、アラブ人は起き上がらずに、ナイフを取り出し、太陽の下でそれを僕に見せつけた。

Pero di un paso. un solo paso hacia adelante. Y esta vez, sin levantarse, el árabe sacó el cuchillo y me lo mostró bajo el sol.

Pero 「動詞」「目的語」「副詞句」

Y 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」 y 「間接目的語」「直接目的語」「動詞」「副詞句」

Pero へ^ロ conj. しかし

di ディ 1 単点(dar)v.t (動作を) した 「動詞」

un paso, ウン・パソ n.m 1 歩 「目的語」

un solo paso ウン・ソロ・パソ n.m ほんの 1 歩 「目的語」

hacia adelante. アシア・アデランテ adv. 前へ 「副詞句」

Y イ conj. そして

esta vez, エスタ・ベス adv. 今回は 「副詞句」

sin levantarse, シン・レバンタセ adv. 起き上がらずに 「副詞句」

el árabe エル・アラベ n.m そのアラブ人は 「主語」

sacó サコ 3 単点(sacar)v.t 取り出した 「動詞」

el cuchillo エル・クチジョ n.m ナイフを 「目的語」

y イ conj. そして

me メ pron 僕に 「間接目的語」

lo ロ pron それを 「直接目的語」

mostró モストロ 3 単点(mostrar)v.t 見せた 「動詞」

bajo el sol. バホ・エル・ソル adv. 太陽の下で 「副詞句」

光がそのはがねに注がれると、それは僕の額に届くほど長くきらめく刃のようになった。

La luz se inyectó en el acero y era como una larga hoja centelleante que me alcanzara en la frente.

「主語」「動詞句」「副詞句」 y 「動詞」「補語」

La luz ラ・ルス n.f 光が 「主語」

se inyectó セ・インジェクト 3 単点・再帰受動(injectarse)v.pr 注入された 「動詞句」

en el acero エン・エル・アセロ adv. はがねに 「副詞句」

y イ conj. そして

era エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった 「動詞」

como コモ prep 〜のような 「補語」

una larga hoja ウナ・ラルガ・ホア n.f (ナイフなどの) 長い刃 「目的語」

centelleante センデジェアンテ adj. きらめく、きらきら光る 「形容詞」

que ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」

me メ pron 僕に 「目的語」

Primera parte 第1部

alcanzara アルカンサ 3 単未・推量(alcanzar)v.t 届きそうだ 「動詞」

en la frente. エン・ラ・フレンテ adv. 額に 「副詞句」

同時に、眉の上に溜まった汗が一気に臉の上に流れ落ち、生温かくて分厚いベールで覆った。

En el mismo instante el sudor amontonado en las cejas corrió de golpe sobre mis párpados y los recubrió con un velo tibio y espeso.

「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」 y 「目的語」「動詞」「副詞句」

En el mismo instante エン・エル・ミス・インスタnte adv. 同時に、同じ瞬間に 「副詞句」

el sudor エル・ストール n.m 汗が 「主語」

amontonado アモントナド 過去分詞(amontonar)adj. 集まった 「形容詞句」

en las cejas エン・ラス・セハス adv. 眉の上に 「副詞句」

corrió コリオ 3 単点(correr)v.i 流れた 「動詞」

de golpe デ・ゴルペ adv. 一気に、突然 「副詞句」

sobre mis párpados ソブレ・ミス・パルパドス adv. 臉の上に 「副詞句」

y イ conj. そして

los ロス pron.pl.m (párpados の代用) それを 「目的語」

recubrió レクブリオ 3 単点(recubrir)v.t 覆った 「動詞」

con un velo コン・ウン・ベロ adv. (手段) ベールで 「副詞句」

tibio y espeso. ティビオ・イエスペソ adj. 生温かくて分厚い 「形容詞句」

tibio ティビオ adj. 温かい、ぬるい espeso エスペソ adj. 厚い

涙と塩のカーテンが下りると、目が見えなくなった。

Tenía los ojos ciegos detrás de esta cortina de lágrimas y de sal.

「動詞」「目的語」「副詞句」

Tenía テニア 1 単線(tener)v.t (状態) ~だった 「動詞」

los ojos ロス・オホス pl.n.m 目 「目的語」

ciegos シエゴス adj.m.pl(ciego) 目の見えない 「形容詞」

detrás de デトラス・デ prep (時間) ~の後は 「副詞句」

esta cortina エスタ・コルティナ n.f この幕、カーテン 「目的語」

de lágrimas y de sal. デ・ラクリマス・イエ・デ・サル

adj. (材料) 涙と塩の 「形容詞句」

Primera parte 第1部

額の上で太陽が打ち鳴らす熱線のシンバルと相変わらず目の前にあるナイフから湧き出した光り輝くナイフ以外は何も感じなかった。

No sentía más que los címbalos del sol sobre la frente e, indiscutiblemente, la refulgente lámina surgida del cuchillo, siempre delante de mí. 「動詞句」「目的語」

No sentía ノ・センチア 1 単線・否定(sentir)v.t 感じなかった 「動詞句」

más que マス・ケ adv.(no... más que) ～しか、～以外は 「副詞句」

los címbalos ロス・シンバ^ロス pl.n.m シンバル 「目的語」

del sol テル・ソル adj. 太陽の 「形容詞句」

sobre la frente ソブ^レ・ラ・フレンテ adv. 額の上の 「副詞句」

e, エ conj. そして

indiscutiblemente, インディスクチブレメンテ adv. 明白に 「副詞」

la refulgente lámina ラ・レフルヘンテ・ラミナ n.f 光り輝くナイフ 「目的語」

refulgente レフルヘンテ adj. 光り輝く lámina ラミナ n.f 薄板、ナイフ

surgida スルビダ^ダ 過去分詞(surgir)adj.f 湧き出した 「形容詞」

del cuchillo, テル・クチジョ^ョ adv. ナイフから 「副詞句」

siempre delante de mí. シエンプレ・デ・ランテ・デ・ミ

adv. 相変わらず目の前にある 「副詞句」

その燃えるような光の剣は僕の眉毛をむしばみ、ずきずき痛む両目に突き刺さった。

La espada ardiente me roía las cejas y me penetraba en los ojos doloridos.

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 y 「目的語」「動詞」「副詞句」

La espada ラ・エスパ^ダ n.f その剣は 「主語」

ardiente アルティエンテ adj. 燃えるような 「形容詞」

me メ pron 僕の 「間接目的語」

roía ロイア 3 単線(roer)v.t むしばんだ 「動詞」

las cejas ラス・セハス pl.n.f 眉毛を 「直接目的語」

y イ conj. そして

me メ pron 僕を 「目的語」

penetraba ペネトラバ^バ 3 単線(penetrar)v.t 貫いた 「動詞」

en los ojos エン・ロス・オホス adv. 両目を 「副詞句」

doloridos. ドロリトス adj.pl ずきずき痛む 「形容詞」

Primera parte 第1部

その時、すべてが揺らめいた。海が濃厚で燃えるような息吹を運んできたのだ。

Entonces todo vaciló. El mar cargó un soplo espeso y ardiente.

「副詞」「主語」「動詞」 | 「主語」「動詞」「目的語」

Entonces エントンセス adv. その時

「副詞」

todo トド pron. すべてが

「主語」

vaciló. バシロ 3 単点(vacilar)v.i. 揺らめいた

「動詞」

El mar エル・マール n.m. 海は

「主語」

cargó カルゴ 3 単点(cargar)v.t. (〜に) 荷を積む→ 運んできた

「動詞」

llevó シェボ 3 単点(llevar)v.t. 運んだ

un soplo ウン・ソプロ n.m. 一息を、息吹を

「目的語」

espeso エスペソ adj. 濃い

「形容詞」

y イ conj. そして

ardiente. アルティエンテ adj. 燃えるような

「形容詞」

フランス語原文では :

海は濃厚で、燃えるような息吹を運んできた。

La mer a **charrié** un souffle épais et ardent.

スペイン語では、cargar ではなく、llevar に相当する。

僕には、火の雨を降らせるために、空全体が口を開けたように思われた。

Me pareció que el cielo se abría en toda su extensión para dejar que lloviera fuego.

「間接目的語」「動詞」「主語」

Me メ pron. 僕には

「間接目的語」

pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i. 〜のように見えた

「動詞」

que ケ conj. 〜ということ

「主語」

el cielo エル・シエロ n.m. 空が

「主語」

se abría セ・アブリア 3 単線(abrirse)v.pr. 開いた

「動詞句」

en toda su extensión エン・トダ・ス・エクステンシオン adv. すべての広がり

「副詞句」

para +不定詞 パラ adv. 〜するために

「副詞句」

dejar テハル 不定詞・放任 v.t. 〜させておく

「動詞」

que ケ conj. 〜ということを

「目的語」

lloviera ショビエラ 接・3 単過(llover)v.i. 雨が降る

「動詞」

fuego. フェゴ n.m. 火が

「主語」

Primera parte 第1部

僕は全身が緊張し、拳銃の上で手を握りしめた。

Todo mi ser se distendió y crispé la mano sobre el revólver.

「主語」「動詞句」 y 「動詞」「目的語」「副詞句」

Todo mi ser トド・ミ・セル n.m 僕のすべての存在は

「主語」

ser セル n.m 存在

se distendió セ・デ・イステンデ・イオ 3 単点(distenderse)v.pr 緩んだ→ 緊張した

「動詞句」

se puso tenso セ・プ・ソ・テンソ 3 単点(ponerse tenso)v.pr 緊張した

y イ conj. そして

crispé クリスペ 1 単点(crispar)v.t (手を) 握りしめた

「動詞」

la mano ラ・マノ n.f 手を

「目的語」

sobre el revólver. ソブ・レ・エル・レボルベール adv. 拳銃の上で

「副詞句」

フランス語原文では :

僕は心も体も緊張して Tout mon être **s'est tendu**

スペイン語では、distenderse ではなく、ponerse tenso に相当する。

引き金が引かれ、僕の指が銃床の滑らかな腹に触れた。そしてそこで、その乾いた、耳を聾する銃声と共に、すべてが始まった。

El gatillo cedió, toqué el vientre pulido de la culata y allí, con el ruido seco y ensordecedor, todo comenzó.

「主語」「動詞」, 「動詞」「目的語」 y 「副詞句」「主語」「動詞」

El gatillo エル・ガティジョ n.m (銃の) 引き金

「主語」

cedió, セデ・イオ 3 単点(ceder)v.i (圧力に負けて) たわんだ、引かれた

「動詞」

toqué トケ 1 単点(tocar)v.t 触れた

「動詞」

el vientre エル・ビエントレ n.m 腹に

「目的語」

pulido プリト adj. 磨き上げられた、滑らかな

「形容詞」

de la culata デ・ラ・クラタ adj. 銃床の

「形容詞句」

y イ conj. そして

allí, アジ adv. そこで

「副詞」

con コン prep. とともに

「副詞句」

el ruido エル・ルイト n.m 銃声

「目的語」

seco セコ adj. 乾いた

「形容詞」

y イ conj. そして

ensordecedor, エンソルデセドール adj. 耳を聾するような

「形容詞」

todo トド pron. すべてが

「主語」

comenzó. コメンソ 3 単点(comenzar)v.i 始まった

「動詞」

Primera parte 第1部

僕は汗と太陽を振り払った。僕は理解した。僕は昼間の均衡を、幸せだった浜辺での特別な静寂を破壊してしまったのだ。

Sacudí el sudor y el sol. Comprendí que había destruido el equilibrio del día, el silencio excepcional de una playa en la que había sido feliz.

「動詞」「目的語」 | 「動詞」「目的語」

Sacudí サクディ 1 単点(sacudir)v.t 振り払った 「動詞」

el sudor エル・ストール n.m 汗を 「目的語」

y イ conj. そして

el sol. エル・ソル n.m 太陽を 「目的語」

Comprendí コンプレンディ 1 単点(comprender)v.t 理解した 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

había destruido アビア・デストロイト 1 単線・完了形(destruir)v.t 破壊した 「動詞句」

el equilibrio エル・エキリブリオ n.m 均衡、調和 「目的語」

del día, テル・ディア adj. 昼間の 「形容詞句」

el silencio エル・シレンシオ n.m 静寂を 「目的語」

excepcional エセプショナル adj. 特別な 「形容詞」

de una playa テ・ウナ・プラジャ adj. 浜辺の 「形容詞句」

en la que エン・ラ・ケ

adv. そこで～だった 「副詞節」

había sido アビア・シト 1 単線・完了形(ser)

v.i ～だった 「動詞句」

feliz. フェリス adj. 幸せな 「補語」

Primera parte 第1部

それから僕はぐったりした身体に向けてさらに 4 回拳銃を発射した。弾丸は、その痕跡を残さずに、体に吸い込まれていった。

Entonces, tiré aún cuatro veces sobre un cuerpo inerte en el que las balas se hundían sin que se notara. 「副詞」, 「動詞」 「副詞句」, 「副詞節」

Entonces, エントネス adv. それから 「副詞」

tiré テレ 1 単点(tirar)v.t 発射した 「動詞」

aún アウン adv. さらに 「副詞」

cuatro veces クワトロ・ベセス pl.n.f 4 回 「副詞句」

sobre un cuerpo ソブレ・ウン・ケルポ adv. 身体に、死体 「副詞句」

inerte イルテ adj. 生気のない、ぐったりした 「形容詞」

en el que エン・エル・ケ adv. そこに～する 「副詞節」

las balas ラス・バラス pl.n.f 弾丸が 「主語」

se hundían セ・ウンデ・イアン 3 複線(hundirse)

v.pr 沈んでいく、吸い込まれていく 「動詞句」

sin que se notara. シン・ケ・セ・ノタ adv. それと見て取れることなく 「副詞節」

notarse ノタセ v.pr (無人称) 感じ取れる、見て取れる

→ 弾丸の痕跡がわからない様子

そしてそれは、不幸の扉を僕自身が荒々しく 4 回叩いた音のようであった。

Y era como cuatro breves golpes que daba en la puerta de la desgracia.

Y 「動詞」 「補語」

Y イ conj. そして

era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」

como コモ adj. ～のような 「補語」

cuatro breves golpes クワトロ・ブレベス・ゴルペス pl.n.m 手荒な 4 回の打撃 「目的語」

breve ブレベ adj. 短い、手荒な golpe ゴルペ n.m 打撃

que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

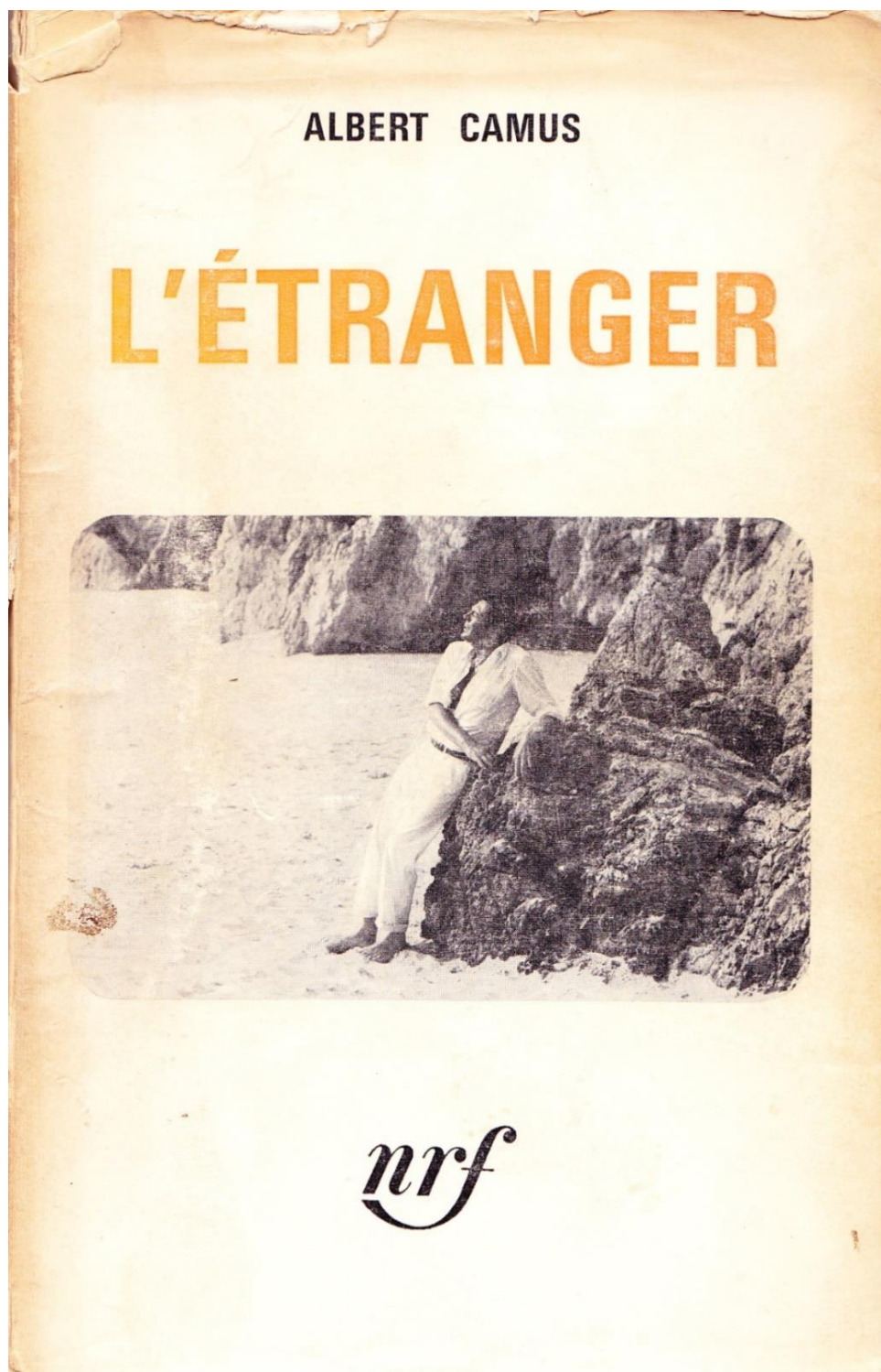
daba ダバ 1 単線(dar)v.t 与えた、した 「動詞」

en la puerta エン・ラ・プエルタ adv. 扉に 「副詞句」

de la desgracia. デ・ラ・デスグラシア adj. 不幸の 「形容詞句」

ALBERT CAMUS
EL EXTRANJERO

Segunda parte 第2部



Segunda parte 第2部

I

逮捕されるとすぐに、僕は何度も尋問を受けた。

Inmediatamente después de mi arresto fui interrogado varias veces.

「副詞句」「動詞句」「副詞句」

Inmediatamente インメディアメンテ adv. すぐに、即時に

「副詞」

después de デスプエス・デ prep. (時間・順序) ~の後で

「副詞句」

mi arresto ミ・アレスト n.m 僕の逮捕

「目的語」

fui interrogado フイ・インテロガト 1 単点・受動(interrogar)v.t 尋問された

「動詞句」

varias veces. バリアス・ベセス adv. 何度も

「副詞句」

しかしそれは人定尋問で、あまり時間はかからなかった。

Pero se trataba de interrogatorios de identificación que no duraron largo tiempo.

Pero 「動詞句」「間接目的語」

Pero ペロ conj. しかし

se trataba セ・トラタバ 3 単線(tratarse)v.pr(de) 話は~だった

「動詞句」

de interrogatorios デ・インテロガトリオス adv. 尋問の

「間接目的語」

de identificación デ・イデンティフィカシオン adj. 身元証明の

「形容詞句」

interrogatorio de identidad 「人定尋問」

que ケ pron (結果)(主語) それで~する

「形容詞節」

no duraron ノ・ドゥラロン 3 複点・否定(durar)

v.i 続かなかった

「動詞句」

largo tiempo. ラルゴ・ティエンポ adv. 長い時間

「副詞句」

最初警察署内では、僕の事件は誰にも興味を抱かせないように見えた。

La primera vez el asunto pareció no interesar a nadie en la comisaría.

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

La primera vez ラ・プリメラ・ベス adv. 最初は、はじめは

「副詞句」

el asunto エル・アスト n.m 事件は

「主語」

pareció no interesar パレシオ・ノ・インテサール 3 単点・見える(parecer+不定詞・否定形 interesar)

v.t 興味を抱かせないように見えた

「動詞句」

a nadie ア・ナディエ pron 誰にも

「目的語」

en la comisaría. エン・ラ・コミサリア adv. 警察署内では

「副詞句」

Segunda parte 第2部

それから8日後に、予想とは反対に、予審判事は好奇の目で僕を見た。

Por el contrario, ocho días después el juez de instrucción me miró con curiosidad.

「副詞句」「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」

Por el contrario, ホル・エル・コントラリオ adv. 反対に、それどころか 「副詞句」

ocho días después オチョ・デ・イアス・デ・ス・エス adv. それから8日後に 「副詞句」

el juez de instrucción エル・フエス・デ・インストルクション n.m 予審判事は 「主語」

me メ pron 僕を 「目的語」

miró ミロ 3単点(mirar)v.t 見た、眺めた 「動詞」

con curiosidad. コン・クリオシダド adv. 好奇の目で 「副詞句」

しかし最初は、僕の名前と、住所と職業、それに生年月日と出生地だけしか尋ねなかった。

それから、もう弁護士は決めたのかと僕に確認した。

Pero me preguntó, para empezar, solamente mi nombre y dirección, mi profesión, la fecha y el lugar de nacimiento. Luego quiso saber si había elegido abogado.

Pero 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 | 「副詞」「動詞句」「目的語」

Pero ペロ conj. しかし

me メ pron 僕に 「間接目的語」

preguntó, プレグント 3単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

para empezar, パラ・エンパサル adv. まず最初に 「副詞句」

solamente ソラメンテ adv. ～だけ、～しかない 「副詞句」

mi nombre ミ・ノンブレ n.m 僕の名前を 「直接目的語」

y イ conj. そして

dirección, ディレクション n.f 住所を 「直接目的語」

mi profesión, ミ・プロフェシオン n.f 僕の職業を 「直接目的語」

la fecha ラ・フェチャ n.f 日付を 「直接目的語」

y イ conj. そして

el lugar エル・ルガル n.m 場所を 「直接目的語」

de nacimiento. デ・ナシメント adj. 生まれた 「形容詞句」

Luego ルエゴ adv. その後で 「副詞」

quiso saber キソ・サベル 3単点・願望(querer+不定詞)v.t 知ろうとした、尋ねた 「動詞句」

si シ conj. ～かどうかということを 「目的語」

había elegido アビ・ア・エレヒト 1単線・完了形(elegir)v.t すでに選んだ 「動詞句」

abogado. アボガト n.m 弁護士を 「目的語」

Segunda parte 第2部

僕はまだ決めていないと答えた。それから単に確認のために、弁護士をつけることが絶対に必要なのか、と彼に尋ねた。「どうしてですか？」と、彼は言った。

Reconocí que no, y simplemente por saber, le pregunté si era absolutamente necesario tener uno. "¿Por qué?" dijo.

「動詞」「目的語」 y 「副詞句」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 | 《「応答」》「動詞」
 Reconocí レノシ 1 単点(reconocer)v.t 認めた、答えた 「動詞」
 que no, ケノ n. まだ決めていないと 「目的語」
 y イ conj. そして
 simplemente por saber, シンプレメンテ・ホル・サバー adv. (目的) 単に確認のために 「副詞句」
 le レ pron 彼に 「間接目的語」
 pregunté プレグンテ 1 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」
 si シ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」
 era エラ 3 単線・時制の一致(estar)v.i ～である 「動詞」
 absolutamente necesario アブソルタメンテ・ネセサリオ adj. 絶対に必要な 「補語」
 tener uno. テネル・ウノ 不定詞 n. 弁護士をつけることが 「主語」
 "¿Por qué?" ホル・ケ adv. どうして 「応答」
 dijo. ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

この事件は非常に単純だと思っているからと彼に答えた。彼は微笑んで言った：

Le contesté que encontraba el asunto muy simple. Sonrió y dijo:

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 | 「動詞」 y 「動詞」
 Le レ pron 彼に 「間接目的語」
 contesté コンテステ 1 単点(contestar)v.t 答えた 「動詞」
 que ケ conj. ～とということ 「直接目的語」
 encontraba エンコントラバ 1 単線・時制の一致(encontrar)
 v.t ～と評価している 「動詞」
 el asunto エル・アスト n.m この事件は 「目的語」
 muy simple. ムイ・シンプレ adj. 非常に単純な 「補語」
 Sonrió ソンリオ 3 単点(sonreír)v.i 微笑んだ 「動詞」
 y イ conj. そして
 dijo: ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Segunda parte 第2部

「それは一つの意見ですが、ここでは、法律があります。もしあなたが弁護士を選ばないの
でしたら、こちらで国選の弁護士を指名いたします」

"Es una opinión. Sin embargo, ahí está la ley. Si no elige usted abogado nosotros designaremos uno de oficio."

《「動詞」「補語」 | 「副詞句」, 「動詞」「主語」 | 「副詞節」, 「主語」「動詞」「目的語」》
 "Es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」
 una opinión. ウナ・ピニオン n.f 一つの意見、見解 「補語」
 Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. とはいえ、しかしながら 「副詞句」
 ahí アイ adv. ここでは 「副詞」
 está エスタ 3 単現・存在(estar)v.i ~がある 「動詞」
 la ley. ラ・レイ n.f 法律が 「主語」
 Si シ conj. もし~ならば 「副詞節」
 no elige ノ・エリヘ 3 単現・否定(elegir)v.t 選ばない 「動詞句」
 usted ウステ pron あなたが 「主語」
 abogado アボガド n.m 弁護士を 「目的語」
 nosotros ノトロス pron.pl 私たちが 「主語」
 designaremos デシグナレモス 1 複末(designar)v.t 指名する 「動詞」
 uno ウノ pron 弁護士を 「目的語」
 de oficio." デ・オフィシオ advj. 国選の 「形容詞句」

弁護士の必要性～日本の場合

刑事訴訟法第二百八十九条により、長期三年を超える事件を審理する場合には、弁護人がなければ開廷することはできない。フランスにも類似の法律がある。

司法当局がそんな細々したことまで面倒を見てくれるのは、とても便利だと思った。

Me pareció muy cómodo que la justicia se encargara de esos detalles.

「間接目的語」「動詞」「補語」「主語」
 Me メ pron 僕には 「間接目的語」
 pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i ~に思われた 「動詞」
 muy cómodo ムイ・コムド adj. とても便利な 「補語」
 que ケ conj. ~ということは 「主語」
 cómodo 「便利な」という評価に対する節なので、接続法を使用する
 la justicia ラ・フスティシア n.f 司法が、司法当局が 「主語」
 se encargara セ・エンカガラ 接・3 単過・時制の一致(encargarse)
 v.pr(de を) 引き受ける 「動詞句」
 de esos detalles. デ・エス・デ・タジエス adv. そのような細かいことを 「間接目的語」

Segunda parte 第2部

僕はそう言った。彼は僕に同意して、法律はうまくできているという結論に達した。

Se lo dije. Estuvo de acuerdo y llegó a la conclusión de que la ley estaba bien hecha.

「間接・直接目的語」「動詞」 | 「動詞」「補語」 y 「動詞」「間接目的語」

Se lo セ・ロ pron 彼にそう

「間接・直接目的語」

dije. デ・イハ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞句」

Estuvo エストゥボ 3 単点(estar)v.i ~だった

「動詞」

de acuerdo デ・アクエルト adj. 意見が一致した

「補語」

y イ conj. そして

llegó ジェゴ 3 単点(llegar)v.i(a に) 達した

「動詞」

a la conclusión ア・ラ・コンクルシオン adv. 結論に

「間接目的語」

de que デ・ケ adj. (同格) ~の

「形容詞節」

la ley ラ・レイ n.f 法律は

「主語」

estaba bien hecha. エスタバ・ビエン・エチャ 3 単線・受動.f・時制の一致(hacer)

v.t うまく出来ている

「動詞句」

僕は、最初は彼をまじめに受け止めなかった。彼はカーテンを下した部屋で僕を迎え入れた。

Al principio no le tomé en serio. Me recibió en una habitación cubierta de cortinajes;

「副詞句」「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「目的語」「動詞」「副詞句」

Al principio アル・プリンシピオ adv. 最初は

「副詞句」

no ...tomé ノ...トメ 1 単点・否定(tomar)v.t 受け止めなかった

「動詞句」

le レ pron 彼を

「目的語」

en serio. エン・セリオ adv. まじめに

「副詞句」

Me メ pron 僕を

「目的語」

recibió レシビオ 3 単点(recibir)v.t 迎え入れた

「動詞」

en una habitación エン・ウナ・アビタシオン adv. 部屋で

「副詞句」

cubierta クビエルタ adj.f(de で) 覆われた

「形容詞句」

de cortinajes; デ・コルチナヘス adv. カーテンで

「副詞句」

Segunda parte 第2部

デスクの上にはランプが 1 つだけあって、肘掛け椅子を照らしていた。彼はそこに僕を座らせたが、その一方で、彼は暗がりの中に留まり続けていた。

sobre el escritorio había una sola lámpara que iluminaba el sillón donde me hizo sentar mientras él quedaba en la oscuridad.

sobre el escritorio ソブレ・エル・エスクリトリオ adv. デスクの上には 「副詞句」

había アビア 3 単線(haber)v.t. ～があった 「動詞」

una sola lámpara ウナ・ソラ・ランパラ n.f. ランプが 1 つだけ 「目的語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

iluminaba イルミナバ 3 単線(iluminar)v.t. 照らしていた 「動詞」

el sillón エル・シジョン n.m. 肘掛け椅子を 「目的語」

donde ドンデ conj. そこに～する 「形容詞節」

me メ pron 僕を 「目的語」

hizo イ 3 単点・使役(hacer)v.t. ～させた 「動詞」

sentar センタル 不定詞・me の動作

v.t. 座らせる 「補語」

mientras ミエンTRAS conj. その一方で 「副詞節」

él エル pron 彼は 「主語」

quedaba クダバ 3 単線(quedar)v.i(en に) とどまっていた 「動詞」

en la oscuridad. エン・ラ・オスクリダ adv. 暗がりの中に 「副詞句」

いくつかの本で、似たような描写を読んだことがあるけれども、僕には、すべてがゲームのように思われた。

Había leído una descripción semejante en los libros y todo me pareció un juego.

「動詞句」「目的語」「副詞句」 y 「主語」「間接目的語」「動詞」「補語」

Había leído アビア・レイト 1 単線・完了形(leer)v.t. 読んだことがある 「動詞句」

una descripción ウナ・デスクリプション n.f. 描写を、記述 「目的語」

semejante セマンテ adj. 似た、類似の 「形容詞」

en los libros エン・ロス・リブros adv. 本の中で 「副詞句」

y イ conj. そして

todo トト pron すべてが 「主語」

me メ pron 僕には 「間接目的語」

pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i. ～に思われた 「動詞」

un juego. ウン・フエゴ n.m. あそび、ゲーム 「補語」

Segunda parte 第2部

会話が終わると、今度は反対に、僕が彼をじっと見つめた。そして、繊細な顔立ちで、くぼんだ青い目で、灰色の長い口髭とほとんど白くなったふさふさの髪をしたとても背の高い男だということが見て取れた。

Después de nuestra conversación, por el contrario, le miré y vi un hombre de rasgos finos, ojos azules hundidos, muy alto, con largos bigotes grises y abundantes cabellos casi blancos.

「副詞句」, 「目的語」 「動詞」 y 「動詞」 「目的語」

Después de デスプ°エス・デ° prep (順序) ~の後で

「副詞句」

nuestra conversación, スエストラ・コンベルサシオン n.f 僕たちの会話

「目的語」

por el contrario, ホル・エル・コントラリオ adv.(= al contrario) 反対に

「副詞句」

le レ pron 彼を

「目的語」

miré ミレ 1 単点(mirar)v.t 見た

「動詞」

y イ conj. そして

vi ビ° 1 単点(ver)v.t (+目的格補語) 知った、見出した

「動詞」

un hombre ウン・オンブレ n.m 男を

「目的語」

de rasgos デ°ラスコス adj. 顔立ちの

「形容詞句」

finos, フィノス adj.m.pl 繊細な

「形容詞」

ojos オス pl.n.m 目

「目的語」

azules アスレス adj.m.pl(azul) 青い

「形容詞」

hundidos, ウンディトス adj.m.pl 沈んだ、くぼんだ

「形容詞」

muy alto, ムイ・アルト adj.m とても背の高い

「形容詞」

con コン adv. (様態) ~をした

「副詞句」

largos bigotes grises ラルコス・ビゴテス・グリス

pl.n.m 灰色の長い口髭

「目的語」

y イ conj. そして

abundantes cabellos アブンダンテス・カベシヨス

pl.n.m ふさふさの髪

「目的語」

casi blancos. カシ・ブランコス adj.m.pl ほとんど白い 「形容詞句」

Segunda parte 第2部

予審判事は、いくらか口を引きつらせる痙攣があったが、要するに、とても分別があり好感の持てる人間に見えた。

Me pareció muy razonable y simpático en resumen, a pesar de algunos tics nerviosos que le estiraban la boca. 「間接目的語」「動詞」「補語」「副詞句」

Me メ pron 僕には 「間接目的語」

pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i 〜のように見えた 「動詞」

主語は予審判事

muy razonable y simpático ムイ・ラソナブレ・イ・シンプァティコ

adj. とても分別があり好感の持てる 「補語」

en resumen, エン・レスメン adv. 要約すると、要するに 「副詞句」

a pesar de ア・ペサル・デ prep. 〜にもかかわらず、〜であっても 「副詞句」

algunos tics アルグノス・チックス pl.n.m. いくつかの痙攣、いくつかの癖 「目的語」

nerviosos ネルビオス adj. 神経質な 「形容詞」

que ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」

le レ pron 彼の 「間接目的語」

estiraban エストラバン 3 複線(estirar)

v.t. 引きつらせる 「動詞」

la boca. ラ・ボカ n.f. 口を 「直接目的語」

取調室を出るとき、僕は彼に手を差し出しそうにさえた。だが、危ういところで、自分が人を殺していたことを思い出した。

Cuando salí, hasta iba a tenderle la mano, pero recordé a tiempo que había matado a un hombre. 「副詞節」「動詞句」「目的語」,pero 「動詞」「副詞句」「目的語」

Cuando クワント conj. 〜するとき 「副詞節」

salí, サリ 1 単点(salir)v.i. 出た 「動詞」

hasta アスタ prep. (副詞的に iba...を強調する) 〜さえ 「副詞」

iba a tenderle イバ・ア・テンデール・レ 1 単線・近接未来(ir a+不定詞 tender+le)

v.t. 彼に差し出すところだった 「動詞句」

la mano, ラ・マノ n.f. 手を 「目的語」

pero ペロ conj. しかし

recordé レコルデ 1 単点(recordar)v.t. 思い出した 「動詞」

a tiempo ア・ティエンポ adv. 間に合って 「副詞句」

que ケ conj. 〜ということを 「目的語」

había matado アビ・ア・マト 1 単現・完了形(matar)v.t. 殺していた 「動詞句」

a un hombre. ア・ウン・オンブレ n.m. 人を 「目的語」

Segunda parte 第2部

次の日、弁護士が僕に面会に拘置所にやって来た。

Al día siguiente un abogado vino a verme a la prisión.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Al día siguiente アル・デア・シギエンテ adv. (時点) 次の日に

「副詞句」

siguiente シギエンテ adj. 次の、次に続く、翌...

un abogado ウン・アボガド n.m 弁護士が

「主語」

vino a verme ビノ・ア・ベール・メ 3 単点・目的(venir a+不定詞 ver+me)

v.t 僕に面会いに来た

「動詞句」

venir a+不定詞 「～するために来る、～するようになる」

venir de+不定詞 「～してきたところである」

a la prisión. ア・ラ・プリシオン adv. 刑務所に、拘置所に

「副詞句」

彼は小柄で肥満のかなり若い男で、髪は入念にとかしていた。

Era bajito y grueso, bastante joven, con los cabellos cuidadosamente alisados.

「動詞」 「補語」, 「副詞句」

Era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった

「動詞」

bajito バヒト adj.m(= bajo + -ito) 背が低い

「補語」

y イ conj. そして

grueso, グルエソ adj.m 太った

「補語」

bastante joven, バスタンテ・ホベン adj. かなり若い

「補語」

con コン adv. (様態) ~をした

「副詞句」

los cabellos ロス・カベシヨス pl.n.m 髪

「目的語」

cuidadosamente クイダド・サメンテ adv. 入念に

「副詞」

alisados. アリサトス 過去分詞(alisar)adj.m.pl (髪が) とかされた「形容詞」

暑いにもかかわらず(僕はワイシャツ姿だった)彼は、黒っぽい背広にウイングカラーをつけて、白と黒の太い縞模様の奇妙なネクタイをしていた。

A pesar del calor (yo estaba en mangas de camisa) llevaba traje oscuro, cuello palomita y una extraña corbata de gruesas rayas blancas y negras.

「副詞句」(「主語」 「動詞」 「補語」) 「主語」 「動詞」 「目的語」

A pesar de... ア・ペサル・デ prep ~にもかかわらず

「副詞句」

del calor テル・カロル n.m 暑さ

「目的語」

(yo ショ pron 僕は

「主語」

estaba エスタバ 1 単線・状態(estar)v.i ~だった

「動詞」

en mangas de camisa) エン・マンガ・ス・デ・カサ adv. ワイシャツ姿で、上着を脱いで

「補語」

llevaba シェババ 3 単線(llevar)v.t (衣服を) 着ていた

「動詞」

Segunda parte 第2部

traje oscuro, トラヘ・オスクロ n.m 黒っぽい背広を 「目的語」
 cuello palomita ケジヨ・パロミタ n.m ウィングカラー 「目的語」
 y イ conj. そして
 una extraña corbata ウナ・エクストラニャ・コルバタ n.f 奇妙なネクタイを 「目的語」
 de gruesas rayas デ・グルエサス・ラジヤス adj. 太い縞模様の 「形容詞句」
 blancas y negras. ブランカス・イ・ネグラス adj. 白と黒の 「形容詞句」

ウィングカラー :

男性の礼装用シャツの襟型で、襟先が翼のように前で小さく折り返り、後ろは首にそった立ち襟のこと。cuello de pajarita もウィングカラーを表す。

彼は小脇に抱えていた書類カバンをベッドの上に置いてから自己紹介した。それから、関係書類には目を通しましたと僕に言った。

Puso sobre la cama la cartera que llevaba bajo el brazo, se presentó y me dijo que había estudiado el expediente.

「動詞」「副詞句」「目的語」, 「動詞句」 y 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
 Puso プソ 3 単点(poner)v.t 置いた 「動詞」
 sobre la cama ソブレ・ラ・カマ adv. ベッドの上に 「副詞句」
 la cartera ラ・カルテラ n.f 書類カバンを 「目的語」
 que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」
 llevaba ジェバハ 3 単線(llevar)v.t 持っていた 「動詞」
 bajo el brazo, バホ・エル・ブラソ adv. 小脇に 「副詞句」
 llevar un libro bajo el brazo 本を小脇に抱えている
 se presentó セ・プレント 3 単点(presentarse)v.pr 自己紹介した 「動詞句」
 y イ conj. そして
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 dijo ディホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 que ケ conj. ~ということを 「直接目的語」
 había estudiado アビア・エストゥディアド 3 単線・完了形(estudiar)
 v.t 目を通した、検討した 「動詞句」
 el expediente. エル・エクスぺディエンテ n.m 関係文書を 「目的語」

Segunda parte 第2部

僕の事件は困難だが、彼は僕が彼を信頼するならば成功するだろうと思っている。僕は彼に礼を言った。すると彼は言った：「本題に入りましょう」

El asunto era delicado, pero no dudaba del éxito si le tenía confianza. Le agradecí y me dijo: "Vamos al grano."

「主語」「動詞」「補語」,pero「動詞句」「間接目的語」「副詞節」

「目的語」「動詞」y「間接目的語」「動詞」：《「動詞」「間接目的語」》

El asunto エル・アスト n.m 僕の事件は 「主語」

弁護士が話したことを、ムルソーが回想している

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i 〜である 「動詞」

delicado, デリカト adj. 微妙な、難しい 「補語」

pero ペロ conj. しかし

no dudaba ノ・ドゥダバ 3 単線・否定・時制の一致(dudar)v.i(de を) 疑わない 「動詞句」

del éxito デル・エクソ adv. 成功を 「間接目的語」

si シ conj. もし〜ならば 「副詞節」

le レ pron 彼に 「間接目的語」

tenía テニア 1 単線・時制の一致(tener)v.t (感情を) 抱く 「動詞」

confianza. コンフィアンサ n.f 信頼を 「直接目的語」

Le レ pron 彼に 「目的語」

agradecí アグラデシ 1 単線(agradecer)v.t 感謝した、礼を言った 「動詞」

y イ conj. そして

me メ pron 僕に 「間接目的語」

dijo: デイヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

"Vamos バモス 1 複現・勧誘(ir)v.i 行きましょう 「動詞」

al grano." アル・グラノ adv. 本題に 「間接目的語」

grano グラノ n.m 穀物 ir al grano 「本題に入る」

彼はベッドに腰かけ、当局は既に僕の私生活に関する情報を収集し終えたと教えてくれた。

Se sentó en la cama y me explicó que habían tomado informes sobre mi vida privada.

「動詞句」「副詞句」y「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Se sentó セ・セント 3 単点(sentarse)v.pr 腰かけた 「動詞句」

en la cama エン・ラ・カマ adv. ベッドの上に 「副詞句」

y イ conj. そして

me メ pron 僕に 「間接目的語」

explicó エクスプリコ 3 単点(explicar)v.t 説明した、教えた 「動詞」

que ケ conj. 〜ということを 「直接目的語」

habían tomado アビアン・トマド 3 複線・完了形(tomar)

Segunda parte 第2部

v.t (当局が) 集めた 「動詞句」
 この時、すでに動作が終了している
 受動態に翻訳してもよいが、ここは敢えて能動態で翻訳してみた
 informes インフォルメス pl.n.m(informe) 情報を 「目的語」
 sobre mi vida ソブレ・ミ・ビダ adv. 僕の生活に関して 「副詞句」
 privada. プリバダ adj.f(privado) 私的な 「形容詞」

最近ぼくの母さんが養老院で死んだことが分かった。

Se había sabido que mi madre había muerto recientemente en el asilo.

「動詞句」「主語」
 Se había sabido セ・アビア・サビド 3 単線・完了形(saberse)v.pr 〜が分かった 「動詞句」
 que ケ conj. 〜といういことが 「主語」
 mi madre ミ・マドレ n.f 僕のかあさんが 「主語」
 había muerto アビア・ムエルト 3 単線・完了形(morir)v.i 死んだ 「動詞句」
 recientemente レシエンテメンテ adv. 最近 「副詞」
 en el asilo. エ・ネル・アシロ adv. 養老院で 「副詞句」

それで、マランゴで調査が行われた。そして予審判事たちは、母さんの葬儀の日に「僕が冷淡さの証拠を見せていた」ことを知った。

Se había hecho entonces una investigación en Marengo. Los instructores se habían enterado de que "yo había dado pruebas de insensibilidad" el día del entierro de mamá.

「動詞句」「副詞」「主語」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「間接目的語」
 Se había hecho セ・アビア・エチョ 3 単線・完了形・再帰受動(hacerse)v.pr 行われた 「動詞句」
 entonces エントネス adv. それで 「副詞」
 una investigación ウ・インベスティガシオン n.f 調査が 「主語」
 en Marengo. エン・マレンゴ adv. マランゴで 「副詞句」
 Los instructores ロス・インストクトレス pl.n.m 予審判事たちは 「主語」
 juez instructor 予審判事
 se habían enterado セ・アビアン・エンテラド 3 複線・完了形(enterarse)
 v.pr(de 〜に) 気づいた、知った 「動詞句」
 de que テ・ケ adv. 〜ということについて 「間接目的語」
 "yo ショ pron 僕は 「主語」
 había dado アビア・ダド 1 単線・完了形(dar)v.t (行為を) 見せた 「動詞句」
 pruebas プルエバス pl.n.f 証拠を 「目的語」
 de insensibilidad "テ・インセンシビリダ adj. 冷淡さの 「形容詞句」
 el día エル・ディア adv. その日に 「副詞句」

Segunda parte 第2部

del entierro de mamá. テル・エンチエロ・デ・ママ

adj. 母さんの葬儀の

「形容詞句」

「分かってください」と、弁護士は僕に言った。「あなたにこのことを尋ねるのは少し心苦しいのですが、非常に重要なことなのです」

"Usted comprenderá", me dijo el abogado, "me molesta un poco tener que preguntarle esto. Pero es muy importante."

《「主語」「動詞」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」,

《「間接目的語」「動詞」「副詞句」「主語」 | Pero 「動詞」「補語」》

"Usted ウステ pron あなたは

「主語」

comprenderá", コンプレンデラ 3 単未・依頼(comprender)

v.t 分かってください、分かるだろう

「動詞」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

el abogado, エル・アボガト n.m 弁護士は

「主語」

"me メ pron 私に

「間接目的語」

molesta モレスタ 3 単現(molestar)v.t 軽い痛みを与える

「動詞」

un poco ウン・ポコ adv. 少し

「副詞句」

tener que preguntarle テネル・ケ・プレグンタル・レ 不定詞(tener que preguntar+le)

n. あなたに聞かなければならないことは

「主語」

esto. エスト pron これを

「目的語」

Pero ペロ conj. しかし

es エス 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

muy importante. ムイ・インポルタンテ adj. 非常に重要な

「補語」

「もし私が何らかの反論を出来なければ、検察側の確固たる論拠になってしまいます」

Si no encuentro alguna propuesta será un sólido argumento para la acusación".

《「副詞節」, 「動詞」「補語」》

Si シ conj. もし~ならば

「副詞節」

no encuentro ノ・エンクエントロ 1 単現・否定(encontrar)v.t 見つけられない

「動詞句」

alguna propuesta アルグナ・プロポエスタ n.f 何らかの反論を、提案

「目的語」

será セラ 3 単未・変化(ser)v.i ~になるだろう

「動詞」

un sólido argumento ウン・ソリト・アルグメント n.m 確固たる論拠

「補語」

para la acusación". パラ・ラ・アクサシオン adv. 検察側にとって

「副詞句」

Segunda parte 第2部

彼は僕の協力を望んでいた。彼は僕に、あの日は辛かったかと尋ねた。

Quería que le ayudara. Me preguntó si había sentido pena aquel día.

「動詞」「目的語」 | 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Quería ケリア 3 単線(querer)v.t 望んでいた 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

le レ pron 彼を 「目的語」

ayudara. アユダラ 接・1 単過・願望(ayudar)v.t 助ける 「動詞」

Me メ pron 僕に 「間接目的語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

si シ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」

había sentido アビア・セント 1 単線・完了形(sentir)v.t 感じた 「動詞句」

pena ペナ n.f 苦悩を 「目的語」

aquel día. アケル・ディア adv. あの日 「副詞句」

僕はこの質問にとっても驚いた。そして僕がその質問をしなければならなかったとしたら、とても心苦しいと感じただろうと思った。

Esta pregunta me sorprendió mucho y me parecía que me habría sentido muy molesto si yo hubiera tenido que formularla.

「主語」「目的語」「動詞」「副詞」 y 「間接目的語」「動詞」「主語」

Esta pregunta エスタ・プレグンタ n.f この質問は 「主語」

me メ pron 僕を 「目的語」

sorprendió ソルプレンディオ 3 単点(sorprender)v.t 驚かした 「動詞」

mucho ムチョ adv. 非常に 「副詞」

y イ conj. そして

me メ pron 僕には 「間接目的語」

parecía パレシア 3 単線(parecer)v.i ～のように思われた 「動詞」

que ケ conj. ～ということ 「主語」

me habría sentido メ・アブラリア・セント 1 単過未・完了形・推量(sentirse)

v.pr ～と感じただろう 「動詞句」

muy molesto ムイ・モレスト adj. とても心苦しい 「補語」

si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

yo ジョ pron 僕が 「主語」

hubiera tenido que formularla. ウビエラ・テニド・ケフォルムラール 接・1 単過・完了形・必要・仮定

(tener que+不定詞 formular+la)

v.t その質問をしなければならなかった 「動詞句」

Segunda parte 第2部

それでも、僕は自問する習慣がありませんので、それに答えることは難しいと返事した。

Sin embargo, respondí que había perdido un poco la costumbre de interrogarme y que me era difícil informarle. 「副詞句」, 「動詞」 「目的語」

Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. とはいえ、それにもかかわらず 「副詞句」

respondí レスポンディ 1 単点(responder)v.t 答えた、返事をした 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

había perdido アビア・ペルディト 1 単線・完了形(perder)v.t 失っていた 「動詞句」

un poco ウン・ポコ adv. 多少は 「副詞句」

la costumbre ラ・コストウンブレ n.f 習慣を 「目的語」

de interrogarme デ・インテロガール・メ adj. (同格) 自問するという 「形容詞句」

interrogarse インテロガール v.pr 自問す、自分自身に質問する

y イ conj. そして

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

me メ pron 僕にとって 「間接目的語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」

difícil デ・イフィシル adj. 困難な、難しい 「補語」

informarle. インフォルマル・レ 不定詞(informar+le)n. その質問に答えることは「主語」

informar インフォルマル v.t 知らせる、通知する

多分、僕は母さんを愛していた。しかしそれは何の意味もない。

Sin duda quería mucho a mamá, pero eso no quería decir nada.

「副詞句」 「動詞」 「副詞」 「目的語」 ,pero 「動詞句」 「目的語」

Sin duda シン・ドゥダ adv. 間違いなく、多分、きっと 「副詞句」

quería クリア 1 単線(querer)v.t 愛していた 「動詞」

mucho ムチョ adv. とても 「副詞」

a mamá, ア・ママ n.f 母さんを 「目的語」

pero ペロ conj. しかし

eso エソ pron そのことは 「主語」

no quería decir ノ・クリア・デシル 3 単線・否定(querer decir)v.t 意味しない 「動詞句」

nada. ナダ pron 何も 「目的語」

Segunda parte 第2部

普通の人間なら誰でも、多かれ少なかれ、愛する人の死を望んだことがあるはずだ。

Todos los seres normales habían deseado más o menos la muerte de aquellos a quienes amaban. 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」

Todos los seres トトソ・ロス・レス pl.n.m すべての人間は 「主語」

seres セス pl.n.m(ser) 存在、人、人間

normales ノルマレス adj.pl.m 正常な、普通の 「形容詞」

habían deseado アビアン・デセアト 3 複過・完了形(desear)v.t 望んだ 「動詞句」

más o menos マス・オ・メノス adv. 多かれ少なかれ 「副詞」

la muerte ラ・ムエルテ n.f 死を 「目的語」

de aquellos デ・アケジョス adj. その人の 「形容詞句」

a quienes ア・キエネス pron.pl (目的語) その人を～する 「形容詞節」

amaban. アマバン 3 複線(amar)v.t 愛していた 「動詞」

ここで弁護士は僕の話を書いた。彼は非常に動揺しているように見えた。

Aquí el abogado me interrumpió y pareció muy agitado.

「副詞」「主語」「目的語」「動詞」 y 「動詞」「補語」

Aquí アキ adv. ここで 「副詞」

el abogado エル・アボガト n.m 弁護士は 「主語」

me メ pron 僕を、僕の話を書いた 「目的語」

interrumpió インテルピオ 3 単点(interrumpir)v.t ～の話を書いた 「動詞」

y イ conj. そして

pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i ～のように見えた 「動詞」

muy agitado. ムイ・アヒタト adj. ひどく動揺した 「補語」

彼は僕に、法廷内や予審判事の前では、そのようなことを言わないことを約束させた。

Me hizo prometer que no diría tal cosa en la audiencia ni ante el juez instructor.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Me メ pron 僕に 「間接目的語」

hizo prometer イ・プロメテル 3 単点・使役(hacer+不定詞)

v.t(que ～ということを書いた) 約束させた 「動詞句」

que ケ conj. ～ということを書いた 「直接目的語」

no diría ノ・ディリア 1 単過未・否定・過去における未来(decir)

v.t 言わない 「動詞句」

tal cosa タル・コサ n.f そのようなことを 「目的語」

en la audiencia エン・ラ・アウディエンシア adv. 法廷内で 「副詞句」

ni ante el juez instructor. ニ・アンテ・エル・フエス・インストルトール

Segunda parte 第2部

adv. 予審判事の前でも

「副詞句」

僕は彼に、自分は身体的欲求によって感情が混乱しやすい性質なのだと説明した。

Le expliqué que tenía una naturaleza tal que las necesidades físicas alteraban a menudo mis sentimientos.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Le レ pron 彼に

「間接目的語」

expliqué エクスプリケ 1 単点(explicar)v.t 説明した

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

tenía テニア 1 単線・時制の一致(tener)v.t ～がある

「動詞」

una naturaleza ウナ・ナトゥラエザ n.f 気質、性質

「目的語」

tal que タル・ケ pron (同格) ～という

「形容詞節」

las necesidades ラス・ネセシダデス

pl.n.f(necesidad) 生理的欲求が

「主語」

físicas フィジカス adj.f.pl 身体の

「形容詞」

alteraban アルテラバン 3 複線・時制の一致(alterar)

v.t (秩序などを) 混乱させる

「動詞」

a menudo ア・メスト adv. 時々、しばしば

「副詞句」

mis sentimientos ミス・センチエントス

pl.n.m 自分の感情を

「目的語」

母さんの葬式の日、僕はとても疲れていたし、眠かった。だから何が起きているのか分からなかった。

El día del entierro de mamá estaba muy cansado y tenía sueño, de manera que no me di cuenta de lo que pasaba.

「副詞句」「動詞」「補語」 y 「動詞」「目的語」「副詞節」

El día エル・ディア n.m あの日

「副詞句」

del entierro de mamá デル・エンティエロ・デ・ママ adj. 母さんの葬式の

「形容詞句」

estaba エスタバ 1 単線(estar)v.i ～だった

「動詞」

muy cansado ムイ・カンサト adj. とても疲れた

「補語」

y イ conj. そして

tenía テニア 1 単線(tener)v.t あった

「動詞」

sueño, スエニョ n.m 眠気

「目的語」

de manera que+直説法 デ・マネラ・ケ conj. (結果) だから～する

「副詞節」

no me di cuenta de ノ・メ・ディ・クエンタ・デ 1 単点・否定(darse cuenta de)

v.pr ～が分からなかった、気づかなかった

「動詞句」

lo ロ pron それを

「目的語」

que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

Segunda parte 第2部

pasaba. パサハ 3 単線・時制の一致(pasar)

v.i 起っている

「動詞」

de manera que+直説法 (結果) だから～

Tenía que estar con mi familia, de manera que no pude ir a buscarte.

家族と一緒に居なければならなかったので私は君を迎えに行けなかった。

de manera que+接続法 (様態) ～するように

Salí de casa de manera que no me viera mamá.

私はお母さんに見つからないように家を出た。

自信をもって言えるのは、母さんが死ななかったほうが良かったと思っていることだ。

Lo que podía afirmar con seguridad es que hubiera preferido que mamá no hubiese muerto.

「主語」「動詞」「補語」

Lo □ pron それは

「主語」

que ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

podía afirmar ポデア・アフィマル 1 単線・可能・時制の一致(poder+不定詞)

v.t 断言できる

「動詞句」

con seguridad コンセグリダ adv. 自信をもって

「副詞句」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である

「動詞」

que ケ conj. ～ということ

「補語」

hubiera preferido ウビエラ・プレフェリト 接・1 単過・完了形・推量(preferir)

v.t ～のほうが良いと思っただろう

「動詞句」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

mamá ママ n.f 母さんが

「主語」

no hubiese muerto. ノウビエセ・ムエルト 接・3 単過・完了形・否定・假定(morir)

v.i 死ななかったら

「動詞句」

しかし弁護士は満足したように見えなかった。僕に言った:「それでは十分ではありません」

Pero el abogado no pareció conforme. Me dijo: "Eso no es bastante."

Pero 「主語」「動詞句」「補語」 | 「間接目的語」「動詞」:《「主語」「動詞句」「補語」》

Pero ペロ conj. しかし

el abogado エル・アボガト n.m 弁護士は

「主語」

no pareció ノ・パレシオ 3 単点・否定(parecer)v.i ～のように見えなかった

「動詞句」

conforme. コンフォルメ adj. 満足した

「補語」

Me メ pron 僕に

「間接目的語」

dijo: デイホ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

"Eso エソ pron それは

「主語」

Segunda parte 第2部

no es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i 〜でない 「動詞句」
 bastante." バスタンテ adj. 十分な 「補語」

彼はじっと考えてから、あの日は本来の感情を抑えていたとは言えないのかと僕に尋ねた。

Reflexionó. Me preguntó si podía decir que aquel día había dominado mis sentimientos naturales. 「動詞」 | 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Reflexionó. レフレクシオノ 3 単点(reflexionar)v.i 熟考した 「動詞」

Me メ pron 僕に 「間接目的語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた、質問した 「動詞」

si シ conj. 〜かどうかということ 「直接目的語」

podía decir ポデア・デシル 3 単線・可能(poder+不定詞)

v.t(que 〜と) 言うことが出来る 「動詞句」

que ケ conj. 〜ということ 「目的語」

aquel día アル・デア adv. あの日は 「副詞句」

había dominado アビア・ドミナド 1 単線・完了形(dominar)

v.t 抑えつけていた 「動詞句」

mis sentimientos naturales. ミス・センチメントス・ナトゥラレス

pl.n.m 自分本来の感情を 「目的語」

彼に言った：「いや、それでは嘘になる」すると、彼は僕の返事に対して嫌気がさしたような、奇妙な目つきで僕を見つめた。

Le dije: "No, porque es falso." Me miró en forma extraña como si le inspirase un poco de repugnancia. 「間接目的語」「動詞」：《「応答」》 | 「目的語」「動詞」「副詞句」

Le レ pron 彼に 「間接目的語」

dije: デイハ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

"No, ノ adv. そうではない 「応答」

porque ポルケ conj. 〜なので 「副詞節」

es エス 3 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」

falso." ファルソ adj. 偽りの、嘘の 「補語」

Me メ pron 僕を 「目的語」

miró ミロ 3 単点(mirar)v.t 見た 「動詞」

en forma extraña エン・フォルマ・エクストラニャ adv. 奇妙な様子で 「副詞句」

como si コモ・シ conj. まるで〜のような 「副詞節」

le レ pron 彼に 「間接目的語」

inspirase インスピラセ インスピラセ 接・1 単過・推測(inspirar)

v.t (感情を) 抱かせた 「動詞」

Segunda parte 第2部

un poco de repugnancia. ウン・ポ・コ・テ・レプ・グナンシア

n.f 多少の嫌悪感を

「直接目的語」

彼はほとんど悪意に満ちた口調で僕に言った：いずれにしても、養老院の院長と職員が証人として喚問されるだろう。すると、「僕にとって全く都合の悪い局面になるかも知れない。」

Me dijo casi malignamente que en cualquier caso el director y el personal del asilo serían oídos como testigos y que "podía resultarme una muy mala jugada".

「間接目的語」「動詞」「副詞句」「直接目的語」

Me メ pron 僕に

「間接目的語」

dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

casi malignamente カシ・マリニャメンテ adv. ほとんど悪意を持って

「副詞句」

maligno マリゲノ adj. 悪意のある(malicioso)

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

en cualquier caso エン・クワルギエル・カーソ

adv. (英：in any case) どんな場合でも、いずれにしても

「副詞句」

el director エル・ディレクター n.m 院長が

「主語」

y イ conj. そして

el personal del asilo エル・ペルソナル・デル・アシロ n.m 養老院の職員が

「主語」

serían oídos セリアン・オイトス 3 複未・受動.pl(oír)v.t 聞かれるだろう

「動詞句」

como testigos コモ・テスチゴス adv. 証人として

「副詞句」

y イ conj. そして

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

"podía resultarme ポ・ディア・レスルタル・メ 3 単線・可能性・時制の一致

(poder+不定詞 resultar+me)

v.i 僕にとって～の結果になるかもしれない

「動詞句」

una muy mala jugada". ウナ・ムー・マラ・ファダ n.f とても悪い局面

「補語」

mala マラ adj.f(malo) 悪い、都合の悪い jugada ファダ n.f 局面

Segunda parte 第2部

僕は弁護士に、あの話は僕の事件と関係がないと主張したが、彼は、僕が今までに裁判に関わったことがないことは明らかであるとしか答えなかった。

Le hice notar que esa historia no tenía relación con mi asunto, pero se limitó a responderme que era evidente que nunca había estado en relaciones con la justicia.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」,pero「動詞句」「目的語」

Le レ pron 彼に(弁護士) 「間接目的語」

hice notar イェ・ノタル 1 単点・指摘(hacer notar)v.t 指摘した、強調した 「動詞句」

que ケ conj. ～ということ 「直接目的語」

esa historia エサ・イストリア n.f あの話は 「主語」

no tenía ノ・テニア 3 単線・否定・時制の一致(tener)v.t ない 「動詞句」

relación レラシオン n.f 関係 「目的語」

con mi asunto, コン・ミアスト adv. 僕の事件と 「副詞句」

pero ペロ conj. しかし

se limitó セ・リミト 3 単点(limitarse)v.t(+a+不定詞) ～するに留めた 「動詞句」

a responderme ア・レスポ・ンデル・メ 不定詞 v.t 僕に答える 「動詞句」

que ケ conj. ～ということ 「目的語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」

evidente エビデンテ adj. あきらかな 「補語」

que ケ conj. ～ということは 「主語」

nunca había estado ヌンカ・アビア・エスタド 1 単線・完了形・存在・否定(estar)

v.i ～に居たことがなかった 「動詞句」

en relaciones エン・レラシオネス adv. 関係のある場に 「副詞句」

con la justicia. コン・ラ・フスティシア adv. 裁判と 「副詞句」

彼は腹を立てた様子で立ち去った。

Se fue con aire enfadado. 「動詞句」「副詞句」

Se fue セ・フェ 3 単点(irse)v.pr 立ち去った、帰った 「動詞句」

con aire コン・アイレ adv. (様態) ～の様子で 「副詞句」

enfadado. エンファダド 過去分詞(enfadar)adj. 怒った、腹を立てた 「形容詞」

Segunda parte 第2部

出来ることなら、僕は彼を引き留めて、僕が彼の好意を望んでいることを伝えたかった。それは、彼にうまく弁護してもらうためではなく、言ってみれば、素直な気持ちからだ。

Hubiese querido retenerle; explicarle que deseaba su simpatía, no para ser defendido mejor sino si puedo decirlo, naturalmente. 「動詞句」「目的語」, 「副詞句」

Hubiese querido ヲ^ヒエ^セ・ケ^リト^ド 接・1 単過・完了形・願望(querer)v.t(+不定詞)

v. 出来ることなら～したかったのだが 「動詞句」

retenerle; レ^テネ^ル・レ 不定詞(retener+le)v.t 彼を引き留める 「動詞句」

explicarle エ^{クス}プ^リカ^ル・レ 不定詞(explicar+le)v.t 彼に説明する 「動詞句」

Hubiese querido+ explicarle

que ケ conj. ～ということ 「目的語」

deseaba デ^セア^バ 1 単線・時制の一致(desear)v.t 望んでいる 「動詞」

su simpatía, ス・シ^パチ^ア n.f 彼の好意を 「目的語」

no para +不定詞 ノ・パ^ラ adv. (目的) ～するためではなく 「副詞句」

ser defendido セ^ル・デ^{フェ}ン^デイト^ド 不定詞・受動形(defender)v.t 弁護される 「動詞句」

mejor, メ^ホル adv. よい状況に、うまく 「副詞」

sino, シ^ノ conj. そうではなく

si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

puedo decirlo, プ^エト^ド・デ^シル^{・ロ} 1 単現・可能(poder+不定詞)

v.t 言うことができる 「動詞句」

→ 言うなら、言ってみれば、言わば

naturalmente. ナ^{トゥ}ラ^ルメン^テ adv. 自然に、素直に 「副詞」

なによりも、僕は彼を居心地の悪い状況にしていたことに気付いた。

Me daba cuenta sobre todo de que lo ponía en una situación incómoda.

「動詞句」「副詞句」「間接目的語」

Me daba cuenta メ^ダバ[・]ク^{エン}タ 1 単線・気付き(darse cuenta de...)

v.pr ～に気付いた、分かった 「動詞句」

sobre todo ソ^ブレ^{・ト} adv. とりわけ、なによりも 「副詞句」

de que デ[・]ケ adv. ～ということに 「間接目的語」

lo ロ pron 彼を 「目的語」

ponía ポ^ニア 1 単線(poner)v.t 置いていた 「動詞」

en una situación エ^ン・ウ^ナ・シ^{トゥ}ア^シオン adv. 状況に 「副詞句」

incómoda. イン^コモ^ダ

adj.f(incómodo) 居心地の悪い、気分を害する 「形容詞」

Segunda parte 第2部

彼は僕が言うことを理解できなかったので、少し僕が恨めしかったのだ。

No me comprendía y estaba un poco resentido conmigo.

「動詞句」「目的語」「動詞句」 y 「動詞」「補語」

No ...comprendía ノ...コンプレンデア 3 単線・否定(comprender)v.t 理解できなかった「動詞句」

me メ pron 僕を「目的語」

y イ conj. そして

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i 〜だった「動詞」

un poco ウン・ポコ adv. 少し「副詞句」

resentido レンチト adj. 恨んでいる「補語」

conmigo. コンミゴ adv. 僕に対して「副詞」

僕は彼に、自分はほかのみんなと同じだ、まったく同じだとはっきり言いたかった。

Sentía deseos de asegurarle que yo era como todo el mundo, absolutamente como todo el mundo.

「動詞」「目的語」

Sentía センチア 1 単線(sentir)v.t 感じていた「動詞」

deseos デセオス pl.n.m 願望を「目的語」

de asegurarle デ・アセグラル・レ 不定詞・同格 v.t 彼に保証するという「形容詞句」

que ケ conj. 〜ということ「目的語」

yo ジョ pron 僕は「主語」

era エラ 1 単線・時制の一致(ser)v.i 〜である「動詞」

como todo el mundo, コモ・トト・エル・ムント adv. 皆と同じ「補語」

absolutamente アブソルタメンテ adv. まったく「副詞」

como todo el mundo, コモ・トト・エル・ムント adv. 皆と同じ「補語」

しかし、そんなことを言ったところで結局はあまり役には立たない。面倒になってやめた。

Pero todo esto en el fondo no tenía gran utilidad y renuncié por pereza.

Pero 「主語」「副詞句」「動詞句」「目的語」 y 「動詞」「副詞句」

Pero ペロ conj. しかし

todo esto トト・エスト pron このすべては「主語」

en el fondo エン・エル・フォント adv. 根本的に「副詞句」

no tenía ノ・テニア 3 単線・否定(tener)v.t 〜がない「動詞句」

gran utilidad グラン・ウチリダ n.f 大きな有用性「目的語」

y イ conj. そして

renuncié レンシエ 1 単点(renunciar)v.i 放棄した、あきらめた「動詞」

por pereza. ホル・ペレサ adv. (理由) 怠惰のために、面倒なので「副詞句」

Segunda parte 第2部

少ししてから、僕はまた予審判事の前に連れて行かれた。

Poco después me condujeron nuevamente ante el juez de instrucción.

「副詞句」, 「目的語」 「動詞」 「副詞句」

Poco después ポコ・デスプエス adv. 少ししてから

「副詞句」

me メ pron 僕を

「目的語」

condujeron コントゥヘロン 3 複点(conducir)v.t 導いた、連れて行った

「動詞」

受動態に翻訳する

nuevamente ヌエバメント adv. 再び、また

「副詞」

ante アンテ prep (場所) ~の前に

「副詞句」

el juez エル・フエス n.m 判事の

「目的語」

de instrucción. デ・インストルクション adj. (法律) 予審の

「形容詞句」

午後二時だった。今回は、薄い紗のカーテンが光をほぼ素通しして、机は明るかった。

Eran las dos de la tarde, y esta vez el escritorio estaba lleno de luz apenas tamizada por una cortina de gasa.

「動詞」 「補語」 ,y 「副詞句」 「主語」 「動詞」 「補語」

Eran エラン 3 複線(ser)v.i ~だった

「動詞」

las dos ラス・トス pl.n.f (時刻が) 2 時

「補語」

de la tarde, デ・ラ・タルデ adj. 午後の

「形容詞句」

y イ conj. そして

esta vez エスタ・ベス adv. 今回は、今度は

「副詞句」

el escritorio エル・エスクトリオ n.m 机は、事務所は

「主語」

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ~だった

「動詞」

lleno de luz シェノ・デ・ルス adj. 光でいっぱい、溢れた

「補語」

前回は光を通さないカーテンで囲まれて、暗い部屋だった

apenas tamizada アペナス・タミザダ 過去分詞・受動(tamizar)

adj. ほとんどふるいにかけて

「副詞句」

por una cortina de gasa. ポル・ウナ・コルチナ・デ・ガサ

adv. (動作主) 紗のカーテンによって

「副詞句」

cortina コルチナ n.f カーテン gasa ガサ n.f 目の粗い薄布、紗(しゃ)

紗(しゃ) :

織り目がきわめて粗く、軽くて薄い絹織物

ひどく暑かった。

Hacía mucho calor.

「動詞」 「目的語」

Hacía アシア 3 単線・単人称(hacer)v.t (天候) ~だった

「動詞」

mucho calor. ムチョ・カロール n.m ひどい暑さ

「目的語」

Segunda parte 第2部

彼は僕を座らせると、とても丁寧に、「よんどころない事情で」僕の弁護士が来られなかったと教えてくれた。

Me hizo sentar y con suma cortesía me declaró que por "un contratiempo" mi abogado no había podido venir.

「目的語」「動詞」「補語」 y 「副詞句」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Me メ pron 僕を 「目的語」

hizo イ 3 単点・使役(hacer)v.t(+不定詞) ～させた 「動詞」

sentar センタル 不定詞・me の動作 v.t 座らせる 「補語」

y イ conj. そして

con コン prep (手段) ～によって 「副詞句」

suma スマ adj.f(sumo) (+名詞) 最高の 「形容詞」

cortesía コルテシア n.f 礼儀、礼節 「目的語」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

declaró テクラ 3 単点(declarar)v.t 明言した 「動詞」

que ケ conj. ～ということ 「直接目的語」

por "un contratiempo" ホル・ウン・コントライエンポ

adv. (理由) 「よんどころのない事情で」 「副詞句」

contratiempo コントライエンポ n.m 不慮の出来事、不都合、災難

contra- コントラ 接頭辞 「反対」を表す tiempo テイエンポ n.m 時、好機

mi abogado ミ・アボガド n.m 僕の弁護士が 「主語」

no había podido venir. ノ・アビ・ア・ポ・テ・イト・ウ・エニール 3 単線・完了形・可能・否定(poder+不定詞)

v.i 来られなかった 「動詞句」

それでも僕には、判事の質問に答えず、僕の弁護士が付き添うまで待つという権利がある。

Pero tenía derecho de no contestar a sus preguntas y de esperar a que el abogado pudiese asistirme. Pero 「動詞」「目的語」

Pero ペロ conj. しかし

tenía テニア 1 単線・時制の一致(tener)v.t ～がある 「動詞」

derecho テレチョ n.m 権利 「目的語」

de no contestar テ・ノ・コンテスター 不定詞・同格(de+不定詞)

adj. 答えないという 「形容詞句」

a sus preguntas ア・ス・プ・レグンタス adv. 判事の質問に 「間接目的語」

y イ conj. そして

de esperar テ・エスペラル 不定詞・同格(de+不定詞)adj. 待つという 「形容詞句」

a que ア・ケ adv. ～ということ 「間接目的語」

Segunda parte 第2部

el abogado エル・アボガド n.m 僕の弁護士が 「主語」

pudiese asistirme. プディエ・アシチル・メ 接・3 単過・可能・過去における未来推測

(poder+不定詞)v.t 僕に付き添える 「動詞句」

僕は、質問には一人でも答えられると言った。判事は机上のボタンを指で押した。若い書記が現れて、僕のほぼ真後ろに着席した。

Dije que podía contestárselo. Apretó con el dedo un botón sobre la mesa. Un joven escribiente vino a colocarse casi a mis espaldas.

「動詞」「目的語」 | 「動詞」「副詞句」「目的語」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」

Dije ディエ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

podía contestárselo. ポディエ・コンテスター・セ・ロ 1 単線・可能・時制の一致(poder+不定詞)

v.pr 質問に自分一人で答えられる 「動詞句」

Apretó アプレト 3 単点(apretar)v.t (ボタンを) 押した 「動詞」

con el dedo コン・エル・デト adv. (手段) 指で 「副詞句」

un botón ウン・ボトン n.m (器具の) ボタンを 「目的語」

sobre la mesa. ソブレ・ラ・メサ adv. 机上の 「副詞句」

Un joven escribiente ウン・ホベン・エスクリビエンテ n.m 若い書記が 「主語」

vino a colocarse ビノ・ア・コカレ 3 単点・結果(venir a+不定詞)

v.pr やってきて着席した 「動詞句」

casi a mis espaldas. カシ・ア・ミス・エスパルダス adv. 僕の背後に、僕のほぼ真後ろに 「副詞句」

僕たちはそれぞれの肘掛け椅子に落ち着いた。

Nos acomodamos ambos en los sillones. 「動詞句」「主語」「副詞句」

Nos acomodamos ノス・アコモダモス 1 複点(acomodarse)v.pr (場所に) 落ち着いた 「動詞句」

ambos アンボス pron 二人とも 「主語」

en los sillones. エン・ロス・シヨネス adv.(sillón) 肘掛け椅子に 「副詞句」

取り調べが始まった。

Comenzó el interrogatorio. 「動詞」「主語」

Comenzó コメンソ 3 単点(comenzar)v.i 始まった 「動詞」

el interrogatorio. エル・インテロカトリオ n.m 取り調べが、尋問が 「主語」

Segunda parte 第2部

彼はまず、世間では僕のことを口数が少なくてふさがちな性格だと評価していると述べてから、それについて僕の意見を知りたがった。

Me dijo en primer término que se me describía como un carácter taciturno y reservado y quiso saber cuál era mi opinión.

「間接目的語」「動詞」「副詞句」「直接目的語」 y 「動詞句」「目的語」
 Me メ pron 僕に 「間接目的語」
 dijo ディョ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 en primer término エン・プリメル・テルミノ adv. まず最初に 「副詞句」
 最初に en primer lugar, ante todo, primero
 que ケ conj. ～ということ 「直接目的語」
 se セ pron (不特定主語の se) 人は 「主語」
 me メ pron 僕を 「目的語」
 describía デスクリビア 3 単線・時制の一致(describir)
 v.t 特徴を述べている 「動詞」
 como コモ conj. ～のように
 un carácter ウン・カラクテル n.m 性格 「補語」
 taciturno y reservado タシトゥルノ・イ・レセルバド
 adj. 口数が少なくてふさがちんだ 「形容詞句」
 y イ conj. そして
 quiso saber キョ・サベル 3 単点・願望(querer+不定詞)v.t 知りたがった 「動詞句」
 cuál クワル pron (主語) 何であるかということ 「目的語」
 era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」
 mi opinión. ミ・オピニオン n.f 僕の意見 「補語」

僕は答えた：「話すべきことなんてありません。だから黙っているのです」

Respondí: "Nunca tengo gran cosa que decir. Por eso me callo."

「動詞」：《「動詞句」「目的語」 | 「副詞句」「動詞句」》
 Respondí レスポンディ 1 単点(responder)v.i 答えた 「動詞」
 "Nunca tengo ヌンカ・テンコ 1 単現・否定・強調(tener)v.t まったく持っていない 「動詞句」
 gran cosa グラン・コサ n.f (否定文で) 大した事を 「目的語」
 que decir. ケ・デシル adj. 話すべき 「形容詞句」
 Por eso ホル・エソ adv. (理由) それで、だから 「副詞句」
 me callo." メ・カジョ 1 単現(callarse)v.pr 黙っている 「動詞句」

Segunda parte 第2部

彼は最初の時と同様に微笑み、それはもっともな理由ですと同意してから、付け加えた。

Sonrió como la primera vez; estuvo de acuerdo en que era la mejor de las razones, y agregó: 「動詞」「副詞句」; 「動詞」「補語」, y 「動詞」

Sonrió ソンリオ 3 単点(sonreír)v.i 微笑んだ 「動詞」

como la primera vez; コモ・ラ・プリメラ・ベス adv. 最初の時と同様に 「副詞句」

estuvo エストゥボ 3 単点(estar)v.i ~だった 「動詞」

de acuerdo デ・アクエルト adv. (意見の) 一致した 「補語」

en que エン・ケ adv. ~ということに 「間接目的語」

estar de acuerdo con+人 en+事 (意見が) ~と一致している

era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」

la mejor de las razones, ラ・メホル・デ・ラス・ラソネス pron.f 最良の理由 「補語」

y イ conj. そして

agregó: アグレゴ 3 単点(agregar)v.t 付け加えた 「動詞」

「まあ、これはさほど重要な問題ではありません」

"Por otra parte, esto no tiene importancia alguna."

《「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」》

"Por otra parte, ポル・オトラ・パルテ adv. 一方で、(話題転換) 「副詞句」

esto エスト pron これは 「主語」

no tiene ノ・ティエネ 3 単現・否定(tener)v.t ~がない 「動詞句」

importancia alguna." インポルタンシア・アルグナ n.f 別段の重要性 「目的語」

彼は黙り込み、僕を見つめ、突然立ち上がり、早口で僕に言った:「私にとって興味があるのはあなた自身です」

Se calló, me miró y se irguió bruscamente, diciéndome con rapidez: "Quien me interesa es usted." 「動詞句」, 「目的語」「動詞」 y 「動詞句」「副詞」, 「副詞句」:

《「主語」「動詞」「補語」》

Se calló, セ・カジョ 3 単点(callarse)v.pr 黙り込んだ 「動詞句」

me メ pron 僕を 「目的語」

miró ミロ 3 単点(mirar)v.t 見つめた 「動詞」

y イ conj. そして

se irguió セ・イルギオ 3 単点(erguirse)v.pr 立ち上がった 「動詞句」

bruscamente, ブルスカメンテ adv. 急に、突然 「副詞」

diciéndome デ・イシント・メ 現在分詞・結果 adv. そして僕に言った 「副詞句」

con rapidez: コン・ラピデス adv. 早口で 「副詞句」

"Quien キエン pron (主語) ~する人は 「主語」

Segunda parte 第2部

me メ pron 私にとって	「間接目的語」
interesa インテサ 3 単現(interesar)v.t 興味を抱かせる	「動詞」
es エス 3 単現(ser)v.i ~である	「動詞」
usted." ウステ pron あなた	「補語」

その言葉の意味がよく分からなかったもので、僕は何も答えなかった。

No comprendí bien qué quería decir con eso y no contesté nada.

	「動詞句」「副詞」「目的語」 y 「動詞句」「目的語」
No comprendí ノ・コンプレンディ 1 単点・否定(comprender)v.t 分からなかった	「動詞句」
bien ビエン adv. (否定文で) よく、あまり	「副詞」
qué ケ pron 何を~するかを	「目的語」
quería decir ケリア・デシル 3 単線・願望(querer+不定詞)	
v.t 意味する、言いたい	「動詞句」
con eso コン・エソ adv. それで	「副詞句」
y イ conj. それで	
no contesté ノ・コンテステ 1 単点・否定(contestar)v.t 答えなかった	「動詞句」
nada. ナダ pron 何も~ない	「目的語」

「様々なことがあります」と、彼は付け加えた。「あなたの行為の中で、私が理解できないことがあります。私がそれを理解する手助けをしていただきたいのです」

"Hay cosas", agregó, "que no entiendo en su acto. Estoy seguro de que usted me ayudará a comprenderlas." 《「動詞」「目的語」》, 「動詞」, 《「形容詞節」 | 「動詞」「補語」》

"Hay アイ 3 単現(haber)v.t ~がある	「動詞」
cosas", コサス pl.n.f 様々なことが	「目的語」
agregó, アグレゴ 3 単点(agregar)v.t 付け加えた	「動詞」
"que ケ pron (目的語) ~すること	「形容詞節」
no entiendo ノ・エンチント 1 単現・否定(entender)v.t 理解できない	「動詞句」
en su acto. エン・ス・アクト adv. あなたの行為について	「副詞句」
Estoy エストイ 1 単現(estar)v.i ~である	「動詞」
seguro セグロ adj.(de を) 確信した	「補語」
de que デ・ケ adv. ~ということ	「副詞節」
usted ウステ pron あなたは	「主語」
me メ pron 私を	「目的語」
ayudará a comprenderlas." アジ ユダラ・ア・コンプレンデール・ラス 3 単未・依頼・~する	
(ayudar a+不定詞)v.t それらを理解する手助けをするだろう	「動詞句」

Segunda parte 第2部

すべてまったく単純だと僕は答えた。

Dije que todo era muy simple.

「動詞」「目的語」

Dije ディェ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

todo トド pron すべてが

「主語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である

「動詞」

muy simple. ムイ・シンプレ adj. まったく単純な

「補語」

彼は僕に、あの日のことを詳細に述べるようにと促した。

Me apremió para que describiese el día.

「目的語」「動詞」「副詞節」

Me メ pron 僕を

「目的語」

apremió アプレミオ 3 単点(apremiar)v.t 催促した、急がせた

「動詞」

para que +接続法 パラ・ケ conj. (目的) ～するように、～するために

「副詞節」

describiese デスクリビエ 接・1 単過・時制の一致・願望(describir)

v.t 叙述する、描写する

「動詞」

→ 詳しく述べることを望んだ

el día. エル・ディア n.m あの日のことを

「目的語」

僕はすでに彼のために要約して話していたことをもう一度彼に話して聞かせた。

Le relaté lo que ya le había contado, resumido para él:

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Le レ pron 彼に

「間接目的語」

relaté レラテ 1 単点(relatar)v.t 物語った、報告した

「動詞」

lo ロ pron それを

「直接目的語」

que ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

ya ヤー adv. すでに

「副詞」

le レ pron 彼に

「間接目的語」

había contado, アビア・コンタド 1 単線・完了形(contar)v.t 話していた

「動詞句」

resumido レスミト 1 単線・完了形(resumir)v.t 要約した

「動詞句」

para él: パラ・エル adv. 彼のために

「副詞句」

Segunda parte 第2部

レーモンのこと、浜辺、海水浴、乱闘、また浜辺、小さな泉、太陽、そしてリボルバーの5回の発射。

Raimundo, la playa, el baño, la reyerta, otra vez la playa, el pequeño manantial, el sol y

los cinco disparos de revólver. 「目的語」

Raimundo, ライムント^ㇿ n.m レーモンのことを 「目的語」

la playa, ラ・プラジャ^ㇿ n.f 浜辺 「目的語」

el baño, エル・バンニョ^ㇿ n.m 海水浴 「目的語」

la reyerta, ラ・レシエルト^ㇿ n.f 乱闘 「目的語」

otra vez la playa, オトラ・ベス・ラ・プラジャ^ㇿ n.m また浜辺 「目的語」

el pequeño manantial, エル・ペケニョ・マナンティアル^ㇿ n.m 小さな泉 「目的語」

el sol エル・ソル^ㇿ n.m 太陽 「目的語」

y

los cinco disparos ロス・シニコ・ディスパ^ㇿロス pl.n.m 5回の発射 「目的語」

de revólver. デ・レホルベール^ㇿ adj. リボルバーの 「形容詞句」

僕の言葉の区切りごとに、彼は言った：「なるほど、なるほど」そして話が、死体が横たわった所まで来ると、彼はうなずいて言った：「よろしい」

A cada frase decía: "Bien, bien." Cuando llegué al cuerpo tendido, aprobó diciendo:

"Bueno." 「副詞句」「動詞」：《「間投」》 | 「副詞節」, 「動詞句」：《「間投」》

A cada frase ア・カダ・フラセ^ㇿ adv. (時点) 語句ごとに 「副詞句」

decía: デシア^ㇿ 3単線(decir)v.t 言った 「動詞」

"Bien, bien." ビエン・ビエン^ㇿ adv. (間投詞的・肯定) なるほど、よろしい 「間投」

Cuando クワント^ㇿ conj. ~するときに 「副詞節」

llegué シェガ^ㇿ 1単点(llegar)v.i 到達した 「動詞」

al cuerpo アル・ケルポ^ㇿ adv. (話の地点) 死体のところまで 「副詞句」

tendido, テンディト^ㇿ 過去分詞(tender)adj. 横たわった 「形容詞」

aprobó アプロボ^ㇿ 3単点(aprobar)v.t 同意した、承認した 「動詞」

diciendo: デイシエント^ㇿ 現在分詞・継続(decir)v.t そして言った 「動詞句」

"Bueno." ブェノ^ㇿ int. よろしい 「間投」

Segunda parte 第2部

僕は同じ話を何度も繰り返さなければならないことに飽きてしまった。そして、こんなに話したことは今までにないと思った。

Me sentía cansado de tener que repetir la misma historia y me parecía que nunca había hablado tanto. 「動詞句」「補語」 y 「間接目的語」「動詞」「主語」

Me sentía メ・センチア 1 単線(sentirse)v.pr 自分が〜だと感じた 「動詞句」

cansado カサド adj.(de に) 飽きた、疲れた 「補語」

de +不定詞 デ adv. (原因) 〜することに 「副詞句」

tener que repetir テネル・ケ・レピティール 不定詞・必要

v.t 繰り返さなければならない 「動詞句」

la misma historia ラ・ミスマ・イストリア n.f 同じ話を 「目的語」

y イ conj. そして

me メ pron 僕にとっては 「間接目的語」

parecía パレシア 3 単線(parecer)v.i 〜と思われた 「動詞」

que ケ conj. 〜ということが 「主語」

nunca había hablado ヌンカ・アビア・アブラト 1 単線・完了形・否定(hablar)

v.i 一度も話したことがなかった 「動詞句」

tanto. タント adv. これほど多く 「副詞」

彼は少し黙り込んでから、立ち上がって言った。僕の手助けをしたい、僕が彼の関心を引き、神のご加護があれば、僕のために何かを出来るだろう。

Después de un silencio se levantó y me dijo que quería ayudarme, que yo le interesaba, y que, con la ayuda de Dios, haría algo por mí.

「副詞句」「動詞句」 y 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Después de デスプ°エス・デ prep (順序・時間) 〜の後で 「副詞句」

un silencio ウン・シレンシオ n.m 沈黙 「目的語」

se levantó セ・レバント 3 単点(levantarse)v.pr 立ち上がった 「動詞句」

y イ conj. そして

me メ pron 僕に 「間接目的語」

dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

que ケ conj. 〜ということを 「直接目的語」

quería ayudarme, クリア・アジュガル・メ 3 単線・願望(querer+不定詞 ayudar+me)

v.t 僕の手助けをしたい 「動詞句」

que ケ conj. 〜ということを 「直接目的語」

yo ジョ pron 僕は 「主語」

le レ pron 彼の 「目的語」

interesaba, インテレサバ 1 単線・時制の一致(interesar)v.t 関心を引く 「動詞」

Segunda parte 第2部

y イ conj. そして

que, ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

con la ayuda de Dios, コン・ラ・アジュダ・デ・ディオス

adv. (条件) 神のご加護があれば

「副詞句」

haría アリア 3 単過未・推量(hacer)v.t 出来るだろう

「動詞」

algo アルゴ pron 何かを

「目的語」

por mí. ホルミ adv. 僕のために

「副詞句」

しかしその前に、僕にまだいくつか質問したいと言った。間髪を入れず、母さんを愛しているかと尋ねた。

Pero antes quería hacerme aún algunas preguntas. Sin transición me preguntó si quería a mamá.

Pero 「副詞」「動詞句」「副詞」「目的語」 | 「副詞句」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Pero ペロ conj. しかし

antes アンテス adv. (順序) 先に、その前に

「副詞」

quería hacerme クリア・アセル・メ 3 単線・願望(querer+不定詞 hacer+me)

v.t 僕に～を希望した

「動詞句」

aún アウン adv. まだ、さらに

「副詞」

algunas preguntas. アルグナス・プレグンタス pl.n.f いくつかの質問を

「目的語」

Sin transición シン・トランジション adv. 間髪を入れず、間を置かずに

「副詞句」

transición トランジション n.f 推移、移り変わり

me メ pron 僕に

「間接目的語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞」

si シ conj. ～かどうかということを

「直接目的語」

quería クリア 1 単線・時制の一致(querer)v.t 愛している

「動詞」

a mamá. ア・ママ n.f 母さんを

「目的語」

Segunda parte 第2部

僕は答えた。「はい、皆と同じです」すると、ずっと一定のリズムでタイプを打っていた書記がキーを打ち間違えたに違いない。彼は戸惑った後、打ち直さなければならなかったから。

Dije: "Sí, como todo el mundo" y el escribiente, que hasta aquí escribía con regularidad en la máquina, debió de equivocarse de tecla, pues quedó confundido y tuvo que volver atrás.

「動詞」:《「応答」》y「主語」「動詞句」「間接目的語」,「副詞節」

Dije: ティエイ 1 単点(decir)v.t 答えた、言った

「動詞」

"Sí, シ adv. はい

「応答」

como todo el mundo" コモ・トド・エル・ムンド adv. みんなと同じに

「副詞句」

y イ conj. すると

el escribiente, エル・エスクリビエンテ n.m 書記が

「主語」

que ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

hasta aquí アスタ・アキ adv. これまで、今まで

「副詞句」

escribía エスクリビア 3 単線・継続(escribir)v.t 書いていた

「動詞」

con regularidad コン・レグラリタド adv. 規則正しく

「副詞句」

en la máquina, エン・ラ・マキナ adv. タイプライターで

「副詞句」

debió de equivocarse デビエ・オ・デ・エキボ・カレ 3 単点・推定(deber de+不定詞 equivocarse)

v.pr(de を) 間違えたに違いない

「動詞句」

de tecla, デ・テクラ adv. キーを

「間接目的語」

pues プエス conj. ~なので

「副詞節」

quedó クエ 3 単点(quedar)v.i (〜の状態に) なった

「動詞」

confundido コンフンディト 過去分詞(confundir)adj. 戸惑った、混乱した

「補語」

y イ conj. そして

tuvo que volver トゥボ・ケ・ボルベール 3 単点・必要(tener que+不定詞)

v.i 戻らなければならなかった

「動詞句」

atrás. アトラス adv. 後ろへ

「副詞」

Segunda parte 第2部

相変わらず事件の背景が曖昧の状態で、判事はそこで僕に、リボルバーの 5 発は続けざまに撃ったのかどうかを尋ねた。

Siempre sin lógica aparente, el juez me preguntó entonces si había disparado los cinco tiros de revólver uno tras otro.

「副詞句」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞」 「副詞」 「直接目的語」

Siempre シエンプレ adv. 相変わらず

「副詞」

sin シン prep (様態) ～なしで

「副詞句」

lógica aparente, ロヒカ・アパレンテ n.f 明らかな推論

「目的語」

lógica ロヒカ n.f 理にかなった推論、論理 aparente アパレンテ adj. 明らかな

lógico ロヒコ adj. ([女単] lógica) 論理的な、道理にかなった

el juez エル・フエス n.m 判事は

「主語」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞」

entonces エントネス adv. その時

「副詞」

si シ conj. ～かどうかということ

「直接目的語」

había disparado アヒア・デイスパラト 1 単線・完了形(disparar)

v.t 発射した

「動詞句」

los cinco tiros ロス・シンコ・チロス pl.n.m 5 発を

「目的語」

tiro チロ n.m 発射、発砲

de revólver テ・レボルバー adj. リボルバーの

「形容詞句」

uno tras otro. ウノ・トラス・オトロ adv. 次々に、連続して、一つ一つ

「副詞句」

僕は少し考えてから、最初は一発だけ撃ち、数秒後に、残りの四発を発射したと説明した。

Reflexioné y precisé que había disparado primero una sola vez y, después de algunos segundos, los otros cuatro disparos.

「動詞」 y 「動詞」 「目的語」

Reflexioné レフレクシオネ 1 単点(reflexionar)v.i 熟考した

「動詞」

y イ conj. そして

precisé プレシセ 1 単点(precisar)v.t 明確にした

「動詞」

que ケ conj. ～ということ

「目的語」

había disparado アヒア・デイスパラト 1 単線・完了形(disparar)v.t 発射した

「動詞句」

primero プリメロ adv. 最初に

「副詞」

una sola vez ウナ・ソラ・ベス adv. 一度だけ

「副詞句」

y, イ conj. そして

después de algunos segundos, デスプエス・デ・アルグノス・セグントス

adv. 数秒後に

「副詞句」

los otros cuatro disparos. ロス・オトロス・クエトロ・デイスパロス pl.n.m 残りの 4 発を

「目的語」

Segunda parte 第2部

「どうしてあなたは、1 発目と 2 発目の間に時間を取ったのですか？」と、そこで尋ねた。

"¿Por qué esperó usted entre el primero y el segundo disparo?", dijo entonces.

《「副詞句」「動詞」「主語」「副詞句」》, 「動詞」「副詞」

"¿Por qué ポル・ケ adv. どうして 「副詞句」

esperó エスパロ 3 単点(esperar)v.i 待った 「動詞」

usted ウステ pron (三人称単数敬称) あなたは 「主語」

entre エントレ prep (時間) ~の間で 「副詞句」

el primero エル・プリメロ n.m 1 発目 「目的語」

y イ conj. そして

el segundo disparo?", エル・セグント・デイスパロ n.m 2 発目 「目的語」

dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

entonces. エントネス adv. そこで 「副詞」

また、あの赤い浜辺が僕の脳裏によみがえり、僕は額に焼けつくような太陽の熱を感じた。

De nuevo revivió en mí la playa roja y sentí en la frente el ardor del sol.

「副詞句」「動詞」「副詞句」「主語」 y 「動詞」「副詞句」「目的語」

De nuevo デ・ヌエボ adv. 再び、また 「副詞句」

revivió レビビオ 3 単点(revivar)v.i よみがえった 「動詞」

en mí エン・ミ adv. 僕の中に、僕の脳裏に 「副詞句」

la playa roja ラ・プラジャ・ロハ n.f あの赤い浜辺が 「主語」

y イ conj. そして

sentí センチ 1 単点(sentir)v.t 感じた 「動詞」

en la frente エン・ラ・フレンテ adv. 額に 「副詞句」

el ardor エル・アルトール n.m (焼けつくような) 熱さを 「目的語」

del sol. デル・ソル adj. 太陽の 「形容詞句」

しかし、今回は何も答えなかった。

Pero esta vez no contesté nada.

Pero 「副詞句」「動詞句」「目的語」

Pero ペロ conj. しかし

esta vez エスタ・ベス adv. 今回は 「副詞句」

no contesté ノ・コンステス 1 単点・否定(contestar)v.t 答えなかった 「動詞句」

nada. ナダ pron 何も～ない 「目的語」

Segunda parte 第2部

しばらく沈黙が続く間中、判事は動揺しているように見えた。

Durante todo el silencio que siguió, el juez pareció agitarse.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」

Durante todo el silencio トゥランテ・トド・エル・シレンシオ adv. 沈黙の間中

「副詞句」

que ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

siguió, シギョ 3 単点(seguir)v.i 続いた

「動詞」

el juez エル・フエス n.m 判事は

「主語」

pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i(+不定詞) ~するように見えた

「動詞句」

agitarse. アヒタルセ 不定詞 v.pr 動揺している

「動詞句」

彼は腰かけて、両手で髪をかき上げ、机に両肘をつくと、奇妙な表情をして僕のほうに体を傾けて言った：「どうして、どうして、あなたは倒れた相手を撃ったのですか？」

Se sentó, se revolvió el pelo con las manos, apoyó los codos en el escritorio, y con extraña expresión se inclinó hacia mí: "¿Por qué, por qué disparó usted contra un cuerpo caído?"

「動詞句」, 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」, 「動詞」 「目的語」 「副詞句」,

y 「副詞句」 「動詞句」 「副詞句」: 《「副詞句」 「動詞」 「主語」 「間接目的語」》

Se sentó, セ・セント 3 単点(sentarse)v.pr 腰かけた

「動詞句」

se revolvió セ・レボルビョ 3 単点(revolverse)v.pr (自分の体の一部を) かきまぜた

「動詞句」

el pelo エル・ペロ n.m 髪の毛を

「目的語」

con las manos, コン・ラス・manos adv. (手段) 両手で

「副詞句」

apoyó アポヨ 3 単点(apoyar)v.t もたせかけた

「動詞」

los codos ロス・コトス pl.n.m 両肘を

「目的語」

en el escritorio, エン・エル・エスクリトリオ adv. 机の上に

「副詞句」

y イ conj. そして

con extraña expresión コン・エクストラニャ・エクスプレシオン adv. (様態) 奇妙な表情で

「副詞句」

se inclinó セ・インクリノ 3 単点(inclinarse)v.pr (体を) 傾けた

「動詞句」

hacia mí: アシア・ミ adv. 僕のほうに

「副詞句」

"¿Por qué, ホル・ケ adv. どうして

「副詞句」

por qué ホル・ケ adv. どうして

「副詞句」

disparó デイスパロ 3 単点(disparar)v.i (銃を) 発射した

「動詞」

usted ウステ pron (三人称単数敬称) あなたは

「主語」

contra コントラ prep (対立) ~に対して

「間接目的語」

un cuerpo ウン・クエルポ n.m 身体、死体

「目的語」

caído?" カイド adj. 倒れた

「形容詞」

Segunda parte 第2部

これにもまた、答えられなかった。

Tampoco a esto supe responder.

「間接目的語」「動詞句」

Tampoco a esto タンポコ・ア・エスト adv. これにもまた～ない

「間接目的語」

supe responder. スペ・レスポ・ンデール 1 単点・可能・否定文(saber+不定詞 responder)

v.i(a に) 答えられなかった

「動詞句」

判事は両手で額をこすり、少し動揺した声で、質問を繰り返した：「どうしてですか？ぜひ答えてください。どうして？」僕は黙まり続けていた。

El juez se pasó las manos por la frente y repitió la pregunta con voz un poco alterada:

"¿Por qué? Es preciso que usted me lo diga. ¿Por qué?" Yo seguía callado.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 y 「動詞」「目的語」「副詞句」:

《「副詞句」 | 「動詞」「補語」「主語」 | 「副詞句」》, 「主語」「動詞」「補語」

El juez エル・フエス n.m 判事は

「主語」

se pasó セ・パソ 3 単点(pasarse)v.pr (自分の体を)～でなでた

「動詞句」

las manos ラス・マノス pl.n.f 手で

「目的語」

por la frente ホル・ラ・フレンテ adv. 額を

「副詞句」

y イ conj. そして

repitió レピティオ 3 単点(repetir)v.t 繰り返した

「動詞」

la pregunta ラ・プレグンタ n.f 質問を

「目的語」

con voz コン・ボス adv. (voz ホス n.f) 声で

「副詞句」

un poco alterada: ウン・ポ・コ・アルテラダ 過去分詞.f(alterar) 少し動揺した「形容詞句」

"¿Por qué? ホル・ケ adv. どうして?

「副詞句」

Es エス 3 単現(ser)v.i ～である

「動詞」

preciso プレシソ adj. 必要な

「補語」

que ケ conj. ～ということが

「主語」

「必要」という、価値判断に対応する従属節は接続法を使用する

usted ウステ pron (三人称単数敬称) あなたが

「主語」

me メ pron 私に

「間接目的語」

lo ロ pron それを

「直接目的語」

diga. ティガ 接・3 単現(decir)v.t 言う

「動詞」

¿Por qué?" ホル・ケ adv. どうして

「副詞句」

Yo ジョ pron 私は

「主語」

seguía セギア 1 単線・継続(seguir+過去分詞) ～し続けた

「動詞」

callado. カジャト 過去分詞(callar)adj. 黙った

「補語」

Segunda parte 第2部

seguir+現在分詞・過去分詞・形容詞 ～し続ける、～であり続ける

ある時点における継続の強調を表す

Sigue **lloviendo**. 雨が降り続けている。Sigue **rota** la bicicleta. 自転車は壊れたままだ。Mis ojos seguían **fijos** en ella. 私の視線は彼女に注がれたままだった。

不意に彼は立ち上がり、大股で執務室の端まで行って、書類戸棚の引き出しを開けた。

Bruscamente se levantó, se dirigió a grandes pasos hacia un extremo del despacho y abrió el cajón de un archivo. 「副詞」「動詞句」, 「動詞句」「副詞句」 y 「動詞」「目的語」

Bruscamente ブルスカメンテ adv. 突然、不意に 「副詞」

se levantó, セ・レバント 3 単点(levantarse)v.pr 立ち上がった 「動詞句」

se dirigió セ・ディリヒョ 3 単点(dirigirse)v.pr 向かった 「動詞句」

a grandes pasos ア・グランデス・パソス adv. 大股で 「副詞句」

hacia un extremo アシ・ウン・エクストレモ adv. 端のほうに 「副詞句」

del despacho デル・デスパチョ adj. 執務室の 「形容詞句」

y イ conj. そして

abrió アブリオ 3 単点(abrir)v.t 開けた 「動詞」

el cajón エル・カホン n.m 引き出しを 「目的語」

de un archivo. デ・ウン・アルチャーボ adj. 書類戸棚の 「形容詞句」

彼は引き出しからキリスト像のついた銀の十字架を取り出し、それを僕の方へ向けて振り上げた。

Extrajo de él un crucifijo de plata que blandió volviendo hacia mí.

「動詞」「副詞句」「目的語」, 「目的語」「動詞」「副詞句」

Extrajo エクストラホ 3 単点(extraer)v.t 取り出した 「動詞」

de él デ・エル adv. (cajón の代用) 引き出しから 「副詞句」

un crucifijo ウン・クルフィホ n.m (キリスト像のついた) 十字架を 「目的語」

de plata デ・プラタ adj. (材料) 銀の 「形容詞句」

que ケ pron (目的語) (継続) それを～する 「形容詞節」

blandió ブランディョ 3 単点(blandir)v.t 振り上げた 「動詞」

volviendo ボルビエント 現在分詞・同時(volver)

v.t(hacia の方へ) 向けながら 「副詞句」

hacia mí. アシ・ミ adv. 僕の方へ 「副詞句」

Segunda parte 第2部

今度は一変してほとんど震えるような声で叫んだ：「この方をご存知ですか」僕は答えた。
「はい、もちろん」

Y con voz enteramente cambiada, casi trémula, gritó: "¿Conoce usted a Este?" Dijo: "Sí, naturalmente." Y 「副詞句」「動詞」：《「動詞」「主語」「目的語」》, 「動詞」, 《「応答」》
Y イ conj. そして

con voz enteramente cambiada, コン・ボス・エンテラメンテ・カンビェダ

adv. 今までと全く異なる声の調子で

「副詞句」

enteramente エンテラメンテ adv. すっかり、完全に

cambiada カンビェダ adj.f(cambiado) 変わった、様子が変わった

casi trémula, カシ・トレムラ adj.f ほとんど震えるような

「形容詞句」

gritó: グリト 3 単点(gritar)v.i 叫んだ

「動詞」

"¿Conoce コネ 3 単現・疑問文(conocer)v.t 知っていますか

「動詞」

usted ウステ pron (三人称単数敬称) あなたは

「主語」

a Este? ア・エステ pron この人を

「目的語」

Dijo: ディハ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

"Sí, naturalmente." シ・ナトゥラルメンテ adv. はい、もちろん

「応答」

すると彼は非常に早口でそして情熱的な口調で僕に言った。彼は神を信じており、神が許さないほど罪深い人間はいないと確信している。しかしそのためには、悔悟によってすべてを受け入れる用意のできた空の魂を持つ子供のように変わらなければならないと言うのだ。

Entonces me dijo muy de prisa y de un modo apasionado que él creía en Dios y que estaba convencido de que ningún hombre era tan culpable como para que Dios no lo perdonase, pero que para eso era necesario que el hombre, por su arrepentimiento, se volviese como un niño cuya alma está vacía y dispuesta a aceptarlo todo.

「副詞」「間接目的語」「動詞」「副詞句」「直接目的語」y 「直接目的語」, pero 「直接目的語」

Entonces エントンス adv. それで、すると

「副詞」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

dijo ディハ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

muy de prisa ムィ・デ・プリサ adv. 大急ぎで、非常に早口で

「副詞句」

y イ conj. そして

de un modo apasionado デ・ウン・モト・アパッショナト adv. 情熱的な口調で

「副詞句」

que ケ conj. ～ということ

「直接目的語」

él エル pron 彼は

「主語」

creía クレイ 3 単線・時制の一致(creer)v.i 信じている

「動詞」

en Dios エン・ディオス adv. 神の存在を

「間接目的語」

y イ conj. そして

Segunda parte 第2部

que ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
estaba エスタハ 1 単線・時制の一致(estar)v.i ～である	「動詞」
convencido コンベンシト adj. 確信した	「補語」
de que デ・ケ adv. ～ということに	「副詞節」
ningún hombre ニンゲン・オンブレ n.m. どんな人間も～ない	「主語」
era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である	「動詞」
tan culpable タン・クルパブレ adj. それほど罪深い	「補語」
como para que コモ・パラ・ケ adv. ～するほど	「副詞節」
Dios デイオス n.m. 神が	「主語」
no ...perdonase, ノ...ペルトナセ 接・3 単過・否定・推測(perdonar) v.t 許さない	「動詞」
lo ロ pron その人を	「目的語」
pero ペロ conj. しかし	
que ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
para eso パラ・エソ adv. そのためには(神が許す)	「副詞句」
era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である	「動詞」
necesario ネセサリオ adj. 必要な	「補語」
que ケ conj. ～ということが	「主語」
el hombre, エル・オンブレ n.m. その人は	「主語」
por su arrepentimiento, ホル・ス・アレペンチメント adv. (手段) 悔悟によって	「副詞句」
se volviese セ・ボルビエセ 接・3 単過(volverse)v.pr ～に変わる	「動詞句」
como un niño コモ・ウン・ニョ adv. 子供のように	「補語」
cuya alma クヤ・アルマ adj. その魂が～する	「形容詞節」
está エスタ 3 単現(estar)v.i ～である	「動詞」
vacía バシア adj.f (中身が) からの	「補語」
y イ conj. そして	
dispuesta デイスプエスタ adj.f(a+不定詞 ～する) 用意のできた	「補語」
a aceptarlo todo. ア・アセプタル・ロ・ト adv. すべてを受け入れる	「副詞句」

Segunda parte 第2部

彼は全身で机の上にかぶさってきて、ほとんど僕の頭上で十字架を振り回した。

Se había inclinado con todo el cuerpo sobre la mesa. Agitaba el crucifijo casi sobre mí.

「動詞句」「副詞句」 | 「動詞」「目的語」「副詞句」

Se había inclinado セ・アビ・ア・インクリナド 3 単線・完了形(inclinarse)v.pr 身をかがめた「動詞句」

con todo el cuerpo コン・トド・エル・ケルポ adv. 全身で 「副詞句」

sobre la mesa. ソブレ・ラ・メサ adv. 机の上に 「副詞句」

Agitaba アヒタバ 3 単線(agitar)v.t 振った 「動詞」

el crucifijo エル・クルシフィヨ n.m (キリスト像のついた) 十字架を 「目的語」

casi sobre mí. カシ・ソブレ・ミ adv. ほとんど僕の頭上で 「副詞句」

実を言うと、僕は彼の理屈にほとんどついて行けなかった。なぜなら、まず暑かったから、そして数匹のウマバエが僕の顔にとまったから、その上、僕は判事が少し怖かったから。

A decir verdad, yo había seguido muy mal su razonamiento, ante todo porque tenía calor, porque unos moscardones se posaban en mi cara, y también porque me atemorizaba un poco.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」, 「副詞句」

A +不定詞 ア adv. (条件) ~すると 「副詞句」

decir デシール 不定詞 v.t 言う 「動詞」

verdad, ベルダ n.f 真実を 「目的語」

→ 本当のことを言うと、実を言うと

yo ジョ pron 僕は 「主語」

había seguido アビ・ア・セギト 1 単線・完了形(seguir)v.t ついていった 「動詞句」

muy mal ムイ・マル adv. (否定) 非常に悪く、ほとんど~ない 「副詞句」

su razonamiento, ス・ラサニメント n.m 彼の理屈に 「目的語」

ante todo アンテ・トド adv. まず第一に、何よりも 「副詞句」

porque ポル conj. ~なので 「副詞節」

tenía テニア 1 単線・慣用表現(tener)v.t (+無冠詞名詞) ~だった 「動詞」

calor, カール n.m 暑さ 「目的語」

→ 暑かった

tener frío 寒い

Ayer yo tenía dolor de cabeza. 昨日私は頭が痛かった。

Mi madre tiene miedo de caer enferma. 母は病気になるのを心配している。

porque ポル conj. ~なので 「副詞節」

unos moscardones ウノス・モスカルトネス pl.n.m (昆虫) 数匹のウマバエが 「主語」

se posaban セ・ポサバン 3 複線(posarse)v.pr (鳥などが) とまった 「動詞句」

en mi cara, エン・ミ・カラ adv. 僕の顔の上に 「副詞句」

y イ conj. そして

Segunda parte 第2部

también porque	タンビエン・ポルケ conj.	同様に～なので	「副詞節」
me	メ	僕を	「目的語」
atemorizaba	アテモリサバ	3 単線(atemorizar)	
	v.t	怯えさせていた	「動詞句」
un poco.	ウン・ポコ adv.	少し	「副詞句」

フランス語原文では :

そして彼の部屋には大きなハエが何匹もいて僕の顔に止まっていたから。そしてまた、僕は判事が少し怖かったから。

et qu'il y avait dans son cabinet de grosses mouches qui se posaient sur ma figure, et aussi parce qu'il me faisait un peu peur.

この il は単数形なので mouches (複数のハエ) ではなく「判事」を表す。

ウマバエ :

日本国内で見られるハエは体長が 5~12mm だが、ウマバエは体長が 12~20mm の大型のハエで、馬の前肢前面の毛に産卵する。その後、ウマがその部分をなめることによってウマの口に入り、口腔粘膜を経て胃に運ばれ、胃壁に寄生する。老熟後糞とともに排泄され、土中で蛹化して、3~10 週間後に新成虫が羽化する。

僕は同時に、おかしい話だと思った。結局、犯罪者は僕なのだから。それでも彼は続けた。

Me daba cuenta al mismo tiempo de que era ridículo porque yo era el criminal. después de todo. Sin embargo, continuó.

「動詞句」「目的語」 | 「副詞句」「動詞」

Me daba cuenta al mismo tiempo de メ・ダバ・クエンタ・アル・ミスモ・ティエンポ・デ

1 単線(darse cuenta de+ al mismo tiempo)v.t 同時に～に気付いた、分かった「動詞句」

al mismo tiempo アル・ミスモ・ティエンポ adv. 同時に

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」

ridículo リディクロ adj. ばかげた、おかしい 「補語」

porque ポルケ conj. ～なので 「副詞節」

yo ジョ pron 僕が 「主語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」

el criminal, エル・クリミナル n.m 犯罪者 「補語」

después de todo. デ・スプ・エス・デ・トト adv. 結局 「副詞句」

Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. それでも 「副詞句」

continuó. コンチヌオ 3 単点(continuar)v.i 続けた 「動詞」

Segunda parte 第2部

僕は大体理解した。彼の意見によれば、僕の陳述では、1点だけが曖昧だというのだ：それは、僕がリボルバーの2発目を撃つために待った行為についてだった。

Comprendí más o menos que en su opinión no había más que un punto oscuro en mi confesión: era el hecho de haber esperado para tirar el segundo disparo de revólver.

「動詞」「副詞句」「目的語」：「動詞」「補語」

Comprendí コンプレンディ 1 単点(comprender)v.t 理解した、分かった 「動詞」

más o menos マス・オ・メノス adv. 多少なりとも、大体は 「副詞句」

que ケ conj. ～ということ 「目的語」

en su opinión エン・ス・オピニオン adv. 彼の意見によれば 「副詞句」

no había ノ・アビア 3 単線・否定(haber)v.t ～がない 「動詞句」

más マス adv. これ以上 「副詞」

que ケ conj. (比較) ～以上 「副詞句」

un punto oscuro ウン・プント・オスクロ n.m 不確かな1点 「目的語」

en mi confesión: エン・ミ・コンフェシオン adv. 僕の供述では 「副詞句」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」

el hecho エル・エチョ n.m 行為 「補語」

de haber esperado テ・アベール・エスパラト 不定詞・完了形・同格(esperar)

adj. 待ったという 「形容詞句」

para tirar パラ・チラル 不定詞・目的 adv. 発射するために 「副詞句」

el segundo disparo エル・セグント・ディスポロ n.m 2 発目を 「目的語」

de revólver. テ・レボルベール adj. リボルバーの 「形容詞句」

他の部分はよく分かった。しかし、僕がどうして間を開けたのかが理解できなかったのだ。

El resto estaba muy bien, pero él no comprendía por qué había esperado.

「主語」「動詞」「補語」,pero「主語」「動詞句」「目的語」

El resto エル・レスト n.m 残りは、その他は 「主語」

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ～だった 「動詞」

muy bien, ムイ・ビエン adv. とても良く (分かった) 「補語」

pero ペロ conj. しかし

él エル pron 彼は 「主語」

no comprendía ノ・コンプレンディア 3 単線・否定(comprender)v.t 分からなかった 「動詞句」

por qué ホル・ケ conj. どうして～かということ 「目的語」

había esperado. アビア・エスパラト 1 単線・完了形(esperar)v.i 待った 「動詞句」

Segunda parte 第2部

僕は彼にこだわるのは間違いだと言おうとした:《その最後の点はあまり重要ではない》と。

Iba a decirle que hacía mal en obstinarse: el último punto no tenía tanta importancia.

「動詞句」「目的語」:《「主語」「動詞句」「目的語」》

Iba a decirle イバ・ア・デシール・レ 1 単線・近接未来(ir a+不定詞 decir+le)

v.t 彼に言おうとした

「動詞句」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

hacía アシア 3 単線・時制の一致(hacer)v.i (動作を) している

「動詞」

mal マル adv. 不適切に

「副詞」

en obstinarse: エン・オステイナルセ adv. 意地になって、こだわって

「副詞句」

el último punto エル・ウルチモ・プント n.m その最後の点は

「主語」

no tenía ノ・テニア 3 単線・否定(tener)v.t ～がない

「動詞句」

tanta importancia. タンタ・インポルタンシア n.f (否定文で) それほどの重要性が

「目的語」

だが彼は僕を遮り、体を乗り出して立ち上がり、神を信じているかと尋ねて僕を説得した。

Pero me interrumpió y me exhortó por última vez, irguiéndose entero, y preguntándome si creía en Dios.

Pero 「目的語」「動詞」 y 「目的語」「動詞」「副詞句」

Pero ペロ conj. しかし

me メ pron 僕を

「目的語」

interrumpió インテルピオ 3 単点(interrumpir)v.t ～の話を遮った

「動詞」

y イ conj. そして

me メ pron 僕を

「目的語」

exhortó エキョルト 3 単点(exhortar)v.t 説得した

「動詞」

por última vez, ホル・ウルチマ・ベス adv. 最後に

「副詞句」

irguiéndose イルギエントセ 現在分詞・同時(erguirse)adv. 立ち上がって

「副詞句」

entero, エンテロ adj. (強調) 全身で

「副詞」

y イ conj. そして

preguntándome プレグンタント・メ 現在分詞・同時(preguntar+me)

adv. 僕に問いかけて

「副詞句」

si シ conj. ～かどうかということを

「目的語」

creía クレイ 1 単線・時制の一致(creer)

v.i(en ～の存在を) 信じている

「動詞」

en Dios. エントス adv. 神を

「間接目的語」

Segunda parte 第2部

僕は信じていないと答えた。彼は苛ついた様子で腰を下ろした。

<u>Contesté que no. Se sentó indignado.</u>	「動詞」「目的語」 「動詞句」「副詞」
Contesté コンテスト 1 単点(contestar)v.t 答えた	「動詞」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
no. ノ adv. (否定) 信じていない	「動詞句」
Se sentó セ・セント 3 単点(sentarse)v.pr 座った、腰を下ろした	「動詞句」
indignado. インディグナド 過去分詞(indignar)adj. (副詞的) 憤慨して	「副詞」

彼は僕に言った。そんなことは有り得ない。誰もが神を信じている。たとえ神に背を向ける人であっても神を信じている。

<u>Me dijo que era imposible, que todos los hombres creían en Dios, aun aquellos que le volvían la espalda.</u>	「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
Me メ pron 僕に	「間接目的語」
dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
que ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である	「動詞」
imposible, インポシブル adj. ありえない、不可能な	「補語」
que ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
todos los hombres トロス・ロス・オンブレス pl.n.m 誰もが	「主語」
creían クレイアン 3 複線・時制の一致(creer)v.i(en の存在を) 信じている	「動詞」
en Dios, エン・ディオス adv. 神を	「間接目的語」
aun aquellos アウン・アケジョス pron.pl そのような人でさえも	「主語」
que ケ pron.pl (主語) ～する	「形容詞節」
le レ pron (Dios の代用) 神に	「間接目的語」
volvían ホルビアン 3 複線・時制の一致(volver)v.t 向ける	「動詞」
la espalda. ラ・エスパルダ n.f 背中を	「直接目的語」

Segunda parte 第2部

それが彼の信念であるから、もしもそれを疑うことになるとしたら、彼の人生は意味を持たなくなるだろう。

Tal era su convicción, y si alguna vez llegara a dudar, la vida no tendría sentido.

「主語」「動詞」「補語」, y 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「目的語」

Tal タル pron そのような考えが 「主語」

era エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった 「動詞」

su convicción, ス・コンビクシオン n.f 彼の信念 「補語」

y イ conj. そして

si シ conj. もし〜ならば 「副詞節」

alguna vez アルグナ・ベス adv. 時として、時に 「副詞句」

llegara a dudar, ジェカ・ラ・ア・トゥダール 3 単未・到達・仮定(llegar a+不定詞)

v.i 疑うことになるとしたら 「動詞句」

llegar a+不定詞 「〜することになる、〜するまでになる」

la vida ラ・ビダ n.f 彼の人生は 「主語」

no tendría ノ・テントリア 3 単過未・否定・推量(tener)v.t 持たなくなるだろう 「動詞句」

過去未来活用は、過去における未来の推量を表す

sentido. セント n.m 意味 「目的語」

「あなたは望むのですか？」と、彼は叫んだ。「私の人生が無意味になることを」

"¿Quiere usted", exclamó, "que mi vida carezca de sentido?"

《「動詞」「主語」》, 「動詞」, 《「目的語」》

"¿Quiere キエレ 3 単現・疑問文(querer)v.t 望むのですか？ 「動詞」

usted", ウステ pron あなたは 「主語」

exclamó, エスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ 「動詞」

"que ケ conj. 〜ということ を 「目的語」

主節の動詞が「願望・依頼・勧告・命令・許可・禁止」を表す時は、接続法を使用する

mi vida ミ・ビダ n.f 私の人生が 「主語」

carezca カレスカ 接・3 単現(carecer)v.i(de+無冠詞名詞) 〜がない 「動詞」

接続法は「まだ実現していない」事柄を主観的に述べる表現法です

de sentido?" デ・セント n.m 意味の 「間接目的語」

Carece de sentido del humor. 彼にはユーモアのセンスがない。

Segunda parte 第2部

僕の考えでは、それは僕には関係がない。だから、僕は彼にそう言った。

Según mi opinión aquello no me concernía y se lo dije.

「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」 y 「動詞句」「目的語」「動詞句」
 Según mi opinión セグン・ミ・オピニオン adv. 私の考えでは 「副詞句」
 aquello アケジョ pron そういうことは 「主語」
 no ...concernía ノ...コンセルニア 3 単線・否定(concernir)v.i(a に) 関係しない 「動詞句」
 me メ pron 僕にとって 「間接目的語」
 y イ conj. そして
 se lo セ・ロ pron 彼にそのように 「目的語」
 dije. デイハ 1 単点(decir)v.pr 言った 「動詞句」

それから彼はテーブル越しに僕の鼻先にキリスト像を突き付けて、常軌を逸した態で捲し立てた：「私はキリスト教徒である。この方に、君の過ちに対して許しを乞いたい。この方が、君の代わりに苦しんだということを、どうして君は信じられないんだ？」

Entonces me puso el Cristo bajo los ojos por sobre la mesa y gritó en forma irrazonable: "Yo soy cristiano. Pido a Este el perdón de tus pecados. ¿Cómo puedes no creer que ha sufrido por ti?"

「副詞」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞句」 y 「動詞」「副詞句」：
 《「主語」「動詞」「補語」 | 「動詞」「間接目的語」「直接目的語」
 「副詞」「動詞句」「目的語」》

Entonces エントンス adv. すると、それから 「副詞」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 puso プソ 3 単点(poner)v.t 置いた 「動詞」
 el Cristo エル・クリスト n.m キリスト像を 「直接目的語」
 bajo los ojos バホ・ロス・オス adv. 僕の目の下に 「副詞句」
 por sobre la mesa ホル・ソブレ・ラ・メサ adv. テーブル越しに 「副詞句」
 y イ conj. そして
 gritó グリト 3 単点(gritar)v.i 叫んだ 「動詞」
 en forma irrazonable: エン・フォルマ・イラソナブレ adv. 常軌を逸した態で 「副詞句」
 "Yo ジョ pron 私は 「主語」
 soy ソイ 1 単現(ser)v.i ~である 「動詞」
 cristiano. クリステアノ n.m キリスト教徒 「補語」
 Pido ビド 1 単現(pedir)v.t 頼む、願う 「動詞」
 a Este ア・エステ pron この方に (キリストに) 「間接目的語」
 el perdón エル・ペルトン n.m 許しを 「直接目的語」
 de tus pecados. トゥ・トゥス・ペカドス adj. 君の過ちの 「形容詞句」

Segunda parte 第2部

¿Cómo コモ adv. (理由) どうして 「副詞」

puedes no creer プエデス・ノ・クレエル 2 単点・可能・否定(poder+不定詞)

v.t 信じられない 「動詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

ha sufrido ア・スフリト 3 単現・完了形(sufrir)v.i 苦しんだ 「動詞句」

por ti?" ホル・ティ adv. (代替え) 君の代わりに 「副詞句」

捲(まく)し立てる :

威勢よく続けざまにしゃべること。

彼が僕に対して親しい口の利き方をしていることに気づいた。しかし、もうたくさんだ。

Me di perfecta cuenta de que me tuteaba, pero..., también, estaba harto.

「動詞句」「目的語」,pero「副詞」「動詞」「補語」

Me di perfecta cuenta de メ・ディ・ペ・ルフクタ・クエンタ・デ 1 単点(darse cuenta de+ perfecta)

v.pr ～にはっきりと気づいた 「動詞句」

perfecta ペ・ルフクタ adj. (副詞的) 完全に、完璧に、はっきりと

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

me メ pron 僕に 「目的語」

tuteaba, トウテアバ 3 単線(tutear)v.t 親しい口調で話す、tu を使って話す 「動詞」

pero..., ペロ conj. しかし

también, タンビエン adv. ～もまた 「副詞」

estaba エスタバ 1 単線(estar)v.i ～だった 「動詞」

harto. アルト adj. たくさん、うんざりした 「補語」

ますます暑くなっていた。話を聞きたくない相手から解放してほしいと感じるときにいつもするように、僕は同意する顔を作った。

Cada vez hacía más y más calor. Como siempre que siento deseos de librarme de alguien a quien apenas escucho, puse cara de aprobación.

「副詞句」「動詞」「補語」 | 「副詞句」,「動詞」「目的語」

Cada vez カダ・ベス adv. ますます、そのたびごとに 「副詞句」

hacía アシア 単人称・3 単線・天候(hacer)v.h ～だった 「動詞」

más y más calor. マス・イ・マス・カール adj. ますます暑い 「補語」

Como コモ adv. (類似) ～のように 「副詞句」

siempre que シエンプレ・ケ conj. (比較) ～する時はいつも 「副詞節」

siento シェント 1 単現(sentir)v.t 感じる 「動詞」

deseos デセオス pl.n.m 願望を 「目的語」

de librarme デ・リブラール・メ 不定詞・同格

Segunda parte 第2部

adj. 僕を解放してほしいという	「形容詞句」
de alguien デ・アルギエン adv. 誰かから	「副詞句」
a quien ア・キエン	
pron その人を～する	「形容詞節」
apenas escucho, アヘナス・エスクチョ 1 単現・否定(escuchar)	
v.t 聞き入れない	「動詞句」
puse プセ 1 単点(poner)v.t もたらした、生じさせた	「動詞」
cara カ n.f 顔を	「目的語」
de aprobación. デ・アプ ロバシオン adj. 同意の	「形容詞句」

驚いたことに、彼は勝ち誇ったように声を上げた：「そうでしょう、そうでしょう」と、彼は言った。「あなたも神を信じて、この方に身を委ねる気持ちになったのではないですか？」

Con gran sorpresa mía, exclamó triunfante: "Ves, ves", decía. "¿No es cierto que crees y que vas a confiarte en El?"

「副詞句」, 「動詞」 「副詞」: 《「動詞句」》, 「動詞」, 《「動詞句」 「補語」 「主語」》	
Con gran sorpresa mía, コン・グラン・ソルプレ・ミア adv. 驚いたことに	「副詞句」
exclamó エスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 声を上げた	「動詞」
triumfante: トリウファンテ adj. (副詞的) 勝ち誇ったように	「副詞」
"Ves, ves", ベス・ベス 2 単現・勧誘(ver)v.t 見たまえ	「動詞句」
decía. デシア 3 単線(decir)v.t 言った	「動詞」
"¿No es ノ・エス 3 単現・否定・疑問文(ser)v.i (肯定の確認) ～ではないですか？	「動詞句」
cierto シエルト adj. 確かな	「補語」
que ケ conj. ～ということは	「主語」
crees クレエス 2 単現(creer)v.t 信じる	「動詞」
y イ conj. そして	
que ケ conj. ～ということは	「主語」
vas a confiarte バス・ア・コンフィアルテ 2 単現・近接未来(ir a+不定詞 confiarse)	
v.pr(en に) 身をゆだねるところだ	「動詞句」
en El?" エン・エル adv. この方に	「間接目的語」

Segunda parte 第2部

当然ぼくは、もう一度否定した。彼は肘掛椅子に倒れこんだ。

Evidentemente, dije "no" una vez más. Se dejó caer en el sillón.

「副詞」, 「動詞」 「副詞句」 | 「動詞句」 「副詞句」

Evidentemente, エビデントェメンテ adv. もちろん、当然

「副詞」

dije ディェ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

"no" ノ adv. (否定) そうではない

「副詞」

una vez más. ウナ・ベ・ス・マス adv. もう一度

「副詞句」

Se dejó caer セ・デ・ホ・カエル 3 単点(dejarse+不定詞)v.pr バタリと倒れた

「動詞句」

en el sillón. エン・エル・シジョン adv. 肘掛椅子の上に

「副詞句」

彼はひどく疲れているようだった。

Parecía muy fatigado.

「動詞」 「補語」

Parecía パレシア 3 単線(parecer)v.i ~のように見えた

「動詞」

muy fatigado. マイ・ファティガト 過去分詞(fatigar)adj. とても疲れた

「補語」

彼は少しの間黙り込んだが、その一方で、休みなく会話を追いかけていたタイプライターは、
未だに最後の会話を打ち続けていた。

Quedó un momento silencioso mientras la máquina, que no había cesado de seguir el diálogo, prolongaba todavía las últimas frases.

「動詞」 「副詞句」 「補語」, 「副詞節」

Quedó ケト 3 単点(quedar)v.i(SVC) ~のままでいた

「動詞」

un momento ウン・モメント adv. 少しの間

「副詞句」

silencioso シレンシオソ adj. 無言の

「補語」

mientras ミェントラス conj. (対立) ~している一方で

「副詞節」

la máquina, ラ・マキナ n.f タイプライターは

「主語」

que ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

no había cesado de seguir ノ・アビ・ア・セサト・デ・セギール 3 単線・完了形・停止・否定

(cesar de+不定詞)v.t 後を追うのを止めなかった

「動詞句」

el diálogo, エル・ディアロゴ n.m 会話を

「目的語」

prolongaba プロロンガバ 3 単線(prolongar)v.t 延長していた

「動詞」

todavía トダビャ adv. まだ

「副詞」

las últimas frases. ラス・ウルチマス・フラセス pl.n.f(frase) 最後の会話を

「目的語」

Segunda parte 第2部

それからすぐに彼は僕をじっと見つめたが、少し悲しげな様子だった。そしてつぶやいた：

En seguida me miró atentamente y con un poco de tristeza. Murmuró:

「副詞句」, 「目的語」「動詞」「副詞」 y 「副詞句」 | 「動詞」
 En seguida エン・セギダ adv. すぐに 「副詞句」
 me メ pron 僕を 「目的語」
 miró ミロ 3 単点(mirar)v.t 見た 「動詞」
 atentamente アテンタメンテ adv. 注意深く 「副詞」
 y イ conj. そして
 con un poco de tristeza. コン・ウン・ポ・コ・デ・トリステサ adv. 少し悲しげに 「副詞句」
 Murmuró: ムルムロ 3 単点(murmurar)v.i つぶやいた 「動詞」

「あなたの魂ほど頑固な魂には、一度も会ったことはありません」

"Nunca he visto un alma tan endurecida como la suya. 《「動詞句」「目的語」》
 "Nunca he visto ヌンカ・エ・ビスト 1 単現・完了形・否定(ver)v.t 一度も見たことがない「動詞句」
 un alma ウン・アルマ n.f 魂を 「目的語」
 alma アルマ n.f 魂 (単数冠詞は、el・un)
 tan endurecida タン・エント・ウレンシダ 過去分詞(endurecer)
 adj.f これほど頑なの 「形容詞句」
 como la suya. コモ・ラス・ヤ adv. (比較 tan...como) あなたの魂ほど「副詞句」

「私の前に現れた犯罪者たちは、この苦しみの姿を前にすると、必ず涙を流したものです。」

Los criminales que han comparecido delante de mí han llorado siempre ante esta imagen del dolor." 《「主語」「動詞句」「副詞句」》

Los criminales ロス・クリミナレス pl.n.m 犯罪者たちは 「主語」
 que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 han comparecido アン・コンパレシト 3 複現・完了形(comparecer)
 v.i 出頭した、現れた 「動詞句」
 delante de mí デランテ・デ・ミ adv. 私の前に 「副詞句」
 han llorado アン・ジョラト 3 複現・完了形(llorar)v.i 涙を流した 「動詞句」
 siempre シエンプレ adv. いつも、かならず 「副詞」
 ante esta imagen アンテ・エスタ・イメン adv. この姿の前で 「副詞句」
 del dolor." デル・トロール adj. 苦しみの 「形容詞句」

Segunda parte 第2部

それはまさに犯罪者の話をしているからそうなるのだ、と答えそうになった。

Iba a responder que eso sucedía justamente porque se trataba de criminales.

「動詞句」「目的語」

Iba a responder イバ・ア・レスポンスール 1 単線・近接未来(ir a+不定詞)

v.t. ～と答えるところだった

「動詞句」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

eso エソ pron. それは

「主語」

sucedía ステディア 3 単線・時制の一致(suceder)v.i. 起こっている

「動詞」

juntamente フスタメンテ adv. ちょうど

「副詞」

porque ボルケ conj. (理由) ～である

「副詞節」

se trataba セ・トラタハ 3 単線・時制の一致(tratarse)

v.pr(de) 話は～である

「動詞句」

de criminales. デ・クリミナレス adv. 犯罪者の

「間接目的語」

しかし、ぼく自身も犯罪者なのだと思った。これはなかなか馴染めない考えだった。

Pero pensé que yo también era criminal. Era una idea a la que no podía acostumbrarme.

Pero 「動詞」「目的語」 | 「動詞」「補語」

Pero ペロ conj. しかし

pensé ペンセ 1 単点(pensar)v.t(que ～だと) 思った

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

yo también ジョ・タンビエン pron. 僕も

「主語」

era エラ 1 単線・時制の一致(ser)v.i. ～である

「動詞」

criminal. クリミナル n.m. 犯罪者

「補語」

Era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i. ～である

「動詞」

una idea ウナ・デア n.f. 考え

「補語」

a la que ア・ラ・ケ adv. それに対して～する

「副詞節」

no podía acostumbrarme. ノ・ポディア・アコスタムブラルメ 1 単線・可能・否定

(poder+不定詞 acostumbrarse)v.pr. ～に慣れることができない「動詞句」

Segunda parte 第2部

その時判事は、まるで取り調べはこれで終わったと示そうとするように、立ち上がった。

Entonces el juez se levantó como si quisiera indicarme que el interrogatorio había terminado. 「副詞」「主語」「動詞句」「副詞節」

Entonces エントネス adv. その時、そこで 「副詞」

el juez エル・フエス n.m 判事は 「主語」

se levantó セ・レバント 3 単点(levantarse)v.pr 立ち上がった 「動詞句」

como si +接続法 コモ・シ conj. まるで～であるかのように 「副詞節」

quisiera indicarme キエラ・インディカルメ 接・3 単過・願望(querer+不定詞 indicar+me)

v.t ～を示したい 「動詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

el interrogatorio エル・インテロガトリオ n.m 取り調べは 「主語」

había terminado. アビエ・テルミナト 3 単線・完了形(terminar)

v.i もう終わった 「動詞句」

検事と判事：

検事は有罪であろう事件を裁判に持ち込んで被告の罪を立証する人。

判事は裁判官。刑事事件の場合、有罪か無罪か合理的に判断して判決を下す。

裁判所法によると、裁判官は、最高裁判所長官、最高裁判所判事、高等裁判所長官、判事、判事補、簡易裁判所判事に分かれる。

彼は相変わらず疲れた様子で、自分が犯した行為を悔やんでいるか、とだけ尋ねた。

Se limitó a preguntarme, con el mismo aspecto de cansancio, si lamentaba el acto que había cometido. 「動詞句」「副詞句」「目的語」

Se limitó a preguntarme, セ・リミト・ア・プレグンタル・メ 3 単点・制限(limitarse)

v.pr(a+不定詞) 僕に質問するだけにとどめた 「動詞句」

con el mismo aspecto de cansancio, コン・エル・ミスモ・アスペクト・デ・カンサンシオ

adv. 相変わらず疲れた様子で 「副詞句」

si シ conj. ～かどうかということを 「目的語」

lamentaba ラメントハ 1 単線・時制の一致(lamentar)v.t 後悔している 「動詞」

el acto エル・アクト n.m 行為を 「目的語」

que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

había cometido. アビエ・コモト 1 単線・完了形(cometer)

v.t 犯した 「動詞句」

Segunda parte 第2部

僕はよく考えた。そして、後悔するというよりは確かな苛立ちを感じていると答えた。

Reflexioné y dije que más que pena verdadera sentía cierto aburrimiento.

「動詞」 y 「動詞」 「目的語」

Reflexioné レフレクシオネ 1 単点(reflexionar)v.i 熟考した

「動詞」

y イ conj. そして

dije デイハ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

más que マス・ケ adv. (比較) ～以上に、～よりも

「副詞句」

pena verdadera ペナ・ベルダデラ n.f 本当の苦悩

「目的語」

sentía センチア 1 単線(sentir)v.t 感じていた

「動詞」

cierto aburrimiento. シエルト・アブリミエント n.m 確かな苛立ちを

「目的語」

彼は僕の話を理解していないようだった。

Tuve la impresión de que no me comprendía.

「動詞」 「目的語」

Tuve トゥエ 1 単点(tener)v.t 持った

「動詞」

la impresión ラ・インプレシオン n.f 印象を

「目的語」

de que デ・ケ adj. (同格) ～という

「形容詞節」

no ...comprendía. ノ...コンプレンディア 3 単線・否定(comprender)

v.t 理解していない

「動詞句」

me メ pron 僕の話

「目的語」

しかしその日は、それ以上先に進まなかった。

Pero aquel día las cosas no fueron más lejos. Pero 「副詞句」 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Pero ペロ conj. しかし

aquel día アケル・ディア adv. その日は

「副詞句」

las cosas ラス・コサス pl.n.f 物事は

「主語」

no fueron ノ・フエロン 3 複点・否定(ir)v.i 進まなかった

「動詞句」

más lejos. マス・レホス adv. もっと先へ

「副詞句」

この後、僕はたびたび予審判事と顔を合わせた。

Después de esto, volví a ver a menudo al juez de instrucción.

「副詞句」 「動詞句」 「副詞句」 「目的語」

Después de esto, デスプエス・デ・エスト adv. この後

「副詞句」

volví a ver ボルビ・ア・ベール 1 単点・再度(volver a+不定詞)v.t 再び会った

「動詞句」

a menudo ア・メスト adv. 時々、しばしば

「副詞句」

al juez de instrucción. アル・フエス・デ・インストルクション n.m 予審判事と

「目的語」

Segunda parte 第2部

しかし毎回、僕の弁護士が付き添った。

Pero cada vez estaba acompañado por mi abogado. Pero 「副詞句」「動詞句」「副詞句」

Pero ペロ conj. しかし

cada vez カダ・ベス adv. 毎回 「副詞句」

estaba acompañado エスタバ・アコンパニャト 1 単線・受動(acompañar)v.t 付き添われた「動詞句」

por mi abogado. ポル・ミ・アボガト adv. (動作主) 僕の弁護士に 「副詞句」

僕は、これまでの供述の中でいくらかの点を詳細に述べさせられただけだった。

Se limitaban a hacerme precisar ciertos puntos de las declaraciones precedentes.

「動詞句」「補語」

Se limitaban セ・リミタバン 3 複線・制限(limitarse)

v.pr(a+不定詞) ～するだけにとどめた 「動詞句」

「主語」が不特定三人称複数なので、受動態に翻訳する

a hacerme ア・アセル・メ 不定詞・使役 v.t 僕に～させる 「動詞句」

precisar プレシサル 不定詞・me の動作 v.t 明確にする 「補語」

ciertos puntos シエルトス・プントス pl.n.m いくらかの点を 「目的語」

ciertos シエルトス adj(cierto).pl (+名詞) いくらかの puntos プントス pl.n.m(punto) 点

de las declaraciones デ・ラス・デクララシオネス adj. 供述の 「形容詞句」

precedentes. プレデテンテス adj.pl 以前の、前の 「形容詞」

または、判事は告発内容について弁護士と一緒に議論していた。

O el juez discutía los cargos con el abogado. O 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

O オ conj. または、他には

el juez エル・フエス n.m 判事は 「主語」

discutía ディスクチア 3 単線(discutir)v.t 議論した 「動詞」

los cargos ロス・カルゴス pl.n.m 告発、非難 「目的語」

con el abogado. コン・エル・アボガト adv. 弁護士と一緒に 「副詞句」

しかし、そういう時には本当に、僕のことは全く相手にしなかった。

Pero, en verdad, no se ocupaban nunca de mí en esos momentos.

Pero 「副詞句」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」

Pero, ペロ conj. しかし

en verdad, エン・ベルダ adv. 本当に 「副詞句」

no se ocupaban nunca ノ・セ・オカパン・ヌカ 3 複線・否定(ocuparse)

v.pr(de に) 決して相手にならなかった 「動詞句」

Segunda parte 第2部

de mí デ・ミ adv. 僕に 「間接目的語」
 en esos momentos. エン・エツス・モメントス adv. そういう時には 「副詞句」

とはいえ少しずつ、取り調べの様子は変わっていった。

Sin embargo, poco a poco cambió el tono de los interrogatorios.
 「副詞句」, 「動詞」 「主語」
 Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. とはいえ、それにもかかわらず 「副詞句」
 poco a poco ポコ・ア・ポコ adv. 少しずつ 「副詞句」
 cambió カビョ 3 単点(cambiar)v.i 変わった 「動詞」
 el tono エル・トノ n.m 様子が 「主語」
 de los interrogatorios. デ・ロス・インテロガトリオス adj. 取り調べの 「形容詞句」

判事はもう僕には関心を示さず、ある意味では、事件をまとめ終わったような感じだ。

Parecía que el juez no se interesaba más por mí y que había archivado el caso en cierto modo.
 「動詞」 「補語」 y 「補語」
 Parecía パレシア 3 単線(parecer)v.i ~のように見えた 「動詞」
 que ケ conj. ~ということ 「補語」
 el juez エル・フエス n.m 判事は 「主語」
 no se interesaba ノ・セ・インテresa 3 単線・否定(interesar)se
 v.pr(por に) 関心を示さない 「動詞句」
 más por mí マス・ポル・ミ adv. もう僕には 「間接目的語」
 y イ conj. そして
 que ケ conj. ~ということ 「補語」
 había archivado アビア・アルチバト 3 単線・完了形(archivar)
 v.t 棚上げした、整理し終わった 「動詞句」
 archivar el problema 問題を棚上げする
 el caso, エル・カーソ n.m 事件を 「目的語」
 en cierto modo. エン・シエルト・モト adv. ある意味では 「副詞句」

Segunda parte 第2部

彼はもう僕に神について話すことはなかったし、僕も最初の日のように興奮した彼を見ることもなかった。

No me habló más de Dios y no lo volví a ver más con la excitación del primer día.

「動詞句」「間接目的語」「動詞句」 y 「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞句」

No ...habló más ノ...アブロ・マス 3 単点・否定(hablar+ más)

v.i(de について) もう話さなかった

「動詞句」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

de Dios デ・ディオス adv. 神について～ない

「間接目的語」

y イ conj. そして

no ...volví a ver más ノ...ボルビ・ア・ベール・マス 1 単点・再度・否定(volver a+不定詞+ más)

v.t 再び見ることはなかった

「動詞句」

volver a+不定詞 「再び～する」

lo ロ pron 彼を

「目的語」

con la excitación del primer día. コン・ラ・エクシタシオン・デル・プリメル・ディア

adv. 最初の日のように興奮した

「副詞句」

僕たちの会談はもっと和やかな雰囲気にならっていった。

Las entrevistas se hicieron más cordiales.

「主語」「動詞句」「補語」

Las entrevistas ラス・エントレビスタス pl.n.f 会談は、インタビューは

「主語」

se hicieron セ・イエロン 3 複点(hacerse)v.pr(SVC) ～になった

「動詞句」

C が名詞の場合は、主に無冠詞

más cordiales. マス・コルデアレス adj.pl もっと人当たりの良い

「補語」

質問がいくつかあり、弁護士と少し話す、それで取り調べは終わりだ。

Algunas preguntas, un poco de conversación con el abogado, y los interrogatorios concluían.

「主語」 y 「主語」「動詞」

Algunas preguntas, アルグナス・プレグンタス pl.n.f いくつかの質問

「主語」

un poco de conversación ウン・ポコ・デ・コンベルサシオン n.f 少しの会話

「主語」

con el abogado, コン・エル・アボガト adv. 弁護士と

「副詞句」

y イ conj. そして

los interrogatorios ロス・インテロガトリオス pl.n.m 取り調べは

「主語」

concluían. コンクルイオン 3 複線・時制の一致(concluir)v.i 終わる

「動詞」

Segunda parte 第2部

判事本人の言葉によれば、僕の件は順調に運んでいた。

El asunto seguía su curso, según la propia expresión del juez.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

El asunto エル・アスト n.m 僕の件は

「主語」

seguía セギア 3 単線(seguir)v.t (道を) 進んでいた

「動詞」

su curso, ス・クルソ n.m その経過を

「目的語」

curso クルソ n.m 経過、推移 seguir su curso 順調に運ぶ

según セグン prep (見解) 〜によれば

「副詞句」

la propia expresión ラ・プロピア・エクスプレシオン n.f 本人の言葉

「目的語」

del juez. デル・フエス adj. 判事の

「形容詞句」

また時々、会話が世間話になると、僕もそれに混ぜてくれた。

Algunas veces también, cuando la conversación era de orden general, me mezclaban en ella.

「副詞句」, 「目的語」「動詞」「副詞句」

Algunas veces アルグナス・ベセス adv. 時々

「副詞句」

también, タンビエン adv. 〜もまた

「副詞」

cuando クワント conj. 〜するときは

「副詞節」

la conversación ラ・コンバサシオン n.f 会話が

「主語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i 〜である

「動詞」

de orden general, デ・オルデン・ヘネラル adj. 一般的な分野の、世間話の

「補語」

orden オルデン n.m 分野 general ヘネラル adj. 一般的な

me メ pron 僕を

「目的語」

mezclaban メスクラバン 3 複線(mezclar)v.t 混ぜた

「動詞」

en ella. エン・エジャ adv. 会話に

「副詞句」

ella は conversación の代用

僕は一息つけるようになった。そうしている時には、誰も僕に悪い態度は見せなかった。

Comenzaba a respirar. Nadie en esos momentos se mostraba malo conmigo.

「動詞句」 | 「主語」「副詞句」「動詞句」「補語」

Comenzaba a respirar. コメンサバ・ア・レスピラール 1 単線・開始(comenzar a+不定詞)

v.i 一息つき始めた、息をし始めた

「動詞句」

Nadie ナディエ pron 誰も〜ない

「主語」

en esos momentos エン・エソス・モメントス adv. そういう時には

「副詞句」

se mostraba セ・モストラバ 3 単線・否定文で(mostrarse)

v.pr (+主格補語、態度などを) 見せなかった

「動詞句」

malo conmigo. マロ・コンミゴ adj. 僕に対して悪い

「補語」

Segunda parte 第2部

すべてが余りにも自然に、整然と、そしてすんなりと行われたので、僕は「家族同士」で過ごしているという馬鹿げた印象を持った。

Todo era tan natural, tan bien arreglado y tan sobriamente representado, que tenía la ridícula impresión de "formar parte de la familia."

「主語」「動詞」「補語」,que「動詞」「目的語」

Todo トト pron すべては 「主語」

era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」

tan natural, タン・ナトゥラル adj. とても自然な 「補語」

tan bien arreglado タン・ビエン・アレグラト adj. とてもよく整理された、整然とした 「補語」

y イ conj. そして

tan sobriamente representado, タン・ソブリアメンテ・レプレソント

adj. とてもあっさりで行われた 「補語」

que ケ conj. (tan...que+直説法) (あまり... なので) ~する

tenía テニア 1 単線(tener)v.t ~があった 「動詞」

la ridícula impresión ラ・リディクラ・インプレシオン n.f 馬鹿げた印象を 「目的語」

de "formar parte de la familia." デ・フォルマル・パルテ・デ・ラ・ファミリア 不定詞・同格

adj. 家族の一員になっているという 「形容詞句」

formar parte de... 「~の一部をなす、一員となる」

Segunda parte 第2部

そして、予審が続いた 11 か月の後で、僕の唯一の喜びは、判事が僕を執務室の戸口まで付き添ってくれて、僕の肩を叩きながら、「今日のところは、これで終わりにしましょう。アンチ・キリスト君」と声をかけてくれる、滅多にない瞬間だったのだということに少し驚いたと言ってもよい。

Y al cabo de los once meses que duró la instrucción, puedo decir que estaba casi asombrado de que mis únicos regocijos hubiesen sido los raros momentos en los que el juez me acompañaba hasta la puerta del despacho, palmeándome el hombro y diciéndome con aire cordial: "Basta por hoy, señor Anticristo."

Y 「副詞句」, 「動詞句」 「目的語」

Y イ conj. そして

al cabo de アル・カボ・デ prep (時間) ~の後に 「副詞句」

los once meses ロス・オンセ・メス pl.n.m 11 か月 「目的語」

que ケ pron.adv. (期間) ~する 「形容詞節」

duró トゥロ 3 単点(durar)v.i 続いた 「動詞」

la instrucción, ラ・インストルクシオン n.f 予審が 「主語」

puedo decir プエト・デシル 1 単現・可能(poder+不定詞)v.t 言うことができる 「動詞句」

que ケ conj. ~ということ を 「目的語」

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ~だった 「動詞」

casi asombrado カシ・アソンプラト 過去分詞(asombrarse)

adj.(de に) ほとんど驚いた 「補語」

de que デ・ケ adv. ~ということに 「間接目的語」

mis únicos regocijos ミス・ウニコス・レゴシホス

pl.n.m 僕の唯一の喜びは 「主語」

hubiesen sido ウビエン・シト 接・3 複過・完了形・推量(ser)

v.i ~だった だろう 「動詞句」

los raros momentos ロス・ラロス・モメントス

pl.n.m 滅多にない瞬間 「補語」

en los que エン・ロス・ケ adv. その時に~する 「副詞節」

el juez エル・フエス n.m 判事が 「主語」

me メ pron 僕を 「目的語」

acompañaba アコンパニャバ 3 単線(acompañar)

v.t 付き添った 「動詞」

hasta la puerta del despacho, アスタ・ラ・プエルタ・デル・デスパチョ

adv. 執務室の戸口まで 「副詞句」

palmeándome パルメアント・メ 現在分詞・同時(palmear)

Segunda parte 第2部

adv. 僕の～を叩きながら 「副詞句」
 el hombro, エル・オンブロ n.m 肩を「目的語」
 y イ conj. そして
 diciéndome ディシエント・メ 現在分詞・同時(decir)
 adv. 僕に言いながら 「副詞句」
 con aire cordial: コン・アイレ・コルディアル
 adv. 心のこもった様子で 「副詞句」
 "Basta バスタ 3 単現(bastar)v.i 十分である「動詞」
 por hoy, ポル・オイ adv. 今日のところは「副詞句」
 señor Anticristo." セニョール・アンティクリスト n.m アンチ・キリスト君「呼びかけ」

そこで再び、僕は国家警察の手に預けられた。

Entonces me ponían nuevamente en manos de los gendarmes.

「副詞」「目的語」「動詞」「副詞句」

Entonces エントンセス adv. その時、そこで 「副詞」
 me メ pron 僕を 「目的語」
 ponían ポニアン 3 複線(poner)v.t 置いた 「動詞」
 受動態に翻訳する
 nuevamente ヌエバメント adv. 再び 「副詞」
 en manos エン・マノス adv. 手の中に 「副詞句」
 de los gendarmes. デ・ロス・ヘンダルメス adj. 国家警察の 「形容詞句」
 gendarme ヘンダルメ n.m (フランスの、治安・警察活動をする) 憲兵、国家憲兵、国家警察

Segunda parte 第2部

II

決して話したくなかった事がある。

Hay cosas de las que nunca me ha gustado hablar. 「動詞」「目的語」
 Hay アイ 3 単現(haber)v.t. ～がある 「動詞」
 cosas コサス pl.n.f 事が 「目的語」
 de las デ・ラス adj. それについて 「形容詞句」
 que ケ pron (間接目的語) ～する 「形容詞節」
 nunca ...ha gustado スカ...ア・グスタド 3 単現・完了形・否定(gustar+不定詞)
 v.i 決して好ましくなかった 「動詞句」
 me メ pron 僕にとって 「間接目的語」
 hablar. アブラール 不定詞.n(de について) 話すことが 「主語」

拘置所に入って数日後に、自分の生活のこの部分は話したくないだろうと気付いた。

Quando entré en la cárcel comprendí al cabo de algunos días que no me gustaría hablar de esta parte de mi vida. 「副詞節」, 「動詞」「副詞句」「目的語」
 Cuando クワント conj. ～したとき 「副詞節」
 entré エントレ 1 単点(entrar)v.i(en に) 入った 「動詞」
 en la cárcel エン・ラ・カルセル adv. 刑務所に、拘置所に 「副詞句」
 comprendí コンプレンティ 1 単点(comprender)v.t 分かった 「動詞」
 al cabo de algunos días アル・カボ・デ・アルグノス・デイアス adv. 数日後に 「副詞句」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 no me gustaría hablar ノ・メ・グスタリア・アブラール 1 単過未・否定・推量(gustar+不定詞)
 v.i 話したくないだろう 「動詞句」
 過去における未来の推量
 de esta parte デ・エスタ・パルテ adv. この部分について 「間接目的語」
 de mi vida. デ・ミ・ビダ adj. 自分の生活の 「形容詞句」

時間がたつにつれて、こういった嫌悪感がそれほど重要だとは思わなくなっていった。

Más tarde dejé de dar importancia a estas repugnancias. 「副詞句」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」
 Más tarde マス・タルデ adv. 後ほど、時間がたつと 「副詞句」
 dejé de dar デヘ・デ・ダール 1 単点・中断(dejar de+不定詞)v.t 与えるのを止めた 「動詞句」
 importancia インポルタンシア n.f 重要性を 「直接目的語」
 a estas repugnancias. ア・エスタス・レプグナンシアス adv. これらの嫌悪感に 「間接目的語」

Segunda parte 第2部

実際、最初の数日は、本当に拘置所にいる気がしなかった；漠然と、何か新しい出来事を期待していたのだ。

En realidad, yo no estaba realmente en la cárcel los primeros días; esperaba vagamente algún nuevo acontecimiento.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」; 「動詞」 「副詞」 「目的語」

En realidad, エン・レアリアダ adv. 実際は

「副詞句」

yo ジョ pron 僕は

「主語」

no estaba ノ・エスタバ 1 単線・否定(estar)v.i ~でなかった

「動詞句」

realmente レアルメンテ adv. 本当に

「副詞」

en la cárcel エン・ラ・カルセル adv. 拘置所に

「副詞句」

los primeros días; ロス・プリメロス・デ・イアス adv. 最初の数日は

「副詞句」

esperaba エスペラバ 1 単線(esperar)v.t 期待していた

「動詞」

vagamente バガメンテ adv. 漠然と

「副詞」

algún nuevo acontecimiento. アルゲン・ヌエボ・アコンテシメント n.m 何か新しい出来事を 「目的語」

最初で最後のマリーの面会の後で、すべてが始まった。

Todo comenzó después de la primera y única visita de María.

「主語」 「動詞」 「副詞句」

Todo トド pron すべてが

「主語」

comenzó コメンソ 3 単点(comenzar)v.i 始まった

「動詞」

después de デスプエス・デ prep (時間) ~の後で

「副詞句」

la primera y única ラ・プリメラ・イ・ウニカ adj. 最初で最後の

「形容詞句」

visita ビシタ n.f 訪問、(病院などへの) 面会

「目的語」

de María. デ・マリア adj. マリーの

「形容詞句」

彼女から手紙をもらったその日(彼女は僕の妻になっていないので、これ以上面会に来ることが許されない、と書かれてあった)、その日から僕は、この独房が僕の住みかであり、僕の人生はここで停止するのだと気づいた。

Desde el día en que recibí su carta (me decía que no le permitían venir más porque no era mi mujer), desde ese día sentí que la celda era mi casa y que mi vida se detenía allí.

「副詞句」(「間接目的語」「動詞」「直接目的語」), 「副詞句」「動詞」「目的語」

Desde el día デスデ・エル・デ・イア adv. (時間) その日から

「副詞句」

en que エン・ケ adj. (その時) ~した

「形容詞節」

recibí レビビ 1 単点(recibir)v.t 受け取った

「動詞」

su carta ス・カルタ n.f 彼女の手紙を

「目的語」

(me メ peon 僕に

「間接目的語」

Segunda parte 第2部

decía デシア 3 単線(decir)v.t 言っていた	「動詞」
que ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
no ...permitían venir ノ...ペルミチアン・ベニール 3 複線・許可・否定(permitir+不定詞)	
v.t 来ることを許さない	「動詞句」
受動態に翻訳する	
le レ pron 彼女に	「目的語」
más マス adv. これ以上、今後	「副詞」
porque ボルケ conj. ～なので	「副詞節」
no era ノエラ 3 単線・否定・時制の一致(ser)v.i ～でない	「動詞」
mi mujer), ミムヘール n.f 僕の妻	「補語」
desde ese día デステ・エ・デア adv. その日から	「副詞句」
sentí センチ 1 単点(sentir)v.t 気づいた	「動詞」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
la celda ラ・セルダ n.f この独房が	「主語」
era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である	「動詞」
mi casa ミ・カーサ n.f 僕の住み家	「補語」
y イ conj. そして	
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
mi vida ミ・ビダ n.f 僕の人生は	「主語」
se detenía セ・テニア 3 単線(detenerse)v.pr 停止する	「動詞句」
allí. アジ adv. ここで	「副詞」

逮捕された日に、最初は、大部分がアラブ人で雑多な留置人がある部屋に入れられた。

El día de mi arresto me encerraron al principio en una habitación donde había varios detenidos. la mayor parte árabes.

El día エル・デア n.m その日	「副詞句」
de mi arresto デ・ミ・アレスト adj. 僕が逮捕された	「形容詞句」
me メ pron 僕を	「目的語」
encerraron エンセラロン 3 複点(encerrar)v.t(en に) 閉じ込めた	「動詞」
受動態に翻訳する	
al principio アル・プリンシピオ adv. 最初	「副詞句」
en una habitación エン・ウナ・アビタシオン adv. 部屋に	「副詞句」
donde トンデ conj. そこで～する	「形容詞節」
había アビア 3 単線・存在・時制の一致(haber)	
v.t (+単数・複数名詞) ～がいる	「動詞」
varios detenidos, バリオス・テネトス pl.n.m 数人の留置人	「目的語」

Segunda parte 第2部

la mayor parte árabes. ラ・マヨール・パルテ・デ・アラベス

adj. 大部分はアラブ人の

「形容詞句」

僕を見ると、彼らは笑った。それから僕に、何をしたのかと尋ねた。

Al verme, se rieron. Luego me preguntaron qué había hecho.

「副詞句」, 「動詞句」 | 「副詞」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Al verme, アル・ベール・メ adv. (時) 僕を見たとき、僕を見ると

「副詞句」

al+不定詞 「～すると、～する時、～するなら、～しなさい」

se rieron. セ・リエロン 3 複点(reírse)v.pr (留置人たちは) 笑った

「動詞句」

Luego ルエゴ adv. それから

「副詞」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

preguntaron プレグンタロン 3 複点(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞」

qué ケ pron 何を～するかということ

「直接目的語」

había hecho. アビア・エチョ 1 単線・完了形(hacer)v.t (行為を) した 「動詞句」

僕はアラブ人を殺したと言った。すると彼らは黙り込んだ。

Dije que había matado a un árabe y quedaron silenciosos.

「動詞」「目的語」 y 「動詞」「補語」

Dije ディエ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

había matado アビア・マト 1 単線・完了形(matar)v.t 殺した

「動詞句」

a un árabe ア・ウン・アラベ n.m アラブ人を

「目的語」

y イ conj. そして

quedaron ケダロン 3 複点(quedar)v.i (状態に) なった

「動詞」

silenciosos. シレンシオス adj.m.pl 無言の

「補語」

しかし間もなく日が暮れた。

Pero un momento después cayó la noche.

Pero 「副詞句」「動詞」「主語」

Pero ペロ conj. しかし

un momento después ウン・モメント・デスプエス adv. 少し経つと

「副詞句」

cayó カヨ 3 単点(caer)v.i 落ちた

「動詞」

la noche. ラ・ノチェ n.f 夜が

「主語」

Segunda parte 第2部

彼らは、僕の寝床となるむしろをどのように整えたらよいかを教えてくれた。

Me explicaron cómo había que arreglar la estera en la que debía de acostarme.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Me メ pron 僕に

「間接目的語」

explicaron エクスプリカロン 3 複点(explicar)v.t 説明した、教えた

「動詞」

cómo コモ n. どのように～するかということ

「直接目的語」

había que arreglar アビア・ケ・アレグラール 1 単線・必要(haber que+不定詞)

v.t 整えなければならない

「動詞句」

la estera ラ・エステラ n.f むしろを

「目的語」

en la que エン・ラ・ケ adj. その中で～する

「形容詞節」

debía de acostarme. デビア・デ・アコスタルメ 1 単線・推測(deber de+不定詞)

v.pr 寝るはずである

「動詞句」

deber de+不定詞 「～するはずだ、～するに違ない」(de は省略されることが多い)

むしろの両端の一方を巻けば、枕になるのだ。

Arrollando uno de los extremos podía hacerse una almohada.

「副詞句」「動詞句」「補語」

Arrollando アロジャント 現在分詞・条件 adv. ～を巻くと

「副詞句」

uno de los extremos ウノ・デ・ロス・エクストレモス n.m 筵の両端の一方を

「目的語」

podía hacerse ポデア・アセルセ 3 単線・可能性・時制の一致(poder+不定詞)

v.pr ～になる

「動詞句」

una almohada. ウナ・アルモアダ n.f 枕

「補語」

一晩中、南京虫が僕の顔の上を這いまわった。

Toda la noche me corrieron las chinches en la cara.

「副詞句」「間接目的語」「動詞」「主語」「副詞句」

Toda la noche トダ・ラ・ノチェ adv. 一晩中、終夜

「副詞句」

me メ pron 僕の

「間接目的語」

corrieron コリエロン 3 複点(correr)v.i 走った

「動詞」

las chinches ラス・チンチェス pl.n.f (昆虫) 南京虫が

「主語」

en la cara. エン・ラ・カラ adv. 顔の上を

「副詞句」

南京虫 :

別名トコジラミ。吸血性の寄生昆虫である。トコジラミは雄雌ともに吸血し、幼虫・成虫にかかわらずその全生存期間を通じて栄養分を血液に頼る。刺咬する際に唾液を宿主の体内に注入するが、この中に含まれる物質が引き起こすアレルギー反応で激しいかゆみが生じる。



Segunda parte 第2部

何日かすると、僕は独房に隔離された。そこでは木製の簡易ベッドに寝た。

Algunos días después me aislaron en una celda en la que dormía sobre una tabla de madera.

「副詞句」「目的語」「動詞」「副詞句」

Algunos días después アルグノス・デ・アス・デ・スプエス adv. (不定の時期) 何日か後に 「副詞句」

me メ pron 僕を 「目的語」

aislaron アイスラロン 3 複点(aislar)v.t 隔離した 「動詞」

受動態に翻訳する

en una celda エン・ウナ・セルダ adv. (刑務所の) 独房へ 「副詞句」

en la que エン・ラ・ケ conj. (継続) その中で～する 「形容詞節」

dormía ドルミア 1 単線(dormir)v.i 寝た 「動詞」

sobre una tabla de madera. ソブレ・ウナ・タブラ・デ・マデラ

adv. 木製の簡易ベッドに

「副詞句」

tabla タブラ n.f (木の) 板 → 代用ベッド

便器を流すための手桶と鉄の洗面器があった。

Tenía una cubeta para las necesidades y una jofaina de hierro.

「動詞句」「目的語」「副詞句」 y 「目的語」

Tenía テニア 3 単線(tener)v.t (付属物として) 付いていた、～があった 「動詞」

una cubeta ウナ・クベタ n.f 手桶 「目的語」

para las necesidades パラ・ラス・ネセシダデス adv. 生理的欲求のために、排泄用に 「副詞句」

y イ conj. そして

una jofaina ウナ・ホファイナ n.f 洗面器 「目的語」

de hierro. デ・イエロ adj. (材料) 鉄製の 「形容詞句」

拘置所は街の高台にあって、小さな窓から海を見ることができた。

La cárcel se hallaba en lo alto de la ciudad y por la pequeña ventana podía ver el mar.

「主語」「動詞句」「副詞句」 y 「副詞句」「動詞句」「目的語」

La cárcel ラ・カルセル n.f 拘置所は 「主語」

se hallaba セ・アジャバ 3 単線(hallarse)v.pr(en に) あった 「動詞句」

en lo alto de la ciudad エン・ロ・アルト・デ・ラ・シダデ adv. 街の高台に 「副詞句」

lo alto ロ・アルト pron 高い所、高台、頂点

y イ conj. そして

por la pequeña ventana ポル・ラ・ペケニャ・ベンタナ adv. 小さな窓から 「副詞句」

podía ver ポ・デア・ベール 1 単線・可能(poder+不定詞)v.t 見ることができた 「動詞句」

el mar. エル・マル n.m 海を 「目的語」

Segunda parte 第2部

僕が光に向かって顔を伸ばし、窓の鉄格子にしがみついていたある日、看守が入ってきて、面会人がいると僕に告げた。

Un día en que estaba aferrado a los barrotes con el rostro extendido hacia la luz, entró un guardián y me dijo que tenía una visita.

「副詞句」, 「動詞」「主語」 y 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Un día ウン・デア n.m ある日 「副詞句」

en que エン・ケ conj. ～する 「形容詞節」

estaba エスタバ 1 単線(estar)v.i ～だった 「動詞」

aferrado アフェラト 過去分詞(aferrar)adj. つかんだ 「補語」

a los barrotes ア・ロス・バロテス pl.n.m 柵、支柱 「目的語」

con el rostro extendido コン・エル・ロストロ・エクステンディト

adv. 伸ばされた顔で 「副詞句」

rostro ロストロ n.m 顔 extendido エクステンディト 過去分詞・受動(extender)adj. 伸ばされた

hacia la luz, アシア・ラルス adv. 光の方へ 「副詞句」

entró エントロ 3 単点(entrar)v.i 入ってきた 「動詞」

un guardián ウン・ゲワルデアン n.m 看守が 「主語」

y イ conj. そして

me メ pron 僕に 「間接目的語」

dijo デイオ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

que ケ conj. ～ということ 「直接目的語」

tenía テニア 1 単線・時制の一致(tener)v.t ～がある 「動詞」

una visita. ウナ・ビシタ n.f 面会者が 「目的語」

マリーだろうという考えが僕の頭に浮かんだ。その通りだった。

Se me ocurrió que sería María. Y era ella.

「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「主語」 | Y 「動詞」「補語」

Se ...ocurrió セ...ウクリオ 3 単点(ocurrirse)v.pr(a+人 の) 頭に浮かんだ 「動詞句」

me メ pron 僕の 「間接目的語」

que ケ conj. ～ということ 「主語」

sería セリア 3 単過未・推量(ser)v.i ～だろう 「動詞」

María. アリア n.f マリー 「補語」

Y イ conj. そして

era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」

ella. エジャ pron 彼女 「補語」

Segunda parte 第2部

長い廊下と階段を通り、さらにもう一つの廊下を渡り終えて、面会室についた。

Para ir al locutorio seguí por un largo pasillo, luego una escalera y para terminar otro pasillo. 「副詞句」, 「動詞」 「副詞句」

Para +不定詞 パラ adv. (目的) (... して) ~するために 「副詞句」

ir イル 不定詞 v.i 行く 「動詞」

al locutorio アル・ロクトリオ adv. 面会室へ 「間接目的語」

この「副詞句」を結果として、以降の文を手段とするほうが日本語らしい

seguí セギ 1 単点(seguir)v.i(por 道を) 続けた 「動詞」

por ポル prep (空間・通過) ~を通して 「副詞句」

un largo pasillo, ウン・ラルゴ・パシヨ n.m 長い廊下を 「目的語」

luego ルエゴ adv. それから、次に 「副詞」

una escalera ウナ・エスカラ n.f 階段を 「目的語」

y, イ conj. そして

para terminar パラ・テルミナル adv. (結果) そして渡り終えた 「副詞句」

otro pasillo. オトロ・パシヨ n.m もう一つの廊下を 「目的語」

僕は、大きな窓から日が差し込むとても広い部屋に入った。

Entré en una gran habitación iluminada por una amplia abertura.

「動詞」 「副詞句」

Entré エントレ 1 単点(entrar)v.i 入った 「動詞」

en una gran habitación エン・ウナ・グラン・アビタシオン adv. 大きな部屋に 「副詞句」

iluminada イルミナダ adj.f 照らされた 「形容詞」

por una amplia abertura. ポル・ウナ・アンブリア・アベルトゥラ

adv. (手段) 大きな窓で 「副詞句」

その大部屋は、縦方向に切り分ける 2 つの高い鉄格子で、3 つの部分に分割されていた。

La sala estaba dividida en tres partes por dos altas rejas que la cortaban a lo largo.

「主語」 「動詞句」 「補語」 「副詞句」

La sala ラ・サラ n.f その大部屋は 「主語」

estaba dividida エスタバ・ディビダ 3 単線・受動.f(dividir)v.t 分割されていた 「動詞句」

en tres partes エン・トレス・パルテス adv. 3 つの部分に 「補語」

por dos altas rejas ポル・ドス・アルタス・レハス adv. (手段) 2 つの高い鉄格子によって 「副詞句」

que ク pron.pl (主語) ~する 「形容詞節」

la ラ pron 大部屋を 「目的語」

cortaban コルタバン 3 複線(cortar)v.t 切り分けていた 「動詞」

Segunda parte 第2部

a lo largo. ア・ロ・ラルゴ adv. 縦方向に、長さ方向に 「副詞句」

2つの鉄柵の間には、8～10メートルの空間があり、面会者を囚人から引き離していた。

Entre las dos rejas había un espacio de ocho a diez metros que separaba a los visitantes de los presos. 「副詞句」, 「動詞」 「目的語」, 「主語」 「動詞」 「目的語」 「副詞句」

Entre エントレ prep (空間) ～の間に 「副詞句」

las dos rejas ラス・トス・レハス pl.n.f 2つの鉄柵 「目的語」

había アビ・ア 3単線(haber)v.t ～があった 「動詞」

un espacio ウン・エスパシオ n.m 空間、間隔 「目的語」

de ocho a diez metros デ・オチョ・ア・ディエス・メトロス

adj. 8から10メートルの 「形容詞句」

que ケ pron (主語) それが～する 「主語」

separaba セパ・ラハ 3単線(separar)v.t 分離していた 「動詞」

a los visitantes ア・ロス・ビシタンテス pl.n.m 面会者たちを 「目的語」

de los presos. デ・ロス・プレソス adv. 囚人たちから 「副詞句」

僕の正面に、縞模様のドレスを着て、日に焼けた顔のマリーが見えた。

Vi a María enfrente de mí, con el vestido a rayas y el rostro tostado.

「動詞」 「目的語」 「副詞句」

Vi ビ 1単点(ver)v.t ～が見えた 「動詞」

a María ア・マリア n.f マリーが 「目的語」

enfrente de エンフレンテ・デ prep (位置) ～の正面に 「副詞句」

mí, ミ pron 僕 「目的語」

con コン prep (所持・不随) ～を着た、(様態) ～をした 「形容詞句」

el vestido エル・ベ・ストロ n.m ドレス 「目的語」

a rayas ア・ラヤス adv. (様態) 縞模様の 「形容詞句」

y イ conj. そして

el rostro エル・ロストロ n.m 顔 「目的語」

tostado. トストロ adj. 日に焼けた 「形容詞」

僕のいる側には、大部分がアラブ人の、10人ほどの留置人がいた。

De mi lado había una decena de detenidos, árabes la mayor parte.

「副詞句」 「動詞」 「目的語」

De mi lado デ・ミ・ラト adv. 僕の側には 「副詞句」

había アビ・ア 3単線(haber)v.t ～がいた 「動詞」

una decena de detenidos, ウナ・デセナ・デ・デテニトス pl.n.m 10人ほどの留置人が 「目的語」

Segunda parte 第2部

árabes アラベス adj.pl アラブ人の

「形容詞」

la mayor parte. ラ・マジョール・パルテ adv. 大部分は

「副詞句」

マリーはモーロ人に取り囲まれていた。彼女は二人の面会者の間に挟まれていた。一人は唇を固く閉ざして黒い服を着た小柄な老婆で、もう一人は帽子をかぶらず、とても大声で盛んに身振りをしながら話をする太った女だった。

María estaba rodeada de moras y se encontraba entre dos visitantes. una viejecita de labios apretados, vestida de negro, y una mujer gorda, en cabeza, que hablaba muy alto y gesticulaba.

「主語」「動詞句」「副詞句」 y 「動詞句」「副詞句」

María マリア n.f マリーは

「主語」

estaba rodeada エスタバ・ロデアダ 3 単線・受動.f(rodear)v.t 取り囲まれていた

「動詞句」

de moras デ・モラス adv. (動作主) モーロ人たちに

「副詞句」

y イ conj. そして

se encontraba セ・エンコントラバ 3 単線(encontrarse)v.pr (ある場所に) いた

「動詞句」

entre dos visitantes, エントレ・トス・ビシタンテス adv. 2 人の面会者の間に

「副詞句」

una viejecita ウナ・ビエヘシタ n.f 小柄な老婆

「目的語」

viejecita ビエヘシタ ← vieja (老婆) + -cita (示小接尾詞)

de labios apretados, デ・ラビオス・アプレタトス

adj. (様態) 唇をきつく閉ざした

「形容詞句」

labios ラビオス pl(labio).n.m 唇 apretados アプレタトス adj(apretado).pl 固く閉じた

vestida de negro, ベスチダ・デ・ネグロ adj.f 黒い服を着た

「形容詞句」

y イ conj. そして

una mujer gorda, ウナ・ムヘル・ゴルダ n.f 太った女

「目的語」

en cabeza, エン・カベサ adv. 帽子をかぶっていない

「副詞句」

que ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

hablaba アブラバ 3 単線・時制の一致(hablar)v.i 話す

「動詞」

muy alto ムイ・アルト adv. とても大声で

「副詞句」

y イ conj. そして

gesticulaba. ヘシクラバ 3 単線・時制の一致(gesticular)

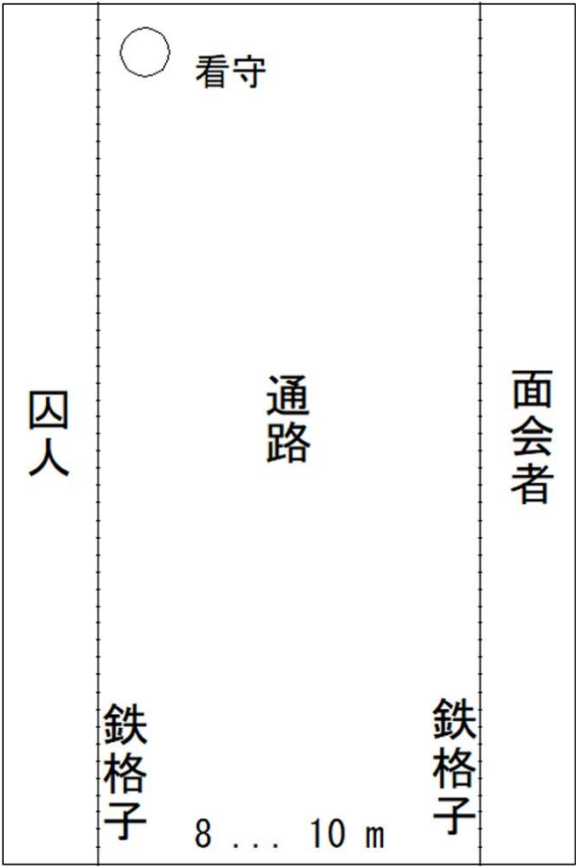
v.i 盛んに身振りをする

「動詞」

Segunda parte 第2部

鉄格子の間に距離があるために、面会人と囚人は大声で話さなければならなかった。

Debido a la distancia que había entre las rejas, los visitantes y los presos se veían obligados a hablar muy alto.
「副詞句」, 「主語」「動詞句」「補語」
Debido a デビト・ア prep (原因) ~のために 「副詞句」
la distancia ラ・ディスタンシア n.f 距離 「目的語」
que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」
había アビ・ア 3 単線・時制の一致(haber)v.t ~がある 「動詞」
entre エントレ prep (空間) ~の間に 「副詞句」
las rejas, ラス・レハス pl(reja).n.f 鉄格子 「目的語」
los visitantes ロス・ビシタンテス pl(visitante).n.m 面会者は 「主語」
y イ conj. そして
los presos ロス・プレソス pl(preso).n.m 囚人は 「主語」
se veían セ・ベ・イアン 3 複線(verse)v.pr (+主格補語) ~の状態にあった 「動詞句」
obligados オブリガトス adj(obligado).pl(a+不定詞) ~しなければならない 「補語」
a hablar ア・アブラール 不定詞 v.i 話す 「動詞句」
muy alto. ムイ・アルト adv. 大声で 「副詞句」



面会所の想像図

ここまでの説明をまとめると、面会所の構造は左図のように、部屋を縦方向に、囚人のいる細長い通路、看守のいる幅広い通路、そして面会者のいる細長い通路という、3つの部分に仕切っている。

面会者と囚人は、2つの鉄格子によって8～10メートル離れており、面会者が囚人に不審な物を手渡しすることが出来ない構造になっている。また、大きな声で話す必要があるので、逃亡など秘密の会話を防ぐ狙いもあると思われる。

看守はだだっ広い空間にいたので、不審な行為などは即座に発見することが出来るだろう。

Segunda parte 第2部

入った時、その部屋の剥き出しの大きな壁に反射する人声のざわめきと、空からガラス窓の上に降り注ぎ、室内にあふれ出すどぎつい光によって、僕は困惑らしきものを覚えた。

Quando entré, el ruido de las voces que rebotaba contra las grandes paredes desnudas de la sala, y la cruda luz que bajaba desde el cielo sobre los vidrios y brotaba en la sala, me causaron una especie de aturdimiento.

「副詞節」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」

Quando entré, クワント・エントレ adv. 入った時 「副詞節」

el ruido エル・ルイト n.m 騒音が 「主語」

de las voces デ・ラス・ボセス adj. 声の 「形容詞句」

que ケ pron (主語 : ruido の代用) ～する 「形容詞節」

rebotaba レボタハ 3 単線(rebotar)v.i 跳ね返る 「動詞」

主語は ruido、voces ではない

contra las grandes paredes コントラ・ラス・グランデス・パレデス

adv. 大きな壁に 「副詞句」

desnudas デスダス

adj(desnudo).f.pl 裸の、剥き出しの 「形容詞」

de la sala, デ・ラ・サラ adj. その部屋の 「形容詞句」

y イ conj. そして

la cruda luz ラ・クルダ・ルス n.f どぎつい光が 「主語」

cruda クダ adj(crudo).f どぎつい、生々しい

que ケ pron(主語 : luz の代用) ～する 「形容詞節」

bajaba バハバ 3 単線(bajar)v.i 降り注ぐ 「動詞」

desde el cielo デステ・エル・シエロ adv. 空から 「副詞句」

sobre los vidrios ソブレ・ロス・ビトロス adv. ガラス窓の上に 「副詞句」

y イ conj. そして

brotaba ブロタハ 3 単線(brotar)v.i あふれ出す、湧き出す 「動詞」

en la sala, エン・ラ・サラ adv. 室内に 「副詞句」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

causaron カサロン 3 複点(causar)v.t ～を引き起こした 「動詞」

una especie de ウナ・エスペ・シエ・デ adj.f ある種の 「形容詞句」

aturdimiento. アトルディエント n.m 困惑を 「直接目的語」

フランス語原文では :

僕が中へ入ると、その部屋のむき出しの壁に反射する会話のざわめきと空から窓ガラスに降り注ぎ、部屋中に広がる直接光の強い刺激によって、ある種の眩暈(めまい)を感じた。

Quand je suis entré, le bruit des voix qui **rebondissaient** contre les grands murs nus de la salle, la lumière crue qui coulait du ciel sur les vitres et rejaillissait dans la salle,

Segunda parte 第2部

me causèrent une sorte d'étourdissement.

僕の独房は、もっと静かで、もっと暗かった。明るさに慣れるには、数秒間かかった。

Mi celda era más tranquila y más oscura. Necesité algunos segundos para adaptarme.

「主語」「動詞」「補語」 | 「動詞」「目的語」「副詞句」

Mi celda ミ・セルダ^ㇰ n.f (刑務所の) 僕の独房は 「主語」
 era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」
 más tranquila マス・トランキラ adj.f (比較) もっと静かな 「補語」
 y イ conj. そして
 más oscura. マス・オスクラ adj.f (比較) もっと暗い 「補語」
 Necesité ネシテ 1 単点(necesitar)v.t ~を必要とした 「動詞」
 algunos segundos アルゲ・ノス・セグントス pl.n.m 数秒間 「目的語」
 para adaptarme. パラ・アダプ・タルメ
 adv. (para+不定詞 adaptarse) (目的) 慣れるために 「副詞句」

それでもやっと、溢れる光で浮かび上がる顔を明確に見分けられるようになった。

Sin embargo, concluí por ver cada rostro con nitidez, destacado a plena luz.

「副詞句」, 「動詞句」「目的語」「副詞句」「目的語」

Sin embargo, シン・エンバルゴ^ㇰ adv. それでも 「副詞句」
 concluí por ver コンクレイ・ホル・ベール 1 単点・結局(concluir por+不定詞)
 v.t ついに見えるようになった 「動詞句」
 cada rostro カダ・ロストロ n.m それぞれの顔を 「目的語」
 con nitidez, コン・ニチデス adv. (程度) 明確に 「副詞句」
 destacado テスカト^ㇰ adj. 際立った 「形容詞句」
 a plena luz. ア・プ・レ・ルス adv. 一杯の光によって 「副詞句」

看守が一人、2つの鉄格子の間の通路の端に座っているのが見えた。

Observé que un guardián estaba sentado en el extremo del pasillo entre las dos rejas.

「動詞」「目的語」

Observé オブセルバ^ㇰ 1 単点(observar)v.t 観察した、気づいた 「動詞」
 que ケ conj. ~ということ 「目的語」
 un guardián ウン・ゲアルディア^ㇰ n.m 看守が 「主語」
 estaba エスタバ^ㇰ 3 単線・時制の一致(estar)v.i ~である 「動詞」
 sentado センタド^ㇰ adj. 座った 「補語」
 en el extremo エン・エル・エクストレモ adv. 端に 「副詞句」
 del pasillo テル・パシロ^ㇰ adj. 通路の (廊下の) 「形容詞句」

Segunda parte 第2部

entre las dos rejas. エントレ・ラス・トス・レハス

adv. 2つの鉄格子の間の

「副詞句」

大部分のアラブ人の囚人とその家族は、向かい合って、しゃがんでいた。

La mayor parte de los presos árabes, así como sus familias, estaban en cuclillas frente a
frente. 「主語」「動詞」「副詞句」

La mayor parte de ラ・マヨール・パルテ・デ prep (限定) 大部分の～は 「主語」

los presos árabes, ロス・プレソ・アラベス pl.n.m アラブ人の囚人 「目的語」

así como アシ・コモ adv. ～も 「副詞句」

sus familias, スス・ファミリアス pl.n.f その家族 「主語」

estaban エスタバン 3 複線(estar)v.i ～だった 「動詞」

en cuclillas エン・ククリジャス adv. (様態) しゃがんで 「副詞句」

frente a frente. フレンテ・ア・フレンテ adv. 面と向かって、向かい合って 「副詞句」

しかし彼らは大声を出さない。喧噪の中でも、非常に低い話声で理解しあえるのだ。

Pero no gritaban. A pesar del tumulto lograban entenderse hablando muy bajo.

Pero 「動詞句」「副詞句」 | 「副詞句」「動詞句」「副詞句」

Pero ペロ conj. しかし

no gritaban. ノ・グリタバン 3 複線・否定・時制の一致(gritar)v.i 大声を出さない 「動詞句」

A pesar del tumulto ア・ペサル・デル・トゥムルト adv. (譲歩) 喧噪にもかかわらず 「副詞句」

a pesar de+名詞 「～にもかかわらず」

lograban entenderse ログラバン・エンテンデル・セ 3 複線・達成(lograr+不定詞 entenderse)

v.pr 理解しあえている 「動詞句」

hablando muy bajo. アブラント・ムイ・バホ 現在分詞(hablar)

adv. (譲歩) 非常に低い声で話していても 「副詞句」

下から湧き上がってくるこもったざわめきは、彼らの頭の上を交錯する会話に対して、通奏低音を形成していた。

El murmullo sordo, surgido desde abajo, formaba un bajo continuo a las conversaciones
que se entrecruzaban por sobre las cabezas. 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

El murmullo エル・ムルムジョ n.m ざわめきは 「主語」

sordo, ソルト adj. こもった、鈍い 「形容詞」

surgido スルト 過去分詞 adj 湧き出してきた 「形容詞句」

desde abajo, デステ・アバホ adv. 下から 「副詞句」

formaba フォルマバ 3 単線(formar)v.t 形成していた 「動詞」

un bajo continuo ウン・バホ・コンティヌオ n.m 通奏低音を 「目的語」

Segunda parte 第2部

a las conversaciones ア・ラス・コンベルサシオネス adv. 会話に対して

「副詞句」

que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

se entrecruzaban セ・エントレクルサバン 3 複線・時制の一致(entrecruzarse)

v.pr 交錯する

「動詞句」

por sobre las cabezas. ポ・ル・ソブレ・ラス・カベサス

adv. 彼らの頭の上を

「副詞句」

通奏低音

主にバロック音楽において行われる
伴奏の形態で、伴奏楽器が間断なく
演奏し続けるということからこの名
がある。

ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデルの
『リコーダー・ソナタ ヘ長調』HWV
369 の第 3 楽章の楽譜。2 段譜の上
段にリコーダーのパートが書かれ、
下段に通奏低音が書かれている。



僕は即座にこれらすべてのことに気づいた。そしてマリーの方へ一歩進み出た。

Observé todo rápidamente y avancé hacia María.

「動詞」「目的語」「副詞」 y 「動詞」「副詞句」

Observé オブセルヴェ 1 単点(observar)v.t (観察の結果) 気づいた

「動詞」

todo トト pron すべてのことに

「目的語」

rápidamente ラピダメンテ adv. 急速に

「副詞」

y イ conj. そして

avancé アバンセ 1 単点(avanzar)v.i 前進した、進み出た

「動詞」

hacia María. アシア・マリア adv. マリーに向かって

「副詞句」

Segunda parte 第2部

もう鉄格子にへばりついて、精いっぱい、僕に微笑みかけていた。

Pegada ya a la reja me sonreía con toda el alma.

「副詞句」「間接目的語」「動詞」「副詞句」

Pegada ペガダ adv. への近くで

「副詞句」

ya ヤー adv. もう

「副詞」

a la reja ア・ラ・レハ adv. 鉄格子に

「副詞句」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

sonreía ソンレイア 3 単線(sonreír)v.i 微笑みかけていた

「動詞」

con toda el alma. コン・トダ・エル・アルマ adv. 心から、精魂込めて、精いっぱい

「副詞句」

彼女がとても美しく見えた。しかしそれを彼女に伝えることはできなかった。

La encontré muy bella, pero no supe decírselo.

「目的語」「動詞」「補語」,pero 「動詞句」

La ラ pron 彼女が

「目的語」

encontré エンコントレ 1 単点(encontrar)v.t(SVOC) (O が C に) 見えた

「動詞」

muy bella, ムイ・ベシジャ adj. とても美しい

「補語」

pero ペロ conj. しかし

no supe decírselo. ノ・スヘ・デシール・セロ 1 単点・可能・否定(saber+不定詞 decir+se+lo)

v.t 彼女にそれを言うことはできなかった

「動詞句」

decírselo = decir+se+lo se は彼女に、lo はそれを

「元気？」と、大声で僕に言った。「元気さ、ほら」

"¿Qué tal?", me dijo muy alto. "¿Qué tal?, ya lo ves."

《「挨拶」》, 「間接目的語」「動詞」「副詞句」, 《「応答」「副詞」「目的語」「動詞」》

"¿Qué tal?", ケ・タル adv. 元気?

「挨拶」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

muy alto. ムイ・アルト adv. とても大声で

「副詞句」

"¿Qué tal?, ケ・タル adv. 元気さ

「応答」

ya ヤー adv. それで

「副詞」

lo ロ pron それを

「目的語」

ves." ベス 2 単現(ver)v.t 見る

「動詞」

Segunda parte 第2部

「元気なの？ 必要なものは全部あるの？」 「全部あるよ」

"¿Estás bien? ¿Tienes todo lo que precisas?" "Sí, todo."

《「動詞」「補語」 | 「動詞」「目的語」》 | 《「応答」》

"¿Estás エスタス 2 単現・疑問文(estar)v.i ~なの？ 「動詞」

bien? ビエン adv. 元気に 「補語」

¿Tienes テイエネス 2 単現・疑問文(tener)v.t ~はあるの？ 「動詞」

todo lo トト・ロ pron すべて 「目的語」

que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

precisas?" プレシサス 2 単現(precisar)v.t 必要とする 「動詞」

"Sí, todo." シ・トト adv. (肯定) すべてある 「応答」

二人とも黙り込んだが、マリーは微笑み続けていた。

Nos callamos y María seguía sonriendo. 「動詞句」 y 「主語」「動詞句」

Nos callamos ノス・ガシヤモス 1 複点・相互(callarse)v.i 二人とも黙り込んだ 「動詞句」

y イ conj. そして

María マリア n.f マリーは 「主語」

seguía sonriendo. セギア・ソリエント 3 単線・継続(seguir+現在分詞)

v.i 微笑み続けた 「動詞句」

あの太った女が、僕の隣にいる大柄で金髪の率直な眼差しをした、たぶん夫に対して叫ぶようにして話しかけていた。

La mujer gorda aullaba a mi vecino, sin duda el mando, un sujeto alto, rubio, de mirada franca. 「主語」「動詞」「間接目的語」

La mujer ラ・ムヘル n.f あの女が 「主語」

gorda ゴルダ adj(gordo).f 太った 「形容詞」

aullaba アウジャバ 3 単線(aullar)v.i 遠吠えしていた 「動詞」

a mi vecino, ア・ミ・ベシノ adv. 僕の隣の男に 「間接目的語」

sin duda シン・ドゥダ adv. たぶん 「副詞句」

el mando, エル・マント n.m 支配、指揮、→ 夫 「目的語」

un sujeto ウン・スヘト n.m (同格) 人、やつ 「形容詞句」

alto, アルト adj. 背が高い 「形容詞」

rubio, ルビオ adj. 金髪の 「形容詞」

de mirada franca. デ・ミラダ・フランカ

adj. 率直な眼差しの 「形容詞句」

mirada ミラダ n.f 眼差し franca フランカ adj(franco).f 率直な、裏のない

Segunda parte 第2部

それは、以前からしていた話の続きだった。

Era la continuación de una conversación ya comenzada.

「動詞」「補語」

Era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった

「動詞」

la continuación ラ・コンチヌアシオン n.f 続き、継続

「補語」

de una conversación デ・ウナ・コンベルサシオン adj. 会話の

「形容詞句」

ya comenzada. ヤー・コメンサダ 過去分詞(comenzar)

adj.f すでに始まっていた

「形容詞句」

「フワナが、あれを引き取ろうとしないんだよ」と、ありったけの声で叫んでいた。

"Juana no quiso tomarlo", gritaba a voz en cuello.

《「主語」「動詞句」》, 「動詞」「副詞句」

"Juana フワナ n.f (女性名) フワナが

「主語」

no quiso tomarlo", ノ・キソ・トマル・ロ 3 単点・願望・否定・時制の一致(querer+不定詞 tomar+lo)

v.t あれを受け取ろうとしない

「動詞句」

gritaba グリタバ 3 単線(gritar)v.i 叫んでいた

「動詞」

a voz en cuello. ア・ヴォス・エン・ケジョ adv. (手段) ありったけの声で

「副詞句」

「そうか、そうだろうな」と、男は言った。「あんたが出てきたら、あれを連れ戻すと言ったけれど、連れて行こうとしないんだよ」

"Sí, sí", decía el hombre. "Le dije que al salir volverías a llevártelo pero no quiso tomarlo."

《「応答」》, 「動詞」「主語」, 《「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》

"Sí, sí", シ・シ adv. そうか、そうか

「応答」

decía 3 単線(decir)v.t 言った

「動詞」

el hombre. エル・オンブレ n.m 男が

「主語」

"Le pron 彼女に

「間接目的語」

dije デイヘ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

que ケ conj. ~ということを

「直接目的語」

al salir アル・サール adv. (条件) 出てきたら

「副詞句」

volverías a llevártelo ホルベリアス・ア・ジエハル・テ・ロ 2 単過未・見込み・再度(volver a+不定詞)

v.pr またあれを連れていくつもりだ

「動詞句」

会話の二人称の「主語」 → 話相手の男を表す

pero ペロ conj. だけど

no quiso tomarlo." ノ・キソ・トマル・ロ 3 単点・願望・否定(querer+不定詞)

v.i あれを連れて行こうとしない

「動詞句」

Segunda parte 第2部

マリーは、レーモンが僕によろしくと言っていたと大声で叫んだ。

María me gritó por su parte que Raimundo me mandaba saludos.

「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」「直接目的語」

María マリア n.f マリーは

「主語」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

gritó グリト 3 単点(gritar)v.t(que ～と) 大声で言った、と叫んだ

「動詞」

por su parte ポルス・パルテ adv. 彼の代わりに、彼として

「副詞句」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

Raimundo ライムント n.m レーモンが

「主語」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

mandaba マンダバ 3 単線・時制の一致(mandar)v.t 送っている

「動詞」

saludos. サルトス pl(saludo).n.m 挨拶を

「直接目的語」

僕は「ありがとう」と言った。しかし僕の声は、隣の男が「元気にしているか？」と質問する声に覆い隠されてしまった。

Dije: "Gracias" pero mi voz quedó tapada por el vecino que pregunto "si estaba bien".

「動詞」:《「応答」》pero「主語」「動詞」「補語」

Dije: デイハ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

"Gracias" グラシアス adv. ありがとう

「応答」

pero ペロ conj. しかし

mi voz ミ・ボス n.f 僕の声は

「主語」

quedó クェド 3 単点(quedar)v.i(+過去分詞) ～になった

「動詞」

quedar+過去分詞 (受動行為の完了の結果)「～になった」

tapada タパダ 過去分詞(tapar)・受動.f adj. 覆い隠された

「補語」

por el vecino ポル・エル・ベシノ adv. (動作主) 隣の男によって

「副詞句」

que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

pregunto プレグント 3 単点・時制の一致(preguntar)

v.t 尋ねる

「動詞」

"si estaba bien". シ・エスタバ・ビエン n. 「元気なのか？」

「目的語」

Segunda parte 第2部

彼の妻は笑って、言った：「今までにないくらい元気よ」

Su mujer rió y dijo "que nunca se había sentido mejor"

「主語」「動詞句」《que「動詞句」「補語」》

Su mujer ス・ムヘール n.f 彼の妻は

「主語」

rió リオ 3 単点(reír)v.i 笑った

「動詞」

y イ conj. そして

dijo デ・ヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

"que ケ pron (会話の文頭で強調) ～するほど

nunca se había sentido ヌンカ・セ・アビ・ア・センチト 1 単線・完了形・否定(sentirse)

v.pr いままでに感じたことがない

「動詞句」

mejor" メホル adj. もっと良い、元気な

「補語」

僕の左隣の、か細い手をした小柄な若者は何も言わないでいた。

El vecino de la izquierda, un jovenzuelo de manos finas, no decía nada.

「主語」「動詞句」「目的語」

El vecino エル・ベシノ n.m 隣の男は

「主語」

de la izquierda, デ・ラ・イズキエルダ adj. 左側の

「形容詞句」

un jovenzuelo ウン・ホベンズエロ n.m(= joven + -zuelo) 小柄な若者は

「主語」

de manos finas, デ・マノス・フィナス adj. か細い手をした

「形容詞句」

no decía ノ・デシア 3 単線・否定(decir)v.t 言わないでいた

「動詞句」

nada. ナダ pron 何も～ない

「目的語」

僕は、彼が小柄な老婆の正面にいて、互いにじっと見つめ合っていることに気が付いた。

Noté que estaba frente a la viejecita y que ambos se miraban con intensidad.

「動詞」「目的語」 y 「目的語」

Noté ノテ 1 単点(notar)v.t(que ～に) 気づいた

「動詞」

que ケ conj. ～ということに

「目的語」

estaba エスタバ 3 単線・存在・時制の一致(estar)v.i ～にいる

「動詞」

frente フレンテ adv.(a の) 正面に

「副詞句」

a la viejecita ア・ラ・ビエヘシタ adv. 小柄な老婆の

「間接目的語」

viejecita = vieja + -cita 小柄な老婆

y イ conj. そして

que ケ conj. ～ということに

「目的語」

ambos アンボス pron.pl 両者ともに

「主語」

se miraban セ・ミラバン 3 複点・相互・時制の一致(mirarse)v.pr 見つめあう

「動詞句」

con intensidad. コン・インテンシダ adv. 強く、激しく

「副詞句」

Segunda parte 第2部

しかし僕にはそれ以上彼らを観察する時間は無かった。マリーが僕に、希望を持たなければだめだと大声で叫んだからだ。

Pero no tuve tiempo de observarlos más porque María me gritó que era necesario tener esperanzas. Pero 「動詞句」「目的語」「副詞節」

Pero ペロ conj. しかし

no tuve ノ・トゥベ 1 単点・否定(tener)v.t. ～が無かった 「動詞句」

tiempo ティエンポ n.m 時間 「目的語」

de observarlos デ・オブセルバル・ロス adj. (目的) 彼らを観察するための 「形容詞句」

más マス adv. これ以上、それ以上 「副詞」

porque ボルケ conj. (主節の後で) ～なので 「副詞節」

María マリア n.f マリーが 「主語」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

gritó グリト 3 単点(gritar)v.t 大声で言った 「動詞」

que ケ conj. ～ということ 「直接目的語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」

necesario ネセリオ adj. 必要な 「補語」

tener テネル 不定詞 n. 持つことは 「主語」

esperanzas. エスパランサス pl.n.f 希望を 「目的語」

僕は「もちろん」と、答えた。同時に、僕は彼女を見つめて、ドレスの上から肩を抱きしめたいと思った。

Dije: "Sí." Al mismo tiempo la miraba y tenía deseos de oprimirle el hombro por encima del vestido. 「動詞」:《「応答」》 | 「副詞句」「目的語」「動詞」 y 「動詞」「目的語」

Dije: ディエ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

"Sí." シ adv. (肯定) もちろん 「応答」

Al mismo tiempo アル・ミスモ・ティエンポ adv. 同時に 「副詞句」

la ラ pron 彼女を 「目的語」

miraba ミラバ 1 単線(mirar)v.t 見つめた 「動詞」

y イ conj. そして

tenía テニア 1 単線(tener)v.t ～があった 「動詞」

deseos デセオス pl.n.m 願望 「目的語」

de +不定詞 デ adj. (同格) ～するという 「形容詞句」

oprimirle オプリミル・レ 不定詞(oprimir+le)

v.t 彼女の～を抱きしめる 「動詞句」

le は「間接目的語」

Segunda parte 第2部

el hombro エル・オンブ^ロ n.m 肩を 「目的語」
 por encima ホル・エンシマ prep(de の) ~の上を、上から 「副詞句」
 del vestido. デル・ベスチド^ト adj. ドレスの 「形容詞句」

その薄い布地に触れたかった。そして、他に何を望むことができるのか分からなかった。

Tenía deseos de tocar la tela fina, pues no sabía qué otra cosa podía esperar.

「動詞」「目的語」, pues 「動詞句」「目的語」
 Tenía テニア 1 単線(tener)v.t ~があった 「動詞」
 deseos デセオス pl(deseo).n.m 欲望、願望 「目的語」
 de tocar テ・トカル 不定詞・同格 adj. ~に触れるという 「形容詞句」
 la tela ラ・テラ n.f 布地 「目的語」
 fina, フィナ adj(fino).f 薄い 「形容詞」
 pues プエス conj. そして、それで
 no sabía ノ・サビア 1 単線・否定(saber)v.t 分からなかった 「動詞句」
 qué otra cosa ケ・オトラ・コサ pron 他にどんなことを~するかということを 「目的語」
 podía esperar. ポ・デア・エスペラル 1 単線・可能(poder+不定詞)
 v.t 望むことができる 「動詞句」

しかし、恐らくマリーは言いたかったのだろう。なぜなら、笑い続けていたから。

Pero sin duda era lo que María quería decir porque seguía sonriendo.

Pero 「副詞句」「動詞」「補語」「副詞節」
 Pero ペロ conj. しかし
 sin duda シン・ドゥダ^ダ adv. 多分 「副詞句」
 era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」
 lo que ロ・ケ pron ~ということ 「補語」
 María マリア n.f マリーは 「主語」
 quería decir クリア・デシル 3 単線・願望(querer+不定詞)v.t 言いたかった 「動詞句」
 porque ボルケ conj. なぜなら 「副詞節」
 seguía sonriendo. セギア・ソリエント^ト 3 単線・継続(seguir+現在分詞)
 v.i 笑い続けていた 「動詞句」

Segunda parte 第2部

僕には彼女の歯の白さと、目元の小さなしわしか見えなかった。

Yo no veía más que el brillo de sus dientes y los pequeños pliegues de sus ojos.

「主語」「動詞句」「目的語」

Yo ジョ pron 僕は

「主語」

no veía ノ・ベ・イ 1 単線・否定(ver)v.t 見えなかった

「動詞句」

más que マス・ケ adj. (否定文で) ~しか

「形容詞句」

el brillo エル・ブリジョ n.m 輝き

「目的語」

de sus dientes テ・ス・デ・イエンテス adj. 彼女の歯の

「形容詞句」

y イ conj. そして

los pequeños pliegues ロス・ペ・ケニョス・プ・リエグス pl.n.m 小さなしわ

「目的語」

de sus ojos. テ・ス・オホス adj. 彼女の目の

「形容詞句」

彼女はもう一度叫んだ。「あなたが出てきたら、結婚するわ！」

Gritó de nuevo: "¡Saldrás y nos casaremos!" 「動詞」「副詞句」:《「動詞」 y 「動詞句」》

Gritó グリト 3 単点(gritar)v.i 叫んだ

「動詞」

de nuevo: テ・ヌエボ adv. もう一度

「副詞句」

"¡Saldrás サルトラス 2 単未・假定・条件(salir)v.i 出てきたら

「動詞」

y イ conj. そして

nos casaremos!" ノス・カサレモス 1 複未・意思(casarse)v.pr 結婚するつもりだ

「動詞句」

僕は答えた:「そう思っているのかい？」だが、何かを言わねばならないと思ったからだ。すると、彼女は早口で、相変わらず大声で言った。そう思っている、僕は無罪になる、そしてまた海水浴に行けると続けた。

Respondí: "¿Lo crees?" pero lo dije sobre todo por decir algo. Dijo entonces rápidamente y siempre muy alto que sí, que saldría libre y que volveríamos a bañarnos.

「動詞」:《「目的語」「動詞」》pero 「目的語」「動詞」「副詞句」

「動詞」「副詞句」 y 「副詞句」「目的語」

Respondí: レスポンディ 1 単点(responder)v.i 答えた、返事をした

「動詞」

"¿Lo ロ pron それを

「目的語」

crees?" クレエス 2 単現・疑問文(creer)v.t 信じている

「動詞」

pero ペロ conj. しかし

lo ロ pron それを

「目的語」

dije テ・イ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

sobre todo ソブレ・トド adv. 特に、とりわけ

「副詞句」

por decir ホル・デシル 不定詞・目的 adv. 言うために

「副詞句」

algo. アルゴ pron 何か

「目的語」

Segunda parte 第2部

Dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
entonces エントネス adv. その時、すると	「副詞」
rápidamente ラピダメンテ adv. 急いで	「副詞」
y イ conj. そして	
siempre muy alto シエンプレ・ムイ・アルト adv. 相変わらず大声で	「副詞句」
que sí, ケ・シ adv. そうだ	「目的語」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
saldría サルドリア 1 単過未・推量(salir)	
v.i (+主格補語) ～の状態になるだろう	「動詞」
libre リブレ adj. 自由な、無罪の	「補語」
y イ conj. そして	
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
volveríamos a bañarnos. ホルベリアモス・ア・バニャルノス 1 複過未・推量・再度(volver a+不定詞)	
v.pr また海水浴に行けるだろう	「動詞句」

しかし別の女が、彼女の脇から低い怒鳴り声で、守衛室にかごを預けてきたと言った。

Pero la otra mujer aullaba por su lado y decía que había dejado un canasto en la portería.

Pero 「主語」「動詞」「副詞句」 y 「動詞」「目的語」

Pero ペロ conj. しかし	
la otra mujer ラ・オトラ・ムヘル n.f 別の女が	「主語」
aullaba アウジャバ 3 単線(aullar)v.i 唸った、低い声で怒鳴った	「動詞」
por su lado ポルス・ラド adv. 彼女の脇から	「副詞句」
y イ conj. そして	
decía デシア 3 単線(decir)v.t 言った	「動詞」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
había dejado アビア・デハド 3 単線・完了形(dejar)v.t 預けた	「動詞句」
un canasto ウン・カスト n.m かごを	「目的語」
en la portería. エン・ラ・ポルテリア adv. 守衛室に	「副詞句」

彼あてに置いてきたものを、すべて数え上げた。

Enumeraba todo lo que había puesto en él.

「動詞」「目的語」

Enumeraba エヌメラバ 3 単線(enumerar)v.t 数え上げた	「動詞」
todo lo トト・ロ pron 全てのものを	「目的語」
que ケ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
había puesto アビア・プエスト 3 単現・完了形(poner)v.t 置いてきた	「動詞句」
en él. エン・エル adv. 彼あてに	「副詞句」

Segunda parte 第2部

すべてが高かったのだから、それを確かめなければいけない。

Habría que verificarlo pues todo costaba caro.

「動詞句」「副詞節」

Habría que verificarlo アブリャ・ケ・ベリフィカル・ロ 3 単過未・必要・一般的(haber que+不定詞)

v.t それを確かめなければいけない

「動詞句」

pues プエス conj. ～なのだから

「副詞節」

todo トド pron すべてが

「主語」

costaba コスタバ 3 単線(costar)v.i 費用が掛かる

「動詞」

caro. カ adj. 高い

「補語」

隣のもう一人の男とその母親はずっと見つめ合っていた。

El otro vecino y su madre seguían mirándose.

「主語」「動詞句」

El otro vecino エル・オトロ・ヴェシノ n.m 隣のもう一人の男は

「主語」

y イ conj. そして

su madre ス・マトレ n.f 彼の母親は

「主語」

seguían mirándose. セギアン・ミラントセ 3 複線・継続(seguir+現在分詞・相互 mirarse)

v.pr ずっと見つめ合っていた

「動詞句」

アラブ人たちの呟きが僕たちの足元一面で続いていた。

El murmullo de los árabes continuaba por debajo de nosotros.

「主語」「動詞」「副詞句」

El murmullo エル・ムルムシヨ n.m 呟きが、ざわめきが

「主語」

de los árabes デ・ロス・アラベス adj. アラブ人たちの

「形容詞句」

continuaba コンチヌアバ 3 単線(continuar)v.i 続いていた

「動詞」

por debajo ポル・デバホ prep (空間) ～の下あたりで

「副詞句」

de nosotros. デ・ノストロス adj. 僕たちの

「形容詞句」

外では、光が膨らんで窓に向かって差し込んできたように思われた。光が、新鮮なジュースのように皆の顔全体にこぼれ落ちてきた。

Afuera, la luz pareció hincharse contra la ventana. Se derramó sobre todos los rostros como un jugo fresco.

「副詞」, 「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「動詞句」「副詞句」

Afuera, アフエラ adv. 外では

「副詞」

la luz ラ・ルス n.f 光が

「主語」

pareció hincharse パレシオ・インチャルセ 3 単点・推量(parecer+不定詞 hincharse)

v.pr 膨らんでいるように思われた

「動詞句」

contra コントラ prep (方向) ～に向かって

「副詞句」

Segunda parte 第2部

la ventana. ラ・ベンタ n.f 窓 「目的語」
 Se derramó セ・デラモ 3 単点(derramarse)v.pr こぼれ落ちてきた 「動詞句」
 sobre todos los rostros ソブレ・トド・ス・ロス・ロストロス adv. 顔全体に 「副詞句」
 como un jugo fresco. コモ・ウン・フゴ・フレスコ adv. 新鮮なジュースのように 「副詞句」

僕は少し具合が悪いと感じて、その場を立ち去りたいと思った。騒音がやかましかった。

Me sentía un poco enfermo y hubiese querido irme. El ruido me hacía daño.

「動詞句」「補語」 y 「動詞句」 | 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
 Me sentía メ・センチア 1 単線(sentirse)v.pr 〜だと感じた 「動詞句」
 un poco enfermo ウン・ポ・コ・エンフェルモ adj. 少し病気の 「補語」
 y イ conj. そして
 hubiese querido irme. ウビ・エ・ケリト・イル・メ 接・1 単過・完了形・願望(querer+不定詞)
 v.pr 立ち去りたいと思った 「動詞句」
 El ruido エル・ルイト n.m 騒音が 「主語」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 hacía アシア 3 単線(hacer)v.t 生じさせていた 「動詞」
 daño. ダンニョ n.m 被害、痛み 「直接目的語」

しかしその一方で、マリーの姿をもっと見ていたかった。

Pero, por otro lado, quería aprovechar aun más la presencia de María.

Pero 「副詞句」「動詞句」「副詞句」「目的語」
 Pero, ペロ conj. しかし
 por otro lado, ポル・オトロ・ラド adv. 他方、もう一方で、別の側面から 「副詞句」
 quería aprovechar クリア・アプ ロハ・チャール 1 単線・願望(querer+不定詞 aprovechar)
 v.t (有効に) 利用したかった 「動詞句」
 aun más アウン・マス adv. さらに もっと 「副詞句」
 la presencia de María. ラ・プレシエンシア・デ・マリア n.f マリーの姿を 「目的語」

どれだけ時間が経ったか分らない。マリーは仕事のことを話し、その間じゅう微笑んでいた。

No sé cuánto tiempo pasó. María me habló de su trabajo y no cesaba de sonreír.

「動詞句」「目的語」 | 「主語」「間接目的語」「動詞」「間接目的語」 y 「動詞句」
 No sé ノ・セ 1 単現・否定(saber)v.t 分らない 「動詞句」
 n. 〜ということ 「目的語」
 cuánto tiempo クアント・ティエンポ n.m どれほどの時間が 「主語」
 pasó. パソ 3 単点(pasar)v.i 過ぎた 「動詞」
 María マリア n.f マリーは 「主語」

Segunda parte 第2部

me メ pron 僕に 「間接目的語」
 habló アブロ 3 単点(hablar)v.i(de について) 話した 「動詞」
 de su trabajo デ・ストラバホ adv. 仕事のことに ついて 「間接目的語」
 y イ conj. そして
 no cesaba de sonreír. ノ・セサバ・デ・ソニール 3 単線・停止・否定(cesar de+不定詞)
 v.i 微笑み続けていた 「動詞句」
 → 停止の否定は、継続

ささやきと、叫びと、会話が交錯していた。

Se cruzaban los murmullos, los gritos y las conversaciones. 「動詞句」「主語」
 Se cruzaban セ・クルザバン 3 複線・相互(cruzarse)v.pr 交錯していた 「動詞句」
 los murmullos, ロス・ムルムジョス pl.n.m ささやきが 「主語」
 los gritos ロス・グリトス pl.n.m 叫びが 「主語」
 y イ conj. そして
 las conversaciones. ラス・コンベルサシオネス pl.n.f 会話が 「主語」

小島のように唯一静寂が保たれていたのは、青年と老婆が見つめあっている僕の脇だった。

El único islote estaba a mi lado, en el muchacho y la anciana que se miraban.
 「主語」「動詞」「副詞句」
 El único islote エル・ウニコ・イスロテ n.m 唯一の小島は 「主語」
 de silencio デ・シレンシオ adj. 沈黙の 「形容詞句」
 estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ~だった 「動詞」
 a mi lado, ア・ミ・ラド adv. (地点) 僕の脇 「副詞句」
 en エン prep (地点) ~のところ 「副詞句」
 el muchacho y la anciana エル・ムチャチョ・イ・ラ・アンシアナ pl.n 青年と老婆 「目的語」
 que ケ pron.pl (主語) ~する 「形容詞節」
 se miraban. セ・ミラバン 3 複線・相互・時制の一致(mirarse)
 v.pr 見つめあう 「動詞句」

アラブ人は少しづつ連れ出された。一人目が出ていくとすぐに、ほとんど全員が黙った。

Poco a poco los árabes fueron llevados. No bien salió el primero, casi todo el mundo calló.
 「副詞句」「主語」「動詞句」 | 「副詞句」「動詞」「主語」, 「主語」「動詞」
 Poco a poco ポコ・ア・ポコ adv. 少しづつ 「副詞句」
 los árabes ロス・アラベス pl(árabe).n.m アラブ人たちは 「主語」
 fueron llevados. フェロン・ジエバト 3 複点・受動(llevar)v.t 連れていかれた 「動詞句」
 No bien ノ・ビエン adv. ~するとすぐに 「副詞句」

Segunda parte 第2部

salíó サリオ 3 単点(salir)v.i 出ていった 「動詞」
 el primero, エル・プリメロ pron 最初の一人が 「主語」
 casi todo el mundo カシ・トド・エル・ムント pron ほとんど全員が 「主語」
 calló. カジョ 3 単点(callar)v.i 黙った 「動詞」

あの小柄な老婆が鉄格子に近づいた、それと同時に、看守が息子に合図を送った。

La viejecita se aproximó a los barrotes y, al mismo tiempo, un guardián hizo una señal al hijo. 「主語」「動詞句」「間接目的語」

y 「副詞句」「主語」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」

La viejecita ラ・ビエヘシタ n.f あの小柄な老婆は 「主語」
 se aproximó セ・アプロキシモ 3 単点(aproximarse)v.pr(a に) 近づいた 「動詞句」
 a los barrotes ア・ロス・バロテス adv. 鉄格子に 「間接目的語」
 y, イ conj. そして
 al mismo tiempo, アル・ミスト・ティエンボ adv. 同時に 「副詞句」
 un guardián ウン・グワルディアン n.m 看守が 「主語」
 hizo イ 3 単点(hacer)v.t (動作を) した 「動詞」
 una señal ウナ・セニャール n.f 合図を 「直接目的語」
 al hijo. アル・イホ adv. 息子に 「間接目的語」

息子は言った：「また今度、母さん。」すると老婆は、鉄格子の内側に手を差し入れて、ゆっくり時間をかけて別れの仕草をした。

Dijo: "Hasta pronto, mamá", y ella pasó la mano entre dos barrotes para hacerle un saludo lento y prolongado.

「動詞」：《「挨拶」「呼びかけ」》, y 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Dijo: ディョ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 "Hasta pronto, アスタ・プロント adv. また今度 「挨拶」
 mamá", ママ adv. 母さん 「呼びかけ」
 y イ conj. そして
 ella エジャ pron 彼女は 「主語」
 pasó パソ 3 単点(pasar)v.t (穴などに) 入れた 「動詞」
 la mano ラ・マノ n.f 手を 「目的語」
 entre dos barrotes エントレ・ドス・バロテス adv. 2つの鉄格子の間に 「副詞句」
 para +不定詞 パラ adv. (結果) そして～する 「副詞句」
 hacerle アセル・レ 不定詞(hacer+le)v.t 彼に～をする 「動詞句」
 un saludo ウン・サルード n.m 挨拶を、身振りを 「目的語」
 lento y prolongado. レント・イ・プロロングアード adv. ゆっくり時間をかけて 「副詞句」

Segunda parte 第2部

老婆が立ち去ると、入れ違いに帽子を手にした男が入って来て、老婆のいた場所を占めた。

La viejecita se fue mientras un hombre entraba y ocupaba el lugar, con el sombrero en la mano. 「主語」「動詞句」 mientras 「主語」「動詞」 y 「動詞」「目的語」「副詞句」
 La viejecita ラ・ビエヘシタ n.f 小柄な老婆は 「主語」
 se fue セ・フェ 3 単点(irse)v.pr 去って行った 「動詞句」
 mientras ミエントラス conj. (同時) その一方で同時に
 un hombre ウン・オンブレ n.m 男が 「主語」
 entraba エントラバ v.i 入って来ていた 「動詞」
 y イ conj. そして
 ocupaba オカパバ 3 単線(ocupar)v.t 占有した 「動詞」
 el lugar, エル・ルガール n.m 老婆のいた場所を 「目的語」
 con el sombrero コン・エル・ソンブレロ adv. 帽子をもって 「副詞句」
 en la mano. エン・ラ・mano adv. 手に 「副詞句」

別の囚人が連れてこられると、彼らはさかんに話し始めたが、室内がまた静かになっていた
 ので、中位の声の大きさに話していた。

Se introdujo a otro preso y hablaron con animación, pero a media voz porque la habitación había vuelto a quedar silenciosa. 「動詞句」「主語」 y 「動詞」「副詞句」
 Se introdujo セ・イントロト^ホ 3 単点・再帰受動(introducirse)v.t 入れられた 「動詞句」
 a otro preso ア・オトロ・プレソ n.m 別の囚人が 「主語」
 y イ conj. そして
 hablaron アブラロン 3 複点(hablar)v.i 話した 「動詞」
 con コン prep (様態) ～をもって 「副詞句」
 animación, アニマシオン n.f 活気 「目的語」
 pero ペロ conj. しかし
 a media voz ア・メディア・ボス adv. 程ほどの声の大きさに 「副詞句」
 porque ポルケ conj (理由) ～なので 「副詞節」
 la habitación ラ・アビタシオン n.f 室内は 「主語」
 había vuelto a quedar アビア・フエルト・ア・ケダール 3 単線・完了形・再度(volver a+不定詞 quedar)
 v.i 再び～の状態になっていた 「動詞句」
 quedar ケダール v.i ～の状態になる
 silenciosa. シレンシオサ adj(silencioso).f 静かな 「補語」

Segunda parte 第2部

看守たちが右隣の男を迎えに来た。するとその妻は、もう大声を出す必要がなくなったことにまるで気付かないように、今までと同様に大声で言った：「体に気を付けるんだよ！注意しなさいよ！」

Vinieron a buscar al vecino de la derecha y su mujer le dijo sin bajar el tono, como si no hubiese notado que ya no era necesario gritar: "¡Cuidate y fíjate en lo que haces!"

「動詞」「目的語」 y 「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」：《「呼びかけ」》

Vinieron a buscar ビニエロン・ア・ブスカール 3 複点・目的(venir a+不定詞)

v.t (看守たちが) 迎えに来た、連れに来た 「動詞句」

al vecino de la derecha アル・ベシノ・デ・ラ・テレチャ n.m 右隣の男を 「目的語」

y イ conj. そして

su mujer スムハール n.f 彼の妻は 「主語」

le レ pron 彼に 「間接目的語」

dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

sin bajar el tono, シン・バハール・エル・トノ adv.(sin+不定詞) 声を低くしないで 「副詞句」

como si+接続法 コモ・シ conj. まるで～であるかのように 「副詞節」

no hubiese notado ノ・ウビエ・ノタド 接・3 単過・完了形(notar)

v.t 気付かなかった 「動詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

ya ヤー adv. もう 「副詞」

no era ノ・エラ 3 単線・否定・時制の一致(ser)v.i ～でない 「動詞」

necesario ネセサリオ adj.(+不定詞) 必要な 「補語」

gritar: グリタル 不定詞 adv. 大声を出すことが 「副詞」

"¡Cuidate クイダテ 命・2 単現(cuidarse)v.pr 体に気をつけなさい 「呼びかけ」

y イ conj. そして

fíjate フィハテ 命・2 単現(fijarse)v.pr(en に) 注意しなさい 「呼びかけ」

en lo que haces! エン・ロ・ケ・アセス adv. 自分のすることに 「間接目的語」

それから僕の順番になった。マリーは僕にキスする仕草をした。

Luego me llegó el turno. María hizo ademán de besarme.

「副詞」「間接目的語」「動詞」「主語」 | 「主語」「動詞」「目的語」

Luego ルエゴ adv. それから 「副詞」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

llegó ジェゴ 3 単点(llegar)v.i 到来した、やってきた 「動詞」

el turno. エル・トルノ n.m 順番が 「主語」

María マリア n.f マリーは 「主語」

hizo イ 3 単点(hacer)v.t (動作を) した 「動詞」

Segunda parte 第2部

ademán アデマン n.m しぐさを 「目的語」
 de besarme. デ・ベサル・メ adj. 僕にキスする 「形容詞句」

僕は面会所を出る前に振り返った。彼女は鉄格子に顔を押し当て、引き裂かれてひきつった
 あの同じ微笑みを浮かべてじっとしていた。

Me volví antes de salir. Permanecía inmóvil, con el rostro apretado contra la reja, con la misma sonrisa abierta y crispada. 「動詞句」「副詞句」 | 「動詞」「補語」「副詞句」
 Me volví メ・ボルビ 1 単点(volverse)v.pr 振り返った 「動詞句」
 antes de +不定詞 アンテス・デ adv. (時) ~する前に 「副詞句」
 salir. サール 不定詞 v.i (面会所を) 出ていく 「動詞」
 Permanecía ペルマネシア 3 単線(permanecer)v.i ~のままでいた 「動詞」
 inmóvil, インモビル adv. 動かない、不動の 「補語」
 con コン adv. (様態) ~の状態で 「副詞句」
 el rostro エル・ロストロ n.m 顔 「目的語」
 apretado アプレタド 過去分詞・受動(apretar)adj. 押し付けられた 「形容詞」
 contra コントラ prep ~に対して 「副詞句」
 la reja, ラ・レハ n.f 鉄格子 「目的語」
 con コン adv. (様態) ~の状態で 「副詞句」
 la misma sonrisa ラ・ミスマ・ソンスリサ n.f あの同じ微笑み 「目的語」
 abierta アビエルタ 過去分詞・受動(abrir)adj.f 引き裂かれた 「形容詞」
 y イ conj. そして
 crispada. クリパダ 過去分詞(crispar)adj.f 引きつった 「形容詞」

少し経ってから、彼女が僕に手紙を送ってくれた。そしてその時から、僕にとっては、話す
 気になれない様々なことが始まった。

Poco después me escribió. Y a partir de ese momento comenzaron las cosas de las que nunca me ha gustado hablar.
 「副詞句」「間接目的語」「動詞」 | Y 「副詞句」「動詞」「主語」
 Poco después ポコ・デスプエス adv. 少し経ってから 「副詞句」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 escribió. エスクリビオ 3 単点(escribir)v.i(a に) 手紙を送ってきた 「動詞」
 Y イ conj. そして
 a partir de ア・パルチール・デ prep (時間・起点) ~から 「副詞句」
 ese momento エセ・モメント n.m その時 「目的語」
 comenzaron コメンサロン 3 複点(comenzar)v.i 始まった 「動詞」
 las cosas ラス・コサス・デ・ラス pl.n.f そのような事が 「主語」

Segunda parte 第2部

de las que テ・ラス・ケ pron (間接目的語) それについて～する 「形容詞節」

nunca ...ha gustado ヌンカ...ア・グスタド 3 単現・完了形・否定(gustar)

v.i(+不定詞) 決して気に入らなかった 「動詞句」

me メ pron 僕にとって 「間接目的語」

hablar. アブラール 不定詞(+de las que)v.i (～について) 話すことは「主語」

それでも、何事も誇張されてはならないのだが、僕としては、他の人より楽だった。

De todos modos, no se debe exagerar nada y para mí resultó más fácil que para otros.

「副詞句」, 「動詞句」「主語」 y 「副詞句」「動詞」「補語」

De todos modos, テ・トドス・モトス adv. それでも、とにかく 「副詞句」

no se debe exagerar ノ・セ・デ・ベ・エクサヘール 3 単現・禁止(deber+不定詞・再帰受動 exagerarse)

v.pr 誇張されてはならない 「動詞句」

nada ナダ pron 何事も～ない 「主語」

y イ conj. そして

para mí パ・ラ・ミ adv. 僕にとっては 「副詞句」

resultó レスト 3 単点(resultar)v.i ～という結果になった 「動詞」

más fácil マス・ファシル adj. もっと楽な 「補語」

que para otros. ケ・パ・ラ・オトス adv. (比較) 他の人よりも 「副詞句」

拘留されてすぐの頃に、一番つらかったのは、自由な人間の考えが抜けていなかったことだ。

例えば、浜辺に行って、海に向かって降りて行きたいという欲望を感じることもあった。

Al principio de la detención lo más duro fue que tenía pensamientos de hombre libre por ejemplo, sentía deseos de estar en una playa y de bajar hacia el mar.

「副詞句」「主語」「動詞」「補語」「副詞句」, 「動詞」「目的語」

Al principio アル・プリンシピオ adv. (期間) 最初のうちは 「副詞句」

de la detención テ・ラ・デテンシオン adj. 拘留の 「形容詞句」

lo más duro ロ・マス・トウロ pron 一番つらいことは 「主語」

fue フェ 3 単点(ser)v.i ～だった 「動詞」

que ケ conj. ～ということ 「補語」

tenía テニア 1 単線(tener)v.t ～があった 「動詞」

pensamientos ペンサミエントス pl(pensamiento).n.m 考え 「目的語」

de hombre libre テ・オンブレ・リブレ adj. (所有) 自由な人間の 「形容詞句」

por ejemplo, ホル・エヘンプロ adv. 例えば 「副詞句」

sentía センチア 1 単線(sentir)v.t 感じた 「動詞」

deseos テセオス pl(deseo).n.m 欲望 「目的語」

de estar デ・エスター 不定詞・目的・移動 adj. ～に行きたいという 「形容詞句」

Segunda parte 第2部

en una playa エン・ウナ・プラジャ adv. 浜辺に 「間接目的語」
 y イ conj. そして
 de bajar デ・バハル 不定詞・目的・移動 adj. 降りていきたいという 「形容詞句」
 hacia el mar. アシア・エル・マル adv. 海に向かって 「副詞句」

足の裏から聞こえる一番波の音や、水中に浸かることや、その時に見つける安堵などを想像すると、突然、牢獄の壁が僕を包み込むように迫って来ていることに気が付く。

Al imaginar el ruido de las primeras olas bajo las plantas de los pies, la entrada del cuerpo en el agua y el alivio que encontraba, sentía de golpe cuánto se habían estrechado los muros de la prisión. 「副詞句」, 「動詞」 「副詞句」 「目的語」

Al imaginar アル・イマヒナル 不定詞・条件 adv. ～を想像すると 「副詞句」

el ruido エル・ルイト n.m 物音を 「目的語」

de las primeras olas デ・ラス・プリメラス・オラス

adj. 一番波の、最初の波の 「形容詞句」

bajo las plantas バホ・ラス・プラントス adv. 足裏の下で 「副詞句」

de los pies, デ・ロス・ピエス adj. 足の 「形容詞句」

la entrada ラ・エントラダ n.f 入場を 「目的語」

del cuerpo デル・クエルポ adj. 体の 「形容詞句」

en el agua エン・ネル・アグア adv. 水中に 「副詞句」

y イ conj. そして

el alivio エル・アリビオ n.m 安堵を 「目的語」

que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

encontraba, エンコントラバ 3 単線・時制の一致(encontrar)

v.t 見つける 「動詞」

sentía センチア 1 単線・時制の一致(sentir)v.t 感じる 「動詞」

de golpe デ・ゴルペ adv. 突然 「副詞句」

cuánto クワント adv. どれほど～かということ 「目的語」

se habían estrechado セ・アビアン・エストレチャド 3 複線・完了形・相互・時制の一致(estrecharse)

v.pr 狭まっている 「動詞句」

los muros ロス・ムロス pl.n.m 壁たちが 「主語」

de la prisión. デ・ラ・プリシオン adj. 牢獄の 「形容詞句」

Segunda parte 第2部

だがこれは数か月続いた。その後は、囚人の考えしか持たなくなった。

Pero esto duró algunos meses. Después no tuve sino pensamientos de presidiario.

Pero 「主語」「動詞」「副詞句」 | 「副詞」「動詞句」「目的語」

Pero ペロ conj. しかし

esto エスト pron これは 「主語」

duró トゥロ 3 単点(durar)v.i 続いた 「動詞」

algunos meses. アルグノス・メス pl.n.m 数か月 「副詞句」

Después デスプエス adv. その後は 「副詞」

no tuve ノ・トゥベ 1 単点(tener)v.t 持たなかった 「動詞句」

sino pensamientos シノ・ペンサミエンツ pl.n.m 考えしか 「目的語」

de presidiario. デ・プレシディアリオ adj. 囚人の 「形容詞句」

僕は、中庭でする日課の散歩や弁護士の接見を待ち望むようになっていた。

Esperaba el paseo cotidiano que daba por el patio o la visita del abogado.

「動詞」「目的語」

Esperaba エスペラバ 1 単線(esperar)v.t 期待していた、待ち望んでいた 「動詞」

el paseo エル・パセオ n.m 散歩を 「目的語」

cotidiano コチディアノ adj. 日々の 「形容詞」

que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

daba タバ 1 単線・時制の一致(dar)v.t (動作を) していた 「動詞」

por el patio ホル・エル・パチオ adv. 中庭での 「副詞句」

o オ conj. または

la visita del abogado. ラ・ビシタ・デル・アボガト n.f 弁護士の接見 「目的語」

残りの時間をうまくやり繰りできるようになった。

Disponía muy bien el resto del tiempo. 「動詞」「副詞句」「目的語」

Disponía デイスポニャ 1 単線・変化(disponer)v.t ~を配置するようになった 「動詞」

muy bien ムイ・ビエン adv. たいへんうまく 「副詞句」

el resto エル・レスト n.m 残りを 「目的語」

del tiempo. テル・ティエンポ adj. 時間の 「形容詞句」

Segunda parte 第2部

その頃僕が時々考えたのは、もし枯れ木の幹の中で、頭上の花を見る以外のことは何もしないで生活をするように強いられたとしても、僕は徐々に慣れていったらろうということだ。

Pensé a menudo entonces que si me hubiesen hecho vivir en el tronco de un árbol seco sin otra ocupación que la de mirar la flor del cielo sobre la cabeza, me habría acostumbrado poco a poco. 「動詞」「副詞句」「目的語」

Pensé ペンセ 1 単点(pensar)v.t(que ～と) 考えた 「動詞」

a menudo ア・メスト adv. 時々、しばしば 「副詞句」

entonces エントネス adv. 当時、その頃 「副詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

me メ pron 僕に 「目的語」

hubiesen hecho ヲビエソエチ 接・3 複過・使役・完了形・假定(hacer)

v.t. ～させた 「動詞句」

受動態に翻訳する

vivir ビビール 不定詞・me の動作 v.i 暮らす 「補語」

en el tronco エソ・エル・トロソ adv. (木の) 幹の中で 「副詞句」

de un árbol テ・ウン・アルボル adj. 木の 「形容詞句」

seco セコ adj. 乾いた 「形容詞」

sin otra ocupación シン・オトラ・オカパシオン adv. 別の仕事をせずに 「副詞句」

que ケ conj.(sin...que) ～する以外には 「副詞句」

la de mirar ラ・デ・ミラル pron 見る事 「目的語」

la flor del cielo ラ・フロール・テル・シエロ

n.f 空の花を 「目的語」

sobre la cabeza, ソブレ・ラ・カベサ

adv. 頭上の 「副詞句」

me habría acostumbrado メ・アブリア・アコストゥンブラト 1 単過未・完了形・推量(acostumbrarse)

v.pr 慣れていったらろう 「動詞句」

英語では、I would have accustomed myself.

poco a poco. ホコ・ア・ホコ adv. 徐々に、少しずつ 「副詞句」

Segunda parte 第2部

ここで弁護士の奇妙なネクタイを待つように、そして別の世界で、マリーの体を抱きしめるために土曜日を辛抱強く待つように、僕は雲との出会いや、鳥たちの足音を待たせよう。

Hubiese esperado el paso de los pájaros y el encuentro de las nubes como esperaba aquí las curiosas corbatas de mi abogado y como, en otro mundo, esperaba pacientemente el sábado para estrechar el cuerpo de María. 「動詞句」「目的語」「副詞節」

Hubiese esperado ヲビエ・エス・ラト 接・1 単過・完了形・推量(esperar)

v.t 待たせよう 「動詞句」

el paso エル・パソ n.m 足音を 「目的語」

de los pájaros テ・ロス・パ・ハス adj. 鳥たちの 「形容詞句」

y イ conj. そして

el encuentro エル・エンクエントロ n.m 出会いを 「目的語」

de las nubes テ・ラス・ヌベス adj. 雲たちとの 「形容詞句」

como コモ conj. ～するように 「副詞節」

esperaba エスペラハ 1 単線・時制の一致(esperar)v.t 待っている 「動詞」

aquí アキ adv. ここで 「副詞」

las curiosas corbatas ラス・クリオサス・コルバタス

pl(corbata).n.f 奇妙なネクタイを 「目的語」

de mi abogado テ・ミ・アボガト adj. 僕の弁護士の 「形容詞句」

y イ conj. そして

como, コモ conj. ～するように 「副詞節」

en otro mundo, エン・オトロ・ムント adv. 別の世界で 「副詞句」

esperaba エスペラハ 1 単線・時制の一致(esperar)v.t 待っている 「動詞」

pacientemente パシエンテメンテ adv. 辛抱強く 「副詞」

el sábado エル・サバト n.m 土曜日を 「目的語」

para estrechar パラ・エストレチャール 不定詞・目的 adv. 抱きしめるために 「副詞句」

el cuerpo エル・クエルポ n.m 体を 「目的語」

de María. テ・マリア adj. マリーの 「形容詞句」

結局、よく考えると、僕は枯れ木の中に居るわけではない。

Después de todo, pensándolo bien, no estaba en un árbol seco.

「副詞句」, 「動詞句」 「副詞句」

Después de todo, デスプエ・エス・デ・トト adv. 結局 「副詞句」

pensándolo ペンサント・ロ 現在分詞・条件 adv. 考えると 「副詞句」

bien, ビエン adv. よく 「副詞」

no estaba ノ・エスタハ 1 単線・存在・否定(estar)v.i ～に居なかった 「動詞句」

en un árbol seco. エン・ウン・アルボル・セコ adv. 枯れ木の中に 「副詞句」

Segunda parte 第2部

僕より不幸な人たちもいるんだ。

Había otros más desgraciados que yo.

「動詞」「目的語」

Había アビア 3 単線・存在・時制の一致(haber)v.t. ～がいる

「動詞」

otros オトス pron.pl. 他の人が

「目的語」

más desgraciados マス・デスグラシアドス adj. (比較級) もっと不幸な

「形容詞句」

que yo. ケ・ジョ adv. (比較) 僕よりも

「副詞句」

その上、母さんには考えがあった。そして、人はどんなことにでも、結局は慣れるものだという考えを、しばしば繰り返して言っていた。

Por otra parte, mamá tenía la idea, y la repetía a menudo, de que uno acaba por acostumbrarse a todo.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」, y 「目的語」「動詞」「副詞句」「目的語」

Por otra parte, ホル・オトラ・パルテ adv. その上、他方では

「副詞句」

mamá ママ n.f. 母さんは

「主語」

tenía テニア 3 単線(tener)v.t. ～があった

「動詞」

la idea, ラ・イデア n.f. 考え

「目的語」

y イ conj. そして

la ラ pron. その考えを

「目的語」

repetía レペチア 3 単線(repetir)v.t.(de) 繰り返し言っていた

「動詞」

a menudo, ア・メスト adv. しばしば

「副詞句」

de que デ・ケ conj. (la を修飾) ～という

「形容詞節」

uno ウノ pron. 人は

「主語」

acaba por acostumbrarse アカバ・ホル・アコスツングラルセ 3 単線・結局・時制の一致

(acabar por+不定詞)v.pr. 結局慣れるものだ

「動詞句」

a todo. ア・トド adv. どんなことにでも

「間接目的語」

他のことについては、普通は度を越すようなことはなかった。

En cuanto a lo demás, en general no iba tan lejos.

「副詞句」「動詞句」「副詞句」

En cuanto a エン・クワント・ア prep (関連) ～に関して

「副詞句」

英語では as to

lo demás, ロ・デマス pron. そのほかの事

「目的語」

en general エン・ヘネラル adv. 概して、普通は

「副詞句」

no iba ノ・イバ 3 単線・否定(ir)v.i. 行くことはなかった

「動詞句」

tan lejos. タン・レホス adv.それほど遠くへ

「副詞句」

ir demasiado lejos 度を越す、行き過ぎる

Segunda parte 第2部

最初の数か月は辛かった。しかし、まさにその課せられた努力が、その困難を乗り越える手助けとなった。

Los primeros meses fueron duros. Pero precisamente el esfuerzo que debía hacer ayudaba a pasarlos. 「主語」「動詞」「補語」 | Pero 「主語」「動詞句」

Los primeros meses ロスプリモス・メス pl.n.m 最初の数か月は 「主語」

fueron フェロン 3 複点(ser)v.i 〜だった 「動詞」

duros. ドゥロス adj.m.pl 厳しい、辛い 「補語」

Pero ペロ conj. しかし

precisamente プレシサメント adv. まさしく 「副詞」

el esfuerzo エル・エスフuerzo n.m 努力が 「主語」

que ケ pron (目的語) 〜する 「形容詞節」

debía hacer デビ・ア・アセル 1 単線・必要(deber+不定詞)

v.t しなければならなかった 「動詞句」

ayudaba a pasarlos. アジュタバ・ア・パサル・ロス 3 単線・援助(ayudar a+不定詞)

v.i それらを乗り越えることを助けた 「動詞句」

例えば、女に対する欲望には苦しんだ。

Por ejemplo, estaba atormentado por el deseo de una mujer.

「副詞句」「動詞句」「副詞句」

Por ejemplo, ホール・エンプロ adv. 例えば 「副詞句」

estaba atormentado エスタバ・アトルメント 1 単線・受動(atormentar)v.t 〜に苦しんだ「動詞句」

por el deseo ホール・エル・デセオ adv. (原因) 欲望に 「副詞句」

de una mujer. デ・ウナ・ムヘル adv. (方向) 女への 「副詞句」

それは当然だ：僕は若いのだから。決して特にマリーのことを考えていたわけではない。

Era natural: yo era joven. No pensaba nunca en María particularmente.

「動詞」「補語」：「主語」「動詞」「補語」 | 「動詞句」「間接目的語」

Era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i 〜である 「動詞」

natural: ナチュラル adj. もっともな、当然の 「補語」

yo ジョ pron 僕は 「主語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i 〜である 「動詞」

joven. ホベン adj. 若い 「補語」

No pensaba nunca ノ・ペンサバ・ヌカ 1 単線・否定(pensar)

v.i(en について) 決して考えていなかった 「動詞句」

en María エン・マリア adv. マリーについて 「間接目的語」

Segunda parte 第2部

particularmente. パルティクラルメンテ adv. 特に

「副詞」

しかし、一人の女についてや、女たちについてや、関係を持ったすべての女についてや女たちを愛した時の状況についてなど様々なやり方で考えていたので、ついには独房は女たちの顔で一杯になり、僕の欲望で溢れた。

Pero pensaba de tal manera en una mujer, en las mujeres, en todas las que había conocido, en todas las circunstancias en las que las había amado, que la celda se llenaba con todos sus rostros y se poblaba con mis deseos.

Pero 「動詞」「副詞句」, que 「主語」「動詞句」「副詞句」 y 「動詞句」「副詞句」

Pero ペロ conj. しかし

pensaba ペンサバ 1 単線(pensar)v.i(en について) 考えた

「動詞」

de tal manera デ・タル・マネラ adv. (手段) そのような方法で

「副詞句」

en una mujer, エン・ウナ・ムヘール adv. 一人の女について

「間接目的語」

en las mujeres, エン・ラス・ムヘレス adv. 女たちについて

「間接目的語」

en todas las エン・トダス・ラス adv. すべての女たちについて

「間接目的語」

que había conocido, ケ・アビエア・コノシト

pron (目的語) 関係を持った

「形容詞節」

en todas las circunstancias エン・トダス・ラス・シルクンスタンシアス

adv. すべての状況について

「間接目的語」

en las que las había amado, エン・ラス・ケ・ラス・アビエア・アマト

adv. 女たちを愛したその時の

「副詞句」

que ケ conj. (結果) そして～する

de tal manera que+直接法 「それほどなので～する」

la celda ラ・セルダ n.f 独房は

「主語」

se llenaba セ・ジェナバ 3 単線(llenarse)v.pr(con で) 一杯になった

「動詞句」

con todos sus rostros コン・トダス・ス・ロストロス adv. 女たちの顔で

「副詞句」

y イ conj. そして

se poblaba セ・ポブラバ 3 単線(poblarse)v.pr (con 住民で) 一杯になった

「動詞句」

con mis deseos. コン・ミス・デセオス adv. 僕の欲望で

「副詞句」

Segunda parte 第2部

ある意味でこれは僕の精神の安定を乱した。しかし別の意味では、時間つぶしになった。

En cierto sentido esto me desequilibraba. Pero en otro, mataba el tiempo.

「副詞句」「主語」「目的語」「動詞」 | Pero 「副詞句」「動詞」「目的語」

En cierto sentido エン・シエルト・セントド adv. ある意味では 「副詞句」

cierto シエルト adj.(+名詞) ある〜 sentido セントド n.m 意味、感覚

esto エスト pron これは 「主語」

me メ pron 僕を 「目的語」

desequilibraba. デセキリブラバ 3 単線(desequilibrar)v.t 精神の均衡を失わせた 「動詞」

Pero ペロ conj. しかし

en otro, エン・オトロ adv. 別の意味では 「副詞句」

mataba マタバ 3 単線(matar)v.t (時間を) つぶした 「動詞」

el tiempo. エル・ティエンポ n.m 時間を 「目的語」

僕は、食事の時間に賄い係に同行して来る看守長に気に入られるようになった。

Había concluido por ganar la simpatía del guardián jefe que acompañaba al mozo de la cocina a la hora de las comidas.

「動詞句」「目的語」

Había concluido por ganar アビア・コンクルイト・ホル・ガナル 1 単線・結果(concluir por+不定詞)

v.t ついに〜を獲得した 「動詞句」

la simpatía ラ・シンパティア n.f 好意を 「目的語」

del guardián jefe テル・グアルディアン・フェフェ adj. 看守長の 「形容詞句」

que ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」

acompañaba アコンパニャバ 3 単線・時制の一致(acompañar)

v.t 同行して来る 「動詞」

al mozo アル・モソ n.m 下級の看守に 「目的語」

de la cocina テ・ラ・コシナ adj. 食事の 「形容詞句」

a la hora ア・ラ・オラ adv. 時間に 「副詞句」

de las comidas. テ・ラス・コミダス

adj. 食事の 「形容詞句」

Segunda parte 第2部

女のことを最初に僕に話したのは彼だった。他の囚人たちが最初に不平を言うのはそのことだと、彼は僕に言った。

Él fue quien primero me habló de mujeres. Me dijo que era la primera cosa de la que se quejaban los otros. 「主語」「動詞」「補語」 | 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Él エル pron 彼 「主語」

fue フエ 3 単点(ser)v.i ～だった 「動詞」

quien ㄑㄩㄛ ㄣ pron ～する人 「補語」

primero プリメロ adv. 最初に 「副詞」

me ｾ pron 僕に 「間接目的語」

habló アブ 3 単点(hablar)v.i(de について) 話した 「動詞」

de mujeres. テ`・ムヘス adv. 女のことを 「間接目的語」

Me ≠ pron 僕に 「間接目的語」

dijo デイは3単点(decir)v.t 言った 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

era ㄦㄚˊ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」

la primera cosa ラ・フ°リメラ・コーサ n.f 最初の事 「補語」

de la que テゝ・ラ・ケ conj. それについて～する 「形容詞節」

se quejaban セ・ケハバン 3 複線(quejarse)

v.pr(de について) 不平を言う 「動詞句」

los otros. 𐄂𐄂𐄂𐄂 pron.pl 他の囚人たちが 「主語」

僕も他の囚人たちと同様で、この待遇は不当だと思うと彼に言った。

Le dije que yo era como ellos y que encontraba injusto este tratamiento.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 y 「直接目的語」

Le ∨ pron 彼に 「間接目的語」

dije ティエ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

yo ジョ pron 僕は 「主語」

era エ 1 単線・時制の一致(ser)v.i ~である 「動詞」

como ellos コモ・エシヨス adv. 他の囚人たちと同様の 「補語」

y イ conj. そして

que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

encontraba エンコントラバ 1 単線・時制の一致(encontrar)

v.t (+目的格補語) 評価する、と思う 「動詞」

injusto インフスト adj. 不当な、不公平な 「補語」

este tratamiento. エステ・トラタメント n.m この待遇は 「目的語」

Segunda parte 第2部

「しかし」と、彼は言った。「まさにそのために、君たちを刑務所に入れるのさ」--「何がそのためなの？」--「もちろん、それは自由さ。君たちから自由を奪うのさ」

"Pero", dijo, "precisamente para eso los ponen a ustedes en la cárcel." - "¿Cómo, para eso?" - "Pues sí. La libertad es eso. Se les priva de la libertad."

《Pero》, 「動詞」, 《「副詞句」「目的語」「動詞」「目的語」「副詞句」》

-- 《「質問」》 -- 《「応答」「主語」「動詞」「補語」

「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」》

"Pero", ^{ペロ} conj. しかし

dijo, ^{ディョ} 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

"precisamente ^{プレシサメンテ} adv. まさに、まさしく 「副詞」

para eso ^{パラエソ} adv. (目的) そのために 「副詞句」

los ^{ロス} pron.pl あなた方を 「目的語」

ponen ^{ポネ} 3 複現(poner)v.t 入れる 「動詞」

a ustedes ^{アウステデス} pron/pl 君たちを 「目的語」

en la cárcel." - ^{エン・ラ・カルセル} adv. 刑務所に 「副詞句」

"¿Cómo, para eso?" - ^{コモ・パラエソ} adv. 何がそのためなの? 「質問」

"Pues sí. ^{プエス・シ} adv. もちろん 「応答」

La libertad ^{ラ・リベルタ} n.f 自由は 「主語」

es ^{エス} 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

eso. ^{エソ} pron それ 「補語」

Se ...priva ^{セ...プリバ} 3 単現(privarse)v.pr ~を奪う 「動詞句」

les ^{レス} pron.pl 君たちの 「間接目的語」

de la libertad." ^{デ・ラ・リベルタ} n.f 自由を 「直接目的語」

Segunda parte 第2部

そんなことは、今までに一度も考えたことがなかった。僕は同意した：「その通りだ」と、彼に言った。「もしそうでなければ、どこに罰があるというのか？」

—「そうだ、お前さんは物事を心得ている。他の連中は分かっていない。それでも、結局は自分自身で満足を得るようになるんだ」

Nunca había pensado en ello. Asentí: "Es verdad", le dije, "si no, ¿dónde estaría el castigo?" -"Sí, usted comprende las cosas. Los demás no. Pero concluyen por satisfacerse por sí mismos."

「動詞句」「間接目的語」

Nunca había pensado ヌンカ・アビ・ア・ペンサド 1 単線・完了形・否定(pensar)

v.i 今までに一度も考えたことがなかった

「動詞句」

en ello. エン・エリョ adv. それについて

「間接目的語」

Asentí: アセンチ 1 単点(asentir)v.i 同意した

「動詞」

"Es エス 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

verdad", ベルダド n.f 真理、事実

「補語」

le レ pron 彼に

「間接目的語」

dije, ディヘ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

"si no, シ・ノ conj. そうでなかったら

「副詞句」

¿dónde ドンデ adv. どこに

「副詞」

estaría エスタリア 3 単過未・存在・推量(estar)v.i ~にあるだろう

「動詞」

el castigo?" エル・カスティゴ n.m 罰は

「主語」

-"Sí, シ adv. (肯定) そうだ

「応答」

usted ウステ pron お前さんは

「主語」

comprende コンプレンデ 3 単現(comprender)v.t 分かっている

「動詞」

las cosas. ラス・コサス pl(cosa)n.f 物事を

「目的語」

Los demás ロス・デマス pl(demás).pron その他の人たちは

「主語」

no. ノ adj. 分かっていない

「補語」

Pero ペロ しかし

concluyen por satisfacerse コンクルビエン・ポル・サティスファセルセ 3 複現・結局(concluir por+不定詞)

v.pr 結局は満足する

「動詞句」

por sí mismos." ホル・シ・ミスマス adv. (動作主) 自分自身によって

「副詞句」

すぐに看守長は去って行った。煙草のことも同様だった。

El guardián se marchó enseguida. Hubo también los cigarrillos.

「主語」「動詞句」「副詞」 | 「動詞」「目的語」

El guardián エル・グアルディアン n.m 看守長は

「主語」

se marchó セ・マルチョ 3 単点(marcharse)v.pr 去った

「動詞句」

Segunda parte 第2部

enseguida. エンセギダ	adv. すぐに	「副詞」
Hubo ウボ	3 単点(haber)v.t ~があった	「動詞」
también タンビエン	adv. ~もまた	「副詞」
los cigarrillos. ロス・シガリジヨス	pl(cigarrillo).n.m 煙草	「目的語」

刑務所に入った時、僕は、ベルトや、靴の紐や、ネクタイやポケットに持っていたもの全てや、特にタバコを取り上げられた。独房に移ってから、僕は煙草を返してくれと頼んでみた。

Quando entré en la cárcel me quitaron el cinturón, los cordones de los zapatos, la corbata y todo lo que llevaba en los bolsillos, especialmente los cigarrillos, una vez en la celda pedí que me los devolvieran.

「副詞節」, 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」, 「副詞句」「動詞」「目的語」		
Quando クワント	conj. ~した時	「副詞節」
entré エントレ	1 単点(entrar)v.i (en・a に) 入った	「動詞」
en la cárcel エン・ラ・カルセル	adv. 刑務所に	「副詞句」
me メ pron	僕の	「間接目的語」
quitaron キタロン	3 複点(quitar)v.t 取り上げた	「動詞」
受動態に翻訳する		
el cinturón, エル・シントウロン	n.m ベルトを	「直接目的語」
los cordones ロス・コルトネス	pl(cordón).n.m 紐を	「直接目的語」
de los zapatos, デ・ロス・サハトス	adj. 靴の	「形容詞句」
la corbata ラ・コルバタ	n.f ネクタイ	「直接目的語」
y イ conj.	そして	
todo lo トト・ロ	pron すべての物を	「直接目的語」
que ケ pron	(目的語) ~する	「形容詞節」
llevaba ジェババ	1 単線(llevar)v.t 持っていた	「動詞」
en los bolsillos, エン・ロス・ボルシジヨス	adv. ポケットの中に	「副詞句」
especialmente エスぺシヤルメンテ	adv. 特に	「副詞」
los cigarrillos, ロス・シガリジヨス	pl.n.m タバコ	「直接目的語」
una vez ウナ・ベス	adv. ~した後で、ある時	「副詞句」
en la celda エン・ラ・セルタ	adv. 独房で	「副詞句」
pedí ペディ	1 単点(pedir)v.t 頼んだ	「動詞」
que ケ conj.	~ということ	「目的語」
me メ pron	僕に	「間接目的語」
los ロス pron.pl	タバコを	「直接目的語」
devolvieran. デボルビエラン	接・3 複過・願望(devolver)	
v.t 返してくれないだろうか		「動詞」

Segunda parte 第2部

しかし、それは禁じられているということだった。最初の何日かはとても辛かった。

Pero se me dijo que estaba prohibido. Los primeros días fueron muy duros.

Pero 「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」

Pero ペロ conj. しかし

se ...dijo セ...ディョ 3 単点(decirse)v.pr(que ~) というところだった 「動詞句」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

que ケ conj. ~ということ 「直接目的語」

estaba エスタバ 3 単線・時制の一致(estar)v.i ~である 「動詞」

prohibido. プロビド adj. 禁止された 「補語」

Los primeros días ロス・プリメロス・デ・アス pl.n.m 最初のころは 「主語」

fueron フエロン 3 複点(ser)v.i ~だった 「動詞」

muy duros. マイ・トゥロス adj.m.pl 非常に辛い、困難な 「補語」

恐らく、このことが僕を一番苦しめた。僕はベッドの板から剥ぎ取った木っ端を吸った。

Quizá haya sido esto lo que más me abatió. Chupaba trozos de madera que arrancaba de la tabla de la cama. 「副詞」「動詞句」「補語」「主語」 | 「動詞」「目的語」

Quizá キサ adv. たぶん、おそらく 「副詞」

haya sido アヤ・シド 接・3 単現・完了形・推測(ser)v.i ~だったろう 「動詞句」

esto エスト pron これ (タバコが禁止されていること) 「補語」

lo que ロケ pron (主語) ~することは 「主語」

más マス adv. 最も、一番 「副詞」

me メ pron 僕を 「目的語」

abatió. アバチオ 3 単点(abatir)v.t 気落ちさせた、苦しめた 「動詞」

Chupaba チュパバ 1 単線(chupar)v.t 吸っていた、しゃぶっていた 「動詞」

trozos de madera トロス・デ・マテラ pl(trozo).n.m 木っ端を 「目的語」

que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

arrancaba アランカバ 1 単線(arrancar)v.t 剥ぎ取った 「動詞」

de la tabla デ・ラ・タブラ adv. 板から 「副詞句」

de la cama. デ・ラ・カマ adj. ベッドの 「形容詞句」

木っ端 (こっぱ)

木の切れ端、木くず

Segunda parte 第2部

1 日中、絶え間なく込み上げる吐き気に、僕は耐えていた。

Soportaba durante todo el día una náusea perpetua. 「動詞」「副詞句」「目的語」

Soportaba ソポルタハ 1 単線(soportar)v.t (苦痛に) 耐えていた 「動詞」

durante todo el día ドゥランテ・トド・エル・デーア adv. 1 日中 「副詞句」

una náusea ウナ・ナウセア n.f 吐き気に 「目的語」

perpetua. ペルペトゥア adj. 永続的な 「形容詞」

誰の害にもならないタバコをどうして僕から取り上げるのか、理解できなかった。後になって、あれも罰の一部分をなしているのだと納得した。

No comprendía por qué me privaban de aquello que no hacía mal a nadie. Más tarde comprendí que también formaba parte del castigo.

「動詞句」「目的語」 | 「副詞句」「動詞」「目的語」

No comprendía ノ・コンプレンディア 1 単線・否定(comprender)

v.t 分からなかった、理解できなかった 「動詞句」

por qué ポル・ケ conj. なぜ～するかということが 「目的語」

me メ pron 僕から 「直接目的語」

privaban プリババン 3 複線・時制の一致(privar)v.t(de を) ～から奪う 「動詞」

de aquello デ・アケジョ adv. あれを、タバコを 「間接目的語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

no hacía ノ・アシア 3 単線・否定・時制の一致(hacer)

v.t ～をしない 「動詞句」

mal マル adv. 悪く 「副詞」

a nadie. ア・ナデーア adv. 誰にも～ない 「間接目的語」

Más tarde マス・タルデ adv. 後になって、後で 「副詞句」

comprendí コンプレンディ 1 単点(comprender)v.t 納得した、分かった 「動詞」

que ケ conj. ～ということが 「目的語」

también タンビエン adv. ～もまた 「副詞」

formaba フォルマハ 3 単線・時制の一致(formar)

v.t ～を形成している、～をなしている 「動詞」

parte ハルテ n.f 一部分を 「目的語」

del castigo. デル・カスティゴ adj. 罰の 「形容詞句」

Segunda parte 第2部

しかし、僕はすでにタバコを吸わないことに慣れてしまっていたので、この罰は僕にとってはもう罰ではなくなっていた。

Pero ya me había acostumbrado a no fumar más y este castigo había dejado de ser tal para mí. Pero 「副詞」「動詞句」「間接目的語」 y 「主語」「動詞句」「補語」

Pero ペロ conj. しかし

ya ヤー adv. すでに

「副詞」

me había acostumbrado メ・アビ・ア・アコストゥンブラド 1 単線・完了形(acostumbrarse)

v.pr 慣れてしまっていた

「動詞句」

a no fumar más ア・ノ・フマル・マス adv. (対象) もうタバコを吸わないことに 「間接目的語」

y イ conj. そして

este castigo エステ・カスティゴ n.m この罰は

「主語」

había dejado de ser アビ・ア・デ・ハト・デ・セール 3 単線・完了形(dejar)v.i(+de+不定詞)

v.i ~であることをやめていた

「動詞句」

tal タル adj. そのような、罰

「補語」

para mí. パラ・ミ adv. 僕にとって

「副詞句」

このような禁止事項を別にすれば、僕は自分がそれほど不幸だとは思わなかった。

Fuera de estas molestias no me sentía demasiado desgraciado.

「副詞句」「動詞句」「補語」

Fuera de フェラ・デ prep (限定) ~以外に

「副詞句」

estas molestias エスタス・モレスチアス pl(molestia).n.f これらの障害、違和感 「目的語」

no me sentía ノ・メ・センチア 1 単線・否定(sentirse)v.pr 感じなかった

「動詞句」

demasiado desgraciado. デマシアト・デスグラシアド adj. (否定文で) それほど不幸な 「補語」

またもや、問題のすべては時間を潰すことにあった。

Una vez más todo el problema consistía en matar el tiempo.

「副詞句」「主語」「動詞」「間接目的語」

Una vez más ウナ・ベス・マス adv. 再び、またもや

「副詞句」

todo el problema トド・エル・プロブレマ n.m 問題のすべては

「主語」

consistía コンシスチア 3 単線(consistir)v.i(en に) あった

「動詞」

en matar el tiempo. エン・マタル・エル・ティエンポ adv. 時間を潰すことに

「間接目的語」

Segunda parte 第2部

記憶の辿り方を覚えてからは、もう全く退屈しなくなった。

A partir del instante en que aprendí a recordar, concluí por no aburrirme en absoluto.

「副詞句」, 「動詞句」 「副詞句」

A partir ア・パルチール prep(+de) (時間・起点) 〜から

「副詞句」

del instante デル・インスタンテ n.m その瞬間

「目的語」

en que エン・ケ adv. その時〜する

「形容詞節」

aprendí a recordar, アプレンデ・イ・ア・レコルダール 1 単点・仕方を習う(aprender a+不定詞)

v.t 思い出す方法を覚えた

「動詞句」

concluí por no aburrirme コンクレイ・ホル・ノ・アブーリル・メ 1 単点・結局・否定(concluir por+不定詞)

v.pr やがて退屈しなくなった

「動詞句」

concluir por+不定詞 「ついに〜する」

en absoluto. エン・アプソルート adv. (否定文で) まったく〜ない

「副詞句」

僕は時々、自分の部屋のことを思い浮かべる遊びにふけた。想像によって、部屋の片隅から出発して、途中で見つかる物を事細かに思い出しながら、もとの場所に戻るのだ。

Me ponía a veces a pensar en mi cuarto, y, con la imaginación, salía de un rincón para volver detallando mentalmente todo lo que encontraba en el camino.

「動詞句」 「副詞句」 「動詞句」 「間接目的語」 ,y, 「副詞句」 「動詞」 「副詞句」

Me ponía メ・ポニャ 1 単線(ponerse)v.pr(a+不定詞) 〜に従事した、〜にふけた 「動詞句」

a veces ア・ベセス adv. 時々

「副詞句」

a pensar ア・ペンサル 不定詞 v.i(en について) 考える

「動詞句」

en mi cuarto, エン・ミ・クアルト adv. 僕の部屋のことを

「間接目的語」

y, イ conj. そして

con la imaginación, コン・ラ・イマヒナシオン adv. (手段) 想像によって

「副詞句」

salía サリア 1 単線(salir)v.i 出発した

「動詞」

de un rincón デ・ウン・リンコン adv. (起点) ある片隅から

「副詞句」

para volver パラ・ボルベール adv. (結果) そして戻る

「副詞句」

detallando デ・タジヤント 現在分詞・同時(detallar)v.t 詳細に描きながら 「副詞句」

mentalmente メンタルメンテ adv. 頭の中で

「副詞」

todo lo トト・ロ pron すべてを

「目的語」

que ケ pron (目的語) 〜する

「形容詞節」

encontraba エンコントラバ 1 単線(encontrar)

v.t 見つけた

「動詞」

en el camino. エン・エル・カミノ adv. 途中で

「副詞句」

Segunda parte 第2部

最初のうちは、すぐに終わってしまった。しかし再びやり直すたびに、少しずつ長い時間をかけられるようになっていった。

Al principio lo hacía rápidamente. Pero cada vez que volvía a empezar era un poco más largo. 「副詞句」「副詞句」「動詞句」「副詞」 | Pero 「副詞節」, 「動詞」「補語」

Al principio アル・プリンシピオ adv. 最初のうちは 「副詞句」

lo ロ pron それを 「目的語」

hacía アシア 1 単線(hacer)v.t(行為を) やった、やり終わった 「動詞」

rápidamente. ラピダメンテ adv. 早く、すぐに 「副詞」

Pero ペロ conj. しかし

cada vez que カダ・ベス・ケ conj. ～するたびに 「副詞節」

volvía a empezar ボルビエ・ア・エンパ サール 1 単線・再度(volver a+不定詞)

v.i 再びやりなおす 「動詞句」

era エラ 3 単線・変化(ser)v.i ～になった 「動詞」

「主語」は所要時間

un poco más largo. ウン・ポ・コ・マス・ラルゴ adj. 少しずつ長い 「補語」

やり方はこうだ。まず、1つ1つの家具を思い出す。それから、それぞれの家具の上にある物を、それからそれぞれの物のすべての細部を、そしてその細部の、汚れやひび割れ、そして欠けた縁やその色や欠陥などを順に思い出すのだ。

Recordaba cada mueble, y de cada uno, cada objeto que en él se encontraba, y de cada objeto, todos los detalles, y de los detalles, una incrustación, una grieta o un borde gastado, los colores y las imperfecciones. 「動詞」「目的語」

Recordaba レコルダバ 1 単線・時制の一致・説明(recordar)v.t 思い出す 「動詞」

cada mueble, カダ・ムエブレ n.m 1つ1つの家具を 「目的語」

y イ conj. それから

de cada uno, デ・カダ・ウノ adj. それぞれの家具の 「形容詞句」

cada objeto カダ・オブヘト n.m それぞれの物を 「目的語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

en él エン・エル adv. 家具の上に 「副詞句」

se encontraba, セ・エンコントラバ 3 単線・再帰受動(encontrarse)

v.pr (ある場所に) いる 「動詞句」

y イ conj. それから

de cada objeto, デ・カダ・オブヘト adj. それぞれの物の 「形容詞句」

todos los detalles, トロス・ロス・デタジエス pl.n.m すべての細部を 「目的語」

y イ conj. そして

de los detalles, デ・ロス・デタジエス adj. その詳細の 「形容詞句」

Segunda parte 第2部

una incrustación, ウナ・インクルスタシオン n.f	汚れ、湯垢	「目的語」
una grieta ウナ・グリエタ n.f	ひび割れ	「目的語」
o オ conj.	または	
un borde gastado, ウン・ボルデ・ガスト° n.m	欠けた縁	「目的語」
borde ボルデ° n.m	縁、へり	
gastado ガスト° adj.	擦り切れた、消耗した	
los colores ロス・コロレス pl.n.m	その色	「目的語」
y イ conj.	そして	
las imperfecciones. ラス・インペ・ルフェクシヨネス pl.n.f	欠陥	「目的語」

同時に、目録の記憶の糸を見失わないように努め、完璧なリストを作り上げようと努めた。

Al mismo tiempo ensayaba no perder el hilo del inventario, hacer una enumeración completa.

Al mismo tiempo アル・ミスモ・ティエンポ° adv.(que と) 同時に 「副詞句」

Al mismo tiempo que llegué a casa, empezó a llover.

私が家に着くのと同時に雨が降り出した。

ensayaba no perder エンサヤバ・ノ・ペルデール 1 単線・努める(ensayar+不定詞 no perder)

v.t 失わないように努めた 「動詞句」

ensayar エンサヤール v.t 練習する、努める、試す perder ペルデール v.t 失う

el hilo エル・イロ n.m 糸、記憶の糸 「目的語」

del inventario, デル・インベンタリオ° adj. 目録の 「形容詞句」

hacer アセール 1 単線・努める(ensayar+不定詞 hacer)v.t 作るように努めた 「動詞句」

una enumeración ウナ・エヌメラシオン n.f 列举を、リストを 「目的語」

completa. コンプレタ° adj(completo).f 完璧な 「形容詞」

しかし数週間後には、部屋にあるものを数え上げるだけで何時間も過ごせるようになった。

Es cierto que fue al cabo de algunas semanas, pero podía pasar horas nada más que con enumerar lo que se encontraba en mi cuarto.

「動詞」「補語」「主語」

Es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

cierto シエルト adj. 確実な、確かな 「補語」

que ケ conj. ~ということは 「主語」

fue フェ 3 単点(ser)v.i ~だった 「動詞」

al cabo de algunas semanas, アル・カボ・デ・アルグナス・セマナス adv. 数週間後に 「副詞句」

pero ペロ conj. しかし

podía pasar ポディア・パスアル 1 単線・可能・変化(poder+不定詞)

v.t (時間を) 過ごせるようになった 「動詞句」

Segunda parte 第2部

horas オラス pl.n.f 何時間も 「目的語」

nada más que con enumerar ナダ・マス・ケ・コン・エヌメラール

adv. (手段) ～を数え上げるだけで 「副詞句」

lo □ pron それを 「目的語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

se encontraba セ・エンコトラハ 3 単線・時制の一致(encontrarse)

v.pr (場所に) ある 「動詞句」

en mi cuarto. エン・ミ・クアルト adv. 僕の部屋に 「副詞句」

このように、熟考するほど、知らなかったり忘れていた物をより多く記憶から引き出せた。

Así, cuanto más reflexionaba, más cosas desconocidas u olvidadas extraía de la memoria.

「副詞」, 「副詞句」 「動詞」, 「目的語」 「動詞」 「副詞句」

Así, アシ adv. このように 「副詞」

cuanto más クワント・マス adv. (条件) さらに多く 「副詞句」

reflexionaba, レフレクシオナバ 1 単線(reflexionar)v.i 熟考する 「動詞」

más cosas マス・コサス pl.n.f さらに多くのことを 「目的語」

desconocidas u olvidadas デスコノシダス・ウ・オルビダダス (o- の前では、o → u)

adj.f.pl 知らなかったり忘れていた 「形容詞句」

extraía エクストライア 1 単線(extraer)v.t 取り出した 「動詞」

cuanto más ..., más ～ 「... するほど、～する」

de la memoria. デ・ラ・メモリア adv. 記憶から 「副詞句」

それで、たった1日しか生きたことがない人間も、牢獄で楽に100年間暮らせると思った。

Comprendí entonces que un hombre que no hubiera vivido más que un solo día podía vivir fácilmente cien años en una cárcel.

「動詞句」 「副詞」 「目的語」

Comprendí コンプレンディ 1 単点(comprender)v.t(que ～と) 分かった、思った 「動詞句」

entonces エントネス adv. (接続詞的) それで、その時 「副詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

un hombre ウン・オンブレ n.m 人間は、人は 「主語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

no hubiera vivido ノ・ウビエラ・ビビト 接・3 単過・完了形・否定・仮定・時制の一致(vivir)

v.i 生きたことがない 「動詞句」

más que un solo día マス・ケ・ウン・ソロ・ディ

adv.(no... más que) たった1日しか 「副詞句」

podía vivir ポディア・ビビール 3 単線・可能・時制の一致(poder+不定詞)

v.i 暮らせる、生きれる 「動詞句」

Segunda parte 第2部

fácilmente ファシルメンテ adv. 容易に、苦も無く	「副詞」
cien años シエン・アニョス adv. 100 年間	「副詞句」
en una cárcel. エン・ウナ・カルセル adv. 牢獄で、刑務所で	「副詞句」

彼は退屈せずに済むだけの記憶をすでに持っているはずだ。ある意味で、それが強みだった。

Tendría bastantes recuerdos para no aburrirse. En cierto sentido era una ventaja.

「動詞」「目的語」 | 「副詞句」「動詞」「補語」

Tendría テントリア 3 単過未・推測(tener)v.t 持っているだろう	「動詞」
bastantes recuerdos バスタンテス・レクエルトス pl.n.m 十分な記憶を	「目的語」
para +不定詞 パラ adv. (目的) ~するための	「副詞句」
no aburrirse. ノ・アブリール・セ 不定詞・否定形(aburrirse) v.pr 退屈しない	「動詞句」
En cierto sentido エン・シエルト・センチト adv. ある意味では	「副詞句」
era エラ 3 単線 (ser)v.i ~だった	「動詞」
una ventaja. ウナ・ベンタハ n.f 利点、優位	「補語」

睡眠の問題もあった。最初の内は、夜はあまりよく眠れず、昼間は全く眠れなかった。

Existía también el sueño. Al principio dormía mal por la noche y nada durante el día.

「動詞」「主語」 | 「副詞句」「動詞」「副詞句」

Existía エクシティア 3 単線(existir)v.i 存在した、~があった	「動詞」
también タンビエン adv. ~も	「副詞」
el sueño. エル・スエニョ n.m 睡眠 (の問題) が	「主語」
Al principio アル・プリンシピオ adv. 最初の内は	「副詞句」
dormía トルミア 1 単線(dormir)v.i 眠れた	「動詞」
mal マル adv. よく~ない	「副詞」
por la noche ホル・ラ・ノチェ adv. 夜は	「副詞句」
y イ conj. そして	
nada ナダ adv. まったく~ない	「副詞」
durante el día. トゥランテ・エル・デア adv. 昼間は	「副詞句」

Segunda parte 第2部

次第に夜は良く眠れるようになり、その後、昼もよく眠れるようになった。

Poco a poco las noches fueron mejores y pude también dormir de día.

「副詞句」「主語」「動詞」「補語」 y 「動詞句」「副詞句」

Poco a poco ポコ・ア・ポコ adv. 少しずつ、次第に 「副詞句」

las noches ラス・ノチェス pl(noches).n.f 夜は 「主語」

fueron フェロン 3 複点・変化(ser).v.i 〜になった 「動詞」

mejores メヘス adj(mejor).pl より良い 「補語」

y イ conj. (時間経過) そして

pude también dormir プデ・タンビエン・トルミール 1 単点・可能・変化(poder+不定詞)

v.i 同様に眠れるようになった 「動詞句」

de día. デ・デア adv. 昼に 「副詞句」

ここ数か月の間は、1 日に 16 時間から 18 時間くらいは眠っていたと言える。

Puedo decir que en los últimos meses dormía de dieciséis a dieciocho horas por día.

「動詞句」「目的語」

Puedo decir プエト・デシル 1 単現・可能(poder+不定詞)

v.t(que と) いうことが出来る 「動詞句」

que ケ conj. 〜ということを 「目的語」

en los últimos meses エン・ロス・ウルtimos・メス

adv. (期間) ここ (最後の) 数か月の間は 「副詞句」

dormía トルミア 1 単線(dormir).v.i 寝ていた 「動詞」

de dieciséis a dieciocho horas デ・デアシエイス・ア・デアシオチョ・オラス

adv. (期間の範囲) 16 時間から 18 時間 「副詞句」

por día. ポル・デア adv. (期間) 1 日に 「副詞句」

従って、僕には 6 時間が残されていたが、食事や、生理的欲求や、回想や、チェコスロヴァキア人の話などで時間を潰した。

Me quedaban por lo tanto seis horas para matar con comida, las necesidades naturales, los recuerdos y la historia del checoslovaco.

「間接目的語」「動詞」「副詞句」「直接目的語」, 「副詞句」

Me メ pron 僕に 「間接目的語」

quedaban クタバン 3 複線(quedar).v.t 残した 「動詞」

受動態に翻訳する

por lo tanto ポル・ロ・タント adv. 従って、そのため 「副詞句」

seis horas セイス・オラス pl(hora).n.f 6 時間が 「直接目的語」

para matar パラ・マタル adv. (結果) それで (時間を) 潰した 「副詞句」

Segunda parte 第2部

con コン prep (手段) 〜によって	「副詞句」
comida, コミダ n.f 食事	「目的語」
las necesidades naturales, ラス・ネセシダデス・ナトゥラレス pl.n.f 生理的欲求	「目的語」
los recuerdos ロス・レクエルトス pl.n.m 思い出、回想	「目的語」
y イ conj. そして	
la historia ラ・イストリア n.f 話	「目的語」
del checoslovaco, デル・チェコスロバコ adj. チェコスロヴァキア人の	「形容詞句」

実は、藁布団とベッドの天板の間に、ほとんどくっ付いた状態で、黄ばんで透けた古新聞の切れ端を見つけたのだ。

Entre el jergón y la tabla de la cama había encontrado, en efecto, casi pegado al género, un viejo trozo de periódico, amarillento y transparente.

	「副詞句」「動詞句」「副詞句」「目的語」
Entre エントレ prep (空間) 〜の間に	「副詞句」
el jergón エル・ヘルゴン n.m 藁布団	「目的語」
y イ conj. と	
la tabla de la cama ラ・タブラ・デ・ラ・メサ n.f ベッドの天板 tabla タブラ n.f 板、棚板	「目的語」
había encontrado, アビ・ア・エンコントラト 1 単線・完了形(encontrar)v.t 見つけた	「動詞句」
en efecto, エン・エフェクト adv. 実際に、本当に	「副詞句」
casi pegado カシ・ペガト adv. ほとんどくっ付いた	「形容詞句」
al género, アル・ヘネロ adv. 様子で	「副詞句」
un viejo trozo ウン・ビエホ・トロソ n.m 古い切れ端を	「目的語」
de periódico, デ・ペリオディコ adj. 新聞紙の	「形容詞句」
amarillento アマリジェント adj. 黄色みがかかった	「形容詞」
y イ conj. そして	
transparente. トランスパレンテ adj. 透けている	「形容詞」

Segunda parte 第2部

それは最初の部分が欠けていたが、三面記事で、チェコスロバキアでの事件のようだった。

Relataba un hecho policial cuyo comienzo faltaba pero que había debido ocurrir en Checoslovaquia.

「動詞」「目的語」pero「目的語」

Relataba レラタハ 3 単線(relatar)v.t 述べていた

「動詞」

un hecho ウン・エチョ n.m 出来事を

「目的語」

policial ポリシャル adj. 警察の

「形容詞」

警察沙汰の出来事 → 三面記事

cuyo comienzo クョ・コメンソ n.m それの最初の部分は

「形容詞節」

faltaba ファルタハ 3 単線(faltar)v.i 欠けていた

「動詞」

pero ペロ conj. しかし

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

había debido ocurrir ハビ・ア・デビト・オクリル 3 単線・完了形・推定(deber+不定詞)

v.i 起こったに違いない

「動詞句」

en Checoslovaquia. エン・チェコスロバキア adv. チェコスロバキアで

「副詞句」

1 人の男が、ひと財産を作ろうとしてチェコの村を出た。

Un hombre había partido de un pueblo checo para hacer fortuna.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Un hombre ウン・オンブレ n.m 1 人の男が

「主語」

había partido アビ・ア・パルチト 3 単線・完了形(partir)v.i (de から) でた、出発した

「動詞句」

de un pueblo checo デ・ウ・プエブロ・チェコ adv. チェコの村から

「副詞句」

para +不定詞 パラ prep (目的) ～するために

「副詞句」

hacer アセル 不定詞 v.t する、作る

「動詞」

fortuna. フォルトナ n.f 成功、財産

「目的語」

25 年後、男は金持ちになり、妻と息子を連れて戻って来た。

Al cabo de veinticinco años había regresado rico, con su mujer y un hijo.

「副詞句」「動詞句」「補語」「副詞句」

Al cabo de アル・カボ・デ prep (時間) ～の後に

「副詞句」

veinticinco años ベインチンコ・アノス pl.n.m 25 年

「目的語」

había regresado アビ・ア・レグレサト 3 単線・完了形(regresar)v.i 戻って来た

「動詞句」

rico, リコ adj. 金持ち (の状態で)

「補語」

con su mujer y un hijo. コン・ス・ムヘル・イ・ウン・ヒョ adv. 妻と息子を連れて

「副詞句」

Segunda parte 第2部

彼の母親と妹は故郷の村で旅館を経営していた。

La madre y una hermana dirigían un hotel en el pueblo natal.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

La madre y una hermana ラ・マドレ・イ・ウナ・エルマナ pl.n.f 彼の母親と妹は

「主語」

dirigían ディリヒアン 3 複線(dirigir)v.t 経営していた

「動詞」

un hotel ウン・オテル n.m ホテルを、旅館を

「目的語」

en el pueblo natal. エン・エル・プエブロ・ナタル adv. 生まれた村で

「副詞句」

彼は2人を驚かしてやろうと思い、妻と息子を別の旅館に残して、母親の旅館に行った。しかし、彼が母親の旅館に入る時、母親は彼のことを気が付かなかった。

Para sorprenderlas, había dejado a la mujer y al hijo en otro establecimiento y había ido a casa de la madre, que no le había reconocido cuando entró.「副詞句」, 「動詞句」「目的語」「副詞句」 y 「動詞句」「間接目的語」,
「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」

Para +不定詞 パラ adv. (目的・意図) ～しようとして

「副詞句」

sorprenderlas, ソルプレンデル・ラス 不定詞(sorprender+las)

v.t 2人を驚かす

「動詞句」

había dejado アビア・デハド 3 単線・完了形(dejar)v.t 残してきた

「動詞句」

a la mujer y al hijo ア・ラ・ムヘル・イ・アル・イ pl.n 妻と息子を

「目的語」

en otro establecimiento エン・オトロ・エスタブレシメント adv. 別の施設に

「副詞句」

y conj. そして

había ido アビア・イト 3 単線・完了形(ir)v.i (a に) 行った

「動詞句」

a casa de la madre, ア・カサ・デ・ラ・マドレ adv. 母親の旅館に

「間接目的語」

que ケ pron (madre の代用) 母親は

「主語」

no ...había reconocido ノ...アビア・レコノシト 3 単線・完了形・否定(reconocer)

v.t 分からなかった

「動詞句」

le レ pron 彼を

「目的語」

cuando クワント conj. ～する時

「副詞節」

entró. エントロ 3 単点(entrar)v.i 入った

「動詞」

Segunda parte 第2部

冗談のつもりで、客として1泊してみようと思いつき、所持金を見せた。

Por broma, se le ocurrió tomar una habitación. Había mostrado el dinero.

「副詞句」「動詞句」「主語」 | 「動詞句」「目的語」

Por broma, ポル・ブロマ adv. 冗談（のつもり）で

「副詞句」

se le ocurrió セ・レ・オクリオ 3 単点(ocurrirse+le+不定詞)

v.pr (～することが) 彼の頭に浮かんだ

「動詞句」

tomar トマル 不定詞 v.t (1 泊) することが

「主語」

una habitación. ウナ・アビタシオン n.f 1 部屋を

「目的語」

→ 客として宿泊しようと思いついた

Había mostrado アビア・モストラト 3 単線・完了形(mostrar)v.t 見せた

「動詞句」

el dinero. エル・ディネロ n.m (所持) 金を

「目的語」

その夜の間に、母親と妹は彼を金槌で殴り殺して金を奪い、死体を川に投げ捨てた。

Durante la noche, la madre y la hermana le habían asesinado a martillazos para robarle y habían arrojado el cuerpo al río.

「副詞句」「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」 y 「動詞句」「目的語」「副詞句」

Durante la noche, ドゥランテ・ラ・ノチェ adv. その夜の間に

「副詞句」

la madre y la hermana ラ・マドレ・イ・ラ・エルマナ pl.n.f 母親と妹は

「主語」

le le pron 彼を

「目的語」

habían asesinado アビアン・アセンナト 3 複線・完了形(asesinar)v.t 殺した

「動詞句」

a martillazos ア・マルティイジャソス adv. (手段) 槌打ちで、金槌で殴って

「副詞句」

para +不定詞 不定詞・結果 adv. そして～した

「副詞句」

robarle ロバル・レ 不定詞(robar+le)v.t 金を奪う

「動詞句」

le は el dinero の代用

y イ conj. そして

habían arrojado アビアン・アロハト 3 複線・完了形(arrojar)v.t 投げ捨てた

「動詞句」

el cuerpo エル・クエルポ n.m 死体を

「目的語」

al río. アル・リオ adv. 川へ

「副詞句」

朝になると、妻がやって来て、何も知らずに、旅行者の身元を明かした。

Por la mañana había venido la mujer y sin saberlo, había revelado la identidad del viajero.

「副詞句」, 「動詞句」「主語」 y 「副詞句」, 「動詞句」「目的語」

Por ポル prep (時間) ～の頃

「副詞句」

la mañana ラ・マニャナ n.f 朝

「目的語」

había venido アビア・ベニト 3 単線・完了形(venir)v.i やって来た

「動詞句」

la mujer ラ・ムヘール n.f 妻が

「主語」

Segunda parte 第2部

y イ conj. そして

sin saberlo, シン・サベル・ロ adv. (殺されたことを) 知らずに 「副詞句」

había revelado アビ・ア・レバ・ラト 3 単線・完了形(revelar)v.t (秘密を) 明かした 「動詞句」

la identidad ラ・イデンチダ n.f 身元を 「目的語」

del viajero. テル・ビ・アヘロ adj. 旅行者の 「形容詞句」

母親は自分の首にひもを巻きつけて死んだ。妹は井戸に身を投げて死んだ。

La madre se había ahorcado. La hermana se había arrojado a un pozo.

「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」

La madre ラ・マドレ n.f 母親は 「主語」

se había ahorcado. セ・アビ・ア・アホルカト 3 単線・完了形(ahorcarse)

v.pr 自分の首にひもを巻きつけて死んだ 「動詞句」

La hermana ラ・エルマ n.f 妹は 「主語」

se había arrojado セ・アビ・ア・アロハト 3 単線・完了形(arrojarse)v.pr 身投げして死んだ 「動詞句」

a un pozo. ア・ウン・ポゾ adv. 井戸に 「副詞句」

僕はこの話を何千回も読んだに違いない。この事件は、ある面では本当とは思えない；別の面では当然の結果だ。

Debo de haber leído esta historia miles de veces. Por un lado era inverosímil; por otro, era natural.

「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「副詞句」「動詞」「補語」；「副詞句」「動詞」「補語」

Debo de +不定詞・完了形 デ・ボ・デ 1 単現・推定(deber de+不定詞)

v. ～したに違いない 「動詞句」

haber leído アバー・ル・レイト 不定詞・完了形 v.t 読んだ 「動詞句」

esta historia エスタ・イストリア n.f この話を 「目的語」

miles de veces. ミレス・デ・ベセス adv. 何千回も 「副詞句」

Por un lado ポル・ウン・ラド adv. ある面では 「副詞句」

era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」

inverosímil; インベロシミル adj. 本当とは思えない 「補語」

por otro, ポル・オトロ adv. 他の面では 「副詞句」

era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」

natural. ナチュラル adj. 自然の、当然の 「補語」

Segunda parte 第2部

それでも幾分は、その旅行者がそういうことになったのは当然だと思うし、他人のふりなど絶対にすべきではないと思った、

De todos modos, me parecía que el viajero lo había merecido en parte y que nunca se debe jugar. 「副詞句」「間接目的語」「動詞」「主語」 y 「主語」

De todos modos, デ・トドス・モトス adv. それでも、とにかく 「副詞句」

me メ pron 僕には 「間接目的語」

parecía パレシア 3 単線(parecer)v.i 〜に思われた 「動詞」

que ケ conj. 〜ということは 「主語」

el viajero エル・ビヤエロ n.m その旅行者は 「主語」

lo ロ pron それを 「目的語」

había merecido アビア・メルシト 3 単線・完了形(merecer)

v.t 〜に値した、当然〜を受けるべきだった 「動詞句」

en parte エン・パルテ adv. 幾分は、ある部分では 「副詞句」

y イ conj. そして

que ケ conj. 〜ということは 「主語」

nunca se debe jugar. ヌンカ・セ・デベ・ファール 3 単現・禁止(deber+不定詞 jugarse)

v.pr 他人のふりをしてはならない 「動詞句」

nunca debe+不定詞 〜してはならない jugarse ファール・セ v.pr 自分を危険にさらす

ただ眠る時間、記憶をたどる時間、新聞の三面記事を読む時間、そして光と闇の移り変わり、このようにして、時は過ぎていった。

Así pasó el tiempo, con las horas de sueño los recuerdos, la lectura del hecho policial y la alteración de la luz y de la sombra. 「副詞」, 「動詞」「主語」「副詞句」

Así アシ adv. このように 「副詞」

pasó パソ 3 単点(pasar)v.i 過ぎていった 「動詞」

el tiempo, エル・ティエンポ n.m 時は 「主語」

con コン prep (様態) 〜の状態で 「副詞句」

las horas ラス・オラス pl.n.f 時間 「目的語」

de sueño デ・スエニョ adj. 睡眠の 「形容詞句」

los recuerdos, ロス・レクエルトス pl(recuerdo)n.m 記憶 「目的語」

la lectura ラ・レクトゥラ n.f 読み物 「目的語」

del hecho policial テル・エチョ・ポリシャル adj. 警察沙汰の 「形容詞句」

→ 社会の一般的な事件に関する三面記事

y イ conj. そして

la alteración ラ・アルテラシオン n.f 変化 「目的語」

de la luz y de la sombra. デ・ラルス・イ・デ・ラ・ソムブラ

Segunda parte 第2部

adj. 光と闇の

「形容詞句」

牢獄では、次第に時間の観念が失われていくという話を読んだことがあった。

Había leído que en la cárcel se concluía por perder la noción del tiempo.

「動詞句」「目的語」

Había leído アビ・ア・レイト 1 単線・完了形・経験(leer)v.t 読んだことがあった 「動詞句」

que ケ conj. ～ということ 「目的語」

en la cárcel エン・ラ・カルセル adv. 牢獄では 「副詞句」

concluía コンクルイア 3 単線・時制の一致(concluirse)

v.i(por+不定詞 perderse) ついには～する 「動詞句」

se ...por perder セ...ホル・ペルテール 不定詞・再帰受動(perderse)

v.pr 失われる 「動詞句」

la noción ラ・ノシオン n.f 観念が 「主語」

del tiempo. テール・ティエンポ adj. 時間の 「形容詞句」

しかし、僕にとってはあまり意味がなかった。日々の時間が、どこまで長くそして同時に短くなれるかということを僕は理解していなかった。

Pero no tenía mucho sentido para mí. No había comprendido hasta qué punto los días podían ser a la vez largos y cortos. Pero 「動詞句」「副詞句」 | 「動詞句」「目的語」

Pero ペロ conj. しかし

no tenía mucho sentido ノ・テニア・ムチョ・センチド 3 単線・否定(no tener sentido)

v.t あまり意味がなかった 「動詞句」

para mí. パラ・ミ adv. 僕にとっては 「副詞句」

No había comprendido ノ・アビ・ア・コンプレンデイト 1 単線・完了形・否定(comprender)

v.t 理解していなかった 「動詞句」

hasta qué punto アスタ・ケ・プント n. どの程度まで～するかということ 「目的語」

los días ロス・ディ阿斯 pl(días).n.m 日々 (の時間) が 「主語」

podían ser ポディアン・セル 3 複線・可能・変化・時制の一致(poder+不定詞)

v.i ～になることが出来る 「動詞句」

a la vez ア・ラ・ベス adv. 同時に 「副詞句」

largos y cortos. ラルコス・イ・コルトス adj.m.pl 長くそして短く 「補語」

Segunda parte 第2部

1日1日を生きるには、間違いなく長い。しかし余りにも長すぎて、結局は数日が他の日々に重なって、名前を失う。

Largos para vivirlos sin duda, pero tan distendidos que concluían por desbordar unos sobre los otros. Perdían el nombre. 「副詞句」,pero「副詞句」 | 「動詞」「目的語」

Largos ラルゴス adv. (推察) 長いだろう 「副詞句」

para +不定詞 パラ adv. (目的) ~するためには 「副詞句」

vivirlos ビビール・ロス v.t それらの日々を生きる 「動詞句」

sin duda, シン・ドゥダ adv. 間違いなく 「副詞句」

pero ペロ conj. しかし

tan distendidos タン・ディステンディトス 過去分詞.pl・副詞的(distender)

adv. (様態) 余りにも伸びすぎて 「副詞句」

que ケ conj. (tan...que) それで~する 「副詞節」

concluían por desbordar コンクリアン・ホル・デスボルダール 3 複線・結局(concluir por 不定詞)

v.i 結局はあふれ出す 「動詞句」

unos ウノス pron.pl 数日が 「主語」

sobre los otros. ソブレ・ロス・オトス adv. 他の日々に 「副詞句」

Perdían ペルディアン 3 複線・時制の一致(perder)v.t 失う 「動詞」

el nombre. エル・ノンブレ n.m 名前を 「目的語」

僕にとって意味を持つのは、「昨日」や「明日」という言葉だけになった。

Las palabras ayer y mañana eran las únicas que conservaban un sentido para mí.

「主語」「動詞」「補語」

Las palabras ラス・パラブラス pl(palabra).n.f 言葉が 「主語」

ayer y mañana アジェール・イ・マニャ adj. 「昨日」や「明日」という 「形容詞句」

eran エラン 3 複線・変化(ser)v.i ~になった 「動詞」

las únicas ラス・ウニカス pl(unico).pron.f 唯一の言葉 「補語」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

conservaban コンセルババン 3 複線・時制の一致(conservar)v.t 持つ 「動詞」

un sentido ウン・センフト n.m 意味を 「目的語」

para mí. パラ・ミ adv. 僕にとって 「副詞句」

Segunda parte 第2部

ある日看守長に、僕がここに入って5か月になると言われた時、僕はその通りだと思った。

しかし、そのことの意味を理解していなかった。

Quando un día el guardián me dijo que estaba allí desde hacía cinco meses, le creí, pero no le comprendí. 「副詞節」, 「目的語」 「動詞」, pero 「動詞句」 「目的語」 「動詞句」

Quando クワント conj. ～するとき 「副詞節」

un día ウン・デア adv. ある日 「副詞句」

el guardián エル・グ・ワルデアン n.m 看守長が 「主語」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

estaba エスタバ 1 単線・存在・時制の一致(estar)v.i ～にいる 「動詞」

allí アジ adv. ここに 「副詞」

desde hacía cinco meses, デステ・アシア・シコ・メス

adv. 5 か月前から

「副詞句」

le レ pron そのことを 「目的語」

creí, クレイ 1 単点(creer)v.t 本当だと思った 「動詞」

pero ペロ conj. しかし

no ...comprendí. ノ...コンプレンディ 1 単点・否定(comprender)v.t 理解できなかった 「動詞句」

le レ pron そのことを 「目的語」

僕にとって、その5か月は、絶え間なく独房の中で発生する同じ1日であり、それを過ごすためにやり続けた同じ仕事だった。

Para mí era el mismo día que se desarrollaba sin cesar en la celda y la misma tarea que proseguía. 「副詞句」 「動詞」 「補語」 y 「補語」

Para mí パラ・ミ pron 僕にとっては 「副詞句」

era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」

el mismo día エル・ミモ・デア n.f 同じ1日 「補語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

se desarrollaba セ・デサロジャバ 3 単線・時制の一致(desarrollarse)

v.pr (事が) 発生する、起こる 「動詞句」

sin cesar シン・セサル adv. 絶え間なく、絶えず 「副詞句」

en la celda エン・ラ・セルタ adv. 独房の中に 「副詞句」

y イ conj. そして

la misma tarea ラ・ミスマ・タラ n.f 同じ仕事 「補語」

que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

proseguía. プロセギア 1 単線(proseguir)v.t 続けた 「動詞」

Segunda parte 第2部

その日看守長が僕の独房を出た後で、僕は鉄製の飯盒の水に映った自分の顔を観察した。

Ese día, después de la partida del guardián, me miré en el agua de la escudilla.

「副詞句」, 「動詞句」 「副詞句」

Ese día, エセ・デ・イア n.m その日

「副詞句」

después de デスプエス・デ prep (時間・順序) ~の後で

「副詞句」

la partida ラ・パルチダ n.f 出発、退出

「目的語」

del guardián, テル・グワルディアン adj. 看守長の

「形容詞句」

me miré メ・ミレ 1 単点(mirarse)v.pr 自分の顔を見た

「動詞句」

en el agua エン・エル・アグア adv. 水の中の

「副詞句」

de la escudilla. テ・ラ・エスクディージャ adj. 椀の

「形容詞句」

フランス語原文では :

je me suis regardé **dans ma gamelle de fer.**

僕は**鉄製の飯盒**(はんごう)に自分の顔を映してみた。

→ スペイン語では、en el agua de la fiambarrera de hierro

自分では笑ったつもりだったが、水に映った顔は真剣なままだった。

Me pareció que mi imagen continuaba seria, aun cuando ensayaba sonreír.

「間接目的語」 「動詞」 「主語」

Me メ pron 僕には

「間接目的語」

pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i ~に見えた

「動詞」

que ケ conj. ~ということが

「主語」

mi imagen ミ・イマヘン n.f 僕の顔は

「主語」

continuaba コンチヌアバ 3 単線(continuar)v.i (状態を) 続いていた

「動詞」

seria, セリア adj(serio).f 真剣な

「補語」

aun cuando アウン・クワント conj. ~するにもかかわらず

「副詞句節」

ensayaba sonreír. エンサヤバ・ソンレイール 1 単線・試行(ensayar+不定詞)

v.i 笑ってみた

「動詞句」

ensayar a+不定詞 「試しに~する、~をやってみる」

Segunda parte 第2部

目の前で揺すって、水に映った顔を一度崩してみた。それから笑ってみたが、厳しく悲しげな表情は変わらなかった。

La agité delante de mí. Sonreí y conservó el mismo aire severo y triste.

「目的語」「動詞」「副詞句」 | 「動詞」 y 「動詞」「目的語」

La ラ pron (imagen の代用) それを 「目的語」

agité アヒテ 1 単点(agitar)v.t 揺すった 「動詞」

delante de mí. デ・ランテ・デ・ミ adv. 目の前で 「副詞句」

Sonreí ソンレイ 1 単点(sonreír)v.i 笑った 「動詞」

y イ conj. そして

conservó コンセルバ 3 単点(conservar)v.t 保っていた 「動詞」

el mismo aire エル・ミスマ・アイレ n.m 同じ表情を 「目的語」

severo y triste. セ・ベロ・イトリステ adj. 厳しくて悲しい 「形容詞句」

一日が終わろうとしていた。そのことについて話したくない時刻だ。夜の物音が沈黙の行列と化して監獄内のすべての階から立ち上がってくる、名前のない時刻だ。

El día concluía y era la hora de la que no quiero hablar, la hora sin nombre, en la que los ruidos de la noche subían desde todos los pisos de la cárcel en un cortejo de silencio.

「主語」「動詞」 y 「動詞」「補語」, 「補語」

El día エル・デ・イア n.m 一日が 「主語」

concluía コンクルイア 3 単線・進行状況(concluir)v.i 終わるところだった 「動詞」

y イ conj. そして

era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」

la hora ラ・オラ n.f 時刻 「補語」

de la que デ・ラ・ケ pron (間接目的語) ~する 「形容詞節」

no quiero hablar, ノ・キエロ・アブラール 1 単現・願望・否定(hablar)

v.i(de について) 話したくない 「動詞句」

la hora ラ・オラ n.f 時刻 「補語」

sin nombre, シン・ノンブレ adj. 名前のない 「形容詞句」

en la que エン・ラ・ケ adv. その中から~する 「形容詞節」

los ruidos ロス・ルイトス pl(ruido)n.m 騒音が 「主語」

de la noche デ・ラ・ノチェ adj. 夜の 「形容詞句」

subían スビアン 3 複線(subir)v.i 立ち上がってくる 「動詞」

desde todos los pisos デ・スデ・ト・トス・ロス・ピ・ソス

adv. (起点) すべての階から 「副詞句」

de la cárcel デ・ラ・カルセル adj. 監獄の 「形容詞句」

en un cortejo エン・ウン・コルテホ adv. (様態) 行列になって 「副詞句」

Segunda parte 第2部

de silencio. デ・シレンシオ adj. 沈黙の 「形容詞句」

僕は天窓に近付き、最後の明かりで、そこに映った自分の顔をもう一度じっと見つめた。

Me acerqué a la claraboya y con la última luz contemplé una vez más mi imagen.

「動詞句」「間接目的語」 y 「副詞句」「動詞」「副詞句」「目的語」

Me acerqué メ・アセルケ 1 単点(acercarse)v.pr 近寄った 「動詞句」

a la claraboya ア・ラ・クララボヤ adv. 天窓に 「間接目的語」

y イ conj. そして

con la última luz コン・ラ・ウルチマ・ルス adv. (手段) 最後の光で 「副詞句」

contemplé コンテンプレ 1 単点(contemplar)v.t じっと見つめた 「動詞」

una vez más ウナ・ベス・マス adv. もう一度 「副詞句」

mi imagen. ミ・イマヘン n.f 僕の顔を 「目的語」

それは相変わらず真剣な表情のままだった。その時、僕自身がそういう表情をしていたのだから、何も驚くことはない。

Seguía siempre seria y nada tenía de sorprendente pues en ese momento yo lo estaba también.

「動詞」「補語」 y 「目的語」「動詞句」「目的語」「副詞節」

Seguía セギア 3 単線(seguir)v.i ~であり続けていた 「動詞」

「主語」は mi imagen (n.f) 僕の表情は

siempre シエンプレ adv. 相変わらず 「副詞」

seria セリア adj(serio).f 真剣な 「補語」

y イ conj. そして

nada ナダ pron(de+名詞) 何も~ない 「目的語」

tenía テニア 1 単線(tener)v.t (否定文で) 無かった 「動詞」

de sorprendente デ・ソルプレンデnte adj. 驚くべき 「形容詞句」

pues プエス conj. (理由) ~なのだから 「副詞節」

en ese momento エン・エセ・モメント adv. その時 「副詞句」

yo ジョ pron 僕は 「主語」

lo ロ pron (seria の代用) それ 「補語」

estaba エスタバ 1 単線(estar)v.i ~だった 「動詞」

también. タンビエン adv. ~も 「副詞」

Segunda parte 第2部

しかし同時に、そしてここ数か月以来初めて、自分の声色をはっきりと聞いた。

Pero al mismo tiempo, y por primera vez desde hacía largos meses, oí distintamente el sonido de mi voz. Pero 「副詞句」, 「動詞句」 「副詞」 「目的語」

Pero ペロ conj. しかし

al mismo tiempo, アル・ミスマ・ティエンボ adv. 同時に 「副詞句」

y イ conj. そして

por primera vez ホル・プリメラ・ベス adv. 初めて 「副詞句」

desde hacía largos meses, デステ・アシア・ラルゴス・メス adv. ここ数か月以来 「副詞句」

oí オイ 1 単点(oír)v.t 聞いた 「動詞」

distintamente ディスタンタメンテ adv. はっきりと、明瞭に 「副詞」

el sonido エル・ソニド n.m 音を 「目的語」

de mi voz. デ・ミ・ボス adj. 僕の声の 「形容詞句」

それは何日も前から僕の耳の中で鳴り響いていた声だと気が付いた。そしてその間ずっと僕は一人で話していたことが分かった。その時、母さんの葬式で看護婦が話していたことを思い出した。

Reconocí que era la que resonaba desde hacía muchos días en mi oído y comprendí que durante todo ese tiempo había hablado solo. Recordé entonces lo que decía la enfermera en el entierro de mamá.

「動詞」 「目的語」 y 「動詞」 「目的語」 | 「動詞」 「副詞」 「目的語」

Reconocí レコシ 1 単点(reconocer)v.t 分かった 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」

「主語」は el sonido その声色は

la ラ pron それ 「補語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

resonaba レナハ 3 単線・継続(resonar)v.i 鳴り響いていた 「動詞」

desde hacía muchos días デステ・アシア・ムチャス・ディラス

adv. 何日も前から 「副詞句」

en mi oído エン・ミ・オイド adv. 僕の耳の中で 「副詞句」

y イ conj. そして

comprendí コンプレンディ 1 単点(comprender)v.t 分かった 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

durante todo ese tiempo ドゥランテ・トド・エセ・ティエンボ adv. その間ずっと 「副詞句」

había hablado アビア・アブラド 1 単線・完了形(hablar)v.i 話した 「動詞句」

solo. ソロ adv. 一人で 「副詞」

Segunda parte 第2部

Recordé レコルデ ^テ 1 単点(recordar)v.t	思い出した	「動詞」
entonces エントネス adv.	その時	「副詞」
lo ロ pron	それを	「目的語」
que ケ pron (目的語) ~する		「形容詞節」
decía デシア 3 単線(decir)v.t	話していた	「動詞」
la enfermera ラ・エンフェルメラ n.f	看護婦が	「主語」
en el entierro de mamá. エン・エル・エンチエロ・デ・ママ		
adv.	母さんの葬式で	「副詞句」

第1部第1章 看護婦の言葉

彼女は僕に言った：「もしゆっくり歩くと、日射病になる危険があります。

ですが、もし急ぎすぎると、汗をかいて、教会に入ってから風邪をひきます」

Me dijo: "Si uno anda despacio, corre el riesgo de una insolación.

Pero si anda demasiado aprisa, transpira y, en la iglesia, pesca un resfriado."

そうだ、逃げ道は無いのだ。そして誰も監獄の夜がどんなものか想像できないだろう。

No, no había escapatoria y nadie puede imaginar lo que son las noches en las cárceles.

		「動詞句」「目的語」 y 「主語」「動詞句」「目的語」
No, no había ノ・ノ・アビア 3 単線・存在・否定(haber)v.t	いや～がない	「動詞句」
escapatoria エスカトリア n.f	逃げ道が	「目的語」
y イ conj.	そして	
nadie ナデイエ pron	誰も～ない	「主語」
puede imaginar プ・エデ・イマヒナル 3 単現・可能(poder+不定詞)v.t	想像できない	「動詞句」
lo ロ pron	それを	「目的語」
que ケ pron (補語) どんな～かということ		「形容詞節」
son ソン 3 複現(ser)v.i	～である	「動詞」
las noches ラス・ノチェス pl(noches).n.f	夜が	「主語」
en las cárceles. エン・ラス・カルセレス adv.	監獄での	「副詞句」

Segunda parte 第2部

III

実際の所、次の夏はすぐに訪れたと言えるだろう。

Puedo decir que, en rigor, el verano reemplazó muy pronto al verano.

「動詞句」「目的語」

Puedo decir プエド・デシール 1 単現・可能(poder+不定詞)

v.t (que ～と) 言うことが出来る

「動詞句」

que, ケ conj. ～ということを

「目的語」

en rigor, エン・リゴール adv. 実際は、事実は

「副詞句」

el verano エル・ベラノ n.m 夏は

「主語」

reemplazó レンプラゾ 3 単点(reemplazar)v.t(a に) 代わった

「動詞」

muy pronto ムイ・プロント adv. 非常に早く

「副詞句」

al verano. アル・ベラノ adv. 別の夏に

「間接目的語」

最初の暑さの到来と共に、僕にとって何か新しいことが起こるだろうと分かっていた。

Sabía que con la subida de los primeros calores sobrevendría algo nuevo para mí.

「動詞」「目的語」

Sabía サビア 1 単線(saber)v.t 分かっていた

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

con コン prep (同伴) ～とともに

「副詞句」

la subida ラ・スビダ n.f 到来、上昇

「目的語」

de los primeros calores デ・ロス・プリメロス・カレス

adj. 最初の暑さの

「形容詞句」

sobrevendría ソブレVENTORIA 3 単過未・推量(sobrevenir)

v.i 突然生じるだろう

「動詞」

algo nuevo アルゴ・ヌエボ pron 何か新しいことが

「主語」

para mí. パラ・ミ adv. 僕にとって

「副詞句」

僕の裁判は、6月に行われる法廷の最後の日程として記入されていた。

Mi proceso estaba inscripto para la última reunión del Tribunal, que se realizaría en el mes de junio.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Mi proceso ミ・プロセソ n.m 僕の裁判は

「主語」

estaba inscripto エスタバ・インスクリプト 3 単線・受動(inscribir)

v.t 記入されていた、組み込まれていた

「動詞句」

para パラ prep (目的) ～用として

「副詞句」

la última reunión ラ・ウルチマ・レウニオン n.f 最後の会議

「目的語」

Segunda parte 第2部

del Tribunal, デル・トリブナル adj. 法廷の 「形容詞句」
 que ク pron (主語) ～する 「形容詞節」
 se realizaría セ・リアリシア 3 単過未・推量(realizarse)
 v.pr 実行される 「動詞句」
 en el mes de junio. エン・エル・メス・デ・フニオ
 adv. 6 月に 「副詞句」

審問は、戸外が太陽でいっぱいの時間に始まった。

La audiencia comenzó mientras afuera el sol estaba en su plenitud.

「主語」「動詞」「副詞節」
 La audiencia ラ・アウデ^ンシア n.f (法廷の) 審問は 「主語」
 comenzó コメンソ 3 単点(comenzar)v.i 始まった 「動詞」
 mientras ミエンTRAS conj. ～しているときに 「副詞節」
 afuera アフエラ adv. 外は 「副詞」
 el sol エル・ソル n.m 太陽が 「主語」
 estaba エスタハ^バ 3 単線(estar)v.i ～だった 「動詞」
 en su plenitud. エン・ス・ブレニトゥ adv. 絶頂期に 「副詞句」

弁護士は、審問はせいぜい2・3日で終わるだろうと、僕に見込みを示した。

El abogado me había asegurado que no duraría más de dos o tres días.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 El abogado エル・アボガト^ド n.m 弁護士は 「主語」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 había asegurado アビ^ア・アセガ^ラト^ド 3 単線・完了形(asegurar)v.t(que ～と) 保証した「動詞句」
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 no duraría ノ・ド^ラリア 3 単過未・否定・過去における未来・推測(durar)
 v.i 続かないだろう、かからないだろう 「動詞句」
 「主語」は La audiencia 審問
 más de マス・デ^テ prep (期間) ～以上は 「副詞句」
 dos o tres días. トス・オ・トレス・デ^ィアス pl(día).n.m 2・3日 「目的語」
 → ～以上は続かない → せいぜい～で終わる

Segunda parte 第2部

「一方では」と、彼は付け加えた。「あなたの件は今期法廷の最重要審問ではないので、裁判所は急いで審議するでしょう。この後すぐに、父親殺しが始まりますから」

"Por otra parte", había agregado, "el Tribunal tendrá prisa porque su asunto no es el más importante de la audiencia. Hay un parricidio que pasará inmediatamente después".

《「副詞句」》, 「動詞句」, 《「主語」「動詞」「目的語」「副詞節」 | 「動詞」「目的語」》
 "Por otra parte", ポル・オトラ・パルテ adv. 他方では、その上 「副詞句」
 había agregado, アビア・アグレガト 3 単線・完了形(agregar)v.t 付け加えた 「動詞句」
 "el Tribunal エル・トリブナル n.m 裁判所は 「主語」
 tendrá テントラ 3 単未・推量(tener)v.t 〜があるだろう 「動詞」
 prisa プリサ n.f 緊急性 「目的語」
 tener prisa 「急いでいる」
 porque ポル conj. なぜなら〜なので 「副詞節」
 su asunto ス・アスト n.m あなたの件は、裁判は 「主語」
 no es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i 〜でない 「動詞句」
 el más importante エル・マス・インポルタンテ n.m 最重要審問 「補語」
 de la audiencia. テ・ラ・アウデ・イエシア adj. 今期法廷の 「形容詞句」
 Hay アイ 3 単現(haber)v.t 〜がある 「動詞」
 un parricidio ウン・パリシディオ n.m 父親殺しが 「目的語」
 que ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」
 pasará パサ 3 単未・予定(pasar)v.i 始まるだろう、起こる 「動詞」
 inmediatamente después". インメデアタメンテ・デスプエス
 adv. この後すぐに 「副詞句」

朝の7時半に迎えがやって来て、僕は護送車で裁判所まで連れていかれた。

A las siete y media de la mañana vinieron a buscarme y el coche celular me condujo al Palacio de Justicia. 「副詞句」「動詞句」「主語」 y 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」

A las siete y media ア・ラス・シエ・イ・メデア adv. 7 時半に 「副詞句」
 de la mañana テ・ラ・マニャナ adj. 朝の、午前の 「形容詞句」
 vinieron a buscarme ビニエロン・ア・ブスカル・メ 3 複点・しに来る(venir a+不定詞 buscar+me)
 v.t 僕を連れに來た 「動詞句」
 y イ conj. そして
 el coche celular エル・コチェ・セルラル n.m 護送車が 「主語」
 celular セルラル adj. 独房の
 me メ pron 僕を 「目的語」
 condujo コントゥホ 3 単点(conducir)v.t 連れて行った、運んだ 「動詞」
 al Palacio アル・パラシオ adv. 宮殿に 「副詞句」

Segunda parte 第2部

de Justicia. デ・フスティシア adj. 裁判の

「形容詞句」

2 人の警官が僕を湿気のこもったかび臭い小部屋に入らせた。

Los dos gendarmes me hicieron entrar en una habitación pequeña que olía a humedad.

「主語」「目的語」「動詞」「補語」

Los dos gendarmes ロス・トス・ヘンダールメス pl(gendarme).n.m 2 人の警官が

「主語」

me メ pron 僕に

「目的語」

hicieron イシエロン 3 複点・使役(hacer)v.t(SV O+不定詞 O に～) させた

「動詞」

entrar エントラール 不定詞・me の動作 v.i 入る

「補語」

en una habitación pequeña エン・ウナ・アビタシオン・ペケニャ adv. 小さな部屋に

「副詞句」

que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

olía オリア 3 単線(oler)

v.i (a+無冠詞名詞 の) においがする

「動詞」

a humedad. ア・ウマダ adv. 湿り気

「補語」

僕たちは扉の近くで座って待っていた。扉の向こうでは、人を呼ぶ声や椅子を動かす音や様々なざわめきが聞こえていた。それらの音は、境界の祭りで、コンサートの後でダンスが出来るように会場を整理しているのだろうと僕に想像させた。

Esperamos sentados cerca de una puerta tras la cual se oían voces, llamamientos, ruidos de sillas y todo un bullicio que me hizo pensar en esas fiestas de barrio en las que se arregla la sala para poder bailar después del concierto.

「動詞」「副詞句」「副詞節」

Esperamos エスペラモス 1 複点(esperar)v.i 待った

「動詞」

sentados センタドス 過去分詞.pl(sentar)adv. 座った状態で

「副詞句」

cerca de una puerta セルカ・デ・ウナ・プエルタ adv. 扉の近くで、ドア

「副詞句」

tras la cual トラス・ラ・クワル adv. その後ろでは

「副詞節」

se oían セ・オイアン 3 複線・再帰受動(oirse)v.pr 聞こえていた

「動詞句」

voces, ボセス pl(voz).n.f 声が

「主語」

llamamientos, ジャマミエントス pl(llamamiento).n.m 呼ぶ声

「主語」

ruidos de sillas ルイトス・デ・シジャス pl(ruido).n.m 椅子の音

「主語」

y イ conj. そして

todo un bullicio トド・ウン・ブジシオ n.m あらゆるざわめきが

「主語」

que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

me メ pron 僕に

「目的語」

hizo イ 3 単点・時制の一致・使役(hacer)v.t ～させる

「動詞」

pensar ペンサル 不定詞・me の動作 v.i(en について) 考える

「補語」

en esas fiestas de barrio エン・エサス・フィエスタス・デ・バリオ

Segunda parte 第2部

adv. 界限の祭りで 「副詞句」
 en las エン・ラス adv. その祭りで 「副詞句」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 se arregla セ・アレグラ 3 単現・再帰受動(arreglarse)
 v.pr 整えられている 「動詞句」
 la sala ラ・サラ n.f 会場が 「主語」
 para poder bailar パラ・ポ・デール・バイラル 不定詞・目的・可能
 adv. 踊れるように 「副詞句」
 después del concierto. デ・スプ° エス・テル・コンシエルト
 adv. コンサートの後で 「副詞句」
 → 「副詞句」「副詞節」「形容詞節」が長いので、それぞれの区切りごとに翻訳する

警官たちは僕に開廷まで待たなければならないと言った。警官の一人が僕にタバコを勧めてくれたが、僕はそれを断った。

Los gendarmes me dijeron que era necesario esperar al Tribunal y uno de ellos me ofreció un cigarrillo, que rechacé.

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
 y 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」, 「目的語」「動詞」
 Los gendarmes ロス・ヘンダルメス pl(gendarme).n.m 警官たちは 「主語」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 dijeron デイヘロン 3 複点(decir)v.t 言った 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」
 necesario ネセサリオ adj. 必要な 「補語」
 esperar エスパラル 不定詞・目的 v.i ～を待つ 「副詞句」
 al Tribunal アル・トリブナル adv. 開廷を 「間接目的語」
 y イ conj. そして
 uno de ellos ウノ・デ・エジョス pron 警官の一人が 「主語」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 ofreció オフレシオ 3 単点(ofrecer)v.t 提供した、勧めた 「動詞」
 un cigarrillo, ウン・シガリジョ n.m タバコを 「直接目的語」
 que ケ pron (目的語)(結果)そして～する 「形容詞節」
 rechacé. レチャセ 1 単点(rechazar)v.t 断った 「動詞」

Segunda parte 第2部

彼はすぐに「不安になったのか？」と尋ねた。僕は、「そんなことはない」と返事をした。

Me preguntó poco después si estaba nervioso. Respondí que no.

「間接目的語」「動詞」「副詞句」「直接目的語」 | 「動詞」「応答」

Me メ pron 僕に

「間接目的語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞」

poco después ポコ・デスプエス adv. すぐ後で

「副詞句」

si シ conj. ～かどうかということ

「直接目的語」

estaba エスタバ 1 単線・変化・時制の一致(estar)

v.i (状態) ～になっている

「動詞」

nervioso. ネルビオス adj. 不安な、うろたえた

「補語」

Respondí レスポンディ 1 単点(responder)v.t 返事をした

「動詞」

que no. ケノ n. そんなことはない

「応答」

それどころか、ある意味では、裁判を見ることは興味があった。

Y aun, en cierto sentido, me interesaba ver un proceso.

Y 「副詞句」, 「目的語」「動詞」「主語」

Y イ conj. そして

aun, アウン adv. ～さえ、～どころか

「副詞」

en cierto sentido, エン・シエルト・センスト adv. ある意味では

「副詞句」

cierto+名詞「ある…」 sentido「意味」

me メ pron 僕を

「目的語」

interesaba インテレスバ 3 単線(interesar)v.t ～の関心を引いた

「動詞」

ver ベール 不定詞 n. ～を見ることは

「主語」

un proceso. ウン・プロセソ n.m 裁判を

「目的語」

生まれてこの方、そんな機会は一度もなかった。

No había tenido nunca ocasión de hacerlo en mi vida.

「動詞句」「目的語」

No había tenido ノ・アビエ・テニト 1 単線・完了形・否定(tener)v.t ～がなかった

「動詞句」

nunca ocasión ヌンカ・カシオン n.f 一度もチャンスが～ない

「目的語」

de hacerlo デ・アセル・ロ 不定詞・目的 adj. それをするための

「形容詞句」

en mi vida. エン・ミ・ビダ adv. 僕の人生で

「副詞句」

Segunda parte 第2部

「そうだな」と、2番目の警官が言った。「しかし、結局は疲れるだけだ」

"Sí", dijo el segundo gendarme, "pero concluye por cansar."

《「応答」》, 「動詞」「主語」, 《pero 「動詞句」》

"Sí", シ adv. (同意) そうだな

「応答」

dijo ティヨ 3単点(decir)v.t 言った

「動詞」

el segundo gendarme, エル・セグント・ヘンダールメ n.m 2番目の警官が

「主語」

"pero ヘロ conj. しかし

concluye por cansar." コンクルジエ・ホル・カンサル 3単現・結局(concluir por+不定詞)

v.i (人は) 結局は疲れる

「動詞句」

少し後で、法廷内で呼び鈴が短く鳴った。

Después de un momento un breve campanilleo sonó en la sala.

「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」

Después de un momento デスプエス・デ・ウン・モメント adv. 少し後で、すぐ後で

「副詞句」

un breve campanilleo ウン・ブレーヴァ・カンパニエオ

n.m (楽器の鈴のように鳴り響かない短音の) 呼び鈴音が

「主語」

sonó ソノ 3単点(sonar)v.i 鳴った

「動詞」

en la sala. エン・ラ・サラ adv. 法廷内で

「副詞句」

警官は僕の手錠を外して、扉を開き、僕を被告人席へ入らせた。

Me quitaron entonces las esposas. Abrieron la puerta y me hicieron entrar al lugar de los acusados.

「間接目的語」「動詞」「副詞」「直接目的語」

「動詞」「目的語」 y 「目的語」「動詞」「補語」

Me メ pron 僕の

「間接目的語」

quitaron キタロン 3複点(quitar)v.t(a から) 取り除いた

「動詞」

entonces エントネス adv. それから

「副詞」

las esposas. ラス・エスポサス pl(esposa).n.f ([複]で) 手錠を

「直接目的語」

Abrieron アブリエロン 3複点(abrir)v.t 開けた

「動詞」

la puerta ラ・プエルタ n.f 扉を

「目的語」

y イ conj. そして

me メ pron 僕に

「目的語」

hicieron イシエロン 3複点・使役(hacer+O+不定詞 Oに)v.t ~させた

「動詞」

entrar エントラル 不定詞・meの動作 v.i 入る

「補語」

al lugar アル・ルガル adv. 場所へ、席へ

「副詞句」

de los acusados. デ・ロス・アクサトス adj. 被告人の

「形容詞句」

acusado アクサト n.m 被告人、被疑者

Segunda parte 第2部

法廷はすし詰め満席だった。カーテンをしても、あちこちから日差しが漏れ入って、空気が息苦しかった。

La sala estaba llena de bote en bote. Apesar de las cortinas, el sol se filtraba por algunas partes y el aire estaba sofocante.

「主語」「動詞」「補語」 | 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」 y 「主語」「動詞」「補語」
 La sala ラ・サラ n.f 法廷は 「主語」
 estaba エスタハ 3 単線(estar)v.i ~だった 「動詞」
 llena シェナ adj. 一杯の 「補語」
 de bote en bote. テ・ボテ・エン・ボテ adv. すし詰め 「副詞句」
 Apesar de ア・ペ・サル・デ prep ~にもかかわらず 「副詞句」
 las cortinas, ラス・コルチナス pl(cortina)n.f カーテン 「目的語」
 el sol エル・ソル n.m 太陽は 「主語」
 se filtraba セ・フィルラハ 3 単線(filtrarse)v.pr 漏れ出てきていた 「動詞句」
 por algunas partes ホル・アルグナス・パルテス adv. あちこちから 「副詞句」
 y イ conj. そして
 el aire エル・アイレ n.m 空気は 「主語」
 estaba エスタハ 3 単線(estar)v.i ~だった 「動詞」
 sofocante. ソフォカンテ adj. 息苦しい 「補語」

ガラス窓は締め切られていた。僕が座ると、警官たちが僕を取り囲んだ。

Habían dejado los vidrios cerrados. Me senté y los gendarmes me rodearon.

「動詞句」「目的語」「補語」 | 「動詞句」 y 「主語」「目的語」「動詞」
 Habían dejado アビアン・デハト 3 複線・完了形(dejar)v.t(状態) ~のままにしてあった 「動詞句」
 los vidrios ロス・ビトロス pl(vidrio).n.m ガラス窓を 「目的語」
 cerrados. セラトス adj(cerrado).pl 閉まった 「補語」
 Me senté メ・センテ 1 単点(sentarse)v.pr 腰かけた 「動詞句」
 y イ conj. そして
 los gendarmes ロス・ヘンタルメス pl(gendarme).n.m 警官が 「主語」
 me メ pron 僕を 「目的語」
 rodearon. ロデアロン 3 複点(rodear)v.t 取り囲んだ 「動詞」

Segunda parte 第2部

その時、僕の正面に一行に並んだ顔が見えた。

En ese momento vi una fila de rostros delante de mí.

「副詞句」「動詞」「目的語」「副詞句」

En ese momento エン・エセ・モメント adv. その時

「副詞句」

vi ビ 1 単点(ver)v.t. ～が見えた

「動詞」

una fila ウナ・フィラ n.f. 列が

「目的語」

de rostros デ・ロストロス adj.(rostro) 顔の

「形容詞句」

delante de mí. デランテ・デ・ミ adv. 僕の正面に

「副詞句」

皆が僕をじっと見つめていた：僕は彼らが陪審員だと分かった。

Todos me miraban: comprendí que eran los jurados.

「主語」「目的語」「動詞」：「動詞」「目的語」

Todos トドス pron.pl 皆が

「主語」

me メ pron 僕を

「目的語」

miraban: ミラバン 3 複線(mirar)v.t. じっと見つめていた

「動詞」

comprendí コンプレンディ 1 単点(comprender)v.t. 分かった

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

eran エラン 3 複線・時制の一致(ser)v.i. ～である

「動詞」

los jurados. ロス・フラトス pl(jurado).n.m 陪審員たち

「補語」

しかし、一人ひとりを識別するような特徴は見つけられなかった。

Pero no puedo decir en qué se diferenciaban unos de otros.

Pero「主語」「動詞句」「目的語」

Pero ペロ conj. しかし

no puedo decir ノ・プエト・デシル 1 単現・可能・否定(poder decir)v.t. ～を分らない「動詞句」

en qué エン・ケ conj. (手段) 何で～するかということ

「目的語」

se diferenciaban セ・ディフェンシアバン 3 複線・再帰受動(diferenciarse)

v.pr 区別される、識別される

「動詞句」

unos de otros. ウノス・デ・オトрос adv. 一人ひとりを

「副詞句」

Segunda parte 第2部

僕はある印象しか持たなかった：僕は路面電車の座席の前に来た。すると、名も知らぬ座席の乗客たちが乗り込んだばかりの僕をこっそり観察してあら捜しをしているのだ。

Sólo tuve una impresión: estaba delante de una banqueta de tranvía y todos los viajeros anónimos espiaban al recién llegado para notar lo que tenía de ridículo.

「副詞」「動詞」「目的語」：「動詞」「副詞句」 y 「主語」「動詞」「間接目的語」「副詞句」
 Sólo ソロ adv. ～だけ、～しか... ない 「副詞」
 tuve トゥベ 1 単点(tener)v.t. ～を持った 「動詞」
 una impresión: ウナ・インプレシオン n.f. 印象を 「目的語」
 estaba エスタバ 1 単線・存在(èssere)v.i. ～にいた 「動詞」
 delante de una banqueta デランテ・デ・ウナ・バンケタ adv. 座席（ベンチ）の前に 「副詞句」
 de tranvía デ・トランビア adj. 路面電車の 「形容詞句」
 y イ conj. そして
 todos los viajeros トトス・ロス・ビアヘロス pl(viajero).n.m. 乗客全員が 「主語」
 anónimos アノニモス adj(anónimo).m.pl. 名もなき、名も知らぬ 「形容詞」
 espiaban エスピアバン 3 複線(espiar)v.t. こっそり観察している 「動詞」
 al recién llegado アル・レシエン・ジエガト adv. 乗り込んだばかりの僕を 「間接目的語」
 recién レシエン adv. ～したばかりの llegado ジエガト 過去分詞(llegar)adj. 着いた
 para notar パラ・ノタル 不定詞・目的 v.t. 見つけるために、気付く 「副詞句」
 lo ロ pron. それを 「目的語」
 que ケ pron. (目的語) ～する 「形容詞節」
 tenía テニア 1 単線(tener)v.t. ～がある 「動詞」
 de ridículo. デ・リディクロ adj. おかしな、ばかげた 「形容詞句」

それが馬鹿げた考えであることは、良く分かっている。というのは、彼らはそこで僕のあら捜しではなく、僕の罪を捜していたのだから。

Sé perfectamente que era una idea tonta, pues allí no buscaban el ridículo, sino el crimen.

「動詞」「副詞」「目的語」, 「副詞節」
 Sé セ 1 単現(saber)v.t. 分かっている、知っている 「動詞」
 perfectamente ペルフェクタメンテ adv. 完全に、よく 「副詞」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 era エラ 3 単線(ser)v.i. ～だった 「動詞」
 una idea tonta, ウナ・イデア・トンタ n.f. ばかな考え 「補語」
 pues プエス conj. ～なので 「副詞節」
 allí アリ adv. そこで 「副詞」
 no buscaban ノ・ブスカバン 3 単線・否定(buscar)v.t. 探していなかった 「動詞句」
 el ridículo, エル・リディクロ n.m. おかしなところ、欠点 「目的語」

Segunda parte 第2部

sino シノ conj. そうではなく

el crimen. エル・クリメン n.m 罪を

「目的語」

とはいえ、違いは大きくない。どちらにしてもそれが僕の頭に浮かんだ考えだ。

Sin embargo, la diferencia no es grande y, en cualquier caso, es la idea que se me ocurrió.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「補語」 y, 「副詞句」 「動詞」 「補語」

Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. とはいえ

「副詞句」

la diferencia ラ・デ・イフェレンシア n.f 違いは、相違は

「主語」

no es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i ~でない

「動詞句」

grande グランデ 大きい

「補語」

y, イ conj. そして

en cualquier caso, エン・クワルキエル・カソ adv. どちらにしても

「副詞句」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

la idea ラ・イデア n.f 考え、意見

「補語」

que ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

se ...ocurrió. セ...オクリオ 3 単点(ocurrirse)

v.pr(a+人 の) 頭に浮かんだ

「動詞句」

me メ pron 僕の

「間接目的語」

この締め切った部屋でこれほど多くの人達を前にすると、僕は少し茫然とした。僕はもう一度傍聴人の方を見たが、どの顔も判別できなかった。

Estaba un poco aturdido también ante tanta gente en la sala cerrada. Miré otra vez hacia el público y no distinguí ningún rostro.

「動詞」 「補語」 「副詞句」 | 「動詞」 「副詞句」 y 「動詞句」 「目的語」

Estaba エスタバ 1 単線(estar)v.i ~だった

「動詞」

un poco aturdido ウン・ポコ・アトルディト adj. 少し茫然とした

「補語」

también タンビエン adv. その上、~もまた

「副詞」

ante tanta gente アンテ・タンタ・ヘンテ adv. それほど大勢の人前で

「副詞句」

en la sala cerrada. エン・ラ・サラ・セラダ adv. 締め切った部屋で

「副詞句」

Miré シレ 1 単点(mirar)v.i(jacia のほうを) 見た

「動詞」

otra vez オトラ・ベス adv. もう一度

「副詞句」

hacia el público アシア・エル・プブリコ adv. 傍聴人のほうを

「副詞句」

y イ conj. そして

no distinguí ノ・ディンチンギ 1 単点・否定(distinguir)v.t 区別できなかった

「動詞句」

ningún rostro. ニンガン・ロストロ n.m どの顔も~ない

「目的語」

Segunda parte 第2部

最初は、この全員が僕を見るために詰め掛けてきているとは気が付かなかったと思う。

Creo que al principio no me había dado cuenta de que toda esa gente se apretujaba para verme. 「動詞」「目的語」

Creo クオ 1 単現(creer)v.t(que 〜だと) 思う 「動詞」

que ケ conj. 〜ということを 「目的語」

al principio アル・プリンシピオ adv. 最初は 「副詞句」

no me había dado cuenta ノ・メ・アビ・ア・ダト・クエンタ 1 単線・完了形・否定
v.i(darse cuenta de... が) 分からなかった 「動詞句」

de que デ・ケ adv. 〜ということが 「間接目的語」

toda esa gente トダ・エサ・ヘンテ n.f この人たちは皆 「主語」

se apretujaba セ・アプレトゥハバ 3 単線(apretujarse)

v.pr ギョウギョウ詰めになっている 「動詞句」

para verme. パラ・ベル・メ 不定詞・目的 adv. 僕を見るために 「副詞句」

普通なら、誰も僕のことなど相手にしない。

Generalmente, los demás no se ocupaban de mi persona. 「副詞」「主語」「動詞句」「間接目的語」

Generalmente, ヘネラルメンテ adv. (様態) 一般に、普通なら 「副詞」

los demás ロス・デマス pron.pl 他の人々は、(否定文で) 誰も〜ない 「主語」

no se ocupaban ノ・セ・オカ・パン 3 複線・否定・時制の一致(ocuparse)

v.pr(de に) 相手にならない 「動詞句」

de mi persona. デ・ミ・ペルソナ adv. 僕個人に 「間接目的語」

僕自身がこの騒ぎ全体の原因であると理解するには、努力が必要だった。

Me costó un esfuerzo comprender que yo era la causa de toda esta agitación. 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「主語」

Me メ pron 僕にとって 「間接目的語」

costó コスト 3 単点(costar)v.t 必要とした 「動詞」

un esfuerzo ウン・エスフェルソ n.m 努力を 「直接目的語」

comprender コンプレンデール 不定詞 n. 〜を理解することは 「主語」

que ケ conj. 〜ということを 「目的語」

yo ジョ pron 僕が 「主語」

era エラ 1 単線・時制の一致(ser)v.i 〜である 「動詞」

la causa ラ・カサ n.f 原因 「補語」

de toda esta agitación. デ・トダ・エスタ・アヒタシオン

adj. この騒ぎ全ての 「形容詞句」

Segunda parte 第2部

僕は警官に言った：「何という人数の人達だ！」彼は、それは新聞のせいだと僕に言って、陪審員席の下の机の近くにいて一団を指し示した。

Dije al gendarme: "¡Cuánta gente!" Me respondió que era por los periódicos y me mostró un grupo que estaba cerca de una mesa, debajo del estrado de los jurados.

「動詞」「間接目的語」：《「感嘆」》「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

y 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Dije ディハ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

al gendarme: アル・ヘンダルメ adv. 警官に 「間接目的語」

"¡Cuánta gente!" クワンタ・ヘンテ adv. 何とたくさんの人々だ 「感嘆」

Me メ pron 僕に 「間接目的語」

respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t(que) ～と答えた 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」

por los periódicos ポル・ロス・ペリオディコス adv. (原因) 新聞のせい 「副詞句」

y イ conj. そして

me メ pron 僕に 「間接目的語」

mostró モストロ 3 単点(mostrar)v.t 示した 「動詞」

un grupo ウン・グルポ n.m 一団を 「直接目的語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

estaba エスタバ 3 単線・存在(estar)v.i ～にいる 「動詞」

cerca de una mesa, セルカ・デ・ウナ・メサ adv. 机の近くにいて 「副詞句」

debajo del estrado デバ・ホ・テル・エストラト adv. 壇の下の 「副詞句」

de los jurados. デ・ロス・フラトス adj. 陪審員の 「形容詞句」

彼は僕に言った：「そこにいるよ」僕は尋ねた。「誰が？」すると、彼はまた言った「新聞だ」

Me dijo: "Ahí están." Pregunté: "¿Quiénes?", y repitió: "Los periódicos."

「間接目的語」「動詞」：《「副詞」「動詞」》「動詞」：《「主語」》, y 「動詞」：《「主語」》

Me メ pron 僕に 「間接目的語」

dijo: ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

主語は警官

"Ahí アイ adv. そこに 「副詞」

están." エスタン 3 複現・存在(estar)v.i ～にいる 「動詞」

Pregunté: プレグンテ 1 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

"¿Quiénes?", キエネス pl(qué)pron 誰が? 「主語」

y イ conj. そして

Segunda parte 第2部

repitió: レピティオ 3 単点(repetir)v.t 繰り返した 「動詞」
 "Los periódicos." ロス・ペリオディコス pl(períodico).n.m 新聞 (記者) 「主語」

警官は記者たちの 1 人を知っていた。記者は警官に気が付くと、僕たちの方へやって来た。

Conocía a uno de los periodistas que le vio en ese momento y se dirigió hacia nosotros.

「動詞」「目的語」, 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」 y 「動詞句」「副詞句」

Conocía コノシア 3 単線(conocer)v.t 知っていた 「動詞」

a uno de los periodistas ア・ウノ・デ・ロス・ペリオディスタス pron 記者たちの 1 人を 「目的語」

que 以降の「形容詞節」は、記者の説明として連続的に翻訳する

que ケ pron その記者は 「主語」

le レ pron (警官の代用) 彼を 「目的語」

vio ビオ 3 単点(ver)v.t 見た、見つけた 「動詞」

en ese momento エン・エセ・モメント adv. その時 「副詞句」

y イ conj. そして

se dirigió セ・ディリヒオ 3 単点(dirigirse)v.pr(hacia・a に) 向かってきた 「動詞句」

hacia nosotros. アシア・ノトロス adv. 僕たちの方へ 「副詞句」

もうかなりの年齢で、好感の持てる、しかめっ面をした男だった。

Era un hombre ya bastante entrado en años, simpático, con una cara gesticulosa.

「動詞」「補語」

Era エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった 「動詞」

un hombre ウン・オンブレ n.m 男 「補語」

ya bastante entrado ヤー・バスタンテ・エントラト adj. もうかなり達した 「形容詞句」

en años, エン・アニョス adv. (関連) 年齢が 「副詞句」

simpático, シンパチコ adj. 感じの良い 「形容詞」

con una cara gesticulosa. コン・ウナ・カラ・ヘスチクロサ

adv. (様態) しかめっ面をした 「副詞句」

記者は心を込めて警官と握手した。

Estrechó la mano del gendarme con mucho calor. 「動詞」「目的語」「副詞句」

Estrechó エストレチョ 3 単点(estrechar)v.t 握りしめた 「動詞」

la mano ラ・マノ n.f 手を 「目的語」

del gendarme テル・ヘンダルメ adj. 警官の 「形容詞句」

con mucho calor. コン・ムチョ・カロール adv. (程度) 大変熱心に、熱烈に 「副詞句」

Segunda parte 第2部

同じ世界の人達と一緒に過ごすことを楽しむクラブのように、皆が集まり、尋ねあい、会話をしていることを、その時僕は気付いた。

Noté en ese momento que toda la gente se reunía, se interpelaba y conversaba como en un club donde es agradable encontrarse entre personas del mismo mundo.

「動詞」「副詞句」「目的語」

Noté ノテ 1 単点(notar)v.t(que ～に) 気付いた 「動詞」

en ese momento エン・エセ・モメント adv. その時に 「副詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

toda la gente トダ・ラ・ヘンテ n.f 皆が、誰でもが 「主語」

se reunía, セ・レニア 3 単線・時制の一致(reunirse)v.pr 集まる 「動詞句」

se interpelaba セ・インテルパハ 3 単線・時制の一致(interpelar)

v.pr (相互に) 尋ね合う 「動詞句」

y イ conj. そして

conversaba コンベルサバ 3 単線・時制の一致(conversar)v.i 会話をする 「動詞」

como コモ conj. ～のように 「副詞句」

en un club エン・ウン・クラブ adv. クラブでの 「副詞句」

donde トンデ adv. ～する 「形容詞節」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

agradable アグラダブレ adj. 楽しい 「補語」

encontrarse エンコントラル・セ 不定詞・存在

v.pr ～にいたることが 「主語」

entre personas エントレ・ペルソナス

adv. 人々の間に 「副詞句」

del mismo mundo. テル・ミスモ・ムント

adv. 同じ世界の 「形容詞句」

僕は、自分が余分で少しよそ者であるという、奇妙な印象も自分で納得していた。

Me expliqué también la extraña impresión que sentía de estar de más, de ser un poco intruso.

「動詞句」「目的語」

Me expliqué メ・エクスプリケ 1 単点(explicarse)v.pr 自分で納得していた 「動詞句」

también タンビエン adv. ～もまた 「副詞」

la extraña impresión ラ・エクストラニャ・インプレシオン n.f その奇妙な印象を 「目的語」

que ケ conj. (同格) ～という 「形容詞節」

sentía センチア 1 単線(sentir)v.t 感じた 「動詞」

de estar デ・エスター 不定詞 n. ～であると 「補語」

de más, テ・マス adv. 余分な、はみ出し者 「補語」

Segunda parte 第2部

de ser デ・セル 不定詞 n. ～である 「補語」
 un poco intruso. ウン・ポコ・イントルソ n.m 少しよそ者 「補語」

しかしながらその記者は、笑みを浮かべて僕の方へ向かってきた。

Sin embargo, el periodista se dirigió a mí, sonriente.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」
 Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. しかしながら 「副詞句」
 el periodista エル・ペリオディスタ n.m その新聞記者は 「主語」
 se dirigió セ・ディリヒョ 3 単点(dirigirse)v.pr 向かってきた 「動詞句」
 a mí, ア・ミ adv. 僕の方へ 「副詞句」
 sonriente. ソリエンテ adv. 笑みを浮かべて 「副詞」

彼は、僕にとって良い結果になることを願っていると言った。

Me dijo que esperaba que todo saldría bien para mí. 「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」
 Me メ pron 僕に 「間接目的語」
 dijo ディョ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 que ケ conj. ～ということ 「直接目的語」
 esperaba エスパラハ 3 単線・時制の一致(esperar)v.t 期待している 「動詞」
 que ケ conj. ～ということ 「目的語」
 todo トド pron すべてが 「主語」
 saldría サルトリア 3 単過未・願望(salir)
 v.i (+補語; 結果として) ～になるように 「動詞」
 bien para mí. ビエン・パラ・ミ adv. 僕にとって良い 「補語」

僕が彼に礼を言うと、彼は続けて言った：「ご承知の通り、私どもはあなたの事件を多少大袈裟に報道いたしました」

Le agradecí, y agregó: "Usted sabe, hemos hinchado un poco el asunto.

「間接目的語」 「動詞」 ,y 「動詞」 : 《「副詞句」, 「動詞句」 「副詞句」 「目的語」》
 Le レ pron 彼に 「間接目的語」
 agradecí, アグラデシ 1 単点(agradecer)v.t 感謝した、礼を言った 「動詞」
 y イ conj. そして
 agregó: アグレゴ 3 単点(agregar)v.t 付け加えた、さらに言った 「動詞」
 "Usted sabe, ウステ・サベ adv. ご存じのように、ご存じでしょうが 「副詞句」
 hemos hinchado エモス・インチャド 1 複現・完了形(inchar)v.t 膨らました、誇張した 「動詞句」
 un poco ウン・ポコ adv. 少し 「副詞句」
 el asunto. エル・アスト n.m あなたの事件を 「目的語」

Segunda parte 第2部

「夏は新聞にとっては何も特ダネのない季節なんです。それで、あなたの件と父親殺しだけを記事にしたのです」

El verano es la estación vacía para los periódicos. Y lo único que valía algo era su historia y la del parricida."

《「主語」「動詞」「補語」 | Y「主語」「動詞」「補語」》

El verano エル・ベラノ n.m 夏は 「主語」
 es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」
 la estación ラ・エスタシオン n.f 季節 「補語」
 vacía バシア adj. 内容のない、空虚な 「形容詞」
 para los periódicos. パラ・ロス・ペリオディコス adv. 新聞にとって 「副詞句」
 Y イ conj. そして
 lo único ロ・ウニコ 唯一のものは 「主語」
 que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 valía バリア 3 単線・時制の一致(valer)v.t 価値がある 「動詞」
 algo アルコ pron いくらか、少し 「目的語」
 era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」
 su historia ス・イストリア n.f あなたの件 「補語」
 y イ conj. そして
 la del parricida. ラ・デル・パリシダ pron.f 父親殺しの件 「補語」

彼は、今しがたこの場を離れていった一団の中から、太ったイタチのような風貌で、黒縁の眼鏡をかけた小柄な男を僕に指し示した。

Me mostró enseguida, en el grupo que acababa de dejar, a un hombrecillo que parecía una comadreja cebada con enormes gafas de aro negro.

「間接目的語」「動詞」「副詞」「直接目的語」

Me メ pron 僕に 「間接目的語」
 mostró モストロ 3 単点(mostrar)v.t 示した、指し示した 「動詞」
 enseguida, エンセギダ adv. すぐに 「副詞」
 en el grupo エン・エル・グルポ adv. 一団の中に 「副詞句」
 que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 acababa de dejar, アカバ・デ・テ・ハール 3 単線・直前完了(acabar de+不定詞)
 v.t 立ち去ったばかり、直前までここにいた 「動詞句」
 a un hombrecillo ア・ウン・オンブレシジョ n.m 小柄な男を 「直接目的語」
 que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 parecía パレシア 3 単線(parecer)v.i ~のように見える 「動詞」
 una comadreja ウナ・コマドレハ n.f (動物) イタチ 「補語」

Segunda parte 第2部

cebada セバダ 過去分詞(cebar)adj.f 太った 「形容詞」
 con enormes gafas コン・エノルメス・ガフラス
 adv. (身に着けた) 大きな眼鏡をかけた 「副詞句」
 de aro negro. デ・アロ・ネグロ adj. 黒縁の 「形容詞句」
 aro アロ n.m 輪、(樽の) たが

彼がパリのある新聞の特派員だと教えてくれた：「もっとも、あなたの件で来たわけではありませんが」

Me dijo que era el enviado especial de un diario de París: "No ha venido por usted, desde luego."
 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」：《「動詞句」「副詞句」》
 Me メ pron 僕に 「間接目的語」
 dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 que ケ conj. ～ということ を 「直接目的語」
 era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」
 el enviado especial エル・エンビエアド・エスペシアル n.m 特派員 「補語」
 enviado エンビエアド n.m 記者、派遣された者 especial エスペシアル adj. 特別の
 de un diario de París: デ・ウン・デアリオ・デ・パリス
 adj. パリのある新聞の 「形容詞句」
 "No ha venido ノ・ア・ベニド 3 単現・完了形・否定(venir)v.i 来たのではない 「動詞句」
 por usted, ポル・ウステ adv. あなたの件で 「副詞句」
 desde luego. デステ・ルエゴ adv. もちろん、当然、もっとも 「副詞句」

「しかし、彼は父親殺しの裁判の報告をするように命じられていましたが、同様に、あなたの件についても同時に電報で知らせるように求められていました」

Pero como está encargado de informar acerca del proceso del parricida, se le ha pedido que telegrafe sobre su asunto al mismo tiempo."

《Pero 「副詞節」, 「動詞句」「目的語」「動詞句」》

Pero ペロ conj. しかし
 como コモ conj. (並列) ～と同様に 「副詞節」
 está encargado de informar エスタ・エンカルガド・デ・インフォルマル 3 単現・受動・指示
 (encargar de+不定詞)
 v.t(de+sobre について) 通知するように命じられていた 「動詞句」
 acerca del proceso アセラ・デル・プロセソ adv. その裁判について 「間接目的語」
 acerca de... 「～について」
 del parricida, デル・パリスダ adj. 父親殺しの 「形容詞句」
 se ...a pedido セ...ア・ペディト 3 単現・完了形・再帰受動(pedirse)

Segunda parte 第2部

v.pr 求められていた 「動詞句」
 le レ pron それを 「目的語」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 要求に導かれる従属節は接続法を使用する
 telegrafíe テレグラフィエ 接・3 単現(telegrafiar)v.i(a に) 電報を打つ 「動詞」
 sobre su asunto ソブレ・ス・アスト adv. あなたの件について 「間接目的語」
 al mismo tiempo." アル・ミスモ・ティエンポ adv. 同時に 「副詞句」

ここで、僕はまた彼に礼を言いそうになった。

Ahí, otra vez, estuve a punto de agradecerle. 「副詞句」, 「動詞」 「補語」
 Ahí, アイ adv. ここで 「副詞」
 otra vez, オトラ・ベス adv. もう一度 「副詞句」
 estuve エストゥエ 1 単点(estar)v.i ～の状態だった 「動詞」
 a punto de agradecerle. ア・プント・デ・アグラデセル・レ
 adv. ちょうど彼に礼を言うときに 「補語」

しかしそれはおかしいと思い止まった。彼は手で軽く挨拶をして、僕たちのところを離れた。
 僕たちはさらに数分待った。

Pero pensé que sería ridículo. Me hizo un breve ademán cordial con la mano y nos dejó. Esperamos aún algunos minutos.

Pero 「動詞」 「目的語」 | 「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」 「副詞句」
 y 「目的語」 「動詞」 | 「動詞」 「副詞句」

Pero ペロ conj. しかし
 pensé ペンセ 1 単点(pensar)v.t 考えた 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 sería セア 3 単過未・推量(ser)v.i ～だろう 「動詞」
 ridículo. リディクろ adj. おかしな、変な 「補語」
 Me メ pron 僕に 「間接目的語」
 hizo イ 3 単過(hacer)v.t (動作を) した 「動詞」
 un breve ademán cordial ウン・ブレイ・ヘ・アデマン・コルデアール
 n.m 短時間の丁寧な挨拶を 「直接目的語」
 breve ブレイ adj. 短い ademán アデマン n.m しぐさ cordial コルデアール adj. 丁寧な
 con la mano コン・ラ・マノ adv. (手段) 手で 「副詞句」
 y イ conj. そして
 nos ノス pron 僕たちから 「目的語」
 dejó. デホ 3 単点(dejar)v.t ～から去って行った 「動詞」

Segunda parte 第2部

Esperamos エスぺラモス 1 複点(esperar)v.i 待った 「動詞」
 aún algunos minutos. アウン・アルグノス・ミヌトス adv. さらに数分間 「副詞句」

弁護士が、法服を着て、他の大勢の同僚に囲まれて到着した。

Llegó el abogado, de toga, rodeado de muchos otros colegas. 「動詞」「主語」「副詞句」
 Llegó シェゴ 3 単点(llegar)v.i 到着した 「動詞」
 el abogado, エル・アボガト n.m 弁護士が 「主語」
 de toga, デ・トガ adv.(服装) 法服を着て 「副詞句」
 rodeado ロデアト 過去分詞・受動(rodear)adv. 〜に囲まれて 「副詞句」
 de muchos otros colegas. デ・ムチョス・オトロス・コレガス
 adv. (動作主) 他の多くの同僚に 「副詞句」

彼は記者たちの方へ行き、握手を交わした。

Fue hacia los periodistas y dio algunos apretones de mano.
 「動詞」「副詞句」 y 「動詞」「目的語」「副詞句」
 Fue フェ 3 単点(ir)v.i 行った 「動詞」
 hacia los periodistas アシア・ロス・ペリオディスタス adv. (方向) 記者たちの方へ 「副詞句」
 y イ conj. そして
 dio デイオ 3 単点(dar)v.t (動作を) した 「動詞」
 algunos apretones アルグノス・アプレトネス pl(apreton).n.m 締めることを 「目的語」
 de mano. デ・マノ adv. (手段) 手で 「副詞句」

彼らは冗談を言い、笑い、そしてとてもくつろいでいるようだったが、やがて法廷内にベルの音が鳴り響いた。皆はそれぞれの席へ戻った。

Bromearon, rieron, y parecían sentirse muy a su gusto, hasta el momento en que el campanilleo sonó en la sala. Todos volvieron a sus lugares.
 「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「間接目的語」
 Bromearon, ブロメアロン 3 複点(bromear)v.i 冗談を言った 「動詞」
 rieron, リエロン 3 複点(reír)v.i 笑った 「動詞」
 y イ conj. そして
 parecían sentirse パレシアン・センチルセ 3 複線(parecer+不定詞 sentirse)
 v.pr 感じているように見えた 「動詞句」
 muy a su gusto, ムイ・ア・ス・グスト adv. とても彼らの好みに 「副詞句」
 hasta el momento アスタ・エル・モメント adv. その時まで 「副詞句」
 en que エン・ケ adv. その時に〜する 「副詞節」
 el campanilleo エル・カンパニジェオ n.m ベルの音が 「主語」

Segunda parte 第2部

sonó ソノ 3 単点(sonar)v.i 鳴り響いた	「動詞」
en la sala. エン・ラ・サラ adv. 法廷内で	「副詞句」
Todos トドス pron.pl 皆は	「主語」
volvieron ボルビエロン 3 複点(volver)v.i 戻った	「動詞」
a sus lugares. ア・ス・ルガレス adv. 自分たちの席へ	「間接目的語」

弁護士が僕の方へやって来て、僕と握手した。それから僕に助言をした。質問には手短に答え、自分からは話さないこと、そしてその他はすべて自分を信頼しなさいということだった。

El abogado vino hacia mí, me estrechó la mano y me aconsejó que contestará brevemente a las preguntas que se me formularan, que no tomara la iniciativa y que confiara en él para todo lo demás.

「主語」「動詞」「副詞句」, 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 y
「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 y 「直接目的語」

El abogado エル・アボガト n.m 弁護士が	「主語」
vino ヲイノ 3 単点(venir)v.i やって来た	「動詞」
hacia mí, アシア・ミ adv. 僕の方へ	「副詞句」
me メ pron 僕の	「間接目的語」
estrechó エストレチョ 3 単点(estrechar)v.t 握りしめた	「動詞」
la mano ラ・マノ n.m 手を	「直接目的語」
y イ conj. そして	
me メ pron 僕に	「間接目的語」
aconsejó アコンセホ 3 単点(aconsejar)v.t 助言した	「動詞」
que ケ conj. ～ということを	「直接目的語」

主節が「願望・依頼・勧告・命令・許可・禁止」を表すときは接続法を用いる

contestara コンテスタラ 接・1 単過・指示・時制の一致(contestar)

v.i(a に) 答えなさい	「動詞」
brevemente ブレベメンテ adv. 簡潔に、手短に	「副詞」
a las preguntas ア・ラス・プレグンタス adv. 質問に対して	「間接目的語」
que ケ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
se me formularan, セ・メ・フォルムラン 3 複未・推測(formularse+me)	
v.pr 僕に対して行うだろう	「動詞句」
y イ conj. そして	
no tomara ノ・トマラ 接・1 単過・指示・禁止・時制の一致(tomar)	
v.t (行動を) するな	「動詞句」
la iniciativa ラ・イニシアティバ n.f 率先した行動を	「目的語」
y イ conj. そして	

Segunda parte 第2部

que ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
confiara コンフィア 接・1 単過・指示・時制の一致(confiar)	
vi(en を) 信頼しなさい	「動詞」
en él エン・エル adv. 彼を	「間接目的語」
para todo lo demás. パラ・トド・ロ・デマス adv. 他のことはすべて	「副詞句」

僕の左側で椅子が引かれる音が聞こえて、赤い法服を着て眼鏡をかけた長身で細身の男が
念入りに法服を整えながら座るところが見えた。

Oí el ruido de una silla que hacían retroceder a la izquierda y vi a un hombre alto, delgado,
vestido de rojo, con lentes, que se sentaba arreglando cuidadosamente la toga.

	「動詞」「目的語」 y 「動詞」「目的語」
Oí オイ 1 単点(oír)v.t 聞こえた	「動詞」
el ruido エル・ルイト n.m 物音が	「目的語」
de una silla デ・ウナ・シジャ adj. 椅子の	「形容詞句」
que ケ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
hacían retroceder アシアン・レトセデール 3 複線・使役(hacer O+不定詞)	
v.t 引かせる	「動詞句」
受動態に翻訳する。→ 椅子が誰かに引かれる	
a la izquierda ア・ラ・イズキエルダ adv. (方向) 左側で	「副詞句」
y イ conj. そして	
vi ビ 1 単点(ver)v.t 見えた	「動詞」
a un hombre ア・ウン・オンブレ n.m 男が	「目的語」
alto, アルト adj. 背の高い「形容詞」	
delgado, デルガト adj. やせた	「形容詞」
vestido de rojo, ベスト・デ・ロ adj. 赤い法服を着た	「形容詞句」
vestido ベスト adj. (服を) 着た、n.m 衣服、ドレス	
con lentes, コン・レンテス adv. (鼻) 眼鏡をかけた	「副詞句」
que ケ pron それが～する	「形容詞節」
se sentaba セ・センハ 3 単線・時制の一致(sentarse)	
v.pr 座る、着席する	「動詞句」
arreglando アレグランド 現在分詞・同時(arreglar)	
adj. ～を整えながら	「副詞句」
cuidadosamente クイダドサメンテ adv. 入念に	「副詞」
la toga. ラ・トガ n.f 法服を	「目的語」

Segunda parte 第2部

それが検事だった。廷吏が裁判官の入廷を告げた。

Era el Procurador. Un ujier anunció la presencia del Tribunal.

「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「目的語」

Era エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった

「動詞」

el Procurador. エル・プロクラトール n.m 検事

「補語」

Un ujier ウン・ウエル n.m 廷吏が

「主語」

anunció アヌシオ 3 単点(anunciar)v.t 告げた、知らせた

「動詞」

la presencia ラ・プレセンシア n.f 出席、(法廷への) 入廷を

「目的語」

del Tribunal. デル・トリブナル adj. 裁判官の

「形容詞句」

Tribunal トリブナル n.m 裁判所、法廷、(集合名詞) 裁判官、審査員

同時に、2 台の大型扇風機がブンブンと音をたて始めた。

En el mismo momento comenzaron a zumar dos enormes ventiladores.

「副詞句」「動詞句」「主語」

En el mismo momento エン・エル・ミスマ・モメント adv. 同時に

「副詞句」

comenzaron a zumar コメンサロン・ア・ズマル 3 複点・開始(comenzar a+不定詞)

v.i (モーターが) 音をたて始めた

「動詞句」

dos enormes ventiladores. ドス・エノルメス・ベンチラトレス

pl(ventilador).n.m 2 台の大型扇風機が

「主語」

黒服が 2 人と赤服が 1 人からなる、3 人の裁判官が書類を抱えて入って来て、法廷を見下ろす裁判官席へ足早に向かって行った。

Tres jueces, dos de negro y el tercero de rojo, entraron con expedientes y caminaron rápidamente hacia el estrado que dominaba la sala.

「主語」「動詞」「副詞句」 y 「動詞」「副詞句」

Tres jueces, トレス・フエセス pl(juez).n.m 3 人の裁判官は

「主語」

dos de negro ドス・デ・ネグロ adv. (様態) 二人は黒服で

「副詞句」

y イ conj. そして

el tercero de rojo, エル・テルセロ・デ・ロホ adv. (様態) あと一人は赤服の

「副詞句」

entraron エントラロン 3 複点(entrar)v.i 入って来た

「動詞」

con expedientes コン・エクスぺディエンテス adv. (所持) 書類を抱えて

「副詞句」

y イ conj. そして

caminaron カミナロン 3 複点(caminar)v.i 歩いた

「動詞」

rápidamente ラピダメンテ adv. 速く

「副詞」

hacia el estrado アシア・エル・エストラト adv. (方向) 法廷の席の方へ

「副詞句」

que ケ pron (主語) 〜する

「形容詞節」

Segunda parte 第2部

dominaba ドミハ 3 単線・時制の一致(dominar)v.t 見下ろす 「動詞」

la sala. ラ・サ n.f 法廷を

「目的語」

赤い法服を着た裁判官が、中央の肘掛椅子に座って、裁判官の角帽を自分の前に置き、ハンカチで禿げた小振りの頭を拭いた。それから、「開廷する」と宣言した。

El hombre de toga roja se sentó en el sillón del centro, colocó el birrete delante de sí, se enjugó el pequeño cráneo calvo con un pañuelo y declaró que la audiencia quedaba abierta.

「主語」「動詞句」「副詞句」, 「動詞」「目的語」「副詞句」,

「動詞句」「目的語」「副詞句」 y 「動詞」「目的語」

El hombre エル・オンブレ n.m 人が、裁判官が

「主語」

de toga roja デ・トガ・ロハ adv. 赤い法服を着た

「副詞句」

se sentó セ・セント 3 単点(sentarse)v.pr 座った

「動詞句」

en el sillón エン・エル・シジョン adv. 肘掛椅子に

「副詞句」

del centro, デル・セントロ adj. 中央の

「形容詞句」

colocó コロコ 3 単点(colocar)v.t 置いた

「動詞」

el birrete エル・ビレテ n.m (裁判官の) 角帽を

「目的語」

delante de sí, デランテ・デ・シ adv. 自分の前に

「副詞句」

se enjugó セ・エンゴ 3 単点(enjugarse)v.pr (自分の体の部分を) 拭いた

「動詞句」

el pequeño cráneo calvo エル・ペケニョ・クラネ・カルボ n.m 禿げた小振りの頭を

「目的語」

cráneo クラネ n.m 頭蓋、頭 calvo カルボ adj. 禿げた

con un pañuelo コン・ウン・パニエロ adv. (道具) ハンカチで

「副詞句」

y イ conj. そして

declaró デクラロ 3 単点(declarar)v.t 宣言した

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

la audiencia ラ・アウディエンシア n.f 法廷は

「主語」

quedaba クタバ 3 単線・時制の一致(quedar)v.i ～の状態になる

「動詞」

abierta. アビエルタ adj.f 開いた

「補語」

新聞記者たちはすでに万年筆を手にしていた。

Los periodistas tenían ya la estilográfica en la mano.

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」「副詞句」

Los periodistas ロス・ペリオヂスタス pl(periodista).n (性変化なし) 記者たちは

「主語」

tenían テニアン 3 複線(tener)v.t 持っていた

「動詞」

ya ヤー adv. すでに

「副詞」

la estilográfica ラ・エチログラフィカ n.f 万年筆を

「目的語」

en la mano. エン・ラ・マノ adv. 手に

「副詞句」

Segunda parte 第2部

性別のない職業名

職業名を表す名詞で語尾が *-nte* または *-ista* の場合、性別による変化がないが、冠詞や形容詞は対象に応じて変化する必要がある。

歌手は *el cantante* や *la cantante*、記者は *el periodista*、*la periodista*、*los periodistas* 等

万年筆とシャープペンシル

la estilográfica または *la pluma*、シャープペンシルは *el estilográfico*

彼らは皆、関心が無さそうで、真剣な様子は見られなかった。

Aparentaban todos el mismo aire indiferente y un poco zumbón.

「動詞」「補語」

Aparentaban アパレンタバン 3 複線(*aparentar*)v.t (外見が) ～に見えた

「動詞」

todos el mismo aire トゥス・エル・ミスマ・アイレ n.m 皆同じ様子

「補語」

indiferente インディフェレンテ adj. 関心がない

「形容詞」

y イ conj. そして

un poco zumbón. ウン・ポコ・ズボン adj. 少しからかいの

「補語」

ところが彼らの中で特に若く、グレーのフランネルを着て、青のネクタイをしている記者は、万年筆を自分の前に置いたままで、僕をじっと見つめていた。

Sin embargo, uno de ellos, mucho más joven, vestido de franela gris con corbata azul, había dejado la estilográfica delante de sí y me miraba.

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 y 「目的語」「動詞」

Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. ところが、しかしながら

「副詞句」

uno de ellos, ウノ・デ・エジョス pron 記者たちの一人は

「主語」

mucho más joven, ムチョ・マス・ホベン adj. 特に若い

「形容詞句」

vestido de franela gris ベスト・デ・フラネル・グリス

adv. (様態) グレーのフランネルを着た

「形容詞句」

con corbata azul, コン・コルバタ・アスル adv. 青のネクタイをした

「副詞句」

había dejado アビア・デハド 3 単線・完了形(*dejar*)v.t 置いたままにしていた

「動詞句」

la estilográfica ラ・エスチログラフィカ n.f 万年筆を

「目的語」

delante de sí デランテ・デ・シ adv. 自分の前に

「副詞句」

y イ conj. そして

me メ pron 僕を

「目的語」

miraba. ミラバ 3 単線(*mirar*)v.t じっと見つめていた

「動詞」

Segunda parte 第2部

少し不均整なその顔には、とても澄んだ 2 の目しか見えなかった。その目が僕を注意深く探っていたが、明確な意図は読み取れなかった。

En su rostro un poco asimétrico no veía más que los dos ojos, muy claros, que me examinaban atentamente, sin expresar nada definible.

「副詞句」「動詞句」「目的語」, 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」

En su rostro エン・ス・ロストロ adv. 彼の顔の中には 「副詞句」

un poco asimétrico ウン・ポ・コ・アシメトリコ adj. 少し非対称な、不均整な 「形容詞句」

no veía ノ・ベ・ア 1 単線・否定(ver)v.t 見えなかった 「動詞句」

más que los dos ojos, マス・ケ・ロス・ト・ス・ホス pl.n.m(no...mas que) 2 の目しか〜ない「目的語」

muy claros, ムイ・クラロス adj.pl とても澄んだ 「形容詞句」

que ケ pron.pl (ojos の代用) その目は 「主語」

me メ pron 僕を 「目的語」

examinaban エキサミハバン 3 複線(examinar)v.t 調査していた、探っていた 「動詞」

atentamente, アテンタメンテ adv. 注意深く 「副詞」

sin expresar シン・エクスプレサル 不定詞 v.t 〜を表さずに 「副詞句」

nada ナダ pron 何も〜ない 「目的語」

definible. デフィニブレ adj. 明確な 「形容詞」

動詞 definir+接尾辞 -ible (形容詞化・可能・価値)

そして、僕は自分自身に見つめられているような、奇妙な印象を抱いた。

Y tuve la singular impresión de ser mirado por mí mismo. Y 「動詞」「目的語」

Y イ conj. そして

tuve トゥベ 1 単点(tener)v.t 持った 「動詞」

la singular impresión ラ・シングラー・インプレシオン n.f 奇妙な印象を 「目的語」

de ser mirado デ・セル・ミラド 不定詞・同格(de+不定詞・受動)

adj. 見られているという 「形容詞句」

por mí mismo. ポル・ミ・ミソ adv. (動作主) 自分自身に 「副詞句」

Segunda parte 第2部

al abogado, アル・アボガト^o

adv. 弁護士への 「間接目的語」

al Procurador アル・プロクラトール

adv. 検事への 「間接目的語」

y イ conj. そして

al Jurado アル・フラト^o

adv. 陪審員への 「間接目的語」

(cada vez カダ・ベス adv. 毎回、その度に 「副詞句」

todas las cabezas トダス・ラス・カベサス

pl(cabeza).n.f 皆の頭が 「主語」

de los jurados デ・ロス・フラトス

adj. 陪審員の 「形容詞句」

se volvían セ・ホルビアン 3 複線(volverse)

v.pr 振り返った 「動詞句」

al mismo tiempo アル・ミスモ・ティエンポ

adv. 同時に 「副詞句」

hacia el Tribunal), アシア・エル・トリブナル

adv. (場所) 裁判官席の方へ 「副詞句」

una rápida ウナ・ラピダ adj(rápido).f 早い、早口の 「形容詞句」

lectura レクトウラ n.f 朗読 「目的語」

del acta デル・アクタ adj. 記録の 「形容詞句」

de acusación, デ・アクサシオン adj. 起訴の 「形容詞句」

en la que エン・ラ・ケ adv. その中に～する 「副詞節」

la は acta de acusación の代用

reconocía レコノシア 1 単線(reconocer)v.t 分かる 「動詞」

nombres ノンブレス pl(nombre).n.m 名前 「目的語」

de lugares デ・ルガレス adj. 場所の 「形容詞句」

y イ conj. そして

de personas, デ・ペルソナス adj. 人の 「形容詞句」

y イ conj. そして

nuevas preguntas ニエバス・プレグンタス pl(pregunta).n.f 新しい質問 「直接目的語」

al abogado. アル・アボガト^o adv. 弁護士への 「間接目的語」

Segunda parte 第2部

裁判長は、証人の名前の呼び出しを行うと告げた。

El Presidente dijo que iba a proceder al llamado de los testigos. 「主語」「動詞」「目的語」

El Presidente エル・プレシデンテ n.m 裁判長は 「主語」

dijo デイヨ 3 単点(decir)v.t 言った、告げた 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

iba a proceder イバ・ア・プロセデール 3 単線・近接未来・意志(ir a+不定詞 proceder)

v.i (+a 行動に) とりかかるつもりである 「動詞句」

al llamado アル・ジャマト adv. 呼び出しに、呼名に 「間接目的語」

de los testigos. デ・ロス・テストゴス adj. 証人の 「形容詞句」

呼名 (こめい)

名前を呼ぶこと

廷吏が数人の名前を読み上げたが、その名前が僕の注意を引いた。

El ujier leyó unos nombres que me atraieron la atención.

「主語」「動詞」「目的語」, 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

El ujier エル・ウヒエル n.m 廷吏が 「主語」

leyó レヨ 3 単点(leer)v.t 読み上げた 「動詞」

unos nombres ウノス・ノンブレス pl(nombre).n.m 数人の名前を 「目的語」

que ケ pron.pl (主語) それが～する 「主語」

me メ pron 僕の 「間接目的語」

atraieron アトラヘン 3 複点(atraer)v.t 引き付けた 「動詞」

la atención. ラ・アテンシオン n.f 注意を 「直接目的語」

読み上げる

声に出して読むこと

先程は誰がいるのか良く分からなかった傍聴人席から、養老院の院長と門衛や、トマ・ペレーズ老人や、レーモンや、マソンや、サラマノ老人そしてマリーが、一人ずつ立ち上がって、すぐに脇のドアから姿を消すのが見えた。

Del seno del público, informe un momento antes, vi levantarse uno por uno, para desaparecer enseguida por una puerta lateral, al director y al portero del asilo, al viejo Tomás Pérez, a Raimundo, a Masson, a Salamano y a María.

「副詞句」, 「動詞」「補語」「目的語」

Del seno デル・セノ adv. (場所の起点) 奥から、場所から 「副詞句」

del público, デル・プブリコ adj. 傍聴人の、聴衆の 「形容詞句」

informe インフォルメ adj.(= deforme) 形の定かでない 「形容詞」

→ 誰なのか識別ができない

Segunda parte 第2部

un momento antes, ウン・モメント・アンテス

adv. 先程は、少し前には

「副詞句」

vi ビ 1 単点・知覚動詞(ver)v.t 見えた

「動詞」

levantarse レバンタレ 不定詞・uno の動作 v.pr 立ち上がる

「補語」

uno por uno, ウノ・ポル・ウノ adv. 1 人ずつ

「副詞句」

para +不定詞 パラ adv. (結果) そして～する

「副詞句」

uno の動作の継続

desaparecer デサパレセル 不定詞 v.i 姿を消す

「動詞」

enseguida エンセギダ adv. すぐに

「副詞」

por una puerta lateral, ポル・ウナ・プエルト・ラテラル adv. 脇のドアから

「副詞句」

al director アル・ディレクトール n.m 院長が

「目的語」

y イ conj. そして

al portero アル・ポルテロ n.m 門衛が

「目的語」

del asilo, デル・アシロ adj. 養老院の

「形容詞句」

al viejo Tomás Pérez, アル・ビエホ・トマス・ペレス n.m トマ・ペレーズ老人が

「目的語」

a Raimundo, ア・ライムント n.m レーモンが

「目的語」

a Masson, ア・マソン n.m マソンが

「目的語」

a Salamano ア・サラマノ n.m サラマノが

「目的語」

y イ conj. そして

a María. ア・マリア n.f マリーが

「目的語」

マリーは心配そうに小さく合図をした。

Esta me hizo una ligera seña ansiosa.

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞」

Esta エスタ pron.f (María の代用) マリーは

「主語」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

hizo イ 3 単点(hacer)v.t (動作を) した

「動詞」

una ligera seña ウナ・リヘラ・セニャ n.f かすかな合図を

「直接目的語」

ligera リヘラ adj(ligero).f 軽い、かすかな、小さい seña セニャ n.f 合図、サイン、身振り

ansiosa. アンシオサ adj(ansioso).f 心配そうに

「副詞」

Segunda parte 第2部

もっと早く彼らに気付かなかったことに僕はさらに驚いたが、その時、最後にセレステの名前が呼ばれて、立ち上がった。

Estaba asombrado aún de no haberlos visto antes, cuando al llamado de su nombre se levantó el último: Celeste.

	「動詞」「補語」「副詞句」, cuando 「副詞句」「動詞句」「主語」
Estaba エスタバ 1 単線・状態(estar)v.i ~だった	「動詞」
asombrado アソンプラト 過去分詞・受動(asombrar)adj. 驚いた	「補語」
aún アウン adv. さらに、もっと	「副詞」
de + 不定詞・完了形 デ 不定詞・理由 adv. ~して	「副詞句」
no haberlos visto ノ・アベル・ロス・ビスト 不定詞・完了形・否定(ver)	
v.t 彼らに気付かなかった	「動詞句」
ver ベール v.t 見る、見出す、知る、気付く	
antes, アンテス adv. (時間) 前に、少し前に	「副詞」
cuando クワント conj. その時	
al llamado アル・ジャマト adv. 呼び出して	「副詞句」
de su nombre デ・ス・ンブレ adj. 彼の名前の	「形容詞句」
se levantó セ・レバント 3 単点(levantarse)v.pr 立ち上がった	「動詞句」
el último: エル・ウルチモ pron 最後の名前が	「主語」
Celeste. セステ n.m セレステが	「主語」

彼の隣に、レストランで見かけたあの小柄な女が例のジャケットを着て、几帳面で決然とした様子で座っているのが見えた。

Reconocí a su lado a la mujercita del restaurante con la chaqueta y el aire preciso y decidido.

	「動詞」「副詞句」「目的語」「副詞句」
Reconocí レコシ 1 単点(reconocer)v.t 認識した、気付いた、見えた	「動詞」
a su lado ア・ス・ラト adv. 彼の隣に	「副詞句」
a la mujercita ア・ラ・ムヘルシタ n.f 小柄な女を	「目的語」
del restaurante デル・レストランテ adj. レストランにいた	「形容詞句」
con la chaqueta コン・ラ・チャクタ adv. (様態) あのジャケットを着て	「副詞句」
y イ conj. そして	
el aire エル・アイレ adv. 様子で	「副詞句」
preciso y decidido. プレシヨ・イ・デシディト adj. 几帳面で決然とした	「形容詞句」

彼女は呼ばれていないので、傍聴人席で座っていると考えられる。

Segunda parte 第2部

彼女は、食い入るように僕を見つめていた。

Me miraba con intensidad.

「目的語」「動詞」「副詞句」

Me メ porn 僕を

「目的語」

miraba ミラバ 3 単線(mirar)v.t 見つめていた

「動詞」

con intensidad. コン・インテンシダド adv. 食い入るように、激しく、執拗に

「副詞句」

しかし、裁判長が発言したので、ゆっくり考える時間はなかった。

Pero no tuve tiempo de reflexionar porque el Presidente tomó la palabra.

Pero 「動詞句」「目的語」「副詞節」

Pero ペロ conj. しかし

no tuve ノ・トゥベ 1 単点・否定(tener)v.t 〜がなかった

「動詞句」

tiempo de reflexionar ティエンポ・デ・レフレクシヨナル n.m 熟考する時間が

「目的語」

porque ボルケ conj. (理由) 〜なので

「副詞節」

el Presidente エル・プレシデンテ n.m 裁判長が

「主語」

tomó トモ 3 単点(tomar)v.t (行動を) 行った

「動詞」

la palabra. ラ・パラブラ n.f 発言を

「目的語」

裁判長は、これから本格的な審問を開始すると言った。続けて、傍聴人に静粛にするよう求める必要はないと信じると付け加えた。

Dijo que iba a comenzar la verdadera audiencia y que creía inútil recomendar al público que conservara la calma.

「動詞」「目的語」 y 「目的語」

Dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

que ケ conj. 〜ということを

「目的語」

iba a comenzar イバ・ア・コメンサル 3 単線・近接未来・意志(ir a+不定詞)

v.t これから開始する

「動詞句」

la verdadera audiencia ラ・ベルダデラ・アウディエンシア n.f 本格的な審問を

「目的語」

y イ conj. そして

que ケ conj. 〜ということを

「目的語」

creía クレイ 3 単線(creer)v.t 思う、信じる

「動詞」

inútil イヌチル adj. 無用の

「補語」

recomendar レコメンダール 不定詞 n. 勧告することは

「目的語」

al público アル・プブリコ adv. 傍聴人に

「間接目的語」

que ケ conj. 〜ということを

「直接目的語」

conservara コンベルサラ 接・3 単過・時制の一致(conservar)

v.t 保つように

「動詞」

la calma. ラ・カルマ n.f 静粛を

「目的語」

Segunda parte 第2部

彼によると、客観的に考察すべき事件の審問を、不偏不党を旨として指揮するために彼はそこにいるのだ。

Según él, estaba allí para dirigir con imparcialidad la audiencia de un asunto que quería considerar con objetividad.

「副詞句」, 「動詞」 「副詞句」

Según él, セグン・エル adv. 彼によると

「副詞句」

estaba エスタバ 3 単線・存在・時制の一致(estar)v.i. ～にいる

「動詞」

allí アジ adv. そこに

「副詞」

para dirigir パラ・ディリヒール 不定詞・目的 v.t. 指揮するために

「副詞句」

con imparcialidad コン・インパルシアルタ adv. (様態) 不偏不党を旨として

「副詞句」

la audiencia ラ・アウデンシア n.f. 審問を

「目的語」

de un asunto デ・ウン・アスト adj. 事件の

「形容詞句」

que ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

quería considerar クリア・コンシデラール 3 単線・願望(querer+不定詞)

v.t. 考慮したいと望む

「動詞句」

con objetividad. コン・オブ・ヘティビダ

adv. 客観的に

「副詞句」

陪審員によって答申された判決は、正義の精神によって採用されるべきである。そして、どんな場合でも、たとえ些細な混乱であっても、退廷を命ずるであろう。

La sentencia dictada por el Jurado sería adoptada con espíritu de justicia y, en cualquier caso, haría desalojar la sala al menor incidente.

「主語」 「動詞句」 「副詞句」 y, 「副詞句」 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」

La sentencia ラ・センテンシア n.f. 判決は

「主語」

dictada ディクタダ 過去分詞・受動.f(dictar)adj. 述べられた、答申された

「形容詞」

por el Jurado ポル・エル・フラト adv. (動作主) 陪審員によって

「副詞句」

sería adoptada セリア・アドプタダ 3 単過未・受動・妥当.f(adoptar)

v.t. 採用されるべきである

「動詞句」

con espíritu コン・エスピリトゥ adv. (手段) 精神によって

「副詞句」

de justicia デ・フスティシア adj. 正義の

「形容詞句」

y, イ conj. そして

en cualquier caso, エン・クワルキエル・カーソ adv. どんな場合でも

「副詞句」

haría desalojar アリア・デ・サロハル 3 単過未・使役(hacer+不定詞)

v.t. 立ち退かせるだろう

「動詞句」

la sala ラ・サラ n.f. 法廷を

「目的語」

al menor incidente. アル・メノール・インシデンテ adv. (譲歩) 些細な混乱であっても

「副詞句」

Segunda parte 第2部

暑さが増していた。法廷では、傍聴人たちがうちわ代わりに新聞紙を使ってあおいでいたが、紙がよれる度にしわしわと小さな音を出し続けていた。

El calor aumentaba. En la sala los asistentes se abanicaban con los periódicos, lo que producía un leve ruido continuo de papel arrugado.

「主語」「動詞」 | 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」
 El calor エル・カール n.m 熱気が、暑さが 「主語」
 aumentaba. アウメントァ 3 単線(aumentar)v.i 増してきていた 「動詞」
 En la sala エン・ラ・サラ adv. 法廷では 「副詞句」
 los asistentes ロス・アシステンテス pl(asistente).n.m 傍聴人たちが 「主語」
 se abanicaban セ・アバニカバン 3 複線(abanicarse)v.pr あおいでいた 「動詞句」
 con los periódicos, コン・ロス・ペリオディコス adv. (道具) 新聞紙を使って 「副詞句」
 lo que ロ・ケ conj. それが～する 「主語」
 producía プロトウシア 3 単線(producir)v.t 発生していた 「動詞」
 un leve ruido ウン・レベ・ルト n.m 小さな音を 「目的語」
 continuo コンチヌオ adj. 絶え間ない 「形容詞」
 de papel arrugado. デ・パペル・アルガド adj. しわしわによれた紙の 「形容詞句」

裁判長が合図をすると、廷吏が麦藁で編んだうちわを3つ持って来た。3人の裁判官はそれをすぐに使った。

El Presidente hizo una señal y el ujier trajo tres abanicos de paja trenzada que los tres jueces utilizaron inmediatamente.

「主語」「動詞」「目的語」 y
 「主語」「動詞」「目的語」, 「目的語」「主語」「動詞」「副詞」
 El Presidente エル・プレシデンテ n.m 裁判長が 「主語」
 hizo イ 3 単点(hacer)v.t (動作を) した 「動詞」
 una señal ウナ・セニャル n.a 合図を 「目的語」
 y イ conj. そして
 el ujier エル・ウヒエル n.m 廷吏が 「主語」
 trajo トラホ 3 単点(trajer)v.t 持って来た 「動詞」
 tres abanicos トレス・アバニコス pl(abanico).n.m うちわを3個 「目的語」
 de paja trenzada デ・パハ・トレンサダ adj. 麦藁で編んだ 「形容詞句」
 paja パハ n.f 麦わら trenzada トレンサダ adj(trenzado).j 編んだ、三つ編みにした
 que ケ pron (目的語) それを～する 「目的語」
 los tres jueces ロス・トレス・フエセス pl(juez).n.m 3人の裁判官は 「主語」
 utilizaron ウチリサロン 3 複点(utilizar)v.t 使った 「動詞」

Segunda parte 第2部

inmediatamente. インメディアマンテ adv. すぐに

「副詞」

尋問はすぐに始まった。裁判長は僕に穏やかに質問したが、丁重な気遣いさえ感じられた。

El interrogatorio comenzó enseguida. El Presidente me preguntó con calma y me pareció que aun con un matiz de cordialidad.

「主語」「動詞」「副詞」 | 「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」

y 「間接目的語」「動詞」「補語」

El interrogatorio エル・インテロカトリオ n.m 尋問は

「主語」

comenzó コメンソ 3 単点(comenzar)v.i 始まった

「動詞」

enseguida. エンセギダ adv. すぐに

「副詞」

El Presidente エル・プレシデンテ n.m 裁判長は

「主語」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.i 質問した

「動詞」

con calma コン・カルマ adv. 穏やかに

「副詞句」

y イ conj. そして

me メ pron 僕には

「間接目的語」

pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i ーのように見えた

「動詞」

que ケ conj. ーということ

「補語」

aun アウン adv. ーでさえ

「副詞」

con un matiz コン・ウン・マチス adv. ニュアンスのある

「副詞句」

de cordialidad. デ・コルデアリダ adj. 丁重さの

「形容詞句」

僕はまたしても氏名や住所などを述べさせられた。苛立ちを覚えたが、考えてみれば、誰かを別人の代わりに裁いたりしたら大変なことになるので、当然のことなのだ。

Se me hizo declarar otra vez sobre mi identidad y, a pesar de mi irritación, pensé que en el fondo era bastante natural porque sería muy grave juzgar a un hombre por otro.

「動詞句」「目的語」「補語」 y, 「副詞句」「動詞」「目的語」

Se ...hizo セ...イ 3 単点・使役(hacerse)v.t ーさせた

「動詞句」

me メ pron 僕に

「目的語」

declarar デクラール 不定詞・me の動作 v.i 供述する、述べる

「補語」

otra vez オトラ・ベス adv. また

「副詞句」

sobre mi identidad ソブレ・ミ・イデンチダ adv. 僕の身元について

「間接目的語」

y, イ conj. そして

a pesar de ア・ペサル・デ prep ーにもかかわらず

「副詞句」

mi irritación, ミ・イリタシオン n.f 僕の苛立ち

「目的語」

pensé ペンセ 1 単点(pensar)v.t 考えた

「動詞」

Segunda parte 第2部

que ケ conj. ～ということを	「目的語」
en el fondo エン・エル・フォント adv. 根本的に、基本的に	「副詞句」
era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった	「動詞」
bastante natural バスタンテ・ナトゥラル adj. まったく当然な	「補語」
porque ポルケ conj. (理由) ～なので	「副詞節」
sería セリア 3 単過未・推量(ser)v.i ～になるだろう	「動詞」
muy grave ムイ・グラーベ adj. 非常に重大な	「補語」
juzgar フスガール 不定詞 v.t 裁くことは	「主語」
a un hombre ア・ウン・オンブレ n.m 誰かを	「目的語」
por otro. ポル・オトロ adv. (代替) 別人の代わりに	「副詞句」

それから、裁判長は僕がすでに述べていた供述を再開し、段落ごとに僕に声をかけて尋ねた：「この通りですか？」その度に僕は答えた：弁護士の指示通り「はい、裁判長殿」と。

Luego el Presidente volvió a comenzar el relato de lo que y o. había hecho, dirigiéndose a mí cada tres frases para preguntarme: "¿Es así?" Cada vez respondí: "Sí, señor Presidente", según las instrucciones del abogado.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」, 「副詞句」

「副詞句」「動詞」: 《「応答」》, 「副詞句」

Luego ルエゴ adv. (順序) それから、次に	「副詞」
el Presidente エル・プレシデンテ n.m 裁判長は	「主語」
volvió a comenzar ボルビエ・ア・コメンサル 3 単点・再開(volver a+不定詞)v.t また始めた	「動詞句」
el relato エル・レラト n.m 物語る事、供述を	「目的語」
de lo デ・ロ adj. ～の	「形容詞句」
que ケ pro (目的語) ～する	「形容詞節」
yo, ショ pron 僕が	「主語」
había hecho, アビエ・エチョ 1 単線・完了形(hacer)	
v.t すでに述べた	「動詞句」
dirigiéndose ティリヒエンテセ 現在分詞・同時(dirigirse)v.pr 話しかけて	「副詞句」
a mí ア・ミ adv. 僕に	「間接目的語」
cada tres frases カタ・トレス・フラス adv. 段落ごとに、話の区切りごとに	「副詞句」
para preguntarme: パラ・プレグンタル・メ adv. (結果) そして僕に尋ねた	「副詞句」
"¿Es エス 3 単現・疑問文(ser)v.i ～ですか？	「動詞」
así?" アシ adv. このような、この通り	「補語」
Cada vez カタ・ベス adv. その度に	「副詞句」
respondí: レスポンティ 1 単点(responder)v.t 答えた	「動詞」
"Sí, señor Presidente", シ・セニョール・プレシデンテ adv. はい、裁判長殿	「応答」

Segunda parte 第2部

según セグン prep. ～に従って 「副詞句」
 las instrucciones ラス・インストルクシオネス pl(instrucción).n.f 指示 「目的語」
 del abogado. デル・アボガト adj. 弁護士の 「形容詞句」

この尋問は長時間にわたった、というのは裁判長が非常に事細かく話をしたからである。

Esto fue largo porque el presidente era muy minucioso en su relato.

「主語」「動詞」「補語」, 「副詞節」

Esto エスト pron. これは (この尋問) 「主語」
 fue フェ 3 単点・変化(ser)v.i. ～になった 「動詞」
 largo ラルゴ adj. (時間) 長い 「補語」
 porque ボルケ conj. (理由) ～なので 「副詞節」
 el presidente エル・プレシデンテ n.m. 裁判長は 「主語」
 era エラ 3 単線(ser)v.i. ～である 「動詞」
 muy minucioso マイ・ミヌシオ adj. 細部にこだわった、ち密な 「補語」
 en su relato. エン・ス・レラト adv. 彼の話において 「副詞句」

その間、記者たちは取材ノートを取り続けていた。僕は、あの一番若い記者と小柄な自動人形みたいな女の視線をずっと感じていた。

Entretanto, los periodistas escribían. Yo sentía la mirada del periodista más joven y de la pequeña automática.

「副詞」, 「主語」「動詞」 | 「主語」「動詞」「目的語」

Entretanto, エントレタント adv. その間に 「副詞」
 los periodistas ロス・ペリオディスタス pl(periodista).n.m. 記者たちは 「主語」
 escribían. エスクリビアン 3 複線(escribir)
 v.t. ノートに書き続けていた、書き取り続けていた 「動詞」
 Yo ジョ pron. 私は 「主語」
 sentía センチア 1 単線(sentir)v.t. ～を感じていた、～に気付いていた 「動詞」
 la mirada ラ・ミラダ n.f. 視線を 「目的語」
 del periodista デル・ペリオディスタ adj. 記者の 「形容詞句」
 más joven マス・ホベン adj. 一番若い 「形容詞句」
 y イ conj. そして
 de la pequeña automática. デ・ラ・ペケニャ・アウトマタ
 adj. 小柄な自動人形みたいな女の 「形容詞句」

Segunda parte 第2部

電車の座席は、全員が裁判長の方へ振り向いていた。

La banqueta de tranvía se había vuelto toda entera hacia el Presidente.

「主語」「動詞句」「主語」「副詞句」

La banqueta ラ・バンケタ n.f ベンチは、腰掛け 「主語」
 de tranvía デ・トランビエ ア adj. 路面電車の 「形容詞句」
 se había vuelto セ・アビエ・フエルト 3 単線・完了形(volverse)v.pr 振り返っていた 「動詞句」
 toda entera トダ・エンテラ pron.f 全員が 「主語」
 hacia el Presidente. アシア・エル・プレシデンテ adv. 裁判長の方へ 「副詞句」

裁判長は咳払いをして書類をめくり、うちわを使いながら僕の方へ振り向いた。

Este tosió, hojeó el expediente y se volvió hacia mí abanicándose.

「主語」「動詞」, 「動詞」「目的語」 y 「動詞句」「副詞句」

Este エステ pron (最後に出てきた) 裁判長は 「主語」
 tosió, トシオ 3 単点(toser)v.i 咳をした 「動詞」
 hojeó ホヘオ 3 単点(hojear)v.t ページをめくった 「動詞」
 el expediente エル・エクスぺディエンテ n.m 書類を、関係文書を 「目的語」
 y イ conj. そして
 se volvió セ・ボルビエ 3 単点(volverse)v.pr 振り向いた 「動詞句」
 hacia mí アシア・ミ adv. 僕の方に 「副詞句」
 abanicándose. アバニカント・セ 現在分詞・同時(abanicarse)v.pr 扇子を使いながら 「副詞句」

彼は僕に、今度はこの事件とは全く無縁だが、もしかすると密接な関係があるかもしれない問題に取り掛からなければならない、と言った。

Me dijo que debía abordar ahora cuestiones aparentemente extrañas al asunto, pero que quizá le tocasen bien de cerca.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Me メ pron 僕に 「間接目的語」
 dijo ディホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 debía abordar デビエ・アボルダール 3 単線・必要・時制の一致(deber+不定詞)
 v.t 取り組まねばならない 「動詞句」
 ahora アオラ adv. 今度は 「副詞」
 cuestiones ケスチオネス pl(cuestión).n.f 問題に 「目的語」
 aparentemente extrañas アパルトメンテ・エクストラニャス
 adj(extraño).f.pl(a と) 全く無縁の 「形容詞句」
 al asunto, アル・アスト adv. この事件と 「副詞句」
 pero ペロ conj. しかし

Segunda parte 第2部

que ケ pron (主語: cuestiones の代用) 問題を	「目的語」
quizá شاید adv. もしかすると	「副詞」
le レ pron (asunto の代用) そのことに	「間接目的語」
tocasen トカセ 接・3 複過・推量(tocar)	
v.i 関係があるかもしれない	「動詞」
bien de cerca. ビエンデ・セカ adv. ごく近くで、密接に	「副詞句」

僕は彼がまた母さんのことを話そうとしていることが分かった。それと同時に、なんとなくざりすることかと感じた。

<u>Comprendí que iba a hablarme otra vez de mamá y sentí al mismo tiempo cuánto me aburría.</u>	「動詞」「目的語」 y 「動詞」「副詞句」「目的語」
Comprendí コンプレンディ 1 単点(comprender)v.t 分かった	「動詞」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
iba a hablarme イバ・ア・ハブラール・メ 3 単線・近接未来(ir a+不定詞 hablar+me)	
v.i(de について) 僕に話そうとしている	「動詞句」
otra vez オトラ・ベス adv. また	「副詞句」
de mamá デ・ママ adv. 母さんのことを	「間接目的語」
y イ conj. そして	
sentí センチ 1 単点(sentir)v.t 感じた、思った	「動詞」
al mismo tiempo アル・ミスモ・ティエンポ adv. 同時に	「副詞句」
cuánto クワント adv. どれほど～かということを	「目的語」
me aburría. メ・アブリア 1 単線(aburrirse)v.pr うんざりする	「動詞句」

彼は僕に、どうして母さんを養老院に入れたのかと尋ねた。

<u>Me preguntó por qué había metido a mamá en el asilo.</u>	「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
Me メ pron 僕に	「間接目的語」
preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた	「動詞」
por qué ポル・ケ adv. どうして～するかということを	「直接目的語」
había metido アビ・ア・メト 1 単線・完了形(meter)v.t(en に) 入れた	「動詞句」
a mamá ア・ママ n.f 母さんを	「目的語」
en el asilo. エン・ネル・アシロ adv. 養老院へ	「副詞句」

Segunda parte 第2部

母さんの看護や世話をしてもらうのに十分なお金がなかったからだと答えた。

Contesté que porque carecía de dinero para hacerla atender y cuidar.

「動詞」「目的語」

Contesté コンテスト 1 単点(contestar)v.t 答えた

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

porque ポルケ conj. ～なので

carecía カレシア 1 単線(carecer)v.i(de+無冠詞名詞) ～がなかった

「動詞」

de dinero デ・ディネロ adv. お金が

「間接目的語」

para hacerla パラ・アセル・ラ 不定詞・使役・目的 adv. 母さんを～させるのに「副詞句」

hacer+「目的語」+不定詞 人に「目的語」を～させる

atender アテンデル 不定詞 v.t 世話をする

「補語」

y イ conj. そして

cuidar. クイダル 不定詞 v.t 看護する

「補語」

彼は僕に、母さんを亡くして個人的に辛かったかどうかを尋ねた。それで僕は、母さんも僕もお互いに、何も、さらに誰にも期待をしていなかったと答え、さらに二人とも既にそれぞれの新しい生活に馴染んでいたと答えた。

Me preguntó si me había costado personalmente y contesté que ni mamá ni yo esperábamos nada el uno del otro, ni de nadie por otra parte, y que ambos nos habíamos acostumbrado a nuestras nuevas vidas.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 y 「動詞」「目的語」 y 「目的語」

Me メ pron 僕に

「間接目的語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 質問した、尋ねた

「動詞」

si シ conj. ～かどうかということを

「直接目的語」

me メ pron 僕にとって

「間接目的語」

había costado アビア・コスタ 3 単線・完了形(costar)v.i 辛かった

「動詞句」

「主語」は「母さんを亡くしたこと」

personalmente ペルソナルメンテ adv. 個人的に

「副詞」

y イ conj. そして

contesté コンテスト 1 単点(contestar)v.t 答えた、返事をした

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

ni mamá ni yo ニ・ママ・ニ・ジョ pl.n 母さんも僕も～ない

「主語」

esperábamos エスパ・ラハモス 1 複線・否定文(esperar)v.t 期待していなかった「動詞」

nada ナダ pron 何も～ない

「目的語」

el uno del otro, エル・ウノ・デル・オトロ pron お互いに～ない

「主語」

ni de nadie ニ・デ・ナディエ pron 誰にも

「目的語」

Segunda parte 第2部

por otra parte, ポル・オトラ・パルテ adv. さらに、その上 「副詞句」
 y イ conj. そして
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 ambos アンボス・ノス pron 二人とも 「主語」
 nos habíamos acostumbrado アビエイモス・アコストゥンブラド 1 複線・完了形(acostumbrarse)
 v.pr(a に) 慣れてしまっていた 「動詞句」
 a nuestras nuevas vidas. ア・ヌエストラス・ヌエバス・ビダス
 adv. それぞれの新しい生活に 「間接目的語」

それで裁判長は、その点にこだわるつもりはないと言ってから、検事に、他に僕についての質問はないかと尋ねた。

El Presidente dijo entonces que no quería insistir sobre este punto y preguntó al Procurador si no tenía otra pregunta que formularme.

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」 y 「動詞」「間接目的語」「直接目的語」
 El Presidente エル・プレシデンテ n.m 裁判長は 「主語」
 dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 entonces エントンセス adv. その時、それで 「副詞」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 no quería insistir ノ・ケリア・インシスチール 3 単線・願望・否定(querer+不定詞)
 v.i ～に固執するつもりはない 「動詞句」
 sobre este punto ソブレ・エステ・プント adv. その点については 「間接目的語」
 y イ conj. そして
 preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」
 al Procurador アル・プロクラトール adv. 検事に 「間接目的語」
 si シ conj. ～かどうかということを 「直接目的語」
 no tenía ノ・テニア 3 単線・否定(tener)v.t ～がない 「動詞句」
 otra pregunta オトラ・プレグンタ n.f 他の質問が 「目的語」
 que formularme. ケ・フォルムラル・メ adj. 僕に関する 「形容詞節」
 formular フォルムラール v.t 表現する

Segunda parte 第2部

検事は半ば僕に背を向けていたが、僕を見ずに、裁判長の許可をいただいて、僕はあのアラブ人を殺す意図を持って泉に戻ったのかどうかを知りたいのだが、と言った。

El Procurador estaba medio vuelto de espaldas hacia mí y, sin mirarme, declaró que, con la autorización del Presidente, querría saber si yo había vuelto al manantial con la intención de matar al árabe. 「主語」「動詞」「補語」 y, 「副詞句」「動詞」「目的語」

El Procurador エル・プロクラドール n.m 検事は 「主語」

estaba エスタバ 3 単線・状態(estar)v.i 〜だった 「動詞」

medio vuelto メディオ・ブエルト adj. 半ば振り返った 「補語」

de espaldas デ・エスパルダス adv. (手段) 背中によって 「副詞句」

hacia mí アシア・ミ adv. 僕に対して 「副詞句」

y, イ conj. そして

sin mirarme, シン・ミラル・メ adv. 僕を見ないで 「副詞句」

declaró デクラロ 3 単点(declarar)v.t 言った 「動詞」

que, ケ conj. 〜ということ 「目的語」

con la autorización del Presidente, コン・ラ・アウトリサシオン・デル・プレシデンテ

adv. (条件) 裁判長の許可をいただいて 「副詞句」

querría saber クリア・サベル 3 単過未・願望(querer+不定詞)

v.t 知りたいのだが 「動詞句」

si シ conj. 〜かどうかということ 「目的語」

yo ジョ pron 僕は 「主語」

había vuelto アビア・ヴァエルト 1 単線・完了形(volver)v.i 戻った 「動詞句」

al manantial アル・マナシアル adv. 泉に 「間接目的語」

con la intención コン・ラ・インテンシオン adv. 意図を持って 「副詞句」

de matar デ・マタル 不定詞・目的 adj. 殺すという 「形容詞句」

al árabe. アル・アラベ n.m あのアラブ人を 「目的語」

「そんなつもりはありませんでした」と、僕は言った。「それでは、どうして武器を持って行ったのか？さらに、何のために正確にあの場所に戻ったのか？」

"No", dije. "Entonces, ¿por qué estaba armado y por qué volver a ese lugar precisamente?"

《「応答」》, 「動詞」 | 《「副詞句」「動詞」「補語」 y 「副詞句」「動詞」「副詞句」》

"No", ノ adv. そんなつもりはなかった 「応答」

dije. ディエ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

"Entonces, エントンセス adv. (接続詞的) それでは 「副詞」

¿por qué ポル・ケ adv. (理由) どうして 「副詞句」

estaba エスタバ 2 単線(estar)v.i 〜だった 「動詞」

armado アルマト adj. 武装した、武器を持った 「補語」

Segunda parte 第2部

y イ conj. そして

por qué +不定詞 ホル・ケ adv. (目的) 何のために

「副詞句」

volver ホルベール 不定詞 v.i 戻った

「動詞」

a ese lugar ア・エセルガール adv. あの場所へ

「副詞句」

precisamente?" プレシサメンテ adv. 正確に

「副詞」

僕は、それは偶然ですと言った。

Dije que era el azar.

「動詞」「目的語」

Dije ディエ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった

「動詞」

el azar. エル・アサル n.m 偶然

「補語」

すると検事は気に食わないという口調で言った：「今の所、これだけです」

Y el Procurador señaló con acento cruel: "Nada más por el momento."

Y 「主語」「動詞」「副詞句」：《「目的語」「副詞句」》

Y イ conj. すると

el Procurador エル・プロクラトール n.m 検事は

「主語」

señaló セニャロ 3 単点(señalar)v.t 言った、指摘した

「動詞」

con acento コン・アセント adv. 口調で

「副詞句」

cruel: クエル adj. 残酷な、無慈悲な

「形容詞」

"Nada más マダ・マス pron これ以上は何もない

「目的語」

por el momento." ホル・エル・モメント adv. 目下、今のところは

「副詞句」

その後は、すべてが少なくとも僕には良く分からなかった。

Todo fue enseguida un poco confuso, por lo menos para mí.

「主語」「動詞」「副詞」「補語」

Todo トド pron (全体・単数扱い) すべてが

「主語」

fue フェ 3 単点(ser)v.i ～だった

「動詞」

enseguida エンセギダ adv. すぐに

「副詞」

→ después

un poco confuso, ウン・ポ・コンフソ adj. 少し漠然とした、不明瞭な

「補語」

por lo menos ホル・ロ・メノス adv. 少なくとも

「副詞句」

para mí. パラ・ミ adv. 僕には

「副詞句」

フランス語原文では：

そのあとのことはすべて、少なくとも僕にははっきり分からなかった。

Segunda parte 第2部

Tout **ensuite** a été un peu confus, du moins pour moi.

だが、しばらく密談した後で裁判長は休廷を宣言して、証人尋問は午後から行おうと告げた。

Pero después de algunos conciliábulos el Presidente declaró que la audiencia quedaba levantada y transferida hasta la tarde para recibir la declaración de los testigos.

Pero 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

Pero ペロ conj. しかし

después de デスプエス・デ prep (時間) ~のあとで 「副詞句」

algunos conciliábulos アルグノス・コンシリアブロス

pl(conciliábulo).n.m いくつかの密談 「目的語」

el Presidente エル・プレシデnte n.m 裁判長は 「主語」

declaró デクラロ 3 単点(declarar)v.t 宣言した、告げた 「動詞」

que ケ conj. ~ということ 「目的語」

la audiencia ラ・アウディエンシア n.f 審問は 「主語」

quedaba クダバ 3 単線・状態変化・時制の一致(quedar)v.i (SVC) ~になる 「動詞」

levantada レバンタダ 過去分詞・受動(levantar)adj.f 解除された 「補語」

y イ conj. そして

transferida トランスフェリダ 過去分詞・受動(transferir)adj.f 移動させられた 「補語」

hasta la tarde アスタ・ラ・タルデ adv. 午後まで 「副詞句」

para recibir パラ・レシビール 不定詞・結果 adv. そして受け付ける 「副詞句」

la declaración ラ・デクララシオン n.f 証言を、陳述を 「目的語」

de los testigos. デ・ロス・テストigos adj. 証人たちの 「形容詞句」

quedar + 過去分詞

受動行為の完了の結果を表す

じっくり考えている時間は無かった。僕は連れ出され、護送車に乗せられ、拘置所に運ばれ、そしてそこで食事をした。

No tuve tiempo de reflexionar. Se me llevó, se me hizo subir al coche celular y se me condujo a la cárcel, donde comí.

「動詞句」「目的語」 | 「動詞句」「目的語」「動詞句」,

「動詞句」「目的語」「動詞句」「補語」

y 「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞句」, 「副詞」「動詞」

No tuve ノ・トゥエ 1 単点・否定(tener)v.t ~がなかった 「動詞句」

tiempo ティエンポ n.m 時間が 「目的語」

de reflexionar. デ・レフレクシオナル 不定詞・目的

adj. じっくり考えるための 「形容詞句」

Segunda parte 第2部

Se ...llevó, セ...ジエボ 3 単点(llevarse)v.pr 連れて行った、連れ出した	「動詞句」
「主語」が明記されていないので、受動態に翻訳する	
me メ pron 僕を	「目的語」
se ...hizo セ...イ 3 単点・使役(hacerse)v.pr(SVO+不定詞) ～させた	「動詞句」
me メ pron 僕に	「目的語」
subir スビール 不定詞・me の動作 v.i(a 乗り物に) 乗る	「補語」
al coche アル・コチェ adv. 車に	「間接目的語」
celular セルラー adj. 独房の	「形容詞」
coche celular コチェ・セルラー n.m 護送車	
y イ conj. そして	
se ...condujo セ...コントウホ 3 単点(conducirse)v.pr 運んだ	「動詞句」
me メ pron 僕を	「目的語」
a la cárcel, ア・ラ・カルセル adv. 刑務所に、拘置所に	「副詞句」
donde トンデ adv. そしてそこで	「副詞」
comí. コミ 1 単点(comer)v.t 食事をした	「動詞」

自分は疲れているのだと気付くのに必要なごく短時間の後に、もう僕を迎えに来た；すべてがまた始まり、僕はまた同じ法廷で、同じ顔ぶれの前にいる。

Al cabo de muy poco tiempo, exactamente el necesario para darme cuenta de que estaba cansado, volvieron a buscarme: todo comenzó de nuevo y me encontré en la misma sala, delante de los mismos rostros.

「副詞句」, 「動詞句」; 「主語」「動詞」「副詞句」 y 「動詞句」「副詞句」	
Al cabo de アル・カボ・デ prep (時間) ～の後に	「副詞句」
muy poco tiempo, マイ・ポ・コ・ティエンポ n.m ほんの少しの時間	「目的語」
exactamente エクサクタメンテ adv. 正確に、まさに	「副詞」
el necesario エル・ネサリオ n.m 必要な時間	「目的語」
para +不定詞 不定詞・目的 adj. ～するのに必要な	「形容詞句」
darme cuenta de ダール・メ・クエンタ・デ 不定詞(darse cuenta de)	
v.pr ～に気付く	「動詞句」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
estaba エスタハ 1 単線・時制の一致(estar)	
v.i ～である	「動詞」
cansado, カンサド adj. 疲れた	「補語」
volvieron a buscarme: ホルビエロン・ア・ブスカル・メ 3 複点・再度(volver a+不定詞 buscar+me)	
v.t また僕を迎えに来た	「動詞句」
todo トド pron すべてが	「主語」

Segunda parte 第2部

comenzó コメンソ 3 単点(comenzar)v.i 始まった	「動詞」
de nuevo デ・ヌエボ adv. また	「副詞句」
y イ conj. そして	
me encontré メ・エンコントレ 1 単点・存在(encontrarse)v.pr (ある場所に) いる	「動詞句」
en la misma sala, エン・ラ・ミスマ・サラ adv. 同じ法廷に	「副詞句」
delante de デ・ランテ・デ adv. ～の前に	「副詞句」
los mismos rostros. ロス・ミスモス・ロストロス pl(rostro).n.m 同じ顔たち	「目的語」

しかし暑さは益々厳しくなっていた。そしてまるで奇跡のように、各陪審員や、検事や弁護士や数人の記者たちは、皆麦藁のうちわを使っていた。

Sólo que <u>el calor era mucho más intenso y, como por milagro, cada uno de los jurados, el Procurador, el abogado y algunos periodistas estaban también provistos de abanicos de paja.</u>	
Sólo que 「主語」「動詞」「補語」 y, 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞」「補語」	
Sólo que ソロ・ケ conj. しかし～	
el calor エル・カロール n.m 暑さは	「主語」
era エラ 3 単線・変化(ser)v.i ～になっていた	「動詞」
mucho más intenso ムチョ・マス・インテンソ adj. ますます激しい	「補語」
y, イ conj. そして	
como por milagro, コモ・ポル・ミラゲロ adv. (比喩) 奇跡によるかのように	「副詞句」
cada uno de los jurados, カダ・ウノ・デ・ロス・フラトス pron それぞれの陪審員は	「主語」
el Procurador, エル・プロクラトール n.m 検事は	「主語」
el abogado エル・アボガト n.m 弁護士は	「主語」
y イ conj. そして	
algunos periodistas アルグノス・ペリオディスタス pl(periodista).n.m 数人の記者は	「主語」
estaban エスタバン 3 複線(estar)v.i ～だった	「動詞」
también タンビエン adv. ～もまた	「副詞」
providos プロビストス adj(provisto).pl(de を) 備えた	「補語」
de abanicos デ・アバニコス adv. うちわを	「副詞句」
de paja. デ・パハ adj. (材料) 麦藁の	「形容詞句」

Segunda parte 第2部

あの若い記者と小柄な女は相変わらずそこにいた。しかし彼らはうちわを使わず、ずっと無言で僕を見つめていた。

El periodista joven y la mujercita estaban siempre allí. Pero no se abanicaban y seguían mirándome sin decir nada.

「主語」「動詞」「副詞句」 | Pero 「動詞句」 y 「動詞句」「副詞句」
 El periodista joven エル・ペリヂヂスタ・ホベン n.m あの若い記者は 「主語」
 y イ conj. そして
 la mujercita ラ・ムヘルシタ n.f あの小柄な女は 「主語」
 estaban エスタバン 3 複線・存在(estar)v.i 〜にいた 「動詞」
 siempre allí. シエンプレ・アッリ adv. 相変わらずそこに 「副詞句」
 Pero ペロ conj. しかし
 no se abanicaban ノ・セ・アバニカバン 3 複線・否定(abanicarse)
 v.pr. うちわを使っていなかった 「動詞句」
 y イ conj. そして
 seguían mirándome セギアン・ミラント・メ 3 複線・継続(seguir+現在分詞 mirar+me)
 v.t. 僕を見つめ続けていた 「動詞句」
 sin decir nada. シン・デシール・ナダ adv. 無言で 「副詞句」

僕は顔を覆っていた汗を拭いた。それから自分がどこにいるかという意識が少し回復したのは、院長の名前が呼ばれるのを聞いてからやっとだった。

Me enjugué el sudor que me cubría el rostro y recobré un poco la conciencia del lugar y de mí mismo sólo cuando oí llamar al director del asilo.

「動詞句」「目的語」 y 「動詞」「副詞句」「目的語」 y 「副詞句」
 Me enjugué メ・エンフゲ 1 単点(enjugarse)v.pr (自分の体の) 〜を拭いた 「動詞句」
 el sudor エル・ストール n.m 汗を 「目的語」
 que ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」
 me メ pron 僕の 「間接目的語」
 cubría クブリア 3 単線(cubrir)v.t 覆っていた 「動詞」
 el rostro エル・ロストロ n.m 顔を 「直接目的語」
 y イ conj. そして
 recobré レコブレ 1 単点(recobrar)v.t 回復した 「動詞」
 un poco ウン・ポコ adv. 少し 「副詞句」
 la conciencia ラ・コンシエンシア n.f 意識を 「目的語」
 del lugar テル・ルガール adj. (関連) 場所についての 「形容詞句」
 y イ conj. そして
 de デ prep (時間・起点) 〜から 「副詞句」

Segunda parte 第2部

mí mismo ミ・ミスト adv. 僕としては	「副詞句」
sólo cuando ソロ・クワント adv. その時にやっと	「副詞節」
oí オイ 1 単点(oír)v.t 聞いた	「動詞」
llamar ジャマル 不定詞 n. 呼ぶのを	「目的語」
al director del asilo. アル・ディレクトール・デル・アシロ	
n.m 院長を	「目的語」

彼は、母さんが僕のことで愚痴を言っていたかと尋ねられて、そういうことはあったと答えたが、入寮者は多少は近親者の愚痴をいう習性があるものだと付け加えた。

Le preguntaron si mamá se quejaba de mí y dijo que sí, pero que sus pensionistas tenían un poco la manía de quejarse de los parientes.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 y 「動詞」「目的語」, pero 「目的語」	
Le le pron (director の代用) 彼に	「間接目的語」
preguntaron プレグンタロン 3 複点(preguntar)v.t 尋ねた	「動詞」
受動態に翻訳する	
si シ conj. ～かどうかということ	「直接目的語」
mamá ママ n.f 母さんは	「主語」
se quejaba セ・ケハバ 3 単線(quejarse)	
v.pr(de について) 嘆いていた、愚痴を言っていた	「動詞句」
de mí デ・ミ adv. 僕のことで	「間接目的語」
y イ conj. そして	
dijo デ・ヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
que sí, ケ・シ n. そうだった (愚痴っていた)	「目的語」
pero ペロ conj. しかし	
que ケ conj. ～ということ	「目的語」
sus pensionistas スス・ペンシオニスタス pl(pensionista).n.m 入寮者たちは	「主語」
tenían テニア 3 複線・習性(tener)v.t ～があるものだ	「動詞」
un poco ウン・ポコ adv. 多少は	「副詞句」
la manía ラ・マニア n.f 習性が	「目的語」
de quejarse デ・ケハセ 不定詞・同格 adj. (de について) 愚痴る「形容詞句」	
de los parientes. デ・ロス・パリエンテス adv. 近親者の	「形容詞句」

Segunda parte 第2部

裁判長は、母さんは僕が養老院に入れたことを責めていたかどうかを、院長に詳しく説明させた。院長は再びそういうことはあったと答えた。

El Presidente le hizo precisar si ella me reprochaba el haberla metido en el asilo, y el director dijo otra vez que sí.

「主語」「目的語」「動詞」「補語」 y 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」
 El Presidente エル・プレシデンテ n.m 裁判長は 「主語」
 le レ pron 院長に 「目的語」
 hizo イ 3 単点・使役(hacer)v.t(SVO+不定詞) O に～させた 「動詞」
 precisar プレシサル 不定詞・le の動作 v.t 明確にする 「補語」
 si シ conj. ～かどうかということ 「目的語」
 ella エジャ pron 彼女は 「主語」
 me メ pron 僕の 「間接目的語」
 reprochaba レプロチャバ 3 単線(reprochar)
 v.t 責めていた、非難していた 「動詞」
 el +完了・不定詞 不定詞.n ～したことを 「直接目的語」
 haberla metido アベル・ラ・メト 完了・不定詞
 v.t 母さんを～に入れた 「動詞句」
 en el asilo, エン・エル・アシロ adv. 養老院へ 「副詞句」
 y イ conj. そして
 el director エル・ディレクトール n.m 院長は 「主語」
 dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 otra vez オトラ・ベス adv. もう一度 「副詞句」
 que sí. ケ・シ pron そういうことはあった 「目的語」

しかし今度は何も付け足さなかった。別の質問に対して、彼は、葬儀の日に僕が冷静だったことに驚いたと答えた。

Pero esta vez no agregó nada. A otra pregunta contestó que había quedado sorprendido de mi calma el día del entierro.

Pero 「副詞句」, 「動詞句」「目的語」 | 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
 Pero ペロ conj. しかし
 esta vez エスタ・ベス adv. 今度は、今回は 「副詞句」
 no agregó ノ・アグレロ 3 単点・否定(agregar)v.t 付け足さなかった 「動詞句」
 nada. ナダ pron 何も～ない 「目的語」
 A otra pregunta ア・オトラ・プレクンタ adv. 別の質問に対して 「間接目的語」
 contestó コンテスト 3 単点(contestar)v.t 答えた 「動詞」
 que ケ conj. ～ということ 「直接目的語」

Segunda parte 第2部

había quedado アビア・ケダト 3 単線・完了形(querer)

v.i (～の状態に) なった

「動詞句」

sorprendido ソルプレンドイト 過去分詞(sorprender)adj. 驚いた

「補語」

de mi calma デ・ミ・カルマ adv. (原因) 僕の冷静さに

「副詞句」

el día del entierro. エル・デイア・テル・エンチエロ adv. (時) 葬儀の日の

「副詞句」

彼は、何を持って冷静と見なしたのかを確認された。

Le preguntaron qué entendía por calma.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Le le pron 彼に

「間接目的語」

preguntaron プレグンタロン 3 複点(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞」

受動態に翻訳する

qué ケ pron ～をすることということを

「直接目的語」

entendía エンテンディア 3 単線(entender)v.t(por と) みなした

「動詞」

por calma. ポル・カルマ adv. (理由) 冷静と

「副詞句」

すると院長は自分の靴の先端に視線を向けて、僕は母さんとの対面を望まなかったし、ただの一度も涙をながさず、葬儀が終わると墓前で思いに耽ることもなく帰った、と言った。

El director miró entonces la punta de sus zapatos y dijo que yo no había querido ver a mamá, que no había llorado ni una sola vez y que después del entierro había partido enseguida, sin recogerme ante su tumba.

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」 y 「動詞」「目的語」

El director エル・ディレクター n.m 院長は

「主語」

miró ミロ 3 単点(mirar)v.t 見た、視線を向けた

「動詞」

entonces エントネセス adv. それで、すると

「副詞」

la punta ラ・プンタ n.f 先端を

「目的語」

de sus zapatos デ・ス・ザパトス adj. 自分の靴の

「形容詞句」

y イ conj. そして

dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

que ケ conj. ～ということ

「目的語」

yo ジョ pron 僕は

「主語」

no había querido ver ノ・アビア・ケルト・ベール 1 単線・完了形・願望・否定(querer+不定詞)

v.t 見ようとしなかった、対面をのぞまなかった

「動詞句」

a mamá, ア・ママ n.f 母さんを

「目的語」

que ケ conj. ～ということ

「目的語」

no había llorado ノ・アビア・ジョラト 1 単線・完了形・否定(llorar)

v.i 涙を流さなかった

「動詞句」

Segunda parte 第2部

ni una sola vez ニ・ウナ・ソラ・ベス adv. ただの一度も	「副詞句」
y イ conj. そして	
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
después del entierro デ・スプ°エス・デル・エンチエロ adv. 葬儀の後は	「副詞句」
había partido アビ・ア・パ°ルチト 1 単線・完了形(partir)v.i 帰った	「動詞句」
enseguida, エンセギタ° adv. すぐに	「副詞」
sin recogerme シン・レコヘルメ adv. 思いにふけることなく	「副詞句」
ante su tumba. アンテ・ス・トゥンバ° adv. 墓前で	「副詞句」

その他に、彼が驚いたことがあった：葬儀社の職員が、僕が母さんの年齢を知らなかったと、彼に話していたのだった。

Otra cosa le había sorprendido: un empleado de pompas fúnebres le había dicho que yo no sabía la edad de mamá.

「主語」「目的語」「動詞句」：「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」	
Otra cosa オトラ・コサ n.f 他のことが	「主語」
le レ pron 彼を	「目的語」
había sorprendido: アビ・ア・ソルプ°レンデイト° 3 単線・完了形(sorprender)v.t 驚かした	「動詞句」
un empleado ウン・エンプレアト° n.m 職員が	「主語」
de pompas fúnebres テ°・ポンパ°ス・フネブレス adj. 葬儀社の	「形容詞句」
le le レ pron 彼に	「間接目的語」
había dicho アビ・ア・デイチョ 3 単線・完了形(decir)v.t 話していた	「動詞句」
que ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
yo ジョ pron 僕は	「主語」
no sabía ノ・サビ・ア 1 単線・否定(saber)v.t 知らなかった	「動詞句」
la edad de mamá. ラ・エダ°・デ°ママ n.f 母さんの年齢を	「目的語」

Segunda parte 第2部

一瞬の沈黙の後、裁判長は、彼が話したことは僕の事に間違いないのかと問いただした。

Hubo un momento de silencio, y el Presidente le preguntó si estaba seguro que era de mí de quien había hablado.

「動詞」「目的語」,y「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Hubo ウハ 3 単点(haber)v.t ~があった 「動詞」

un momento ウン・モメント n.m 一瞬が 「目的語」

de silencio, デ・シレンシオ adj. 沈黙の 「形容詞句」

y イ conj. そして

el Presidente エル・プレシデンテ n.m 裁判長は 「主語」

le レ pron 彼に 「間接目的語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

si シ conj. ~かどうかということ 「直接目的語」

estaba エスタバ 3 単線・時制の一致(estar)v.i ~である 「動詞」

seguro セグロ adj. 確かな 「補語」

que ケ conj. ~ということ 「主語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ~である 「動詞」

de mí デ・ミ adv. 僕の事 「補語」

de quien デ・キエン adj. 誰かについて~するのは 「主語」

había hablado. アビア・アブラト 3 単線・完了形(hablar)
v.i(de について) 話していた 「動詞句」

院長がその質問の意味を理解できなかったので、裁判長は彼に促した。「規則ですので」

Como el director no comprendía la pregunta, le dijo: "Así lo dispone la ley."

「副詞節」,「間接目的語」「動詞」:《「副詞」「目的語」「動詞」「主語」》

Como コモ conj. (理由) ~なので 「副詞節」

el director エル・ディレクトール n.m 院長が 「主語」

no comprendía ノ・コンプレンディア 3 単線・否定(comprender)

v.t 理解できなかった 「動詞句」

la pregunta, ラ・プレグンタ n.f その質問を 「目的語」

le レ pron 彼に 「間接目的語」

dijo: ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

"Así アシ adv. そのように 「副詞」

lo ロ pron それを 「目的語」

dispone ディスポネ 3 単現(disponer)v.t 規定している 「動詞」

la ley." ラ・レイ n.f 規則が、法律が 「主語」

Segunda parte 第2部

それから、裁判長は証人に質問することがあるかと検事に尋ねると、検事は大声で答えた：「いえ、ありません。十分です！」僕に対して勝利を誇示するような様子だった。それで、ここ何年来で初めて、泣きたいという愚かな感情を覚えた。なぜなら、この場の皆がどれ程僕のことを嫌っているかが感じられたからだ。

Luego el Presidente preguntó al Abogado General si quería interrogar al testigo, y el Procurador gritó: "¡Oh, no, es suficiente!" con tal ostentación y tal mirada triunfante hacia mi lado que por primera vez desde hacía muchos años tuve un estúpido deseo de llorar porque sentí cuánto me detestaba toda esa gente.

「副詞」「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」,y「主語」「動詞」:

《「応答」「動詞」「補語」》「副詞句」

Luego ルエゴ adv. その後、それから 「副詞」
 el Presidente エル・プレシデンテ n.m 裁判長は 「主語」
 preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t (a+人 に) 尋ねた 「動詞」
 al Abogado General アル・アボガト・ヘネラル adv. 検事総長に 「間接目的語」
 si シ conj. ーかどうかということ を 「直接目的語」
 quería interrogar クリア・インテロガール 3 単線・願望・時制の一致(querer+不定詞)
 v.t 質問したい 「動詞句」
 al testigo, アル・テスチゴ adv. 証人に 「間接目的語」
 y イ conj. そして
 el Procurador エル・プロクラトール n.m 検事は 「主語」
 gritó: グリト 3 単点(gritar)v.i 大声で言った 「動詞」
 "¡Oh, no, オー・ノー adv. いやありません 「応答」
 es エス 3 単現(ser)v.i ーである 「動詞」
 suficiente!" スフィシエンテ adj. 十分な 「補語」
 con コン prp (様態) ーの様子で 「副詞句」
 tal ostentación タル・オステンタシオン n.f 誇示、見せびらかし 「目的語」
 y イ conj. そして
 tal mirada triunfante タル・ミラダ・トリウファンテ n.f 勝利の眼差し 「目的語」
 hacia mi lado アシア・ミ・ラト adv. 僕の方へ 「副詞句」
 que ケ conj. (tal...que) (結果) それでーする ような 「形容詞節」
 por primera vez ホル・プリメラ・ベス adv. 初めて 「副詞句」
 desde hacía muchos años デステ・アセ・ムチョス・アソニョス
 adv. ここ何年来で 「副詞句」
 tuve トゥベ 1 単点(tener)v.t ーがあつた 「動詞」
 un estúpido deseo de llorar ウン・エストゥピト・デ・セオ・デ・ジョラル
 n.m 泣きたいという愚かな願望 「目的語」

Segunda parte 第2部

porque ポルケ conj. なぜなら～だから 「副詞節」

sentí センチ 1 単点(sentir)v.t 感じた 「動詞」

cuánto クワント adv. どれほど～かということ 「目的語」

me メ pron 僕を 「目的語」

detestaba テステスタバ 3 単線(detestar)

v.t 嫌っていた 「動詞」

toda esa gente. トダ・エサ・ヘンテ

n.f (全体) その人達みな 「主語」

陪審員と弁護士に、確認しておきたいことはあるかと聞いてから、裁判長は門衛に尋ねた。

Después de haber preguntado al Jurado y al abogado si tenían preguntas que formular, el Presidente oyó al portero. 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「間接目的語」

Después de +不定詞 デスプエス・エス・テ adv. ～した後で 「副詞句」

haber preguntado アベール・プレグンタド 不定詞・完了形(preguntar)

v.t (a+人 人に) 尋ねた 「動詞句」

al Jurado y al abogado アル・フラト・イ・アル・アボガト

adv. 陪審員と弁護士に 「間接目的語」

si シ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」

tenían テニアン 3 複線(tener)v.t ～がある 「動詞」

preguntas プレグンタス pl(pregunta).n.f 質問 「目的語」

que formular, ケ・フォルムラール

adj. (目的) 明らかにすべき 「形容詞句」

el Presidente エル・プレシデンテ n.m 裁判長は 「主語」

oyó オイ 3 単点(oír)v.t 聞いた、尋ねた 「動詞」

al portero. アル・ポルテロ adv. 門衛に 「間接目的語」

彼に対しても、他のすべての人達と同様に、同じ儀式が繰り返された。

Para él, como para todos los demás, se repitió el mismo ceremonial.

「副詞句」, 「動詞句」 「主語」

Para él, パラ・エル adv. 彼に対して 「副詞句」

como コモ adv. ～と同様に 「副詞句」

para todos los demás, パラ・トドス・ロス・デマス

adv. 他のすべての人達に対する 「副詞句」

se repitió セレピチオ 3 単点・再帰受動(repetirse)v.pr 繰り返された 「動詞句」

el mismo ceremonial. エル・ミスモ・セレモニアル n.m 同じ儀式が 「主語」

Segunda parte 第2部

証人席に着くと、門衛は僕を見てから目をそらした。そして、確認された質問に答えた。

Cuando llegó, el portero me miró y apartó la vista. Respondió a las preguntas que se le formularon.

「副詞節」, 「主語」 「目的語」 「動詞」 y 「動詞」 「目的語」 | 「動詞」 「間接目的語」
 Cuando クワント conj. ～して 「副詞節」
 llegó, シェゴ 3 単点(llegar)v.i 着いた 「動詞」
 el portero エル・ポルトロ n.m 門衛は 「主語」
 me メ pron 僕を 「目的語」
 miró ミロ 3 単点(mirar)v.t 見つめた 「動詞」
 y イ conj. そして
 apartó アパルト 3 単点(apartar)v.t (視線を) そらした 「動詞」
 la vista. ラ・ビスタ n.f 視線を 「目的語」
 Respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.i(a に) 答えた 「動詞」
 a las preguntas ア・ラス・プレグンタス adv. 質問に 「間接目的語」
 que ケ pron.pl (主語) ～する 「形容詞節」
 se ...formularon. セ...フォルムラロン 3 複点・再帰受動(formularse)
 v.p 確認された、質問された 「動詞句」
 le レ pron 彼に 「間接目的語」

彼は、僕が母さんとの対面を望まなかったこと、タバコを吸ったこと、眠ったこと、そしてカフェオレを飲んだことなどを証言した。

Dijo que yo no había querido ver a mamá, que había fumado, que había dormido y tomado café con leche.

Dijo ディオ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 yo ジョ pron 僕は 「主語」
 no había querido ver ノ・アビ・ア・ケリト・ベール 1 単線・完了形・願望・否定(querer+不定詞)
 v.t 対面を望まなかった 「動詞句」
 a mamá, ア・ママ adv. 母さんと 「目的語」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 había fumado, アビ・ア・フマト 1 単線・完了形(fumar)v.i タバコを吸った 「動詞句」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 había dormido アビ・ア・ドルミト 1 単線・完了形(dormir)v.i 眠った 「動詞句」
 y イ conj. そして
 tomado トマト 1 単線・完了形・省略形(tomar)v.t 飲んだ 「動詞句」
 café con leche. カフェ・コン・レチェ n.m カフェオレを 「目的語」

Segunda parte 第2部

その時僕は、何かが法廷にいる全員を揺り動かすのを感じた。そして初めて、自分は有罪なのだと理解した。

Sentí entonces que algo agitaba a toda la sala y por primera vez comprendí que era culpable. 「動詞」「副詞」「目的語」 y 「副詞句」「動詞」「目的語」

Sentí センチ 1 単点(sentir)v.t 感じた 「動詞」

entonces エントネス adv. その時 「副詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

algo アルゴ pron 何かが 「主語」

agitaba アジタバ 3 単線・時制の一致(agitar)v.t 揺り動かす 「動詞」

a toda la sala ア・トダ・ラ・サラ pron.pl 法廷にいる全員を 「目的語」

y イ conj. そして

por primera vez ホル・プリメラ・ベス adv. 初めて 「副詞句」

comprendí コンプレンティ 1 単点(comprender)v.t 分かった、理解した 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

era エラ 1 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」

culpable. クルパブレ adj. 有罪の 「補語」

門衛は、再びカフェオレとタバコの話証言させられた。

Hicieron repetir al portero la historia del café con leche y la del cigarrillo.

「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」

Hicieron repetir イシエロン・レパ・チール 3 複点・繰返し・使役(hacer+不定詞)

v.t 繰り返させた 「動詞句」

al portero アル・ポルテロ adv. 門衛に 「間接目的語」

門衛を主語にして翻訳する

la historia ラ・イストリア n.f 話を 「直接目的語」

del café con leche テル・カフェ・コン・レチェ adj. カフェオレの 「形容詞句」

y イ conj. そして

la ラ pron (historia の代用) 話を 「直接目的語」

del cigarrillo. テル・シガリジョ adj. タバコの 「形容詞句」

Segunda parte 第2部

検事は目に皮肉に満ちた光を浮かべて僕を見つめた。

El Abogado General me miró con brillo irónico en los ojos.

「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」

El Abogado General エル・アボガド・ヘネラル n.m 検事は

「主語」

me メ pron 僕を

「目的語」

miró ミロ 3 単点(mirar)v.t 見つめた

「動詞」

con brillo irónico コン・ブリリョ・イロニコ adv. (様態) 皮肉を込めた光で

「副詞句」

en los ojos. エン・ロス・オホス adv. 目に

「副詞句」

その時、弁護士が門衛に、僕と一緒にタバコを吸わなかったのかと尋ねた。

En ese momento el abogado preguntó al portero si no había fumado conmigo.

「副詞句」「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

En ese momento エン・エセ・モメント adv. その時

「副詞句」

el abogado エル・アボガド n.m 弁護士が

「主語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞」

al portero アル・ポルテロ adv. 門衛に

「間接目的語」

si シ conj. ～かどうかということ

「直接目的語」

no había fumado ノ・アビア・フマド 3 単線・完了形・否定(fumar)

v.i 吸わなかった

「動詞句」

conmigo. コンミゴ adv. 僕と

「副詞句」

しかし検察がこの質問に激しく抗議した：「ここでは誰が犯罪者だと言うのか？明確性が不動の証言の価値を下げようとして、検察の証人を汚すとは何たる弁論か！」

Pero el Procurador se opuso violentamente a esta pregunta: "¿Quién es aquí el criminal y cuáles son los métodos que consisten en manchar a los testigos de la acusación para desvirtuar testimonios que no por eso resultan menos aplastantes?"

Pero 「主語」「動詞句」「副詞」「間接目的語」:

《「主語」「動詞」「副詞」「補語」 y 「主語」「動詞」「補語」》

Pero ペロ conj. しかし

el Procurador エル・プロクラトール n.m 検事は

「主語」

se opuso セ・オプソ 3 単点(oponerse)v.pr(a に) 抗議した

「動詞句」

violentamente ビオレンタメンテ adv. 激しく

「副詞」

a esta pregunta: ア・エスタ・プレグンタ adv. この質問に

「間接目的語」

"¿Quién キエン pron 誰が

「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である

「動詞」

aquí アキ adv. ここでは

「副詞」

Segunda parte 第2部

el criminal	エル・クリミナル	n.m	犯罪者	「補語」
y	イ	conj.	そして	
cuáles	クワレス	pron	何が、何という	「主語」
son	ソン	3 複現(ser)v.i	～である	「動詞」
los métodos	ロス・メトドス	pl(método).n.m	方法、手順	「補語」
que	ケ	pron	(主語) ～するとは	「形容詞節」
consisten en manchar	コンシステン・エン・マンチャール	3 複現・構成(consistir)		
	v.i (en から)		汚す行為から構成される	「動詞句」
a los testigos	ア・ロス・テシゴス	pl(testigo).n.m	証人を	「目的語」
de la acusación	デ・ラ・アカシオン	adj.	検察の	「形容詞句」
para desvirtuar	パラ・デスビルトワール		不定詞・目的	
	v.t		価値を失わせるために	「副詞句」
testimonios	テスティモニオス	pl(testimonio).n.m	証言を	「目的語」
que	ケ	pron	(主語) ～する	「形容詞節」
no por eso	ノ・ホル・エソ			
	adv.		だからと言って～ない	「副詞句」
resultan	レスルタン	3 複現(resultar)		
	v.i		～の結果になる	「動詞」
menos aplastantes?"	メノス・アプラスタンテス			
	adj.		より少ない圧倒的な	「補語」
aplastante	アプラスタンテ	adj.	圧倒的な	

結局、裁判長は門衛に質問に答えるようにと命じた。

Pese a todo, el Presidente ordenó al portero que respondiese a la pregunta.

				「副詞句」, 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」
Pese a todo,	ペーセ・ア・トド	adv.	(譲歩) 結局は、すべてにもかかわらず	「副詞句」
el Presidente	エル・プレシデンテ	n.m	裁判長は	「主語」
ordenó	オルデノ	3 単点(ordenar)v.t	命じた	「動詞」
al portero	アル・ポルテロ	adv.	門衛に	「間接目的語」
que	ケ	conj.	～ということを	「直接目的語」
			「命令」に対する従属節は接続法を使う	
respondiese	レスポントゥエ	接・3 単過・時制の一致(responder)		
	v.i(a に)		答える	「動詞」
a la pregunta.	ア・ラ・プレグンタ	adv.	質問に	「間接目的語」
	pese a...		(譲歩) ～にもかかわらず	
pese a+	名詞・不定詞／pese a que+		直説法・接続法	

Segunda parte 第2部

Se conserva muy bien pese a sus años. 彼女は年にも関わらずスタイルを保っている。

Le ayudaré, pese a que no me cae bien. 彼は虫が好かないが、助けてやろう。

年老いた門衛はおどおどした様子で言った：「悪いことをしたのはよく分かっています。ですが、この方が差し出してくれたタバコを敢えて断ることが出来なかったのです」

El viejo dijo con aire cohibido: "Sé perfectamente que hice mal. Pero no me atreví a rehusar el cigarrillo que el señor me ofreció."

「主語」「動詞」「副詞句」：《「動詞」「副詞」「目的語」 | Pero 「動詞句」「目的語」》
 El viejo エル・ビエホ n.m 老人は、年老いた門衛は 「主語」
 dijo ディホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 con aire cohibido: コン・アイレ・コイビト adv. (様態) おどおどした様子で 「副詞句」
 "Sé セ 1 単現(saber)v.t 分かっている 「動詞」
 perfectamente ペルフェクタメンテ adv. よく、完全に 「副詞」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 hice イェ 1 単点(hacer)v.t (行為を) した 「動詞」
 mal. マル n.m 悪いこと 「目的語」
 Pero ペロ conj. しかし
 no me atreví a rehusar ノ・メ・アトレビ・ア・レウサル 1 単点・積極的・否定(atreverse a+不定詞)
 v.pr 敢えて断らなかった 「動詞句」
 el cigarrillo エル・シガリリョ n.m タバコを 「目的語」
 que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 el señor エル・セニョール n.m この方が 「主語」
 me メ pron 私に 「間接目的語」
 ofreció." オフレシオ 3 単点(ofrecer)v.t 差し出してくれた 「動詞」

最後に、付け加えることは無いか、と尋ねられた。

En último lugar, me preguntaron si no tenía nada que agregar.

「副詞句」, 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
 En último lugar, エン・ウルチモ・ルガール adv. 最後に 「副詞句」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 preguntaron プレグンタロン 3 複点(preguntar)v.t 質問した 「動詞」
 受動態に翻訳する
 si シ conj. ～かどうかということを 「直接目的語」
 no tenía ノ・テニア 1 単線・否定・時制の一致(tener)v.t ない 「動詞句」
 nada ナダ pron 何も～ない 「目的語」
 que agregar. ケ・アゲレガル 不定詞・すべき adj. 追加する 「形容詞句」

Segunda parte 第2部

「何ありません」と、僕は答えた。「ただ、証人の言った通りです。僕が彼にタバコを差し出したというのは事実です」

"Nada, respondí, solamente que el testigo tiene razón. Es verdad que le ofrecí un cigarrillo." 《「目的語」》, 「動詞」, 《「副詞」「目的語」 | 「動詞」「補語」「主語」》

"Nada, ナダ pron 何も～ない 「目的語」

respondí, レスポンデー 1 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」

solamente ソラメンテ adv. ただ 「副詞」

que ケ conj. ～ということ 「目的語」

el testigo エル・テストィゴ n.m 証人は 「主語」

tiene ティエネ 3 単現(tener)v.t ～がある 「動詞」

razón. ラソン n.f 道理 「目的語」

tener razón 「正しい、もつともである」

Es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

verdad ベルダ n.f 真実 「補語」

que ケ conj. ～ということは 「主語」

le レ pron 彼に 「間接目的語」

ofrecí オフレシ 1 単点(ofrecer)v.t 差し出した、やった 「動詞」

un cigarrillo." ウン・シガリジョ n.m タバコを 「直接目的語」

すると門衛は、少し驚いた様子で、感謝するような面持ちで僕を見つめた。

El portero me miró entonces con un poco de asombro y una especie de gratitud.

「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」

El portero エル・ポルテロ n.m 門衛は 「主語」

me メ pron 僕を 「目的語」

miró ミロ 3 単点(mirar)v.t 見つめた 「動詞」

entonces エントネス adv. すると、その時 「副詞」

con コン prep (様態) ～の様子で 「副詞句」

un poco de asombro ウン・ポコ・デ・アソンプロ n.m 少しの驚き 「目的語」

y イ conj. そして

una especie de gratitud. ウナ・エスペシエ・デ・グラチトゥ n.f ある種の感謝 「目的語」

Segunda parte 第2部

彼はためらったが、やがて僕にカフェ・オレを勧めたのは自分の方だと言った。

Vaciló; luego dijo que era él quien me había ofrecido el café con leche.

「動詞」; 「副詞」 「動詞」 「目的語」

Vaciló; バシロ 3 単点(vacilar)v.i ためらった 「動詞」

luego ルエゴ adv. それから 「副詞」

dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」

él エル pron (portero の代用) 門衛自身 「補語」

quien キエン pron (主語) ～する者は 「主語」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

había ofrecido アビア・オフレイト 3 単線・完了形(ofrecer)v.t 差し出した 「動詞句」

el café con leche. エル・カフェ・コン・レチェ n.m カフェ・オレを 「直接目的語」

弁護士は大声を上げて勝ち誇り、陪審員は今の証言を考慮に入れてくれるだろうと言った。

El abogado triunfó ruidosamente y declaró que los jurados apreciarían.

「主語」 「動詞」 「副詞」 y 「動詞」 「目的語」

El abogado エル・アボガト n.m 弁護士は 「主語」

triunfó トリウンフォ 3 単点(triunfar)v.i 勝ち誇った 「動詞」

ruidosamente ルイト・サメンテ adv. 大声を上げて 「副詞」

y イ conj. そして

declaró デクラロ 3 単点(declarar)v.t 宣言した 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

los jurados ロス・フラトス pl(jurado).n.m 陪審員たちは 「主語」

apreciarían. アプレシアリオン 3 複過未・推量(apreciar)v.t 評価するだろう 「動詞」

しかし検察は僕たちの頭上に大声を轟かせて、言った：

Pero el Procurador atronó sobre nuestras cabezas y dijo:

Pero 「主語」 「動詞」 「副詞句」 y 「動詞」:

Pero ペロ conj. しかし

el Procurador エル・プロクラトール n.m 検察は 「主語」

atronó アトロノ 3 単点(atronar)v.i 大声をとどろかせた 「動詞」

sobre ソブレ prep (位置) ～の上に 「副詞句」

nuestras cabezas ヌエストラス・カベサス pl(cabeza).n.f 僕たちの頭 「目的語」

y イ conj. そして

dijo: デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Segunda parte 第2部

「その通り！陪審員の皆さんは評価するでしょう」

"Sí. Los señores jurados apreciarán.

《「肯定」 | 「主語」「動詞」》

"Sí. シ adv. その通り

「肯定」

Los señores jurados ロス・セニョレス・フラトス pl(jurado).n.m 陪審員の皆さんは

「主語」

apreciarán. アプレシアラン 3 複末(apreciar)v.t 評価するでしょう、考慮する

「動詞」

「そして、他人ならばコーヒーを勧めても構わないかも知れない、しかし息子は、自分を生んでくれた親の遺体の前ではそれを拒むべきであった、という結論に至るでしょう」

Y llegarán a la conclusión de que un extraño podía proponer tomar café, pero que un hijo debía rechazarlo delante del cuerpo de la que le había dado la vida."

《Y「動詞」「間接目的語」》

Y イ conj. そして

llegarán ジェガラン 3 複末(llegar)v.i 到達するだろう

「動詞」

a la conclusión ア・ラ・コンクルシオン adv. 結論に

「間接目的語」

de デ adj. 〜の

「形容詞句」

que ケ conj. 〜ということ

「目的語」

un extraño ウン・エクストラニョ n.m よそ者は

「主語」

podía proponer ホ・デア・プロポネル 3 単線・可能・提案(poder+不定詞)

v.t(+不定詞 〜するように) 提案できた

「動詞句」

tomar トマル 不定詞 v.t (飲み物を) 飲む

「動詞句」

café, カフェ n.m コーヒーを

「目的語」

pero ペロ conj. しかし

que ケ conj. 〜ということを

「目的語」

un hijo ウン・イホ n.m 息子は

「主語」

debía rechazarlo デビア・レチャサル・ロ 3 単線・義務(deber+不定詞)

v.t それを拒否するべきだった

「動詞句」

delante del cuerpo デランテ・デル・クエルポ

adv. 遺体の前では

「副詞句」

de la デ・ラ adj. 遺体の

「形容詞句」

que ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」

le レ pron 彼に 「間接目的語」

había dado アビア・ダド 3 単線・完了形(dar)

v.t 与えた

「動詞句」

la vida." ラ・ビダ

n.f 生命を

「直接目的語」

Segunda parte 第2部

門衛は自分の席へ戻った。

El portero volvió a su asiento.

「主語」「動詞」「副詞句」

El portero エル・ポルテロ n.m 門衛は

「主語」

volvió ボルビョ 3 単点(volver)v.i (a に) 戻った

「動詞」

a su asiento. ア・ス・アシエント adv. 自分の席へ

「副詞句」

トマ・ペレーズの順番が来た時、廷吏が証人席まで彼を支えなければならなかった。

Quando llegó el turno a Tomás Pérez, un ujier tuvo que sostenerlo hasta la barra.

「副詞節」, 「主語」「動詞句」「副詞句」

Quando クワント conj. ～する時

「副詞節」

llegó ジェゴ 3 単点(llegar)v.i (時が) 来た

「動詞」

el turno エル・トゥルノ n.m 順番が、番が

「主語」

a Tomás Pérez, ア・トマス・ペレス adv. (対象) トマ・ペレーズに

「間接目的語」

un ujier ウン・ウリエル n.m 廷吏が

「主語」

tuvo que sostenerlo トゥボ・ケ・ソステネル・ロ 3 単点・必要(tener que+不定詞 sostener+lo)

v.t 彼を支えなければならなかった

「動詞句」

hasta la barra. アスタ・ラ・バッラ adv. 証人席まで

「副詞句」

barra バッラ n.f (法廷の) 証人席、仕切り柵

ペレーズは、母さんとは特別親しかったが、僕とは、葬儀の日に1度しか会ったことがないと言った。

Pérez dijo que había conocido principalmente a mi madre y que no me había visto más que una vez, el día del entierro.

「主語」「動詞」「目的語」 y 「目的語」

Pérez ペレス n.m ペレーズは

「主語」

dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

había conocido アビア・コノシト 3 単線・完了形(conocer)v.t 知り合いだった

「動詞句」

principalmente プリンシパルメンテ adv. 非常に、主に、主として

「副詞」

a mi madre ア・ミ・マトレ n.f 母さんと

「目的語」

y イ conj. そして

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

no ...había visto ノ...アビア・ビスト 3 単線・完了形・否定(ver)

v.t 会ったことがない

「動詞句」

me メ pron 僕に

「目的語」

más que una vez, マス・ケ・ウナ・ベス adv. 1 度しか

「副詞句」

Segunda parte 第2部

el día del entierro. エル・デア・テル・エンティエロ adv. 葬儀の日に 「副詞句」

彼は、僕がその日に何をしていたかと尋ねられ、答えた：

Le preguntaron qué había hecho yo ese día, y respondió:

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」,y「動詞」

Le レ pron 彼に

「間接目的語」

preguntaron プレグンタロン 3 複点(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞」

受動態に翻訳する

qué ケ pron ～をするかということ

「直接目的語」

había hecho アビア・エチョ 1 単線・完了形(hacer)v.t した、していた

「動詞句」

yo ジョ pron 僕が

「主語」

ese día, エセ・デア adv. その日

「副詞句」

y イ conj. そして

respondió: レスポンデイオ 3 単点(responder)v.t 答えた

「動詞」

「あの...；私はとても辛くて、それで、何も見ていません」

"Ustedes comprenderán; me sentía demasiado apenado, de manera que nada vi.

《「言いよどみ」；「動詞句」「補語」, de manera que 「目的語」「動詞」》

"Ustedes ウステス pron.pl あなたたちは

「主語」

comprenderán; コンプレンデラン 3 複未(comprender)v.t 分かるだろう

「動詞」

→ お分かりでしょう、えーと、あの...「呼びかけ」や「言いよどみ」

me sentía メ・センチア 1 単線(sentirse)v.pr (自分が～だと)感じていた

「動詞句」

demasiado apenado, デマシアト・アパナト adj. 非常に辛い

「補語」

de manera que デ・マネラ・ケ conj. (結果) だから～

nada ナダ pron 何も～ない

「目的語」

vi. ビ 1 単点(ver)v.t (否定文で) 見なかった

「動詞」

「悲しみのせいで私は見ることが出来ませんでした。本当にひどい悲しみだったのです。」

La pena me impedía ver. Porque era para mí una pena muy grande.

《「主語」「目的語」「動詞」「補語」 | Porque 「動詞」「間接目的語」「補語」》

La pena ラ・ペナ n.f 悲嘆は

「主語」

me メ pron 私が

「目的語」

impedía インペデア 3 単線(impedir)v.t 妨げていた

「動詞」

ver. ベール 不定詞・me の動作 v.t 見る

「補語」

Porque ポルケ adv (理由) なぜなら、～なので

era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった

「動詞」

Segunda parte 第2部

para mí パラ・ミ adv. 私にとっては 「間接目的語」
 una pena ウナ・ペナ n.f 悲嘆 「補語」
 muy grande. ムイ・グランデ adj. 大変な 「形容詞句」

「それに気絶までしたので、この方を見ることが出来ませんでした」

Y hasta me desmayé. De manera que no pude ver al señor."

《Y 「動詞句」 | De manera que 「動詞句」「目的語」》

Y イ conj. そして

hasta アスタ prep (副詞的・強調) ～さえ 「副詞」
 me desmayé. メ・デスマエ 1 単点(desmayarse)v.pr 気を失った 「動詞句」
 De manera que デ・マネラ・ケ conj. (結果) だから～する
 no pude ver ノ・プデ・ベール 1 単点・可能・否定(poder+不定詞)
 v.t みることが出来なかった 「動詞句」
 al señor." アル・セニョール n.m この方 「目的語」

検事は、少なくとも僕が泣いているのを見たのではないかと彼に尋ねた。

El Abogado General le preguntó si por lo menos me había visto llorar.

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

El Abogado General エル・アボガド・ヘネラル n.m 検事は 「主語」
 le レ pron 彼に 「間接目的語」
 preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」
 si シ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」
 por lo menos ホル・ロ・メノス adv. 少なくとも、せめて 「副詞句」
 me メ pron 私が 「目的語」
 había visto アビア・ビスト 3 単線・完了形・知覚動詞(ver)v.t 見た 「動詞句」
 llorar. ショラル 不定詞・me の動作 v.i 泣く 「補語」

ペレーズは、見ていないと答えた。

Pérez respondió que no.

「主語」「動詞」「目的語」

Pérez ペレス n.m ペレーズは 「主語」
 respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」
 que no. ケ・ノ n. 見ていないと 「目的語」

Segunda parte 第2部

すると、検事も同じセリフで言った：「陪審員の皆さんは評価するでしょう」

El Procurador dijo entonces a su vez: "Los señores jurados apreciarán."

「主語」「動詞」「副詞句」：《「主語」「動詞」》

El Procurador エル・プロクラトール n.m 検事は

「主語」

dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

entonces エントネス adv. すると

「副詞」

a su vez: ア・ス・ベス adv. 検事は検事で、検事も同じせりふで

「副詞句」

a su vez 「～は～で、～も同様に」

"Los señores jurados ロス・セニョレス・フラトス pl.n.m 陪審員の皆さんは

「主語」

apreciarán." アプレシアラン 3 複末(apreciar)v.t 評価するだろう、考慮する

「動詞」

しかし、弁護士が怒った。

Pero el abogado se había enfadado.

Pero 「主語」「動詞句」

Pero ペロ conj. しかし

el abogado エル・アボガト n.m 弁護士が

「主語」

se había enfadado. セ・アビ・ア・エンファダト 3 単線・完了形(enfadarse)v.pr 怒った

「動詞句」

再帰動詞の過去分詞

再帰代名詞は、複合時制では残っているが、状態を表す形容詞として使われる時は消える。

Ya está **levantado**. 彼はもう起きている。Yo **me he levantado**. 私は起きた。

僕には大袈裟と思われる口調でペレーズに尋ねた。「僕が泣いていない所を見たのか？」

Preguntó a Pérez en un tono que me pareció exagerado, "si había visto que yo no hubiera llorado."

「動詞」「間接目的語」「副詞句」「直接目的語」

Preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞」

a Pérez ア・ペレス adv. ペレーズに

「間接目的語」

en un tono エン・ウン・トノ adv. (様態) 口調で

「副詞句」

que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

me メ pron 僕には

「間接目的語」

pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i ～に見えた、思われた

「動詞」

exagerado, エクサハラト adj. 大袈裟な

「補語」

"si シ conj. ～かどうかということを

「直接目的語」

había visto アビ・ア・ビスト 3 単線・完了形(ver)v.t 見た

「動詞句」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

yo ジョ pron 僕が

「主語」

no hubiera llorado." ノウビエラ・ジヨラト 接・1 単過・完了形・否定(llorar)

v.i 泣かなかった

「動詞句」

Segunda parte 第2部

ペレーズは答えた：「いえ、見ていません」傍聴者は笑った。

Pérez dijo: "No." El público rió. 「主語」「動詞」：《「応答」》「主語」「動詞」
 Pérez ペレス n.m ペレーズは 「主語」
 dijo: ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 "No." ノ adv. いいえ、見ていません 「応答」
 El público エル・プブリーコ n.m 傍聴者は 「主語」
 rió. リオ 3 単点(reír)v.i 笑った 「動詞」

そして弁護士は、袖の一方をたくし上げながら、断固とした口調で言った。「これがこの裁判のすがたです！すべてが真実であり、何一つとして真実ではない！」

Y el abogado recogiendo una de las mangas, dijo con tono perentorio: "¡He aquí la imagen de este proceso! ¡Todo es cierto y nada es cierto!"

Y 「主語」「副詞句」「動詞」「副詞句」：

《「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」 y 「主語」「動詞」「補語」》

Y イ conj. そして

el abogado エル・アボガド n.m 弁護士は 「主語」
 recogiendo レコヒエント 現在分詞・同時(recoger)v.t (服のすそを) たくし上げながら 「副詞句」
 una de las mangas, ウナ・デ・ラス・マンガス n(manga).f 袖の一方を 「目的語」
 dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 con tono perentorio: コン・トノ・ペレントリオ adv. 断固とした口調で 「副詞句」
 "¡He aquí エ・アキ 1 単現(haber)v.t ここに～がある 「動詞句」
 la imagen ラ・イマヘン n.f 姿が 「目的語」
 de este proceso! デ・エステ・プロセソ adj. この裁判の 「形容詞句」
 ¡Todo トト pron すべてが 「主語」
 es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」
 cierto シエルト adj. 確実な、正確な、真実の 「補語」
 y イ conj. そして
 nada ナダ pron 何も～ない 「主語」
 es エス 3 単現(ser)v.i (否定文で) ～でない 「動詞」
 cierto!" シエルト adj. 確実な、正確な、真実の 「補語」

Segunda parte 第2部

検事は険しい顔をして、関係書類の見出しを鉛筆の先でつついていた。

El Procurador tenía el rostro impenetrable y clavaba la punta del lápiz en los rótulos de los expedientes. 「主語」「動詞」「目的語」 y 「動詞」「目的語」「副詞句」

El Procurador エル・プロクラトール n.m 検事は 「主語」

tenía テニア 3 単線(tener)v.t (特徴を) していた 「動詞」

el rostro エル・ロストロ n.m 顔を 「目的語」

impenetrable インペ・ネラブレ adj. 人を寄せ付けない、厳しい 「形容詞」

y イ conj. そして

clavaba クラババ 3 単線(clavar)v.t(en に) 打ち込んでいた 「動詞」

la punta ラ・プンタ n.f 先端を 「目的語」

del lápiz テル・ラピス adj. 鉛筆の 「形容詞句」

en los rótulos エン・ロス・ロトゥロス adv. (記事の) 見出しに 「副詞句」

de los expedientes. テ・ロス・エクスぺ・ティエンテス adj. 関係文書の 「形容詞句」

5 分間の中断の間に、弁護士は僕にすべて順調に進んでいると言った。再開すると、弁護側がセレステを呼び出す声が聞こえた。

Después de cinco minutos de suspensión durante los cuales el abogado me dijo que todo iba bien, se oyó que la defensa citaba a Celeste.

「副詞句」, 「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」, 「動詞句」「主語」

Después de デ・スプ・エス・デ prep (時間) ~の後で 「副詞句」

cinco minutos シンコ・ミスト pl(minuto).n.m 5 分 「目的語」

de suspensión テ・スペンシオン adj. 中断の 「形容詞句」

durante los cuales トゥランテ・ロス・クアレス adv. その間に (休憩時間) 「副詞句」

el abogado エル・アボガト n.m 弁護士は 「主語」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

que ケ conj. ~ということ を 「直接目的語」

todo トト pron すべてが 「主語」

iba イバ 3 単線・時制の一致(ir)v.i (物事が) 進行している 「動詞」

bien, ビエン adv. 順調に、うまい具合に 「副詞」

se oyó セ・ヨ 3 単点(oírse)v.pr ~が聞こえた 「動詞句」

que ケ conj. ~ということが 「主語」

la defensa ラ・デフェンサ n.f 弁護側が 「主語」

citaba シタバ 3 単線・時制の一致(citar)v.t 召喚する 「動詞」

a Celeste. ア・セステ n.m セレステを 「目的語」

Segunda parte 第2部

弁護側というのは僕のことだ。セレステは時々僕の方へ視線を投げかけ、両手でパナマ帽をぐるぐる回していた。

La defensa era yo. Celeste echaba miradas hacia mi lado de cuando en cuando y daba vueltas a un panamá entre las manos.

「主語」「動詞」「補語」

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 y 「動詞」「直接目的語」「間接目的語」「副詞句」

La defensa ラ・デフェンサ n.f 弁護側は 「主語」
 era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i 〜である 「動詞」
 yo. ジョ pron 僕 「補語」
 Celeste セステ n.m セレステは 「主語」
 echaba エチャバ 3 単線(echar)v.t 投げかけた 「動詞」
 miradas ミラダス pl(mirada).n.f 視線を 「目的語」
 hacia mi lado アシア・ミ・ラト adv. 僕の方へ 「副詞句」
 de cuando en cuando デ・クワント・エン・クワント adv. 時々 「副詞句」
 y イ conj. そして
 daba ダバ 3 単線(dar)v.t 与えていた 「動詞」
 vueltas ブエルタス pl(vuelta).n.f 回転を 「直接目的語」
 a un panamá ア・ウン・パナマ adv. パナマ帽に 「間接目的語」
 entre las manos. エントレ・ラス・マノス adv. 手の中で 「副詞句」

彼は、たまの日曜日に僕と一緒に競馬に行く時に着るスーツを新調して着ていた。

Llevaba el traje nuevo que se ponía para ir conmigo algunos domingos a las carreras de caballos.

「動詞」「目的語」

Llevaba ジェバハバ 3 単線(llevar)v.t (衣服を) 着ていた 「動詞」
 el traje nuevo エル・トラヘ・ヌエボ n.m 新調のスーツを 「目的語」
 que ケ pron (目的語) 〜する 「形容詞節」
 se ponía セ・ポニア 3 単線・時制の一致(ponerse)
 v.pr いつも着ている 「動詞句」
 para +不定詞 不定詞・目的 adv. 〜するために 「副詞句」
 ir イル 不定詞 v.i 行く 「動詞」
 conmigo コンミゴ adv. 僕と一緒に 「副詞句」
 algunos domingos アルグノス・ト・ミゴス
 adv. いつか日曜日に 「副詞句」
 a las carreras ア・ラス・カラス adv. レースに 「副詞句」
 de caballos. デ・カハジョス adj. 馬の 「形容詞句」

Segunda parte 第2部

しかし、彼はカラーを付けられなかったと思う。なぜなら、シャツの襟もとを閉めるために、ボタンを1つしか留めていなかったから。

Pero creo que no había podido ponerse el cuello porque llevaba solamente un botón de cobre para mantener cerrada la camisa. Pero 「動詞」「目的語」「副詞節」

Pero へ^ロ conj. しかし

creo クレオ 1 単現(vreer)v.t(que ~だと) 思う 「動詞」

que ケ conj. ~ということを 「目的語」

no había podido ponerse ノ・アビ^ア・ポ^デイト^ス・ポ^ネセ 3 単線・完了形・可能・否定(poder+不定詞)

v.pr 身に付けられなかった 「動詞句」

el cuello エル・クエシ^ョ n.m (服の) カラーを 「目的語」

porque ポ^ル conj. (理由) ~なので、なぜなら~ 「副詞節」

llevaba ジェバ^バ 3 単線(llevar)v.t 身に着けていた 「動詞」

solamente un botón ソラメンテ・ウン・ボタン n.m ボタン1つだけを 「目的語」

de cobre デ・コブレ adj. (材料) 銅製の 「形容詞句」

para mantener パ^ラ・マンテネル 不定詞・目的 adv. ~のままにするために 「副詞句」

cerrada セラダ^ダ adj(cerrado).f 閉まった 「補語」

la camisa. ラ・カサ n.f シャツを 「目的語」

僕が彼の客だったのか尋ねられ、彼は「そうです、でも友達でもあります」と答えた。

Le preguntaron si yo era cliente suyo, y dijo: "Sí, pero también era un amigo";

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」,y 《「応答」,pero 「動詞句」「補語」》

Le レ pron 彼に 「間接目的語」

preguntaron プレグンタ^{ロン} 3 複点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

si シ conj. ~かどうかということを 「直接目的語」

yo ジョ pron 僕は 「主語」

era エ^ラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」

cliente suyo, クリエンテ・スー^ヨ n.m 彼の客 「補語」

y イ conj. そして

dijo: デ^ィョ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

"Sí, シ adv. そうです 「応答」

pero へ^ロ conj. しかし

también era タンビエン・エ^ラ 3 単線・同様・時制の一致(ser)v.i ~でもある 「動詞句」

un amigo; ウン・アミ^ゴ n.m 友人 「補語」

Segunda parte 第2部

僕の事をどう思うか、という質問には、僕は男だと彼は答えた。

lo que pensaba de mí, y respondió que yo era un hombre;

「直接目的語」,y 「動詞」「目的語」

lo que ロケ pron (目的語) ～すること (を尋ねられて)

「直接目的語」

pensaba ペンサバ 3 単線・時制の一致(pensar)v.i(de について) 思う 「動詞」

de mí, デ・ミ adv. 僕の事を、僕について

「間接目的語」

y イ conj. そして

respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

yo ジョ pron 僕は

「主語」

era エラ 1 単線・時制の一致(ser)v.i ～である

「動詞」

un hombre; ウン・オンブレ n.m 男

「補語」

それでは、何も分かりませんと言われ、彼は、その意味なら誰でも知っていると言った。

qué entendía por eso, y declaró que todo el mundo sabía lo que eso quería decir;

「目的語」「動詞」「副詞句」,y 「動詞」「目的語」

qué ケ pron 何が

「目的語」

entendía テンテンディア 1 単線(entender)v.t 分かる

「動詞」

por eso, ホル・エソ adv. (手段) それで

「副詞句」

→ (反語) それでは、何も分かりません

y イ conj. そして

declaró デクラロ 3 単点(declarar)v.t 明言した

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

todo el mundo トド・エル・ムント pron 誰でも

「主語」

sabía サビア 3 単線(saber)v.t 知っている

「動詞」

lo ロ pron それを

「目的語」

que ケ conj. ～する

「形容詞節」

eso エソ pron それが

「主語」

quería decir; クリア・デシール 3 単線・願望(querer+不定詞)

v.t 意味する

「動詞句」

Segunda parte 第2部

僕は口数が少なかったかと質問されて、僕は無駄口は利かなかったと言うに留めた。

si había notado que era reservado y se limitó a reconocer que yo no hablaba para decir nada. 「目的語」 y 「動詞句」 「目的語」

si シ conj. ～かどうかという事を 「目的語」

había notado アビア・ノタド 3 単線・完了形(notar)v.t 気付いていた 「動詞句」

que ケ conj. ～ということ 「目的語」

era エラ 1 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」

reservado レセルバド adj. 無口の 「補語」

y イ conj. そして

se limitó a reconocer セ・リミト・ア・レコノセル 3 単点・限定(limitarse a+不定詞)

v.t ～と認めるに留めた 「動詞句」

que ケ conj. ～ということ 「目的語」

yo ジョ pron 僕は 「主語」

no hablaba ノ・アブラハ 1 単線・否定(hablar)v.i 話さなかった 「動詞句」

para decir パラ・デシル 不定詞・目的 adv. ～を言うために 「副詞句」

nada. ナダ pron 何でもない事、くだらないこと 「目的語」

検事はセレステに、僕が遅滞なく食事代や家賃を払っていたかと尋ねた。

El Abogado General le preguntó si yo pagaba regularmente la pensión.

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

El Abogado General エル・アボガト・ヘネラル n.m 検事は 「主語」

le レ pron 彼に 「間接目的語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

si シ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」

yo ジョ pron 僕は 「主語」

pagaba パガバ 1 単線・習慣(pagar)v.t 払っていた 「動詞」

regularmente レグラルメンテ adv. 規則正しく 「副詞」

la pensión. ラ・ペンシオン n.f 食事代や家賃を 「目的語」

pensión ペンシオン n.f 年金、下宿屋、宿泊料

次の文とのつながりが曖昧なので、金遣い全般に関する質問として翻訳した。

Segunda parte 第2部

セレストは笑って言った：「我々の間では、それは些細な事です」

Celeste se rió y declaró: "Esos eran detalles entre nosotros."

「主語」「動詞句」 y 「動詞」：《「主語」「動詞」「補語」》

Celeste セレステ n.m セレストは

「主語」

se rió セ・リオ 3 単点(reírse)v.pr 笑った

「動詞句」

y イ conj. そして

declaró: デ・クラロ 3 単点(declarar)v.t 明言した、はっきりと言った

「動詞」

"Esos エソス pron.pl それは

「主語」

eran エラン 3 複線・時制の一致(ser)v.i ~である

「動詞」

detalles デ・タジエス pl(detalle).n.m 些細な事

「補語」

entre nosotros." エントレ・ノトロス adv. われわれの間では

「副詞句」

僕の犯罪についてどう思うか、と彼は再び尋ねられた。

Le preguntaron otra vez qué pensaba de mi crimen.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Le レ pron 彼に

「間接目的語」

preguntaron プレグンタロン 3 複点(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞」

otra vez オトラ・ベス adv. もう一度

「副詞句」

qué ケ pron (目的語) 何を~するかを

「直接目的語」

pensaba ペンサバ 3 単線・時制の一致(pensar)v.i 思っている

「動詞」

de mi crimen. デ・ミ・クリメン adv. 僕の犯罪について

「間接目的語」

それで、彼は証言台の柵の上に両手を載せた。彼は何か返答を準備しているように見えた。

Apoyó entonces las manos en la barra y se veía que había preparado alguna respuesta.

「動詞」「副詞」「目的語」「副詞句」 y 「動詞句」「主語」

Apoyó アポヨ 3 単点(apoyar)v.t もたせかけた

「動詞」

entonces エントネス adv. それで、そこで

「副詞」

las manos ラス・マノス pl(mano).n.f 両手を

「目的語」

en la barra エン・ラ・バツラ adv. (証言台の) 柵の上に

「副詞句」

y イ conj. そして

se veía セ・ベ・イア 3 単線・再帰受動(verse)v.pr ~のように見えた

「動詞句」

que ケ conj. ~ということが

「主語」

había preparado アビア・プレパラト 3 単線・完了形(preparar)

v.t 準備していた

「動詞句」

alguna respuesta. アルガナ・レスプエスタ n.f 何らかの回答を

「目的語」

Segunda parte 第2部

彼は言った：「私の考えでは、あれは災難です。何が災難かは、誰でも分かる。誰にも防ぎようがないものだ。だから、あれは災難なんだ」

Dijo: "Para mí, es una desgracia. Todo el mundo sabe lo que es una desgracia. Lo deja a uno sin defensa. Y bien: para mí es una desgracia."

「動詞」：《「副詞句」, 「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「目的語」 |

「目的語」「動詞」「目的語」「補語」 | 「副詞句」：「副詞句」, 「動詞」「補語」》

Dijo: ティイ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 "Para mí, パラ・ミ adv. 私にとって、私の考えでは 「副詞句」
 es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」
 una desgracia. ウナ・デスグラシア n.f 災難 「補語」
 Todo el mundo トト・エル・ムント pron 誰でも 「主語」
 sabe サベ 3 単現(saber)v.t 分かる 「動詞」
 lo que es una desgracia. ロ・ケ・エス・ウナ・デスグラシア pron 何が災かということ 「目的語」
 Lo ロ pron 人を 「目的語」
 deja テハ 3 単現・放任(dejar)v.t (状態に) させる 「動詞」
 a uno ア・ウノ pron 人を 「目的語」
 sin defensa. シン・デフェンサ adj. 防ぎようのない (状態) 「補語」
 Y bien: イ・ビエン adv. (結論) だから、そして 「副詞句」
 para mí パラ・ミ adv. 私にとって、私の考えでは 「副詞句」
 es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」
 una desgracia." ウナ・デスグラシア n.f 災い 「補語」

彼はまだ話を続けようとしていた。しかし裁判長は、分りました、あなたに感謝しますと彼に言った。それで、セレストは少し途方に暮れたように見えた。

Iba a continuar, pero el Presidente le dijo que estaba bien y que se le agradecía. Entonces Celeste quedó un poco perplejo.

「動詞句」, pero 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 y 「直接目的語」

「副詞」「主語」「動詞」「補語」

Iba a continuar, イバ・ア・コンチヌアル 3 単線・近接未来(ir a+不定詞) 「動詞句」
 v.t 話を続けようとしていた
 pero ペロ conj. しかし
 el Presidente エル・プレシデンテ n.m 裁判長は 「主語」
 le レ pron 彼に 「間接目的語」
 dijo ティイ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 que ケ conj. ~ということ 「直接目的語」
 estaba エスタバ 3 単線・時制の一致(estar)v.i ~である 「動詞」

Segunda parte 第2部

bien ビエン adv. 良い	「補語」
y イ conj. そして	
que ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
se le agradecía. セ・レ・アグラデシア 3 単線・時制の一致(agradecerse+le)	
v.pr 彼に感謝する	「動詞句」
Entonces エントンス adv. それで	「副詞」
Celeste セステ n.m セステは	「主語」
quedó クェ 3 単点(quedar)v.i (～の状態に) なった	「動詞」
un poco perplejo. ウン・ポ・コ・ペルプレホ adj. 少し途方に暮れた	「補語」

だが彼はまだ話がしたいと主張した。そこで裁判長は、手短にするように注文を付けた。

Pero declaró que quería decir algo más. Se le pidió que fuese breve.

Pero 「動詞」「目的語」 | 「動詞句」「目的語」

Pero ペロ conj. しかし	
declaró デクラロ 3 単点(declarar)v.t 明言した、主張した	「動詞」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
quería decir クリア・デシル 3 単線・願望・時制の一致(querer+不定詞)	
v.t 話したい	「動詞句」
algo más. アルゴ・マス pron もう少し何かを	「目的語」
Se le pidió セ・レ・ピディオ 3 単点・注文(pedirse+le)v.pr 彼に注文を付けた	「動詞句」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
fuese フェ 接・3 単過・命令(ser)v.i ～するように	「動詞」
breve. ブレベ adj. 短時間の、手短な	「補語」

彼はまたしても、あれは災難だったと繰り返した。

Repitió aún que era una desgracia.

「動詞」「副詞」「目的語」

Repitió レピティオ 3 単点(repetir)v.t 繰り返した	「動詞」
aún アウン adv. さらに、またも	「副詞」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった	「動詞」
una desgracia." ウナ・デスグラシア n.f 災難	「補語」

Segunda parte 第2部

そして裁判長が言った：「はい、わかりました。しかし、私たちはこの種の災難を裁くためにここにいます。どうも有難うございました」

Y el Presidente dijo: "Sí, de acuerdo. Pero estamos aquí para juzgar desgracias de este género. Muchas gracias."

Y 「主語」「動詞」：《「応答」 | Pero 「動詞」「副詞句」 | 「挨拶」》

Y イ conj. そして

el Presidente エル・プレシデnte n.m 裁判長が 「主語」

dijo: ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

"Sí, シ adv. (了解) はい 「応答」

de acuerdo. デ・アクエルト adv. 分かりました 「応答」

Pero ペロ conj. しかし

estamos エスタモス 1 複現・存在(estar)v.i ~にいる 「動詞」

aquí アキ adv. ここに 「副詞」

para juzgar パラ・フスガル 不定詞・目的 v.t 裁くために 「副詞句」

desgracias デスグラシアス pl(desgracia).n.f 災難を 「目的語」

de este género. デ・エステ・ヘネロ adj. この種の 「形容詞句」

Muchas gracias." ムチャス・グラシアス adv. どうもありがとうございました 「挨拶」

それで、彼はまるで知力も意欲も使い果たしたという風情で、僕の方を振り返った。

Como si hubiese llegado al colmo de su sabiduría y de su buena voluntad, Celeste se volvió entonces hacia mí.

「副詞節」, 「主語」「動詞句」「副詞句」

Como si コモ・シ conj. まるで~のように 「副詞節」

hubiese llegado ウビエ・シエカト 接・3 単過・完了形・推量(llegar)

v.i(a に) 達した 「動詞句」

al colmo アル・コロモ adv. 極みまで 「副詞句」

de su sabiduría デ・サビドゥリア adj. 知識の、思慮の 「形容詞句」

y イ conj. そして

de su buena voluntad, デ・スブエナ・ボルタ adj. 意欲の 「形容詞句」

Celeste セステ n.m セレストは 「主語」

se volvió セ・ボルビエ 3 単点(volverse)v.pr 振り返った 「動詞句」

entonces エントネス adv. それで 「副詞」

hacia mí. アシア・ミ adv. 僕の方を 「副詞句」

Segunda parte 第2部

僕には、彼の目が潤み、彼の唇が震えているように見えた。

Me pareció que le brillaban los ojos y le temblaban los labios.

	「間接目的語」「動詞」「主語」
Me メ pron 僕には	「間接目的語」
pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i ーのように見えた	「動詞」
que ケ conj. ーということが	「主語」
le レ pron 彼の	「間接目的語」
brillaban ブリジャバン 3 複線(brillar)v.i 輝いていた	「動詞」
los ojos ロス・オホス pl(ojo).n.m 目が	「主語」
y イ conj. そして	
le レ pron 彼の	「間接目的語」
temblaban テンブラバン 3 複線(temblar)v.i 震えていた	「動詞」
los labios. ロス・ラビオス pl(labio).n.m 唇が	「主語」

他に何かできることはあるかと、彼が僕に尋ねているように思われた。

Parecía preguntarme qué más podía hacer.

	「動詞句」「目的語」
Parecía パレシア 3 単線(parecer+不定詞)v.i (ーしているように) 思われた	「動詞句」
preguntarme プレグンタール・メ 不定詞・セレストの動作 v.t 僕に尋ねる	「動詞句」
qué ケ pron 何をするかということを	「目的語」
más マス adv. もっと、他に	「副詞」
podía hacer. ポデア・アセル 3 単線・可能・時制の一致(poder+不定詞)	
v.t することが出来る	「動詞句」

僕は、何も言わなかったし、どんな身振りもしなかった。だが、1 人の男を抱きしめたいという感情を持ったのは生まれて初めてである。

Yo no dije nada, no hice gesto alguno, pero es la primera vez en mi vida que sentí deseos de besar a un hombre.

	「主語」「動詞句」「目的語」, 「動詞句」「目的語」, pero 「動詞」「補語」「主語」
Yo ジョ pron 僕は	「主語」
no dije ノ・デア 1 単点・否定(decir)v.t 言わなかった	「動詞句」
nada, ナダ pron 何もーない	「目的語」
no hice ノ・イェ 1 単点・否定(hacer)v.t しなかった	「動詞句」
gesto alguno, ヘスト・アルグノ n.m (否定文で) どんな身振りもーない	「目的語」
pero ペロ conj. しかし	
es エス 3 単現(ser)v.i ーである	「動詞」
la primera vez ラ・プリメラ・ベス n.f 最初、初めて	「補語」

Segunda parte 第2部

en mi vida エン・ミ・ビダ	adv. 人生で、生まれて	「副詞句」
que ケ conj.	～ということは	「主語」
sentí センチ 1 単点(sentir)v.t	感じた	「動詞」
deseos デセオス pl(deseo).n.m	願望を	「目的語」
de besar デ・ベサル 不定詞・同格 v.t	キスしたいという	「形容詞句」
a un hombre. ア・ウン・オンブレ n.m	1 人の男を	「目的語」

フランス語原文では：

僕は何も言わなかったし、いかなる身振りもしなかった。しかし僕は生まれて初めて、1 人の男を抱きしめたいと思った。

Moi, je n'ai rien dit, je n'ai fait aucun geste, mais c'est la première fois de ma vie que j'ai eu envie d'embrasser un homme.

フランス語の **embrasser** は「キスする、抱擁する」の意味だが、スペイン語の **besar** は「キスする」の意味だけである。この文では、**abrazar** 「抱擁する」が適当だと思われる。

裁判長はもう一度セレストに、証言台を離れるように命じた。

El Presidente le ordenó otra vez que abandonara la barra.

El Presidente エル・プレジデnte n.m	裁判長は	「主語」
le レ pron	セレストに	「間接目的語」
ordenó オルデノ 3 単点(ordenar)v.t	命じた	「動詞」
otra vez オトラ・ベス adv.	もう一度	「副詞句」
que ケ conj.	～ということを	「直接目的語」
abandonara アバントナラ 接・3 単過・時制の一致・命令(abandonar)		
v.t (場所を) 離れる		「動詞」
la barra. ラ・バッラ n.f	証言台を	「目的語」

セレストは傍聴席に戻って座った。

Celeste fue a sentarse en el escaño.

Celeste セステ n.m	セレストは	「主語」
fue a sentarse フェ・ア・センタルセ 3 単点・近接未来(ir a+不定詞)v.pr	戻って座った	「動詞句」
en el escaño. エン・エル・エスカニョ adv.	ベンチに、傍聴席に	「副詞句」

Segunda parte 第2部

セレストは他の審問の間ずっとその場に残って、少し前かがみになり、両肘を膝の上に置き、パナマ帽を手に持ち、すべての発言に聞き入っていた。

Durante todo el resto de la audiencia quedó allí, un poco inclinado hacia adelante, con los codos en las rodillas, el panamá sobre las manos, oyendo todo lo que se decía.

「副詞句」, 「動詞」 「副詞句」

Durante トゥランテ prep (継続) ~の間ずっと 「副詞句」

todo el resto トト・エル・レスト n.m その他すべて 「目的語」

de la audiencia デ・ラ・アウデ・イエンシア adj. 審問の 「形容詞句」

quedó クェ 3 単点(quedar)v.i 残っていた、~のままだった 「動詞」

allí, アジ adv. そこに 「副詞」

un poco inclinado ウン・ポコ・インクリナド 過去分詞・様態 adv. 少し身を屈めて 「副詞句」

hacia adelante, アシア・アデランテ adv. 前方に 「副詞句」

con los codos コン・ロス・コトス adv. (様態) 両肘を 「副詞句」

en las rodillas, エン・ラス・ロデ・イジャス adv. 膝の上に置いて 「副詞句」

el panamá エル・パナマ n.m パナマ帽子は 「主語」

sobre las manos, ソブレ・ラス・マノス adv. 両手の上に 「副詞句」

oyendo オイェント 現在分詞・同時(oír)adv. 聞きながら 「副詞句」

todo lo que se decía. トト・ロ・ケデシア pron 言われることを全て 「目的語」

マリーが入って来た。

María entró. 「主語」 「動詞」

María マリア n.f マリーが 「主語」

entró. エントロ 3 単点(entrar)v.i 入って来た 「動詞」

彼女は帽子を被っていて、相変わらず綺麗だった。

Se había puesto sombrero y todavía estaba hermosa.

「動詞句」 「目的語」 y 「副詞」 「動詞」 「補語」

Se había puesto セ・ハビ・ア・プエスト 3 単線・完了形(ponerse)

v.pr (衣服を) 身に着けていた 「動詞句」

sombrero ソンブレロ n.m 帽子を 「目的語」

y イ conj. そして

todavía トダビャ adv. まだ、いつものように、あいかわらず 「副詞」

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ~だった 「動詞」

hermosa. エルモサ adj(hermoso).f きれいな、美しい 「補語」

Segunda parte 第2部

だが僕は、帽子を被っていないマリーのほうが好きだ。僕がいる場所からは、乳房のごくわずかの重さが窺え、いつも少し腫れ気味の下唇も認められた。

Pero me gustaba más con la cabeza descubierta. Desde el lugar en que estaba adivinaba el ligero peso de sus senos y reconocía el labio inferior siempre un poco abultado.

Pero 「間接目的語」「動詞」「副詞句」 | 「副詞句」「動詞」「目的語」 y 「動詞」「目的語」

Pero ^{ペロ} conj. しかし

me ^メ pron 僕にとって

「間接目的語」

gustaba ^{グスタバ} 3 単線・時制の一致(gustar)v.i 気に入る

「動詞」

más ^{マス} adv. もっと、より

「副詞」

con la cabeza ^{コン・ラ・カベサ} adv. (様態) 髪をしている

「副詞句」

descubierta. ^{デスキビエрта} adj. 覆われていない → 帽子を被っていない 「形容詞」

→ マリーの様態ごとに好みを比較している

→ gustaba の「主語」は María で con la cabeza descubierta はそれを修飾する

Desde el lugar ^{デステ・エル・ルガル} adv. その場所から

「副詞句」

en que ^{エン・ケ} adv. そこで～する

「形容詞節」

estaba ^{エスタバ} 1 単線・存在・時制の一致(estar)v.i ～にいる

「動詞」

adivinaba ^{アディヴァイバ} 1 単線(adivinar)v.t ～がほのかに見えた

「動詞」

el ligero peso ^{エル・リホ・ペソ} n.m. ごくわずかの重さが

「目的語」

de sus senos ^{デ・スス・セノス} adj. 乳房の

「形容詞句」

y ^イ conj. そして

reconocía ^{レコノシア} 1 単線(reconocer)v.t. 認められた

「動詞」

el labio ^{エル・ラビオ} n.m. 唇を

「目的語」

inferior ^{インフェリオル} adj. 下の

「形容詞」

siempre ^{シエンプレ} adv. いつも

「副詞」

un poco abultado. ^{ウン・ポコ・アブルタド} adj. 少し腫れた

「形容詞句」

彼女はひどく緊張しているように見えた。いつから僕と知り合になったのかと、すぐに質問された。

Parecía muy nerviosa. Le preguntaron enseguida desde cuándo me conocía.

「動詞」「補語」 | 「間接目的語」「動詞」「副詞」「直接目的語」

Parecía ^{パレシア} 3 単線(parecer)v.i ～のように見えた

「動詞」

muy nerviosa. ^{マイ・ネルビオサ} adj(nervioso).f 非常に神経質な

「補語」

Le ^レ pron 彼女に

「間接目的語」

preguntaron ^{プレグンタロン} 3 複点(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞」

受動態に翻訳する

enseguida ^{エンセギタ} adv. すぐに

「副詞」

Segunda parte 第2部

desde cuándo デスデ・クワント adv. いつから〜かという事を 「直接目的語」
 me メ pron 僕と 「目的語」
 conocía. コノシア 3 単線(conocer)v.t 知り合いあいになった 「動詞」

彼女は、僕たちと一緒に働いていた時期を答えた。

Indicó la época en que trabajaba con nosotros. 「動詞」「目的語」
 Indicó インデコ 3 単点(indicar)v.t 告げた、答えた 「動詞」
 la época エポカ n.f 時期を 「目的語」
 en que エン・ケ adv. その間に〜する 「形容詞節」
 trabajaba トラバハバ 3 単線(trabajar)v.i 働いていた 「動詞」
 con nosotros. コン・ノトロス adv. 僕たちと一緒に 「副詞句」

裁判長は、彼女に僕との関係は何かと尋ねた。彼女は、僕の友達だと答えた

El Presidente quiso saber cuáles eran sus relaciones conmigo. Dijo que era mi amiga.
 「主語」「動詞句」「目的語」 | 「動詞」「目的語」
 El Presidente エル・プレジデンテ n.m 裁判長は 「主語」
 quiso saber キョ・サヘル 3 単点・願望(querer+不定詞)v.t 知ろうとした、尋ねた 「動詞句」
 cuáles クワレス pron.pl 何であるかということ 「目的語」
 eran エラン 3 複線・時制の一致(ser)v.i 〜である 「動詞」
 sus relaciones conmigo. スス・レシオネス・コンミゴ pl(relacion).n.f 僕との関係は 「主語」
 Dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 que ケ conj. 〜ということ 「目的語」
 era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i 〜である 「動詞」
 mi amiga. ミ・アミガ n.f 僕の友達 「補語」

別の質問に対して、僕と結婚するはずだったというのはその通りです、と答えた。

A otra pregunta, contestó que era cierto que debía casarse conmigo.
 「副詞句」, 「動詞」「目的語」
 A otra pregunta, ア・オトラ・プレグンタ adv. (対象) 別の質問に対しては 「副詞句」
 contestó コンテスト 3 単点(contestar)v.t(que 〜であると) 答えた 「動詞」
 que ケ conj. 〜ということ 「目的語」
 era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i 〜である 「動詞」
 cierto シェルト adj. 確実な、その通りの 「補語」
 que ケ conj. 〜ことは 「主語」
 debía casarse デビア・カサルセ 3 単線・必然(deber+不定詞 casarse)
 v.pr 結婚するはずだった 「動詞句」

Segunda parte 第2部

conmigo. コンミゴ adv. 僕と

「副詞句」

検事が、突然、僕たちの関係はいつから始まったのかと彼女に尋ねた。

El Procurador, que hojeaba un expediente, le preguntó con tono brusco cuándo comenzó nuestra unión.

「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」「直接目的語」

El Procurador, エル・プロクラトール n.m 検事が

「主語」

que ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

hojeaba オヘアバ 3 単線(hohear)v.t ~のページをめくっていた

「動詞」

un expediente, ウン・エクスぺデイエnte n.m 関係文書を

「目的語」

le レ pron 彼女に

「間接目的語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞」

con tono brusco コン・トノ・ブルスコ adv. 突然、乱暴な口調で

「副詞句」

cuándo クワンド conj. いつ~するかということ

「直接目的語」

comenzó コメンソ 3 単点(comenzar)v.i 始まった

「動詞」

nuestra unión. ヌエストラ・ウニオン n.f 僕たちの関係は

「主語」

マリーはその日付を答えた。検事は、冷淡な口ぶり（印象操作）で、それは母さんが死んだ翌日に思われると指摘した。

Ella indicó la fecha. El Procurador señaló con aire indiferente que le parecía que era el día siguiente al de la muerte de mamá.

「主語」「動詞」「目的語」 | 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」

Ella エジャ pron マリーは

「主語」

indicó インデコ 3 単点(indicar)v.t 告げた

「動詞」

la fecha. ラ・フェチャ n.f その日付を

「目的語」

El Procurador エル・プロクラトール n.m 検事は

「主語」

señaló セニャロ 3 単点(señalar)v.t 指摘した

「動詞」

con aire indiferente コン・アイレ・インデイエnte adv. 冷ややかな様子で

「副詞句」

indiferente インデイエnte adj. 冷淡な、平然とした

que ケ conj. ~ということ

「目的語」

le レ pron 彼にとって、彼には

「間接目的語」

parecía パレシア 3 単線・時制の一致(parecer)v.i ~に見える

「動詞」

que ケ conj. ~ということ

「直接目的語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ~である

「動詞」

el día エル・デア n.m 日

「補語」

siguiente シギエンテ adj. 次の

「形容詞」

al de la muerte アル・デ・ラムエルテ adv. 死の

「副詞句」

Segunda parte 第2部

de mamá. テ・ママ adj. 母さんの 「形容詞句」

それから彼は、皮肉を込めて言った。自分はデリケートな状況に固執するつもりはないし、マリーの良心の呵責についても心得ている、しかし（ここで彼の口調が一段と激しくなった）自分の義務感が、礼節を越えて高みに至れと自分に命ずるのだ。

Luego dijo con ironía que no querría insistir sobre una situación delicada; que comprendía muy bien los escrúpulos de María, pero (y aquí su acento se volvió más duro) que su deber le ordenaba pasar por encima de las conveniencias.

「副詞」「動詞」「副詞句」「目的語」；

「目的語」,pero (y 「副詞」「主語」「動詞句」「補語」)「目的語」

Luego ルエゴ adv. それから、次に 「副詞」

dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

con ironía コン・イロニア adv. 皮肉を込めて 「副詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

no querría insistir ノ・ケリア・インシスチール 3 単線・願望・否定・時制の一致(querer+不定詞)

v.i ～に固執するつもりはない 「動詞句」

sobre una situación delicada; ソブレ・ウナ・シトゥアシオン・デリカダ

adv. デリケートな状況について 「間接目的語」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

comprendía コンプレンディア 3 単線・時制の一致(comprender)

v.t 理解している 「動詞」

muy bien マイ・ビエン adv. とてもよく 「副詞句」

los escrúpulos ロス・エスクルプ ロス pl(escrúpulo).n.m 良心の呵責 「目的語」

de María, テ・マリア adj. マリーの 「形容詞句」

pero ペロ conj. しかし

(y イ conj. そして

aquí アキ adv. ここで 「副詞」

su acento ス・アセント n.m 彼の口調が 「主語」

se volvió セ・ボルビョ 3 単点・変化(volverse)v.pr ～に変わった 「動詞句」

más duro マス・トルロ adj. さらに激しい 「補語」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

su deber ス・デベール n.m 彼の義務感が 「主語」

le レ pron 彼に 「目的語」

ordenaba オルデナハ 3 単線・時制の一致(ordenar)v.t 命ずる 「動詞」

pasar パサル 不定詞・le の動作・移動 v.i ～に至る、～に移動する 「補語」

por encima de ポル・エンシマ・デ prep ～の上に、～を越えて 「副詞句」

Segunda parte 第2部

las conveniencias. ラス・コンベンシエンシアス

pl(conveniencia).n.f 礼儀、礼節

「目的語」

それで彼は、僕が彼女と関係を持った日の大まかな説明をマリーに求めた。

Pidió pues a María que resumiera el día en el que yo la había conocido.

「動詞」「副詞」「間接目的語」「直接目的語」

Pidió ピディョ 3 単点(pedir)v.t 求めた

「動詞」

pues プエス adv. それで

「副詞」

a María ア・マリア adv. マリーに

「間接目的語」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

resumiera レスミエラ 接・3 単過・時制の一致(resumir)v.t 要約する

「動詞」

el día エル・ディア n.m その日のことを

「目的語」

en el que エン・エル・ケ adv. その日に～する

「形容詞節」

yo ジョ pron 僕が

「主語」

la ラ pron 彼女と

「目的語」

había conocido. アビア・コノシト 1 単線・完了形(conocer)

v.t 関係した

「動詞句」

マリーは話すのを嫌がっていたが、検事のしつこさに負けて、海水浴に出かけたこと、映画へ行ったこと、僕の部屋に行ったことなどを述べた。

María no quería hablar, pero ante la insistencia del Procurador recordó el baño, la ida al cine y el regreso a mi casa.

「主語」「動詞句」,perp 「副詞句」「動詞」「目的語」

María マリア n.f マリーは

「主語」

no quería hablar, ノ・ケリア・アブラール 3 単線・願望・否定(querer+不定詞)

v.i 話したがらなかった

「動詞句」

pero ペロ conj. しかし

ante prep (場所) ～の前に

「副詞句」

la insistencia ラ・インシステンシア n.f しつこさ

「目的語」

del Procurador テル・プロクラトール adj. 検事の

「形容詞句」

recordó レコルト 3 単点(recordar)v.t (思い出して) 述べた

「動詞」

el baño, エル・バンニョ n.m 海水浴

「目的語」

la ida al cine ラ・イダ・アル・シネ n.f 映画へ行ったこと

「目的語」

y イ conj. そして

el regreso a mi casa. エル・レグレス・ア・ミ・カーサ n.m 僕の部屋に戻ったこと

「目的語」

Segunda parte 第2部

検事は、予審でのマリーの供述の後で、その日のプログラムを調べてみたと言った。

El Abogado General dijo que después de las declaraciones de María en el sumario de instrucción había consultado los programas de esa fecha. 「主語」「動詞」「目的語」

El Abogado General エル・アボガド・ヘネラル n.m 検事は 「主語」

dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

después de las declaraciones de María デスプエ・エス・デ・ラス・デクララシオネス・デ・マリア

adv. マリーの供述の後で 「副詞句」

en el sumario de instrucción エン・エル・スマリオ・デ・インストルクシオン

adv. 予審での 「副詞句」

había consultado アビア・コンスルタド 3 単線・完了形(consultar)v.t 調べた 「動詞句」

los programas ロス・プログラマス pl(programa).n.m プログラムを 「目的語」

de esa fecha. デ・エサ・フェチャ adj. その日の 「形容詞句」

さらに検事は、マリー本人から、その日はどんな映画が上映されていたかを言って欲しいのだが、と付け加えた。

Agregó que la propia María diría qué película pasaban entonces. 「動詞」「目的語」

Agregó アグレロ 3 単点(agregar)v.t 付け加えた 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

la propia María ラ・プロピア・マリア n.f マリー本人が 「主語」

diría ディリア 3 単過未・婉曲(decir)v.t 言ってもらいたいものだ 「動詞」

qué película ケ・ペリクラ n.f どんな映画が～するかを 「目的語」

pasaban パサバン 3 複線(pasar)v.t 上映していた 「動詞」

受動態に翻訳する

entonces. エントネス adv. その時 「副詞句」

ほとんど聞き取れないか細い声で、マリーは、本当にフェルナンデルの映画だと答えた。

Con voz casi inaudible María indicó que en efecto era una película de Fernandel.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」

Con voz コン・ボス adv. (手段) 声で 「副詞句」

casi inaudible カシ・イウディブレ adj. ほとんど聞こえない 「形容詞句」

María マリア n.f マリーは 「主語」

indicó インディコ 3 単点(indicar)v.t 告げた 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

en efecto エン・エフェクト adv. 実際に、本当に 「副詞句」

era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」

Segunda parte 第2部

una película ウナ・ペリクラ n.f 映画 「補語」
 de Fernandel. デ・フェルナンデル adj. フェルナンデルの 「形容詞句」

マリーの証言が終わると、法廷内は静まり返った。

Cuando concluyó, el silencio era completo en la sala. 「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「補語」
 Cuando クワント conj. ～すると 「副詞節」
 concluyó, コンクルヨ 3 単点(concluir)v.i 終えた 「動詞」
 el silencio エル・シレンシオ n.m 沈黙が 「主語」
 era エラ 3 単線・変化(ser)v.i ～になった 「動詞」
 completo コンプレト adj. 仕上がった 「補語」
 en la sala. エン・ラ・サラ adv. 法廷内は 「副詞句」

そこで検事は重々しく立ち上がって、僕には本当に感極まったように思われる声で、指を僕の方へ差し出してゆっくりと言った：「陪審員の皆さん、母親の死の翌日に、この男は、海水浴へ行き、不道德な関係を築き、喜劇映画を笑い興じていたのです」

El Procurador se levantó entonces muy gravemente y con voz que me pareció verdaderamente conmovida, el dedo tendido hacia mí, articuló lentamente: "Señores jurados: al día siguiente de la muerte de su madre este hombre tomaba baños, comenzaba una unión irregular e iba a reír con una película cómica.

「主語」 「動詞句」 「副詞句」 y 「副詞句」, 「動詞」 「副詞」:
 《「呼びかけ」: 「副詞句」 「主語」 「動詞」 「目的語」, 「動詞」 「目的語」 e 「動詞句」 「副詞句」》
 El Procurador エル・プロクラトール n.m 検事は 「主語」
 se levantó セ・レバント 3 単点(levantarse)v.pr 立ち上がった 「動詞句」
 entonces エントネス adv. そこで、その時 「副詞句」
 muy gravemente ムイ・グラベメンテ adv. とても重々しく 「副詞句」
 y イ conj. そして
 con コン prep (手段) ～で 「副詞句」
 voz ボス n.f 声 「目的語」
 que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 me メ pron 僕には 「間接目的語」
 pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i ～のように思われた 「動詞」
 verdaderamente conmovida, ベルダデラメンテ・コンモビダ
 adj.f 本当に感動した 「補語」
 el dedo エル・デト n.m 指は 「目的語」
 tendido テンディト 過去分詞・受動(tender)adj. 差し出された 「形容詞」
 hacia mí, アシア・ミ adv. 僕の方へ 「副詞句」

Segunda parte 第2部

artículo アルチクロ 3 単点(articular)v.t 述べた	「動詞」
lentamente: レンタメンテ adv. ゆっくりと	「副詞」
"Señores jurados: セニョレス・フラトス pl.n.m 陪審員の皆さん	「呼びかけ」
al día siguiente アル・デ・イ・シギエンテ adv. 翌日に	「副詞句」
de la muerte デ・ラ・ムエルテ adj. 死の	「形容詞句」
de su madre デ・ス・マトレ adj. 母親の	「形容詞句」
este hombre エステ・オンブレ n.m この男は	「主語」
tomaba トマバ 3 単線(tomar)v.t (行動を) 行っていた	「動詞」
baños, バニョス pl(baño).n.m 海水浴を	「目的語」
comenzaba コメンサバ 3 単線(comenzar)v.t ~を始めていた	「動詞」
una unión irregular ウナ・ウニオン・イレグラー n.f 不道德な関係を	「目的語」
e エ conj. そして	
iba a reír イバ・ア・レイール 3 単線・近接未来・目的(ir a+不定詞)	
v.i 笑いに行こうとしていた	「動詞句」
con una película cómica. コン・ウナ・ペリクラ・コミカ adv. (手段) 喜劇映画を見て	「副詞句」

「言うべきことはもう何もない」と言って、相変わらず静まり返った中を彼は席に戻って着席した。しかし突然、マリーが泣きじゃくり出して、言った；そんなことではない、違うことがあった。自分が思っている事と反対の事を言われた。僕の事は良く知っている。僕は何も悪いことはしていない。

No tengo nada más que decir." Volvió a sentarse, siempre en medio del silencio. Pero de golpe María estalló en sollozos; dijo que no era así, que había otra cosa, que la forzaban a decir lo contrario de lo que pensaba, que me conocía bien y que no había hecho nada malo.

《「動詞句」「目的語」》, 「動詞句」「副詞句」

Pero 「副詞句」「主語」「動詞句」; 「動詞」「目的語」

No tengo ノ・テンゴ 1 単現・否定(tener)v.t ~はない	「動詞句」
nada ナダ pron 何も~ない	「目的語」
más que decir." マス・ケ・デシール adj. (目的) 言うべきことはもう~ない「形容詞句」	
Volvió a sentarse, ボルビョ・ア・センタル・セ 3 単点(volver a+不定詞)v.pr また着席した	「動詞句」
siempre シエンプレ adv. あいかわらず	「副詞」
en medio del silencio. エン・メディオ・デル・シレンシオ adv. 沈黙の中で	「副詞句」
Pero ペロ conj. しかし	
de golpe デ・ゴルペ adv. 突然	「副詞句」
María マリア n.f マリーが	「主語」
estalló en sollozos; エスタジョ・エン・ソジョソス 3 単点(estallar)v.i 急に泣きじゃくった	「動詞句」
estallar en sollozos 「急に泣き出す」	

Segunda parte 第2部

diyo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
no era ノ・エラ 3 単線・否定・時制の一致(ser)v.i ～でない	「動詞句」
así, アシ adv. そのような	「補語」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
había アビ・ア 3 単線(haber)v.t ～があった	「動詞」
otra cosa, オトラ・コサ n.f 別のことが、違うことが	「目的語」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
la ラ pron 彼女は	「目的語」
forzaban フォルサバン・3 複線・使役(forzar a+不定詞) v.t 言わされた	「動詞句」
受動態に翻訳する	
a decir ア・デ・シール 不定詞・la の動作 v.t 言う	「補語」
lo ロ pron 事を	「目的語」
contrario de lo que pensaba, コントラリオ・デ・ロ・ケ・ペンサバ adj. 彼女が思う事と反対の	「形容詞句」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
me メ pron 僕を	「目的語」
conocía コノシア 3 単線・時制の一致(conocer)v.t 知っている	「動詞」
bien ビ・エン adv. よく	「副詞」
y イ conj. そして	
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
no había hecho ノ・アビ・ア・エチョ 1 単線・完了形・否定(hacer)v.t しなかった	「動詞句」
nada malo. ナダ・マロ pron 悪いことは何も～ない	「目的語」

しかし、廷吏が、裁判長の合図に従って彼女を連れ出し、審理は続行された。

Pero el ujier, a una señal del Presidente, la llevó y la audiencia prosiguió.

Pero 「主語」「副詞句」「動詞」「目的語」 y 「主語」「動詞」

Pero ペ・ロ conj. しかし	
el ujier, エル・ウヒエル n.m 廷吏が	「主語」
a ア prep (準拠) ～に従って	「副詞句」
una señal ウナ・セニャル n.f 合図	「目的語」
del Presidente, デル・プレジデンテ adj. 裁判長の	「形容詞句」
la ラ pron マリーを	「目的語」
llevó ジェボ 3 単点(llevar)v.t 連れて行った	「動詞」
y イ conj. そして	

Segunda parte 第2部

la audiencia ラ・アウディエンシア n.f 審問は 「主語」
 prosiguió. プロシギオ 3 単点(proseguir)v.i 続いた、続行された 「動詞」

続けて、マソンが審問された、しかしほとんど誰も聞いていなかった。彼は、自分は誠実な人間だ、「さらに言うなら、正直な人間だ」と証言していた。

En seguida se escuchó, pero apenas, a Masson, quien declaró que yo era un hombre honrado. "y que diría más, era un hombre bueno."

「副詞句」, 「動詞句」, pero 「副詞」 「間接目的語」

En seguida エン・セギダ adv. すぐに、続けて 「副詞句」

se escuchó, セ・エスカチ 3 単点・再帰受動(escucharse)v.pr 聞かれた 「動詞句」

se escuchó + apenas, a Masson 「マソンの証言はほとんど誰も聞いていなかった」

pero ペロ conj. しかし

apenas, アペナス adv. ほとんど～ない 「副詞」

a Masson, ア・マソン adv. マソンに対して 「間接目的語」

quien ケン pron (主語) ～する 「形容詞節」

declaró デクラロ 3 単点(declarar)v.t 証言した 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

yo ジョ pron 自分は 「主語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」

un hombre honrado, ウン・オンブレ・オンラト

n.m 誠実な人間 「補語」

"y イ conj. そして

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

adv. 「副詞節」

diría ディリア 1 単過未・推量(decir)

v.t 言うとなれば 「動詞」

más, マス adv. さらに 「副詞」

era エラ 1 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」

un hombre bueno." ウン・オンブレ・ブエノ n.m 正直な人間 「補語」

Segunda parte 第2部

サラマノが、僕は彼の犬に親切にしてくれたと述べた時も、母さんと僕についての質問に対して、僕はもう母さんに何も話すことが無い、それで母さんを養老院へ入れたと述べた時にも、ほとんど誰も彼の話を聞いていなかった。

Apenas se escuchó también a Salamano cuando recordó que había tratado bien a su perro y cuando respondió a una pregunta sobre mi madre y sobre mí diciendo que yo no tenía nada más que decir a mamá y que por eso la había metido en el asilo.

「副詞」「動詞句」「副詞」「間接目的語」, 「副詞節」 y 「副詞節」

Apenas アペナス adv. ほとんど～ない

「副詞」

se escuchó セ・エスクチョ 3 単点・再帰受動(escucharse)

v.pr (否定文で) 聞かれなかった

「動詞句」

también タンビエン adv. ～も

「副詞」

a Salamano ア・サラマノ adv. サラマノに対して

「間接目的語」

cuando クワンド conj. ～する時

「副詞節」

recordó レコルト 3 単点(recordar)v.t 思い出す、回想して述べた

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

había tratado アビア・トラト 1 単線・完了形(tratar)v.t 取り扱った「動詞句」

bien ビエン adv. 上手く、親切に

「副詞」

a su perro ア・ス・ペロ adv. (対象) 彼の犬に対して

「間接目的語」

y イ conj. そして

cuando クワンド conj. ～する時

「副詞節」

respondió レスポンディオ 3 単線(responder)v.i(a に) 返事をした、答えた「動詞」

a una pregunta ア・ウナ・プレグンタ adv. ある質問に

「間接目的語」

sobre mi madre ソブレ・ミ・マドレ adv. 母さんについての

「副詞句」

y イ conj. そして

sobre mí ソブレ・ミ adv. 僕についての

「副詞句」

diciendo ディシエント 現在分詞・手段(decir)adv. ～と言って

「副詞句」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

yo ジョ pron 僕は

「主語」

no tenía ノ・テニア 1 単線・否定(tener)v.t ～がない

「動詞句」

nada más que decir ナダ・マス・ケ・デシル

pron 話すことがもう何も～ない

「目的語」

a mamá ア・ママ adv. 母さんについて

「副詞句」

y イ conj. そして

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

por eso ポル・エソ adv. (原因) そのために

「副詞句」

la ラ pron 母さんを

「目的語」

Segunda parte 第2部

había metido アビ・ア・メト 1 単線・完了形(meter)

v.t 入れた

「動詞句」

en el asilo. エン・ネル・アシロ adv. 養老院へ

「副詞句」

「理解しなければいけません」と、サラマノは言った。「理解しなければいけません」

しかし、誰も理解したように見えなかった。サラマノは廷吏に連れ出された。

"Hay que comprender, decía Salamano, hay que comprender." Pero nadie parecía comprender. Se lo llevaron. 《「動詞句」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」》

Pero 「主語」「動詞句」 | 「動詞句」「目的語」「動詞句」

"Hay que comprender, アイ・ケ・コンプ レンデール 3 単現・必要(haber que+不定詞)

v.t 理解しなければならない

「動詞句」

「tener que+不定詞」は主語を示すが、「haber que+不定詞」は主語を示さない

decía デシア 3 単線(decir)v.t 言った

「動詞」

Salamano, サラマノ n.m サラマノは

「主語」

hay que comprender." アイ・ケ・コンプ レンデール 3 単現・必要(haber que+不定詞)

v.t 理解しなければならない

「動詞句」

Pero ペロ conj. しかし

nadie ナデイエ pron 誰も～ない

「主語」

parecía comprender. パレシア・コンプ レンデール 3 単線・見える(parecer+不定詞)

v.i 理解しているように見える

「動詞句」

Se ...llevaron. セ...ジエバロン 3 複点(llebarse)v.pr 一緒に連れて行った

「動詞句」

lo ロ pron サラマノを

「目的語」

それから、レーモンの順番が来た；彼が最後の証人である。

Luego llegó el turno a Raimundo, que era el último testigo.

「副詞」「動詞」「主語」「副詞句」

Luego ルエゴ adv. それから

「副詞」

llegó ジエゴ 3 単点(llegar)v.i (時・順番が) 来た

「動詞」

el turno エル・トゥルノ n.m 順番が

「主語」

a Raimundo, ア・ライムント adv. レーモンに

「副詞句」

que ク pron (主語) ～する

「形容詞節」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である

「動詞」

el último testigo. エル・ウルチモ・テスチゴ n.m 最後の証人

「補語」

Segunda parte 第2部

僕に小さく合図をして、即座に、僕は無罪だと述べた。

Me hizo una ligera señal y dijo al instante que yo era inocente.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 y 「動詞」「副詞句」「目的語」

Me メ pron 僕に

「間接目的語」

hizo イ 3 単点(hacer)v.t (動作を) した

「動詞」

una ligera señal ウナ・リヘラ・セニャール n.f 小さな合図を

「直接目的語」

y イ conj. そして

dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

al instante アル・インスタンテ adv. 即座に、すぐに

「副詞句」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

yo ジョ pron 僕は

「主語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である

「動詞」

inocente. イノセンテ adj. 無罪の

「補語」

しかし裁判長は、証人に求めるものは意見ではなく、ありのままの陳述であると注意した。

Pero el Presidente declaró que no se le pedían apreciaciones, sino hechos.

Pero 「主語」「動詞」「目的語」

Pero ペロ conj. しかし

el Presidente エル・プレシデンテ n.m 裁判長は

「主語」

declaró テクラー 3 単点(declarar)v.t 明言した

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

no se ...pedían ノ・セ...ペディアン 3 複線・否定(pedirse)

v.pr (裁判官たちは) 求めている

「動詞句」

le レ pron 彼に

「間接目的語」

apreciaciones, アプレシアシオネス

pl(apreciacion).n.f (証人の) 意見、評価

「直接目的語」

sino シノ conj. そうではなく

hechos. エチョス pl(hecho).n.m ありのままの陳述を

「直接目的語」

裁判長は彼に、質問を待ってから答えるようにと促した。

Le invitó a esperar las preguntas para responder.

「目的語」「動詞」「補語」

Le レ pron 彼に

「目的語」

invitó イビト 3 単点・指示(invitar a+不定詞)v.t ～するように促した

「動詞」

a esperar ア・エスペラール 不定詞・Le の動作 v.t ～を待つ

「補語」

las preguntas ラス・プレグンタス pl(pregunta).n.f 質問を

「目的語」

para responder. パラ・レスポンステール 不定詞・結果 adv. そして答える

「副詞句」

Segunda parte 第2部

裁判官たちは、彼に被害者との関係を詳細に述べさせた。

Le hicieron precisar sus relaciones con la víctima. 「目的語」「動詞」「補語」
 Le レ pron 彼に 「目的語」
 hicieron イエロン 3 複点・使役(hacer)v.t ~させた 「動詞」
 precisar プレシアル 不定詞・Le の動作 v.t 明確にする 「補語」
 sus relaciones ス・レシオネス pl(relacion).n.f 関係を 「目的語」
 con la víctima. コン・ラ・ビクタマ adv. 被害者との 「副詞句」

レーモンは、それを利用して、自分が被害者の妹に平手打ちして以来、被害者が憎んでいたのは自分のほうだと主張した。それでも裁判長は、被害者が僕を憎む動機は何か無かったのかとレーモンに尋ねた。

Raimundo aprovechó para decir que era a él a quien este último odiaba desde que había abofeteado a su hermana. Sin embargo, el Presidente le preguntó si la víctima no tenía algún motivo para odiarme.

「主語」「動詞」「副詞句」 | 「副詞句」, 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
 Raimundo ライムント n.m レーモンは 「主語」
 aprovechó アプロベチョ 3 単点((aprovechar)v.t (有効に) 利用した 「動詞」
 para decir パラ・デシール 不定詞・目的 adv. (結果) そして～と言った 「副詞句」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」
 a él ア・エル adv. 彼を (レーモンを) 「目的語」
 a quien ア・キエン pron 誰かを 「目的語」
 este último エステ・ウルチモ pron この被害者が 「主語」
 odiaba オディアバ 3 単線(odiar)v.t 憎んでいた 「動詞」
 desde que デステ・ケ conj. ~以来 「副詞節」
 había abofeteado アビ・ア・アボフェテアド 3 単線・完了形(abofetear)
 v.t 平手打ちした 「動詞句」
 a su hermana. ア・ス・エルマナ adv. 被害者の妹に 「目的語」
 Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. しかし、それでも 「副詞句」
 el Presidente エル・プレシデンテ n.m 裁判長は 「主語」
 le レ pron 彼に 「間接目的語」
 preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」
 si シ conj. ~かどうかということ 「直接目的語」
 la víctima ラ・ビクタマ n.f 被害者は 「主語」
 no tenía ノ・テニア 3 単線・否定(tener)v.t なかった 「動詞句」

Segunda parte 第2部

algún motivo アルグン・モティボ n.m 何か動機は 「目的語」
 para odiarme. パラ・オディアル・メ adv. 僕を恨むための 「副詞句」

レーモンは、僕がああ浜辺にいたことは偶然の結果だと言った。

Raimundo dijo que mi presencia en la playa era fruto de la casualidad.

「主語」「動詞」「目的語」
 Raimundo ライムント n.m レーモンは 「主語」
 dijo ディョ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 mi presencia ミ・プレシヤ n.f 僕の存在は、同席、立ち会い 「主語」
 en la playa エン・ラ・プラジャ adv. 浜辺での 「副詞句」
 era エラ 3 単線(ser)v.i ～である 「動詞」
 fruto フルト n.m 産物、結果 「補語」
 de la casualidad. デ・ラ・カサルタダ adj. 偶然の 「形容詞句」

その時検事が、事件の発端となったあの手紙は、どのようにして僕が書くことになったのかとレーモンに尋ねた。

Entonces el Procurador le preguntó cómo era que la carta origen del drama había sido escrita por mí.

「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
 Entonces エントンセス adv. その時 「副詞」
 el Procurador エル・プロクラドール n.m 検事が 「主語」
 le レ pron 彼に 「間接目的語」
 preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」
 cómo コモ adv. どのように～するかということを 「直接目的語」
 era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」
 que ケ conj. ～ということは 「主語」
 la carta ラ・カルタ n.f 手紙は 「主語」
 origen オリヘン n.m 原因の 「形容詞」
 del drama デル・ドラマ
 adj. 事件の、痛ましい事件の 「形容詞句」
 había sido escrita アビ・ア・シト・エスクリタ 3 単線・完了形・受動.f(escribir)
 v.t 書かれた 「動詞句」
 por mí. ポル・ミ adv. 僕によって 「副詞句」

Segunda parte 第2部

レーモンは、それは偶然だと答えた。

Raimundo respondió que era una casualidad. 「主語」「動詞」「目的語」
 Raimundo ライムント^ㇰ n.m レーモンは 「主語」
 respondió レスポ^ㇰンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」
 una casualidad. ウナ・カスリタ^ㇰ n.f 偶然 「補語」

検事は、この事件に関しては偶然といえども、彼の良心からすると、もういたずらの域を越えている、と反論した。

El Procurador redarguyó que la casualidad tenía ya muchas fechorías sobre su conciencia en este asunto. 「主語」「動詞」「目的語」
 El Procurador エル・プロクラトール^ㇰ n.m 検事は 「主語」
 redarguyó レダールグエイ^ㇰ 3 単点(redargüir)v.t 反論した 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 la casualidad ラ・カスリタ^ㇰ n.f 偶然は 「主語」
 tenía テニア 3 単線・時制の一致(tener)v.i ～がある 「動詞」
 ya muchas fechorías ヤー・ムチャス・フェチョリアス
 pl(fechoría).n.f もういたずらが過ぎる 「目的語」
 sobre su conciencia ソブレ・ス・コンセンシア adv. 彼の良心においては「副詞句」
 en este asunto. エン・エステ・アスノ adv. この事件に関して 「副詞句」

彼は尋ねた。レーモンが彼の愛人に平手打ちを食らわせた時、僕が仲裁しなかったことは偶然なのかどうか、それから警察署で証人として手伝ったことは偶然なのかどうか、さらに、その時の証言が彼を有利にするための偽証だと判明したことは偶然なのかどうかと。

Quiso saber si era por casualidad que yo no había intervenido cuando Raimundo abofeteó a su amante; por casualidad que yo había servido de testigo en la comisaría; por casualidad aún que mis declaraciones con motivo de ese testimonio habían resultado de pura complacencia. 「動詞句」「目的語」
 Quiso saber キヨ・サベル^ㇰ 3 単点・願望(querer+不定詞)v.t 尋ねた、知ろうとした 「動詞句」
 si シ conj. ～かどうかということを 「目的語」
 era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」
 por casualidad ホル・カスリタ^ㇰ adv. 偶然の 「補語」
 que ケ conj. ～という事は 「主語」
 yo ジョ pron 僕が 「主語」
 no había intervenido ノ・アビエ・インテルベニト^ㇰ 1 単線・完了形・否定(intervenir)

Segunda parte 第2部

v.i 仲裁しなかった	「動詞句」
cuando クワント conj. ～した時に	「副詞節」
Raimundo ライムント n.m レーモンが	「主語」
abofeteó アボフェテオ 3 単点(abofetear)	
v.t 平手打ちを食らわせた	「動詞」
a su amante; ア・ス・アマンテ n.f 彼の愛人に	「目的語」
por casualidad ホル・カスリダ adv. 偶然の	「補語」
que ケ conj. ～という事は	「主語」
yo ジョ pron 僕が	「主語」
había servido アビ・ア・セルビト 1 単線・完了形(servir)	
v.i(de として) 手伝った	「動詞句」
de testigo テ・テシゴ adv. 証人として	「副詞句」
en la comisaría; エン・ラ・コミサリア adv. 警察署で	「副詞句」
por casualidad ホル・カスリダ adv. 偶然の	「補語」
aún アウン adv. さらに	「副詞句」
que ケ conj. ～という事は	「主語」
mis declaraciones ミス・テ・クラシオネス pl(declaracion).n.f 僕の証言は	「主語」
con motivo コン・モチ・ホ adv. ～の動機を持つ	「副詞句」
de ese testimonio テ・エ・ステ・テシモニオ adj. この証言の	「形容詞句」
habían resultado アビ・アン・レスルタト 3 複線・完了形(resultar)	
v.i(de と) 判明した	「動詞句」
de pura complacencia. テ・プ・ラ・コンプレセンシア	
adv. 全くの思いやりによる	「副詞句」
レーモンに有利なように証言した	

最後に彼はレーモンに、生計の手段は何かと尋ねた。それでレーモンはやっと「倉庫の管理人」と答えた。すると検事は陪審員たちに向かって、この証人は明らかにひも稼業を営んでいると決めつけて言い放った。

Para concluir, preguntó a Raimundo cuáles eran sus medios de vida, y como el último respondiera: "guardalmacén", el Abogado General declaró a los jurados que el testigo ejercía notoriamente el oficio de proxeneta.

「副詞句」, 「動詞」「間接目的語」「直接目的語」, y 「副詞句」「動詞」: 《「補語」》

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

Para concluir, パラ・コンクルイーラ adv. 最後に、結論として	「副詞句」
preguntó プレグント 3 単点(preguntar).v.t 尋ねた	「動詞」
a Raimundo ア・ライムント adv. レーモンに	「間接目的語」

Segunda parte 第2部

cuáles クワレス	pron.pl 何	「直接目的語」
eran エラン	3 複線・時制の一致(ser)v.i ~である	「動詞」
sus medios ス・メディオス	pl(medio).n.m 手段	「補語」
de vida, デ・ビダ	adj. 生計の、生活の	「形容詞句」
y イ	conj. そして	
como el último コモ・エル・ウルチモ	adv. 最後に	「副詞句」
respondiera: レスポンディエラ	接・3 単過(responder)v.t 答えた	「動詞」
"guardalmacén", グ・ワルダ・ルマセン	n.m 倉庫の番人	「補語」
Guarda almacén グ・ワルダ・アルマセン	n.m 倉庫番	
el Abogado General エル・アボガト・ヘネラル	n.m 検事は	「主語」
declaró デ・クラロ	3 単点(declarar)v.t 明言した	「動詞」
a los jurados ア・ロス・フラトス	adv. 陪審員たちに	「間接目的語」
que ケ	conj. ~ということ	「直接目的語」
el testigo エル・テシゴ	n.m 証人は	「主語」
ejercía エヘルシア	3 単線・時制の一致(ejercer)v.t ~を営んでいる	「動詞」
notoriamente ノリアメンテ	adv. 明らかに	「副詞」
el oficio エル・オフィシオ	n.m 仕事を	「目的語」
de proxeneta. デ・ブ・ロセタ	adj. 売春斡旋の	「形容詞句」

僕は彼と共犯の相棒だというのだ。これは、最下等の途方もない事件に関する問題であり、醜悪な道徳観を有する行為によって最悪の事態を招いたというのだ。

Yo era su cómplice y su amigo. Se trataba de un drama crapuloso de la más baja especie, agravado por el hecho de tener delante a un monstruo moral.

	「主語」「動詞」「補語」	「動詞句」「補語」
Yo ジョ	pron 僕は	「主語」
era エラ	1 単線・時制の一致(ser)v.i ~である	「動詞」
su cómplice ス・コンプリセ	n.m 彼の共犯	「補語」
y イ	conj. そして	
su amigo. ス・アミゴ	n.m 友人、相棒	「補語」
Se trataba セ・トラタハ	3 単線・時制の一致(tratarse)v.pr (de ~の) 問題である	「動詞句」
de un drama デ・ウン・ドラマ	adj. 事件について	「補語」
crapuloso クラブ・ロ	adj. 途方もない	「形容詞」
de la más baja especie, デ・ラ・マス・バ・ハ・エスペシエ	adj. 最下等の	「形容詞句」
agravado アグラバト	過去分詞・受動(agravar)adj. 悪化させられた	「形容詞」
por el hecho ポル・エル・エチョ	adv. (原因) 行為によって	「副詞句」
de tener デ・テネル	adj. (状態) ~を持った	「形容詞句」

Segunda parte 第2部

delante a un monstruo moral. テﾞランテ・ア・ウン・モンストロ・モラル

adv. 醜悪な道德感の前に

「副詞句」

レーモンは反論しようとしたし弁護士も抗議したが、検事に最後まで話させるべきであると言われた。

Raimundo quiso defenderse y el abogado protestó, pero se le dijo que debía dejar terminar al Procurador. 「主語」「動詞句」 y 「主語」「動詞」, pero 「動詞句」「主語」「動詞句」

Raimundo ライムント n.m レーモンは

「主語」

quiso defenderse キソ・デフェンデルセ 3 単点・願望(querer+不定詞)

v.pr 反論しようとした

「動詞句」

y イ conj. そして

el abogado エル・アボガト n.m 弁護士は

「主語」

protestó, プロテスト 3 単点(protestar)v.i 抗議した

「動詞」

pero ペロ conj. しかし

se ...dijo セ...ディョ 3 単点・再帰動詞(decirse)v.pr 言われた

「動詞句」

le レ pron (仮の主語 (真の主語は que 以降))

que ケ conj. ～ということが

「主語」

debía dejar terminar デビ・ア・デハール・テルミナル 3 単線・義務・放任(deber+不定詞)

v.i 終わらせるべきである

「動詞句」

al Procurador. アル・プロクラトール adv. 検事に

「目的語」

検事が言った：「付け加えることは、わずかです。被告はあなたの友人ですか？」と、レーモンに尋ねた。

Este dijo: "Tengo poco que agregar. ¿Era amigo suyo?", preguntó a Raimundo.

「主語」「動詞」：《「動詞」「目的語」》, 「動詞」「間接目的語」

Este エステ pron (最後に出てきた) 検事は

「主語」

dijo: ディョ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

"Tengo テンコ 1 単現(tener)v.t ～がある

「動詞」

poco ホコ pron わずかな事

「目的語」

que agregar. ケ・アグレガール adj. 付け足すべき

「形容詞句」

¿Era エラ 3 単線・時制の一致・疑問文(ser)v.i ～ですか？

「動詞」

amigo suyo?", アミゴ・スヨ n.m あなたの友人

「補語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.i 尋ねた

「動詞」

a Raimundo. ア・ライムント adv. レーモンに

「間接目的語」

Segunda parte 第2部

「そうだ」と、レーモンは答えた。「俺の相棒だ」

"Sí", dijo éste, "era mi camarada". 《「応答」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「補語」》
 "Sí", シ adv. (肯定) そうだ 「応答」
 dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 éste, エステ pron (最後に出てきた) レーモンは 「主語」
 "era" エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i 〜である 「動詞」
 mi camarada". ミ・カマラダ n.m 仲間、同僚、相棒 「補語」

それから検事は、僕に同じ質問をした。レーモンを見ると、彼はじっと僕を見つめていた。

El Abogado General me formuló entonces la misma pregunta y yo miré a Raimundo, que no apartó la vista.

「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞」「直接目的語」 y 「主語」「動詞」「目的語」,
 「主語」「動詞句」「目的語」
 El Abogado General エル・アボガド・ヘネラル n.m 検事は 「主語」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 formuló フォルムロ 3 単点(formar)v.t (動作を) した 「動詞」
 entonces エントネス adv. それで 「副詞」
 la misma pregunta ラ・ミスマ・プレグンタ n.f 同じ質問を 「直接目的語」
 y イ conj. そして
 yo ジョ pron 僕は 「主語」
 miré ミレ 1 単点(mirar)v.t 見た 「動詞」
 a Raimundo, ア・ライムント n.m レーモンを 「目的語」
 que ケ pron (結果) 彼は 「主語」
 no apartó ノ・アパルト 3 単点・否定(apartar)v.t 〜をそらさなかった 「動詞句」
 la vista. ラ・ビスタ n.f 視線を 「目的語」

僕は答えた：「ええ」。すると検事は、陪審員の方へ振り返って、明言した。

Respondí: "Sí." El Procurador se volvió hacia el Jurado y declaró:

「動詞」: 《「応答」》 | 「主語」「動詞句」「副詞句」 y 「動詞」
 Respondí: レスポンディ 1 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」
 "Sí." シ adv. (肯定) ええ 「応答」
 El Procurador エル・プロクラトール n.m 検事は 「主語」
 se volvió セ・ボルビョ 3 単点(volverse)v.pr 振り返った 「動詞句」
 hacia el Jurado アシア・エル・フラト adv. 陪審員の方へ 「副詞句」
 y イ conj. そして
 declaró: デクラロ 3 単点(declarar)v.t 明言した 「動詞」

Segunda parte 第2部

「母親の死の翌日に、最も恥すべき放蕩に耽っていたその同じ男が、取るに足らない理由で、しかも不道德な関係を清算する目的で、殺人を犯したのです」

"El mismo hombre que al día siguiente al de la muerte de su madre se entregaba al desenfreno más vergonzoso mató por razones fútiles y para liquidar un incalificable asunto de costumbres inmorales." 《「主語」「動詞」「副詞句」》

"El mismo hombre エル・ミス・オンブレ n.m 同じ男が 「主語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

al día siguiente アル・デア・シギエンテ adv. 次の日に 「副詞句」

al de la muerte de su madre アル・デ・ラ・ムエルテ・デ・ス・マトレ

adj. 母親の死の 「形容詞句」

se entregaba セ・エンブレガバ 3 単線(entregarse)v.pr ～に没頭した 「動詞句」

al desenfreno アル・デセンフレノ adv. 抑制のないことに 「間接目的語」

más vergonzoso マス・ベルゴソソ adj. 最も恥すべき 「形容詞句」

mató マト 3 単点(matar)v.t 殺した 「動詞」

por razones ポル・ラソネス adv. ～の理由で 「副詞句」

fútiles フレス adj.pl 取るに足らない 「形容詞」

y イ conj. そして

para liquidar パラ・リキダール adv. (目的) 清算するために 「副詞句」

un incalificable asunto ウン・インカフィカブレ・アスト n.m 評価できない事柄を 「目的語」

de costumbres inmorales." デ・コストウンブレ・インモラレス

adj. 不道德な習慣の 「形容詞句」

検事はまた着席した。しかし弁護士は、忍耐の限度に達して、両腕を上げて叫んだ。それで、袖がずり落ちる時に、糊のきいたプリーツが露わになった。

Volvió a sentarse. Pero el abogado, al tope de la paciencia, gritó levantando los brazos de manera que las mangas al caer descubrieron los pliegues de la camisa almidonada.

「動詞句」 | Pero 「主語」「副詞句」「動詞」「副詞句」

de manera que 「主語」「副詞句」「動詞」「目的語」

Volvió a sentarse. ホルビオ・ア・アセンタルセ 3 単点・再度(volver a+不定詞 sentarse)

v.pr また着席した 「動詞句」

Pero ペロ conj. しかし

el abogado, エル・アボガト n.m 弁護士は 「主語」

al tope アル・トペ adv. (程度) (de の) ～限度に達して 「副詞句」

de la paciencia, デ・ラ・パシエンシア adj. 忍耐の 「形容詞句」

gritó グリト 3 単点(gritar)v.i 叫んだ 「動詞」

Segunda parte 第2部

levantando	レバンタント 現在分詞・同時(levantar)v.t	～を上げて	「副詞句」
los brazos	ロス・ブラソス pl(brazo).n.m	両腕を	「目的語」
de manera que	+直説法 テ・マネラ・ケ conj.	(結果) それで～した	
las mangas	ラス・マンガス pl(manga).n.f	袖が	「主語」
al caer	アル・カエル adv.	(時) 落ちる時に	「副詞句」
descubrieron	デスクブリエロン 3 複点(descubrir)v.t	～を露わにした	「動詞」
los pliegues	ロス・プリエガス pl(pliege).n.m	(服の) ひだ、プリーツ	「目的語」
de la camisa	テ・ラ・カサ adj.	シャツの	「形容詞句」
almidonada.	アルミトナダ adj(almidonado).f	糊を付けられた	「形容詞」

「結局の所、彼は母親の葬儀を行ったことで起訴されたのでしょうか？それとも殺人したからなのでしょうか？」

"En fin, ¿se le acusa de haber enterrado a su madre o de haber matado a un hombre?"

《「副詞句」, 「主語」 「目的語」 「動詞」 「副詞句」》

"En fin,	エン・フィン adv.	要するに、結局の所	「副詞句」
¿se	セ pron	人は	「主語」
le	レ pron	彼を	「目的語」
acusa	アカサ 3 単現(acusar)v.t(de	の罪で) 告訴している	「動詞」
de haber enterrado	テ・アベール・エンテラト adv.	(原因) 葬儀を行ったという	「副詞句」
a su madre	ア・スマドレ n.f	母親を	「目的語」
o	オ conj.	それとも	
de haber matado	テ・アベール・マタト adv.	(原因) 殺したという	「副詞句」
a un hombre?"	ア・ウン・オンブレ n.m	人を	「目的語」

傍聴人はどっと笑った。

El público rió.

「主語」 「動詞」

El público	エル・プブリーコ n.m	傍聴人は、聴衆は	「主語」
rió.	リオ 3 単点(reír)v.i	笑った	「動詞」

Segunda parte 第2部

検事は再び立ち上がり、法衣にくるまって明言した。「これら2つの事実の間に存在する深く悲壮かつ本質的な関係を理解するためには、尊敬すべき弁護人の純真さが必要である。」

El Procurador se reincorporó una vez más, se envolvió en la toga y declaró que era necesario tener la ingenuidad del honorable defensor para no advertir que entre estos dos órdenes de hechos existía una relación profunda, patética, esencial.

「主語」「動詞句」「副詞句」, 「動詞句」「副詞句」 y 「動詞」「目的語」
 El Procurador エル・プロクラトール n.m 検事は 「主語」
 se reincorporó セ・レインコルボ 3 単点(reincorporarse)v.pr 立ち上がった、戻った 「動詞句」
 una vez más, ウナ・ベス・マス adv. もう一度、再び 「副詞句」
 se envolvió セ・エンボルビオ 3 単点(envolverse)v.pr (衣服に) くるまった 「動詞句」
 en la toga エン・ラトガ adv. (裁判官の) 法服に 「副詞句」
 y イ conj. そして
 declaró テクラ 3 単点(declarar)v.t 明言した 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」
 necesario ネサリオ adj. 必要な 「補語」
 tener テネル 不定詞 n. 持つことは 「主語」
 la ingenuidad ラ・インヘヌイダ n.f 馬鹿正直、無邪気 「目的語」
 del honorable defensor デル・オノラブレ・デフェンソール
 adj. 尊敬すべき弁護人の 「形容詞句」
 para no advertir パラ・ノ・アドベルティール
 adv. (条件) 分からないので～を理解するためには 「副詞句」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 entre estos dos órdenes エントレ・エストス・トス・オルデネス
 adv. これら二つの領域の間に 「副詞句」
 de hechos デ・エチオス adj. 事実の 「形容詞句」
 existía エクシチア 3 単線(existir)v.i 存在する 「動詞」
 una relación profunda, ウナ・レラシオン・プロンダ
 n.f 深い関係が 「主語」
 patética, パテチカ adj. 悲壮な 「形容詞」
 esencial. エセンシアル adj. 本質的な 「形容詞」

フランス語原文では :

しかし検事はまた立ち上がり、ゆつたりと法服をまとってから、こう言明した。「この2つの事柄の分類の間には、深く、悲壮で、本質的な関係があることを理解するためには、誠実な弁護人の率直さが求められる。」

Segunda parte 第2部

Mais le procureur s'est redressé encore, s'est drapé dans sa robe et a déclaré qu'il fallait avoir l'ingénuité de l'honorable défenseur pour ne pas sentir qu'il y avait entre ces deux ordres de faits une relation profonde, pathétique, essentielle.

pour+不定詞：

目的：～するために

継続：～して、そして～

継続：～して、そして～

譲歩・対立：～ではあるが

pour ne pas sentir プール・ヌ・パ・ソシール

(～が分からないので... を持たなければならない) → 論理を逆転する

pour 以降を「条件」(～が分かるために)として、il fallait 以降を「必要」とする

「そうです」と、検事は力強く叫んだ。「犯罪者の心を持って自分の母親を埋葬したという理由で、私はこの男を告訴するのであります」

"Sí", gritó con fuerza, "yo acuso a este hombre de haber enterrado a su madre con corazón de criminal". 《「呼びかけ」》, 「動詞」「主語」, 《「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」》

"Sí", シ adv. そうだ、確かに、その通り 「呼びかけ」

gritó グリト 3 単点(gritar)v.i 大声を上げた 「動詞」

con fuerza, コン・フエルサ adv. 力強く 「副詞句」

"yo" ショ pron 私は 「主語」

acuso アクソ 1 単現(acusar)v.t (de の罪で) 告訴する 「動詞」

a este hombre ア・エステ・オンブレ n.m この男を 「目的語」

de haber enterrado デ・アベール・エンテラド 不定詞・理由 adv. 埋葬したという理由で 「副詞句」

a su madre ア・ス・マトレ n.f 自分の母親を 「目的語」

con corazón de criminal". コン・コラソン・デ・クリミナル adv. 犯罪者の心を持って 「副詞句」

この声明は傍聴人に対して相当な効果があったように思われる。

Esta declaración pareció tener considerable efecto sobre el público.

「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」

Esta declaración エスタ・デクラシオン n.f この声明は 「主語」

pareció tener パレシオ・テネル 3 単点・推量(parecer+不定詞 tener)

v.t ～があったように思われる 「動詞句」

considerable efecto コンシデラブレ・エフェクト n.m 相当な効果が 「直接目的語」

sobre el público. ソブレ・エル・プブリコ adv. (対象) 傍聴人に対して 「間接目的語」

Segunda parte 第2部

弁護士は肩をすくめ、顔を覆っていた汗を拭った。

El abogado se encogió de hombros y enjugó el sudor que le cubría la frente.

「主語」「動詞句」「間接目的語」 y 「動詞」「目的語」

El abogado エル・アボガト n.m 弁護士は 「主語」
 se encogió セ・エンコヒオ 3 単点(encogerse)v.pr (自分の体を) 縮こまらせた 「動詞句」
 de hombros デ・オンブロス adv. 肩を 「間接目的語」
 y イ conj. そして
 enjugó エンフゴ 3 単点(enjugar)v.t (水気を) 拭き取った 「動詞」
 el sudor エル・ストール n.m 汗を 「目的語」
 que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 le レ pron 彼の 「間接目的語」
 cubría クブリア 3 単線(cubrir)v.t 覆っていた 「動詞」
 la frente. ラ・フレンテ n.f 顔を 「直接目的語」

しかし彼自身が敗北したように見えたし、僕も形勢不利な状況であると理解した。

Pero él mismo parecía vencido y comprendí que las cosas no iban bien para mí.

Pero 「主語」「動詞」「補語」 y 「動詞」「目的語」

Pero ペロ conj. しかし
 él mismo エル・ミスト pron 彼自身も 「主語」
 parecía パレシア 3 単線(parecer)v.i ~のように見えた 「動詞」
 vencido ベンシト adj. 敗北した 「補語」
 y イ conj. そして
 comprendí コンプレンディ 1 単点(comprender)v.t 理解した、分った 「動詞」
 que ケ conj. ~ということ 「目的語」
 las cosas ラス・コサス n.f 事態は 「主語」
 no iban ノ・イバン 3 複線・時制の一致(ir)v.i 進行していない 「動詞句」
 bien ビエン adv. うまく 「副詞」
 para mí. パラ・ミ adv. 僕にとって 「副詞句」

これ以降、すべてが迅速に進行した。傍聴人も起立して閉廷の礼を行った。

Todo fue muy rápido después. La audiencia se levantó.

「主語」「動詞」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」

Todo トト pron (単数扱い) すべてのことは 「主語」
 fue フェ 3 単点(ir)v.i 進行した、進んだ 「動詞」
 muy rápido マイ・ラピト adv. 非常に急速に 「副詞句」
 después. デスプエス adv. その後は 「副詞」

Segunda parte 第2部

La audiencia ラ・アウデ^ンシア n.f 傍聴者は 「主語」
se levantó. セ・レバン^ト 3 単点(levantarse)

v.pr 立ち上がった、(再帰受動) 起立させられた 「動詞句」

法廷における儀礼

法廷では、開廷時、証人の宣誓時及び閉廷時に、傍聴人を含めて全員が起立して礼をします。

裁判所を出て護送車に向かう間に、ほんの一瞬だが、夏の夜の匂いと色に気が付いた。

Al salir del Palacio de Justicia para subir al coche reconocí en un breve instante el olor
y el color de la noche de verano. 「副詞句」, 「動詞」 「副詞句」 「目的語」

Al +不定詞 アル adv. (時点) ~するとき 「副詞句」

salir サール 不定詞 v.i(de から) 出る 「動詞」

del Palacio de Justicia テル・パ^シオ・デ^ス・フスティ^ア adv. (起点) 裁判所から 「副詞句」

para subir パ^ラ・スビ^{ール} adv. (目的) ~に乗るために 「副詞句」

al coche アル・コ^{チェ} adv. 車に (護送車) 「間接目的語」

reconocí レコ^シ 1 単点(reconocer)v.t 認めた、認識した 「動詞」

en un breve instante エン・ウン・ブ^レベ・インスタン^テ adv. (期間) ほんの一瞬 「副詞句」

el olor エル・オ^{ール} n.m 香りを、匂いを 「目的語」

y イ conj. そして

el color エル・コ^{ロー}ル n.m 色を 「目的語」

de la noche de verano. テ^ス・ラ^ノ・チェ^ス・テ^ス・ラ^ベラ^ノ adj. 夏の夜の 「形容詞句」

走る牢獄の暗闇の中で、疲労の底から現れた、僕が愛した街の、そこで自分が幸せだと感じ
たある時間のすべての聞きなれた物音を聞き取った。

En la oscuridad de la cárcel rodante encontré uno por uno, surgidos de lo hondo de mi
fatiga, todos los ruidos familiares de una ciudad que amaba y de cierta hora en la que
ocurríame sentirme feliz. 「副詞句」 「動詞」 「目的語」

En la oscuridad エン・ラ^ス・オスクリ^ダ adv. 闇の中で 「副詞句」

de la cárcel テ^ス・ラ^カセル adj. 牢獄の 「形容詞句」

rodante ロ^{ダン}テ adj. 走る、動く 「形容詞」

encontré エンコン^{トレ} 1 単点(encontrar)v.t 見つけた 「動詞」

uno por uno, ウ^ノ・ポ^ル・ウ^ノ pron ひとつ一つを 「目的語」

surgidos ス^ルビ^トス 過去分詞(surgir)adj. 現れた 「形容詞」

de lo hondo de mi fatiga, テ^ス・ロ^オント^ス・テ^ス・ミ^{ファ}チ^ガ

adv. (起点) 疲労の底から 「副詞句」

todos los ruidos ト^ドス・ロ^ス・ルイ^トス pl(ruido)n.m すべての物音を 「目的語」

familiares ファミ^{リア}レス adj(familiar).pl 慣れた、聞き馴染んだ 「形容詞」

Segunda parte 第2部

de una ciudad デ・ウナ・シダ adj. 街の 「形容詞句」

que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

amaba アマバ 1 単線(amar)v.t 愛した 「動詞」

y イ conj. そして

de cierta hora デ・シエルタ・ホラ adj. ある時間の 「形容詞句」

en la que エン・ラ・ケ adv. ～した場所の 「副詞句」

ocurríame sentirme feliz. オクリアメ・センチルメ・フェリス 1 単線・思い浮かぶ

(ocurrir+不定詞 sentirse+feliz)

v.pr 自分が幸せだと心に浮かんだ 「動詞句」

夕方の穏やかな大気の中の新聞売りの呼び声、公園の最後の鳥たちの鳴き声、サンドイッチ売りの掛け声、街の高台のカーブで路面電車がきしる音、そして港に夜が近づいてくる前の空のざわめき。これらすべての音が、暗黒の護送車で移動する僕の頭の中で、景色として再構築された。それは、僕が監獄に入る前に良く知っていた道程だ。

El grito de los vendedores de diarios en el aire calmo de la tarde, los últimos pájaros en la plaza, el pregón de los vendedores de emparedados, la queja de los tranvías en los recodos elevados de la ciudad y el rumor del cielo antes de que la noche caiga sobre el puerto, todo esto recomponía para mí un itinerario de ciego, que conocía bien antes de entrar en la cárcel.

「主語」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」 「目的語」, 「目的語」 「動詞」 「副詞句」

El grito エル・グリト n.m 呼び声、あの大声 「主語」

ここからは「非常に長い回想・情景描写」になる。

de デ prep (所有) ～の 「形容詞句」

los vendedores de diarios ロス・ベンデドレス・デ・ディアリオス

pl(vendedor).n.m 新聞売り 「目的語」

en el aire calmo エン・エル・アイレ・カルモ adv. 穏やかな大気の中の 「副詞句」

de la tarde, デ・ラ・タルデ adj. 夕方の 「形容詞句」

los últimos pájaros ロス・ウルチモス・パハロス pl(pájaro).n.m 最後の鳥たち (の鳴き声) 「主語」

en la plaza, エン・ラ・プラサ adv. 広場の、公園の 「副詞句」

el pregón エル・プレゴン n.m (商人の) 売り声 「主語」

de los vendedores de emparedados, デ・ロス・ベンデドレス・デ・エンパレダドス

adj. サンドイッチ売りの 「形容詞句」

la queja ラ・ケハ n.f きしる音、うめき声 「主語」

de los tranvías デ・ロストランビアス adj. 路面電車の 「形容詞句」

en los recodos elevados エン・ロス・レコトス・エレバトス

adv. 高台のカーブで 「副詞句」

Segunda parte 第2部

recodo レコト ^ㇰ n.m	曲がり角、カーブ	elevado エバト ^ㇰ adj.	高い→ 高台	
de la ciudad テ ^ㇰ ・ラ ^ㇰ ・シダ ^ㇰ adj.	街の			「形容詞句」
y イ conj.	そして			
el rumor エル ^ㇰ ・ルモール n.m	ざわめき、物音			「主語」
del cielo テル ^ㇰ ・シエロ adj.	空の			「形容詞句」
antes de アンテス ^ㇰ ・テ ^ㇰ prep	(時間) ~の前の			「副詞句」
que ク conj.	~ということ			「目的語」
la noche ラ ^ㇰ ・ノチェ n.f	夜が			「主語」
caiga カイガ ^ㇰ 接・3 単現(caer)v.i	落ちて来る			「動詞」
sobre el puerto, ソブレ ^ㇰ ・エル ^ㇰ ・プ ^ㇰ ・エルト adv.	港の上に			「副詞句」
todo esto トト ^ㇰ ・エスト pron	(単数扱い) このすべてが			「主語」
recomponía レコンボ ^ㇰ ・ニア 3 単線(recomponer)v.t	作り直した			「動詞」
para mí パ ^ㇰ ・ラ ^ㇰ ・ミ adv.	僕のために			「副詞句」
un itinerario ウン ^ㇰ ・イテネリオ n.m	行程を			「目的語」
de ciego, テ ^ㇰ ・シエコ ^ㇰ adj.	盲目の、暗黒の護送車内での			「形容詞句」
que ケ pron	それを			「目的語」
conocía コノシア 1 単線(conocer)v.t	知っていた			「動詞」
bien ビ ^ㇰ ・エン adv.	よく			「副詞」
antes de entrar アンテス ^ㇰ ・テ ^ㇰ ・エントラル adv.	~に入る前に			「副詞句」
en la cárcel. エン ^ㇰ ・ラ ^ㇰ ・カルセル adv.	監獄に			「副詞句」

Segunda parte 第2部

そうだ、僕がずっと昔に、満足を感じていたあの時刻だ。

Sí, era la hora en la que, hace ya mucho tiempo, me sentía contento.

「間投」, 「動詞」 「補語」

Sí, シ adv. (肯定) そうだ

「間投」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ~である

「動詞」

la hora ラ・ホラ n.f 時刻

「補語」

en la que, エン・ラ・ケ adv. その時に~する

「形容詞節」

hace ya mucho tiempo, アセ・ヤ・ムチヨ・ティエンポ adv. ずっと以前に 「副詞句」

me sentía メ・センチア 1 単線(sentirse)v.pr 自分が~と感じていた 「動詞句」

contento. コンテント adj. 満足した、うれしい

「補語」

その当時はいつも、悪夢の無い安らかな眠りが僕を待っていた。

Entonces me esperaba siempre un sueño ligero y sin pesadillas.

「副詞」 「目的語」 「動詞」 「副詞」 「主語」

Entonces エントンセス adv. その当時

「副詞」

me メ pron 僕を

「目的語」

esperaba エスペラバ 3 単線(esperar)v.t 待っていた

「動詞」

siempre シエンプレ adv. いつも

「副詞」

un sueño ウン・スエニョ n.m 眠りが

「主語」

ligero リヘロ adj. 軽い

「形容詞」

y イ conj. そして

sin pesadillas. シン・ペサディジャス adj. 悪夢のない

「形容詞句」

Segunda parte 第2部

しかしながら、何かが変わってしまった。と言うのは、明日を待ちながらも、またこの独房に戻って居るのだから。

Y sin embargo, había cambiado, pues a la espera del día siguiente fue la celda lo que volví a encontrar. 「副詞句」「動詞句」, 「副詞節」

Y イ conj. そして

sin embargo, シン・エンバルゴ adv. しかしながら 「副詞句」

había cambiado, アビ・ア・カンビ・アト 3 単線・完了形(cambiar)v.i 変わった 「動詞句」

不特定の主語

pues プ・エス conj. (理由) ~なので 「副詞節」

a ア prep (時点) ~に 「副詞句」

la espera ラ・エスペラ n.f (de を) 待つ時間 「目的語」

del día siguiente デル・デ・イ・シギエンテ adj. 翌日を、明日を 「副詞句」

fue フェ 3 単点(ser)v.i ~だった 「動詞」

la celda ラ・セルダ n.f この独房 「補語」

lo que ロ・ケ pron ~するものは 「主語」

volví a encontrar. ボルビ・ア・エンコントラル 1 単点・再度(volver a+不定詞)

v.t また居る、また見つけた 「動詞句」

夏空に描かれた通いなれた道が、牢獄へ通じていると同様に、無垢の眠りにも通じているかのように。

Como si los caminos familiares trazados en los cielos de verano pudiesen conducir tanto a las cárceles como a los sueños inocentes. 「副詞節」

Como si+接続法 コモ・シ conj. まるで~であるかのように 「副詞節」

los caminos familiares ロス・カミノス・ファミリアレス pl(camino).n.m 通いなれた道が「主語」

trazados トラサドス 過去分詞・受動(trazar)

adj. (道を) 通された、描かれた 「形容詞句」

en los cielos de verano エン・ロス・シエロス・デ・ベラノ

adv. 夏空に 「副詞句」

pudiesen conducir プ・デ・イエセン・コンドゥシール 接・3 複過・可能性(poder+不定詞)

v.i (a に) 通じている 「動詞句」

tanto a las cárceles タント・ア・ラス・カルセレス adv. 同様に牢獄へ 「間接目的語」

como a los sueños inocentes. コモ・ア・ロス・スエニョス・イノセンテス

adv. (比較) 同様に無垢の眠りにも 「間接目的語」

Segunda parte 第2部

IV

たとえ被告席に居ても、自分自身のことが話されるのを聞くことはいつも興味深い。

Aun en el banquillo de los acusados es siempre interesante oír hablar de uno mismo.

「副詞句」, 「動詞」 「補語」 「主語」

Aun アウン adv. ～でさえ、～であつても

「副詞句」

en エン prep (場所) ～の中に (いる)

「副詞句」

el banquillo エル・バンキジョ n.m 被告席

「目的語」

de los acusados デ・ロス・アカトス adj. 被告人の

「形容詞句」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である

「動詞」

siempre interesante シエンプレ・インテレサンテ adj. いつも興味深い

「補語」

oír オイル 不定詞 n. 聞くことは

「主語」

hablar ハブラール 不定詞 n.(de ～について) 話すのを

「目的語」

de uno mismo. デ・ウノ・ミスマ adv. 自分自身のことを

「間接目的語」

検事と弁護士の口頭弁論の間を通じて、僕のことが沢山語られたが、恐らく、僕の犯罪についてよりも僕自身についてより多くのことが語られたと言える。

Durante los alegatos del Procurador y del abogado puedo decir que se habló mucho de mí y quizá más de mí que de mi crimen.

「副詞句」, 「動詞句」 「目的語」

Durante ドゥランテ prep (継続) ～の間じゅうずっと

「副詞句」

los alegatos ロス・アレガトス pl(alegato).n.m 口頭弁論

「目的語」

del Procurador デル・プロクラトール adj. 検事の

「形容詞句」

y イ conj. そして

del abogado デル・アボガト adj. 弁護士の

「形容詞句」

puedo decir プエト・デシル 1 単現・可能(poder+不定詞)v.t～とすることが出来る

「動詞句」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

se habló セ・アブラ 3 単点・再帰受動(hablar)v.pr 話された

「動詞句」

mucho de mí ムチョ・デミ pron 僕のことが沢山

「主語」

y イ conj. そして

quizá más de mí キサ・マス・デ・ミ adj. 恐らく僕のことがより多く

「形容詞句」

que de mi crimen. ケ・デ・ミ・クリメン

adv. (比較) 僕の犯罪についてよりも

「副詞句」

Segunda parte 第2部

一方では、双方の口頭弁論にはどれほどの相違があっただろうか？

¿Eran muy diferentes, por otra parte, esos alegatos? 「動詞」「補語」「副詞句」「主語」
 ¿Eran エラン 3 複線・疑問文(ser)v.i. 〜だったろうか？ 「動詞」
 muy diferentes, ムイ・デ・フェロンテス adj. それ程異なる 「補語」
 por otra parte, ポル・オトラ・パルテ adv. 一方で、他方では、その上 「副詞句」
 esos alegatos? エソス・アレガトス pl(alegato).n.m あれらの口頭弁論は 「主語」

弁護士は両腕を振り上げ、僕の有罪を弁護する口実を述べていた。

El abogado levantaba los brazos y defendía mi culpabilidad, pero con excusas.
 「主語」「動詞」「目的語」 y 「動詞」「目的語」「副詞句」
 El abogado エル・アボガト n.m 弁護士は 「主語」
 levantaba レバンタバ 3 単線(levantar)v.t 上げていた 「動詞」
 los brazos ロス・ブラソス pl(brazo)n.m 両腕を 「目的語」
 y イ conj. そして
 defendía デフェンデア 3 単線(defender)v.t 弁護していた 「動詞」
 mi culpabilidad, ミ・クルパ・ビリダ n.f 僕の有罪を 「目的語」
 pero ペロ conj. しかし
 con excusas. コン・エクスサス adv. 言い訳しながら、口実を述べながら 「副詞句」

検事は両手を突き出し、僕の有罪を主張して言い訳は認めなかった。

El Procurador tendía las manos y denunciaba mi culpabilidad, pero sin excusas.
 「主語」「動詞」「目的語」 y 「動詞」「目的語」「副詞句」
 El Procurador エル・プロクラトール n.m 検事は 「主語」
 tendía テンデア 3 単線(tender)v.t 差し出していた、突き出していた 「動詞」
 las manos ラス・manos pl(mano).n.m 両腕を 「目的語」
 y イ conj. そして
 denunciaba デンシアバ 3 単線(denunciar)v.t 訴えていた 「動詞」
 mi culpabilidad, ミ・クルパ・ビリダ n.f 僕の有罪を 「目的語」
 pero ペロ conj. しかし
 sin excusas. シン・エクスサス adv. 言い訳無しに 「副詞句」

Segunda parte 第2部

しかし、一つのことを、僕には漠然と気にかかっていた。

Una cosa, empero, me molestaba vagamente.

「主語」, empero, 「目的語」 「動詞」 「副詞」

Una cosa, ウナ・コサ n.f 一つ

「主語」

empereo, エンペロ conj.(= pero, sin embargo) しかし

me メ pron 僕を

「目的語」

molestaba モレスタバ 3 単線・時制の一致(molestar)v.t 邪魔をしている

「動詞」

vagamente. バガメンテ adv. 漠然と

「副詞」

気がかりはあったが、僕は時々弁論に参加したい誘惑にかられた。すると弁護士は、「黙っていなさい。その方が、弁護側には都合がよいから」と僕に言った。

Pese a mis preocupaciones estaba a veces tentado de intervenir y el abogado me decía entonces: "Cállese, conviene más para la defensa."

「副詞句」 「動詞句」 「副詞句」 「動詞句」 y 「主語」 「間接目的語」 「動詞」 「副詞」:

《「動詞句」, 「動詞」 「副詞句」》

Pese a + 名詞・不定詞 ペーセ・ア adv. (譲歩) ～にも関わらず

「副詞句」

mis preocupaciones ミス・プレオクパシオネス

pl(preocupacion).n.f 僕の心配、気がかり

「目的語」

estaba ...tentado de intervenir エスタバ ...テンタド・デ・インテルベンニール 1 単線・受動

(tentar)v.t(de+不定詞 ～する) 参加する誘惑にかられた

「動詞句」

a veces ア・ベセス adv. 時々

「副詞句」

y イ conj. そして、その時には、すると

el abogado エル・アボガド n.m 弁護士が

「主語」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

decía デシア 3 単線(decir)v.t 言っていた

「動詞」

entonces: エントンセス adv. その時

「副詞」

"Cállese, カジェセ 命・3 単現(callarse)v.pr 黙っていなさい

「動詞句」

conviene コンビエネ 3 単現(convenir)v.i 都合が良い、相応しい

「動詞」

más マス adv. もっと、より多く

「副詞」

para la defensa." パラ・ラ・デフェンサ adv. 弁護側としては

「副詞句」

Segunda parte 第2部

ある意味、僕の事件は僕をそっちのけにして処理されているように思われた。

En cierto modo parecían tratar el asunto prescindiendo de mí.

「副詞句」, 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」

En cierto modo エン・シエルト・モト adv. ある意味では、ある程度は

「副詞句」

parecían tratar パレシアン・トラタル 3 複線・見える(parecer+不定詞 tratar)

v.t 取り扱っているように見える

「動詞句」

不特定の三人称複数を受動態に翻訳する

el asunto エル・アスト n.m 僕の事件

「目的語」

prescindiendo プレシンディエント 現在分詞・同時(prescindir)

v.i(de を) なしで済ませて

「副詞句」

de mí. デ・ミ adv. 僕を

「間接目的語」

すべてが僕を介さずに進行した。

Todo se desarrollaba sin mi intervención.

「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Todo トト pron すべてが

「主語」

se desarrollaba セ・デサロジャバ 3 単線(desarrollarse)v.pr 進んで行った

「動詞句」

sin mi intervención. シン・ミ・インテルベンシオン adv. 僕を介さずに

「副詞句」

僕の運命は、僕の意見を求めることなく決定されていた。

Mi suerte se decidía sin pedirme la opinión.

「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Mi suerte ミ・スエルテ n.f 僕の運命は

「主語」

se decidía セ・デシディア 3 単線・再帰受動(decidirse)v.pr 決定されていた

「動詞句」

sin pedirme la opinión. シン・ペディール・メ・ラ・オピニオン adv. 僕の意見を求めずに

「副詞句」

時々、皆の話を遮って、言ってやりたい衝動に駆られた：

De vez en cuando sentía deseos de interrumpir a todos y decir:

「副詞句」 「動詞」 「目的語」

De vez en cuando デ・ベス・エン・クワント adv. 時々

「副詞句」

sentía センチア 1 単線(sentir)v.t ~を感じた

「動詞」

deseos デセオス pl(deseo).n.m 欲望を

「目的語」

de interrumpir デ・インテルピール 不定詞・同格 adj. ~を遮るという

「形容詞句」

a todos ア・トドス pron 皆を

「目的語」

y イ conj. そして

decir: デシル 不定詞・同格 adj. 言う

「形容詞句」

Segunda parte 第2部

「しかし、結局、誰が被告だということか？被告であるというのは重要な事だ。それに、僕だ
って言いたいことがある」

"Pero, al fin y al caso, ¿quién es el acusado? Es importante ser el acusado. Y yo tengo algo que decir."

《Pero 「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」

「動詞」「補語」「主語」 | Y 「主語」「動詞」「目的語」》

"Pero, ^{ペロ} conj. しかし

al fin y al caso, アル・フィン・イ・アル・カ adv. 結局、要するに

「副詞句」

¿quién ^{キエン} pron 誰が

「主語」

es ^{エス} 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

el acusado? エル・アクサド^ト n.m 被告

「補語」

Es ^{エス} 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

importante ^{インポ^ルタンテ} adj. 重要な

「補語」

ser ^{セル} 不定詞 v.i ~であるという事は

「主語」

el acusado. エル・アクサド^ト n.m 被告

「補語」

Y ^イ conj. それに

yo ^{ジョ} pron 僕は

「主語」

tengo ^{テンコ} 1 単現(tener)v.t ~がある

「動詞」

algo que decir." アルコ^コ・ケ・デシル^{シル} pron 何か言うことが

「目的語」

しかし、よく考えてみると、言いたいことなど何も無かった。

Pero pensándolo bien no tenía nada que decir. Pero 「副詞句」, 「動詞句」「目的語」

Pero ^{ペロ} conj. しかし

pensándolo ^{ペンサント^ト・ロ} 現在分詞・条件(pensar)adv. それについて考えてみると「副詞句」

bien ^{ビエン} adv. よく

「副詞」

no tenía ^{ノ・テニア} 1 単線・否定(tener)v.t ~がなかった

「動詞句」

nada que decir. ナダ^ダ・ケ・デシル^{シル} pron いう事が何も~ない

「目的語」

一方では、他人の注目を集めるのが面白いということは、あまり長続きしない。

Por otra parte, debo reconocer que el interés que uno encuentra en atraer la atención de la gente no dura mucho. 「副詞句」, 「動詞句」「目的語」

Por otra parte, ^{ポ^ル・オ^{トラ}・ハ^ルテ} adv. 一方、他方

「副詞句」

debo reconocer ^{デボ^ボ・レコ^ノセル} 1 単現・義務(deber+不定詞 reconocer)

v.t ~を認めなければならない

「動詞句」

que ^ケ conj. ~ということ

「目的語」

el interés ^{エル・インテ^{レス}} n.m 関心は、興味は

「主語」

que ^ケ conj. (同格) ~するという

「形容詞節」

Segunda parte 第2部

uno ユノ pron 人が	「主語」
encuentra エンケントラ 3 単現(encontrar)v.t 見つける	「動詞」
en atraer エン・アトラエル 不定詞	
adv. (対象) ～を引き付けることに対して	「間接目的語」
la atención ラ・アテンシオン n.f 注目を	「目的語」
de la gente デ・ラ・ヘンテ	
adj. 人々の	「形容詞句」
no dura ノ・ドゥラ 3 単現・否定(durar)v.i 続かない	「動詞句」
mucho. ムチョ adv. 長い間	「副詞」

例えば、検事の口頭弁論には、ぼくはすぐに飽きた。

Por ejemplo, el alegato del Procurador me fatigó muy pronto.

	「副詞句」, 「主語」 「目的語」 「動詞」 「副詞句」
Por ejemplo, ホル・エヘンプロ adv. 例えば	「副詞句」
el alegato エル・アレガト n.m 口頭弁論は	「主語」
del Procurador テル・プロクラトール adj. 検事の	「形容詞句」
me メ pron 僕を	「目的語」
fatigó ファチゴ 3 単点(fatigar)v.t 疲れさせた、退屈させた	「動詞」
muy pronto. ムイ・プロント adv. すぐに	「副詞句」

僕の注意を引きつけたり、僕の興味を呼び起こしたのは、断片的な言葉や身振り、あるいは一続きの言葉であっても全体とは脈絡が無いものだけだった。

Sólo me llamaron la atención o despertaron mi interés fragmentos, gestos o tiradas enteras, pero separadas del conjunto.

	「副詞」 「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」 o 「動詞」 「目的語」 「主語」
Sólo ソロ adv. ただ～	「副詞」
me メ pron 僕の	「間接目的語」
llamaron シャマロン 3 複点(llamar)v.t 引き付けた	「動詞」
la atención ラ・アテンシオン n.f 注意を	「直接目的語」
o オ conj. または	
despertaron デスパルタロン 3 複点(despertar)v.t 呼び起こした	「動詞」
mi interés ミ・インテレス n.m 僕の興味を	「目的語」
fragmentos, フラグメントス pl(fragmento).n.m 断片が	「主語」
gestos ヘストス pl(gesto).n.m 身振りが	「主語」
o オ conj. または	
tiradas enteras, チラダス・エンテラス pl(tirada).n.f 一続きの言葉が	「主語」

Segunda parte 第2部

pero ペロ conj. しかし

separadas セパラダス pl(separada).n.f 分離したもの

「主語」

del conjunto. デル・コンフント adv. 全体から

「副詞句」

僕の理解が十分なら、彼の考え方の根底は僕が犯行を入念に準備していたという点だ。

Si he comprendido bien, el fondo de su pensamiento es que yo había premeditado el crimen.

「副詞節」, 「主語」「動詞」「補語」

Si シ conj. (仮定) もし～ならば

「副詞節」

he comprendido エ・コンプレンディト 1 単現・完了形(comprender)

v.t 理解した、分った

「動詞句」

bien, ビエン adv. よく、十分に

「副詞」

el fondo エル・フォント n.m 根本は

「主語」

de su pensamiento デ・ス・ペンサミエント adj. 彼の考え方の

「形容詞句」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である

「動詞」

que ケ conj. ～ということ

「補語」

yo ジョ pron 僕は

「主語」

había premeditado アビア・プレメディト 1 単線・完了形(premeditar)

v.t 入念に準備していた

「動詞句」

el crimen. エル・クリメン n.m 犯行を、犯罪を

「目的語」

少なくとも、彼はそれを証明しようと試みた。

Por lo menos, trató de demostrarlo.

「副詞句」「動詞句」

Por lo menos, ホル・ロ・メノス adv.(= al menos) 少なくとも

「副詞句」

trató de demostrarlo. トラト・デ・デモストラル・ロ 3 単点・試行(tratar de +不定詞 demostrar+lo)

v.t それを証明しよう試みた

「動詞句」

彼自身が言っていた言葉は：「それを証明しましょう。それも2種類のやり方で」

Como él mismo decía: "Lo probaré, señores, y lo probaré doblemente.

Como 「主語」「動詞」：《「目的語」「主語」, 「呼びかけ」, y 「目的語」「主語」「副詞」》

Como コモ conj. ～のように

él mismo エル・ミスト pron 彼自身が

「主語」

decía: デシア 3 単線(decir)v.t 言っていた

「動詞」

"Lo pron それを

「目的語」

probaré, プロバレ 1 単未・意志(probar)v.t 証明しましょう

「動詞」

señores, セヨレス pl.n.m 皆さん

「呼びかけ」

y イ conj. そして

Segunda parte 第2部

lo ㇿ pron それを 「目的語」
 probaré プロバレ 1 単未・意志(probar)v.t 証明しましょう 「動詞」
 doblemente. トブレメンテ adv. 2 重に 「副詞句」

「まず最初に、事実の有するまばゆい光の下で。そして次に、この罪深い魂の心理を私が理解できるように導いてくれる薄暗い照明の中で」

Bajo la deslumbrante claridad de los hechos, en primer término, y enseguida, en la oscura iluminación que me proporcionará la psicología de esta alma criminal."

《「副詞句」,y「副詞句」》

Bajo バホ prep (条件) ーの下で 「副詞句」
 la deslumbrante claridad ラ・デスルンブランテ・クラリダ n.f まばゆい光 「目的語」
 de los hechos, デ・ロス・エチョス adj. 事実の、行為の 「形容詞句」
 en primer término, エン・プリメル・テルミノ adv. (英語: first of all) まず最初に 「副詞句」
 y イ conj. そして
 enseguida, エンセギダ adv. すぐに 「副詞」
 en la oscura iluminación エン・ラ・オスクラ・イルミナシオン adv. 薄暗い照明の中で 「副詞句」
 que ケ pron (主語) ーする 「形容詞節」
 me メ pron 私に 「間接目的語」
 proporcionará プロポルシオラ 3 単未(proporcionar)
 v.t (感情を) 引き起こすだろう 「動詞」
 la psicología ラ・プシコロヒア
 n.f 心理の把握、心理状態、心理学 「直接目的語」
 de esta alma criminal." デ・エスタ・アルマ・クリミナル
 adj. この罪深い魂の 「形容詞句」

彼は、母さんの死から始めて、出来事を要約した。

Resumió los hechos a partir de la muerte de mamá. 「動詞」「目的語」「副詞句」
 Resumió レスミオ 3 単点(resumir)v.t 要約した 「動詞」
 los hechos ロス・エチョス pl(hecho).n.m 出来事を 「目的語」
 a partir de ア・パルチール・デ prep (起点) ーから始めて 「副詞句」
 la muerte de mamá. ラ・ムエルテ・デ・ママ n.f 母さんの死 「目的語」

Segunda parte 第2部

彼は、僕の冷淡さ、母さんの年齢を知らなかったこと、翌日に女と海水浴に行ったこと、フェルナンデルの映画、最後には、マリーと一緒に帰宅したことなどを並べ立てた。

Recordó mi insensibilidad, mi ignorancia sobre la edad de mamá, el baño del día siguiente con una mujer, el cine Fernandel, y por fin, el retorno con María.

「動詞」「目的語」

Recordó レコルト 3 単点(recordar)v.t 思い出させた、並べあげた

「動詞」

mi insensibilidad, ミ・インセンシビリダ n.f 僕の冷淡さ

「目的語」

mi ignorancia ミ・イクノランシア n.f 知らない事

「目的語」

sobre la edad de mamá, ソブレ・ラ・エダ・デ・ママ adj. 母さんの年齢について「副詞句」

el baño エル・バンニョ n.m 海水浴

「目的語」

del día siguiente con una mujer, デル・デイ・シギエンテ・コン・ウナ・ムヘール

adj. 翌日に女との

「形容詞句」

el cine, Fernandel, エル・シネ・フェルナンデル n.m フェルナンデルの映画

「目的語」

y, イ conj. そして

por fin, ポール・フィン adv. 最後に

「副詞句」

el retorno con María. エル・レトルノ・コン・マリア n.m マリーと一緒にの帰宅

「目的語」

その時、彼の話を理解するには時間が必要だった。というのは、検事が「彼の愛人」と言ったが、僕にとってはマリーはマリーなのだから。

Necesité tiempo para comprenderle en ese momento porque decía "su amante" y para mí ella era María.

「動詞」「目的語」「副詞句」「副詞節」 y 「副詞句」「主語」「動詞」「補語」

Necesité ネシテ 1 単点(necesitar)v.i 必要だった

「動詞」

tiempo テイエンポ n.m 時間が

「目的語」

para +不定詞 パラ adv. (目的) ~するために

「副詞句」

comprenderle コンプレンデル・レ 不定詞(comprender+le)v.t 話を理解する

「動詞句」

en ese momento エン・エセ・モメント adv. この時

「副詞句」

porque ポルケ conj. (理由) ~なので

「副詞節」

decía デシア 3 単線(decir)v.t 言っていた

「動詞」

"su amante" ス・アマンテ n.f 彼の愛人

「目的語」

y イ conj. (譲歩) しかし

para mí パラ・ミ adv. 僕にとっては

「副詞句」

ella エジャ pron 彼女は

「主語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ~である

「動詞」

María. マリア n.f マリー

「補語」

Segunda parte 第2部

次に、レーモンについて語り始めた。

Después se refirió a la historia de Raimundo. 「副詞」「動詞句」「間接目的語」Después デスプ^スエス adv. 次に 「副詞」se refirió セ^レフィロ 3 単点(referirse)v.pr (a) に関して述べた 「動詞句」a la historia ア^ラ・イストリア adv. 話に 「間接目的語」de Raimundo. デ^レ・ライムント^ト adj. レーモンの 「形容詞句」

彼が事実関係を理解するやり方は全く明晰だと僕は思った。

Me pareció que su manera de ver los hechos no carecía de claridad.

「間接目的語」「動詞」「主語」

Me メ pron 僕には 「間接目的語」

pareció パ^レシオ 3 単点(parecer)v.i 〜と思われた 「動詞」

que ケ conj. 〜ということ 「主語」

su manera ス^マネラ n.f 彼の方法は 「主語」de ver デ^ベール 不定詞・目的 adv. 見るための 「副詞句」los hechos ロス^エ・エチョス pl(hecho).n.m 事実関係を 「目的語」no carecía ノ^カレシア 3 単線・否定(carecer)v.i(de を) 欠かない 「動詞句」de claridad. デ^レ・クラリダ^ダ adv. 明晰さを 「間接目的語」

彼の言う事はもっともだった。

Lo que decía era plausible. 「主語」「動詞」「補語」

Lo ロ pron その事は 「主語」

que ケ pron (目的語) 〜する 「形容詞節」

decía デ^シア 3 単線・時制の一致(decir)v.t 言う 「動詞」era エ^ラ 3 単線(ser)v.i 〜だった 「動詞」plausible. プ^ラウソブレ^レ adj. もっともらしい、納得できる 「補語」

Segunda parte 第2部

僕はレーモンの求めに応じて手紙を書き、愛人をおびき出し、「道德性の疑わしい」者に彼女の制裁をまかせようとした。

De acuerdo con Raimundo yo había escrito la carta que debía atraer a la amante y entregarla a los malos tratos de un hombre de "dudosa moralidad."

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

De acuerdo con Raimundo デ・アクェルト・コン・ライムント adv. レーモンの求めに応じて「副詞句」

De acuerdo con... 「～に従って、～に従えば、～と一致した」

yo ジョ pron 僕は「主語」

había escrito アビ・ア・エスクリト 1 単線・完了形(escribir)v.t. ～を書いた「動詞句」

la carta ラ・カルタ n.f 手紙を「目的語」

que ケ pron (主語) ～する「形容詞節」

debía atraer デ・ビ・ア・アトラエル 3 単線・推定(deber+不定詞 atraer)

v.t. おびき出そうとした「動詞句」

a la amante ア・ラ・アマンテ n.f 愛人を「目的語」

y イ conj. そして

entregarla エントレガール・ラ 3 単線・推定(deber+不定詞 entregar+la)

v.t. 彼女を引き渡そうとした「動詞句」

a los malos tratos ア・ロス・マロス・トラトス adv. 制裁に「間接目的語」

malo マロ adj. 悪い trato トラト n.m 待遇 malos tratos マロス・トラトス pl.n.m 制裁、虐待

de un hombre デ・ウン・オンブレ adj. 人の「形容詞句」

de "dudosa moralidad." デ・ドゥダ・サ・モラリダ

adj. 道德性の疑わしい「形容詞句」

僕は浜辺でレーモンの敵対者たちを挑発した。

Yo había provocado en la playa a los adversarios de Raimundo.

「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

Yo ジョ pron 僕は「主語」

había provocado アビ・ア・プロボカト 1 単線・完了形(provocar)v.t. 挑発した「動詞句」

en la playa エン・ラ・プラジャ adv. 浜辺で「副詞句」

a los adversarios ア・ロス・アドベルサリオス pl(adversario).n.m 敵対者を「目的語」

de Raimundo. デ・ライムント adj. レーモンの「形容詞句」

Segunda parte 第2部

レーモンは負傷した。僕は彼の拳銃を借りた。それを使おうとして、一人で戻った。

Este había resultado herido. Yo le había pedido el revólver. Había vuelto sólo para utilizarlo. 「主語」「動詞句」「補語」 | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」「動詞句」「副詞句」

Este エステ pron レーモンは 「主語」
 había resultado アビ・ア・レスルト^ゝ 3 単線・完了形・結果(resultar)
 v.i (+補語) ~の結果になった 「動詞句」
 herido. エルト^ゝ adj. 負傷した 「補語」
 Yo ジョ pron 僕は 「主語」
 le レ pron 彼の 「間接目的語」
 había pedido アビ・ア・ペディト^ゝ 1 単線・完了形(pedir)v.t 借りた 「動詞句」
 el revólver. エル・レボルバー^ル n.m 拳銃を 「直接目的語」
 Había vuelto アビ・ア・ブエルト 1 単線・完了形(volver)v.i 戻った 「動詞句」
 sólo ソロ adv. 一人で 「副詞」
 para utilizarlo. パラ・ウチサル^{・ロ} adv. (目的) それを使うために 「副詞句」

計画どおりアラブ人を撃ち倒す。1度発射して、待つ。

Había abatido al árabe, tal como lo tenía proyectado. Había disparado una vez. Había esperado. 「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「動詞句」「目的語」 | 「動詞句」
 Había abatido アビ・ア・アバチト^ゝ 1 単線・完了形(abatir)v.t 撃ち倒した 「動詞句」
 al árabe, アル・アラベ^ゝ n.m アラブ人を 「目的語」
 tal como lo タル・コモ^{・ロ} adv. (方法) そのように 「副詞句」
 tenía proyectado. テニア・プロイェクト^ゝ 1 単線・完了形(proyectar)
 v.t 計画していた 「動詞句」
 Había disparado アビ・ア・ディスパラト^ゝ 1 単線・完了形(disparar)v.t 発射した 「動詞句」
 una vez. ウナ・ベス n.f 一度、一発 「目的語」
 Había esperado. アビ・ア・エスパラト^ゝ 1 単線・完了形(esperar)v.i 待つ 「動詞句」

Segunda parte 第2部

それから、「仕事が確実に成し遂げられるように」、ある意味入念な準備に基づいて、瀕死の標的に対して落ち着き払ってさらに4発を撃ち込んだのです。

Y "para estar seguro de que el trabajo estaba bien hecho", había disparado aún cuatro balas, serenamente, con el blanco asegurado, de una manera, en cierto modo, premeditada. Y 《「副詞句」》, 「動詞句」「直接目的語」「副詞」「間接目的語」, 「副詞句」
Y イ conj. そして

"para +不定詞 adv. (目的) ～するように 「副詞句」
estar エスタール 不定詞・変化 v.i ～になる 「動詞」
seguro セグロ adj. 確実な 「補語」
de que デ・ケ adv. (内容) ～ということが 「副詞節」
el trabajo エル・トラバホ n.m 仕事が 「主語」
estaba bien hecho", エスタハ・ビエン・エチョ 3 単線・受動(haver)
v.t 上手くいった 「動詞句」
había disparado アビア・デイスパラト 1 単線・完了形(disparar)v.t 発射した 「動詞句」
aún cuatro balas, アウン・クワトロ・バラス pl(bala).n.f さらに4発 「直接目的語」
serenamente, セレメンテ adv. 落ち着き払って 「副詞」
con el blanco asegurado, コン・エル・ブランコ・アセグラト adv. 確実な標的に対して「間接目的語」
blanco ブランコ n.m 標的 asegurado アセグラト adj. 確実な、瀕死の、的を外さない
de una manera, en cierto modo, デ・ウナ・マネラ・エン・シエルト・モト
adv. (手段) ある意味～の方法で 「副詞句」
premeditada. プレメディタダ 過去分詞・受動(premeditar)
adj. 入念に準備された 「形容詞」

「以上です、皆さん」と、検事は言った：

"Y bien, señores", dijo el Abogado General: 《「呼びかけ」》, 「動詞」「主語」
"Y bien, señores", イ・ビエン・セニョレス adv. 以上です皆さん 「呼びかけ」
dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
el Abogado General: エル・アボガド・ケネラル n.m 検事は 「主語」

Segunda parte 第2部

「この男が十分な認識を持って殺人に至った出来事の糸を、皆さんの前に再構築しました」

"Acabo de reconstruir delante de ustedes el hilo de acontecimientos que condujo a este hombre a matar con pleno conocimiento de causa. 《「動詞句」「副詞句」「目的語」》

"Acabo de reconstruir アカボ・デ・レコンストルイール 1 単現・完了(acabar de+不定詞)

v.t 再構築した 「動詞句」

delante de ustedes デランテ・デ・ウステデス adv. 皆さんの前に 「副詞句」

el hilo エル・イロ n.m 糸を 「目的語」

de acontecimientos デ・アコンテシメントス adj. 出来事の 「形容詞句」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

condujo コントゥホ 3 単点(conducir)v.t 導いた 「動詞」

a este hombre ア・エステ・オンブレ n.m この男を 「目的語」

a matar ア・マタル 不定詞・hombre の動作

v.t 殺人する 「補語」

con pleno conocimiento コン・プレノ・コノシメント

adv. 十分な認識を持って 「副詞句」

de causa. デ・カウサ adj. 理由の 「形容詞句」

「私はこの部分を強調したい」と、検事は言った。「なぜならこれは、普通の事件、すなわち皆さんが情状酌量を検討できるような殺人事件ではないのです」

Insisto en esto", dijo, "pues no se trata de un asesinato común, de un acto irreflexivo que ustedes podrían considerar atenuado por las circunstancias.

《「動詞」「間接目的語」》, 「動詞」, 《pues 「動詞句」「補語」, 「補語」》

Insisto インシスト 1 単現・意志(insistir)v.i 強調したい 「動詞」

en esto", エン・エスト adv. (場所) この部分を 「間接目的語」

dijo, ディホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

"pues プエス conj. ~なので、なぜなら~

no se trata ノ・セ・トラタ 3 単現(tratarse)v.pr(de について) 話は~でない 「動詞句」

de un asesinato デ・ウン・アセシナト adv. 殺人について 「補語」

común, コムン adj. 一般の、通常の、普通の 「形容詞」

de un acto irreflexivo デ・ウン・アクト・イレフレスィボ adv. 無分別の行為について 「補語」

que ケ conj. (同格) ~という 「形容詞節」

ustedes ウステデス pron.pl 皆さんが 「主語」

podrían considerar ポ・トリアン・コンシデラール 3 複過未・可能・推量(poder+不定詞)

v.t 考えうるかもしれない 「動詞句」

atenuado アテヌアト n.m 情状酌量を 「目的語」

por las circunstancias. ポル・ラス・シルクンスタンスias adv. 状況ゆえに 「副詞句」

Segunda parte 第2部

「この人物は、皆さん！、この人物は頭脳明晰です」

Este hombre, señores, este hombre es inteligente.

《「主語」, 「呼びかけ」, 「主語」 「動詞」 「補語」》

Este hombre, エステ・オンブレ n.m この男は、この人物は 「主語」

señores, セニョーレス pl.n.m 皆さん 「呼びかけ」

este hombre エステ・オンブレ n.m この男は、この人物は 「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

inteligente. インテリヘンテ adj. 賢い、頭脳明晰な 「補語」

「彼の話をお聞きになりませんでしたか？彼は答弁の仕方を心得ています」

Ustedes le han oído, ¿no es cierto? Sabe contestar.

《「主語」 「目的語」 「動詞句」, 「動詞句」 「補語」 | 「動詞句」》

Ustedes ウステデス pron.pl 皆さんは 「主語」

le レ pron 彼の話 「目的語」

han oído, アン・オイト 3 複現・完了形(oír)v.t 聞いた 「動詞句」

¿no es ノ・エス 3 単現・否定・疑問文(ser)v.i ~でありますか？ 「動詞句」

cierto? シェルト adj. 確実な 「補語」

Sabe contestar. サベ・コンテスター 3 単現・知る(saber+不定詞)

v.t 答弁の方法を知っている 「動詞句」

「彼は言葉の重要性を知っています。従って、彼が自分が行ったことの意味も分からずに行動したなどという事はありません」

Conoce el valor de las palabras. Y no es posible decir que ha actuado sin darse cuenta de lo que hacía".

《「動詞」 「目的語」 | Y 「動詞」 「補語」 「主語」》

Conoce コノセ 3 単現(conocer)v.t 知っている 「動詞」

el valor エル・バロール n.m 価値、重要性 「目的語」

de las palabras. デ・ラス・パラブラス adj. 言葉の 「形容詞句」

Y イ conj. そして

no es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i ~でない 「動詞」

posible ポシブレ adj. 可能な 「補語」

decir デシル 不定詞 n.(que ~と) 言う事は 「主語」

que ケ conj. ~ということを 「目的語」

ha actuado ア・アクトアト 3 単現・完了形(actuar)v.i 行動した 「動詞句」

sin+不定詞 シン adv. ~せずに 「副詞句」

darse cuenta de ダルセ・クエンタ・デ 不定詞 v.t ~に気付く 「動詞句」

Segunda parte 第2部

lo ロ pron そのこと 「目的語」
 que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 hacía". アシア 3 単線(hacer)v.t 自分が行った 「動詞」

僕は注意深く聞いていた。すると、僕のことを頭脳明晰であると言っているのが聞こえた。

Yo escuchaba y oía que se me juzgaba inteligente.

「主語」「動詞」 y 「動詞」「目的語」
 Yo ジョ pron 僕は 「主語」
 escuchaba エスクチャハ 1 単線(escuchar)v.t 注意深く聞いていた 「動詞」
 y イ conj. そして
 oía オイ 1 単線(oír)v.t ～と聞こえた 「動詞」
 que ケ conj. ～ということ 「目的語」
 se セ pron 人は 「主語」
 me メ pron 僕を 「目的語」
 juzgaba フスカハ 3 単線(juzgar)v.t 判断している 「動詞」
 inteligente. インテリヘンテ adj. 賢い、頭脳明晰な 「補語」

しかし、普通の人間にとっては長所なのに、犯罪者に対しては反対に短所になってしまうのかがよく理解できなかった。

Pero no comprendía bien cómo las cualidades de un hombre común podían convertirse en cargos aplastantes contra un culpable. Pero 「動詞句」「主語」「目的語」

Pero ペロ conj. しかし
 no comprendía ノコンプレンディア 1 単線・否定(comprender)v.t 理解できなかった 「動詞句」
 bien ビエン adv. (否定文で) よく～ない 「副詞」
 cómo コモ adv. どうして～かということ 「目的語」
 las cualidades ラス・クワリダデス pl(cualidad).n.f 長所が 「主語」
 de un hombre común テ・ウン・オンブレ・コムン adj. 普通の人間の 「形容詞句」
 podían convertirse ポディアン・コンベルチルセ 3 複線・可能・可能性(poder+不定詞)
 v.pr 変わるだろう 「動詞句」
 en cargos aplastantes エン・カルコス・アプレスタンテス
 adv. 短所に、非難すべきものに 「補語」
 cargo カゴ n.m 非難、荷重 aplastante アプレスタンテ adj. 押しつぶす、圧倒的な
 contra un culpable. コントラ・ウン・クルパブレ
 adv. 犯罪者には反対に 「副詞句」

Segunda parte 第2部

少なくとも、このことが僕には違和感があった。それで彼が次のように話すまではもう検事の話聞いていなかった：

Por lo menos, era esto lo que me chocaba y no escuché más al Procurador hasta el momento en que le oí decir:

「副詞句」「動詞」「主語」「補語」 y 「動詞句」「副詞」「間接目的語」「副詞句」
 Por lo menos, ホル・ロ・メノス adv.(= al menos) 少なくとも 「副詞句」
 era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」
 esto エスト pron これは 「主語」
 lo ロ pron それ 「補語」
 que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 me メ pron 僕にとって 「間接目的語」
 chocaba チョカバ 3 単線(chacar)v.i 違和感を与える 「動詞」
 y イ conj. そして
 no escuché ノ・エスカチェ 1 単点・否定(escuchar)v.i(a の話を) 聞いていなかった 「動詞句」
 más マス adv. (否定文で) もう~ない 「副詞」
 al Procurador アル・プロクラトール adv. 検事の話 「間接目的語」
 hasta el momento アスタ・エル・モメント adv. ~する時まで 「副詞句」
 en que エン・ケ adv. ~する 「副詞節」
 le レ pron 彼が 「目的語」
 oí オイ 1 単点(oír)v.t 聞いた 「動詞」
 decir: デシール 不定詞・le の動作 v.i 話す 「補語」

「もしかして、少なくとも悔恨の情を示したことがあったでしょうか？皆さん、一度もありません。その上、この被告はただの一度も己の犯した嫌悪すべき犯罪に動揺した様子も見せませんでした」

"¿Acaso ha demostrado por lo menos arrepentimiento? Jamás, señores. Ni una sola vez en el curso de la instrucción este hombre ha parecido conmovido por su abominable crimen." 《「副詞」「動詞句」「副詞句」「目的語」 | 「呼びかけ」「主語」「動詞句」「補語」》

"¿Acaso アカソ adv. もしかして 「副詞」
 ha demostrado ア・デモストラド 3 単現・完了形(demostrar)
 v.t 明らかにした、明示した 「動詞句」
 por lo menos ホル・ロ・メノス adv. 少なくとも 「副詞句」
 arrepentimiento? アレペンチメント n.m 後悔、悔恨の情 「目的語」
 Jamás, señores. ハマス・セヨレス adv. 皆さん、一度もありませんでした 「呼びかけ」
 Ni una sola vez ニ・ウナ・ソラ・ベス adv. (否定の連続) それにただの一度も 「副詞句」
 en el curso de la instrucción エン・エル・クルソ・デ・ラ・インストラクシオン

Segunda parte 第2部

adv. 予審の経過において 「副詞句」
 este hombre エステ・オンブレ n.m この男は、被告は 「主語」
 ha parecido ア・パレイト 3 単現・完了形(parecer)v.i ーのように見えた 「動詞句」
 conmovido コンモビト 過去分詞・受動(conmover)adj. 動揺した 「補語」
 por su abominable crimen." ポル・ス・アボミナブレ・クリメン
 adv. (原因) 己の嫌悪すべき犯罪のために 「副詞句」
 abominable アボミナブレ adj. 嫌悪すべき crimen クリメン n.m 犯罪

その時、検事は僕の方へ振り返って、僕を指さして威圧し続けた。僕はその理由が良く分
 らなかった。

En ese momento se volvió hacia mí, me señaló con el dedo, y continuó abrumándome sin que pudiera comprender bien por qué.

「副詞句」「動詞句」「副詞句」「目的語」, 「目的語」「動詞」「副詞句」 y 「動詞句」「副詞節」
 En ese momento エン・エセ・モメント adv. その時 「副詞句」
 se volvió セ・ボルビオ 3 単点(volverse)v.pr 振り返った 「動詞句」
 hacia mí, アシア・ミ adv. 僕の方へ 「副詞句」
 me メ pron 僕を 「目的語」
 señaló セニャロ 3 単点(señalar)v.t (con ーで) 指し示した 「動詞」
 con el dedo, コン・エル・デト adv. (手段) 指で 「副詞句」
 y イ conj. そして
 continuó abrumándome コンチヌオ・アブルマント・メ 3 単点・継続(continuar+現在分詞 abrumar)
 v.t 僕を威圧し続けた 「動詞句」
 sin que シン・ケ conj. ーすることなく 「副詞節」
 pudiera comprender プデイエラ・コンプレンデール 接・1 単過・可能・時制の一致(poder+不定詞)
 v.t 理解できない 「動詞句」
 bien ビエン adv. よく 「副詞」
 por qué. ポル・ケ adv. (理由) どうしてかということを 「目的語」

恐らく、彼が正しいと認めざるをえなかった

Sin duda no podía dejar de reconocer que tenía razón. 「副詞句」「動詞句」「目的語」

Sin duda シン・トゥダ adv. 恐らく、たぶん 「副詞句」
 no podía dejar de reconocer ノ・ポデア・デハル・デ・レコセル 1 単線・可能・否定・停止
 (poder+不定詞 dejar+de+不定詞)v.t 認めるのを止めることは出来なかった 「動詞句」
 que ケ conj. ーということを 「目的語」
 tenía テニア 3 単線(tener)v.t ーがある 「動詞」
 razón. ラソン n.f 道理 「目的語」

Segunda parte 第2部

僕は自分の行為をあまり後悔していなかった。しかし、これほどの残忍さには驚いた。

No lamentaba mucho mi acto. Pero tanto encarnizamiento me asombraba.

「動詞句」「副詞」「目的語」 | Pero 「副詞句」「動詞句」

No lamentaba ノ・ラメントバ 1 単線・否定(lamentar)v.t 後悔していなかった 「動詞句」

mucho ムチョ adv. (否定文で) あまり～ない 「副詞」

mi acto. ミ・アクト n.m 自分の行為を 「目的語」

Pero ペロ conj. しかし

tanto encarnizamiento タント・エンカニザミエント adv. (理由) それほどの残忍さに 「副詞句」

me asombraba. メ・アソンブラバ 1 単線(asombrarse)v.pr 驚いた 「動詞句」

僕はほとんど愛情をこめて丁寧に彼に説明したかった。僕は何かを本当に後悔したことはこれまでに一度もなかったということを。

Hubiese querido tratar de explicarle cordialmente, casi con cariño, que nunca había podido sentir verdadero pesar por cosa alguna.

「動詞句」「副詞句」「目的語」

Hubiese querido ヲビエセ・ケリト 接・1 単過・完了形・願望(querer)

v.t(+不定詞) ～したかったのだが 「動詞句」

tratar de explicarle トラタル・デ・エクスプリカル・レ 不定詞・試み(tratar de+不定詞)

v.t 彼に説明しようとする 「動詞句」

cordialmente, コルディアルメンテ adv. 心を込めて 「副詞」

casi con cariño, カシ・コン・カニョ adv. ほとんど愛情を込めて 「副詞句」

que ケ conj. ～ということ 「目的語」

nunca había podido sentir ヌンカ・アビ・ア・ポデイト・センチル 1 単線・完了形・可能・否定

(poder+不定詞)v.t これまで一度も感じる事が出来なかった 「動詞句」

verdadero pesar ベルダデロ・ペサル n.m 本当の後悔を 「目的語」

por cosa alguna. ホル・コサ・アルグナ adv. (動機) 何かのために 「副詞句」

Segunda parte 第2部

今日や明日といった直近の事に、僕は気を取られがちなのだ。

Estaba absorbido siempre por lo que iba a suceder por hoy o por mañana.

「動詞句」「副詞句」

Estaba absorbido エスタバ・アブソルビド 1 単線・受動・時制の一致・習慣(absorber)

v.t (時間などを) 奪われる、気を取られる

「動詞句」

siempre シエンプレ adv. いつも、ともかく、それでも

「副詞」

por lo ポル・ロ adv. (動作主) 何かのために

「副詞句」

que ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

iba a suceder, イバ・ア・スセデー 3 単線・近接未来・時制の一致(ir a+不定詞)

v.i 直近に起こる

「動詞句」

por hoy ポル・オイ adv. 今日

「副詞句」

o オ conj. または

por mañana. ポル・マニャ adv. 明日

「副詞句」

しかしもちろん、僕が置かれている状況では、誰にもこんな風に話すことは出来ない。

Pero, naturalmente, en el estado en que se me había puesto, no podía hablar a nadie en este tono.

Pero, 「副詞句」, 「動詞句」「間接目的語」「副詞句」

Pero, ペロ conj. しかし

naturalmente, ナチュラルメンテ adv. 当然、自然に

「副詞」

en el estado エン・エル・エスタド adv. この状態においては

「副詞句」

en que エン・ケ adj. そこで~する

「形容詞節」

se me había puesto, セ・メ・アビエ・プエスト 1 単線・完了形・再帰受動(ponerse)

v.pr 自分が置かれた

「動詞句」

no podía hablar ノ・ポデシア・アブラール 1 単線・可能・否定・時制の一致(poder+不定詞)

v.i 話すことは出来ない

「動詞句」

a nadie ア・ナデー pron 誰にも~ない

「間接目的語」

en este tono. エン・エステ・トノ adv.(方法) この口調で

「副詞句」

僕には、思いやりを見せたり、好意を抱く権利もない。

No tenía derecho de mostrarme afectuoso, ni de tener buena voluntad.

「動詞句」「目的語」

No tenía ノ・テニア 1 単線・否定・時制の一致(tener)v.t ~がない

「動詞句」

derecho デレチョ n.m (de+不定詞 ~するという) 権利

「目的語」

de mostrarme デ・モストラル・メ 不定詞・目的

adj. (mostrarse+補語) (態度を) 見せる

「形容詞句」

afectuoso, アフェクトウオ adj. 優しい、思いやりのある

「補語」

Segunda parte 第2部

ni de tener ニ・テ・テネル 不定詞・目的・否定の連続 adj. を持つ～もない「形容詞句」

buena voluntad. ブエナ・ボルンタ n.f 好意を 「目的語」

そこで、また聞くことにした。検事が僕の魂について話始めたからだ。

Y traté de escuchar otra vez porque el Procurador se puso a hablar de mi alma.

Y 「動詞句」「副詞句」

Y イ conj. そして

traté de escuchar トラテ・デ・エスクチャール 1 単点・試行(tratar de+不定詞 escuchar)

v.t 聞いてみた、聞くことにした 「動詞句」

otra vez オトラ・ベス adv. また、ふたたび 「副詞句」

porque ボルケ conj. (理由) ～なので 「副詞節」

el Procurador エル・プ ロクラトール n.m 検事が 「主語」

se puso a hablar セ・プ ソ・ア・アブラール 3 単点・開始(ponerse a+不定詞)

v.i(de について) 話し始めた 「動詞句」

de mi alma. デ・ミ・アルマ adv. (関連) 僕の魂について 「間接目的語」

彼は言った。その魂に寄り添ってみたが、何も見つけられませんでした。陪審員のみなさん。

Decía que se había acercado a ella y que no había encontrado nada, señores jurados.

「動詞」「目的語」 y 「目的語」, 「呼びかけ」

Decía デシア 3 単線(decir)v.t 言った 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

se había acercado セ・アビ・ア・アセルカト 3 単線・完了形(acercarse)

v.pr ～に近寄った 「動詞句」

a ella ア・エジャ adv. (alma の代用) それに、僕の魂に 「間接目的語」

y イ conj. そして、しかし

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

no había encontrado ノ・アビ・ア・エンコントラト 3 単線・完了形・否定(encontrar)

v.t 見つけられなかった 「動詞句」

nada, ナダ pron 何も～ない 「目的語」

señores jurados. セニョレス・フラトレス pl(jurado).n.m 陪審員の皆さん 「呼びかけ」

Segunda parte 第2部

彼は言った。実の所、僕には魂というものが全く無い。その上人間性も、さらには人間の心を監視する道德原理のひとつから認められない。

Decía que, en realidad, yo no tenía alma en absoluto y que no me era accesible ni lo humano, ni uno solo de los principios morales que custodian el corazón de los hombres.

「動詞」「目的語」 y 「目的語」

Decía デシア 3 単線(decir)v.t 言った

「動詞」

que, ケ conj. ～ということを

「目的語」

en realidad, エン・レアリダ^ダ adv. 実の所

「副詞句」

yo ジョ pron 僕は

「主語」

no tenía ノ・テニア 1 単線・否定・時制の一致(tener)v.t ～がない

「動詞句」

alma アルマ n.f 魂が

「目的語」

en absoluto エン・アブソルト adv. (否定文で) まったく～でない

「副詞句」

y イ conj. そして

que, ケ conj. ～ということを

「目的語」

no ...era ノ...エラ 3 単線・否定・時制の一致(ser)v.i ～でない

「動詞句」

me メ pron 私には

「間接目的語」

accesible アクセシブル adj. 理解できる、認められる

「補語」

ni lo humano, ニ・ロ・ウマノ n.n (否定の連続) 人間性も～ない

「主語」

ni uno solo ニ・ウノ・ソロ pron ただ一つのものも～ない

「主語」

de los principios morales デ・ロス・プリンシピオス・モラレス

adj. 道德原理の

「形容詞句」

principio プリンシピオ n.m 原理 moral モラル n.f 道德

que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

custodian クストディアン 3 複現(custodiar)

v.t 監視する、保護する

「動詞」

el corazón エル・コラソン n.m 心を

「目的語」

de los hombres. デ・ロス・オンブレス

adj. 人間の

「形容詞句」

Segunda parte 第2部

「おそらく」と、彼は付け加えた。「彼自身が獲得できないものが彼に欠けているからと言って、私たちがそのことで彼を非難することは出来ません」

"Sin duda", agregó, "no podríamos reprochárselo. No podemos quejarnos de que le falte aquello que no es capaz de adquirir."

《「副詞句」》, 「動詞」, 《「動詞句」 | 「動詞句」「間接目的語」》

"Sin duda", シン・トゥダ adv. 多分、恐らく、間違いなく 「副詞句」

agregó, アグレゴ 3 単点(agregar)v.t 付け加えた 「動詞」

"no podríamos reprochárselo. ノ・ポ・トリアモス・レプ・ロチャル・セ・ロ 1 複過未・可能・否定・推量

(poder+不定詞 reprochar+se+lo)v.t そのことで彼を非難出来ないだろう 「動詞句」

se は理由を表す「間接目的語」 lo は「直接目的語」

No podemos quejarnos ノ・ポ・デ・モス・ケハル・ノス 1 複現・可能・否定(poder+不定詞 quejarnos)

v.pr(de について) 不平を言う事は出来ない 「動詞句」

de que トゥ・カ・ケ conj. ～ということについて 「間接目的語」

感情を表す「動詞」に導かれる節は接続法を使用する

le レ pron 彼には 「間接目的語」

falte ファルテ 接・3 単現(faltar)v.i 欠けている 「動詞」

aquello アケジョ pron そのことが 「主語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

no es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i ～でない 「動詞句」

capaz カ・ス adj. (de+不定詞) ～できる 「補語」

de adquirir. デ・アトキール 不定詞 v.t 獲得する 「動詞句」

Segunda parte 第2部

しかし、この法廷の話としては、寛容という全く消極的な徳は、正義というより困難で高度な徳へと変わらなければなりません。

Pero cuando se trata de este Tribunal la virtud enteramente negativa de la tolerancia debe convertirse en la menos fácil pero más elevada de la justicia.

Pero 「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」

Pero ペロ conj. しかし

cuando クワント conj. ～する時

「副詞節」

se trata セ・トラタ 3 単現(tratarse)v.pr (de) 話は～である

「動詞句」

de este Tribunal デ・エステ・トリブナル adv. この法廷の

「補語」

la virtud ラ・ビルトゥ n.f 徳は

「主語」

enteramente negativa エンテラメンテ・ネガティバ adj. 全く消極的な

「形容詞句」

de la tolerancia デ・ラ・トレランシア adj. (同格) 寛容という

「形容詞句」

debe convertirse デベ・コンヴェルチルセ 3 単現・必要(deber+不定詞 convertirse)

v.pr (別のものに) 変わらなければならない

「動詞句」

en la エン・ラ adv. 徳へと

「間接目的語」

la は virtud の代用

menos fácil メノス・ファシル adj. より困難な

「形容詞句」

pero ペロ conj. しかし

más elevada マス・エレバダ adj. より高い

「形容詞句」

de la justicia. デ・ラ・フスティシア adj. 正義という

「形容詞句」

「とりわけ、この男の中に発見されるような心の空虚が、その中では社会が滅びてしまうかもしれないほどの深淵に変化する時には」

Sobre todo cuando el vacío de un corazón, tal como se descubre en este hombre, se transforma en un abismo en el que la sociedad puede sucumbir".

《「副詞句」 「副詞節」》

Sobre todo ソブレ・トド adv. とりわけ、特に

「副詞句」

cuando クワント conj. ～する時には

「副詞節」

el vacío エル・バシオ n.m 空虚が

「主語」

de un corazón, デ・ウン・コラソン adj. 心の

「形容詞句」

tal como タル・コモ conj. (類似) ～するような

「副詞節」

se descubre セ・デスクブレ 3 単現・再帰受動(descubrirse)

v.pr 発見される

「動詞句」

en este hombre, エン・エステ・オンブレ adv. この男の中に

「副詞句」

se transforma セ・トランスフォルマ 3 単現(transformarse)v.pr 変化する

「動詞句」

en un abismo エン・ウン・アビスモ adv. 深淵に

「副詞句」

Segunda parte 第2部

en el エン・エル adv. その中で 「副詞句」
 que ケ conj. ～する 「形容詞節」
 la sociedad ラ・ソシエダ^ダ n.f 社会が 「主語」
 puede sucumbir". フ・エデ・スカンビール 3 単現・可能性(poder+不定詞)
 v.i 滅びるかもしれない 「動詞句」

そこで彼は、母さんに対する僕の態度について話した。

Habló entonces de mi actitud para con mamá. 「動詞」「副詞」「間接目的語」
 Habló アブ^ロ 3 単点(hablar)v.i(de について) 話した 「動詞」
 entonces エントネス adv. そこで 「副詞」
 de mi actitud デ・ミ・アクチトゥ adv. 僕の態度について 「間接目的語」
 para con mamá. パラ・コン・ママ adv. (対象) 母さんに対する 「副詞句」

彼は、以前の審問で既に述べていたことをまた話した。

Repitió lo que había dicho en las audiencias anteriores. 「動詞」「目的語」
 Repitió レピ^ト 3 単点(repetir)v.t 繰り返した 「動詞」
 lo ロ pron それを 「目的語」
 que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 había dicho アビ^ア・デ^イ・チョ 3 単線・完了形(decir)
 v.t すでに言っていた 「動詞句」
 en las audiencias エン・ラス・アウデ^イ・エンシアス adv. 審問で 「副詞句」
 anteriores. アンテリオス adj(anterior).pl 以前の 「形容詞」

しかし、それは僕の犯罪について彼が話したよりもずっと長かった；あまりに長いので、朝の暑さ以外は何も感じなかった。

Pero estuvo mucho más largo que cuando hablaba del crimen; tan largo que finalmente no sentí más que el calor de la mañana. Pero 「動詞」「補語」；「副詞節」
 Pero ペ^ロ conj. しかし
 estuvo エストゥボ^ボ 3 単点(estar)v.i ～だった 「動詞」
 mucho más largo ムチョ・マス・ラルゴ^ゴ adj. もっとずっと長い 「補語」
 que ケ conj (比較) ～よりも 「副詞節」
 cuando クワント^ト conj. ～する時 「副詞節」
 hablaba アブラバ^バ 3 単線(hablar)v.i 話した 「動詞」
 del crimen; デル・クリメン adv. 僕の犯罪について 「間接目的語」
 tan largo que タン・ラルゴ^ゴ・ケ conj. あまりに長いので～する 「副詞節」
 finalmente フィナルメンテ adv. 結局、ついに 「副詞」

Segunda parte 第2部

no sentí ノ・センチ 1 単点・否定(sentir)v.t 感じなかった 「動詞句」

más que マス・ケ adv. (比較) ~しか、~以外は 「副詞句」

el calor エル・カロール n.m 暑さ 「目的語」

de la mañana. デ・ラ・マニャ adj. 朝の 「形容詞句」

ともかく検事は、ここまで話すと中断し、少し沈黙してから、非常に低いよく染み入る声でまた話し始めた：

Por lo menos hasta el momento en que el Abogado General se detuvo y, después de un momento de silencio, volvió a comenzar con voz muy baja y muy penetrante:

「副詞句」 y, 「副詞句」, 「副詞句」, 「動詞句」 「副詞句」

Por lo menos ホル・ロ・メノス adv.(= al menos) 少なくとも、とにかく 「副詞句」

hasta el momento アスタ・エル・モメント adv. (時間) ここまで 「副詞句」

en que エン・ケ adv. ~した 「形容詞節」

el Abogado General エル・アボガト・ヘネラル n.m 検事は 「主語」

se detuvo セ・テトウボ 3 単点(detenerse)

v.pr 止まっていた、~のままでいた 「動詞句」

y, イ conj. そして

después de un momento de silencio, デスプエス・エス・デ・ウン・モメント・デ・シレンシオ

adv. 少し沈黙した後で 「副詞句」

volvió a comenzar ホルビョ・ア・コメンサル 3 単点・再度(volver a+不定詞)v.i また始めた 「動詞句」

con voz コン・ボス adv. (方法) ~の声で 「副詞句」

muy baja ムイ・バハ adj. 非常に低い 「形容詞句」

y イ conj. そして

muy penetrante: ムイ・ペネランテ adj. とともしみ通る 「形容詞句」

「皆さん、この同じ法廷は、あす、数ある犯罪の中で最も嫌悪すべき犯罪：父親殺しを裁くことになっています」

"Este mismo Tribunal, señores, va a juzgar mañana el más abominable de los crímenes: la muerte de un padre." 《「主語」, 「呼びかけ」, 「動詞句」 「副詞」 「目的語」》

"Este mismo Tribunal, エステ・ミスモ・トリブナル n.m この同じ法廷は 「主語」

señores, セニョレス pl(señor).n.m 皆さん 「呼びかけ」

va a juzgar バ・ア・フスガール 3 単現・近接未来・予定(ir a+不定詞 juzgar)

v.t 裁く予定だ 「動詞句」

mañana マニャ adv. 明日 「副詞」

el más abominable エル・マス・アボミナブレ n.m (最上級・名詞化) 最も嫌悪すべき犯罪 「目的語」

abominable アボミナブレ adj. 嫌悪すべき

Segunda parte 第2部

de los crímenes: テ・ロス・クリメネス adj.(crimen) 数ある犯罪の中で 「副詞句」
 crimen クリメン n.m 犯罪、重罪、悪事
 la muerte ラ・ムエルテ n.f 殺人 「目的語」
 de un padre." テ・ウン・パトレ adj. 父親の 「形容詞句」

彼によれば、この残虐な犯行の前では想像することさえためられるという。

Según él, la imaginación retrocedía ante este atroz atentado.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」
 Según él, セグン・エル adv. 彼によれば 「副詞句」
 la imaginación ラ・イマヒナシオン n.f 想像は 「主語」
 retrocedía レトセディア 3 単線(retroceder)v.i 戻込みする、後ずさりする 「動詞」
 ante アンテ prep (場所) ~の前では 「副詞句」
 este atroz atentado. エステ・アトロス・アテンタド n.m この残虐な犯罪 「目的語」

彼としては、人間の正義が敢然としてこれを断罪することを敢えて望んでいる。

Osaba esperar que la justicia de los hombres castigaría sin debilidad.

「動詞句」 「目的語」
 Osaba esperar オサバ・エスペラル 3 単線・敢えて(osar+不定詞)v.t 敢えて希望する 「動詞句」
 que ケ conj. ~ということ 「目的語」
 la justicia ラ・フステシア n.f 正義が 「主語」
 de los hombres テ・ロス・オンブレス adj. 人間の 「形容詞句」
 castigaría カスティガリア 3 単過未・願望(castigar)v.t 罰する 「動詞」
 sin シン prep (条件) ~なしに 「副詞句」
 debilidad. テビリダ n.f 弱さ 「目的語」

しかし、恐れずに言おう。父親殺しという醜悪な犯罪があなたに抱かせる嫌悪感でさえも、僕の冷淡さを前にして感じる感情に対してはひれ伏すだろう。

Pero, no temía decirlo el horror que le inspiraba este crimen cedía casi frente al que sentía delante de mi insensibilidad.

Pero, ペロ conj. しかし
 no temía decirlo ノ・テミア・デシル・ロ 3 単線・否定(temer+不定詞)v.t 恐れずに言う 「動詞句」
 el horror エル・オール n.m その嫌悪感 「主語」
 que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」
 le レ pron あなたに 「間接目的語」
 inspiraba インスピラバ 3 単線・時制の一致(inspirar)
 v.t (感情を) 抱かせる 「動詞」

Segunda parte 第2部

este crimen エステ・クリメン n.m	この犯罪が	「主語」
cedía セデーア 3 単線・時制の一致(ceder)v.i	膝まづく、屈する	「動詞」
casi frente al カシ・フレンテ adv.	嫌悪感の前で	「副詞句」
que ケ pron (目的語) ～する		「形容詞節」
sentía センチア 3 単線・時制の一致(sentir)v.t	感じる	「動詞」
delante de mi insensibilidad. デランテ・デ・ミ・インセンシビリダ		
adv. 僕の冷淡さの前で		「副詞句」

また彼によれば、心の中で母親を殺す者は、自分に生を与えてくれた親を実際に殺害する者と同じ理由によって、人間社会から引き離される。

<u>Siempre según él, un hombre que mataba moralmente a su madre se sustraía de la sociedad de los hombres por el mismo título que el que levantaba la mano asesina sobre el autor de sus días.</u>		「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」
Siempre según él, シエンプレ・セグン・エル adv.	また彼によると	「副詞句」
un hombre ウン・オンブレ n.m	人は、者は	「主語」
que ケ pron (主語) ～する		「形容詞節」
mataba マタハ 3 単線・時制の一致(matar)v.t	殺す	「動詞」
moralmente モラルメンテ adv.	精神的に、道徳的に	「副詞」
a su madre ア・ス・マトレ n.f	自分の母親を	「目的語」
se sustraía セ・ストライア 3 単線・時制の一致・再帰受動(sustraerse)		
v.pr	引き離される	「動詞句」
de la sociedad デ・ラ・ソシエダ	社会から	「副詞句」
de los hombres デ・ロス・オンブレス adj.	人間の	「形容詞句」
por el mismo título ホル・エル・ミスモ・ティートロ adv.	同じ理由で	「副詞句」
que ケ conj. (比較) ～と		「副詞句」
el エル pron	それ、その人	「目的語」
que ケ pron (主語) ～する		「形容詞節」
levantaba レバンタハ 3 単線・時制の一致(levantar)		
v.t	上げる	「動詞」
la mano ラ・マノ n.f	手を	「目的語」
asesina アセシナ adj.	殺人者の	「形容詞」
sobre el autor ソブレ・エル・アウトール		
adv. (攻撃)	作者に対して	「副詞句」
de sus días. デ・ス・ディイス		
adj.	彼の人生の	「形容詞句」
→	人生の作者 → 生みの親	

Segunda parte 第2部

いずれにせよ前者は後者の行為を準備する。いわば、行為を予告し、正当化するのだから。

En todos los casos, el primero preparaba los actos del segundo y, en cierto modo, los anunciaba y los legitimaba.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」 y, 「副詞句」「目的語」「動詞」 y 「目的語」「動詞」
 En todos los casos, エン・トド・ス・ロス・カス adv. いずれにしても 「副詞句」
 el primero エル・プリメロ n.m 前者は (心の中で殺す) 「主語」
 preparaba プレパラバ 3 単線・時制の一致(preparar)v.t 準備する 「動詞」
 los actos ロス・アクトス pl(acto).n.m 行為を 「目的語」
 del segundo デル・セグント adj. 後者の (実際に殺す) 「形容詞句」
 y, イ conj. そして
 en cierto modo, エン・シエルト・モト adv. ある意味で、いわば 「副詞句」
 los ロス pron.m.pl 行為を 「目的語」
 anunciaba アヌンシアバ 3 単線・時制の一致(anunciar)v.t 知らせる、予告する 「動詞」
 y イ conj. そして
 los ロス pron.m.pl 行為を 「目的語」
 legitimaba. レジチマバ 3 単線・時制の一致(legitimar)v.t 正当化する 「動詞」

「私は確信しています、皆さん！」と、声を高めて付け加えた。「たとえ私が、その被告人席に座っている男が、この法廷があす裁かなければならない殺人と同罪であると言ったとしても、あなたたちは私の考えが大袈裟すぎとは思わないでしょう」

"Estoy persuadido, señores", agregó alzando la voz, "de que no encontrarán ustedes demasiado audaz mi pensamiento si digo que el hombre que está sentado en este banco es también culpable de la muerte que este Tribunal deberá juzgar mañana.

《「動詞句」「呼びかけ」》, 「動詞」「副詞句」, 《「副詞節」》

"Estoy persuadido, エストイ・ペルスワディト 1 単現・受動(persuadir)

v.t 確信している、説得されている 「動詞句」
 me persuado メ・ペルスワト 1 単現(persuadirse)v.pr 確信している
 señores", セニョレス adv. 皆さん 「呼びかけ」
 agregó アグレコ 3 単点(agregar)v.t 付け加えた 「動詞」
 alzando アルサント 現在分詞(alzar)adv. ～を高くして 「副詞句」
 la voz, ラ・ボス n.f 声を 「目的語」
 "de que デ・ケ conj. (原因) ～ということによって 「副詞節」
 no encontrarán ノ・エンコントラン 3 複未・否定(encontrar)
 v.t 見つけないだろう 「動詞句」
 ustedes ウステス pron.pl あなたたちは 「主語」

Segunda parte 第2部

demasiado デマシアト adv. 過度に	「副詞」
audaz アウダス adj. 大胆な、大袈裟な	「補語」
mi pensamiento ミ・ペンサミエント n.m 私の考えが	「目的語」
si シ conj. (仮定) もし～しても	「副詞節」
digo デイゴ 1 単現(decir)v.t 言う	「動詞」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
el hombre エル・オンブレ n.m この男が	「主語」
que ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
está エスタ 3 単現(estar)v.i ～である	「動詞」
sentado センタト adj. 座った	「補語」
en este banco エン・エステ・バンコ	
adv. 被告人席に、そのベンチに	「副詞句」
es エス (ser)v.i ～である	「動詞」
también culpable タンビエン・クルパブレ	
adj.(de についてと) 同様に有罪の	「補語」
de la muerte デ・ラ・ムエルテ	
adv. (関連) 殺人について	「副詞句」
que ケ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
este Tribunal エステ・トリブナル	
n.m この法廷が	「主語」
deberá juzgar デベラ・フスカール 3 単未・必要(deber+不定詞)	
v.t 裁かねばならない	「動詞句」
mañana. マニャナ adv. 明日	「副詞」

「従って、相応の裁きが下されなければならないのです」

Debe ser castigado en consecuencia."

《「動詞句」「副詞句」》

Debe ser castigado デベ・セル・カスカガト 3 単現・必要(deber+不定詞・受動)

v.t 罰せられなければならない

「動詞句」

en consecuencia. エン・コンセクエンシア adv. 従って、その結果

「副詞句」

ここで検事は汗でぎらついた顔を拭き取った。

Aquí el Procurador se enjugó el rostro brillante de sudor.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」

Aquí アキ adv. ここで

「副詞」

el Procurador エル・プロクラトール n.m 検事は

「主語」

se enjugó セ・エンゴ 3 単点(enjugarse)v.pr (自分の体の) ～を拭いた

「動詞句」

Segunda parte 第2部

el rostro brillante エル・ロストロ・ブリリヤンテ n.m ぎらついた顔を 「目的語」
de sudor. デ・スドル adv. (原因) 汗で 「副詞句」

最後に彼は、自分は重責を負っているが、それをしっかり果たすつもりだと言った。

Dijo en fin que su deber era penoso, pero que lo cumpliría firmemente.

「動詞」「副詞句」「目的語」,pero 「目的語」
Dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
en fin エン・フィン adv.(= en fin de cuentas) 要するに、兎に角 「副詞句」
que ケ conj. ～ということを 「目的語」
su deber ス・デベール n.m 彼の責務は、義務は 「主語」
era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」
penoso, ペノソ adj. 骨の折れる 「補語」
pero ペロ conj. しかし
que ケ conj. ～ということを 「目的語」
lo ロ pron その責務を 「目的語」
cumpliría クンプリア 3 単過未・意志・過去における未来(cumplir)
v.t 果たす所存だ 「動詞」
firmemente. フィルメンテ adv. しっかりと 「副詞」

僕自身が最も本質的な規律を拒否している社会の中でなすべきことは何も無く、また人間の基本的な情動を知らない相手に同情を求めることは出来ないと、彼は断言した。

Declaró que yo no tenía nada que hacer en una sociedad cuyas reglas más esenciales desconocía y que no podía invocar al corazón humano cuyas reacciones elementales ignoraba.

「動詞」「目的語」 y 「目的語」
Declaró デクラロ 3 単点(declarar)v.t 明言した 「動詞」
que ケ conj. ～ということを 「目的語」
yo ジョ pron 僕は 「主語」
no tenía ノ・テニア 1 単線・否定・時制の一致(tener)v.t ～がない 「動詞句」
nada ナダ pron 何も～ない 「目的語」
que hacer ケ・アセル 不定詞・目的 adv. するべき 「形容詞句」
en una sociedad エン・ウナ・ソシエタド adv. 社会の中で 「副詞句」
cuyas reglas クヤス・レグラス
pl(regla).f (目的語) その規律を～する 「形容詞節」
más esenciales マス・エセンシアレス
adj(esencial).pl 最も本質的な 「形容詞句」
desconocía デスコノシア 1 単線・時制の一致(desconocer)

Segunda parte 第2部

v.t 関係を否認する	「動詞」
y イ conj. そして	
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
no podía invocar ノ・ポ・デア・インボカル 1 単線・可能・否定(poder+不定詞)	
v.t ～を求めることは出来ない	「動詞句」
al corazón humano アル・コラツン・ウマノ adv. 人間の心情を	「間接目的語」
cuyas reacciones クヤス・リアクシオネス	
pl(reaccion).n.f (目的語) その反応を～する	「形容詞節」
elementales エレメンタルス adj.pl 基本的な	「形容詞」
ignoraba. イグ・ノバ 1 単線・時制の一致(ignorar)	
v.t 知らないでいる	「動詞」

「私は皆さんにこの男の首を要求します」と、彼は言った。「それも、穏やかな心持でそれを求めるものであります」

"Os pido la cabeza de este hombre", dijo, "y os la pido con el corazón tranquilo.	《「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》, 「動詞」, 《「間接目的語」「直接目的語」「動詞」「副詞句」》
"Os オス pron.pl (二人称複数・敬称) 皆さんに	「間接目的語」
pido ピド 1 単現(pedir)v.t 要求する	「動詞」
la cabeza ラ・カベサ n.f 首、頭、死刑	「直接目的語」
de este hombre", デ・エステ・オンブレ adj. この男の	「形容詞句」
dijo, デイホ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
"y イ conj. そして	
os オス pron.pl (二人称複数・敬称) 皆さんに	「間接目的語」
la ラ pron (cabeza の代用) それを	「直接目的語」
pido ピド 1 単現(pedir)v.t 要求する	「動詞」
con el corazón コン・ネル・コラツン adv. (様態) 心で	「副詞句」
tranquilo. トランキロ adj. 穏やかな	「形容詞」

Segunda parte 第2部

私のすでに長い経歴において、極刑を求めなければならない場面は何度かありましたが、今日ほどこの辛い責務が、絶対的で神聖な意識と残酷さしか読み取れない人間の前で感じる恐怖とによって、報いと平静と光明に通じるかを感じたことが無かったからです。

Pues si en el curso de mi ya larga carrera me ha tocado reclamar penas capitales, nunca tanto como hoy he sentido este penoso deber compensado, equilibrado, iluminado por la conciencia de un imperioso y sagrado mandamiento y por el horror que siento delante del rostro de un hombre en el que no leo más que monstruosidades".

Pues 「副詞節」, 「副詞句」 「動詞句」 「目的語」 「補語」

Pues プエス conj. (理由) ～なので

si シ conj. (対立) ～ではあるが 「副詞節」

en el curso de mi ya larga carrera エン・ネル・カルソ・デ・ミ・ヤ・ラルガ・カレ

adv. 私のすでに長い経歴の流れにおいて 「副詞句」

me メ pron 私に 「間接目的語」

ha tocado ア・トカド 3 単現・完了形(tocar)v.i (順番が) 当たった 「動詞句」

reclamar レクラマル 不定詞 v.t 要求することは 「主語」

penas capitales, ペナス・カピタルス pl(pena).n.f いくつかの極刑を 「目的語」

→ 私は何度も極刑を要求しなければならなかった

nunca tanto como hoy ヌンカ・タント・コモ・オイ adv. 今日ほど～ない 「副詞句」

he sentido エ・センティド 1 単現・完了形(sentir)v.t 感じた 「動詞句」

este penoso deber エステ・ペノソ・デベール n.m この辛い責務を 「目的語」

penoso ペノソ adj. 辛い deber デベール n.m 責務

compensado, コンペンサド adj. 報われた、補償された 「補語」

equilibrado, エキリブラド adj. 平静な 「補語」

iluminado イルミナド adj. 照らされた 「補語」

por la conciencia ホル・ラ・コンシェンシア adv. (手段) 自覚によって、意識 「副詞句」

de デ prep ～の 「形容詞句」

un imperioso y sagrado ウン・インペリオソ・イ・サグラド

adj. 絶対的かつ神聖な 「形容詞句」

mandamiento マンダミエント n.m 戒律 「目的語」

y イ conj. そして

por el horror ホル・エル・オロール adv. 恐怖によって 「副詞句」

que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

siento シエント 1 単現(sentir)v.t 感じる 「動詞」

delante del rostro デランテ・デル・ロストロ adv. 顔の前で 「副詞句」

de un hombre デ・ウン・オンブレ adj. 人の 「形容詞句」

en el que エン・ネル・ケ

Segunda parte 第2部

adj. その中に～する 「形容詞節」
 no leo ノ・レオ 1 単現・否定(leer)
 v.t 読み取れない 「動詞句」
 más que monstruosidades". マス・ケ・モンストロシダデス
 pl.n.f 残酷さしか 「目的語」

検事が再び着席すると、かなり長い時間、沈黙が続いた。

Cuando el Procurador volvió a sentarse hubo un momento de silencio bastante largo.
 「副詞節」, 「動詞」 「目的語」
 Cuando クワント conj. ～すると 「副詞節」
 el Procurador エル・プ・ロクラドル n.m 検事が 「主語」
 volvió a sentarse ボルビョ・ア・セントアル・セ 3 単点・再度(volver a+不定詞)
 v.pr また着席した 「動詞句」
 hubo ウブ 3 単点・存在(haber)v.t ～があった 「動詞」
 un momento de silencio ウン・モメント・デ・シレンシオ n.m 沈黙の時間 「目的語」
 bastante largo. バスタンテ・ラルゴ adj. かなり長い 「形容詞句」

僕は暑さと驚きであっけにとられた。

Yo me sentía aturdido por el calor y el asombro.
 「主語」 「動詞句」 「補語」
 Yo ジョ pron 僕は 「主語」
 me sentía メ・センチア 1 単線(sentirse)v.pr 自分が～だと感じた 「動詞句」
 aturdido アトゥルディト adj. あっけにとられた、茫然自失した 「補語」
 por ボル prep (原因) ～で、のために 「副詞句」
 el calor エル・カロール n.m 暑さ 「目的語」
 y イ conj. そして
 el asombro. エル・アソンプロ n.m 驚き 「目的語」

裁判長は少し咳払いをして、とても低い声で、付け加えることはもう無いかと僕に尋ねた。

El Presidente tosió un poco, y con voz muy baja me preguntó si no tenía nada que agregar.
 「主語」 「動詞」 「副詞句」, y 「副詞句」 「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」
 El Presidente エル・プレシデンテ n.m 裁判長は 「主語」
 tosió トシオ 3 単点(toser)v.i 咳払いをした 「動詞」
 un poco, ウン・ポコ adv. 少し 「副詞句」
 y イ conj. そして
 con voz muy baja コン・ボス・マイ・バハ adv (手段) とても低い声で 「副詞句」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」

Segunda parte 第2部

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた	「動詞」
si シ conj. ～かどうかということ	「直接目的語」
no tenía ノ・テニア 1 単線・否定・時制の一致(tener)v.t ～がない	「動詞句」
nada ナダ pron 何も～ない	「目的語」
que agregar. ケ・アグレガール 不定詞・目的	
adj. 付け加えるべき	「形容詞句」

僕は立ち上がった。そして話したいと思っていたので、少し思いつきで、アラブ人を殺す意図はなかったと言った。

Me levanté y como tenía deseos de hablar, dije, un poco al azar por otra parte, que no había tenido intención de matar al árabe.

	「動詞句」 y 「副詞節」, 「動詞」, 「副詞句」 「目的語」
Me levanté メ・レバンテ 1 単点(levantarse)v.pr 立ち上がった	「動詞句」
y イ conj. そして	
como コモ conj. (理由) ～なので	「副詞節」
tenía テニア 1 単線(tener)v.t ～があった	「動詞」
deseos de hablar, デセオス・デ・アブラール	
pl(deseo).n.m 話したいという願望	「目的語」
dije, デイハ 1 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
un poco ウン・ポコ adv. 少し	「副詞句」
al azar アル・アサル adv. (様態) 思いつきで、行き当たりばったりで	「副詞句」
por otra parte, ポル・オトラ・パルテ adv. 他方、その上	「副詞句」
que ケ conj. ～ということ	「目的語」
no había tenido ノ・アビ・ア・テニド 1 単線・完了形・否定(tener)	
v.t ～がなかった	「動詞句」
intención インテンシオン n.f 意図	「目的語」
de matar デ・マタール 不定詞・目的	
adj. 殺すための、殺すという	「形容詞句」
al árabe. アル・アラベ n.m アラブ人を	「目的語」

Segunda parte 第2部

裁判長は、僕の発言は被告人の陳述であるそして、これまで僕の弁護の方針がよく理解できなかったで、弁護士の話を聞く前に、僕の行為の発端となった動機を詳しく説明してもらえるとありがたい、と応答した。

El Presidente contestó que era una afirmación, que hasta aquí no había comprendido bien mi sistema de defensa y que, antes de oír a mi abogado le complacería que precisara los motivos que habían inspirado mi acto.

「主語」「動詞」「目的語」, 「目的語」 y 「目的語」

El Presidente エル・プレシデンテ n.m 裁判長は 「主語」
 contestó コンテスト 3 単点(contestar)v.t 答えた、応答した 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」
 una afirmación, ウナ・アフィルマシオン n.f 言明、陳述 「補語」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 hasta aquí アスタ・アキ adv. (時間) これまで 「副詞句」
 no había comprendido ノ・アビ・ア・コンプレンディト 1 単線・完了形・否定(comprender)
 v.t 理解できなかった 「動詞句」
 bien ビエン adv. よく 「副詞」
 mi sistema ミ・システマ n.m 僕の体系が 「目的語」
 de defensa デ・デフェンサ adj. 弁護の 「形容詞句」
 y イ conj. そして
 que, ケ conj. ～ということを 「目的語」
 antes de +不定詞 アンテス・デ adv. ～する前に 「副詞句」
 oír オイル 不定詞 v.t 聞く 「動詞」
 a mi abogado ア・ミ・アボガド n.m 弁護士の話を 「目的語」
 le レ pron (Presidente の代用) 裁判長を 「目的語」
 complacería コンプレサリア 3 単過未・丁寧な依頼(complacer)
 v.t 喜ばせるだろう 「動詞」
 que ケ conj. ～することは 「主語」
 precisara プレシサ 3 単未(precisar)v.t 詳細に説明する 「動詞」
 los motivos ロス・モチボス pl(motivo).n.m 動機を 「目的語」
 que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 habían inspirado アビアン・インスピラト 3 複線・完了形(inspirar)
 v.t 着想を抱かせた 「動詞句」
 mi acto. ミ・アクト n.m 僕の行為を 「目的語」

Segunda parte 第2部

話の前後を織り交ぜながら、しかも滑稽さに気付きながらも、それは太陽のせいだと早口で言った。法廷内に笑いが起こった。

Mezclando un poco las palabras y dándome cuenta del ridículo, dije rápidamente que había sido a causa del sol. En la sala hubo risas.

「副詞句」, 「動詞」 「副詞句」 「目的語」 | 「副詞句」 「動詞」 「目的語」
 Mezclando メスクラント 現在分詞(mezclar) (方法) まぜこぜにしながら 「副詞句」
 un poco ウン・ポコ adv. 少し 「副詞句」
 las palabras ラス・パラブラス pl(palabra).n.f 言葉を、話を 「目的語」
 y イ conj. そして
 dándome cuenta ダント・メ・クエンタ 現在分詞(darse cuenta de)
 adv. ～に気付きながら、分っていないながら 「副詞句」
 del ridículo, デル・リディクルー adv. 滑稽さ 「間接目的語」
 dije デイヘ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 rápidamente ラピダメンテ adv. 急いで、速く、早口で 「副詞句」
 que ケ conj. ～ということ 「目的語」
 había sido アビア・シト 3 単線・完了形(ser)v.i ～だった 「動詞句」
 a causa del sol. ア・カサ・デル・ソル adj (原因) 太陽のせいで 「補語」
 En la sala エン・ラ・サラ adv. 法廷内は 「副詞句」
 hubo ウブ 3 単点(haber)v.t ～が起こった 「動詞」
 risas. リサス pl(risa)n.f 笑い 「目的語」

弁護士が肩をすくめると、その直後に法廷は彼に弁論を許可した。

El abogado se encogió de hombros e inmediatamente después le concedieron la palabra.

「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 e 「副詞句」 「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」
 El abogado エル・アボガト n.m 弁護士は 「主語」
 se encogió セ・エンコヒオ 3 単点(encogerse)v.pr (自分の体を) 縮ませた、すくませた 「動詞句」
 de hombros デ・オンブロス adv. (体の一部) 肩を 「間接目的語」
 e エ conj. そして
 inmediatamente después インメデアタメンテ・デスプエス adv. 直後に 「副詞句」
 le レ pron 彼に 「間接目的語」
 concedieron コンセディエロン 3 複点(conceder)v.t 許可した 「動詞」
 la palabra. ラ・パラブラ n.f 発言、弁論 「直接目的語」

Segunda parte 第2部

しかし弁護士は、もう時間が遅いし、弁論には数時間かかるので、午後まで審問を中断して欲しいと求めた。法廷はそれを承諾した。

Pero declaro que era tarde, que tenía para varias horas y que pedía la suspensión de la audiencia hasta la tarde. El Tribunal consintió.

「動詞」「目的語」, 「目的語」 y 「目的語」 | 「主語」「動詞」

Pero ペロ conj. しかし

declaro デクラロ デクラロ 3 単点(declarar)v.t 申し出た、要望した 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

era エラ 3 単半・時制の一致(èssere)v.i ～である 「動詞」

tarde, タルデ adj. 遅い 「補語」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

tenía テニア 1 単線・時制の一致(tener)v.t (時間を) 取る 「動詞」

para varias horas パラ・バリラス・オラス pl(hora).n.f (分量) 数時間を 「目的語」

y イ conj. そして

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

pedía ペディア 3 単線(pedir)v.t 求めた 「動詞」

la suspensión ラ・スぺンション n.f 中断を 「目的語」

de la audiencia デ・ラ・アウディエンシア adj. 審問の 「形容詞句」

hasta la tarde. アスタ・ラ・タルデ adv. 午後まで 「副詞句」

El Tribunal エル・トリブナル n.m 法廷は 「主語」

consintió. コンシンチオ 3 単点(consintir)v.i 同意した、承諾した 「動詞」

午後になっても、大型扇風機は法廷内の汚れた空気を攪拌し続けていた。そして陪審員たちの色とりどりの小さなうちわは皆同じ向きに揺れていた。

Por la tarde los grandes ventiladores seguían agitando la espesa atmósfera de la sala y los pequeños abanicos multicolores de los jurados se movían todos en al mismo sentido.

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」 y 「主語」「動詞句」「副詞句」

Por la tarde ポル・ラ・タルデ adv. 午後には、午後になって 「副詞句」

los grandes ventiladores ロス・グランデス・ベンチラトラス pl(ventilador).n.m 大型扇風機は「主語」

seguían agitando セギアン・アヒタント 3 複線・継続(seguir+現在分詞 agitar)

v.t 攪拌し続けていた 「動詞句」

la espesa ラ・エスペサ adj(espeso).f 汚れた、汚い 「形容詞句」

atmósfera アトモスフェア n.f 空気を 「目的語」

de la sala デ・ラ・サラ adj. 法廷内の 「形容詞句」

y イ conj. そして

los pequeños abanicos multicolores ロス・ペケニョス・アハニョス・マルチコロレス

Segunda parte 第2部

pl(abanico).n.m	色とりどりの小さなうちわは	「主語」
de los jurados	デ・ロス・フラトス adj. 陪審員たちの	「形容詞句」
se movían	セ・モビアン 3 複線(moverse)v.pr 揺れていた、動いていた	「動詞句」
	大型扇風機の風を受けて揺れていた	
todos	トス adv. すべて	「副詞」
en al mismo sentido.	エン・アル・ミスモ・セント adv. 同じ向きに	「副詞句」
sentido	セント n.m 感覚、意味、方向、向き	

弁護士の口頭弁論は終わりそうもないと思った。

Me pareció que el alegato del abogado no debía terminar jamás.

		「間接目的語」「動詞」「主語」
Me	メ pron 僕には	「間接目的語」
pareció	パレシオ 3 単点(parecer)v.i ~のように見えた	「動詞」
que	ケ conj. ~ということは	「主語」
el alegato	エル・アレガト n.m 口頭弁論は	「主語」
del abogado	デル・アボガト adj. 弁護士の	「形容詞句」
no debía terminar jamás.	ノ・デビア・テルミナル・ハマス 3 単線・推定・否定(deber+不定詞)	
	v.i 決して終わらないだろう	「動詞句」

しかしながらある時点で、彼が話している声が聞こえた：「私が殺したのは事実です」

Sin embargo en un momento dado, escuché que decía: "es cierto que yo maté."

		「副詞句」, 「動詞」「目的語」: 《「動詞」「補語」「主語」》
Sin embargo	シン・エンバルゴ adv. とはいえ、しかしながら	「副詞句」
en un momento	エン・ウン・モメント adv. ある時点で	「副詞句」
dado,	ダト adj. 特定の	「形容詞」
escuché	エスケ 1 単点(escuchar)v.t 聞こえた	「動詞」
que decía:	ケ・デシア pron 彼が話した事が	「目的語」
"es	エス 3 単現(ser)v.i ~である	「動詞」
cierto	シエルト adj. 確実な	「補語」
que	ケ conj. ~ということは	「主語」
yo	ジョ pron 私は	「主語」
maté."	マテ 1 単点(matar)v.t 殺した	「動詞」

Segunda parte 第2部

その後も、僕の事を話す度に「私」と言いながら同じ調子で話を続けた。

Luego continuó en el mismo tono, diciendo "yo" cada vez que hablaba de mí.

「副詞」「動詞」「副詞句」

Luego ルエゴ adv. それから後

「副詞」

continuó コンチヌオ 3 単点(continuar)v.i 続けた

「動詞」

en el mismo tono, エン・エル・ミストノ adv. 同じ調子で

「副詞句」

diciendo "yo" デイシエント・ジョ 現在分詞・同時(decir)v.t 「私」と言いながら

「副詞句」

cada vez que カダ・ベス・ケ adv. ～する度に

「副詞節」

hablaba ハブラバ 3 単線(hablar)v.i (de について) 話す

「動詞」

de mí. デ・ミ adv. 僕の事を

「間接目的語」

僕はとても驚いた。警官の方へ屈みこんで、どうしてなのかと尋ねた。

Yo estaba muy asombrado. Me incliné hacia un gendarme y le pregunté por qué.

「主語」「動詞」「補語」 | 「動詞句」「副詞句」 y 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Yo ジョ pron 僕は

「主語」

estaba エスタバ 1 単線(estar)v.i ～だった

「動詞」

muy asombrado. ムイ・アソブラド adj. とても驚いた

「補語」

Me incliné メインクリネ 1 単点(inclinarse)v.pr 身を屈めた

「動詞句」

hacia un gendarme アシア・ウン・ジェンダールメ adv. 警官の方へ

「副詞句」

y イ conj. そして

le レ pron 彼に

「間接目的語」

pregunté プレクンテ 1 単点(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞」

por qué. ポール・ケ pron どうしてかと

「直接目的語」

彼は僕に黙っていると云ったが、少ししてから付け加えた：「弁護士はああ言うんだ」

Me dijo que me callara y después de un momento agregó: "Todos los abogados hacen eso."

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 y 「副詞句」「動詞」：《「主語」「動詞」「目的語」》

Me メ pron 僕に

「間接目的語」

dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

me callara メ・カジャラ 接・1 単過・命令・時制の一致(callarse)

v.pr 黙れ

「動詞句」

y イ conj. そして

después de un momento デスプエス・デ・ウン・モメント adv. 少ししてから

「副詞句」

agregó: アグレゴ 3 単点(agregar)v.t 付け加えた

「動詞」

"Todos los abogados トロス・ロス・アボガトス pl(abogado).n.m 弁護士はみな

「主語」

Segunda parte 第2部

hacen アセン 3 複現(hacer)v.t (行為を) する 「動詞」
 eso." エソ pron それを 「目的語」

それは、僕を事件からさらに遠ざけ、無にまで至らせ、僕の代役を演じる行為だと思った。

Pensé que era apartarme un poco más del asunto, reducirme a cero y, en cierto sentido, sustituirme. 「動詞」「目的語」

Pensé ペンセ 1 単点(pensar)v.t(que ～と) 思った 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

era エラ 3 単線・時制の一致(estar)v.i ～である 「動詞」

apartarme アパルタル・メ 不定詞(apartar+me)v.t(de から) 遠ざけること 「補語」

un poco más del asunto, ウン・ポ・コ・マス・デル・アスト

adv. 僕の事件からさらに 「副詞句」

reducirme レト・ウシル・メ 不定詞(reducir+me)v.t(a ～にまで) 減らすこと 「補語」

a cero ア・セロ adv. 無に 「間接目的語」

y, イ conj. そして

en cierto sentido, エン・シエルト・センフト adv. ある意味では 「副詞句」

sustituirme. スストゥイル・メ 不定詞(sustituir+me)v.t 僕にとって代わること 「補語」

だが、僕はすでに法廷からずっと離れていたと思う。

Pero creo que estaba ya muy lejos de la sala de audiencias. Pero 「動詞」「目的語」

Pero ペロ conj. しかし

creo クレオ 1 単現(creer)v.t(que ～と) 思う 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

estaba エスタバ 1 単線・存在・時制の一致(estar)v.i ～にいる 「動詞」

ya muy lejos ヤー・ムイ・レホス adv. すでにずっと離れて 「副詞句」

de la sala de audiencias. デ・ラ・サラ・デ・アウディエンシア adv. 法廷から 「副詞句」

Segunda parte 第2部

一方、弁護士は奇妙に思われた。彼は挑発のシーンを大急ぎでまくし立ててから、やはり同様に僕の魂について語った。

Por otra parte, el abogado me pareció ridículo. Alegó muy rápidamente la provocación y luego también habló de mi alma.

「副詞句」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞」 「補語」

「動詞」 「副詞句」 「目的語」 y 「副詞句」 「動詞」 「間接目的語」

Por otra parte, ホル・オトラ・パルテ adv. 他方では、一方 「副詞句」

el abogado エル・アボガト n.m 弁護士は 「主語」

me メ pron 僕にとっては 「間接目的語」

pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i 〜に見えた 「動詞」

ridículo. リディクロ adj. おかしな、理屈に合わない 「補語」

Alegó アレゴ 3 単点(alegar)v.t 引き合いにだした、申し立てた 「動詞」

muy rápidamente マイ・ラピダメンテ adv. 大急ぎで 「副詞句」

la provocación ラ・プロボカシオン n.f 挑発を 「目的語」

y イ conj. そして

luego también ルエゴ・タンビエン adv. それから同様に 「副詞句」

habló ハブロ 3 単点(hablar)v.i(de について) 話した 「動詞」

de mi alma. デ・ミ・アルマ adv. 僕の魂について 「間接目的語」

しかし彼は、検事に比べると圧倒的に能力不足だと僕には思われた。

Pero me pareció que tenía mucho menos talento que el Procurador.

Pero 「間接目的語」 「動詞」 「主語」

Pero ペロ conj. しかし

me メ pron 僕にとっては 「間接目的語」

pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i 〜に見えた 「動詞」

que ケ conj. 〜ということが 「主語」

tenía テニア 3 単線・時制の一致(tener)v.t 〜がある 「動詞」

mucho menos talento ムチョ・メノス・タレント n.m 非常に少ない能力、才能 「目的語」

que el Procurador. ケ・エル・プロクラトール adv. (比較) 検事よりも 「副詞句」

Segunda parte 第2部

「私もまた」と、彼は言った。「この魂に寄り添いました。そして、検察庁のご高名な代表者である検事殿とは逆に、何かを見出すことができました。しかも、開かれた本を読むように極めて容易に魂の内側を覗くことが出来たと言えます」

"También yo", dijo, "me he acercado a esta alma, pero, al contrario del eminente representante del Ministerio Público, he encontrado algo, y puedo decir que he leído en ella como en un libro abierto".

《「主語」》, 「動詞」, 《「動詞句」「間接目的語」,

pero, 「副詞句」, 「動詞句」「目的語」, y 「動詞句」「目的語」》

"También yo", タンビエン・ジョ pron 私もまた 「主語」

dijo, デホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

"me he acercado メ・エ・アセカド 1 単現・完了形(acercarse)v.pr(a に) 近づいた 「動詞句」

a esta alma, ア・エスタ・アルマ adv. この魂に 「間接目的語」

pero, ペロ conj. しかし

al contrario アル・コントラリオ adv.(de と) 反対に 「副詞句」

del eminente representante デル・エミネンテ・レプレンタンテ

adj. 高名な代表者と 「形容詞句」

eminente エミネンテ adj. 傑出した representante レプレタンテ n. 代表者

del Ministerio Público, デル・ミニステリオ・プブlico adj. 検察庁の「形容詞句」

Ministerio ミニステリオ n.m ～省 Ministerio Público (Fiscal) (最高) 検察庁

he encontrado エ・エンコントラド 1 単現・完了形(encontrar)v.t 見つけた、見出した 「動詞句」

algo, アルゴ pron 何かを 「目的語」

y イ conj. そして

puedo decir プ・エト・デシル 1 単現・可能(poder+不定詞)v.t ～と言える 「動詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

he leído エ・レイト 1 単現・完了形(leer)v.t 読み取った 「動詞句」

en ella エン・エジャ adv. (ella は alma の代用) その中に 「副詞句」

como en un libro abierto". コモ・エン・ウン・リブロ・アビエルト

adv. (比喩) 開かれた本のよう 「副詞句」

Segunda parte 第2部

彼が読み取ったことは、僕は勤勉で根気のある会社員で、働いている会社に忠実で、誰からも愛され、他人の不幸にも思いやりがあることである、と述べた。

Había leído que yo era un hombre honrado, trabajador asiduo, incansable, fiel a la casa que me empleaba, querido por todos y compasivo con las desgracias ajenas.

「動詞句」「目的語」

Había leído アビ・ア・レイト 3 単線・完了形(Leer)v.t 読み取った

「動詞句」

弁護士の話聞いて、ムルソーが思ったこと

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

yo ジョ pron 僕は

「主語」

era エラ 1 単線・時制の一致(ser)v.i ～である

「動詞」

un hombre ウン・オンブレ n.m 人間、男

「補語」

honrado, オンラト adj. 正直な

「形容詞」

trabajador asiduo, トラバ・ハドール・アシドゥオ n.m 勤勉な会社員

「補語」

incansable, インカンサブレ adj. 疲れを知らない、根気のある

「形容詞」

fiel フィエル adj. 忠実な

「補語」

a la casa ア・ラ・カサ adv. 会社に

「間接目的語」

casa カサ n.f 家、会社

que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

me メ pron 僕を

「目的語」

empleaba, エンプレアバ 3 単線・時制の一致(emplear)

v.t 雇っている

「動詞」

querido クリト 過去分詞・受動(querer)v.t 愛される

「補語」

por todos ポール・トブス adv. (動作主) 誰からも

「副詞句」

y イ conj. そして

compasivo コンパシボ adj. 思いやりのある

「補語」

con las desgracias ajenas. コン・ラス・デスグラシアス・アハス

adv. (対象) 他人の不幸に対して

「副詞句」

desgracia デスグラシア n.f 不幸、災難 ajena アヘナ adj(ajeno).f 他人の、無関係な

Segunda parte 第2部

彼の見立てによると、僕は長い間出来る限り母親を支えてきた理想的な息子だ。

Para él yo era un hijo modelo que había sostenido a su madre tanto tiempo como había podido. 「副詞句」「主語」「動詞」「補語」

Para él パラ・エル adv. 彼にとって、彼が思うには 「副詞句」

yo ジョ pron 僕は 「主語」

era エラ 1 単線・時制の一致(ser)v.i 〜である 「動詞」

un hijo modelo ウン・イェ・モデロ n.m 模範的な息子 「補語」

que ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」

había sostenido アビ・ア・ソステント 3 単線・完了形(sostener)

v.t 支えてきた 「動詞句」

a su madre ア・ス・マドレ n.f 母親を 「目的語」

tanto tiempo タント・ティエンポ adv. 長い間 「副詞句」

como había podido. コモ・アビ・ア・ポ・デイト adv. 出来る限り 「副詞節」

結局、僕の経済力では年老いた母さんにしてあげられないような快適な暮らしを、養老院が叶えてくれるだろうと期待したのだ。

Finalmente había esperado que una casa de retiro daría a la anciana las comodidades que mis medios no me permitían procurarle. 「副詞」「動詞句」「目的語」

Finalmente フィナルメンテ adv. 結局、最後に 「副詞」

había esperado アビ・ア・エスペラト 1 単線・完了形(esperar)v.t(que を) 期待した 「動詞句」

que ケ conj. 〜ということ を 「目的語」

una casa ウナ・カサ n.f 施設が、家 「主語」

de retiro デ・レチロ adj. 隠居の 「形容詞句」

retiro レチロ n.m 引退、隠居 → 養老院

daría ダリア 3 単過未・過去における未来予想(dar)v.t 与えるだろう 「動詞」

a la anciana ア・ラ・アンシアナ adv. 老婆に 「間接目的語」

las comodidades ラス・コモディダデス pl(comodidad).n.f 快適な暮らし 「直接目的語」

que ケ pron (目的語) 〜する 「形容詞節」

mis medios ミス・メディオス pl(medio)

n.m 僕の経済力は、資産 「主語」

no ...permitían ノ...ペルミチアン 3 複線・否定・時制の一致(permitir)

v.t 可能にしない 「動詞句」

me メ pron 僕が 「目的語」

procurarle. プロクラル・レ 不定詞・me の動作

v.t 母さんに提供する 「補語」

Segunda parte 第2部

「皆さん、私は驚きました」と、付け加えた。「養老院に関してこれ程大騒ぎをするとは」

"Me asombra, señores", agregó, "que se haya hecho tanto ruido alrededor del asilo."

《「目的語」「動詞」「呼びかけ」》, 「動詞」, 《「主語」》

"Me メ pron 私を

「目的語」

asombra, アソブラ 3 単現(asombrar)v.t 驚かす

「動詞」

señores", セニョレス pl.n.m 皆さん

「呼びかけ」

agregó, アグレゴ 3 単点(agregar)v.t 付け加えた

「動詞」

"que ケ conj. ～ということは

「主語」

se セ pron 人は

「主語」

haya hecho アヤ・エチョ 接・3 単現・完了形(hacer)v.t 作った

「動詞句」

tanto ruido タント・ルイド n.m 沢山の騒ぎを

「目的語」

alrededor del asilo. アルデトール・デル・アシロ adv. 養老院に関して

「副詞句」

「結局のところ、養老院という施設の有用性と偉大さの証拠を示す必要があるというならば、これらを助成しているのは国家であると言えばお分かりになるでしょう」

Pues, en fin, si fuera necesario dar una prueba de la utilidad y de la grandeza de estas instituciones, habría que decir que es el Estado mismo quien las subvenciona".

《「副詞節」》

Pues, プエス conj. ～なので

「副詞節」

en fin, エン・フィン adv. 結局のところ、要するに

「副詞句」

si シ conj. もし～ならば

「副詞節」

fuera フェア 接・3 単過・時制の一致(ser)v.i ～である

「動詞」

necesario +不定詞 ネセサリオ adj. (～することが) 必要である

「補語」

dar ダール 不定詞 v.t 与える

「動詞」

una prueba ウナ・プルエバ n.f 証拠を

「目的語」

de la utilidad デ・ラ・ウチリダド adj. 有用性の

「形容詞句」

y イ conj. そして

de la grandeza デ・ラ・グランデサ adj. 偉大さの

「形容詞句」

de estas instituciones, デ・エスタス・インストゥシオネス

adj. これらの施設の

「形容詞句」

habría que decir ハブリア・ケ・デシール 3 単過未・必要(haber que+不定詞)

v.t 言わなければならないだろう

「動詞句」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である

「動詞」

el Estado エル・エスタド n.m 国家

「補語」

mismo ミスモ adv. (強調) まさに

「副詞」

Segunda parte 第2部

quien ケン pron 〓するものは 「主語」

las ラス pron.pl (instituciones の代用) それらを 「目的語」

subvenciona". スブベンシオナ 3 単現(subvencionar)

v.t 助成金をだしている、助成している 「動詞」

しかし彼は葬儀について話さなかった。そして僕は彼の弁論に物足りなさを感じた。

Pero no habló del entierro, y advertí que faltaba en su alegato.

Pero 「動詞句」「間接目的語」, y 「動詞」「目的語」

Pero ペロ conj. しかし

no habló ノ・アブロ 3 単点(hablar)v.i (de について) 話さなかった 「動詞句」

del entierro, デル・エンチエロ adv. 葬儀について 「間接目的語」

y イ conj. そして

advertí アドベルティ 1 単点(advertir)v.t 気付いた 「動詞」

que ケ conj. 〓ということを 「目的語」

faltaba ファルタバ 3 単線(faltar)v.i 不足している、足りない 「動詞」

en su alegato. エン・ス・アレガト adv. 彼の弁論に 「副詞句」

このように長い弁論や、ここ何日・何時間もの間、僕の魂について話し合われた結果、僕はすべてが無色の水と化し、その中で僕はめまいを起こしそうな印象を抱いた。

Como consecuencia de todas estas largas frases, de todos estos días y horas interminables durante los cuales se había hablado de mi alma, tuve la impresión de que todo se volvía un agua incolora en la que encontraba el vértigo. 「副詞句」, 「動詞」「目的語」

Como コモ conj. (並列) 〓もまた、〓と同様に 「副詞句」

consecuencia コンセクエンシア n.f 結果 「目的語」

de todas estas largas frases, デ・トダス・エスタス・ラルカス・フラセス

adj. このような長い弁論の 「形容詞句」

de todos estos días y horas デ・トドス・エストス・デアス・イ・オラス

adj. ここ何日・何時間の 「形容詞句」

interminables インテルミナブレス adj. 終わりのない 「形容詞」

durante los cuales トゥランテ・ロス・クワレス

pron それらの間に〓する 「副詞節」

se había hablado セ・アビア・アブラト 3 単線・完了形・再帰受動(hablar)se

v.pr 話し合われた 「動詞句」

de mi alma, デ・ミ・アルマ

adv. 僕の魂について 「間接目的語」

tuve トゥヘ 1 単点(tener)v.t 〓を持った、抱いた 「動詞」

Segunda parte 第2部

la impresión	ラ・インプレシオン	n.f	印象を	「目的語」
de que	デ・ケ	adj.	(同格) ～であるという	「形容詞節」
todo	トド	pron	すべてが	「主語」
se volvía	セ・ボルビェア	セ・ボルビェア	3 単線(volverse)	
	v.pr		～になった	「動詞句」
un agua	ウン・アグア	n.f	水に	「補語」
incolora	インコラ	adj(incoloro).f	無色の	「形容詞」
en la que	エン・ラ・ケ	adj.	その中で～する	「形容詞節」
encontraba	エンコントラバ	1 単線・時制の一致(encontrar)		
	v.t		見つける	「動詞」
el vértigo.	エル・ベルチゴ	n.m	めまい	「目的語」

最後に、弁護士が話し続けている間に、通りからまたは部屋や法廷をいくつも通り抜けて、アイスクリーム売りのラッパが鳴り響くのが聞こえた事だけは覚えている。

Al final, sólo recuerdo que desde la calle y a través de las salas y de los estrados, mientras el abogado seguía hablando, oí sonar la corneta de un vendedor de helados.

				「副詞句」, 「副詞」「動詞」「目的語」
Al final,	アル・ファイナル	adv.	最後に	「副詞句」
sólo	ソロ	adv.	～だけ	「副詞」
recuerdo	レクエルト	1 単現(recordar)v.t	覚えている	「動詞」
que	ケ	conj.	～ということを	「目的語」
desde la calle	デステ・ラ・カジェ	adv.	通りから	「副詞句」
y	イ	conj.	そして	
a través de	ア・トラベス・デ	prep	～を通り抜けて	「副詞句」
las salas	ラス・サラス	pl(sala).n.f	部屋	「目的語」
y	イ	conj.	そして	
de	デ	prep	～を	「副詞句」
los estrados,	ロス・エストラトス	pl(estrado).n.m	法廷	「目的語」
mientras	ミエンTRAS	conj.	～している間	「副詞節」
el abogado	エル・アボガト	n.m	弁護士が	「主語」
seguía hablando,	セギア・アブラント	3 単線・継続・時制の一致(seguir+現在分詞)		
	v.i		話続けている	「動詞句」
oí	オイ	1 単点・知覚動詞(oír)v.t(SVO+不定詞)	O が～するのが聞こえた	「動詞」
sonar	ソナル	不定詞・corneta の動作 v.i	鳴り響く	「補語」
la corneta	ラ・コルネタ	n.f	ラッパが	「目的語」
de un vendedor	デ・ウン・ベンデトール	adj.	売り手の	「形容詞句」

Segunda parte 第2部

de helados. デ・エルト adj. アイスクリームの 「形容詞句」

もう僕のものではなくなったが、そこでひとときわ貧しくも確固とした喜びを見つけることが出来た僕の生活の記憶に、僕は襲われた。

Fui asaltado por los recuerdos de una vida que ya no me pertenecía más, pero en la que había encontrado las más pobres y las más firmes de mis alegrías:

「動詞句」 「副詞句」

Fui asaltado フィ・アサルタド 1 単点・受動(asaltar)v.t 襲われた 「動詞句」

por los recuerdos ホル・ロス・レクエルトス adv. (動作主) 思い出によって、記憶 「副詞句」

de una vida デ・ウナ・ビダ adj. 生活の、暮らしの 「形容詞句」

que ケ pron (主語: vida の代用) ~する 「形容詞節」

ya ヤー adv. もう、すでに 「副詞」

no ...pertenecía más, ノ...ペルテネシア・マス 3 単線・否定(pertenecer)

v.i(a) の) もう~のものではない 「動詞句」

me メ pron 僕の 「間接目的語」

pero ペロ conj. しかし

en la que エン・ラ・ケ adj. (la は vida の代用) そこで~する 「形容詞節」

había encontrado アビア・エンコントラド 1 単線・完了形(encontrar)

v.t 見つけた 「動詞句」

las más pobres ラス・マス・ポブレス

adj.pl(pobre).f 最も貧しい 「形容詞句」

y イ conj. そして

las más firmes ラス・マス・フィルメス

adj.pl(firme).f 最も確固とした 「形容詞句」

de mis alegrías: デ・ミス・アレグリアス

pl(alegría).f 僕の喜びを 「目的語」

Segunda parte 第2部

夏の匂い、僕が愛していたあの界限、ある夕暮れの空、マリーの笑顔とドレス。

los olores de verano, el barrio que amaba, un cierto cielo de la tarde, la risa y los vestidos de María.

los olores ロス・オロレス pl(olor).n.m 匂い 「主語」
 de verano, デ・ベラノ adj. 夏の 「形容詞句」
 el barrio エル・バリオ n.m 地区、界限 「主語」
 que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 amaba, アマハ 1 単線(amar)v.t 愛していた 「動詞」
 un cierto cielo ウン・シエルト・シエロ n.m ある空 「主語」
 de la tarde, デ・ラ・タルデ adj. 夕方の、午後の 「形容詞句」
 la risa ラ・リサ n.f 笑い 「主語」
 y イ conj. そして
 los vestidos ロス・ベスチドス pl(vestido).n.m ドレス 「主語」
 de María. デ・マリア adj. (所有) マリーの 「形容詞句」

その時、僕はこんなところで全く無益な事をしているという思いが、僕の喉元に込み上げてきた。そしてある緊急性を抱いた：

Me subió entonces a la garganta toda la inutilidad de lo que estaba haciendo en ese lugar, y no tuve sino una urgencia:

「間接目的語」「動詞」「副詞」「間接目的語」「主語」,y 「動詞句」「目的語」
 Me メ pronn 僕の 「間接目的語」
 subió スビオ 3 単点(subir)v.i 上がって来た 「動詞」
 entonces エントネス adv. その時 「副詞」
 a la garganta ア・ラ・ガルガンタ adv. 喉に 「間接目的語」
 toda la inutilidad トダ・ラ・イヌチダ n.f 全くの無益が 「主語」
 de lo que デ・ロ・ケ conj. (同格) ～という 「形容詞節」
 estaba haciendo エスタバ・アシエント 1 単線・進行形・時制の一致(hacer)
 v.i している 「動詞句」
 en ese lugar, エン・エ・ルガー adv. こんなところで 「副詞句」
 y イ conj. そして
 no tuve ノ・トゥベ 1 単点・否定(tener)v.t 持たなかった 「動詞句」
 sino una urgencia: シノ・ウナ・ウルヘンシア n.f (限定) 緊急性しか 「目的語」

Segunda parte 第2部

大至急こんなことは終わりにして、独房に戻って眠りたい。

que terminaran cuanto antes para volver a la celda a dormir.

que 「動詞」「副詞句」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

terminaran テルミナラン 接・3 複過・願望(terminar)v.t 終わらせたい

「動詞」

cuanto antes クワント・アンテス adv. 出来るだけ早く、大至急

「副詞句」

para volver パラ・ボルベル 不定詞・結果 adv. そして戻りたい

「副詞句」

a la celda ア・ラ・セルダ adv. 独房へ

「副詞句」

a dormir. ア・ドルミール 不定詞・目的 adv. 眠るために

「副詞句」

→ volver a+不定詞 「～しに戻る」

弁護士が締めくくりに、一瞬の過ちで自分を見失った誠実な労働者を陪審員の皆さんは死に追いやろうとは望まないでしょう。さらに永遠の悔恨というその犯行の最も確かな罰をすでに背負っていることから、情状酌量を求めると言ったが、ほとんど耳に入らなかった。

Apenas oí gritar al abogado, para concluir, que los jurados no querrían enviar a la muerte a un trabajador honrado, perdido por un minuto de extravío, y aducir las circunstancias atenuantes de un crimen cuyo castigo más seguro era el remordimiento eterno que arrastraba ya.

「副詞」「動詞」「補語」「目的語」、y 「補語」

Apenas アペナス adv. ほとんど～ない

「副詞」

oí オイ 1 単点・知覚動詞・否定文(oír)v.t 聞こえなかった

「動詞」

gritar グリタル 不定詞・abogado の動作 v.i 叫ぶ

「補語」

al abogado, アル・アボガト n.m 弁護士が

「目的語」

para concluir, パラ・コンクルール 不定詞・目的

adv. 結論を述べるために、締めくくるために

「副詞句」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

gritar の「目的語」

los jurados ロス・フラトス pl(jurado).n.m 陪審員は

「主語」

no querrían enviar ノ・クリアン・エンビアル 3 複過未・否定・願望・推量(querer+不定詞 enviar)

v.t(a に) ～に送り出そうと望まないだろう

「動詞句」

a la muerte ア・ラ・ムエルテ adv. 死に

「間接目的語」

a un trabajador honrado, ア・ウン・トラバハトール・オンラト

n.m 誠実な労働者を

「直接目的語」

perdido ペルディト 過去分詞 adj. 見失った

「形容詞」

por un minuto de extravío, ポル・ウン・ミニート・デ・エクストラビオ

adv. 一瞬の過ちで

「副詞句」

y イ conj. そして

Segunda parte 第2部

aducir アドゥシール 不定詞・abogado の動作 v.t 申し立てる、提示する	「補語」
las circunstancias atenuantes ラス・シルクンスタンシアス・アテヌアンテス	
pl(atenuante).n.f 情状酌量を	「目的語」
de un crimen デ・ウン・クリメン adj. 犯行の	「形容詞句」
cuyo castigo más seguro クヨ・カステゴ・マス・セグロ	
n.m それの最も確かな罰は	「主語」
era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった	「動詞」
el remordimiento エル・レモルディメント n.m 悔恨	「補語」
eterno エテルノ adj. 永遠の	「形容詞」
que ケ pron (目的語) ~する	「形容詞節」
arrastraba アラストラバ 3 単線・時制の一致(arrastrar)	
v.t 持っている、背負っている	「動詞」
ya. ヤー adv. すでに	「副詞」

法廷は休憩に入り、弁護士は疲れ果てた様子で再び着席した。

El Tribunal suspendió la audiencia y el abogado volvió a sentarse con aspecto agotado.

	「主語」「動詞」「目的語」 y 「主語」「動詞句」「副詞句」
El Tribunal エル・トリブナル n.m 法廷は	「主語」
suspendió スペンディ 3 単点(suspender)v.t 一時停止した、休憩に入った	「動詞」
la audiencia ラ・アウディエンシア n.f(法廷の)審問を	「目的語」
y イ conj. そして	
el abogado エル・アボガド n.m 弁護士は	「主語」
volvió a sentarse ボルビョ・ア・センタルセ 3 単点・再度(volver a+不定詞 sentarse)	
v.pr また着席した	「動詞句」
con aspecto コン・アスペクト adv. 様子で	「副詞句」
agotado. アゴタド adj. 疲れ果てた	「形容詞」

しかし、彼の同僚たちが、握手をするために彼の方へ近づいてきた。

Pero sus colegas se acercaron a él para estrecharle la mano.

	Pero 「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」
Pero ペロ conj. しかし	
sus colegas スス・コレガス pl(colega).n 彼の同僚たちが	「主語」
se acercaron セ・アセカロン 3 複点(acercarse)v.pr 近づいてきた	「動詞句」
a él ア・エル adv. 彼に	「間接目的語」
para +不定詞 パラ 不定詞・結果・目的 adv. そして~した	「副詞句」
estrecharle エストレチャル・レ 不定詞(estrechar+le)v.t 彼の~を握る	「動詞句」

Segunda parte 第2部

la mano. ラ・マノ n.f 手を

「直接目的語」

弁論を聞いたよ：「素晴らしかったよ、君！」彼らの1人は僕にまで賛成を求めた。

Oí decir: "¡Magnífico, querido amigo!" Uno de ellos hasta pidió mi aprobación:

「動詞」「補語」：《「感嘆」「呼びかけ」》, 「主語」「動詞句」「目的語」

Oí オイ 1 単点・知覚動詞(oír)v.t ~するのを聞いた 「動詞」

decir: デシル 不定詞・弁護士の動作 v.t 弁論する 「補語」

"¡Magnífico, マグニフィコ adj. 素晴らしい 「感嘆」

querido amigo!" クリト・アミゴ adv. 親愛なる君 「呼びかけ」

Uno de ellos ウン・デ・エヨス pron 彼らの1人は 「主語」

hasta pidió アスタ・ピディオ 3 単点(pedir)v.t 頼みさえした 「動詞句」

mi aprobación: ミ・アプロバシオン n.f 僕の賛成を 「目的語」

「そうでしょう？」と、僕に言った。僕は同意したが、心からの讃辞ではなかった。なぜなら僕は疲れすぎていたから。

"¿No es cierto?", me dijo. Asentí, pero el cumplido no era sincero porque yo estaba demasiado cansado.

《「動詞句」「補語」》, 「間接目的語」「動詞」, pero 「主語」「動詞句」「補語」「副詞句」

"¿No es ノ・エス 3 単現・否定・疑問文(ser)

v.i (同意を求める) ~でしょう?、~でないの? 「動詞句」

cierto?", シェルト adj. 確実な、疑いない 「補語」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

dijo. ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Asentí, アセンチ 1 単点(asentir)v.i 同意した 「動詞」

pero ペロ conj. しかし

el cumplido エル・クンプリト n.m 讃辞は、称赞は 「主語」

no era ノ・エラ 3 単線・否定(ser)v.i ~でなかった 「動詞句」

sincero シンセロ adj. 心からの、誠実な 「補語」

porque ボルケ conj. なぜなら、~なので 「副詞節」

yo ジョ pron 僕は 「主語」

estaba エスタバ 1 単線(estar)v.i ~だった 「動詞」

demasiado cansado. デマシアト・カンサト adj. 疲れすぎていた 「補語」

Segunda parte 第2部

外は日が傾き、暑さは和らいでいた。

Afuera declinaba el día y el calor era menos intenso.

「副詞」「動詞」「主語」 y 「主語」「動詞」「補語」

Afuera アフエラ adv. 外では

「副詞」

declinaba デクリナバ 3 単線(declinar)v.i 終わりに近づいていた

「動詞」

el día エル・デ・ア n.m 1 日が

「主語」

y イ conj. そして

el calor エル・カロール n.m 暑さは

「主語」

era エラ 3 単線・変化(ser)v.i ~になっていた

「動詞」

menos intenso. メノス・インテンソ adj. より弱い

「補語」

通りから聞こえるいくつかの音で、夕暮れの穏やかさを感じた。皆そこで待っていた。

Por ciertos ruidos de la calle, que oía, adivinaba la suavidad de la tarde. Estábamos todos allí esperando.

「副詞句」「動詞」「目的語」 | 「動詞句」「主語」「副詞」「動詞句」

Por ホル prep (手段) ~によって

「副詞句」

ciertos シエルトス adj. いくつかの

「形容詞」

ruidos ルイトス pl(ruido)n.m 物音

「目的語」

de la calle, デ・ラ・カジェ adj. 通りの

「形容詞句」

que ケ pron (目的語) ~する

「形容詞節」

oía, オイア 1 単線(oír)v.t 聞こえた

「動詞」

adivinaba アデ・イバ・ナバ 1 単線(adivinar)v.t 見抜いた、推測した

「動詞」

la suavidad ラ・スワビダ n.f 穏やかさを

「目的語」

de la tarde. デ・ラ・タルデ adj. 夕暮れの

「形容詞句」

Estábamos ...esperando. エスタバ・モス...エスペ・ラント 1 複線・進行形(estar)

v.i 待っていた

「動詞句」

todos トス pron 皆は

「主語」

allí アジ adv.そこで

「副詞」

そして、みんな一緒に待っていたものは、実際には僕だけに関わることだった。

Y lo que esperábamos juntos en realidad sólo me concernía a mí.

Y 「主語」「副詞句」「間接目的語」「動詞」「間接目的語」

Y イ conj. そして

lo que ロ・ケ pron (目的語) ~するものは

「主語」

esperábamos エスペ・ラバ・モス 1 複線(esperar)v.t 待っていた

「動詞」

juntos フントス adv. 一緒に

「副詞」

en realidad エン・レアリダ adv. 実際は

「副詞句」

Segunda parte 第2部

sólo me ソロ・メ pron 僕だけに 「間接目的語」
 concernía コンセルニア 3 単線・時制の一致(concernir)v.i(a に) 関係している 「動詞」
 a mí. ア・ミ adv. 僕に 「間接目的語」

僕はもう一度法廷の方を眺めた。何もかもが、最初の日と変わらなかった。

Volví a mirar a la sala. Todo estaba como en el primer día.

「動詞句」「間接目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」

Volví a mirar ボルビ・ア・ミラル 1 単点・再度(volver a+不定詞 mirar)

v.i(a の方を) もう一度見た 「動詞句」
 a la sala. ア・ラ・サラ adv. 法廷の方を 「間接目的語」
 Todo トト pron すべてが 「主語」
 estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ~だった 「動詞」
 como en el primer día. コモ・エン・エル・プリメル・デ・イア adv. 最初の日と同様の 「補語」

グレーの上着の新聞記者とあの自動人形みたいな女と視線が合った。

Encontré la mirada del periodista de la chaqueta gris y de la mujer automática.

「動詞」「目的語」

Encontré エンコントレ 1 単点(encontrar)v.t 出会った、見つけた 「動詞」
 la mirada ラ・ミラダ n.f 視線を 「目的語」
 del periodista テル・ペリオディスタ adj. 新聞記者の 「形容詞句」
 de la chaqueta gris テ・ラ・チャケタ・グリス adv. グレーの上着を着た 「副詞句」
 y イ conj. そして
 de la mujer automática. テ・ラ・ムヘール・アウトマ adj. あの自動人形の女の 「形容詞句」

そのことで、僕は裁判の間じゅうマリーの姿を探さなかったことに気が付いた。

Lo que me hizo pensar que durante todo el proceso no había buscado a María con la mirada.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Lo que ロ・ケ pron (前文が先行詞) そのことは 「主語」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 hizo pensar イ・ペンサル 3 単点・使役(hacer+不定詞 pensar)v.t 考えさせた 「動詞句」
 → 自分の意志で「考えた」のではなく、何かの影響を受けて「気付いた」
 que ケ conj. ~ということ 「直接目的語」
 durante todo el proceso トゥランテ・トト・エル・プロセソ
 adv. (期間) 裁判の間じゅう 「副詞句」
 no había buscado ノ・アビア・ブスカト 1 単線・完了形・否定(buscar)
 v.t 探さなかった 「動詞句」

Segunda parte 第2部

a María ア・マリア n.f マリーを

「目的語」

con la mirada. コン・ラ・ミラダ adv. 視線で

「副詞句」

lo que

Dijo que no lo sabe, lo que no es verdad.

彼はそれを知らないと言ったが、それは本当ではない。

→ lo que は、前文 (Dijo que no lo sabe) 全体を表し、新しい文の「主語」である

彼女を忘れていた訳ではない。やらなければならないことが多すぎたのだ。

No la había olvidado, pero tenía demasiado que hacer.

「動詞句」「目的語」「動詞句」,pero「動詞」「目的語」

No ...había olvidado, ノ...アビエ・オルビダト 1 単線・完了形・否定(olvidar)

v.t 忘れていなかった

「動詞句」

la ラ pron 彼女を

「目的語」

pero ペロ conj. しかし

tenía テニア 1 単線(tener)v.t 〜があった

「動詞」

demasiado デマシアト n.m 過剰

「目的語」

que hacer. ケ・アセル 不定詞・必要 adj. するべき

「形容詞句」

セレストとレーモンの中にマリーが見えた。まるで何か言おうとするような仕草をした：

La vi entre Celeste y Raimundo. Me hizo un pequeño ademán como si dijera:

「目的語」「動詞」「副詞句」 | 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞節」

La ラ pron 彼女が

「目的語」

vi ビ 1 単点(ver)v.t 見えた

「動詞」

entre Celeste y Raimundo. エントレ・セステ・イ・ライムント adv. セレストとレーモンの中に「副詞句」

Me メ pron 僕に

「間接目的語」

hizo イ 3 単点(hacer)v.t (動作を)した

「動詞」

un pequeño ademán ウン・ペケニョ・アデマン n.m 小さい仕草を

「直接目的語」

como si コモ・シ conj. まるで〜するように

「副詞節」

dijera: ディエラ 接・3 単過・時制の一致(decir)v.t 言う

「動詞」

Segunda parte 第2部

「さあ、始まるわね！」そして、彼女の顔が少し不安げに笑うのが見えた。しかし、僕は心がふさいで、彼女の微笑みに答えることさえ出来なかった。

"¡Por fin!", y vi sonreír su rostro un poco ansioso. Pero sentía cerrado el corazón y ni siquiera pude responder a su sonrisa.

《「呼びかけ」, y 「動詞」「補語」「目的語」「補語」

Pero 「動詞」「補語」「目的語」 y 「副詞句」「動詞句」「間接目的語」》

"¡Por fin!", ホル・フィン adv. ついに、やっと、いよいよ 「呼びかけ」

y イ conj. そして

vi ビ 1 単点・知覚動詞(ver)v.t(SVO+不定詞) O が～するのが見えた 「動詞」

sonreír ソンレイール 不定詞 v.i 笑う 「補語」

su rostro ス・ロストロ n.m 彼女の顔が 「目的語」

un poco ansioso. ウン・ポ・コ・アンシオ adv. 少し心配そうに 「副詞句」

Pero ペロ conj. しかし

sentía センチア 1 単線・知覚動詞(sentir)v.t(SVOC) O が C の状態なのを感じた 「動詞」

cerrado セラト adj. 閉じた、ふさいだ、曇った 「補語」

el corazón エル・コラソン n.m 心が 「目的語」

y イ conj. そして

ni siquiera ニ・シキエラ adv. ～さえも... ない 「副詞句」

pude responder プデ・レスポンドール 1 単点・可能・否定文(poder+不定詞 responder)

v.i(a に) 応答できなかった 「動詞句」

a su sonrisa. ア・ス・ソリサ adv. 彼女の微笑みに 「間接目的語」

裁判官が戻って来た。陪審員に向かって一連の質問が早口で読み上げられた。

El Tribunal volvió. Rápidamente leyeron una serie de preguntas a los jurados.

「主語」「動詞」 | 「副詞」「動詞」「目的語」「副詞句」

El Tribunal エル・トリブナル n.m (集合名詞) 裁判官が 「主語」

volvió. ホルビオ 3 単点(volver)v.i 戻って来た 「動詞」

Rápidamente ラッピダメンテ adv. 大急ぎで、早口で 「副詞」

leyeron レイエロン 3 複点(leer)v.t 読んだ 「動詞」

受動態に翻訳する

una serie de ウン・ア・セリエ・デ adj. 一連の 「形容詞句」

preguntas プレグンタス pl(pregunta).n.f 質問 「目的語」

a los jurados. ア・ロス・フラトス adv.(jurado) 陪審員に向かって 「副詞句」

Segunda parte 第2部

「殺人により有罪」とか、「予謀」とか、「情状酌量」などの言葉が聞こえた。

Oí "culpable de muerte...", "provocación...", "circunstancias atenuantes".

「動詞」「目的語」, 「目的語」, 「目的語」

Oí オイ 1 単点(oír)v.t 聞こえた

「動詞」

"culpable クルパブレ adj. 有罪

「目的語」

de muerte...", デ・ムエルテ adv. (理由) 殺人のために

「副詞句」

"provocación...", プロボカシオン n.f 挑発

「目的語」

"circunstancias シルクンスタンシアス pl(circunstancia).n.f (法律) 情状

「目的語」

atenuantes". アテヌアンテス adj(atenuante).pl 和らげる

「形容詞」

予謀

(犯罪などを) 前もって周到に計画すること。

フランス語原文では :

僕は、「殺人により有罪」とか「予謀」とか「情状酌量」という言葉の断片が聞こえた。

J'ai entendu «coupable de meurtre». . . «**préméditation**». . . «circonstances atténuantes».

このスペイン語版では provocación が使われているが、premeditación のほうが良い。

陪審員たちは退出した。そして僕は以前待たされた小部屋に連れ出された。

Los jurados salieron y se me llevó a la pequeña habitación en la que ya había esperado.

「主語」「動詞」 y 「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞句」

Los jurados ロス・フラトス pl(jurado).n.m 陪審員たちは

「主語」

salieron サエロン 3 複点(salir)v.i 退出した

「動詞」

y イ

se ...llevó セ...ジエボ 3 単点(llevar)v.t (廷吏は) 連れ出した

「動詞句」

me メ pron 僕を

「目的語」

受動態に翻訳する

a la pequeña habitación ア・ラ・ペケニャ・アビタシオン adv. 小さい部屋に

「副詞句」

en la que エン・ラ・ケ adv. そこで〜した

「副詞句」

ya ヤ adv. 以前、前に

「副詞」

había esperado. アビ・ア・エスペラト 1 単線・完了形(esperar)v.i 待った「動詞句」

Segunda parte 第2部

弁護士が僕の所へやって来た；彼は饒舌だった。彼は今までに見せたことが無かったほどの信頼と丁寧さで僕に話しかけてきた。

El abogado vino a reunírseme; estaba muy voluble y me habló con más confianza y cordialidad; como no lo había hecho nunca.

「主語」「動詞句」；「動詞」「補語」 y 「間接目的語」「動詞」「副詞句」

El abogado エル・アボガト n.m 弁護士が 「主語」

vino a reunírseme; ビノ・ア・レウニル・セ・メ 3 単点・しに来た(venir a+不定詞 reunírse+me)

v.pr やって来て僕に合流した 「動詞句」

reunirse レウニルセ v.pr 集まる、合同する

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i 〜だった 「動詞」

muy voluble ムイ・ボルブル adj. 気まぐれな 「補語」

y イ conj. そして

me メ pron 僕に 「間接目的語」

habló アブロ 3 単点(hablar)v.t 話した 「動詞」

con más confianza y cordialidad; コン・マス・コンフィアンサ・イ・コルデアリアダ

adv. 信頼と丁寧さで 「副詞句」

como コモ conj. (様態) 〜のように 「副詞節」

no ...había hecho nunca. ノ...アビア・エチョ・ヌカ 3 単線・完了形・否定(hacer)

v.t 今までに一度もやったことが無い 「動詞句」

lo ロ pron (confianza y cordialidad の代用) それを 「目的語」

フランス語原文では：

弁護士がやって来て、僕に付き添った：彼はやたらに喋ったが、今まで見せたことがないような信頼と好意を込めて僕に話しかけた。

Mon avocat est venu me rejoindre: il était très **voluble** et m'a parlé avec plus de confiance et de cordialité qu'il ne l'avait jamais fait.

スペイン語では、voluble よりも「locuaz ロクワス adj. 多弁な、饒舌な」が適切

Segunda parte 第2部

弁護士は、万事うまく進んでいるので、数年の禁固か徒刑になりそうだと考えていた。

Creía que todo iría bien y que saldría con algunos años de prisión o de trabajos forzados.

「動詞」「目的語」 y 「目的語」

Creía クレイ 1 単線(creer)v.t(que と) 思っていた

「動詞」

que ケ conj. ～という事を

「目的語」

todo ト^ド pron すべては

「主語」

iría イア 3 単過未・推量(ír)v.i 進むだろう

「動詞」

bien ビエン adv. うまく、順調に

「副詞」

y イ conj. そして

que ケ conj. ～という事を

「目的語」

saldría サルトリア 3 単過未・推量(salir)

v.i(con に) 付き合うことになるだろう

「動詞」

con algunos años コン・アルグ^ノス・アニョス adv. 数年に

「間接目的語」

de prisión テ[・]プリシオン adj. 監獄の

「形容詞句」

o オ conj. または

de trabajos forzados. テ[・]トラバ^ホス・フォルサト^ス

adj. 強制労働の

「形容詞句」

forzado フォルサト^ド adj. 強制された

禁固と徒刑（ずけい）

禁固：刑罰の一種で監獄には入れるが、労働はさせずにとじこめておくもの。

徒刑（ずけい）：受刑者を一定期間獄に拘禁して、強制的に労役に服させる刑。

不利な判決がでた場合には、それを破毀できる見込みはあるのかと彼に尋ねてみた。

Le pregunté si había perspectivas de casación en caso de fallo desfavorable.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Le レ pron 彼に

「間接目的語」

pregunté プレグンテ 1 単点(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞」

si シ conj. ～かどうかということ

「直接目的語」

había アビア 3 単線・時制の一致(haber)v.t ～がある

「動詞」

perspectivas ペルスぺクチバ^ス pl(perspectiva).n.f 見込み

「目的語」

de casación テ[・]カシオン adj. 破毀の

「形容詞句」

en caso de エン・カ[・]デ prep (限定) ～の場合には

「副詞句」

fallo ファジ^ョ n.m 判決

「目的語」

desfavorable. デスファボラブレ

adj. 不利な、都合の悪い

「形容詞」

Segunda parte 第2部

破毀

契約・取り決めなどを一方的に取り消すこと

彼は僕に、それは出来ないと答えた。彼の戦術は、陪審員の心証を害さないために、異議は申し出ないというものだった。

Me dijo que no. Su táctica había sido no proponer conclusiones para no indisponer al Jurado. 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 | 「主語」「動詞句」「補語」

Me メ pron 僕に 「間接目的語」

dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

que no. ケノ pron それは無いと 「直接目的語」

Su táctica ス・タクタ n.f 彼の戦術は 「主語」

había sido アビ・ア・シト 3 単線・完了形(ser)v.i 〜だった 「動詞句」

no proponer ノ・プロポネル 不定詞・否定 n. 申し出ないこと 「補語」

conclusiones コンクルシオネス pl(conclusión).n.f 結論、願望、異論 「目的語」

para no indisponer パラ・ノ・インディスポネル 不定詞・目的・否定

adv. 悪感情を抱かせないために 「副詞句」

al Jurado. アル・フラト adv. 陪審員に 「間接目的語」

判決は理由もなく破棄されるものではないからだ、と彼は僕に説明した。

Me explicó que no se casaba un fallo como éste por nada.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Me メ pron 僕に 「間接目的語」

explicó エクスプリコ 3 単点(explicar)v.t 説明した 「動詞」

que ケ conj. 〜ということを 「直接目的語」

no se casaba ノ・セ・カサバ 3 単線・再帰受動・否定・時制の一致(casarse)

v.pr 破毀されない 「動詞句」

un fallo ウン・ファジョ n.m 判決は 「主語」

como éste コモ・エステ adv. (類似) このように 「副詞句」

por nada. ポル・ナダ adv. (条件) 理由がないならば 「副詞句」

僕もそれはそうだったのです、彼の説明に納得した。

Me pareció evidente y admití sus razones.

「間接目的語」「動詞」「補語」 y 「動詞」「目的語」

Me メ pron 僕には 「間接目的語」

pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i 〜に思われた 「動詞」

evidente エビデント adj. あきらかな、明白な 「補語」

Segunda parte 第2部

y イ

admití アドミチ 1 単点(admitir)v.t 受け入れた 「動詞」

sus razones. スス・ラゾネス pl(razon).n.f 彼の説明を 「目的語」

冷静に考えれば、まったく当然だ。

Si se consideraba el asunto fríamente era perfectamente lógico.

「副詞節」, 「動詞」 「補語」

Si シ conj. (仮定) もし～ならば 「副詞節」

se consideraba セ・コンシデラハ セ・コンシデラハ 3 単線・再帰受動(considerarse)

v.pr 考慮されたら 「動詞句」

能動態に翻訳する

el asunto エル・アスト n.m その事が 「主語」

fríamente フリアメンテ adv. 冷静に、冷たく 「副詞」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」

perfectamente lógico. ペルフェクタメンテ・ロヒコ adj. まったく当然の、理にかなった 「補語」

そうでなければ、無駄な書類が山ほどできるだろう。

En caso contrario, habría demasiado papelería inútil. 「副詞句」, 「動詞」 「目的語」

En caso contrario, エン・カソ・コントリオ adv. そうでなければ、反対の場合には 「副詞句」

habría ハブリア 3 単過未・存在・変化・推量(haber)v.t ～ができるだろう 「動詞」

demasiado デマシアド adv. 余りにもたくさんの 「副詞」

papelería パペレリオ n.m 書類 「目的語」

inútil. イヌチル adj. 無駄な 「形容詞」

「それでも」と、弁護士が言った。「上訴という方法が残っています。しかし、判決が有利になると確信しています」

"De todos modos", me dijo el abogado, "queda la apelación. Pero estoy seguro de que el fallo será favorable".

《「副詞句」》, 「間接目的語」 「動詞」 「主語」, 《「動詞」 「主語」 | Pero 「動詞」 「補語」》

"De todos modos", デ・トドス・モドス adv. それでも、とにかく、どちらにしても 「副詞句」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

el abogado, エル・アボガト n.m 弁護士が 「主語」

"queda ケダ 3 単現(quedar)v.i 残っている 「動詞」

la apelación. ラ・アペレーション n.f 上訴が 「主語」

Pero ペロ conj. しかし

Segunda parte 第2部

estoy エストイ 1 単現(estar)v.i	～である	「動詞」
seguro セグロ adj.	(関連) (de を、について) 確信した	「補語」
de que デ・ケ conj.	～ということについて	「副詞節」
el fallo エル・ファシヨ n.m	判決は	「主語」
será セラ 3 単末・推量(ser)v.i	～になるだろう	「動詞」
favorable". ファボラブレ adj.	有利な	「補語」

僕たちはかなり長く待った。45 分近かったと思う。

Esperamos mucho tiempo, creo que cerca de tres cuartos de hora.

Esperamos エスペラモス 1 複点(esperar)v.t	待った	「動詞」
mucho tiempo, ムチョ・ティエンポ n.m	長い間	「目的語」
creo クロ 1 単現(creer)v.t(que と) 思う		「動詞」
que ケ conj.	～ということ	「目的語」
cerca de セルカ・デ prep	(数量を越えないで) およそ～	「副詞句」
tres cuartos de hora. トレス・クワルトス・デ・オラス pl(cuarto).n.m	45 分	「目的語」

ついに呼び鈴が鳴った。弁護士は僕に一言説明して出て行った：

Al cabo, un campanilleo sonó. El abogado me dejó, diciendo:

Al cabo, アル・カボ adv.	ついに	「副詞句」
un campanilleo ウン・カンパニジェオ n.m	ベルが、呼び鈴が	「主語」
sonó. ソノ 3 単点(sonar)v.i	鳴った	「動詞」
El abogado エル・アボガト n.m	弁護士が	「主語」
me メ pron	僕を	「目的語」
dejó, デホ 3 単点(dejar)v.t	残していった	「動詞」
diciendo: デイシエント 現在分詞・同時(decir)v.i	言いながら	「副詞」

Segunda parte 第2部

「まず陪審長が回答を読み上げます。そして、あなたが呼ばれて、判決が言い渡されます」

"El presidente del Jurado va a leer las respuestas. Sólo le llamarán cuando se pronuncie el fallo."

《「主語」「動詞句」「目的語」 | 「副詞」「目的語」「動詞」「副詞節」》

"El presidente del Jurado エル・プレシデnte・デル・フクト n.m 陪審長は 「主語」
va a leer バ・ア・レエル 3 単現・近接未来・予定(ir a+不定詞)v.t 読み上げる 「動詞句」
las respuestas. ラス・レスプ エスタス pl(respuesta).n.f 回答を 「目的語」
Sólo ソロ adv. ーだけ 「副詞」

Sólo... cuandoー 「... する時、初めてーする」

le レ pron あなたを 「目的語」
llamarán ジャマラン 3 複未(llamar)v.t 呼ぶ 「動詞」
cuando クワント cond. その時ーする 「副詞節」

se pronuncie セ・プロンシエ 接・3 単現・再帰受動・推量(pronunciarse)

v.pr 言い渡される 「動詞句」

el fallo." エル・ファシヨ n.m 判決は 「主語」

ドアを閉める音が聞こえた。人々が階段を走っている。それが近いのか遠いのか分からない。

Se oyó golpear las puertas. La gente corría por las escaleras y yo no sabía si estaban próximas o alejadas.

「動詞句」「主語」 | 「主語」「動詞」「副詞句」 y 「主語」「動詞句」「目的語」

Se oyó セ・オヨ 3 単点(oirse)v.pr ーが聞こえた 「動詞句」

golpear ゴルペアル 不定詞 n. 閉める音が 「主語」

las puertas. ラス・プ エルタス pl(puerta).n.f ドアを 「目的語」

La gente ラ・ヘンテ n.f (集合) 人々は 「主語」

corría コリア 3 単線(correr)v.i 走った 「動詞」

por las escaleras ホル・ラス・エスカララス adv. (空間) 階段を通過して 「副詞句」

y イ conj. そして

yo ジョ pron 僕は 「主語」

no sabía ノ・サビア 1 単線・否定(saber)v.t 分からなかった 「動詞句」

si シ conj. ーかどうかということ 「目的語」

estaban エスタバン 3 複線・時制の一致(estar)v.i ーである 「動詞」

próximas プロキシマス adj(próximo).f.pl 近い 「補語」

o オ conj. または

alejadas. アレハダス adj(alejado).f.pl 遠い 「補語」

Segunda parte 第2部

それから、法廷で何かを読み上げるこもった声が聞こえた。

Luego	ルエゴ	adv.	それから、次に		
oí	オイ	1 単点(oír)v.t	聞こえた		
una voz	ウナ・ボス	n.f	声を		
sorda	ソルダ	adj(sordo).f	こもった		
que	ケ	pron (主語)	～する		
leía	レイア	3 単線・時制の一致(Leer)v.t	読み上げる		
algo	アルゴ	pron	何かを		
en la sala.	エン・ラ・サラ	adv.	法廷で		
				「副詞」	「動詞」
					「目的語」
					「副詞」
					「動詞」
					「目的語」
					「目的語」
					「形容詞」
					「形容詞節」
					「動詞」
					「目的語」
					「副詞句」

再び呼び鈴が鳴ると、被告人席の扉が開いて、法廷内の沈黙が僕に向かって押し寄せてきた。

沈黙そしてあの若い記者が視線をそむけたと気付いた時に感じた独特の感覚。

Quando volvió a sonar el campanilleo, la puerta del lugar de los acusados se abrió y el silencio de la sala subió hacía mí, el silencio y la singular sensación que sentí al comprobar que el joven periodista había apartado la mirada.

Quando	クワント	conj.	～すると		
volvió a sonar	ボルビエ・ア・ソナル	3 単点・再度(volver a+不定詞 sonar)			
		v.i	再び鳴った		
el campanilleo,	エル・カンパニエロ	n.m	呼び鈴が		
la puerta	ラ・プエルタ	n.f	扉が、ドアが		
del lugar	デル・ルガル	adj.	場所の		
de los acusados	デ・ロス・アカトス	adj.	被告人の		
se abrió	セ・アブリオ	3 単点(abrirse)v.pr	開いた		
y	イ	conj.	そして		
el silencio	エル・シレンシオ	n.m	沈黙が		
de la sala	デ・ラ・サラ	adj.	法廷の		
subió	スビエ	3 単点(subir)v.i	(a に) 達した、届いた		
hacia, mí,	アシア・ミ	adv.	僕に向かって		
el silencio	エル・シレンシオ	n.m	沈黙は		
y	イ	conj.	そして		
la singular sensación	ラ・シングラル・センサシオン	n.f	独特の感覚は		
que	ケ	pron (目的語)	～する		
sentí	センチ	1 単点(sentir)v.t	感じた		
al comprobar	アル・コンプ・ロハール	adv.	(時) 確認した時		
				「副詞節」	「主語」
					「主語」
					「動詞」
					「形容詞」
					「形容詞節」
					「動詞」
					「主語」
					「主語」
					「形容詞句」
					「動詞」
					「副詞句」
					「主語」
					「主語」
					「形容詞節」
					「動詞」
					「副詞句」

Segunda parte 第2部

que ケ conj. conj.～ということを 「目的語」
 el joven periodista エル・ホベン・ペリオディスタ
 n.m あの若い記者が 「主語」
 había apartado アビ・ア・パルト 3 単線・完了形(apartar)v.t そらした 「動詞句」
 la mirada. ラ・ミラダ n.f 視線を 「目的語」

僕はマリーのほうを見なかった。

No miré en dirección a María. 「動詞句」 「副詞句」
 No miré ノ・ミレ 1 単点・否定(mirar)v.i 見なかった 「動詞句」
 en dirección a エン・ディレクション・ア prep (方向) ～の方へ 「副詞句」
 María. マリア n.f マリー 「目的語」

そうする時間は無かった。なぜなら、裁判長が奇妙な言葉づかいで僕に、フランス国民の名において僕の首は公共の広場で切断されることになったと言ったからだ。

No tuve tiempo porque el Presidente me dijo en forma extraña que, en nombre del pueblo francés, se me cortaría la cabeza en una plaza pública. 「動詞句」 「目的語」 「副詞節」
 No tuve ノ・トゥヴェ 1 単点・否定(tener)v.t ～が無かった 「動詞句」
 tiempo テイエポ n.m 時間が 「目的語」
 porque ポルケ conj. ～なので 「副詞節」
 el Presidente エル・プレシデンテ n.m 裁判長が 「主語」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 dijo ティホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 en forma extraña エン・フォルマ・エクストラニャ adv. (方法) 奇妙な表現で 「副詞句」
 que, ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 en nombre del pueblo francés, エン・ノンブレ・デル・プエブロ・フランセ
 adv. フランス国民の名において 「副詞句」
 se ...cortaría セ...コルタリア 3 単過未(cortarse)
 v.pr 切断されるだろう 「動詞句」
 me メ pron 僕の 「間接目的語」
 la cabeza ラ・カベサ n.f 首は 「直接目的語」
 en una plaza pública. エン・ウナ・プラサ・プブリカ
 adv. (場所) 公共の広場で 「副詞句」

Segunda parte 第2部

その時、法廷内の皆の顔から読み取った感情が何かを分かった気がした。

Me pareció reconocer entonces el sentimiento que leía en todos los rostros.

「間接目的語」「動詞句」「副詞」「直接目的語」

Me メ pron 僕には

「間接目的語」

pareció reconocer パレシオ・レコノセル 3 単点・思われる(parecer+不定詞 reconocer)

v.t 認識できたと思った

「動詞句」

entonces エントネス adv. その時

「副詞」

el sentimiento エル・センチメント n.m 感情が

「直接目的語」

que ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

leía レイア 1 単線(leer)v.t 読み取った

「動詞」

en todos los rostros. エン・トドス・ロス・ロストロス adv. 皆の顔から

「副詞句」

思いやりだと思う。

Creo que era consideración.

「動詞」「目的語」

Creo クロ 1 単現(creer)v.t (que ～だと) 思う

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である

「動詞」

consideración. コンシデラシオン n.f 思いやり、敬意

「補語」

警官たちは僕に対してとても穏やかな態度を示した。

Los gendarmes se mostraban muy suaves conmigo.

「主語」「動詞句」「補語」

Los gendarmes ロス・ヘンダルメス pl(gendarme).n.m 警官たちは

「主語」

se mostraban セ・モストラバン 3 複線(mostrarse)v.pr(+補語) (態度を) 示した

「動詞句」

muy suaves ムイ・スラブス adj.pl とても穏やかな

「補語」

conmigo. コンミゴ adv. 僕に対して

「副詞」

弁護士は僕の手をとった。僕はもう何も考えられなかった。

El abogado me tomó la mano. Yo no pensaba más en nada.

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 | 「主語」「動詞句」「間接目的語」

El abogado エル・アボガト n.m 弁護士は

「主語」

me メ pron 僕の

「間接目的語」

tomó トモ 3 単点(tomar)v.t とった

「動詞」

la mano. ラ・マノ n.f 手を

「直接目的語」

Yo ジョ pron 僕は

「主語」

no pensaba ノ・ペンサバ 1 単線・否定(pensar)v.i 考えなかった

「動詞句」

más en nada. マス・エン・ナダ adv. もう何のことも～ない

「間接目的語」

Segunda parte 第2部

裁判長は、付け加えるものは何も無いか、と僕に尋ねた。

El Presidente me preguntó si no tenía nada que agregar.

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
 El Presidente エル・プレシデンテ n.m 裁判長は 「主語」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」
 si シ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」
 no tenía ノ・テナ 1 単線・否定(tener)v.t ～がない 「動詞句」
 nada ナダ pron ～もない 「目的語」
 que agregar. ケ・アグレガル adj. 付け加えるべきものは 「形容詞節」

僕は考えた。それから答えた：「ありません」そこで、僕は法廷から連れ出された。

Reflexioné. Dije: "No." Entonces me llevaron.

「動詞」 | 「動詞」「応答」 | 「副詞」「目的語」「動詞」
 Reflexioné. レフレクシオネ 1 単点(reflexionar)v.i 考えた 「動詞」
 Dije: デヘ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 "No." ノ adv. ありません 「応答」
 Entonces エントンセス adv. それで 「副詞」
 me メ pron 僕を 「目的語」
 llevaron. シェハロン 3 複点(llevar)v.t 連れて行った 「動詞」

Segunda parte 第2部

V

僕は三回に渡って司祭の訪問を断り続けてきた。

Por tercera vez he rehusado recibir al capellán.

「副詞句」「動詞句」「目的語」

Por ホル prep (期間) 〜の間

「副詞句」

tercera vez テルセラ・ベス n.f 三回

「目的語」

he rehusado recibir エ・レウサド・レシビール 1 単現・完了形・拒否(rehusar)v.t(+不定詞)

v.t (客を) 迎え入れるのを断ってきた

「動詞句」

al capellán. アル・カペジャン n.m 司祭を

「目的語」

司祭に言うことは何も無いし、話したくもない。それでも近いうちに会うことになるだろう。

No tengo nada que decirle, no tengo ganas de hablar, demasiado pronto tendré que verle.

「動詞句」「目的語」, 「動詞句」「目的語」, 「副詞句」「動詞句」

No tengo ノ・テンゴ 1 単現・否定(tener)v.t 〜がない

「動詞句」

nada ナダ pron 何も〜ない

「目的語」

que decirle, ケ・デシル・レ conj. (目的) 彼に言うべき

「形容詞節」

no tengo ノ・テンゴ 1 単現・否定(tener)v.t 〜がない

「動詞句」

ganas ガナス pl(gana).n.f 意欲、願望

「目的語」

de hablar, デ・アブラール 不定詞・同格 adj. 話すという

「形容詞句」

demasiado pronto デマシアト・プロント adv. すぐにでも、早いうちに

「副詞句」

tendré que verle. テントレ・ケ・ベール・レ 1 単未・必要・推量(tener que+不定詞 ver+le)

v.t 彼に会わなければならないだろう

「動詞句」

今、僕に関心があることは、このシステムから抜け出す事と、不可避なものにも何か手段があるのかどうか知ることだ。

En este momento me interesa escapar del engranaje, saber si lo inevitable puede tener salida.

「副詞句」「目的語」「動詞」「主語」, 「主語」

En este momento エン・エステ・モメント adv. 現在、今

「副詞句」

me メ pron 僕に

「目的語」

interesa インテサ 3 単現(interesar)v.t 興味を抱かせる

「動詞」

escapar エスカール 不定詞 n. 逃れることは、逃げることは

「主語」

del engranaje, デル・エンガラハ adv. このシステムから

「副詞句」

saber サベル 不定詞 n. 知ることは

「主語」

si シ conj. 〜かどうかということ

「目的語」

lo inevitable ロ・イネビタブレ n.m 不可避の物が

「主語」

puede tener プエデ・テネル 3 単現・可能(poder+不定詞 tener)

Segunda parte 第2部

v.t 持つことが出来る 「動詞句」
 salida. サダ n.f 出口、可能性、手段 「目的語」

僕は別の独房に移された。

Me han cambiado de celda. 「目的語」「動詞句」「副詞句」
 Me メ pron 僕を 「目的語」
 han cambiado アン・カンビアド 3 複現・完了形(cambiar)v.t(de の位置を) 変えた 「動詞句」
 de celda. デ・セルダ adv. 独房の 「副詞句」

この独房からは、横になると空が見える、そして空しか見えない。

Desde ésta, cuando me tiendo, veo el cielo, y no veo más que el cielo.
 「副詞句」, 「動詞」「目的語」, y 「動詞句」「目的語」
 Desde デステ prep (場所) 〜から 「副詞句」
 ésta, エスタ pron (celda の代用) この独房 「目的語」
 cuando クワント conj. 〜する時 「副詞節」
 me tiendo, メチエンド 1 単現(tenderse)v.pr 横になる 「動詞句」
 veo ベオ 1 単現(ver)v.t 見える 「動詞」
 el cielo, エル・シエロ n.m 空が 「目的語」
 y イ conj. そして
 no veo ノ・ベオ 1 単現・否定(ver)v.t 見えない 「動詞句」
 más que el cielo. マス・ケ・エル・シエロ n.m(no... más que) 空しか 「目的語」

僕が空の顔に、昼から夜へと移り変わる色の衰えを眺めているうちに、毎日が過ぎて行く。

Todos los días transcurren mirando en su rostro el declinar de los colores que llevan del día a la noche. 「主語」「動詞」「副詞句」
 Todos los días トス・ロス・デ・ィアス pl(día).n.m 毎日が 「主語」
 transcurren トランスクレン 3 複現(transcurrir)v.i 推移する、移り変わる 「動詞」
 mirando ミラント 現在分詞・主語は自分(mirar)adv. 〜を見ていると 「副詞句」
 en su rostro エン・ス・ロストロ adv. 空の顔に 「副詞句」
 el declinar エル・デ・クリナル n.m 衰えを 「目的語」
 de los colores デ・ロス・コロレス adj. 色の 「形容詞句」
 que ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」
 llevan シェバン 3 複現(llevar)v.t 導く 「動詞」
 del día デル・デ・ィア adv. 昼から 「副詞句」
 a la noche. ア・ラ・ノチェ adv. 夜へ 「副詞句」

Segunda parte 第2部

僕は寝ころび、両手を頭の下にあてがって、待つ。

Acostado, pongo las manos debajo de la cabeza y espero.

「副詞」「動詞」「目的語」「副詞句」 y 「動詞」

Acostado, アコスタド 過去分詞・様態(acostar)adv. 寝ころんだ

「副詞」

pongo ポンゴ 1 単現(poner)v.t 置く

「動詞」

las manos ラス・マノス pl(mano).n.f 両手を

「目的語」

debajo de デバホ・デ prep (位置) ~の下に

「副詞句」

la cabeza ラ・カベサ n.f 頭

「目的語」

y イ conj. そして

espero. エスペロ 1 単現(esperar)v.i 待つ

「動詞」

僕は、情け容赦のないシステムから抜け出し、処刑の前に姿を消して、非常線を突破した死刑囚の例があるのではないかと、何度自問したか分からない。

No sé cuántas veces me he preguntado si habrá ejemplos de condenados a muerte que se hayan librado del engranaje implacable, desaparecido antes de la ejecución, roto el cordón de los agentes.

「動詞句」「目的語」

No sé ノ・セ 1 単現・否定(saber)v.t 分からない

「動詞句」

cuántas veces クワンタス・ベセス n. 何度~するかということ

「目的語」

me he preguntado メ・エ・プレグンタド 1 単現・完了形(preguntarse)

v.pr 自問した

「動詞句」

si シ conj. ~かどうかということ

「目的語」

habrá アブラ 3 単未・存在(haber)v.t ~がある

「動詞」

ejemplos エヘンプロス pl(ejemplo).n.m 例が

「目的語」

de condenados デ・コンデナトス adj. 受刑者の

「形容詞句」

a muerte ア・ムエルテ adj. (対象) 死に相当する

「形容詞句」

que ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

se hayan librado セ・アヤン・リブラト 接・3 複現・完了形(librarse)

v.pr 自分を解放した

「動詞句」

del engranaje デル・エンガラナヘ adv. 歯車から

「副詞句」

implacable, インプラカブレ adj. 容赦のない

「形容詞」

desaparecido デサパレシト 接・3 複現・完了形(desaparecer)

v.i 姿を消した

「動詞句」

antes de la ejecución, アンテス・デ・ラ・エヘクシヨン

adv. 処刑の前に

「副詞句」

roto ロト 接・3 複現・完了形(romper)v.t 破った

「動詞句」

el cordón エル・コルトン n.m 警戒線、非常線

「目的語」

Segunda parte 第2部

de los agentes. テ・ロス・アヘンテス

adj. 警察の

「形容詞句」

今度は、死刑の話にあまり注意を払わないでいた自分を責めた。

Me he reprochado ahora el no haber prestado suficiente atención a los relatos de ejecuciones.

「動詞句」「副詞」「目的語」

Me he reprochado メ・エ・レプ°ロチャト° 1 単現・完了形(reprocharse)v.pr 自分を責めた「動詞句」

ahora アハラ adv. 今度は、今は

「副詞」

el no haber prestado エル・ノ・アヘール・プレスタ° 不定詞・完了形・否定・名詞化(prestar)

n. (注意)を払わないでいたことを

「目的語」

suficiente atención スフィシエンテ・アテンシオン n.f 十分な注意を

「直接目的語」

a los relatos ア・ロス・レラトス adv. (対象) 話に対して

「間接目的語」

de ejecuciones. テ・エヘシオネス adj. 死刑執行の、処刑の 「形容詞句」

人はいつも、この問題に関心を持つべきだ。何が起ころか、誰にも分からないのだから。

Uno siempre debería de interesarse por estos temas. No se sabe nunca lo que puede ocurrir.

「主語」「副詞」「動詞句」「間接目的語」 | 「動詞句」「主語」

Uno ウノ pron 人は

「主語」

siempre シエンプレ adv. いつも、常に

「副詞」

debería de interesarse テベリア・デ・インテサルセ 3 単過未・確信・必要(deber de+不定詞)

v.pr 関心を持つべきである

「動詞句」

deber+不定詞 義務「～しなければならない」

por estos temas. ホル・エストス・テマス adv. (対象) これらの問題に

「間接目的語」

No se sabe nunca ノセサベ°ヌカ 3 単現・再帰受動・否定(saberse)

v.pr 決して知られない、分からない

「動詞句」

lo ロ pron それは

「主語」

que ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

puede ocurrir. プエ°エ°オクリール 3 単現・可能性(poder+不定詞 ocurrir)

v.i 起ころかもしれない

「動詞句」

Segunda parte 第2部

皆と同じように、僕も新聞で記事を読んだことがある。

Como todo el mundo, yo había leído informaciones en los periódicos.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」
 Como todo el mundo, コモ・トド・エル・ムンド adv. 皆と同じように 「副詞句」
 yo ジョ pron 僕は 「主語」
 había leído アビ・ア・レイト 1 単線・完了形・経験(ler)v.t 読んだことがある 「動詞句」
 informaciones インフォルマシオネス pl(información).n.f 記事を、ニュース 「目的語」
 en los periódicos. エン・ロス・ペリオディコス adv. (手段) 新聞で 「副詞句」

絶対に特別な本が存在するはずだが、僕は今まで調べようと思ったことがなかった。

Pero existían, sin duda, obras especiales que nunca tuve curiosidad de consultar.

Pero ペロ conj. しかし
 existían, エクシスティアン 3 複線・時制の一致(existir)v.i 存在する 「動詞」
 sin duda, シン・ドゥダ adv. 間違いなく、絶対に、たぶん 「副詞句」
 obras オブラス pl(obra).n.f 本が、著書が 「主語」
 especiales エスペシアレス adj(especial).pl 特別の、特殊な 「形容詞」
 que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」
 nunca tuve ヌンカ・トゥヘ 1 単点・否定(tener)
 v.t ~を持ったことがなかった 「動詞句」
 tener curiosidad de... ~に好奇心を持つ
 curiosidad de +不定詞 クリオシダデ・デ n.f ~する好奇心を 「目的語」
 consultar. コンサルタル 不定詞 v.t ~を調べる 「動詞」

多分それらの中に、脱走の話を見つけただろう。

Quizá en ellas habría encontrado relatos de evasiones. 「副詞句」 「動詞句」 「目的語」
 Quizá キサ adv. たぶん 「副詞」
 en ellas エン・エジャス adv. それらの本の中に 「副詞句」
 habría encontrado アブリア・エンコントラト 1 単過未・完了形・推量(encontrar)
 v.t 見つけただろう 「動詞句」
 relatos レラトス pl(relato).n.m 話、報告を 「目的語」
 de evasiones. デ・エバシオネス adj. 逃走の、脱走の 「形容詞句」

Segunda parte 第2部

僕は少なくとも一度は運命の歯車が止まった事、そして抑えがたい予謀の中で、幸運と偶然が少なくとも1度は何かを変えた事を知っただろう。

Me hubiera enterado de que, en un caso por lo menos, la rueda se había detenido; de que en su precipitación irresistible, el azar y la posibilidad, por una vez, al menos, habían cambiado alguna cosa. 「動詞句」「目的語」;「目的語」

Me hubiera enterado メ・ウビエラ・エンテラト 接・1 単過・完了形・推量(enterarse)

v.pr 気づいただろう、知っただろう 「動詞句」

de que,+直説法 テ・ケ conj. (情報によって) ~ということを 「目的語」

en un caso エン・ウン・カーソ adv. 一度 「副詞句」

por lo menos, ポル・ロ・メノス adv. 少なくとも 「副詞句」

la rueda ラ・ルエダ n.f 車輪が 「主語」

se había detenido; セ・アビエ・デ・テニト セ・アビエ・デ・テニト 3 単線・完了形(detenerse)

v.pr 止まった 「動詞句」

de que テ・ケ conj. ~ということを 「目的語」

en su precipitación エン・ス・プレシピタシオン adv. その予謀の中で 「副詞句」

→ precipitación は premeditación の間違いと思われる

irresistible, イレシスチブレ adj. 抑えがたい 「形容詞」

el azar エル・アザール n.m 幸運が 「主語」

y イ conj. そして

la posibilidad, ラ・ポシビリダ n.f 可能性が、偶然 「主語」

por una vez, ポル・ウナ・ベス adv. 一度 「副詞句」

al menos, アル・メノス adv. 少なくとも 「副詞句」

habían cambiado アビエ・アン・カンビアド 3 複線・完了形(cambiar)v.t 変えた 「動詞句」

alguna cosa. アルグナ・コーサ n.f 何かを 「目的語」

フランス語原文では :

そして僕は知ることが出来ただろう。歯車が止まった事例は少なくとも1つはある事、そして、この抑えられない計画の中で、偶然と幸運が一度だけ何かを変え得た事を。

J'aurais appris que dans un cas au moins la roue s'était arrêtée, que dans cette **préméditation** irrésistible, le hasard et la chance, une fois seulement, avaient changé quelque chose.

予謀 よぼう

(犯罪などを) 前もって周到に計画すること

Segunda parte 第2部

たった一度だけ！ある意味では、その一度が、僕にとっては十分だったと思う。

¡Una sola vez! En cierto sentido, creo que esto me hubiera bastado.

「副詞句」 | 「副詞句」, 「動詞」 「目的語」

¡Una sola vez! ヲ・ソラ・ベス n.f. たった1度だけ

「副詞句」

En cierto sentido, エン・シエルト・セントロ adv. ある意味では

「副詞句」

cierto+名詞 「ある…」

creo クロ 1 単現(creer)v.t(que と) 思う

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

esto エスト pron. これは

「主語」

me メ pron. ぼくにとっては

「間接目的語」

hubiera bastado. ヲ・エラ・バスタド 接・3 単過・完了形・推量(bastar)

v.i (a にとって) 十分であった

「動詞句」

それ以外の例は、僕の心が作ることができただろう。新聞はしばしば社会に対する借りについて書いているが、それは返すべきものなのだ。

Mi corazón habría hecho el resto. Los periódicos hablaban a menudo de una deuda para con la sociedad que, según ellos, era necesario pagar.

「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」「副詞句」「間接目的語」

Mi corazón ミ・コラソン n.m. 僕の心が

「主語」

habría hecho アブラリア・ヘチョ 3 単過未・完了形・推量(hacer)

v.t. 想像できただろう、作っただろう

「動詞句」

el resto. エル・レスト n.m. 残りを、他の例を

「目的語」

Los periódicos ロス・ペリオディコス pl(periódico).n.m. 新聞は

「主語」

hablaban アブラバン 3 複線・時制の一致(hablar)v.i(de について) 書く

「動詞」

a menudo ア・メスト adv. しばしば

「副詞句」

de una deuda テ・ウナ・デウダ adv. 借金について

「間接目的語」

para con la sociedad パラ・コン・ラ・ソシエダ adv. (方向) 社会に対して 「副詞句」

que, ケ conj. (主語) ～する

「形容詞節」

según ellos, セグン・エジョス adv. 新聞によれば

「副詞句」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i. ～である

「動詞」

necesario pagar. ネセサリオ・パガール adj. 支払う必要のある

「補語」

necesario+不定詞 「～する必要のある」

Segunda parte 第2部

しかしこれは想像力に訴えない。

Pero esto no habla a la imaginación.

Pero 「主語」「動詞句」「間接目的語」

Pero ^{ペロ} conj. しかし

esto ^{エスト} pron これは

「主語」

no habla ^{ノ・アブラ} 3 単現・否定(hablar)v.i(a に) 話しかけない、訴えない

「動詞句」

a la imaginación. ^{ア・ラ・イマヒナシオン} adv. 想像力に

「間接目的語」

興味があるのは、脱出の可能性であり、冷酷な儀式の外への飛び出し、そして希望のあらゆる可能性をかなえてくれる狂おしい疾走についてである。

Lo que interesa es la posibilidad de evasión, un salto fuera del rito implacable, una loca carrera que ofrece todas las posibilidades de esperanza.

「主語」「動詞」「補語」, 「補語」, 「補語」

Lo ^ロ pron それは

「主語」

que ^ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

interesa ^{インテサ} 3 単現(interesar)v.t 興味を抱かせる

「動詞」

es ^{エス} 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

la posibilidad ^{ラ・ポシビリダ} n.f 可能性、見込み、チャンス

「補語」

de evasión, ^{デ・エバシオン} adj. 脱出の

「形容詞句」

un salto ^{ウン・サルト} n.m 跳躍、ジャンプ

「補語」

fuera del rito ^{フエラ・テル・リト} adv. 儀式の外への

「副詞句」

implacable, ^{インプラカブレ} adj. 冷酷な、非常な、容赦のない

「形容詞」

una loca ^{ウナ・カ} adj(loco).f 狂った

「形容詞句」

carrera ^{カレラ} n.f 競争、疾走

「補語」

que ^ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

ofrece ^{オフレ} 3 単現(ofrecer)v.t 提供する

「動詞」

todas las posibilidades ^{トダス・ラス・ポシビリダデス}

pl(posibilidad).n.f あらゆる可能性を

「目的語」

de esperanza. ^{デ・エスペランサ} adj. 希望の

「形容詞句」

Segunda parte 第2部

もちろん希望は、逃走の途中で、道路の角で銃弾によって撃ち倒されることにある。

Naturalmente, la esperanza consistía en ser abatido de un balazo en la esquina de una calle, en plena carrera. 「副詞」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」

Naturalmente, ナトゥラルメンテ adv. 当然、もちろん 「副詞」

la esperanza ラ・エスペランサ n.f 希望は 「主語」

consistía コンシスチア 3 単線・存在・時制の一致(consistir)v.i 〜にある 「動詞」

en +不定詞・受動 エン adv. 〜されることに 「副詞句」

ser abatido セール・アバティド 不定詞・受動(abatir)v.t 撃ち殺される 「動詞句」

de un balazo デ・ウン・バラソ adv. (動作主) 銃弾、命中弾 「副詞句」

en la esquina エン・ラ・エスキナ adv. 角で 「副詞句」

de una calle, デ・ウン・カジェ adj. 道路の 「形容詞句」

en plena carrera. エン・プレ・カラ adv. (時点) 逃走の途中で 「副詞句」

plena プレ adj(pleno).f 中心の、完全な carrera カラ n.f 競争、逃走

しかし、どれだけ考えても、そんな贅沢は僕には許されないだろう。あらゆるものが僕にそれを禁止する。システムが再び僕を捕らえる。

Pero, bien considerado todo, ese lujo no me estaba permitido, todo me lo prohibía, el engranaje me enganchaba nuevamente.

Pero, 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 「動詞句」,

「主語」 「間接目的語」 「直接目的語」 「動詞」, 「主語」 「目的語」 「動詞」 「副詞」

Pero, ペロ conj. しかし

bien considerado ビエン・コンシデラド 過去分詞・受動・假定・譲歩(considerar)

adv. 十分に考えられたとしても 「副詞句」

todo, トト pron すべてが 「主語」

ese lujo エセ・ルホ n.m そんな贅沢は 「主語」

no ...estaba permitido, ノ...エスタバ・ペルミティド 3 単線・仮定の結果を推量・時制の一致(permitir)

v.t 許されないだろう 「動詞句」

me メ pron 僕には 「間接目的語」

todo トト pron すべてが 「主語」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

lo ロ pron それを 「直接目的語」

prohibía, プロヒビア 3 単線・時制の一致(prohibir)v.t 禁止する 「動詞」

el engranaje エル・エングラナヘ n.m システムが 「主語」

me メ pron 僕を 「目的語」

enganchaba エンガンチャバ 3 単線・時制の一致・推量(enganchar)v.t 捕まえる 「動詞」

nuevamente. ニエバメンテ adv. また、再び 「副詞」

Segunda parte 第2部

どれほど好意的に考えても、この傲慢ともいえる確実性を受け入れることはできない。

A pesar de mi buena voluntad no podía aceptar esta certidumbre insolente.

「副詞句」, 「動詞句」 「目的語」

A pesar de ア・ペサル・デ prep (譲歩) 〜にもかかわらず

「副詞句」

mi buena voluntad ミ・ブエナ・ボルタ n.f 僕の好意、意欲

「目的語」

no podía aceptar ノ・ポデア・アセプタル 1 単線・可能・否定・時制の一致

(poder+不定詞 aceptar)v.t 受け入れられない

「動詞句」

esta certidumbre エスタ・セルチトゥンブレ n.f この確信を、確実性

「目的語」

insolente. インソレンテ adj. 傲慢な

「形容詞」

要するに、おかしい不均衡が、その不均衡を生み出した判決とその判決が言い渡された瞬間からその揺るぎない発展との間に、存在するからである。

Pues, al fin y al cabo, existía una desproporción ridícula entre el fallo que la había creado y su desarrollo imperturbable a partir del momento en que el fallo había sido pronunciado.

Pues, 「副詞句」 「動詞」 「主語」 「副詞句」

Pues, プエス conj. (理由) 〜なので

al fin y al cabo, アル・フィン・イ・アル・カボ adv. 要するに、結局

「副詞句」

existía エキスチア 3 単線・時制の一致(existir)v.i 存在する

「動詞」

una desproporción ウナ・デスプロポーション n.f 不均衡

「主語」

ridícula リディクラ adj(ridículo).f おかしい、馬鹿げた

「形容詞」

entre エントレ prep (空間) 〜の間に

「副詞句」

el fallo エル・ファシヨ n.m 判決

「目的語」

que ケ pron (主語) 〜する

「形容詞節」

la ラ pron その不均衡を

「目的語」

había creado アビア・クレアト 3 単線・完了形(crear)

v.t 生み出した

「動詞句」

y イ conj. そして

su desarrollo ス・デサロジヨ n.m その発展

「目的語」

imperturbable インペルトウルバブレ

adj. ゆるぎない

「形容詞」

a partir del momento ア・パルチール・テル・モメント

adv. (時間・起点) その瞬間から

「副詞句」

en que エン・ケ adv. 〜する

「形容詞節」

el fallo エル・ファシヨ

n.m その判決が

「主語」

Segunda parte 第2部

había sido pronunciado. アビ・ア・シト・プロンシアド 3 単線・完了形・受動(ppronunciar)

v.t 言い渡された

「動詞句」

判決が読み上げられたのは 17 時ではなくて 20 時であるという事実。そして下着を取り換えるような人々によって言い渡された判決とは異なる結果になっていたかもしれないという事実。さらに、フランス国民（あるいはドイツ国民または中国国民）というような全く漠然とした概念の名において下されたという事実。僕には、これらすべてが裁定に対して真剣さを欠いていると思われる。

El hecho de haber sido leída la sentencia a las veinte en lugar de a las diecisiete, el hecho de que hubiera podido ser otra de que había sido dictada por hombres que cambian la ropa interior, de que había sido dada en nombre de una noción tan imprecisa como la del pueblo francés (o alemán o chino), me parecía que todo quitaba mucha seriedad a la decisión.

「主語」, 「間接目的語」 「動詞」 「主語」

El hecho エル・エチョ n.m 事実

「主語」

de + 不定詞 デ adj. ～するという

「形容詞句」

→ ～ということ

haber sido leída アベール・シト・レイダ 3 単現・完了形・受動.f(ler)

v.t 読まれた

「動詞句」

la sentencia ラ・センテンシア n.f 判決が

「主語」

a las veinte ア・ラス・ベインテ adv. 20 時に

「副詞句」

en lugar de エン・ルガール・デ prep ～の代わりに

「副詞句」

a las diecisiete, ア・ラス・デ・イシエテ adv. 17 時に

「副詞句」

el hecho エル・エチョ n.m 事実

「主語」

de que デ・ケ conj. (同格) ～するという

「形容詞節」

hubiera podido ser ウビエラ・ポデイト・セル 接・3 単過・完了形・可能性・推量

(poder+不定詞)v.i ～になったかもしれない

「動詞句」

otra オトラ pron 異なること

「補語」

de que デ・ケ conj. (比較) ～ということとは

「副詞節」

había sido dictada アビ・ア・シト・ディクタダ 3 単線・完了形・受動(dictar)

v.t 言い渡された

「動詞句」

por hombres ホル・オンブレス

adv. (動作主) 人々によって

「副詞句」

que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

cambian カンビアン 3 複現(cambiar)

v.t 取り替える

「動詞」

la ropa interior, ラ・ロパ・インテリオル

Segunda parte 第2部

n.f 下着を	「目的語」
de que デ・ケ conj. (比較) ～ということとは	「副詞節」
había sido dada アビ・ア・シト・ダダ 3 単線・完了形・受動.f(dar)	
v.t 与えられた	「動詞句」
en nombre de エン・ノブレ・デ prep ～の名において	「副詞句」
una noción ウナ・ノシオン n.f 観念、概念	「目的語」
tan imprecisa タン・インプレシサ	
adj(impreciso).f 全く漠然とした	「形容詞句」
como la del pueblo francés(o alemán o chino), コノ・ラ・デル・プエブロ・フランセス・オ・アレマン・オ・チノ	
adv. フランス国民 (あるいはドイツ国民または中国国民) というような	「副詞句」
me メ pron 僕には	「間接目的語」
parecía パレシア 3 単線(parecer)v.i ～に思われた	「動詞」
que ケ conj. ～ということ	「主語」
todo トド pron すべては	「主語」
quitaba キタバ 3 単線・時制の一致(quitar)v.t 取り除いている	「動詞」
mucha seriedad ムチャ・セリエダ n.f 真剣さ	「目的語」
a la decisión. ア・ラ・デシシオン adv. (対象) 裁定に対して	「副詞句」
下着を取り換える人とは？	
先入観や偏見に基づいて物事の意味付けを行う、欺瞞に満ちた人間をさす。	

しかし、判決が下された瞬間から、その効力は、僕の全身をそれに向かって押し潰す壁の存在のように、現実かつ確実なものになることを認めざるを得なかった。

Empero, me veía obligado a reconocer que, a partir del momento en que había sido dictada, sus efectos se volvían tan reales y tan serios como la presencia del muro contra el que aplastaba mi cuerpo en toda su extensión. Empero, 「動詞句」「補語」

Empero, エンペロ conj.(= pero, sin embargo) しかし	
me veía メ・ベ・イ 1 単線(verse)v.pr ～の状態だった	「動詞句」
obligado オブリガト adj. (必要) (a+不定詞) ～しなければならない	「補語」
a reconocer ア・レコノセル 不定詞 v.t 認める	「動詞句」
que, ケ conj. ～ということ	「目的語」
a partir del momento ア・パルティール・デル・モメント	
adv. (時・起点) その時から	「副詞句」
en que エン・ケ conj. ～した	「形容詞節」
había sido dictada, アビ・ア・シト・ディクタダ 3 単線・完了形・受動(dictar)	
v.t (命令を) 発せられた	「動詞句」

Segunda parte 第2部

sus efectos	スス・エフェクトス	pl(efecto).n.m	その効力は	「主語」
se volvían	セ・ホルビアン	3 複線・変化・時制の一致(volverse)		
v.pr	～になる			「動詞句」
tan reales	タン・レアレス	adj(real).pl	全く現実の	「補語」
y	イ conj.	そして		
tan serios	タン・セリオス	adj(serio).pl	確実な	「補語」
como	コモ conj.	～のように		「副詞句」
la presencia	ラ・プレシヤ	n.f	存在	「目的語」
del muro	デル・ムロ	adj.	壁の	「形容詞句」
contra el	コントラ・エル			
adv.	(対立)	それに対する		「副詞句」
que	ケ conj.	～する		「形容詞節」
aplastaba	アプラスタバ	3 単線(aplastar)		
v.t	押しつぶす			「動詞」
mi cuerpo	ミ・クエルポ			
n.m	僕の体を			「目的語」
en toda su extensión.	エン・トダ・ス・エクステンシオン			
adv.	その全身を			「副詞句」

その時、母さんが父さんについて話してくれたある話を思い出した。

Recordé en esos momentos una historia que mamá me contaba a propósito de mi padre.

Recordé	レコルデ	1 単点(recordar)v.t	思い出した	「動詞」
en esos momentos	エン・エロス・モメントス	adv.	その時	「副詞句」
una historia	ウナ・イストリア	n.f	ある話を	「目的語」
que	ケ conj.	～した		「形容詞節」
mamá	ママ	n.f	母さんが	「主語」
me	メ pron	僕に		「間接目的語」
contaba	コンタバ	3 単線(contar)v.t	話した	「動詞」
a propósito de	ア・プロポシ・テ	adv.	(関連) ～に関して	「副詞句」
mi padre.	ミ・パドレ	n.m	父さん	「目的語」

Segunda parte 第2部

僕は父のことを知らなかった。僕が父について具体的に知っていることは、たぶん、母さんが僕に話してくれたことだけだ。

Yo no le había conocido. Todo lo que había de concreto sobre este hombre era quizá lo que me decía mamá. 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」

Yo ジョ pron 僕は 「主語」

no ...había conocido. ノ...アビ・ア・コノシト 1 単線・完了形・否定(conocer)

v.t 知らなかった

「動詞句」

le レ pron 彼(父親)の事を

「目的語」

Todo lo トト・ロ pron すべての事は

「主語」

que ケ pron (目的語) ~する

「形容詞節」

había アビ・ア 3 単線・存在・時制の一致(haber)v.t ある

「動詞」

de concreto デ・コンクレト adv. 具体的に

「副詞句」

sobre este hombre ソブレ・エステ・オンブレ adv. この人間について「間接目的語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ~である

「動詞」

quizá lo キサ・ロ pron たぶんそれ

「補語」

que ケ pron (目的語) ~する

「形容詞節」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

decía デシア 3 単線(decir)v.t 言った

「動詞」

mamá. ママ n.f 母さんが

「主語」

彼はある殺人犯の死刑執行を見に行った。しかし、行こうと考えただけで気分が悪くなった。

Había ido a ver ejecutar a un asesino. Se sentía enfermo con la simple perspectiva de ir.

「動詞句」「目的語」 | 「動詞句」「補語」

Había ido アビ・ア・イト 3 単線・完了形(ir)v.i(ir a+不定詞) ~しに行った

「動詞句」

a ver ア・ベール 不定詞・目的・知覚動詞 v.t(+不定詞) ~するのを見に行く「動詞句」

ejecutar エヘクター 不定詞 v.t 死刑を執行する

「動詞句」

a un asesino. ア・ウン・アセシノ n.m ある殺人犯を

「目的語」

Se sentía セ・センチア 3 単線(sentirse)v.pr ~と感じた

「動詞句」

enfermo エンフェルモ adj. 病気の

「補語」

con la simple perspectiva コン・ラ・シンプレ・ペルスぺクチバ

adv. (手段) 見込みだけで

「副詞句」

de ir. デ・イール adj. (同格) 行くという

「形容詞句」

Segunda parte 第2部

彼はそれでも出かけてゆき、家に戻ると午前中しばらく吐いていた。

Fue, sin embargo, y al regreso había estado vomitando parte de la mañana.

「動詞」「副詞句」,y「副詞句」「動詞句」「副詞句」

Fue, フェ 3 単点(ir)v.i 出て行った

「動詞」

sin embargo, シン・エンバルゴ adv. それでも

「副詞句」

y イ conj. そして

al regreso アル・レグレス adv. (時点) 戻って来た時に

「副詞句」

había estado vomitando アビ・ア・エスト・ボミタント 3 単線・完了形・進行形(vomitarse)

v.t 吐いていた

「動詞句」

parte de la mañana. パルテ・デ・ラ・マニャ adv. 午前中しばらく

「副詞句」

当時、僕は少し父に嫌悪感を抱いた。今では、それが全く自然な反応だったと理解できる。

Mi padre me producía un poco de repugnancia entonces. Ahora comprendo que era tan natural.

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞」 | 「副詞」「動詞」「目的語」

Mi padre ミ・パトレ n.m 父は

「主語」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

producía プロトウシア 3 単線(producir)v.t もたらした

「動詞」

un poco de repugnancia ウン・ポコ・デ・レプグナンシア n.f 少しの嫌悪感を

「直接目的語」

entonces. エントンス adv. その当時は

「副詞」

Ahora アオラ adv. 今では

「副詞」

comprendo コンプレント 1 単現(comprender)v.t 理解できる

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である

「動詞」

tan natural. タン・ナトゥラル adj. 全く当然な、自然な

「補語」

どうして僕は、死刑執行より重要なことは何も無いし、死刑こそが一人の人間にとって本当に興味をそそる唯一のことだと気づかなかったのだろうか！

¿Cómo no advertí que no había nada más importante que una ejecución capital y que en cierto sentido, era aún la única cosa realmente interesante para un hombre!

「副詞」「動詞句」「目的語」 y 「目的語」

¿Cómo コモ adv. (疑問文で) どうして～だろう

「副詞」

no advertí ノ・アドベルティ 1 単点・否定(advertir)v.t 気づかなかった

「動詞句」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

no había ノ・ハビア 3 単線・存在・否定・時制の一致(haber)v.t ～がない

「動詞句」

nada ナダ pron 何も～ない

「目的語」

Segunda parte 第2部

más importante	マス・インポ ^ル タンエテ	adj. より重要な	「形容詞句」
que	ケ conj.	(比較) ～よりも	「副詞句」
una ejecución capital	ウナ・エヘクシオン・カピ ^{タル}		
n.f	死刑執行		「目的語」
y	イ conj.	そして	
que	ケ conj.	～とということ	「目的語」
en cierto sentido,	エン・シエルト・センクト ^ス	adv. ある意味では	「副詞句」
era	エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i	～である	「動詞」
aún la única cosa	アウン・ラ・ウニカ・コサ	n.f 唯一の物	「補語」
realmente	リアルメンテ	adv. 本当に	「副詞」
interesante	インテランテ	adj. 興味深い	「形容詞」
para un hombre!	パラ・ウン・オンブレ	adv. 一人の人間にとって	「副詞句」

万一にも、この牢獄から出られたなら、僕はすべての死刑執行を見に行こうと思う。

Si alguna vez saliera de esta cárcel, iría a ver todas las ejecuciones capitales.

			「副詞節」, 「動詞句」 「目的語」
Si	シ conj.	(仮定) もし～ならば	「副詞節」
alguna vez	アルガナ・ベス	adv. 時として、もしかして、万一にも	「副詞句」
saliera	サエラ 接・1 単過・仮定(salir)v.i	出た	「動詞」
de esta cárcel,	デ・エスタ・カルセル	n.f この牢獄から	「副詞句」
iría a ver	イリア・ア・ベール 1 単過未・仮定の結果・意思(ir a+不定詞)		
v.t	見に行こうと思う		「動詞句」
todas las ejecuciones capitales.	トダス・ラス・エヘクシオネス・カピ ^{タル} ス		
pl(ejecucion).n.f	すべての死刑執行を		「目的語」

そのような可能性を考えたのは間違いだったと思う。

Creo que me hacía mal pensar en tal posibilidad.

Creo	クオ 1 単現(creer)v.t(que と) 思う		「動詞」 「目的語」
que	ケ conj.	～ということ	「目的語」
me hacía	メ・アシア 1 単線(hacerse)v.pr	自分にとって～になった	「動詞句」
mal pensar	マル・ペンサル	n.m 悪い考え	「目的語」
en tal posibilidad.	エン・タル・ポシビリダ ^ス	adv.(関連) そのような可能性について	「副詞句」

Segunda parte 第2部

というのは、ある朝早く、何らかの方法で自由の身に変わった自分自身が警官の列の後ろにいることを考えたり、また自分は見物に來た人間であって、その後で嘔吐することが出来る
と考えると、胸の内に悪意のある喜びが込み上げてきたからだった。

Pues ante la idea de verme libre una mañana temprano, detrás de un cordón de agentes, de alguna manera del otro lado, ante la idea de ser el espectador que viene a ver y que podrá vomitar después, una ola de alegría envenenada me subía al corazón.

「副詞節」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」

Pues プエス conj. (理由) ~なので、というのは 「副詞節」

ante アンテ prep (場所) ~の前で 「副詞句」

la idea ラ・イデア n.f 考え 「目的語」

de verme libre テ・ベル・メ・リブレ 不定詞・同格

adj. 自由の身の自分自身を見るという 「形容詞句」

una mañana temprano, ウナ・マニャ・テンプラ

adv. ある朝はやく 「副詞句」

detrás de デトラス・テ prep (位置) ~の後ろに 「副詞句」

un cordón ウン・コルドン n.m 列、警戒線 「目的語」

de agentes, テ・アヘンテス adj. 警官の 「形容詞句」

de alguna manera テ・アルグナ・マネラ adv. 何らかの方法で 「副詞句」

del otro lado, デル・オトロ・ラド adj. 反対側の 「副詞句」

ante la idea アンテ・ラ・イデア adv. 考えの前で 「副詞句」

de ser テ・セル 不定詞・同格 v.i ~であるという 「形容詞句」

el espectador エル・エスペクタドル n.m 見物人 「補語」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

viene a ver ビエネ・ア・ベル 3 単現・しに來た(venia a+不定詞)

v.t 見に來た 「動詞句」

y イ conj. そして

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

podrá vomitar ポトラ・ボミタル 3 単未・可能・推量(poder+不定詞)

v.t 嘔吐できる 「動詞句」

después, テスパエス adv. その後で 「副詞句」

una ola ウナ・オラ n.f 波が、うねりが 「主語」

de alegría テ・アレグリア adj. 喜びの 「形容詞句」

envenenada エンベネタダ adj(envenenado).f 悪意のある 「形容詞」

me メ pron 僕の 「間接目的語」

subía スビア 3 単線(subir)v.i 上がって來た 「動詞」

al corazón. アル・コラソン adv. 心臓に、胸に、心に 「間接目的語」

Segunda parte 第2部

しかし、それは無分別な考えだ。

Pero no era razonable.

Pero 「動詞句」「補語」

Pero ^{ペロ} conj. しかし

no era ^{ノエラ} 3 単線・否定・時制の一致(ser)v.i 〜でない

「動詞句」

razonable. ^{ラサブレ} adj. 分別のある、道理にかなった

「補語」

このような仮定にふけてしまったのは失敗だ。なぜなら、その直後、僕はものすごい寒気に襲われて、毛布を被って縮こまってしまったからだ。

Hacía mal en abandonarme a estas suposiciones, porque un instante después sentía un frío tan atroz que me encogía bajo la manta.

「動詞」「副詞句」, 「副詞節」

Hacía ^{アシア} 1 単線(hacer)v.t (行動を) した

「動詞」

mal ^{マル} adv. 悪く、不適切に

「副詞」

hacer mal 「不適切に行動する」

en abandonarme ^{エン・アバントナル・メ} adv.(a に) (関連) 身をゆだねることに

「副詞句」

a estas suposiciones, ^{ア・エスタス・スホシオネス} adv. この仮定に

「間接目的語」

porque ^{ポルク} conj. なぜなら

「副詞節」

un instante después ^{ウン・インスタンテ・デスプエス} adv. 次の瞬間、その直後に

「副詞句」

sentía ^{センチア} 1 単線(sentir)v.t 感じた

「動詞」

un frío ^{ウン・フリオ} n.m 寒気を

「目的語」

tan atroz ^{タン・アトロス} adj. ものすごい

「形容詞句」

que ^ケ conj.(tan...que) (結果) あまり...なので〜する

me encogía ^{メ・エンコヒア} 1 単線(encogerse)v.pr (体を) 縮ませた、丸めた

「動詞句」

bajo ^{バホ} prep. 〜の下に

「副詞句」

la manta. ^{ラ・マンタ} n.f 毛布

「目的語」

顎が震えてガチガチと歯が鳴るのを止めることが出来なかった。

Los dientes me castañeteaban sin que pudiera evitarlo.

「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞節」

Los dientes ^{ロス・デ・イエンテス} pl(diente).n.m 歯が

「主語」

me ^メ pron 僕にとって

「間接目的語」

castañeteaban ^{カスタンエアバン} 3 複線(castañetear)v.i カチカチ鳴った

「動詞」

sin que ^{シン・ケ} conj. 〜せずに

「副詞節」

pudiera evitarlo. ^{プデ・イエラ・エビタル・ロ} 接・1 単過・可能(poder+不定詞)

v.t それを避けることが出来る

「動詞句」

Segunda parte 第2部

シバリング

shiver シバァー (英語) 震える shivering 身震いするような
 恐怖や寒さなどが原因で、顎が震えて、歯がガチガチと音を立てる様子
 「歯の根が合わない」とも言います。

しかし勿論、いつでも冷静沈着でいられるものではない。

Pero, naturalmente, no siempre se puede ser razonable.

Pero 「副詞」「動詞句」「補語」

Pero, ペロ conj. しかし

naturalmente, ナチュラルメンテ adv. もちろん、当然 「副詞」

no siempre se puede ser ノ・シエンプレ・セ・プエデ・セル 3 単現・可能・否定・一般性

v.pr いつも〜でいられるものではない 「動詞句」

razonable. ラサブル adj. 分別のある、良識のある 「補語」

別の時には、例えば法案を作って、刑法を改正した。

Otras veces, por ejemplo, hacía proyectos de ley. Reformaba las penas.

「副詞句」, 「動詞」「目的語」 | 「動詞」「目的語」

Otras veces, オTRAS・ベセス adv. (時) 別の時には 「副詞句」

por ejemplo, ホル・エヘンプロ adv. 例えば 「副詞句」

hacía アシア 1 単線(hacer)v.t 作った 「動詞」

proyectos プロジェクトス pl(proyecto).n.m 草案を 「目的語」

de ley. テ・レイ adj. 法律の 「形容詞句」

Reformaba レフォルマバ 1 単線(reformar)v.t 改めた、改革した 「動詞」

las penas. ラス・ペナス pl(pena).n.f 刑法を 「目的語」

僕は、受刑者にチャンスを与えることが肝心だと気づいた。

Me había dado cuenta de que lo esencial era dar una posibilidad al condenado.

「動詞句」「目的語」

Me había dado cuenta de メ・アビア・ダト・クエンタ・デ 1 単線・完了形(darse cuenta de)

v.t 〜に気づいた 「動詞句」

que ケ conj. 〜ということ 「目的語」

lo esencial ロ・エセンシアル n.m 肝心な事は、本質的なこと 「主語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i 〜である 「動詞」

dar ダール 不定詞 n. 〜を与える事 「補語」

una posibilidad ウナ・ポシビリダ n.f 可能性、チャンスを 「直接目的語」

al condenado. アル・コンデナド adv. 受刑者に 「間接目的語」

Segunda parte 第2部

千の中にたった一つのチャンスがあれば、物事が解決する。

Una sola entre mil bastaba para arreglar muchas cosas. 「主語」「動詞」「副詞句」

Una sola ヲ・ソラ pron (posibilidad の代用) たった1つのチャンスは 「主語」

entre mil エントレ・ミル adv. 千の中で 「副詞句」

bastaba バスタバ 3 単線・時制の一致(bastar)v.i 十分である 「動詞」

para +不定詞 パラ 不定詞・目的 adv. (条件) ~するためには 「副詞句」

arreglar アレグラール 不定詞 v.t 解決する 「動詞」

muchas cosas. ムチャス・コサス pl(cosa).n.f 様々な物事を 「目的語」

僕が思うには、(患者に例えて考えると)、服薬すると10人の内9人が死ぬような組成の化学薬品を見つけることは可能だろう。

Y me parecía que podía encontrarse alguna combinación química cuya absorción mataría al paciente (el paciente, pensaba yo) nueve veces sobre diez.

Y 「間接目的語」「動詞」「主語」

Y イ conj. そして

me メ pron 僕には 「間接目的語」

parecía パレシア 3 単線(parecer)v.i ~のように思われる 「動詞」

que ケ conj. ~ということは 「主語」

podía encontrarse ポディア・エンコントラルセ 3 単線・可能・再帰受動・時制の一致(poder+不定詞)

v.pr 見つけられる 「動詞句」

alguna combinación química アルグナ・コンビナシオン・キミカ

n.f 何らかの化学的な組成が 「主語」

cuya absorción クヤ・アブソルシオン n.f その吸収が~する 「形容詞節」

mataría マタリア 3 単過未・可能性(matar)

v.t 殺すかもしれない 「動詞」

al paciente アル・パシエンテ n.m 患者を 「目的語」

(el paciente, エル・パシエンテ n.m 患者を 「目的語」

pensaba ペンサバ 1 単線・時制の一致(pensar)v.t 考える 「動詞」

yo) ショ pron 僕は 「主語」

nueve veces スエベ・ベセス adv. 9回 「副詞句」

sobre diez. ソブレ・デイエス

adv. (攻撃) 10回に対して 「副詞句」

Segunda parte 第2部

患者がそのことをあらかじめ知らされていることが条件である。

La condición sería que él lo sabría.

「主語」「動詞」「補語」

La condición ラ・コンディシオン n.f 条件は

「主語」

sería セリア 3 単過未・妥当(ser)v.i 〜であるべきだ

「動詞」

que ケ conj. 〜ということ

「補語」

él エル pron (paciente の代用) 患者は

「主語」

lo ロ pron それを

「目的語」

sabría. サブリア 3 単過未・妥当(saber)v.t 知っているべきだ

「動詞」

と言うのは、よく考え、あれこれと冷静に検討して、ギロチンの欠陥というのは全くチャンスを残してくれないということを確認したからだ。

Pues, pensándolo bien, considerando las cosas con calma, comprobaba que lo defectuoso de la cuchilla era que no dejaba ninguna posibilidad, absolutamente ninguna.

Pues 「副詞句」, 「動詞」「目的語」

Pues, プエス conj. (理由) というのは、〜なので

pensándolo bien, ペンサント・ロ・ビエン 現在分詞(pensar)adv. よく考えると

「副詞句」

considerando コンシデラント 現在分詞(considerar)adv. 検討すると

「副詞句」

las cosas ラス・コサス pl(casa).n.f あれこれを

「目的語」

con calma, コン・カルマ adv. 冷静に、落ち着いて

「副詞句」

comprobaba コンプロバハ 1 単線(comprobar)v.t 確認した

「動詞」

que ケ conj. 〜ということ

「目的語」

lo defectuoso ロ・デフェクトウオ n.m 欠陥は

「主語」

de la cuchilla デ・ラ・クチジャ adj. ギロチンの、牛刀

「形容詞句」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i 〜である

「動詞」

que ケ conj. 〜ということ

「補語」

no dejaba ノ・デハハ 3 単線・否定・時制の一致(dejar)v.t 残さない「動詞句」

ninguna posibilidad, ニンガナ・ポシビリダ n.f 一切のチャンスを

「目的語」

absolutamente ninguna. アブソルタメンテ・ニンガナ adv. 全く何も〜ない「副詞句」

要するに、患者の死は、一度決定されともはや変えることが出来ないのだ。

En suma, la muerte del paciente había sido resuelta de una vez por todas.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「補語」

En suma, エン・スマ adv. 要するに

「副詞句」

la muerte del paciente ラ・ムエルテ・デル・パシエンテ n.f 患者の死は

「主語」

había sido アビア・シト 3 単線・完了形・時制の一致(ser)v.i 〜である

「動詞句」

resuelta レスuelta adj. 断固とした

「補語」

Segunda parte 第2部

de una vez por todas. テ・ウ・ベス・ホル・トダス adv. ひとたび〜すると 「副詞句」

それは処理済みの一件、調合の決定した化合物、これ以上議論出来ない確定した協定だ。

Era un asunto archivado, una combinación definitiva, un acuerdo decidido sobre el cual no se podía volver a discutir. 「動詞」「補語」

Era エラ 3 単半・時制の一致(ser)v.i 〜である 「動詞」

un asunto ウン・アスト n.m 事件、一件 「補語」

archivado, アルチャボト 過去分詞・受動(archivar)

adj. (文書が) 整理された、処理済みの 「形容詞」

una combinación ウ・コンビナシオン n.f 組み合わせ、化合物 「補語」

definitiva, デフィニティバ adj(definitivo).f 決定的な 「形容詞」

un acuerdo ウン・アケルト n.m 合意、協定 「補語」

decidido デシデイト adj. 決定した 「形容詞」

sobre el ソブレ・エル adv. (関連) それに関して 「副詞句」

cual クワル pron (主語) 〜する 「形容詞節」

no se podía volver a discutir. ノ・セ・ポデ・イア・ホルベール・ア・デ・イスクチール

3 単線・再帰受動・可能・否定(poderse+不定詞 volver a discutir)

v.pr 再び議論出来ない 「動詞句」

もし何らかの思いがけない事態で死刑執行が失敗したら、やり直しになるのだ。

Si por alguna eventualidad inesperada, el golpe fallaba, se volvía a empezar.

「副詞節」, 「動詞句」

Si シ conj. もし〜ならば 「副詞節」

por alguna eventualidad ホル・アルグナ・エベントゥアリタ

adv. (原因) 何らかの事態で 「副詞句」

inesperada, イネスペラダ adj(inesperado).f 思いがけない 「形容詞」

el golpe エル・ゴルペ n.m 一撃が 「主語」

fallaba, ファジヤバ 3 単線(fallar)v.i 失敗した 「動詞」

se volvía a empezar. セ・ホルビエ・ア・エンペサル 3 単線・再帰受動・戻る(volverse+不定詞)

v.pr やり直しされる 「動詞句」

Segunda parte 第2部

その結果、不合理だが、死刑囚は装置が順調に動作することを願わなければならない。

En consecuencia, lo fastidioso era que el condenado tenía que desear el buen funcionamiento de la máquina. 「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」

En consecuencia, エン・コンセクエンシア adv. その結果 「副詞句」

lo fastidioso ロ・ファスティディオソ pron. 不快なことは 「主語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ~である 「動詞」

que ケ conj. ~ということ 「補語」

el condenado エル・コンデナド n.m 受刑者は 「主語」

tenía que desear テニア・ケ・デセアル 3 単線・必要・時制の一致(tener que+不定詞)

v.t 願わなければならない 「動詞句」

el buen funcionamiento エル・ブエン・フンシオナミエント n.m 正しい動作を 「目的語」

de la máquina. テ・ラ・マキナ adj. 装置の 「形容詞句」

前に言った通り、これは欠陥のある側面である。しかし、ある意味ではその通りである。

He dicho que es el lado defectuoso. Es verdad, en un sentido.

「動詞句」「目的語」 | 「動詞」「補語」

He dicho エ・デイチョ 1 単現・完了形(decir)v.t すでに言った 「動詞句」

que ケ conj. ~ということ 「目的語」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

el lado エル・ラド n.m 側面 「補語」

defectuoso. テ・フェクトウオソ adj. 欠陥のある 「形容詞」

Es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

verdad, ベルダ n.f 事実、真実 「補語」

en un sentido. エン・ウン・センチド adv. ある意味では 「副詞句」

しかし、別の意味では、そこに良いシステムの秘密のすべてがあると認めなければならない
と僕は思う。

Pero en otro sentido me veía obligado a reconocer que ahí estaba todo el secreto de una buena organización. Pero 「副詞句」「間接目的語」「動詞」「補語」

Pero ペロ conj. しかし

en otro sentido エン・オトロ・センチド adv. 別の意味では 「副詞句」

me メ pron 僕には 「間接目的語」

veía ベイア 3 単線・時制の一致(ver)v.t 見える 「動詞」

obligado オブリガド adj.(obligar a+不定詞) ~をしなければならないこと 「補語」

a reconocer ア・レコノセル 不定詞 v.t 認める 「動詞句」

que ケ conj. ~ということ 「目的語」

Segunda parte 第2部

ahí アイ adv. ここに	「副詞」
estaba エスタバ 3 単線・存在・時制の一致(estar)v.i. ～がある	「動詞」
todo el secreto トド・エル・セクレト n.m. 秘密のすべてが	「主語」
de una buena organización. デ・ウナ・ブエナ・オルガニザシオン adj. 良いシステムの	「形容詞句」

要するに：死刑囚は精神的に協力させられる。彼自身の利益のためには、全てが順調に進まなければならないのだ。

En suma: el condenado estaba obligado a colaborar moralmente. Por su propio interés todo debía marchar sin tropiezos.

「副詞句」：「主語」「動詞句」「副詞」 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」	
En suma: エン・スマ adv. 要するに、結局のところ	「副詞句」
el condenado エル・コンデナド n.m. 受刑者は、死刑囚は	「主語」
estaba obligado a colaborar エスタバ・オブリガト・ア・コラボラル 3 単線・受動・使役・時制の一致 v.t(obligar a+不定詞 colaborar) 協力させられる	「動詞句」
moralmente. モラルメンテ adv. 精神的に	「副詞」
Por su propio interés ホル・ス・プロピオ・インテレス adv. 彼自身の利益のために	「副詞句」
todo トド pron 全てが	「主語」
debía marchar デビ・ア・マルチャール 3 単線・必要・時制の一致(deber+不定詞) v.i 進行しなければならない	「動詞句」
sin tropiezos. シン・トロピエソス adv. 障害なく	「副詞句」

僕は、これまで正しくない観念を抱いていたということも確認しなければならない。

Me veía obligado a comprobar también que hasta aquí había tenido sobre estos temas ideas que no eran acertadas.

Me veía メ・ベ・イ 1 単線(verse)v.pr (+主格補語) ～の状態だった	「動詞句」
obligado a comprobar オブリガト・ア・コンプロバール adj.(obligado a+不定詞) 確認しなければならない、証明しなければならない 「補語」	
también que タンビエン・ケ conj. ～ということも	「目的語」
hasta aquí アスタ・アキ adv. (時間) これまで、ここまで	「副詞句」
había tenido アビ・ア・テニド 1 単線・完了形(tener)v.t 持っていた	「動詞句」
sobre estos temas ideas ソブレ・エストス・テマス・イデアス adv. それらの想念の問題について	「間接目的語」
que ケ conj. ～ということ	「直接目的語」
no eran ノ・エラン 3 複線・時制の一致・否定(ser) v.i ～でない	「動詞句」

Segunda parte 第2部

acertadas. アセルタダス adj(acertado).f.pl 適切な 「補語」

僕は長い間——なぜか分からないが——ギロチンまで進み出るには処刑台に登る、つまり、階段を這い上がる必要があると思っていた。

Durante mucho tiempo (no sé por qué) creí que para ir a la guillotina era necesario subir a un cadalso, trepar por escalones. 「副詞句」「動詞」「目的語」

Durante mucho tiempo トゥランテ・ムチョ・ティエンポ adv. 長い間 「副詞句」

(no sé por qué) ノ・セ・ポ・ル・ケ adv. なぜか分からないが 「副詞句」

creí クレイ 1 単点(creer)v.t 信じていた 「動詞」

que ケ conj. ～ということ 「目的語」

para ir パ・ラ・イル adv. (目的) 行くためには 「副詞句」

a la guillotina ア・ラ・ギロチナ adv. ギロチンへ 「間接目的語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」

necesario ネサリオ adj. 必要な 「補語」

subir スビール 不定詞 v.i(a に) 登ることが 「主語」

a un cadalso, ア・ウン・カダール adv. 処刑台に 「間接目的語」

trepar トレパール 不定詞 v.i 這い上がることが 「主語」

por escalones. ポ・ル・エスカロネス adv. (手段) 階段を 「副詞句」

それは 1789 年の革命のせいだと思う。つまり、そういった問題について僕が教えられた事や見せられたすべての事のせいだ。

Creo que fue por la Revolución de 1789, quiero decir, por todo lo que me habían enseñado o hecho ver sobre estos temas. 「動詞」「目的語」

Creo クレオ 1 単現(creer)v.t(que ～だと) 思う 「動詞」

que ケ conj. ～ということ 「目的語」

fue フェ 3 単過・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」

por ポール prep (原因) ～のせい 「副詞句」

la Revolución ラ・レボリューション n.f 革命 「目的語」

de 1789, デ・ミル・シエテシエントス・オチェンタ・イ・ヌエベ adj. 1789 年の「形容詞句」

quiero decir, キエロ・デシル 1 単現・可能(querer+不定詞)v.t つまり 「副詞句」

por ポール prep (原因) ～のせい 「副詞句」

todo lo トト・ロ pron 全ての事 「目的語」

que ケ conj. ～する 「形容詞節」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

habían enseñado アビアン・エンセニャト 3 複線・完了形(enseñar)

v.t 教えた 「動詞句」

Segunda parte 第2部

受動態に翻訳する

o オ conj. または

hecho ヘチョ 3 複線・完了形・使役(hacer)

v.t (+不定詞) ～させた

「動詞句」

受動態に翻訳する

ver ベール 不定詞・me の動作 v.t 見る

「補語」

sobre estos temas. ソブレ・エストス・テマス

adv. そういった問題について「間接目的語」

しかしある朝、僕は当時評判だった死刑執行の時に、多くの新聞で報じられた写真を見た事があるのを思い出した。

Pero una mañana recordé que había visto una fotografía publicada por los periódicos con motivo de una ejecución de resonancia.

Pero 「副詞句」「動詞」「目的語」

Pero ペロ conj. しかし

una mañana ウナ・マニャ adv. ある朝

「副詞句」

recordé レコルテ 1 単点(recordar)v.t 思い出した

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

había visto アビア・ビスト 1 単線・完了形・経験(ver)v.t 見たことがある

「動詞句」

una fotografía ウナ・フォトグラフィア n.f 写真を

「目的語」

publicada プブリカダ 過去分詞.f(publicar)adj. 報じられた

「形容詞」

por los periódicos ホル・ロス・ペリオディコス

adv. (動作主) 多くの新聞で

「副詞句」

con motivo de コン・モティボ・デ prep (機会) ～の機会に、～の時に

「副詞句」

una ejecución ウナ・エヘクション n.f 死刑執行

「目的語」

de resonancia. デ・レソナンシア adj. 評判の、反響の

「形容詞句」

実際には、その処刑装置はまったく単純に地面の上にじかに置かれていた。

En realidad, la máquina estaba colocada en el suelo mismo, en la forma más simple del mundo.

「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」

En realidad, エン・レアリアダ adv. 実際には

「副詞句」

la máquina ラ・マキナ n.f その処刑装置は

「主語」

estaba colocada エスタバ・コカダ 3 単線・受動(colocar)v.t 置かれていた

「動詞句」

en el suelo mismo, エン・エル・スエロ・ミスモ adv. 直に地面の上に

「副詞句」

en la forma エン・ラ・フォルマ adv. (様態) ～の様子で

「副詞句」

más simple del mundo. マス・シンプレ・デル・ムント

adj. (強調) まったく単純な

「形容詞句」

Segunda parte 第2部

それは僕が思い描いていたよりもずっと幅が狭かった。そのことにもっと早く気が付かなかったのは、まったく奇妙なことだ。

Era mucho más angosta de lo que yo creía. Era bastante curioso que no lo hubiese advertido antes. 「動詞」「補語」 | 「動詞」「補語」「主語」

Era エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった 「動詞」

mucho más angosta ムチョ・マス・アングォスタ adj(angosto).f ずっと狭い 「補語」

de lo テ・ロ adv.(más...de) (比較) それよりも 「副詞句」

que ケ pron (目的語) 〜する 「形容詞節」

yo ジョ pron 僕が 「主語」

creía. クレイア 1 単線(creer)v.t 思っていた 「動詞」

Era エラ エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった 「動詞」

bastante curioso バスタンテ・クリオ adj. まったく奇妙な 「補語」

que ケ conj. 〜ということは 「主語」

no ...hubiese advertido ノ...ウビエ・エ・アトベルト 接・1 単過・完了形・否定(advertir)

v.t 気づかなかった 「動詞句」

lo ロ pron そのことに 「目的語」

antes. アンテス adv. もっと前に 「副詞」

新聞の写真を見て、その装置は、精緻に仕上げられ磨き上げられたその外観によって、僕の関心を誘った。

La máquina me había llamado la atención en el clisé por su aspecto de obra de precisión, concluida y reluciente. 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」「副詞句」

La máquina ラ・マキナ n.f その装置は 「主語」

me メ pron 僕の 「間接目的語」

había llamado アビ・ア・ジャマト 3 単過・完了形(llamar)v.t 呼んだ 「動詞句」

la atención ラ・アテンシオン n.f 注目を 「直接目的語」

en el clisé エン・エル・クリセ adv. 印刷で、新聞の写真で 「副詞句」

por su aspecto ポル・ス・アスペクト adv. (手段) その外観から 「副詞句」

de obra テ・オブ・ラ adj. 作品の 「形容詞句」

de precisión, テ・プレジシオン adj. 精緻な、正確な 「形容詞句」

concluida コンクルイダ 過去分詞・受動(concluir).adj.f 仕上げられた 「形容詞」

y イ conj. そして

reluciente. レルエンテ adj. 輝くばかりの、磨き上げられた 「形容詞」

Segunda parte 第2部

人は自分が知らないことに対して大げさに考えがちだ。

Uno se forma siempre ideas exageradas de lo que no conoce.

	「主語」「副詞」「動詞句」「目的語」
Uno ウィ pron 人は	「主語」
se forma セ・フォルマ 3 単現(se formar)v.pr 形成する	「動詞句」
siempre シエンプレ adv. いつも、常に	「副詞」
ideas イデアス pl(idea).n.f 考えを	「目的語」
exageradas エカハラダス adj(exagerado).f.pl 誇張された、大げさな	「形容詞」
de lo デ・ロ adv. それについて	「副詞句」
que ケ pron (目的語) ~する	「形容詞節」
no conoce. ノ・コネ 3 単現・否定(conocer)v.t 知らない	「動詞句」

今では認めなければならなかった。すべては非常に単純なのだ；つまり、その装置はそれに向かって進む死刑囚と同じ高さに置かれていたのだ。

Ahora debía comprobar, por el contrario, que todo era muy sencillo; la máquina está al mismo nivel del hombre que camina hacia ella.

	「副詞」「動詞句」「副詞句」「目的語」；「主語」「動詞」「副詞句」
Ahora アハラ adv. しかし、今度は	「副詞」
debía comprobar, デビヤ・コンプ ロハール 1 単線・必要(deber+不定詞)	
v.t 認めなければならなかった、確認する	「動詞句」
por el contrario, ホル・エル・コントラリオ adv. 反対に、逆に	「副詞句」
que ケ conj. ~ということを	「目的語」
todo トド pron すべては	「主語」
era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ~である	「動詞」
muy sencillo; ムイ・センシージョ adj. 非常に単純な	「補語」
la máquina ラ・マキナ n.f その装置は	「主語」
está エスタ 3 単現・存在(estar)v.i ~にある	「動詞」
al mismo nivel アル・ミスト・ニベル adv. 同じ高さに	「副詞句」
del hombre デル・オンブレ adv. (対象) 人間と	「副詞句」
que ケ pron (主語) ~する	「形容詞節」
camina カミナ 3 単現(caminar)v.i 進む、歩む	「動詞」
hacia ella. アシア・エジャ adv. 装置に向かって	「副詞句」

Segunda parte 第2部

死刑囚は、まるで人と待ち合わせたようにその装置と落ち合うのだ。ある意味では、これもまたうんざりすることだ。

El hombre se reúne con ella tal como camina al encuentro de una persona. En cierto sentido, también esto era fastidioso.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞節」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「補語」
 El hombre エル・オンブレ n.m 死刑囚は 「主語」
 se reúne セ・レウネ 3 単現(reunirse)v.pr 落ち合う 「動詞句」
 con ella コン・エジャ adv. その装置と 「間接目的語」
 tal como タル・コモ conj. まるで～のように 「副詞節」
 camina カミナ 3 単現(caminar)v.i 歩く、進む 「動詞」
 al encuentro アル・エンクエントロ adv. 出会いに 「間接目的語」
 de una persona. デ・ウナ・ペルソナ adj. 人との 「形容詞句」
 En cierto sentido, エン・シエルト・セントロ adv. ある意味では 「副詞句」
 también esto タンビエン・エスト pron これも 「主語」
 era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」
 fastidioso. ファスティディオ adj. 不快な、うんざりする 「補語」

処刑台に向かって登って行くとか、空の中心に上昇することなら、想像力にすぎる余地があるだろう。

La subida al cadalso, con el ascenso en pleno cielo, permitía a la imaginación aferrarse.

「主語」「動詞」「間接目的語」「補語」
 La subida ラ・スビダ n.f (仮定) 上昇は 「主語」
 al cadalso, アル・カダロ adv. (方向) 処刑台への 「副詞句」
 con コン prep. ～を含めて 「副詞句」
 el ascenso エル・アセンソ n.m 上昇 「目的語」
 en pleno cielo, エン・プレノ・シエロ adv. 空の中心に 「副詞句」
 permitía ペルミチア 3 単線・時制の一致(permitir)v.t (結果) 許す 「動詞」
 a la imaginación ア・ラ・イマヒナシオン adv. 想像力に 「間接目的語」
 aferrarse. アフェラルセ 不定詞・imaginación の動作 v.pr (唯一の救いとして) すぎる 「補語」

Segunda parte 第2部

ところがここでは、メカニズムがすべてを叩き潰す：死刑囚は、わずかの恥辱と十分な正確さによって、慎ましく殺される。

Mientras que aquí la mecánica aplastaba todo: mataban a uno discretamente, con un poco de vergüenza y mucho de precisión.

Mientras que 「副詞」「主語」「動詞」「目的語」：「動詞」「目的語」「副詞句」

Mientras que ミエントラス・ケ conj. ところが一方

aquí アキ adv. ここでは 「副詞」

la mecánica ラ・メカニカ n.f. メカニズムが、仕組みが 「主語」

aplastaba アプラスタバ 3 単線・時制の一致(apllastar)v.t. 叩き潰す 「動詞」

todo: トゥ pron 全てを 「目的語」

mataban マタバン 3 複線・時制の一致(matar)v.t. 殺す 「動詞」

受動態に翻訳する

a uno ア・ウノ pron 死刑囚を 「目的語」

discretamente, ディスクレタメンテ adv. 控えめに、慎ましく 「副詞句」

con コン prep (手段) ～によって 「副詞句」

un poco de vergüenza ウン・ポコ・デ・ベルグエンツァ n.f. わずかの恥辱 「目的語」

y イ conj. そして

mucho de precisión. ムチョ・デ・プレシオン n.f. 十分な正確さ 「目的語」

四六時中考え続けていたことがまだ2つあった。夜明けと上訴についてだ。

Había también dos cosas sobre las que reflexionaba todo el tiempo: el alba y la apelación.

「動詞」「副詞」「目的語」：「目的語」

Había アビア 3 単線・存在(haber)v.t. ～があった 「動詞」

también タンビエン adv. ～もまた 「副詞」

dos cosas ドス・コサス pl(cosa).n.f. 2つの事 「目的語」

sobre las ソブレ・ラス adv. (主題) それらについて～する 「副詞句」

que ケ pron (間接目的語) ～する 「形容詞節」

reflexionaba レフレクシオナバ 1 単線(reflexionar)

v.i. 考えていた

「動詞」

todo el tiempo: トゥ・エル・ティエンポ

adv. 四六時中、いつでも

「副詞句」

el alba エル・アルバ n.f. 夜明け 「目的語」

y イ conj. そして

la apelación. ラ・アペリオン n.f. 上訴 「目的語」

Segunda parte 第2部

しかし、論理的に考えて、それについてはもう考えないように努めた。横になって、空を見上げて空に集中した。

Sin embargo, razonaba y trataba de no pensar más en ellas. Me tendía, miraba al cielo y me esforzaba por interesarme. 「副詞句」「動詞」 y 「動詞句」「副詞」「間接目的語」「動詞句」, 「動詞」「間接目的語」 y 「動詞句」

Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. それにもかかわらず、しかしながら 「副詞句」

razonaba ラソナバ 1 単線(razonar)v.i 論理的に考えた 「動詞」

y イ conj. そして

trataba de no pensar トラタバ・デ・ノ・ペンサル 1 単線・試み(tratar de+不定詞・否定)

v.i(en について) 考えないように努めた 「動詞句」

más マス adv. (否定文で) もう～ない 「副詞」

en ellas. エン・エジャス adv. それらについて 「間接目的語」

Me tendía, メ・テンディア 1 単線(tenderse)v.pr 横になった 「動詞句」

miraba ミラバ 1 単線(mirar)v.i(a の方を) 見た 「動詞」

al cielo アル・シエロ adv. 空のほうを 「間接目的語」

y イ conj. そして

me esforzaba メ・エスフォルサバ 1 単線(esforzarse)v.pr(por に) 努めた 「動詞句」

por interesarme. ポル・インテレサル・メ 不定詞 v.pr 興味を抱く 「動詞句」

空が緑色に変わった：夕暮れになったのだ。思考の流れをそらそうとしてさらに努力した。心臓の鼓動に耳をすませた。

Se volvía verde: era la noche. Hacía aún un esfuerzo para desviar el curso de mis pensamientos. Oía el corazón.

「動詞句」「補語」: 「動詞」「補語」 | 「動詞」「目的語」「副詞句」 | 「動詞」「目的語」

Se volvía セ・ボルビエ 3 単線(volverse)v.pr ～になった 「動詞句」

verde: ベルデ adj. 緑 「補語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」

la noche. ラ・ノチェ n.f 夜、夕暮れ 「補語」

Hacía アシア 1 単線(hacer)v.t (行為を) した 「動詞」

aún アウン adv. さらに 「副詞」

un esfuerzo ウン・エスフェルソ n.m 努力を 「目的語」

para +不定詞 adv. (目的) ～するために 「副詞句」

desviar デスビアル 不定詞 v.t そらす 「動詞」

el curso エル・クルソ n.m (水などの) 流れを 「目的語」

de mis pensamientos. デ・ミス・ペンサミエンツ adj. 僕の思考の 「形容詞句」

Oía オイア 1 単線(oír)v.t 聞いた 「動詞」

Segunda parte 第2部

el corazón. エル・コラソン n.m 心臓の鼓動を

「目的語」

ずっと前から一緒にいたあの微かな音が、止まってしまうとは、想像もできなかった。

No podía imaginar que aquel leve ruido que me acompañaba desde hacía tanto tiempo pudiese cesar nunca.

「動詞句」「目的語」

No podía imaginar ノ・ポデア・イマヒナル 1 単線・可能・否定(poder+不定詞)

v.t (que ～と) 想像できなかった

「動詞句」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

否定文なので「接続法」

aquel leve ruido アケル・レベ・ルイト n.m あの微かな音が

「主語」

que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

me メ pron 僕と

「目的語」

acompañaba アコンパニャバ 3 単線(acompañar)

v.t 一緒にいた

「動詞」

desde デステ prep ～から

「副詞句」

hacía tanto tiempo アシア・タント・ティエンポ

adv. ずっと前

「副詞句」

pudiese cesar プデアセサル 接・3 単過・可能性・否定(poder+不定詞)

v.i 止まるかもしれない

「動詞句」

nunca. ヌカ adv. 決して～ない

「副詞」

僕には本当の想像力があつたことは一度もなかった。それでも、心臓の鼓動がもう続かなくなるまさにその瞬間というものを、僕の頭の中で想像してみようと試みた。

Nunca he tenido verdadera imaginación. Sin embargo, trataba de construir el segundo determinado en que el latir del corazón no se prolongaría más en mi cabeza.

「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「動詞句」「目的語」

Nunca he tenido ヌカ・エ・テント 1 単現・完了形・否定(haber)

v.t 一度もあつたことは無かつた

「動詞句」

verdadera imaginación. ベルダデラ・イマヒナシオン n.f 本当の想像力を

「目的語」

Sin embargo, シンエンバルゴ adv. しかしながら、それでも

「副詞句」

trataba de construir トラバ・デ・コンストルイール 1 単線・試行(tratar de+不定詞)

v.t 組み立ててみようとした

「動詞句」

el segundo エル・セグント n.m 瞬間を

「目的語」

determinado テテルミト adj. 特定の

「形容詞」

en que adv. その時に

「副詞節」

el latir エル・ラチール n.m 鼓動が

「主語」

Segunda parte 第2部

del corazón テル・コラソ adj. 心臓の 「形容詞句」
 no se prolongaría ノ・セ・プロンガリア 3 単過未・否定・推量(prolongarse)
 v.pr 続かなくなるかもしれない 「動詞句」
 más マス adv. もう～ない 「副詞」
 en mi cabeza. エン・ミ・カベサ adv. 僕の頭の中で 「副詞句」

しかし駄目だった。夜明けも上訴もそこにあった。結局、僕は無理に考えないようにしたりしないことが一番良さそうだと思うようになった。

Pero en vano. El alba o la apelación estaban allí. Concluía por decirme que era más razonable no contenerme.

Pero 「副詞句」 | 「主語」「動詞」「副詞」 | 「動詞句」「目的語」

Pero ペロ conj. しかし
 en vano. エン・バノ adv. 無駄に、駄目だった 「副詞句」
 El alba エル・アルバ n.f 夜明けは 「主語」
 o オ conj. または
 la apelación ラ・アペラシオン n.f 上訴は 「主語」
 estaban エスタバン 3 複線・存在(estar)v.i ～にあった 「動詞」
 allí. アジ adv. そこに 「副詞」
 Concluía por decirme コンクルイア・ホル・デシル・メ 1 単線・結局(concluir por+不定詞 decirme)
 v.pr(que ～と) 結局～と思う様になった 「動詞句」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」
 más razonable マス・ラサブレ adj. 一番理にかなった 「補語」
 no contenerme. ノ・コンテネル・メ 不定詞・否定形(contenerse)
 n. 自制しないことが 「主語」

彼らが夜明けにやってくることは知っていた。だから、夜明けを待つようにして、夜をやり過ごした。

Sabía que vendrían al alba. En suma, pasé las noches esperando el alba.

「動詞」「目的語」 | 「副詞句」, 「動詞」「目的語」「副詞句」

Sabía サビア 1 単線(saber)v.t 知っていた 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 vendrían ベントリアン 3 複過未・推量(venir)v.i やって来るだろう 「動詞」
 al alba. アル・アルバ adv. (時) 夜明けに 「副詞句」
 En suma, エン・スマ adv. 結局、要するに 「副詞句」
 pasé パセ 1 単点(pasar)v.t (時を) 過ごした 「動詞」

Segunda parte 第2部

las noches ラス・ノチェス pl(noches).n.f 夜を 「目的語」
 esperando エスペラント 現在分詞・同時(esperar)v.t 待ちながら 「副詞句」
 el alba. エル・アルバ n.m 夜明けを 「目的語」

僕は絶対に不意を突かれなくなかった。僕に何かが起こる前に、心構えしておきたい。

Nunca me ha gustado ser sorprendido. Cuando me sucede algo, prefiero estar prevenido.

「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「主語」 | 「副詞節」, 「動詞句」「補語」

Nunca ...ha gustado ヌンカ...ア・グスタト 3 単現・完了形・否定(gustar)

v.i 気に入らなかった 「動詞句」
 me メ pron 僕にとって 「間接目的語」
 ser sorprendido. セール・ソルプレンデイト 不定詞・受動(sorprender)
 n. 不意を突かれることは 「主語」
 Cuando クワント conj. ～する時に 「副詞節」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 sucede ステデ 3 単現(suceder)v.i 起こる 「動詞」
 algo, アルゴ pron 何か 「主語」
 prefiero estar プレフィエロ・エスター 1 単現・希望(preferir+不定詞)v.i ～でありたい 「動詞句」
 prevenido. プレベニト adj. 用意のできた 「補語」

それで僕は、昼間はほんの少しだけ眠り、夜は一晩中眠らなくなって、窓から見える空に光が現れるのを辛抱強く待った。

Concluí, pues, por no dormir sino un poco de día y durante todo el transcurso de las noches esperé pacientemente que la luz naciera sobre el vidrio del cielo.

「動詞句」, pues, 「動詞句」「副詞句」, 「動詞」「副詞」「目的語」

Concluí, ...por no dormir コンクレイ...ポル・ノ・トルミール 1 単点・結局

(concluir por+不定詞 no dormir)v.i やがて眠らなくなった 「動詞句」
 pues, プエス conj. それで
 sino un poco de día シノ・ウン・ポコ・デ・デア adv. 昼間はほんの少ししか 「副詞句」
 y イ conj. そして
 durante todo el transcurso de las noches トゥランテ・トト・エル・トランスクルソ・デ・ラス・ノチェス
 adv. 夜は一晩中ずっと 「副詞句」
 esperé エスペレ 1 単点(esperar)v.t 待った 「動詞」
 pacientemente パシエンテメンテ adv. 辛抱強く 「副詞」
 que ケ conj. ～ということ 「目的語」
 la luz ラルス n.f 光が 「主語」
 naciera ナシエラ 接・3 単過(nacer)v.i 生まれる、現れる 「動詞」

Segunda parte 第2部

sobre ソブレ prep 〜の上に 「副詞句」
 el vidrio エル・ビトロ n.m 窓ガラス 「目的語」
 del cielo. デル・シエロ adj. 空の 「形容詞句」

一番やっかいなのは、彼らがいつも行動すると僕は分かっていた、夜中から明け方までのど
 っちつかずの時間だった。

Lo más difícil era la hora incierta en la que, como yo sabía, acostumbraban operar.

「主語」「動詞」「補語」
 Lo más difícil ロ・マス・ディフィシル pron 一番難しいことは 「主語」
 era エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった 「動詞」
 la hora ラ・オラ n.f 時間 「補語」
 incierta インシエルタ adj.(incierto).f 曖昧な、はっきりしない 「形容詞」
 en la que, エン・ラ・ケ adv. その時に〜する 「形容詞節」
 como yo sabía, コモ・ジョ・サビア
 adv. 僕は分かっていたように 「副詞句」
 acostumbraban operar. アコストウブラバン・オペラル 3 複線・習慣(acostumbrar+不定詞)
 v.i いつも行動する 「動詞句」

真夜中を過ぎると、僕は待ち構えて、警戒した。僕の耳はこれほど多くの物音を感じ取った
 ことはなかったし、これほど微弱な音響を聞き分けたこともなかった。

Después de medianoche, esperaba y acechaba. Mis oídos nunca habían percibido tantos ruidos, ni distinguido sonidos tan tenues.

「副詞句」, 「動詞句」 | 「主語」「動詞句」「目的語」, 「動詞句」「目的語」
 Después de デースプ°エス・デ° prep (時間) 〜の後で 「副詞句」
 medianoche, メディアーノチェ n.f 真夜中 「目的語」
 esperaba エスペラハ° 1 単線・習慣(esperar)v.t 待った 「動詞」
 y イ conj. そして
 acechaba. アセチャハ° 1 単線・習慣(acechar)v.t 見張った、警戒した 「動詞」
 Mis oídos ミス・オイト°ソ pl(oído).n.m 僕の耳は 「主語」
 nunca habían percibido ヌンカ・アビ°アン・ペルビト° 3 複線・完了形・否定(percibir)
 v.t 一度も感じ取ったことがなかった 「動詞句」
 tantos ruidos, タントス・ルイトス pl(ruido).n.m これほど多くの物音を 「目的語」
 ni distinguido ニ・ディンギグ°イト° 3 複線・完了形・否定(distinguir)
 v.t 聞き分けたこともなかった 「動詞句」
 sonidos ソニト°ス pl(sonido).n.m 音響を 「目的語」
 tan tenues. タン・テヌエス adj(tenue).pl これほど微細な 「形容詞句」

Segunda parte 第2部

一方では、この期間ずっと、僕はある意味で幸運だったと言えるだろう。というのは、まったく足音を聞かないで済んだからだ。

Puedo decir, por otra parte, que en cierto modo tuve suerte durante este período pues jamás oí paso alguno. 「動詞句」「副詞句」「目的語」

Puedo decir, プエド・デシル 1 単現・可能(poder+不定詞 decir)v.t 言う事が出来る 「動詞句」

por otra parte, ポル・オトラ・パルテ adv. 一方では 「副詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

en cierto modo エン・シエルト・モト adv. ある意味では、ある程度は 「副詞句」

tuve トゥベ 1 単点(tener)v.t ～があった 「動詞」

suerte スエルテ n.f 運、幸運 「目的語」

tener suerte 「運が良い、ついている」

durante ドゥランテ prep (継続) ～の間ずっと 「副詞句」

este período エステ・ペリオド n.m この期間 「目的語」

pues プエス conj. (理由) ～なので 「副詞節」

jamás ハマス adv. 一度も～ない 「副詞」

oí オイ 1 単点(oír)v.t 聞こえなかった 「動詞」

paso パソ n.m 足音を 「目的語」

alguno. アルグノ adj. (名詞+) どんな～も (ない) 「形容詞」

母さんは、「完全に不幸な人なんていない」と、よく言っていたものだ。

Mamá decía a menudo que nunca se es completamente desgraciado.

「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」

Mamá ママ n.f 母さんは 「主語」

decía デシア 3 単線・習慣(decir)v.t 言っていた 「動詞」

a menudo ア・メスト adv. 時々、よく 「副詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

nunca ...es スンカ...エス 3 単現・否定(ser)v.i ～ではない 「動詞句」

se セ pron 人は 「主語」

completamente desgraciado. コンプレタ、エンテ・デスグラシアド adj. 完全に不幸な 「補語」

Segunda parte 第2部

空が明るくなって、新しい 1 日が独房に忍び込んでくると、僕は母さんの言った通りだと獄中で納得する。

Yo le daba razón en la cárcel, cuando el cielo se coloreaba y un nuevo día se deslizaba en la celda. 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞句」, 「副詞節」

Yo ジョ pron 僕は 「主語」

le レ pron その言葉に 「間接目的語」

daba タバ 1 単線・時制の一致(dar)v.t 与える 「動詞」

razón ラソン n.f 道理、正当性 「直接目的語」

en la cárcel, エン・ラ・カルセル adv. 獄中で 「副詞句」

cuando クワント conj. ～する時に 「副詞節」

el cielo エル・シエロ n.m 空が 「主語」

se coloreaba セ・コロエバ 3 単線(colorearse)v.pr (赤く) 色づいた 「動詞句」

y イ conj. そして

un nuevo día ウン・ヌエボ・デア n.m 新しい 1 日が 「主語」

se deslizaba セ・デスリサバ 3 単線(deslizarse)v.pr 忍び込む 「動詞句」

en la celda. エン・ラ・セルダ adv. 独房の中へ 「副詞句」

僕は足音を聞く可能性もあったし、そうなれば、僕の心臓は破裂しただろう。

Porque también hubiera podido oír pasos y mi corazón habría podido estallar.

Porque 「副詞」「動詞句」「目的語」 y 「主語」「動詞句」

Porque ホル conj. (理由) ～なのだから

también タンビエン adv. ～も 「副詞」

hubiera podido oír ウビエラ・ポデイト・オイール 接・1 単過・完了形・可能性(poder+不定詞)

v.t ～を聞いたかもしれない 「動詞句」

pasos パロス pl(paso).n.m 足音を 「目的語」

y イ conj. そして、その時には

mi corazón ミ・コラソン n.m 僕の心臓は 「主語」

habría podido estallar. アブリア・ポデイト・エスタジャール 3 単過未・完了形・可能性・条件法

v.i 破裂していただろう 「動詞句」

Segunda parte 第2部

もし僕がかすかな摩擦音に驚いて戸口に飛びついたとしても、たとえその戸板に耳を押し付けて、自分自身の呼吸が聞こえて、それがしわがれていて、犬の喉鳴りにそっくりだと分かかって怯えているほど必死に待ったとしても、結局僕の心臓は破裂しない。僕はまた 24 時間を儲けたのだ。

Aun si el menor roce me arrojaba contra la puerta; aun así, con el oído pegado a la madera, esperaba desesperadamente hasta oír mi propia respiración, espantado de encontrarla ronca y tan parecida al estertor de un perro, al fin de cuentas el corazón no estallaba y había ganado otra vez veinticuatro horas.

「副詞節」; 「副詞節」, 「副詞句」「主語」「動詞句」 y 「動詞句」「副詞句」「目的語」
 Aun アウン adv. (譲歩) ~でさえ、~したとしても 「副詞」
 si シ conj. もし~ならば 「副詞節」
 el menor roce エル・メノール・ロセ n.m かすかな摩擦音が 「主語」
 me メ pron 僕を 「目的語」
 arrojaba アロハバ 3 単線・仮定(arrojar)v.t 投げた 「動詞」
 contra la puerta; コントラ・ラ・プ エルタ adv. 戸口に向かって 「副詞句」
 aun así, アウン・アシ adv. たとえそうだとした場合 「副詞節」
 con el oído コン・エル・オイド adv. (様態) ~する耳で 「副詞句」
 pegado ペガド adj.(a に) くっついた 「形容詞句」
 a la madera, ア・ラ・マデラ adv. 木に 「副詞句」
 → 板に耳をくっつけて
 esperaba エスペラハ 1 単線・時制の一致(esperar)v.i 待つ 「動詞」
 desesperadamente デセスペラタメンテ adv. 絶望的に、必死に 「副詞」
 hasta +不定詞 アスタ 不定詞 adv. ~するまで 「副詞句」
 oír オイル 不定詞 v.t 聞く 「動詞」
 mi propia respiración, ミ・プロピア・レスピラシオン
 n.f 自分自身の呼吸を 「目的語」
 espantado エパンタド 過去分詞・受動(espantar)
 adj.(de に) 怯えた 「形容詞」
 de +不定詞 デ adv. (原因) ~して 「副詞句」
 encontrarla エンコントラル・ラ 不定詞(encontrar+la)
 v.t それが~だと分かる 「動詞句」
 ronca ロンカ adj(ronco).f しわがれた「補語」
 y イ conj. そして
 tan parecida タン・パレシダ
 adj(parecido).f(a に) よく似ている「補語」
 al estertor アル・エステルトル

Segunda parte 第2部

adv.	喉鳴りに	「間接目的語」	
de un perro, テ・ウン・ペロ			
adj.	犬の	「形容詞句」	
al fin de cuentas	アル・フィン・テ・クエンタス	adv. 結局のところ、結局は	「副詞句」
el corazón	エル・コラソン	n.m 僕の心臓は	「主語」
no estallaba	ノ・エスタジャバ	3 単線・否定・時制の一致(estallar)v.i 破裂しない	「動詞句」
y	イ conj.	そして	
había ganado	アビ・ア・ガナド	1 単線・完了形(ganar)v.t 儲けた	「動詞句」
otra vez	オトラ・ベス	adv. また	「副詞句」
veinticuatro horas.	ベインチュワトロ・オラス	pl(hora).n.f 24 時間を	「目的語」

昼間はずっと上訴のことを考えていた。この上訴という考えから最大の利益を得たと思う。

Durante el día tenía la apelación. Creo que saqué el mejor partido de esta idea.

	「副詞句」「動詞」「目的語」	「動詞」「目的語」
Durante ドゥランテ	prep (継続) ~の間ずっと	「副詞句」
el día エル・デア	n.m 昼間、日中	「目的語」
tenía テニア	1 単半(tener)v.t (+動作概念の名詞を) していた	「動詞」
la apelación. ラ・アペラシオン	n.f 上訴を	「目的語」
Creo クレオ	1 単現(creer)v.t (que ~だと) 思う	「動詞」
que ケ conj. ~ということを		「目的語」
saqué el mejor partido サケ・エル・メホル・パルチド	1 単点(sacar)	
v.t(+partido) 最大の利益を得た		「動詞句」
sacar partido サカル・パルチド	「(de から) 利益を得る」	
de esta idea. テ・エスタ・デア	adv. この上訴という考えから	「副詞句」

僕は様々な影響を計算して、僕の思考の最良の成果を得た。

Calculaba los resultados y obtenía el mayor rendimiento de mis reflexiones.

	「動詞」「目的語」	y 「動詞」「目的語」
Calculaba カルクラバ	1 単線(calcular)v.t 計算した	「動詞」
los resultados ロス・レスルタドス	pl(resultado).n.m 様々な結果を、影響を	「目的語」
y イ conj. そして		
obtenía オブ・テニア	1 単線(obtener)v.t 得た	「動詞」
el mayor rendimiento エル・マヨール・レンディミエント	n.m 最良の収益を	「目的語」
de mis reflexiones. テ・ミス・レフレクシオネス	adj. 僕の思考の	「形容詞句」

Segunda parte 第2部

常に、最悪の可能性を取った：つまり、上訴は却下されるのだ。

Tomaba siempre la peor posibilidad: la apelación era rechazada.

「動詞」「副詞」「目的語」：「主語」「動詞句」

Tomaba トマバ 1 単線(tomar)v.t 取った 「動詞」
 siempre シエンプレ adv. いつも 「副詞」
 la peor posibilidad: ラ・ペール・ポシビリダ n.f 最悪の可能性を 「目的語」
 la apelación ラ・アペラシオン n.f 上訴は 「主語」
 era rechazada. エラ・レチャダ 3 単線・受動・時制の一致(rechazar)v.t 却下される 「動詞句」

「それでは、僕は死ぬことになるんだ」他の人たちより先に、それは明らかだ。

"Y bien, tendré que morir." Antes que otros, es evidente.

《「副詞句」, 「動詞句」》, 「副詞句」, 「動詞」「補語」

"Y bien, イ・ビエン adv. それでは、それはそうと 「副詞句」
 tendré que morir." テントレ・ケ・モリール 1 単末・必要(tener que+不定詞 morir)
 v.i 死ぬことになる 「動詞句」
 Antes que アンテス・ケ prep. ～より先に 「副詞句」
 otros, オトス pron.pl 他の人たち 「目的語」
 es エス 3 単現(ser)v.i. ～である 「動詞」
 evidente. エビデンテ adj. 明らかな 「補語」

しかし、誰でも知っている通り、人生は生きている価値が無い。

Pero todo el mundo sabe que la vida no vale la pena de ser vivida.

Pero 「主語」「動詞」「目的語」

Pero ペロ conj. しかし
 todo el mundo トド・エル・ムンド pron 誰でも、皆は 「主語」
 sabe サベ 3 単現(saber)v.t 知っている 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 la vida ラ・ビダ n.f 人生は 「主語」
 no vale ノ・バレ 3 単現・否定(valer)v.t に相当しない 「動詞句」
 la pena ラ・ペナ n.f 苦勞 「目的語」
 de ser デ・セル 不定詞・同格 adj. ～であるという 「形容詞句」
 vivida. ビビダ
 adj(vivido).f (vida と性・数一致) 生き生きとした 「補語」

Segunda parte 第2部

基本的に、僕が30歳で死ぬとしても70歳で死ぬとしても大差は無いことは分かっている。
 どちらにしたって、他の男や女は生きているのだし、何千年もそんなものだったのだから。

En el fondo, no ignoraba que morir a los treinta años o a los setenta importa poco, pues, naturalmente, en ambos casos, otros hombres y otras mujeres vivían y así durante miles de años. 「副詞句」「動詞句」「目的語」, 「副詞節」

En el fondo, エン・エル・フォント adv. 基本的に、根本的に 「副詞句」

no ignoraba ノ・イグノラバ 一単線・否定(ignorar)v.t 知っている 「動詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

morir モーリル 不定詞 n. 死ぬことは 「主語」

a los treinta años ア・ロツ・トレインタ・アニョス adv. 30歳で 「副詞句」

o オ conj. または

a los setenta ア・ロス・セテンタ adv. 70歳で 「副詞句」

importa インポルタ 3単現(importar)v.i 重要である 「動詞」

poco, ポコ adv. ほとんど～ない 「副詞」

pues, フエス conj. (理由)～なので 「副詞節」

naturalmente, ナトゥラルメンテ adv. 当然 「副詞」

en ambos casos, エン・アンボス・カス adv. どちらの場合で も 「副詞句」

otros hombres オトロス・オンブレス pl(hombre).n.m 他の男たちは 「主語」

y イ conj. そして

otras mujeres オトラス・ムヘレス pl(mujer).n.f 他の女たちは 「主語」

vivían ビビアン 接・3複現(vivir)v.i 生きるだろう 「動詞」

y イ conj. そして

así アシ adv. そのような 「補語」

durante miles de años. ドゥランテ・ミルス・デ・アニョス adv. 何千年の間 「副詞句」

結局、これより明白なことは何もない。今だろうが、20年後だろうが、死ぬのはいつだっ
 て僕なのだ。

En suma, nada podía ser más claro. Era siempre yo quien moriría, ahora o dentro de veinte años. 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「補語」 | 「動詞」「副詞」「補語」「主語」

En suma, エン・スマ adv. 結局のところ 「副詞句」

nada ナダ pron 何事も～ない 「主語」

podía ser ポデア・セル 3単線・可能・時制の一致(poder+不定詞 ser)

v.i ～でいられない 「動詞句」

más claro. マス・クラロ adj. より明白な 「補語」

Era エラ 3単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」

siempre シエンプレ adv. いつでも 「副詞」

Segunda parte 第2部

yo ヨ pron 僕	「補語」
quien ケン pron (主語) ～する人は	「主語」
moriría, モリア 3 単過未・假定(morir)v.i 死ぬ	「動詞」
ahora アオラ adv. 今	「副詞」
o オ conj. または	
dentro de デントロ・デ prep ～の後で	「副詞句」
veinte años. ベインテ・アニョス pl(año).n.m 20 年	「目的語」

ここで、来るべき僕の 20 年という人生について考えた時に僕の内部で感じられる恐ろしい動悸が僕の推論を邪魔した。

En este punto, me molestaba un poco en el razonamiento el salto terrible que sentía dentro de mí pensando en veinte años de vida por venir.

	「副詞句」「目的語」「動詞」「副詞句」「主語」
En este punto, エン・エステ・プント adv. ここで、この点で	「副詞句」
me メ pron 僕を	「目的語」
molestaba モレスタバ 3 単線(molestar)v.t 邪魔した	「動詞」
un poco ウン・ポコ adv. 少し	「副詞句」
en el razonamiento エン・エル・ラソナミエント adv. (分野) 僕の推論について	「副詞句」
el salto エル・サルト n.m (突然の激しい) 動悸が	「主語」
terrible テリブレ adj. 恐ろしい	「形容詞」
que ケ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
sentía センチア 1 単線・時制の一致(sentir)v.t 感じる	「動詞」
dentro de mí デントロ・デ・ミ adv. 僕の内部で	「副詞句」
pensando ペンサント 現在分詞・假定(pensar)	
v.i(en について) 考えると	「副詞句」
en veinte años エン・ベインテ・アニョス	
adv. 20 年について	「間接目的語」
de vida デ・ビダ adj. 人生の	「形容詞句」
por venir. ポル・ベニール	
adj. 最後は来ることになる	「形容詞句」

Segunda parte 第2部

しかし、20 年後に結局その時が来た時に、自分の考えはどうなっているのだろうかと思
 して、その恐怖を抑え込んでいた。

Pero lo reprimía imaginando cómo serían mis pensamientos dentro de veinte años, cuando a pesar de todo llegase el momento. Pero 「目的語」「動詞」「副詞句」

Pero ペロ conj. しかし

lo ロ pron それを 「目的語」

reprimía レプリミア 1 単線(reprimir)v.t 抑えていた 「動詞」

imaginando イマハント 現在分詞(imaginar)・手段 adv. 想像して 「副詞句」

cómo コモ adv. どのようなであるかということ 「目的語」

serían セリアン 3 複過未・推量・過去における未来(ser)

v.i なるだろうか 「動詞」

mis pensamientos ミス・ペンサミエンツ

pl(pensamiento).n.m 自分の考えは 「主語」

dentro de veinte años, デントロ・デ・ベインテ・アニョス adv. 20 年後に 「副詞句」

cuando クアント conj. ～する時に 「副詞節」

a pesar de todo ア・ペサル・デ・トト adv. 結局 「副詞句」

llegase ジェガセ 接・3 単過・假定(llegar)

v.i 来た、着いた 「動詞」

el momento. エル・モメント n.m その時が 「主語」

死ななければならない以上、どう死ぬとかいつ死ぬとかは重要でないことは明らかだ。

Desde que uno debe morir, es evidente que no importa cómo ni cuándo.

「副詞節」, 「動詞」「補語」「主語」

Desde que デステ・ケ conj. ～して以来、以後、～した後は 「副詞節」

→ ～である以上は...

uno ウノ pron 自分が、人が 「主語」

debe morir, デベ・モリル 3 単現・義務(deber+不定詞 morir)

v.i 死なねばならない 「動詞句」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

evidente エビデンテ adj. 明らかな 「補語」

que ケ conj. ～ということは 「主語」

no importa ノ・インポルタ 3 単現・否定(importar)

v.i 重要でない、どうでもよい 「動詞句」

cómo コモ conj. (cómo morir の省略) どのように死ぬかということは 「主語」

ni cuándo. ニ・クアント

conj. (ni cuándo morir の省略) いつ死ぬかということも 「主語」

Segunda parte 第2部

～以上は…

ある事態が起こることはやむをえないと考える理由を示す。

つまり「……という条件の下では ……ということになるのは しかたがない。」

「……のうへは、……からには」が同様の意味で用いられる。

それ故（そして、困難なのは推論においてこの「それ故」が表す全ての事を考慮に入れることである）、それ故、僕は上訴の棄却を受け入れなければならない。

Por consiguiente (y lo difícil era no perder de vista todo lo que éste "por consiguiente" representaba en el razonar), por consiguiente, debía aceptar el rechazo de la apelación.

「副詞句」(y「主語」「動詞」「補語」),「副詞句」「動詞句」「目的語」

Por consiguiente ホ・ル・コンシギエンテ adv. それ故、従って 「副詞句」

(y イ conj. そして

lo difícil ロ・ディフィシル n.m (difícil の名詞化) 困難なことは 「主語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」

no perder de vista ノ・ペルデル・デ・ビスタ 不定詞

v.t ～を忘れないこと、～を考慮に入れること 「補語」

no perder de vista 「～を忘れない、考慮に入れる、～から目を離さない、監視する」

todo lo トト・ロ pron 全てのことを 「目的語」

que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

éste "por consiguiente" エステ・ホ・ル・コンシギエンテ

pron この「それ故」が 「主語」

representaba レプレセンタバ 3 単線・時制の一致(representar)

v.t 表している 「動詞」

en el razonar), エン・エル・ラソナル adv. 推論において 「副詞句」

por consiguiente, ホ・ル・シギエンテ adv. それ故 「副詞句」

debía aceptar デビアー・アセプ タール 1 単線・義務・時制の一致(deber+不定詞 aceptar)

v.t 受け入れなければならない 「動詞句」

el rechazo エル・レチャソ n.m 棄却を、拒絶 「目的語」

de la apelación. デ・ラ・アペラシオン adj. 上訴の 「形容詞句」

Segunda parte 第2部

その時、まさにその時に、僕はいわば権利を手に入れる。ある意味では、僕は第2の仮説を検討するための許可を自分自身に与える：僕は赦免されるという仮説だ。

En ese momento, únicamente en ese momento, tenía por así decir el derecho, me concedía en cierto modo el permiso de considerar la segunda hipótesis: me indultaban.

「副詞句」, 「動詞」「目的語」, 「間接目的語」「動詞」「副詞句」「直接目的語」:
「目的語」「動詞」

En ese momento, エン・エセ・モメント adv. その時に 「副詞句」
únicamente ウニカメンテ adv. 単に、もっぱら、まさに 「副詞」
en ese momento, エン・エセ・モメント adv. その時に 「副詞句」
tenía テニア 1 単線・時制の一致(tener)v.t 手に入れる 「動詞」
por así decir ポル・アシ・デシール adv.(= por decirlo así) いわば 「副詞句」
el derecho, エル・デレチョ n.m 権利を 「目的語」
me メ pron 自分に 「間接目的語」
concedía コンセディア 1 単線・時制の一致(conceder)v.t (権利を) 与える 「動詞」
en cierto modo エン・シエルト・モト adv. ある意味では 「副詞句」
el permiso エル・ペルミソ n.m 許可を 「直接目的語」
de considerar デ・コンシデラール 不定詞・目的 adj. 検討するための 「形容詞句」
la segunda hipótesis: ラ・セグンダ・イポテシス
n.f 第2の仮説を 「目的語」
me メ pron 僕を 「目的語」
indultaban. イントゥルタブン 3 複線・假定・時制の一致(indultar)v.t (罪を) 赦免する 「動詞」

血と肉の熱情的な衝動が僕の目を喜びで狂ったように輝かせることを抑えるのは困難だ。

Era fastidioso tener que dominar la fogosidad del impulso de la sangre y del cuerpo que me hacía arder los ojos con una alegría insensata.

Era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」
fastidioso ファスティディオソ adj. 不快な、気難しい 「補語」
tener que dominar テネル・ケ・トミナル n. ~を抑制しなければならないことは 「主語」
dominar トミナル v.t 支配する、抑制する
la fogosidad ラ・フォコシタ n.f 熱情を 「目的語」
del impulso デル・インプルス adj. 衝動の 「形容詞句」
de la sangre デ・ラ・サングレ adj. 血の 「形容詞句」
y イ conj. そして
del cuerpo デル・クエルポ adj. 肉体の、体の 「形容詞句」
que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
me メ pron 僕の「間接目的語」

Segunda parte 第2部

hacía arder アシア・アルデーール 3 単半・使役・時制の一致(hacer+不定詞 arder)

v.t 輝かせる

「動詞句」

los ojos ロス・オホス pl(ojo).n.m 目を

「直接目的語」

con una alegría コン・ウナ・アレグリア adv. (手段) 喜びで

「副詞句」

insensata. インセンサタ

adj(insensato).f 馬鹿げた、狂った

「形容詞」

集中して、喜びの叫び声を抑え、確認する必要があるあった。

Era necesario dedicarme a ahogar el grito, a analizarlo.

「動詞」「補語」「主語」

Era エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった

「動詞」

necesario ネセサリオ adj. 必要な

「補語」

dedicarme デディカル・メ 不定詞(dedicarse)

v.pr(+不定詞 〜することに) 集中することが

「主語」

a ahogar ア・アカール 不定詞 v.t 抑える、鎮圧する

「動詞句」

el grito, エル・グリト n.m 叫び声

「目的語」

a analizarlo. ア・アナリサル・ロ 不定詞(analizar+lo)v.t 調べる、確認する

「動詞句」

この仮説においても、当初の諦めをよりもっともらしくするために、自然な態度を取り続ける必要があるあった。

Era necesario mantenerme natural aun en esta hipótesis, para hacer más plausible la resignación frente a la primera.

「動詞」「補語」「主語」

Era エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった

「動詞」

necesario ネセサリオ adj. 必要な

「補語」

mantenerme マンテメル・メ 不定詞(mantenerse)n. (態度を) 取り続けることが

「主語」

natural ナチュラル adj. 自然な

「形容詞」

aun アウン adv. (譲歩) 〜でさえ

「副詞句」

en esta hipótesis, エン・エスタ・イポテシス adv. この仮説において

「副詞句」

para +不定詞 パラ prep (目的) 〜するために

「副詞句」

hacer アセル 不定詞 v.t(VOC O を C に) する

「動詞」

más plausible マス・プラウシブレ adj. よりもっともらしい

「補語」

la resignación ラ・レシグナシオン n.f 諦めを

「目的語」

frente a フレンテ・ア prep 〜に対して

「副詞句」

la primera. ラ・プリメラ n.f 最初のもの

「目的語」

Segunda parte 第2部

それに成功すると、1時間の平穏が得られた。どちらにしても、それを考慮に入れることは苦勞の甲斐がある。

Cuando lo conseguía había ganado una hora de calma. En cualquier caso valía la pena considerarlo. 「副詞節」「動詞句」「目的語」 | 「副詞句」「動詞」「目的語」「主語」

Cuando クワント conj. ～した時 「副詞節」

lo ロ pron それを 「目的語」

conseguía コンセギア 1 単線(conseguir)v.t 達成した、成功した 「動詞」

había ganado アビア・ガナト 1 単線・完了形(ganar)v.t 稼いだ、得をした 「動詞句」

una hora ウナ・ハラ n.f 1 時間を 「目的語」

de calma. デ・カルマ adj. 平穏な 「形容詞句」

En cualquier caso エン・クワルクエル・カリ adv. どちらにしても 「副詞句」

valía バリア 3 単線・時制の一致(valer)v.t ～と同じ価値がある 「動詞」

la pena ラ・ペナ n.f 苦勞 「目的語」

considerarlo. コンシデラル・ロ 不定詞(considerar+lo)n. それを考慮に入れることは 「主語」

そんな時、僕はまた司祭の訪問を断った。

En un momento así me negué una vez más a recibir al capellán.

「副詞句」「動詞句」「副詞句」「動詞句」「目的語」

En un momento エン・ウン・モメント adv. ある時に 「副詞句」

así アシ adv. そのような 「副詞」

me negué ...a recibir メ・ネグェ ...ア・レシビール 1 単点・否定(negarse a+不定詞 recibir)

v.t (客を) 迎え入れるのを断った 「動詞句」

una vez más ウナ・ベス・マス adv. もう一度 「副詞句」

al capellán. アル・カペラン n.m 司祭を 「目的語」

僕は横になっていた。金色がかった空の色合いから夏の夕暮れが迫っているのを感じた。

Estaba acostado y por cierta rubia claridad del cielo adivinaba la proximidad de la tarde de verano. 「動詞」「補語」 y 「副詞句」「動詞」「目的語」

Estaba エスタバ 1 単線・状態(estar)v.i ～だった 「動詞」

acostado アコスタト 過去分詞(acostar)adj. 横になった 「補語」

y イ conj. そして

por ポル prep (手段) ～によって 「副詞句」

cierta rubia シエルタ・ルビア adj(rubio).f いくらか金色の 「形容詞句」

claridad クラリダ n.f 明るさ、色合い 「目的語」

del cielo テル・シエロ adj. 空の 「形容詞句」

adivinaba アディバナバ 1 単線(adivinar)v.t 推測した 「動詞」

Segunda parte 第2部

la proximidad ラ・プロキシマダ^ダ n.f 近い事 「目的語」
 de la tarde de verano. デ・ラ・タルデ・デ・ベラノ adj. 夏の夕暮れの 「形容詞句」

僕は上訴を拒否したところだった。血流が僕の体内を穏やかに循環するのが感じられた。

Acababa de rechazar la apelación y podía sentir las olas de sangre circular regularmente dentro de mí. 「動詞句」「目的語」 y 「動詞句」「目的語」「補語」

Acababa de rechazar アカババ・デ・レチャサル 1 単線・完了(acabar de+不定詞)

v.t ~を拒絶したところだ 「動詞句」

la apelación ラ・アペラシオン n.f 上訴を 「目的語」

y イ conj. そして

podía sentir ポデア・センチール 1 単線・可能・知覚動詞(poder+不定詞)(SVO+不定詞)

v.t O が~するのを感じられた 「動詞句」

las olas ラス・オラス pl(ola).n.f うねりが、波が 「目的語」

de sangre デ・サングレ adj. 血の 「形容詞句」

circular シルクラル 不定詞・olas の動作 v.i 循環する 「補語」

regularmente レグラルメンテ adv. 規則正しく、穏やかに 「副詞」

dentro de mí. デントロ・デ・ミ adv. 僕の体内を 「副詞句」

司祭に会う必要はなかった。久しぶりに、マリーのことを考えた。

No tenía necesidad de ver al capellán. Por primera vez después de mucho tiempo pensé en María. 「動詞句」「目的語」 | 「副詞句」「動詞」「間接目的語」

No tenía ノ・テニア 1 単線・否定(tener)v.t ~がなかった 「動詞句」

necesidad ネシタ^ダ n.f 必要性が 「目的語」

de ver デ・ベール 不定詞・目的 v.t 会うための 「形容詞句」

al capellán. アル・カペラン n.m 司祭に 「目的語」

Por primera vez ポル・プリメラ・ベス adv. はじめて 「副詞句」

después de mucho tiempo デスプエス・デ・ムチョ・ティエンポ adv. 長い時間の後 「副詞句」

→ 久しぶりで (に)

pensé ペンセ 1 単点(pensar)v.i 考えた 「動詞」

en María. エン・マリア adv. マリーのことを 「間接目的語」

Segunda parte 第2部

彼女は何日も僕に手紙をくれない。その夕方、僕はよく考えた。そして、たぶん彼女は死刑
囚の愛人でいることに疲れたのだと思った。

Hacía muchos días que no me escribía. Esa tarde reflexioné y me dije que quizá se habría cansado de ser la amante de un condenado a muerte.

「動詞」「目的語」「副詞節」 | 「副詞句」「動詞」 y 「動詞句」「目的語」

Hacía アシア 3 単線・単人称動詞・時制の一致(hacer)

v.t(que+直説法) 〜してから... になる 「動詞」

muchos días ムチョス・デ・イアス pl(día).n.m 何日も 「目的語」

que ケ conj. 〜してから 「副詞節」

no ...escribía. ノ...エスクリビア 3 単線・否定・時制の一致(escribir)

v.i 書かない 「動詞句」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

Esa tarde エサ・タルデ adv. その夕方 「副詞句」

reflexioné レフレクシオネ 1 単点(reflexionar)v.i 熟考した、よく考えた 「動詞」

y イ conj. そして

me dije メ・デ・イ 1 単点(decirse)v.pr 思った 「動詞句」

que ケ conj. 〜ということを 「目的語」

quizá キサ adv. たぶん 「副詞」

se habría cansado セ・アブリア・カンサト 3 単過未・完了形・推量(cansarse)

v.pr(de に) 疲れたのだろう 「動詞句」

de ser デ・セル 不定詞 v.i 〜でいることに 「動詞句」

la amante ラ・アマンテ n.f 愛人 「補語」

de un condenado デ・ウン・コンデナト adj. 受刑者の 「形容詞句」

a muerte. ア・ムエルテ adv. (対象) 死への、死に向かう 「副詞句」

もしかしたら病気になったか、あるいは死んだのではないかという考えも頭に浮かんだ。そ
れも成り行きだ。

También se me ocurrió la idea de que quizá estuviese enferma o muerta. Estaba dentro
del orden de las cosas. 「副詞」「動詞句」「間接目的語」「主語」 | 「動詞」「補語」

También タンビエン adv. 〜も 「副詞」

se ...ocurrió セ...オクリオ 3 単点(ocurrirse)v.pr(a+人 の) 頭に浮かんだ 「動詞句」

me メ pron adv. 僕の 「間接目的語」

la idea ラ・イデア n.f 考えが 「主語」

de que デ・ケ adj. 〜という 「形容詞節」

quizá キサ adv. もしかしたら 「副詞」

Segunda parte 第2部

estuviese エストビエセ 接・3 単過・推量・時制の一致(estar)

v.i ~である

「動詞」

enferma エンフェルマ adj(enfermo).f 病気の

「補語」

o オ conj. または

muerta. ムエルタ adj(muerto).f 死んだ

「補語」

Estaba エスタバ 3 単線・時制の一致(èssere)v.i ~である

「動詞」

dentro del orden デントロ・デル・オルデソ adv. 順番の後の

「補語」

de las cosas. デ・ラス・コサス adj. 物事の

「形容詞句」

→ 色々な事が起こった結果 → 成り行き

どうして僕がそれを知ることが出来たであろうか？今では離れ離れになった体の他には、僕たちを結びつけるものは無いし、お互いを思い出させるものも無いというのに。

¿Cómo habría podido saberlo yo puesto que fuera de nuestros cuerpos, ahora separados, nada nos ligaba ni nos recordaba el uno al otro? 「副詞」「動詞句」「主語」「副詞節」

¿Cómo コモ adv. どうして、どのように

「副詞」

habría podido saberlo アブリア・ポデイト・サヘル・ロ 1 単過未・完了形・可能・推量

(poder+不定詞 saber+lo)v.t それを知ることが出来ただろう

「動詞句」

yo ジョ pron 僕は

「主語」

puesto que プエスト・ケ conj. (理由) ~である以上

「副詞節」

fuera de フェラ・デ prep (除外) ~の他には

「副詞句」

nuestros cuerpos, ヌエストロス・クエルポス pl(cuerpo).n.m 僕たちの体「目的語」

ahora separados, アオラ・セパ・ラトス

adj. 今では離れ離れになった

「形容詞句」

nada ナダ pron 何も~ない

「主語」

nos ノス pron 僕たちを

「目的語」

ligaba リガバ 3 単線・時制の一致(ligar)v.t 結びつける

「動詞」

ni nos ニ・ノス pron 僕たちを~ない

「目的語」

recordaba レコルダバ 3 単線・時制の一致(recordar)v.t 思い出させる

「動詞」

el uno al otro? エル・ウノ・アル・オトロ adv. お互いに

「副詞句」

Segunda parte 第2部

その上、その時からマリーの思い出は僕にとってどうでもよくなったのかも知れない。

Por otra parte, a partir de ese momento, el recuerdo de María me hubiera sido indiferente.

「副詞句」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「補語」

Por otra parte, ホル・オトラ・ツパルテ adv. 他方では、その上

「副詞句」

a partir de ア・パルティール・デ prep (時間・起点) 〜から

「副詞句」

ese momento, エセ・モメント n.m その瞬間

「目的語」

el recuerdo エル・レクエルト n.m 思い出は

「主語」

de María デ・マリア adj. マリーの

「形容詞句」

me メ pron 僕にとっては

「間接目的語」

hubiera sido ユビエラ・シト 接・3 単過・完了形・推量(ser)v.i 〜だったろう

「動詞句」

indiferente. インディフェンテ adj. 重要でない、どちらでもよい

「補語」

死んだのならば、彼女はもう僕の興味を引かない。それは普通の事だと思う。僕が死んだら、人々は僕のことを忘れると思うからだ。

Muerta, no me interesaba más. Me parecía cosa normal, tal como comprendía que la gente me olvidara después de mi muerte.

「副詞」, 「動詞句」 「目的語」 「動詞句」 「副詞」 | 「間接目的語」 「動詞」 「補語」

Muerta, ムエルタ 過去分詞.f(morir)adv. (条件) 死んだのならば

「副詞」

no ...interesaba ノ...インテサバ 3 単線・否定・時制の一致(interesar)

v.t 興味を引かない

「動詞句」

me メ pron 僕の

「目的語」

más. マス adv. もう、もはや

「副詞」

Me メ pron 僕には

「間接目的語」

parecía パレシア 1 単線・時制の一致(parecer)v.i 〜のように思われる

「動詞」

cosa normal, コサ・ノルマル n.f 普通の事

「補語」

tal como タル・コモ conj. (理由) 〜であるから

「副詞節」

comprendía コンプレンデシア 1 単線・時制の一致(comprender)

v.t 思う、分かる

「動詞」

que ケ conj. 〜ということ

「目的語」

la gente ラ・ヘンテ n.f 人々は

「主語」

me メ pron 僕を

「目的語」

olvidara オルビダラ 3 単未(olvidar)v.t 忘れるだろう

「動詞」

después de デスプエス・デ prep (時間的) 〜の後で

「副詞句」

mi muerte. ミ・ムエルテ n.f 僕の死

「目的語」

Segunda parte 第2部

人々が僕と一緒にすることはもう何もない。そう考えると辛くなると言えたとしても。根本的に、人が死を受け入れない事に対する回答は存在しないのだ。

No tenía nada más que hacer conmigo. Ni siquiera podía decir que fuera duro pensar así.

En el fondo no existe idea a la que uno no concluya por acostumbrarse.

「動詞句」「目的語」 | Ni siquiera 「動詞句」「目的語」 | 「副詞句」「動詞」「主語」
No tenía ノ・テニャ 3 単線・否定・時制の一致(tener)v.t ~を持たない、~がない 「動詞句」

「主語」は la gente

nada más ナダ・マス pron もう何も~ない 「目的語」

que hacer ケ・アセル adj. するべき 「形容詞句」

conmigo. コンミゴ adv. 僕と 「副詞句」

Ni siquiera ニ・シクエラ conj. たとえ~でも

podía decir ポ・デア・デシル 3 単線・可能・時制の一致(poder+不定詞)v.t ~と言える「動詞句」

que ケ conj. ~ということ 「目的語」

fuera フェラ 接・3 単過・推量・時制の一致(ser)v.i ~になるだろう 「動詞」

duro ドゥロ adj. 辛い 「補語」

pensar así. ペンサル・アシ 不定詞 n. そう考えることは 「主語」

En el fondo エン・エル・フォント adv. 基本的に、根本的に 「副詞句」

no existe ノ・エキステ 3 単現・否定(existir)v.i 存在しない 「動詞」

idea イデア n.f 考えは 「主語」

a la ア・ラ adv. それに対する 「副詞句」

que ケ conj. ~ということ 「目的語」

uno ウノ pron 人が 「主語」

no concluya por acostumbrarse. ノ・コンクルヤ・ホル・アコスタウンブラルセ 接・3 単現・結局・・時制の一致
(concluir por+不定詞 acostumbrarse)

v.pr 結局慣れない

「動詞句」

フランス語原文では :

もっと簡潔に表現されている。

彼らにとって僕は用なしになる。僕はそう考えると辛い、などと言うことさえ出来なくなる。

Ils n'avaient plus rien à faire avec moi. Je ne pouvais même pas dire que cela était dur à penser.

Segunda parte 第2部

まさにその時、司祭が入って来た。司祭を見た時、自分の体が軽く震えるのを感じた。

En ese preciso momento entró el capellán. Cuando lo vi, sentí un ligero estremecimiento.

「副詞句」「動詞」「主語」 | 「副詞節」, 「動詞」「目的語」

En ese preciso momento エン・エ・プレシ・モメント adv. まさにその時 「副詞句」

preciso プレシ adj. 正確な、明確な

entró エント 3 単点(entrar)v.i 入って来た 「動詞」

el capellán. エル・カペリャン n.m 司祭が 「主語」

Cuando クワント conj. ～する時 「副詞節」

lo ロ pron 彼を 「目的語」

vi, ビ 1 単点(ver)v.t 見た 「動詞」

sentí センチ 1 単点(sentir)v.t 感じた 「動詞」

un ligero estremecimiento. ウン・リヘロ・エストレシメント n.m 軽い震えを 「目的語」

彼はそれに気づいて、恐れることは無いと言った。僕は、いつも別の時間に来ると答えた。

El lo notó y me dijo que no tuviera miedo. Le dije que su costumbre era venir a otra hora.

「主語」「目的語」「動詞」 y 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

El エル pron 彼は 「主語」

lo ロ pron (僕の震え) それに 「目的語」

notó ノト 3 単点(notar)v.t 気付いた 「動詞」

y イ conj. そして

me メ pron 僕に 「間接目的語」

dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

no tuviera ノ・トゥビエラ 接・1 単過・否定・助言(tener)

v.t 持たなくてよい 「動詞句」

miedo. ミエド n.m 恐れを 「目的語」

Le レ pron 彼に 「間接目的語」

dije デイヘ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

su costumbre ス・コスタンブレ n.f 彼の習慣は 「主語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」

venir ベニール 不定詞 n. 来ること 「補語」

a otra hora. ア・オトラ・オラ adv. 別の時間に 「副詞句」

Segunda parte 第2部

彼はこれは上訴とは関係のない私的な訪問であり、上訴の事は何も知らないと答えた。

Me respondió que era una visita amistosa que no tenía nada que ver con la apelación, de la que no sabía nada.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」, 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 Me メ pron 僕に 「間接目的語」
 respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」
 una visita ウナ・ビシタ n.f 訪問 「補語」
 amistosa アミストサ adj(amistoso).f 友好的な 「形容詞」
 que ケ conj. ～する 「形容詞節」
 no tenía ノ・テニャ 3 単線・否定・時制の一致(tener)
 v.t ～がない 「動詞句」
 nada ナダ pron 何も～ない 「目的語」
 que ver ケ・ベール adj. 見るべき 「形容詞句」
 con la apelación, コン・ラ・アペラシオン
 adv. 上訴に関して 「間接目的語」
 No tengo nada que ver con esto. 私はこの事と何の関りもない。
 de la que デ・ラ・ケ adv. それについて 「間接目的語」
 no sabía ノ・サビャ 3 単線・否定・時制の一致(saber)v.i(de について) 知らない 「動詞句」
 nada. ナダ pron 何も～ない 「直接目的語」

彼はベッドに腰を降ろして、もっと彼に近づくようにと僕に促した。僕は断った。それでも、彼はとても優しく見えた。

Se sentó en el camastro y me invitó a acercarme más a él. Me negué. A pesar de todo, me parecía muy amable.

「動詞句」「副詞句」 y 「目的語」「動詞句」「副詞句」
 「動詞句」 | 「副詞句」「間接目的語」「動詞」「補語」
 Se sentó セ・セント 3 単点(sentarse)v.pr 腰かけた 「動詞句」
 en el camastro エン・エル・カマステロ adv. 簡易ベッドの上に 「副詞句」
 y イ conj. そして
 me メ pron 僕に 「目的語」
 invitó a acercarme インビト・ア・アセルカルメ 3 単点・促し(invitar a+不定詞)
 v.t 近づくようにと促した 「動詞句」
 más a él. マス・ア・エル adv. もっと彼のほうへ 「副詞句」
 Me negué. メ・ネグエ 1 単点(negarse)v.pr 拒否した 「動詞句」
 A pesar de todo, ア・ペサル・デ・トド adv. 結局、それでも 「副詞句」

Segunda parte 第2部

me メ pron 僕には 「間接目的語」
 parecía パレシア 3 単線(parecer)v.i 〜のように見えた 「動詞」
 muy amable. マイ・アマブレ adj. とても優しい 「補語」

彼は腕を膝の上に置き、両手を見ながらうつむいて、しばらく座っていた。

Quedó un momento sentado con los antebrazos en las rodillas, la cabeza baja, mirándose las manos. 「動詞」「副詞句」「補語」
 Quedó クェド 3 単点・持続(quedar)v.i 〜のままでいた 「動詞」
 un momento ウン・モメント adv. しばらくの間 「副詞句」
 sentado, センタド adj. (状態) 座った 「補語」
 con コン prep (様態) 〜で 「副詞句」
 los antebrazos ロス・アンテブラソス pl(antebrazo).n.m 腕は 「主語」
 en las rodillas, エン・ラス・ロデイヤス adv. 膝の上に 「副詞句」
 la cabeza ラ・カベサ n.f 頭は 「主語」
 baja, バハ adj.f 下方に 「副詞」
 mirándose ミラントセ 現在分詞・同時(mirarse)v.pr 〜を見ながら 「副詞句」
 las manos. ラス・マノス pl(mano).n.f 両手を 「目的語」

その腕は細いが、筋肉質だった；僕に2匹の敏捷な動物を連想させた。

Eran finas y musculosas; me hacían pensar en dos ágiles animalitos. 「動詞」「補語」；「目的語」「動詞」「補語」
 Eran エラン 3 複線(ser)v.i 〜だった 「動詞」
 finas ファイナス adj(fino).f.pl 細い 「補語」
 y イ conj. そして
 musculosas; ムスクロサス adj(musculoso).f.pl 筋肉質の 「補語」
 me メ pron 僕に 「目的語」
 hacían アシアン 3 複線・使役(hacer)v.t (SVO+不定詞 O に〜) させた 「動詞」
 pensar ペンサル 不定詞・me の動作 v.i(en について) 考える 「補語」
 en dos ágiles animalitos. エン・トス・アヒレス・アニマリトス
 adv. 2 匹の敏捷な動物について 「間接目的語」
 ágiles アヒレス adj(ágil).pl 敏捷な animalitos アニマリトス pl(animal + -ito).n.m 動物

Segunda parte 第2部

彼は両手をゆっくりこすり合わせた。それからしばらくうつむいたままだったが、あまりにも長かったので、ふと、僕は彼の事を忘れていた気がした。

Las frotó lentamente, una contra la otra. Luego quedó así con la cabeza siempre baja, durante tanto tiempo que en cierto momento tuve la impresión de que lo había olvidado.

「目的語」「動詞」「副詞句」 | 「副詞」「動詞」「補語」 que 「副詞句」「動詞」「目的語」
 Las ラス pron.pl (las manos の代用) それらを 「目的語」
 frotó フォト 3 単点(frotar)v.t こすった 「動詞」
 lentamente, レンタメンテ adv. ゆっくり 「副詞」
 una ウナ pron (mano の代用) 片手を 「目的語」
 contra コントラ prepprep (対立) 〜に対して 「副詞句」
 la otra. ラ・オトラ pron 反対の手 「目的語」
 → お互いに → こすり合わせる
 Luego ルエゴ adv. それから 「副詞」
 quedó クエド 3 単点(quedar)v.i 〜のままでいた 「動詞」
 así, アシ adj. そのような 「補語」
 con コン prep (様態) 〜の様子で 「副詞句」
 la cabeza ラ・カベサ n.f 頭 「目的語」
 siempre baja, シエンプレ・バハ adj. あいかわらずうつむいた 「補語」
 durante tanto tiempo ドゥランテ・タント・ティエンポ adv. 非常に長い間 「副詞」
 que ケ conj.(tanto...que) (結果) それで〜する
 en cierto momento エン・シエルト・モメント adv. ある時、ふと 「副詞句」
 tuve トゥヴェ 1 単点(tener)v.t 持った 「動詞」
 la impresión ラ・インプレシオン n.f 印象を 「目的語」
 de que デ・ケ conj. (同格) 〜であるという 「形容詞節」
 lo ロ pron 彼のことを 「目的語」
 había olvidado. アビア・オルビダド 1 単線・完了形(olvidar)
 v.t 忘れていた 「動詞句」

しかし彼は急に頭をあげて、僕を正面からじっと見つめた：「どうして」と、彼は尋ねた。
 「どうして、あなたは私の訪問を拒むのですか？」

Pero levantó la cabeza bruscamente y me miró de frente: "¿Por qué", me dijo, "rehúsa usted mis visitas?" Pero 「動詞」「目的語」「副詞」 y 「目的語」「動詞」「副詞句」：
 《「質問」》, 「目的語」「動詞」, 《「動詞」「主語」「目的語」》

Pero ペロ conj. しかし
 levantó レバント 3 単点(levantar)v.t 上げた 「動詞」
 la cabeza ラ・カベサ n.f 頭を 「目的語」

Segunda parte 第2部

bruscamente	ブルスカメンテ	adv. 急に、突然	「副詞」
y	イ	conj. そして	
me	メ	pron 僕を	「目的語」
miró	ミロ	3 単点(mirar)v.t 見つめた	「動詞」
de frente:	デ・フレンテ	adv. 正面から	「副詞句」
"¿Por qué",	ホル・ケ	adv. どうして (ですか?)	「質問」
me	メ	pron 僕に	「間接目的語」
dijo,	ディヨ	3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
"rehúsa	レウサ	3 単現・疑問文(rehusar)v.t 拒むのですか?	「動詞」
usted	ウステ	pron あなたは	「主語」
mis visitas?"	ミス・ビシタス	pl(visita).n.f 私の訪問を	「目的語」

僕は神の存在を信じていないと答えた。彼は僕が十分に確信しているのかと尋ねたので、それを自分自身に問いかけるまでもない、それはどうでも良い問題だと答えた。

Contesté que no creía en Dios. Quiso saber si estaba bien seguro y le dije que yo mismo no tenía para qué preguntármelo; me parecía una cuestión sin importancia.

		「動詞」「目的語」 「動詞句」「目的語」 y 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」	
Contesté	コンテステ	1 単点(contestar)v.t 答えた	「動詞」
que	ケ	conj. ～とということを	「目的語」
no creía	ノ・クレイア	1 単線・否定(creer)v.i(en ～の存在を) 信じていない	「動詞」
en Dios.	エン・ディオス	adv. 神の存在を	「間接目的語」
Quiso saber	キソ・サベル	3 単点・願望(querer+不定詞 saber)v.t 知りたがった	「動詞句」
si	シ	conj. ～かどうかということを	「目的語」
estaba	エスタバ	1 単線・時制の一致(estar)v.i ～である	「動詞」
bien seguro	ビエン・セグロ	adj. 十分に確信のある	「補語」
y	イ	conj. そして	
le	レ	pron 彼に	「間接目的語」
dije	ディエ	1 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
que	ケ	conj. ～とということを	「直接目的語」
yo mismo	ジョ・ミスト	pron 僕自身は	「主語」
no tenía	ノ・テニア	1 単線・否定・時制の一致(tener)v.t ～がない	「動詞句」
para qué+	パラ・ケ	pron ～すべきもの	「目的語」
preguntármelo;	プレグンタル・メロ	不定詞	
	v.t	それを自分に問いかける	「動詞句」
me	メ	pron 僕には	「間接目的語」
parecía	パレシア	3 単線・時制の一致(parecer)v.i ～に思われる	「動詞」

Segunda parte 第2部

una cuestión ウナ・クェスチオン n.f 問題

「補語」

sin importancia. シン・インポルタンシア adj. どうでも良い

「形容詞句」

すると彼は体を後ろに向かってねじり、壁に寄り掛かって両手を腿の上に置いた。

Se echó entonces hacia atrás y se recostó contra el muro, con las manos en los muslos.

「動詞句」「副詞句」 y 「動詞句」「副詞句」

Se echó エ・エチョ 3 単点(echarse)v.pr 寝そべった、(自分の体を)ねじった

「動詞句」

entonces エントネス adv. それで、すると

「副詞」

hacia atrás アシア・アトラス adv. 後ろに向かって

「副詞句」

y イ conj. そして

se recostó セ・レコスト 3 単点(recostarse)v.pr 寄りかかった、もたれた

「動詞句」

contra el muro, コントラ・エル・ムロ adv. 壁に触れて

「副詞句」

con las manos コン・ラス・マノス adv. (様態) 両腕を～の状態で

「副詞句」

en los muslos. エン・ロス・ムスロス adv. (位置) 腿 (もも) の上に

「副詞句」

特に僕に話しかけている様子は無く、人は時々自分は確信していると思うけれど、実はそうではないことがある、と彼は言った。

Casi sin que pareciera hablarme, observó que a veces uno creía estar seguro cuando, en realidad, no lo estaba.

「副詞節」, 「動詞」「目的語」

Casi sin que カシ・シン・ケ conj. ほとんど～ではなく

「副詞節」

pareciera パレシエラ 接・3 単過(parecer)v.i ～と思われる

「動詞」

hablarme, アブラール・メ 不定詞 n. 僕に話しかけるということ

「主語」

observó オブセルボ 3 単点(observar)v.t 指摘した、言った

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

a veces ア・ベセス adv. 時々

「副詞句」

uno ウノ pron 人は

「主語」

creía estar クレイア・エスタール 3 単線(creer+不定詞)v.i ～であると信じる

「動詞句」

seguro セグロ adj. 確信した

「補語」

cuando, クワント conj. (譲歩) ～するにもかかわらず

「副詞節」

en realidad, エン・レアリタデ adv. 実際は、本当は

「副詞句」

no ...estaba. ノ...エスタバ 3 単線・部分否定・時制の一致(estar)

v.i ～でない

「動詞句」

lo ロ pron それ

「補語」

Segunda parte 第2部

僕は何も言わないでいた。彼は僕をじっと見て、尋ねた：「あなたはどのように考えていますか？」

Yo no decía nada. Me miró y me preguntó: "¿Qué piensa usted?"

「主語」「動詞句」「目的語」 | 「目的語」「動詞」 y 「間接目的語」「動詞」：
 «「目的語」「動詞」「主語」»

Yo ジョ pron 僕は 「主語」
 no decía ノ・デシア 1 単線・否定(decir)v.t 言わないでいた 「動詞句」
 nada. ナダ pron 何も～ない 「目的語」
 Me メ pron 僕を 「目的語」
 miró ミロ 3 単点(mirar)v.t じっと見つめた 「動詞」
 y イ conj. そして
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 preguntó: プレガント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」
 "¿Qué ケ pron どう、何を 「目的語」
 piensa ピエンサ 3 単線・疑問文・時制の一致(pensar)v.t 考えていますか? 「動詞」
 usted?" ウステ pron あなたは 「主語」

僕は多分そういうことだろうと答えた。僕が何に対して本当に興味があるかは多分確信が無い。しかし、いずれにしても、何に対して興味がないかについては確実に確信している。

Contesté que quizá fuera así. Quizá no estaba seguro de lo que me interesaba realmente, pero en todo caso, estaba completamente seguro de lo que no me interesaba.

「動詞」「目的語」 | 「副詞」「動詞句」「補語」,pero 「副詞句」「動詞」「補語」

Contesté コンテスト 1 単点(contestar)v.t 答えた 「動詞」
 que ケ conj. 何ということ 「目的語」
 quizá キザ adv. たぶん、おそらく 「副詞」
 fuera フェア 接・3 単過・推量・時制の一致(ser)v.i ～だろう 「動詞」
 así. アシ adv. そのような 「補語」
 Quizá キザ adv. たぶん、おそらく 「副詞」
 no estaba ノ・エスタバ 1 単線・否定(estar)v.i ～でない 「動詞句」
 seguro セグロ adj. 確信のある 「補語」
 de lo que テ・ロ・ケ adv. (対象)(主語) ～と言うことに関して 「副詞節」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 interesaba インテレスバ 3 単線・時制の一致(interesar)
 v.t 興味を抱かせる 「動詞」
 realmente, レアルメンテ adv. 本当に 「副詞」
 pero ペロ conj. しかし
 en todo caso, エン・トド・カソ adv. いずれにしても 「副詞句」

Segunda parte 第2部

estaba エスタバ ^ハ 1 単線(estar)v.i	～である	「動詞」
completamente seguro コンプレタメンテ・セグロ ^ロ adj.	確実に確信した	「補語」
de lo que デ・ロ・ケ ^ケ adv.	(対象) (主語) ～と言うことに関して	「副詞節」
no ...interesaba. ノ...インテレサバ ^ハ 3 単線・否定・時制の一致(interesar)		
v.t	興味を抱かせない	「動詞句」
me メ pron	僕に	「間接目的語」

そしてまさに、彼が言っているような事には、僕は興味が無い。

Y, justamente, lo que él me decía no me interesaba.

Y, 「副詞」「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」

Y, イ conj.	そして	
justamente, フスタメンテ ^テ adv.	まさに、ちょうど	「副詞」
lo que ロ・ケ ^ケ pron	～するものは	「主語」
él エル ^ル pron	彼が	「主語」
me メ pron	僕に	「間接目的語」
decía デシア ^{シア} 3 単線・時制の一致(decir)v.t	言っている	「動詞」
no ...interesaba. ノ...インテレサバ ^ハ 3 単線・否定・時制の一致(interesar)		
v.t	興味を抱かせない	「動詞句」
me メ pron	僕に	「間接目的語」

彼は視線をそらせた。そして相変わらず同じ姿勢で、絶望のあまりあのように言ったのではないかと僕に尋ねた。

Volvió la mirada y, siempre sin cambiar de posición, me preguntó si no hablaba así por exceso de desesperación.

「動詞」「目的語」 y, 「副詞句」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Volvió ホルビョ ^ョ 3 単点(volver)v.t	戻した、(視線を) そらせた	「動詞」
la mirada ラ・ミラダ ^ダ n.f	視線を	「目的語」
y, イ conj.	そして	
siempre シエンプレ ^{プレ} adv.	あいかわらず	「副詞」
sin cambiar シン・カンビアル ^{アル} adv.	(de 位置を) 変えずに	「副詞句」
de posición, デ・ポシオン ^{オン} adv.	姿勢を	「間接目的語」
me メ pron	僕に	「間接目的語」
preguntó プレグント ^{ント} 3 単点(preguntar)v.t	尋ねた	「動詞」
si シ conj.	～かどうかということ	「直接目的語」
no hablaba ノ・アブラバ ^バ 1 単線・否定・疑問文(hablar)		
v.i	言ったのではないか	「動詞句」

Segunda parte 第2部

así アシ adv. あのように 「副詞」
 por ポル prep (原因) ーのために 「副詞句」
 exceso エケソ n.m (de の) 過剰 「目的語」
 de desesperación. デ・デセパシオン adj. 絶望の 「形容詞句」

僕は絶望などしていない、と彼に説明した。単に怖いだけで、当たり前なことだ。

Le expliqué que no estaba desesperado. Simplemente tenía miedo, era bien natural.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 | 「副詞」「動詞」「目的語」, 「動詞」「補語」
 Le レ pron 彼に 「間接目的語」
 expliqué エクスプレカ 1 単点(explicar)v.t 説明した 「動詞」
 que ケ conj. ーということを 「直接目的語」
 no estaba ノ・エスタバ 1 単線・否定・時制の一致(estar)v.i ーでない 「動詞句」
 desesperado. デセパラト adj. 絶望した 「補語」
 Simplemente シンプレメンテ adv. ただ単に 「副詞」
 tenía テニア 1 単線・時制の一致(tener)v.t ーがある 「動詞」
 tema となっていたが、tenía の間違いだと思う
 miedo, ミエト n.m 恐れ 「目的語」
 era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ーである 「動詞」
 bien natural. ビエン・ナトゥラル adj. ごく当たりの 「補語」

「それならば、神があなたをお助け下さるでしょう」と、彼が言った。「私が知っているあなたと同じ立場の人は皆、彼の所へ戻りました」

"Entonces Dios le ayudará." Hizo notar. "Todos cuantos he conocido en su caso han vuelto a Él." 《「副詞」「主語」「目的語」「動詞」》, 「動詞句」, 《「主語」「動詞句」「間接目的語」》

"Entonces エントネス adv. それでは 「副詞」
 Dios デイオス n.m 神が 「主語」
 le レ pron あなたを 「目的語」
 ayudará." アジュダラ 3 単未(ayudar)v.t 助けるだろう 「動詞」
 Hizo notar. イ・ノタル 3 単点・使役(hacer+不定詞)v.t 指摘した、気づかせた 「動詞句」
 "Todos トス pron.pl 全ての者は 「主語」
 cuantos クワントス pron (目的語) ーする 「形容詞節」
 he conocido エ・コノシト 1 単現・完了形(conocer)v.t 知っていた 「動詞句」
 en su caso エン・スカ adv. あなたと同じ立場にいる 「副詞句」
 han vuelto アン・ブエルト 3 複現・完了形(volver)v.i 戻った 「動詞句」
 a Él." ア・エル adv. 彼の所に 「間接目的語」

Segunda parte 第2部

それは彼らの権利だと僕は認めた。彼らにはそうする時間があったことも示している。

Reconocí que estaban en su derecho. Probaba también que tenían tiempo para hacerlo.

「動詞」「目的語」 | 「動詞」「副詞」「目的語」

Reconocí レコソシ 1 単点(reconocer)v.t 認めた 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

estaban エスタバン 3 複線・時制の一致(estar)v.i ～である 「動詞」

en su derecho. エン・ス・デレチョ adv. 彼らの権利の内 「補語」

Probaba プロババ 3 単線・時制の一致(probar)v.t 示している 「動詞」

también タンビエン adv. ～も 「副詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

tenían テニアン 3 複線(tener)v.t ～があった 「動詞」

tiempo テイエンポ n.m 時間が 「目的語」

para hacerlo. パラ・アセル・ロ 不定詞・目的 adj. それをするための「形容詞句」

僕としては、誰かに助けて欲しいとは思わない。そしてまさに、興味の無いことに関心を抱いている時間は僕には無いのだ。

En cuanto a mí no quería que me ayudaran y precisamente no tenía tiempo para interesarme en lo que no me interesaba.

「副詞句」「動詞句」「目的語」 y 「副詞」「動詞句」「目的語」

En cuanto a mí エン・クワント・ア・ミ adv. 僕に関しては 「副詞句」

no quería ノ・ケリア 1 単線・否定・時制の一致(querer)v.t 望まない 「動詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

me メ pron 僕を 「目的語」

ayudaran アジュダラン 3 複未(ayudar)v.t 助けるだろう 「動詞」

受動態に翻訳する

y イ conj. そして

precisamente プレシサメンテ adv. まさに 「副詞」

no tenía ノ・テニア 1 単線・否定・時制の一致(tener)v.t ～がない 「動詞句」

tiempo テイエンポ n.m 時間が 「目的語」

para interesarme パラ・インテサルメ 不定詞・目的 adj. 興味を抱くための「形容詞句」

en lo que エン・ロ・ケ adv. ～するものに対して 「間接目的語」

no ...interesaba. ノ...インテサバ 3 単線・時制の一致・否定(interesar)

v.t 興味を抱かせない 「動詞句」

me メ pron 僕に 「目的語」

Segunda parte 第2部

その時、彼の手は苛立たしげな仕草を見せた。しかし彼は背筋を伸ばしてから、僧服の折り目を整えた。

En ese instante sus manos hicieron un ademán de impaciencia, pero se enderezó y arregló los pliegues de la sotana.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」,pero「動詞句」y「動詞」「目的語」
 En ese instante エン・エ・インスタンス adv. その時 「副詞句」
 sus manos スス・マノス pl(manó).n.f 彼の手は 「主語」
 hicieron イシエロン 3 複点(hacer)v.t (動作を) した 「動詞」
 un ademán ウン・アデマン n.m 仕草を 「目的語」
 de impaciencia, デ・インパシエンシア adj. 苛立ちの、辛抱出来ない 「形容詞句」
 pero ペロ conj. しかし
 se enderezó セ・エンデレソ 3 単点(enderezarse)v.pr 背筋をぴんと伸ばした 「動詞句」
 y イ conj. そして
 arregló アレグロ 3 単点(arreglar)v.t 直した、整えた 「動詞」
 los pliegues ロス・プリエグス pl(pliegue).n.m 折り目を 「目的語」
 de la sotana. デ・ラ・ソタナ adj. 僧服の 「形容詞句」
 sotana ソタナ n.f (聖職者の通常服) 僧服

彼はそれを終わると、「友よ！」と呼びながら僕の方へやってきた；僕にこう話すのは、僕が死刑を宣告されたからではない；彼の意見では、我々全員が死刑を宣告されているのだ。

Quando hubo terminado, se dirigió a mí llamándome "amigo mío"; si me hablaba así no era porque estuviese condenado a muerte; según su opinión estábamos todos condenados a muerte.

「副詞節」,「動詞句」「副詞句」;
 「副詞節」「動詞句」「補語」;「副詞句」「動詞句」「補語」
 Cuando クワント conj. ～すると 「副詞節」
 hubo terminado, ウボ・テルミナト 3 単点・完了形・直前過去(terminar)
 v.t 終えた 「動詞句」
 se dirigió セ・ディリヒオ 3 単点(dirigirse)v.pr(a に) 向かってきた、進んできた 「動詞句」
 a mí ア・ミ adv. 僕の方へ 「副詞句」
 llamándome ジャマント・メ 現在分詞・同時 adv. 呼びながら 「副詞句」
 "amigo mío"; アミゴ・ミオ adv. 友よ 「呼びかけ」
 si シ conj. (事実の提示) ～ということであるが 「副詞節」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 hablaba ハブラバ 3 単線・時制の一致(hablar)v.t 話している 「動詞」
 así アシ adv. このように 「副詞」
 no era ノ・エラ 3 単線・否定・時制の一致(ser)v.i ～でない 「動詞句」

Segunda parte 第2部

porque ポルカ conj. ～だから 「補語」

estuviese condenado エストビエセ・コンデナト 接・1 単過・受動(condenar)

v.t(a 刑を) 宣告された 「動詞句」

a muerte; ア・ムエルテ adv. 死刑を 「補語」

según su opinión セグン・ス・オピニオン adv. 彼の意見によると 「副詞句」

estábamos todos condenados エスタバモス・トドス・コンデナトス 1 複線・受動・時制の一致

v.t 皆が宣告されている 「動詞句」

a muerte. ア・ムエルテ adv. 死刑を 「補語」

しかし僕は、それは同じことではないと言って彼の話を書いた。さらに何があるかと慰めにはなり得ないと続けた。

Pero le interrumpí diciéndole que no era la misma cosa y que, por otra parte, en ningún caso podía ser consuelo. Pero 「目的語」「動詞」「副詞句」

Pero ペロ conj. しかし

le レ pron 彼を 「目的語」

interrumpí インテルピ 1 単点(interrumpir)v.t ～の話を遮った 「動詞」

diciéndole ディシエント・レ 現在分詞・同時(decir+le)adv. 彼に言いながら 「副詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

no era ノ・エラ 3 単線・否定・時制の一致(ser)v.i ～でない 「動詞句」

la misma cosa ラ・ミスマ・コサ n.f 同じこと 「補語」

y イ conj. そして

que, ケ conj. ～ということを 「目的語」

por otra parte, ポル・オトラ・パルテ adv. 他方では、その上 「副詞句」

en ningún caso エン・ニグン・カソ adv. どんな場合でも～ない 「副詞句」

podía ser ポディア・セル 3 単線・可能・変化・否定文(poder+不定詞 ser)

v.i ～になり得ない 「動詞句」

consuelo. コンスエロ n.m 慰め 「補語」

Segunda parte 第2部

「その通りです」と、彼は同意した。「ですが、すぐに死ななくても、いずれは死ぬのです。その時、同じ問題が起こります。どのようにその恐ろしい試練に立ち向かうつもりですか？」

"Es cierto", asintió, "pero usted morirá más tarde si no muere pronto. El mismo problema se le planteará entonces. ¿Cómo afrontará usted la terrible prueba?"

《「動詞」「補語」》, 「動詞」, 《pero 「主語」「動詞」「副詞句」, 「副詞節」

「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞」 | 「副詞」「動詞」「主語」「目的語」

"Es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」
 cierto", シエルト adj. 確かな 「補語」
 asintió, アシンチオ 3 単点(asentir)v.i 同意した 「動詞」
 "pero ペロ conj. しかし
 usted ウステ pron あなたは 「主語」
 morirá モリラ 3 単末(morir)v.i 死ぬでしょう 「動詞」
 más tarde マス・タルテ adv. 後で、いずれは 「副詞句」
 si シ conj. (仮定) たとえ～ならば 「副詞節」
 no muere ノ・ムエ 3 単現・否定(morir)v.i 死なない 「動詞句」
 pronto. プロント adv. すぐに 「副詞」
 El mismo problema エル・ミスマ・プロブレマ n.m 同じ問題が 「主語」
 se ..planteará セ...プランテアラ 3 単末(plantearse)v.pr 起こるでしょう 「動詞句」
 le レ pron あなたに 「間接目的語」
 entonces. エントンセス adv. その時 「副詞」
 ¿Cómo コモ adv. どのように 「副詞」
 afrontará アフロンタラ 3 単末(afrontar)v.t 立ち向かう 「動詞」
 usted ウステ pron あなたは 「主語」
 la terrible ラ・テルブレ adj. その恐ろしい 「形容詞句」
 prueba?" プルエバ n.f 試練に 「目的語」

僕は今まさにその試練に立ち向かっているのと同様に立ち向かうつもりだと答えた。

Repuse que la afrontaría exactamente como la afrontaba en este momento.

「動詞」「目的語」

Repuse レプセ 1 単点(reponer)v.t 答えた、返事した 「動詞」
 que ケ conj. ~ということを 「目的語」
 la ラ pron.f その試練に 「目的語」
 afrontaría アフロンタリア 1 単過未・推量(afrontar)v.t 立ち向かうだろう 「動詞」
 exactamente como エクサクタメンテ・コモ conj. まさに～するように 「副詞節」
 la ラ pron.f その試練に 「目的語」
 afrontaba アフロンタバ 1 単線・時制の一致(afrontar)

Segunda parte 第2部

v.t 立ち向かっている 「動詞」
 en este momento. エン・エステ・モメント adv. 今現在 「副詞句」

僕の返事を聞いて彼は立ち上がり、僕の目を真っすぐに覗き込んだ。

Ante estas palabras se levantó y me miró directamente a los ojos.

「副詞句」「動詞句」 y 「間接目的語」「動詞」「副詞」「直接目的語」
 Ante アンテ prep 〜の前に、(言葉を) 聞いて 「副詞句」
 estas palabras エスタス・パラブラス pl(palabra).n.f その言葉 「目的語」
 se levantó セ・レバント 3 単点(levantarse)v.pr 立ち上がった 「動詞句」
 y イ conj. そして
 me メ pron 僕の 「間接目的語」
 miró ミロ 3 単点(mirar)v.t じっと見つめた 「動詞」
 directamente デイレクタメンテ adv. まっすぐに 「副詞」
 a los ojos. ア・ロス・オホス pl(ojo).n.m 目を 「直接目的語」

それは僕が得意なゲームだ。よくマヌエルやセレステとやって楽しんだものだが、大抵は彼らのほうが視線をそらせた。

Es un juego que conozco bien. Me divertía a menudo haciéndolo con Manuel o Celeste y, generalmente, eran ellos quienes apartaban la mirada.

「動詞」「補語」 | 「動詞句」「副詞句」 y 「副詞」「動詞」「補語」「主語」
 Es エス 3 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」
 un juego ウン・フエゴ n.m ゲーム 「補語」
 que ケ pron (目的語) 〜する 「形容詞節」
 conozco コノスコ 1 単現(conocer)v.t 知っている、精通している 「動詞」
 bien. ビエン adv. よく 「副詞」
 Me divertía メ・デティベルシア 1 単線・習慣(divertirse)v.pr 楽しんでいた 「動詞句」
 a menudo ア・メスト adv. しばしば、よく 「副詞句」
 haciéndolo アシエント・ロ 現在分詞・手段(hacer+lo)adv. それをやって 「副詞句」
 con Manuel o Celeste コン・マヌエル・オ・セレステ adv. マヌエルやセレステと 「副詞句」
 y, イ conj. そして
 generalmente, ヘネラルメンテ adv. 大抵は 「副詞」
 eran エラン 3 複線(èssere)v.i 〜だった 「動詞」
 ellos エジョス pron.pl 彼ら 「補語」
 quienes キエネス pron.pl 〜する人は 「主語」
 apartaban アパルトaban 3 複線・時制の一致(apartar)v.t そらす 「動詞」
 la mirada. ラ・ミラダ n.f 視線を 「目的語」

Segunda parte 第2部

司祭もこのゲームはよく分かっていて、それはすぐに分かった。彼の視線は揺らがなかった。

También el capellán conocía bien el juego; lo comprendí enseguida. Su mirada no vaciló.

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」; 「目的語」「動詞」「副詞」	「主語」「動詞句」
También タンビエン adv. ～も	「副詞」
el capellán エル・カペリヤン n.m 司祭は	「主語」
conocía コノシア 3 単線(conocer)v.t 知っていた	「動詞」
bien ビエン adv. 良く	「副詞」
el juego; エル・フエゴ n.m このゲームを	「目的語」
lo ロ pron それを	「目的語」
comprendí コンプレンディ 1 単点(comprender)v.t 分かった	「動詞」
enseguida. エンセギダ adv. すぐに	「副詞」
Su mirada ス・ミラダ n.f 彼の視線は	「主語」
no vaciló. ノ・バシロ 3 単点・否定(vacilar)v.i 揺らがなかった	「動詞句」

そして、「それでは、あなたは何も希望も無く、完全に死んでいくと考えながら生きているのですか？」と僕に言う時に、彼の声にためらいはなかった。僕は、「ええ」と答えた。

Y su voz tampoco vaciló cuando me dijo: "¿No tiene usted, pues, esperanza alguna y vive pensando que va a morir por entero?" "Sí", le respondí.

Y 「主語」「動詞」「副詞節」	「主語」「動詞」
Y イ conj. そして	
su voz tampoco ス・ボス・タンボコ n.f 彼の声も～ない	「主語」
vaciló バシロ 3 単点・否定文(vacilar)v.i ためらわなかった	「動詞」
cundo クワント conj. ～する時	「副詞節」
me メ pron 僕に	「間接目的語」
dijo: ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
"¿No tiene ノ・ティエネ 3 単現・否定・疑問文(tener)v.t 無いのですか？	「動詞句」
usted, ウステ pron あなたは	「主語」
pues, フエス adv. それでは	「副詞」
esperanza alguna エスペランサ・アルグナ n.f 何か希望を	「目的語」
y イ conj. そして	
vive ビベ 3 単現・疑問文(vivir)v.i 生きているのですか？	「動詞」
pensando ペンサント 現在分詞・様態(pensar)v.t 考えて	「副詞句」
que ケ conj. ～ということ	「目的語」
va a morir バ・ア・モリール 3 単現・近接未来(ir a+不定詞 morir)	
v.i 死んでいく	「動詞句」

Segunda parte 第2部

por entero?" ポル・エンテロ adv. 完全に、すべてが 「副詞句」
 "Sí", シ adv. ええ 「応答」
 le レ pron 彼に 「間接目的語」
 respondí. レスポンディ 1 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」

そこで彼はうつむき、また座って、僕に同情すると言った。

Bajó entonces la cabeza y volvió a sentarse. Me dijo que me compadecía.
 「動詞」「副詞」「目的語」 y 「動詞句」 | 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
 Bajó バホ 3 単点(bajar)v.t 下げた、低くした 「動詞」
 entonces エントネス adv. それで、そこで 「副詞」
 la cabeza ラ・カベサ n.f 頭を 「目的語」
 y イ conj. そして
 volvió a sentarse. ボルビエ・ア・センタルセ 3 単点・再度(volver a+不定詞 sentarse)
 v.pr また座った 「動詞句」
 Me メ pron 僕に 「間接目的語」
 dijo ディホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 me メ pron 僕のことを 「目的語」
 compadecía. コンパデシア 3 単線(compadecer)v.t 同情する 「動詞」

人がそのようなことに耐えるのは不可能だと、彼は思ったのだ。

Juzgaba imposible que un hombre pudiese soportar esto. 「動詞」「補語」「目的語」
 Juzgaba フスカバ 3 単線(juzgar)v.t 判断した、思った 「動詞」
 imposible インポシブレ adj. 不可能な 「補語」
 que ケ conj. ～と言う事を 「目的語」
 un hombre ウン・オンブレ n.m 人が 「主語」
 pudiese soportar プディエセ・ソポルタル 接・3 単過・推量(poder+不定詞 soportar)
 v.t 耐えられるだろう 「動詞句」
 esto. エスト pron それを 「目的語」

Segunda parte 第2部

僕はただ単に彼の事がうんざりしてきた。今度は僕の方が視線をそらして、天窗の方へ歩いて行った。

Yo sentí solamente que él comenzaba a aburrirme. Me aparté a mi vez y fui hacia la claraboya. 「主語」「動詞」「目的語」 | 「動詞句」「副詞句」 y 「動詞」「副詞句」

Yo ジョ pron 僕は 「主語」

sentí センチ 1 単点(sentir)v.t 感じた 「動詞」

solamente ソラメンテ adv. ただ単に 「副詞」

que ケ conj. ～と言う事を 「目的語」

él エル pron 彼は 「主語」

comenzaba a aburrirme. コメンサバ・ア・アブール・メ 3 単線・開始(comenzar a+不定詞 aburrirme)

v.t 僕をうんざりさせ始めた 「動詞句」

僕を「主語」にして翻訳する

Me aparté メ・アパルテ 1 単点(apartarse)v.pr 離れた、(視線を) そらした 「動詞句」

a mi vez ア・ミ・ベス adv. 僕の番で、僕のほうが 「副詞句」

y イ conj. そして

fui フイ 1 単点(ir)v.i 行った 「動詞」

hacia アシア prep (方向) ～の方へ 「副詞句」

la claraboya. ラ・クラボヤ n.f 天窗 「目的語」

僕は肩で壁に寄り掛かった。よく分からないが、彼がまた僕を尋問し始める声が聞こえた。

Me apoyé con el hombro contra la pared. Sin seguirlo bien, oí que comenzaba a interrogarme otra vez. 「動詞句」「副詞句」 | 「副詞句」, 「動詞」「目的語」

Me apoyé メ・アポ・イエ 1 単点(apoyarse)v.pr ～に寄り掛かった 「動詞句」

con el hombro コン・エル・オンブ・ロ adv. 肩で 「副詞句」

contra la pared. コントラ・ラ・パレ adv. (接触) 壁に 「副詞句」

Sin seguirlo シン・セギル・ロ 不定詞・様態 adv. 彼の話の内容は分からないけれど 「副詞句」

bien, ビエン adv. 良く 「副詞」

oí オイ 1 単点(oír)v.t 聞こえた 「動詞」

que ケ conj. ～と言う事が 「目的語」

comenzaba a interrogarme コメンサバ・ア・インテロガール・メ 3 単線・開始

(comenzar a+不定詞 interrogar+me)v.t 僕を尋問し始める 「動詞句」

otra vez. オトラ・ベス adv. また 「副詞句」

Segunda parte 第2部

彼は不安気で切迫したような声で話した。彼が動揺していることが分かった。少し気を入れて彼の話を聞いた。

Hablaba con voz inquieta y apremiante. Comprendí que estaba emocionado y le escuché con más atención. 「動詞」「副詞句」 | 「動詞」「目的語」 y 「目的語」「動詞」「副詞句」
 Hablaba アブラハ 3 単線(hablar)v.i 話した 「動詞」
 con voz コン・ボス adv. (様態) 声で 「副詞句」
 inquieta インキエタ adj.(inquieto).f 不安げな 「形容詞」
 y イ conj. そして
 apremiante. アプレミアンテ adj. 切迫した 「形容詞」
 Comprendí コンプレンディ 1 単点(comprender)v.t 分かった、理解した 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 estaba エスタハ 3 単線・状態・時制の一致(estar)v.i ～である 「動詞」
 emocionado エモシオナド adj. 興奮した、動揺した 「補語」
 y イ conj. そして
 le レ pron 彼の話を 「目的語」
 escuché エスクチェ 1 単点(esucuchar)v.t 聞いた 「動詞」
 con más atención. コン・マス・アテンシオン adv. (方法) もっと注意深く、注目して 「副詞句」

彼は僕に、上訴は確実に受理されるだろう、しかし僕はその罪の重荷を背負い、それをみずから償わなければならない、と言った。

Me decía que tenía la certeza de que la apelación sería resuelta favorablemente, pero que yo cargaba con el peso de un pecado del que debía librarse.
 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」,pero 「直接目的語」
 Me メ pron 僕に 「間接目的語」
 decía デシア 3 単線(decir)v.t 言った 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 tenía テニア 3 単線・時制の一致(tener)v.t ～がある 「動詞」
 la certeza ラ・セルテサ n.f (de que ～する) 確実性 「目的語」
 de que デ・ケ adj. (同格) ～するという 「形容詞節」
 la apelación ラ・アペラシオン n.f 上訴は 「主語」
 sería resuelta セリア・レスエルト 3 単過未・受動・推量(resolver)
 v.t 決着するだろう 「動詞句」
 favorablemente, ファボラブレメンテ
 adv. うまい具合に、都合よく 「副詞」
 pero ペロ conj. しかし
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

Segunda parte 第2部

yo ジョ pron 僕は 「主語」
 cargaba カガバ 1 単線(cargar)・時制の一致
 v.i(con を) かつぐ、背負う 「動詞」
 con el peso コン・エル・ペソ adv. その重荷を 「間接目的語」
 de un pecado テ・ウン・ペカド adj. 罪の 「形容詞句」
 del que テル・ケ adj. ～した 「形容詞節」
 debía librárseme. デビア・リバルセメ 1 単線・必要・時制の一致(deber+不定詞 librárseme)
 v.pr 自分で開放しなければならない 「動詞句」

司祭によれば、人間の正義はなんの意味もなく、神の正義こそがすべてである。

Según él, la justicia de los hombres no significaba nada y la justicia de Dios, todo.
 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 y 「主語」 「補語」
 Según él, セグン・エル adv. 司祭によると 「副詞句」
 la justicia ラ・フステシア n.f 正義は 「主語」
 de los hombres テ・ロス・オンブレス adj. 人間の 「形容詞句」
 no significaba ノ・シグニフィカバ 3 単線・否定・時制の一致(significar)v.t 意味しない 「動詞句」
 nada ナダ pron 何も～ない 「目的語」
 y イ conj. そして
 la justicia de Dios, ラ・フステシア・デ・ディオス n.f 神の正義が 「主語」
 todo. トト pron すべて 「補語」

それを僕に宣告したのは人間の方だと、僕は指摘した。

Hice notar que era la primera la que me había condenado. 「動詞句」 「目的語」
 Hice notar イェ・ノタル 1 単点・使役(hacer+不定詞 notar)v.t 指摘した 「動詞句」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 era エラ 3 単線・時制の一致(èssere)v.i ～である 「動詞」
 la primera ラ・プリメラ n.f 前者、人間 「補語」
 la que ラ・ケ pron.f それを～したのは 「主語」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 había condenado. アビア・コンデナト 3 単線・完了形(condenar)
 v.t 宣告した 「動詞句」

Segunda parte 第2部

そうは言っても、人間の正義では僕の罪を洗い流すことは出来ない、と彼は答えた。

Me contestó que, mientras tanto, esa justicia no había lavado mi pecado.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Me メ pron 僕に

「間接目的語」

contestó コンテスト 3 単点(contestar)v.t 答えた

「動詞」

que, ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

mientras tanto, ミェントラス・タント adv. そうは言っても、だからと言って「副詞句」

esa justicia エサ・フスティシア n.f 人間の正義は

「主語」

no había lavado ノ・ハビアー・ラバド 3 単線・完了形・否定・時制の一致(lavar)

v.t 洗い流さない

「動詞句」

mi pecado. ミ・ペカド n.m 僕の罪を

「目的語」

僕は、何が罪なのか分からないと彼に言った。僕はただ有罪だとだけ知らされた。

Le dije que no sabía qué era un pecado. Se me había hecho saber, solamente, qué era culpable.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 | 「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「主語」

Le レ pron 彼に

「間接目的語」

dije デイヘ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

no sabía ノ・サビアー 1 単線・否定・時制の一致(saber)v.t 分からない

「動詞句」

qué ケ pron 何が～するかということ

「目的語」

era エラ 3 単線・時制の一致(èssere)v.i ～である

「動詞」

un pecado. ウン・ペカド n.m 罪

「補語」

Se ...había hecho saber, セ...アビアー・ヘチョ・サベール 3 単線・完了形・使役(hacer+不定詞 saberse)

v.t 知らされた

「動詞句」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

solamente, ソラメンテ adv. ～だけ

「副詞」

qué ケ pron ～ということが

「主語」

era エラ 1 単線・時制の一致(èssere)v.i ～である

「動詞」

culpable. クルパブレ adj. 有罪の

「補語」

Segunda parte 第2部

僕は有罪だ。自分の罪は償う。誰も僕にこれ以上のことを求めることは出来ない。

Era culpable, pagaba, no se me podía pedir más.

「動詞」「補語」, 「動詞」, 「動詞句」「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」
 Era エラ 1 単線・時制の一致(ser)v.i ~である 「動詞」
 culpable, クルパブレ adj. 有罪の 「補語」
 pagaba, パガバ 1 単線・時制の一致(pagar)v.t を償う、に報いる 「動詞」
 no ...podía pedir ノ・セ・メ・ポデア・ヘ・デアール 1 単現・可能・否定(poder+不定詞 pedir)
 v.t 求めることは出来ない 「動詞句」
 se セ pron 人は 「主語」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 más. マス adv. これ以上 「副詞」

その時、彼がまた立ち上がった。それで僕は、この狭い独房では、たとえやりたくても体を動かせないと思った。出来ることは、座るか立ち上がるかしかないのだ。

En ese momento se levantó de nuevo y pensé que en una celda tan estrecha no podía moverse aunque quisiera. Sólo podía sentarse o levantarse.

「副詞句」「動詞句」「副詞句」 y 「動詞」「目的語」 | 「副詞」「動詞句」 o 「動詞句」
 En ese momento エン・エセ・モメント adv. その時 「副詞句」
 se levantó セ・レバント 3 単点(levantarse)v.pr 立ち上がった 「動詞句」
 de nuevo デ・ヌエボ adv. また 「副詞句」
 y イ conj. そして
 pensé ペンセ 1 単点(pensar)v.t 考えた、思った 「動詞」
 que ケ conj. ~ということ を 「目的語」
 en una celda エン・ウナ・セルダ adv. 独房では 「副詞句」
 tan estrecha タン・エストレチャ adj. ひどく狭い 「形容詞句」
 no podía moverse ノ・ポデア・モヴェルセ 1 単線・可能・否定・時制の一致(poder+不定詞 moverse)
 v.pr 体を動かすことが出来ない 「動詞句」
 aunque quisiera. アウンケ・キシエラ adv. たとえ望んだとしても 「副詞節」
 Sólo ソロ adv. ~だけ 「副詞」
 podía sentarse ポデア・センタルセ 3 単線・可能・時制の一致(poder+不定詞 sentarse)
 v.pr 座れる 「動詞句」
 o オ conj. または
 levantarse. レバンタルセ 3 単線・可能・時制の一致(poder+不定詞 levantarse)
 v.pr 立ち上がる 「動詞句」

Segunda parte 第2部

僕はじっと床を見つめていた。彼は僕に向かって 1 歩進んだが、まるでもう進む気がなくなっただけのように立ち止まった。

Yo tenía los ojos clavados en el suelo. Dio un paso hacia mí y se detuvo, como si no osara avanzar.

「主語」「動詞句」「間接目的語」 | 「動詞」「目的語」「副詞句」 y 「動詞句」「副詞節」
Yo ジョ pron 僕は 「主語」

tenía los ojos clavados テニア・ロス・オホス・クラバトス 1 単線(tener los ojos en)

v.t ~をじっと見つめた 「動詞句」

clavados クラバトス adj(clavado).pl 釘付けの

tener los ojos en... テネル・ロス・オホス・エン 「~をじっと見つめる」

en el suelo. エン・エル・スエロ adv. 床を 「間接目的語」

Dio デイオ 3 単点(dar)v.t 与えた 「動詞」

un paso ウン・パソ n.m 1 歩を 「目的語」

hacia mí アシア・ミ adv. 僕の方へ 「副詞句」

y イ conj. そして

se detuvo, セ・テトウボ 3 単点(detenerse)v.pr 立ち止まった 「動詞句」

como si コモ・シ conj. まるで~のように 「副詞節」

no osara avanzar. ノ・オサラ・アバンサル 接・3 単過・アエテ・否定(osar+不定詞)

v.i 進む気が無い 「動詞句」

僕は鉄格子の隙間から空を見た。「あなたは間違っています、我が子よ」と、彼は言った。
「あなたはそれ以上を求めるかもしれないが、仕方がないのです。それでも、多分あなたは
求めるでしょう」「それでは、何を？」「見る事を求めるでしょう」「何を見ることを？」

Miraba al cielo a través de los barrotes. "Se engaña usted, hijo mío", me dijo, "podrían pedirle más. Se lo pedirían quizá". -"¿Y qué, pues?"- "Podrían pedirle que viera." -"¿Que viera qué?"

「動詞」「間接目的語」「副詞句」

《「動詞句」「主語」「呼びかけ」》, 「間接目的語」「動詞」,

《「動詞句」「副詞」 | 「動詞句」「副詞」》, 《「目的語」「副詞」》

《「動詞句」「目的語」》 | 《「目的語」》

Miraba ミラバ 1 単線(mirar)v.i 視線を向けた、見た 「動詞」

al cielo アル・シエロ adv. 空を 「間接目的語」

a través de ア・トラベ・ステ prep ~を通して、~越しに 「副詞句」

los barrotes. ロス・ハ・ロテス pl(barrote).n.m 鉄柵、鉄格子 「目的語」

"Se engaña セ・エンガニャ 3 単現(engañarse)v.pr 間違えている 「動詞句」

usted, ウステ pron あなたは 「主語」

hijo mío", ヒホ・ミオ n.m 息子よ、我が子よ 「呼びかけ」

Segunda parte 第2部

me メ pron 僕に	「間接目的語」
dijo, ディョ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
"podrían pedirle ポドリアン・ペディル・レ 3 複過未・可能性・結局(poder+不定詞)	
v.t 求めるかもしれない～だが結局	「動詞句」
譲歩 → 求めてもしょうがないだろう	
más. マス adv. それ以上	「副詞」
Se lo pedirían セ・ロ・ペディリアン 3 複過未・推量(pedirse)v.pr 求めるだろう	「動詞句」
quizá". キサ adv. たぶん	「副詞」
"¿Y qué, イ・ケ pron 何を?	「目的語」
pues?" プエス adv. それでは	「副詞」
"Podrían pedirle ポドリアン・ペデル・レ 1 単過未・推量(poder+不定詞)	
v.t 求めるだろう	「動詞句」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
viera." ビエラ 接・1 単過(ver)v.t 見る	「動詞」
"¿Que ケ conj. ～ということを	「目的語」
viera ビエラ 接・1 単過(ver)v.t 見る	「動詞」
qué?" ケ pron 何を	「目的語」

司祭は周囲を見まわしてから、急に完敗したような口調で言った：

<u>El sacerdote miró alrededor y respondió con voz que me pareció súbitamente muy vencida:</u>	「主語」「動詞」「副詞」 y 「動詞」「副詞句」
El sacerdote エル・セルトーテ n.m 司祭は	「主語」
miró ミロ 3 単点(mirar)v.t 見た	「動詞」
alrededor アルデトール adv. 周囲を	「副詞」
y イ conj. そして	
respondió レスポンディョ 3 単点(responder)v.i 答えた	「動詞」
con voz コン・ボス adv. 声で	「副詞句」
que ケ pron.f (主語) ～する	「形容詞節」
me メ pron 僕には「間接目的語」	
pareció パレシオ 3 単点・時制の一致(parecer)v.i ～のように見える	「動詞」
súbitamente スビタメンテ adv. 急に、突然	「副詞」
muy vencida: ムイ・ベンシタ 過去分詞・受動(vencer) adj.f 完敗した	「補語」

Segunda parte 第2部

「私は分かります。これらの石は苦しみで汗をかいている。それを見る度に、胸が痛みます」

"Sé que todas estas piedras sudan dolor. Nunca las he mirado sin angustia.

《「動詞」「目的語」 | 「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞句」》

"Sé セ 1 単現(saber)v.t 分かっている 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

todas estas piedras トダス・エスタス・ピエトラス

pl(piedra).n.f これらの石はすべてが 「主語」

sudan スダン 3 複現(sudar)v.i 汗をかいている 「動詞」

dolor. ドロール n.m (原因) 苦しみで 「副詞」

Nunca ...he mirado ヌンカ...エ・ミラド 1 単現・完了形・否定(mirar)v.t 見たことがない 「動詞句」

las ラス pron.pl それらを 「目的語」

sin angustia. シン・アングスチア adv. 苦悩無しに 「副詞句」

「しかし、心の底から私は分かっています。あなたたちの中で最も哀れな者たちは神の顔が暗闇から現れるのを見ているはずです。あなたは、その顔を見るように求められています」

Pero, desde lo hondo del corazón, sé que los más desdichados de ustedes han visto surgir de su oscuridad un rostro divino. Se le pide a usted que vea ese rostro."

《Pero 「副詞句」, 「動詞」「目的語」

「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「間接目的語」「主語」》

Pero, ペロ conj. しかし

desde デステ prep ～から 「副詞句」

lo hondo ロ・オント n.m 奥底 「目的語」

del corazón, デル・コラソン adj. 心の 「形容詞句」

sé セ 1 単現(saber)v.t 分かっている 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

los más desdichados ロス・マス・デステイチャドス

pl(desdichado).n 最も哀れなものは 「主語」

de ustedes デ・ウスデテス adj. あなた方の 「形容詞句」

han visto アン・ビスト 3 複現・完了形・知覚動詞(ver)

v.t(SV O+不定詞 O が～するのを) 見た 「動詞句」

surgir スルヒール 不定詞・目的語の動作 v.i 現れる 「補語」

de su oscuridad デ・ス・オスクリタダ adv. 暗闇から 「副詞句」

un rostro ウン・ロストロ n.m 顔が 「目的語」

divino. デイビノ adj. 神の 「形容詞」

Se ...pide セ...ピデ 3 単現・再帰受動(pedirse)v.pr ～が求められている 「動詞句」

le レ pron あなたに 「間接目的語」

Segunda parte 第2部

a usted ア・ウステ adv. あなたに	「間接目的語」
que ケ conj. ～ということが	「主語」
vea ベア 接・3 単現(ver)v.t 見る	「動詞」
ese rostro." エ・ロストロ n.m その顔を	「目的語」

僕は少し興奮して言った。何か月もこの壁を見ている。

Me animé un poco. Dije que hacía meses que miraba estas murallas.

「動詞句」「副詞句」 | 「動詞」「目的語」

Me animé メ・アニメ 1 単点(animarse)v.pr 活気づいた、興奮した	「動詞句」
un poco. ウン・ポコ adv. 少し	「副詞句」
Dije ディエ 1 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
hacía meses que アシア・メス・ケ conj. 何か月も～する	「副詞句」
miraba ミラバ 1 単線・時制の一致(mirar)v.t 見ている	「動詞」
estas murallas. エスタス・ムラジャス pl(muralla).n.f この壁を	「目的語」

それより良く知っている物も人もこの世にはない。ずっと以前に、僕はたぶんそこに 1 つの顔を探していた。

No existía en el mundo nada ni nadie que conociera mejor. Quizá, hace mucho tiempo, había buscado allí un rostro.

「動詞句」「副詞句」「主語」 | 「副詞」「動詞句」「副詞」「目的語」

No existía ノ・エキスティア 3 単線・存在・否定・時制の一致(existir)v.i ～はない	「動詞句」
en el mundo エン・エル・ムント adv. この世に	「副詞句」
nada ni nadie ナダ・ニ・ナディエ pron 何もそして誰も～ない	「主語」
que ケ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
conociera コシエラ 接・1 単過・時制の一致(conocer)v.t 知っている	「動詞」
mejor. メホル adv. よりよく	「副詞」
Quizá, キサ adv. おそらく、たぶん	「副詞」
hace mucho tiempo, アセ・ムチョ・ティエンポ adv. ずっと以前に	「副詞句」
había buscado アビ・ア・ブスカド 1 単線・完了形(buscar)v.t 探した	「動詞句」
allí アジ adv. そこに	「副詞」
un rostro. ウン・ロストロ n.m 1 つの顔を	「目的語」

Segunda parte 第2部

しかし、それは太陽の色と欲望の炎に包まれた、マリーの顔だ。

Pero ese rostro tenía el color del sol y la llama del deseo: era el de María.

Pero 「主語」「動詞」「目的語」: 「動詞」「補語」

Pero ペロ conj. しかし

ese rostro エセ・ロストロ n.m その顔は 「主語」

tenía テニア 3 単線(tener)v.t (特徴を) していた 「動詞」

el color del sol エル・コロール・デル・ソル n.m 太陽の色 「目的語」

y イ conj. そして

la llama del deseo: ラ・ジャマ・デル・デセオ n.f 欲望の炎 「目的語」

era エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった 「動詞」

el de María. エル・デ・マリア pron マリーの顔 「補語」

僕はその顔を探したが、無駄だった。今では、それも終わった。そして結局、この石の汗からは何も現れることは無かった。

Lo había buscado en vano. Ahora, se acabó. Y, en todo caso, no había visto surgir nada de este sudor de piedra.

「目的語」「動詞句」「副詞句」 | 「副詞」「動詞句」

Y, 「副詞句」「動詞句」「補語」「目的語」「補語」

Lo ロ pron (rostro の代用) その顔を 「目的語」

había buscado アビア・ブサト 1 単線・完了形(buscar)v.t 探した 「動詞句」

en vano. エン・ヴァノ adv. 空しく 「副詞句」

Ahora, アオラ adv. 今では 「副詞」

se acabó. セ・アカボ 3 単点(acabarse)v.pr 終わった 「動詞句」

Y, イ conj. そして

en todo caso, エン・トト・カソ adv. いずれにしても 「副詞句」

no había visto ノ・アビア・ビスト 1 単線・完了形・否定・知覚動詞(ver)

v.t(SVO+不定詞 O が〜するのを) 見たことが無い 「動詞句」

surgir スルヒール 不定詞・目的語の動作 v.i 現れる 「補語」

nada ナダ pron 何も〜ない 「目的語」

de este sudor デ・エステ・ストール adv. (起点) この汗から 「副詞句」

de piedra. デ・ピエトラ adj. 石の 「形容詞句」

Segunda parte 第2部

司祭は少し悲し気に僕を見つめた。今では、僕は完全に壁に背を向けていた、それで日光が僕の額に射し込んだ。

El capellán me miró con cierta tristeza. Yo estaba ahora completamente pegado a la muralla y el día me corría sobre la frente.

「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」

「主語」「動詞」「補語」 y 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

El capellán エル・カペリャン n.m 司祭は 「主語」
 me メ pron 僕を 「目的語」
 miró ミロ 3 単点(mirar)v.t 見つめた 「動詞」
 con cierta tristeza. コン・シエル・トリステサ adv. いくらか悲し気に 「副詞句」
 Yo ジョ pron 僕は 「主語」
 estaba エスタバ 1 単線・状態(estar)v.i 〜だった 「動詞」
 ahora アオラ adv. 今は 「副詞」
 completamente pegado コンプレタメンテ・ペガド adj. (背中が) 完全にくっついた 「補語」
 a la muralla ア・ラ・ムラジャ adv. 壁に 「副詞句」
 y イ conj. そして
 el día エル・デア n.m 昼間が、日光が 「主語」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 corría コリア 3 単線(correr)v.i (光が) 射し込んだ 「動詞」
 sobre la frente. ソブレ・ラ・フレンテ adv. 額の上に 「間接目的語」

彼は二言三言はなしたが僕には聞こえなかった。それから早口で、僕にキスすることを許してもらえるかと尋ねた。

Dijo algunas palabras que no oí y me preguntó rápidamente si le permitía besarme.

「動詞」「目的語」 y 「間接目的語」「動詞」「副詞」「直接目的語」

Dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 algunas palabras アルグナス・パラブラス pl(palabra).n.f 二言三言 「目的語」
 que ケ pron (目的語) 〜する 「形容詞節」
 no oí ノ・オイ 1 単点・否定(oír)v.t 聞こえなかった 「動詞句」
 y イ conj. そして
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」
 rápidamente ラピダメンテ adv. 早口で 「副詞」
 si シ conj. 〜かどうかということ 「直接目的語」
 le レ pron 彼に 「目的語」
 permitía ヘルミチア 1 単線・時制の一致(permitir)v.t 許す、許可する 「動詞」

Segunda parte 第2部

besarme. ベサル・メ 不定詞・le の動作(besar+me)v.t 僕にキスする 「補語」

「断ります」僕は答えた。彼は向き直り、壁の方へ進んだ。そして壁を手でゆっくり撫でた。

「あなたはそれ程までにこの世を愛しているのですか？」と呟いた。僕は何も答えなかった。

"No", contesté. Se volvió, caminó hacia la pared y la palpó lentamente con la mano. "¿Ama usted esta tierra hasta ese punto?", murmuró. No respondí nada.

《「応答」》, 「動詞」 | 「動詞句」, 「動詞」「間接目的語」 y 「目的語」「動詞」「副詞句」

《「動詞」「主語」「目的語」「副詞句」》, 「動詞」 | 「動詞句」「目的語」

"No", / adv. いや、断る！ 「応答」

contesté. コンステ 1 単点(contestar)v.t 答えた 「動詞」

Se volvió, セボルビョ 3 単点(volverse)v.pr 振り返った、向き直った 「動詞句」

caminó カミノ 3 単点(caminar)v.i 歩いた、向かって行った 「動詞」

hacia la pared アシア・ラ・パレ adv. 壁の方へ 「間接目的語」

y イ conj. そして

la ラ pron (pared の代用) 壁を 「目的語」

palpó パルポ 3 単点(palpar)v.t 触れた、撫でた 「動詞」

lentamente レンタメンテ adv. ゆっくりと 「副詞」

con la mano. コン・ラ・mano adv. 手で 「副詞句」

"¿Ama アマ 3 単現・疑問文(amar)v.t 愛しているのですか？ 「動詞」

usted ウステ pron あなたは 「主語」

esta tierra エスタ・ティエラ n.f この現世を 「目的語」

hasta ese punto?", アスタ・エ・プント adv. (程度) それほどまでに 「副詞句」

murmuró. ムルムロ 3 単点(murmurar)v.i 呟いた 「動詞」

No respondí ノレスポ・ンティ 1 単点・否定(responder)v.t 答えなかった 「動詞句」

nada. ナダ pron 何も～ない 「目的語」

彼はかなり長い時間むこうを向いたままだった。彼の存在がうっとおしくて、苛立った。

Quedó vuelto bastante tiempo. Su presencia me pesaba y me molestaba.

「動詞」「補語」 | 「主語」「間接目的語」「動詞」 y 「目的語」「動詞」

Quedó ケト 3 単点(quedar)v.i ~のままでいた 「動詞」

vuelto ブエルト adj. 振り返った、むこうを向いた 「補語」

bastante tiempo. バスタンテ・ティエンポ adv. かなりの時間 「副詞句」

Su presencia ス・プレシエンシア n.f 彼の存在が 「主語」

me メ pron 僕に 「間接目的語」

pesaba ペサバ 3 単線(pesar)v.i 重くのしかかった 「動詞」

y イ conj. そして

Segunda parte 第2部

me メ pron 僕を

「目的語」

molestaba. モレスタバ 3 単線(molestar)v.t 苛立たせた

「動詞」

彼にもう出て行ってくれ、放っておいてくれと言おうと思っていると、彼は僕の方へ振り向いて突然、はじけた様に言った。「あなたの言っていることは信じられない。あなたも来世を願ったことがあるはずだ」

Iba a decirle que se marchara, que me dejara, cuando gritó de golpe en una especie de estallido, volviéndose hacia mí: "¡No, no puedo creerle! ¡Estoy seguro de que ha llegado usted a desear otra vida!"

「動詞句」「目的語」「副詞節」

Iba a decirle イバ・ア・デシル・レ 1 単線・近接未来(ir a+不定詞 decir+le)

v.t 彼に言うところだった、彼に言おうとしていた

「動詞句」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

se marchara, セ・マルチャラ 接・3 単過・命令(marcharse)

v.pr 立ち去れ、出て行ってくれ

「動詞句」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

me メ pron 僕を

「目的語」

dejara, デハラ 接・3 単過・命令(dejar)v.t 放っておけ

「動詞」

cuando クワント conj. (継続) すると～する

「副詞節」

gritó グリト 3 単点(gritar)v.i 叫んだ

「動詞」

de golpe デ・ゴルペ adv. 突然、急に

「副詞句」

en una especie de estallido, エン・ウナ・エスペシエ・デ・エスタジト

adv. (様態) ある種の破裂音の様に

「副詞句」

una especie de 「～の一種、一種の～」 estallido エスタジト n.m 破裂、破裂音
volviéndose ボルビエントセ 現在分詞・同時(volverse)adv. 振り向きながら

「副詞句」

hacia mí: アシア・ミ adv. 僕に向かって

「副詞句」

"¡No, no puedo creerle! ノ・ノ・ポエト・クレル・レ 1 単現・可能・否定(poder+不定詞 creer+le)

v.t あなたの言っていることは信じられない

「応答」

¡Estoy エストイ 1 単現(estar)v.i ～である

「動詞」

seguro セグロ adj.(de を) 確信している

「補語」

de que デ・ケ adv. ～について

「副詞節」

ha llegado ...a desear ア・シエガト ...ア・デセアル 3 単現・完了形・結果(llegar a+不定詞)

v.t 願うまでに至った

「動詞句」

usted ウステ pron あなたは

「主語」

otra vida! オトラ・ビダ n.f (宗教) 来世を

「目的語」

来世(らいせ)

死後の世界。死んだ後に行く生活の場。

Segunda parte 第2部

僕は答えた。もちろん願ったことはある、しかしそれは金持ちになりたいとか、早く泳ぎたいとか、口の形が整っていれば嬉しいと願うことと大差はない。

Le contesté que naturalmente era así, pero no tenía más importancia que desear ser rico, nadar muy rápido, o tener una boca mejor hecha. 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
 Le レ pron 彼に 「間接目的語」
 contesté コンテスト 1 単点(contestar)v.t 答えた 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 naturalmente ナチュラルメンテ adv. もちろん 「副詞」
 era エラ 1 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」
 así, アシ adv. そうような 「補語」
 pero ペロ conj. しかし
 no tenía ノ・テナ 3 単線・否定(tener)v.t ～がない 「動詞句」
 más importancia マス・インポルタンシア n.f あまり重要性が～ない 「目的語」
 → 大した違いがない
 que ケ conj. (比較) ～に比べて、～よりも 「副詞句」
 desear デセアル 不定詞 n. 望むこと 「目的語」
 ser セル 不定詞 v.i ～になる 「動詞」
 rico, リコ adj. 金持ちの 「補語」
 nadar ナダル 不定詞 v.i 泳ぐ 「動詞」
 muy rápido, ムイ・ラピド adv. とても速く 「副詞句」
 o オ conj. または
 tener テネル 不定詞・身体的特徴 v.t ～である 「動詞」
 una boca ウナ・ボカ n.f 口 「目的語」
 mejor hecha. メホル・エチャ adj. よく整った 「形容詞句」

それは同じ次元の話だ。彼は僕の話の遮って、僕が来世をどう見ているのか知りたがった。

Era del mismo orden. Me interrumpió y quiso saber cómo veía yo esa otra vida.
 「動詞」「補語」 | 「目的語」「動詞」 y 「動詞句」「目的語」
 Era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」
 del mismo orden. デル・ミスモ・オルデン adj. 同じ次元の 「補語」
 orden オルデン n.m 序列、次数、次元(dimension)
 Me メ pron 僕を 「目的語」
 interrumpió インテルピオ 3 単点(interrumpir)v.t ～の話を遮った 「動詞」
 y イ conj. そして
 quiso saber キソ・サベル 3 単点・願望(querer+不定詞 saber)v.t 知りたがった 「動詞句」

Segunda parte 第2部

cómo コモ conj. どのように～するかを 「目的語」
 veía ベイア 1 単線・時制の一致(ver)v.t 見ている 「動詞」
 yo ジョ pron 僕は 「主語」
 esa otra vida. エサ・オトラ・ビダ n.f その来世を 「目的語」

それで、彼に大声で言った：「今の世界を覚えていられるような世界ですよ」そしてすぐ彼に言った「もう沢山だ！」

Entonces, le grité: "¡Una vida en la que pudiera recordar ésta!", e inmediatamente le dije que era suficiente. 「副詞」「間接目的語」「動詞」「主語」:

《「主語」》, e 「副詞」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Entonces, エントネセス adv. それで 「副詞」
 le レ pron 彼に 「間接目的語」
 grité: グリテ 1 単点(gritar)v.i 大声で言った、叫んだ 「動詞」
 "¡Una vida ウナ・ビダ n.f 生活の世界 「主語」
 en la que エン・ラ・ケ adv. そこで～する 「形容詞節」
 pudiera recordar プデイエラ・レコルダール 接・1 単過・可能(poder+不定詞 recordar)
 v.t 覚えていられるような 「動詞句」
 ésta!", エスタ pron.f 今のこの世界を 「目的語」
 e エ conj. そして
 inmediatamente インメディアタメンテ adv. すぐに 「副詞」
 le レ pron 彼に 「間接目的語」
 dije デイヘ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」
 suficiente. スフィシエンテ adj. 十分の 「補語」

彼はまださらに僕に神について話そうとしたが、僕は彼のほうへ進み出て、僕にはもう時間がないと、最後に彼に言おうとした。

Quería aún hablarme de Dios, pero me adelanté hacia él y traté de explicarle por última vez que me quedaba poco tiempo.

「動詞句」「間接目的語」, pero 「動詞句」「副詞句」 y 「副詞句」「動詞句」「目的語」

Quería aún hablarme クエア・アウン・アブラール・メ 3 単線・願望(querer+不定詞 hablar+me)

v.i(de について) まださらに僕に話そうとした 「動詞句」
 de Dios, デ・ディオス adv. 神について 「間接目的語」
 pero ペロ conj. しかし
 me adelanté メ・アデランテ 1 単点(adelantarse)v.pr 前に進んだ 「動詞句」

Segunda parte 第2部

hacia él アシア・エル adv. 彼のほうへ 「副詞句」
 y イ conj. そして
 traté de explicarle トラテ・デ・エクスプリカル・レ 1 単点・試行(tratar de+不定詞 explicar+le)
 v.t 彼に説明しようとした 「動詞句」
 por última vez ポル・ウルチマ・ベス adv. 最後に 「副詞句」
 que ケ conj. ～ということ を 「目的語」
 me メ pron 僕にとって、僕には 「間接目的語」
 quedaba クタバ 3 単線・時制の一致(quedar)v.i 残っている 「動詞」
 poco tiempo. ポコ・ティエンポ n.m 時間が～ない 「主語」

僕は神のことで時間を無駄にしたくなかった。すると彼は、どうして僕は神のことを「父」と呼ばずに「あの人」と呼ぶのかと言って、話題を変えようとした。

No quería perderlo con Dios. Ensayó cambiar de tema preguntándome por qué le llamaba "señor" y no "padre". 「動詞句」「副詞句」 | 「動詞句」「間接目的語」「副詞句」

No quería perderlo ノ・クリア・ペルデーロ 1 単線・願望・否定(querer+不定詞 perder+lo)
 v.t 時間を無駄にしたくなかった 「動詞句」
 perder ペルデーロ v.t (時間を) 無駄にする lo ロ pron (tiempo の代用) 時間を
 con Dios. コン・ディオス adv. 神のことで 「副詞句」
 Ensayó cambiar エンサヨ・カンビアル 3 単点・試行(ensayar a+不定詞 cambiar)
 v.i (de+無冠詞名詞 を) 変えようとした 「動詞句」
 ensayar 不定詞 の様に「a」が省略されることがある
 de tema デ・テマ adv. 話題を 「間接目的語」
 preguntándome プレグンタント・メ 現在分詞・手段(preguntar+me)adv. 僕に質問して「副詞句」
 por qué ポル・ケ conj. どうして～かということ を 「目的語」
 le レ 神を 「目的語」
 llamaba ジャマバ 1 単線・時制の一致(llamar)v.t 呼ぶ 「動詞」
 "señor" セニョール n.m あの人 「目的語」
 y イ conj. そして
 no "padre". ノ・パドレ n.m 父ではなく 「目的語」

Segunda parte 第2部

これを聞いて僕は腹が立って、彼は僕の父親ではない、彼は僕の反対側にいると答えた。

Esto me irritó y le contesté que no era mi padre: que él estaba con los otros.

「主語」「目的語」「動詞」 y 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Esto エスト pron これは 「主語」
 me メ pron 僕を 「目的語」
 irritó イルト 3 単点(irritar)v.t 苛立たせた 「動詞」
 y イ conj. そして
 le レ pron 彼に 「間接目的語」
 contesté コンテステ 1 単点(contestar)v.t 答えた 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 no era ノ・エラ 3 単線・否定・時制の一致(ser)v.i ～でない 「動詞句」
 mi padre: ミ・パドレ n.m 僕の父親 「補語」
 que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
 él エル pron 彼は 「主語」
 estaba エスタバ 3 単線・存在・時制の一致(estar)v.i ～にいる 「動詞」
 con los otros. コン・ロス・オロス adv. 僕と反対側の人と一緒に 「副詞句」

「それは違います。我が子よ」と、僕の肩に手を置いて言った。「私はあなたと共にいます。ですが、あなたの心の目が塞がっているので気付かないのです。あなたのために祈ります」

"No, hijo mío", dijo poniéndome la mano sobre el hombro. "Estoy con usted. Pero no puede darse cuenta porque tiene el corazón ciego. Rogaré por usted."

《「応答」》, 「動詞」「副詞句」,

《「動詞」「副詞句」 | Pero 「動詞句」「副詞節」 | 「動詞」「副詞句」》

"No, hijo mío", ノ・イェ・ミョ adv. いいえ、我が子よ 「応答」
 dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 poniéndome ポニエント・メ 現在分詞・同時(poner+me)adv. 私の～に置きながら 「副詞句」
 la mano ラ・マノ n.f 手を 「目的語」
 sobre el hombro. ソブレ・エル・オンブロ adv. 肩の上に 「副詞句」
 "Estoy エストイ 1 単現・存在(estar)v.i いる 「動詞」
 con usted. コン・ウステ adv. あなたと共に 「副詞句」
 Pero ペロ conj. しかし
 no puede darse cuenta ノ・プ・エテ・ダレ・クエンタ 3 単現・可能・気づく・否定
 v.pr 気付くことが出来ない 「動詞句」
 porque ボルケ conj. (理由) ～だから 「副詞節」
 tiene ティエネ 3 単現(tener)v.t (身体的特徴を) している 「動詞」
 el corazón エル・コラソン n.m 心 「補語」

Segunda parte 第2部

ciego. シエゴ adj. 目の見えない

「形容詞」

Rogaré カレ 1 単未・意思(rogar)v.i 祈ります

「動詞」

por usted." ポル・ウステ adv. あなたのために

「副詞句」

その時、なぜか分からないが、何かが僕の内部で壊れた。僕は張り裂けんばかりの声で叫び、
彼をののしり、祈るなど怒鳴った。

Entonces, no sé por qué, algo se rompió dentro de mí. Me puse a gritar a voz en cuello y le insulté y le dije que no rogara.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」

「動詞句」「副詞句」 y 「目的語」「動詞」 y 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Entonces, エントンス adv. その時

「副詞」

no sé ノセ 1 単現・否定(saber)v.t 分からない

「動詞句」

por qué, ポル・ケ adv. (理由) なぜか

「副詞句」

algo アルコ pron 何かが

「主語」

se rompió セ・ロンピオ 3 単点(romperse)v.pr 壊れた

「動詞句」

dentro de mí. テントロ・デ・ミ adv. 私の内部で

「副詞句」

Me puse a gritar メ・プセ・ア・グリタル 1 単点・開始(ponerse a+不定詞 gritar)

v.pr 叫び始めた

「動詞句」

a voz en cuello ア・ボス・エン・ケジョ adv. 張り裂けんばかりの声で

「副詞句」

a voz en grito も同じ意味で使われる

y イ conj. そして

le レ pron 彼を

「目的語」

insulté インスレ 1 単点(insultar)v.t 罵った、侮辱した

「動詞」

y イ conj. そして

le レ pron 彼に

「間接目的語」

dije ディエ 1 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

no rogara ノ・カラ 接・3 単過・禁止(rogarar)v.t 祈るな

「動詞句」

この後ろに、意味不明の文が続いていた

y que más le valía arder que desaparecer.

Segunda parte 第2部

僕は彼の僧服の襟あたりをつかんだ。彼に対して、喜びと怒りがごちゃ混ぜになった異常な精神状態で、僕の心の底の全てをぶちまけた。

Le había tomado por el cuello de la sotana. Vaciaba sobre él todo el fondo de mi corazón con impulsos en que se mezclaban el gozo y la cólera.

「間接目的語」「動詞句」「間接目的語」 | 「動詞」「副詞句」「目的語」「副詞句」
 Le レ pron 彼の 「間接目的語」
 había tomado アビ・ア・トマト 1 単線・完了形(tomar)v.t つかんだ 「動詞句」
 por el cuello ポル・エル・クェシヨ adv. (付近) えりあたりを 「間接目的語」
 de la sotana. デ・ラ・ソタナ adj. 僧服の 「形容詞句」
 Vaciaba バシアバ 1 単線(vaciar)v.t 空にした 「動詞」
 sobre él ソブレ・エル adv. (攻撃) 彼に対して 「副詞句」
 todo el fondo de mi corazón トト・エル・フォント・デ・ミ・コラソ
 n.m 僕の心の奥の全てを 「目的語」
 con impulsos コン・インプルソス adv. (不随) 推進力で 「副詞句」
 en que エン・ケ conj. (様態) ～する 「形容詞節」
 se mezclaban セ・メス克拉バン 3 複線・時制の一致(mezclarse)
 v.pr 混ざり合っている 「動詞句」
 el gozo エル・ゴゾ n.m 喜びが 「主語」
 y イ conj. そして
 la cólera. ラ・コレラ n.f 怒りが 「主語」

彼は確信に溢れているように見える、そうじゃないか？しかし、彼の確信など、女の髪の毛1本の価値も無い。

Parecía estar tan seguro, ¿no es cierto? Sin embargo, ninguna de sus certezas valía lo que un cabello de mujer.

「動詞」「補語」, 「動詞」「補語」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」
 Parecía パレシア 3 単線・時制の一致(parecer)v.i ～に見える 「動詞」
 estar エスター 不定詞 v.i ～である 「補語」
 tan seguro, タン・セグロ adj. 非常に確信がある 「補語」
 ¿no es ノ・エス 3 単現(ser)v.i ～でない 「動詞」
 cierto? シエルト adj. 確かな 「補語」
 Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. しかし、とはいえ 「副詞句」
 ninguna de sus certezas ニングナ・デ・ス・セルテサス pron.f 彼の確信のどれも～ない 「主語」
 valía バリア 3 単線・時制の一致(valer)v.i 価値がない 「動詞」
 lo que ロ・ケ adv. (比較) それよりも 「副詞句」
 un cabello de mujer. ウン・カベジョ・デ・ムヘール n.m 女の髪の毛1本 「目的語」

Segunda parte 第2部

彼は死人のように暮らしているから、自分が生きていることさえ確信が無いのだ。僕は何も持っていないと思う。

Ni siquiera estaba seguro de estar vivo, puesto que vivía como un muerto. Me parecía tener las manos vacías.

「副詞句」「動詞」「補語」, 「副詞節」 | 「間接目的語」「動詞」「主語」

Ni siquiera ニ・シキエラ adv. (否定の強調) ~さえない 「副詞句」
 estaba エスタハ 3 単線・時制の一致(estar)v.i ~である 「動詞」
 seguro セグロ adj.(de ~に) 確信がある 「補語」
 de estar デ・エスタール 不定詞 adv. ~であることについて 「副詞句」
 vivo, ビボ adj. 生きている 「補語」
 puesto que +直説法 プ・エスト・ケ conj. (理由) ~なのだから 「副詞節」
 vivía ビビア 3 単線・時制の一致(vivir)v.i 暮らしている 「動詞」
 como un muerto. コモ・ウン・ムエルト adv. 死人のように 「副詞句」
 Me メ pron 僕には 「間接目的語」
 parecía パレシア 3 単線・時制の一致(parecer)v.i ~に思われる 「動詞」
 tener テネル 不定詞 n. 持っていることが 「主語」
 las manos ラス・マノス pl(mano).n.f 手を 「目的語」
 vacías. バシアス adj(vacío).f.pl 空の 「形容詞」

しかし、僕は自分のことを確信している。全てを確信している。彼よりずっと確信している。僕の人生とやがて訪れる死について確信している。

Pero estaba seguro de mí, seguro de todo, más seguro que él, seguro de mi vida y de esta muerte que iba a llegar.

Pero 「動詞」「補語」

Pero ペロ conj. しかし
 estaba エスタハ 1 単線・時制の一致(estar)v.i ~である 「動詞」
 seguro de mí, セグロ・デ・ミ adj. 自分のことを確信した 「補語」
 seguro de todo, セグロ・デ・トド adj. 全てを確信した 「補語」
 más seguro マス・セグロ adj. もっと確信した 「補語」
 que él, ケ・エル conj. (比較) 彼よりも 「副詞句」
 seguro セグロ adj. 確信した 「補語」
 de mi vida デ・ミ・ビダ adv. 僕の人生について 「副詞句」
 y イ conj. そして
 de esta muerte デ・エスタ・ムエルテ adv. この死について 「副詞句」
 que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 iba a llegar. イバ・ア・ジエガール 3 単線・近接未来・時制の一致(ir a+不定詞 llegar)

Segunda parte 第2部

v.i やがて訪れる

「動詞句」

そうだ。僕にはこれしかない。しかし、少なくとも、僕はこの真理を所有する。真理もまた僕を所有しているように。

Sí, no tenía más que esto. Pero, por lo menos, poseía esta verdad, tanto como ella me poseía a mí.

「肯定」「動詞句」「目的語」

Pero 「副詞句」「動詞」「目的語」, 「副詞句」「主語」「目的語」「動詞」「目的語」
 Sí, シ adv. そうだ 「肯定」
 no tenía ノ・テニア 1 単線・否定・時制の一致(tener)v.t. ～がない 「動詞句」
 más que esto. マス・ケ・エスト pron. これ以上の物は、これしか 「目的語」
 Pero, ペロ conj. しかし
 por lo menos, ポル・ロ・メノス adv.(al menos) 少なくとも 「副詞句」
 poseía ポセア 1 単線・時制の一致(poseer) 所有する 「動詞」
 esta verdad, エスタ・ベルダ n.f. この真理を 「目的語」
 tanto como タント・コモ conj. ～と同様に 「副詞句」
 ella エジャ pron (verdad の代用) それが 「主語」
 me メ pron 僕を 「目的語」
 poseía ポセア 3 単線・時制の一致(poseer)v.t. 所有する 「動詞」
 a mí. ア・ミ pron 僕を 「目的語」

僕は正しかった。僕は今でも正しい。僕はいつだって正しい。

Yo había tenido razón, tenía todavía razón, tenía siempre razón.

「主語」「動詞句」「目的語」, 「動詞」「副詞」「目的語」, 「動詞」「副詞」「目的語」
 Yo ジョ pron 僕は 「主語」
 había tenido アビア・テニト 1 単線・完了形(tener)v.t. ～があつた 「動詞句」
 razón, ラソン n.f. 道理 「目的語」
 tenía テニア 1 単線・時制の一致(tener)v.t. ～がある 「動詞」
 todavía トダビア adv. 今でも 「副詞」
 razón, ラソン n.f. 道理 「目的語」
 tenía テニア 1 単線・時制の一致(tener)v.t. ～がある 「動詞」
 siempre シエンプレ adv. いつでも 「副詞」
 razón. ラソン n.f. 道理 「目的語」

Segunda parte 第2部

僕はこんな生き方をしてきたが、別の生き方だって出来ただろう。僕はこれをやったが、あれはやらなかった。

Había vivido de tal manera y hubiera podido vivir de tal otra. Había hecho esto y no había hecho aquello.

「動詞句」「副詞句」 y 「動詞」「副詞句」 | 「動詞句」「目的語」 y 「動詞句」「目的語」
 Había vivido アビ・ア・ビ・ビト 1 単線・完了形(vivir)v.i 生きてきた 「動詞句」
 de tal manera テ・タル・マネラ adv. (手段) こんな風に 「副詞句」
 y イ conj. そして
 hubiera podido vivir ウビ・エラ・ポ・デ・イト・ビ・ビール 接・1 単過・完了形・可能(poder+不定詞)
 v.i 生きることができただろう 「動詞句」
 de tal otra. テ・タル・オトラ adv. (手段) 違う風に 「副詞句」
 Había hecho アビ・ア・エ・チョ 1 単線・完了形(hacer)v.t (事を) やった 「動詞句」
 esto エスト pron これを 「目的語」
 y イ conj. そして
 no había hecho ノ・アビ・ア・エ・チョ 1 単線・完了形・否定(hacer)v.t (事を) やらなかった 「動詞句」
 aquello. アケジョ pron あれを 「目的語」

僕はこんなことはやらなかったが、別のこれはやった。

No había hecho tal cosa en tanto que había hecho esta otra.

「動詞句」「目的語」「副詞節」
 No había hecho ノ・アビ・ア・エ・チョ 1 単線・完了形・否定(hacer)v.t (事を) やらなかった 「動詞句」
 tal cosa タル・コサ n.f こんなことを 「目的語」
 en tanto que エン・タント・ケ conj. (+直説法) だが一方では 「副詞節」
 había hecho アビ・ア・エ・チョ 1 単線・完了形(hacer)v.t (事を) やった 「動詞句」
 esta otra. エスタ・オトラ pron 別のこれを 「目的語」

Segunda parte 第2部

で、それからどうなったというのか？ここにいる間中、僕は無罪となるその時を、その夜明けの瞬間を待ち続けていたようなものだ。

¿Y después? Era como si durante toda la vida hubiese esperado este minuto... y esta brevísima alba en la que quedaría justificado. 「自問」 | 「動詞」「補語」

¿Y después? イ・デスプ°エス adv. で、それから？（どうなった） 「自問」

Era エラ 1 単線・時制の一致(ser)v.i ~である 「動詞」

como si コモ・シ conj. まるで～のような 「補語」

durante toda la vida ト°カンテ・トタ°・ラ°ビタ° adv. ここでの生活の間 「副詞句」

hubiese esperado ウヒ°エ°エパ°ラト° 接・1 単過・完了形(esperar) v.t 待っていた 「動詞句」

este minuto... エステ°ミヌト n.m その時を 「目的語」

y イ conj. そして

esta brevísima alba エスタ°ブレビ°シマ°アルバ° n.f この短い夜明けを 「目的語」

en la que エン°ラ°ケ conj. その中で～する 「副詞節」

quedaría クダ°リア 1 単過未・推量(quedar)

v.i(+過去分詞) ~になるだろう 「動詞」

justificado. フスティフィカト° adj. 正当な、無罪の 「補語」

重要なことは何もない。そして僕はその理由を知っている。彼だって知っているはずだ。

Nada, nada tenía importancia, y yo sabía bien por qué. También él sabía por qué.

「主語」「動詞」「目的語」, y 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」

「主語」「動詞」「目的語」

Nada, ナダ° pron 何も～ない 「主語」

nada ナダ° pron 何も～ない 「主語」

tenía テニア 3 単線・時制の一致(tener)v.t ~がない 「動詞」

importancia, インポ°ルタンシア n.f 重要性が 「目的語」

y イ conj. そして

yo ジョ pron 僕は 「主語」

sabía サビア 1 単線・時制の一致(saber)v.t 知っている 「動詞」

bien ビエン adv. よく 「副詞」

por qué. ポ°ル°ケ pron 理由、なぜ 「目的語」

También タンビエン adv. ～も 「副詞」

él エル pron 彼は 「主語」

sabía サビア 3 単線・時制の一致(saber)v.t 知っている 「動詞」

por qué. ポ°ル°ケ pron 理由、なぜ 「目的語」

Segunda parte 第2部

僕の未来の奥から、僕がこの不条理な人生を耐え忍んできた間ずっと、まだ来ていない年月を越えて、僕に向かって暗い息吹が湧きあがって来た。そしてこの息吹が、僕が生きているあまり素晴らしいとは言えない年月に僕に差し出された全てのものを同等にした。

Desde lo hondo de mi porvenir, durante toda esta vida absurda que había llevado, subía hacia mí un soplo oscuro a través de los años que aún no habían llegado, y este soplo igualaba a su paso todo lo que me proponían entonces. en los años no más reales que los que estaba viviendo.

「副詞句」, 「動詞」 「副詞句」 「主語」 「副詞句」,

y 「主語」 「動詞」 「間接目的語」 「直接目的語」

Desde デステ prep (場所・起点) 〜から

「副詞句」

lo hondo ロ・オント n.n 奥

「目的語」

lo+形容詞・過去分詞の形で名詞化する

de mi porvenir, デ・ミ・ポルベニール adj. 僕の未来の

「形容詞句」

durante ドゥランテ prep (継続) 〜の間ずっと

「副詞句」

toda esta vida トダ・エスタ・ビダ n.f この全人生

「目的語」

absurda アブスルダ adj(absurdo).f 不条理な

「形容詞」

que ケ pron (目的語) 〜する

「形容詞節」

había llevado, アビ・ア・ジェハト 1 単線・完了形(llevar)

v.t 耐え忍んできた

「動詞句」

subía スビ・ア 3 単線(subir)v.i 上がってきた

「動詞」

hacia mí アシア・ミ adv. 僕の方へ、僕に向かって

「副詞句」

un soplo ウン・ソフ ロ n.m 一吹きが、息吹が

「主語」

oscuro オスクロ adj. 暗い

「形容詞」

a través de ア・トラベ・ス・テ adv. (時間) 〜を越えて

「副詞句」

los años ロス・アニョス pl(año).n.m 年月

「目的語」

que ケ pron.pl (主語) 〜する

「形容詞節」

aún アウン adv. まだ〜ない

「副詞句」

no habían llegado, ノ・アビ・アン・ジェガト 3 複線・完了形・否定・時制の一致(llegar)

v.i 着いていない

「動詞句」

y イ conj. そして

este soplo エステ・ソフ ロ n.m この息吹が

「主語」

igualaba イグアラバ 3 単線(igualar)v.t (a と) ならした、同じにした

「動詞」

a su paso ア・ス・パソ adv. その歩みに

「間接目的語」

todo lo que トト・ロ・ケ pron (直接目的語) 〜する全てを

「直接目的語」

me メ pron 僕に

「間接目的語」

proponían プロポニアン 3 複線(proponer)v.t 提出した、差し出した

「動詞」

entonces, エントンス adv. その時

「副詞」

Segunda parte 第2部

en los años エン・ロス・アニョス adv. その年月において 「副詞句」
 no más reales ノ・マス・レアレス adj. あまり素晴らしくない 「形容詞句」
 que ケ conj. (比較) ～よりも 「副詞句」
 los que ロス・ケ pron.pl ～する物 「目的語」
 estaba viviendo. エスタバ・ビビエント 1 単線・進行形・時制の一致(vivir)
 v.i 生きている 「動詞句」

他人の死だろうが、母親の愛だろうが、僕にとって重要だということのか？

¡Qué me importaban la muerte de los otros, el amor de una madre!

「感嘆」「間接目的語」「動詞」「主語」
 ¡Qué ケ pron ～ということのか？ 「感嘆」
 me メ pron 僕にとって 「間接目的語」
 importaban インポルタバシ 3 複線・時制の一致(importar)v.i 重要である 「動詞」
 la muerte de los otros, ラ・ムエルテ・デ・ロス・オトロス n.f 他人の死が 「主語」
 el amor de una madre! エル・アモール・デ・ウナ・マドレ n.m 母親の愛が 「主語」
 僕にとって重要だということのか？ → それで、どうだと言うんだ？

彼の神や、人の生き方や、人の運命が僕にとって重要だということのか！たった一つの運命が僕を、そして僕と一緒に彼と同様に僕の兄弟と呼ばれている何千人の特権者を選ばなければならぬとすれば。

¡Qué me importaban su Dios, las vidas que uno elige, los destinos que uno escoge, desde que un único destino debía de escogermé a mí y conmigo a millares de privilegiados que, como él, se decían hermanos míos!

「感嘆」「間接目的語」「動詞」「主語」, 「副詞節」
 ¡Qué ケ pron ～ということのか？ 「感嘆」
 me メ pron 僕にとって 「間接目的語」
 importaban インポルタバシ 3 複線・時制の一致(importar)v.i 重要である 「動詞」
 su Dios, ス・ディオス n.m 彼の神が 「主語」
 las vidas ラス・ビダス pl(vida).n.f 生き方が 「主語」
 que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 uno ウノ pron 人が 「主語」
 elige, エリヘ 3 単現(elegir)v.t 選ぶ 「動詞」
 los destinos ロス・デスティノス pl(destino).n.m 運命が 「主語」
 que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 uno ウノ pron 人が 「主語」
 escoge, エスコヘ 3 単現(escoger)v.t 選ぶ 「動詞」
 desde que デステ・ケ conj. (時間・条件) ～して以来 「副詞節」

Segunda parte 第2部

un único destino ウン・ウニコ・デ・スチノ	n.m	たった一つの運命が	「主語」
debía de escogerme a mí デ・ビ・ア・デ・エスコヘル・メ・ア・ミ			
3 単線・推定(deber de+不定詞 escoger+me)			
v.t		僕を選ばなければならない	「動詞句」
y イ conj.		そして	
conmigo コン・ミゴ	adv.	僕と一緒に	「副詞」
a millares de privilegiados ア・ミジャレス・デ・プリビレヒアトス			
adv.		何千人の特権者を	「間接目的語」
que, ケ	pron.pl	(主語) ~する	「形容詞節」
como él, コモ・エル	adv.	彼のように	「副詞句」
se decían セ・デシアン	3 複線・再帰受動・時制の一致(decirse)		
v.pr		言われている	「動詞句」
hermanos míos! エルマノス・ミオス			
pl(hermano).n.m		僕の兄弟	「補語」

彼は分かっているのか？本当に、分かっているのか？誰にでも特権がある。いや、特権者しかいない。他の者たちもいつか死刑を宣告されるだろう。

¿Comprendía, comprendía pues? Todo el mundo era privilegiado. No había más que privilegiados. También a los otros los condenarían un día.

「動詞」「動詞」「副詞」 | 「主語」「動詞」「補語」 | 「動詞句」「目的語」
「副詞」「間接目的語」「動詞」「副詞句」

¿Comprendía, コンプレンデ・ア	3 単線・疑問文(comprender)v.t	分かっているのか？	「動詞」
comprendía コンプレンデ・ア	3 単線・疑問文(comprender)v.t	分かっているのか？	「動詞」
pues? プエス	adv.	それで、それならば	「副詞」
Todo el mundo トド・エル・ムント	pron (単数)	みんなは	「主語」
		話し手や聞き手は含まないことが多い	
era エラ	3 単線・時制の一致(ser)v.i	~である	「動詞」
privilegiado. プリビレヒアト	adj.	特権を受けた	「補語」
No había ノ・アビ・ア	3 単線・否定・存在・時制の一致(haber)v.i	いない	「動詞句」
más que privilegiados. マス・ケ・プリビレヒアトス	pl(privilegiado).n.m	特権者しか	「目的語」
no hay más que...		「~しかいない」	
También タンビエン	adv.	同様に	「副詞」
a los otros ア・ロス・オトス	adv.	他の者たちに	「間接目的語」
los ロス	pron.pl	特権者たちは	「間接目的語」
		スペインでは lo / los の代わりに le / les を使うことが多い。	
condenarían コンテナリアン	3 複過未・推量(condenar)v.t	刑を宣告するだろう	「動詞」

Segunda parte 第2部

受動態に翻訳する

un día. ウン・ディア n.m いつか

「副詞句」

彼も同様に死刑を宣告されるだろう。彼が殺人で告発され、母親の葬儀で泣かなかったという理由で死刑を宣告されたとしたら、本当に重要だと言うのか？

También a él lo condenarían. ¿Qué importaba si acusado de una muerte lo ejecutaban por no haber llorado en el entierro de su madre?

「副詞」「間接目的語」「動詞」 | 「感嘆」「動詞」「副詞節」

También タンビエン adv. 同様に

「副詞」

a él lo ア・エル・ロ adv. 彼に

「間接目的語」

condenarían. コンデナリアン 3 複過未・推量(condenar)v.t 刑を宣告するだろう

「動詞」

受動態に翻訳する

¿Qué ケ pron ~だと言うのか

「感嘆」

importaba インポルタバ 3 単線・疑問文・時制の一致(importar)v.i 重要である

「動詞」

si シ conj. もし~するならば

「副詞節」

acusado アカサド 過去分詞・受動・条件(acusar)adv. 告発された

「副詞句」

de una muerte デ・ウナ・ムエルテ adv. (理由) 殺人で

「副詞句」

lo ロ pron 彼を

「目的語」

スペインでは lo / los の代わりに le / les を使うことが多い。

ejecutaban エヘクタバン 3 複線・時制の一致(ejecutar)v.t 死刑を執行する

「動詞」

受動態に翻訳する

por + 不定詞 ホル 不定詞・原因 adv. ~するために

「副詞句」

no haber llorado ノ・アバー・ル・ジヨラド 不定詞・完了形

v.i 泣かなかった

「動詞句」

en el entierro エン・エル・エンチエロ adv. 葬儀で

「副詞句」

de su madre? デ・スマドレ adj. 母親の

「形容詞句」

サラマノの犬は彼の妻と同じ価値がある。

El perro de Salamano valía tanto como su mujer.

「主語」「動詞」「副詞句」

El perro エル・ペロ n.m 犬は

「主語」

de Salamano デ・サラマノ adj. サラマノの

「形容詞句」

valía バリア 3 単線・時制の一致(valer)v.i (+副詞 の) 価値がある

「動詞」

tanto como タント・コモ conj. ~と同様に

「副詞句」

su mujer. ス・ムヘル n.f 彼の妻

「目的語」

Segunda parte 第2部

あの機械仕掛けの小柄な女は、マソンと結婚したあのパリっ子や僕と結婚したがついていたマリーと同様に有罪だ。

La mujercita automática era tan culpable como la parisiense que se había casado con Masson, o como María, que había deseado casarse conmigo. 「主語」「動詞」「補語」

La mujercita ラ・ムヘルタ n.f あの小柄な女は 「主語」

automática アウトマタ n.m 機械仕掛けの、自動人形の 「形容詞」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i 〜である 「動詞」

tan culpable タン・クルパブレ adj. 同様に有罪の 「補語」

como コモ conj. 〜と同様に 「副詞句」

la parisiense ラ・パリジエンセ n.f パリっ子 「目的語」

que ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」

se había casado セ・アビ・ア・カト 3 単線・完了形(casarse)

v.pr 結婚した 「動詞句」

con Masson, コン・マソン adv. マソンと 「副詞句」

o オ conj. または

como コモ conj. 〜と同様に 「副詞句」

María, マリア n.f マリー 「目的語」

que ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」

había deseado casarse アビ・ア・デセアト・カサセ 3 単線・完了形・願望(desear+不定詞)

v.pr 結婚したいと思っていた 「動詞句」

conmigo. コンミゴ adv. 僕と 「副詞句」

レーモンが彼よりも有能なセレステと同様に僕の友人だからと言って、それがどうした？ 今日、マリーが新しいムルソーに唇を与えたとしても、それがどうした？

¿Qué importaba que Raimundo fuese compañero mío tanto como Celeste, que valía más que él? ¿Qué importaba que María diese hoy su boca a un nuevo Meursault?

「感嘆」「動詞」「主語」 | 「感嘆」「動詞」「主語」

¿Qué ケ pron 〜というのか? 「感嘆」

importaba インポルタバ 3 単線・疑問文(importar)v.i 重要である 「動詞」

que ケ conj. 〜ということは 「主語」

Raimundo ライムント n.m レーモンが 「主語」

fuese フェセ 接・3 単過(ser)v.i 〜だった 「動詞」

compañero mío コンパニエロ・ミオ n.m 僕の友人、仲間 「補語」

tanto como Celeste, タント・コモ・セステ adv. セレステと同様に 「副詞句」

que ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」

valía バリア 3 単線・時制の一致(valer)v.i 優れている 「動詞」

Segunda parte 第2部

más que él?	マス・ケ・エル	adv. 彼よりも	「副詞句」
¿Qué	ケ	pron ーというのか?	「感嘆」
importaba	インポルタバ	3 単線・疑問文(importar)v.i 重要である	「動詞」
que	ケ	conj. ーということは	「主語」
María	マリア	n.f マリーが	「主語」
diese	ディエ	接・3 単過(dar)v.t 与えた	「動詞」
hoy	オイ	adv. 今日	「副詞」
su boca	ス・ボカ	n.f 彼女の唇を	「直接目的語」
a un nuevo Meursault?	ア・ウン・ヌエボ・ムルソー	adv. 新しいムルソーに	「間接目的語」

一体、分かっているのか? この死刑囚は。未来の奥から... 叫び終わって、僕は息が切れた。

<u>Comprendía, pues, este Condenado, que desde lo hondo de mi porvenir... Me ahogaba gritando todo esto.</u>	「動詞」「副詞」「主語」「目的語」 「動詞句」「副詞句」
Comprendía, コンプレンディア 1 単線・疑問文(comprender)v.t 分かっているのか？	「動詞」
pues, プエス adv. それで、ところで、一体	「副詞」
este Condenado, エステ・コンデナド n.m この死刑囚は（司祭のこと）	「主語」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
desde lo hondo de mi porvenir... デステ・ロ・オント・デ・ミ・ポルベニール	
adv. 僕の未来の奥から...	「副詞句」
Me ahogaba メ・アガバ 1 単線(ahogarse)v.pr 息苦しくなった	「動詞句」
gritando グリタント 現在分詞・理由(gritar)v.i 叫んで	「副詞句」
todo esto. トド・エスト pron 全てを	「目的語」

しかし、すでに看守たちは僕の腕から司祭を引き離して、僕を威嚇した。

Pero	ya	me	quitaban	al	capellán	de	entre	las	manos	y	los	guardianes	me	amenazaban.	
Pero	「副詞」														「間接目的語」「動詞」
Pero	ペロ	conj.	しかし												
ya	ジャ	adv.	すでに												「副詞」
me	メ	pron	僕の												「間接目的語」
quitaban	キタバン	3 複線	(quitar)v.t	引き離した、取り去る											「動詞」
al	capellán	アル・カペジャン	n.m	司祭を											「直接目的語」
de	entre	las	manos	デ・エントレ・ラス・manos	adv.	腕の間から									「間接目的語」
y	イ	conj.	そして												
los	guardianes	ロス・ガワルデアネス	pl(guardian).n.m	看守たちは											「主語」
me	メ	pron	僕を												「目的語」
amenazaban.	アメサバン	3 複線	(amenazar)v.t	威嚇した、脅した											「動詞」

Segunda parte 第2部

しかしながら、彼は看守たちを鎮めた。それから黙って僕を見つめた。彼の目には涙があふれていた。彼は振り返って、出て行った。

Sin embargo, él los calmó y me miró en silencio. Tenía los ojos llenos de lágrimas. Se volvió y desapareció. 「副詞句」「主語」「目的語」「動詞」 y 「目的語」「動詞」「副詞句」
「動詞」「目的語」 | 「動詞句」 y 「動詞」

Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. しかしながら 「副詞句」
él エル pron 司祭は 「主語」
los ロス pron.pl 看守たちを 「目的語」
calmó カルモ 3 単点(calmar)v.t 鎮めた 「動詞」
y イ conj. そして
me メ pron 僕を 「目的語」
miró ミロ 3 単点(mirar)v.t 見た 「動詞」
en silencio. エン・シレンシオ adv. 黙って 「副詞句」
Tenía テニア 3 単線(tener)v.t (特徴) をしていた 「動詞」
los ojos ロス・オホス pl(ojo).n.m 目を 「目的語」
llenos de lágrimas. シェノ・デ・ラグラマス adj. 涙で一ぱいの 「形容詞句」
Se volvió セ・ホルビョ 3 単点(volverse)v.pr 振り返った 「動詞句」
y イ conj. そして
desapareció. デ・サパレシオ 3 単点(desaparecer)v.i 出て行った、姿を消した 「動詞」

彼が出ていくとすぐに、僕は落ち着きを取り戻した。僕は疲れ果て、ベッドに飛び込んだ。

En cuanto salió, recuperé la calma. Me sentía agotado y me arrojé sobre el camastro.
「副詞節」, 「動詞」「目的語」 | 「動詞句」「補語」 y 「動詞句」「間接目的語」

En cuanto エン・クワント conj. ～するとすぐ 「副詞節」
salió, サリオ 3 単点(salir)v.i 行ってしまった 「動詞」
recuperé レクペレ 1 単点(recuperar)v.t 取り戻した 「動詞」
la calma. ラ・カルマ n.f 平静を、落ち着き 「目的語」
Me sentía メ・センチア 1 単線(sentirse)v.pr 自分が～だと感じた 「動詞句」
agotado アゴタド adj. 疲れ果てた 「補語」
y イ conj. そして
me arrojé メ・アロヘ 1 単点(arrojarse)v.pr 飛び込んだ 「動詞句」
sobre ソブレ prep. ～の上に 「間接目的語」
el camastro. エル・カマストロ n.m 簡易ベッド 「目的語」

Segunda parte 第2部

僕は眠ったと思う。顔にそそぐ星のきらめきによって目覚めたからだ。

Creo que dormí porque me desperté con las estrellas sobre el rostro.

「動詞」「目的語」「副詞節」

Creo クオ 1 単現(creer)v.t(que ～と) 思う

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

dormí トルミ 1 単点(dormir)v.i 眠った

「動詞」

porque ボルケ conj. (理由) ～なので

「副詞節」

me desperté メ・デスぺルテ 1 単点(despertarse)v.pr 目覚めた

「動詞句」

con las estrellas コン・ラス・エストレージャス adv. (原因) 星のきらめきで

「副詞句」

sobre el rostro. ソブレ・エル・ロストロ adv. 顔の上に

「副詞句」

田園の騒めきが僕の所まで上がって来た。夜と大地と汐の匂いが、僕のこめかみを冷ました。

Los ruidos del campo subían hasta mí. Olores a noche, a tierra y a sal me refrescaban las sienes.

「主語」「動詞」「副詞句」 | 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Los ruidos ロス・ルトス pl(ruido).n.m ざわめきが

「主語」

del campo デル・カンポ adj. 田園の

「形容詞句」

subían スビアン 3 複線(subir)v.i 上って来た

「動詞」

hasta mí. アスタ・ミ adv. 僕の所まで

「副詞句」

Olores オレス pl(olor).n.m 匂いが

「主語」

a noche, ア・ノチェ adv. (対象) 夜への

「副詞句」

a tierra ア・チエラ adv. (対象) 大地への

「副詞句」

y イ conj. そして

a sal ア・サル adv. (対象) 汐への

「副詞句」

me メ pron 僕の

「間接目的語」

refrescaban レフスカバン 3 複線(refrescar)v.t 冷やした

「動詞」

las sienes. ラス・シエネス pl(sien).n.f こめかみを

「直接目的語」

眠りについたこの夏の素晴らしい平安が、潮(うしお)の様に僕の体内に染み込んできた。

La maravillosa paz de este verano adormecido penetraba en mí como una marea.

「主語」「動詞」「間接目的語」「副詞句」

La maravillosa ラ・マラビジョーサ adj.f 素晴らしい

「形容詞句」

paz パス n.f 安らぎが

「主語」

de este verano デ・エステ・ベラノ adj. この夏の

「形容詞句」

adormecido アドルメシト 過去分詞(adormecer)adj. 眠りについた「形容詞」

penetraba ペネトラバ 3 単線(penetrar)v.i 浸透してきた

「動詞」

en mí エン・ミ adv. 僕の体内に

「間接目的語」

Segunda parte 第2部

como una marea. コモ・ウナ・マレア adv. 潮のように

「副詞句」

その時、しかも夜明け間際に、サイレンが唸り声をあげた。それは、今となっては僕にとって永遠にどうで良い世界への旅立ちを告げていた。

En ese momento y en el límite de la noche, aullaron las sirenas. Anunciaban partidas hacia un mundo que ahora me era para siempre indiferente.

「副詞句」, 「動詞」「主語」 | 「動詞」「目的語」

En ese momento エン・エセ・モメント adv. その時

「副詞句」

y イ conj. しかも

en el límite エン・エル・イミテ adv. 限界で

「副詞句」

de la noche, デ・ラ・ノチェ adj. 夜の

「形容詞句」

aullaron アウジャロン 3 複点(aullar)v.i 唸った

「動詞」

las sirenas. ラス・シラス pl(sirena).n.f サイレンが

「主語」

Anunciaban アヌンシアバン 3 複線(anunciar)v.t 知らせた、告げた

「動詞」

partidas パルチダス pl(partida).n.f 旅立ちを、出発

「目的語」

hacia un mundo アシア・ウン・ムント adv. (目的地) 世界への

「副詞句」

que ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

ahora アオラ adv. 今となっては、今では

「副詞」

me メ pron 僕にとって

「間接目的語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ~である

「動詞」

para siempre パラ・シエンプレ adv. 永遠に

「副詞句」

indiferente. インディフェンテ adj. どうでも良い

「補語」

しばらくぶりに、僕は母さんのことを考えた。

Por primera vez desde hacía mucho tiempo pensé en mamá.

「副詞句」「動詞」「間接目的語」

Por primera vez ホル・プリメラ・ベス adv. 初めて

「副詞句」

desde hacía mucho tiempo デステ・アシア・ムチョ・テイエンホ adv. ずっと前から

「副詞句」

→ しばらくぶりに、久しぶりに

pensé ペンセ 1 単点(pensar)v.i(en のことを) 考えた

「動詞」

en mamá. エン・ママ adv. 母さんのことを

「間接目的語」

Segunda parte 第2部

僕には、どうして母さんが人生の終わりに婚約者を持ち、人生をやり直すふりをしたのか、理解できる気がした。

Me pareció que comprendía por qué, al final de su vida, había tenido un "novio", por qué había jugado a comenzar otra vez.

Me メ pron 僕には 「間接目的語」
 pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i ーのように見える 「動詞」
 que ケ conj. ーということが 「主語」
 comprendía コンプレンディア 1 単線(comprender)v.t 理解できる 「動詞」
 por qué, ポル・ケ pron どうしてーかと言うことを 「目的語」
 al final de su vida, アル・フィナル・デ・ス・ビダ adv. 人生の終わりに 「副詞句」
 había tenido アビア・テニド 3 単線・完了形(tener)v.t ーを持った 「動詞句」
 un "novio", ウン・ノビオ n.m 婚約者を 「目的語」
 por qué, ポル・ケ pron どうしてーかと言うことを 「目的語」
 había jugado a comenzar アビア・ファクト・ア・コメンサル 3 単線・完了形・ふりをする
 (jugar a+不定詞 comenzar)v.i 始めるふりをした 「動詞句」
 otra vez. オトラ・ベス adv. また 「副詞句」

いくつもの命が消えていくあの養老院の周囲でも、夕暮れは侘しい休戦のようだ。

Allá, allá también, en torno de ese asilo en el que las vidas se extinguían, la noche era como una tregua melancólica.

Allá, アジャ adv. (場所) あそこで 「副詞」
 allá también, アジャ・タンビエン adv. (場所) あそこでもまた 「副詞句」
 en torno de エン・トルノ・デ prep (位置) ーの周囲で 「副詞句」
 ese asilo エセ・アシロ n.m あの養老院 「目的語」
 en el que エン・エル・ケ adv. そこでーする 「形容詞節」
 las vidas ラス・ビダス pl(vida).n.f いくつもの命が 「主語」
 se extinguían, セ・エクシングィアン 3 複線・時制の一致(extinguirse)
 v.pr 消えていく 「動詞句」
 la noche ラ・ノチェ n.f 夜は、夕暮れは 「主語」
 era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ーである 「動詞」
 como コモ conj. ーのような
 una tregua ウナ・トレグワ n.f 休戦 「補語」
 melancólica. メランコリカ adj(melancólico).f わびしい、憂鬱な 「形容詞」

Segunda parte 第2部

母さんは、死を間近にして、そこで自分は解放され、そして、全てを生き直す準備ができたと感じたに違いない。

Tan cerca de la muerte, mamá debía de sentirse allí liberada y pronta para revivir todo.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「補語」

Tan cerca de la muerte, タン・セカ・デ・ラ・ムエルタ adv. (時) 死を間近にして 「副詞句」

mamá ママ n.f 母さんは 「主語」

debía de sentirse デビ・ア・デ・センチルセ 3 単線・推量(deber de+不定詞 sentirse)

v.pr 自分が〜だと感じたに違いない 「動詞句」

allí アジ adv. そこで 「副詞」

liberada リベラダ 過去分詞・受動(liberar).adj.f 解放された 「補語」

y イ conj. そして

pronta プロンタ adj.(para 〜の) 用意ができた 「補語」

para revivir パラ・レビビール 不定詞・目的 adv. 生き直すために 「副詞句」

todo. トゥ pron すべてを 「目的語」

誰にも、母さんの不幸を憐れんで泣く権利などない。

Nadie, nadie tenía derecho de llorar por ella. 「主語」 「動詞」 「目的語」

Nadie, ナディエ pron 誰も〜ない 「主語」

nadie ナディエ pron 誰一人として〜ない 「主語」

tenía テニア 3 単線・時制の一致(tener)v.t 〜がない 「動詞」

derecho デレチョ n.m 権利が 「目的語」

de llorar デ・ジョラル 不定詞・目的 adj. (por 〜の不幸を) 泣くための 「形容詞句」

por ella. ポル・エジャ adv. 母さんのために 「副詞句」

そして僕自身も、まもなく全てを生き直すことになる気がする。

Y yo también me sentía pronto a revivir todo. Y 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Y イ conj. そして

yo también ジョ・タンビエン pron 僕も 「主語」

me sentía pronto a revivir メ・センチア・プ ロント・ア・レビビール 1 単線・時制の一致

(sentirse a+不定詞 revivir+ pronto)v.pr まもなく生き直す気がする 「動詞句」

todo. トゥ pron すべてを 「目的語」

Segunda parte 第2部

まるでこの凄い激怒が、僕を悪から清め、希望を取り除いたように、予兆と星々で満たされたこの夜の前で、僕は初めてこの世の優しい無関心に心を開いた。

Como si esta tremenda cólera me hubiese purgado del mal, vaciado de esperanza, delante de esta noche cargada de presagios y de estrellas, me abría por primera vez a la tierna indiferencia del mundo. 「副詞節」, 「動詞句」 「副詞句」 「間接目的語」

Como si +接続法 コモ・シ conj. まるで～であるかのように 「副詞節」

esta tremenda エスタ・トレメンダ adj. このすごい 「形容詞句」

cólera コーレラ n.f 激怒が 「主語」

me メ pron 僕を 「目的語」

hubiese purgado ウビエセ・プルガド 接・3単過・完了形(purgar)

v.t 清める、取り除く 「動詞句」

del mal, デル・マル adv. 悪から 「副詞句」

vaciado バシアド 接・3単過・完了形(vaciar)v.t(de を)空にした 「動詞句」

de esperanza, デ・エスペランサ adv. 希望を 「間接目的語」

delante de esta noche デランテ・デ・エスタ・ノチェ adv. この夜の前で 「副詞句」

cargada カガダ 過去分詞・受動(cargar)

adj.f (de で) 一杯にされた 「形容詞句」

de presagios デ・プレサヒオス adv. (動作主) 予感で、予兆 「副詞句」

y イ conj. そして

de estrellas, デ・エストレージャス adv. (動作主) 星々で 「副詞句」

me abría メ・アブリア 1単線 (abrirse)v.pr(a に) 心を開いた 「動詞句」

por primera vez ホル・プリメラ・ベス adv. 初めて 「副詞句」

a la tierna indiferencia ア・ラ・チエルナ・インディフェレンシア adv. 優しい無関心に 「間接目的語」

del mundo. デル・ムント adj. 世界の、世間の 「形容詞句」

Segunda parte 第2部

世界がこんなにも僕に似ていて、まるで兄弟のようだと知って、結局、僕は幸せだった、そして、今でも幸せだと思った。

Al encontrarlo tan semejante a mí, tan fraternal, en fin, comprendía que había sido feliz y que lo era todavía. 「副詞句」, 「動詞句」 「目的語」

Al encontrarlo アル・エンコントラル・ロ 不定詞・原因(encontrar+lo)adv. それを知って 「副詞句」

lo は「世界」を表わす、「目的語」

tan semejante タン・セマンテ adj. それほど似ている 「補語」

a mí, ア・ミ adv. 僕に 「副詞句」

tan fraternal, タン・フラテルナル adj. それほど兄弟のような 「補語」

en fin, エン・フィン adv. 結局は、要するに 「副詞句」

comprendía コンプレンディア 1 単線(comprender)v.t (que ～と) 分かった、思った 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

había sido アビア・シト 1 単線・完了形(ser)v.i ～だった 「動詞句」

feliz フェリス adj. 幸せな 「補語」

y イ conj. そして

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

lo ロ pron (feliz の代用) 幸せ 「補語」

era エラ 1 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」

todavía. トダビア adv. 今でもまだ 「副詞」

Segunda parte 第2部

全てが成し遂げられるように、僕が孤独だと感じないように、あとは、死刑執行の日に大勢の見物人が集まり、僕を憎悪の叫びで迎えることを願うだけだ。

Para que todo sea consumado, para que me sienta menos solo, me quedaba esperar que el día de mi ejecución haya muchos espectadores y que me reciban con gritos de odio.

「副詞節」, 「間接目的語」 「動詞」 「主語」

Para que+接続法 パラ・ケ conj. (目的・願望) ～するように 「副詞節」

todo トト pron すべてのこと 「主語」

sea consumado, セア・コンスマト 接・3 単現・受動(consumar)

v.t 成し遂げられる 「動詞句」

para que+接続法 パラ・ケ conj. (目的・願望) ～するように 「副詞節」

me sienta メ・シエンタ 接・1 単現(sentirse)v.pr 自分が～だと感じる 「動詞句」

menos solo, メノス・ソロ adj. 孤独な～でない 「補語」

me メ pron 僕には 「間接目的語」

quedaba クタバ 3 単線・時制の一致(quedar)v.i ～が残っている 「動詞」

me quedaba+不定詞 「後は～をするだけだ」

esperar エスペラル 不定詞 n.(que ～を) 願うことが 「主語」

que ケ conj. ～ということ 「目的語」

el día エル・ディア n.m その日に 「副詞句」

de mi ejecución デ・ミ・エヘクション adj. 僕の死刑執行の 「形容詞句」

haya アヤ 接・3 単現・存在(haber)v.t ～がいる 「動詞」

muchos espectadores ムチョス・エスペクタド레스

pl(espectador).n.m たくさんを見物人が 「目的語」

y イ conj. そして

que ケ conj. ～ということ 「目的語」

me メ pron 僕を 「目的語」

reciban レシバン 接・3 複現(recibir)v.t 迎える 「動詞」

con gritos コン・グリティス adv. (手段) 叫びで 「副詞句」

de odio. デ・オディオ adj. 憎悪の 「形容詞句」

Para que+接続法

(目的・願望) ～するように、～するために para+不定詞 も同じ意味で使われる

FIN

FIN

El huésped

Albert Camus

El huésped

El huésped

La nieve había empezado a caer de repente a mediados de octubre, después de ocho meses de sequía, sin la transición de la lluvia, y los veinte alumnos que vivían en los pueblitos diseminados por la meseta no iban a clase.

El Maestro miraba para los dos hombres que subían hacia él. Uno iba a caballo, el otro a pie. Todavía no habían llegado al abrupto repecho que llevaba a la escuela, edificada en la ladera de una colina. Avanzaban trabajosa y lentamente en la nieve, entre las piedras, por el inmenso espacio de la alta meseta desierta. De vez en cuando, el caballo tropezaba. Aún no se le oía, pero se veía muy bien el chorro de vapor que le salía por las fosas nasales. Uno de los hombres, al menos, conocía la región. Iban siguiendo la pista, a pesar de que había desaparecido desde hacía varios días bajo una capa blanca y sucia. El maestro calculó que no estarían en la colina antes de media hora. Hacía frío y se metió en la escuela para ponerse un jersey.

Cruzó la clase vacía y helada. En el encerado, los cuatro ríos de Francia, dibujados con cuatro tizas de colores diferentes, corrían hacia sus estuarios desde hacía tres días.

Había que esperar el buen tiempo. Daru, el maestro, no calentaba más que el único cuarto que constituía toda su morada, contiguo a la clase cuya puerta daba al este de la meseta. La ventana, como las de la clase, daba también al mediodía. Por este lado, la escuela se encontraba a varios kilómetros del lugar en que la meseta comenzaba a descender hacia el sur.

Con tiempo claro, se podían ver las masas violetas del contrafuerte montañoso donde se abría la puerta del desierto.

Después de entrar un poco en calor, Daru volvió a la ventana desde donde, por primera vez, había divisado a los dos hombres. Ahora ya no se les veía. Se hallaban, pues; subiendo el repecho. El cielo estaba menos oscuro: durante la noche había dejado de "nevar", Amaneció con una luz grisácea, que apenas había aumentado a medida que el techo de nubes se elevaba. A las dos de la tarde; hubiese dicho que si día acababa de comenzar. Pero esto era mejor que aquellos tres días en que la nieve espesa caía en medio de unas tinieblas incesantes, con pequeñas ráfagas de viento que hacían trepidar la doble puerta de la clase.

Daru entonces se pasaba las horas muertas en su cuarto, del que no salía sino para ir al cobertizo a dar de comer a las gallinas o a buscar carbón.

Afortunadamente, la camioneta de Tadjid, el pueblo más cercano Hacia el norte, había traído el suministro dos días antes de la tempestad. Y volvería a pasar dentro de cuarenta y ocho horas.

Por otra parte, Daru tenía con qué resistir un asedio con los sacos de trigo que llenaban

El huésped

la habitación y que la administración pública le dejaba en depósito para distribuir entre los alumnos cuyas familias habían sido víctimas de la sequía. En realidad, la desgracia había alcanzado a todos, pues todos eran pobres. Daru repartía a diario una ración a los niños, Y sabía muy bien que durante estos días malos les había faltado. Probablemente un padre o un hermano mayor vendría aquella tarde, y podría abastecer a todos de grano.

Lo que hacía falta era que pudieran resistir para empalmar con la cosecha

siguiente, eso era todo. Ahora llegaban de Francia barcos cargados de trigo, lo más duro había pasado Pero sería difícil olvidar esta miseria, este ejército de fantasmas andrajosos errando bajo el sol, las mesetas calcinadas meses y meses enteros, la tierra contraída poco a poco, literalmente achicharrada, hasta el punto de que cada piedra se deshacía en polvo bajo los pies. Los corderos morían en esa época a millares, y también algunos hombres, acá y allá, sin que muchas veces se llegara a saberlo.

Ante esta miseria, él, que vivía casi como un monje en aquella escuela perdida, contento, por otra parte, con lo poco que tenía y de esta vida ruda, se sentía un señor, con sus paredes enlucidas, su estrecho diván, sus estantes de madera de pino, su pozo y su suministro semanal de agua y de alimentos. Y de repente esa nieve, sin ningún aviso, sin la transición de la lluvia. El país era así de cruel, para vivir en él, incluso sin los hombres que, por otra parte, no arreglaban nada. Pero Daru había nacido allí. En cualquier otro sitio se sentía exiliado.

Salió y dio unos pasos por el terraplén delante de la escuela, Los dos hombres habían llegado a la mitad de la cuesta. Daru reconoció en el jinete a Balducci, el viejo gendarme que conocía desde hacía mucho tiempo. Un árabe, con la cabeza baja y las manos atadas, caminaba detrás de Balducci, que sostenía el extremo de la cuerda. El gendarme saludó con un ademán al que Daru no contestó, ocupado como estaba en mirar al árabe vestido con una chilaba que en otro tiempo había sido azul, con unas sandalias y unos calcetines de gruesa lana cruda en los pies y una bufanda estrecha y corta, a modo de turbante, en la cabeza. Se iban acercando, Balducci mantenía el caballo al paso para no hacer daño al árabe, y el grupo avanzaba muy despacio.

Al alcance de la voz, Balducci gritó:

-¡Una hora para andar los tres kilómetros de El Ameer hasta aquí!

Daru no contestó. Bajo y fornido, enfundado en su grueso jersey, miraba cómo subían. Ni una sola vez el árabe había levantado la cabeza.

-Hola -dijo Daru cuando llegaron al terraplén Entrad a calentaros un poco. Balducci se bajó con trabajo del caballo sin soltar la cuerda.

El huésped

Sonrió al maestro con una sonrisa que le salía de debajo de unos mostachos erizados. Sus ojillos oscuros, muy hundidos bajo una frente curtida, y su boca rodeada de arrugas le daban un aspecto atento y aplicado. Daru cogió las riendas, llevó el caballo al cobertizo y volvió a la escuela, donde le esperaban los dos hombres. Los hizo entrar en su cuarto.

-Voy a calentar la clase -dijo- Allí estaremos más anchos.

Cuando entró de nuevo en el cuarto, Balducci estaba sobre el diván. Había desatado la cuerda con que sujetaba al árabe este se había acurrucado junto a la estufa, Con las manos liadas, y el turbante echado para atrás, miraba hacia la ventana. Daru al principio sólo vio sus enormes labios, gruesos, lisos, casi negroides; la nariz sin embargo era recta, los ojos sombríos, llenos de fiebre. El turbante dejaba ver una frente obstinada, y bajo la piel curtida por el sol pero un poco descolorida por el frío, toda la cara tenía un aspecto a la vez inquieto y rebelde que impresionó a Daru cuando el árabe, volviendo la cara hacia él, lo miró fijamente a los ojos.

-Pasad ahí al lado -dijo el maestro-. Os voy a hacer té con menta.

-Gracias -dijo Balducci-. ¡Qué faena! ¡Viva el retiro! -Y dirigiéndose en árabe a su prisionero-: Tú, ven.

El árabe se levantó y, despacio, con las muñecas juntas por delante, entró en la clase.

Con el té, Daru llevó una silla. Pero Balducci se había instalado ya en el primer

pupitre de la clase y el árabe se había acurrucado contra la tarima del maestro, frente a la estufa que había entre la mesa y la ventana. Cuando tendió el vaso de té al prisionero, Daru dudó ante sus manos atadas.

-Tal vez se le pueda desatar.

-Desde luego -dijo Balducci-. Era para el viaje.

E hizo ademán de levantarse. Pero Daru, dejando el vaso en el suelo, se había arrodillado ya junto al árabe. Este, sin decir nada, miraba cómo lo desataban con sus ojos calenturientos. Una vez las manos libres, se frotó las muñecas hinchadas una contra otra, cogió el vaso de té y sorbió el líquido abrasador, a tragos cortos y rápidos.

-Bueno -dijo Daru-. ¿Dónde vais así? Balducci dejó de beber: -Aquí, hijo.

-¡Qué alumnos más raros! ¿Vais a dormir aquí?

-No. Yo me vuelvo a El Aneur. Y tú entregarás al camarada en Tinguít. Lo esperan en la gendarmería.

El huésped

-¿Qué estás diciendo? -dijo el maestro-. ¿Te burlas de mí? -No, hijo. Son órdenes.

-¿Órdenes? Yo no soy.... -Daru dudó; no quería afligir al viejo corso.

- Bueno quiero decir que no es ese mi oficio.

-¡Eh! ¿Que quieres decir? En tiempo de guerra se hacen todos los oficios

-¡Entonces esperaré la declaración de la guerra! Balducci asintió con la cabeza.

-Bueno. Pero las órdenes son las órdenes y también te atañen a ti. Parece ser que hay líos. Se habla de una rebelión próxima. Estamos movilizados, en cierto sentido.

Daru seguía con su aire obstinado.

Escucha, hijo -dijo Balducci-. Me resultas simpático y tienes que comprender. En

El Ameer somos sólo una docena de hombres y tenemos que patrullar por todo el territorio de un departamento, aunque sea pequeño, así que tengo que volver. Me han dicho que te confíe a este individuo y que vuelva inmediatamente. No podíamos custodiarlo allá abajo. Su pueblo se agitaba y querían llevárselo. Tú debes conducirlo a Tinguit durante el día de mañana. No son veinte kilómetros los que van a asustar a un buen mozo como tú. Después, todo habrá terminado. Volverás a la escuela con tus alumnos y a la buena vida. Fuera, oyeron al caballo resoplar y pisotear el suelo con los cascos. Daru miraba por la ventana. Decididamente, el tiempo se levantaba, la luz se extendía por la meseta nevada. Cuando se hubiera derretido toda la nieve, el sol volvería a reinar y abrasaría una vez más los campos de piedra. Durante días, el cielo inalterable derramaría su luz seca sobre la inmensidad solitaria donde nada hacía pensar en el hombre.

-Bueno -dijo volviéndose hacia Balducci-, ¿qué es lo que ha hecho? -Y prosiguió antes de que el gendarme hubiera abierto la boca:- ¿Habla francés?

-No, ni una palabra. Lo buscaban desde hacía un mes, pero los demás lo escondían. Ha matado a su primo.

- Está contra nosotros?

-No lo creo. Pero nunca se sabe.

-¿Por qué lo mató?

-Asuntos de familia, supongo. Uno debía trigo al otro, según parece. La cosa no está clara. Total, que ha matado a su primo dándole un golpe con una podadera. Te das cuenta, como un cordero, ¡zás!...

Balducci hizo un ademán como si se pasara una cuchilla por cuello, mientras el árabe lo seguía atentamente lo miraba con cierta inquietud. A Daru le entro una ira repentina contra aquel hombre, contra todos los hombres y su asquerosa maldad, sus odios incansables, sus locuras sangrientas.

El huésped

Pero la pava del agua caliente silbaba en la estufa. Daru volvió a servir té a Balducci, y después de dudar un momento sirvió también al árabe, que por segunda vez lo bebió con avidez. Tenía los brazos levantados y el maestro pudo ver su pecho delgado y musculoso por la chilaba entreabierta.

-Gracias, chico -dijo Balducci-. Ahora, yo me largo.

Se levanto y se dirigió hacia el árabe, sacándose una cuerda del bolsillo.

-¿Que vas a hacer? -pregunto Daru con sequedad.

Balducci, desconcertado, le enseño la cuerda.

-No vale la pena.

El viejo gendarme dudó:

-Como quieras. Supongo que estas armado.

-Tengo un fusil de caza.

-¿Dónde?

-En el baúl.

-Deberías tenerlo cerca de la cama.

- ¿Por qué? No tengo nada que temer.

-Estas fregado, hijo. Si se sublevan, nadie estará seguro, todos estamos metidos en el mismo saco.

-Me defenderé. Tengo tiempo de verlos llegar.

Balducci se echo a reír, y luego el bigote le cubrió de repente unos dientes todavía blancos.

-¿Que tienes tiempo? Bueno. Lo que yo decía. Siempre te ha faltado un tornillo. Por eso me resultas simpático; mi hijo era así.

Al mismo tiempo saco su revolver y lo dejo sobre la mesa.

-Toma, yo no tengo necesidad de dos armas para ir de aquí a El Ameer.

El revólver brillaba sobre la pintura negra de la mesa. Cuando el gendarme se volvió hacia él, el maestro sintió un olor a cuero y a caballo.

-Mira, Balducci -dijo Daru de repente-, todo esto me repugna, y ese tipo el primero. Pero no lo entregaré. Luchar si, si hace falta. Pero esto no.

El viejo gendarme estaba ante él y lo miraba con severidad.

-No hagas tonterías -dijo despacio-. A mí tampoco me gusta todo esto.

Uno no se acostumbra a atar a un hombre, a pesar de los años, y hasta se tiene vergüenza, si. Pero no se les puede dejar que hagan lo que quieran.

-Yo no lo entregaré -repitió Daru.

-Es una orden, hijo. Te lo repito.

El huésped

-Eso es. Repíteles lo que te he dicho: yo no lo entregaré.

Visiblemente, Balducci se esforzaba por reflexionar. Miro al árabe y a Daru. Al fin se decidió:

-No. No les diré nada. Si tú no quieres ayudarnos, allá tu, yo no te denunciaré. Sólo tengo orden de entregarte el prisionero, y es lo que hago.

Ahora vas a firmarme el papel.

-No hace falta. No negaré que me lo has dejado.

-No seas malo conmigo. Se que dirás la verdad. Eres de aquí, eres un hombre. Pero debes firmar, lo exige el reglamento.

Daru abrió un cajón, saco un frasquito cuadrado de tinta morada, el portaplumas de mango Colorado con la plumilla, que le servía para trazar los modelos de caligrafía, y firmó. El gendarme dobló cuidadosamente el papel y se lo guardó en la cartera. Después se dirigió hacia la puerta.

-Te acompaño -dijo Daru.

-No -replicó Balducci-. No hace falta que andes con cumplidos. Me has ofendido. Balducci miro al árabe, inmóvil, en el mismo sitio, sorbió por la nariz con aire apesadumbrado y se volvió hacia la puerta.

-Adiós, hijo.

La puerta se batió detrás de él. Balducci surgió delante de la ventana y después desapareció. La nieve ahogaba sus pasos. El caballo se agitó detrás de la pared, unas gallinas se espantaron. Al poco rato, Balducci volvió a pasar por delante de la ventana tirando del caballo por la brida.

Caminaba hacia el repecho, sin volverse, y desapareció seguido del caballo.

Se oyó el ruido de una piedra grande que rodaba perezosamente. Daru se volvió hacia el prisionero, que no se había movido, pero que no dejaba de mirarlo.

-Espera -dijo el maestro en árabe. Y se dirigió hacia su cuarto. En el momento de pasar el umbral, cambio de parecer, fue a la mesa, cogió el revólver y se lo metió en el bolsillo. Después, sin volverse, entro en su habitación.

Durante mucho tiempo, se quedo echado en el diván mirando al cielo que se oscurecía poco a poco, escuchando el silencio. Ese silencio que los primeros días de su llegada, después de la guerra, le había parecido tan penoso. En aquella época, había pedido un puesto en la pequeña ciudad al pie de los contrafuertes que separan la altiplanicie del desierto. Allí, unas murallas rocosas, verdes y negras al norte, rosas o malvas al sur, marcaban la frontera del eterno verano. Pero lo habían nombrado para un puesto mas al norte, en la misma meseta. Al principio, la soledad y el silencio le habían

El huésped

resultado muy duros en aquellas tierras ingratas, habitadas solamente por las piedras. A veces, la existencia de unos surcos hacia pensar en tierras cultivadas, pero en realidad los surcos habían sido excavados para sacar a la luz del día cierta piedra propicia para la construcción. Allí solo se labraba para cosechar pedruscos. Otras veces, raspaban algunas pellas de tierra, acumuladas en las hondonadas, para abonar los áridos jardines de los pueblos. Solamente la piedra cubría las tres cuartas partes de este país, en el que las ciudades nacían, brillaban y desaparecían; los hombres pasaban, se amaban o se mordían la garganta, y después morían. En este desierto, nadie, ni el ni su huésped, eran nada. Y sin embargo, fuera de este desierto, ni uno ni otro, Daru lo sabía muy bien, hubiera podido vivir verdaderamente.

Cuando se levanto, ningún ruido se oía en la sala de clase. Daru se quedó

asombrado ante la franca alegría que sentía solo de pensar que el árabe hubiera podido escaparse y que iba a encontrarse solo sin tener que decidir nada. Pero el prisionero seguía allí. Se había echado cuan largo era entre la estufa y la mesa, con los ojos muy abiertos, mirando al techo. En esta posición se le veían sobre todo los gruesos labios, que le daban un aspecto enojado.

-Ven -dijo Daru. El árabe se levanto y lo siguió. En la habitación, el maestro señaló una silla al lado de la mesa, bajo la ventana. El árabe se sentó sin dejar de mirar a Daru-. ¿Tienes hambre?

-Si -dijo el prisionero.

Daru puso dos cubiertos sobre la mesa. Cogió harina y aceite, amasó en una fuente una torta y encendió el horno de butano.

Mientras la torta se cocía, Daru fue al cobertizo a buscar queso, huevos, dátiles y leche condensada. Cuando la torta estuvo cocida, la puso a enfriar en el alfeizar de la ventana, calentó un poco de leche condensada desleída en agua y, para terminar, batió los huevos para hacer una tortilla. En uno de estos movimientos, su mano tropezó con el revolver que llevaba en el bolsillo derecho. Dejo el tazón con los huevos, pasó a la clase y metió el revolver en el cajón de su mesa. Cuando volvió a la habitación, estaba anocheciendo.

Encendió la luz y sirvió al árabe.

-Come -dijo.

El otro cogió un trozo de torta, se lo llevo con viveza a la boca y se detuvo.

-¿Y tú? -pregunto.

-Primero tú. Yo comeré después.

Los labios gruesos se abrieron un poco, el árabe dudo, y termino por morder

El huésped

resueltamente la torta.

Cuando termino de comer, miro al maestro.

-¿Eres tú el juez?

-No, yo tengo que vigilarte hasta mañana.

-¿Por qué comes conmigo?

-Porque tengo hambre.

El otro se calló. Daru se levantó y salió. Trajo un catre del cobertizo, lo colocó entre la mesa y la estufa, perpendicularmente a su propia cama, y de una maleta grande que, de pie en un rincón, le servía de estante para sus papeles sacó dos mantas que dispuso sobre el catre. Después se paró y, al no tener otra cosa en que ocuparse, se sentó en la cama. Ya no había nada que preparar ni que hacer, sino mirar a aquel hombre. Y se puso a mirarlo, tratando de imaginarse aquella cara arrebatada por la ira. Pero no lo conseguía.

Solamente veía la mirada a la vez sombría y brillante, y la boca de animal.

-¿Por qué lo mataste? -dijo con una voz cuya hostilidad le sorprendió. El árabe desvió la mirada.

-Se escapó. Y yo corrí detrás de él. -Volvió a mirar a Daru con unos ojos llenos de una especie de interrogación angustiada-. Ahora, ¿qué van a hacerme?

-¿Tienes miedo?

El otro se atiesó, desviando la vista.

-¿Sientes lo que hiciste?

El árabe lo miro con la boca abierta. Era evidente que no comprendía. La irritación invadía a Daru. Al mismo tiempo, se sentía torpe y embarazado, sin poderse mover entre las dos camas.

-Acuéstate aquí -dijo con impaciencia-. Es tu cama. El árabe no se movió. Interpeló a Daru:

-¡Dime!

El maestro lo miró.

-¿Vuelve mañana el gendarme?

-No lo sé.

-¿Tu vienes con nosotros?

-No lo sé. ¿Por qué?

El prisionero se levantó y se echó sobre las mantas, con los pies hacia la ventana.

La luz de la bombilla le daba directamente en los ojos, y los cerró enseguida.

-¿Por qué? - repitió Daru, plantado delante de la cama.

El huésped

El árabe abrió los ojos bajo la luz deslumbradora y lo miró, esforzándose en no pestañear. -Vente con nosotros -dijo.

En medio de la noche, Daru no conseguía dormir. Se había metido en la cama después de desnudarse completamente: tenía la costumbre de dormir desnudo. Pero cuando se encontró en su cuarto sin ninguna ropa, dudó. Se sentía vulnerable y estuvo tentado de volverse a vestir. Pero se encogió de hombros; ya se había visto en situaciones peores, y si hiciera falta descalabraría a su adversario. Desde la cama podía observarlo, echado de espaldas, inmóvil, con los ojos cerrados bajo la intensa luz. Cuando Daru la apagó, pareció que las tinieblas se congelaban de repente. Poco a poco, la noche fue recobrando vida en la ventana donde el cielo sin estrellas se movía suavemente. El maestro distinguió enseguida el cuerpo extendido ante él. El árabe seguía sin moverse, pero sus ojos parecían estar abiertos. Un viento ligero rondaba alrededor de la escuela. Tal vez terminaría por alejar las nubes y volvería a brillar el sol. Durante la noche, el viento aumentó. Las gallinas se alborotaron un poco, después se callaron. El árabe se volvió de costado, dando la espalda a Daru, y a este le pareció oírlo gemir. Entonces acecho su respiración, mas fuerte y más regular que hacia un momento. Daru oía ese aliento tan cercano y soñaba sin poderse dormir. En la habitación en que, desde hacia un año, dormía solo, aquella presencia le molestaba. Pero también le molestaba porque le imponía una especie de fraternidad que él rechazaba en las circunstancias actuales y que conocía muy bien: los hombres que comparten los mismos dormitorios, ya sean soldados o prisioneros, contraen un lazo extraño como si, al quitarse las armaduras con la ropa, se hermanaran cada noche, por encima de sus diferencias, en la vieja comunidad del sueño y del cansancio. Pero Daru se agitaba, no le gustaban esas tonterías, tenía que dormir.

Algo mas tarde, sin embargo, cuando el árabe se movió imperceptiblemente, el maestro seguía sin conciliar el sueño. Al segundo movimiento del prisionero, se puso tenso, en guardia. El árabe se incorporaba muy despacio sobre sus brazos, con un movimiento casi de sonámbulo. Sentado en la cama, esperó, inmóvil, sin volver la cara hacia Daru, como si escuchara atentamente. Daru no se movió: acababa de darse cuenta de que se había dejado el revolver en el cajón de la mesa de la clase. Era mejor actuar rápidamente. Sin embargo, continuó observando al prisionero que, con el mismo movimiento cauteloso, ponía los pies en el suelo, esperaba un poco y empezaba a levantarse lentamente. Daru iba a llamarlo cuando el árabe echó a andar, con un paso

natural esta vez, pero extra-ordinariamente silencioso. Se dirigía hacia la puerta del fondo que daba al cobertizo. Hizo girar el picaporte con precaución y salió empujando la

El huésped

puerta tras el, sin cerrarla del todo. Daru no se había movido. Se escapa, pensó.

¡Menudo alivio! Sin embargo, aguzó el oído.

Las gallinas no se movían: el árabe se hallaba, pues, en la meseta. Entonces le llegó un débil ruido de agua, y solo comprendió lo que era, en el momento en que el árabe apareció de nuevo en el marco de la puerta, la cerró con cuidado y se acostó sin hacer ruido. Daru se volvió de espaldas y se durmió. Algo más tarde, le pareció oír, en lo profundo de su sueño, unos pasos furtivos alrededor de la escuela, estoy soñando, estoy soñando!, se repetía. Y efectivamente estaba dormido.

Cuando se despertó, el cielo estaba despejado; por la ventana mal encajada entraba un aire frío y puro. El árabe dormía, acurrucado ahora bajo las mantas, con la boca abierta, totalmente confiado. Pero cuando Daru lo zarandeó, se sobresaltó y miró a

Daru sin reconocerlo, con unos ojos de loco y una expresión tan asustada que el maestro dio un paso atrás.

-No tengas miedo. Soy yo. Vamos a comer.

El árabe asintió con la cabeza y dijo que sí. Su rostro había recobrado la serenidad, pero su expresión permanecía ausente y distraída.

El café estaba preparado. Lo bebieron, sentados ambos en el catre, y comieron unos trozos de torta. Después, Daru llevó al árabe al cobertizo y le enseñó el grifo donde el se lavaba todos los días. Volvió al cuarto, dobló las mantas, recogió el catre,

hizo su cama y ordeno la habitación. Entonces salió al terraplén pasando por la escuela.

El sol se elevaba ya en el cielo azul; una luz tierna y viva inundaba la meseta desierta.

En el repecho la nieve empezaba a derretirse. Las piedras volverían a aparecer. En cuclillas al borde de la meseta, el maestro contemplaba la inmensidad del desierto.

Pensaba en Balducci. Le había apenado, le había echado de allí, en cierto modo, como si no quisiera que lo metieran en el mismo saco que a él. Aun oía el adiós del gendarme y, sin saber por que, se sentía extrañamente vacío y vulnerable. En este momento, al otro lado de la escuela, el prisionero tosió. Daru lo oyó, casi a pesar suyo; después, furioso, tiró una piedra que silbó en el aire antes de hundirse en la nieve. El crimen idiota de este hombre le sublevaba, pero entregarlo era contrario al honor: tan sólo con pensarlo se volvía loco de humillación. Y maldecía a la vez a los suyos, que le enviaban a aquel árabe, y a este, que se había atrevido a matar y no había sabido escaparse. Daru se levantó, dio unas vueltas por el terraplén, esperó, inmóvil, y entró en la escuela.

El árabe, inclinado sobre el suelo de cemento del cobertizo, se lavaba los dientes con dos dedos. Daru le miro:

-Ven -dijo. Y entro en la habitación, delante del prisionero. Se puso una cazadora encima

El huésped

del jersey y se calzó las botas de marcha. Después esperó de pie a que el árabe se hubiera puesto el turbante y las sandalias. Entraron en la escuela y el maestro señaló la salida a su compañero-. Vete. -El otro no se movió-. Ahora vengo, dijo Daru.

El árabe salió. Daru volvió a entrar en la habitación e hizo un paquete con tostadas de pan, dátiles y azúcar. En la clase, antes de salir, dudó un segundo ante su mesa, después atravesó el umbral de la escuela y cerro la puerta.- Por ahí -dijo. Y tomó la dirección del este, seguido por el prisionero. Pero a poca distancia de la escuela, le pareció oír un ligero ruido detrás de él. Volvió sobre sus pasos e inspecciono los alrededores de la casa: no había nadie. El árabe le miraba sin comprender lo que hacía.

-Vamos -dijo Daru.

Camaron durante una hora y descansaron junto a una especie de pico calcáreo. La nieve se derretía cada vez mas de prisa, el sol absorbía inmediatamente los charcos, limpiaba a toda velocidad la meseta que, poco a poco, se secaba y vibraba lo mismo que el aire. Cuando de nuevo se pusieron en camino, la tierra resonaba bajo sus pasos. A lo lejos, un pájaro hendía el espacio ante ellos con un trino alegre. Daru bebía, respirando profundamente, la fresca luz matutina. Una especie de exaltación nacía en él bajo el gran espacio familiar, casi enteramente amarillo ahora, bajo su casquete de cielo azul. Anduvieron una hora más, bajando hacia el sur.

Llegaron a una especie de eminencia achatada formada por rocas friables.

A partir de allí, la meseta descendía, al este, hacia una llanura baja donde se podían distinguir algunos árboles medio secos y, al sur, hacia unos montones de rocas que daban al paisaje un aspecto atormentado.

Daru inspeccionó las dos direcciones. No había mas que el cielo en el horizonte, no se veía a ningún hombre. Daru se volvió hacia el árabe, que lo miraba sin

comprender, y le tendió un paquete:

-Toma -dijo-. Son dátiles, pan y azúcar. Te llegará para dos días. Toma mil francos también.-El árabe cogió el paquete y el dinero y se quedó con las manos llenas a la altura del pecho como si no supiera que hacer con lo que le daban.

-Mira ahora -dijo el maestro, y señalaba la dirección del este-, ese es el camino de Tinguít. Son dos horas de marcha. En Tinguít están la administración y la policía. Te esperan. El árabe miraba hacia el este, apretando contra sí el paquete y el dinero. Daru le cogió del brazo y, con cierta brusquedad, le hizo dar media vuelta hacia el sur.

Al pie de la altura en que se encontraban, se adivinaba un camino apenas bosquejado.

-Esa es la pista que atraviesa la meseta. A un día de marcha de aquí encontrarás los

El huésped

pastos y los primeros nómadas. Te acogerán y te darán refugio, según sus leyes.

El árabe se había vuelto ahora hacia Daru y su rostro reflejaba pánico:

-Oye -dijo.

Daru meneó la cabeza:

-No, cállate. Ahora, yo te dejo.

Le volvió la espalda, dio dos pasos en dirección de la escuela, miró con cierta indecisión al árabe inmóvil y se alejó. Durante unos minutos, no oyó mas que sus propios pasos, que resonaban sobre la tierra fría, y no volvió la cabeza. Al cabo de un

momento, sin embargo, se volvió. El árabe seguía allí, al borde de la colina, con los brazos caídos, mirando al maestro. Daru sintió que se le hacia un nudo en la garganta. Pero renegó con impaciencia, hizo un ademán y echo a andar de nuevo. Ya estaba lejos cuando se detuvo otra vez y miró hacia atrás. No había nadie en la colina.

Daru dudó. El sol estaba ya bastante alto en el cielo y comenzaba a devorarle la frente. El maestro volvió sobre sus pasos, al principio un poco incierto, después con decisión. Cuando llegó a la pequeña colina, chorreaba de sudor. Subió por ella a toda velocidad y se detuvo, echando los bofes, en la cima. Los campos de roca, al sur, se dibujaban claramente sobre el cielo azul, pero en el llano, al este, un vaho de calor empezaba a subir. Y en esta bruma ligera, Daru, con el corazón en un puño, divisó al árabe que caminaba lentamente por el camino de la cárcel.

Un poco más tarde, plantado delante de la ventana de la clase, el maestro miraba sin ver la luz naciente que brincaba desde las alturas del cielo sobre toda la superficie de la meseta. Detrás de él, en el encerado, trazada con tiza por una mano torpe, entre los meandros de los ríos franceses, se extendía la inscripción que el maestro acababa de leer: "Has entregado a nuestro hermano. Lo pagarás". Daru miraba el cielo, la meseta y, más allá, las tierras invisibles que se extendían hasta el mar. En aquel vasto país que tanto había amado, Daru estaba solo.

fin

El huésped

Google 翻訳

2022/03/05

huésped ウェスパ n. (ホテルの) 泊り客、ゲスト、下宿人；主人

アルベールカミュ - ゲスト

10月中旬に8か月の干ばつの後、雨が降らずに突然雪が降り始め、高原に点在する小さな町に住んでいた20人の生徒は授業に行きませんでした。

マスターは彼に向かって登っていた二人の男を見ました。1つは馬に乗っており、もう1つは徒歩でした。彼らはまだ丘の脇に建てられた校舎に通じる急な傾斜に達していない。

彼らは、雪の中、石の間、高い砂漠の高原の広大な空間を通過して、苦勞してゆっくりと進みました。時々、馬はつまづいた。彼の声はまだ聞こえませんでした。彼の鼻孔から蒸気が出ているのがよくわかりました。

男性の一人は、少なくとも、その地域を知っていました。汚れた白いマントの下で数日間行方不明になっていたにもかかわらず、彼らは道をたどっていました。

マスターは、彼らがさらに30分は丘の上にはいないだろうと計算しました。寒かったので、彼はセーターを着るために学校に行きました。

彼は寒くて空っぽの教室を歩いて渡った。黒板には、4つの異なる色のチョークで描かれたフランスの4つの川が、3日間河口に流れ込んでいました。

天気の良いのを待たなければなりません。先生のダルは、高原の東にドアが開いている教室の隣にある、彼の住居全体を構成する唯一の部屋以上に暖房をしません。クラスの窓と同じように、窓も正午に見えました。この側では、学校は高原が南に下がり始めた場所から数キロ離れていました。

晴天時には、砂漠への門が開いた山の拍車の紫色の塊を見ることができました。

少しウォーミングアップした後、ダルはどこから窓に戻ったのか

彼は初めて二人の男を見つけた。今、彼らはもはや見られなくなった。その後、それらが見つかりました。坂を上る。空はそれほど暗くなく、夜は雪が止み、灰色がかった光で夜が明けましたが、雲の天井が上がるにつれてほとんど増えませんでした。午後2時、私はその日が始まったばかりだと言っていたでしょう。しかし、これは絶え間ない暗闇の真只中に厚い雪が降り、小さな突風が教室の両開きのドアを揺さぶった3日間よりも良かった。

El huésped

その後、ダルは自分の部屋でアイドル時間を過ごし、そこから小屋に行つて鶏に餌をやったり、石炭を探したりする以外は立ち去りませんでした。

幸いなことに、北に最も近い町、タジッドからのバンは、

彼は嵐の2日前に物資を持ってきた。そしてそれは48時間後に再び起こるでしょう。

一方、ダルは部屋を埋め尽くした小麦の袋による包囲に抵抗するのに十分であり、行政は彼を貯蔵庫に残し、家族が干ばつの犠牲になった学生に分配した。実際には、すべての人が貧しかったので、不幸はすべての人に届きました。ダルは毎日子供たちに配給をしました、そして彼はこれらの悪い日の間彼らがそれを欠いていたことを非常によく知っていました。おそらくその日の午後、父か兄が来て、みんなに穀物を供給することができたでしょう。

必要だったのは、彼らが収穫とつながることに抵抗できることでした

次に、それでした。小麦を積んだ船がフランスから到着し、最も困難な部分は終わりましたが、この悲惨さを忘れるのは難しいでしょう、太陽の下をさまよう不規則な幽霊のこの軍隊、高原は何ヶ月も何ヶ月も燃え、地球は少しずつ収縮しました、すべての石が足元のほこりに砕けるまで、文字通り焦げました。子羊はその時何千人も死にました、そしてまた何人かの男性は、何度も知られることなく、あちこちで死にました。

この悲惨さに直面して、その失われた学校で僧侶のように生きていた彼は、一方で、彼が持っていた小さなものとこの荒れた生活で、領主のように感じました、漆喰の壁、狭いソファ、松林の棚、井戸、そして毎週の水と食料の供給があります。そして突然、その雪は、警告なしに、雨の移行なしに。その国は、その一方で何も直さなかった男たちがいなくても、住むのにとっても残酷でした。しかし、ダルはそこで生まれていました。他のどこでも彼は追放されたと感じました。

彼は外に出て、学校の前の堤防を数歩上った。二人の男は坂の途中にいた。ダルはそのライダーを、彼が長い間知っていた古い憲兵であるバルドゥッチとして認識しました。頭を下げて頭を下げたアラブ人

手をつないで、彼はロープの端を持っていたバルドゥッチの後ろを歩いた。かつては青いジュラバに身を包んだアラブ人を見ていたとき、ダルは返事をしなかったジェスチャーで敬礼しました。足には厚い生のウールのサンダルと靴下があり、短くて細いスカーフがありました。頭にターバンとして。彼らは近づいてきて、バルドゥッチはアラブ人を傷つけないように馬を散歩させ続け、グループは非常にゆっくりと進んだ。

耳元で、バルドゥッチは叫んだ。

-エルアミュールからここまで3キロ歩くのに1時間！

El huésped

ダルスは返事をしなかった。短くてずんぐりした、彼の厚いセーターで、彼は彼らが登るのを見ました。アラブ人が頭を上げたことは一度もありませんでした。

-こんにちは-彼らが堤防に到着したときにダルが言った入って少しウォームアップしてください。 Balducci はロープを手放さずに馬からスクランブルをかけた。

彼は、あごひげを生やした下から出てきた笑顔で先生に微笑んだ。彼の小さな黒い目は、風化した額の下に深く沈み、しわが並んだ彼の口は、彼に思慮深く、勤勉な表情を与えました。ダルは手綱を取り、馬を小屋に連れて行き、学校に戻った。そこで二人の男が彼を待っていた。彼は彼らを自分の部屋に入らせた。

-私はクラスをウォームアップするつもりです-彼は言いました-私たちはそこでもっと広くなります。

彼が再び部屋に入ったとき、バルドゥッチはソファにいました。彼は、ストーブに身をかがめ、手を縛り、ターバンを投げ返し、窓の外を見ているアラブ人を抱えていたロープをほどいた。ダルアル

最初、彼は彼女の巨大な唇、厚く、滑らかで、ほとんどネグロイドを見ただけでした。しかし、鼻はまっすぐで、目は暗く、熱に満ちていました。ターバンは頑固な眉を見せ、太陽で日焼けしたが寒さで少し変色した肌の下で、顔全体が落ち着きがなく反抗的な表情をしていたので、アラブ人が彼の顔を彼に向けると、彼女は彼をまっすぐに見た。目に。

「あそこに来なさい」とマスターは言った。ミントでお茶を作ります。

「ありがとう」とバルドゥッチは言った。なんて面倒なことでしょう。長生きの引退！そして彼の囚人にアラビア語で話しかける：あなた、来なさい。

アラブ人は立ち上がってゆっくりと、彼の前で手首を合わせて教室に入った。

お茶と一緒に、ダルは椅子を持っていた。しかし、バルドゥッチは最初にすでに解決していました

クラスの机とアラブ人は、テーブルと窓の間のストーブに面して、先生の台座に群がっていました。囚人にお茶を差し出すと、ダルは縛られた手に躊躇した。

-たぶんそれは解くことができます。

「もちろん」とバルドゥッチは言った。それは旅行のためでした。

そして彼は起き上がるために動きました。しかし、ガラスを地面に置いたままのダルは、すでにアラブ人の隣にひざまずいていた。後者は、何も言わずに、彼らが彼の熱い目で彼を解くのを見ていた。彼は手を自由にし、腫れた手首をこすり合わせ、お茶のグラスを手に取り、灼熱の液体を短く素早く飲みました。

El huésped

「まあ」とダルは言った。どこに行くの？ **Balducci** は飲むのをやめました：-ここで、息子。

-なんて奇妙な生徒でしょう。ここで寝ますか？

-番号。 **ElAmeur** に戻ります。そして、あなたは **Tinguit** で同志を届けます。これ彼らは憲兵隊で待ちます。

-何を言っている？ 先生は言った。私をからかってくれませんか？ -いいえ、息子。注文です。

-注文？ 私は…」ダルは躊躇した。彼は古いコルシカ人を苦しめたくありませんでした。

-そうですね、それは私の仕事ではありません。

-おい！ どう言う意味ですか？ 戦争時にはすべての取引が行われます

-それでは宣戦布告を待ちます！ **Balducci** はうなずいた。

-わかった。しかし、注文は注文であり、あなたにも関係があります。トラブルがあるようです。今後の反乱の話があります。ある意味で動員されています。

ダルは頑固な空気を続けた。

聞いて、息子」とバルドゥッチは言った。私はあなたが好きで、あなたは理解しなければなりません。オン

私たちアミュールはたった十数人であり、私たちは至る所をパトロールしなければなりません

小さなアパートですが、アパートの領土なので、戻らなければなりません。私はこの個人をあなたに任せてすぐに戻るように言われました。そこを守ることはできませんでした。彼の人々は興奮し、彼を連れ去りたいと思った。あなたは明日の日中にそれを **Tinguit** に運転しなければなりません。あなたのようなハンサムな男を怖がらせるのは 20 キロではありません。その後、すべてが終わります。あなたは生徒たちと一緒に学校に戻り、良い生活を送るでしょう。外では、彼らは馬の鼻を鳴らし、そのひづめを地面に刻印するのを聞いた。ダルは窓の外を見た。明らかに、時間が上昇し、光が雪に覆われた高原全体に広がっていました。すべての雪が溶けたとき、太陽は再び君臨し、もう一度石の畑を焦がしました。何日もの間、不変の空は、人を示唆するものが何もない孤独な広大さの上にその乾燥した光を当てました。

「まあ」と彼はバルドゥッチに向かって言った、「彼は何をしたの？」 -そして続けた **gendarme** が口を開く前に：「あなたはフランス語を話しますか？」

El huésped

-いいえ、一言ではありません。彼らは一ヶ月間彼を探していましたが、他の人たちは彼を隠しました。彼はいどこを殺しました。

-あなたは私たちに反対していますか？

-信じません。しかし、あなたは決して知りません。

-なぜ彼を殺したのですか？

-家族の問題だと思います。片方はもう片方の小麦を借りているようです。事は明確ではありません。要するに、彼は剪定ばさみで彼を殴ることによって彼のいどこを殺しました。

あなたが与える

アカウント、子羊のように、zaz! ..

Balducci は、まるで彼が彼の首にナイフを通り抜けているかのようにジェスチャーをしましたが、アラブ人は彼を注意深く追いかけ、心配して彼を見ました。ダルはその男、すべての男と彼らの嫌な悪、彼らに対して突然の怒りを感じました

飽くなき憎しみ、彼らの血まみれの愚行。

しかし、お湯のやかんはストーブの上で口笛を吹いた。ダルは再びバルドゥッチティーを出し、しばらくためらった後、彼はアラブ人にも仕えました。アラブ人は二度目にそれを食欲に飲みました。彼は腕を上げてもらい、先生は彼の胸を見ることができました

半分開いたジュラバのためにスリムで筋肉質。

「ありがとう、男の子」とバルドゥッチは言った。今、私は去ります。

彼は起き上がって、ポケットからロープを取り、アラブに行きました。

-何をする？ダルは乾いて尋ねた。

困惑したバルドゥッチは彼にロープを見せた。

-それだけの価値はありません。

古い憲兵は躊躇しました：

-好きなように。私はあなたが武装していると思います。

私は狩猟用ライフルを持っています。

-どこ？

-トランク内。

-あなたはそれをベッドの近くに持っているべきです。

-なぜなら？恐れることは何也没有ありません。

-息子、あなたはめっちゃくちゃです。彼らが立ち上がると、誰も安全になりません。私たちは皆同じ船に乗っています。

El huésped

-私は自分を守ります。彼らが到着するのを見る時間があります。

バルドゥッチは笑ったが、彼の口ひげは突然数本の歯を覆った。

白。

-何時間ありますか？わかった。私が言っていたこと。あなたはいつもネジを逃してきました。だから私はあなたが好きです；私の息子はそうでした。

同時に彼はリボルバーを取り出してテーブルに置いた。

-ここからエルアミュールに行くのに 2 つの武器は必要ありません。

リボルバーはテーブルの黒いペンキに輝いていました。ゲンドルメが彼の方を向いたとき、主人は革と馬のにおいがしました。

「ほら、バルドゥッチ」ダルは突然言った、「これはすべて私をうんざりさせます、そしてその男は

初め。しかし、私はそれをあきらめません。必要に応じて戦う。しかし、これではありません。

古い憲兵が彼の前に立ち、彼を厳しく見つめていました。

「ばかげてはいけない」と彼はゆっくりと言った。私もこれが好きではありません。

何年にもわたって、人を縛ることに慣れていない人もいれば、

恥ずかしい、はい。しかし、あなたは彼らに彼らが望むことをさせることはできません。

「私は彼を引き渡さない」とダルは繰り返した。

-それは命令です、息子。繰り返します。

-それでおしまい。私があなたに言ったことを彼らに話さない：私は彼を引き渡さない。

Balducci は目に見えて反映するのに苦労していました。私はアラブ人とダルを見ます。ついに決定されました：

-番号。何も言わない。あなたが私たちを助けたくないのなら、それはあなた次第です、私はあなたを報告しません。私はあなたに囚人を届ける命令しかありません、そしてそれは私がすることです。

今、あなたは私のために紙に署名するつもりです。

-不要です。私はあなたがそれを私に任せたことを否定しません。

-私に意地悪しないでください。私はあなたが真実を言うことを知っています。あなたはここから来ました、あなたは男です。しかし、あなたは署名しなければなりません、規則はそれを要求します。

ダルは引き出しを開け、紫色のインクの四角いボトル、書道のモデルをトレースするために使用されたペン先付きのコロラドハンドルペンホルダーを取り出し、署名しました。

gendarme は慎重に紙を折り、彼のブリーフケースに入れました。それから彼はドアに向かった。

El huésped

「私はあなたと一緒にいきます」とダルは言いました。

「いいえ」とバルドゥッチは答えた。褒め言葉を持って歩き回る必要はありません。あなたは私を怒らせました。Balducci は同じ場所で、動かずにアラブ人を見て、風通しの良い匂いを嗅いだ。

躊躇してドアの方を向いた。

-さようなら息子。

ドアが彼の後ろでボタンと閉まった。バルドゥッチは窓の前に現れ、その後姿を消した。雪が彼らの足音を溺れさせた。馬は壁の後ろでかき回され、何羽かの鶏は怖がりました。しばらくすると、バルドゥッチは再び窓を通り過ぎ、馬を手綱で引っ張った。

彼は向きを変えずに棚に向かって歩き、馬に続いて姿を消した。

大きな石がのんびりと転がる音がした。ダルは動いていないがまだ彼を見つめている囚人の方を向いた。

「待つて」と先生はアラビア語で言った。そして彼は自分の部屋に行きました。の瞬間に敷居を越え、気が変わってテーブルに行き、リボルバーを手にとってポケットに入れました。それから、向きを変えずに、私は彼女の部屋に入ります。

長い間、彼はゆっくりと暗くなる空を見上げて、沈黙を聞きながら、ソファに横になりました。彼の最初の日はその沈黙

戦後の到着はとても辛いようでした。当時、彼は高原と砂漠を隔てるバットレスのふもとにある小さな町での地位を申請していました。そこでは、北に緑と黒、南にピンクまたは藤色の岩壁があり、永遠の夏の境界を示していました。しかし、彼は同じ高原のさらに北のポストに任命されていました。当初、石だけが住んでいた恩知らずの土地で、彼にとって孤独と沈黙は非常に困難でした。いくつかの畝の存在は耕作地を思い起こさせることもありましたが、実際には畝は建設に適した特定の石を日の目を見るために掘られていました。そこでは、岩を収穫するためだけに耕作されました。他の時には、彼らは町の乾燥した庭を肥やすために、くぼみに蓄積されたいくつかの土の塊をこすり落としました。石だけでこの国の4分の3を覆い、そこで都市が生まれ、輝き、そして姿を消しました。男性は通りかかったり、お互いを愛したり、お互いの喉を噛んだりして、そして死にました。この砂漠では、彼も彼の客も、誰も何もありませんでした。それでも、この砂漠の外では、ダルはどちらも、本当によく知っていたはずがありませんでした。

彼が起きたとき、教室で騒音は聞こえなかった。ダルが泊まった

El huésped

アラブ人は逃げることができ、何も決めなくても一人でいると思った彼は、率直な喜びに驚いた。しかし、囚人はまだそこにいました。彼はストーブとテーブルの間に全長を伸ばし、目を大きく開いて天井を見つめていました。この位置では、何よりも彼の厚い唇を見ることができ、それは彼に怒った表情を与えました。

「さあ」とダルは言った。アラブ人は立ち上がって彼を追いかけました。部屋の中で、先生は窓の下のテーブルの隣の椅子を指さした。アラブ人はダルから目を離さずに腰を下ろした。お腹 H あすきましたか？

「はい」と囚人は言った。

ダルはテーブルに 2 つのカトラリーを置きました。彼は小麦粉と油を取り、ボウルにケーキを練り、ボタンオープンをつけた。

ケーキが焼けている間、ダルは小屋に行き、チーズ、卵、デート、コンデンスミルクを手に入れました。ケーキが調理されたら、彼女はそれを窓辺に冷やし、水に溶かしたコンデンスミルクを加熱し、最後に卵を叩いてオムレツを作りました。これらの動きの 1 つで、彼の手は彼が右ポケットに入れていたリボルバーにつまづいた。彼は卵を入れたボウルを離れ、クラスに行き、リボルバーをテーブルの引き出しに入れました。彼が部屋に戻ったとき、それは暗くなっていた。

彼は明かりをつけてアラブ人に仕えた。

「食べなさい」と彼は言った。

もう一人はケーキを手に取り、勢いよく口に運び、立ち止まりました。

-あなたも？ -お願いします。

-最初にあなた。後で食べます。

厚い唇はわずかに別れ、アラブ人は躊躇し、噛むことになった
断固としてケーキ。

食べ終わったら先生を見ます。

あなたは裁判官ですか？

-いいえ、明日まで見守らなければなりません。

-どうして私と一緒に食べるの？

-お腹が空いたから。

El huésped

もう一人は沈黙した。ダルは起き上がって去った。彼は小屋からベビーベッドを持ってきて、それをテーブルとストーブの間に、自分のベッドに垂直に、そして大きなスーツケースから置いた。

隅に立って書類の棚を務めていた彼は、ベビーベッドに並べた毛布を2枚取り出しました。それから彼は起き上がり、他に何も占有することなく、ベッドに座った。今準備したりすることは何もありませんでしたが、その男を見てください。そして彼女は彼を見始め、その顔が怒りに満ちていることを想像しようと思いました。しかし、彼はできませんでした。

暗くて明るい一見と動物の口しか見ませんでした。

-殺したから？彼は敵意が彼を驚かせた声で言った。アラブ人は目をそらした。

-彼は逃げた。そして私は彼を追いかけた。彼はある種の苦悩の質問に満ちた目でダルを振り返った。今、彼らは私に何をするつもりですか？

-あなたは怖い？

もう一方は固くなり、目をそらしました。

-ごめんなさい。

アラブ人は口を開けて彼を見ました。彼が理解していないことは明らかでした。刺激がダルを洗い流した。同時に、彼はぎこちなくて恥ずかしい思いをし、2つのベッドの間を移動することができませんでした。

「ここに横になって」と彼は焦りながら言った。それはあなたのベッドです。アラブ人は動かなかった。彼はダルに質問した：

-教えて！

先生は彼を見た。

「ジェンダームは明日戻ってきますか？」

-知らない。

-あなたは私たちと一緒に来ますか？

-知らない。なんで？

囚人は起き上がって毛布の上に横になり、窓に向かって足を踏み入れた。

電球からの光が彼の目に直接輝いていて、彼はすぐにそれらを閉じました。

-どうして？ -ダルは繰り返し、ベッドの前に植えられました。

アラブ人はまばたきの光の中で目を開けて彼を見つめ、まばたきをしないように強要した??。

El huésped

「私たちと一緒に来なさい」と彼は言った。

真夜中、ダルは眠れませんでした。彼は完全に脱いでベッドに入った：彼は裸で寝る習慣があった。しかし、服を着ていない自分の部屋にいと、彼女は躊躇しました。彼は傷つきやすいと感じ、

もう一度服を着たくなりました。しかし、彼は肩をすくめました。彼はすでにより悪い状況で自分自身を見ていました、そして必要ならば彼は彼の敵を粉砕しました。ベッドから私は彼が仰向けになって動かず、強烈な光の中で目を閉じているのを見ることができました。ダルがそれをオフにしたとき、暗闇は突然凍ったようでした。星のない空が優しく動く窓から少しずつ夜が蘇りました。先生はすぐに彼の前に広がった体を区別しました。アラブ人はまだ動かなかったが、彼の目は開いているようだった。学校の周りには微風が吹いていました。おそらく、雲はやがて別れ、太陽は再び輝くでしょう。

夜になると風が強くなりました。鶏は少し乱暴になり、それから沈黙しました。アラブ人は彼の側を向き、ダルに背を向け、ダルは彼がうめき声を上げるのを聞いたと思った。それから私は彼女の呼吸を、一瞬よりも激しくそしてより規則的にストーキングしました。ダルはその息がとても近くにあるのを聞いて、眠ることができずに夢を見ました。彼が一年間一人で寝ていた部屋で、その存在は彼を悩ませました。しかし、それはまた、彼が現在の状況で拒絶し、彼が非常によく知っている一種の友愛を彼に課したので、彼を苛立たせました：彼らが兵士であろうと囚人であろうと、同じ寮を共有する男性は、鎧を着て脱いで、彼らは毎晩、彼らの違いを超えて、睡眠と倦怠感の古いコミュニティで団結します。しかし、ダルは興奮しました、彼はそのナンセンスが好きではありませんでした、彼は眠らなければなりませんでした。

しかし、やや後に、アラブ人がいつの間にか動いたとき、

先生はまだ眠れませんでした。囚人の 2 番目の動きで、彼は警戒して緊張した。アラブ人はほとんど夢遊病の動きで、彼の腕で非常にゆっくりと起き上がりました。ベッドに座って、まるで熱心に聞いているかのように、ダルに顔を向けることなく、動かずに待っていた。ダルは動かなかった：彼はちょうど彼がクラステーブルの引き出しにリボルバーを残したことに気づいた。迅速に行動したほうがよかった。しかし、彼は同じ慎重な動きで、足を地面に置き、少し待って、ゆっくりと起き始めた囚人を見続けました。アラブ人が歩き始めたとき、ダルは一步踏み出して彼に電話をかけようとしていました

今回は自然ですが、非常に静かです。彼は小屋に通じる裏口に向かっていた。慎重に彼はノブを回し、ドアを完全に閉じずに後ろに押しました。ダルは動かなかった。逃げる、と彼は思った。

なんて安心！しかし、彼は耳を刺した。

El huésped

鶏は動かなかった：したがって、アラブ人は高原にいた。それなら私はかすかな水の音がして、彼はそれが何であるかを理解しただけでした。アラブ人が再び戸口に現れた瞬間、それを注意深く閉じ、静かに寝ました。ダルは仰向けになって眠りについた。少し後、彼は眠りの深さで、学校の周りのひそかな足音を聞いたと思った、私は夢を見ている、私は夢を見ている！彼は自分自身に繰り返した。そして確かに彼は眠っていた。

彼が目を覚ましたとき、空は澄んでいて。冷たくて純粋な空気が、不適合な窓から入りました。アラブ人は眠り、毛布の下に身を寄せ、口を開け、完全に信頼しました。しかし、ダルが彼を振ったとき、彼はジャンプして見ました

ダルは彼に気づかず、狂った目と怖い表情で、先生は一步後退した。

-恐れることはありません。それは私です。食べましょう。

アラブ人はうなずいて、そう言った。彼の顔は回復した

静けさ、しかし彼の表現は空いていて気が散っていた。

コーヒーの準備ができました。彼らはそれを飲み、両方ともベッドに座って、ケーキを数枚食べました。その後、ダルはアラブ人を小屋に連れて行き、毎日自分を洗う蛇口を見せました。彼は部屋に戻り、毛布を折り、ベビーベッドを手に取り、

彼はベッドを作り、部屋を片付けた。それから彼は学校を過ぎて堤防に出かけました。太陽はすでに青い空に昇っていました。柔らかく生きた光が人けのない高原に溢れていました。棚の上で雪が溶け始めていました。石が再び現れるでしょう。高原の端にしゃがんで、先生は砂漠の広大さを考えました。

Balducci のことを考えていました。彼は自分を気の毒に思い、自分と同じ鞆に入れられたくないかのように、ある意味で彼をそこから追い出しました。彼はまだゲンダルメの別れを聞くことができました、そして、理由を知らずに、彼は奇妙に空っぽで無防備であると感じました。この瞬間、学校の反対側で、囚人は咳をしました。ダルはそれを聞いたが、ほとんど彼自身にも関わらず。それから、激怒して、彼は雪に沈む前に空中で口笛を吹く石を投げました。この男のばかげた犯罪は彼を反乱させたが、彼を引き渡すことは名誉に反していた：それについて考えるだけで彼は屈辱に腹を立てた。そして彼は同時に、彼にそのアラブ人を送った彼自身と、あえて殺し、逃げる方法を知らなかったこの人を呪った。ダルは起きて、堤防を数回歩き回り、待って、動かずに、そして学校に入った。

小屋のコンクリートの床にかがんだアラブ人は、2本の指で歯を磨いていました。ダルは彼を見ました：

El huésped

「さあ」と彼は言った。そして、私は囚人の前の部屋に入ります。彼はセーターの上にジャケットを着て、ウォーキングブーツを履きました。それから彼はアラブ人が彼のターバンとサンダルを履くまで待っていました。彼らは学校に入学し、先生は彼の仲間を指摘しました。どこかに行って。もう一方は動かなかった。私は今来ます、とダルは言いました。

アラブ人は去った。ダルは部屋に戻ってきて、トーストしたパン、ナツメヤシ、砂糖でパッケージを作りました。授業では、出かける前に机で一瞬ためらった後、学校の敷居を越えてドアを閉めた。「そうだね」と彼は言った。そして彼は東に向かい、続いて囚人が向かった。しかし、学校から少し離れたところに、彼は後ろにわずかな音が聞こえたと思った。彼は自分の歩みをたどり、家の周囲を調べました。誰もいませんでした。アラブ人は彼が何をしているのか理解せずに彼を見ました。

「さあ、」ダルは言った。

彼らは1時間歩き、ある種の石灰質の山の隣で休んだ。雪はどんどん溶け、太陽はすぐに水たまりを吸収し、

高原を全速力で掃除し、少しずつ乾いて空気のように振動しました。彼らが再び出発したとき、地球は彼らの階段の下で響き渡った。遠くでは、鳥がうれしそうなトリルで彼らの前の空間を分割しました。ダルは涼しい朝の光の中で、深く呼吸しながら飲んだ。ある種の高揚は、青い空の帽子の下で、今ではほぼ完全に黄色になっている、とても馴染みのある空間の下で生まれました。彼らはさらに1時間歩き、南に向かった。

彼らは、もろい岩によって形成された一種の平らな隆起に到達しました。

そこから高原は東に向かって傾斜し、低い平原に向かいました。

彼らはいくつかの半乾きの木を作り、南には、風景に幽霊のような側面を与えるいくつかの岩の山に向かって作ることができました。

ダルは2つの方向を調査しました。地平線には空しかなく、人は見えませんでした。ダルはぼんやりと彼を見ているアラブ人の方を向いた。

理解し、彼にパッケージを手渡した：

「ここに」と彼は言った。ナツメヤシ、パン、砂糖です。2日で到着します。アラブ人は荷物とお金を受け取り、彼らが彼に与えたものをどうしたらいいのかわからないかのように、胸の高さで両手をいっぱい立てて立っていました。

「今見てください」とマスターは東の方向を指して言った、「それはティンギットへの道です」。歩いて2時間です。Tinguit には、行政と警察がいます。彼らはあなたを待っています。

El huésped

アラブ人は東を向いて、荷物とお金を彼の近くに押し付けました。ダルは彼を犯した彼の腕と、やや突然、彼を南に向けた。

それらがあつた高さのふもとで、かろうじて輪郭を描かれた道が推測されることができました。

-それは高原を横切るトラックです。ここから1日歩くと、牧草地と最初の遊牧民。彼らはあなたを歓迎し、彼らの法律に従ってあなたに避難所を与えます。

アラブ人は今やダルに目を向けており、彼の顔はパニックを反映していた。

「ねえ」と彼は言った。

ダルは首を横に振った。

-黙ってはいけません。今、私はあなたを残します。

彼は背を向け、学校の方に2歩進み、動かないアラブ人を不確かに見つめ、立ち去った。数分間、彼は自分の足音だけを聞き、冷たい地面に響き渡り、頭を向けませんでした。

しかし、その瞬間、彼は向きを変えました。アラブ人はまだ丘の端にいて、腕を下げて先生を見ていました。ダルは喉のしこりを感じた。しかし、彼は焦って誓い、身振りをし、そして再び歩き始めました。彼が再び立ち止まって振り返ったとき、彼はすでに遠くにいました。丘の上には誰もいなかった。

ダルは躊躇した。太陽はすでに空にかなり高く、彼女をむさぼり食い始めていました。額。マスターは最初は少し不確かで、それから断固として自分の歩みをたどりました。彼が小さな丘に着くまでに、彼は汗をかいていた。彼はそれを全速力で上り、足を叩きながら上で止まった。南の岩場は青空を背景にはっきりと輪郭が描かれていましたが、東の平野では熱が上がり始めていました。そして、この軽い霧の中で、ダルは重い心を持って、刑務所への道をゆっくりと歩いているアラブ人を見つけました。

少し後、教室の窓の前に立って、先生は部屋の表面全体にわたって空の高さから跳ね上がる上昇する光を盲目的に見つめました。

プラトー。彼の後ろの黒板には、不器用な手でチョークでなぞられ、フランスの川の蛇行の中で、先生が読んだばかりの碑文がありました。「あなたは私たちの兄弟を救いました。あなたは支払うでしょう。」ダルは空、高原、そしてその向こうに海に伸びる見えないうちを見ました。彼がとても愛していたその広大な国で、ダルは一人でした。

終了

El huésped

Google 翻訳の精度は 2019/06/04 に翻訳した時に比べると大分改善されています。
しかし、DeepL による翻訳に比べると、機械翻訳という感じがします。

El huésped

DeepL による一部翻訳

10 月中旬、8 ヶ月に及ぶ旱魃の後、雨の推移もなく突然雪が降り始め、高原に点在する小さな村に住む 20 人の生徒たちは学校に行かなくなった。

先生は、向かってくる二人を見上げました。一人は馬で、もう一人は徒歩で。まだ、丘の中腹に建つ学校へと続く急な坂道には到達していない。雪の中を、石の間を、広大な砂漠の高原を、ゆっくりと苦勞して歩いた。時折、馬がよろける。まだ声は聞こえないが、鼻の穴から蒸気が噴き出しているのはよくわかる。

少なくとも一人は、この辺りを知っていた。汚れた白いマントを着て数日間行方不明になっていたのに、その跡を追っていたのだ。があります。

主人は、30 分もすれば丘に着くだろうと思っていた。寒かったので、ジャンパーを着ようと学校に入ったそうです。

誰もいない、凍えるような教室を横切った。黒板には、4 色のチョークで描かれたフランスの 4 つの川が、3 日前からそれぞれの河口に向かって流れていた。

好天に恵まれるのを待つしかなかった。教師であるダルは、台地の東に面した教室に隣接する、住居全体を構成する一室だけを暖房していた。窓も教室のものと同じように、正午を向いていた。こちら側は、台地が南に傾斜し始めたところから数キロメートル離れたところに学校があった。

晴れた日には、砂漠への入り口となる山のバットレスの紫色の塊が見える。

少し暖まったところで、ダルは窓際に戻り、そこから初めて

がちらりと見えた。今、彼らは視界から消えてしまった。そして、坂道を登っていく。夜中に降った雪が止み、空は暗くなくなり、灰色の光で夜が明けたが、雲の天井が高くなり、ほとんど光は増していない。午後の 2 時。まだ日が始まったばかりならそう言っただろう。でも、あの 3 日間、真っ暗闇の中で厚い雪が降り、教室の二重扉を小さな突風がガタガタと揺らすよりはましだ。

ダルはそれから、鶏に餌をやったり、石炭を取りに行ったりするときだけ、自分の部屋にこもって死んだような時間を過ごすようになった。

幸いなことに、北にある一番近い村、タジッドから 2 日前にトラックで物資が運ばれてきていた。

は、嵐の 2 日前に物資を運んできた。そして、48 時間後に再び通過するのである。

一方、ダルは、部屋いっぱいに広がる小麦の袋と、行政が干ばつの犠牲となった家族を持つ生徒たちに配るために倉庫に置いていった小麦の袋で、包囲網に抵抗するのに十分であった。実際には、みんな貧しいので、不幸が襲ってきたのである。ダルさんは、子どもたちに毎日配給品を配っていたが、この不順な日々でそれが不足していることをよく理解していた。おそらく、その日の夕方には親か兄妹が来るだろうから、その人たちに穀物を供給することもできるだろう。

El huésped

次の収穫まで持ちこたえることができればいい、ただそれだけである。

それだけだった。しかし、この悲惨さを忘れることはできないだろう。ぼろぼろの亡霊の軍団が太陽の下でさまよい、高原は何か月も焼け野原になり、大地は少しずつ縮み、文字通り足元の石がすべて粉々になるほどに焼け野原になったのだ。当時は、羊が何千匹も死んでいた。そして、何人かの男たちも、あちこちで、しばしば誰にも知られることなく死んでいった。

その悲惨さを前にして、あの失われた学校でほとんど修道士のような生活をしていた彼は、一方で、わずかな持ち物とこの荒れた生活に満足し、まるで領主のような気分になっていたのである。

漆喰の壁、狭い腰掛け、松の木の棚、井戸、そして一週間に一度の水と食料の供給がある。そして突然のあの雪、何の前触れもなく、雨の移り変わりもなく。逆に何も解決しない男たちがいなくても、生きていける、そんな残酷な国だった。でも、ダルはそこで生まれたんです。それ以外の場所では、彼は追放されたような気分になっていた。

学校前の堤防を数歩下ると、二人は斜面の中程まで来ていた。ダルはライダーの中に、昔から知っている老司令官、バルデュッチを見出した。アラブ人が、頭を下げ、**両手で両手を縛られ**、ロープの端を握っているバルドゥッチの後ろを歩いている。かつて青かったジェラバを身にまとい、足には厚い原毛のサンダルと靴下、頭にはターバンのような短くて細いスカーフを巻いているアラブ人を見ながら、ダルは忙しそうに身振りで敬礼していた。バルドゥッチはアラブ人を傷つけないように馬の歩調を合わせながら、一行は進んでいった。

www.DeepL.com/Translator（無料版）で翻訳しました。

無料版は 5000 文字まで翻訳できる。

DeepL による翻訳はかなり精度が高いですが、時々、翻訳途中のごみのようなものが訳文に残っています。

終わり

Vector で公開中のソフトとデータ

Vector で公開中のソフトとデータ

作者: 三浦 高志 (vector.co.jp)

汎用データ/画像&サウンド

- [キャプチャ NX の使用方法](#)

ニコンキャプチャ NC と NX の使用方法の説明

- [キャプチャ NX の画像調整データ](#)

「キャプチャ NX の使用方法」の本文中で使用した画像と調整データ

- [ニコンキャプチャ NX2-調整手順](#)

ニコンキャプチャ NX2 の操作に慣れるための調整手順を説明

- [ニコンキャプチャ NX2-撮影練習](#)

ニコンデジタル一眼レフカメラの撮影練習 ― 露出設定を重点的に説明

汎用データ/学習&教育

- [LTSpice 操作入門](#)

アナログ電子回路のシミュレーション操作入門

WindowsMe/98/95 用ソフト/学習&教育

- [Sim for DOS](#)

アナログ回路の DC 及び AC 解析の出来るシミュレーションソフト

- [SimPack](#)

フリーソフトとして公開中の Sim.exe の開発資料とプログラムソースを公開する

Windows10/8/7/Vista/XP/2000/NT/画像&サウンド

- [ぬり絵ビルダー](#)

画像データ(BMP または JPG)を自動的にぬりえに変換する

Windows10/8/7/Vista/XP/2000/NT/学習&教育

- [McAct2W](#)

アナログフィルタ(回路図出力付き)及びデジタルフィルタの設計支援ソフト

- [LtAct](#)

アクティブフィルタの設計と LTSpice 用の回路図作成

- [ActiveFilter-Design-Schematics](#)

LtAct の名称を変更し、取扱説明書の一部を英文に翻訳しました

- [ActDoc](#)

フリーソフトとして公開中の McAct2W.exe のプログラム開発資料を公開する

Vector で公開中のソフトとデータ

Windows10/8/7/Vista/XP/2000/NT/パーソナル

- [電卓プログラム Dt.exe](#)

複素数の計算が出来て、関数も自作できる 組み込み関数は複素数処理に対応

Windows10/8/7/Vista/XP/2000/NT/画像&サウンド

- [カラーコーディネイタ](#)

色彩調整における「色と補色の確認」ツール

- [TIFF 圧縮](#)

RGB 各 16 ビットの TIFF データを高画質に圧縮/伸張するプログラム

- [EV 計算](#)

デジタル一眼レフの露出情報を入力すると EV 値(撮影環境の明るさ)を計算する

汎用データ/学習&教育

- [星の王子さま・スペイン語](#)

辞書なしでも、何度も読むだけで単語と文法が分かってくると思います

- [星の王子さま・ドイツ語](#)

辞書なしでも、何度も読むだけで単語と文法が分かってくると思います

- [星の王子さま・英語](#)

辞書なしでも、何度も読むだけで単語と文法が分かってくると思います

- [スペイン語学習](#)

構文解析によるスペイン語学習

- [星の王子様・フランス語](#)

辞書なしでも、何度も読むだけで単語と文法が分かってくると思います

- [フランス語学習](#)

構文解析によるフランス語学習

- [星の王子様・イタリア語](#)

辞書なしでも、何度も読むだけで単語と文法が分かってくると思います

- [英語・アル・ゴアからのメッセージ](#)

気候危機に関するアル・ゴア元副大統領の講演

- [異邦人・フランス語](#)

辞書なしでも、何度も読むだけで単語と文法が分かってくると思います

Vector で公開中のソフトとデータ

Windows10/8/7/Vista/XP/2000/NT/画像&サウンド

●[HDPPhotoTool \(HD フォトツール\)](#)

TIF(RGB48bit または RGB24bit)または BMP ファイルを HDP 形式に圧縮して TIF 形式に伸張

汎用データ/家庭&趣味

●[北海道の家庭菜園](#)

寒冷地における苗の植付と栽培方法および野菜の育苗を体験に基づいて説明